

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2023年6月27日

【事業年度】 自 2022年1月1日 至 2022年12月31日

【会社名】 スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト  
(Svenska Handelsbanken AB (publ))

【代表者の役職氏名】  
ヘンリク・アダムソン  
(Henrik Adamsson)  
ヘッド・オブ・リーガル兼  
ヘッド・オブ・トランザクション・マネジメント  
(Head of Legal and Transaction Management)  
  
リーゼロッテ・エルフストランド  
(Liselotte Elfstrand)  
ヴァイス・プレジデント  
(Vice President)

【本店の所在の場所】 スウェーデン王国 SE-106 70 ストックホルム クングストラッド  
ゴードシュガータン 2  
(Kungsträdgårdsgatan 2, SE-106 70 Stockholm, Sweden)

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 多賀 大輔

【代理人の住所又は所在地】 東京都千代田区大手町一丁目1番1号  
大手町パークビルディング  
アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業

【電話番号】 03-6775-1029

【事務連絡者氏名】 弁護士 佐藤 孝成  
弁護士 森 真幸人  
弁護士 瀬田 裕貴  
弁護士 安達 結希

【連絡場所】 東京都千代田区大手町一丁目1番1号  
大手町パークビルディング  
アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業

【電話番号】 03-6775-1623  
03-6775-1679  
03-6775-1747  
03-6775-1811

【縦覧に供する場所】

該当事項なし。

## 注記：

(注1) 本書において、別段の記載がある場合を除いて、下記の用語は下記の意味を有するものとする。

「当行」とは、	スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトをいう。
「当行グループ」とは、	スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト及びその連結子会社をいう。
「北欧諸国」又は「北欧」とは、	スウェーデン、デンマーク、フィンランド及びノルウェーをいう。
「スウェーデン」とは、	スウェーデン王国をいう。

(注2) 別段の記載がある場合を除き、「スウェーデン・クローネ」はスウェーデン・クローネを、「米ドル」はアメリカ合衆国ドルを、「円」は日本円を、「英ポンド」は英貨ポンドを、「ノルウェー・クローネ」はノルウェー・クローネを、「ユーロ」は欧州連合の機能に関する条約(その後の改正を含む。)に基づき単一通貨を採用する又は採用した欧州連合の加盟国の通貨を指す。2023年5月26日現在(日本時間)、株式会社三菱UFJ銀行が提示した対顧客電信売買相場の仲値は、1スウェーデン・クローネ=12.91円であった。本書におけるスウェーデン・クローネから日本円への換算額は、読者の便宜のためにのみ記載するものであり、スウェーデン・クローネ額が上記レートで日本円に換算されることを示すものと解してはならない。

(注3) 本書中の表における数値が四捨五入されている場合、合計欄の数値は必ずしも関連する各数値の合計と一致しない。

(注4) 本書には、将来の事象、財務及び経営成績並びに将来の市場の状況についての経営陣の現在の予測を反映した、将来の見通しに関する記述が含まれている。「確信している」、「期待している」、「予想している」、「目指す」、「見積もっている」、「意図している」、「見通しである」、「目標としている」、「と思われる」、「可能性がある」、「想定する」、「場合がある」、「予定である」及び「はずである」等の語句又はその他の変化形若しくは類似の用語は、将来の見通しに関する記述であることを明確にすることを意図している。将来の見通しに関する記述は本書中、複数箇所に登場する(「第一部 - 第3 - 2 事業等のリスク」並びに「第一部 - 第3 - 3 - (3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を含むが、これらに限られない。)

将来の見通しに関する記述は、将来起こることも起こらないこともある事象に関連し、またかかる状況に依拠するものであるため、本来的にリスク及び不確実性を伴う。当行グループ及び当行は誠実に、かつ合理的と信じる想定に基づいて、上述の将来の見通しに関する記述を記載したが、かかる将来の見通しに関する記述のいずれも、将来の実績を確約又は保証するものではない。当行グループ及び当行の実際の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フロー並びに当行グループ及び当行が事業を行っている市場の動向は、本書に含まれる将来の見通しに関する記述において明示又は示唆された内容とは大幅に異なる可能性がある。「第一部 - 第3 - 2 事業等のリスク」並びに「第一部 - 第3 - 3 - (3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」におけるすべての将来の見通しに関する記述は、本有価証券報告書提出日現在で見積もられたものである。

将来の見通しに関する記述に依拠する場合、読者は、前述の要素、その他の不確定要素及び事象、特に当行グループ及び当行が事業を行う環境における政治的、経済的、社会的及び法律的な要因について慎重に検討すべきである。かかる将来の見通しに関する記述は、それらの記述がなされた日現在における記述に過ぎない。したがって、当行グループ又は当行のいずれも、それらの記述について、新たな情報、将来の事象又はその他の要因にかかわらず、更新又は修正する義務を負わない。当行グループ及び当行は、かかる将来の見通しに関する記述により期待される結果が達成されると表明し、保証し又は予想するものではなく、また、将来の見通しに関する記述は、いずれの場合も、多くの想定されるシナリオのうちの一つを示しているに過ぎず、もっとも可能性の高いシナリオ又は標準的なシナリオと考えられるべきではない。

(注5) 当行は、いかなる場合においても、本書において税制上、法律上又は規制上の助言を行うものではない。

(注6) 当行グループ及び当行の事業年度は暦年である。

## 第一部【企業情報】

### 第1【本国における法制等の概要】

#### 日本において得られた判決の効力

外国の裁判所が民事及び商事事件について下した判決のスウェーデンにおける執行可能性は、当該判決の執行可能性がスウェーデンの法律に明示的に定められていること又は判決の相互承認及び執行を定める条約を条件とする。日本とスウェーデンは、民事及び商事事件の判決の相互承認及び執行を定める条約を締結していない。したがって、民事責任に基づいて日本の裁判所が下した判決は、スウェーデンにおいて直接執行できない。

有利な最終判決を得た者が管轄権のあるスウェーデンの裁判所に新規に提訴する場合、その者は日本の裁判所によるかかる最終判決をスウェーデンの裁判所に提出することができる。かかる最終判決は、スウェーデンの裁判所においては、かかる判決が関係する紛争の結果に関する証拠としてしか扱われず、スウェーデンの裁判所は、新規にかかる紛争について審理することができる。

#### 1【会社制度等の概要】

##### (1)【提出会社の属する国・州等における会社制度】

#### ( )概要

##### 関係法令及び自主規制

当行のようなスウェーデンで設立された公開有限責任会社である銀行(publikt bankaktiebolag)は、主として、すべての有限責任会社に適用されるスウェーデン会社法(aktiebolagslagen (2005:551))(以下「会社法」という。)、スウェーデンにおける銀行・金融業を規制するスウェーデン銀行・金融業法(lag (2004:297) om bank- och finanseringsrörelse)(以下「銀行法」という。)及び証券業を規制するスウェーデン証券市場法(lag (2007:528) om värdepappersmarknaden)(以下「証券市場法」という。)により規制される。有限責任会社である銀行の年次会計は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法(lag (1995:1559) om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag)により規制される。当行はナスダック ストックホルムに上場しているため、ナスダックの上場規則(発行会社のための規則集)及び自主規制の基礎であり、「遵守するか、そうでない場合は説明をする(comply or explain)」の原則に基づくスウェーデンコーポレート・ガバナンス・コード(以下「コーポレート・ガバナンス・コード」という。)も遵守しなければならない。

当行は、スウェーデン金融監督庁(Finansinspektionen)(以下「SFSA」という。)から、銀行法に基づく銀行業を営む免許及びとりわけ証券市場法に基づく証券業を営む免許を取得している。そのため、当行は、SFSAの規則及びSFSAが発表する一般指針の適用を受ける。さらに、当行の子会社の多くは金融機関及び保険会社を規制するスウェーデン及び外国の法律により規制されており、またSFSA又は他の法域における類似機関の監督に服している。当行は、当行が事業を営むすべての市場において、消費者保護をはじめとする広範な規制に服している。

銀行法の規定のうち特筆すべきは、当行の株式を取得しようとする株主の持分が一定の基準(当行の資本又は議決権の10、20、30若しくは50%又は結果的に当行が取得者の子会社となるような数)に達するか若しくはそれを超えることとなる場合、又は株主がその他の方法により当行の経営に重要な影響力を持つこととなる場合には、SFSAの事前の承認が必要であるとする規定をはじめとする、所有及び経営評価に関する規則である。さらに、当行の取締役会の構成員及びその代理並びに経営責任者及び経営責任者代理の任命については、経営評価に関するスウェーデンの規則に基づき、SFSAの承認を得なければならない。

## 設立

当行は、公開有限責任会社である銀行(publikt bankaktiebolag)である。

有限責任会社の設立には、発起人が特に会社の定款(bolagsordning)を含む設立証書(stiftelseurkund)を作成することを要する。定款は、とりわけ、会社の商号及び事業活動に関する情報を含むことを要する。

設立証書には、会社の株式を引き受ける発起人の名前及び各発起人の引受株式数が記載される。引受株式の支払いは、現金又は現物(apportegendom)によりなすことができる。会社は、会社登記番号を交付するスウェーデン会社登記所(Bolagsverket)(以下「SCRO」という。)に登録することにより設立される。登記の申請は、設立証書の作成後6ヶ月以内にSCROに対してなされなければならない。

非公開有限責任会社の資本金は50,000スウェーデン・クローネ以上、公開有限責任会社の資本金は500,000スウェーデン・クローネ以上であることを要する。一般に、銀行法に従い、銀行はその事業開始にあたり、SFSAからの免許取得時に5百万ユーロ以上の当初資本金を有していなければならない。

## 定款

定款は、すべての有限責任会社の基本的な統治書類である。定款には、とりわけ、会社の事業内容、資本金及び株主の株主総会出席権が記載される。定款は公的記録上に保存され、SCROにおいて入手可能である。

## 資本金及び株式

### 資本金

会社法に従い、公開有限責任会社の資本金は500,000スウェーデン・クローネ以上であることを要する。銀行法には、銀行の資本規模は銀行の事業の範囲及び性質に基づき決定されなければならない旨を定める追加の規定がある。有限責任会社の定款には、資本金の最低額及び最高額を定めなければならない。有限責任会社の現在の登録資本金は公的記録事項であり、SCROにおいて入手可能である。

### 議決権

有限責任会社の定款に別段の定めのない限り、1株は1議決権を有する。定款には、他の株式の10倍超の議決権を有する種類株式について定めることはできない。当行の定款の下では、A種株式及びB種株式の2種類の株式を発行することができ、A種株式には1株につき1議決権が、B種株式には1株につき10分の1の議決権が付される。

### 配当

スウェーデン法に基づき、配当は株主総会での承認を得なければならない。配当は、分配可能額の範囲内であることに加えて、事業の性質、範囲及びリスク並びに会社の財務体質、流動性及び財政状態を強化する必要性から課される株主資本の大きさに関する要請に照らして、妥当な範囲内である場合に限られる。さらに、株主は、一般のルールとして、取締役会で提案又は承認された額を上回る額の配当の決定をすることはできない。

スウェーデン法においては、当行の発行済株式総数の10分の1以上を保有する株主には、当行の利益から配当金の支払いを要求する権利がある。かかる要求がなされたら、年次株主総会では、( )非制限準備金を超える繰越損失の超過額、( )法律又は定款により、制限資本に繰入れなければならない額、及び( )定款上、株主への配当以外の目的に使用すべきとされている額を控除の上、承認された貸借対照表に従い当期の残存利益の2分の1相当額の配当を決議する。年次株主総会は、当行の株主資本の5%を超える配当を決議する必要はない。さらに、株主総会では、分配可能額を上回る配当又は上述の妥当な範囲を超えた配当を行うことはできない。

株主総会は、有限責任会社における上位機関であり、株主への配当の分配を決定する権利を有する唯一の機関である。

配当は、通常、ユーロクリアを通じて1株毎に現金で支払われるが、現物により支払われることもある(現物配当)。株主総会において決定された基準日において、ユーロクリアが保管する株主名簿に株式所有者として登録されている者が、配当を受領する権利を有する。ユーロクリアを通じて株主と連絡を取ることができない場合も、当該株主は配当金額に係る当行への請求権を保持し、かかる権利は時効によってのみ制限される。請求権が時効になった場合、配当金額は当行が没収する。

#### 当行株式の取引

当行の株式は、ナスダック スtockホルムでの取引が認められている。

ナスダック スtockホルム等の取引所における取引を認められた株式の譲渡は、ユーロクリアのシステムを通じて清算及び決済される。

#### ライツ・イシュー

既存株主は、スウェーデン法の主要規則として、株式、ワラント及び転換可能証券の新規発行の場合と同様に、その保有株式数に応じて新株式の優先的引受権を有する。但し、株主総会は株主の優先的引受権を制限する決議をすることができる。かかる決議は、投票総数及び総会出席者の保有株式数の各々3分の2以上を保有する株主の賛成がある場合にのみ有効である。さらに、発行される有価証券の対価が現金以外で払い込まれる場合、株主は優先的引受権を有しない。会社又はその子会社が保有する株式には、優先的引受権は付されない。

### 株主総会、取締役会及び経営責任者

#### 株主及び株主総会

株主は、有限責任会社における最上位の意思決定機関である有限責任会社の株主総会(bolagsstämma)においてその権利を行使する。年次株主総会(årsstämma)に加えて、臨時株主総会(extra bolagsstämma)が招集される場合もある。株主総会は、特に、定款又は資本金の変更及び利益配分を決議し、取締役会の構成員を任命し、取締役会の構成員及び経営責任者の免責を決議し、取締役会の報酬を決議し、経営責任者及び上級経営陣の報酬原則を承認する。

#### 株主総会出席権

当行のような会社の株主名簿はユーロクリアが保管しているが、株主総会の6銀行取引日前の日において株主名簿に登録されており、かつ遅くとも株主総会の4銀行取引日前までに当該名簿に直接登録されている株主であって、株主総会招集通知に記載の日において当行に出席の意思を通知した株主は、株主総会に出席する権利を有する。株主は、本人又は代理人により株主総会に出席することができる。株主は、2名以下の同伴者を同行させることができる。株主は通常、複数の異なる方法により株主総会のための登録をなすことができる。株主総会招集通知には、株主総会への出席権を得るために株主が登録を行い当行への通知をなすべき方法及びその期限が記載されている。

#### 取締役会

銀行法及び会社法に基づき、取締役会は、当行のような会社の組織及び経営につき最終的な責任を負う。年次株主総会は、会長を含む取締役会の構成員を選任し、監査人の選任が予定された場合は、監査人を選任する。コーポレート・ガバナンス・コードに従い、会長を含む取締役会の構成員及び監査人の指名は、指名委員会が行うものとする。指名委員会の任命原則は、株主総会において決議される。

SCROが例外を認める場合を除き、スウェーデン法の下では、経営責任者及び半数以上の取締役が欧州経済領域に属する国の居住者であることを要する。有限責任会社の定款は、通常、株主総会で選任された取締役会の構成員の任期を次回の年次株主総会の時までとする旨定めている。株主により選任された取締役会の構成員は、株主総会により随時解任することが可能であり、取締役会の欠員は株主総会の決議によってのみ補充される。スウェーデン法の下では、公開有限責任会社の経営責任者は、取締役会会長を務めることができない。さらに、公開有限責任会社である銀行においては、取締役会のすべての構成員につきSFSAの承認を得なければならない。

### 経営責任者

公開有限責任会社である銀行においては、取締役会は経営責任者を任命しなければならない。会社法に従い、経営責任者は、取締役会が出した指針及び指図に従って会社の日常的な経営につき責任を負う。さらに、経営責任者は、法に従って会社の計算を管理し、健全な資金運営が行われるよう必要な措置を講じなければならない。経営責任者は、SCROに登録される。さらに、公開有限責任会社である銀行においては、経営責任者につきSFSAの承認を得なければならない。

### 損害賠償責任

会社法に従い、自らの職務の遂行にあたり故意又は過失により会社に損害を及ぼした発起人、取締役会の構成員又は経営責任者は、かかる損害を賠償しなければならない。会社法、適用ある年次報告関係法令又は会社の定款に違反した結果、株主又はその他の者に損害を及ぼした場合も同様である。さらに、有限責任会社である銀行については、銀行法、スウェーデンの金融機関及び投資機関の特別監督に関する法律(lag (2014:968) om särskild tillsyn över kreditinstitut och värdepappersbolag)、資本バッファーに関する法律(lag (2014:966) om kapitalbuffertar)並びにEUの所要自己資本規制(EU)575/2013(以下「CRR」という。)に違反した場合も上記と同様である。

損害は、作為又は不作為の性質、損害の程度及び一般的な状況を考慮の上、合理的に調整されることがある(jämkas)。同一の損害につき複数の者が責任を負う場合、それらの者のいずれかの責任が上記に従い調整されない限り、かかる者は連帯して責任を負う。これらの者のいずれかが損害を賠償した場合、かかる者は他の当事者に対して状況に応じて合理的に求償権を行使することができる。

会社への損害に関する訴訟は、株主総会において、過半数又は会社の全株式の10分の1以上を保有する少数株主が、損害に関する訴訟の提起の決議に賛成した場合又は取締役会の構成員若しくは経営責任者の免責の決議に反対した場合にのみ提起することができる。

### 法定監査人

銀行法に従い、有限責任会社である銀行は、1名以上の監査人を置かなければならず、選任される監査人の1名以上は、認可公認会計士(auktoriserad revisor)であることを要する。

### 年次計算書類

スウェーデンの会計関連法令は、会計に関する強制法により構成され、そのうち最も重要なものが年次報告法(årsredovisningslagen)及び簿記法(bokföringslagen)である。年次報告法及び簿記法は、会計の一般的な枠組であり、いずれも「一般に公正妥当と認められた会計原則」を定めるものである。信用機関は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法の適用を受ける。

規制市場(ナスダック スtockホルム等)における取引を認められた株式の発行会社は、IFRSに従って連結年次計算書類を作成しなければならない。

年次株主総会においては、損益計算書及び貸借対照表の承認決議がなされ、グループ全体の財務書類を作成しなければならない親会社の年次株主総会においては、連結損益計算書及び連結貸借対照表の承認決議がなされる。前事業年度の年次報告書は、当該年次報告書に対応すべき年次株主総会よりも前に監査人に提出されなければならない。

会社は、すべての事業年度につきSCR0に年次報告書を提出しなければならない。その結果、年次報告書は一般に閲覧可能なものとなる。

## ( )規制環境及び資本基盤

### 規制環境

#### スウェーデン金融監督庁

1世紀以上の間、スウェーデンにおける銀行業は政府の厳密な検査及び管理に服してきた。SFSAは、スウェーデンの金融機関の監督当局である。SFSAの監督責任は、銀行及びその他の金融機関から、保険会社、証券業者、ファンドの運用会社及びナスダック スtockホルムにまで及んでいる。かかる監督責任は、スウェーデンの銀行の国外支店にも及ぶ。SFSAの総合的な目的は、金融システムの安定化及び効率性に貢献するとともに消費者保護を促進することである。

SFSAの監督は、とりわけ、自己資本比率、大口エクスポージャー及び財務書類に関する報告書の分析、並びに各銀行の業務がスウェーデンの銀行法規を遵守することを確実にするための実地検査を通して行われる。

SFSAは法律により授けられた規制権限を有しており、これには、会計規制を発令し、銀行に対し月次財務書類及び様々なリスク報告書の提出を求め、各銀行の業務が銀行業務を規制する法律及び各銀行の定款を遵守することを確実にするための定期的な検査を実施する権限が含まれる。SFSAは、各銀行の年次株主総会において株主により選任される監査人とともに当該銀行の財務書類及び業務運営を調査する1名以上の監査人を任命する権限を有する。SFSAは、2008年度から2022年度の会計年度については当行の監査人を任命しなかった。

監督機能に加えて、SFSAは、スウェーデンの金融市場で事業を営む会社に対する義務的規制及び一般指針の両方を公表している。SFSAは、CRD (以下で定義する。)に基づく資本バッファを決定し、適用する主な責任を負い、マクロ・プルーデンス監督において中心的役割を果たす。

銀行法は、すべての銀行に対し、SFSAの与える免許に基づいて営業するよう求めている。かかる免許は無期限であるが、SFSAによる制限付取消権に服する。

当行の存続期間は無期限である。

### リクスバンク

リクスバンクは、スウェーデンの中央銀行であり、スウェーデン議会(リクスダグ)の機関である。リクスバンクは、金融政策を決定し、スウェーデンの為替政策の実施に責任を負い、スウェーデンの通貨準備を管理し、一定の場合における銀行への最後の貸手として待機し、また金融の安定を守るためその他の措置を講じる可能性がある。また、リクスバンクは、銀行間の決済手続を行う。

### スウェーデン国債局

スウェーデン国債局(Riksgäldskontoret)(Swedish National Debt Office、以下「SNDO」という。)は、銀行サービスを中央政府に対して提供し、借入を行い、中央政府の債務を管理し、政府保証及び貸付を提供する。当局はまた、預金保険制度及び投資家保護制度の責任を負い、スウェーデンの破綻処理機関でもある。

## 所要自己資本

スウェーデンの自己資本比率の枠組は、CRR(その後の改正を含む。)及び指令2013/36/EU(以下「CRD」又は「CRD指令」といい、その後の改正を含む。)に基づいており、2010年度にバーゼル委員会が公表した信用機関の資本基準の強化及び最低流動性基準の設定を目的とする、資本及び流動性の要件の枠組(いわゆる「バーゼル」枠組)をEEAにおいて実施している。また2011年1月13日に、バーゼル委員会は、破綻時の損失吸収能力を確保するための自己資本規制に関する最低要件を発表した。

CRDは規則及び規制の一群であり、国内法化のために一連の要件を課しており、その多くは数年をかけて段階的に導入される予定である。しかしながら、CRRは各加盟国に直接適用されるものの、多くの重要な解釈上の問題は、拘束力のある技術的基準を通じて、又は関連規制当局の裁量に委ねて、解決される必要がある。

2014年1月1日以降、スウェーデンの自己資本比率の枠組はCRR及びCRDに基づいている。2014年1月1日から、CRRはスウェーデンの法律となり、CRDはスウェーデンの法律及びSFSA規則の改正により、2014年度にスウェーデンにおいて施行された。CRR及びCRDは、EBAが発展させ、欧州委員会が採択した一連の技術基準によって補完されている。

## 規則改正

それぞれ、2019年4月16日に欧州議会が、2019年5月14日にEU理事会が、CRD V指令及びCRRを採択した。CRRは、レバレッジ比率、正味安定調達比率、自己資本及び適格債務の基準、カウンターパーティー・信用リスク、市場リスク、中央清算機関へのエクスポージャー、集団投資事業へのエクスポージャー、大口エクスポージャー、報告及び開示の要件に関してCRRを改正し、CRD V指令は、適用除外の企業、金融持株会社、混合金融持株会社、報酬、監督措置及び監督権限並びに資本保全措置に関してCRD指令を改正する。CRR及びCRD指令の改正版は、2019年6月27日に効力が発生した。新たな各規則の適用日は、効力発生日から、及び効力発生後12ヶ月から4年の間と、それぞれ異なる。

これらの自己資本の追加基準の改正は、以前関連規制当局が適用したアプローチとは異なり、スウェーデンの銀行の全体的な所要自己資本の水準及び構成の変更に通じる可能性がある。当該改正は、第二の柱に基づく資本要件(以下「P2R」という。)と第二の柱の指針(以下「P2G」という。)を明確に区別した。P2Rは追加の最低要件となり、第一の柱の最低要件より上位に、また結合バッファ要件より下位に配置され、第一の柱によりカバーされない又は十分にカバーされないリスクに対応する。結果として、当該結合バッファ要件にリンクする、配当に対する自動的な規制が、関連規制当局により現在導入されている第二の柱のアプローチの前に発動される可能性がある。金融システム上のリスク及びマクロ・プルーデンスのリスクに対する追加された資本の適用は、明確にP2Rから除外されている。一方、P2Gは金融機関に対し、将来的な又は遠隔的な状況に対処するために、第一の柱に基づく資本要件、P2R及び結合バッファ要件を超えた資本を保有することを要求するための所轄官庁の能力について言及している。当該改正によると、この指針は資本ターゲットを構成し、当該結合バッファ要件の上位に配置されている。

CRD指令の改正は、EU加盟国の国内法において施行される必要があったが、3%の拘束力のあるレバレッジ比率の要件を含むCRRの改正は、すべてのEU加盟国で直接適用された。CRDの改正を施行するスウェーデンの法令変更は、2020年12月29日にスウェーデンにおいて効力が発生したが、ほとんどの変更が同日から適用された一方で、施行された変更の一部は次の期日から適用される(また、CRRに関連するスウェーデンの法令変更は2021年6月28日から適用された。)。さらに、2021年10月27日に、欧州委員会はCRR及びCRDの見直しを採択し、バーゼルの最終基準を導入する新たな規則を提案した。欧州委員会は、2025年1月1日からの当該新規則の適用を提案している。以上のことから、CRDの枠組や要件が当行に対しどのように適用されるかは、依然として一定の不確実さを残している。

## 自己資本比率

自己資本比率の枠組に従って、当行グループは、信用リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクに関するリスク加重エクスポージャー額合計の4.5%以上の普通株式等Tier 1資本、6%以上のTier 1資本及び8%以上の自己資本合計を保有しなければならない。

当行グループは、最低所要自己資本を満たす資本を維持することに加え、スウェーデンにおいては2.5%の資本維持バッファー、2.5%までのカウンターシクリカル・バッファー、「その他の金融システム上重要な機関(0-SII)」として指定されたことに起因する1%のバッファー及び3%のシステミック・リスク・バッファーの合計により構成される結合バッファー要件に従うための普通株式等Tier 1資本も維持しなければならない。ノルウェーにおけるエクスポージャーは、4.5%のシステミック・リスク・バッファーの対象である。例えば配当に対する規制を回避するためには、定められた結合バッファー要件を満たさなければならない。

2017年3月19日以降、最大2.5%のカウンターシクリカル・バッファーがスウェーデンにおいて適用されている。スウェーデン国外のエクスポージャーに対するカウンターシクリカル・バッファー要件に関して、SFSAは、その他の国の所轄当局がその国のエクスポージャーに関して決定する2.5%までのバッファー水準を認めることとなる。COVID-19の大流行を受けた一時的な引き下げ後、現在、バッファーは元の水準に引き上げられている。カウンターシクリカル・バッファーは、スウェーデンにおいて、2022年9月29日から1%へ、さらに2023年6月22日から2%への引き上げが適用された。英国においては、2022年12月13日から1%へ、さらに2023年7月5日から2%への引き上げが適用される。ノルウェーにおいては、カウンターシクリカル・バッファー要件は、2022年12月31日から2%に引き上げられ、2023年3月31日から2.5%にさらに引き上げられた。

上記の第一の柱の要件と称される要件に加えて、当行グループは、規制の第二の柱に基づく要件のための資本を保有していなければならない。これらの要件は、各金融機関に特有のものであり、監督機関により決定される。集中リスク、年金リスク、非トレーディング勘定における金利リスク等の様々な要因が第二の柱において評価される。SFSAはまた、不動産会社へのエクスポージャーに第二の柱におけるリスク加重のフロアを導入した。スウェーデンにおける商業用不動産を担保とする不動産会社へのエクスポージャーのフロアは35%、またスウェーデンにおける住宅用不動産を担保とする不動産会社へのエクスポージャーのフロアは25%である。2023年3月29日、SFSAは上記のフロアを現在の水準で第二の柱から第一の柱に移行する案を公表し、2023年5月15日、SFSAはかかる改正を2023年9月30日から施行することを発表した。SFSAはまた、P2Gに基づく資本バッファーを保有する必要性を算定している。かかる指針が資本維持バッファーを上回らないと推定される限り、資本計画バッファーにより当行グループに対し資本費用がこれ以上発生することはない。P2Gは、監督審査及び評価プロセスの一環として、SFSAにより決定される。

2018年12月31日より、スウェーデンの住宅ローンは、CRRの第458条に基づき、第一の柱におけるリスク加重のフロアに服している。かかるフロアはリスク加重エクスポージャー額に直接影響を与え、したがって当行グループの最低所要自己資本に反映されている。2018年8月22日、SFSAは、IRB手法によってカバーされるスウェーデンの住宅ローンのエクスポージャーに対して、25%の金融機関特有の第一の柱におけるリスク加重フロアを課すことを決定した。この決定は、当初は2018年12月31日から2021年12月30日まで適用されたが、その後2023年12月30日までに延長された。

2021年9月30日から、ノルウェーの住宅ローンもまた、すべての住宅用及び商業用不動産へのエクスポージャーの第一の柱における平均リスク加重に対し課される、それぞれ20%及び35%の一時的なフロアの対象になる。当該フロアは、延長されない場合、2024年12月31日まで適用される。

当行グループは、規制上の最低資本及びバッファー要件に加えて、自己資本比率の内部評価を実施しなければならない。かかる内部評価においては、すべてのリスク及び所要自己資本を公平な方法で評価する。2007年のバーゼル の導入以降、自己資本比率の内部評価の過程において、当行グループは、第一の柱に基づき正式に求められているよりもかなり多くの資本を保有している。これは、資本の内部評価が経済資本(以下「EC」と

いう。)及び保守的なストレステストの計算に基づくことに起因しており、通常の景気のサイクルにおける資本供給が、ストレス条件下で発生する可能性のある潜在的な損失及び所要自己資本の変動を埋め合わせるのに十分なものでなければならぬことを示している。第二の柱の枠組におけるすべての資本費用は、包括的な資本評価、すなわち当行の所要自己資本へのSFSAの個別評価において行われる。これは第一の柱において設定された最低所要自己資本に追加されたもので、P2Rの費用は、例えば配当に対する自動的な規制が効力を生じる水準に直接影響を及ぼすが、一方でP2Gの費用は影響を及ぼさない。

2023年に採用された当行グループの最新の資本方針は、自己資本比率の内部評価に関するガイドラインを規定している。普通株式等Tier 1比率に関して、当行は、通常の状況下においてSFSAから当行に対して伝達された普通株式等Tier 1資本要件を1%から3%上回ることを目標にしている。

2022年12月31日現在、普通株式等Tier 1比率は19.6%であった。当行の評価では、同日のSFSAの当行グループに対する普通株式等Tier 1資本要件は14.5%(P2Gの1.5%を含む。)であった。したがって、当行グループの普通株式等Tier 1比率は目標範囲を大幅に上回った。

2021年6月28日以降、当行グループは3%の拘束力のあるレバレッジ比率の要件の対象となっている。自己資本比率は、標準的アプローチにおいて定義された信用換算係数を用いて再計算された貸借対照表に記載しない特定の項目を含む資産合計及び自己資本の規制上の調整に関するTier 1資本として定義される。最低要件は、0.45%のP2Gにより補完されている。2017年12月に提示したように、当行のバーゼル委員会が提案した所要自己資本規制への変更(また、CRD を含む。)に対する包括的な評価は、当行グループの資本が、かかる法案が求めるであろう所要自己資本に合致するというものである。当該バーゼル改正の適用は、しかしながら未だEU内で協議中である。

2022年12月31日現在の当行グループの自己資本についての詳細情報については、下記「第6-1-(1) 連結財務書類 - 注記G52」を参照のこと。

### 「バイルイン」を含む金融機関及び投資会社の再生及び破綻処理

2014年5月6日、欧州理事会は、金融機関及び投資会社の再生及び破綻処理に関するEU全体にわたる枠組の設定を定める指令(以下「BRRD」という。)を採択した。BRRDは、金融の安定を守り、納税者の損失エクスポージャーを最小限に抑えるために、当局に対して金融危機に先制的に対応するための一連の手段及び権限を与えることを目的としている。BRRDは、スウェーデン破産処理法(lag (2015:1016) om resolution)を通じて、2016年2月1日にスウェーデンにおいて施行された。

この指令に基づき当局に与えられた権限は、予防権限、早期介入権限及び破綻処理権限に分類される。SFSA及びSND0は、スウェーデンにおいてBRRDを実施する国内法に基づき権限が与えられる。破綻処理権限を行使する主な責任は、破綻処理機関であるSND0が負う。最終的に、当局は、例えば民間の買主又は民間部門の取り決めまでの間、公的管理事業体(いわゆる「ブリッジ金融機関」)に銀行を譲渡することができる。この指令は、また、損失を銀行の株主及び債権者に対し負担させることを確実にするために、株式資本の削減並びに未払債務(資本基盤に加算される債務及びその他の債務の両方を含む。)の削減及び/又は銀行の資本への転換を行う広範な権限を含んでいる。このメカニズムを、一般的に「バイルイン」という。破綻している銀行のかかる債務のほとんどが、バイルインの対象となる(付保預金及び担保付負債等の一定の例外を除く。)。BRRDの実施の一つの側面として、2018年1月1日から、自己資本及び適格債務の最低基準(MREL)(以下で定義する。)が導入された(下記「自己資本及び適格債務の最低基準(MREL)」を参照のこと。)

バイルイン・ツールは、破綻しているか又は破綻寸前である機関の資本再構築のために用いられ、当局が、破綻処理プロセスを通じて当該機関を再建し、その組織改編及び再編後の持続性を回復させることを可能にする。その結果、バイルイン・ツールは、債務(日本で発行された未償還の社債を含む。)の保有者に損失を負担させるために利用することができる。これにより債務(日本で発行された未償還の社債を含む。)の保有者は、

その投資額の一部又は全部を失う結果になる可能性がある。さらに、当局はバイルイン・ツールを用いて、とりわけ、債務証券にかかる債務者としての発行体を置換え又は代替し、債務証券の条件を変更(満期の変更及び/若しくは支払われるべき利息の金額の変更並びに/又は支払の一時停止の強制を含む。)する可能性がある。したがって、かかる権限の行使又は行使の提案若しくは予測は、発行済みの社債(日本で発行された未償還の社債を含む。)の価値に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

2019年度初め、欧州連合の共同立法機関(閣僚理事会及び欧州議会)は、現行規則の一定の明確化、改正及び追加(以下、合わせて「BRRDの改正」という。)に関して合意した。新たに合意された当該規則は、自己資本規制及び破綻処理規制から構成される。その目的は、金融の安定性を高め、欧州連合内の銀行の融資能力を向上させ、銀行が欧州連合内の資本市場の深化及び流動化に貢献することをより容易にすることである。さらに、この改正は、TLACに関する国際的に合意された原則がEUの規則に確実に反映されることを目指している。金融機関及び投資会社の損失吸収能力及び資本再構築能力に関するBRRDの改正は、指令2014/59/EUを改正する2019年5月20日付の欧州議会及び理事会の指令(EU)2019/879の方式により、2019年6月7日に欧州連合官報において公表された。BRRDの改正版は、2019年6月27日に効力が発生した。BRRDの改正を施行するスウェーデンの法令変更は、2021年7月1日に効力が発生した。

BRRDに基づき、スウェーデンの破綻処理法は、当局による将来的な破綻処理措置に資金を供給することを目的とした破綻処理基金の積立てに各機関が貢献するよう規定している。各機関の破綻処理基金への出資金は、破綻処理のための資金調達における事前積立てに関連する欧州委員会委任規則(EU)2015/63に規定された手法を用いて計算される。これは実際には、ある機関の出資金が、とりわけそのリスク・エクスポージャー、資金源の多様性、及び金融システム又は経済の安定性における当該機関の重要性を考慮した当該機関のリスク・プロファイルに基づいて決定されることを意味する。かかる委任規則は、出資金の計算方法を決定するが、その金額については定めていない。BRRDの最低要件に基づき、出資額は各EU加盟国により決定される。

スウェーデンの破綻処理基金への出資金は、2018年においては0.125%の年間手数料から成り、2019年1月1日付で0.09%に減額され、2020年1月1日付でさらに減額されて0.05%となった。スウェーデンの破綻処理基金の準備金が、対象となるすべての預金(すなわち、スウェーデンの預金保護スキームの対象となる預金)に対し3%を超える場合、各機関は年間手数料という形での出資金は支払わない。

### 自己資本及び適格債務の最低基準(MREL)

BRRDの実施に伴い、欧州の銀行は自己資本及び適格債務の最低基準(以下「MREL」という。)を満たすため、バイルインの実施が可能となるリソースを保有することが求められている。MRELは、スウェーデン国債局(Sw. Riksgälden)(Swedish National Debt Office、以下「SND O」という。)により、スウェーデンの法律並びに関連するEUの規則及び規制において定められた枠組において決定される。MRELは、損失吸収額及び資本再構築額の合計により構成され、どちらもリスクベース及びノン・リスクベースのエクスポージャー指数として計算される。当該基準の一部は、通常の上位債務に劣後する債務及び自己資本によって満たされなければならない。

2021年10月13日、SND Oは、銀行のためのMRELの新たな枠組を発表した。MRELの計算のためのモデルにより、各銀行が保有すべき自己資本及び適格債務の量、債務の割合、並びに基準を満たすために使用される債務の種類が決定された。

当該枠組によれば、システム上重要な銀行に対するリスクベースの所要基準の合計は、1)CRRに基づく第一の柱及び第二の柱の最低基準の合計に相当する損失吸収額、並びに2)CRRに基づく第一の柱及び第二の柱の最低基準の合計に相当する資本再構築額並びに市場の信頼区間のバッファの合計として算出される。対応するリスクベースの劣後要件は、所要基準の合計と同様に算出されるが、市場の信頼区間のバッファは含まない。

ノン・リスクベースの所要基準の合計は、1)CRRに基づく第一の柱及び第二の柱のレバレッジ比率の最低基準の合計に相当する損失吸収額、並びに2)同額に相当する資本再構築額の合計として算出される。ノン・リスクベースの劣後要件は、所要基準の合計に等しい。

劣後要件は経過措置の対象となり、銀行は2022年度までに中間目標レベルを、2024年度までにすべての基準を満たすため、劣後債務の金額を徐々に増加させなければならない。

最低基準は、SND0及び関連規制当局により策定され、2022年12月19日に発表された当行グループの破綻処理計画に定められており、SND0のウェブサイト上で確認することができる。

当行グループの2022年度のMRELの基準は、連結勘定のリスク加重エクスポージャー額の合計の19.9%、レバレッジ比率5.0%に相当する。かかる基準は、損失吸収額及び資本再構築額により構成される。MRELの基準のうち、上位債務に劣後する債務及び自己資本によって満たされる必要のある部分は、リスク加重エクスポージャー額の合計の13.5%、レバレッジ比率の5.0%に相当する。

## 大口エクスポージャー

信用機関及び投資会社の健全性要件に関する2013年6月26日付欧州議会・欧州理事会規制CRR並びに修正規制(EU)648/2012に基づき、顧客又は関連するグループ顧客に対する金融機関のエクスポージャーが当該金融機関のTier 1資本の10%を超えるとき、かかるエクスポージャーは「大口」とみなされる。かかるエクスポージャーは、所轄官庁に報告しなければならない。金融機関はまた、自身の大口エクスポージャーが「Tier 1資本の10%を超えるエクスポージャー」という定義による大口エクスポージャーには当てはまらない場合でも、大口エクスポージャーの上位20件を報告するよう求められる場合がある。金融機関はまた、他の金融機関に対する大口エクスポージャー上位10件及び規制の枠組の外で銀行業務を行うシャドーバンキングに対する大口エクスポージャー上位10件を報告しなければならない。

これらの規制の下では、1人の顧客又は関連顧客グループに対するエクスポージャーが金融機関のTier 1資本の25%を超えることは認められない。一定の場合には、これを下回る上限が適用される。金融機関が規則を遵守しない場合、所轄官庁は、当該金融機関に是正を命じることができる。かかる命令は、罰金を伴うことがある。

## スウェーデン国内預金保証

EU指令を受け、スウェーデンは、預金保証法(lag (1995:1571) om insättningsgaranti)の可決により1996年に預金保護スキームを確立した。スキームの対象となる各金融機関は、かかるスキームに基づいて行われる可能性のある支払いの原資となる基金を維持するために、関連する保証機関(SND0)に年間手数料を支払わなければならない。その後、欧州及びスウェーデンのそれぞれのレベルにおいて預金保護スキームについて一定の改正があり、スウェーデン国内預金保証に基づく保証の上限額は、現在、1,050,000スウェーデン・クローネである。しかしながら、保証の額は、預金保証法に記載のとおり、住宅用不動産の売却又はその他の「ライフ・イベント」に関連した預金については一時的に引き上げられ、5百万スウェーデン・クローネとなっている。かかる保証は、その他の銀行、証券会社、保険会社、年金ファンド及び公的機関を除くすべての分野の預金顧客に適用される。保証には一定の制限があり、保険契約、有価証券による貯蓄又は個人年金貯蓄制度等は対象ではない。

## スウェーデンの金融制度安定化計画

2008年、スウェーデンは、スウェーデンの金融制度の安定性を高め、世界金融危機がスウェーデン経済に及ぼす悪影響に対処するため、スウェーデン政府金融機関支援法(lag (2008:814) om statligt stöd till kreditinstitut)の可決により安定化基金を設立した。金融機関は、安定化基金に年間手数料を支払ってきた。

BRRDのスウェーデンにおける施行に関連して、スウェーデン政府金融機関支援法は廃止され、スウェーデン破産処理法((lag (2015:1016) om resolution)(危機管理条項を含む。))及びスウェーデン予防的状態支援法(lag (2015:1017) om förebyggande statligt stöd till kreditinstitut)(安定した金融機関への支援に関する条項を含む。))に置き換えられた。この破産処理法に基づき、危機的状況にある銀行への対処の財源は、第一に、ペイルイン等を通じて株主及び債権者が負担する資本再構成のための損失及び費用によってまかなわれる。しかしながら、特別な状況下においては国家的な支援が認められる。破産処理準備金がこの目的のために設定され、2016年から安定化手数料は、破産処理準備金手数料に置き換えられた。したがって金融機関からの手数料は、今後、安定化基金の代わりに破産処理準備金に寄与することとなる。現行の安定化基金の一部は、破産処理準備金に移された。残りの安定化基金は、予防的状態支援法に基づく予防的状態への支援に使用されることとなる。

### マネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与

スウェーデンを本拠地とするすべての銀行及び金融市場機関は、マネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与を防ぐことを目的としたスウェーデンの国内法に服している。新たなスウェーデン・マネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与対策法(lag (2017:630) om åtgärder mot penningtvätt och finansiering av terrorism)は2017年8月2日に効力が発生し、同じ名称の旧法(lag (2009:62) om åtgärder mot penningtvätt och finansiering av terrorism)に取って代わった。旧法同様、当該法律は銀行及び金融機関がマネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与に関与することを禁止し、当該法律に違反していると疑われる取引をスウェーデン国家警察局に通報することをこれらの機関に求めている。

### (2) 【提出会社の定款等に規定する制度】

以下は、2021年3月24日の年次株主総会において採択された当行の定款の抜粋である。

### 資本金及び株式数

当行の資本金は、2,325,000,000スウェーデン・クローネ以上、9,300,000,000スウェーデン・クローネ以下とする。

株式数は、1,500,000,000株以上、6,000,000,000株以下とする。

A種株式及びB種株式の2種類の株式を発行することができる。A種株式の発行可能株式総数は6,000,000,000株であり、B種株式の発行可能株式総数は150,000,000株である。

A種株式は1株につき1議決権が付され、B種株式は1株につき10分の1の議決権が付される。

### 増資に際する株主の権利

当行が、現金による払込み又は債務の相殺により、新たにA種株式及びB種株式を発行することを決定した場合、A種株式及びB種株式の保有者は、従前の保有株式数の割合に応じて同種の新株を引き受ける優先権(第一優先権)を有する。第一優先権により引き受けられなかった株式は、すべての株主に対し引受けの募集が行われる(第二優先権)。かかる募集株式数が第二優先権による引受けに不足した場合、株式は引受人の保有株式数の割合に応じて分配されるか、また、これが不可能な場合は抽選により分配される。

当行が、現金による払込み又は債務の相殺により、A種株式又はB種株式のいずれか一方のみを発行することを決定した場合、すべての株主はその保有株式がA種株式であるかB種株式であるかにかかわらず、従前の保有株式数の割合に応じて新株を引き受ける優先権を有する。

当行が、現金による払込み又は債務の相殺により、ワラント又は転換可能証券を発行することを決定した場合、株主は、ワラントの行使によりその新たな引受けの対象となる株式にかかる発行が適用される場合と同様

にワラントを引き受ける優先権を有し、又は転換可能証券の転換により発行される株式にかかる発行が適用される場合と同様に転換可能証券を引き受ける優先権を有する。

上記は、当行が株主の優先権を排除して現金による払込み又は債務の相殺による株式発行を決定する機会を制限することを示唆するものではない。

## 取締役

法律に基づき株主総会以外の者により任命される取締役に加え、取締役会は8名以上15名以下の取締役に構成されるものとする。

## 監査人

法律に基づき株主総会以外の者により任命される監査人に加え、当行は1名若しくは2名の監査人及びこれに応じた数の代理監査人、又は1社若しくは2社の登録監査法人を置くものとする。

## 株主の株主総会出席に関する権利

会社法に従った議決権登録が株主総会の4銀行取引日前に行われることを考慮し、株主総会に参加を希望する株主は、総会の6銀行取引日前の状況を示した株主名簿全体の写しに記載されていなくてはならず、また、総会の招集通知に指定された日にちまでに当行本店に通知を行わなくてはならない。日曜日、その他の祝日、土曜日、夏至祭前日、クリスマスイブ又は大晦日を当該日として設定してはならず、また、総会から5営業日より前に設定してはならない。

株主は最大2名のアドバイザーを帯同することができるが、前段落に記載の要領でアドバイザーの人数を通知していた場合に限る。

## 株主総会の議長、議決権

株主総会は、取締役会会長又は当該目的のために取締役会が任命した者により開会される。

株主総会の議長は出席株主により選任される。

当行の発行済株式に付帯する議決権総数の10%を超す議決権を有する者は、発言も議決権の行使も行っていない。

## 年次総会

取締役会は、会社法に記載された手順に従い株主が総会に先立ち郵送により議決権を行使する権限を有することを、かかる総会に先立ち決定することができる。

## 年次株主総会

以下の項目が、年次株主総会の議題となる。

1. 総会の議長の選任
2. 議決権行使者リストの作成及び承認
3. 議題の承認
4. 2名の議事録署名者の選任
5. 総会招集の適法性の判断
6. 年次計算書類及び監査報告書並びに連結年次計算書類及び連結計算書類に対する監査報告書の提示

## 7. 決議事項

- a) 損益計算書及び貸借対照表並びに連結損益計算書及び連結貸借対照表の承認
  - b) 承認済み貸借対照表に基づく当行の利益又は損失の処分
  - c) 取締役及び最高経営責任者の責任免除
8. 取締役並びに、適用ある場合、監査人及び代理監査人の員数の決定
  9. 取締役及び、適用ある場合、監査人の報酬の決定
  10. 取締役並びに、適用ある場合、監査人及び代理監査人又は登録監査法人の選任

総会の管轄に服するその他の事項は、会社法又は定款に従うものとする。

## 2【外国為替管理制度】

1989年以降、スウェーデンにおいて有効な外国為替管理制度は存在しない。スウェーデン政府は、スウェーデン為替・クレジット規制法(lag (1992:1602) om valuta - och kreditreglering)により、スウェーデンが戦争中の場合又は戦争、戦争の脅威、深刻な事故若しくは特に大規模な短期資本移動による例外的な状況が存在する場合は、リクスバンクと協議の上で、外国為替管理を実施する権限を与えられている。また、スウェーデン政府は、外国為替管理が導入された場合、リクスバンクの要請により信用管理を実施する権限を与えられている。かかる管理の実施に関する一切の決議は、承認のために、決議から1ヶ月以内にスウェーデン議会に提出されなければならない。定められた期間内にかかる提出がなされない場合、当該決議はその効力を失う。

## 3【課税上の取扱い】

### (1)スウェーデンにおける課税上の取扱い

#### スウェーデンの租税

以下の概要は、スウェーデンの税法上スウェーデンの居住者とはみなされない当行によって日本で発行された社債(以下「本社債」という。)の所持人に関する一定のスウェーデンの課税上の影響について要約したものである。当該概要は、本有価証券報告書の日付現在有効なスウェーデンの法律に基づいており、一般的な情報提供のみを目的としている。当該概要は、本社債が貯蓄投資勘定(investeringsparkonto)において保有される場合、本社債の削減若しくは転換の課税上の影響、かかる削減若しくは転換を行う関連規制当局の能力の存在、又は利息の支払人等の報告義務に関する規則についてはとりわけ対応していない。さらに、当該概要は、外国税の控除にも対応していない。投資家は、各々の個別の状況に応じて、スウェーデンの租税並びに本社債の取得、保有及び処分に係るその他の課税上の影響(二重課税回避のための租税条約の適用可否及び影響を含む。)について、専門の税務アドバイザーに相談すべきである。

#### スウェーデンの税法上居住者でない本社債の所持人

本社債の所持人に対する元本又はスウェーデンの税法上利息とみなされる金額の支払いについては、スウェーデンの所得税は課税されない。但し、かかる所持人が( )スウェーデンの税法上居住者でなく、かつ、( )本社債が有効に関連性を有する恒久的施設をスウェーデン国内に有しない場合に限る。

スウェーデンの税法上居住者でない本社債の所持人に対する元本又はスウェーデンの税法上利息とみなされる金額の支払いについては、スウェーデンの源泉徴収税又はスウェーデンの課税控除は適用されない。

#### スウェーデンの税法上居住者であった本社債の所持人

本社債が株式として課税される有価証券とみなされる場合、処分若しくは償還が行われた暦年中又は処分若しくは償還が行われた年に先立つ10暦年間のいずれかの時点においてスウェーデンにおける常用の住居又はスウェーデンにおける継続した滞在により、税法上スウェーデンの居住者であった個人については、当該本社債の処分又は償還に際し、スウェーデンのキャピタルゲイン税が課される。しかしながら多くの場合、当該規則の適用は、適用ある二重課税回避のための租税条約により制限されている。

## (2)日本における課税上の取扱い

- ( )日本の居住者が支払いを受ける本社債の利息は、日本の租税に関する現行法令(以下「日本の税法」という。)上20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の源泉所得税を課される。さらに、日本の居住者は、申告不要制度又は申告分離課税を選択することができ、申告分離課税を選択した場合、20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の税率が適用される。日本の内国法人が支払いを受ける本社債の利息は、日本の税法上15.315%(所得税及び復興特別所得税の合計)の源泉所得税を課される。当該利息は当該法人の課税所得に含められ、日本の所得に関する租税の課税対象となる。但し、当該法人は当該源泉所得税額を、一定の制限の下で、日本の所得に関する租税から控除することができる。
- ( )本社債の譲渡又は償還による損益のうち、日本の居住者に帰属する譲渡益又は償還差益は、20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の税率による申告分離課税の対象となる。但し、特定口座のうち当該口座内で生じる所得に対する源泉徴収を日本の居住者が選択したもの(源泉徴収選択口座)における本社債の譲渡又は償還による所得は、確定申告を不要とすることができ、その場合の源泉徴収税率は、申告分離課税における税率と同じである。日本の内国法人に帰属する譲渡損益又は償還差損益は当該法人のその事業年度の日本の租税の課税対象となる所得の金額を構成する。
- ( )日本の居住者は、本社債の利息、譲渡損益及び償還差損益について、一定の条件で、他の債券や上場株式等の譲渡所得、利子所得及び配当所得と損益通算及び繰越控除を行うことができる。
- (iv)本社債に係る利息及び償還差益並びに本社債の譲渡により生ずる所得で、日本に恒久的施設を持たない日本の非居住者及び外国法人に帰属するものは、日本の所得に関する租税は課されない。

## 4【法律意見】

当行の法律顧問であるクリスティーナ・ノルデンヘーク氏より、大要、以下の趣旨の法律意見書が出されている。

- (イ)当行は、スウェーデン法に基づく公開有限責任会社である銀行として適法に設立され、かつ有効に存続しており、本書に記載された事業を営み、その財産を所有及び運用するすべての権限及び権能を与えられている。
- (ロ)本書中のスウェーデンの法令に関するすべての記述は、すべての重要な点において真実かつ正確である。

## 第2【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

連結 - 当行グループの5年間の概要

連結損益計算書<sup>1</sup>

(単位：百万スウェーデン・クローネ)	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
純利息収益	36,610	30,321	29,963	32,135	31,286
純手数料及びコミッション収益	11,103	11,458	9,670	10,697	10,247
金融取引による純損益	1,111	1,699	1,217	1,299	908
保険リスク	176	179	194	145	106
その他配当金収益	17	2	53	113	218
関連会社及びジョイント・ベンチャーの持分利益	-13	63	18	32	0
その他収益	1,246	555	137	143	1,005
<b>収益合計</b>	<b>50,249</b>	<b>44,277</b>	<b>41,252</b>	<b>44,564</b>	<b>43,770</b>
人件費	-13,103	-12,452	-13,907	-13,549	-13,465
その他費用	-6,543	-5,577	-5,245	-6,524	-6,712
不動産及び器具備品並びに無形資産の 減価償却費、償却費及び減損費用	-1,650	-1,814	-1,775	-1,670	-713
<b>費用合計</b>	<b>-21,296</b>	<b>-19,843</b>	<b>-20,927</b>	<b>-21,743</b>	<b>-20,890</b>
<b>信用損失、リスク税及び破綻処理手数料 控除前利益</b>	<b>28,953</b>	<b>24,434</b>	<b>20,325</b>	<b>22,821</b>	<b>22,880</b>
正味信用損失	-47	-43	-649	-1,045	-881
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	24	14	5	20	14
リスク税及び破綻処理手数料 <sup>2</sup>	-2,311	-930	-884		
<b>営業利益</b>	<b>26,619</b>	<b>23,475</b>	<b>18,797</b>	<b>21,796</b>	<b>22,013</b>
法人税等	-5,429	-4,627	-4,240	-4,871	-4,656
<b>継続事業からの当期利益</b>	<b>21,189</b>	<b>18,848</b>	<b>14,557</b>	<b>16,925</b>	<b>17,357</b>
非継続事業からの当期利益(税引後)	280	695	1,031		
<b>当期利益</b>	<b>21,470</b>	<b>19,543</b>	<b>15,588</b>	<b>16,925</b>	<b>17,357</b>
帰属先：					
当行の株主	21,468	19,527	15,585	16,922	17,354
うち、継続事業	21,187	18,834	14,556		
うち、非継続事業	281	693	1,029		
非支配株主持分	1	16	3	3	3

事業合計からの一株当たり利益 (単位：スウェーデン・クローネ)	10.84	9.86	7.87	8.65	8.93
- 希薄化後	10.84	9.86	7.87	8.58	8.84
継続事業からの一株当たり利益 (単位：スウェーデン・クローネ)	10.7	9.51	7.35		
- 希薄化後	10.7	9.51	7.35		
非継続事業からの一株当たり利益 (単位：スウェーデン・クローネ)	0.14	0.35	0.52		
- 希薄化後	0.14	0.35	0.52		

- <sup>1</sup> 当行がフィンランド及びデンマークでの事業停止を決定した結果、2021年12月31日現在及び2022年12月31日現在において、これらは非継続事業として計上されている。比較可能性の観点から、2020年12月31日に終了した年度の損益計算書は修正再表示されている。2018年度から2019年度までの損益計算書は、非継続事業に関して再計算されていない。
- <sup>2</sup> リスク税及び破綻処理手数料は、2022年第1四半期をもって、純利息収益内ではなく、営業利益内の独立項目として計上されるようになった。そのため、表に示された2020年度から2021年度の収益の比較数値は再計算されている。しかしながら、2018年度から2019年度の比較数値は再計算されていない。

**連結包括利益計算書**

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
当期利益	21,470	19,543	15,588	16,925	17,357

**その他包括利益****損益計算書に組み替えられない項目**

確定給付年金制度	3,049	6,820	1,523	4,262	-4,405
その他包括利益を通じて公正価値で測定される資 本性金融商品	41	62	-583	372	-188
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-642	-1,401	-256	-931	978
うち、確定給付年金制度	-622	-1,398	-267	-910	977
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定 される資本性金融商品	-19	-3	11	-21	1
<b>損益計算書に組み替えられない項目合計</b>	<b>2,448</b>	<b>5,481</b>	<b>684</b>	<b>3,703</b>	<b>-3,615</b>

**その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目**

キャッシュフロー・ヘッジ	-2,640	-1,970	-1,124	3,741	768
その他包括利益を通じて公正価値で測定される負 債性金融商品	-60	6	7	7	-12
当期為替換算差額	2,312	3,201	-4,269	1,072	-188
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	-297	-910	848	-1,509	-850
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある 項目に係る税金	-15	595	93	-480	38
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	544	406	274	-801	-159
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定 される負債性金融商品	6	-1	-1	-2	3
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	61	190	-180	323	194
うち、為替換算差額に係る税金	-626				

**その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計**

	-402	1,832	-5,293	4,340	606
--	------	-------	--------	-------	-----

**その他包括利益合計**

	2,046	7,313	-4,609	8,043	-3,009
--	-------	-------	--------	-------	--------

**当期包括利益合計**

	23,516	26,856	10,979	24,968	14,348
--	--------	--------	--------	--------	--------

## 帰属先：

当行の株主	23,515	26,840	10,976	24,965	14,345
非支配株主持分	1	16	3	3	3

## 連結貸借対照表

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年度 <sup>1</sup>	2021年度 <sup>1</sup>	2020年度	2019年度	2018年度
<b>資産</b>					
現金及び中央銀行 <sup>2</sup>	480,472	292,839	418,968	347,505	350,774
一般顧客への貸出金	2,315,818	2,163,135	2,269,612	2,292,603	2,189,092
その他金融機関への貸出金	9,411	21,745	21,920	17,939	22,137
利付証券	165,475	133,855	143,699	146,027	172,989
売却目的で保有する資産	191,916	421,417	1,657	1	19
その他資産	290,624	313,773	279,432	265,592	243,163
<b>資産合計</b>	<b>3,453,716</b>	<b>3,346,764</b>	<b>3,135,288</b>	<b>3,069,667</b>	<b>2,978,174</b>
<b>負債及び資本</b>					
一般顧客からの預金及び借入金	1,325,061	1,286,637	1,229,763	1,117,825	1,008,487
金融機関からの預り金	81,693	83,034	124,723	147,989	194,082
発行済証券	1,474,801	1,353,768	1,310,737	1,384,961	1,394,647
劣後負債	42,404	32,257	41,082	35,546	51,085
売却目的で保有する負債	68,938	133,922			
その他負債	264,788	275,415	257,510	223,514	187,612
資本	196,030	181,731	171,473	159,832	142,261
<b>負債及び資本合計</b>	<b>3,453,716</b>	<b>3,346,764</b>	<b>3,135,288</b>	<b>3,069,667</b>	<b>2,978,174</b>

<sup>1</sup> 2021年12月31日現在、デンマーク及びフィンランドにおける事業は、貸借対照表上では、売却目的で保有する資産及び売却目的で保有する負債に再分類されている。その結果、2021年12月31日現在から2022年12月31日現在の一定の項目について、2018年12月31日現在から2020年12月31日現在までのそれらの項目と直接比較することはできない。

<sup>2</sup> この項目は、「現金及び中央銀行預け金」並びに「中央銀行へのその他の貸出金」の合計を示している。

当行グループの主要指標	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
継続事業からの信用損失、リスク税及び破綻処理手数料控除前利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	28,953	24,434	20,326	22,821	22,880
継続事業からの正味信用損失 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	-47	-43	-649	-1,045	-881
継続事業からの営業利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	26,619	23,475	18,797	21,796	22,013
事業合計からの当期利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	21,470	19,543	15,588	16,925	17,357
継続事業からの当期利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	21,189	18,848	14,557		
非継続事業からの当期利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	280	695	1,031		

資産合計(単位：百万スウェーデン・クローネ)	3,453,716	3,346,764	3,135,288	3,069,667	2,978,174
資本(単位：百万スウェーデン・クローネ)	196,030	181,731	171,473	159,832	142,261
事業合計からの株主資本利益率(単位：%)	12.5	11.8	10.0	11.9	12.8
継続事業からの株主資本利益率(単位：%)	12.3	11.4	9.3	11.9	12.8
使用資本利益率(単位：%)	0.60	0.58	0.47	0.55	0.58
継続事業からの収益に対する費用の比率 (以下「C/I比率」という。)(単位：%)	42.4	44.8	50.7	48.8	47.7
事業合計からの信用損失率(単位：%)	0.00	0.00	0.03	0.04	0.04
継続事業からの信用損失率(単位：%)	0.00	0.00	0.02	0.04	0.04
事業合計からの一株当たり利益 (単位：スウェーデン・クローネ)	10.84	9.86	7.87	8.65	8.93
- 希薄化後	10.84	9.86	7.87	8.58	8.84
継続事業からの一株当たり利益 (単位：スウェーデン・クローネ)	10.7	9.51	7.35		
- 希薄化後	10.7	9.51	7.35		
非継続事業からの一株当たり利益 (単位：スウェーデン・クローネ)	0.14	0.35	0.52		
- 希薄化後	0.14	0.35	0.52		
一株当たり普通配当金 (単位：スウェーデン・クローネ)	5.50	5.00	4.10	-	5.50
一株当たり配当金合計 (単位：スウェーデン・クローネ)	8.00	5.00	8.42	-	5.50
一株当たり調整後資本 (単位：スウェーデン・クローネ)	99.16	90.87	84.90	78.60	72.90
12月31日現在の株式数(単位：百万株)	1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,944.2
うち、発行済株式数	1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,944.2
発行済株式の平均株式数(単位：百万株)	1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,956.8	1,944.2
- 希薄化後	1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,976.9	1,974.5
CRRによる普通株式等Tier 1比率(単位：%)	19.6	19.4	20.3	18.5	16.8
CRRによるTier 1比率(単位：%)	21.5	21.1	21.9	20.7	18.6
CRRによる自己資本比率合計(単位：%)	23.8	23.3	24.3	23.2	21.0
事業合計からの平均従業員数	12,030	12,240	12,563	12,548	12,307
うち、継続事業	10,954	11,039	11,354		

## 非連結 - 当行の5年間の概要

## 非連結損益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
純利息収益	18,230	13,502	13,456	13,039	17,234
受取配当金	16,953	17,611	15,937	17,338	11,023
純手数料及びコミッション収益	5,167	5,230	5,692	6,011	6,218
金融取引による純損益	820	1,808	1,869	618	1,020
その他営業収益	4,841	3,576	2,790	2,638	2,805
<b>営業収益合計</b>	<b>46,011</b>	<b>41,727</b>	<b>39,744</b>	<b>39,644</b>	<b>38,300</b>
一般管理費用					
人件費	-11,990	-10,242	-11,689	-10,148	-12,255
その他管理費用	-7,415	-6,002	-5,684	-5,808	-6,332
不動産及び器具備品、リース並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-2,459	-2,803	-2,672	-2,156	-1,350
<b>信用損失控除前費用合計</b>	<b>-21,864</b>	<b>-19,047</b>	<b>-20,045</b>	<b>-18,112</b>	<b>-19,937</b>
信用損失、リスク税及び破綻処理手数料					
<b>控除前利益</b>	<b>24,148</b>	<b>22,680</b>	<b>19,699</b>	<b>21,532</b>	<b>18,363</b>
正味信用損失	-41	-55	-477	-1,059	-835
金融固定資産の減損損失	-2,305	-1,180	-79	-148	-
リスク税及び破綻処理手数料 <sup>1</sup>	-1,331	-366	-385		
<b>営業利益</b>	<b>20,471</b>	<b>21,079</b>	<b>18,758</b>	<b>20,325</b>	<b>17,528</b>
繰入	-160	227	743	-380	332
<b>税引前利益</b>	<b>20,311</b>	<b>21,306</b>	<b>19,501</b>	<b>19,945</b>	<b>17,860</b>
法人税等	-4,856	-4,618	-4,275	-4,297	-4,005
<b>当期利益</b>	<b>15,455</b>	<b>16,688</b>	<b>15,226</b>	<b>15,648</b>	<b>13,855</b>
当期配当金	15,840	9,900	16,666	-	10,693

<sup>1</sup> 破綻処理手数料は、2022年第1四半期をもって、純利息収益内ではなく、営業利益内の独立項目として計上されるようになった。また、リスク税も同項目の一部として計上されている。そのため、表に示された2020年度及び2021年度の収益の比較数値は再計算されている。しかしながら、2018年度及び2019年度の比較数値は再計算されていない。

## 包括利益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
当期利益	15,455	16,688	15,226	15,648	13,855

## その他包括利益

**損益計算書に組み替えられない項目**

その他包括利益を通じて公正価値で測定される資

本性金融商品	41	62	-583	372	-188
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-19	-3	11	-21	1
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品	-19	-3	11	-21	1
<b>損益計算書に組み替えられない項目合計</b>	<b>22</b>	<b>59</b>	<b>-572</b>	<b>351</b>	<b>-187</b>

**その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目**

キャッシュフロー・ヘッジ	3,411	246	-1,677	1,751	829
その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	-61	6	7	7	-12
売却可能金融商品 (IAS第39号)					
当期為替換算差額	1,326	1,034	-2,184	-259	41
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	-83	-63	-256	-826	-848
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目に係る税金	-1,251	-39	420	-200	19
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	-703	-51	365	-375	-178
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	6	-1	-1	-2	3
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	17	13	56	177	194
うち、為替換算差額	-572				

**その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計**

<b>3,425</b>	<b>1,247</b>	<b>-3,434</b>	<b>1,299</b>	<b>877</b>
--------------	--------------	---------------	--------------	------------

**その他包括利益合計**

<b>3,447</b>	<b>1,306</b>	<b>-4,006</b>	<b>1,650</b>	<b>690</b>
--------------	--------------	---------------	--------------	------------

**当期包括利益合計**

<b>18,902</b>	<b>17,994</b>	<b>11,220</b>	<b>17,298</b>	<b>14,545</b>
---------------	---------------	---------------	---------------	---------------

**非連結貸借対照表**

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
<b>資産</b>					
一般顧客への貸出金	637,721	611,852	566,145	620,175	611,699
金融機関への貸出金	1,025,664	986,897	953,650	890,557	841,085
利付証券	166,117	134,861	145,648	156,466	169,911
その他資産	533,387	496,524	459,420	412,307	431,004
<b>資産合計</b>	<b>2,362,889</b>	<b>2,230,134</b>	<b>2,124,863</b>	<b>2,079,505</b>	<b>2,053,699</b>
<b>負債及び資本</b>					
一般顧客からの預金及び借入金	1,137,272	1,173,172	1,021,130	918,146	839,835
金融機関からの預り金	169,617	153,490	193,054	208,697	261,735

発行済証券	806,013	679,808	657,520	724,640	716,531
劣後負債	42,404	32,257	41,082	35,546	51,085
その他負債	52,829	46,481	68,305	59,863	62,565
非課税剰余金	867	706	933	1,678	886
資本	153,887	144,220	142,839	130,935	121,062
<b>負債及び資本合計</b>	<b>2,362,889</b>	<b>2,230,134</b>	<b>2,124,863</b>	<b>2,079,505</b>	<b>2,053,699</b>

当行の主要指標	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
CRRによる普通株式等Tier 1比率(単位：%)	29.4	30.2	31.7	20.2	18.7
CRRによるTier 1比率(単位：%)	32.9	33.4	34.6	23.0	21.0
CRRによる自己資本比率合計(単位：%)	37.2	37.4	38.8	26.2	24.1
使用資本利益率(単位：%)	0.63	0.72	0.65	0.74	0.63

## 2【沿革】

当行は、ストックホルムズ・ハンデルズバンクとして、1871年にストックホルムにおいて当初設立された。ストックホルムズ・ハンデルズバンクは1873年に株式をストックホルム証券取引所に上場させ、1919年にスヴェンスカ・ハンデルスバンケンに名称を変更した。

当行は当初、地元のストックホルム市場に重点を置き、かかる市場において確固たる地位を築いた。20世紀の初めの10年間に於いて、当行は、最初にスウェーデンの北部、次いで南部における複数の地方銀行を買収することによって成長した。

第二次世界大戦後の期間において、当行は統合が進んだスウェーデンの銀行市場において拡大を続けた。1955年に当行は、モーゲージ会社であるSIGAB(後にハンデルスバンケン・フィポテックに名称を変更。)を買収した。1963年に当行は、スウェーデンの最初の金融会社であるスヴェンスカ・フィナンス(後のハンデルスバンケン・フィナンス)と合併した。1971年に当行は、一定のミューチュアル・ファンドを販売する総代理店を買収し、同社は当行のファンド管理会社であるハンデルスバンケン・フォンデルとなった。長期にわたった地方銀行の買収は、1990年のスカンスカ・バンケンの買収により完了した。モーゲージ会社であるスタッドフィポテックは、1997年に買収された。

1969年に当行は分権化し、当行の支店は当行グループの地域銀行の傘下に再編成された。各地域銀行は高度な自治権を与えられ、営業を行っている。当行グループは、規模よりも利益率、またその他のスウェーデンの上場銀行の平均を上回る株主資本利益率を達成することに焦点を移した。この期間中、当行の主要株主の一つとなった従業員利益分配基金のオクトゴネン・ファウンデーションが設立された。

1990年代に当行は、小規模の買収及び内部成長の組合せを通じて、その他の北欧諸国における活動を増やし始めた。今日、当行は、北欧諸国、英国及びオランダを当行の本拠地市場であると考えている。英国については、とりわけ21世紀の最初の10年間に於ける成長を目標としていた。

1992年に当行は、生命保険相互会社であるRKA(後のハンデルスバンケン・リヴ)を買収することにより、保険業界に進出した。2001年に当行は、生命保険会社であるSPPを買収し、これにより当行はスウェーデンにおける生命保険会社最大手の1社となった。SPPは、2007年12月21日にストアブランド・エイ・エス・エイに売却された。

2019年の戦略的な見直し後、地域銀行制度に代わり、スウェーデンにおける支店業務の責任者に直属する県単位の組織を設置し、スウェーデンにおける支店業務を再編成することを決定した。2020年度には、英国における支店業務についても同様の決定がなされた。しかし、1960年代後半に確立された分権的な構造及び戦略的目標は今も継続している。2021年度中、当行は、デンマーク及びフィンランドにおける事業を停止し、収益性の高い成長及び強力な市場地位のための最適な条件が揃うスウェーデン、ノルウェー及び英国にプレゼンスを集中させることを決定した。デンマークにおける事業は2022年11月に売却されたが、フィンランドにおける事業売却の手續は進行中である。下記「第6-3-(2) 後発事象」を参照のこと。

## 3【事業の内容】

当行グループは、スウェーデンの主力銀行グループであり、主に当行グループの本拠地市場で、個人顧客及び法人顧客に対し、幅広い従来の銀行サービスに加え様々な投資サービス及びその他の金融サービスを提供している。かかるサービスには、住宅ローン、法人を対象とした相対貸出及び資本市場を通じた資金調達などのファイナンス、資産管理、年金及び保険などの貯蓄分野におけるサービス、プライベート・バンキング並びに様々な支払ソリューションだけでなく様々な補償ソリューションが含まれる。当行グループは、スウェーデン、ノルウェー、英国及びオランダを本拠地市場であると考え、当該地域において行われる業務は国内業務であると考えている。デンマークにおける事業は2022年度中に売却され、フィンランドにおける事業を売却するための手續は進行中である。当該手續が完了するまで、フィンランドにおける事業は、非継続事業として財務

報告される。当行は、各地域における高水準の意思決定権を備えた分権的な事業モデルを採用している。当該事業は、各本拠地市場における支店網及びその他の会議施設を通じて行われている。また当行グループは、ルクセンブルグ及びニューヨークでも事業を展開している。下記「第3 事業の状況」を参照のこと。2022年12月31日に終了した事業年度において、当行グループの継続事業における平均従業員数は10,954名であった。

当行グループは本書提出日現在、以下の5つの事業セグメントから成る。

・ハンデルスバンケン・スウェーデン

スウェーデンにおける支店業務により構成され、また県単位の組織により編成され、かかる県の統括はスウェーデンにおける支店業務の責任者に直属する。当該セグメントは、スウェーデンにおける貯蓄及び年金部門を含む。また当該セグメントには、当行が完全所有する住宅金融専門機関であるスタッディポテックのスウェーデンにおける業務に加えて、様々なパートナーを通じて消費者向けの融資商品を提供するエクスターが含まれる。しかしながら、エクスターは解散手続中である。

・ハンデルスバンケン英国

14の地域で構成される英国における支店業務及び子会社のハンデルスバンケン・ウェルス&アセットマネジメントから成るハンデルスバンケン・ピー・エル・シーにより構成される。各地域の統括はハンデルスバンケン英国の代表に直属する。

・ハンデルスバンケン・ノルウェー

地域銀行及びその支店業務に加え、ノルウェーにおけるスタッディポテックの業務により構成されており、またノルウェーにおける貯蓄及び年金部門を含む。

・ハンデルスバンケン・ネザーランド

オランダにおける地域銀行及びその支店業務に加え、オプティミクス・ベルモーゲンズベヒールにおける資産運用事業により構成されている。

・ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケッツ

次の2つの事業分野により構成される。市場部門及びハンデルスバンケン・グローバル・バンキング。市場部門は、リスク管理、有価証券、デリバティブ、リサーチ、デット・キャピタル・マーケッツ、コーポレート・ファイナンス及び取引銀行(現金管理、トレード・ファイナンス及びエクスポート・ファイナンス)に関連する商品及びサービスを提供している。ハンデルスバンケン・グローバル・バンキングは、ルクセンブルグ及びニューヨークにおいて展開される国際業務並びに金融インフラにより構成される。

上記の事業セグメントに加え、「その他の部門」には、グループIT部、本社スタッフ業務及びオクトゴーネン利益分配制度への引当金を含む、事業セグメントに計上されていない部門に帰属する収益及び費用の項目も含まれている。

当行グループの事業は分権的であり、各支店が個別に、中央組織の専門家の協力体制の下、必要に応じて顧客へのサービスを調整する責任を有している。このため、当行グループでは、中央の業務部門よりは支店が、各個別顧客向けに当行グループの商品及びサービスのマーケティングを行う責任を有している。但し、かかる分権体制は一元化されたリスク管理により支えられている。

当行は、スウェーデンの銀行法に基づき設立された公開有限責任会社であり、ストックホルム県において登記されている。当行の登録事務所の所在地は、スウェーデン王国 SE-106 70 スtockホルム クングストラッドゴードシュガータン2である。

#### 4【関係会社の状況】

2022年12月31日現在、当行は、16の直接所有子会社及び連結会計において持分法に基づく6つの直接所有関連会社を有している。

当行グループの主要な子会社は、以下のとおりである。

ハンデルスバンケン・フォンデル・エイ・ビー(以下「ハンデルスバンケン・フォンデル」という。)は、当行グループのミューチュアル・ファンドの運用及び管理並びに顧客のために資金の一任的な運用及び管理を行っている。ハンデルスバンケン・フォンデルは、スウェーデン、ノルウェー、フィンランド及びルクセンブルグにおいて、該当する場合には適用される届出手続に従い、自社のミューチュアル・ファンドを販売している。

当行の完全所有子会社であるハンデルスバンケン・リヴは、定期生命保険、終身生命保険及び顧客が保険に関するスウェーデンの一定の税制の恩恵を受けることができる貯蓄型保険を含む、幅広い生命保険商品を提供しており、スウェーデンの生命保険市場における主要な参加企業の1つである。ハンデルスバンケン・リヴの商品は、当行の支店を通じて市場に提供され、販売されている。ハンデルスバンケン・リヴはフィンランド及びノルウェーにおいても営業しているが、事業をスウェーデン市場に集中させるため、かかる国々における事業を廃止することを決定した。2021年度に、ハンデルスバンケン・リヴはノルウェーにおける保険ポートフォリオを譲渡する契約を締結し、2022年度中にノルウェーのポートフォリオの大部分の譲渡を完了した。ノルウェーにおける残りの事業は、2023年12月にディー・エヌ・ビー・リヴに譲渡することで合意に達した。2023年5月31日、当行はフィンランドにおけるハンデルスバンケン・リヴの生命保険事業をフェンニア生命保険会社に売却すると発表した。かかる取引は2024年下半期に完了する予定である。

スタッドフィポテック・エイ・ビー(以下「スタッドフィポテック」という。)は、一世帯用住宅、セカンドハウス、住宅共同組合のアパート、農業/林業用地、集合住宅、商業施設及びオフィスビルのための住宅ローンを提供している。スタッドフィポテックの活動は、スウェーデンに集中しているが、ノルウェー及びフィンランド各国においても支店がある。スタッドフィポテックの業務は、かかる国々における当行の支店業務に完全に統合されている。フィンランドにおける事業売却の手続は進行中である。

ハンデルスバンケン・ピー・エル・シーは、英国における事業活動を担う当行の英国における完全所有子会社である。英国支店の事業活動は、2018年12月1日付でかかる子会社に移管された。ハンデルスバンケン・ピー・エル・シーは、英国全域に支店のネットワークを有し、当行グループのその他の地域と同じ原則に従って、個人顧客及び法人顧客に対し銀行サービスを提供している。

当行には、親会社はない。

以下の表は、当行の重要な子会社を示している。持分法適用関連会社についての特定の情報については、下記「第6-1-(2) 個別財務書類 - 注記P16」を参照のこと。

会社名	住所	株式資本	
		(単位：百万スウェーデン・クローネ)	保有比率
<b>子会社</b>			
ハンデルスバンケン・ピー・エル・シー <sup>1, 2</sup>	ロンドン	59	100%
スタッドフィポテック・エイ・ビー <sup>1, 2</sup>	ストックホルム	4,050	100%
ハンデルスバンケン・フォンデル・エイ・ビー	ストックホルム	1.5	100%
ハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビー	ストックホルム	100	100%

<sup>1</sup> 金融機関

<sup>2</sup> 2022年12月31日現在の当行グループの連結財務書類に記載の収益合計に対するスタッドフィポテック・エイ・ビー及びハンデルスバンケン・ピー・エル・シーの非連結基準の営業収益合計の割合は、10%を超過する。

2022年12月31日現在及び同日に終了した事業年度におけるスタッドフィポテック・エイ・ビーの非連結基準の損益等に係る主な情報は、以下のとおりである。

- ( ) 営業収益合計： 16,118百万スウェーデン・クローネ
- ( ) 当期利益： 10,037百万スウェーデン・クローネ
- ( ) 資産合計： 1,584,623百万スウェーデン・クローネ
- ( ) 資本合計： 54,715百万スウェーデン・クローネ

2022年12月31日現在及び同日に終了した事業年度におけるハンデルスバンケン・ピー・エル・シーの非連結基準の損益等に係る主な情報は、以下のとおりである。

- ( ) 営業収益合計： 9,149百万スウェーデン・クローネ
- ( ) 当期利益： 4,287百万スウェーデン・クローネ
- ( ) 資産合計： 411,878百万スウェーデン・クローネ
- ( ) 資本合計： 34,437百万スウェーデン・クローネ

## 5【従業員の状況】

2022年12月31日に終了した事業年度において、継続事業においては平均10,954名の従業員を有していた。

2022年12月31日に終了した事業年度における当行グループの継続事業における各事業セグメント毎の従業員数は、以下のとおりである。

	平均従業員数
スウェーデンにおける支店業務	3,907
英国における支店業務	2,481
ノルウェーにおける支店業務	763
オランダにおける支店業務	357
ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット	585
その他の部門	2,861
<b>継続事業合計</b>	<b>10,954</b>

\* 上表の数値には、当行グループのデンマーク及びフィンランドにおける事業の従業員数は含まれていない。

### 第3【事業の状況】

#### 1【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】

##### (1)経営方針及び対処すべき課題等

当行グループの総合的な目的は、本拠地市場における同業銀行の平均を上回る水準の収益性を達成し、その結果として、景気循環にわたり一株当たり利益の増加を伴う、長期的な価値の高成長を株主にもたらすことである。かかる目的を実現するため、当行グループは、支店網を通じた顧客への高品質なサービスの提供、質の高い貸出金ポートフォリオの維持及びコスト効率の確保に力を注いでいる。当行は、有機的な成長を目指す戦略に基づいて活動している。

当行グループでは、近年、部分的に新しい戦略的方針が実施されている。当行グループの事業は、特定の主要顧客、不動産会社及びその他の個人経営の会社といった中核的な部門並びに多様な貯蓄商品及び個人顧客向けの住宅ローンに集中している。同時に、地理的なプレゼンスを本拠地市場であるルクセンブルク及びニューヨークに集約させている。スウェーデンの支店業務の再編が2021年度に開始され、完了した。これにより、当行グループは、特定の資源及び専門能力を集中させ、より高度な意思決定権限を付与し、その専門能力へのアクセスを容易にすることで、特定の支店におけるプレゼンスを強化した。同プロセスにおいて、支店数は大幅に削減された。同時に、潜在的な新規顧客の特定から成熟した取引関係まで、完全にデジタル化された顧客関係の構築に追加の資源が注がれている。顧客が当行と接する様々なチャネル間を円滑に移動できるようにする必要がある。当行グループは、このような合理化された集約によって、当行グループが主要な顧客をより良くサポートし、長期的かつ持続的な利益成長を促進できると考えている。

2021年度中、当行は、サステナビリティ活動をさらに推進させ、中核事業である金融、投資及びアドバイザー・サービスにおいて、具体的で測定可能である持続可能な目標を打ち出した。また、すべての商品分野において、当行グループは顧客関係及びサービス提供に持続可能性を組み入れている。

##### (2)経営環境

当行グループの資産及び顧客の多数は、スウェーデン、ノルウェー及び英国に所在し又は関連する事業を有している。その結果、当行グループは、これらの国々のマクロ経済状況の影響を大きく受ける。

ウクライナにおける戦争及びCOVID-19によるパンデミックは(後者について一定程度)、北欧諸国、英国及びオランダの経済に悪影響を及ぼし続けることが予想される。ウクライナにおける戦争の勃発以降、インフレが進行し、GDP成長率は鈍化している。スウェーデン統計局(Sw. Statistiska Centralbyrån)によると、2021年度及び2022年度におけるスウェーデンのGDP成長率はそれぞれ4.8%及び2.6%であったが、当行は2023年度中に0.7%下降すると予測している。当行の最新の見積りでは、2023年度中、英国及びノルウェーにおける実質GDPはそれぞれ0.1%及び1.2%増加すると予想されている。当行の最新の予測では、スウェーデンにおける2023年度のCPIF(固定金利における消費者物価指数)のインフレ率は、6.1%に達すると見込まれており、また、緩やかなデシインフレーションの進行が予想されているが、2.0%のインフレ目標は2024年度末又は2025年度の初めまで達成されないだろうと予想されている。

リクスバンクは2019年1月、主要政策金利をマイナス0.25%に引き上げ、2020年1月8日からは、政策金利の0%への引き上げを適用した。2022年度及び2023年度にインフレが急速に加速したため、リクスバンクは政策金利を引き上げた。2022年度中、政策金利は何度か0%から2.50%へ引き上げられ、2023年4月26日、リクスバンクは政策金利の3.5%への引き上げを2023年5月3日から適用することとした。また、リクスバンクは2023年度に政策金利をさらに引き上げる方針を示した。

近年、住宅不足及び低金利を含むいくつかの要因により、スウェーデンにおける特に個人へのモーゲージ貸付高が急激に増加した。スウェーデン統計局(Sw. Statistiska Centralbyrån)によると、2010年度から2021年度にかけて住宅価格は年率約6%上昇した。同期間に、可処分所得に占める家計負債の割合は22%増加し、ス

ウェーデンの世帯における負債比率(可処分所得に対するローン)は、平均で、2010年度の150%と比較して、2021年度には182%となった。その結果、スウェーデンの個人の負債の水準は記録的に高い水準となっている。したがって、個人は金利の上昇、収益の損失及び住宅価格の下落の影響をより受け易くなる。個人の負債の増加に関連するリスクを低減する手段として、2016年6月に住宅ローンに関連する償却要件が導入され、それ以降、さらなる償却要件が導入されている。さらに、最近の高インフレ及び金利上昇により住宅市場の状況が変化し、住宅価格は下落傾向にあり、住宅協同組合のアパート及び一世帯用住宅の価格が、2022年度にそれぞれ9%及び10%下落した。2023年度に入ってから、販売活動の減少が継続しているものの、価格は横ばい傾向が続いている。

当行グループはスウェーデンにおいて市場リーダーであり、スウェーデンにおいて営業する4つの主要な銀行の1つであって、その他3つの銀行はノルディア・バンク・エイ・ビー・ピー・フィリアル・アイ・スヴェリエ(Nordea Bank Abp filial i Sverige)、スカンジナビスカ・エンスキルダ・バンケン・エイ・ビー(Skandinaviska Enskilda Banken AB)及びスウェッドバンク・エイ・ビー(Swedbank AB)である。当行グループは、スウェーデン及び海外の両方において当行グループが事業展開する市場内で厳しい競争にさらされている。商業銀行に加えて、当行は金融会社及び住宅金融専門機関とも競合している。

銀行部門を含む社会のデジタル化の速度及び範囲は近年加速しており、その結果、顧客はますますデジタル・チャンネルを通じて銀行取引を行っている。当行は引き続き、当行のサービスをデジタル化し、顧客の希望やニーズに合わせているが、これらのデジタル・サービスは支店の現地拠点と連携している。

経営環境についての追加情報については、下記「第3 - 2 事業等のリスク - 世界金融市場の現状及び世界の経済状況に伴うリスク」を参照のこと。

## 2【事業等のリスク】

本項に含まれる将来の見通しに関する記述は、本書の提出日現在の当行の意見、見通し、目標、期待及び見積りに基づくものである。

当行は、以下のリスク要因が当行の本社債に基づく債務を履行する能力に影響を及ぼす可能性があると考えている。これらの要因はすべて、発生するかどうか分からない偶発事象であり、当行はかかる偶発事象が発生する可能性の程度につき見解を表明する立場にない。

当行は、現在入手可能な情報に基づき当行が重要でないと考え他の理由又は現在予測不能なその他の理由によっても、利息、元本又はその他本社債に関する金額を支払うことができない可能性がある。本社債への投資を予定する投資家は、本書の他の部分に記載する詳細情報も精読し、投資の判断を行う前に投資家自身の見解を確定すべきである。

以下のリスクの記載順は、当該リスクの発生可能性又はその潜在的な影響の重大性を示すものではない。

### 本社債に基づく当行の債務の履行能力に影響を及ぼす要因

#### 信用リスク

信用リスクとは、当行のカウンターパーティが契約上の債務を履行できないことにより生じる当行が経済的損失に直面するリスクである。当行は、貸付、保証の発行並びに外国為替市場及び証券市場におけるカウンターパーティとの取引を実行する結果、信用リスクにさらされる。信用エクスポージャーは、取締役会が定める与信方針に従って管理される。

当行の信用エクスポージャーにつき責任を負うのは、その支店である。与信決定の責任は、当該顧客との関係を管理する支店に存する。支店長及び大部分の支店のスタッフについては、担当する顧客への与信を決定できる個別の決定上限額が定められている。与信限度額を上回る決定については、中央レベルだけでなく、県及び国レベルの意思決定機関がある。より上位のそれぞれの意思決定レベルにおいては、与信に関する専門的見

解が加えられ、それぞれの意思決定レベルは、自らの意思決定レベルに関して、また、より上位のレベルで決定される与信に関しても、与信を拒否する権限を有している。最大与信限度額は、グループ与信部で審査され、取締役会で決定されるか、又は取締役会によって設立される与信委員会で決定される。但し、その与信の責任を負う支店長の推薦がなければ、当行において与信申請が処理されることはないが、自動モデリングを通してなされた与信決定はその例外である。このような決定に使用される自動モデリングは、最高経営責任者の承認を必要とする。当行は、この分権的な手法により与信が延長される時及び与信の期間中の両方において、それぞれの個人の顧客の信用リスクをより正確に評価できるようになると考えている。

### オペレーショナル・リスク

オペレーショナル・リスクとは、不十分な若しくは誤った内部手続、人為的ミス、システムの誤り又は外的要因により生じる損失のリスクをいう。かかる定義には、法的リスク並びにITリスク及び情報セキュリティ・リスク(ICTリスク)が含まれる。

オペレーショナル・リスクは、当行グループのあらゆる業務において生じる。オペレーショナル・リスクの特定、評価及び管理の責任は、当行グループ内のあらゆるレベルにおける経営上の責任の不可欠な部分である。当行グループの業務の分権的な手法及びコスト意識は、オペレーショナル・リスクの良好な管理を推進し、日常的な手続及び事由における潜在的な損失のリスクに注意を払うことにつながる。

取締役会は、当行グループのオペレーショナル・リスクの許容度を設定している。当行グループのオペレーショナル・リスクに対する許容度は低いものの、オペレーショナル・リスクは当行のすべての業務において避けることのできない要素である。事故が発生した場合に、当行グループ、当行グループの顧客又は金融システムに深刻な悪影響を及ぼす可能性のあるオペレーショナル・リスクは、より低いリスクレベルへ低減させる必要がある。リスクを受容可能な程度にするために、リスクを軽減する手法を講じなければならない。

オペレーショナル・リスクは事業活動内で管理され、グループ・リスク・コントロール部によってかかる管理が統制されている。特別に任命されたオペレーショナル・リスクの地域コーディネーターは、マネージャーによるオペレーショナル・リスクの管理を補助するために配置される。これらのコーディネーターは、オペレーショナル・リスクの既存の管理方法及び管理手続が事業活動において使用されることを確実にし、報告された事故に関連する必要な行動を管理し、事業活動のサポートを行い、オペレーショナル・リスクに関し取り決められたあらゆる措置をフォローアップするように責任を負う。

グループ・リスク・コントロール部は、オペレーショナル・リスクの管理に用いられる方法及び手続について、並びにかかる方法及び手続並びに業務におけるそれらの運用に対する定期的な評価を行うことについて、包括的な責任を負う。また、グループ・リスク・コントロール部は、新規の若しくは重大な変更があった商品、サービス、市場、手続若しくはITシステムに関する決定が行われる前に、又はグループの事業若しくは組織構造に重要な変更がなされた場合に、リスクの評価が行われるようにする責任を負う。

また、グループ・リスク・コントロール部は、当行グループのレベルにおいてすべての重要なオペレーショナル・リスクを特定、測定及び分析し、上級経営陣及び取締役会に対しそれらの進展について報告する責任を負う。

持続的なオペレーショナル・リスクの特定、評価及び管理を支援するため、当行は事故の報告及び事例管理制度、オペレーショナル・リスクの自己評価のための手法及び手続並びにリスク指標を有している。

### 流動性リスク

流動性リスクとは、許容できない費用又は損失なくして当行グループが期日の到来した支払債務を履行することができないリスクである。当行グループの流動性リスクに対する許容度は低く、当行グループは、全体レベル及び各通貨毎の双方にかかるリスクを最小限に抑えるために積極的に取り組んでいる。当行は、流動性へ

の良好なアクセスが可能であり、業績の変動を低水準に抑え、顧客ニーズを満たすような資金調達能力の提供を目指している。これは、当行にとって重要な通貨のすべてにおいて、キャッシュ・フローの流入及び流出を適切にマッチングさせるとともに良質な十分な流動性準備金を維持することによって達成される。

グループ財務部は、当行グループの流動性に一時的又は長期的に影響を与え得る金融市場の混乱の可能性に対してより良く備えるために、当行グループの流動性リスクの管理のための最新の緊急時対応計画を維持することに責任を負う。かかる計画の下では、当行グループの流動性について、ギャップ分析における変化並びに資金調達のボラティリティ及び資金調達費用のベンチマークを含む定期的な分析を行っている。当行グループはまた、預金高の大幅な減少及び与信供与枠の利用の増加など特定の状態における流動性への影響を測るストレステストを実施している。グループ財務部は、当行グループの流動性及び資金調達に包括的な責任を負う。

日常的な流動性管理に加えて、当行グループは金融市場の混乱の可能性に備えるための戦略の一部として、緊急時対応準備金を維持している。流動性準備金は、複数の異なる部分より構成されている。現金、預金残高及びその他の中央銀行への貸出は、当行に緊急の流動性を提供可能な部分である。当該準備金はまた、国債、カバード・ボンド及びその他の信用の質が高い有価証券をはじめとする流動性の高い有価証券により構成され、これらは流動性が高く、中央銀行への担保として適格なものである。これらはまた、当行に緊急の流動性を提供可能なものである。流動性準備金の残りの部分は、カバード・ボンドの未発行額及びその他の流動性創出対策により構成される。

欧州委員会が委任規則(EU)2015/61を導入後、流動性カバレッジ比率(以下「LCR」という。)は、EUにおける銀行に対する拘束力のある要件となっている。かかる数値は、当行の流動性バッファー及び30日間の大きなストレステスト・シナリオにおける当行の正味キャッシュ・フローとの比率を規定する。かかる要件は総計レベルで適用され、比率は少なくとも100%でなければならない。さらにSFSAIは、第二の柱における監督審査及び評価プロセスの枠組において、各通貨のLCRを規定している。当年度末において、欧州委員会の定義に基づき計算した当行グループの総計のLCRは163%であった。このことは、当行グループが資金調達市場における短期の混乱に対して著しく耐性があることを示している。構造的流動性指標の最低要件である、安定調達比率(以下「NSFR」という。)は、利用可能な安定調達と必要とされる安定調達の比率であり、2021年6月28日にEUにおいて施行され、それによって当行は1年後の見通しの観点から通常時及びストレス下の両方の状況において資金需要を満たすのに十分な安定調達を確保することが必要となった。最低要件は総計レベルで適用され、比率は少なくとも100%でなければならない。2022年度末時点で、NSFRはグループレベルで114%であった。

当行グループは、通貨、市場及び資金調達金融商品に関して、十分に多様な資金源を維持するよう努めている。当行グループは、海外及びスウェーデンの資本市場から即時に資金を調達できるよう、様々なプログラムを維持している。短期資金は、スウェーデン、アメリカ合衆国及び欧州におけるコマーシャル・ペーパー・プログラムを通じて調達される。長期資金は、主にスウェーデン・クローネ建てのカバード・ボンドの発行及び当行グループのその他の資金調達プログラムの利用を通じて調達される。グループ財務部は、資産と負債の満期の適切な均衡を維持する責任を負う。

## 市場リスク

市場リスクとは、金融市場における価格の変化及び価格のボラティリティに関連する損失のリスクである。当行グループは、市場リスクを、金利リスク、為替リスク、株価リスク及びコモディティ価格リスクに分類している。市場リスクは、当行グループの顧客が当行に柔軟な資金調達のサービスを求める場合に発生する。当行グループはまた、既に貸付を行っている市場以外の市場で資金調達を行うことにより、資金調達源を多様化することができる。かかる資金調達は、資金調達の対象となる資産と固定金利の期間が異なるものでも良い。市場リスクはまた、当行が事業を行っている市場で混乱が起きた際にショート・ノーティスで流動資産に転換

できるグループ財務部の流動性ポートフォリオでも発生することがある。当該ポートフォリオにより、日次清算業務における当行グループの支払いが確実にとなるとともに当行の流動性準備金の一部を形成している。市場リスクはまた、固定利付債券、外国為替、株式又はコモディティ市場に対するエクスポージャーを伴う金融商品の顧客需要を満たすために発生する。このため、当行は一定のポジションを保有しておかなければならない。例えば、当行が、金融商品の市場価格を形成するマーケット・メーカーとしての役割を果たす場合にこのような状況になる。当行の業務における市場リスクは、主にグループ財務部及びハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットにおいて生じており、それぞれ管理されているが、ハンデルスバンケン・リヴにも存在する。

#### 金利リスク

金利リスクは、主として、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット、グループ財務部及び当行グループの貸出事業において発生する。貸出事業における金利リスクは、その資金と部分的に異なる固定金利の期間を有する顧客及び他行への貸出しを行うことにより発生する。当行グループは、金利スワップ契約の締結により、かかるリスクの相当な部分を排除しようとしている。一般に、金利リスクへのエクスポージャーは、流動性の高さを特徴とする市場において生じる。

当行は、一般的な金利リスク、特定の金利リスク及び非線形金利リスクを捉える方法により、金利リスクを測定及び制限している。

#### 株価リスク

株価リスクとは、市場価格の変動による株式関連ポジションの市場価値の変化に起因する損失のリスク及び市場価格のボラティリティに起因する損失のリスクである。当行グループの株価リスクへのエクスポージャーは、主としてハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットでの顧客との取引及び当行の保有株式において生じる。当行グループは、株価リスクを測定し妥当な上限を設定するために、原株式価格及びボラティリティの大幅な変動を想定して事前に設定したストレス・シナリオを用いている。

#### 為替リスク

当行グループは、スウェーデン以外を拠点とする市場を有しており、他の複数の国においても事業を行っている。したがって、当行グループの勘定がスウェーデン・クローネで表示されていることにより、構造上、為替エクスポージャーが生じる。かかる構造上のリスクは、自己資本比率又は資本のそれぞれに対する為替変動の影響間のトレード・オフを考慮することによって管理される。

当行の直接的な為替エクスポージャーは、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットにおいて行われる国際為替市場における顧客主導の日中取引の結果として生じる。顧客の支払フローの管理の一環としての通常の銀行業務及びグループ財務部の資金調達業務においても、ある程度のが為替エクスポージャーが生じる。当行の取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者は、これらのリスクに対して、ポジション限度額を設定している。

#### コモディティ価格リスク

コモディティの取引は、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットにおいて独占的に行われ、コモディティ関連商品のエクスポージャーは、国際コモディティ市場における顧客主導の取引の結果としてのみ発生し、取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者が決定した限度によって制限されている。

当行は、線形リスク及び非線形リスクの双方を効果的に捉える方法により、コモディティ価格リスクを制限及び測定しており、またかかるリスクは、当行がさらされているあらゆるコモディティのリスクの絶対合計として測定される。

### 保険リスク

保険リスクとは、保険方針の結果に関連するリスクであり、主に生命保険リスク及び障害保険リスクによって構成される。ハンデルスバンケン・リヴにおける保険リスクは、以下の分野に関連している。

- ・死亡リスク - 死亡率の程度及び傾向の変動又はボラティリティの変動の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。死亡率の増加は保険契約の価値の上昇につながる。
- ・余命リスク - 死亡率の程度及び傾向の変動又はボラティリティの変動の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。死亡率の減少は保険契約の価値の上昇につながる。
- ・障害・疾病リスク - 病気及び回復の程度及び傾向の変動又はボラティリティの変動の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。
- ・無効リスク - 無効、終了、更新及び解約の程度又はボラティリティの変動の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。
- ・営業費用リスク - 保険契約への営業費用の程度及び傾向の変動又はボラティリティの変動の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。
- ・改訂リスク - 規制要件、法的環境又は被保険者の健康状態の変化による定期的な支払いの改訂レートの水準及び傾向の変動の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。
- ・大災害リスク - 極端又は特異な出来事に関連する価格決定及び想定 of 重大な不確定性の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。

各保険契約は、これらのリスクの複数へのエクスポージャーを含む可能性がある。当行グループの保険会社であるハンデルスバンケン・リヴは、利益分配を行う保険会社であるため、これらのリスクをはらんでいる。したがって、保険の購入予定者に対しては、医学的リスクの評価が行われる。

### 報酬制度に関するリスク

報酬リスクとは、報酬制度の結果として生じる損失又はその他の損害のリスクである。報酬リスクに対する当行グループの許容性は低く、当行グループはかかるリスクを低い水準に維持するよう努めている。変動報酬は注意して適用され、当行のリスク・プロファイルへ重大な影響を与える職務活動を行っている従業員には提供されない。

当行グループにおいて、従業員が新たな役職に就く際及び現地の給与の見直しの際、報酬は個別に設定される。当行グループに対し拘束力のある労働協約又は対応する現地の標準化された契約若しくは合意を考慮に入れて、報酬は当行の給与の設定モデル及び給与の決定要素に基づいて決定される。給与の決定要素とはすなわち、業務内容及び難易度、能力及びスキル、業務実績及び成果、指導力、市場並びに当行の企業カルチャーの代表者であるかである。これらの原則は何年もの間、適用されている。これらは、あらゆる階層のマネージャーが定期的に給与の見直しに参加し、当行の給与方針の実行及び各自の部門の人件費に責任を持つことを意味している。

## コンプライアンス・リスク

コンプライアンス・リスクとは、当行の認可業務に適用される内外の規則及び規制、並びに一般的な市場慣行及び基準に当行が従わない結果、当行が被る可能性のある制裁、重大な財務上の損失又は評判の失墜のリスクをいう。コンプライアンス業務は、コンプライアンス・リスクを特定し、それらを管理するために必要な措置を確実に講じることを目的としている。

統制機能は、グループ・コンプライアンス部並びに子会社及びその他の法的組織におけるコンプライアンス部の両方で構成される。すべてのコンプライアンス部は、事業活動から独立しており、監視及び統制対象となる機能及び分野から組織的に分離されていなければならない。コンプライアンス部門に所属する従業員は、監視責任を負う事業活動の一部であるいかなる業務上の作業も行っていない。

グループ・コンプライアンス部は、当行のグループ最高経営責任者、リスク委員会及び取締役会に、当行グループにおける現在のリスク状況を報告する。報告書はグループ最高経営責任者のリスク・フォーラム及びコンプライアンス委員会にも提出される。

## サステナビリティ・リスク

サステナビリティ・リスクは、当行グループの全般的なサステナビリティ活動の基盤となる方針、ガイドライン、コミットメント及び目標に従って、当行グループが環境、気候、社会情勢及びコーポレート・ガバナンスに関連するリスクを特定・管理できない場合に発生する可能性がある。また、当行グループが、既存の方針及びガイドラインの枠組から外れた事業活動において、サステナビリティ・リスクを見落としてしまうリスクも含まれる。このようなリスクは、最終的に当行グループに財務上の悪影響を及ぼす可能性があるだけでなく、当行グループの評判を損なう可能性がある。

サステナビリティ・リスクは、環境、気候、人権、労働条件、金融犯罪、情報及びITセキュリティ並びにコーポレート・ガバナンスの問題など多くの分野にまたがる。サステナビリティ・リスクはまた、信用リスク、財務リスク及びコンプライアンス・リスクなど他の種類のリスクにも内在している。

サステナビリティ・リスクを管理するための当行グループの活動は、分散型モデルに基づいているほか、当行グループの通常の低いリスク許容度に沿っている。当行グループの事業活動は、サステナビリティ・リスクを識別し管理する責任を負っている。これは、リスク管理に関して確立されたプロセスの枠組内で行われる。

## 世界金融市場の現状及び英国を含む世界の経済状況に伴うリスク

当行グループの各事業部門は、市況の影響を受け、これにより年間及び長期の業績が変動する可能性がある。かかる市況には、市場価格の不安定な動向を含む金融市場のサイクル及び銀行業界のサイクル等の経済サイクル並びにCOVID-19の大流行及び世界的な蔓延により生じた混乱のような、地域経済及び世界経済又は商品及びサービスの自由な流れにおける混乱をもたらす地政学的展開が含まれる。当行グループの業績は、金利及び為替、金融方針及び財政政策、消費者支出及び事業支出、人口動態並びに競争上の要因及びその他の要因の変動によっても影響を受ける。

スウェーデンと同様に、当行グループが事業を行っているその他の市場もまた、現在進行中のウクライナにおける戦争並びに英国及びユーロ圏におけるインフレ圧力の増大など、人口動態及び政治動向に関する課題を含む多くの課題に直面している。例えば、2022年度には、インフレが持続的かつ顕著に進行したが、これはまた、消費者支出のほとんどのカテゴリーの価格が上昇するにつれて、より広範なものとなった。これを受け、イングランド銀行及び欧州中央銀行は、政策金利をそれぞれ4.25%及び3.25%に引き上げた。インフレの進行は、英国及びユーロ圏全体において実質賃金の大幅な下落を引き起こし、消費者信頼感は急激に低下し、場合によっては過去最低を記録した。イングランド銀行及び欧州中央銀行によると、2024年度に下落基調に移行す

るまで英国及びユーロ圏において今後も高いインフレ圧力が続くと予想され、政策金利のさらなる引き上げにつながる可能性があると考えられている。

さらに、2020年1月31日、英国は正式にEUから離脱した(かかる離脱を、以下「英国のEU離脱」という。)。英国のEU離脱後、直ちに移行期間に入り、2020年12月31日に終了した(以下「移行期間」という。)。2020年12月24日、EU及び英国は貿易及び協力に関する協定に合意した(以下「貿易及び協力に関する協定」という。)。これは、移行期間の終了後のEUと英国間の関係に関する指針を定めており、2021年5月1日に施行された。

EUと英国の間で金融サービスに関する同等の決定又は貿易協定が締結されるかは依然として不確定である。概して、そのようないずれの貿易協定、同等の決定又は金融市場に関するその他の協力メカニズムによる影響、英国及びEU加盟国間で求められ得る法的及び規制の合致並びに規制的協力の程度、並びにEU及び英国の市場に渡る金融サービス会社に付与され得るアクセスのレベルもまた不確定である。英国のEU離脱による市場分断を通じた金融市場への影響が広範囲にわたるほど、ファイナンス及び資金調達に対するアクセスは低下し、特定の金融市場インフラに対するアクセスの欠如は、当行グループの業務、財政状態及び財政予測並びに顧客の財政状態及び財政予測に影響を与える可能性がある。英国健全性規制機構の認可に基づいて運営されている子会社である当行グループの英国支店の事業を含め、当行グループの事業への正確な影響を予測することは困難である。

2022年2月のウクライナへの侵攻を受けて、とりわけ米国、EU、カナダ、日本及びオーストラリアは、制裁を課した。2022年2月27日に、スウェーデンは紛争中の国に武器を送らないという原則を破り、ウクライナに軍装備品を送ると発表した。さらに2022年5月17日には、北大西洋条約機構(以下「NATO」という。)への加盟申請を行った。NATOは2022年7月5日にスウェーデンの加盟議定書に署名しており、現在は既存のNATO加盟国による批准を条件としている。2023年4月4日、フィンランドはNATOに正式加盟し、約70年続いた軍事的非同盟に終止符を打った。これに対し、ロシアは西部及び北西部の軍事力強化を含む対抗措置を講じると威嚇した。

ロシアのウクライナ侵攻は、バルト海沿岸地域及び西側諸国の地政学的状況を劇的に変化させた。この戦争及びロシアのエネルギー輸出に対する西側の制裁は、世界のインフレの進行の重大な要因となった。また、欧州全域のエネルギー危機の要因でもあり、欧州全域で電気料金は過去最高を記録した。高インフレのため、中央銀行が金利を引き上げたことにより、多額の負債を抱える企業及び家計に影響を与えた。さらに、世界経済における広範な供給不足が拡大し、最終的には商品価格の上昇を招き、世界のインフレをさらに悪化させた。高インフレのため、中央銀行が金利を引き上げたことにより、企業及び家計に悪影響を及ぼしたが、今後もその影響は続くと考えられる。

より一般的には、気候変動、大惨事、テロ攻撃、戦争行為、感染症の蔓延、自然災害並びにこれらの事象及び行為に対する反応・反響などの地政学的展開は、経済及び政治の不安定性を生み出す可能性があり、当行グループが事業を行う地域又は全世界における経済状況にマイナスの影響を与える恐れがある。より具体的には、当行グループの事業を妨げる恐れがあり、重大な損失に繋がる可能性がある。このような事象/行為及びそれらから生じる損失は、予測が難しく、不動産、金融資産、ポジション売買又は重要な従業員に關係する可能性がある。

これらの事項の結果として当行グループが直面するリスク及び不確定性の正確な本質を予測することは不可能であり、これらのリスクの多くは、当行グループの統制が及ばないものである。しかしながら、市場の混乱及びボラティリティが当行グループの事業、経営成績及び財政状態並びに社債(本社債を含む。)に基づく当行の債務の履行能力に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

**COVID-19の大流行及び世界的な蔓延により、当行グループの事業、経営成績及び財政状態は重大な悪影響を受ける可能性がある。**

2019年後半に中国で確認されたCOVID-19が世界中で蔓延した。2020年3月11日、世界保健機関はCOVID-19の蔓延及び深刻度はパンデミックの域に拡大したと確認した。COVID-19の大流行及び世界的な蔓延により、当局（北欧諸国、英国及びオランダを含む。）がウイルスを封じ込めるために渡航禁止令及び渡航制限、外出禁止令、ロックダウン、検疫並びに企業及び職場の閉鎖など数々の措置を実施する結果となり、金融市場のボラティリティの著しい増加及び金融市場の下落並びにマクロ経済の見通しの著しい悪化へとつながった。

継続しているCOVID-19の経済的影響は、当行グループの統制外であり、ウイルスの地域的な大流行の再発の可能性、新型株の出現の可能性、政府当局及び国際社会の対応、ワクチンの分配及び投与の継続的な効果並びに投与されたワクチンが当該ウイルスの蔓延及び影響を低減する程度を含む多くの要因に依存する。COVID-19が当行グループの経営成績、流動性、資金調達の利用可能性及び財政状態に及ぼす継続的な影響の程度は、将来の進展次第であり、本有価証券報告書の日付現在極めて不確かなままであり予測することはできない。中長期的に、COVID-19の蔓延が再び悪化した場合、又は同様のマクロ経済効果を引き起こすCOVID-19の新型株若しくはさらなる疾病が発生した場合、マクロ経済状態は継続してマイナスの影響を受けることが予測され、当行グループが事業を行う国々及びより広範囲な世界経済においてさらに深刻な経済悪化に至る恐れがある（これは、蔓延し、深刻で長期に及ぶ可能性がある。）。当行グループに対するものを含め、契約上の義務に服する当行グループの顧客もまた、重大な悪影響を受ける可能性がある。

#### **税法の不利な改正により、当行グループの事業は悪影響を受ける可能性がある。**

当行グループが業務を行う管轄地域において、当行グループの活動は様々な税率で課税され、当該税率は現地の法律及び実務に基づき計算されている。スウェーデン政府が提案する銀行に対する税の引き上げ等の税法の改正又はかかる法律の解釈の改正により、当行グループの財政状態は悪影響を受ける可能性がある。将来の規則の改正又は財政若しくはその他の政策の変更は予測不可能かつ当行グループの管理の及ぶ範囲を超えており、当行グループの事業、財政状態及び業績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。例えば、租税回避防止指令(EU)2016/1164(以下「ATAD」という。)及び指令(EU)2016/1164を改正する指令(EU)2017/952(以下「ATAD」という。)により、EU加盟国は税法又は課税実務の改正、とりわけ出国税制、利息費用を控除する権利の制限及び外国子会社合算税制並びにハイブリッド・ミスマッチに関する規則の導入を求められている。スウェーデンでは、ATAD及びATAD に基づいた規則を施行し、税法を改正した。例えば、利息控除の制限に関するスウェーデンの規則が改正され、新たに税務上のEBITDAの30%に制限する規則が導入された。また既存のハイブリッド・ミスマッチ規則(2016年発効)に加えて、ATAD及びATAD を受けて、ハイブリッド・ミスマッチ規則が導入された。リバース・ハイブリッド・ミスマッチを補完するさらなる改正は、2021年7月1日に施行された。さらに、2022年1月1日に特定の信用機関に対する「リスク税」に関する新しい規則が施行された。リスク税は2021年12月31日より後に開始する会計年度から適用され、リスク税の対象となる機関には、国内の活動における総負債が150十億スウェーデン・クローネを超える信用機関を含む。リスク税率は、一定の方法で計算された信用機関の債務の一定割合に相当し、2023年1月1日より0.06%に引き上げられた。

さらに、税務目的でのシェル・エンティティの悪用を防止するための規則を定め、指令2011/16/EUを改正する指令(以下「ATAD」という。)は、EU加盟国に対し、一定の関連する受動的所得の流れを報告することを目的として、EU内を拠点とする企業に対し報告義務を導入するよう求めることができる。報告会社が同指令に基づき最低限の実体を有していないとみなされる場合、加盟国は、報告会社に対し、所得及び該当する場合は資本の二重課税の免除を規定する租税条約又は指令を適用しない義務を負う可能性がある。また、EU内の多国籍企業グループ及び国内の大規模グループに対する国際的な課税の最低水準の確保に関する指令(以下「グローバル・ミニマム課税指令」という。)は、特にEU加盟国に対し、特定の管轄地域における多国籍企業の実効税率が15%を下回る度に徴収すべき「トップアップ税」の導入を求めている。

ATAD 又はグローバル・ミニマム課税指令などの税法に関するさらなる改正により、当行グループの税負担が増加し、当行グループの事業、業績、財政状態又は当行の社債に基づく義務を履行する能力に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

**重大な悪影響を及ぼす規制上の進展により、当行グループは悪影響を受ける可能性がある。**

当行グループの事業は、スウェーデン、英国及び当行グループが事業を行うその他の国々の法律、規制、方針及び/又はそれらの各解釈の変化の影響を含む、現行の規制及び関連する規制上のリスクに服している。法律及び規制並びに法律及び規制の施行又は解釈の方法は、ともに予測不可能であり、当行グループの制御の及ぶものではなく、当行グループの事業、経営成績若しくは財政状態又は社債(本社債を含む。)に基づく当行の債務の履行能力に重大な悪影響が及ぶ可能性がある。

当行は、SFSAによる監督並びにとりわけ自己資本比率及び流動性の規則などに関するスウェーデンの規制の適用を受けている。当行グループの業務の多くは、現地の監督当局による監督に服している。当行グループはまた、直接適用されるEU規則及び現地の法律を通して施行されるEU指令に服している。当行グループは、欧州連合、英国又はSFSAによる規制上の取組みの結果として、将来どのような規制上の変更が課されるか予測することができない。

当行グループが効果的に規制上のリスクを管理できない場合、当行グループの事業、経営成績若しくは財政状態又は社債(本社債を含む。)に基づく当行の債務の履行能力に重大な悪影響が及ぶ可能性がある。

**当行は、マネーロンダリング活動に関連するリスクにさらされており、マネーロンダリング防止及びテロ資金供与防止に関する規制の順守には、重大なコスト及び努力を要する。**

当行は、マネーロンダリング防止、腐敗防止及びテロ資金供与防止に関する規則及び規制に服している。一般的に、銀行が、マネーロンダリングに関して負う又はそれらに利用されるリスクは、近年世界的に増大している。マネーロンダリング防止及びテロ資金供与防止に関する規制の順守には、重大なコスト及び努力を要する。これらの規則に対する違反は、当行及び当行グループにとって法的及び風評に関わる悪影響(クライアント、パートナー及びその他第三者との関係におけるものも含む。)を含め、深刻な影響を及ぼす可能性がある。当行は、当行における現行のマネーロンダリング防止及びテロ資金供与防止に係る方針及び手続並びに行動基準(腐敗防止を含む。)は、適用規則を順守するのに基本的に適切であると判断しているが、当行は過去において又は今後において、常にすべての適用規則を順守してきた又は順守すると保証することはできず、また、当行グループ全体に拡大適用されるマネーロンダリング、テロ資金供与及び腐敗を防止するための当行の方針及び規則が、その従業員によって常に順守されていると保証することはできない。

**当行及びその顧客は、サイバー犯罪及び詐欺に関連するリスク及び潜在的損失の危険にさらされている。**

その他の金融機関同様、金融サービスにおけるテクノロジーの活用を受けて、当行及びその顧客は、当行のシステムに過負荷を掛けるように意図された攻撃を含め、犯罪目的又は悪意を持ったグループによる実際のサイバー攻撃又はその企てのリスクにさらされている。これらのリスクは、当行がその商品、サービス、主要な機能及び流通経路のデジタル化を進めるにつれて、また、サイバー攻撃がより複雑化し、より蔓延するにつれて増大する。当行は、サイバー攻撃によりその従業員及び/又は顧客に対する当行のシステムの運用上の可用性が一時的に失われるリスクにさらされており、結果として、当行の事業、経営状況、業績及び将来的な展望に対する重大な悪影響につながる可能性がある。

当行が、サイバー犯罪や詐欺等の新たな脅威に対する情報セキュリティ管理に十分な投資を継続できないリスクがあり、また、当行が、既知の脅威に対する管理を頑強であるようにすることを継続できないリスクがある。さらに、サイバー犯罪グループによる益々複雑化する攻撃や、顧客口座に対する詐欺行為等による当行の

システムに対するセキュリティ侵害は、業務の中断、機密情報の漏えい、重大な財務リスク及び/又は法的リスクの発生並びに当行の評価及び/又はブランド価値の棄損につながる恐れがある。加えて、当行及びその顧客は、カード、口座、個人情報、内部及びその他の詐欺に関連するより一層のリスクにさらされており、中にはより複雑で、組織化され、テクノロジーに誘発されるものも含まれる。

これらの活動はいずれも防止したり検知したりすることが難しく、これらのリスクを軽減するための当行の内部方針が不適切又は非効果的である可能性がある。当行は、これらの活動又は事象により生じた損失を回復することができない可能性があると同時に、これらの結果として風評被害を被る恐れがあり、そのいずれもが当行の事業、経営状況、業績及び将来的な展望に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

## 3【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

## (1)業績等の概要

下記「(3)財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

## (2)生産、受注及び販売の状況

該当事項なし。

## (3)財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

本セクションに含まれる将来の見通しに関する記述は、本書提出日現在の当行の意見、見通し、目標、期待及び見積りに基づいている。

## 2022年12月31日終了事業年度

## 業績報告

営業利益は、13%増加して26,619百万スウェーデン・クローネ(前年度は23,475百万スウェーデン・クローネ)となった。

収益合計は、13%増加して50,249百万スウェーデン・クローネ(前年度は44,277百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる増加は、取引額の増加及び利鞘の回復により純利息収益が増加したことによるものであった。

比較可能性に影響する項目(下表に示される。)を調整後、費用合計は3%増加した。かかる増加はすべて、IT投資及び事業開発の増加に起因する。費用合計は、7%増加して-21,296百万スウェーデン・クローネ(前年度は-19,843百万スウェーデン・クローネ)となった。

C/I比率は、42.4%(前年度は44.8%)に改善した。信用損失率は、0.00%(前年度も0.00%)となった。

継続事業からの当期利益は、12%増加して21,189百万スウェーデン・クローネ(前年度は18,848百万スウェーデン・クローネ)となった。一株当たり利益は10%増加して10.84スウェーデン・クローネ(前年度は9.86スウェーデン・クローネ)となった。株主資本利益率は、12.5%(前年度は11.8%)に増加した。普通株式等Tier 1比率は、19.6%(前年度は19.4%)であった。

## 収益

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年度(通年)	2021年度(通年)	変動
純利息収益	36,610	30,321	21%
純手数料及びコミッション収益	11,103	11,458	-3%
金融取引による純損益	1,111	1,699	-35%
その他の収益	1,426	799	78%
<b>収益合計</b>	<b>50,249</b>	<b>44,277</b>	<b>13%</b>

純利息収益は、21%すなわち6,289百万スウェーデン・クローネ増加して36,610百万スウェーデン・クローネ(前年度は30,321百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる増加は、取引額の増加及び利鞘の回復によるものである。全体として、利鞘及び資金調達費用の正味の影響により、3,674百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。取引額の増加は1,968百万スウェーデン・クローネ寄与した。流動性ポートフォリオの純利息収益に対する寄与は、82百万スウェーデン・クローネ増加した。預金保証スキームの手数料の増加によ

り、-91百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。為替の影響により、612百万スウェーデン・クローネのプラスの寄与が生じた。その他の影響は、純利息収益に44百万スウェーデン・クローネの影響を与えた。

純手数料及びコミッション収益は、3%すなわち355百万スウェーデン・クローネ減少して11,103百万スウェーデン・クローネ(前年度は11,458百万スウェーデン・クローネ)となった。全体として、ファンド運用手数料、カスタディ手数料及びその他の資産運用手数料は、5%減少して6,380百万スウェーデン・クローネ(前年度は6,747百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる減少には、市場価格が下落した結果、6%減少して5,469百万スウェーデン・クローネ(前年度は5,842百万スウェーデン・クローネ)となったファンド手数料収益の減少が含まれている。仲介収益は、18%減少して455百万スウェーデン・クローネ(前年度は555百万スウェーデン・クローネ)となった。純コミッションは、16%増加して1,711百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,479百万スウェーデン・クローネ)となり、クレジットカード事業からの純手数料は合計1,022百万スウェーデン・クローネ(前年度は971百万スウェーデン・クローネ)となった。貸出手数料及び預金手数料は、1%減少して1,146百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,155百万スウェーデン・クローネ)となった。保険による収益は、1%減少して794百万スウェーデン・クローネ(前年度は803百万スウェーデン・クローネ)となった。アドバイザリー手数料は、15%減少して196百万スウェーデン・クローネ(前年度は230百万スウェーデン・クローネ)となった。その他の純手数料及びコミッション収益は、421百万スウェーデン・クローネ(前年度は489百万スウェーデン・クローネ)となった。

金融取引による純損益は、35%すなわち-588百万スウェーデン・クローネ減少して1,111百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,699百万スウェーデン・クローネ)となった。当行の流動性ポートフォリオは当年度中に-118百万スウェーデン・クローネのマイナスの影響をもたらし、金利上昇及びクレジットスプレッドの拡大に伴う市場の変動により、総額-572百万スウェーデン・クローネ(前年度は-454百万スウェーデン・クローネ)となった。ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットにおける顧客主導型事業からの寄与は、54百万スウェーデン・クローネ減少して1,131百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,185百万スウェーデン・クローネ)となった。当年度中の実現資本拠出は、ハンデルスバンケン・リヴが管理している従来型保険の利回りが契約上保証されている利率を下回った場合に発生し、総額-455百万スウェーデン・クローネ(前年度は-48百万スウェーデン・クローネ)となった。

その他の収益の項目は、不動産保有子会社の売却により、1,426百万スウェーデン・クローネ(前年度は799百万スウェーデン・クローネ)に増加した。

比較可能性に影響する項目を調整後、人件費は、実質的に前年度と変わらなかった。オクトゴーネン利益分配制度に対する予備引当金は、-249百万スウェーデン・クローネ(前年度は-48百万スウェーデン・クローネ)に増加した。年金制度をさらに強化するため、当行は、2022年度中に実施された年金支払いについて、当行の年金基金に対する償還請求権を行使しないことを選択した。この決定により、人件費に-152百万スウェーデン・クローネの追加の給与税が発生したが、反対に税金等の項目においては160百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じたため、実質的には、当期利益への影響は中立的であった。継続事業における平均従業員数は、85名減少して10,954名(前年度は11,039名)となった。人件費は、5%増加して-13,103百万スウェーデン・クローネ(前年度は-12,452百万スウェーデン・クローネ)となった。

その他費用は、為替の影響を調整後、14%増加した。かかる増加の大部分は、開発費の増加に関連している。その他費用は、17%増加して-6,543百万スウェーデン・クローネ(前年度は-5,577百万スウェーデン・クローネ)となった。

開発費は、全体で18%増加して-3,337百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,821百万スウェーデン・クローネ)となった。開発投資費合計は、30%増加して-3,433百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,643百万スウェーデン・クローネ)となった。資本収益率は21%(前年度は19%)で、資本化費用は総額710百万スウェーデン・クローネ(前年度は499百万スウェーデン・クローネ)となった。

不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用は、9%減少して-1,650百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,814百万スウェーデン・クローネ)となった。

## 費用

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年度 (通年)	2021年度 (通年)		変動
<b>人件費</b>	<b>-13,103</b>	<b>-12,452</b>	<b>-651</b>	<b>5%</b>
開発費	-1,214	-1,125	-89	8%
その他(比較可能性に影響する項目を除く。)	-11,213	-11,279	66	-1%
比較可能性に影響する項目	-676	-48	-628	
オクトゴーネン	-249	-48	-201	
為替の影響	-275		-275	
比較可能性に影響するその他の項目	-152		-152	
<b>その他費用</b>	<b>-6,543</b>	<b>-5,577</b>	<b>-966</b>	<b>17%</b>
開発費	-1,509	-1,019	-490	48%
その他(比較可能性に影響する項目を除く。)	-4,866	-4,558	-308	7%
比較可能性に影響する項目	-168		-168	
為替の影響	-168		-168	
<b>不動産及び器具備品並びに 無形資産の減価償却費、償却費及び減損損失</b>	<b>-1,650</b>	<b>-1,814</b>	<b>164</b>	<b>-9%</b>
開発費	-614	-677	63	-9%
その他(比較可能性に影響する項目を除く。)	-1,024	-1,137	113	-10%
比較可能性に影響する項目	-12		-12	
為替の影響	-12		-12	
<b>費用合計</b>	<b>-21,296</b>	<b>-19,843</b>	<b>-1,453</b>	<b>7%</b>
開発費	-3,337	-2,821	-516	18%
その他(比較可能性に影響する項目を除く。)	-17,104	-16,974	-130	1%
比較可能性に影響する項目	-855	-48	-807	
オクトゴーネン	-249	-48	-201	
為替の影響	-454		-454	
比較可能性に影響するその他の項目	-152		-152	
<b>比較可能性に影響する項目の調整後の変動</b>				<b>3%</b>

## 開発費

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年度(通年)	2021年度(通年)	変動
開発投資費	-3,433	-2,643	30%
人件費	-1,508	-1,388	9%
その他費用	-1,925	-1,255	53%

資本化費用	710	499	42%
人件費	294	263	12%
その他費用	416	236	76%
<b>資本化費用後の開発投資費</b>	<b>-2,723</b>	<b>-2,144</b>	<b>27%</b>
償却費及び減損費用	-614	-677	-9%
<b>開発費</b>	<b>-3,337</b>	<b>-2,821</b>	<b>18%</b>

## 信用損失

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年度(通年)	2021年度(通年)	変動
正味信用損失	-47	-43	-4
うち、追加の引当必要額	-122	-3	-119
一般顧客への貸出金に対する信用損失率の割合 (単位：%)	0.00	0.00	

正味信用損失は、-47百万スウェーデン・クローネ(前年度は-43百万スウェーデン・クローネ)となり、一般顧客への貸出金に対する信用損失率は、0.00%(前年度も0.00%)であった。エキスパートベースの引当金は、-621百万スウェーデン・クローネ(前年度は-499百万スウェーデン・クローネ)となった。

## リスク税及び破綻処理手数料

リスク税及び破綻処理手数料は、合計-2,311百万スウェーデン・クローネ(前年度は-930百万スウェーデン・クローネ)となった。リスク税は、総額-1,316百万スウェーデン・クローネ(前年度はなし)となり、破綻処理手数料は、総額-995百万スウェーデン・クローネ(前年度は-930百万スウェーデン・クローネ)となった。

## 税金等

事業合計における実行税率(非継続事業を含む。)は23.5%(前年度は20.8%)であった。スウェーデンにおける法人税率20.6%との差異は、主にデンマークの事業売却によるものであり、のれん及びその他の無形資産の認識された控除できない戻入額は総額-2.8十億スウェーデン・クローネであった。

継続事業における実効税率は20.4%(前年度は19.7%)であった。スウェーデン国外での事業に適用される税率の引き上げ及び控除できない劣後ローンの利息費用は、当行の年金基金への償還請求権を行使しないという前述の当行の決定によるプラスの税効果を相殺した。

## 非継続事業

非継続事業からの損益は、デンマーク及びフィンランドの事業売却の過程における外部収益及び外部費用により構成される。デンマークの事業売却に関する契約は2022年6月に締結され、かかる取引は、2022年第4四半期中に完了した。かかる取引により、普通株式等Tier 1資本が2.5十億スウェーデン・クローネ増加したが、これは、のれん及びその他の無形資産の戻入額が購入価格で相殺され、2.8十億スウェーデン・クローネ寄与したことによる。一方、取引完了時の利益への影響は、取引費用並びにのれん及びその他の無形資産の控除できない戻入額を含めて-0.3十億スウェーデン・クローネであった。かかる取引全般により、普通株式等Tier 1所要自己資本もまた、約6.5十億スウェーデン・クローネ減少した。この減少のうち5.1十億スウェーデン・クローネは信用ポートフォリオの権利の売却による信用リスクの減少に、0.3十億スウェーデン・クローネはオペレー

シヨナル・リスクの減少に、1.1十億スウェーデン・クローネは構造的ヘッジの中止にそれぞれ起因する。さらに、資本の過去の為替換算差額の総額約0.7十億スウェーデン・クローネが実現したため、換算準備金から利益剰余金に振り替えられた。

税引後の非継続事業からの利益は、2022年第4四半期にデンマークの事業売却が完了したことによる-326百万スウェーデン・クローネの影響を含む総額280百万スウェーデン・クローネ(前年度は695百万スウェーデン・クローネ)となった。税引前の売却による効果は、総額235百万スウェーデン・クローネであった。

非継続事業からの収益合計は、9%増加して4,600百万スウェーデン・クローネ(前年度は4,209百万スウェーデン・クローネ)となった。非継続事業からの純利息収益は、フィンランドにおける純利息収益の回復により32%増加して3,434百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,606百万スウェーデン・クローネ)となった。前年度中、フィンランドにおける純利息収益は、当行のユーロ流動性がマイナス金利で中央銀行に預けられたことによりマイナスの影響を受けた。

非継続事業からの費用合計は、11%増加して-3,226百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,915百万スウェーデン・クローネ)となった。非継続事業からの正味信用損失は、29百万スウェーデン・クローネ(前年度は64百万スウェーデン・クローネ)の正味回収額で構成された。

#### 営業利益のうち非経常項目及び特別項目

	(単位：百万スウェーデン・クローネ)	
	2022年度(通年)	2021年度(通年)
不動産売却によるキャピタルゲイン(その他収益)	1,059	-
クレジットカード・アクワイアラー事業の売却費用(その他収益)	-	408
オクトゴーネン：前年度の引当金の調整(人件費)	-53	21
オクトゴーネン：当年度の引当金(人件費)	-196	-69
当行の年金基金からの年金費用の償還が未請求であることに起因する年金に係る給与税(人件費)	-152	-
<b>合計</b>	<b>658</b>	<b>360</b>

## 事業の展開

本拠地市場(スウェーデン、ノルウェー、英国及びネザールランド)における一般顧客への貸出金は7%増加し、平均額も154十億スウェーデン・クローネ増加して、2,218十億スウェーデン・クローネ(前年度は2,064十億スウェーデン・クローネ)となった。

本拠地市場における一般顧客からの預金及び借入金は11%増加し、平均額も128十億スウェーデン・クローネ増加して、1,271十億スウェーデン・クローネ(前年度は1,143十億スウェーデン・クローネ)となった。

当年度末の当行グループにおける運用資産の総額は、915十億スウェーデン・クローネ(前年度は1,075十億スウェーデン・クローネ)であった。運用資産のうち、845十億スウェーデン・クローネ(前年度は987十億スウェーデン・クローネ)は、当行の投資信託に投資された。本拠地市場における運用資産は、総額885十億スウェーデン・クローネ(前年度は1,001十億スウェーデン・クローネ)となった。そのうち、ミューチュアル・ファンドの額は822十億スウェーデン・クローネ(前年度は929十億スウェーデン・クローネ)を占めた。2022年度の本拠地市場におけるミューチュアル・ファンドへの新規資金流入額は総額6.3十億スウェーデン・クローネ(前年度は58.9十億スウェーデン・クローネ)であった。2022年度中のスウェーデンのミューチュアル・ファンド市場における正味の新規資金流入額のうち、合計53%が当行グループのファンドに投資された。スウェーデンのミューチュアル・ファンド市場に占める当行グループのシェアは12.2%(前年度は12.0%)に上昇した。

## 資金調達及び流動性

2022年度中、非常に不安定な市場環境に置かれることもあったにもかかわらず、当行は資金調達市場に自由にアクセスし、活用することができた。

2022年度中の社債発行は、199十億スウェーデン・クローネ(前年度は183十億スウェーデン・クローネ)であり、そのうち131十億スウェーデン・クローネ(前年度は140十億スウェーデン・クローネ)はカバード・ボンド、57十億スウェーデン・クローネ(前年度は43十億スウェーデン・クローネ)はシニア債であり、約13十億スウェーデン・クローネ(前年度は16十億スウェーデン・クローネ)がシニア非優先債であった。さらに、2022年度中に、11十億スウェーデン・クローネ(前年度はなし)の期限付劣後債を2つ発行した。

当行は、多くの流動資金、住宅ローン及び担保に供されていないその他の資産を有しており、これは当行のシニアレンダーが保護されていることを示している。2022年度末、すべての無担保資金調達額に対する担保に供されていない資産の割合は272%(前年度末は268%)であった。2022年度末における中央銀行に預け入れられた現金資金及び流動資産は、505十億スウェーデン・クローネ(前年度末は439十億スウェーデン・クローネ)であった。流動債券及びその他の流動資産の額は合計171十億スウェーデン・クローネ(前年度末は157十億スウェーデン・クローネ)であった。このように、2022年度中、当行は将来における市場の混乱に対する耐性をさらに強化した。

当年度末における欧州委員会による委任規制に基づき計算された当行グループのLCRIは、159%(前年度末は152%)であった。当年度末におけるCRRに基づく安定調達比率(NSFR)は、114%(前年度末も114%)であった。

## 資本

当年度中の普通株式等Tier 1比率は19.6%であった。当行の評価における2022年第4四半期末のSFSAによる普通株式等Tier 1資本要件の全体は14.5%であり、118十億スウェーデン・クローネに相当する。このうち、19十億スウェーデン・クローネに相当する2.3パーセント・ポイント(うち1.0パーセント・ポイントは第二の柱の指針、1.3パーセント・ポイントは第二の柱の要件から成る。)は、第二の柱における普通株式等Tier 1資本要件から成る。カウンターシクリカル資本バッファは1.0パーセント・ポイントであった。発表されたがまだ実施されていない要件により、カウンターシクリカル資本バッファは2023年度末には1.9%にまで引き上げられる

と予想されている。これは、他はすべて同じであるとすれば、資本要件の合計が15.4%となることを意味する。

当年度末の総自己資本比率は23.8%であった。当行の評価における同日のSFSAの所要自己資本合計は18.8% (152十億スウェーデン・クローネ)であった。このうち25十億スウェーデン・クローネに相当する3.1パーセント・ポイントは、第二の柱における所要自己資本合計から成る。

2022年度中の四半期に報告されているように、SFSAは、2022年度から当行の構造的な為替ポジションを所要自己資本から除外しないことを決議した。2022年第4四半期末において、これらのポジションに対する当行のリスク加重エクスポージャー額は32十億スウェーデン・クローネであった。

当行の資本目標は、通常の下況下において、当行の普通株式等Tier 1比率がSFSAから当行に対して伝達された普通株式等Tier 1要件を1から3パーセント・ポイント上回ることである。したがって、当行の資本は、目標範囲を超えるものであった。

## 資本連結状況

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年12月31日現在	2021年12月31日現在	変動
普通株式等Tier 1比率、CRR	19.6%	19.4%	0.2
自己資本比率合計、CRR	23.8%	23.3%	0.5
リスク加重エクスポージャー額、CRR	810,144	773,158	5%
普通株式等Tier 1資本	158,551	149,709	6%
自己資本合計	193,186	180,458	7%
資本(当行グループ)	196,030	181,706	8%

自己資本合計は193十億スウェーデン・クローネ(前年度は180十億スウェーデン・クローネ)であり、当行の自己資本比率合計は23.8%(前年度は23.3%)であった。普通株式等Tier 1資本は159十億スウェーデン・クローネ(前年度は150十億スウェーデン・クローネ)であり、普通株式等Tier 1比率は19.6%(前年度は19.4%)であった。

提案された配当金の控除後、利益により、普通株式等Tier 1比率は0.6パーセント・ポイント増加した。エクスポージャー額の増加により、普通株式等Tier 1比率は0.4パーセント・ポイント減少した。流入と流出の信用の質の違いにより、普通株式等Tier 1比率は0.1パーセント・ポイント増加したが、格付の移行により、0.2パーセント・ポイントのマイナスの影響が生じた。構造的な為替リスクに対する追加のリスク加重エクスポージャー額は32十億スウェーデン・クローネであり、これにより、普通株式等Tier 1比率に0.8パーセント・ポイントのマイナスの影響が生じた。デンマークにおける事業の売却により、0.9パーセント・ポイントのプラスの寄与が生じた。これは、普通株式等Tier 1資本が2.5十億スウェーデン・クローネ増加し、信用リスクに対するリスク加重エクスポージャー額が25十億スウェーデン・クローネ減少したことによる。為替の影響により、0.1パーセント・ポイントのマイナスの影響が生じたが、その他の影響により、0.1パーセント・ポイントのプラスの影響が生じた。

## 経済資本及び利用可能な財源

当行の自己資本の必要性に関する内部評価は、当行の所要自己資本、ストレステスト及び当行のECに係るモデルに基づいている。これは当行の利用可能な財源(以下「AFR」という。)に関連して測定される。

取締役会は、当行グループのAFR/EC比率は120%を上回らなければならない旨を定めている。2022年第4四半期末、当行グループのECは合計で54.6十億スウェーデン・クローネ(前年度は58.5十億スウェーデン・クローネ)となり、またAFRは225.3十億スウェーデン・クローネ(前年度は240.2十億スウェーデン・クローネ)となった。したがって、AFR/EC比率は413%(前年度は411%)となった。連結では、ECは合計で30.8十億スウェーデン・クローネ(前年度は34.5十億スウェーデン・クローネ)となり、AFRは218.2十億スウェーデン・クローネ(前年度は230.3十億スウェーデン・クローネ)となった。

## サステナビリティ

当行グループは、サステナビリティ活動の戦略を明確に規定している。当行グループはこれまでに、当行の主要な事業、すなわち融資、投資及びアドバイザー・サービスについて、具体的で測定可能なサステナビリティ目標を打ち出してきた。当該目標にはとりわけ、2040年度までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすること及び2025年度までに当行の融資額の20%をグリーン融資、ソーシャルファイナンス又は貸付先による持続可能で測定可能な移行に寄与する融資で構成することが含まれている。

2022年第4四半期において、当行は、2030年度までに当行の不動産融資に関連する温室効果ガスの排出量(CO<sub>2</sub>e/m<sup>2</sup>)を36%削減するという最初の間目標を設定した。かかる目標は、科学的根拠に基づき、世界の平均気温の上昇を1.5度未満に抑えるという目標に沿ったものである。当該目標は、当行グループの一般顧客への貸出金の約80%を対象としている。

2022年第3四半期において、当行はグリーン・ボンド・フレームワークを更新し、拡大した。新しい融資の枠組みの一部は、EUタクソノミーに沿ったものであり、当行が気候変動への適応及びエネルギー効率の改善につながるプロジェクトに資金を提供する機会を拡大した。この新しいグリーン・フレームワークにより、2025年度までに、顧客へ提供する融資の20%をグリーン融資、ソーシャルファイナンス又は貸付先による持続可能で測定可能な移行に寄与する融資で構成するという当行の目標に向けて、さらに前進することができる。当行は2022年8月下旬に3度目となるグリーン・ボンドを発行した。これは7年物のグリーン・シニア・ボンドで、当行のグリーン・ボンドとしては過去最大の750百万ユーロであった。当行の高い信用の質が評価され、当該債券に3倍を超える申込みがあった。

エネルギー効率の高い生活を促進するためのさらなる手段として、当行のソーラーパネルへの融資及びその他のエネルギー効率化の施策に加え、エネルギー効率の高い戸建て住宅又はコテージ(スウェーデン国立住宅建築計画委員会によるエネルギークラスA又はB)の住宅ローンを組んでいる当行グループのスウェーデンの顧客について、2022年9月下旬に当該ローンをグリーン住宅ローンに切り替え、金利の負担を0.10パーセント・ポイント引き下げた。住宅協同組合のアパートにおいても、2022年10月に同様の切替えが行われた。

当行のサステナビリティ活動に関連する取引額は、拡大を続けてきた。継続事業におけるグリーン・ローンの総額は、前年同期と比較して、127%増加して63.7十億スウェーデン・クローネ(前年度は28.1十億スウェーデン・クローネ)となり、かかる総額のうち、グリーン住宅ローンは266%増加して31.8十億スウェーデン・クローネ(前年度は8.7十億スウェーデン・クローネ)となった。さらに、サステナビリティ・リンク・ローン・ファシリティは、総額59.0十億スウェーデン・クローネ(前年度は23.9十億スウェーデン・クローネ)となった。

EUのサステナブル・ファイナンス開示規則(SFDR)は、資産運用会社が、自社のミューチュアル・ファンドがSFDRにおいてどのように分類されるかに関して透明性を確保しなければならないことを規定している。欧州委員会及び欧州の監督当局は、2022年度に当該規則の解釈に関する声明を発表したが、第9.3条に基づくファンドの報告要件の明確性が欠如していた。2022年度下半期において、ハンデルスバンケン・フォンデルは、立法府及び当局による説明を待つと同時に、その進展を注視し、かかる問題を詳細に分析した。こうした不確実な状況を踏まえ、ハンデルスバンケン・フォンデルは保守的なアプローチを採用し、当行のパリ協定準拠インデックスファンドを第9.3条におけるファンドではなく、第8条におけるファンドとして報告することを選択した。2022年度末時点において、当行グループのファンドのうち運用資産の7%に相当する5ファンドが、最も高い分類(第9条)、すなわち持続可能な投資を目的とするファンドとして報告された。また、運用資産額の88%に相当する合計99ファンドが、2番目に高い分類(第8条)、すなわち環境的側面又は社会的側面を促進するファンドとして報告された。

## セグメント報告

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

2022年度 における セグメント報告	スウェー デン	英国	ノルウェー	オランダ	キャピ タル・ マーケット	その他	調整及び 消去	合計
収益合計	31,884	8,649	5,096	1,523	2,212	885		50,249
費用合計	-10,607	-4,872	-2,082	-832	-1,959	-944	-1	-21,296
信用損失、リスク税及び破 綻処理手数料控除前利益	21,278	3,778	3,014	691	253	-60	-1	28,953
営業利益	19,764	3,733	2,509	610	206	-203	-1	26,619
利益配分後の営業利益	20,138	3,781	2,578	610	-324	-164	-1	26,619

セグメント報告並びにその他並びに調整及び消去の列の項目の記載に適用される原則は、下記「第6 - 1 - (1) 連結財務書類 - 注記G46」で詳述される。

上表の「その他」の列には、売却対象グループであるフィンランドに帰属する資産、負債、割当資本及び非金融固定資産に対する2022年度の投資額が含まれている。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

2021年度 における セグメント報告	スウェー デン	英国	ノルウェー	オランダ	キャピ タル・ マーケット	その他	調整及び 消去	合計
収益合計	28,799	6,392	4,615	1,332	2,225	914		44,277
費用合計	-9,898	-4,740	-1,697	-697	-2,122	-473	-216	-19,843
信用損失、リスク税及び破 綻処理手数料控除前利益	18,901	1,652	2,918	635	103	441	-216	24,434
営業利益	18,229	1,756	2,607	599	82	418	-216	23,475
利益配分後の営業利益	18,525	1,802	2,661	600	-352	455	-216	23,475

上表の「その他」の列には、売却対象グループであるデンマーク及びフィンランドに帰属する資産、負債、割当資本及び非金融固定資産に対する2021年度の投資額が含まれている。

2022年第1四半期に、より焦点を絞った顧客中心の組織を構築することを目的として、組織改編が行われた。会計上の観点からの最大の影響は、ノルウェー、フィンランド及びデンマークに移管された各地域の貯蓄及び年金部門を除き、貯蓄及び年金部門がキャピタル・マーケットからスウェーデンに移管されたことに起因する。また、現在スウェーデンと緊密に連携している一部の中枢機能は、その他の部門からスウェーデンに移管された。したがって、表中の比較数値は再計算されている。

## ハンデルスバンケン・スウェーデン

2022年12月31日に終了した事業年度におけるセグメント報告において、ハンデルスバンケン・スウェーデンは、スウェーデンにおける支店業務により構成され、また県単位の組織により編成され、かかる県の統括はスウェーデンにおける支店業務の責任者に直属する。また当該セグメントには、当行が完全所有する住宅金融専門機関であるスタッフィポテックのスウェーデンにおける業務、貯蓄及び年金部門に加えて、支払ソリューション会社であるエクスターが含まれる。本有価証券報告書の日付現在、エクスターは解散の手中である。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年度合計	2021年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	23,078	18,880	22
純手数料及びコミッション収益	8,471	8,800	-4
金融取引による純損益	78	480	-84
保険リスク	155	168	-8
その他の収益	103	471	-78
<b>収益合計</b>	<b>31,884</b>	<b>28,799</b>	<b>11</b>
人件費	-4,041	-4,035	0
その他費用	-1,515	-1,216	25
内部購入及び売却されたサービス	-4,630	-4,289	8
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損損失	-420	-358	17
<b>費用合計</b>	<b>-10,607</b>	<b>-9,898</b>	<b>7</b>
<b>信用損失、リスク税及び破綻処理手数料控除前利益</b>	<b>21,278</b>	<b>18,901</b>	<b>13</b>
正味信用損失	135	15	
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	10	9	11
リスク税及び破綻処理手数料	-1,659	-696	138
<b>営業利益</b>	<b>19,764</b>	<b>18,229</b>	<b>8</b>
利益配分	374	296	26
<b>利益配分後の営業利益</b>	<b>20,138</b>	<b>18,525</b>	<b>9</b>
内部収益	1,727	-345	
C/I比率(単位：%)	32.9	34.0	
信用損失率(単位：%)	-0.01	0.00	
資産	2,711,810	2,598,396	4
負債	2,603,652	2,493,982	4

割当済資本	108,158	104,414	4
割当済資本に係る利益率(単位：%)	15.5	14.8	
平均従業員数	3,907	3,899	0

(単位：十億スウェーデン・クローネ)

取引額、スウェーデン国内の平均額	2022年度	2021年度	変動 (単位：%)
<b>一般顧客への貸出金<sup>1</sup></b>	<b>1,577</b>	<b>1,473</b>	<b>7</b>
うち個人	976	937	4
うち住宅ローン	936	896	4
うち法人	602	536	12
うち住宅ローン	399	373	7
<b>一般顧客からの預金</b>	<b>875</b>	<b>796</b>	<b>10</b>
うち個人	480	439	9
うち法人	395	357	11

<sup>1</sup> 国債局に対する貸出金を除く。

## 業績

営業利益は、8%増加して19,764百万スウェーデン・クローネ(前年度は18,229百万スウェーデン・クローネ)となった。リスク税を調整後、営業利益は13%増加した。割当済資本に係る利益率は、15.5%(前年度は14.8%)であった。C/I比率は、32.9%(前年度は34.0%)に改善した。

収益合計は、11%増加して31,884百万スウェーデン・クローネ(前年度は28,799百万スウェーデン・クローネ)となった。

費用合計は、7%増加して-10,607百万スウェーデン・クローネ(前年度は-9,898百万スウェーデン・クローネ)となった。

純利息収益は、22%すなわち4,198百万スウェーデン・クローネ増加して23,078百万スウェーデン・クローネ(前年度は18,880百万スウェーデン・クローネ)となった。取引額の増加により、純利息収益に1,568百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。利鞘の変動及び資金調達費用の純額により、合計2,470百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。スウェーデンの預金保証制度の手数料は、80百万スウェーデン・クローネ増加して-298百万スウェーデン・クローネ(前年度は-218百万スウェーデン・クローネ)となった。その他の影響は、純利息収益に240百万スウェーデン・クローネ寄与した。

純手数料及びコミッション収益は、-329百万スウェーデン・クローネすなわち4%減少して8,471百万スウェーデン・クローネ(前年度は8,800百万スウェーデン・クローネ)となった。ミューチュアル・ファンド手数料は、-293百万スウェーデン・クローネすなわち6%減少して4,715百万スウェーデン・クローネ(前年度は5,008百万スウェーデン・クローネ)となった。カストディ及びその他の資産管理手数料は、1%減少して654百万スウェーデン・クローネ(前年度は658百万スウェーデン・クローネ)となった。仲介業務及びその他の証券業務の手数料は、31%減少した。貸出金及び預金並びに保証からのコミッション収益は、2%増加した。純コミッションは14%増加して1,256百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,103百万スウェーデン・クローネ)となった。

金融取引による純損益は、合計78百万スウェーデン・クローネ(前年度は480百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる金額の減少は、ハンデルスバンケン・リヴの従来型保険事業に対する繰延資本拠出の-455百万スウェーデン・クローネ(前年度は-48百万スウェーデン・クローネ)の増加により説明される。

その他の収益の項目は、合計258百万スウェーデン・クローネ(前年度は639百万スウェーデン・クローネ)であったが、前年度はクレジットカード・アクワイアラー事業の売却に関連する386百万スウェーデン・クローネの非経常収益を含む。

人件費は、ほぼ横ばいの-4,041百万スウェーデン・クローネ(前年度は-4,035百万スウェーデン・クローネ)となった。平均従業員数は、わずかに増加して3,907名(前年度は3,899名)となった。

その他の費用の項目は、12%増加して-6,565百万スウェーデン・クローネ(前年度は-5,863百万スウェーデン・クローネ)となった。これは主に、IT投資の増加及び事業の進展による。

正味信用損失は、135百万スウェーデン・クローネ(前年度は15百万スウェーデン・クローネ)の正味回収額で構成された。信用損失率は、-0.01%(前年度は0.00%)であった。

リスク税は、-918百万スウェーデン・クローネ(前年度はなし)であり、破綻処理手数料は-740百万スウェーデン・クローネ(前年度は-696百万スウェーデン・クローネ)であった。

## 事業の展開

貸出金の平均額の合計は、7%増加して1,577十億スウェーデン・クローネ(前年度は1,473十億スウェーデン・クローネ)となった。個人への貸出金は、4%増加して976十億スウェーデン・クローネ(前年度は937十億スウェーデン・クローネ)となり、法人への貸出金も、12%増加して602十億スウェーデン・クローネ(前年度は536十億スウェーデン・クローネ)となった。

預金の平均額の合計は、10%増加して875十億スウェーデン・クローネ(前年度は796十億スウェーデン・クローネ)となった。個人からの預金は、9%増加して480十億スウェーデン・クローネ(前年度は439十億スウェーデン・クローネ)となったと同時に、法人からの預金も11%増加して395十億スウェーデン・クローネ(前年度は357十億スウェーデン・クローネ)となった。

スウェーデンのミューチュアル・ファンド市場に占める当行グループのシェアは、12.2%(前年度は12.0%)に増加し、2022年度末において、運用資産の総額は、741十億スウェーデン・クローネ(前年度は833十億スウェーデン・クローネ)であった。

近年、当行グループはスウェーデンのミューチュアル・ファンド市場への純流入において、発行残高の総額に占める当行グループのシェアを上回る、極めて高いシェアを獲得している。2022年度中の当行グループのミューチュアル・ファンドへの純流入は、10.0十億スウェーデン・クローネ(前年度は51.5十億スウェーデン・クローネ)であり、これは市場シェアの53%に相当する。

## ハンデルスバンケン英国

2022年12月31日に終了した事業年度におけるセグメント報告において、ハンデルスバンケン英国は、14の地域で構成される英国における支店業務及び子会社のハンデルスバンケン・ウェルス&アセットマネジメントから成るハンデルスバンケン・ピー・エル・シーにより構成される。各地域の統括はハンデルスバンケン英国の代表に直属する。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年度合計	2021年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	7,580	5,452	39
純手数料及びコミッション収益	807	751	7
金融取引による純損益	248	189	31
その他の収益	14	0	
<b>収益合計</b>	<b>8,649</b>	<b>6,392</b>	<b>35</b>
人件費	-2,693	-2,467	9
その他費用	-789	-1,045	-24
内部購入及び売却されたサービス	-1,076	-912	18
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-313	-316	-1
<b>費用合計</b>	<b>-4,872</b>	<b>-4,740</b>	<b>3</b>
<b>信用損失、リスク税及び破綻処理手数料控除前利益</b>	<b>3,778</b>	<b>1,652</b>	<b>129</b>
正味信用損失	-55	95	
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	10	9	11
<b>営業利益</b>	<b>3,733</b>	<b>1,756</b>	<b>113</b>
利益配分	49	46	7
<b>利益配分後の営業利益</b>	<b>3,781</b>	<b>1,802</b>	<b>110</b>
内部収益	52	-961	
C/I比率(単位：%)	56.0	73.6	
信用損失率(単位：%)	0.01	-0.04	
資産	505,113	488,025	4
負債	484,408	467,478	4
割当済資本	20,705	20,547	1
割当済資本に係る利益率(単位：%)	14.9	7.0	

平均従業員数	2,481	2,509	-1
--------	-------	-------	----

(単位：百万英ポンド)

取引額、英国の平均額	2022年度	2021年度	変動 (単位：%)
一般顧客への貸出金	19,896	20,766	-4
うち個人	6,076	6,563	-7
うち法人	13,820	14,203	-3
一般顧客からの預金	20,080	19,132	5
うち個人	5,770	5,502	5
うち法人	14,310	13,630	5

## 業績

営業利益は、113%すなわち1,977百万スウェーデン・クローネ増加して3,733百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,756百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、営業利益は101%増加した。割当済資本に係る利益率は、14.9%(前年度は7.0%)に改善した。C/I比率は、56.0%(前年度は73.6%)に改善した。

収益合計は、35%増加して8,649百万スウェーデン・クローネ(前年度は6,392百万スウェーデン・クローネ)となった。収益合計への為替の影響は、344百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、収益合計は28%増加した。

費用合計は、3%増加して-4,872百万スウェーデン・クローネ(前年度は-4,740百万スウェーデン・クローネ)となった。-270百万スウェーデン・クローネの為替の影響を調整後、現地通貨では、費用合計は3%減少した。

純利息収益は、39%すなわち2,128百万スウェーデン・クローネ増加して7,580百万スウェーデン・クローネ(前年度は5,452百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響により、純利息収益に291百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。現地通貨では、純利息収益は32%増加した。利鞘の変動及び資金調達費用の純額は、純利息収益を1,808百万スウェーデン・クローネ増加させた。取引額の減少により、-12百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。その他の影響は、純利息収益に41百万スウェーデン・クローネ寄与した。

純手数料及びコミッション収益は、7%増加して807百万スウェーデン・クローネ(前年度は751百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響により、42百万スウェーデン・クローネのプラスの寄与が生じた。現地通貨では、純手数料及びコミッション収益は2%増加した。仲介業務及びアドバイザー・サービスを含むファンド運用事業、カスタディ口座運用事業及び資産運用事業によるコミッション収益は、4%増加して420百万スウェーデン・クローネ(前年度は403百万スウェーデン・クローネ)となった。

人件費は、9%増加して-2,693百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,467百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響を調整後、現地通貨における人件費の増加は3%であった。平均従業員数は、1%減少して2,481名(前年度は2,509名)となった。

その他の費用の項目は、4%減少して-2,178百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,273百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、その他の費用の項目は9%減少した。

正味信用損失は、合計-55百万スウェーデン・クローネ(前年度は95百万スウェーデン・クローネ)であった。信用損失率は、0.01%(前年度は-0.04%)であった。

## 事業の展開

貸出金の平均額の合計は、4%減少して19.9十億英ポンド(前年度は20.8十億英ポンド)となった。個人への貸出金は7%減少して6.1十億英ポンド(前年度は6.6十億英ポンド)となり、法人への貸出金も3%減少して13.8十億英ポンド(前年度は14.2十億英ポンド)となった。

預金の平均額の合計は、5%増加して20.1十億英ポンド(前年度は19.1十億英ポンド)となった。個人からの預金は、5%増加して5.8十億英ポンド(前年度は5.5十億英ポンド)となり、法人からの預金も5%増加して14.3十億英ポンド(前年度は13.6十億英ポンド)となった。

当年度末において、ハンデルスバンケン・ウェルス&アセット・マネジメントにおける運用資産総額は、合計4.1十億英ポンド(前年度は4.4十億英ポンド)であった。当年度中、新規資金流入額は合計-23百万英ポンド(前年度は93百万英ポンド)となった。

## ハンデルスバンケン・ノルウェー

2022年12月31日に終了した事業年度におけるセグメント報告において、ハンデルスバンケン・ノルウェーは、地域銀行及びその支店業務に加え、ノルウェーにおけるスタッフィポテックの業務並びに地域貯蓄及び年金部門により構成されている。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年度合計	2021年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	4,264	3,867	10
純手数料及びコミッション収益	695	656	6
金融取引による純損益	91	55	65
保険リスク	21	11	91
その他の収益	25	26	-4
<b>収益合計</b>	<b>5,096</b>	<b>4,615</b>	<b>10</b>
人件費	-1,028	-908	13
その他費用	-295	-195	51
内部購入及び売却されたサービス	-667	-510	31
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-92	-84	10
<b>費用合計</b>	<b>-2,082</b>	<b>-1,697</b>	<b>23</b>
<b>信用損失、リスク税及び破綻処理手数料控除前利益</b>	<b>3,014</b>	<b>2,918</b>	<b>3</b>
正味信用損失	-152	-150	1
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	6	6	0
リスク税及び破綻処理手数料	-359	-167	115
<b>営業利益</b>	<b>2,509</b>	<b>2,607</b>	<b>-4</b>
利益配分	69	54	28
<b>利益配分後の営業利益</b>	<b>2,578</b>	<b>2,661</b>	<b>-3</b>
内部収益	-3,838	-1,447	-165
C/I比率(単位：%)	40.3	36.3	
信用損失率(単位：%)	0.04	0.06	
資産	321,450	294,510	9
負債	301,089	276,517	9
割当済資本	20,361	17,993	13
割当済資本に係る利益率(単位：%)	10.4	11.4	

平均従業員数	763	742	3
--------	-----	-----	---

(単位：十億ノルウェー・クローネ)

取引額、ノルウェーの平均額	2022年度	2021年度	変動 (単位：%)
一般顧客への貸出金	290.4	277.1	5
うち個人	111.5	106.8	4
うち法人	178.9	170.3	5
一般顧客からの預金	98.6	91.6	8
うち個人	31.0	27.8	12
うち法人	67.7	63.8	6

## 業績

営業利益は、4%減少して2,509百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,607百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、営業利益は9%減少した。2022年度にスウェーデンで導入されたりリスク税及び要求されている通知期間の純利息収益に対する影響を調整後、現地通貨では、営業利益は7%増加した。割当済資本に係る利益率は、10.4%(前年度は11.4%)に減少した。C/I比率は、40.3%(前年度は36.3%)となった。

収益合計は、10%増加して5,096百万スウェーデン・クローネ(前年度は4,615百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は234百万スウェーデン・クローネとなり、現地通貨では、収益合計は5%増加した。

費用合計は、23%増加して-2,082百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,697百万スウェーデン・クローネ)となった。費用合計に対する為替の影響は、-88百万スウェーデン・クローネであった。現地通貨では、費用合計は16%増加したが、これは主にプライベート・マーケットを中心とした、デジタル・カスタマー・ミーティングの改善に焦点を当てたIT投資の増加によるものであった。

純利息収益は、10%増加して4,264百万スウェーデン・クローネ(前年度は3,867百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、192百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、純利息収益は5%増加した。取引額の増加により、202百万スウェーデン・クローネのプラスの寄与が生じた。利鞘の変動及び資金調達費用の純額により、純利息収益は2百万スウェーデン・クローネ増加した。かかる増加には、要求されている通知期間、すなわち個人顧客に対する貸付金利の変更が可能となるまでの6週間の遅延による、-280百万スウェーデン・クローネ(前年度は-33百万スウェーデン・クローネ)のマイナスの影響が含まれている。その他の影響により、純利息収益は1百万スウェーデン・クローネ増加した。

純手数料及びコミッション収益は、6%増加して695百万スウェーデン・クローネ(前年度は656百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は37百万スウェーデン・クローネとなり、現地通貨では、純手数料及びコミッション収益は1%増加した。仲介業務及びアドバイザー・サービスを含むファンド運用事業、カスタディ口座運用事業及び資産運用事業によるコミッション収益は、3%減少して377百万スウェーデン・クローネ(前年度は388百万スウェーデン・クローネ)となった。純コミッションは、33%増加して198百万スウェーデン・クローネ(前年度は149百万スウェーデン・クローネ)となった。

金融取引による純損益は、合計91百万スウェーデン・クローネ(前年度は55百万スウェーデン・クローネ)となった。その他の収益の項目は、合計46百万スウェーデン・クローネ(前年度は37百万スウェーデン・クローネ)となった。

人件費は、13%増加して-1,028百万スウェーデン・クローネ(前年度は-908百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、増加は7%となった。平均従業員数は、3%増加して763名(前年度は742名)となった。

その他の費用の項目は、34%増加して-1,054百万スウェーデン・クローネ(前年度は-789百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、増加は27%となった。

正味信用損失は、-152百万スウェーデン・クローネ(前年度は-150百万スウェーデン・クローネ)となった。信用損失率は、0.04%(前年度は0.06%)であった。

リスク税は、-174百万スウェーデン・クローネ(前年度はなし)となり、破綻処理手数料は-185百万スウェーデン・クローネ(前年度は-167百万スウェーデン・クローネ)となったが、そのうち為替の影響は-10百万スウェーデン・クローネであった。

## 事業の展開

貸出金の平均額の合計は、5%増加して290.4十億ノルウェー・クローネ(前年度は277.1十億ノルウェー・クローネ)となった。個人への貸出金は、4%増加して111.5十億ノルウェー・クローネ(前年度は106.8十億ノルウェー・クローネ)となり、法人への貸出金も、5%増加して178.9十億ノルウェー・クローネ(前年度は170.3十億ノルウェー・クローネ)となった。

預金の平均額の合計は、8%増加して98.6十億ノルウェー・クローネ(前年度は91.6十億ノルウェー・クローネ)となった。個人からの預金は、11%増加して31.0十億ノルウェー・クローネ(前年度は27.8十億ノルウェー・クローネ)となり、法人からの預金も、6%増加して67.7十億ノルウェー・クローネ(前年度は63.8十億ノルウェー・クローネ)となった。

当年度において、ノルウェーにおける当行のミューチュアル・ファンドへの純流入は、合計-3.2十億スウェーデン・クローネ(前年度は2.0十億スウェーデン・クローネ)となった。運用資産合計は、35十億スウェーデン・クローネ(前年度は41十億スウェーデン・クローネ)であった。

## ハンデルスバンケン・ネザーランド

2022年12月31日に終了した事業年度におけるセグメント報告において、ハンデルスバンケン・ネザーランドは、オランダにおける地域銀行及びその支店業務に加え、オプティムクス・ベルモーゲンズベヒールにおける資産運用事業により構成されている。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年度合計	2021年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	1,354	1,076	26
純手数料及びコミッション収益	147	224	-34
金融取引による純損益	21	32	-34
その他の収益	1	0	
<b>収益合計</b>	<b>1,523</b>	<b>1,332</b>	<b>14</b>
人件費	-442	-395	12
その他費用	-94	-76	24
内部購入及び売却されたサービス	-241	-176	37
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-54	-50	8
<b>費用合計</b>	<b>-832</b>	<b>-697</b>	<b>19</b>
<b>信用損失、リスク税及び破綻処理手数料控除前利益</b>	<b>691</b>	<b>635</b>	<b>9</b>
正味信用損失	0	-5	-100
リスク税及び破綻処理手数料	-81	-31	161
<b>営業利益</b>	<b>610</b>	<b>599</b>	<b>2</b>
利益配分	0	1	-100
<b>利益配分後の営業利益</b>	<b>610</b>	<b>600</b>	<b>2</b>
内部収益	-453	-401	-13
C/I比率(単位：%)	54.6	52.3	
信用損失率(単位：%)	0.00	0.01	
資産	128,633	111,145	16
負債	124,999	108,132	16
割当済資本	3,634	3,013	21
割当済資本に係る利益率(単位：%)	14.4	16.7	
平均従業員数	357	337	6

(単位：百万ユーロ)

取引額、オランダの平均額	2022年度	2021年度	変動 (単位：%)
一般顧客への貸出金	8,177	6,799	20
うち個人	4,723	3,935	20
うち法人	3,453	2,864	21
一般顧客からの預金	3,982	2,917	37
うち個人	673	500	35
うち法人	3,308	2,417	37

## 業績

営業利益は、2%改善して610百万スウェーデン・クローネ(前年度は599百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、営業利益は3%減少した。この減少は、2022年度に導入されたスウェーデンのリスク税及び(オプティミクスにおける)資産運用報酬の減少に起因している。これらの項目を調整後、営業利益は19%増加した。割当済資本に係る利益率は14.4%(前年度は16.7%)であり、C/I比率は54.6%(前年度は52.3%)であった。

収益合計は、14%増加して1,523百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,332百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、収益合計の増加は9%であった。

費用合計は、19%増加して-832百万スウェーデン・クローネ(前年度は-697百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、費用合計は14%増加したが、これは主にIT開発の増加及び事業の成長によるものであった。

純利息収益は、26%増加して1,354百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,076百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、50百万スウェーデン・クローネとなり、現地通貨では、純利息収益は20%増加した。取引額の増加により、純利息収益に210百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。利鞘の変動及び資金調達費用の純額により、純利息収益は14百万スウェーデン・クローネ増加した。その他の影響により、純利息収益は5百万スウェーデン・クローネ増加した。

純手数料及びコミッション収益は、34%減少して147百万スウェーデン・クローネ(前年度は224百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、11百万スウェーデン・クローネとなり、現地通貨では、純手数料及びコミッション収益は38%減少した。仲介業務及びアドバイザー・サービスを含むファンド運用、カスタディ口座管理及び資産管理事業によるコミッション収益は30%減少して150百万スウェーデン・クローネ(前年度は215百万スウェーデン・クローネ)となり、これはオプティミクスの運用報酬が4百万スウェーデン・クローネ(前年度は81百万スウェーデン・クローネ)に減少したことに起因する。

人件費は、12%増加して-442百万スウェーデン・クローネ(前年度は-395百万スウェーデン・クローネ)となり、現地通貨では7%増加した。平均従業員数は、6%増加して357名(前年度は337名)となった。

その他の費用の項目は、29%増加して合計-389百万スウェーデン・クローネ(前年度は-302百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、23%の増加に相当し、これは主にIT開発及び金融犯罪防止業務に係る費用の増加並びに事業の成長に起因する。

正味信用損失は、合計で0百万スウェーデン・クローネ(前年度は-5百万スウェーデン・クローネ)となった。信用損失率は、0.00%(前年度は0.01%)であった。

リスク税は、-46百万スウェーデン・クローネ(前年度はなし)となり、破綻処理手数料は-35百万スウェーデン・クローネ(前年度は-31百万スウェーデン・クローネ)となったが、そのうち為替の影響は-2百万スウェーデン・クローネであった。

## 事業の展開

貸出金の平均額の合計は、20%増加して8.2十億ユーロ(前年度は6.8十億ユーロ)となった。個人への貸出金は、20%増加して4.7十億ユーロ(前年度は3.9十億ユーロ)となり、法人への貸出金も、21%増加して3.4十億ユーロ(前年度は2.9十億ユーロ)となった。

預金の平均額の合計は、37%増加して4.0十億ユーロ(前年度は2.9十億ユーロ)となった。個人からの預金は、35%増加して0.7十億ユーロ(前年度は0.5十億ユーロ)となり、法人からの預金は、37%増加して3.3十億ユーロ(前年度は2.4十億ユーロ)となった。

オプティミクスにおける運用資産は、当年度末現在、自社のミューチュアル・ファンドを含め、合計で1.9十億ユーロ(前年度は2.0十億ユーロ)となった。

## ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット

2022年12月31日に終了した事業年度におけるセグメント報告において、市場部門及び国際銀行の事業分野で構成されている。市場部門は、リスク管理、有価証券、デリバティブ、研究、デット・キャピタル・マーケット、コーポレート・ファイナンス及び取引銀行に関連する商品及びサービスを提供する。国際銀行は、ニューヨーク及びルクセンブルクより行われる国際業務並びに金融インフラから構成されている。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年度合計	2021年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	301	245	23
純手数料及びコミッション収益	771	786	-2
金融取引による純損益	1,131	1,185	-5
その他の収益	9	9	0
<b>収益合計</b>	<b>2,212</b>	<b>2,225</b>	<b>-1</b>
人件費	-1,143	-1,211	-6
その他費用	-326	-361	-10
内部購入及び売却されたサービス	-344	-317	9
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-147	-233	-37
<b>費用合計</b>	<b>-1,959</b>	<b>-2,122</b>	<b>-8</b>
<b>信用損失、リスク税及び破綻処理手数料控除前利益</b>	<b>253</b>	<b>103</b>	<b>146</b>
正味信用損失	-13	11	
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	0	-10	
リスク税及び破綻処理手数料	-33	-22	50
<b>営業利益</b>	<b>206</b>	<b>82</b>	<b>151</b>
利益配分	-531	-434	22
<b>利益配分後の営業利益</b>	<b>-324</b>	<b>-352</b>	<b>-8</b>
内部収益	615	-362	
C/I比率(単位：%)	116.5	118.5	
信用損失率(単位：%)	0.06	-0.01	
資産	48,680	94,050	-48
負債	46,607	91,475	-49
割当済資本	2,073	2,575	-19
割当済資本に係る利益率(単位：%)	-11.5	-11.8	

平均従業員数	585	647	-10
--------	-----	-----	-----

## 業績

営業利益は、206百万スウェーデン・クローネ(前年度は82百万スウェーデン・クローネ)に増加したが、これは費用の減少によるものであった。

収益合計は、2,212百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,225百万スウェーデン・クローネ)となった。純手数料及びコミッション収益は、2%減少して771百万スウェーデン・クローネ(前年度は786百万スウェーデン・クローネ)となった。金融取引による純損益は、5%減少して1,131百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,185百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主にエネルギー価格の上昇及びインフレ率の上昇を含む、地政学的状況を受けて生じた不確実性及び混乱によるものであった。

費用合計は、8%減少して-1,959百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,122百万スウェーデン・クローネ)となった。

人件費は、6%減少して-1,143百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,211百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは従業員数の減少によるものであった。平均従業員数は、10%減少して585名(前年度は647名)となった。

その他の費用の項目は、10%減少して-817百万スウェーデン・クローネ(前年度は-911百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に国際業務のリストラクチャリングによるものであった。セグメントのその他の部分においても、費用の減少が報告された。

リスク税及び破綻処理手数料は、合計-33百万スウェーデン・クローネ(前年度は-22百万スウェーデン・クローネ)となった。

正味信用損失は-13百万スウェーデン・クローネ(前年度は11百万スウェーデン・クローネ)となり、信用損失率は、0.06%(前年度は-0.01%)であった。

## 事業の展開

2022年度中、当行は13.3十億ユーロ(前年度は16.6十億ユーロ)に上る115(前年度は128)の社債発行のアレンジを行い、そのうちグリーン・ボンド及びサステナビリティ・リンク・ボンドは3.6十億ユーロ(前年度は3.4十億ユーロ)すなわち27%(前年度は20%)を占めた。資本市場及び銀行融資において、サステナビリティ・リンク融資及びグリーン融資に対する顧客の関心は引き続き非常に高かった。

## 事業セグメントに含まれないその他の部門

以下は、グループIT部、本社スタッフ業務及びオクトゴーネン利益分配制度への引当金を含む、事業セグメントに計上されていない部門に帰属する収益及び費用項目である。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2022年度合計	2021年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	32	801	-96
純手数料及びコミッション収益	213	241	-12
金融取引による純損益	-457	-242	89
関連会社及びジョイント・ベンチャーの持分利益	-13	63	
その他の収益	1,111	51	
<b>収益合計</b>	<b>885</b>	<b>914</b>	<b>-3</b>
人件費	-3,778	-3,267	16
その他費用	-3,525	-2,684	31
内部購入及び売却されたサービス	6,959	6,204	12
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-601	-726	-17
<b>費用合計</b>	<b>-944</b>	<b>-473</b>	<b>100</b>
<b>信用損失、リスク税及び破綻処理手数料控除前利益</b>	<b>-60</b>	<b>441</b>	
正味信用損失	38	-9	
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	-2	0	
リスク税及び破綻処理手数料	-180	-14	
<b>営業利益</b>	<b>-203</b>	<b>418</b>	
利益配分	39	37	5
<b>利益配分後の営業利益</b>	<b>-164</b>	<b>455</b>	
内部収益	1,897	3,516	-46
資産	2,688,331	2,535,178	6
負債	2,673,717	2,520,023	6
割当済資本	14,614	15,155	-4
平均従業員数	2,861	2,905	-2

## 業績

営業利益は、-203百万スウェーデン・クローネ(前年度は418百万スウェーデン・クローネ)であった。

収益合計は、885百万スウェーデン・クローネ(前年度は914百万スウェーデン・クローネ)に減少した。純利息収益は、合計32百万スウェーデン・クローネ(前年度は801百万スウェーデン・クローネ)となった。前年度における純利息収益の増加は、主に融資関連の純利息収益に占める各セグメントへの配分比率が低下したことに起因する。

不動産売却により、その他の収益は1,111百万スウェーデン・クローネ(前年度は51百万スウェーデン・クローネ)に増加した。

費用合計は、合計-944百万スウェーデン・クローネ(前年度は-473百万スウェーデン・クローネ)となった。この増加は、主に2022年第4四半期に償還請求権を行使しなかったために年金に係る給与税が増加したこと及びオクトゴーネン利益分配制度に対する予備的な引当金が増加したことによるもので、その金額は-249百万スウェーデン・クローネ(前年度は-48百万スウェーデン・クローネ)であった。

不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損損失は、17%減少して-601百万スウェーデン・クローネ(前年度は-726百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に前年度におけるITシステムの減損によるものであった。

平均従業員数は、2%減少して2,861名(前年度は2,905名)となり、IT部の従業員数は、合計1,877名(前年度は1,921名)となった。

**4【経営上の重要な契約等】**

該当事項なし。

**5【研究開発活動】**

該当事項なし。

## 第4【設備の状況】

### 1【設備投資等の概要】

該当事項なし。

### 2【主要な設備の状況】

スウェーデン法の下で、銀行は一般に銀行の建物及び銀行の社員に居住設備を提供するためのもの以外の不動産を期間の制限なく所有することが認められていない。2022年12月31日現在、当行グループはスウェーデンに10の不動産を有していた。これらは、一部に支店業務も含まれていたものの、主として本店オフィス、情報テクノロジー及び記録保管の目的で使用されていた。

### 3【設備の新設、除却等の計画】

該当事項なし。

## 第5【提出会社の状況】

## 1【株式等の状況】

## (1)【株式の総数等】

## 【株式の総数】

A種株式

(2023年6月20日現在)

授権株数(株)	発行済株式総数(株)	未発行株式数(株)
6,000,000,000	1,944,777,165	4,055,222,835

B種株式

(2023年6月20日現在)

授権株数(株)	発行済株式総数(株)	未発行株式数(株)
150,000,000	35,251,329	114,748,671

## 【発行済株式】

(2023年6月20日現在)

記名・無記名の別及び 額面・無額面の別	種類	発行数(株)	上場金融商品 取引所名又は 登録認可金融商品 取引業協会名	内容
無記名式 割当価額 <sup>1</sup>	A種株式	1,944,777,165	ナスダック ストック ホルム	A種株式1株につき、 1個の議決権が 付与される。
無記名式 割当価額 <sup>1</sup>	B種株式	35,251,329	ナスダック ストック ホルム	B種株式1株につき、 10分の1個の議決権 が付与される。
計	-	1,980,028,494	-	-

<sup>1</sup> 割当価額は、以下の算式に基づき計算される。

(株式資本残高 / 発行済株式数)

## (2)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

## (3)【発行済株式総数及び資本金の推移】

## ( )A種株式

(2023年6月20日現在)

年月日	発行済株式 総数増減数(株)	発行済株式 総数残高(株)	株式資本増減額 (スウェーデン・ クローネ)	株式資本残高 (スウェーデン・ クローネ)	摘要
-----	-------------------	------------------	------------------------------	-----------------------------	----

2019年12月20日	25,032	1,944,777,165	38,799.60	3,014,404,605.75	転換権の行使
2019年12月10日	556,847	1,944,752,133	863,112.85	3,014,365,806.15	転換権の行使
2019年11月25日	3,636	1,944,195,286	5,635.80	3,013,502,693.30	転換権の行使
2019年11月25日	319,593	1,944,191,650	495,369.15	3,013,497,057.50	転換権の行使
2019年11月8日	1,876,440	1,943,872,057	2,908,482.00	3,013,001,688.35	転換権の行使
2019年10月22日	383,465	1,941,995,617	594,370.75	3,010,093,206.35	転換権の行使
2019年10月9日	2,931,954	1,941,612,152	4,544,528.70	3,009,498,835.60	転換権の行使
2019年9月20日	18,410,601	1,938,680,198	28,536,431.55	3,004,954,306.90	転換権の行使
2019年9月10日	235,479	1,920,269,597	364,992.45	2,976,417,875.35	転換権の行使
2019年8月23日	128,067	1,920,034,118	198,503.85	2,976,052,882.90	転換権の行使
2019年8月8日	139,572	1,919,906,051	216,336.60	2,975,854,379.05	転換権の行使
2019年7月23日	3,782,502	1,919,766,479	5,862,878.10	2,975,638,042.45	転換権の行使
2019年7月9日	119,398	1,915,983,977	185,066.90	2,969,775,164.35	転換権の行使
2019年6月25日	2,413	1,915,864,579	3,740.15	2,969,590,097.45	転換権の行使
2019年6月25日	238,572	1,915,862,166	369,786.60	2,969,586,357.30	転換権の行使
2019年6月10日	994,419	1,915,623,594	1,541,349.45	2,969,216,570.70	転換権の行使
2019年5月24日	5,705,344	1,914,629,175	8,843,283.20	2,967,675,221.25	転換権の行使

2018年5月15日	1,609	1,908,923,831	2,493.95	2,958,831,938.05	転換権の行使
------------	-------	---------------	----------	------------------	--------

## ( )B種株式

(2023年6月20日現在)

年月日	発行済株式 総数増減数(株)	発行済株式 総数残高(株)	株式資本増減額 (スウェーデン ・クローネ)	株式資本残高 (スウェーデン ・クローネ)	摘要
2015年5月19日	23,500,886	35,251,329	0	54,639,559.95	1株につき3株 の割合による 株式分割

## (4)【所有者別状況】

当行は、160,000名超の株主を有している。株主の3分の2強は、1,001株未満の所有者であった。株主の約2%が、それぞれ20,001株超の株式を所有しており、かかる株主は合計で株式資本の90%を所有していた。

以下の表は、当行の株式の所有株式数別の内訳を示している。

(2022年12月31日現在)

株主毎の所有株式		所有株式			
株式数	株主数	A種株式数	B種株式数	株式資本割合(%)	議決権割合(%)
1-500株	94,784	10,124,236	4,033,008	0.7	0.5
501-1,000株	21,347	13,106,856	3,510,239	0.8	0.7
1,001-5,000株	32,815	67,268,659	10,007,984	3.9	3.5
5,001-20,000株	9,828	84,376,291	7,974,691	4.7	4.4
20,001株以上	2,468	1,769,901,123	9,725,407	89.9	90.9
<b>合計</b>	<b>161,242</b>	<b>1,944,777,165</b>	<b>35,251,329</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>

## (5)【大株主の状況】

以下の表において、保管銀行は通常は実際の株主ではなく、株主が複数の保管銀行を通じて所有している可能性がある。

(2022年12月31日現在)

名称	住所	A種株式数	資本合計に 対する割合 (%)	議決権合計に 対する割合 (%)
インダストリーヴァルデン・インベスト・ エイ・ビー	スウェーデン	221,200,000	11.2	11.4
ステート・ストリート・バンク・アンド・ トラスト・コー、W9*	米国	208,968,590	10.6	10.7

オクトゴーネン、スティフテルセン	スウェーデン	161,475,141	8.2	8.3
JPモルガン・チェース・バンク・エヌ・エイ、 W9*	米国	137,033,616	6.9	7.0
バンク・オブ・ニューヨーク・メロン、W9*	米国	86,425,869	4.4	4.4
ノーザン・トラスト・カンパニー、 ロンドン支店*	英国	61,071,262	3.1	3.1
ランドバーグフォレターゲン・エイ・ビー、LE	スウェーデン	58,000,000	2.9	3.0
バンク・オブ・ニューヨーク・メロン SA/NV、 W81MY*	ベルギー	47,095,623	2.4	2.4
J.P.モルガン・エス・イー、ルクセンブルク支 店、W81MY/NQI*	ルクセンブルク	26,660,267	1.3	1.4
HSBCバンク・ピー・エル・シー、W81MY*	英国	23,139,565	1.2	1.2
A種株式合計		1,944,777,165	98.2	99.8

\*を付した主体は、一又は複数の株主が当該主体を通じて当行の株式を所有しているものと想定される主体である。

名称	住所	B種株式数	資本合計に 対する割合 (%)	議決権合計に 対する割合 (%)
アヴァンザ・ペンション	スウェーデン	1,116,265	0.06	0.006
JPモルガン・チェース・バンク・エヌ・エイ、 W9*	米国	649,414	0.03	0.003
バンク・オブ・ニューヨーク・メロン SA/NV、 W8IMY*	ベルギー	432,255	0.02	0.002
ステート・ストリート・バンク・アンド・ トラスト・コー、W9*	米国	366,239	0.02	0.002
スティフト・エディット及びエリック・ フェーンストレームス	スウェーデン	278,590	0.01	0.001
ノルドネット・ペンションフォルシェクリン・エ イ・ビー	スウェーデン	183,412	0.01	0.001
スウェドバンク・フォルシェクリン	スウェーデン	180,808	0.01	0.001
スカンディア保険会社 (プブリクト)	スウェーデン	161,521	0.01	0.001
バンク・オブ・ニューヨーク・メロン、W9*	米国	155,178	0.01	0.001
バーグ・アンダース・E	スウェーデン	136,119	0.01	0.001
B種株式合計		35,251,329	1.8	0.2

\*を付した主体は、一又は複数の株主が当該主体を通じて当行の株式を所有しているものと想定される主体である。

## 2【配当政策】

### 配当政策

配当に関して当行の方針は、資本比率がSFSAにより伝達された資本要件を1パーセント・ポイント上回る水準より低くなるような配当水準にしてはならない、というものである。スウェーデンにおける慣例として、当行は、年に1回株主に対して配当を支払う。一株当たりの配当額は、当行の取締役会により提案され、当行の年次株主総会で承認される。

### 配当

2022年3月23日開催の年次株主総会において、株主により一株当たり5.00スウェーデン・クローネの普通配当支払いが決定された。配当総額は、9,900百万スウェーデン・クローネとなった。

2023年3月22日開催の年次株主総会において、株主により一株当たり5.50スウェーデン・クローネの普通配当及び一株当たり2.50スウェーデン・クローネの特別配当の支払いが決定された。配当総額は、15,840百万スウェーデン・クローネとなった。

## 3【コーポレート・ガバナンスの状況等】

### (1)【コーポレート・ガバナンスの概要】

#### 当行のコーポレート・ガバナンス

当行グループのコーポレート・ガバナンスは、明確で目的に適った組織構造を構築することを目指している。かかる組織構造は、健全かつ効果的な方法で、発生するリスクの効率的な監視及び管理を促進する外部及び内部の規則に則り業務が遂行されることを確保する。明確な責任の分担は、内部統制、リスク管理及びコンプライアンスに関する当行のニーズを満たすとともに、事業の面においては、可能な限り最善の方法で業務が遂行されることを可能にするための鍵となる。優れたガバナンスはすべての業務に通じるものでなければならず、したがって、それは当行グループの全従業員に影響を及ぼす。

ガバナンスの中心は、取締役会及び最高経営責任者が発する目標及び運営文書である。当行の企業文化、運営方式及び報酬制度も、事業を行う上で生じるあらゆるリスクを管理する能力と同様に、効果的なコーポレート・ガバナンスを確保するために重要である。リスク管理の詳細については下記「第6-1-(1) 連結財務書類 - 注記G2」を参照のこと。

## コーポレート・ガバナンス・コードの適用

当行はコーポレート・ガバナンス・コードに逸脱することなく準拠している。かかるコードは、スウェーデンのコーポレート・ガバナンス委員会のウェブサイト (bolagsstyrning.se) で公開されている。

## 規則

スウェーデンの銀行業務は法律により規制されており、銀行業務はSFSAからの許認可がある場合にのみ実施することができる。銀行業務の規制は広範囲に及ぶ。

かかる規制の中で最も主要なものには、以下が含まれる。

- ・会社法
- ・銀行法
- ・証券市場法
- ・欧州議会・欧州理事会規制(EU)575/2013
- ・スウェーデンの金融機関及び投資機関の特別監督に関する法律(2014:968)
- ・スウェーデン・マネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与対策法(lag(2017:630))
- ・ミューチュアル・ファンド及び保険事業に関する広範囲に及ぶ規制

SFSAの規制には、信用機関における統治、リスク管理及びリスク統制に関する規制及び一般的な指針並びに証券業及び保険業に関する規則が含まれる。

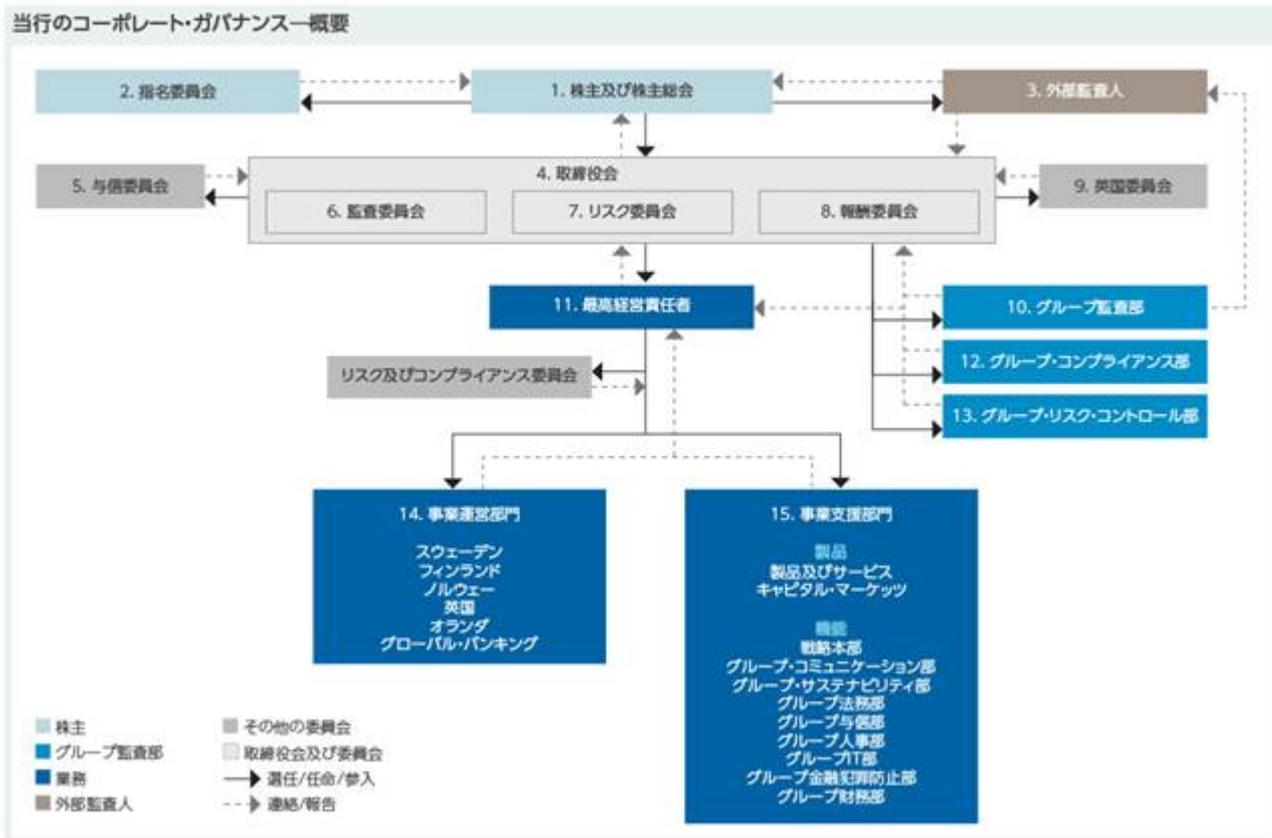
主要な規制の一覧は、SFSAのウェブサイトで公開されている。

当行グループの主な方針において、スウェーデン国外における業務は、受入国の規則がスウェーデン国内の規則よりも厳格であるか又はスウェーデンの規則からの逸脱が必要となる場合には、スウェーデン国内の規則と受入国の規則の両方に服する。

SFSAは、スウェーデン及び当行が支店を置く(言い換えれば、国外業務がスウェーデンの法人である当行の業務の一環として行われている)その他の国々における当行の業務を幅広く監督している。規制当局の業務は、SFSAの主導により、当行の監督部門に組み込まれている。他の国々におけるSFSAに相当する規制当局は、支店の業務に対しては限定的な監督を行っている。しかし、各国内の子会社に対しては網羅的な監督を行っている。

SFSAは、当行の組織、意思決定構造及び内部統制等の様々な事項に関する報告を要求する。SFSAの業務には、当行の様々な部門を現地で体系的に視察することも含まれる。この業務の目的は、与えられた許認可及びその他の細則の条件を当行が実際に遵守しているかを調査することである。

## コーポレート・ガバナンスの体制



### 当行のコーポレート・ガバナンス - 概要

上記の表は、当行のコーポレート・ガバナンスの概略を示している。株主は、株主総会において意思決定を行う。特定の議題については、株主の意思決定は、指名委員会により準備される。株主は、取締役会を任命し、次に取締役会は日常的な業務を運営する最高経営責任者を任命する。取締役会(当行において、中央委員会と呼ばれる。)は、様々な委員会で構成されている。2022年度中、当行の統治において、業務執行経営陣は最高経営責任者を支援した。現在の業務執行経営陣については、下記「(2)役員の状況」に記載されている。また当行には、最高経営責任者直属の事業運営部門及び事業支援部門がある。さらに、株主は年次株主総会で任命された監査人を通じて統制を行う。

#### 1. 株主及び株主総会

株主は、当行の最高意思決定機関である株主総会において当行に関連する事項を決定する権限を行使する。年次株主総会は、毎年開催され、そこでは主に取締役会、取締役会会長及び監査人の任命が行われる。年次株主総会において、当行の株主は、当行の統治に特に重要な事項についての様々な決定を行う。株主の決定には、以下の事項が含まれる。

- ・ 損益計算書及び貸借対照表の承認
- ・ 利益処分
- ・ 過去の事業年度に対する取締役会及び最高経営責任者の責任の免除
- ・ 当行の取締役の人数の決定、当行の取締役及び当行の監査人の任命
- ・ 取締役及び監査人への報酬額の決定
- ・ 執行役員への報酬についての指針

## 2．指名委員会

指名委員会の役割は、取締役会会長及びその他の取締役会の構成員の指名、並びに取締役会会長及びその他の取締役会の構成員の報酬に関する提案を準備し、年次株主総会に提出することである。スウェーデンコーポレート・ガバナンス・コードに規定されているように、指名委員会は監査人の指名及び監査人の報酬についての提案も行う。年次株主総会は、指名委員会がどのように任命されるかについて決定する。

## 3．取締役会

取締役会は当行の組織に対して責任を有し、株主に代わって当行の業務処理を行う。取締役会は、継続的に当行の財政状態を査定し、会計記録、資金管理及び当行の財政状態のその他の側面が十分に統制されるように、当行が組織化されていることを確保しなければならない。取締役会は、これをどのように実施すべきかについての方針及び指針を設定し、取締役会のための手続規則を定め、また最高経営責任者のための指針も定める。

これらの中央運営文書には、取締役会全体、委員会、取締役会会長及び最高経営責任者間において、責任及び権限がどのように割り当てられているかについて記載している。取締役会は、最高経営責任者、エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント、最高リスク管理責任者、最高コンプライアンス責任者及び最高監査責任者を任命し、また取締役会はこれらの者の雇用条件も決定する。取締役会会長は取締役会の業務査定に責任を負い、査定結果を指名委員会に報告する。

## 4．与信委員会

取締役会は、取締役会がその他の部門に委任した決定限度額を超える与信案件について決定を行う与信委員会を設立する。しかしながら、特別な重要案件並びに取締役及び経営陣の与信は取締役会全体によって決定が行われる。

## 5．リスク委員会

取締役会のリスク委員会は、当行グループのリスク統制及びリスク管理の有効性を監視する。当委員会は、当行のリスク戦略及びリスク許容度等に関する決定を準備し、グループ・コンプライアンス部及びグループ・リスク・コントロール部からの報告書を審査する。また当委員会は、IRB手法に関連する当行のリスクの分類及び推定プロセスの重要な部分に関する決定を含む意思決定を独立して行っている。

## 6．報酬委員会

取締役会の報酬委員会は、当行の執行役員の雇用条件を、現行の市場相場と照らして審査する。また当委員会の役割には、執行役員の報酬に関するガイドラインについての年次株主総会への取締役会の提案を準備すること、これらのガイドラインの適用に関して監視及び評価を行うこと、並びに執行役員及び最高監査責任者の報酬及びその他の雇用条件に対する取締役会の決定を準備することも含まれる。また当委員会は、当行の報酬方針及び報酬制度について、評価を行っている。

## 7．英国委員会

取締役会の英国委員会は、ハンデルスバンケン・ピー・エル・シーにおける業務の体系的かつ継続的なフォローアップを促進している。取締役会の委員及び業務執行経営陣から選出された構成員は、かかる委員会に参加する。

## 8．最高経営責任者

最高経営責任者は、当行グループの日常的な運営指揮をとるために取締役会により任命される。取締役会からの指示に加え、最高経営責任者は会社法並びに特に当行の会計、資金管理及び運営管理に関するその他多数の法律の規定を遵守することが義務付けられている。

## 9．グループ・コンプライアンス部

グループ・コンプライアンス部は、コンプライアンスの監視及び確認、コンプライアンスを確保するために事業上講じられるべき措置に関する助言及び支援の提供、並びに重大な欠陥及びリスクの報告を行う責任を負っている。最高コンプライアンス責任者は、最高経営責任者に直属し、グループ・コンプライアンス部長を務める。グループ・コンプライアンス部は、監視及び統制される機能及び分野から独立し、組織的に分離されている。最高コンプライアンス責任者は、コンプライアンスに関する事項について定期的に最高経営責任者に報告するとともに、四半期毎にリスク委員会及び取締役会にも報告を行う。

## 10．グループ・リスク・コントロール部

グループ・リスク・コントロール部は、当行グループにおけるリスク統制に責任を負っており、当行グループのすべての主要なリスクを集約して監視し報告を行う責任を負う。当該責任には、信用リスク及び市場リスク(金利リスク、為替リスク、株価リスク及びコモディティ価格リスク)、オペレーショナル・リスク及び流動性リスク、並びに当行グループの報酬制度に関するリスクが含まれる。最高リスク管理責任者は、最高経営責任者に対して直接報告を行い、独立して活動し、審査対象業務から分離されている。最高リスク管理責任者は、最高経営責任者に対して継続的に報告を行い、リスク委員会及び取締役会に対しては定期的に報告を行う。

## 11．事業運営部門

当行グループは、複数の国で事業を展開している。各国にはカントリー・ゼネラル・マネージャーがおり、当該国における当行の事業活動の全体的な責任を負う。この責任には、製品及びサービスの流通責任並びに顧客責任も含まれる。

## 12．事業支援部門

当行には、当行グループ全体について責任を負う事業支援部門が複数存在する。

### 製品

プロダクト・マネージャーは、特定の製品分野に対する事業支援の中心を担っている。製品責任には、当行グループ全体の承認プロセスに従った、製品及びサービスの開発、管理及び段階的廃止、並びに製品及びサービスの流通の調整及び支援が含まれる。

### 機能

ファンクション・マネージャーは、特定の分野に対し、当行グループ全体について責任を負う。機能責任には、当該分野の業務が十分に機能し、内部及び外部の規則及び規制に従って業務が行われることの確保が含まれる。この責任には、当該分野に係る指針及び支援を提供することも含まれる。

## 保険契約の概要

業務の遂行に関連して、2種類の保険契約が設定されている。まず、専門業務賠償責任保険は、顧客に提供した当行グループの専門的なサービスに対して、顧客が当行グループ又は従業員に補償を請求した場合の損害を填補する。これらの請求は通常、スタッフ個人に対して直接ではなく、当行グループに対して行われるものであるため、免責水準が設定されている。

かかる保険契約を補完するため、当行グループは役員等賠償責任保険契約を締結しており、当行グループがかかる保険料の全額を負担している。被保険者は、当行グループのすべての取締役、監査役、執行役員及びエグゼクティブフェローに加え、当行グループを代理して行動した場合に個人的責任を負う可能性のあるその他の者である。当該契約は、これらの地位において行われた行為に起因する損失の補填及び紛争の費用を補償範囲に含む。当該契約は補償範囲が広く、現地の法律に基づき支払いが合法である場合には支払いが認められる。また当該契約は、犯罪捜査に伴う費用も補償範囲に含むが、従業員が有罪となった場合、保険会社は支払った補償金の返還を要求する権利を有する。補償の範囲が広いとはいえ、適用範囲にはいくつかの制約がある。

### (2) 【役員の状況】

当行の運営に関する全体的な責任は、取締役会に委任されている。銀行法により、銀行は3名以上の構成員から成る取締役会を設置しなければならない。当行の定款の規定に従い、株主は年次株主総会において8名以上15名以下の取締役会の構成員全員を選出することができる。一定の規模のスウェーデン企業に影響のある特別立法に基づき、当行の従業員は、2名の取締役会の構成員を追加で任命する権利を有し、2名の常任構成員及び2名の代理人を取締役会の従業員代表に任命することによりこの権利を行使した。

取締役会は、現在12名の取締役で構成されている。10名は年次株主総会により選出され、2名の常任メンバーは従業員団体により選出された。取締役会は、通常暦年中に少なくとも9回会合し、その他必要がある場合、主要な政策及び展開、多額の貸付提案並びにその他の関連事業を検討するため会合する。

当行のグループ最高経営責任者としての頭取は、取締役会の政策実行、当行グループの事業の主導に責任を負う。

取締役会の構成員等は、以下のとおりである。

男性の数：5名、女性の数：7名(女性の比率58%)

氏名 (生年)	当行における 役職 (取締役会への 選出年)	地位及び主要な活動	2022年度の報酬 <sup>1</sup>
パール・ボーマン (1961年)	会長 (2006年)	スヴェンスカ・セルローサ・エイ・ビーSCA及びエシティ・エイ・ビーの会長。エイ・ビー・インドゥストリーヴァルデンの副会長。スカンスカ・エイ・ビーの取締役。	5,650,000 スウェーデン ・クローネ
フレデリック・ランドバーク (1951年)	副会長 (2002年)	LEランドバークフォレターゲン・エイ・ビーの社長兼最高経営責任者。ホルメン・エイ・ビー、ホフレッドストーダン・エイ・ビー、エイ・ビー・インドゥストリーヴァルデンの会長。LEランドバークフォレターゲン・エイ・ビー、スカンスカ・エイ・ビーの取締役。	1,480,000 スウェーデン ・クローネ

ジョン・フレデリック・バクサーズ (1954年)	取締役 (2003年)	DNVGLの会長。テレフォクティーボラーゲLM エリクソンの取締役。	1,870,000 スウェーデン ・クローネ
ヘリアン・バルネコウ (1964年)	取締役 (2022年)	GNストア・ノード及びヴォヤドの取締役。	745,000 スウェーデン ・クローネ
スティナ・バーグフォース (1972年)	取締役 (2021年)	エイチ・アンド・エム ヘネス・アンド・マウ リッツ及びテレ2の取締役。	1,185,000 スウェーデン ・クローネ
ハンス・ベオーク (1951年)	取締役 (2018年)	スカンスカ・エイ・ビーの会長。	2,205,000 スウェーデン ・クローネ
シャスティン・ヘシウス (1958年)	取締役 (2016年)	ヘムソ・ファスティゲット・エイ・ビーの取 締役。	1,290,000 スウェーデン ・クローネ
ウルフ・リーズ (1959年)	取締役 (2020年)	-	2,505,000 スウェーデン ・クローネ
アルヤ・ターベニク (1968年)	取締役 (2020年)	スウェンスカ・ハンデルスファスティゲ ター・エイ・ビー、ポーラーン・ホールディ ング・エイ・ビー及びポーラーン・ビッド コー・エイ・ビーの会長。ダネルム・ビー・ エル・シー及びハンデルスバンケン・ピー・ エル・シーの取締役。	1,185,000 スウェーデン ・クローネ
カリナ・オーケストレーム (1962年)	取締役 (2019年)	当行グループの頭取兼最高経営責任者。ス ウェーデン銀行協会の会長。ホルメン・エ イ・ビー及びワールド・チャイルドフード・ ファンデーションの取締役。	0 スウェーデン ・クローネ
アンナ・イェンベリ (1969年)	従業員代表 (2020年)	スウェーデンのハンデルスバンケン・ユニオ ン・クラブの金融部門ユニオンの会長。	0 スウェーデン ・クローネ
レナ・レンストロム (1965年)	従業員代表 (2020年)	スウェーデンにおけるスウェーデン支店業務 ユニオン・クラブの金融部門ユニオンの会 長。	0 スウェーデン ・クローネ

<sup>1</sup> 報酬は年次株主総会で決定された。2022年の取締役への報酬の合計は、18,115,000スウェーデン・クローネであった。

氏名	経歴	2022年12月31日現在の 本人及びその近親者の 所有株式数
パール・ボーマン	2006-2015年：当行の頭取兼最高経営責任者。	144,017株、そのうち29,017 株を間接所有 <sup>1</sup> 。
フレデリック・ランドバーク	1981年-：LEランドバークフォレターゲン・エイ・ ビーの頭取。1977年-：ランドバークズに在職。	79,275,000株

ジョン・フレデリック・バクサーズ	2008-2016年：GSM協会の構成員(2013-2016年は会長)。2002-2015年：テレノール・グループの頭取兼最高経営責任者。1989-2002年：テレノール・グループの財務部、ファイナンシャル・コントロール部及び管理部において様々な役職を歴任。1988-1989年：エイカー・エイ・エス。1985-1988年：ストルト・ニールセン・シーウェイ・エイ・エスに在職。1979-1985年：ノルウェー及び日本におけるデット・ノルスク・ヴェリタスに在職。	3,800株
ヘリアン・バルネコウ	2018-2022年：マイクロソフト・スウェーデンの最高経営責任者。2014-2018年：テリア・スウェーデンの最高経営責任者及び様々な管理職を歴任。2009-2014年：EMCコーポレーション(英国及び米国)の様々なマーケット・リーダー職を歴任。2001-2009年：ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ(米国、英国及びスウェーデン)の様々なマーケット・リーダー職等を歴任。1999-2001年：ノボノルディスク(デンマーク)のマーケット・リーダー。1995-1999年：エリクソンの様々な管理職を歴任。1993-1995年：マイクロソフト(マルタ)のマーケット・リーダー。1991-1993年：DLFスウェーデンのプロジェクト・マネージャー/コンサルタント。	1,000株
スティナ・バーグフォース	2013-2018年：ユナイテッド・スクリーンの共同設立者、最高経営責任者及びその他の役職。2008-2013年：グーグル及びユーチューブの地域ディレクター。2004-2007年：カラットの最高経営責任者及びその他の役職。2000-2004年：OMDワールドワイドのディレクター及びその他の役職。1999-1999年：TV3スウェーデン及びモダン・タイムズ・グループの経理マネージャー。	0株
ハンス・ベオーク	2001-2011年：スカンスカのエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント及び最高財務責任者。1998-2001年：オートリブの最高財務責任者。1997-1998年：自営業。1977-1997年：エセルテにおいて様々な役職を歴任。	5,000株
シャスティン・ヘシウス	2004-2022年：AP3第3スウェーデン国民年金基金の最高経営責任者。2001-2004年：ストックホルム証券取引所の最高経営責任者。1999-2000年：スウェーデン国立銀行の中央銀行総裁代理。1998年：ダンスク銀行のアセット・マネジメントの最高経営責任者。1990-1997年：エイ・ビー・エヌ・アムロ銀行、アルフレッド・ベルグに在職。1989-1990年：フィナンスティグニヤンに在職。1986-1989年：スウェーデン国債局に在職。1985-1986年：スウェーデン国立銀行(スウェーデン中央銀行)に在職。1984-1985年：スウェーデン総務局に在職。	8,700株

ウルフ・リーズ	当行において様々な役職を歴任。2016-2018年：シニア・アドバイザー。2007-2016年：当行の最高財務責任者。2004-2007年：ハンデルスバンケン・アセット・マネジメント部長。2004年：当行のエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント。1983年-：当行により雇用。	180,000株
アルヤ・ターベニク	2015-2019年：キングフィッシャー・ピー・エル・シーの最高責任者及びサプライ・チェーン・オフィサー。キングフィッシャー・ピー・エル・シーの子会社の最高経営責任者。2012-2015年：イカノ・グループの頭取兼最高経営責任者。2005 - 2012年：イケア・グループのグローバル・ビジネス・エリア取締役。1989 - 2005年：イケア・グループ内の様々な役職を歴任。	0株
カリナ・オーケストレーム	2016-2019年：当行グループのエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント兼頭取代理。2010-2019年：地域銀行ストックホルムのエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント兼部長。2008-2010年：地域銀行東スウェーデンのエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント兼部長。1986年-：当行の従業員。	81,748株、そのうち33,348株を間接所有 <sup>1</sup> 。
アンナ・イェンベリ	ハンデルスバンケン・リヴの保険責任者及び当行グループのユニオンの役職を歴任。	24,793株、そのうち24,793株を間接所有 <sup>1</sup> 。
レナ・レンストロム	当行の支店業務においてアドバイザー・サービスを担当。	30,521株、そのうち30,521株を間接所有 <sup>1</sup> 。

<sup>1</sup> オクトゴーネン利益分配制度を通じて当行の株式を間接所有。

取締役会の従業員代表代理等は、以下のとおりである。

氏名 (生年)	当行における 役職 (取締役会への 選出年)	地位及び主要な活動	2022年度の報酬 <sup>1</sup>
ステファン・ヘンリクソン (1970年)	従業員代表代理 (2020年)	スウェーデンにおけるスウェーデン支店業務ユニオン・クラブの金融部門ユニオンの構成員。	0 スウェーデン ・クローネ
ミーケル・アーンビエット (1969年)	従業員代表代理 (2023年)	当行のアカデミカーフォレニンゲン(学位を取得した専門家の協会)の会長。	0 スウェーデン ・クローネ

<sup>1</sup> 報酬は年次株主総会で決定された。2022年の取締役への報酬の合計は、18,115,000スウェーデン・クローネであった。

氏名	経歴	2022年12月31日現在の 本人及びその近親者の 所有株式数
ステファン・ヘンリクソン	当行の支店及び地域の本部において管理業務及びアドバイザー・サービスを担当。	31,540株、そのうち31,540株を間接所有 <sup>1</sup> 。

ミーケル・アーンピエット	マネーロンダリング防止部門、国際業務部門及び取引部門内の専門家、システム所有者並びにビジネス及びオペレーション開発の担当者。	24,013株、そのうち24,013株を間接所有 <sup>1</sup> 。
--------------	--	---

<sup>1</sup> オクトゴーネン利益分配制度を通じて当行の株式を間接所有。

当行グループの業務執行経営陣の構成員は、以下のとおりである。

### 業務執行経営陣

アリルド・アンデルセン	ノルウェーのカントリー・ゼネラル・マネージャー
カタリーナ・ベルフラゲ・サールストランド	最高サステナビリティ責任者及びチーフ・クライメート・オフィサー
カール・セダーシオルド	最高財務責任者
マティアス・フォースバーグ	最高情報責任者
ミーケル・グリーン	スウェーデンのカントリー・ゼネラル・マネージャー
マリア・ヘディン	最高リスク管理責任者
ダン・リンドウォール	キャピタル・マーケットズ部長
セシリア・ルンディン	最高人事責任者
マルティン・ノレウス	最高戦略責任者
アンナ・ポスネ	製品部長及びサービス部長
ロベルト・ラドウェイ	最高与信責任者
ルイス・サンダー	最高コミュニケーション責任者
ミーケル・ソレンセン	ハンデルスバンケン・ピー・エル・シーの最高経営責任者（英国のカントリー・ゼネラル・マネージャー）
カリナ・オーケストレーム	頭取兼グループ最高経営責任者

### 業務執行経営陣により選任された構成員

ペール・ベックマン	エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント並びにデンマーク及びフィンランドにおける当行の事業売却の責任者
モニカ・バーリストレーム	最高コンプライアンス責任者
マルティン・ウェイストソン	最高法務責任者

### 報酬の方針の概要

取締役会は、当行及び当行グループの報酬の方針において、当行の報酬制度は、健全で持続可能な業務に立脚した当行の企業目標及び企業文化に合致したものであるべきと定めている。また報酬の方針において、健全で持続可能な業務には固定報酬が適すると規定しており、したがって、原則として固定報酬が適用されている。変動報酬の適用には十分な注意が求められる。上記の方針を考慮すると、従業員に対する報酬総額は、男

女平等を遵守し、当行及び当行グループが熟練したスタッフを惹きつけ、保持、育成することを可能とし、かつ、良好な経営継承が確保された、市場条件に基づくものでなければならない。執行役員への報酬のガイドラインの基礎として、当行の報酬の方針及び上記の従業員への報酬の原則が考慮されている。

執行役員への報酬のガイドラインは、グループ最高経営責任者である、業務執行経営陣、最高経営責任者代理並びにグループ・リスク・コントロール部部長及びグループ・コンプライアンス部部長の構成員(以下「執行役員」という。)に適用される。また当該ガイドラインは、当行の取締役への就任の報酬に加えて、取締役へ支払われるすべての報酬に適用される。

- 報酬総額の合計は、市場条件に基づくものとする。
- 報酬は、固定額の現金給与、年金給付及び慣習的な給付の形で支払われる。
- 当行の従業員でない取締役を除く当行の執行役員は、当行の全従業員と同じ条件でオクトゴーネン利益分配制度の対象に含まれる。
- 定年は、通常65歳である。年金給付は確定拠出制度であり、年間の固定額の現金給与の最大35%に相当し、団体協約に基づく年金制度に追加して支払われる場合がある。その他の給与手当は、1年当たり合計で年間の固定給の最大35%に相当する。
- 執行役員側の予告期間は6ヶ月、当行側の予告期間は最長で12ヶ月である。当行の執行役員に就任して5年超が経過し、当行が雇用契約を終了する場合、予告期間は最長で24ヶ月である。その他の退職手当は支払われない。団体協約又は労働法制により、異なる予告期間が適用される場合がある。

### (3) 【監査の状況】

#### ( ) 内部監査

##### 監査委員会

取締役会の監査委員会は、重要な会計問題及びその他財務報告の質的内容に影響する可能性のある要因を検討しながら当行の財務報告を監視する。当委員会はまた、当行及び当行グループの内部統制、内部監査及び財務報告に関するリスク管理の有効性を監視するとともに外部監査人の公平性及び独立性を監視する。またスウェーデンコーポレート・ガバナンス・コードに規定されているように、当委員会は監査業務を査定し、監査人の指名に関して指名委員会へ提言を提出する。当委員会はまた、当行の内部監査人及び外部監査人による報告書を受け取る。

##### グループ監査部

グループ監査部(内部監査部)は、当行グループの事業及び財務報告の独立した公平な監査を行う。グループ監査部の重要な業務はリスク管理、内部統制及びコーポレート・ガバナンスの手続を評価、検証することである。最高監査責任者は取締役会により任命され、定期的に監査委員会に対し、口頭及び書面で報告を行い、取締役会全体に対しても年次概略報告書を提出する。

#### ( ) 会計監査

監査人は、年次株主総会から翌年次株主総会終了時までの任期で任命される。監査人は、株主に対して説明責任を有する。監査人は、監査を行い、コーポレート・ガバナンス・レポートを含む年次報告書並びに取締役会及び最高経営責任者の運営等の事項に関する監査報告書を提出する。さらに、監査人は、口頭及び書面において、取締役会の監査委員会に対し、その監査業務がいかに遂行されたかを報告し、当行の業務運営体制及び内部統制に関する評価を報告する。監査人はまた、取締役会全体に対し、その監査の概略報告書も提出する。

## ( ) 監査法人の名称

アーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビー(以下「EY」という。)は、2022年3月23日付株主総会により当行及び当行グループの監査法人に任命され、1998年4月28日から2023年3月22日に開催された株主総会の終了時まで、会社の監査法人であった。

プライスウォーターハウスクーパース・エイ・ビー(以下「PwC」という。)は、2023年3月22日付株主総会により当行及び当行グループの監査法人に任命され、2017年3月29日以降、会社の監査法人である。

デロイト・エイ・ビー(以下「デロイト」という。)は、2023年3月22日付株主総会により当行及び当行グループの監査法人に新たに任命された。

## ( ) 担当公認会計士の氏名及び役職

オーサ・ルンドヴァルは、2002年から公認会計士であり、2023年3月22日に開催された株主総会の終了時まで、当行及び当行グループにおいてEYの担当監査人であった。ヨハン・リップペは、1999年から公認会計士である。同氏は、当行及び当行グループにおいてPwCの担当監査人であり、監査チームの委員長である。マーリン・ルーニングは、2009年から公認会計士であり、当行及び当行グループにおいてデロイトの担当監査人である。

## ( ) 監査業務に係る補助者の構成

公認会計士：10名

補助者：72名

## ( ) 当該監査法人の選任理由

当行は、EYをその独立性、専門性、品質管理の構造及び監査報酬等を考慮し、監査法人として採用していた。当行は、PwC及びデロイトをその独立性、専門性、品質管理の構造及び監査報酬等を考慮し、監査法人として採用している。当行は、監査法人が監査のための有能な組織を有しており、当行を適切に適切に監査することができていると認識する。

## ( ) 最近2年間における外国監査法人の推移

該当事項なし。

## ( ) 評価内容

当行の監査委員会は、EYが、公平性及び独立性の観点から監査法人として適切であると評価し、また、この法人に関連してスウェーデン監査検査局により実施された監督業務の情報を取得し続けていた。

当行の監査委員会は、PwC及びデロイトが、公平性及び独立性の観点から監査法人として適切であると評価し、また、これらの法人に関連してスウェーデン監査検査局により実施された監督業務の情報を取得し続けている。

2021年度及び2022年度の監査人及び監査法人に対する報酬は、以下のとおりである。

監査人及び監査法人に対する報酬 (当行グループ)	プライスウォーターハウスクーパース・エイ・ビー		アーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビー	
	2022年	2021年	2022年	2021年
(単位：百万スウェーデン・クローネ)				
監査業務	-34	-4	-10	-26
当該監査業務以外の監査上の業務	-6	0	-1	-2
税務アドバイス	-	-	0	0

その他サービス	-	-	-	-
---------	---	---	---	---

監査人及び監査法人に対する報酬 (親会社) (単位:百万スウェーデン・クローネ)	プライスウォーターハウス コーパース・エイ・ピー		アーンスト・アンド・ ヤング・エイ・ピー	
	2022年	2021年	2022年	2021年
監査業務	-10	-3	-8	-6
当該監査業務以外の監査上の業務	-2	0	-1	0
税務アドバイス	-	-	0	0
その他サービス	-	-	-	-

## (4) 【役員の報酬等】

上記「(2) 役員の状況」を参照のこと。

## (5) 【株式の保有状況】

該当事項なし。

## 第6【経理の状況】

a. 本書記載の当行グループの邦文の連結財務書類及び当行グループの親会社の邦文の財務書類は、2022年12月31日に終了した事業年度の原文の財務書類を翻訳したものである。本書記載の原文の連結財務書類及び財務書類は、当行グループの監査済連結財務書類及び親会社の監査済個別財務書類で構成されている。当行グループの連結財務書類は、EUにより採択された国際財務報告基準(以下「IFRS」という。)並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法(1995年、第1559号)に準拠して作成されている。親会社の個別財務書類は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法に準拠して作成されている。また、当行グループ及び親会社の財務書類の日本における開示については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)第131条第1項の規定が適用されている。

なお、IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法と日本の会計原則及び手続並びに表示方法の相違点については、下記「第6-4 IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法並びに日本の会計原則及び会計慣行の主要な相違」を参照のこと。

b. 当行グループと親会社の原文の連結財務書類及び財務書類は、スウェーデンにおける独立監査人であるプライスウォーターハウスクーパース・エイ・ビー(PricewaterhouseCoopers AB)及びアーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビー(Ernst & Young AB)の監査を受けており、独立監査人の2023年2月23日付の監査報告書の原文及び日本語訳は本書に掲載されている。

なお、原文の財務書類は、上記のとおりプライスウォーターハウスクーパース・エイ・ビー及びアーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビーの監査を受けており、これによって「財務諸表等の監査証明に関する内閣府令」(昭和32年大蔵省令第12号)第1条の2の規定に基づく監査証明に相当する証明を受けたとみなされるため、金融商品取引法第193条の2第1項第1号の規定に基づく日本の公認会計士又は監査法人による監査は受けていない。

c. 日本円への換算及び下記「第6-2 主な資産・負債及び収支の内容」から「第6-4 IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法並びに日本の会計原則及び会計慣行の主要な相違」までの事項は原文の財務書類には記載されておらず、当該事項における原文の財務書類への参照事項を除き、上記b.の監査の対象になっていない。

d. 邦文の財務書類では、主要な数値についてのみ日本円換算が行われている。日本円への換算には、2023年5月26日(日本時間)現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値である1スウェーデン・クローネ=12.91円のスウェーデン・クローネの対円為替レートが使用されている。日本円に換算された金額は、四捨五入のため合計欄の数値が総額と一致しない場合がある。また、本項において記載されているスウェーデン・クローネの日本円への換算額は読者の便宜のために表示されているものであり、スウェーデン・クローネの金額が上記のレートで日本円に換算されることを意味するものではない。

e. なお、財務書類中の括弧内の数値は比較数値を示している。

f. 本「第6 経理の状況」において、「親会社」はスウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトを意味する。

g. 本「第6 経理の状況」において、「クローネ」及び「スウェーデン・クローネ」はスウェーデン・クローネを意味する。

## 1 【財務書類】

## (1) 連結財務書類

## 損益計算書(当行グループ)

		2022年		2021年	
		(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
利息収益	注記G3	67,407	870,224	35,832	462,591
うち、実効金利法による利息収益及びヘッジ会計デリバティブに係る利息		59,702	770,753	34,483	445,176
利息費用	注記G3	-30,797	-397,589	-5,511	-71,147
<b>純利息収益</b>		<b>36,610</b>	<b>472,635</b>	<b>30,321</b>	<b>391,444</b>
手数料及びコミッション収益	注記G4	12,399	160,071	12,904	166,591
手数料及びコミッション費用	注記G4	-1,296	-16,731	-1,446	-18,668
<b>純手数料及びコミッション収益</b>		<b>11,103</b>	<b>143,340</b>	<b>11,458</b>	<b>147,923</b>
金融取引による純損益	注記G5	1,111	14,343	1,699	21,934
保険リスク	注記G6	176	2,272	179	2,311
その他配当金収益		17	219	2	26
関連会社及びジョイント・ベンチャーの持分利益	注記G20	-13	-168	63	813
その他収益	注記G7	1,246	16,086	555	7,165
<b>収益合計</b>		<b>50,249</b>	<b>648,715</b>	<b>44,277</b>	<b>571,616</b>
人件費	注記G8	-13,103	-169,160	-12,452	-160,755
その他費用	注記G9	-6,543	-84,470	-5,577	-71,999
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	注記G25、G26	-1,650	-21,302	-1,814	-23,419
<b>費用合計</b>		<b>-21,296</b>	<b>-274,931</b>	<b>-19,843</b>	<b>-256,173</b>
<b>信用損失、リスク税及び破綻処理手数料控除前利益</b>		<b>28,953</b>	<b>373,783</b>	<b>24,434</b>	<b>315,443</b>
正味信用損失	注記G10	-47	-607	-43	-555
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	注記G11	24	310	14	181
リスク税及び破綻処理手数料	注記G12	-2,311	-29,835	-930	-12,006
<b>営業利益</b>		<b>26,619</b>	<b>343,651</b>	<b>23,475</b>	<b>303,062</b>
法人税等	注記G35	-5,429	-70,088	-4,627	-59,735
<b>継続事業からの当期利益</b>		<b>21,189</b>	<b>273,550</b>	<b>18,848</b>	<b>243,328</b>
非継続事業からの当期利益(税引後)	注記G14	280	3,615	695	8,972
<b>当期利益</b>		<b>21,470</b>	<b>277,178</b>	<b>19,543</b>	<b>252,300</b>

帰属先:

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・					
エイ・ビーの株主		21,468	277,152	19,527	252,094
うち、継続事業		21,187	273,524	18,834	243,147
うち、非継続事業		281	3,628	693	8,947
非支配株主持分		1	13	16	207
事業合計からの一株当たり利益、					
スウェーデン・クローネ/円	注記G13	10.84	139.94	9.86	127.29
希薄化後	注記G13	10.84	139.94	9.86	127.29
継続事業からの一株当たり利益、					
スウェーデン・クローネ/円	注記G13	10.7	138.14	9.51	122.77
希薄化後	注記G13	10.7	138.14	9.51	122.77
非継続事業からの一株当たり利益、					
スウェーデン・クローネ/円	注記G13	0.14	1.81	0.35	4.52
希薄化後	注記G13	0.14	1.81	0.35	4.52

2022年第1四半期から、破綻処理手数料及びリスク税は純利息収益には含まれておらず、営業利益の中の個別項目として計上されている。そのため、表中の比較数値は修正再表示されている。

## 包括利益計算書（当行グループ）

	2022年		2021年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
当期利益	21,470	277,178	19,543	252,300
<b>その他包括利益</b>				
<b>損益計算書に組み替えられない項目</b>				
確定給付年金制度	3,049	39,363	6,820	88,046
その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品	41	529	62	800
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-642	-8,288	-1,401	-18,087
うち、確定給付年金制度	-622	-8,030	-1,398	-18,048
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品	-19	-245	-3	-39
<b>損益計算書に組み替えられない項目合計</b>	<b>2,448</b>	<b>31,604</b>	<b>5,481</b>	<b>70,760</b>
<b>その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目</b>				
キャッシュフロー・ヘッジ	-2,640	-34,082	-1,970	-25,433
その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	-60	-775	6	77
当期為替換算差額	2,312	29,848	3,201	41,325
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	-297	-3,834	-910	-11,748
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目に係る税金	-15	-194	595	7,681
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	544	7,023	406	5,241
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	6	77	-1	-13
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	61	788	190	2,453
うち、為替換算差額	-626	-8,082		
<b>その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計</b>	<b>-402</b>	<b>-5,190</b>	<b>1,832</b>	<b>23,651</b>
<b>その他包括利益合計</b>	<b>2,046</b>	<b>26,414</b>	<b>7,313</b>	<b>94,411</b>
<b>当期包括利益合計</b>	<b>23,516</b>	<b>303,592</b>	<b>26,856</b>	<b>346,711</b>
帰属先：				
スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株主	23,515	303,579	26,840	346,504
非支配株主持分	1	13	16	207

当期の損益計算書における分類変更は持分変動計算書に示されている。

## 貸借対照表(当行グループ)

	2022年		2021年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
<b>資産</b>				
現金及び中央銀行預け金	475,868	6,143,456	291,584	3,764,349
中央銀行へのその他の貸出金	注記G15 4,604	59,438	1,255	16,202
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記G18 132,778	1,714,164	100,538	1,297,946
その他金融機関への貸出金	注記G16 9,411	121,496	21,745	280,728
一般顧客への貸出金	注記G17 2,315,818	29,897,210	2,163,135	27,926,073
ポートフォリオ・ヘッジにおける金利ヘッジ対象の価値変動	-16,616	-214,513	-1,900	-24,529
債券及びその他の利付証券	注記G18 32,697	422,118	33,317	430,122
株式	注記G19 12,813	165,416	19,471	251,371
関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資	注記G20 561	7,243	478	6,171
顧客が価値変動リスクを負う資産	注記G21 212,966	2,749,391	235,761	3,043,675
デリバティブ商品	注記G22 36,261	468,130	28,508	368,038
無形資産	注記G25 8,402	108,470	8,302	107,179
不動産及び器具備品	注記G26 4,914	63,440	5,272	68,062
当期税金資産	160	2,066	469	6,055
繰延税金資産	注記G35 1,589	20,514	845	10,909
年金資産	注記G8 12,875	166,216	8,766	113,169
売却目的で保有する資産	注記G14 191,916	2,477,636	421,417	5,440,493
その他資産	注記G27 14,720	190,035	5,785	74,684
前払費用及び未収金	注記G28 1,979	25,549	2,016	26,027
<b>資産合計</b>	注記G41 <b>3,453,716</b>	<b>44,587,474</b>	<b>3,346,764</b>	<b>43,206,723</b>
<b>負債及び資本</b>				
金融機関からの預り金	注記G29 81,693	1,054,657	83,034	1,071,969
一般顧客からの預金及び借入金	注記G30 1,325,061	17,106,538	1,286,637	16,610,484
顧客が価値変動リスクを負う負債	注記G31 212,966	2,749,391	235,761	3,043,675
発行済証券	注記G32 1,474,801	19,039,681	1,353,768	17,477,145
デリバティブ商品	注記G22 29,040	374,906	13,784	177,951
ショートポジション	注記G33 1,939	25,032	4,105	52,996
保険負債	注記G34 405	5,229	532	6,868
当期税金負債	217	2,801	108	1,394
繰延税金負債	注記G35 5,614	72,477	5,276	68,113
引当金	注記G36 591	7,630	1,026	13,246
その他負債	注記G37 10,451	134,922	11,304	145,935
売却目的で保有する負債	注記G14 68,938	889,990	133,922	1,728,933
未払費用及び繰延収益	注記G38 3,565	46,024	3,519	45,430
劣後負債	注記G39 42,404	547,436	32,257	416,438
<b>負債合計</b>	注記G41 <b>3,257,686</b>	<b>42,056,726</b>	<b>3,165,033</b>	<b>40,860,576</b>
非支配株主持分	3	39	25	323
株式資本	3,069	39,621	3,069	39,621
資本剰余金	8,758	113,066	8,758	113,066

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト ( Svenska Handelsbanken AB (publ) ) (E27561)  
有価証券報告書

準備金	注記G40	17,891	230,973	15,845	204,559
利益剰余金		144,841	1,869,897	134,507	1,736,485
スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株主に帰属する当期利益		21,468	277,152	19,527	252,094
<b>資本合計</b>		<b>196,030</b>	<b>2,530,747</b>	<b>181,731</b>	<b>2,346,147</b>
<b>負債及び資本合計</b>		<b>3,453,716</b>	<b>44,587,474</b>	<b>3,346,764</b>	<b>43,206,723</b>

## 持分変動計算書(当行グループ)

2022年当行グループ (百万スウェーデン・ クローネ)	株式 資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正	為替	当期利益	非支配 株主 持分	合計
					価値 評価 差額 準備金	換算 調整準備 金	を含む 利益 剰余金		
<b>2022年期中首資本</b>	<b>3,069</b>	<b>8,758</b>	<b>11,313</b>	<b>1,789</b>	<b>158</b>	<b>2,585</b>	<b>154,034</b>	<b>25</b>	<b>181,731</b>
当期利益							21,468	1	21,470
その他包括利益			2,427	-2,096	-32	1,747		0	2,046
うち、資本の中での 分類変更					-91	-615			-706
<b>当期包括利益合計</b>			<b>2,427</b>	<b>-2,096</b>	<b>-32</b>	<b>1,747</b>	<b>21,468</b>	<b>1</b>	<b>23,516</b>
利益剰余金への振替							706		706
配当金							-9,900		-9,900
ハンデルスバンケンplcの 従業員に対する株式報酬 <sup>1</sup>							25		25
自己株式の買戻し <sup>1</sup>							-25		-25
非支配株主持分の変動								-23	-23
<b>2022年期末資本</b>	<b>3,069</b>	<b>8,758</b>	<b>13,739</b>	<b>-307</b>	<b>126</b>	<b>4,332</b>	<b>166,309</b>	<b>3</b>	<b>196,030</b>
<b>2021年当行グループ</b> (百万スウェーデン・ クローネ)					公正	為替	当期利益	非支配	
	株式	資本	確定給付	ヘッジ	価値	換算	を含む	株主	合計
	資本	剰余金	年金制度	準備金	評価	調整準備	利益	持分	
					差額	金	剰余金		
					準備金				
<b>2021年期中首資本</b>	<b>3,069</b>	<b>8,758</b>	<b>5,891</b>	<b>3,353</b>	<b>94</b>	<b>-806</b>	<b>151,105</b>	<b>9</b>	<b>171,473</b>
当期利益							19,527	16	19,543
その他包括利益			5,422	-1,564	64	3,391		0	7,313
うち、資本の中での 分類変更					0	-67			-67
<b>当期包括利益合計</b>			<b>5,422</b>	<b>-1,564</b>	<b>64</b>	<b>3,391</b>	<b>19,527</b>	<b>16</b>	<b>26,856</b>
利益剰余金への振替							67		67
配当金 <sup>2</sup>							-16,666		-16,666
ハンデルスバンケンplcの 従業員に対する株式報酬 <sup>1</sup>							37		37
自己株式の買戻し <sup>1</sup>							-36		-36
非支配株主持分の変動								-	-
<b>2021年期末資本</b>	<b>3,069</b>	<b>8,758</b>	<b>11,313</b>	<b>1,789</b>	<b>158</b>	<b>2,585</b>	<b>154,034</b>	<b>25</b>	<b>181,731</b>

<sup>1</sup> 2020年度以降、ハンデルスバンケン・ピーエルシーの全従業員は株式報酬プログラム(以下、「SIP」という。)の対象となっている。

<sup>2</sup> 普通配当8,118百万スウェーデン・クローネ及び特別配当8,548百万スウェーデン・クローネ。株主は、スウェンスカ・ハンデルスバンケンABが買収したAB Industrivärdenの株式という形で、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseから特別配当を受け取っている。注記G50を参照。

## 持分変動計算書(当行グループ)(続き)

2022年当行グループ (百万円)	株式 資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正 価値 評価 差額 準備金	為替 換算 調整準備 金	当期利益を 含む 利益 剰余金	非支配 株主 持分	合計
<b>2022年期中首資本</b>	<b>39,621</b>	<b>113,066</b>	<b>146,051</b>	<b>23,096</b>	<b>2,040</b>	<b>33,372</b>	<b>1,988,579</b>	<b>323</b>	<b>2,346,147</b>
当期利益							277,152	13	277,178
その他包括利益			31,333	-27,059	-413	22,554		0	26,414
うち、資本の中での 分類変更					-1,175	-7,940			-9,114
<b>当期包括利益合計</b>			<b>31,333</b>	<b>-27,059</b>	<b>-413</b>	<b>22,554</b>	<b>277,152</b>	<b>13</b>	<b>303,592</b>
利益剰余金への振替							9,144		9,114
配当金							-127,809		-127,809
ハンデルスバンケンplcの 従業員に対する株式報酬 <sup>1</sup>							323		323
自己株式の買戻し <sup>1</sup>							-323		-323
非支配株主持分の変動								-297	-297
<b>2022年期末資本</b>	<b>39,621</b>	<b>113,066</b>	<b>177,370</b>	<b>-3,963</b>	<b>1,627</b>	<b>55,926</b>	<b>2,147,049</b>	<b>39</b>	<b>2,530,747</b>
2021年当行グループ (百万円)	株式 資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正 価値 評価 差額 準備金	為替 換算 調整準備 金	当期利益を 含む 利益 剰余金	非支配 株主 持分	合計
<b>2021年期中首資本</b>	<b>39,621</b>	<b>113,066</b>	<b>76,053</b>	<b>43,287</b>	<b>1,214</b>	<b>-10,405</b>	<b>1,950,766</b>	<b>116</b>	<b>2,213,716</b>
当期利益							252,094	207	252,300
その他包括利益			69,998	-20,191	826	43,778		0	94,411
うち、資本の中での 分類変更					0	-865			-865
<b>当期包括利益合計</b>			<b>69,998</b>	<b>-20,191</b>	<b>826</b>	<b>43,778</b>	<b>252,094</b>	<b>207</b>	<b>346,711</b>
利益剰余金への振替							865		865
配当金 <sup>2</sup>							-215,158		-215,158
ハンデルスバンケンplcの 従業員に対する株式報酬 <sup>1</sup>							478		478
自己株式の買戻し <sup>1</sup>							-465		-465
非支配株主持分の変動								-	-
<b>2021年期末資本</b>	<b>39,621</b>	<b>113,066</b>	<b>146,051</b>	<b>23,096</b>	<b>2,040</b>	<b>33,372</b>	<b>1,988,579</b>	<b>323</b>	<b>2,346,147</b>

<sup>1</sup> 2020年度以降、ハンデルスバンケン・ピーエルシーの全従業員は株式報酬プログラム(以下、「SIP」という。)の対象となっている。

<sup>2</sup> 普通配当104,803百万円及び特別配当110,355百万円。株主は、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーが買収したAB Industrivärdenの株式という形で、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseから特別配当を受け取っている。注記G50を参照。

## キャッシュ・フロー計算書(当行グループ)

	2022年		2021年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
<b>営業活動</b>				
営業利益	26,619	343,651	23,475	303,062
非継続事業からの利益	1,453	18,758	1,204	15,544
うち、受取利息	67,586	872,535	38,528	497,396
うち、支払利息	-28,173	-363,713	-7,257	-93,688
うち、受取配当金	46	594	61	788
営業利益から投資活動への調整	-333	-4,299	-	-
うち、事業及び子会社の売却	-751	-9,695	-	-
うち、株式の売却	418	5,396	-	-
営業利益及び非継続事業からの当期利益に含まれる非現金項目の調整				
信用損失	284	3,666	80	1,033
未実現評価差額	-2,200	-28,402	363	4,686
償却費及び減損	4,305	55,578	2,118	27,343
法人税の支払	-6,419	-82,869	-5,086	-65,660
営業活動による資産及び負債の変動				
中央銀行へのその他の貸出金	-31,157	-402,237	19,863	256,431
その他金融機関への貸出金	11,377	146,877	82	1,059
一般顧客への貸出金	-137,712	-1,777,862	-142,370	-1,837,997
利付証券及び株式	-27,502	-355,051	9,621	124,207
金融機関からの預り金	-863	-11,141	-41,114	-530,782
一般顧客からの預金及び借入金	33,708	435,170	170,994	2,207,533
発行済証券	121,034	1,562,549	43,031	555,530
デリバティブ商品の正味ポジション	7,453	96,218	-16,732	-216,010
ショートポジション	-2,010	-25,949	2,476	31,965
投資銀行業務の決済における債権及び債務	-7,975	-102,957	-567	-7,320
その他	-28,360	-366,128	-18,057	-233,116
<b>営業活動からのキャッシュ・フロー</b>	<b>-38,298</b>	<b>-494,427</b>	<b>49,381</b>	<b>637,509</b>
<b>投資活動</b>				
事業及び子会社の売却	49,238	635,663	-	-
関連会社及びジョイント・ベンチャーに係る取得及び拠出	-194	-2,505	-83	-1,072
株式の売却	183	2,363	1	13
不動産及び器具備品の取得	-786	-10,147	-1,194	-15,415
不動産及び器具備品の処分	482	6,223	1,063	13,723
無形資産の取得	-711	-9,179	-539	-6,958
<b>投資活動からのキャッシュ・フロー</b>	<b>48,212</b>	<b>622,417</b>	<b>-752</b>	<b>-9,708</b>
<b>財務活動</b>				
劣後ローンの返済	-3,000	-38,730	-10,130	-130,778
劣後ローンの発行	11,845	152,919	-	-
配当金の支払	-9,900	-127,809	-16,666	-215,158
<b>財務活動からのキャッシュ・フロー</b>	<b>-1,055</b>	<b>-13,620</b>	<b>-26,796</b>	<b>-345,936</b>
うち、為替換算差額	-	-	-320	-4,131

<b>当期キャッシュ・フロー</b>	<b>8,859</b>	<b>114,370</b>	<b>21,833</b>	<b>281,864</b>
期首流動資金	439,964	5,679,935	397,642	5,133,558
営業活動からのキャッシュ・フロー	-38,298	-494,427	49,381	637,509
投資活動からのキャッシュ・フロー	48,212	622,417	-752	-9,708
財務活動からのキャッシュ・フロー	-1,055	-13,620	-26,796	-345,936
流動資金の為替換算差額	27,059	349,332	20,489	264,513
<b>期末流動資金</b>	<b>475,882</b>	<b>6,143,637</b>	<b>439,964</b>	<b>5,679,935</b>

キャッシュ・フロー計算書は間接法で作成されており、減価償却費/償却費や信用損失等、現金の受払いを伴わない取引について非継続事業からの営業利益及び当期利益が調整されていることを意味している。上記のキャッシュ・フロー計算書にはデンマーク及びフィンランドの非継続事業が含まれている（注記G14を参照のこと。）。

#### 事業及び子会社の売却

	2022年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
<b>取得価額</b>		
取得価額総額	51,782	668,506
控除：譲渡時に含まれていた流動資金	-743	-9,592
取得者の債権	-1,802	-23,264
<b>現金受領額</b>	<b>49,238</b>	<b>635,663</b>
<b>売却した資産及び負債</b>		
その他金融機関への貸出金	1,036	13,375
一般顧客への貸出金	99,598	1,285,810
顧客が価値変動リスクを負う資産	5,480	70,747
その他資産	608	7,849
<b>資産合計</b>	<b>106,722</b>	<b>1,377,781</b>
金融機関からの預り金	374	4,828
一般顧客からの預金及び借入金	52,043	671,875
顧客が価値変動リスクを負う負債	5,480	70,747
その他負債	338	4,364
<b>負債合計</b>	<b>58,235</b>	<b>751,814</b>
営業活動からのキャッシュ・フロー	751	9,695

取得価額はすべて流動資金の形で受領している。

[次へ](#)

## 注記G1 会計方針及びその他の財務諸表の作成基準

### 目次

1. 準拠表明
2. 会計方針の変更
3. 未適用のIFRSの変更
4. 連結の基礎
5. 関連会社及びジョイント・ベンチャー
6. 売却目的で保有する資産及び非継続事業の会計処理
7. 外貨建資産及び負債
8. 金融商品
9. 金融資産及び金融負債の公正価値測定原則
10. 信用損失
11. ヘッジ会計
12. 金利指標改革
13. リース
14. 保険事業
15. 無形資産
16. 不動産及び器具備品
17. 引当金
18. 資本
19. 収益
20. 従業員給付
21. 税金
22. 見積り及び重要な評価

### 1. 準拠表明

#### 会計の基礎

連結財務諸表は国際財務報告基準（以下、「IFRS」という。）及びEUにより採択された同基準の解釈に準拠して作成されている。さらに、会計方針は、信用機関及び証券会社に係る年次報告法（1995年第1559号）及びスウェーデン金融監督庁が制定した規定及び一般指針、FFFS 2008年第25号、信用機関及び証券会社における年次報告にも準拠している。企業グループの報告を規定するRFR第1号補足会計規則、並びにスウェーデン財務報告審議会による意見書も連結財務諸表に適用されている。表示通貨はスウェーデン・クローネ(SEK)であり、別途記載がある場合を除き、すべての数値は百万スウェーデン・クローネ単位に四捨五入されている。

親会社の会計方針は注記P1に示されている。

#### 年次報告書の発行及び採択並びに会社情報

2022年1月1日から2022年12月31日までの期間のスウェンスカ・ハンデルスバンケン・アクチエボラーグの年次報告書及び連結財務諸表は、2023年2月20日に取締役会及び最高経営責任者により発行が承認され、2023年3月22日の年次株主総会（AGM）で提示され採択される予定である。

親会社であるハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの登記上の事務所所在地は、スウェーデン王国SE-106 70ストックホルム クングストラッドゴードシュガータン 2である。ハンデルスバンケンは、スウェー

デン、英国、ノルウェー及びオランダを拠点市場とし、金融サービス及び金融商品を提供している金融機関である。業務については業務報告書に詳述している。

## 2. 会計方針の変更

### IFRSの変更

2022年1月1日から適用される会計規則の変更による当行グループの会計への影響はない。

### 会計方針のその他の変更

2022年現在、当行は信用機関に係るリスク税法（2021年第1256号）に従い、スウェーデン政府にリスク税を支払っている。リスク税に係る費用は、破綻処理手数料とともに「リスク税及び破綻処理手数料」として損益計算書の個別科目で表示されている。これに伴い、以前は損益計算書の「純利息収益」の項目の「利息費用」に計上されていた破綻処理手数料は、損益計算書項目の「リスク税及び破綻処理手数料」に振り替えられている。これは、同種の政府手数料を損益計算書の個別科目として表示することを目的としている。比較数値は修正再表示されている。破綻処理手数料の表示変更に関しては、注記G3を参照のこと。

また、他にに関して当年度に当行グループが適用した会計方針及び計算方法は、2021年度の年次報告書及びサステナビリティ・レポートで適用されたものと一致している。

## 3. 未適用のIFRSの変更

### IFRS第17号「保険契約」

IFRS第4号「保険契約」に置き換わるIFRS第17号「保険契約」がIASBによって公表され、EUにより採択された。本基準は2023年度のハンデルスバンクの連結財務諸表より適用される予定である。IFRS第17号には、保険契約の分類、測定及び認識方法の変更が含まれているほか、開示要件の変更も含まれている。

IFRS第17号がハンデルスバンクにもたらす主な変更点は以下の通りである。

- ・ 従来型生命保険契約は、重要な保険リスクを含むと評価されるため、全体として保険契約に分類される。現在、これらの契約の貯蓄性保険要素は、IFRS第4号の分離規則に従って分離され、IFRS第9号に従って計上されている。この会計方針の変更により、貸借対照表の保険負債の科目が増加する。
- ・ 従来型生命保険契約の貯蓄性保険要素を測定する際には、一般アプローチが適用される予定である。リスク保険契約、リスク保険要素及び再保険契約を測定する際には、保険料配分アプローチが適用される予定である。
- ・ 保険契約から生じる損益は、「保険事業による損益」として個別の項目で損益計算書に認識される予定である。「保険事業による損益」の構成要素に関しては個別の注記に記載される予定である。現行の方針では、保険契約から生じる損益は主に、「保険リスク」、「純手数料及びコミッション収益」及び「金融取引による純損益」として個別の項目に計上される予定である。

IFRS第17号への移行には3種類の方法が適用され得る。当行は、リスク保険契約及びリスク保険要素に対し完全遡及アプローチを適用し、2022年度の比較数値を修正再表示する。従来型生命保険契約の貯蓄性保険要素については、契約締結から時間が経過しており信頼できる十分な過去データがないことから、当行は公正価値アプローチを適用する。

IFRS第17号への移行の定量的な影響は、税引後で約-30億スウェーデン・クローネであり、IFRS第17号への移行に伴い、比較年度である2022年度の当行グループの利益剰余金の期首残高が減少することになる。ハンデルスバンクの評価では、当行の保険事業は連結ベースに含まれていないことから、当行の自己資本比率にも大口エクスポージャーにも新基準による影響はない。

セクション14の保険事業では、2023年度から適用されるIFRS第17号に基づく当行の会計方針が説明されている。

#### 4. 連結の基礎

(IFRS第10号「連結財務諸表」、IFRS第3号「企業結合」)

##### 子会社

ハンデルスバンケンに直接又は間接的に支配されている企業(子会社)はすべて連結されている。当行は、企業への投資から生じるリターンの変動性にさらされている、又はそのリターンに対する権利を有しており、かつその企業に影響力を及ぼす手段を通じてそのリターンに影響を及ぼすことができる場合に、その企業を直接支配しているとみなされる。原則として、ハンデルスバンケンが株主総会又は同等の会議体において過半数の議決権を保有している場合に、支配が存在するとみなされる。

子会社は取得法に従って連結される。ここで子会社の取得とは、当行グループがその会社の識別可能な資産を取得し、その負債及び義務を引き受ける取引であるとみなされる。子会社の財務報告は、子会社に対する支配的影響力が親会社に移転した日である取得日から支配が中止される日まで連結財務諸表に含まれる。グループ内取引及び残高は当行グループの財務報告の作成時に消去される。子会社で個別に採用されている会計方針が当行グループで採用されている会計方針と一致しない場合には、子会社の連結時に連結財務諸表に調整を加えている。

企業結合の場合、識別可能資産及び負債を取得日の公正価値で評価した取得貸借対照表が作成される。企業結合の取得価額は、対価として与えられたすべての資産、発行した資本性金融商品及び発生した負債の公正価値で構成される。当該企業結合の対価が取得した貸借対照表上の識別可能純資産を超過する剰余部分は、当行グループの貸借対照表にのれんとして認識される。取得関連費用は発生時に認識される。

##### 組成された事業体

組成された事業体とは、支配の有無を決定する際に議決権が決定的な要因とならない、狭義かつ十分に明確化された目的の達成のために組成された事業体である。ハンデルスバンケンが保有する組成された事業体の保有は、ミューチュアル・ファンドの保有に限定されている。当行がアセット・マネージャーであるファンド及び当行が過半数の持分を所有するファンドは、連結されている。20%から50%までの所有権については、例えば、そのファンドが運営を指図する幅広い権限を持ち、かつ、そこから生じる変動リターンの割合が高い場合等、当行が支配持分を有していることを示唆する特定の状況において連結される。当行のファンド保有は、貸借対照表の「株式」に公正価値で計上されている。ファンドの公正価値の残余価値は連結され、貸借対照表の「顧客が価値変動リスクを負う資産/負債」に計上されている。

#### 5. 関連会社及びジョイント・ベンチャー

(IAS第28号「関連会社及び共同支配企業への投資」)

ハンデルスバンケンが重要な影響力を有している会社は関連会社として計上される。重要な影響力とは、会社の財務方針や経営方針の決定に関与する力を持つが、これらを支配していないものである。原則として、重要な影響力は、その会社における議決権の割合が少なくとも20%、最大で50%である場合、又は契約条件により当行が重要な影響力を行使できる場合に存在する。ジョイント・ベンチャーでは、当行は一つまたは複数の当事者と共同支配権を行使する。関連会社およびジョイント・ベンチャーは連結財務諸表において持分法に従って計上される。これは、持分が当初は取得原価で計上されることを意味する。取得日後の帳簿価額は、関連会社またはジョイント・ベンチャーの損益の当行グループの持分を認識することで増加又は減少する。関連会社およびジョイント・ベンチャーからの配当金は当該持分の帳簿価額から控除される。関連会社およびジョ

イント・ベンチャーの持分利益は、当行グループの損益計算書の個別科目である「関連会社およびジョイント・ベンチャーの持分利益」に計上される。

## 6. 売却目的で保有する資産及び非継続事業の会計処理

### (IFRS第5号「売却目的で保有する非流動資産及び非継続事業」)

固定資産又は直接関連する負債を含めた資産グループ（処分グループ）は、帳簿価額が主に売却により回収され、その売却の可能性が高い場合に売却目的保有に分類される。資産が売却目的保有に分類された場合、特別な評価原則が適用される。それによると、主に売却目的で保有する資産及び処分グループは、金融資産及び負債項目を除き（後述の8.を参照のこと）、帳簿価額と売却費用控除後の公正価値のいずれか低い方で測定される。したがって、売却目的で保有する有形固定資産又は無形固定資産は減価償却又は償却されない。減損損失及びその後の再評価は損益計算書に直接計上される。ただし、過年度に計上された減損累計額を超過する利益は認識されない。売却目的で保有する資産及び負債は、売却されるまで当行グループの貸借対照表の個別科目で報告される。

当行グループの他の事業から明確に分離された重要な独立事業で、上記の方針により売却された又は売却目的保有に分類されている事業は、非継続事業として認識される。非継続事業として認識するにあたり、その事業からの収益は損益計算書において他の損益項目とは別の個別科目で計上される。非継続事業からの損益は、非継続事業からの損益（税引後）、非継続事業に含まれる売却目的で保有する資産 / 処分グループ資産の売却費用控除後の公正価値評価から生じる損益（税引後）、及び非継続事業の処分からの実現損益で構成されている。売却目的で保有する資産及び負債並びに非継続事業に関する開示は、注記G14を参照のこと。

## 7. 外貨建資産及び負債

### (IAS第21号「外国為替レート変動の影響」)

連結財務諸表は当行グループの表示通貨であるスウェーデン・クローネで表示されている。スウェーデン以外の当行グループ事業の機能通貨は、通常当行グループの表示通貨と異なっている。事業が主に運営されている経済環境で使用されている通貨が機能通貨とみなされる。

### 機能通貨以外の通貨建て取引の換算

機能通貨以外の通貨（外貨）建ての取引は、当初に取引日の実勢レートで機能通貨へ換算される。公正価値で測定される外貨建貨幣性項目及び外貨建非貨幣性項目は、貸借対照表日に当日の終値で換算される。公正価値で測定される貨幣性項目及び非貨幣性項目の為替換算損益は、金融取引に係る外貨換算影響額として損益計算書に計上される。

「その他包括利益を通じて公正価値で評価するもの」として分類されている非貨幣性項目から生じる換算差額は、「その他包括利益」の構成要素として計上され、資本に累積される。在外営業活動体への純投資の一部を構成している貨幣性項目を換算する際の換算差額は同じ方法で認識される。

### 在外営業活動体の当行グループの表示通貨への換算

支店を含めて在外事業体の貸借対照表及び損益計算書を機能通貨から当行グループの表示通貨に換算する際には、期末日レート法が使用されている。これは、資産及び負債が終値で換算されることを意味している。資本は、投資時又は稼得時に適用されるレートで換算される。損益計算書は年間平均レートで換算される。換算差額はその他包括利益に計上され、資本の為替換算調整準備金に含まれる。

## 8. 金融商品

**(IFRS第9号「金融商品」及びIAS第32号「金融商品：表示」)****認識及び認識中止**

資本性金融商品並びに短期金融市場商品及び資本市場商品のスポット市場での取得及び売却は、取引日に認識される。同様のことがデリバティブにも適用される。その他の金融資産及び金融負債は通常決済日に認識される。

金融資産は、その資産からのキャッシュ・フローに対する契約上の権利が失効する、又はその資産に関するすべてのリスク及び経済的便益が他の当事者に移転した際に貸借対照表から認識中止される。金融負債は、義務が履行される、終了する、又は取消された際に貸借対照表から認識中止される。

**測定区分**

金融資産は以下のいずれかの測定区分に分類される。

1. 償却原価
2. その他包括利益を通じて公正価値で測定
3. 純損益を通じて公正価値で測定
  - a. 強制
  - b. 公正価値オプション

金融資産を個々の測定区分に分類するにあたっては、金融資産の管理に関する企業の事業モデル及び当該資産の契約条件から始める。

金融負債は以下のいずれかの測定区分に分類される。

1. 償却原価
2. 純損益を通じて公正価値で測定
  - a. 強制
  - b. 公正価値オプション

原則として、金融負債は償却原価で計上される。例外は、デリバティブなどの、純損益を通じて公正価値で測定することが求められている金融負債、及び当初認識時に公正価値で測定するものとして取消不能で特定されている負債（公正価値オプション）である。

貸借対照表の同一科目で認識される金融資産及び負債は、異なる測定区分に分類されることがある。これについては注記G41を参照のこと。

当初認識時には、すべての金融資産及び金融負債が公正価値で測定される。純損益を通じて公正価値で測定される金融商品の取引費用は、取得日に損益計算書に認識される。その他の金融商品については、取引費用は取得原価に含まれる。

**金融資産の事業モデルの評価**

金融資産の管理に関する事業モデルの評価により、測定区分の分類が決められる。事業モデルを決定するにあたり、ハンデルスバンケンは当行の経営者による管理、報告、評価の方法に基づいて金融資産をポートフォリオに分類している。各ポートフォリオの事業モデルを決定する際には、確立した指針やポートフォリオの目的、それらの実務への適用方法、ポートフォリオのパフォーマンスに影響を及ぼすリスク、リスクの管理手法に加え、ポートフォリオの金融資産の売却に関する頻度、規模、理由及び時期などの要因を考慮している。

**金融資産の契約条件の評価**

契約上のキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみから構成されるか否かの評価は、測定区分の分類にあたって重要である。この評価における「元本」とは、当初認識時の金融資産の公正価値であると定義される。「利息」とは貨幣の時間価値、信用リスク、その他の基本的な貸出リスク（流動性リスク等）、費用（管理費用等）、利益に対する対価であると定義される。金融資産に、契約上のキャッシュ・フローの時期や金額を変更し、貨幣の時間価値を修正し、レバレッジを発生させ、又は期限前償還及び期限延長の追加費用を発生させ得る契約上の条件が存在する場合、当該キャッシュ・フローは元本及び利息の支払のみではないものと評価される。

### 償却原価

以下の両方の条件を満たす場合、金融資産は償却原価で測定される。

- ・事業モデルの目的が契約上のキャッシュ・フローを回収することである
- ・契約上のキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみである

この区分で認識される金融資産は、貸出金及び利付証券から構成される。これらの資産は減損テストの対象となる。この測定区分で認識される金融負債は、主に金融機関からの預り金、一般顧客からの預金並びに借入金、及び既発行証券などの負債である。

償却原価は、その商品に関する将来のキャッシュ・フロー全額を取得時における実効金利で割引いた現在価値である。利息及び信用減損は、損益計算書の「純利息収益」及び「信用損失」の項目にそれぞれ計上される。期限前償還される貸出金の早期償還手数料、当行が発行した証券の買戻しによって生じたキャピタルゲイン/ロス及び外貨換算影響額は、損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。

### その他包括利益を通じて公正価値で測定

次に示すいずれの条件も満たす場合、金融資産はその他包括利益を通じて公正価値で測定される。

- ・事業モデルの目的が契約上のキャッシュ・フローの回収と資産の売却の両方である。
- ・契約上のキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみである。

上記の条件を満たす当行の流動性ポートフォリオにおける利付証券は、この測定区分に認識される。これらの資産は減損テストの対象となる。利息収益は「純利息収益」に計上される。外貨換算影響額及び信用損失は「金融取引による純損益」に計上される。未実現価値変動はその他包括利益で認識され、売却に伴い損益計算書の「金融取引による純損益」の項目に振り替えられる。

トレーディング目的保有ではない資本性金融商品は、当初認識時にその他包括利益を通じて公正価値で測定されるものへ、取消不能の分類を行うことも可能である。この評価原則は、当行に対する支援業務を行う企業の特定の株式保有に適用される。例えば、これらは清算機関に対する参加持分の場合もあれば、当行の国内市場におけるインフラ関連の協業に対する参加持分の場合もある。当初認識時以降に発生する為替差損益等を含む実現及び未実現価値変動は、その他包括利益に計上される。実現価値変動は損益計算書ではなく、資本内で利益剰余金に振り替えられる。これらの保有から生じる配当収益のみが損益計算書に計上される。

### 純損益を通じて公正価値で測定（強制）

金融資産が償却原価で測定する条件もその他包括利益を通じて公正価値で測定される条件も満たしていない場合、強制的に純損益を通じて公正価値で測定される。

トレーディング目的保有の金融資産及び金融負債は、公正価値で管理され評価される金融資産と同様に、常に純損益を通じて公正価値で測定するものに区分される。

この測定区分は、主に上場株式、ミューチュアル・ファンドのユニット、利付証券及びデリバティブで構成される。利息、配当、外貨換算影響額、並びに実現及び未実現評価差額は、「金融取引による純損益」に計上される。ヘッジ会計を通じたデリバティブの認識については、セクション11を参照のこと。

### 純損益を通じて公正価値で測定、公正価値オプション

指定を行わない場合に資産の測定から生じる測定又は認識の不整合（以下、「会計上のミスマッチ」という。）を解消又は大幅に低減する場合には、当初認識時に、金融資産を純損益を通じて公正価値で測定するものとして取消不能の指定をすることができる。

同様に、以下のいずれかの条件を満たす場合に、当初認識時に、金融負債を純損益を通じて公正価値で測定するものとして取消不能の指定をすることができる。

- ・ 指定を行わない場合に負債の測定から生じる測定又は認識の不整合（会計上のミスマッチ）を除去又は大幅に低減する場合
- ・ 金融負債のグループ又は金融資産と金融負債のグループが、文書化されたリスク管理戦略又は投資戦略に従って、公正価値ベースで管理され業績評価されており、当該商品に関する情報が、当行経営者に対して社内的に同じベースで提供されている場合

この評価原則は、経済的ヘッジによりヘッジされるユニットリンク保険契約による負債や流動性ポートフォリオの一部持分等の、互いに反対ポジションとなりポートフォリオベースで管理される資産と負債を測定する際の不整合を回避するために適用されている。

未実現及び実現価値変動は、「金融取引による純損益」に計上される。利息は「純利息収益」に計上される。

### 金融商品の分類変更

原則として、金融資産が当初認識以降に分類変更されることはない。分類変更は、当行が金融資産のポートフォリオを管理するための事業モデルを変更する稀な場合に認められる。当初認識後の金融負債の分類変更は認められない。

### 金融保証及び貸出コミットメント

発行された金融保証は、信用保証等、契約条件に従った所定の支払を債務者が行わなかった場合に、負債性金融商品（貸出金又は利付証券）の保有者に生じた損失を払い戻す義務である。保証の公正価値は、発行時に受領したプレミアムと同額である。当初認識時に、この保証に対して受領したプレミアムは貸借対照表の「未払費用及び繰延収益」の項目に負債として計上される。その後この保証は、償却後プレミアム又は予想損失引当金のいずれか高い方で測定される。発行された金融保証に関するプレミアムは保証の有効期間にわたり、「純手数料及びコミッション収益」の項目で償却される。さらに、発行した保証に関連する保証金額の合計は、偶発債務としてオフバランス処理される（詳細については注記G44を参照のこと）。

貸出コミットメントはその貸出の実行までオフバランス項目として計上される（詳細については注記G44を参照のこと）。貸出コミットメントに対して受領した手数料は、そのコミットメントの期間にわたり純手数料及びコミッション収益として計上される。但し、そのコミットメントが実行される可能性が高い場合、受領した手数料はその貸出金の実効金利に含められる。金融保証及び取消不能の貸出コミットメントは減損テストの対象となる。

## 複合金融商品

複合金融商品は、デリバティブの構成要素である組込デリバティブとデリバティブでない主契約から構成されている。

複合金融商品の主契約が金融負債である場合、組込デリバティブは、以下すべての条件に該当するときに、主契約から分離しデリバティブとして計上しなければならない。

- ・組込デリバティブの経済的特徴及びリスクが、主契約の経済的特徴及びリスクに密接に関連していないこと
  - ・組込デリバティブと同一条件の独立の金融商品ならば、デリバティブの定義に該当すること
  - ・複合金融商品が純損益を通じて公正価値で測定されるものではないこと
- そのため、純損益を通じて公正価値で測定される金融負債に組み込まれているデリバティブは個別に認識されない。

主契約から分離する会計処理は、エクイティ・リンク債及びその他の仕組商品の発行の際等に組込デリバティブに適用される。

金融資産の組込デリバティブは個別に認識されない。契約上のキャッシュ・フローが元本と利息の支払のみであるかどうかを判定するには、組込デリバティブを含む金融資産が全体とみなされる。

発行済み転換可能負債性金融商品の転換オプション部分に固有の価値は、区分して資本に計上される。資本部分の価値は、転換可能負債性金融商品全体の公正価値から負債部分の公正価値を差し引いたものとして発行時に決定される。資本部分の帳簿価額は、転換可能負債性金融商品の満期までの間に修正されることはない。負債部分は発行時に貸借対照表上公正価値で認識され、当初認識後、当初の実効金利による償却原価で計上される。

## 買戻取引

買戻契約又はレポ取引は、当事者が特定の証券を売却すること及びその証券を事前に決められた価格で買い戻すことを同時に合意する契約である。当行グループが契約期間中、当該証券の評価額の変動リスクにさらされていることから、レポ取引（買戻契約）で売却された証券は、取引期間にわたり貸借対照表に計上される。また、売却された金融商品は、オフバランスシート項目の差入資産として計上されている。受領した代金は、取引相手によって「金融機関からの預り金」又は「一般顧客からの預金及び借入金」として計上される。レポ取引で買入れた証券（売戻契約）は、これと対称的な方法で会計処理される。すなわち、これらは当該取引の契約期間にわたり貸借対照表に計上されない。支払った代金は、取引相手によって「中央銀行へのその他の貸出金」、「その他の金融機関への貸出金」又は「一般顧客への貸出金」として計上される。買戻契約に基づき売却された受入担保は、オフバランスシート項目のコミットメントとして計上される。

## 証券貸付

当行グループが引き続き証券の評価額の変動リスクにさらされているため、貸付証券は引き続き貸借対照表に計上され、同時にオフバランスシート項目の担保資産として計上される。借入証券は、売却される場合（空売りという）を除き、貸借対照表に計上されない。売却された場合、売却された商品の公正価値に相当する価値が負債に計上される。第三者に貸与されている借入証券は、オフバランスシート項目のコミットメントとして計上されている。

## デリバティブ商品

デリバティブは全て貸借対照表に公正価値で計上される。プラスの公正価値を有するデリバティブは、デリバティブ商品として資産計上される。マイナスの公正価値を有するデリバティブは、デリバティブ商品として負債計上される。デリバティブに係る実現及び未実現損益は、「金融取引による純損益」として損益計算書に計上される。ヘッジ会計によるデリバティブの認識についてはセクション11を参照のこと。

## 金融資産と金融負債の相殺

金融資産と金融負債は、当行が、営業活動や破産の状況下において、相殺できる契約上の権利を有しており、純額で決済を行うか、同時に資産を処分し負債を決済する意図がある場合に、貸借対照表上で相殺され純額で計上される。金融資産と金融負債の相殺に関する詳細については注記G24を参照のこと。

## 9. 金融資産及び金融負債の公正価値測定原則

### (IFRS第13号「公正価値測定」)

公正価値とは、独立の市場参加者間の秩序ある取引において、資産を売却することで受け取るであろう価格又は負債を移転することで支払うであろう価格と定義される。

活発な市場で取引されている金融商品の公正価値は、市場相場価格と同一である。活発な市場とは、相場価格を規制市場、決済機関、信頼性のある情報サービス又は同等のものから容易にかつ定期的に入手可能であり、価格情報が継続的な取引の発生により検証可能な市場である。最新の市場価格は、買呼値と売呼値の範囲内で、その状況において公正価値を最もよく表す価格である。当行がその市場リスクを正味エクスポージャーに基づき管理している金融商品グループの最新の市場価格は、その正味エクスポージャーが処分される場合に受け取るであろう価格又は支払うであろう価格と同一であると仮定されている。

金融商品の市場価格に関して信頼できる情報がない場合には、公正価値は評価モデルを使用して算定されている。使用する評価モデルは、基本的に市場金利や株価等の市場において観察可能な変数を用いて検証可能なインプット・データを基礎としている。必要な場合には、市場関係者が価格設定の際に考慮に入れることが見込まれるその他の変数の調整も行われている。評価に使用される仮定は、市場慣行に基づいており、継続的にリスク管理部門によって見直され、カウンターパーティによる評価と比較される。

## 利付証券

政府が発行する利付証券及びスウェーデンの抵当証券は最新の市場価格を使用して評価される。社債の評価には評価技法を使用し、同じ満期の市場利回りを信用リスク及び流動性リスクで調整したものに基づいて評価される。評価は最新の市場価格が反映されていることを確認するために定期的に検証される。検証は主に、複数の独立した価格提供機関から価格を入手し、同一又は類似商品における最近の取引との調整により実施される。

## 株式

活発な市場に上場している株式は市場価格で評価される。非上場株式や参加持分を評価する際には、その個々の商品に適切とみなされるモデルを選択する。非上場株式の保有は、主に当行への支援業務を行う企業の株式である。非上場株式はすべての重要な点からみて、その他包括利益を通じて公正価値で測定されるものとして分類される。このようなポートフォリオは、一般的にその事業の純資産価値に対する当行の持分によって評価されている。契約により株式の売却価格が定められている非上場株式については、事前に決定された売却価格で評価される。

## デリバティブ

活発な市場で取引されているデリバティブは、市場価格で評価される。当行グループの金利スワップや多くの種類の定型的な通貨デリバティブを含むデリバティブ契約の大部分は、市場金利及びその他の市場価格を基礎とする評価モデルを使用して評価される。活発に取引されていない非定型的なデリバティブ契約の評価もまた、ボラティリティ等の市場に基づくインプット・データに関する合理的な仮定を基礎としている。

デリバティブをモデルで評価する際には、場合によっては取引価格と当初認識時に評価モデルで測定した価値との間に差額が存在することもある。両者の差額は使用した評価モデルにおいて、デリバティブの価値に影響する要素のすべてが完全に織り込まれていない場合に発生する。取引価格と評価モデルによって測定された価値との正の差額（取引日利得/損失）は、当行の利益率と、例えば資本コストや管理費を補填する報酬により構成される。取引日のプラスの未実現利益は、当初認識時には損益に認識されず、デリバティブの契約期間にわたって償却される。

### 顧客が価値変動リスクを負う資産及び負債

顧客が価値変動リスクを負う資産は、主にユニットリンク保険契約の持分である。これらの持分はファンドの最新の市場価値（NAV）を使用して評価される。各資産は顧客が価値変動リスクを負う負債に対応している。これら負債の評価は資産の評価を反映している。保険契約者/持分保有者は資産に対する優先権を有しているため、その評価について信用リスク調整を行う必要はない。顧客が価値変動リスクを負う資産及び負債は基本的に、純損益を通じて公正価値で測定されるものに分類されている。

## 10. 信用損失

### (IFRS第9号「金融商品」)

#### 予想信用損失

IFRS第9号で規定される減損規則は、償却原価で測定される金融資産、その他包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産、並びに金融保証及び取消不能の貸出コミットメントに適用され、予想信用損失の認識モデルに基づいている。このモデルは、引当金が、報告日において過大なコストや労力を掛けずに利用可能な合理的で裏付け可能な情報を考慮し、一定範囲の生じ得る結果を評価することにより算定される、偏りのない確率加重金額を反映したものでなければならないと規定している。この評価は、過去、現在及び将来の要因を考慮したものである。

減損テストが行われる資産は、信用の毀損程度によって3つのステージに区分される。

- ・ ステージ1には、信用リスクが当初認識以降著しく増大していない金融資産が含まれる。
- ・ ステージ2には、信用リスクが当初認識以降著しく増大している資産であるが、報告時点で当該債権が信用減損しているという客観的な証拠がない金融資産が含まれる。
- ・ ステージ3には、当該債権が信用減損していることを示す客観的な状況が識別された金融資産が含まれる。

ステージ1では、デフォルトの結果12カ月以内に発生すると予想される損失に対応した引当金が認識される。ステージ2及び3では、デフォルトの結果、当該資産の残存期間全体のある時点で発生すると予想される損失に対応した引当金が認識される。

ステージ1及びステージ2の債権には、モデルベースの算定法を用いた、当行グループ全体の集中管理型のプロセスが実施される。このプロセスでは、全ての債権について、当初認識（契約開始日）以降信用リスクが著しく増大したか否かの評価が最初に行われる。信用リスクの著しい増大の内容の詳細については注記G2の「信用リスク」のセクションを参照のこと。各減損ステージの引当金は個別に算定される。ステージ3でモデル算定

による引当金を積んだ同種の債権からなる少額のポートフォリオ以外のステージ3債権には、マニュアルの算定が行われる。各報告日ごとに、モデルベースの算定対象になるか、又はマニュアルの算定対象になるかについて、債権ごとに評価が行われる。

予想信用損失の算定は、主にリスク・パラメーターであるデフォルト確率（以下、「PD」という。）、デフォルト時エクスポージャー（以下、「EAD」という。）及びデフォルト時損失率（以下、「LGD」という。）の影響を受ける。予想信用損失は、債権の予想最終返済日までのPD、EAD及びLGDを算定することにより決定される。この3つのリスク・パラメーターは、残存確率又は信用エクスポージャーがデフォルトしていない、もしくはは期限前返済されている確率を乗じて調整される。次に、予想信用損失推計額は、当初の実効金利を用いて報告日までの期間を割引され、合計して算定される。ステージ1の信用損失合計は、今後12カ月のデフォルト確率を用いて算定される。ステージ2とステージ3の信用損失は、資産の満期までの残存期間のデフォルト確立を用いて算定される。

### モデルベースの算定

予想信用損失の算定には、各国別の失業率、主要行又は中央銀行の金利、国内総生産（GDP）、インフレ率、不動産価格といった関連するマクロ経済上のリスク要因を勘案した、少なくとも3つのマクロ経済シナリオ（基本（中心）シナリオ、上昇シナリオ、下降シナリオ）を用いている。さまざまなシナリオがリスク・パラメーターの調整に用いられる。すべてのマクロ経済シナリオに確率が当てはめられ、各シナリオの予想信用損失の確率加重平均として予想信用損失が算定される。

ステージ1、ステージ2債権の予想信用損失の算定に用いるモデルに関する追加情報のほか、PD、EAD、LGD、予想満期、信用リスクの著しい増大及びマクロ経済情報に関する概念の説明については注記G2の「信用リスク」セクションを参照のこと。予想信用損失の感応度分析については注記G10を参照のこと。

### マニュアルの算定

ステージ3資産に対しては、個別にマニュアルの算定を用いた減損テストが行われる。この減損テストは、業務責任を有する各地の支店（顧客及び与信の所管部署）により定期的実施されるほか、各報告日にも実施され、各地域及び本部の与信部門により判定される。

減損テストはデフォルトの定義に従い、カウンターパーティが契約上の義務を履行できなくなる可能性を示す客観的な状況が存在する際に実施される。このような客観的な状況には、支払遅延又は不払、内部格付の変更、もしくは借手の破産の可能性等がある。

減損テストは将来キャッシュ・フロー及び担保価値（保証を含む）の見積りを伴う。カウンターパーティの返済能力と担保価値の双方に基づき、通常、最低でも二つの予想キャッシュ・フローの将来予測的なシナリオを考慮する。これらのシナリオの結果は確率加重され、貸出の当初の実効金利で割り引かれる。個々のカウンターパーティの返済能力及び担保価値に影響を及ぼすとみられる内容により、用いられるシナリオではマクロ経済上の要因及び債権特有の要因を考慮する可能性がある。この評価では個々のカウンターパーティの特性を考慮に入れている。見積回収可能価額が帳簿価額を下回る場合に減損損失が認識される。

### エキスパートベースの算定

モデルで考慮されなかったと考えられる要因の影響（ステージ1とステージ2債権の場合）又はマニュアルの算定で考慮されていない要因の影響（ステージ3債権の場合）を織り込むために、エキスパートベースの算定が信用損失に対して行われる。モデルベースの算定は、引当必要額全体に対する個別の要因の影響をできるだけ正確に見積もるという意向に基づくものである。しかし、個々の債権に係る全ての特性を一般的なモデルに織り込むことは極めて難しい。この理由から、全体の引当必要額への影響が大きい債権について、マニュアルに

よる分析が行われる。このマニュアルによる分析は、モデルベース又はマニュアルの算定をエキスパートベースの算定に置き換える必要があるか評価する際に、個々の与信に関するエキスパートの知識を生かすことを意図している。エキスパートベースの算定により、引当必要額が当初の算定を上回るか下回るかを判定する。

また、サブ・ポートフォリオ又は類似のポートフォリオに対するモデルベースの算定を調整するため、エキスパートベースの算定がより集約したレベルで実施される場合もある。これらの調整は関連債権に対し、按分して行われる。エキスパートベースの算定により、引当必要額が当初の算定を上回るか下回るかを判定する。

### 信用損失の認識と表示

- ・償却原価で測定される金融資産は、予想信用損失控除後の純額で貸借対照表に計上される。
- ・オフバランスシート項目（金融保証及び取消不能の貸出コミットメント）は額面金額で認識される。これらの金融商品に対する予想信用損失引当金は貸借対照表上、引当金として計上される。
- ・その他包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産は、貸借対照表上公正価値で計上される。これらの金融商品に対する予想信用損失引当金は資本の公正価値評価差額準備金で認識されるため、当該商品の帳簿価額は減額されない。
- ・償却原価で測定される金融資産及びオフバランスシート項目に関する当期の信用損失（予想及び実績）は、損益計算書の「信用損失」の項目に計上される。「信用損失」の項目は前期の予想信用損失引当金戻入額控除後の当期の予想信用損失引当金繰入額、並びに当期の償却額及び回収額で構成されている。
- ・その他包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産に関する当期の信用損失（予想及び実績）は、損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。
- ・償却額は、実際の信用損失からステージ3（債権）に係る前期の予想信用損失引当金戻入額を控除したもので、金融資産全体又は一部にかかることがある。実質的に返済可能性がなくなった場合に償却が計上される。通常、償却後も借手及び保証人に対する債権は存続し、その後は原則として強制執行の対象となる。破産管財人により破産に関連した資産整理に関する最終報告書が提出された場合、債務整理計画が承認された場合又は債権全体が放棄された場合などの特定の状況においては、強制執行は行われない。金融資産のリストラクチャリング（再編）に関してコンセッション（譲歩）が認められた債権は、常に実際の信用損失として計上される。
- ・償却された金融資産に関する当行への支払は、「（償却債権）取立益」として収益計上される。

信用損失に関する詳細情報は注記G10に記載されている。

### デフォルト又は信用減損した資産

当行のデフォルトの定義は、自己資本規制（CRR）で用いられる定義と同一であり、カウンターパーティが90日間超支払を遅延している、又はカウンターパーティが契約上の支払義務を履行できないという評価を下された、のいずれかである。かかる評価は、借手が返済を行えなくなる可能性のほうが高いとみなされていることを示している。この評価では、借手の返済能力に関するすべての利用可能な情報を根拠としている。不十分な流動性、支払の遅延や取消、不払の記録、又は返済能力の毀損に係る他の兆候などの支払不能の指標を考慮に入れている。他の前兆には、借手の破産、又は借手に対する当行の債権額の減少を伴う大幅なフォーベアランス（条件緩和）措置が認められることなどが考え得る。

デフォルト確率は各報告日前に算定され、ステージ1及びステージ2の金融資産の予想信用損失の算定とともに、当初認識以降、信用リスクの著しい増大があったかどうかについての評価に組み込まれる。

信用減損した金融資産はステージ3のエクスポージャーであり、デフォルトしたエクスポージャーと定義されている。これは、会計上の評価が当行グループの信用リスク管理に用いられる評価と一致していることを意味している。

## 利息

ステージ1及びステージ2債権については、貸借対照表の項目に起因する利息収益の認識は総額ベースによる。これは、利息収益の全額が「純利息収益」として認識されることを意味する。

ステージ3債権について、利息収益は減損を考慮した純額で認識される。予想される支払までの期間が短くなることで割引効果が減少する金利効果により、過去に引き当てられた金額の戻入れが発生するが、このような金利効果は、実効金利法により利息収益に計上される。

## 債権の保全のために担保権が実行された不動産及び器具備品の評価

担保権が実行された不動産及び器具備品は当初認識時に公正価値で貸借対照表に計上される。担保権が実行された不動産及び器具備品のうち、近い将来に処分が予想されるもの（担保権が実行されたリース資産を含む）は、帳簿価額又は公正価値（売却費用控除後）のいずれか低い方で評価される。近い将来に処分される見込みのないものについては、純損益を通じて公正価値で評価される投資不動産として計上される。債権の保全のために譲り受けた非上場株式は、通常純損益を通じて公正価値で計上される。

## 条件変更された金融資産

フォーベアランス（条件緩和措置）又は商業上の再交渉の結果、キャッシュ・フローを決定する条件及び規定が当初の契約から変更されている場合、貸出が条件変更されたとみなされる。フォーベアランス（条件緩和措置）は、リストラクチャリングや他の財務上の救済措置に伴う、貸出条件を変更することをいう。この変更は、財政難にある債務者からの返済の全額保全又は貸出残高の返済を最大化する目的で実施される。商業上の再交渉は、返済又は金利に関する市況の変化に伴う貸出のキャッシュ・フローの変更など、債務者の財政難とは関連のない貸出条件の変更をいう。

償却原価で測定するものに分類された金融資産によるキャッシュ・フローが条件変更されたものの、キャッシュ・フローが著しく変動していない場合、通常は、条件変更により当該金融資産が貸借対照表から認識中止されることはない。この場合、当該金融資産の変更後のキャッシュ・フローを基に帳簿価額総額が再計算され、調整額が損益計算書に計上される。

条件変更の実施にはさまざまな理由はあることから、条件変更と信用リスク評価との間に必ず関連性があるといったことはない。金融資産がフォーベアランス（条件緩和措置）の対象となり、引き続き貸借対照表に計上される場合、フォーベアランス（条件緩和措置）が認められた際の評価結果に基づき、当該金融資産はステージ2又はステージ3に分類される。この評価には、信用損失に対して引当金を積む必要があるか、又は（債権が）ステージ3に分類されることになるような他の状況があるかどうかの確認が含まれる。

キャッシュ・フローが著しく変化する方法で金融資産が条件変更される場合、条件変更された金融資産は貸借対照表から認識中止され、新たな債権に置き換えられる。このような場合、条件変更日は新債権の当初認識日となり、予想信用損失の計算及び当初認識以降信用リスクが著しく増大したかを評価する場合にはこの条件変更日が用いられる。

金利指標改革により実施された条件変更に関する会計処理の詳細については、セクション12の金利指標改革を参照のこと。

## 11. ヘッジ会計

**(IAS第39号「金融商品：認識及び測定」)**

ハンデルスバンケンは、IFRS第9号の移行規定に従い、IAS第39号に規定されているヘッジ会計規則を継続適用することを選択した。当行グループは、ヘッジ会計についてヘッジ目的に応じた異なる方法を採用している。デリバティブ（主に金利スワップ及びクロスカレンシー金利スワップ）がヘッジ手段として用いられているが、さらに、在外営業活動体への純投資に関する為替リスクをヘッジする場合には、対象となる在外営業活動体の機能通貨による負債がヘッジ手段として用いられている。当行グループのヘッジ戦略の一つとして、ヘッジ手段の価値変動が、往々にして個別の構成要素に分割され複数のヘッジ関係に含まれている。したがって、単一の同じヘッジ手段が異なるリスクをヘッジすることができる。ヘッジ手段の分割は、ヘッジされるリスクを明確に特定することが可能なこと、その効果を信頼性をもって測定することが可能なこと、及びヘッジ手段の価値変動合計がいずれかのヘッジ関係に含まれている場合に限り行われる。

公正価値ヘッジは、市場価格が変動することにより、損益に生ずる望ましくない影響から当行グループを保護するために使用される。公正価値ヘッジは個々の資産・負債にも金融商品ポートフォリオにも適用されている。公正価値ヘッジのヘッジ関係にあるヘッジ対象リスクは、基本的に固定金利による貸出金及び借入金にかかる金利リスクである。これらのヘッジ関係におけるヘッジ手段は金利スワップである。公正価値ヘッジの場合、ヘッジ手段及びヘッジ対象リスクの両方が公正価値で認識され、価値変動は損益計算書の「金融取引による純損益」に直接計上される。ポートフォリオ・ヘッジが適用される場合、ヘッジ対象の価値は、「一般顧客への貸出金」に関連する別項目で貸借対照表に計上される。公正価値ヘッジが途中で中止された場合、ヘッジ対象に生じた価値変動計上額は満期までの期間にわたり「金融取引による純損益」で償却される。公正価値ヘッジが途中で中止され、ヘッジ対象が存在しなくなった場合、生じた価値変動は「金融取引による純損益」に直接戻し入れられる。

キャッシュフロー・ヘッジは変動金利による貸出金及び資金調達金利変動によるキャッシュ・フローの変動に対するエクスポージャーを管理するために採用される。このタイプの貸出金及び資金調達の予想満期は、非常に短期である金利調整期間よりも、通常は長期となる。キャッシュフロー・ヘッジは、貸出金及び資金調達の将来キャッシュ・フローにおける為替リスクのヘッジにも用いられる。グループ内の貨幣性項目から生じる為替リスクも、連結の際に全額相殺消去されない為替エクスポージャーをもたらす場合には、キャッシュフロー・ヘッジの対象となる。キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段であるデリバティブは公正価値で測定される。そのデリバティブの価値変動が効果的に、すなわちヘッジ対象の将来キャッシュ・フローと連動する場合、そのデリバティブの価値変動はその他包括利益の構成要素、及び資本のヘッジ準備金に計上される。そのデリバティブの価値変動のうち非有効部分は、「金融取引による純損益」として損益計算書に計上される。キャッシュフロー・ヘッジが途中で終了する場合、過去にその他包括利益に認識されていたヘッジ手段に係る累積利益又は損失はヘッジされたキャッシュ・フローの発生が見込まれる期間にわたって「金融取引による純損益」で償却される。キャッシュフロー・ヘッジが途中で終了し、ヘッジされたキャッシュ・フローの発生が今後見込まれなくなった場合には、累積された価値変動はヘッジ準備金から「金融取引による純損益」へ振り替えられる。

海外ユニットにおける純投資ヘッジは、海外事業の為替レートの変動から当行グループを保護するために採用されている。クロスカレンシー金利スワップ及び外貨建借入金がヘッジ手段として用いられている。これらのヘッジにおけるヘッジ対象は直接投資の形式による純投資及び予見可能な将来に決済することが予定されていない海外事業に対する債権で構成されている。在外営業活動体における純投資をヘッジするために実施された外貨建借入金は、貸借対照表日の為替レートで当行グループ貸借対照表に計上される。このような借入金の為替差額の有効部分は「その他包括利益」の構成要素として計上され、かつ、資本の為替換算調整準備金に計上される。海外事業に対する債権の為替リスクをヘッジするクロスカレンシー金利スワップの価値変動の有効

部分は同様の方法で計上される。在外営業活動体における純投資ヘッジの非有効部分は損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。

詳細については、注記G23の「ヘッジ会計及び金利指標改革」を参照のこと。

## 12. 金利指標改革

### (IAS第39号「金融商品：認識及び測定」及びIFRS第9号「金融商品」)

金利指標改革に直接影響を受けるすべてのヘッジ関係について、特定のヘッジ会計要件の適用を免除する一時的な救済措置が設けられている。一時的な救済措置の目的は、金利指標改革から生じる不確実性のみを理由として有効なヘッジ関係が中止されることを防ぐことにある。ヘッジ関係への直接的な影響は、ヘッジ対象のリスク及び/又はヘッジ対象又はヘッジ商品の指標金利に基づくキャッシュ・フローの時期や金額に不確実性が生じる場合にのみ、存在する。指標金利に関する不確実性は、どの金利を代替金利とするか、個別の契約への影響の特定を含め、本改革が実施されるかどうかやその実施時期が決定されるまでの期間にわたって継続する。金利指標改革の直接の結果として金融資産及び金融負債の条件変更が行われる場合、この条件変更は実効金利の変動として認識される。従って、条件変更により生じる損益は一切認識されない。例外を適用するためには、条件変更が金利指標改革の直接的な結果であり、キャッシュ・フローを決定する新たな基礎が従前の基礎と経済的に同等でなければならない。さらに、金利指標改革のためだけにヘッジ関係を中止する必要がなくなるように、ヘッジ関係にある既存の指標金利を代替指標金利に置き換える場合には、ヘッジ会計の要件を一部免除することが認められている。詳細については、注記G23の「ヘッジ会計及び金利指標改革」を参照のこと。

## 13. リース

### (IFRS第16号「リース」)

#### 当行が貸手の場合

貸手はすべてのリースをファイナンス・リース又はオペレーティング・リースのいずれかに分類しなければならない。ファイナンス・リースは、リース資産の法的所有権に付随するほぼすべてのリスク及び経済的価値を貸手から借手に移転するものである。他のリースはオペレーティング・リースに分類される。当行グループが貸手であるすべてのリースはファイナンス・リースに分類されている。この種類のリース契約は、契約当初の純投資相当額で貸借対照表に貸出金として計上される。受取リース料は継続的に利息収益又は元本の返済として認識される。

IFRS第9号に従い、ファイナンス・リースの正味リース投資未回収額は、償却原価で測定される金融資産と同様に減損テストの対象となる。

#### 当行が借手の場合

リース契約の開始日に、借手はリース負債と使用権資産を認識する。リース負債は、当初は当行の追加借入利率で割り引かれた将来のリース料の現在価値で認識される。リース負債の評価に含まれるリース料は、主に固定リース料及び指数に連動した変動リース料で構成される。使用権資産は当初は取得原価で計上されるが、これはリース負債、前払リース料、当初直接コスト、及び将来の原状回復費用の見積額の当初評価額に相当する。リースの契約条件で要求されている場合にのみ、原状回復費用を取得原価に含める。

リース負債の事後測定において、帳簿価額は利息によって増加し、支払われたリース料によって減少する。さらにリース負債は、リース契約の見直し又は変更により増減する可能性がある。使用権資産の事後測定において、使用権資産は、リース負債の再測定を考慮に入れ、減価償却累計額及び減損損失累計額控除後の取得原価で測定される。使用権資産は、リース期間にわたって減価償却され、IAS第36号「資産の減損」に従い、減損テストが実施される。減損テストに関するセクション16を参照のこと。

使用権資産は、貸借対照表項目の「不動産及び器具備品」に含まれるが、リース負債は貸借対照表項目の「その他負債」に含まれる。

リース期間が12カ月以内又は原資産の価値が低いリース契約は、リース期間にわたって定額法により費用として計上されるため、リース負債や使用権資産には含まれない。

## 14. 保険事業

### (IFRS第4号「保険契約」-2022年12月31日まで適用される会計原則)

当行グループの保険事業は、子会社のハンデルスバンケン・リヴ・プロダクツを通して運営されている。ハンデルスバンケン・リヴ・プロダクツの商品は、主に従来型生命保険やユニットリンク保険の形式による法定生命保険と、健康保険及び保険料払込免除特約の形式によるリスク保険契約で構成される。

### 保険契約の分類及びアンバンドリング

重要な保険リスクを含む契約は、連結財務諸表において保険契約として分類される。保険リスクとは、金融リスク以外で、契約の保有者から発行者に移転されるリスクをいう。重要な保険リスクを移転しない契約は、全体を投資契約に分類する。通常、払戻保証が付された保険契約が投資契約に分類され、それ以外の契約は保険契約に分類される。保険要素と貯蓄（金融要素）の両方で構成される保険契約は、以下に記述する原則に従ってアンバンドリングされ、個別に認識される。

### 保険契約における保険要素の会計処理

保険契約に関する保険料収入及び支払保険金は損益計算書の「保険リスク」の項目に純額で計上される。当行グループの保険負債における変動もまたこの項目に計上される。

収入としてまだ認識されていない受取保険料は、払込済保険料として貸借対照表の保険負債に計上される。貸借対照表の保険負債項目には、疾病年金、終身年金、及びその他の未払保険負債も含まれている。保険負債は保険契約に関する予想将来キャッシュ・フローを割り引くことで評価される。評価は金利、死亡率、疾病率及び将来の費用に関する仮定に基づく。死亡率に関する仮定は契約時期によって様々であり、また予想される将来の余命の延びを考慮している。手数料に関する仮定もまた契約時期による。基本的に、これは保険料に比例し、一部の手数料は保険契約準備金に比例する。受益者の将来の健康状態に関して採用される仮定は内部で蓄積された経験に基づいており、商品に応じて様々である。金利の仮定は負債期間に応じた現行の市場金利に基づいている。将来の予想保険金をカバーする保険負債の報告値が十分であることを確認するため、当行グループは、少なくとも年次で保険負債の定期レビューを実施している。必要な場合には準備金が追加され、差額は損益計算書に計上される。

### 投資契約及び保険契約の金融要素の会計処理

投資契約における顧客の貯蓄元本及び保険契約の金融要素に関する払込及び払戻は、預り金及び引出金として貸借対照表に直接計上される。

保険契約から分離される従来型生命保険契約の金融要素は、貸借対照表に一般顧客からの借入金として認識される。これらの負債は保証額と保険契約の現在価値のいずれか高い方で評価される。保証額は保証金利による利息額だけ増加するが、これは保険契約の償却原価に相当する。保険契約の現在価値は保険契約者に代わって運用する資産価値と同一であり、その資産の総利回り（利回り分割分を控除する）に基づく利息を稼得する。利回り分割は、暦年中に総利回りが保証金利を超過する場合に、総利回りのうちの契約で定める部分が保険会社に配賦されることを意味する。この算定は年次で実施され、契約毎に累積する。これは、各年度の利回りが保証金利を下回る年度において条件付き配当が減少することを意味し、保証金利を上回る年度においては

条件付き配当が増加することを意味する。利回り分割モデルにおいて当行グループの稼得分は「手数料及びコミッション収益」に計上される。利回りが契約上の保証金利を下回る場合は、差異部分を損益計算書の「金融取引による純損益」に計上する。

ユニットリンク保険契約の資産及び負債は、貸借対照表の「顧客が価値変動リスクを負う資産/負債」に公正価値でそれぞれ計上される。

投資契約及び保険契約の保険手数料及び資産関連手数料並びに管理費用は、「手数料及びコミッション収益」として損益計算書に計上される。取得費用は損益計算書に直接計上される。

## 再保険

当行グループの保険負債の再保険者負担部分は、貸借対照表の「その他資産」として計上されている。

## (IFRS第17号「保険契約」-2023年1月1日から適用される会計原則)

ハンデルスバンケンの保険契約は、ユニットリンク保険、ポートフォリオ・ボンド保険、リスク保険契約（主に障害保険、保険料払込免除特約及び死亡保険の形式による）並びに従来型生命保険で構成される。

## 分類

保険契約は、リスク保険要素、貯蓄性保険要素又はその双方で構成される。保険契約又は投資契約への分類は、保険契約に含まれる個々の保険要素（貯蓄性保険要素/リスク保険要素）が異なる経済的意義を持つことに基づいて決定される。従来型生命保険契約の貯蓄性保険要素、リスク保険契約及び複合従来型生命保険契約から分離されたリスク保険要素は重要な保険リスクを含んでいることから保険契約として分類され、測定され、認識される。ポートフォリオ・ボンド保険契約及びユニットリンク保険契約は、重要な保険リスクを含まないことから投資契約に分類され、IFRS第9号に従い分類され、認識され、測定される。

## 保険契約の集約レベル

ハンデルスバンケンは、保険契約ポートフォリオを当行グループに与える保険リスクに基づいて特定し、一括して管理している。その後、ポートフォリオは予想される収益性に基づいてグループ化され、移行時点ではすべて収益性があると評価されている。従来型生命保険契約の貯蓄性保険要素については、契約締結からかなりの時間が経過しており、この商品種類の契約の新規受付を終了していることから、単一のポートフォリオとグループのみを特定している。リスク保険契約及びリスク保険要素のポートフォリオについては、各保険商品が個別にグループを構成している。保険商品のグループはさらにサブグループに細分化され、同一年内に締結された契約でグループが構成される。

## 保険契約の測定

### 一般アプローチ

ハンデルスバンケンは、従来型生命保険契約の貯蓄性保険要素を測定する際に、一般アプローチを適用する。なぜなら、このポートフォリオの契約期間が1年よりもはるかに長期であること、また契約で保証されている金利の水準が高いことから、無条件の追加支出が支払総額に占める割合は大きくないと予想されるためである。また、一般アプローチは、複合従来型生命保険契約から分離されたリスク保険契約及びリスク保険要素に係る発生保険金負債にも適用される。

### 保険料配分アプローチ

ハンデルスバンケンは、従来型生命保険契約から分離されたリスク保険契約及びリスク保険要素における残存カバーに係る負債を測定する際に、保険料配分アプローチを適用する。なぜなら、当行は、特定されたすべてのリスク保険契約及びリスク保険要素の期間が最長1年であると評価しているためである。

### **残存カバーに係る負債 - 一般アプローチ**

残存カバーに係る負債は、将来キャッシュ・フローの最善の見積りの現在価値の計算、リスク調整及び契約上のサービス・マージンにより算出される。移行日現在、ハンデルスバンケンは不利な契約を特定していない。

将来キャッシュ・フローの見積りにあたって考慮される仮定は、主に管理費用、契約上のオプションの行使確率（払込済保険契約の譲渡、買戻し及びプレースメント）、死亡率及び金融市場のシナリオ（国債金利、利回り、割引率）などである。

将来キャッシュ・フローの見積りとリスク調整は、貸借対照表日現在の割引率を適用して割り引かれる。割引率は、最長10年の金利スワップの観察可能なレートに信用リスクの調整を加えたものである。10年超の満期の割引率は長期金利水準から推計し決定される。

当行は、リスク調整額の算出に資本コスト・アプローチを用いている。これは、すべての保険契約について算出され、その後個々のポートフォリオ及びグループに配分され、約85%の信頼水準に相当すると推定される。

IFRS第17号への移行に伴い、従来型生命保険契約の貯蓄性保険要素について、公正価値と将来キャッシュ・フローの最善の見積りの現在価値との差額にリスク調整額を加味した契約上のサービス・マージンがIFRS第17号への移行時に発生する。従来型生命保険契約を新規に締結することはできないため、IFRS第17号への移行後は契約上のサービス・マージンは発生しない。契約上のサービス・マージンの会計処理は、識別されたカバー単位に基づく。ハンデルスバンケンは、提供されるサービスが一定期間にわたって定額法により実施されると評価していることから、契約上のサービス・マージンの解放パターンが選択されている。保証給付額が高い契約ほどポートフォリオの契約上のサービス・マージン全体への寄与が高いことを考慮し、各保険契約のポートフォリオの解放への寄与は、予想保証給付額の合計に応じて加重されている。

### **残存カバーに係る負債 - 保険料配分アプローチ**

残存カバーに係る負債に対しては割引を行わず、当行が保険契約者にまだ提供していない保険カバーに関連する受取保険料に比例按分した金額で認識される。受取保険料は、保険カバーが提供されるにつれて、収益として定額法で認識される。移行日現在、ハンデルスバンケンは不利な契約を特定していない。

### **発生保険金に係る負債**

発生保険金に係る負債は一般アプローチを用いて測定され、保険金が発生した時点で認識される。負債は、貸借対照表日までに発生した報告済及び未報告保険金である。負債は、将来キャッシュ・フローの最善の見積りによる現在価値の計算及びリスク調整により算出される。発生保険金に係る負債には、残存カバーに係る負債と同じ仮定が適用され、関連する場合、将来の罹患及び回復に関する仮定が追加される。決済予定日までの期間が12カ月以内の保険金は割り引かれない。

### **保有再保険契約**

ハンデルスバンケンは、基礎となる保険契約の満期が1年を超えない保有再保険契約に保険料配分アプローチを適用している。つまり、再保険に対して支払った保険料は、再保険カバー期間にわたり費用として認識される。当行グループの保険負債に対する再保険者の持分は、貸借対照表の「その他資産」に計上される。

## 保有保険契約及び再保険契約の認識

残存カバーに係る負債及び発生保険金に係る負債は、貸借対照表の「保険負債」に計上される。保有再保険契約に関連する資産及び負債は、それぞれ貸借対照表項目の「その他資産」及び「その他負債」に計上される。

保険契約から生じる損益は、「保険事業に係る損益」という共通項目で損益計算書に認識される。この項目には、保険収益、保険サービス費用、保有再保険契約から生じる結果及び保険契約からの金融収益及び費用が含まれる。「保険事業に係る損益」の内訳については別の注記に記載されている。保険契約者に代わって保有する資産の投資収益は別項目で認識される。「保険事業に係る損益」及び「保険契約者に代わって保有する資産の投資収益」の項目の合計額は、損益計算書の「保険事業に係る純損益」に計上される。

従来型生命保険契約の貯蓄性保険要素を測定する際のキャッシュ・フローの現在価値及びリスク調整に対する割引率の変更による影響額は、資本の別項目に累積され、「その他包括利益」に計上される。IFRS第17号への移行に伴い、「その他包括利益」の累計額はゼロとなる。

## 投資契約の認識及び測定

ポートフォリオ・ボンド保険及びユニットリンク保険契約は投資契約であり、これらの契約に連動する投資資産と同様に純損益を通じて公正価値で測定される。これらの項目は、顧客が価値変動リスクを負う場合、貸借対照表の「資産」及び「負債」にそれぞれ計上される。

投資契約の保険料、資産関連手数料及びその他管理費用は、「手数料及びコミッション収益」として損益計算書に計上される。取得費用も損益計算書に直接計上される。資産及び負債の価値変動は「金融取引による純損益」に計上される。

## IFRS第17号への移行に適用した方法

ハンデルスバンケンは、リスク保険契約及びリスク保険要素にIFRS第17号を遡及適用している。従来型生命保険契約の貯蓄性保険要素に対しては公正価値アプローチを適用している。従来型生命保険契約のポートフォリオに相場価格がない場合、公正価値は、可能な限り、公正価値を算出するための観察可能なパラメーターを利用する測定技法を用いて決定される。市場関係者が適用するであろう価格を決定するにあたり、市場の保険会社が新規の従来型生命保険契約に対して提示する、当行が観察した保証料率の平均を使用している。また、利益やリスク・マージンに関する市場の前提が市場の保証料率に默示的に考慮されているため、この方法では市場の前提も考慮される。公正価値と将来キャッシュ・フローの最善の見積りの現在価値との差額にリスク調整を加味した金額が、IFRS第17号への移行時の契約上のサービス・マージンとなる。

## 15. 無形資産

### (IAS第38号「無形資産」)

#### 貸借対照表における認識

無形資産は、物理的実体のない識別可能な非貨幣性資産である。無形資産はその資産に起因する経済的便益が当行グループに流入する可能性が高く、その取得原価を信頼性をもって測定できる場合に限り貸借対照表に計上される。これは、自己創設されたのれん、商標、顧客データベース及びこれに類似するものの価値は資産として貸借対照表に認識されないことを意味する。

自社で開発するソフトウェアへの投資のうち、既存の事業運営又はソフトウェアの維持費用の範囲とされるものについては発生基準で費用計上している。契約期間にわたってサプライヤーのアプリケーション、プラットフォーム又はインフラの利用を伴うクラウド・サービスを当行に提供するサプライヤーとの契約はサービス

契約となる。クラウド・サービスの料金は、契約期間にわたり継続的に費用に計上される。事前に支払われた料金は、資産、すなわち前払費用として認識される。クラウド・サービスの環境設定や環境構築に係る料金は、業者が該当するサービスを提供した際に費用計上される。環境設定や環境構築がクラウド・サービスの不可欠な部分であり、クラウド・サービスのサプライヤー又は当該サプライヤーの委託先がこれらを実施する場合、料金は契約期間にわたり、継続的に費用計上される。事前に支払われた料金は、前払費用として認識される。新規ソフトウェアの自社開発、又は新規事業のための既存ソフトウェアの開発の場合、信頼性をもって測定可能な費用の発生は、経済的便益の発生可能性が高くなった時点から資産計上する。借入費用は、無形資産の開発費用の資産計上を決定した日から資産計上される。

企業結合の会計処理に際し、取得価格は取得事業において取得した識別可能資産、負債、及び偶発債務の価値に配分される。これらの資産には、個別に取得した場合、又は自己創設された場合には貸借対照表に計上されない無形資産も含まれることがある。企業結合において識別可能資産及び負債に配分が出来ない取得価格のれんとして認識される。

### のれん及び耐用年数を確定できない無形資産

のれん及びその他の耐用年数を確定できない無形資産は、減損損失控除後の取得原価で計上される。これらの資産は年次報告書作成時に年次で、又は資産に減損の兆候がある場合にはその都度、減損テストが実施される。減損テストは、その資産の回収可能価額（すなわち、使用価値と売却費用控除後の公正価値のいずれか高い方）を算定することにより実施される。回収可能価額が帳簿価額を超過する限り減損損失を認識する必要はない。減損損失は損益計算書に直接計上される。

のれんから発生するキャッシュ・フローと、その他の資産から発生するキャッシュ・フローを区別することが不可能なため、のれんの減損テストは資金生成単位レベルで行われる。資金生成単位とは、他の資産又は資産グループからのキャッシュ・インフローとはおおむね独立したキャッシュ・インフローを生成させるものとして識別される資産グループの最小単位である。のれんについては、事業セグメント単位で把握されている。のれんの減損テストにおける重要な評価及び仮定は、注記G25に記載されている。過去に認識されたのれんの減損は戻入れない。

### 確定可能な耐用年数を有する無形資産

見積耐用年数の設定が可能な無形資産は償却され、その資産の耐用年数にわたって定額法で償却される。すなわち、現行では、顧客契約は20年間にわたって償却されており、内部開発ソフトウェアは通常5年間にわたって償却されている。特定のインフラ整備プロジェクトでは、その耐用年数は5年超と評価される。こうした種類の投資の償却期間は最長で15年である。償却の対象となる商標は、5年間にわたって償却されている。償却期間は新規取得時において個別に検証されるが、耐用年数が変化した可能性があることを示す兆候がある場合にも継続的に検証が行われる。確定可能な耐用年数を有する無形資産は、資産の減損が示唆される場合に減損について検証が行われる。減損テストは耐用年数を確定できない無形資産と同様の原則、すなわち資産の回収可能価額を算定することにより実施される。

## 16. 不動産及び器具備品

### (IAS第16号「有形固定資産」)

当行グループの有形固定資産は不動産及び器具備品で構成される。債権の保全のために担保権が実行された資産を除き、これらの資産は減価償却累計額及び減損損失控除後の取得原価で計上される。

減価償却は通常、資産の見積耐用年数に基づく定額法が適用されている。見積耐用年数は年次でテストされる。見積耐用年数が異なる構成要素から成る有形資産は、償却方法の異なる区分に分割され、別個に償却され

る。そのような構成要素の償却は通常、不動産への適用に限定される。その資産の構成要素の取得原価が、不動産の取得原価合計に対して重要である場合に限り、分割して償却される。当該不動産の残余部分（建造物）はその全体を予想耐用年数で償却する。現行では、建造物の耐用年数は100年、排水設備は35年、屋根は30年、間口、暖房、換気及び配電設備は25年、エレベーターは20年、建物の恒久的設備、サービス施設は10年である。パーソナル・コンピューター及びその他のIT機器は通常3年間にわたり償却される。また、銀行の金庫室及び類似する建物附属設備への投資は10年間にわたり償却される。その他の機器は通常5年間で償却される。

不動産及び器具備品の減損テストは、資産価値の減少の兆候がある場合に実施される。減損損失は回収可能価額が帳簿価額を下回る場合に認識される。減損損失は損益計算書に直ちに計上される。減損損失は、減損損失がもはや存在せず、前提となる見積回収可能額の仮定に変化があったことが示される場合に戻入れられる。

## 17. 引当金

### (IAS第37号「引当金、偶発負債及び偶発資産」)

引当金は、当行グループから認識済みの資源が流出することが予想されるものの、その時期又は金額が不確実なもので構成されている。引当金は、過去の事象の結果として当行グループが法的又は推定的債務を有しており、その債務を決済するために資源の流出を要する可能性が高い場合に報告される。認識にあたり、その金額を信頼性をもって見積もることが可能でなければならない。引当金として認識された金額は、貸借対照表日においてその債務を決済するために必要な支出の最善の見積りに相当するものである。見積りにおいては予想される決済日も考慮されている。

リストラクチャリングについて引当金が計上される。リストラクチャリングとは、例えば従業員が早期退職に関する解雇給付を受ける場合や支店が閉鎖される場合等、主要な組織改革を示す。引当金を計上するには、企業が当該リストラクチャリングを実施するためにリストラクチャリング計画を設定し、影響を受ける人々が予測できるように伝達しておく必要がある。リストラクチャリング引当金に含まれるものは、リストラクチャリングから発生する直接費用で、将来の業務に関連しないものに限定される。

## 18. 資本

資本には、下記の構成要素が含まれている。

### 資本剰余金

資本剰余金は発行済転換可能負債性金融商品のオプション部分並びに株式発行及び転換可能負債性金融商品の転換において調整額面金額を超過する金額が含まれている。

### 確定給付年金制度

確定給付年金制度の項目は、年金債務の数理計算上の差異に加え、割引率を適用して算定された収益を上回る又は下回る制度資産に係る運用収益より構成されている。

### ヘッジ準備金

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段で構成されるデリバティブ商品の未実現の価値変動はヘッジ準備金に含まれている。

### 公正価値評価差額準備金

その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類された金融資産の未実現価値変動は、公正価値評価差額準備金に計上される。さらに、公正価値評価差額準備金は、その他包括利益を通じて公正価値で測定する

ものに分類された負債性金融商品の予想信用損失引当金を含む。これらの負債性金融商品の実現価値変動は、公正価値評価差額準備金から損益計算書に振り替えられる。その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類された資本性金融商品の実現価値変動は、公正価値評価差額準備金から利益剰余金に振り替えられる。

### 為替換算調整準備金

為替換算調整準備金は海外ユニットの業績を連結財務諸表の通貨に換算することによって生じた未実現の外貨換算による影響で構成される。さらに在外営業活動体への純投資に関するヘッジの有効部分は、為替換算調整準備金に計上される。

### 当期利益を含む利益剰余金

利益剰余金には当期及び過年度の利益が含まれている。配当及び自己株式の再取得は「利益剰余金」の控除として計上される。

その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類された資本性金融商品に起因する実現損益は、公正価値評価差額準備金から利益剰余金に振り替えられる。

### 非支配株主持分

非支配株主持分は、当行グループの純資産のうち、親会社の普通株式保有者に直接又は間接的に所有されていない部分で構成される。非支配株主持分は、資本における個別の構成要素として計上される。

## 19. 収益

### 純利息収益

利息収益及び利息費用は、損益計算書の「純利息収益」に計上される。但し、トレーディング勘定の取引活動全般が認識される「金融取引による純損益」に認識されるような、純損益を通じて公正価値で測定することが強制される金融商品から生じる利息を除く。

償却原価で測定される金融商品に係る利息収益及び利息費用は、実効金利法又は適切であると認められた場合は、実効金利法に基づく計算の合理的な見積りとなる方法を用いて算定され計上される。実効金利は、金融商品の実効金利に不可欠な部分とみなされる手数料(一般的に、リスクの対価として受領する手数料)を含む。実効金利は、契約上の将来キャッシュ・フローを金融資産又は金融負債の帳簿価額まで割り引く際に用いられる利率に相当する。

純利息収益にはまた、ヘッジ対象の金利が「純利息収益」に計上される、ヘッジ会計を通じて認識されるデリバティブ商品からの利息及び経済ヘッジのデリバティブからの利息も含まれる。

利息収益及び利息費用に加えて、純利息収益には預金保証及び安定手数料といった政府保証料が含まれる。

### 純手数料及びコミッション収益

手数料及びコミッションは、サービスに対する支配が顧客に移転された時点となる、履行義務が充足される一時点で認識される。収益合計は各サービス間で配分され、収益内での認識はサービスが特定の時点で履行されたか、特定期間にわたって履行されたかで異なる。例えば、資産運用における管理報酬のような手数料及びコミッション収益は、通常、サービスが履行される割合で認識される。仲介手数料、カード手数料又は支払コミッションのような手数料及びコミッション収益は、通常、サービスが履行された時点、すなわち特定の時点で認識される。収益が払戻、ボーナス又は業績連動型の要素などの可変的な支払を含む場合、収益は金額の支払が行われない可能性がほとんどない場合に限り認識される。実効金利に含まれない貸出手数料は、手数料及

びコミッション収益として認識される。「手数料及びコミッション費用」は取引ベースであり、収益が「手数料及びコミッション収益」として計上される取引に直接関連する。

## その他収益

「その他収益」の項目は主に、賃料収入のほか、子会社、関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する参加持分の処分により発生するキャピタルゲイン/ロスで構成される。

## 金融取引による純損益

金融取引による純損益には、金融資産及び金融負債を純損益を通じて公正価値で測定する際や金融資産及び金融負債が処分又は決済された際（その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品を除く）に発生する、損益に影響するすべての項目が含まれる。

- ・ 償却原価で計上される金融商品に係る損益は、期限前償還される貸出金の早期償還手数料や当行が発行した証券の買戻しによって生じたキャピタルゲイン/ロスなど、償却原価で測定されるものとして分類される金融資産及び負債に係る実現損益から構成される。
- ・ その他包括利益を通じて公正価値で測定される金融商品に係る損益は、その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類された利付証券の実現損益から構成される。実現損益は、処分/売却に伴いその他包括利益から「金融取引による純損益」の項目に振り替えられる。この項目には、これらの資産に関する信用損失（予想損失及び実損失）も含まれる。
- ・ 公正価値オプションの利用を選択した純損益を通じて公正価値で測定される金融商品に係る損益は、当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定されるものとして分類された金融資産及び負債の実現及び未実現価値変動から構成される。
- ・ 純損益を通じて公正価値で測定されることが強制される金融商品に係る損益は、トレーディング目的保有、又は公正価値で管理・評価される金融資産及び金融負債に係る実現及び未実現価値変動、配当収益及び利息（ヘッジ対象の金利が「純利息収益」で計上されるデリバティブから生じた利息を除く）から構成される。
- ・ 公正価値ヘッジは、ヘッジ手段及び、公正価値ヘッジのヘッジ対象となる金融資産・負債のヘッジ対象リスク要素の実現・未実現の価値変動から構成される。キャッシュフロー・ヘッジの非有効部分は、ヘッジ対象に起因する将来キャッシュ・フローとは対応しないヘッジ手段の価値変動部分から成る。
- ・ 保険契約の金融要素に係る損益は、リターンが保証金利を下回る場合に生じた損益から構成される。

## 配当金

その他包括利益を通じて公正価値で測定される株式の配当金は、「その他配当金収益」として損益計算書に計上される。純損益を通じて公正価値で測定される株式の配当金は、損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。関連会社及びジョイント・ベンチャーの株式の配当金は損益計算書の配当金項目に含まれない。関連会社及びジョイント・ベンチャーの持分利益の認識についてはセクション5に記載されている。

## 20. 従業員給付

(IAS第19号「従業員給付」)

### 人件費

人件費には給与、年金費用及び社会保障費、年金費用にかかる特別給与税を含むその他の形式の直接人件費、並びに給与関連のその他の形式の間接費が含まれている。解雇に関連する給付は、合意に達した時に負債として認識され、残存雇用期間にわたって償却される。

## 退職給付会計

退職後給付は、確定拠出制度及び確定給付制度で構成されている。当行グループが別の事業体に固定額の保険料を支払うことで、その後に法的も推定的にも支払義務を負わない給付制度は確定拠出制度として会計処理される。従業員は、資金が支払われるまでの間の価値変動リスクを負う。確定拠出制度に支払われる保険料は、従業員が会社に役務を提供し、その役務に対する報酬が支払われることによって発生した人件費として損益計算書に計上される。

その他の退職後給付制度は、確定給付制度として会計処理される。確定給付制度の未払給付金は、給与及び雇用期間に基づいており、雇用主が年金債務の履行に係るすべての重要なリスクを負担することを意味する。確定給付制度については、年金債務の現在価値が年金負債として認識されている。確定給付制度の大部分について、当行グループは支払債務に充当する目的で年金基金及び年金ファンドに制度資産を積み立てている。確定給付制度の貸借対照表上の純負債は、年金債務から制度資産の公正価値を控除した金額である。その他の包括利益には、実際の結果と仮定との差から生じた確定給付債務の数理計算上の損益のほか、制度資産の実際の収益と制度資産の期待収益との差が計上されている。

確定給付制度の年金費用は、損益計算書の「人件費」に計上され、以下の項目により構成されている。

- + 当年度に発生した年金の権利費用。計算された年金額の最終合計のうちの当期部分。未払年金権利の計算は、見積最終給与に基づいており、年金数理計算上の仮定の対象となっている。
- + 支給までの期間が減少し、年金負債の現在価値が当期において増加したことにより発生した年金債務に係る当期利息費用。当期の利息費用の計算に適用される金利は、年金債務の支払までの残存期間に相当する満期を有する社債の最新の金利（年度当初の金利）である。
- 制度資産の見積利息収益（利回り）。年金債務に係る当期の利息費用を算定と同じ金利が適用される。

当行グループの確定給付制度の費用及び債務の算定は、報告値に重要な影響を及ぼす可能性のあるいくつかの評価及び仮定に左右される。これらの仮定及び評価の詳細な記述はセクション22及び注記68に示されている。

## 21. 税金

### (IAS第12号「法人所得税」)

当期の税金費用は当期税金及び繰延税金で構成される。当期税金は当期又は過去の期間の課税所得に関する税金を示す。繰延税金は資産又は負債の帳簿価額とその税務上の価額との間の一時差異に関する税金である。繰延税金はその項目が実現する時に適用するとみなされる税率で評価される。将来減算一時差異及び繰越欠損金にかかる繰延税金資産は、これらが利用される可能性が高い場合に限り認識されるが、繰延税金負債は計算額で計上される。税金費用は、関連する取引が計上される項目により損益計算書の中のその他包括利益に計上されるか又は直接資本に計上される。

## 22. 見積り及び重要な評価

一部のケースにおいては、報告値に重要な影響を及ぼす当行グループの会計方針の適用について評価を必要とされる。計上値はまた、多くのケースにおいて将来に関する見積り及び仮定の影響を受ける。このような仮定には、資産及び負債の計上額が調整されるリスクが常に含まれている。適用される評価及び仮定は常に経営陣の最善及び最良の評価を反映し、継続的に検査及び検証の対象となる。

財務諸表に重要な影響を及ぼした評価及び仮定については下記に記載されている。

以下の領域に関する見積り及び重要な評価は、関連する注記にも記載されている。

- ・公正価値で測定される金融商品については注記G42「金融商品の公正価値測定」を参照のこと。
- ・のれんの減損テストについては注記G25「無形資産」を参照のこと。
- ・民事訴訟については注記G36「引当金」を参照のこと。

## 確定給付制度の年金数理計算

当行グループの費用及び確定給付債務の計算は、認識額に重要な影響を及ぼすいくつかの数理的、統計的及び財務的な仮定に基づいている。注記G8には当期の債務の計算に使用された仮定のリストが含まれている。スウェーデン従業員の確定給付年金債務の計算は、市場で一般的に認められた死亡率の仮定であるDUS21に基づいている。DUS21はスウェーデン保険連盟により作成された統計に基づく仮定である。将来の昇給率及びインフレーションの仮定は長期予測トレンドに基づいている。

割引率は、満期が異なる多数の優良社債に基づいている。年金債務の見積平均残存期間（現在は17年）に相当する満期を有する社債について、割引率は市場金利に基づいて決定される。年金債務の見積平均残存期間に相当する満期を有する優良社債が稀であることから、当行は補完的に割引率を決定する方法として満期がより短い優良社債を用いている。ここではイールド・カーブに基づく割引率が設定されている。イールド・カーブは、スウェーデン・クローネのスワップ・カーブに対するスプレッドとして構築されている。自社発行のものを除く社債に基づいた当該スプレッドは、スワップ・カーブに反映される。このようにして、イールド・カーブはモデル化されており、17年の利回りはこのモデルから導き出すことができる。

注記G8では、当行グループの確定給付年金債務のすべての主要な数理計算上の仮定に対する感応度分析を提供している。この分析は、これらの仮定に合理的に実現可能な変化によって年金債務がどのような影響を受けるかを示している。

## 信用損失

予想信用損失の算定は、多くの仮定と評価を伴う。予想信用損失の評価には、本質的にある程度不確実性が伴っている。高度な仮定と評価を伴う領域は、以下の個々の項目で記述している。

### マクロ経済シナリオにおける将来予測的な情報

当行は特に自国市場に重点を置いたマクロ経済上の動向を継続的にモニターしている。こうしたモニタリングにより、当行はモデルベースの予想信用損失の算定に用いる将来予測的な情報の基礎となる、マクロ経済シナリオを策定している。契約上の支払を履行する当行顧客の能力は、マクロ経済上の動向に合わせて変動する。それゆえ、将来のマクロ経済上の動向は、当行が予想信用損失をカバーする上で必要な引当金の見通しに影響を及ぼす。予想信用損失の引当必要額の算定は、当行のマクロ経済調査部門による基本（中立）シナリオに基づいている。損失は将来の経済動向の好転よりも悪化から受ける可能性がある影響のほうが大きい。このため、当行は少なくとも二つの代替的なシナリオを用いて、予想信用損失の非線形的な側面を考慮している。これらの代替的なシナリオは、一つは基本（中立）シナリオを大幅に下回るシナリオ、もう一つは大幅に上回るシナリオによる、二つの考え得る動向を表したものである。最も重要なマクロ経済上のリスク要因は、経験に基づく評価を加味した過去10年間にわたる当行の損失実績に基づいて選択されている。その後これらのマクロ経済上のリスク要因が、遷移、デフォルト、損失率及びエクスポージャーを予測する当行の定量的な統計モデルのマクロ経済上のリスク要因として用いられる。マクロ経済上のリスク要因には、失業率、主要行又は中央銀行金利、国内総生産（GDP）、インフレ率及び不動産価格が含まれる。返済能力が高い顧客向けに信用供与するという当行の事業モデルは、マクロ経済上の動向と引当必要額との関連性が必ずしも特に強いわけでは

ないことを意味している。マクロ経済情報の詳細な内容については注記G2の「信用リスク」のセクションを、感応度分析については注記G10を参照のこと。

### **信用リスクの著しい増大**

当行は当初認識以降、信用リスクの著しい増大があったかどうかについて、各報告期間末に債権単位での評価を行っている。信用リスクの著しい増大に関する詳細については注記G2の「信用リスク」のセクションを参照のこと。

### **モデルベースの算定**

ステージ1及びステージ2のエクスポージャーの予想信用損失の算定の基礎となる定量モデルは、いくつかの仮定と評価を用いている。過去データのマクロ経済上のリスク要因とリスク・パラメーターの間の計量可能な関係が、将来の事象を表していることが一つの重要な前提である。用いられる定量モデルは、約10年間の過去データに基づいているが、過去の結果の入手可能性に一貫性がないことにより、この過去データの内容も商品や地域によりさまざまである。観測値はリスク要因によって独立して条件付けられるという仮定を適用し、定量モデルは経済モデルを利用して構築されている。これは、歪曲されずにリスク・パラメーターの予測が可能であることを意味している。さらに、マクロ経済上のリスク要因は個々のリスク・パラメーターに関する説明力に基づき、最も重要なマクロ経済上のリスク要因が選択されている。マクロ経済上のリスク要因の選択とモデルの仕様は、簡潔さ、実証能力及び安定性の間でバランスを取り決定される。

### **マニュアル及びエキスパートベースの算定**

原則として、ステージ3のエクスポージャーにはマニュアルの算定が用いられる。マニュアルで評価されるステージ3のエクスポージャーと同様に、モデルで考慮されなかったと考えられる要因の影響を織り込むため、ステージ1及びステージ2のエクスポージャーに対するモデル評価結果にもエキスパートベースの算定が行われる。マニュアル及びエキスパートベースの算定に関する詳細な説明は、上記セクション10の「マニュアルの算定」及び「エキスパートベースの算定」を参照のこと。

[次へ](#)

## 注記G2 リスク及び資本管理

ハンデルスバンケンのリスク許容度が低いことは、当行が事業を行ううえでの中心的な要素である。このリスク許容度が低いことが、分散化された事業モデル、安定した財務、サステナビリティ上の問題に対する説明責任に加え、ハンデルスバンケンが顧客との長期的な関係を築くための基礎となっている。本注記の情報には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更され、非継続事業となった処分グループであるフィンランドが含まれている。デンマークの事業は2022年度第4四半期に処分されたため、比較数値に含まれている。注記G14を参照のこと。

### リスク許容度

ハンデルスバンケンのリスク許容度は低い。当行の事業モデルでは、信用供与に伴い、支店業務における信用リスクを受け入れ管理することを中心とし、返済能力が高く財政状態が健全な顧客と長期的な関係を築くことに注力している。与信取引高の向上、料金の引上げ又は市場シェアの拡大を達成するために質的要件は必ず検討しなければならない。

過去数十年間にわたり、ハンデルスバンケンの信用損失実績率は、他の北欧銀行の平均よりも非常に低い水準にあった。当行は、どの与信も損失につながらないようにすることを常に目標としている。このアプローチは、支店の与信や信用ポートフォリオの取扱いに影響を与えている。市場リスク及び流動性リスクの許容度は低い。また市場リスクは当行の資金調達及び流動性管理に関連した顧客事業の一環として、及びマーケット・メーカーとしての役割においてのみ生じる。市場リスクは年金制度においても発生する。

市場リスクに関する当行の許容度が低いことにより、当行の収益のうち、金融取引による純損益の占める割合は比較的低下している。資金調達及び流動性管理はすべてグループ・トレジャリー部で集中管理されている。流動性リスクは、キャッシュ・フローのマッチング及び高品質な流動性準備金の十分な確保に関する要件によって抑えられている。

オペレーショナル・リスクに対する許容度も低い。当行は、可能な限りこれらリスクの防止及びこの領域における損失削減に努めている。

当行のコンプライアンス・リスクの許容度は低く、可能な限り、当リスクを防ぐ必要がある。コンプライアンス部署がそのリスクを高リスク又は重要リスクと評価し、適切なアクションプランがない場合、又はアクションプランから著しく逸脱していると判断した場合、当リスクはリスク許容度を超えているとみなされる。

サステナビリティ・リスクは、ハンデルスバンケンの低いリスク許容度に沿って、また、サステナビリティ・リスクがリスク評価の不可欠な部分となっているリスク区分の枠組みの中で管理されている。サステナビリティ・リスクの詳細については、当行のサステナビリティ・レポート及び第三の柱に関する報告書を参照のこと。

## リスク戦略

当行の業務は様々なリスクを伴うが、グループ全体で組織的にリスクの特定、測定、管理及び報告が行われている。ハンデルスバンケンのリスク制限アプローチによって、たとえ予想される取引時の経済価値が高額であったとしても、当行は高リスクの取引を慎重に回避することができる。

リスク戦略は、厳格なリスクカルチャーを通じて策定されているが、それは、長期的に持続可能であり、かつ当行グループのすべての分野に適用されている。そのリスクカルチャーは、当行業務のあらゆる側面で不可欠な部分であり、当行の全従業員に深く根付いているものである。当行は、事業活動において各部門がそれぞれの事業及びリスク管理の全責任を負うという明確な責任分担を特徴としている。結果として、高いリスク認識及び慎重な業務姿勢を促す強いインセンティブが働いている。但し、分散化された事業モデルは強力な中央管理と併用される。低いリスク許容度はまた、報酬の観点にも反映されている。報酬は基本的に固定とすることを原則としており、これはハンデルスバンケンの事業モデルの主な特徴である長期的な視点に貢献している。当行のリスク・プロファイルに重大な影響を及ぼす業務を担当する従業員は業績連動型変動報酬を受け取れることを認められていない。

貸付業務においては、緊密な顧客関係及びローカルの知識を活用して信用リスクを低水準に抑えることができており、ローカルで積極的な関与を行っている。さらに、当行グループは、金融市場において資金調達が可能となるような財務上のストレス下における状況を含めた事業リスクに対して十分な資本を常に準備し、支払期限到来時の支払義務の履行がいつでも可能となるように流動資産を保有しておく必要がある。このように、ハンデルスバンケンは景気動向の影響を受けない事業モデルを目指している。

また、このリスク制限アプローチにより、当行は、景気動向及び市況にかかわらず、顧客にとって安定的かつ長期的なビジネス・パートナーになることができる。このアプローチによって、リスク管理が健全なものとなると同時に、事業及び当行が事業を行っている市場が逼迫した場合でも、高水準のサービスを維持することができる。当行のリスクに対するアプローチと同じ原則が、当行が事業を行っているすべての国に適用されている。

## 強固なリスク管理

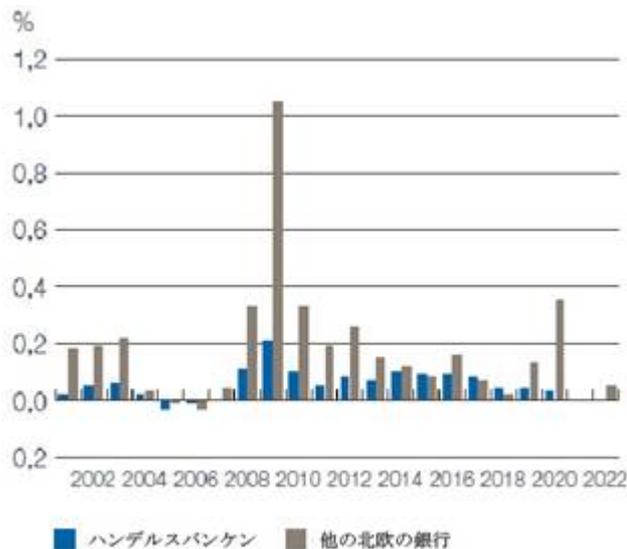
当行の資本及び流動性の状況は良好である。当行は、短期及び長期の資金調達プログラムを通じて、引き続き金融市場からの資金調達を可能にしている。また当行は高品質な流動性準備金を潤沢に有しており、金融市場の混乱の可能性に対して高いレベルの予防策が提供されている。当行の流動性準備金の一部であるグループ・トレジャリー部の流動性ポートフォリオは低リスクであり、主として中央銀行預け金、国債及びカバード・ボンドより構成されている。さらに、スタッドフィポテックの発行済カバード・ボンドの未使用額が十分にあり、流動性準備金は当行のすべての主要通貨について維持されている。流動性準備金の合計額は、当行が市場から新規に資金を調達することがまったくできないというストレス・シナリオにおいても3年超、当行の流動性要件をカバーできる水準である。また、外国為替市場がクローズするような極端な状況においても、かなりの期間にわたって業務を維持することができる。

当行の資本は引き続き堅固である。当年度の収益が安定し、信用損失が少ないことによるものである。

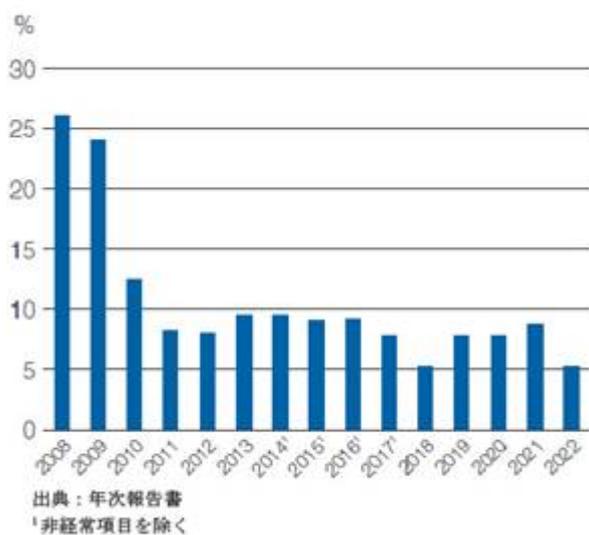
ハンデルスバンケンの低いリスク許容度、良好な資本状況及び揺るぎない流動性は、当行が良好な状態にあることを示している。リスク管理において、当行は気候変動の影響を含む特別なストレス・テストを実施し、流動性や資本が悪化した場合にも初期段階で対応ができるよう、様々な指標を注意深くモニターし、市場の最新情報を入手している。パンデミック、インフレ、金利上昇、ビジネス環境の悪化、及び地政学的リスクに関連した長引く影響が組み合わさったマクロ経済の現状は、ストレス・テストに含まれており、当行の視点で分析されている。

ロシアのウクライナ侵攻により、様々な種類のサイバー攻撃のリスクが高まっている。当行のセキュリティ部門はその動向を注視し、様々なシナリオに応じたリスク評価を継続的に行っている。

図AR:1 貸付における信用損失の割合 2001 - 2022年



図AR:2 金融取引による純損益の利益に対する割合 2008年 - 2022年



図AR:3 ハンデルスバンケンのリスク

説明

信用リスク	信用リスクとは、当行のカウンターパーティが契約上の義務を履行できなくなるにより当行が経済的損失に直面するリスクである。 信用リスクにはカウンターパーティ・リスク、すなわち、取引に伴うキャッシュ・フローの最終決済前に、カウンターパーティが債務不履行に陥るリスクが含まれる。
市場リスク	市場リスクは、金融市場の価格及びボラティリティの変動によって生じる。市場リスクは、金利リスク、株価リスク、為替リスク及びコモディティ価格リスクに分類される。

流動性リスク	流動性リスクとは、支払期限が到来した際に、法外な費用又は損失を被らなければ、当行が支払い義務を履行することができないリスクである。
オペレーショナル・リスク	オペレーショナル・リスクとは、不適切な若しくは欠陥のある内部プロセス、人為的ミス、システムエラー、又は外部事象による損失リスクである。オペレーショナル・リスクの定義には、ITリスク及び情報セキュリティ・リスク（ICTリスク）が含まれている。
コンプライアンス・リスク	コンプライアンス・リスクとは、当行が内外の規則や規制、認められた市場慣行及び当行の認可業務に併せて適用される基準に従わなかった結果、当行が被る可能性のある制裁、重大な財務上の損失、又は評判の失墜のリスクである。
報酬リスク	報酬リスクとは、報酬制度によって生じる損失又はその他の損害によるリスクである。
保険リスク	保険リスクとは、被保険者の余命又は健康状態によって変動する保険の結果のリスクである。
サステナビリティ・リスク	サステナビリティ・リスクは、当行が環境、気候、社会情勢、コーポレート・ガバナンスに関連するリスクについて、当該分野の方針、ガイドライン、前提条件に従って特定・管理できないことにより、最終的に当行に財政上のマイナスの影響をもたらす、又は当行の評判を損ねる可能性があるリスクをいう。

## リスク体制

ハンデルスバンケンは、当行のリスクの管理、フォローアップ、及びコントロールに対して3つの防衛線の原則を適用している。事業活動と事業活動をサポートする部署は第一の防衛線を構築し、内外の規則に従って、事業が直面するリスクを管理し抑制する責任を有する。コントロール部署であるグループ・リスク・コントロール部及びグループ・コンプライアンス部は、第二の防衛線を構築し、当行グループのリスク、事業活動の遂行、及び適用される内外の規則や規制の遵守状況を監視・統制している。第三の防衛線はグループ監査部であり、リスク管理、コントロール部署の業務及びコーポレート・ガバナンスを含む、当行のすべての業務を点検している。

ハンデルスバンケンの取締役会は当行のリスク管理に対する全般的な責任を有し、これに関する内部規則を策定している。取締役会は方針文書を定め、最高経営責任者はさまざまなリスクの管理及び報告手法を明記したガイドラインを策定している。当行の統制のフレームワークの詳細は、ハンデルスバンケンのコーポレート・ガバナンス報告書の74-91ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2022年の年次報告書原文の項目名であり、本書には含まれていない。）を参照のこと。

取締役会は、最高経営責任者及びチーフ・クレジット・オフィサー（最高与信責任者）のほか取締役会メンバー数名から構成され、特定の与信案件の決裁を行う与信委員会に加え、取締役会会長、最高経営責任者のほか一部の取締役会メンバー及び経営幹部数名から構成され、英国の業務に関して、フォローアップを円滑に進めるための英国委員会を設立している。

取締役会は、取締役会の決定事項の準備を担うリスク委員会、監査委員会及び報酬委員会も設立している。リスク委員会は、IRB手法に紐づけられた当行のリスク分類と推計プロセスの重要な部分に関する決定など、独自の決定も行っている。リスク委員会、監査委員会及び報酬委員会のメンバーは全員が取締役である。また、最高経営責任者はリスク・コンプライアンス委員会（2022年7月4日まではリスク・フォーラムが担っていた）を設置し、複数の分野のリスク管理をフォローアップするとともに、リスク委員会や取締役会での議論に先立ち、当行の全体的なリスクについて掘り下げて議論している。これらの委員会及び下部委員会の業務についての詳細は、ハンデルスバンケンのコーポレート・ガバナンス報告書の74ページから91ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2022年の年次報告書原文の項目名であり、本書には含まれていない。）を参照のこと。さらに、

当行には、最高リスク責任者のリスク委員会や最高財務責任者の流動性委員会、資本委員会及び評価委員会などの委員会も設置されている。

## リスクと資本の状況に関する報告と監視

2022年度には、最高リスク責任者は当行グループのリスクに関し、最高経営責任者、取締役会のリスク委員会及び取締役会に最低でも四半期ごとに報告を行っている。報告はリスク・コンプライアンス委員会においても行われている(2022年7月4日まではリスク・フォーラムに対して行われていた)。当行グループのリスク報告書には、当行のリスク許容度に関するフォローアップや、当行グループの重要なリスクに関する最高リスク責任者による評価と、報告と対応が必要な事業活動上の重大な不備の有無に関する評価が含まれている。当報告書には適宜、従前に報告されたリスクと不備に関する行動計画案とフォローアップも含まれる。当行グループのリスク報告書は将来予測的なリスク評価を含んでいるほか、ハンデルスバンケンが取締役会の決定したリスク戦略やリスク許容度を実行しているかについての評価ができるようにしなければならない。当行グループのリスク報告書は取締役会が決定したリスク管理方針に沿って作成されている。上述の当行グループのリスク報告に加え、グループ・リスク・コントロール部及びグループ与信部は、カウンターパーティ・リスクを含む当行の信用リスクの状況及びIRB手法について、当行の経営幹部、最高リスク責任者のリスク委員会、最高経営責任者のリスク・コンプライアンス委員会、リスク委員会、本部の取締役会並びに関連子会社の取締役会に対し、継続的かつ年次の双方で報告を実施している。これらの報告は、残高の推移、リスク報告された与信(高リスクの与信)を含んでいる。また、報告には内部リスク格付プロセス及び当行のIRBモデルに関する評価並びにこれらのIRBモデルの検証結果も含む。

最高リスク責任者が委員長を務めるリスク委員会は、2022年に11回会議を開催している。リスク委員会では、当行グループの信用リスク、財務リスク、オペレーショナル・リスク及び保険業務におけるリスクに関する現在のリスク状況、潜在的なリスク及び対応策について徹底的なフォローアップが行われる。また、必要に応じて他の種類のリスクにも言及される。再建計画が必要となる指標は都度報告され、必要に応じて対応策の可能性について協議が行われる。さらに、財務リスクの限度額に対するエクスポージャーは、グループ全体としてフォローアップ対象となる。資本状況、市場リスク限度額に対するエクスポージャーや流動性の状況については少なくとも四半期ごとに取締役会で報告が行われる。

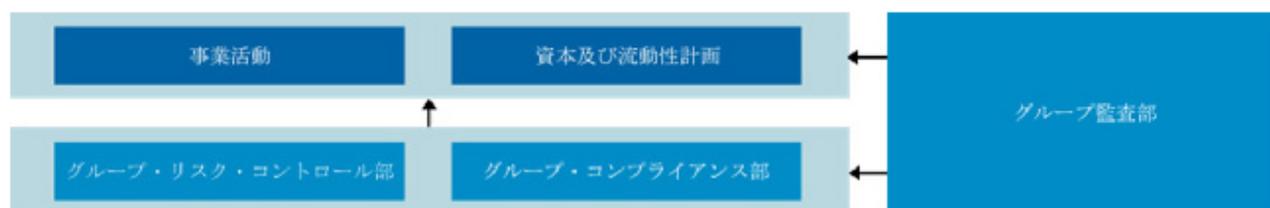
市場リスク及び流動性リスクの上限額に対するエクスポージャーは、グループ・リスク・コントロール部が日次で取りまとめ、確認している。上限額を超過した場合には直ちに上限額に関する決定者に報告が行われる。流動性リスクについてはグループ・リスク・コントロール部が取りまとめ、最高財務責任者には日次で、最高経営責任者には週次で、取締役会には定例取締役会で報告が行われる。グループ・トレジャリー部長が議長を務める流動性委員会は、最高財務責任者に対するアドバイザーとしての役割を果たしており、定例取締役会開催前、又は必要に応じて他の機会にも会議を開催している。会議では現在の流動性の状況やストレス・テストの結果、シナリオ分析のほか、当行グループの流動性の状況の評価に関連する他の情報に関して報告が行われる。

オペレーショナル・リスクと発生したインシデントは、当行グループ全体の支店及びユニットがグループ・リスク・コントロール部に継続的に報告を行い、その後グループ・リスク・コントロール部が監視を行う。次にグループ・リスク・コントロール部がオペレーショナル・リスクと発生したインシデントを、最高経営責任者、取締役会のリスク委員会及び取締役会に報告する。報酬制度のリスクは毎年評価され、取締役会の報酬委員会とリスク委員会に報告される。オペレーショナル・リスクの報告には、重大な事象、主要な損失、重要な未然防止策及び当行グループ・レベルで集計したリスク評価が含まれる。さらに、グループ・リスク・コントロール部は、決定され、実施された対応策についても監視を行う。2022年度に、チーフ・コンプライアンス・オフィサーは少なくとも四半期ごとに最高経営責任者、取締役会のリスク委員会及び取締役会にコンプライア

ンス・リスクに関する報告を行った。これらの報告には金融犯罪に関連するコンプライアンス・リスクや、データ保護リスクを含んでいる。報告書は最高経営責任者のリスク・コンプライアンス委員会にも提出された。

当行の資本の状況は週次で最高財務責任者及び最高経営責任者に、四半期に一度は取締役会に報告される。さまざまな基準値を超過した際、又はグループ・キャピタル・マネジメント部長若しくは最高財務責任者が他の理由から適切であると考え、適切な対応案が最高経営責任者に提案されるものとする。中・長期的な資本状況は資本委員会が四半期ごとに取りまとめている。グループ・キャピタル・マネジメント部は四半期ごと、又は当行に重大な変化が生じた際に、資本予測を全面的に更新している。

図AR:4 ハンデルスバンケンのリスク管理とリスク・コントロール



## 事業活動

当行は、それぞれの事業活動及び全てのリスク管理において各部門が全責任を負うという明確な責任分担を特徴としている。顧客及び市場の状況を最もよく知る人物がリスク評価者として適任であり、また、諸問題の発生時に早い段階で措置を講じることが可能である。発生した問題は各支店及び収益部門が対応する責任を負っている。これにより、高いリスク認識及び慎重な業務姿勢が醸成されている。

但し、このように分散化した組織が与信決定を行うには、共同与信プロセスを経る必要がある。共同与信プロセスについてはグループ与信部が責任を負っている。グループ与信部は、取締役会又は取締役会の与信委員会が行った与信限度額の決定を取りまとめている。グループ与信部はまた、当行グループ全体の与信評価が一貫していること、及び貸出金が取締役会の決定した与信方針に従って実行されていることを確認している。

当行の事業活動における財務リスクは主にグループ・トレジャリー部、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及びハンデルスバンケン・リヴにおいて生じており、それぞれ管理されている。ハンデルスバンケンは分散化された事業モデルを有しているが、当行グループの資金調達及び流動性リスク管理業務はすべてグループ・トレジャリー部に集約されている。債券、為替、株式又はコモディティ市場に対するエクスポージャーを伴う金融商品の顧客需要を満たすために発生する市場リスクは、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットで管理されている。オペレーショナル・リスクは、当行のすべての業務において発生する。そのため、オペレーショナル・リスクの管理に関する責任は、ハンデルスバンケンのすべての階層において必要とされる。市場リスクの管理及び当行のオペレーショナル・リスクの管理並びに資金調達及び流動性リスク管理はすべて、取締役会が策定した方針によって管理されている。

## ストレス・テスト - 資本及び流動性計画

ハンデルスバンケンは、通常時に加え極端な事象の発生後であっても、確実に存続できるだけの資本及び流動性準備金を保有している。資本計画は、規制資本の要件に経済資本及びストレス・テストを合わせて資本の状況を評価したものである。流動性計画は、当行グループが、金融市場において資金調達が不可能となるような財務上のストレス状況下においても支払期限が到来した支払義務の履行が常に可能であることを確実にするものである。ストレス・テスト及びシナリオ分析は、常に十分な流動性及び資本を確保しておくために準備又は導入すべき対策、並びに深刻な危機後の回復状況において当行グループの資本及び流動性を回復するためにどのような対策が必要であるかを特定するためのものである。

## グループ・リスク・コントロール部及びグループ・コンプライアンス部

ハンデルスバンケンのグループ・リスク・コントロール部は、監視対象先の部署から独立している。グループ・リスク・コントロール部は、当行グループがさらされている、又は将来さらされる可能性のあるすべての重要なリスクを関連部署が識別・管理していることを検証している。グループ・リスク・コントロール部は、当行グループのリスク管理を監視、検証し、リスク管理に関する内部規則、プロセス及び手続が取られるよう確実にしている。同時に、リスクが取締役会の設定するリスク許容度の範囲内にあるよう確実にするとともに、危機的な状況におけるリスク管理の根拠として、経営者が信頼できる情報を用いるよう確実にしている。グループ・クレジット・リスク・コントロール部は、当行の所要自己資本の算出に用いた手法が目的にかなっており、スウェーデン金融監督庁による許可や適用規則に準拠するよう確実にするため、定期的な評価を実施しなければならない。グループ・リスク・コントロール部の責務には、市場リスク、流動性リスク及びカウンターパーティ・リスク並びにオペレーショナル・リスクに対する限度額を監視することや、これらの限度額の抵触及び与信プロセスにおける限度額やマニフェストを評価することも含まれる。グループ・リスク・コントロール部は、新商品のほか、重要な変更が行われた商品やサービス、市場、プロセス及びITシステムに対して、さらに事業や組織の重要な変更に関して行われたリスク分析も評価しなければならない。

事業に関する意思決定の分散化が進んでいるため、リスクと資本の状況を監視する必要性が大きくなっている。したがって、グループ・リスク・コントロール部が、おのずと当行のビジネス・モデルの重要な構成要素となっている。グループ・リスク・コントロール部は、当行グループの現在のリスク状況を経営陣と取締役会に継続的に報告する責任や、リスクがグループにわたって適切かつ一貫した方法で測定されるよう確実にする責任を負っている。

規制遵守に関連するリスクは、グループ・コンプライアンス部が監視・管理している。また当部には、適用されるマネーロンダリング及びテロリスト資金調達に関する規制に基づく管理・報告義務に係る任命責任者、適用されるデータ保護及び個人データ処理に関する規制に基づくデータ保護責任者 (DPO) など、具体的に定められた役割も含む。グループ・コンプライアンス部は事業活動から独立し、統制の対象となる部門や領域から組織上分離している。グループ・コンプライアンス部は高度なコンプライアンスの実施と、当行のコンプライアンス・リスクに対する低い許容度の達成に向けて、積極的な活動を行っている。グループ・コンプライアンス部は規制上のコンプライアンスに関連するリスク及び不備を識別・監視・管理し、当行スタッフや経営陣、各部署に対しコンプライアンス関連事項について提言や助言及び支援を提供するとともに、経営陣及び取締役会に対しコンプライアンスの課題に関する報告を行っている。これには、金融犯罪に関連するコンプライアンス・リスクに関する任命責任者からの報告や、データ保護リスクに関するDPOからの報告も含む。

## 取締役会による、リスクに関する宣言及びリスクステートメント

**取締役会は以下のリスクに関する宣言及びリスクステートメントを決定した。**

### リスクに関する宣言

ハンデルスバンケンは業務に関して取締役会が決定した当行の事業目標、リスク・プロファイル全般及びリスク戦略の点から、目的にかなった十分なリスク管理上の取決めを行っている。

## リスクステートメント

ハンデルスバンケンの事業目標は、拠点市場の競合行の平均を上回る収益性を上げることにある。この目標は、主に他行よりも顧客の満足度を高め、コストを引き下げることによって達成される。ハンデルスバンケンは地域における強固なつながりと、分散化された業務形態を有する銀行である。

リスクは低水準に維持することが当行の全体的なリスク・プロファイルである。また当行グループは、短・長期的な財務上のストレス下を含め支払義務を履行できるよう、リスクに対し十分な資本を常に維持し、当局が課す要件を充足し、流動資産を保有しておく必要がある。このリスク戦略と当行の全体的なリスク・プロファイルが、景気変動に左右されない事業モデルを持つというハンデルスバンケンの目標を裏打ちしている。

当行は現在も将来においても信用リスクを低水準に抑える意向である。これは、地域における強固なつながりと緊密な顧客との関係を維持することにより達成される。与信残高又は利鞘の拡大を優先するあまり、信用の質を蔑ろにしてはならない。当行は、借手の返済能力が高いという要件を基準に顧客を選別している。その結果、当行の信用ポートフォリオは明らかに、損失発生確率が低いリスク・クラスに集中している。当行のこのような一貫したアプローチは、過去の当行の信用損失率が低いことに反映されている。2022年の融資の信用損失率は0.00%(0.00%)であった。

当行がリスクに対して十分な資本を有し、良好な流動性を維持するよう確実にするため、取締役会は当行の資本及び流動性に対するリスク許容度を規定している。資本のリスク許容度を決定するにあたり、資本の尺度は法定要件と、単一の測定基準により当行グループのすべてのリスクを捉えた当行の経済資本(以下、「EC」という。)モデルに基づいてハンデルスバンケンが評価した所要自己資本により定められる。当行の流動性リスクに関するリスク許容度は、当行がストレス状況下でも一定期間事業を継続できるように、流動資産及び担保差入れ可能な資産を加えた流動性創出策により十分かつ多額の流動性準備金を持たなければならないという要件と、異なる期間内のキャッシュフロー純流入及び流出累計額に関する要件により決定される。

取締役会は、通常の状態下の普通株式等Tier1資本比率は、スウェーデン金融監督庁が当行に通知した普通株式等Tier1比率を1から3パーセンテージ・ポイント上回るものと定めている。レバレッジ比率に関しては、スウェーデン金融監督庁が当行に通知したレバレッジ比率を最低でも0.6パーセンテージ・ポイント上回らなければならない。

第二の柱に基づくスウェーデン金融監督庁の指針である1%を含む、当行の評価による2022年度末現在のスウェーデン金融監督庁の普通株式等Tier1資本比率は14.5%(13.9%)であった。同様に、第二の柱に基づくスウェーデン金融監督庁の指針である0.45%を含む、当行の評価によるレバレッジ比率は3.45%であった。取締役会は、利用可能な財源(以下、「AFR」という。)とECとの比率は120%を上回らなければならない旨も定めている。

2022年度末現在の普通株式等Tier1資本比率は19.6%(19.4%)であり、AFR/EC比率は413%(384%)であった。取締役会は流動性準備金を考慮し、家計及び企業からの定期預金以外の預金の一部が最初の1ヶ月以内に解約されることを仮定したうえで、当行が少なくとも1年間にわたりプラスの正味キャッシュ・フローを積み増さなければならないという目標を定めている。ハンデルスバンケンの流動性創出策を含む流動性準備金の総額は、こうしたストレス状況下でも3年を超える期間にわたり、流動性要件をカバーできる水準にある。当行のリスク・プロファイルは取締役会が策定したリスク戦略に準拠している。

## 信用リスク

信用リスクは、当行のカウンターパーティが契約上の義務を履行することができなくなることにより当行が経済的損失に直面するリスクである。

## 信用リスク戦略

ハンデルスバンケンの与信プロセスは、現地につながりを持つ分散型の組織が高度な与信決定を確実に行うという理念に基づいている。当行は、支店が通常の顧客窓口となる形式の取引銀行であり、そうした顧客との取引を通じて、支店は各顧客に関する知識を深めるとともに、顧客の財政状態の実態を継続的に把握している。

ハンデルスバンケンは、マスマーケットを対象とした銀行ではなく、顧客の選別に注意を払っている。すなわち、当行は信用度の高い顧客を選別している。与信取引高の向上又は収益性の向上を達成するために、質的要件は必ず考慮しなければならない。当行はまた、複雑な顧客群又は複雑で不明瞭な取引の場合、若しくはESGリスクが高い場合には、融資に参画しない。

ハンデルスバンケンが特定顧客の信用リスクを評価する際は、借手の返済能力から評価しなければならない。この評価には、顧客の財政状態、顧客がさらされているリスク、顧客の財政状態の安定性に長期的に影響を及ぼす可能性のあるリスクの分析が含まれる。リスク分析には、気候リスクを含むESGリスク（物理的リスクと移行リスクの両方）が顧客に及ぼす影響に関する当行の評価が含まれる。返済能力の分析における最初の段階では、顧客がどのセクターに属するかを判断する。各顧客の分析に先立ち、当該セクター特有の課題やリスクを理解する必要がある。当行に良質な担保が差し入れられたからといって、返済能力の低さが受け入れられるものではない。但し、借手が返済義務を履行できない場合、当行の損失は担保によって大幅に削減される可能性がある。したがって、通常、与信は適切に担保されていなければならない。

また、支店現地のつながりや顧客との緊密な関係により、支店は即座に問題を識別し、その問題に対する措置を講じることが可能になる。このことは、多くの場合、当行がより中央集約化された不良債権管理を行うよりも迅速な措置を講じることが可能であることを意味している。支店はまた、与信決定に関する財務上の全責任を負っている。このため、返済困難に陥った顧客に発生する問題に対処し、信用損失は支店が負うことになる。現地の支店は、必要に応じてローカルの与信部門及び中央部門からの支援を受ける。当行の手法は、信用リスクに関連する取引を行うすべての従業員が、この種のリスクに対する堅実かつ系統立ったアプローチを取ることを確認している。当該アプローチは、当行の企業カルチャーの重要な一部を形成している。ここで説明している対処方法及びアプローチは、当行の信用損失の計上額が長期にわたって非常に低いことを示す重要な根拠となっている。

## 与信組織

ハンデルスバンケンの分散型の組織においては、顧客を担当する現地の支店が、全面的な与信責任を負っている。顧客及び与信責任は、支店長又は支店長が同業務を委任した支店の従業員にある。

ハンデルスバンケンの分散化された組織においては、与信の最終判断が支店、県域又は国レベル、取締役会の与信委員会、あるいは取締役会であっても、与信判断の根拠となる文書は与信を担当する支店が必ず作成する。与信判断の文書化には、借手に関する一般情報及び財務情報、返済能力の評価、貸出金及び与信条件の評価並びに担保の評価が含まれる。

各国の取締役会、当行取締役会の与信委員会及び当行の取締役会では、与信決定額とは無担保の与信の許容額を合わせた与信限度額の合計をいう。貸付総額が5百万スウェーデン・クローネを超える借手については、与信限度額に照らして与信判断が行われる。個人への住宅用不動産担保付貸出金の場合、12百万スウェーデン・クローネを超える金額について限度額の要件が適用される。住宅用不動産の担保付きの住宅協同組合に対する貸出については、12百万スウェーデン・クローネを超える金額について限度額の要件が適用される。

承認された与信限度額は、通常は1年間にわたって有効である。ただし、特定の状況では、住宅協同組合に対する与信限度額は最長3年間適用可能となる。与信の継続は、新規貸出と同じ要件で手続が行われる。

支店長及び支店のほとんどの行員には、担当顧客に対する与信判断のために個別に決裁限度額が設定されている。

それらの与信限度額を上回る判断については、県域単位及び国単位並びに中央単位的意思決定機関に委ねられる。そうしたニーズに関する判断には、それぞれ与信に関する専門的知識が必要となる。それぞれの意思決定権者は、自らが意思決定権を有する水準に関して、また、自らに意思決定権がない場合にはより上位者の意思決定に委ねられる与信水準に関しても、与信限度額を拒否する権限を有している。与信の責任を負う意思決定プロセスに関与するすべての者は、意思決定権の水準にかかわらず、肯定的な与信限度額の決定を行うには意見を一致させなければならない。これらの者から僅かであっても疑念が提起された場合には、与信申請は却下される。大口与信案件はグループ与信部でレビューされ、取締役会又は取締役会の与信委員会で決定される。ただし、自動与信モデルにより行われた与信判断を除き、当該与信に責任を負う支店長の推薦がなければ、当行において与信申請が処理されることはない。こうした決定に用いられる自動与信モデルには、最高経営責任者の承認が必要となる。

与信及び与信限度額の決定手続は図AR:5「ハンデルスバンケンにおける信用プロセス及び決定水準」に示している。この図はまた、与信限度額の判断割合及び様々な決定階層における金額の割合を示している。

ハンデルスバンケンの分散化された組織においては、与信及び与信限度額の大部分の決定が個々の支店において行われているため、高度な与信判断を確実に行うためには適切なレビュープロセスがきわめて重要となる。支店長は、行員が下した判断が適切であるか調査し、ローカルの与信部門は、支店長が下した決定の妥当性について調査する。

このような品質レビューの目的は、当行の与信方針及び内部インストラクションの遵守を確認すること、またこれにより信用の質が維持され、与信及び与信限度額の決定には正しい与信判断及び健全なビジネス・アプローチがあることを示すことにある。同様の品質レビューは、当行のより高いレベルで行われた与信限度額決定に対しても行われている。県域単位又は国単位の与信委員会及び各国の取締役会が付与した与信限度額については、グループ与信部によって調査が行われる。グループ与信部ではまた、当行の取締役会又は取締役会が設けた与信委員会が決定した与信限度額についても調査を行う。

## Ecster

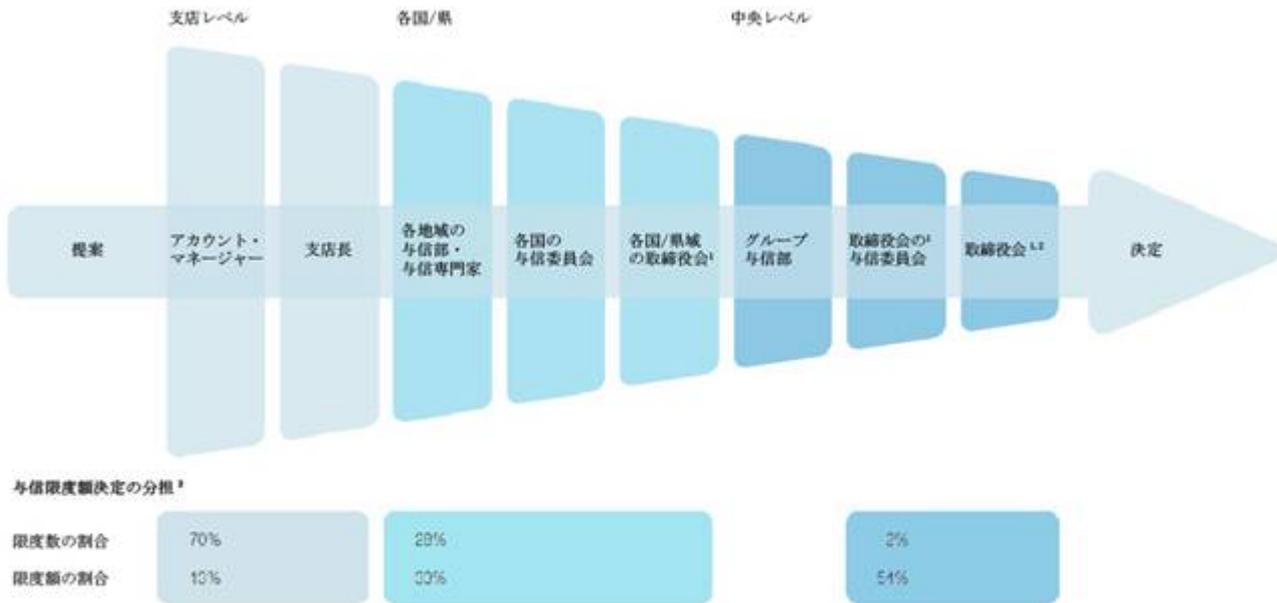
当行子会社であるEcster ABIは、スウェーデン全土に拠点を置く特定ベンダーに支払ソリューションを提供している。こうした種類の貸付には、年間を通じて常に、迅速かつ正確な与信決定が行われることが必要であり、与信の決定の大半が自動与信モデルを通じて行われている。これらの自動与信モデルで対応できない与信決定は手作業で行われ、担当従業員は個別に決定される与信限度に従う。与信限度額の大きな案件はEcsterの与信委員会又は取締役会により決定される。顧客がハンデルスバンケンの既存顧客の場合、与信額の引き上げについての決定は、当該顧客の担当支店又は当行の関連部署により行われる。

## 信用ポートフォリオ

当行の信用ポートフォリオは、貸借対照表項目のカテゴリーに基づいて、本セクションに表示されている。信用リスクに係る所要自己資本のセクションでは、自己資本比率規制(CRR)に基づく信用ポートフォリオについて説明している。

連結貸借対照表項目のカテゴリーに基づき、与信は一般顧客への貸出金、又は金融機関への貸出金に分類され、オフバランスシート項目は商品種類別に分類される。エクスポージャーは、オンバランスシート及びオフバランスシート上の項目の合計を意味している。一般顧客への貸出金が大宗を占めている。表AR:6「信用エクスポージャー、地域別内訳」を参照のこと。

図AR:5 ハンデルスバンクの与信プロセスと決定水準



与信限度額決定の分担<sup>1)</sup>

限度数の割合  
限度額の割合

70%

10%

28%

30%

2%

54%

- 1) 与信決定額は無担保与信枠を合わせた与信限度額の合計をいう。
- 2) 特別目的の案件か一般目的の案件かどうかを判定したうえで、取締役及び一部の執行役員向けの与信を決定する。
- 3) 本部レベルで決定されたサブリン及び銀行の限度額を除く。

## 表AR:6 信用エクスポージャー、地域別内訳

## 信用エクスポージャー、地域別内訳、2022年

(百万スウェーデン・クローネ)	スウェーデン	英国	ノルウェー	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計
<b>貸借対照表項目</b>							
現金及び中央銀行預け金	100,413	99,872	8,962	14	136,749	129,873	475,882
中央銀行へのその他貸出金	注記G15	3,348	1,256	-	28,015	-	32,620
その他金融機関への貸出金	注記G16	7,550	810	81	5	295	9,415
一般顧客への貸出金	注記G17	1,649,321	239,208	318,242	155,981	96,208	2,469,324
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記G18	132,778	-	-	-	-	132,778
債券及びその他利付証券	注記G18	32,697	-	-	-	0	32,697
デリバティブ商品	注記G22	36,112	-	-	-	99	36,261
<b>合計</b>	<b>1,962,219</b>	<b>341,145</b>	<b>327,285</b>	<b>184,015</b>	<b>233,302</b>	<b>141,011</b>	<b>3,188,977</b>
<b>オフバランスシート項目</b>							
偶発債務	注記G44	338,750	48,511	66,178	34,619	2,694	520,089
うち、保証コミットメント		29,091	6,104	4,727	4,780	97	60,975
うち、債務		309,659	42,407	61,451	29,839	2,596	459,114
<b>合計</b>	<b>338,750</b>	<b>48,511</b>	<b>66,178</b>	<b>34,619</b>	<b>2,694</b>	<b>29,337</b>	<b>520,089</b>
<b>貸借対照表項目及びオフバランスシート項目</b>	<b>2,300,969</b>	<b>389,656</b>	<b>393,463</b>	<b>218,634</b>	<b>235,996</b>	<b>170,348</b>	<b>3,709,066</b>

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された処分グループのフィンランドが含まれている。比較数値にはデンマークも含まれている。注記G14を参照のこと。

## 信用エクスポージャー、地域別内訳、2021年

(百万スウェーデン・クローネ)	スウェーデン	英国	ノルウェー	デンマーク	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計
<b>貸借対照表項目</b>								
現金及び中央銀行預け金	93,293	101,195	4,579	28,282	120,098	27,315	65,202	439,964
中央銀行へのその他貸出金	注記G15	-	1,255	-	207	-	0	1,462
その他金融機関への貸出金	注記G16	19,684	1,043	170	36	57	168	21,838
一般顧客への貸出金	注記G17	1,540,763	246,470	289,075	111,380	141,430	9,105	2,413,829
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記G18	100,538	-	-	24	-	0	100,562
債券及びその他利付証券	注記G18	33,317	-	-	17	-	0	33,334
デリバティブ商品	注記G22	28,416	-	-	37	7	58	28,518
<b>合計</b>	<b>1,816,011</b>	<b>349,963</b>	<b>293,824</b>	<b>139,983</b>	<b>261,585</b>	<b>103,096</b>	<b>75,045</b>	<b>3,039,507</b>
<b>オフバランスシート項目</b>								
偶発債務	注記G44	350,973	48,922	59,932	31,938	33,633	27,056	558,273
うち、保証コミットメント		33,440	5,680	4,821	7,838	4,707	15,193	71,756
うち、債務		317,533	43,242	55,111	24,100	28,926	11,863	486,517
<b>合計</b>	<b>350,973</b>	<b>48,922</b>	<b>59,932</b>	<b>31,938</b>	<b>33,633</b>	<b>5,819</b>	<b>27,056</b>	<b>558,273</b>
<b>貸借対照表項目及びオフバランスシート項目</b>	<b>2,166,984</b>	<b>398,885</b>	<b>353,756</b>	<b>171,921</b>	<b>295,218</b>	<b>108,915</b>	<b>102,101</b>	<b>3,597,780</b>

地理的分布はエクスポージャーが計上されている国を指す。

表AR:7 減損テスト対象の一般顧客への貸出金、地域別内訳

一般顧客への貸出金、地域別内訳	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
2022年							
百万スウェーデン・クローネ							
スウェーデン	1,592,592	55,507	2,341	-212	-362	-545	1,649,321
英国	222,246	16,063	1,210	-117	-144	-50	239,208
ノルウェー	306,286	11,715	587	-71	-125	-150	318,242
フィンランド	147,996	7,093	1,502	-62	-77	-471	155,981
オランダ	95,390	825	12	-11	-4	-4	96,208
その他諸国	10,203	146	64	-2	-10	-37	10,364
合計	2,374,713	91,349	5,716	-475	-722	-1,257	2,469,324

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された処分グループのフィンランドが含まれている。比較数値にはデンマークも含まれている。注記G14を参照のこと。

一般顧客への貸出金、地域別内訳	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
2021年							
百万スウェーデン・クローネ							
スウェーデン	1,509,172	30,491	2,331	-173	-297	-761	1,540,763
英国	232,774	12,717	1,253	-60	-117	-97	246,470
ノルウェー	275,208	12,975	1,567	-47	-109	-519	289,075
デンマーク	108,295	2,982	424	-39	-95	-187	111,380
フィンランド	135,685	4,601	1,765	-65	-67	-489	141,430
オランダ	75,056	556	11	-10	-4	-3	75,606
その他諸国	9,006	68	70	-1	-1	-37	9,105
合計	2,345,196	64,390	7,421	-395	-690	-2,093	2,413,829

ハンデルスバンケンは、長年他行と比べて低水準な信用損失を維持してきており、これが当行の収益目標の達成に貢献し、健全な財政状態が保たれている。減損の必要性を特定し限定するため、ハンデルスバンケンは定期的に信用ポートフォリオの質を評価している。信用供与にあたり、当行は既定の件数や特定セクターでの市場シェアといった目標の達成に努めるのではなく、顧客を選択する際に、与信顧客は優良でなければならないと考え、顧客を厳選している。与信残高の増大を達成しようとするあまり品質に対する要求を蔑ろにしてはならない。これは取締役会で毎年承認される与信方針に明記されている。

ロシアのウクライナ侵攻とそれに伴うマクロ経済情勢の悪化を受け、信用ポートフォリオへの影響について期中に詳細な分析を行った。これらの分析は、信用リスクの即時の大幅な増大は示していないが、全般的な不確実性の高まりを示しており、これはステージ1及びステージ2に分類されたエクスポージャーに対するモデルベースの引当金の増加として反映されている。

当行は、様々な気候シナリオに基づき、信用ポートフォリオのスウェーデンの不動産エクスポージャーにおける物理的な気候リスクを分析した。この分析で示された影響は、極めて限定的であった。

表AR:8 減損テスト対象の一般顧客への貸出金、セクター及び業種別内訳

一般顧客への貸出金、セクター別	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
2022年 百万スウェーデン・クローネ							
個人	1,163,864	42,542	3,078	-161	-133	-568	1,208,622
うち、住宅抵当ローン	983,183	33,865	1,162	-35	-32	-38	1,018,105
うち、その他の貸出金 (不動産抵当付)	144,073	6,931	912	-38	-44	-90	151,744
うち、その他の貸出金(個人)	36,608	1,746	1,004	-88	-57	-440	38,773
住宅共同組合	287,299	1,933	38	-9	-2	-8	289,251
うち、住宅抵当ローン	262,117	955	11	-5	0	-6	263,072
不動産管理	705,567	27,035	1,434	-109	-105	-124	733,698
製造	34,186	2,807	49	-30	-116	-26	36,870
リテール	39,858	649	104	-13	-10	-56	40,532
ホテル及びレストラン	4,296	1,978	19	-5	-30	-7	6,251
海運	2,581	11	221	-2	-2	-77	2,732
その他運輸及び通信	8,599	1,088	36	-17	-36	-33	9,637
建設	17,219	3,549	119	-65	-175	-72	20,575
電気、ガス及び水道	15,331	968	4	-5	-2	-3	16,293
農業、狩猟及び林業	19,997	2,223	40	-25	-75	-14	22,146
その他サービス	21,030	577	180	-14	-7	-139	21,627
持株会社、投資会社、保険会社、 ミュージャルフンド等	32,820	5,748	34	-9	-14	-24	38,555
ソブリン及び地方自治体	4,520	84	-	0	-1	-	4,603
うち、スウェーデン国債局	1,566	-	-	-	-	-	1,566
その他の法人向け貸付	17,546	157	360	-11	-14	-106	17,932
<b>合計</b>	<b>2,374,713</b>	<b>91,349</b>	<b>5,716</b>	<b>-475</b>	<b>-722</b>	<b>-1,257</b>	<b>2,469,324</b>

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された処分グループのフィンランドが含まれている。比較数値にはデンマークも含まれている。注記G14を参照のこと。

一般顧客への貸出金、セクター別	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
2021年 百万スウェーデン・クローネ							
個人	1,219,581	16,838	3,057	-159	-107	-758	1,238,452
うち、住宅抵当ローン	1,022,645	12,832	1,021	-30	-20	-52	1,036,396
うち、その他の貸出金 (不動産抵当付)	154,163	2,677	911	-10	-7	-144	157,590
うち、その他の貸出金(個人)	42,773	1,329	1,125	-119	-80	-562	44,466
住宅共同組合	266,467	931	22	-7	-2	-11	267,400
うち、住宅抵当ローン	245,393	515	11	-3	0	-7	245,909
不動産管理	643,423	32,704	1,734	-96	-207	-237	677,321
製造	21,106	1,735	65	-12	-13	-39	22,842
リテール	30,086	760	387	-19	-41	-94	31,079
ホテル及びレストラン	3,933	4,986	59	-5	-137	-5	8,831
海運	2,369	604	1,205	-1	-8	-468	3,701

スウェーデン・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト ( Svenska Handelsbanken AB (publ) ) (E27561)  
有価証券報告書

その他運輸及び通信	7,864	325	85	-10	-14	-63	8,187
建設	17,873	852	135	-23	-16	-73	18,748
電気、ガス及び水道	11,375	1,204	5	-4	-9	-3	12,568
農業、狩猟及び林業	22,029	979	73	-13	-11	-31	23,026
その他サービス	16,296	1,501	116	-20	-38	-91	17,764
持株会社、投資会社、保険会社、 ミューチャルファンド等	60,868	634	177	-16	-10	-125	61,528
ソブリン及び地方自治体	7,305	89	-	-	-1	-	7,393
うち、スウェーデン国債局	2,173	-	-	-	-	-	2,173
その他の法人向け貸付	14,621	248	301	-10	-76	-95	14,989
<b>合計</b>	<b>2,345,196</b>	<b>64,390</b>	<b>7,421</b>	<b>-395</b>	<b>-690</b>	<b>-2,093</b>	<b>2,413,829</b>

## 担保

与信には通常、十分な担保を確保することが当行の与信方針に定められている。当行に良質な担保が差し入れられたことが理由で、返済能力の低さが受け入れられるわけではない。但し、借手が返済義務を履行できない場合、当行の損失は担保によって大幅に削減される可能性がある。

信用リスクを限定するための当行の対策には、顧客からの差入担保が含まれる。当行における信用リスクを低減するための主な手段は、住宅用不動産や他の不動産などの資産、資産に係る浮動担保（フローティングチャージ）、保証（保証者によるコミットメントを含む）の受入れやネットィング契約の利用である（詳細はカウンターパーティ・リスクのセクションを参照のこと）。

不動産ファイナンスに関しては、与信は不動産の形式により担保でカバーするという基本方針が適用されている。不動産を担保としたエクスポージャーについては、信用エクスポージャーを担保の市場価値で除すことにより借入金比率(LTV)が算定される。当行は不動産担保貸出の最大額に上限を設ける内部の進言及び外部規制に従っている。

担保価値は毎年見直され、見積られた市場価値に基づく。市場価値が低下した結果担保価値が減少したとみなされる場合には、より頻繁に見直しが行われる。IFRS第9号導入後も当行の担保に関するインストラクションには変更が必要とされなかった。通常、借手が深刻な返済困難に直面しない限り担保は利用されないため、担保価値の評価は、支払不能となったことによる、不利な状況での売却における予想担保価値に基づいて行われる。

企業に対する無担保の長期信用コミットメントにおいて、当行は、多くの場合、業績不振の際に当行が貸付の再交渉又は契約解除が可能となる特別な与信条件で顧客と契約を締結する。

特別な状況において、当行は債権の信用リスクをヘッジするためクレジット・デリバティブ又は金融保証を購入する必要があるが、これは当行の通常の貸出プロセスの一部ではない。

金融機関に対する貸出の少数部分は、リバース・レポにより構成されている。リバース・レポは、当行がリバース・レポに基づいて利付証券又は株式を特別な契約(証券が特定の日特定の価格で売り手に再売却される契約)で購入する買戻取引である。ハンデルスバンケンは、リバース・レポを担保付貸出とみなしている。

信用リスクに対する所要自己資本の算定に用いられる担保のみが以下の表に記載されている。

表AR:9 減損テスト対象の一般顧客への貸出金の地域別、セクター別内訳

一般顧客への貸出金 地域別、セクター別内訳、2022年 百万スウェーデン・クローネ	スウェー デン	英国	ノルウェー	フィン ランド	オランダ	その他諸国	合計
個人	937,527	72,598	119,177	44,116	28,567	6,637	1,208,622
うち、住宅抵当ローン	906,953	-	92,486	18,666	-	-	1,018,105
うち、その他の貸出金 (不動産抵当付)	4,955	68,733	24,711	18,885	28,224	6,236	151,744
うち、その他の貸出金(個人)	25,619	3,865	1,980	6,565	343	401	38,773
住宅協同組合	213,411	-	28,818	47,022	-	-	289,251
うち、住宅抵当ローン	204,791	-	27,855	30,426	-	-	263,072
不動産管理	323,824	147,982	142,876	51,322	66,665	1,029	733,698
製造	27,147	1,560	2,896	3,219	3	2,045	36,870
リテール	32,960	2,730	4,033	427	8	374	40,532
ホテル及びレストラン	2,331	3,566	320	29	5	-	6,251
海運	2,305	7	152	268	-	-	2,732
その他運輸及び通信	6,035	439	1,941	672	549	1	9,637
建設	8,346	1,955	9,588	650	31	5	20,575
電気、ガス及び水道	9,407	310	2,945	3,520	111	-	16,293
農業、狩猟業及び林業	20,303	1,394	274	158	-	17	22,146
その他サービス	13,737	4,193	2,795	795	64	43	21,627
持株会社、投資会社、保険会社、 ミューチュアルファンド等	34,799	2,350	605	644	153	4	38,555
ソブリン及び地方自治体	1,249	-	295	3,010	-	49	4,603
うち、スウェーデン国債局	1,566	-	-	-	-	-	1,566
その他の法人向け貸付	15,940	124	1,527	129	52	160	17,932
<b>一般顧客への貸出金純額</b>	<b>1,649,321</b>	<b>239,208</b>	<b>318,242</b>	<b>155,981</b>	<b>96,208</b>	<b>10,364</b>	<b>2,469,324</b>
うち、予想信用損失引当金合計 (ステージ1-3)	-1,119	-311	-347	-609	-19	-49	-2,454
<b>一般顧客への貸出金合計</b>	<b>1,650,440</b>	<b>239,519</b>	<b>318,589</b>	<b>156,590</b>	<b>96,227</b>	<b>10,413</b>	<b>2,471,778</b>

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された処分グループのフィンランドが含まれている。比較数値にはデンマークも含まれている。注記G14を参照のこと。

## 一般顧客への貸出金

## 地域別、セクター別内訳、2021

年	スウェーデン	英国	ノルウェー	デンマーク	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計
百万スウェーデン・クローネ								
個人	915,223	75,951	112,312	62,773	42,983	22,780	6,430	1,238,452
うち、住宅抵当ローン	881,747	-	86,240	49,801	18,608	-	-	1,036,396
うち、その他の貸出金 (不動産抵当付)	5,974	72,264	23,949	9,119	18,046	22,426	5,812	157,590
うち、その他の貸出金(個人)	27,502	3,687	2,123	3,853	6,329	354	618	44,466
住宅協同組合	201,084	-	25,635	906	39,775	-	-	267,400
うち、住宅抵当ローン	195,336	-	25,028	-	25,545	-	-	245,909
不動産管理	278,288	149,495	127,276	23,834	46,112	51,460	856	677,321
製造	8,885	1,689	1,435	8,347	1,372	3	1,111	22,842
リテール	22,514	3,358	3,637	844	709	12	5	31,079
ホテル及びレストラン	2,986	3,783	290	1,723	43	6	-	8,831
海運	1,613	15	1,206	3	864	-	-	3,701
その他運輸及び通信	4,459	1,281	968	321	592	565	1	8,187
建設	6,943	2,146	7,204	1,869	570	16	-	18,748
電気、ガス及び水道	5,543	290	3,946	48	2,638	103	-	12,568
農業、狩猟業及び林業	20,884	1,469	274	229	150	8	12	23,026
その他サービス	8,113	4,682	2,676	1,508	715	68	2	17,764
持株会社、投資会社、保険会社、 社、ミューチュアルファンド等	47,702	2,058	1,320	8,527	881	547	493	61,528
ソブリン及び地方自治体	3,446	-	286	0	3,661	-	-	7,393
うち、スウェーデン国債局	2,173	-	-	-	-	-	-	2,173
その他の法人向け貸付	13,080	253	610	448	365	38	195	14,989
<b>一般顧客への貸出金純額</b>	<b>1,540,763</b>	<b>246,470</b>	<b>289,075</b>	<b>111,380</b>	<b>141,430</b>	<b>75,606</b>	<b>9,105</b>	<b>2,413,829</b>
うち、予想信用損失引当金合 計(ステージ1-3)	-1,231	-274	-675	-321	-621	-17	-39	-3,178
<b>一般顧客への貸出金合計</b>	<b>1,541,994</b>	<b>246,744</b>	<b>289,750</b>	<b>111,701</b>	<b>142,051</b>	<b>75,623</b>	<b>9,144</b>	<b>2,417,007</b>

表AR:10 信用エクスポージャー、担保別内訳

信用エクスポージャー 担保別、2022年 百万スウェーデン・ク ローネ	住宅用 不動産 <sup>1</sup>	その他の 不動産	ソプリ	自己の債	金融	資産	その他の	無担保	合計
			ン、地方 自治体及 び県域 自治体 <sup>2</sup>	務の担保 として差 し入れた 保証 <sup>3</sup>					
<b>貸借対照表項目</b>									
現金及び中央銀行預け金	-	-	475,882	-	-	-	-	-	475,882
中央銀行へのその他の貸 出金 注記G15	-	-	32,620	-	-	-	-	-	32,620
その他金融機関への貸出 金 注記G16	-	-	-	-	-	-	-	9,415	9,415
一般顧客への貸出金 注記G17	1,811,762	381,614	48,207	12,536	14,056	21,446	9,787	169,916	2,469,324
中央銀行への担保として 適格な利付証券 注記G18	-	-	130,416	-	-	-	-	2,362	132,778
債券及びその他利付証券 注記G18	-	-	6,461	815	-	-	-	30,032	32,697
デリバティブ商品 注記G22	189	354	3,361	223	86	-	-	32,048	36,261
<b>合計</b>	<b>1,811,951</b>	<b>381,968</b>	<b>696,947</b>	<b>13,574</b>	<b>14,142</b>	<b>21,446</b>	<b>9,787</b>	<b>243,773</b>	<b>3,188,977</b>
<b>オフバランスシート項目</b>									
偶発債務 注記G44	77,835	55,377	28,756	4,998	11,805	733	8,464	332,121	520,089
うち、保証コミットメ ント	743	1,223	2,148	1,357	935	-	866	53,703	60,975
うち、債務	77,092	54,154	26,608	3,641	10,870	733	7,598	278,418	459,114
<b>合計</b>	<b>77,835</b>	<b>55,377</b>	<b>28,756</b>	<b>4,998</b>	<b>11,805</b>	<b>733</b>	<b>8,464</b>	<b>332,121</b>	<b>520,089</b>
<b>貸借対照表項目及びオフ バランスシート項目合 計</b>									
<b>計</b>	<b>1,889,786</b>	<b>437,345</b>	<b>725,703</b>	<b>18,572</b>	<b>25,947</b>	<b>22,179</b>	<b>18,251</b>	<b>575,894</b>	<b>3,709,066</b>

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された処分グループのフィンランドが含まれている。比較数値にはデンマークも含まれている。注記G14を参照のこと。

信用エクスポージャー 担保別、2021年 百万スウェーデン・ク ローネ	住宅用 不動産 <sup>1</sup>	その他の 不動産	ソプリ	自己の債	金融	資産	その他の	無担保	合計
			ン、地方 自治体及 び県域 自治体 <sup>2</sup>	務の担保 として差 し入れた 保証 <sup>3</sup>					
<b>貸借対照表項目</b>									
現金及び中央銀行預け金	-	-	439,964	-	-	-	-	-	439,964
中央銀行へのその他の貸 出金 注記G15	-	-	1,462	-	-	-	-	-	1,462
その他金融機関への貸出 金 注記G16	-	-	15	-	-	-	-	21,823	21,838
一般顧客への貸出金 注記G17	1,794,921	352,383	47,978	9,901	20,025	22,312	8,919	157,390	2,413,829
中央銀行への担保として 適格な利付証券 注記G18	-	-	99,252	-	-	-	-	1,310	100,562
債券及びその他利付証券 注記G18	-	-	117	818	-	-	-	32,399	33,334
デリバティブ商品 注記G22	833	1,541	1,947	65	150	-	-	23,982	28,518
<b>合計</b>	<b>1,795,754</b>	<b>353,924</b>	<b>590,735</b>	<b>10,784</b>	<b>20,175</b>	<b>22,312</b>	<b>8,919</b>	<b>236,904</b>	<b>3,039,507</b>
<b>オフバランスシート項目</b>									
偶発債務 注記G44	100,836	59,444	34,269	6,577	15,491	674	9,390	331,592	558,273

うち、保証コミットメント	4,337	1,284	1,910	1,868	1,046	-	910	60,401	71,756
うち、債務	96,499	58,160	32,359	4,709	14,445	674	8,480	271,191	486,517
<b>合計</b>	<b>100,836</b>	<b>59,444</b>	<b>34,269</b>	<b>6,577</b>	<b>15,491</b>	<b>674</b>	<b>9,390</b>	<b>331,592</b>	<b>558,273</b>
<b>貸借対照表項目及びオフ バランスシート項目合 計</b>	<b>1,896,590</b>	<b>413,368</b>	<b>625,004</b>	<b>17,361</b>	<b>35,666</b>	<b>22,986</b>	<b>18,309</b>	<b>568,496</b>	<b>3,597,780</b>

- 1) 住宅協同組合のアパートを含む。
- 2) 直接のソブリン・エクスポージャー及び政府保証をいう。
- 3) 政府保証を含まない。

## 表AR:11 減損テスト対象の貸借対照表項目及びオフバランスシート項目、担保別

## 減損テスト対象の貸借対照表項目及びオフバランスシート項目、担保別、2022年

百万スウェーデン・クローネ	2022年					
	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
<b>貸借対照表項目</b>						
<b>現金及び中央銀行預け金</b>	475,853	-	-	0	-	-
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>2</sup>	475,853	-	-	0	-	-
<b>中央銀行へのその他の貸出金</b> 注記G15	32,620	-	-	0	-	-
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>2</sup>	32,620	-	-	0	-	-
<b>その他金融機関への貸出金</b> 注記G16	9,418	1	-	-2	-1	-
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-
自己の債務の担保として差し入れた保証 <sup>3</sup>	-	-	-	-	-	-
無担保	9,418	1	-	-2	-1	-
<b>一般顧客への貸出金</b> 注記G17	2,374,713	91,349	5,716	-475	-722	-1,257
住宅用不動産 <sup>1</sup>	1,754,173	55,422	2,708	-153	-188	-200
その他の不動産	360,572	20,728	769	-113	-208	-134
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>2</sup>	45,921	1,936	360	-4	-6	-
自己の債務の担保として差し入れた保証 <sup>3</sup>	12,311	243	1	-3	-16	-
金融担保	13,804	258	1	-4	-3	-
資産担保	19,719	1,836	45	-45	-94	-15
その他担保	8,937	875	310	-22	-82	-231
無担保	159,276	10,051	1,522	-131	-125	-677
<b>中央銀行への担保として適格な利付証券</b> 注記G18	200	-	-	0	-	-
<b>債券及びその他利付証券</b> 注記G18	9,882	-	-	-2	-	-
<b>合計</b>	<b>2,902,686</b>	<b>91,350</b>	<b>5,716</b>	<b>-480</b>	<b>-723</b>	<b>-1,257</b>
<b>オフバランスシート項目</b>						
<b>偶発債務</b> 注記G44	<b>314,586</b>	<b>12,533</b>	<b>274</b>	<b>-103</b>	<b>-169</b>	<b>-82</b>
うち、保証コミットメント	58,973	1,935	67	-6	-11	-19
住宅用不動産 <sup>1</sup>	695	43	5	0	0	-1
その他の不動産	970	252	-	0	-3	-
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>2</sup>	2,096	47	5	0	0	0
自己の債務の担保として差し入れた保証 <sup>3</sup>	1,030	326	-	0	-1	-
金融担保	840	91	3	0	-1	0
資産担保	-	-	-	-	-	-
その他担保	711	139	17	-1	-2	-5
無担保	52,631	1,037	37	-5	-4	-13
うち、債務	255,613	10,598	207	-97	-158	-63
住宅用不動産 <sup>1</sup>	74,461	2,597	34	-21	-12	-20
その他の不動産	53,086	1,064	4	-10	-18	0
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>2</sup>	26,591	16	-	0	-1	-
自己の債務の担保として差し入れた保証 <sup>3</sup>	3,538	103	-	-1	-4	-
金融担保	10,842	28	-	0	0	-
資産担保	710	22	-	-2	-3	-
その他担保	6,719	863	16	-10	-48	-2
無担保	79,666	5,905	153	-53	-72	-41
<b>合計</b>	<b>314,586</b>	<b>12,533</b>	<b>274</b>	<b>-103</b>	<b>-169</b>	<b>-82</b>
<b>貸借対照表項目及びオフバランスシート項目合計</b>	<b>3,217,272</b>	<b>103,883</b>	<b>5,990</b>	<b>-583</b>	<b>-892</b>	<b>-1,339</b>

- 1) 住宅協同組合のアパートを含む。
- 2) 直接のソブリン・エクスポージャー及び政府保証をいう。
- 3) 政府保証を含まない。

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループのフィンランドが含まれている。比較数値にはデンマークも含まれている。注記G14を参照のこと。



## 減損テスト対象の貸借対照表項目及びオフバランスシート項目、担保別、2021年

	2021年					
	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
百万スウェーデン・クローネ						
<b>貸借対照表項目</b>						
<b>現金及び中央銀行預け金</b>	<b>439,932</b>	-	-	<b>0</b>	-	-
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>2</sup>	439,932	-	-	0	-	-
<b>中央銀行へのその他の貸出金</b> 注記G15	<b>1,462</b>	-	-	-	-	-
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>2</sup>	1,462	-	-	-	-	-
<b>その他金融機関への貸出金</b> 注記G16	<b>21,833</b>	<b>10</b>	-	<b>-2</b>	<b>-3</b>	-
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>2</sup>	15	-	-	-	-	-
自己の債務の担保として差し入れた保証 <sup>3</sup>	-	-	-	-	-	-
無担保	21,818	10	-	-2	-3	-
<b>一般顧客への貸出金</b> 注記G17	<b>2,345,196</b>	<b>64,390</b>	<b>7,421</b>	<b>-395</b>	<b>-690</b>	<b>-2,093</b>
住宅用不動産 <sup>2</sup>	1,768,368	24,534	2,533	-101	-93	-320
その他の不動産	323,470	28,049	1,447	-85	-247	-251
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>2</sup>	45,980	1,674	334	-3	-7	0
自己の債務の担保として差し入れた保証 <sup>3</sup>	8,952	953	6	-3	-7	-
金融担保	19,474	566	1	-5	-11	0
資産担保	21,294	1,087	49	-44	-59	-15
その他担保	7,779	1,126	363	-23	-54	-272
無担保	149,879	6,401	2,688	-131	-212	-1,235
<b>中央銀行への担保として適格な利付証券</b> 注記G18	<b>421</b>	-	-	-	-	-
<b>債券及びその他利付証券</b> 注記G18	<b>9,016</b>	-	-	<b>-2</b>	-	-
<b>合計</b>	<b>2,817,860</b>	<b>64,400</b>	<b>7,421</b>	<b>-399</b>	<b>-693</b>	<b>-2,093</b>
<b>オフバランスシート項目</b>						
<b>偶発債務</b> 注記G44	<b>406,024</b>	<b>9,477</b>	<b>336</b>	<b>-109</b>	<b>-144</b>	<b>-91</b>
うち、保証コミットメント	70,375	1,265	116	-9	-10	-39
住宅用不動産 <sup>1</sup>	4,242	87	8	-5	-1	-3
その他の不動産	1,216	66	3	-1	-1	-
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>2</sup>	1,831	69	10	0	0	-
自己の債務の担保として差し入れた保証 <sup>3</sup>	1,778	90	0	0	0	-
金融担保	959	83	5	0	-1	-
資産担保	-	-	-	-	-	-
その他担保	805	77	28	0	-2	-17
無担保	59,544	793	62	-3	-5	-19
うち、債務	335,649	8,212	220	-100	-134	-52
住宅用不動産 <sup>1</sup>	95,531	937	31	-15	-5	-13
その他の不動産	56,618	1,527	15	-7	-14	-
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>2</sup>	31,967	392	-	0	0	-
自己の債務の担保として差し入れた保証 <sup>3</sup>	4,522	187	0	-1	-1	-
金融担保	14,079	366	-	-1	-4	-
資産担保	668	6	-	-1	0	-
その他担保	7,647	814	19	-11	-31	-3
無担保	124,617	3,983	155	-64	-79	-36
<b>合計</b>	<b>406,024</b>	<b>9,477</b>	<b>336</b>	<b>-109</b>	<b>-144</b>	<b>-91</b>
<b>貸借対照表項目及びオフバランスシート項目合計</b>	<b>3,223,884</b>	<b>73,877</b>	<b>7,757</b>	<b>-508</b>	<b>-837</b>	<b>-2,184</b>

- 1) 住宅協同組合のアパートを含む。
- 2) 直接のソブリン・エクスポージャー及び政府保証をいう。
- 3) 政府保証を含まない。

## 信用リスクの集中

ハンデルスバンケンの支店は、健全な信用力を有する優良顧客と長期的な関係を築くことに大きな重点を置いている。支店は優良顧客を見出した場合、その顧客が属するセクターに対する当行全体のエクスポージャーの大きさに拘わらず、この顧客と取引を行うことができる。その結果、当行の取引は相対的に特定のセクターに集中する傾向がある。しかしながら、当行は信用ポートフォリオのパフォーマンスと質を監視し、様々な事業セクターや地域に対する集中を算定している。当行はまた、主要な個々のカウンターパーティに対するエクスポージャーを測定し監視している。当行はまた、信用リスク評価を補完するために、個々のカウンターパーティに対する最大信用エクスポージャーを制限する特別な限度額も適用している。リスクの増加が想定される特定のセクターやカウンターパーティに信用ポートフォリオが集中している場合には、この集中が監視される。集中リスクは当行の信用リスクに対する経済資本の算定や自己資本充実度の内部評価で実施されるストレス・テストに加え、当行のリスク許容度に関するフォローアップの一環として特定される。信用ポートフォリオにおけるリスクの集中に関し、第二の柱に基づき、スウェーデン金融監督庁も別途、所要自己資本を計算している。これにより、ハンデルスバンケンは、リスクの集中も考慮した十分な資本を有していることを確認している。リスクの集中が過剰であると判断される場合には、当行は様々なリスク軽減策を用いる機会及び能力がある。

住宅ローン及び住宅協同組合への貸付に加え、ハンデルスバンケンは不動産管理部門に関してかなりの貸付業務を行っており、その金額は 734(677)十億スウェーデン・クローネである。ここでの不動産管理部門とは、リスク評価上「不動産会社」として分類されているすべての会社を指す。他の業界で事業を行っている企業グループの不動産管理子会社が、当該企業グループの事業不動産を管理することは一般的に行われているが、そうした不動産会社もここでは不動産管理部門に属しているとみなされる。但し、カウンターパーティの返済能力は不動産管理以外の事業活動によって決定されるため、そうした場合に存在する信用リスクは、不動産関連のリスクのみではない。さらに、相当な不動産を保有している個人について、リスク評価では不動産会社として分類される。

不動産貸出の大半は、借入金比率 (LTV) の低い不動産抵当貸付で構成されており、当行の信用損失リスクを軽減する。さらに、不動産貸出の大部分は、借手のキャッシュ・フローが堅調であり、信用力が非常に高い、国有の不動産会社、地方自治体所有の住宅会社及びその他の住宅関連会社向けである。したがって、不動産部門への貸出の大部分は、返済困難に陥る確率が非常に低い会社に対する貸出である。当行の不動産セクターに対するエクスポージャーは、下表に明記されている。

当行においてリスク区分が5 (正常リスク) よりも低い格付の不動産関連のカウンターパーティに対するエクスポージャーは非常に低いものになっている。スウェーデンにおける不動産貸出全体の98.2(97.8)%は、リスク区分が5以上の水準となっている。不動産貸出に占めるリスク区分が5以上のエクスポージャーは、ノルウェーが99.6(99.0)%及びフィンランドが97.8(97.2)%となっている。英国及びオランダに関する所要自己資本は、所定のリスク加重を用いる標準的手法を用いて計算されており、リスク区分は所要自己資本の算定とは関連していない。リスク区分が正常よりも低い水準にあるカウンターパーティのうち、大半がリスク区分6及び7に属しており、ごく一部がより高いリスク区分である8及び9に属している。ハンデルスバンケンのリスク区分に関する情報については、注記G2「信用リスクに関する所要自己資本の算定」セクションを参照のこと。

デンマークの不動産ポートフォリオを売却したものの、ハンデルスバンケンの不動産会社向け貸出は過去1年間で増加した。現地通貨ベースでは、スウェーデン、ノルウェー、オランダで堅調に推移し、フィンランドと英国のポートフォリオはほぼ横ばいであった。ハンデルスバンケンは、返済能力、LTV及び担保の質に関して、すべての市場で同一の厳格な要件を適用している。

表AR:12 減損テスト対象の一般顧客への貸出金、 - 不動産管理

一般顧客への貸出金、不動産管理 2022年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
<b>スウェーデンにおける貸出金</b>							
国有不動産会社	11,198	-	-	0	-	-	11,198
地方自治体が所有する不動産会社	8,212	-	-	0	-	-	8,212
住宅用不動産会社	148,992	3,851	22	-6	-5	-8	152,846
うち、住宅抵当ローン	137,576	3,661	18	-5	-5	-4	141,241
その他の不動産管理	145,098	6,376	171	-15	-15	-47	151,568
うち、住宅抵当ローン	77,194	1,656	32	-3	-4	0	78,875
<b>合計</b>	<b>313,500</b>	<b>10,227</b>	<b>193</b>	<b>-21</b>	<b>-20</b>	<b>-55</b>	<b>323,824</b>
<b>スウェーデン国外における貸出金</b>							
英国	138,506	8,972	647	-51	-60	-32	147,982
ノルウェー	138,171	4,684	62	-22	-10	-9	142,876
フィンランド	48,458	2,383	521	-5	-12	-23	51,322
オランダ	65,913	765	-	-10	-3	-	66,665
その他諸国	1,019	4	11	0	0	-5	1,029
<b>合計</b>	<b>392,067</b>	<b>16,808</b>	<b>1,241</b>	<b>-88</b>	<b>-85</b>	<b>-69</b>	<b>409,874</b>
<b>一般顧客への貸出金に占める不動産管理合計</b>	<b>705,567</b>	<b>27,035</b>	<b>1,434</b>	<b>-109</b>	<b>-105</b>	<b>-124</b>	<b>733,698</b>

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループのフィンランドが含まれている。比較数値にはデンマークも含まれている。注記G14を参照のこと。

一般顧客への貸出金、不動産管理 2021年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
<b>スウェーデンにおける貸出金</b>							
国有不動産会社	7,894	14	-	0	0	-	7,908
地方自治体が所有する不動産会社	8,174	160	-	0	0	-	8,334
住宅用不動産会社	128,135	1,713	43	-5	-5	-7	129,874
うち、住宅抵当ローン	115,843	1,613	18	-4	-4	-4	117,462
その他の不動産管理	119,415	12,676	250	-11	-57	-101	132,172
うち、住宅抵当ローン	63,522	3,130	21	-3	-8	-3	66,659
<b>合計</b>	<b>263,618</b>	<b>14,563</b>	<b>293</b>	<b>-16</b>	<b>-62</b>	<b>-108</b>	<b>278,288</b>
<b>スウェーデン国外における貸出金</b>							
英国	141,682	7,216	758	-38	-57	-66	149,495
ノルウェー	120,215	7,101	41	-21	-57	-3	127,276
デンマーク	23,186	594	99	-7	-13	-25	23,834
フィンランド	42,929	2,700	532	-5	-14	-30	46,112
オランダ	50,956	516	-	-9	-3	-	51,460
その他諸国	837	14	11	0	-1	-5	856
<b>合計</b>	<b>379,805</b>	<b>18,141</b>	<b>1,441</b>	<b>-80</b>	<b>-145</b>	<b>-129</b>	<b>399,033</b>
<b>一般顧客への貸出金に占める不動産管理合計</b>	<b>643,423</b>	<b>32,704</b>	<b>1,734</b>	<b>-96</b>	<b>-207</b>	<b>-237</b>	<b>677,321</b>

表AR:13 一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、担保の種類及び国別 (総額)

一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理 担保の種類及び国別 百万スウェーデン・ クローネ	2022年					2021年				
	貸出金	国 及び地方 自治体 <sup>1</sup>	住宅用 不動産	商業用 不動産 及び その他の 担保		貸出金	国 及び地方 自治体 <sup>1</sup>	住宅用 不動産	商業用 不動産 及び その他の 担保	
				無担保	無担保				無担保	無担保
スウェーデン	323,920	20,052	175,283	116,708	11,877	278,474	17,310	150,555	98,134	12,475
英国	148,125	9	84,065	63,567	484	149,656	10	85,934	63,287	425
ノルウェー	142,917	25	26,365	107,793	8,734	127,357	25	22,599	97,482	7,251
デンマーク						23,879	-	14,731	8,843	305
フィンランド	51,362	30,041	7,225	13,830	266	46,161	25,966	6,722	13,244	229
オランダ	66,678	-	44,914	21,544	220	51,472	-	35,925	15,317	230
その他諸国	1,034	-	562	459	13	862	-	479	352	31
<b>合計</b>	<b>734,036</b>	<b>50,127</b>	<b>338,414</b>	<b>323,901</b>	<b>21,594</b>	<b>677,861</b>	<b>43,311</b>	<b>316,945</b>	<b>296,659</b>	<b>20,946</b>

1) 政府及び地方自治体、又は政府及び地方自治体が保証する不動産融資

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された処分グループのフィンランドが含まれている。比較数値にはデンマークも含まれている。注記G14を参照のこと。

表AR:14 一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分及び国別

一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分及び国別、2022年

百万スウェーデン・クローネ

リスク区分	スウェーデン	英国	ノルウェー	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計	%
1	17,831	-	807	13,062	-	-	31,700	4.32
2	94,409	-	35,509	5,837	-	-	135,755	18.49
3	136,834	-	62,647	18,846	-	-	218,327	29.74
4	47,862	-	31,834	8,151	-	-	87,847	11.97
5	20,273	-	11,503	4,245	-	-	36,021	4.91
6	4,972	-	216	465	-	-	5,653	0.77
7	315	-	279	113	-	-	707	0.10
8	131	-	-	41	-	-	172	0.02
9	73	-	32	6	-	-	111	0.02
デフォルト	194	-	62	521	-	-	777	0.11
標準的手法 <sup>1</sup>	1,026	148,125	28	75	66,678	1,034	216,966	29.56
<b>合計</b>	<b>323,920</b>	<b>148,125</b>	<b>142,917</b>	<b>51,362</b>	<b>66,678</b>	<b>1,034</b>	<b>734,036</b>	<b>100</b>

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループのフィンランドが含まれている。比較数値にはデンマークも含まれている。注記G14を参照のこと。

一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分及び国別、2021年

百万スウェーデン・クローネ

リスク区分	スウェーデン	英国	ノルウェー	デンマーク	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計	%
1	15,300	-	818	22	13,044	-	-	29,184	4.31
2	86,418	-	29,492	1,026	7,428	-	-	124,364	18.35
3	114,156	-	61,254	10,740	13,427	-	-	199,577	29.44

4	36,186	-	25,665	9,534	7,229	-	-	78,614	11.60
5	19,278	-	8,892	2,085	3,638	-	-	33,893	5.00
6	5,010	-	797	96	465	-	-	6,368	0.94
7	533	-	353	239	231	-	-	1,356	0.20
8	96	-	7	12	41	-	-	156	0.02
9	71	-	36	18	12	-	-	137	0.02
デフォルト	294	-	41	99	532	-	-	966	0.14
標準的手法 <sup>1</sup>	1,132	149,656	2	8	114	51,472	862	203,246	29.98
<b>合計</b>	<b>278,474</b>	<b>149,656</b>	<b>127,357</b>	<b>23,879</b>	<b>46,161</b>	<b>51,472</b>	<b>862</b>	<b>677,861</b>	<b>100</b>

表AR:15 一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分、担保の種類及び無担保別

一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分、担保の種類及び無担保別、2022年

百万スウェーデン・クローネ

リスク区分	貸出金	担保				
		住宅用不動産	商業用不動産	政府及び地方自治体からの保証 <sup>1</sup>	その他の担保	無担保
1	31,700	8,322	4,811	16,698	1,094	775
2	135,755	62,315	51,154	15,876	658	5,752
3	218,327	89,223	109,973	9,855	560	8,716
4	87,847	39,326	40,008	5,334	268	2,911
5	36,021	8,908	22,977	1,628	705	1,803
6	5,653	284	4,855	378	18	118
7	707	244	408	7	35	13
8	172	70	101	-	-	1
9	111	37	56	-	7	11
デフォルト	777	145	247	342	13	30
標準的手法 <sup>1</sup>	216,966	129,540	85,129	9	824	1,464
<b>合計</b>	<b>734,036</b>	<b>338,414</b>	<b>319,719</b>	<b>50,127</b>	<b>4,182</b>	<b>21,594</b>

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループのフィンランドが含まれている。比較数値にはデンマークも含まれている。注記G14を参照のこと。

一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分、担保の種類及び無担保別、2021年

百万スウェーデン・クローネ

リスク区分	貸出金	担保				
		住宅用不動産	商業用不動産	政府及び地方自治体からの保証 <sup>1</sup>	その他の担保	無担保
1	29,184	8,013	3,039	17,089	262	781
2	124,364	58,878	46,589	12,634	1,223	5,040
3	199,577	86,467	95,579	7,231	744	9,556
4	78,614	30,676	41,304	4,294	219	2,121
5	33,893	9,320	20,671	1,374	622	1,906
6	6,368	489	5,442	351	17	69
7	1,356	455	864	7	6	24
8	156	41	113	-	0	2
9	137	38	68	-	7	24
デフォルト	966	229	364	321	15	37
標準的手法 <sup>1</sup>	203,246	122,339	78,609	10	902	1,386
<b>合計</b>	<b>677,861</b>	<b>316,945</b>	<b>292,642</b>	<b>43,311</b>	<b>4,017</b>	<b>20,946</b>

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

## 信用リスクに関する所要自己資本の算定

### リスク格付制度

信用リスクに対する所要自己資本は、欧州委員会委任規則575/2013 (CRR) に従い標準的手法及びIRB手法に基づいて算定される。標準的手法では、信用リスクの所要自己資本の算定に用いるリスク加重が同規則に定められている。これに対し、IRB手法では金融機関が所要自己資本の算定に際して自行のIRBモデル(内部リスク格付制度)を使用することでリスク・パラメーターを見積もる。IRB手法を適用する際には、基礎的手法と先進的手法という二つの異なる手法がある。基礎的IRB手法では、デフォルト確率 (PD) は当行独自のIRBモデルを用いて算出され、デフォルト時損失率 (LGD) 及び掛目 (CCF) の数値は規則で定められている。CCFは未使用の当座貸越契約枠やローン・コミットメント、保証等のオフ・バランスシート・コミットメントのエクスポージャー額の計算に用いられる。先進的IRB手法では、PD、LGD、CCFはそれぞれ、当行独自のIRBモデルを用いて計算される。ハンデルスバンケンの内部リスク格付制度 (IRB手法) は、当行の信用リスクの分類及び定量化に対応するためのいくつかの異なるシステム、手法、プロセス及び手順より構成されている。

顧客の信用評価を行う際、顧客には格付が割り当てられる。

この格付と他のリスク格付基準とを併せ、エクスポージャーのIRB手法のリスク区分への割り当て方法を決定している。格付には、財務逼迫リスク (A) と、こうした逼迫に対するカウンターパーティの経済的耐久力 (B) という二つの側面があり、極めて低いリスクからきわめて高いリスクまでを5段階で評価している。

IRB手法の適用にあたって、この格付は各国政府、中央銀行、政府系機関及び地方自治体に対するエクスポージャー (ソブリン・エクスポージャー) 同様、法人及び機関に対するエクスポージャーに関しても、内部リスク区分に変換されている (A+B-1)。

リテール・エクスポージャーの格付は1から5までの5段階で構成され、法人エクスポージャーのようにリスク区分に直接転換されるわけではない。代わりに、異なるエクスポージャーが特定の要因に基づいて、いくつかのより小規模なグループに分類される。こうした要因には、与信の種類、カウンターパーティの返済履歴のほか、複数の借手の有無などが含まれる。平均的なデフォルト確率は各小規模なグループについて算定され、これに基づき、グループごとに10段階のリスク区分のいずれかに分類される。個人向けエクスポージャーと中小企業向けエクスポージャーには異なるモデルが使用されている (どちらもリテール・エクスポージャーのカテゴリーに分類されている) が、原則は同じである。

IRB手法に用いられるリスク区分は、このように1から10までの段階に分類される。

当行のエクスポージャーの大半はリスク区分1 - 4に属し、これは、信用ポートフォリオの平均的なリスク水準が正常リスクとして評価されるレベルよりも著しく低いことを意味している。リスク区分5は正常リスクに相当し、リスク区分10はカウンターパーティがデフォルト状態に陥っていることである。

### エクスポージャー区分

エクスポージャー区分数は信用リスク算定に用いる手法により異なる。標準的手法で算定されるエクスポージャーは、17の異なるエクスポージャー区分に分類される。一方、IRB手法では7つのエクスポージャー区分が用いられる。

IRB手法による全体のエクスポージャー区分は、ソブリン・エクスポージャー、機関エクスポージャー、法人エクスポージャー、リテール・エクスポージャー、株式エクスポージャー及び証券化ポジションのエクスポージャーからなる。さらに、有形固定資産などのカウンターパーティによる行為が一切必要とされない非信用債務資産がある。

政府、中央銀行、政府系機関及び地方自治体に対するエクスポージャーはソブリン・エクスポージャーに分類される。機関エクスポージャーは、銀行及びその他の金融機関並びに特定の投資会社に分類されるカウンターパーティに対するエクスポージャーをいう。

リテール・エクスポージャーには、個人及び中小企業の両方に対するエクスポージャーが含まれ、この場合の当行グループのエクスポージャー合計は5百万スウェーデン・クローネを超えないものとする。リテール・エクスポージャーは、不動産貸付エクスポージャーとその他のリテール・エクスポージャーの二つの小区分に分類される。

法人エクスポージャーは、当行グループのエクスポージャー合計が5百万スウェーデン・クローネ超の法人、売上が50百万スウェーデン・クローネ超の企業、当行グループのエクスポージャー合計が5百万スウェーデン・クローネ超の中小企業などの金融機関以外に対するエクスポージャーをいう。一般的な金融機関以外の企業とは別に、このエクスポージャー区分には保険会社、住宅共同組合のエクスポージャー及び「スペシャライズド・レンディング」形式によるエクスポージャーが含まれる。

株式エクスポージャーは、トレーディング勘定に含まれない当行の株式保有をいう。

標準的手法を用いる場合には、当行の資産は、国際開発銀行エクスポージャー、国際機関エクスポージャー、機関エクスポージャー、法人エクスポージャー、リテール・エクスポージャー、不動産担保付エクスポージャー、デフォルトエクスポージャー、その他及び株式エクスポージャーのエクスポージャー区分に分類される。

表AR:16 リスク区分別信用リスクのエクスポージャー

リスク区分別 信用エクスポ ージャー、 2022年	貸借対照表項目						オフバランスシート項目		
	一般顧客へ の貸出金	その他 金融機関 への 貸出金	現金及び 中央銀行 預け金	中央銀行 への その他の 貸出金	デリバ ティブ 商品	デリバ ティブ 利付証券	偶発債務	債務	合計
百万スウェーデン・ クローネ									
<b>リスク区分</b>									
1	550,626	127	378,321	29,020	11,812	133,759	5,010	52,509	1,161,184
2	621,664	4,470	-	-	14,179	26,544	23,626	134,449	824,932
3	582,787	3,852	34	-	6,252	1,616	20,677	131,146	746,364
4	226,188	4	-	-	1,397	42	7,861	41,005	276,497
5	71,383	7	-	-	186	50	1,680	22,947	96,253
6	17,271	1	-	-	30	-	304	4,327	21,933
7	24,420	-	-	-	9	-	158	5,291	29,878
8	768	-	-	-	1	-	43	2,856	3,668
9	7,117	-	-	-	-	-	13	2,083	9,213
デフォルト	2,930	-	-	-	-	-	39	185	3,154
標準的手法 <sup>1</sup>	364,170	954	97,527	3,600	2,395	3,464	1,564	62,316	535,990
<b>合計</b>	<b>2,469,324</b>	<b>9,415</b>	<b>475,882</b>	<b>32,620</b>	<b>36,261</b>	<b>165,475</b>	<b>60,975</b>	<b>459,114</b>	<b>3,709,066</b>

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループのフィンランドが含まれている。比較数値にはデンマークも含まれている。注記G14を参照のこと。

リスク区分別 信用エクスポ ージャー、 2021年	貸借対照表項目						オフバランスシート項目		
	一般顧客へ の貸出金	その他 金融機関 への 貸出金	現金及び 中央銀行 預け金	中央銀行 への その他の 貸出金	デリバ ティブ 商品	デリバ ティブ 利付証券	偶発債務	債務	合計
百万スウェーデン・ クローネ									
<b>リスク区分</b>									
1	547,778	61	439,904	1,462	8,636	101,489	5,547	56,348	1,161,225
2	622,873	17,553	-	-	9,599	27,788	25,869	126,583	830,265
3	563,523	1,221	60	-	4,718	2,194	16,030	148,583	736,329
4	218,567	15	-	-	1,818	-	17,259	41,238	278,897
5	70,963	1	-	-	508	-	3,818	29,692	104,982
6	18,037	29	-	-	20	-	198	5,744	24,028
7	22,310	-	-	-	6	-	251	5,420	27,987
8	2,223	-	-	-	-	-	37	4,745	7,005
9	7,084	-	-	-	-	-	36	2,487	9,607
デフォルト	3,814	-	-	-	-	-	62	215	4,091
標準的手法 <sup>1</sup>	336,657	2,958	-	-	3,213	2,425	2,649	65,462	413,364
<b>合計</b>	<b>2,413,829</b>	<b>21,838</b>	<b>439,964</b>	<b>1,462</b>	<b>28,518</b>	<b>133,896</b>	<b>71,756</b>	<b>486,517</b>	<b>3,597,780</b>

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

## リスク分類方法

当行は、信用リスクを定量化するために、デフォルト確率（以下、「PD」という。）、デフォルト時エクスポージャー（以下、「EAD」という。）、デフォルト時損失率（以下、「LGD」という。）を算定している。借手が重要な支払を90日超延滞している場合、又は借手が当行に対する債務を履行する可能性が低いと当行がみなす場合に、デフォルト（債務不履行）が発生したと考えられる。PD値はパーセントで表され、例えば、PD値が0.5%である場合は、PD値が同一である200人のうちの1人の借手が、1年以内にデフォルトに陥ると予想されることを意味する。

カウンターパーティに対して用いられる事業評価テンプレートに基づき、法人エクスポージャーは4つのカウンターパーティ区分に、ソプリン・エクスポージャーは2つのカウンターパーティ区分に分類される。PDは、リスク区分及びカウンターパーティの分類別にそれぞれ算定される。基礎的IRB手法に従って自己資本を算定する必要があるエクスポージャーについては、LGDに規定値を適用する。ここで使用される可能性のある規定値は、各エクスポージャーに対して差し入れられた担保によって決定されている。

リテール・エクスポージャーにも同様に、リスク区分ごとに平均デフォルト率が算定されている。個人向けエクスポージャーと中小規模企業向けエクスポージャーには異なるモデルが使用されている（どちらもリテール・エクスポージャーのカテゴリーに分類されている）が、原則は同じである。

リテール・エクスポージャー並びに中規模企業、不動産会社及び住宅協同組合に対する法人エクスポージャーについては、自行の損失実績を用いてLGDを算定する。先進的IRB手法を使用して自己資本比率を算定する必要がある大企業に対するエクスポージャーについては、過去の損失及び外部の観察可能な指標に基づいてLGDが算定される。スウェーデンの不動産担保が付されているリテール・エクスポージャー並びに中規模企業、不動産会社及び住宅協同組合（法人）に対する不動産エクスポージャーについては、当該担保価値に対する借入金比率に応じて、異なるLGD値が適用される。その他のエクスポージャーについては、LGD値は担保の有無、担保価値、商品の種類及び類似する要因に基づいて決定される。

エクスポージャーの各区分に関しては、債務不履行に陥っていないカウンターパーティ又は契約のリスク区分ごとにそれぞれPDが算定されている。PDは、異なる種類のエクスポージャー別に過去のデフォルト確率に基づいて算定される。その後、平均デフォルト確率は、様々な保守的に加えるマージンを使用して調整される。

LGDを算定する際のリスク尺度は、経済的に不利な状況における損失率（「景気後退期を勘案したLGD」として知られている）を反映しなければならない。不動産担保の場合、この景気後退期を勘案したLGDは1990年代初頭の不動産危機によって生じた損失に基づいて算定されている。リテール・エクスポージャーに関するその他の担保について、このLGDはPD及び商品の種類ごとの要因に応じて景気後退を勘案して調整される。自行推計のLGDとCCFを用いるIRB手法で算定する法人エクスポージャーに関しては、LGDが景気後退を勘案して調整されるため、1991年から1996年にかけての景気後退期における当行の損失が考慮に入れられている。不動産担保付きエクスポージャーのLGDは、多くの場合、当該不動産の借入金比率に基づき見積もられる。不動産価値及びその影響により借入金比率も通常景気循環とともに変動するため、自己資本比率もある程度の景気循環との相関関係を持つことになる。

表AR:17 減損テスト対象の貸借対照表項目、リスク区分別

減損テスト対象の貸借対照表 項目、 リスク区分別、2022年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分						
1	908,545	9,099	-	-6	-4	-
2	653,136	10,055	-	-27	-8	-
3	581,934	9,743	-	-65	-19	-
4	213,053	14,719	-	-103	-36	-
5	60,120	12,758	-	-64	-196	-
6	10,569	6,839	-	-18	-88	-
7	18,482	6,060	-	-11	-102	-
8	304	504	-	-1	-38	-
9	2,711	4,474	-	-9	-59	-
デフォルト	-	-	3,991	-	-	-1,061
標準的手法 <sup>1</sup>	453,832	17,099	1,725	-176	-173	-196
<b>合計</b>	<b>2,902,686</b>	<b>91,350</b>	<b>5,716</b>	<b>-480</b>	<b>-723</b>	<b>-1,257</b>

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループのフィンランドが含まれている。比較数値にはデンマークも含まれている。注記G14を参照のこと。

減損テスト対象の貸借対照表 項目、 リスク区分別、2021年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分						
1	853,060	1,897	-	-4	-3	-
2	660,621	5,649	-	-24	-9	-
3	569,652	3,816	-	-44	-11	-
4	215,350	5,141	-	-71	-21	-
5	53,929	17,807	-	-78	-186	-
6	12,530	5,643	-	-26	-61	-
7	17,647	4,776	-	-10	-97	-
8	400	1,919	-	-2	-94	-
9	3,854	3,300	-	-18	-52	-
デフォルト	-	-	5,641	-	-	-1,827
標準的手法 <sup>1</sup>	430,817	14,452	1,780	-122	-159	-266
<b>合計</b>	<b>2,817,860</b>	<b>64,400</b>	<b>7,421</b>	<b>-399</b>	<b>-693</b>	<b>-2,093</b>

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

表AR:18 減損テスト対象の一般顧客への貸出金、リスク区分別

減損テスト対象の一般顧客への 貸出金、 リスク区分別、2022年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
<b>リスク区分</b>						
1	541,537	9,099	-	-6	-4	-
2	611,641	10,055	-	-24	-8	-
3	573,128	9,743	-	-65	-19	-
4	211,608	14,719	-	-103	-36	-
5	58,884	12,757	-	-63	-195	-
6	10,538	6,839	-	-18	-88	-
7	18,473	6,060	-	-11	-102	-
8	303	504	-	-1	-38	-
9	2,711	4,474	-	-9	-59	-
デフォルト	-	-	3,991	-	-	-1,061
標準的手法 <sup>1</sup>	345,890	17,099	1,725	-175	-173	-196
<b>合計</b>	<b>2,374,713</b>	<b>91,349</b>	<b>5,716</b>	<b>-475</b>	<b>-722</b>	<b>-1,257</b>

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループのフィンランドが含まれている。比較数値にはデンマークも含まれている。注記G14を参照のこと。

減損テスト対象の一般顧客への 貸出金、 リスク区分別、2021年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
<b>リスク区分</b>						
1	545,888	1,897	-	-4	-3	-
2	617,255	5,649	-	-22	-9	-
3	559,761	3,816	-	-43	-11	-
4	213,518	5,141	-	-71	-21	-
5	53,419	17,807	-	-78	-185	-
6	12,481	5,643	-	-26	-61	-
7	17,641	4,776	-	-10	-97	-
8	400	1,919	-	-2	-94	-
9	3,854	3,300	-	-18	-52	-
デフォルト	-	-	5,641	-	-	-1,827
標準的手法 <sup>1</sup>	320,979	14,442	1,780	-121	-157	-266
<b>合計</b>	<b>2,345,196</b>	<b>64,390</b>	<b>7,421</b>	<b>-395</b>	<b>-690</b>	<b>-2,093</b>

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

表AR:19 減損テスト対象のオフバランスシート項目、リスク区分別

減損テスト対象のオフバランスシート項目	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分別、2022年						
百万スウェーデン・クローネ						
リスク区分						
1	32,621	878	-	0	0	-
2	85,928	891	-	-5	-1	-
3	82,742	987	-	-12	-1	-
4	27,190	1,690	-	-29	-7	-
5	12,760	2,533	-	-13	-51	-
6	3,883	747	-	-3	-25	-
7	3,821	1,627	-	-4	-33	-
8	2,741	157	-	-2	-9	-
9	1,950	145	-	-2	-8	-
デフォルト	-	-	223	-	-	-82
標準的手法 <sup>1</sup>	60,950	2,878	51	-33	-34	0
合計	314,586	12,533	274	-103	-169	-82

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループのフィンランドが含まれている。比較数値にはデンマークも含まれている。注記G14を参照のこと。

減損テスト対象のオフバランスシート項目	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分別、2021年						
百万スウェーデン・クローネ						
リスク区分						
1	44,810	387	-	-1	-1	-
2	103,835	544	-	-5	-1	-
3	111,041	290	-	-9	-1	-
4	41,445	1,629	-	-16	-6	-
5	22,903	2,133	-	-29	-29	-
6	5,575	330	-	-5	-9	-
7	4,880	768	-	-5	-22	-
8	3,756	964	-	-3	-34	-
9	2,318	170	-	-4	-11	-
デフォルト	-	-	268	-	-	-89
標準的手法 <sup>1</sup>	65,746	2,262	68	-32	-30	-2
合計	406,310	9,477	336	-109	-144	-91

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

デフォルト時エクスポージャー (EAD) が算定される場合、帳簿価額に対して一定の調整が行われる。例えば、顧客が将来において一定金額まで借入れを行うことを当行との間で合意しているローン・コミットメントやリボルビング・クレジット等である。このようなコミットメントは、十分な資本によってカバーされなければならない信用リスクに含まれる。一般的にこれは、付与された与信枠のうちの報告時点では未使用の部分が一定の掛目 (CCF) を用いて調整されることを意味する。法人エクスポージャー及び機関エクスポージャーに関する特定の商品カテゴリーについて、掛目 (CCF) は規制によって決定されるが、リテール・エクスポージャー並びに大

企業、中規模企業、不動産会社及び住宅協同組合の特定の商品区分に関しては、当行は独自に算定した掛目(CCF)を用いている。どの掛目(CCF)を使用するかは、主に参照される商品によって決まるが、利用水準も関連する可能性がある。IRB手法における株式エクスポージャーの所要自己資本は、簡便なリスク加重手法に従い算出されている。

リスク・パラメーター(PD、EAD、LGD)は、自己資本比率の計算だけでなく、個々の取引の資本コスト及び経済資本(以下、「EC」という。)の算定にも用いられる。

## 外部格付との比較

当行のリスク区分は外部信用格付機関が採用する格付とは直接比較することができない。外部格付機関の格付は、当行の格付モデルが実施しているような、カウンターパーティの債務不履行に陥る可能性を直接分類したものと一致していない。また、外部格付機関による債務不履行がもたらす損失の深刻さを織り込む程度はさまざまである。当行が信用度を評価する対象期間は、信用格付機関が用いる対象期間と同一であるとは限らない。当行のリスク区分は一貫したスケールによるわけではなく、特定のリスク区分は特定のデフォルト確率と常に一致している。また異なるPDのスケールが信用ポートフォリオの異なる部分に適用されるほか、PD値は経年変化する。

総じて、内部リスク区分を明確かつ一貫性を持って外部格付に変換することは不可能である。

## 信用リスクモデルの品質管理

当行はリスク格付システムを毎年レビューしている。このレビューでは、当行のリスク格付の根拠となる内部格付が、一貫して正確にかつ目的に適合した方法で用いられ(評価)、また使用されたモデルが満足の行く方法でリスクを測定している(検証)ことを確認する。

## 予想信用損失の算定

IFRS第9号で示された減損に関する規則は、償却原価で計上される金融資産、その他包括利益を通じて公正価値で計上される金融資産、並びに金融保証及び取消不能のコミットメントに適用されている。本セクションでは、ハンデルスバンケンの予想信用損失(ECL)引当金に関するモデルベースの算定に用いるプロセスと手法を説明している。

予想信用損失の推計は債権レベルで行われ、債権とカウンターパーティの性質が引当必要額の分類と定量化に決定的な影響を与える。推計はモデルベース、マニュアルによる算定のいずれかにより行われ、手法の選択は主に、債権が信用減損しているとみなされているか否かにより決定する。

予想信用損失の認識と測定に関する情報と定義については、注記G1及びセクション10「信用損失」を参照のこと。

## ステージ1及びステージ2債権に対するモデルベースの算定

モデルベースの予想信用損失の算定におけるハンデルスバンケンのグループ規模の中央集権的なプロセスは、ステージ1及びステージ2債権の引当必要額の定量化に対応する、多くの異なるプロセスと手法を組み込んでいる。

このモデルベースの算定は、過去と現在に加え将来予測的なデータを織り込んでいる。過去データは用いられるモデル構築とパラメーター設定の基礎となり、現在データは報告日現在の公表済の残高データ(算定要件に含まれる通り)、将来予測的なデータは将来のリスク・パラメーター及びエクスポージャーの算定に用いられるマクロ経済シナリオである。

このモデルはIRBモデルと同じ過去のリスクデータを用いており、これは引当金の会計処理と自己資本比率の算定が同一の基礎的な損失実績に基づくことを示している。リスク格付制度が自己資本比率の算定に与える影響と同様に、(リスク格付が導出される)内部格付は予想信用損失算定モデルの重要な一部分である。予想信用損失の算定は、主にデフォルト確率(以下、「PD」という。)、デフォルト時エクスポージャー(以下、「EAD」という。)及び、デフォルト時損失率(以下、「LGD」という。)というリスク・パラメーターの影響を受ける。将来の予想信用損失は、EADの現在価値にPD及びLGDを乗じて算定される。リスク・パラメーターであるPD、EAD、LGDを用いる自己資本比率規制における信用損失の算定とは異なり、IFRS第9号に基づく予想信用損失の推計は現在の将来予測的な評価に基づいている。規制の目的はそれぞれ異なるため、算定モデルもリスク・パラメーターの設定手法や構築手法の点で異なっている。IFRS第9号及びIRB手法の主な相違点については、表AR:20「IFRS第9号とIRB手法の相違点」を参照のこと。

## マクロ経済関連情報

信用リスクの著しい増大と予想信用損失のモデルベースの評価は、モデルに個々のリスク・パラメーター(PD、EAD及びLGD)を適用して算定される。この算定が非線型的な側面を考慮するよう確実にするため、英国外のエクスポージャーについては、モデルには3つの将来予測なマクロ経済シナリオ(基本(中立)シナリオ、下降シナリオ、上昇シナリオ各1つ)が用いられる。英国のエクスポージャーについては、第4四半期現在、4つのシナリオ(基本シナリオ1つ、下降シナリオ2つ、上昇シナリオ1つ)が用いられている。各シナリオには各国別の失業率、国内総生産(GDP)、不動産価格、主要行又は中央銀行の基準金利、インフレ率をはじめとする重要なマクロ経済上のリスク要因が含まれる。重要なマクロ経済上のリスク要因は当行の過去データを評価して特定され、リスク・パラメーターとの関連性は同じ過去データを用いて見積もられる。適用されるリスク・パラメーターの調整にはさまざまなシナリオが用いられる。それぞれのマクロ経済シナリオには当行が決定する(発生)確率が当てられている。これらの確率は現在、基本シナリオが60%(70%)、上昇シナリオが20%(15%)及び下降シナリオが20%(15%)となっている。英国のエクスポージャーに関する加重は基本シナリオを60%、上昇シナリオを5%、下降シナリオを20%、深刻な下降シナリオを15%としている。予想信用損失は各シナリオの予想信用損失の確率加重平均として認識される。

マクロ経済シナリオは全て当行の経済調査部署により作成され、同部署が社内外の使用を問わず、ハンデルスバンケンが公表するすべての経済分析の責任を負う。これらのマクロ経済シナリオは、世界経済の予測に加え、スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、英国、ユーロ圏諸国、米国の各地域固有の30年予測から構成される。マクロ経済シナリオの変更や用いられる確率加重の変更は、信用リスクの著しい増大の評価や予想信用損失の推計に大きな影響を与える。各シナリオは当行の経済調査部署により四半期ごとに更新され、ECL算定に用いる前に関連意思決定者に提出され承認を得る。

## ポートフォリオの分類

モデルベースの評価には統計モデルが用いられる。これらの統計モデルはポートフォリオの異なる分類のために開発されたもので、各分類は類似したリスク・エクスポージャーから構成され、共通したリスク要因の組合せを基にリスク・パラメーターが見積もられる。リテール・エクスポージャーのポートフォリオは商品の種類に基づいて分類され、他のエクスポージャーはカウンターパーティの種類に基づいて分類される。この分類は統計分析と専門家による評価を基に行われている。リテール・エクスポージャーについては、ポートフォリオは以下の9つの区分、すなわち住宅不動産担保個人向けエクスポージャー、個人向け及び中小企業向けのクレジットカード・エクスポージャーを含むリボルビング・クレジット、個人向け及び中小企業向けのその他のエクスポージャー、個人向け及び中小企業向けのクレジットカード金融、個人向け及び中小企業向けの割賦販売

金融に分類される。他のエクスポージャーは、不動産会社、住宅協同組合、他の大手非金融会社、他の非金融会社、金融会社・銀行及び政府の6つの区分に分類されている。

個々のポートフォリオの区分内で、内部格付、返済履歴、国との関連、担保の種類、借入金比率などのリスク要因に基づき、債権は異なる状況に応じてさらに細分化される。これらの状態は過去の結果に係る統計分析に基づいて決定されている。デフォルト率(PD)、デフォルト時損失率(LGD)、デフォルト時エクスポージャー(EAD)などのリスク・パラメーターの将来予測的な確率を算定するため、すべての状態について、統計モデルが状態間の遷移に用いられる。これらの状態に関する重要なリスク要因の一つにカウンターパーティの内部格付がある。これは与信の決定時に与えられ、最低でも毎年、カウンターパーティの返済能力に変化の兆候がある場合はいつでも更新される。気候関連リスク及び特定の他の環境リスクは与信プロセスで評価され、カウンターパーティ単位の内部格付に影響を及ぼす。これらの状態には、「非デフォルト」エクスポージャー、「デフォルト」エクスポージャー、及び「早期償還」エクスポージャーがある。リテール・エクスポージャーは9つの異なる状態に、他のエクスポージャーは12の状態に分類される。

### 信用リスクの著しい増大

信用リスクの著しい増大は、デフォルトリスクを反映したもので、当初認識時以降の債権の信用リスクの相対的变化により測定される。信用リスクの著しい増大を算定するために、ハンデルスバンケンでは予想信用損失の算定に用いるのと同じ、過去、現在及び将来予測的な情報を考慮に入れた原モデルを用いている。この評価では担保は考慮されない。各報告日において、グループ規模の中央集権的なモデルベースのプロセスでは、全ての債権に対し、当初認識時(契約開始日)以降、信用リスクが著しく増大したか否かの評価が最初に行われる。この評価によって、予想信用損失を報告日以降12ヶ月の期間で認識するか(ステージ1)、当該債権の残存期間(にわたって認識する(ステージ2))かが決定される。したがって、どのような要因と閾値がステージ1からステージ2への振替のトリガーとして定められているかが、信用損失引当金の規模に影響を与える重要なポイントになる。ステージ2への振替を決定付ける信用リスクの著しい増大に関する当行の定義は、定性的及び定量的双方の要因に基づいて決められている。

主に信用リスクの変化を評価するために用いられる定量的指標は、当該商品の当初認識時と直近の報告日までの当該債権の残存期間におけるデフォルト確率(PD)の相対的変動である。金融商品の当初認識にあたりPDを確定するために非合理的な費用又は労力が必要とされた場合、当初認識以降のカウンターパーティ又は債権の内部格付若しくはリスク格付の変化が、信用リスクの著しい変化を評価するために用いられる。2018年1月1日以降に当初認識された債権について、デフォルトリスクに関する予測は3つのシナリオに基づく。2018年1月1日より前に認識された債権については、同じ分類が適用されるが、当初認識時に公表された当行の最新の経済分析に基づいたシナリオが用いられる。

債権に信用リスクの著しい増大が生じたとみられた結果、ステージ2へと振り替えるかを評価する際の最も重要な基準は、ハンデルスバンケンの定義では、報告日現在の残存デフォルト確率(PD)の推計値が、当初認識時に算定したデフォルト確率を2.5倍上回るかどうかである。この2.5倍という閾値は当行の過去データの統計分析に基づくもので、カウンターパーティが債務不履行となる残存リスクの増大を、当該債権の当初認識時に見積もられたリスクと比較したものである。また、債権の返済が30日超延滞している、又はカウンターパーティの信用格付の悪化の結果、コンセッション(譲歩)が与えられているなど信用リスクの著しい増大を引き起こしていると当行が評価する他の定性的な要因がある。

当初認識時以降に信用リスクの著しい増大が生じた場合、残存期間全体の予想信用損失に相当する引当金が計上され、当該債権はステージ2に振り替えられる。このモデルは対称的であり、すなわち、当該金融商品の信用リスクが減少し、その結果当初認識以降信用リスクの著しい増大が認められなくなった場合、当該金融資産はステージ1に戻されることを意味している。

## リスク・パラメーターのモデルと予想期間

リスク・パラメーターであるPD、LGD及びEADは、統計モデルに基づき、債権ごとに将来のある時点で算定される。これらのモデルは、可能な限り、当行の損失実績データで識別可能な重要なリスク要因と関連リスクの結果との関係に基づいて策定されている。定量化されているリスク・パラメーターの大半は、約10年間にわたる内部データに基づいている。当行が、デフォルトがほとんど生じないことなどにより、十分な情報を入手できない場合には、このデータは外部情報で補完される。過去の結果は、商品の種類、内部格付、顧客との取引期間、担保の種類、借入金比率、失業率、GDP成長率などの債権特有、カウンターパーティ特有及び地域特有のリスク要因の共変動について分析が行われている。特定のリスク・パラメーターにとって重要であるとされるリスク要因は、モデルに含まれ、過去の相関関係が定量化されている。

### デフォルト確率 (PD)

デフォルト確率 (PD) は資産の残存期間のある時点で、顧客又は債権が債務不履行に陥る確率をいう。12ヶ月PDは、今後12ヶ月の間に債務不履行が生じる確率であり、全期間PDは当該資産の残存期間 (最長30年まで) における債務不履行の発生確率である。将来PDは将来予測的なマクロ経済シナリオ並びに現在の債権及びカウンターパーティの情報を用いた、報告日における予測である。デフォルトリスクの予測は、シナリオの策定と時間の経過に伴う異なる状況間の遷移確率を考慮に入れている。このモデルは毎年の遷移及び債務不履行の確率を算定するもので、これにより遷移モデルでは、当該債権が債務不履行リスクにより、将来的に特定の状況に属する確率を表す。特定年度における債権の予想PDは、全ての考え得る状況とシナリオを包含した確率加重PDとして算定される。残存期間の予想PDは、毎年のデフォルト予想と当該債権の期限前返済が行われる確率に基づく。各シナリオのマクロ経済上のリスク要因予想に基づく景気予測の悪化、又はマイナスシナリオの実現可能性の増大により、PDは上昇する。

### デフォルト時エクスポージャー (EAD)

EADはデフォルト時の予想信用エクスポージャーをいう。報告日において、将来のデフォルト時エクスポージャーは、現在の返済計画や期限前返済の可能性に加え、クレジット・ファシリティ、金融保証やローン・コミットメントの引出可能性などに基づく予想である。EADは年次で予想され、将来のデフォルトに関連した損失額及び回収額から構成される。

### 予想期間

金融商品の予想期間は、予想残存期間に債務不履行に陥る可能性 (PD) を考慮した信用リスクの著しい増大の評価と、当該資産の予想残存期間における予想信用損失の測定の二つの評価に関連している。残存期間のPDを算定する際には、当該債権の契約期間における予想年間PD値を、当該債権がデフォルト前に早期償還されない確率と比較検討することによって、予想期間が考慮される。

表AR:20 IFRS第9号とIRB手法の相違点

リスク・パラメーター	IRB	IFRS第9号
デフォルト確率 (PD)	一つの景気循環における12ヶ月内の平均デフォルトリスク。統計上の安全余裕率と規制による下限を含む。 自己資本規制上のデフォルト(債務不履行)の定義が、リテール・エクスポージャーでは債権レベル、他のエクスポージャーではカウンターパーティ・レベルで用いられる。	景気循環に左右される(「PIT」)12ヶ月内のデフォルトリスク。 全期間PDは当該債権の予想残存期間におけるデフォルトリスクをいう。 自己資本規制上のデフォルト(債務不履行)の定義が、リテール・エクスポージャーでは債権レベル、他のエクスポージャーではカウンターパーティ・レベルで用いられる。
デフォルト時損失率 (LGD)	長期間及び景気後退期における、12ヶ月内のデフォルト時エクスポージャーに関する予想最大損失率。統計上の安全余裕率と規制による下限を含む。 法人エクスポージャーの損失の定量化は、12ヶ月内の回収額及び残存準備金(リテール・エクスポージャーについては24ヶ月)に基づいている。	景気循環に左右されるデフォルト時エクスポージャーの予想損失率。 LGDは将来予測的なマクロ経済シナリオを基に調整される。
デフォルト時エクスポージャー (EAD)	長期間及び景気後退期における、12ヶ月内のデフォルト時エクスポージャーの予想最大値。統計上の安全余裕率と規制による下限を含む。	景気循環に左右される12ヶ月内のデフォルト時予エクスポージャーの予想額。 EADは契約条件及び将来予測的なマクロ経済シナリオに基づいて調整される。
全期間	顧客による継続の選択肢を考慮に入れた、当該債権の契約上の満期。	予想される全期間。早期償還の可能性を考慮に入れた、当該債権の契約上の期限。
予想期間	12ヶ月	12ヶ月以内又は残存期間(ステージ1又はステージ2-3かによる)。
割引	予想損失額は報告日まで割り引かれない。回収率を算定する際、実際の回収額は平均資本コストを用いてデフォルト日まで割り引かれる。	予想損失額は、当該債権に係る当初報告日時点の実効金利を用いて割り引かれる。回収率を算定する際、実際の回収額は平均資本コストを用いてデフォルト日まで割り引かれる。
信用リスクの著しい増大	該当なし	報告日における債務不履行の現在残余リスクと当初報告日において算定された債務不履行の予想現在残余リスクの関係に基づく。
将来予測シナリオ	該当なし	将来予測的なリスク・パラメーター(PD、LGD、EAD)の算定は、ローカルのベースシナリオ(基本(中立)マクロ経済シナリオ)及び代替的な二つのローカルのマクロ経済シナリオ(上方シナリオ及び下方シナリオ)を用いる。
当初報告(計上)日	該当なし	当該債権の当初報告(計上)日

早期償還対象の当該債権の確率は、統計分析と過去約10年間にわたる当行の内部実績データに基づき、EADモデルの構成要素に含まれている。債権、カウンターパーティ及びマクロ経済上のリスク要因による潜在的なリスク要因は、統計分析で評価されている。重要と判断されるリスク要因は当該モデルに含まれている。

クレジットカードなどの満期のないリボルビング債権や固定金利期間が最長3ヶ月の住宅抵当ローンには、報告日から30年間の満期が用いられており、これは、予想期間が実際には行動ベースの統計モデルで定義されていることを意味している。

### デフォルト時損失率 (LGD)

デフォルト時損失率 (LGD) は、デフォルトに際して当行が被ると予想される財務上の損失を表す。LGDを算出する際に最も重要なリスク要因は、担保価値とその種類及びカウンターパーティの性質である。将来予測的なマクロ経済上のリスク要因は、担保価値及び借入金比率に与える影響を通じてLGDの算出に反映される。損失を定量化する場合、カウンターパーティが当行に財務上の損失を一切与えず立ち直る確率と、カウンターパー

ティが立ち直らない場合の回収率の二つに分別される。借入金比率が高ければ回収率は低下するという意味で、回収率は借入金比率の影響を受けている。担保の市場価値はLGDモデルの大半に織り込まれている。不動産の担保価値、そして借入金比率及び回収率は不動産の価格動向の影響を受けるため、不動産価値の下落が見込まれる場合は借入金比率とデフォルト時損失率も高まる可能性がある。

### IFRS第9号とIRB手法の相違点

ハンデルスバンケンのIFRS第9号のモデルは当行のIRBモデルと同じ過去データ、及び同じ全体的なモデルベースの手法に基づき、PD、LGD及びEADというリスク・パラメーターを用いるものである。規則の目的はそれぞれ異なっていることから、リスク・パラメーターの設定方法や構築方法に関しては算定モデルによって異なる。このため場合によっては、IFRS第9号の要件を満たす別のモデルが導入されている。IFRS第9号とIRB手法の主な相違点は上表に示されている。

### IFRS第9号モデルとモデルベースの算定の検証

これらに用いられるモデルとリスク・パラメーターは毎年検証され、モデルベースの算定が正確な予測を行っていること及び、予測と最新の結果の間の予想外の逸脱が特定されていることを確認している。検証はいくつかの集計レベルで行うほか、全ての重要なリスク・パラメーターと同時に、個別及び集計レベルの加重予想信用損失を対象とする。この検証はチーフ・クレジット・オフィサー（最高与信責任者）、最高リスク責任者、及び最高財務責任者に報告される。

モデルの評価と検証に関する原則はグループ・リスク・コントロール部が決定し、モデル開発プロセスとは関係ない立場の人物が検証の実施やレビューを行う。検証の結果、当行の引当金に重大な影響を及ぼす重大な逸脱は確認されなかった。

### ステージ3債権に関するマニュアルによる算定

ステージ3資産に対しては、個別にマニュアルによる算定を用いた減損テストが行われる（ステージ3に分類され、モデル算定による引当金を積んだ同種の債権からなる少額のポートフォリオを除く）。この減損テストは、業務責任を有するローカルの支店（顧客及び与信の所管部署）により定期的実施されるほか、各報告日にも実施され、各県域又は国レベルの与信委員会又はグループ与信部により判定される。

減損テストはデフォルトの定義に従い、カウンターパーティが契約上の義務を履行できなくなる可能性を示す客観的な状況が存在する際に実施される。このような客観的な状況には、支払遅延又は不払、内部格付の変更、若しくは借手の破産の可能性等がある。

減損テストは将来キャッシュ・フロー及び担保価値（保証を含む）の見積りを伴う。顧客の返済能力と担保価値の双方に基づき、通常、二以上の予想キャッシュ・フローの将来予測的なシナリオを考慮する。これらのシナリオの結果は確率加重され、貸出の当初の実効金利で割り引かれる。個々のカウンターパーティの返済能力及び担保価値に影響を及ぼすとみられる内容により、用いられるシナリオではマクロ経済上の要因及び債権特有の要因を考慮する可能性がある。この評価では個々のカウンターパーティの特性を考慮に入れている。見積回収可能価額が帳簿価額を下回る場合に減損損失が認識される。

### ガバナンスと内部統制

ステージ1及びステージ2債権の予想信用損失を算定する際に、ハンデルスバンケンでは内製した統計モデルを用いた、グループ規模の中央集権的なプロセスを用いる（モデルベースの算定）。ステージ3債権については

マニュアルによる算定が行われる。以下は主にモデル算定による予想信用損失の引当金について述べたものである。このプロセスは多くの内部統制がカバーしており、それについても後述されている。また、このプロセスの様々な段階では異なる承認や採択が行われ、ガバナンス体制を構築しており、これについても後述されている。

## 報告における入力データの検証

各報告日において、予想信用損失の算定根拠となる情報の正確性及び網羅性がチェックされている。これは、配信元から取り込まれたデータの自動照合により行われている。さらに、システム上の残高を従前の報告日現在の計上残高と比較することにより、妥当性評価が行われている。最終的に用いられる残高が、次に総勘定元帳に計上された金額と照合される。

## モデル

新しい定量的モデルがモデルシステム全体に含められる前に、バリデーション（妥当性検証）を行い、チーフ・クレジット・オフィサー（最高与信責任者）による使用承認を得なければならない。報告日にはこのモデルシステムしか算定に用いることはできず、これはつまり、承認を受けたモデルのみが使用可能であることを意味している。

予想信用損失の算定根拠となる定量的モデルには複数の仮定と評価が関わっている。マクロ経済上のリスク要因と過去データのリスク・パラメーターとの関係性を定量化した結果が将来の事象を表しているという仮定や、債権の予想残存期間は過去の行動関連データに基づき得るといった仮定などがその例である。これらの関係が気候関連リスクによる影響を受けるかどうか、モデル化のプロセスにおいて評価されている。報告日現在、特にこのような要因はモデルに含まれていないが、この問題は継続的に評価対象となっている。さらに、個々のリスク・パラメーターの水準に関するマクロ経済上のリスク要因の説明力に基づいて、最も重要なマクロ経済上のリスク要因が選択されている。マクロ経済リスク要因の選択とモデルの仕様は、簡潔さ、実証性、安定性をバランスよく実現するよう決定される。全ての仮定と裁量判断は最高与信責任者に報告され、承認を受ける。

モデルを用いたステージ1債権、ステージ2債権のエキスパート評価による算定、又はステージ3債権のマニュアルによる算定には、適用の前に最高与信責任者の承認が必要となる。

## マクロ経済シナリオ

マクロ経済シナリオは、最高与信責任者の指示に基づき当行の経済調査部署により作成されている。この指示には、望ましいマクロ経済上のリスク要因、対象地域、シナリオ数とシナリオ別の確率加重値が含まれる。

各報告日の前に、最新のマクロ経済シナリオが最高与信責任者及び最高財務責任者に提出され、財務報告プロセスに用いるシナリオを承認する。承認されたマクロ経済シナリオは、財務報告のフローに自動的に読み込まれる。

## 引当金の規模

ステージ1及びステージ2債権の引当金見積額合計には、最高与信責任者及び最高財務責任者の承認が必要とされる。ステージ3債権の引当金見積額は業務責任を有する当行支店（顧客と与信の所管部署）により提出され、引当金の規模により県域又は国レベルの与信委員会又は本部の部署による承認を受ける。地域（ローカル）レベルで承認されたステージ3債権に係る引当金のうち、一部はその後、グループ与信部によるレビュー又は品質管理の対象となる。さらに、グループ・リスク・コントロール部は各報告日現在で、本部の承認を受けた信用引当金の一部について独立したレビューを提出している。

## コントロール・ファンクションの役割

グループ・リスク・コントロール部は検証の原則を決定し、モデルが確実に検証されるようにしている。本部が承認したステージ3債権に対する引当金の一部について、報告日ごとに独立したレビューが実施される。グループ・リスク・コントロール部については77ページ及び82ページ（原文）に詳細が記載されている。グループ監査部は、内部のガバナンスと統制に関する独立した調査を行い、当行グループの財務報告の信頼性を評価するという業務の一環として、予想信用損失の推計の検証を行っている。グループ監査部については77ページ及び82ページ（原文）に詳細を示している。

## カウンターパーティ・リスク

カウンターパーティ・リスクは、当行がカウンターパーティとの間でデリバティブ契約や有価証券の貸付契約を締結する場合に発生する。よってデリバティブに加え、自己資本比率規制は買戻取引及びエクイティ・ローンの双方をカウンターパーティ・リスクとして取り扱う。

自己資本比率及び経済資本（EC）の双方を算定するに当たり、自己資本比率規制に明記されているエクスポージャー金額に基づいて、カウンターパーティ・エクスポージャーが考慮される。ハンデルスバンケンは、自己資本の計算目的でデリバティブ契約に関するエクスポージャー金額を計算する際には標準的手法（以下、「SA CCR」という。）を適用している。カウンターパーティ・リスクは、その契約の市場価値によってエクスポージャーの規模が決まる場合には信用リスクとみなされる。その契約の価値が正の値である場合、カウンターパーティのデフォルトは当行の潜在的損失を意味する。

## カウンターパーティ・リスクの軽減

カウンターパーティ・リスクは、取引日から受渡しまでの間に発生し、カウンターパーティがその義務を履行できない場合、当行は解約手数料を請求される可能性がある。このリスクはすべてのデリバティブ取引、及び当行が支払を確保していない有価証券取引に存在する。

カウンターパーティ・エクスポージャーの規模は、通常の与信プロセスにおいて与信限度額を設定することによって制限されている。当該エクスポージャーの規模は、原資産の価格変動により著しく変動する可能性がある。エクスポージャーの増加リスクに備えるため、与信限度額を設定する際に該当するエクスポージャーの価値に対して補完が行われる。当該エクスポージャーは日次で計算され、フォローアップされている。

デリバティブのカウンターパーティ・リスクは、クローズアウト・ネットティング契約を通じて軽減される。クローズアウト・ネットティング契約では、同一のカウンターパーティとのすべてのデリバティブ取引において、正の値と負の値が相殺される。ネットティング契約は、正味エクスポージャーに対して担保の取決めを設定するクレジット・サポート・アネックス契約 (CSA) で補完されており、信用リスクはさらに軽減されている。これらの取引に対する担保は主に現金であるが、国債も使用される。現金の割合が大きいため、担保におけるリスクの集中は限定的である。

ハンデルスバンケンの契約の大部分には、クローズアウト・ネットティングが含まれ、金融機関向けの大口エクスポージャーの契約にはCSAも含まれている。

中央清算機関を通じて清算されるデリバティブについても、所要自己資本が生じる。中央清算機関とは、種々の取引において買手と売手の双方のカウンターパーティとしての役割を果たし、双方の義務を履行する責任を負っている清算機関である。中央清算機関を利用するすべての当事者は、すべての取引に対して担保を差し入れなければならない。中央清算機関で清算されるデリバティブに対するリスク加重は、多くの場合他の種類のデリバティブよりも大幅に低い水準である。

#### 表AR:21 カウンターパーティ・リスクの内訳 - IRB手法によるエクスポージャー区分、エクスポージャー額及びリスク加重エクスポージャー額

エクスポージャー額はデリバティブ、レポ、エクイティ・ローンからなる。

カウンターパーティ・リスクの内訳 - IRB手法によるエクスポージャー区分、エクスポージャー額及びリスク加重エクスポージャー額	2022年		2021年	
	エクスポージャー額	リスク加重エクスポージャー額	エクスポージャー額	リスク加重エクスポージャー額
百万スウェーデン・クローネ				
<b>エクスポージャー区分、IRB手法</b>				
機関エクスポージャー	10,799	4,930	9,895	4,618
法人エクスポージャー	12,177	3,724	16,586	4,612
ソブリン・エクスポージャー	5,607	139	7,084	177
<b>IRB手法合計</b>	<b>28,583</b>	<b>8,793</b>	<b>33,565</b>	<b>9,407</b>

## 表AR:22 カウンターパーティ・リスクの内訳 - 標準的手法によるエクスポージャー区分、エクスポージャー額及びリスク加重エクスポージャー額

エクスポージャー額はデリバティブ、レポ、エクイティ・ローンからなる。

カウンターパーティ・リスクの内訳 - 標準的手法によるエクスポージャー区分、エクスポージャー額及びリスク加重エクスポージャー額	2022年		2021年	
	エクスポージャー額	リスク加重エクスポージャー額	エクスポージャー額	リスク加重エクスポージャー額
百万スウェーデン・クローネ				
<b>エクスポージャー区分、標準的手法</b>				
機関エクスポージャー	2,342	90	3,160	73
うち、中央清算機関を通じて清算されるもの	2,105	42	3,105	62
その他エクスポージャー	46	18	48	21
<b>標準的手法合計</b>	<b>2,388</b>	<b>107</b>	<b>3,208</b>	<b>94</b>
<b>IRB及び標準的手法合計</b>	<b>31,004</b>	<b>8,933</b>	<b>36,773</b>	<b>9,501</b>

## 表AR:23 デリバティブ契約のエクスポージャー

デリバティブ契約のエクスポージャー	2022年	2021年
百万スウェーデン・クローネ		
デリバティブ契約に関する正の市場価値総額	117,373	48,543
ネットティングによる利益	-91,094	-26,014
相殺後のカレントエクスポージャー	26,279	22,529
担保 <sup>1</sup>	-23,021	-16,637
デリバティブに関する正味信用エクスポージャー	3,258	5,892

1) 貸借対照表において時価で相殺される担保を含む。

## 表AR:24 デリバティブ契約におけるカウンターパーティ・リスク

デリバティブ契約におけるカウンターパーティ・リスク	相殺後のカレントエクスポージャー	エクスポージャー額	リスク加重エクスポージャー額	所要自己資本
2022年				
百万スウェーデン・クローネ				
ソブリン・エクスポージャー	1,599	3,596	139	11
機関エクスポージャー	20,537	9,990	4,723	378
法人エクスポージャー	4,134	13,311	3,538	283
その他	9	29	15	1
<b>合計</b>	<b>26,279</b>	<b>26,926</b>	<b>8,414</b>	<b>673</b>
うち、トレーディング勘定における取引	20,284	19,789	5,712	457

デリバティブ契約におけるカウンターパーティ・リスク	相殺後のカレントエクスポージャー	エクスポージャー額	リスク加重エクスポージャー額	所要自己資本
2021年 <sup>1</sup>				
百万スウェーデン・クローネ				
ソブリン・エクスポージャー	3,644	5,028	177	14
機関エクスポージャー	9,033	8,593	4,320	346
法人エクスポージャー	9,843	17,934	4,480	358

その他	9	24	15	1
<b>合計</b>	<b>22,529</b>	<b>31,579</b>	<b>8,992</b>	<b>719</b>
うち、トレーディング勘定における取引	20,368	24,417	6,352	508

1) 上表は、デリバティブ契約のエクスポージャー額算定に関する新規則に適應するため、前年度の表より変更されている。

## 市場リスク

市場リスクは、金融市場における価格及びボラティリティの変動によって生じる。市場リスクは、金利リスク、株価リスク、為替リスク及びコモディティ価格リスクに分類される。

ウクライナ戦争をめぐる国際政治情勢は、エネルギー危機や高インフレなど経済全般に大きな影響を及ぼし、市場の不確実性が高まった。マクロ経済情勢は高水準のインフレに特徴づけられ、下半期にすべての期間について金利が急速に上昇した。このような不確実性は、ボラティリティの上昇、クレジットスプレッドの拡大、及び市場流動性の低下を招いた。キャピタル・マーケット部門では、特に債券市場及びクレジット市場における市場流動性の悪化が取引に影響を与えた。当年度のリスク利用は、市場の機能に合わせて比較的強く抑えられており、事業への影響も限定的であった。

ハンデルスバンクの業務では、柔軟な資金調達が必要なサービスを当行の顧客が求める場合に市場リスクが発生する。当行はまた、既に貸付を行っている市場以外の市場で資金調達を行うことにより、資金調達先を多様化し、資金調達対象の資産とは金利期間が異なる資金を調達することもできる。さらに、市場リスクは、当行が事業を行っている市場で混乱が起きた際にすぐに流動資産に転換できるグループ・トレジャリー部の流動性ポートフォリオでも発生することがある。当該ポートフォリオにより、日次清算業務における当行グループの支払が確実にするとともに当行の流動性準備金の一部を形成している。

市場リスクはまた、債券、為替、株式又はコモディティ市場に対するエクスポージャーを伴う金融商品の顧客需要を満たすためにキャピタル・マーケット部門において発生する。この需要を満たすために、当行は一定のポジションを保有しておかなければならない。例えば、当行がマーケット・メーカーとしての役割を果たし金融商品の市場価格を形成する場合にこのような状況になる。

当行の業務における市場リスクは、主にグループ・トレジャリー部及びハンデルスバンク・キャピタル・マーケットで生じている。加えて、市場リスクはハンデルスバンク・リヴの事業の一部としても発生する。ハンデルスバンク・リヴにおける市場リスクは、別のセクションに記載されている。そのため、本セクションに記載されている市場リスクに関する情報は、ハンデルスバンク・リヴを除くリスクについて言及している。

## 市場リスク戦略

ハンデルスバンクは、市場リスクを厳しく制限している。基本的に、銀行業務における市場リスクは顧客の投資ニーズ及びリスク管理ニーズに限定している。市場リスクは、キャッシュ・フローと金利期間を一致させ、オープン・ポジションをヘッジし、リスクを制限するその他の措置を講じることにより制限する必要がある。

このように、ハンデルスバンクの市場リスクはきわめて小さい。市場リスクの低下により、当行の利益のうち金融取引による純損益の占める割合が大幅に少なくなっている。

## 組織構造

ハンデルスバンクの取締役会は当行の市場リスク管理に対する全般的な責任を有し、これに関する方針文書を策定している。この方針は、最高経営責任者によるガイドライン及び最高財務責任者による指示によって補完されている。既定の枠組み内で、それぞれの事業活動及び全てのリスク管理において各部門が責任を負っている。しかし、資金調達及び流動性管理に関連して発生するリスクは、CF0のもとグループ・トレジャリー部に集約されており、キャピタル・マーケットはトレーディング勘定のリスクの大半を管理している。統制部門は、事業活動が当行のリスク許容範囲内で行われていることを監視し、取締役会及び経営幹部にリスクについて報告している。

当行の限度額制度により、市場リスクに対するエクスポージャーの規模を制限している。市場リスクの測定方法及び限度額は、取締役会が決定している。最高財務責任者は、流動性及び資金調達の組織上の責任を負い、最高財務責任者の直属であるグループ・トレジャリー部長は当行グループの流動性及び資金調達の責任を負う。この責任には当行グループの銀行業務における流動性リスク、為替リスク及び金利リスクの管理が含まれる。金利リスク、為替リスク及び流動性リスクに対する限度額は、当行の最高経営責任者及び最高財務責任者からグループ・トレジャリー部長に割り振られる。その後、グループ・トレジャリー部長は、これらを各業務ユニットへ割り振る。株価リスクとコモディティ・リスクの限度額は、最高財務責任者によって直接キャピタル・マーケットに割り振られる。

当行の最高経営責任者及び最高財務責任者はまた、補完的リスク尺度、日中限度額を設定し、詳細にわたるガイドラインの策定を行う。補完的リスク尺度の限度額は、主に金融市場におけるボラティリティの変動に対する当行の感応度を低減し、特定のポートフォリオに対するリスク及び通貨ごとの流動性リスクの制限を目的としている。これらの尺度はまた、満期の観点から生じるリスクを制限している。当行の最高財務責任者、最高経営責任者及び取締役会は、継続的に市場リスク及び限度額の活用状況に関する報告書を受領している。

## ハンデルスバンクにおける市場リスク

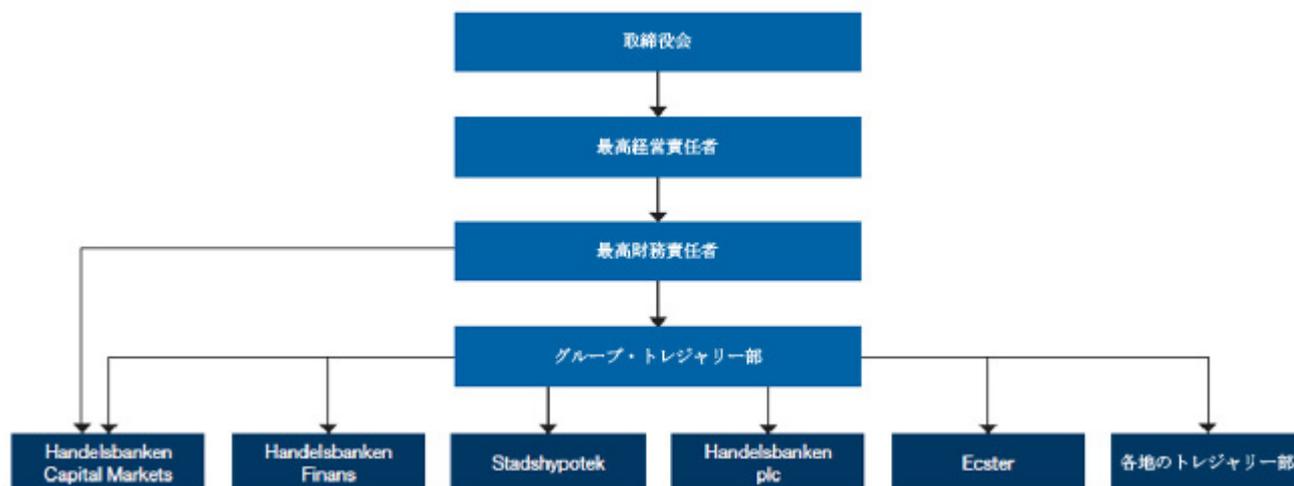
市場リスクは、複数の異なる手法を利用して測定されている。用いられている感応度の測定は、あらかじめ定義された価格及びボラティリティの変動によって、どのような価値の変動が起きるかを示している。ポジションに関連したリスク尺度及び確率に基づくバリュー・アット・リスク・モデル（以下、「VaR」という。）も用いられている。

### VaR

ハンデルスバンク・キャピタル・マーケット及びグループ・トレジャリー部においてトレーディング勘定として分類されているポートフォリオについて、バリュー・アット・リスク（以下、「VaR」という。）が算定されている。VaRは確率に基づいた測定で、対象市場における一定の保有期間にわたる変動から一定の信頼度でリスク・ポジションに生じる可能性のある損失をスウェーデン・クローネ建てで示すものである。VaRは過去のシミュレーションを用いて算定され、個別のリスク要因、リスク区分及びポートフォリオに関し保有期間を1日とした99%の信頼度にて決定される。これは、当行が取引日100日ごとに1日、VaRの結果を上回る損失が発生すると予想していることを意味する。このモデルは、様々なリスク区分を1つの方法で取り扱うことができるため、それぞれを比較することが可能になると同時に、市場リスクの合計を算定することができる。トレーディング勘定として分類されているポートフォリオの全体的なリスクは、年度末現在において11(6)百万スウェーデン・クローネであった。VaRは、定期的に当行の最高財務責任者、最高経営責任者及び取締役会に報告される。

VaRモデルはこれまでに観測された結果を用いるものであることから、例えば極端で急激な市場変動の場合など、すべての潜在的な結果を捕捉しているわけではない。したがって、このリスク計算はストレス・テストで補完され、テストは、ポートフォリオに対して1994年以降の金融市場において発生した事象に基づくシナリオにより行われる。これらのストレス・テストの結果もまた、当行の最高財務責任者、最高経営責任者、及び取締役会に報告される。

図AR:25 市場リスク及び流動性リスクの決定水準



表AR:26 トレーディング勘定のVaR - ハンデルスバンク・キャピタル・マーケット及びグループ・トレジャリー部<sup>1</sup>

トレーディング勘定、ハンデルスバンク・キャピタル・マーケット及びグループ・トレジャリー部のVaR<sup>1</sup>

	合計		株式		債券		通貨		コモディティ	
	2022年	2021年	2022年	2021年	2022年	2021年	2022年	2021年	2022年	2021年
百万スウェーデン・クローネ										
平均	11	11	1	1	11	13	2	3	0	1
最高	23	26	6	3	23	25	7	8	2	12
最低	5	5	0	0	5	4	1	1	0	0
当年度末	11	6	4	0	11	5	2	2	0	0

1) トレーディング勘定に分類されているポートフォリオは特別なインストラクション及びガイドラインの対象となる。

表AR27 トレーディング勘定のストレス・テストにおける最悪の結果 - ハンデルスバンク・キャピタル・マーケット及びグループ・トレジャリー部

トレーディング勘定のストレス・テストにおける最悪の結果 - ハンデルスバンク・キャピタル・マーケット及びグループ・トレジャリー部

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
平均	175	99
最高	588	369
最低	54	36

## 金利リスク

金利リスクは、主としてハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット、グループ・トレジャリー部及び貸出業務において生じる。当行における金利リスクは、複数の方法で測定されている。一般的な金利リスクは日々測定され、すべての金利について、瞬時の1パーセンテージ・ポイントの上昇又は下落という平行移動が生じた場合の通貨別の公正価値の有利な変動の最小値の合計として限度額が設定されている。年度末現在の当行の一般的な金利リスクの合計は、626(1,332)百万スウェーデン・クローネであった。契約上の満期のない預金の金利期間は内部手法を用いて設定される。このような預金の基本的な出発点は契約上の予想金利期間であり、過去の観察に基づき、安定的で金利変動に対する感応度が低いとみなされる部分により長期の金利期間が適用される。このリスク測定には、市場価値で測定される利付商品も市場価値で測定されない商品も含まれている。したがって、貸借対照表及び損益計算書に認識される金額に与える影響を評価する際にこのリスク測定を用いることは適切ではない。その代わりに、個々の業種に応じた補完的な措置や限度額が設けられている。

特定の金利リスクは、クレジットスプレッド（すなわち、現在のポートフォリオの金利と満期が同一である国債の利回りとの差額）の変動に対する感応度を用いて測定され、限度額が設定されている。このリスクは、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及びグループ・トレジャリー部の流動性ポートフォリオにおいて生じる。

このリスクは、異なる格付区別に測定及び限度額が設定され、クレジットスプレッドが1ベース・ポイント上下に移動した場合における市場価値の有利な変動の最小値として計算される。この計算はカウンターパーティ別を実施され、その計算結果は絶対値の合計として集計される。当年度末における特定の金利リスク総額は、6(6)百万スウェーデン・クローネであった。

イールド・カーブのツイストリスクやベース・リスクのような、異なる金利カーブが仮想的に変化した場合のリスクの推移については、定期的に測定と見直しが行われている。

## トレーディング勘定における金利リスク

ハンデルスバンケンのトレーディング勘定は、トレーディング勘定に分類されているキャピタル・マーケットのポートフォリオ及びグループ・トレジャリー部の1つのポートフォリオから構成されている。トレーディング勘定の一般的な金利リスクは61(84)百万スウェーデン・クローネであり、特定の金利リスクは1(2)百万スウェーデン・クローネであった。例えば、金利オプションのリスクの一部である非線形金利リスクは、マトリックスであらかじめ定義されたストレス・シナリオを用いて測定され、限度額が設定されている。すなわち、このリスクは、基礎となる市場金利及びボラティリティの変動として測定されている。トレーディング勘定には、様々なストレス・シナリオによって補完されているVaR及びその他のリスク指標も用いられている。

## 非トレーディング勘定における金利リスク

金利リスクは、資金調達期間と金利期間の一部が異なることにより生じる。金利リスクは、主に金利スワップ契約によって管理されている。金利リスクはグループ・トレジャリー部の流動性ポートフォリオにも生じており、債券先物や金利スワップを通じて管理されている。一般に金利リスク・エクスポージャーは、流動性の高い市場に存在する。非トレーディング勘定における一般的な金利リスクは570(1,391)百万スウェーデン・クローネであり、特定の金利リスクは5(4)百万スウェーデン・クローネであった。

金利の変動による損益計算書への影響を見積るために、純利息収益の影響も測定されている。金利が変動した場合の純利息収益の影響は、一般市場金利が1パーセント・ポイント上昇した場合の12ヶ月間にわたる純利息収益の変動として測定されている。この影響は、貸借対照表の規模が一定であることを前提とした場合の金利期間の差異、並びにトレーディング勘定に含まれない資産、負債及びデリバティブの残高構成の差異を反映している。この計算においては、契約上の満期のない預金の金利期間は、内部手法を用いて設定される。同モデルは過去の観察に基づいており、安定的で金利変動に対する感応度が低い部分に限定して調整が行われる。年度末現在の純利息収益の影響は、1,634(1,359)百万スウェーデン・クローネであった。

#### 表AR:28 非トレーディング勘定における一般的な金利リスク

非トレーディング勘定における一般的な金利リスク（すべての金利が1パーセント・ポイント平行移動した場合の最悪の結果としての公正価値の変動）

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
スウェーデン・クローネ	3	482
デンマーク・クローネ	20	133
ユーロ	3	188
ノルウェー・クローネ	74	70
米ドル	366	281
英ポンド	101	231
その他通貨	3	6
<b>合計</b>	<b>570</b>	<b>1,391</b>

#### 表AR:29 資産及び負債に関する金利期間

本表は、2022年12月31日現在の金利関連資産及び負債の金利期間を示したものである。

##### 資産及び負債に関する金利期間、2022年

百万スウェーデン・クローネ	3ヶ月以内	3 - 6ヶ月	6 - 12ヶ月	1 - 5年	5年超	合計
現金及び中央銀行預け金	508,502	0	0	0	0	508,502
債券及びその他の利付証券	115,584	1,104	1,306	45,556	1,925	165,475
金融機関への貸出金	8,747	668	0	0	0	9,415
一般顧客への貸出金	1,485,136	184,172	176,910	552,158	70,949	2,469,324
その他資産	301,000					301,000
<b>資産合計</b>	<b>2,418,969</b>	<b>185,944</b>	<b>178,216</b>	<b>597,714</b>	<b>72,874</b>	<b>3,453,716</b>
金融機関からの預り金	77,442	805	2,497	314	1,314	82,372
一般顧客からの預金及び借入金	1,130,136	32,516	44,975	174,750	44	1,382,422
発行済証券	581,174	120,555	105,575	573,537	136,364	1,517,206
その他負債	471,716					471,716
<b>負債合計</b>	<b>2,260,469</b>	<b>153,876</b>	<b>153,047</b>	<b>748,601</b>	<b>137,722</b>	<b>3,453,716</b>
オフバランスシート項目	-172,317	-1,601	-49,408	194,102	55,181	25,957

上表の資産及び負債には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、処分グループのフィンランドが含まれている。注記G14を参照のこと。比較数値には、2022年度第4四半期に売却された、処分グループのデンマークも含まれている。

## 資産及び負債に関する金利期間、2021年

百万スウェーデン・クローネ	3ヶ月以内	3 - 6ヶ月	6 - 12ヶ月	1 - 5年	5年超	合計
現金及び中央銀行預け金	439,971	0	0	0	0	439,971
債券及びその他の利付証券	94,553	5,310	1,520	22,009	10,220	133,612
金融機関への貸出金	22,394	894	0	0	0	23,288
一般顧客への貸出金	1,352,796	164,121	182,379	644,475	67,481	2,411,252
その他資産	338,641					338,641
<b>資産合計</b>	<b>2,248,355</b>	<b>170,325</b>	<b>183,899</b>	<b>666,484</b>	<b>77,701</b>	<b>3,346,764</b>
金融機関からの預り金	55,453	19,674	6,391	367	1,735	83,621
一般顧客からの預金及び借入金	1,255,043	9,612	1,539	134,405	51	1,400,650
発行済証券	339,597	176,987	216,164	519,803	128,511	1,381,062
その他負債	481,431					481,431
<b>負債合計</b>	<b>2,131,525</b>	<b>206,274</b>	<b>224,094</b>	<b>654,574</b>	<b>130,297</b>	<b>3,346,764</b>
オフバランスシート項目	1,652,711	-25,792	40,472	-29,398	56,434	1,694,427

## 株価リスク

当行の株価リスクは、主にハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットでの顧客との取引及び当行の株式ポートフォリオにおいて生じている。

株価リスクの表では、株価及びボラティリティが瞬時に+/-10%及び+/-25%変動した場合の当行の株式ポジション合計における市場価値の変動を示している。当年度末現在、このリスクについて当行における最悪のケースは38(71)百万スウェーデン・クローネであった。株式の最大エクスポージャーは英国市場にて発生している。

## トレーディング勘定に内在する株価リスク

ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットの株価リスクは、顧客主導の取引において生じる。ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットは仕組商品のマーケット・メーカーであり、線形及び非線形の双方の株価リスクが発生する。非線形株価リスクは、仕組商品に含まれているオプションを通じて生じる。

当行は、マトリクスを用いてハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットの株価リスクを制限及び測定している。この手法の利点は、非線形リスクを含む株価リスクを効果的に特定することである。他のリスク測定手法及びストレス・シナリオとあわせて、VaRが株価リスク測定の補完として使用される。年度末現在、トレーディング勘定に内在する株価リスクに関する当行のVaRは、4(0)百万スウェーデン・クローネであった。

## トレーディング勘定外の株価リスク

トレーディング勘定以外で当行グループが保有する株式は、主に当行の中核事業に関連する種々の当行全体の事業で構成されているレベル3株式を含む。これらの保有株式は、貸借対照表上「その他包括利益を通じて公正価値で測定するもの」に分類され、公正価値で測定されている。このような保有株式は、一般的にその事業

の純資産価値に対する当行の持分、又は代替的に最新の取引における決済価格によって評価されており、株価リスクは低い。

表AR:30 株価リスク

株価リスク 百万スウェーデン・クローネ	ボラティリティの変動					
	2022年			2021年		
	-25%	0%	25%	-25%	0%	25%
株価の変動						
10%	45	46	48	81	81	81
-10%	-38	-37	-35	-71	-69	-67

表AR:31 トレーディング勘定以外の株式エクスポージャー

トレーディング勘定以外の株式エクスポージャー 百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
その他包括利益を通じて公正価値で測定されるものに分類される株式持分	544	454
うち、レベル1及び2	392	300
うち、レベル3	152	154
その他包括利益を通じて公正価値で測定されるものに分類される株式持分	544	454
うち、事業関連	252	254
うち、その他の持分	292	200
期首現在における公正価値評価差額準備金	199	140
新規購入分と期末保有分に関して当年度中に生じた未実現の市場価値の変動	54	60
当年度中の売却及び決済による実現額	-32	-1
期末現在における公正価値評価差額準備金	221	199
Tier2資本に含まれるもの	0	0

## 為替リスク

当行はスウェーデン以外にも数カ国で事業を行っており、当行グループの勘定がスウェーデン・クローネで表示されているため、構造上の為替エクスポージャーが生じる。この構造上のリスクは、為替変動が自己資本比率と資本のどちらに影響を与えるかについてのトレードオフを考慮し、管理されている。取締役会は、構造上の為替ポジションが普通株式等Tier1資本比率のヘッジとなることが認められる、資本に与える最大影響額を設定している。当行の資本に影響を与える他の為替リスクの変動については、96ページ（訳注：原文のページ番号である）の持分変動計算書（当行グループ）に記載されている。

当行の直接的な為替エクスポージャーは、国際為替市場における顧客主導の日中取引の結果として生じる。この取引は、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットで行われる。当行の取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者は、この為替リスクに関してVaR限度額を設定している。

顧客の支払フローの一環として通常の銀行業務において、またグループ・トレジャリー部の資金調達業務において、ある程度の為替エクスポージャーが生じている。当行の取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者は、これらのエクスポージャーに対して、ポジション限度額を割り当てている。当年度末現在、構造上の為替ポジションを含まない正味ポジション総額は、199(344)百万スウェーデン・クローネであった。この為替リスクは、個別通貨又は通貨グループの傾向に応じて変動するわけではない。これは、ポジションが非常に短期であり、顧客主導のフロー管理において生じているためである。トレーディング勘定及び非トレーディング勘定における為替リスク総額は、3(13)百万スウェーデン・クローネであるが、これはスウェーデン・クローネが瞬時に5%変動した場合に当行の損益に及ぼす影響として測定されたものである。

**表AR:32 為替感応度****為替感応度(各通貨に対してスウェーデン・クローネが+/-5%変動した場合の最悪の結果)**

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
ユーロ	1	3
ノルウェー・クローネ	5	8
デンマーク・クローネ	1	0
米ドル	4	0
英ポンド	1	5
その他通貨	4	5

**コモディティ・リスク**

コモディティ取引は、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットのみで行われている。コモディティ関連商品のエクスポージャーは、国際コモディティ市場における顧客取引の結果からのみ発生する。線形及び非線形コモディティ価格リスクは双方とも、すべてのコモディティについて当行がさらされているリスク合計の絶対値として測定されている。当年度末現在、コモディティ価格リスクは、1(1)百万スウェーデン・クローネで、対象コモディティの価格変動の上限を20%及びボラティリティの上限を35%とした場合の価格変動に係る最大損失として測定されている。当年度末現在、当行のコモディティ価格リスクのVaRは、0(0)百万スウェーデン・クローネであった。

**その他の市場リスク**

市場リスクは当行の年金制度においても発生する(年金リスク)。このリスクは割引率の変動とともに、当行の年金債務に対応するための年金資産の価値が変動するリスクにより構成される。

**公正価値測定**

業務部門は金融商品の適正な評価に関する責任を負い、その評価の妥当性はグループ・リスク・コントロール部によって検証される。この妥当性確認の責任には、評価の基準となる市場データを確認する責任や、その確認がリスクを引き受ける当事者からは独立して行われたものであることを確認する責任が含まれる。

市場データの情報源は事業活動とは切り離されたものである。市場データを事業活動から取得する場合、外部の情報源に対し文書化された統制が行われ、データの合理性が評価される。モデルに用いられる市場価格及び市場データは、少なくとも一ヶ月に一度は検証が行われるものとされるが、基本的には日次で検証が行われる。評価モデルは、モデルの開発部門とは別のリスク管理部門において検証が行われる。評価委員会は、ハンデルスバンケン・グループの評価事項を取り纏めることを目的とし、各評価が正確であり、現行の市場慣行に準拠していることを確かめる重要な役割を果たしている。

公正価値で測定される金融商品の評価は、IFRS第13号に従って行われる。公正価値で測定される資産及び負債に関する詳細並びに当行の評価技法に関する情報については、注記G42を参照のこと。

## 慎重な評価

CRRの評価規則に従い、ハンデルスバンケンは四半期ごとに、公正価値測定されるポジション評価の不確実性に関連した自己資本の調整を行っている。この調整の目的は、ポジションの売却又は手仕舞いが行われた場合の、当行の自己資本の最低価値を90%の精度で評価することであり、慎重な評価と最も可能性の高い値である帳簿価額との差として計算される。調整額は、市場データの不確実性、ポジションの集中、モデルリスクに対する評価等、様々な要因に基づいている。

## 資金調達及び流動性リスク

流動性リスクとは、支払期限が到来した際に、法外な費用又は損失を被らなければ、当行が支払義務を履行することができないリスクである。

## 資金調達戦略

ハンデルスバンケンの総計レベル及び個別通貨の双方における流動性リスクに対する許容度は低い。こうした活動により、ハンデルスバンケンには困難な状況においても、流動性への良好なアクセスが可能であり、業績の変動を低水準に抑え、顧客ニーズを満たすような資金調達能力の提供を目指している。これは、当行にとって重要な通貨のすべてにおいて、キャッシュ・フローの流入及び流出をうまくマッチングさせると共に質量において十分な流動性準備金を維持することによって達成される。したがって、当行は資金調達における経済的リスクを最小限に抑え、業務ユニットの安定した長期の資金調達を維持することができる。

また、当行は、資金調達プログラムとその利用に幅をもたせることを目指している。こうすることによって、当行は、金融市場における混乱が長引いたとしても、中核事業において、長期にわたる損失が生じないようにしている。

この作業の結果、安定資金を用いて調達された流動がない資産により、十分に調和のとれた貸借対照表が作成される。この流動性がない資産は、個人及び法人に対する与信より構成され、これらの与信業務は当行の中核事業を構成している。これら資産に関する長期安定資金には、スタッドフィポテックが発行したカバード・ボンド、ハンデルスバンケンが発行したシニア債、個人からの預金、法人からの一定額の預金、劣後債及び株式より構成されている。

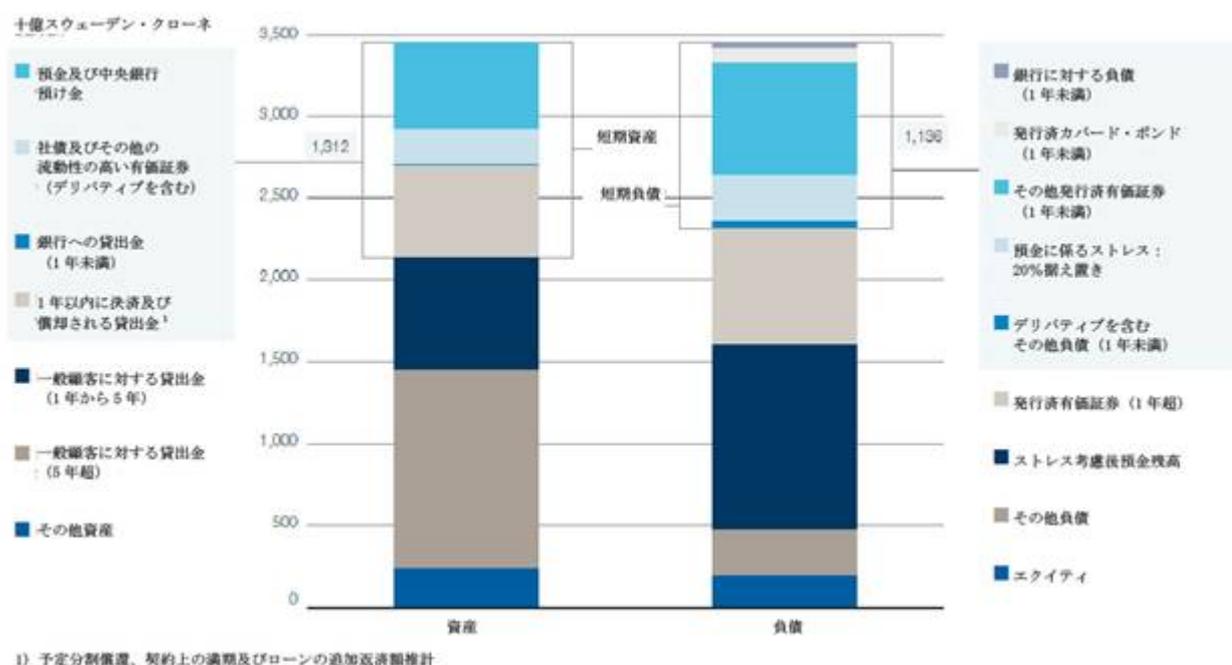
貸借対照表は、資産及び負債の一時点の記録である。当行が顧客及び投資家に対する債務を確実に履行するためには、資金調達及び流動性リスク管理に未来志向の視点を取り入れることが重要である。したがって、金融市場において長期的なストレスにさらされている状況にあっても、企業及び家計という形態の実体経済の参加者及び彼らの与信ニーズに対する支援が可能な方法で財務基盤が構築されている。これは、短期資産が十分なマージンで短期負債をカバーしていることによって確実になっている。図AR:33では、預金の20%が1年以内に消滅し、市場で新規の資金調達を行う手段が一切なくなるというストレス・シナリオにおける貸借対照表を掲載している。このようなストレス下にもかかわらず、当年度末現在の短期資産は短期負債を大幅に上回ることが見込まれる。長期的な危機においては、中核事業は維持しつつも、財務基盤は縮小する可能性があり、短期資産残高は徐々に満期を迎える短期負債の償還に用いられる。より深刻な危機の状況下においても、当行グループの事業活動をさらに支援するための流動性を高める手段が用意されている。

市場はハンデルスバンケンに多大な信頼を寄せており、ハンデルスバンケンの信用リスクは低いと評価されている。これを示す例の一つに、当行の信用リスクに対する保険コスト（CDSスプレッドとして知られる）が引き続き欧州銀行の中で最も低い銀行の一つとなっていることと、ハンデルスバンケンの資金調達コストが競合行と比較して低いことが挙げられる。ハンデルスバンケンには外部格付機関により引き続き高格付を付与されて

おり、欧州内のすべての同業行の中で最も格付が高い銀行の一つである。当行に対する全ての格付機関の当行の信用格付の見通しは安定的である。

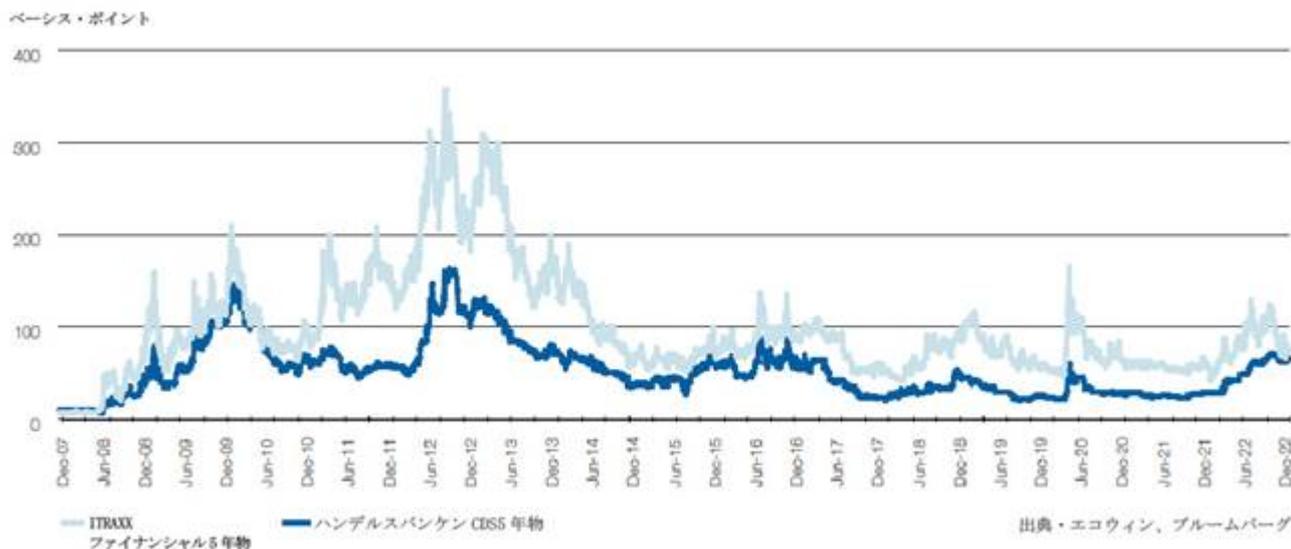
様々な市場、通貨及び資金調達対象となる商品の形態において、異なる資金調達先から多様な資金調達を行うことは、資金調達戦略における重要な構成要素である。これは、個別市場又は資金調達先からの重要な影響を軽減している。当行は近年、長期的かつ国際的な資金調達をかなり拡大しており、特に米ドル、ユーロ、英ポンド及び豪ドルにより、多くの債券を発行している。最も重要な資金調達先は、個人及び法人からの預金並びにカバード・ボンド及びシニア債である。短期的な資金調達は、主に、金融関連会社及び機関からの預り金並びにコマーシャル・ペーパー及び譲渡性預金証書の発行による。グループ・トレジャリー部は、自らの裁量による市場からの資金調達に関して様々な資金調達プログラムを有している。債券、預金証書及びコマーシャル・ペーパーは、これらのプログラムに基づき、当行、スタッドフィポテック及びハンデルスバンケン・ピーエルシーの名前で発行されている。当該資金調達プログラムにより、様々な通貨、投資家数、負債形態及び地域分布といった面で十分に多様化された資金調達手段が確保されている。

図AR:33 満期分類別の貸借対照表の構成



図AR:34 ITRAXXファイナンシャルズと比較したハンデルスバンケンの5年物CDSのスプレッド

ITRAXXファイナンシャルズは、欧州の銀行・保険部門における25の大手債券発行体のCDSスプレッドの指標であり、企業の信用リスクを受け入れるために投資家が必要とする平均的なプレミアムを表している。



## 組織体制

ハンデルスバンケンは分散型の事業モデルを採用しており、その一環として、当行の流動性モニタリングは事業の近くで行っているが、当行グループの資金調達及び流動性リスク管理業務はすべてグループ・トレジャリー部に集約されている。資金調達及び流動性管理業務は、取締役会が策定した方針によって管理されている。取締役会はまた、リスク限度額も決定している。この方針は、最高経営責任者によるガイドライン及び最高財務責任者による指示によって補完されている。この指示は、リスク限度額等のパラメーター、資金調達構成及び資金調達市場の混乱時におけるベンチマークを規定している。さらにすべての流動性リスク限度額は、グループ・トレジャリー部を通じて、各事業部へと伝達されている。

グループ・トレジャリー部はまた、異なる支払システムや決済システムでの保有が求められる担保資産を含む、当行の流動性準備金に対する責任を持ち、日中の流動性を監視し、当行が支払債務を履行するための十分な担保を支払システムに随時有していることを確認する。

決済システムにおける担保の規模は、通常の状態及びストレス状況下で当行が債務履行に必要と考える水準に基づいて決定される。こうした状況が変化した場合には担保の規模及び流動性が調整され、危機の際には担保の再分配が行われ、流動性準備金も活用される。当行は、予想される支払い及び決済の実行に備えて、積極的な流動性計画及びすべての通貨のモニタリングを通じて中央銀行及びノストロ勘定の流動性を確保している。

## 市場からの資金調達 - 構成

2022年のマクロ経済環境は、極めて不確実性が高いものであった。パンデミックの影響の長期化、インフレ、金利上昇、景況感の悪化及び地政学的リスクによる不確実性は、金融市場に影響を及ぼし、クレジットスプレッドや一般金利のボラティリティを高める結果に加え期中の市場の流動性の低下につながった。しかし、ハンデルスバンクは年間を通じて市場からの資金調達には不自由しなかったため、2022年を通して流動性は安定していた。当年度に実体経済及び金融市場に影響をもたらした不確実性により、準備金の強化が決定され、それにより市場からの資金調達は2022年の計画をやや上回った。満期までの期間がより短いものについては、米ドル市場の流動性が高かったことにより、資金調達もユーロから米ドルにシフトしている。

当年度において、ハンデルスバンクは当行における最も重要な資金調達通貨において、市場から合計192 (193)十億スウェーデン・クローネの長期資金を調達した。市場からの長期的な資金調達の重要な構成要素は、カバード・ボンドの発行である。通貨別のカバード・ボンド発行残高の内訳は図AR:36に示している。短期資金調達は、主に欧州及び米国において、譲渡性預金証書及びコマーシャル・ペーパーの発行によって行われている。この資金調達は、金融及び非金融大手企業による定期預金によって補完されている。資金調達業務に関連して、当行は引き続き以前と同様の投資家との面会、資金調達プログラムの更新、及び他の点においても世界中のすべての関連資金調達市場での資金調達条件を維持していた。これにより、年度を通じて資金調達業務を通常通り行うことが可能となった。

### 図AR:35 長期資金調達の満期プロファイル

2022年12月31日現在、当初満期が長期<sup>1)</sup>の発行済証券

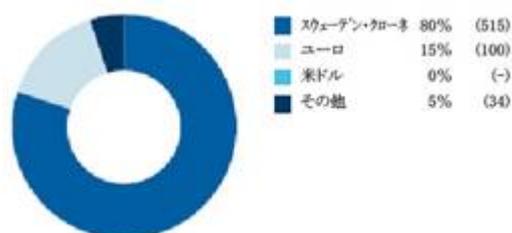


1) 長期の満期とは、満期が1年1ヶ月以上のものをいう。

### 図AR:36 2022年の通貨別カバード・ボンドによる市場からの資金調達

2022年12月31日現在の通貨別発行済カバード・ボンドの内訳

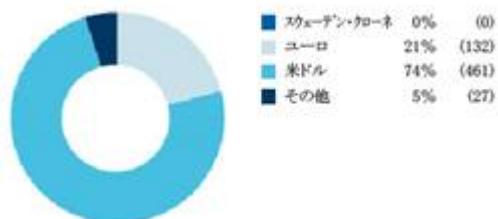
括弧内の金額の単位は十億スウェーデン・クローネ



**図AR:37 2022年の通貨別短期資金調達**

2022年12月31日現在の当初満期が短期<sup>2)</sup>の発行済証券に関する通貨別の内訳

括弧内の金額の単位は十億スウェーデン・クローネ

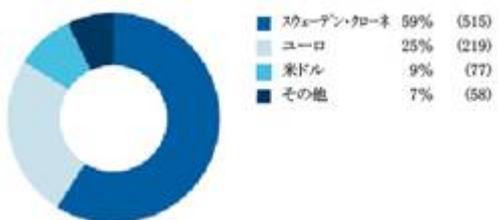


2) 短期の満期とは、満期が1年1ヶ月未満のものをいう。

**図AR:38 2022年の通貨別長期資金調達**

2022年12月31日現在の当初満期が長期<sup>3)</sup>の発行済証券に関する通貨別の内訳

括弧内の金額の単位は十億スウェーデン・クローネ

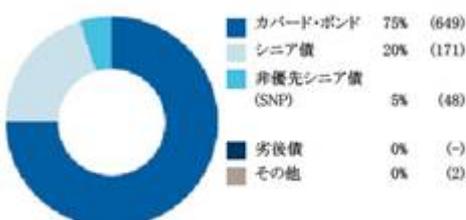


3) 長期の満期とは、満期が1年1ヶ月以上のものをいう。

**図AR:39 2022年の金融商品別長期資金調達**

2022年12月31日現在の当初満期が長期<sup>4)</sup>の発行済証券に関する金融商品別の内訳

括弧内の金額の単位は十億スウェーデン・クローネ



4) 長期の満期とは、満期が1年1ヶ月以上のものをいう。

## 担保資産及びカバー・プール

また、ハンデルスバンケンの流動性管理上、金融市場の混乱時において利用可能な担保を十分に確保することも重要である。追加担保の設定を可能にするために必要な条件の1つは、当行が当初から処分可能な担保を確保していることである。したがって、当行は、信用格付の非常に高いカバード・ボンド及び流動証券を発行する際に、担保として利用可能な抵当に入っていない十分な額の資産を確保している。

当行は、一定の条件により当行からカウンターパーティに対して担保提供が強制されるような契約、例えばCSA契約を金融機関以外の当事者と締結することを制限している。デリバティブ残高に関するCSA契約に基づき差し入れた現金担保は合計6,670(3,077)百万スウェーデン・クローネであった。当行の担保資産に関する詳細については、ハンデルスバンケンのファクトブックの担保資産の表を参照のこと。さらに、当行の流動性の確保に加え、このリスク制限アプローチにより当行のシニアレンダーがカバード・ボンドに投資している貸手よりも優先順位が低くなる（いわゆる、地位劣後の問題）範囲を制限することができる。

無担保資金調達への投資家と担保付資金調達への投資家との間の劣後関係を評価する上では、担保負担がない資産の量及び信用の質が関連する評価要素となる。ハンデルスバンケンのリスク負担に関する厳格なアプローチにより、担保負担のない資産の質が高いことを意味している。ハンデルスバンケンではカバード・ボンドとシニア債をバランスよく利用したいと考えているため、担保負担のない住宅抵当ローンがかなりの額で存在している。

表AR:40は、ハンデルスバンケンの担保負担のない資産の金額が、無担保資金調達残高の272(268)%に相当することを示している。

スタッドフィポテックのカバー・プールで構成されている担保負担のある資産の大部分は、発行済カバード・ボンドの担保として供された住宅抵当ローンより構成されている。当行はまた、当該プールに8%の任意のOC(超過担保、すなわち発行済債券をカバーするために必要な担保に加えた追加資産、法定要件の2%に追加した部分)を加えている。この追加資産は、住宅抵当ローンの価値が追加資産を要する水準まで下落した場合に、発行済債券の金額と見合うようにするために存在する。

追加資産が必要となるリスクを評価する場合、基本的にカバー・プールにおける住宅抵当ローンの借入金比率（以下、「LTV」という。）がきわめて重要になる。不動産市場における価格が下落している場合、LTVが低ければ低いほど、当該プールにより多くの住宅抵当ローンが必要になるリスクは低減される。ハンデルスバンケンの出来高加重平均LTV（最大LTV）は、スウェーデンのカバー・プールでは51.0(49.4)%であり、ノルウェーのカバー・プールでは55.8(50.0)%であった。これはすなわち、当行は、住宅抵当ローンを当該プールに追加するまでもなく、該当する不動産価格の大幅な下落に対応することができることを示している。

当行がカバー・プール外で保有することを選択した資産は表AR:40に示されており、当該資産は必要に応じてカバード・ボンドの発行に使用することができる。

表AR:40 担保負担がない資産/担保に供されていない資産

担保負担がない資産/担保に供されていない資産	2022年		2021年	
	NEA <sup>1</sup>	無担保資金 調達に対する 累積カバー率、 % <sup>2</sup>	NEA <sup>1</sup>	無担保資金 調達に対する 累積カバー率、 % <sup>2</sup>
十億スウェーデン・クローネ				
<b>現金及び中央銀行預け金</b>	<b>505</b>	<b>56</b>	<b>439</b>	<b>50</b>
<b>流動性ポートフォリオにおける流動性のある債券<sup>3</sup></b>	<b>171</b>	<b>75</b>	<b>157</b>	<b>68</b>
<b>個人向け貸出金(デリバティブを含む)</b>	<b>524</b>		<b>598</b>	
うち、住宅抵当ローン	369	116	406	114
うち、不動産を担保とした貸出金	3	116	4	114
うち、その他個人向け貸付	152	133	188	136
<b>法人向け貸出金(デリバティブを含む)</b>	<b>1,200</b>		<b>1,103</b>	
うち、住宅抵当ローン	433	181	386	180
うち、住宅協同組合への貸出金(住宅抵当ローンを除く)	84	190	58	186
うち、不動産会社への貸出金(住宅ローンを除く)				
- リスク・クラス1~3	311	225	298	220
- リスク・クラス4~5	152	241	149	237
- うち、リスク・クラス5超	8	242	9	238
うち、その他の法人向け貸出金				
- リスク・クラス1~3	136	257	122	252
- リスク・クラス4~5	70	265	73	260
- リスク・クラス5超	6	266	8	261
<b>金融機関への貸出金(デリバティブを含む)</b>	<b>4</b>		<b>29</b>	
- リスク・クラス1~3	4	266	28	264
- リスク・クラス3超	0	266	1	264
<b>その他の貸出金</b>	<b>55</b>	<b>272</b>	<b>36</b>	<b>268</b>
<b>その他資産</b>	<b>0</b>	<b>272</b>	<b>0</b>	<b>268</b>
<b>合計</b>	<b>2,459</b>	<b>272</b>	<b>2,362</b>	<b>268</b>
<b>裏付けとなる負債を伴わない担保権が設定されている資産<sup>4</sup></b>	<b>75</b>		<b>65</b>	
裏付けとなる負債を伴う担保権が設定されている資産	920		920	
<b>資産合計、当行グループ</b>	<b>3,454</b>		<b>3,347</b>	

1) NEA: 担保負担のない資産

2) 無担保による発行済短期及び長期資金調達並びに金融機関に対する債務

3) 中央銀行への担保として適格なもの

4) カバー・プールにおける超過担保額(OC)及び英国の破綻処理時の業務継続要件に対応する資産(2021年現在)

## 表AR:41 カバー・プール・データ

## カバー・プール・データ

百万スウェーデン・クローネ

	スウェーデン		ノルウェー	
	2022年	2021年	2022年	2021年
スタッドフィボテック貸付総額(一般顧客)	1,376,478	1,301,712	127,264	115,928
カバー・プールに関して利用可能な資産	1,264,436	1,205,881	121,596	110,019
カバー・プールで使用した資産	651,915	617,417	76,747	56,746
代替資産(制限勘定の現金)	100	5,000	-	-
最大LTV加重平均、ASCBの定義による <sup>1</sup>	51.03	49.38	55.85	50.03

## LTVの内訳

0-10%	24.2	24.6	22.6	27.1
10-20%	20.9	21.7	20.3	20.9
20-30%	17.7	18.5	17.5	16.3
30-40%	14.4	14.6	14.5	13.5
40-50%	10.6	10.2	11.3	10.3
50-60%	6.9	6.1	7.8	7.1
60-70%	4.1	3.3	4.6	3.8
70-75%	1.3	0.9	1.4	1.0

貸出金額、加重平均、スウェーデン・クローネ	780,900	717,800	2,883,595	4,443,666
-----------------------	---------	---------	-----------	-----------

貸出期間、加重平均、月数 <sup>2</sup>	73.0	71	28.0	28
---------------------------	------	----	------	----

## 金利期間、内訳

変動金利、%	44.4	36.0	95.8	96.7
固定金利、%	55.6	64.0	4.2	3.3

1) スウェーデン・カバード・ボンド発行者協会 (Association of Swedish Covered Bond issuers)

2) 貸出金の実行日から計算されている。

## 流動性リスク

当行は業務の一環として、日次で大量のキャッシュ・フローの流入及び流出を取り扱っている。流動性管理におけるリスクを抑えるために、当行は流動性リスクの限度額と定性的目標を含む、堅固なリスク許容度の枠組みを有している。グループ・リスク・コントロール部はリスクを計測し、リスクの利用状況について、日次で最高財務責任者、週次で最高経営責任者、定期的に取り締役に報告する責任がある。

流動性計画は、個別の通貨に対するキャッシュ・フローの分析に基づいている。一般的に、流動性の高い通貨の方が、流動性の低い通貨よりもより大きなエクスポージャーが許容される。流動性がない資産は安定した長期資金で手当てし、ストレス状況下においても正の流動性ポジション(キャッシュ・フロー及び流動資産)が維持されなければならないというのが資金調達戦略である。

したがって、当行の流動性管理はストレス・テストに基づいており、ストレス・テストは全体レベルで実行され、当行にとって重要な通貨に対しては個別レベルでも行われる。ストレス・テストでは、様々なストレ

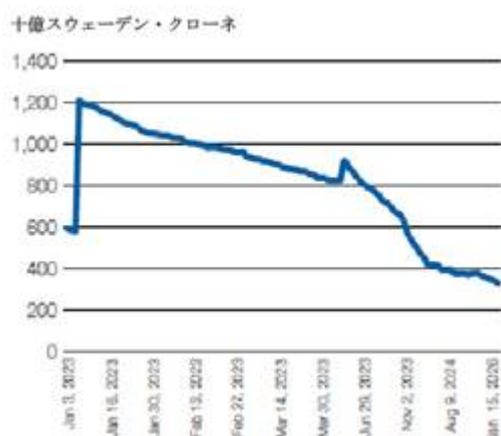
ス・シナリオを想定し、様々な流動性創出策を講じることで、短期・長期ともに当行が十分な流動性を確保できるよう確実にしている。ストレス・テストは市場全体のストレスと特異なストレスの双方を、定期的及び個別に適用して実施される。これらは住宅価格の大幅な下落を考慮したシナリオ分析によっても補完される。これらのストレス・テストでは、当行が金融市場での資金調達ができないと同時に、個人及び法人の預金の一部が1ヶ月以内に徐々に解約されることを仮定している。さらに、当行は個人及び法人への貸出金を満期時に継続することによりコア事業を継続し、顧客がコミットメント及び与信枠の一部を使用すると仮定する。

ストレス・テストでは、流動性準備金の現金資産が使用され有価証券が主に市場における担保として、また最後の手段として中央銀行から緊急の流動性供給を受けることができると仮定している。

さらに、当行はカバード・ボンドの未使用発行分の利用や、流動性を徐々に提供する他の流動性創出策の実施により、流動性の創出が可能である。未使用の担保の残高及び質は、危機的時に当行が必要とする流動性を提供できるものでなければならない。このような状況により、当行の流動性は3年を超えて高水準に保たれ、当行は深刻な長期のストレスに対しても十分に持ちこたえられることになる。

当行が金融市場における混乱に十分に持ちこたえられる状況とは、バランスシート構成が適切な状態に維持されていることである。「図AR:33 満期分類別の貸借対照表の構成要素」によれば、預金の20%が1年以内に消滅すると想定したストレス・シナリオでも、流動資産の残高が流動負債の残高を大幅に上回っている。

表AR:42 流動性創出策を含む流動性ストレス・テスト - 流動性ポジション累計額



「表AR:45金融資産及び負債の満期分析」は、遅くとも当該分析表に示す各期間内に支払期限が到来する契約上の支払債務(利息キャッシュ・フローを含む)に係るキャッシュ・フローを示している。本表は、債券及びその他の利付証券が担保として供される又は売却される場合に流動性が確保される期間別を示したものである。また、資産・負債・利息のフローが約定満期日までの期間別に示されている。住宅抵当貸付の利息のフローは、当該貸付の資金調達元となっている負債の期間と一致している。金融保証、ローン・コミットメント及び未使用の当座借越契約はすべて30日以内の期間に計上されている。これらの契約残高総額は、必ずしも将来における資金調達が必要なことを表しているわけではない。デリバティブ商品に関して、金利スワップのキャッシュ・フローは純額で計上され、為替スワップ等でキャッシュ・フロー総額が受け払いされる商品のキャッシュ・フローは総額で計上される。

欧州委員会が委任規則を導入後、EUの銀行には流動性カバレッジ比率(以下「LCR」という。)という拘束力のある要件が設けられた。この尺度は、当行の流動性バッファと30日間の厳しいストレス下における正味キャッシュ・フローとの比率を示しており、この要件は総計レベルのLCRに適用され、比率は100%を超えなければならない。また、スウェーデン金融監督庁は、第二の柱における監督審査及び評価プロセスの枠組みにお

いて、各通貨のLCRを規定している。年度末現在、当行グループの総計レベルのLCRは163(152)%であり、これは、当行が資金調達市場の短期的な混乱に十分に持ちこたえられることを示している。

構造的流動性尺度である安定調達比率 (NSFR) (利用可能な安定調達資金と安定調達需要の比率) の最低要件では、通常時及びストレス時の双方において、1年間にわたり当行の資金調達ニーズをカバーできる十分で安定した資金調達能力を有することが要求されている。この最低要件は総計レベルに適用され、比率は100%を超えなければならない。2022年度末時点で、当行グループ・レベルのNSFRは114%であった (114%)。

## 流動性リスクのプライシング

流動性リスク管理の重要部分は、発生可能性のある流動性リスクを考慮して預金及び貸付が内部で価格設定されていることである。当行が長期の貸出を行う場合、追加的な長期資金調達が必要になる (通常は短期の資金調達より調達コストがより高くなる)。これは、当行の長期債券を購入した投資家は通常、満期までの期間に対してより高額な対価を要求するためである。このことは、当行の内部価格の設定において考慮される。当行の内部ユニットは、グループ・トレジャリー部からの資金調達に対して、満期等の要素に応じて変動する支払いを行わなければならない。内部の価格設定は、適切なインセンティブを創出し、不健全なリスク負担を回避するために重要である。当行は、長い間、満期に基づく内部の金利設定を行ってきた。契約によって生じた流動性リスクを考慮に入れて契約単位で価格設定するシステムが確立されている。

## 表AR:43 流動性カバレッジ比率(LCR) - 内訳

### 流動性カバレッジ比率(LCR) - 内訳

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
<b>高品質な流動資産</b>	<b>673,796</b>	<b>592,122</b>
<b>現金流出</b>	<b>490,448</b>	<b>431,300</b>
一般顧客及び小企業からの預金	65,380	66,550
資本市場からの無担保資金調達	293,008	289,879
資本市場からの有担保資金調達	7,351	11,305
他の現金流出	124,709	63,566
<b>現金流入</b>	<b>77,502</b>	<b>41,849</b>
正常なエクスポージャーからの流入	27,209	22,375
他の現金流入	50,293	19,474
<b>流動性カバレッジ比率(LCR)、%</b>	<b>163%</b>	<b>152%</b>

内訳はEU委員会委任立法(EU)2015/61で定義されているものと同じである。

## 表AR:44 安定調達比率(NSFR) - 内訳

## 安定調達比率(NSFR) - 内訳

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
<b>利用可能な安定調達資金</b>	<b>2,036,932</b>	<b>2,026,413</b>
資本項目及び資本調達手段	214,134	202,877
一般顧客からの預金	724,112	704,382
資本市場からの調達資金	1,092,732	1,113,915
その他負債	5,954	5,239
<b>所要安定調達額</b>	<b>1,793,937</b>	<b>1,774,542</b>
高品質な流動資産合計	4,918	7,927
担保グループ内の満期までの残存期間が一年以上である処分制約のある 資産	483,554	449,323
正常貸出金及び証券	1,232,720	1,223,354
その他資産	48,935	69,258
オフバランスシート項目	23,811	24,680
<b>安定調達比率(NSFR)、%</b>	<b>114%</b>	<b>114%</b>

## 表AR:45 金融資産及び負債の満期分析

「満期の指定なし」の欄の預金は要求払預金を意味する。この表には利息キャッシュ・フローが含まれているため、この表の貸借対照表項目の金額は当行グループの貸借対照表上の金額と一致していない。利息を除く外貨建てキャッシュ・フローを含めた満期表は、ファクトブック ( handelsbanken.com/ir ) に記載されている。

金融資産及び負債の満期分析、 2022年 百万スウェーデン・クローネ	30日以内	31日から 6ヶ月 以内	6ヶ月 から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	満期の 指定なし	合計
現金及び中央銀行預け金	508,723	-	-	-	-	-	-	508,723
中央銀行への担保として適格な利付 証券 <sup>1</sup>	132,989	-	-	-	-	-	-	132,989
債券及びその他の利付証券 <sup>2</sup>	32,846	-	-	-	-	-	-	32,846
金融機関への貸出金	6,346	180	328	584	1,872	2,382	-	11,691
うち、リバース・レボ	-	-	-	-	-	-	-	-
一般顧客への貸出金	65,944	301,126	242,443	280,925	510,950	1,245,526	-	2,646,914
うち、リバース・レボ	12,912	-	-	-	-	-	-	12,912
その他	23,717	-	-	-	-	-	277,283	301,000
うち、株式及び参加持分	12,815	-	-	-	-	-	-	12,815
うち、投資銀行の決済業務に係る 債権	10,902	-	-	-	-	-	-	10,902
<b>資産合計</b>	<b>770,564</b>	<b>301,306</b>	<b>242,771</b>	<b>281,510</b>	<b>512,822</b>	<b>1,247,908</b>	<b>277,283</b>	<b>3,634,163</b>
金融機関からの預り金	38,283	27,232	3,622	1,010	477	1,551	10,809	82,983
うち、レボ	-	-	-	-	-	-	-	-
うち、中央銀行からの預り金	14,212	20,009	2,652	114	-	-	3	36,989
一般顧客からの預金及び借入金	27,400	75,911	36,517	10,017	2,085	5,849	1,224,903	1,382,682
うち、レボ	4	-	-	-	-	-	-	4
発行済証券 <sup>3</sup>	92,544	510,171	185,168	187,428	423,003	127,585	-	1,525,899
うち、カバード・ボンド	7,914	76,552	11,011	157,739	323,167	75,500	-	651,884
うち、当初満期が1年未満の預金証 書(CD)	35,096	195,836	58,078	-	-	-	-	289,009
うち、当初満期が1年未満のコマー シャル・ペーパー(CP)	49,419	207,869	73,242	-	-	-	-	330,530
うち、当初満期が1年超の預金証書 (CD) 及びコマーシャル・ペーパー(CP)	9	6,549	8,973	553	-	-	-	16,084
うち、非優先シニア債	-	283	140	423	25,585	25,027	-	51,458
うち、当初満期が1年超のシニア債 及び その他の証券	105	23,082	33,724	28,713	74,251	27,058	-	186,933
劣後負債	-	9,614	145	14,496	13,511	11,476	-	49,240
その他	5,047	375	378	716	1,456	653	463,099	471,724
うち、ショートポジション	1,947	-	-	-	-	-	-	1,947
うち、投資銀行の決済業務に係る 債務	3,087	-	-	-	-	-	-	3,087
<b>負債合計</b>	<b>163,273</b>	<b>623,302</b>	<b>225,830</b>	<b>213,666</b>	<b>440,533</b>	<b>147,114</b>	<b>1,698,810</b>	<b>3,512,529</b>
<b>オフバランスシート項目</b>								

金融保証及び未使用のローン・コミットメント

459,114

デリバティブ、2022年 百万スウェーデン・クローネ	31日から		6ヶ月	1年から	2年から	5年超	合計
	30日以内	6ヶ月以内	から 12ヶ月	2年	5年		
デリバティブに係る現金流入合計	182,101	590,120	150,293	121,954	213,073	117,024	1,374,565
デリバティブに係る現金流出合計	180,101	589,221	149,097	120,987	211,934	111,955	1,363,295
<b>純額</b>	<b>2,000</b>	<b>899</b>	<b>1,196</b>	<b>967</b>	<b>1,139</b>	<b>5,069</b>	<b>11,270</b>

上表の資産及び負債には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、処分グループのフィンランドが含まれている。注記G14を参照のこと。比較数値には、2022年度第4四半期に売却された処分グループのデンマークも含まれている。

金融資産及び負債の満期分析、 2021年	31日から		6ヶ月	1年から	2年から	満期の		合計
	30日以内	6ヶ月 以内	から 12ヶ月	2年	5年	5年超	指定なし	
百万スウェーデン・クローネ								
現金及び中央銀行預け金	439,983	-	-	-	-	-	-	439,983
中央銀行への担保として適格な利付 証券 <sup>1</sup>	100,563	-	-	-	-	-	-	100,563
債券及びその他の利付証券 <sup>2</sup>	33,333	-	-	-	-	-	-	33,333
金融機関への貸出金	19,246	176	200	615	1,497	2,371	-	24,105
うち、リバース・レボ	12,126	-	-	-	-	-	-	12,126
一般顧客への貸出金	52,107	274,819	218,002	252,736	469,331	1,236,095	-	2,503,090
うち、リバース・レボ	13,648	-	-	-	-	-	-	13,648
その他	22,701	-	-	-	-	-	315,940	338,641
うち、株式及び参加持分	19,934	-	-	-	-	-	-	19,934
うち、投資銀行の決済業務に係る 債権	2,767	-	-	-	-	-	-	2,767
<b>資産合計</b>	<b>667,933</b>	<b>274,995</b>	<b>218,202</b>	<b>253,351</b>	<b>470,828</b>	<b>1,238,466</b>	<b>315,940</b>	<b>3,439,715</b>
金融機関からの預り金	34,370	36,257	4,077	1,276	359	1,176	6,541	84,056
うち、レボ	-	-	-	-	-	-	-	-
うち、中央銀行からの預り金	21,832	28,676	-	-	-	-	344	50,852
一般顧客からの預金及び借入金	18,300	35,306	1,781	483	371	6,263	1,338,153	1,400,657
うち、レボ	213	-	-	-	-	-	-	213
発行済証券 <sup>3</sup>	58,526	368,375	263,962	155,320	412,914	122,439	-	1,381,536
うち、カバード・ボンド	26	40,329	73,743	104,740	339,886	89,447	-	648,171
うち、当初満期が1年未満の預金証 書(CD)	22,077	137,708	51,998	-	-	-	-	211,783
うち、当初満期が1年未満のコマー シャル・ペーパー(CP)	27,128	166,516	106,409	-	-	-	-	300,053
うち、当初満期が1年超の預金証書 (CD) 及びコマーシャル・ペーパー(CP)	4,184	2,550	931	-	-	-	-	7,665
うち、非優先シニア債	-	115	69	184	17,568	15,887	-	33,823
うち、当初満期が1年超のシニア債 及び その他の証券	5,111	21,157	30,812	50,396	55,460	17,105	-	180,041
劣後負債	-	926	2,960	8,507	13,698	10,195	-	36,286
その他	7,064	365	369	700	1,514	841	470,599	481,452
うち、ショートポジション	4,126	-	-	-	-	-	-	4,126
うち、投資銀行の決済業務に係る 債務	2,927	-	-	-	-	-	-	2,927
<b>負債合計</b>	<b>118,260</b>	<b>441,229</b>	<b>273,149</b>	<b>166,286</b>	<b>428,856</b>	<b>140,914</b>	<b>1,815,293</b>	<b>3,383,987</b>
<b>オフバランスシート項目</b>								
金融保証及び未使用のローン・コ ミットメント	486,517							
<b>デリバティブ、2021年</b>		<b>31日から</b>	<b>6ヶ月</b>	<b>1年から</b>	<b>2年から</b>			
百万スウェーデン・クローネ	<b>30日以内</b>	<b>6ヶ月</b>	<b>から</b>	<b>2年</b>	<b>5年</b>	<b>5年超</b>		<b>合計</b>
デリバティブに係る現金流入合計	220,594	487,565	83,775	99,046	145,200	78,969		1,115,149

デリバティブに係る現金流出合計	218,965	483,166	80,840	97,391	147,217	80,891	1,108,470
<b>純額</b>	<b>1,629</b>	<b>4,399</b>	<b>2,935</b>	<b>1,655</b>	<b>-2,017</b>	<b>-1,922</b>	<b>6,679</b>

- 1) この金額（利息を除く）のうち、106,107(83,610)百万スウェーデン・クローネは残存期間が1年未満である。
- 2) この金額（利息を除く）のうち、2,511(4,601)百万スウェーデン・クローネは残存期間が1年未満である。
- 3) この金額（利息を除く）のうち、767,033(679,352)百万スウェーデン・クローネは残存期間が1年未満である。

## 流動性準備金

ストレス状況下における中核事業を支援するための十分な流動性を確保するため、当行は取り扱っているすべての通貨で多額の流動性準備金を保有している。当該流動性準備金は、資金調達市場や外国為替市場とは関係なく、随時、当行に流動性を提供するものである。

当該流動性準備金は、複数の異なる部分より構成されている。現金、預金残高及びその他の中央銀行への貸出は、当行に緊急の流動性を提供可能な部分である。当該準備金はまた、国債、カバード・ボンド及びその他の信用の質が高い有価証券をはじめとする流動性の高い有価証券より構成され、これらは流動性が高く、中央銀行への担保として適格なものである。これはまた、当行に緊急の流動性を提供可能なものである。流動性準備金の残りの部分は、カバード・ボンドの未発行額及びその他の流動性創出策より構成される。

表AR:46 中央銀行に対する残高、及び流動性準備金における有価証券保有残高（市場価値）

中央銀行に対する残高及び流動性準備金における 有価証券残高(市場価値)、2022年 (百万スウェーデン・クローネ)	スウェーデン・クローネ				合計
	ユーロ	米ドル	その他		
<b>レベル1資産</b>	<b>237,836</b>	<b>175,150</b>	<b>138,355</b>	<b>123,897</b>	<b>675,238</b>
現金及び中央銀行預け金	99,540	168,032	129,603	108,164	505,339
ソブリン、中央銀行、国際開発金融機関及び 国際機関が発行又は保証する証券	117,817	7,019	8,752	1,903	135,491
地方債及びその他公的機関発行債	447	-	-	-	447
きわめて高品質なカバード・ボンド	20,032	99	-	13,831	33,962
<b>レベル2資産</b>	<b>230</b>	<b>307</b>	<b>512</b>	<b>90</b>	<b>1,139</b>
<i>レベル2A資産</i>	<i>230</i>	<i>215</i>	<i>512</i>	<i>90</i>	<i>1,047</i>
ソブリン、中央銀行、地方自治体及び その他公的機関が発行又は保証する証券	-	-	-	36	36
高品質なカバード・ボンド	230	215	512	54	1,011
社債（格付がAA-以上）	-	-	-	-	-
<i>レベル2B資産</i>	<i>-</i>	<i>91</i>	<i>-</i>	<i>-</i>	<i>91</i>
資産担保証券	-	-	-	-	-
高品質なカバード・ボンド	-	-	-	-	-
社債（格付がA+からBBB-）	-	91	-	-	91
株式（主要株式指数）	-	-	-	-	-
<b>流動資産合計</b>	<b>238,066</b>	<b>175,457</b>	<b>138,867</b>	<b>123,987</b>	<b>676,377</b>

中央銀行に対する残高及び流動性準備金における 有価証券残高(市場価値)、2021年 (百万スウェーデン・クローネ)	スウェー デン・ クローネ	ユーロ	米ドル	その他	合計
<b>レベル1資産</b>	<b>210,882</b>	<b>157,572</b>	<b>65,123</b>	<b>159,399</b>	<b>592,976</b>
現金及び中央銀行預け金	92,645	149,369	63,000	133,654	438,668
ソブリン、中央銀行、国際開発金融機関及び 国際機関が発行又は保証する証券	95,122	8,013	2,123	5,068	110,326
地方債及びその他公的機関発行債	616	-	-	-	616
きわめて高品質なカバード・ボンド	22,499	190	-	20,677	43,366
<b>レベル2資産</b>	<b>569</b>	<b>587</b>	<b>473</b>	<b>1,020</b>	<b>2,649</b>
<i>レベル2A資産</i>	<i>568</i>	<i>388</i>	<i>473</i>	<i>1,020</i>	<i>2,449</i>
ソブリン、中央銀行、地方自治体及び その他公的機関が発行又は保証する証券	-	-	-	617	617
高品質なカバード・ボンド	568	388	473	403	1,832
社債(格付がAA-以上)	-	-	-	-	-
<i>レベル2B資産</i>	<i>1</i>	<i>199</i>	<i>-</i>	<i>-</i>	<i>200</i>
資産担保証券	-	-	-	-	-
高品質なカバード・ボンド	-	-	-	-	-
社債(格付がA+からBBB-)	1	199	-	-	200
株式(主要株式指数)	-	-	-	-	-
<b>流動資産合計</b>	<b>211,451</b>	<b>158,159</b>	<b>65,596</b>	<b>160,419</b>	<b>595,625</b>

## オペレーショナル・リスク

オペレーショナル・リスクは、不適切な若しくは欠陥のある内部プロセス、人為的ミス、誤ったシステム、又は外部事象による損失リスクである。オペレーショナル・リスクの定義には、法的リスクに加え、ITリスク及び情報セキュリティ・リスク(以下、「ICTリスク」という。)も含まれている。

取締役会は、オペレーショナル・リスクに対するハンデルスバンク・グループのリスク許容度を策定している。オペレーショナル・リスクは当行の業務において避けることのできない要素ではあるが、ハンデルスバンクのオペレーショナル・リスクに対するリスク許容度は低い。可能な限り、ハンデルスバンクはこれらのリスクを防ぎ、この分野の損失を低減するよう努める必要がある。インシデントが発生した際、当行、当行の顧客又は金融システムに重大な悪影響を及ぼす可能性のあるオペレーショナル・リスクは、低水準まで軽減されなければならない。リスクが許容可能となるよう、リスク軽減策が取られなければならない。オペレーショナル・リスク事象からの損失は保険又は他の手段で対応され得る。事象発生の影響と蓋然性を1から5までの5段階で評価することによってリスク評価が行われる。事象発生の影響と蓋然性の評価に加え、影響を評価することにより、必要なリスク軽減策の対象範囲が決定される。アクションプランが策定されていない場合、又は作業に時間がかかりすぎる、又は計画通りに進捗していないとリスク・コントロール部が判断した場合、当該リスクは当行のリスク許容度を超えていると考えられる。

2022年の、25,000スウェーデン・クローネを超える、オペレーションによる潜在的及び実際の損失並びに復旧で構成されるハンデルスバンクのオペレーションからの損失は合計61(38)百万スウェーデン・クローネであった。オペレーションからの損失の水準が、復旧により時間の経過とともに調整される、あるいは過去に報

告されたインシデントに関連した他の損失が加わることは珍しいことではない。これにより、過去に報告された損失の比較数値が影響を受ける可能性がある。

## 組織体制

オペレーショナル・リスクの特定、評価及び管理に関する責任は、ハンデルスバンケン・グループのすべての階層の管理者に課される責任に欠くことができないものである。当行の業務の分権的な手法とコスト意識によりオペレーショナル・リスクの良好な管理が推進され、日々の手続や事象における潜在的な損失のリスクに注意を払うことにつながっている。

オペレーショナル・リスクの管理は業務活動において実施され、その取組みはリスク・コントロール部によって管理される。特別に任命されたローカルのオペレーショナル・リスク・コーディネーター（以下、「ローカル・オペリスク・コーディネーター」という。）は、オペレーショナル・リスクを管理する上で管理者を支援するために設置されている。彼らの責任は、業務活動において既存のオペレーショナル・リスクの管理手法及び手続が使用されていることを確認し、報告されたインシデントに関して必要な対策を講じ、業務活動を支援し、オペレーショナル・リスクに関して決定した活動のフォローアップを行うことである。

グループ・リスク・コントロール部は、オペレーショナル・リスクの管理に適用する方法及び手続に対して全般的な責任を負っている。これにはオペレーショナル・リスクの定期的な評価方法及び手続、並びに業務への適用も含まれる。グループ・リスク・コントロール部は、業務部門がオペレーショナル・リスクを特定、評価、報告及び管理し、決定された活動が実施されるようフォローアップを行っていることを確認しなければならない。またグループ・リスク・コントロール部は、新規又は大きく変更のある商品、サービス、市場、プロセス、ITシステムや、当行グループの業務又は組織体制の重要な変更に関する意思決定が行われる前にリスクが評価されていることを確かめる責任を負っている。さらにグループ・リスク・コントロール部は、グループ・レベルですべての重要なオペレーショナル・リスク及びその状況を特定、評価、分析し、経営陣及び取締役会に報告する責任を負っている。経営陣及び取締役会に提出されるリスク報告には、重大なインシデント及びリスク軽減策に関する情報も含まれる。

## オペレーショナル・リスクの特定、評価及び管理の方法

業務部門は、部門内で関連するリスクの事実を収集することにより、日常的な業務活動に伴うリスクに当事者意識を持って主体的に取り組み、管理する責任を負っている。当行は以下の区分に従い、オペレーショナル・リスクの動向を監視している。

- ・ 執行・受渡・プロセス管理
- ・ 事業活動の中断・システム障害
- ・ 顧客・商品及び取引慣行
- ・ 外部犯罪
- ・ 有形資産に対する損傷
- ・ 労務慣行・職場の安全
- ・ 内部不正

オペレーショナル・リスクを特定、評価及び管理するためのグループ共通の手法には、インシデントの報告、リスク指標及びオペレーショナル・リスクの自己点検がある。

## インシデントの報告

25,000スウェーデン・クローネを超える直接的な金銭的損失をもたらしたオペレーショナル・リスクのインシデントに関する報告は必須である。重要なオペレーショナル・リスクを表す他のインシデントも報告義務があり、リスクの事実が収集されなければならない。

## リスク指標

リスク指標はオペレーショナル・リスクの増加を警告するために監視されている。リスク指標の閾値を超えた場合、講じるべきリスク管理手法を評価する際の根拠とするためリスク評価を実施する必要がある。特定のリスク指標については、最高経営責任者が閾値を決定している。

## OPRAリスク分析による自己点検

OPRAリスク分析とは、オペレーショナル・リスクを文書化し評価するための手法と自己点検手続であり、すべてのユニットにおいて定期的実施される。OPRAリスク分析はイベントドリブン型とすることも可能であり、重大なインシデントや閾値違反、又は重大な外部事象が発生した場合に手続を実施する。

## 図AR:47 3つの防衛線



## ORX

当行はORX（オペレーショナル・リスクデータ・エクスチェンジ・アソシエーション）のメンバーである。ORXの主要目的は、オペレーションからの損失につながるインシデントに関する匿名データの交換に銀行を参加させることである。ORXはまた、オペレーショナル・リスクに関するデータの品質の標準化及び確保においても重要な機能を果たしている。オペレーショナル・リスクに関する手法については幅広い調査が行われており、ORXは重要な情報交換の場となっている。

## ハンデルスバンケン・グループにおけるIT業務

当行の業務は、ITサービスが利用可能であること、及びそのセキュリティが確保されていることに依拠している。テクノロジーの発展と銀行サービスのデジタル化は、この領域の重要性が高まりつつあることを示している。ハンデルスバンケン・グループにおけるIT業務の全体的な目標及び戦略に関するガイドラインが最高経営責任者によって策定される。この領域のオペレーショナル・リスクは、当行の他の手続きと同様のものに加えて、対象となる領域における特定の種類のリスクを管理するための特別な手続に従って管理されている。特別な手続には、例えば以下のものが含まれる。

- ・本番稼働中のITシステムの監視
- ・ITインシデントの管理

- ・新規又は変更後のITシステムの管理
- ・サイバー・リスクの管理
- ・セキュリティ・テストの実施
- ・ITシステムのリスク分析の実施
- ・IT及びセキュリティに関する外部委託契約等の外部業者との契約の評価
- ・ITシステムの継続管理

## 情報セキュリティ及びITセキュリティ

ハンデルスバンケンのセキュリティ業務は、従業員の生命、健康及び完全性、顧客及び当行の資産、当行グループの名声及び評判を守ることを目的としている。業務において、当行は顧客や顧客との関係に係る機密情報を継続的に処理している。ハンデルスバンケンの情報セキュリティ及びITセキュリティの取り組みは、可用性、正確性、機密性、追跡可能性を基盤としている。情報システム及び業務システムは業務要件に応じて利用可能な状態でなければならない。ハンデルスバンケンの情報セキュリティに関するガイドラインは当行グループの最高経営責任者によって策定されている。当行の全従業員が情報保護に関する規則の遵守義務を負っており、すべての管理者は各担当分野における規則の遵守義務を負っている。当行は体系的なセキュリティ業務を実践し起こり得る脅威やリスクを阻止しており、IT環境における変更管理手続を策定している。管理体制に不備があった場合や情報が誤って公表された場合、当行の信用低下や財務上の損失等、被害は深刻なものとなり得る。体系的なセキュリティ業務の枠組の中で、情報セキュリティの脅威やリスクに関する従業員及び顧客の意識向上を図るため、当行においてプレゼンテーション、研修プログラムや情報に関するイニシアティブなどを通じた組織的な取り組みが行われている。

当行の情報セキュリティ及びITセキュリティは、顧客情報や取引に加え当行のIT環境を保護することを目的としている。情報セキュリティ及びITセキュリティには技術的なセキュリティ対応に加え、規則やインストラクションといった、事務的な対応も含まれる。

情報セキュリティに関する取り組みは国際規格であるISO 27001に従って行われている。ハンデルスバンケンの情報セキュリティ業務はISO 27001の認証を取得している。また、当行の情報セキュリティ規定は、世界の大企業の多数が会員となっている組織である情報セキュリティ推進団体（ISF）が策定したグッドプラクティス標準に基づいている。情報セキュリティ及びITセキュリティに関する取り組みは組織的に行われ、当行ではこれにプロセスの観点から取り組んでおり、中でもリスク分析が主体となっている。リスク分析ではISFの情報リスク分析手法（IRAM2）が用いられている。

## 物理的な安全性

ハンデルスバンケン・グループの物理的安全対策には、防火対策に加え、従業員への脅威、従業員の保護、出張時の安全、周辺保護に関するプロセスと手続、当行の賠償責任及び損害保険に対する保険カバー、並びに外部環境の監視と指示が含まれる。

物理的な安全性に関するグループ内での指示により、特に、セキュリティのレビューが少なくとも毎年行われ、その後年次の就業環境調査を通じてフォローアップが行われる。

## 金融犯罪

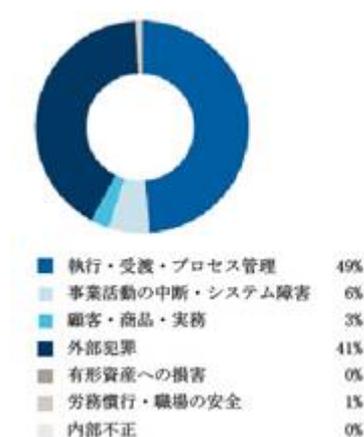
当行は、自行の顧客や商品、サービスが金融犯罪に悪用されるリスクを最小限に抑えるよう努めている。金融犯罪には、マネーロンダリング、テロリズムへの資金供与、脱税、贈収賄、不正及び国際的制裁に対する違

反が含まれる。この業務は、グループ全体の金融犯罪防止への取組みに関して責任を負う、当行の特命役員が率いる中央部門が管理している。金融犯罪を防ぐこれらの取組みの重要な第一歩となるのが、当行のリスク許容度の低さと、当行が事業を展開する各国の金融犯罪に対応する外部規制機関である。当行には金融犯罪を所管する別のコンプライアンス部署があり、金融犯罪を監視するとともに、金融犯罪を防ぐ当行の取組みに対するアドバイザーの役割を果たしている。同部署のトップは、当行の本部部門の責任者が務めている。当行の金融犯罪防止のための取組みの詳細については、ハンデルスバンクのコーポレート・ガバナンス・レポートの74-91ページを参照のこと。

## 変更管理

変更管理は新規又は大幅に変更された商品、サービス、市場、プロセス、ITシステム、若しくは当行グループの業務又は組織体制の重要な変更が行われる際に用いられる。プロセスの活動と主体は当行のインストラクションに定められ、変更管理の承認プロセスには、統制部門がいつ、どのように関与すべきかが記載されている。承認プロセスには、リスク分析が実施される要件も含まれ、これらは、例えば金融犯罪、サステナビリティ、情報セキュリティ、データ品質などの領域を考慮したものとなっている。また、変更管理に関する意思決定は文書化されなければならない。

図AR:48 25,000スウェーデン・クローネを超える損失の内訳（件数）、2018年 - 2022年



図AR:49 25,000スウェーデン・クローネを超える損失の内訳（金額）、2018年 - 2022年



## 重要なプロセス

重要なプロセスとは、当行の重要な業務に対応する上できわめて重要なプロセスを言う。当行の重要プロセスは目的適合性について年次で、また重要な変更について見直され、リスク評価の対象とされるほか、必要に応じて改定される。

重要なプロセスの特定は、当行の事業継続計画の対象範囲、すなわち、混乱や業務停止といった事象が起きた場合に業務のどの部分を優先させるかを決定する際に欠かせないものである。

## 事業継続計画及び危機管理

当行の事業継続計画及び危機管理の目的は、危機的な状況が発生した場合、事業継続のために当行が万全な準備をしておくようにすることである。これは、事業の深刻な混乱の影響を低減するため、混乱の期間においても、許容できる水準で事業を継続できるような予備手段を講じておかなければならないことを意味している。最高経営責任者による事業継続及び危機管理の指針並びに追加的な指示では、どの業務とITシステムが重要で事業継続を必要とするかを確認する上で、毎年結果分析を行わなければならないと規定している。

事業継続計画は、混乱時及び通常業務への回復期における事業維持に関する計画を含む。重要なプロセスに関しては、事業継続計画の中に認められる最長の事業停止期間を含める必要がある。当行グループには本部危機管理チーム (Central Crisis Team) が存在し、さらに、最高経営責任者は、特定のユニットが指定された危機管理機能を担う必要があると規定している。危機管理機能における手続は、特別な危機マニュアルに従って実施しなければならない。

事業継続計画及び危機マニュアルについては少なくとも毎年見直しを行わなければならない。事業継続計画は最低でも毎年テストを実施し、危機管理機能を持つことを求められる各ユニットは、危機管理訓練を実施しなければならない。この手続は毎年評価が行われ、本部の取締役会に報告される。当行の事業継続管理戦略も本部の取締役会に報告される。

ハンデルスバンケンは金融セクターの混乱と業務停止への対応力の強化を目的とした、FSPOS (Finansiella Sektorns Privat-Offentliga Samverkan : スウェーデンの金融セクターの官民連携によるパートナーシップ組織) が企画する訓練にも任意参加している。当行は、万全な準備状況における金融セクターの事業継続能力を評価することを目的としてFSPOSが企画した本年度の訓練にも参加した。

## サプライヤー契約

当行は、当行グループ内での業務委託契約を含む、サプライヤー契約を管理するための指定されたプロセスを有している。出発点として、当行はサプライ - 契約やその管理を決定する前の評価において、当行の低いリスク許容度を考慮した、リスクベースの業務手法を適用している。最高経営責任者は、重要性の高い業務を外委託契約する際の条件及び要件を定めた業務委託契約のガイドラインを公表している。本ガイドラインはハンデルスバンケン・グループ全体及び当行グループの子会社にも適用される。

## 風評リスク、コンダクトリスク及び研修

風評リスクとは当行の信頼低下によってもたらされる損失リスクを指す。風評リスクは倫理基準の欠陥、不適切な行動、情報の不足や新商品や改訂商品の設計ミス等が原因で発生する。ハンデルスバンケンは積極的なビジネス・インテリジェンスを通じ、必要に応じて関連する是正措置を実施し、高い倫理基準で業務を遂行することにより、業務の中の風評リスクを管理し、これを最小限に抑えている。2022年には当行グループの全従

業員に対し、金融犯罪、一般データ保護規則(GDPR)、セキュリティ研修 - サイバー・セキュリティ及びセキュリティ研修 - フィジカル・セキュリティの4つの研修が義務付けられている。

ハンデルスバンケンのリスク許容度の低さは従業員給付の面にも反映されている。当行では固定報酬が健全な業務に寄与していると考えており、それを基本原則としている。

## コンプライアンス・リスク

コンプライアンス・リスクは、法規制の遵守が適切に行われないことに関連するリスクをいう。

コンプライアンスとは、当行に認可された業務に一括して適用される内外の規則及び規制、市場慣行並びに基準の遵守及び準拠をいう。コンプライアンス・リスクとは、当行がこれらの要件に従わなかった結果、当行が被る可能性のある制裁、重大な財務上の損失、評判の失墜のリスクである。ハンデルスバンケンのコンプライアンス・リスクに対する許容度は低い。業務において、これらのリスクを可能な限り防ぎ、観察されたリスクに迅速に対処するために必要な作業を優先しなければならない。コンプライアンス部署がそのリスクを高リスク又は重要リスクと評価し、適切なアクションプランがない、又はアクションプランから著しく逸脱していると判断した場合、リスクが許容度を超えているとみなされる。

金融機関のガバナンス、リスク管理及びコントロールに関するスウェーデン金融監督庁の規定及び一般指針(FFFS 2014年第1号)、内部ガバナンスに関する欧州銀行監督機構のガイドライン並びにMiFID(金融商品市場指令)のコンプライアンス機能要件の特定の側面に関する欧州証券市場監督局のガイドラインでは、規制当局がどのようにコンプライアンス機能を設定すべきと考えているか、及び金融機関がコンプライアンス問題にどのように取り組むべきかについて概要を策定している。バーゼル委員会の「コンプライアンス及び銀行のコンプライアンス機能」の枠組みもまた、銀行のコンプライアンス部署をどのように構築すべきかについてのガイドラインを定めている。ハンデルスバンケンは、これらの規定、勧告及び指針に準拠してコンプライアンス部署を組織し、そのコンプライアンス業務を体系化している。

## 組織体制

当行グループのコンプライアンス部署は、グループ・コンプライアンス部と子会社及びその他事業体のローカルのコンプライアンス・ユニットの双方により組織されている。グループ・コンプライアンス部には、適用されるマネーロンダリング及びテロリスト資金調達に関する規制に基づく管理・報告義務任命責任者、適用されるデータ保護及び個人データ処理に関する規制に基づくデータ保護責任者(DPO)など、具体的に定められた役割も含まれている。すべてのコンプライアンス・ユニットは業務から独立しており、組織上、監視及び統制の対象となる部署及び領域から分離している。コンプライアンス・ユニットの従業員は、監視及び統制責任のある業務の一部である職務は一切行ってはならない。

## 責任

コンプライアンスに関する責任は、当行グループの全階層における経営責任の不可欠な部分として、ユニット又は部門レベルで担っている。ファンクションマネージャー及びプロダクツマネージャーには、各担当領域で発出した当行グループ全体への指示の遵守をフォローアップする責任を含む、各担当領域における業務が、内外の規則や規制に従って行われることを確実にするための特別な責任がある。ファンクションの所管部署のうち、グループ法務部には、業務部門に対する法的支援を行い、他の部署に代わって規制に関する最終的な解釈を含む必要な法的評価を行う責任がある。また、本部及び地域レベルでの法的支援や法的評価を含む業務の

調整責任も担っている。ハンデルスバンケン・グループにおいて、管理者と従業員は、規制不遵守に伴うコンプライアンス・リスクに加え、内外の規則を通じて課された要件を正しく認識し、理解する必要があるほか、法的評価が必要な場合にはグループ法務部又は地域の法務部署から適宜支援を受けなければならない。

コンプライアンス部署の責任は、高水準のコンプライアンスを確実にするための活動を進めるとともに、ハンデルスバンケンのコンプライアンス・リスクに対する低い許容度が確実に遵守されることにある。コンプライアンスの業務は、規制遵守に関連するコンプライアンス・リスク及び不備の特定、監視及び統制、コンプライアンス関連事項における当行スタッフ、経営陣及びユニットへの勧告、助言及び支援の提供、並びにコンプライアンス上の課題に関する経営陣及び取締役会への報告である。チーフ・コンプライアンス・オフィサーは、コンプライアンス部署及び当行グループにおけるコンプライアンス関連事項の報告に責任を負っている。

## リスクベースのコンプライアンス業務

コンプライアンス部署は、業務にリスクベースの手法を適用している。実際には、これは、同部署が当行の業務とコンプライアンスに関する全体的なリスク評価を年次で実施することを意味する。これに基づき、コンプライアンス部署はコンプライアンスが不十分であるリスクが高い領域を優先してコンプライアンス活動を計画し、実施している。観察結果は、「小」、「中」、「大」及び「重大」という4段階の評価尺度を用いて評価され報告される。グループ・コンプライアンス部は、当行グループ内の現在のリスク状況について、最高経営責任者、リスク委員会及び取締役会に報告する。これには、金融犯罪に関連するコンプライアンス・リスクに関する任命責任者からの報告や、データ保護リスクに関するDPOからの報告も含まれる。またこの報告は、最高経営責任者のリスク・コンプライアンス委員会にも報告される。

## 報酬制度におけるリスク

報酬リスクは、報酬制度によって生じる損失又はその他の損害のリスクである。

## 報酬制度

ハンデルスバンケンでは、従業員が新たな職階に就いた際、報酬は個別に現地水準で設定される。報酬はハンデルスバンケンに対する拘束力を持つ労働協約のほか、類似した現地の標準的な契約や協定を考慮に入れ、当行の給与決定モデル及び給与の決定要素に基づいて決定される。給与の決定要素とは業務内容及び難易度、能力及びスキル、実績及び成果、指導力、市場の需給関係、並びに当行の企業カルチャーの代表者としての役割である。

これらの原則は何年もの間、適用されている。ここでは、あらゆる階層のマネージャーが定期的に給与プロセスに参加し、当行の給与方針に対する責任を持ち、各自の部門のスタッフ費用の増加に責任を持つことを意味している。

ハンデルスバンケンが適切に設計された報酬制度を確実に維持するため、報酬制度のリスクは、他の種類のリスクと同様の責任分担によるリスク管理を行う、個別のリスク区分として管理されている。ハンデルスバンケンの報酬リスクについての許容度は低く、報酬リスクを低水準に抑えるために積極的に活動している。実績型変動報酬は細心の注意を払った上で利用されなければならない、当行のリスク・プロファイルに重大な影響を及ぼす業務を担当する従業員には支給しない。

2022年には、業績連動型変動報酬に対して52(57)百万スウェーデン・クローネの引当金が計上された。

## 組織体制及び責任

当行の報酬制度の原則は、取締役会で決定される報酬方針に規定されている。より詳細にわたる指針及び導入指令は、最高経営責任者が決定している。グループ・コンプライアンス部はこの領域に適用される規則を確実に遵守するため、これらの方針文書をレビューしている。報酬リスクの特定及び管理責任は、その業務の責任者である各マネージャーにある。グループ・リスク・コントロール部はリスクの観点から、報酬制度及びその適用状況が毎年評価されていることを確認している。また、この評価は、当報酬制度が当行のリスク、資本及び流動性の状況に与える影響の分析も含まなければならないとしている。

## 報酬制度におけるリスク

ハンデルスバンケンの報酬方針及び報酬制度におけるリスクは低く、当行の低いリスク許容度に沿ったもので、当行の長期的な利益を支えるものとみなされている。当該報酬制度による、当行の財務リスク、資本及び流動性の状況への影響は少ない。ハンデルスバンケン・グループの従業員に対する業績連動型変動報酬として引き当てられる合計額は、所与の年度の当行の普通株式等Tier1資本の0.4%を超えてはならない。変動報酬の計算データは、現在及び将来のリスク評価に基づいてリスク調整されたものである。業績連動型変動報酬の支払延期や割り当てられた繰延変動報酬の全額又は一部の減額に関する規則が存在する。

当行の報酬制度に関する詳細情報及び統計に関しては、コーポレート・ガバナンス・レポート及び年次報告書の注記G8を参照のこと。

## 表AR:50 業績連動型変動報酬

業績連動型変動報酬	2022年	2021年
業績連動型変動報酬稼得額 <sup>1</sup> 、百万スウェーデン・クローネ	52	57
給与及び報酬、百万スウェーデン・クローネ	9,800	9,278
業績連動型変動報酬を稼得し得る人数 <sup>2</sup>	124	130
平均従業員数	12,030	12,240
給与及び報酬合計に占める業績連動型変動報酬稼得額の割合、%	0.5	0.6
普通株式等Tier1資本に占める業績連動型変動報酬引当金の割合、%	0.03	0.04
平均従業員数に占める業績連動型変動報酬を稼得できる人数の割合、%	1.0	1.1

1) これらの金額は社会保障費を除いたものである。これらの金額は年次報告書の公表後に決定される。

2) 業績連動型変動報酬を割り当てられる人数は年次報告書の公表後に決定される。2021年に業績連動型変動報酬を稼得し得る130人のうち、114人が割当を受けた。

## 保険事業におけるリスク

保険事業におけるリスクは、主として、市場リスク及び保険リスクより構成されている。

## 保険事業における事業活動及びリスク

ハンデルスバンケン・リヴは、従来型運用を行う生命保険事業のほか、ユニットリンク保険契約、ポートフォリオ・ボンド保険契約及びリスク保険等の保険事業を行っている。従来型運用を行う保険の新規販売は

行っていない。リスク・プロファイルはソルベンシー2で規定されている標準フォーミュラを用いて測定される。リスク・プロファイルの大半は、市場リスクと保険リスクである。

## 市場リスク

市場リスクとは、金利や不動産価格、株価、為替の変動といった、金融市場のリスク要因の変動が企業の運用資産やコミットメントの価値の変動をもたらす複合的なリスクである。市場リスクは保証商品に関連した従来型保険契約において発生するほか、保険契約者自身がリスクを負っているものの、企業の利益が商品に含まれている運用資産に左右される、貯蓄型商品、ユニットリンク保険契約及びポートフォリオ・ボンド保険契約からも間接的に発生する。

技術的準備金はリスク・フリー金利を用いて割り引かれるため、金利リスクは保険負債からも発生する。

ハンデルスバンケン・リヴのリスク許容度は低い。ハンデルスバンケン・リヴの投資ガイドライン及びリスク針を通して、ハンデルスバンケン・リヴの取締役会は、保険契約者に対する事業及び法定要件、投資に関するガバナンスやコントロールの実施方法、会社の総資産と事業を合わせたリスク水準の管理方法を考慮して、全体的な資産運用方法について指示する。リスクの特定、測定、分析及び報告が可能な資産及び商品に対してのみ、資産が慎重に投資される。

## 流動性リスク

流動性リスクとは、許容できない費用又は損失なくして企業が期日の到来した支払債務を履行できないリスクである。流動性リスクは将来の支払に関する日々の監視や、会社の運用資産の大部分を流動性の高い上場証券で運用することにより管理されている。

## 保険リスク

保険リスクは主に生命保険及び障害保険に関するリスクで構成されており、以下の区分に分類される。

### リスク区分

#### 死亡リスク

死亡リスクとは、死亡の水準や推移、ボラティリティの変動によって発生する損失リスクや保険契約債務の価値の不利な変動リスクである。死亡リスクを有する契約では、死亡率が上昇することにより、保険契約債務が増加する。

#### 長寿リスク

長寿リスクとは、死亡の水準や推移、ボラティリティの変動によって発生する損失リスクや保険契約の価値の低下リスクである。長寿リスクを有する契約では、死亡率が低下することにより、保険契約債務が増加する。

#### 障害リスク及び疾病リスク

障害リスク及び疾病リスクとは、罹患及び回復の水準や推移、ボラティリティの変動によって発生する損失リスクや保険契約債務の価値の不利な変動リスクである。

## 解約・失効リスク

解約・失効リスクとは、解約、終了、更新及び解約払戻の水準やボラティリティの変動によって発生する損失リスクや保険契約債務の価値の不利な変動リスクである。

## 営業費用リスク

営業費用リスクとは、保険契約の営業費用に関する水準や推移、ボラティリティの変動によって発生する損失リスクや保険契約債務の価値の不利な変動リスクである。

## 訂料リスク

訂料リスクとは、規制要件、法環境、被保険者の健康状態の変化による定期払込保険料の改定率の水準や推移の変化によって発生する、損失リスクや保険契約債務の価値の不利な変動リスクである。

## 大災害リスク

大災害リスクとは、重大な又は例外的な事象に関連した保険料設定の重大な不確実性及び仮定の引当金設定によって発生する、損失リスクや保険契約債務の価値の不利な変動リスクである。

また、ハンデルスバンケン・リヴ・グループは事故保険に関連したリスクにもさらされている。

一方で、上記のリスクは他のリスクよりは重要であるとみなされていない。ハンデルスバンケン・リヴの保険契約の大部分は、小規模企業及び個人顧客によって締結されている。ほとんどの契約がスウェーデンで締結されているという点を除いて、保険リスクに関しては、リスクの集中は発生していない。

保険事業では、保険市場及び保険リスク並びにオペレーショナル・リスクについて、保険会社の取締役会及び最高経営責任者、当行のグループ・リスク・コントロール部、並びに最高経営責任者及び最高財務責任者に対するアドバイザーとして活動する当行のリスク委員会に報告される。

ハンデルスバンケン・リヴのコーポレート・ガバナンス体制及びリスク管理に関する詳細な情報は、ハンデルスバンケン・リヴが公表する「Gemensam rapport om solvens och finansiell ställning」(スウェーデン語のみ)に記載されており、この文書はhandelsbanken.comにて入手可能である。

## 経済資本

ハンデルスバンケンの経済資本算定モデルは、当行グループ全体のリスクに対する1つの尺度を提供しているほか、当該モデルは、高い可能性で予想外の損失又は価値の下落をカバーできる資本を示している。

グループ・リスク・コントロール部は、当行グループの様々なリスクについて総合的に監視する責任を有している。当行の経済資本(以下、「EC」という。)モデルはこの監視における手段であり、四半期ごとに取締役会に報告される当行の所要自己資本評価の一部でもある。この評価の目的は、当行グループが、当行グループのすべてのリスクに関連して、十分な資本を常に保有しておくことを確実にすることである。当行グループの見解では、経済資本は、保険事業におけるリスク及び当行の年金債務におけるリスクも含んでいる。

経済資本は、1年間の対象期間にわたって、容認可能なリスク水準及び望ましい格付を反映した信頼水準で計算される。取締役会は、経済資本の算定を当行にとって極端に不利な事象を取り込み、99.97%の信頼水準で行

われなければならないと決定している。ECは平均的な年（収益があり当行の資産価値が増加する年）における結果と99.97%の信頼水準での結果との差額である。

異なるリスク区分間への分散効果は、ECを算定する際に考慮されている。リスクの一部が相互に独立しているため、リスク全体に対する所要自己資本は、個別リスクに対する経済資本の合計を下回る。

負の結果を吸収できるバッファを形成している資本及びその他の財源は、利用可能な財源（以下、「AFR」という。）と呼ばれる。AFRは、オンバランスシート及びオフバランスシートのその他の財務的価値の他に、1年間の対象期間にわたって損失をカバーするために利用可能なハンデルスバンケンの資本である。

当行グループは、株主の観点からのリスク管理及び資本管理を採用している。経済資本モデルは当行グループの全体的な見解を示すものであり、これにより株主から見たリスク及び資本の状態を最適化することができる。計算結果は新規取引又は構造上の変更が検討される場合に重要な役割を果たしている。

信用リスクは、当行グループのすべてのカウンターパーティ及びエクスポージャーに対する債務不履行のシミュレーション結果を用いて算定される。

市場リスクは、トレーディング勘定に分類されている資産のリスク、非トレーディング勘定における金利リスク、保険事業における市場リスク及び非トレーディング勘定の所有株式におけるリスクより構成されている。

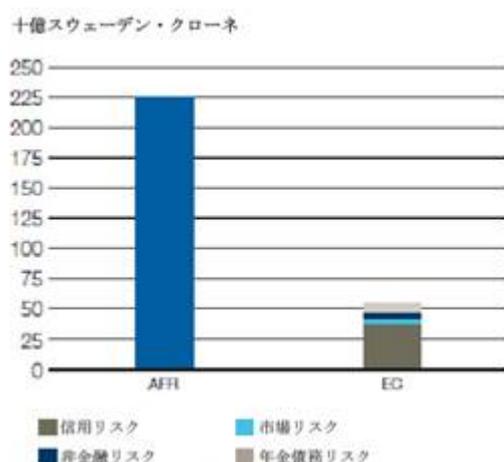
年金債務におけるリスクは、主として、当行の確定給付年金を引き受けるために存在する資産価値の減少リスク、及びこれらの年金債務の価値が金利の影響を受けるという事実により構成されている。年金債務のほとんどはスウェーデンにおけるものであり、年金基金及び職業年金組合により保険がかけられている。

他のリスクは、オペレーショナル・リスク、事業リスク、不動産リスク及び保険リスクである。事業リスクは、各事業分野における財務成績の予想外の変動に関連している。例えば、事業リスクは、需要又は競争環境が予想外に変化し、結果として取引高の低下及び利鞘の縮小につながったことにより生じる可能性がある。不動産リスクは、当行が所有している不動産価値の下落のリスクである。

当年度末において、ECは54.6(53.6)十億スウェーデン・クローネであり、このうち信用リスクが全リスクの重要な部分を占めていた。取締役会は、AFR/EC比率は120%以上とすると規定している。当年度末における比率は、413(384)%であり、当行がリスク全般に関して十分な資本を準備していることを示している。スウェーデン金融監督庁は、当行の資本評価全般について、同じ結論に至っている。

報告されたリスク及び資本状態は、リスクの算定に景気変動に対する保守主義的な余裕率が含まれているとはいえ、あくまでも断片的なものである。当行グループの自己資本比率の最終評価を実施するに当たっては、当行の資本計画の一環として実行されたストレス及びシナリオ分析も考慮されなければならない。

表AR:51 2022年におけるAFR及びECの総額と内訳



## 資本計画

ハンデルスバンケンの資本計画は、当行グループの適切な額の財源を常に利用可能な状態にすることを目的としている。

所要自己資本は、当行グループのリスク、予想される進展、規制、目標比率、ハンデルスバンケンの経済資本（以下、「EC」という。）モデル及びストレス・テストの関数である。当行の所要自己資本は週次で最高財務責任者及び最高経営責任者に報告され、少なくとも四半期ごとに取締役会に報告される。

当行には、積極的な資本計画の一環として、当行が資本状況を改善する必要がある場合に講じることができる具体的な対策を盛り込んだ危機管理計画及び行動計画がある。危機管理計画及び行動計画の目的は、早い段階で潜在的な脅威を特定し、当行グループが必要に応じて迅速に行動する準備をするための警告システムを確保することにある。

長期資本計画は、少なくとも毎年策定され、当行グループの現在の資本状況、予想される資本効率及び様々なシナリオにおける結果についての包括的な概要を提示することを目的に策定されている。これらのシナリオは、予想される事象とは大きく異なるように作成されているため、当行グループの厳格なリスク許容度と調和している。資本計画にはまた、規制上の見解及び株主の見解の双方を考慮し、極端に不利な事業環境において十分な資本水準を維持する方法についての提案も含まれている。

資本計画は、短期及び中長期的な予測に分けられている。資本計画の一部は最大2年後までの短期予測より構成されており、主に現状の業績と所要自己資本の分析に重点を置いている。当該予測は、自己資本の規模及び構成を継続的に調整可能にするために必要である。

資本計画は、取引高、リスク及び業績の変動についての継続的な分析を通じて、また所要自己資本及び資本金額に影響を及ぼす可能性のある事象を監視することによって実行される。短期予測の対象には、当行グループの自己資本を構成するすべてのサブ・コンポーネントが含まれており、また、資本要件には、規制上の最低資本要件及びバッファに加え、第二の柱の要件、レバレッジ比率の要件及び自己資本・適格債務に関する最低要件（MREL）が含まれている。当該予測作業にはまた、短期的な視点から自己資本比率及び自己資本において予想される変動についての様々な感応度分析を行うことも含まれている。したがって、当行は、例えば市場操作を通じて、必要に応じて自己資本の規模及び構成を変更する準備を整えることができる。

短期分析の結果は、実施される資本運営の基礎を形成しており、週次で最高財務責任者及び最高経営責任者に報告され、必要に応じて取締役会に報告される。当該分析は、既存の収益能力が取引高の様々な変動にいかに対処できるか、及び資本運営から生じる可能性のある影響についての近い将来における判断のポイントを伴った慎重な基本シナリオに基づくものである。

中長期的な予測より構成される資本計画の部分では、法定自己資本比率要件に確実に準拠することを目的としており、当行グループの利用可能な財源（AFR）が、ECモデルに従って計算されたすべてのリスクに関する適切な余裕率を常にカバーすることを目的としている。

また、長期的な予測にはその期間にわたる当行の全体的な資本の推移、最低資本要件、連結資本バッファ要件、第二の柱の要件、レバレッジ比率の要件及びMRELの要件の評価が含まれる。その目的は業績を予測することであり、様々なシナリオにおける当行の耐性が十分な水準にあるか否か判断することである。計画期間は最低5年間で、当行グループの事業の業績傾向全般を考慮に入れている。

基本シナリオは、長期的な資本予測の基礎を形成している。当該シナリオは利益、取引高の増加、信用損失等財政上の仮定並びに株式市場、不動産市場及び債券市場に関する今後5年間の予想される業績より取得されている。基本シナリオは、その後、いくつかの景気循環及び危機シナリオにおける結果と比較される。ストレス・シナリオは、異なるマクロ経済変数が金融市場に与えた影響の関連性を過去に遡って分析することにより

策定され、ハンデルスバンケンに最も不利な影響をもたらすと予想されるシナリオを用いて選定される。地政学的リスク、パンデミック関連の影響の長期化、インフレ、金利上昇及び事業環境の低迷などが合わさったマクロ経済情勢について、当行の視点で分析している。

2022年度末現在の普通株式等Tier1比率は19.6%(19.4)%であった。同日現在のAFR/EC比率は、413%(384)%であった。したがって、AFRは、内部所要自己資本（EC）評価額を上回る程の非常に十分な余裕をもって計上されている。

さらに、当行の強さは、ハンデルスバンケンの長期的な資本状況が財政上及び規制上の観点から非常に安定していることを示している、将来予測的な様々なストレス・シナリオの結果からも明らかである。

また資本計画では、規制動向の進展をモニタリングするとともに、新規要件による影響及び所要額を評価している。

## 規制資本に関する当行グループの目標

取締役会は、継続的に当行の資本構成に関する目標を設定している。規制資本の状況に関する所要自己資本評価の基礎は、当行の状況（長期及び短期の両方を含む）に関するストレス及びシナリオ分析である。使用するシナリオは、主に当行の内部的なリスク許容度並びに規制及びその他の公的機関による規定に由来する直接的な要件に基づいている。所要自己資本に関する内部評価に加えて、スウェーデン金融監督庁は、銀行による内部の算定数値にかかわらず、スウェーデンの銀行の目標数値が当局の算出した所要自己資本合計を下回ってはならないことを通知した。当行は、規制資本に関する目標数値を設定する際には、このことを考慮している。

取締役会の決定では、現行の規制の枠組みに基づく当行のガバナンスに最も適した測定数値である普通株式等Tier 1比率は、通常の状態下では、スウェーデン金融監督庁が当行に通知した普通株式等Tier1比率よりも1から3パーセンテージ・ポイント上回っていなければならない。その他の自己資本の階層（Tier 1自己資本比率及び総資本比率）は、それぞれの自己資本の階層について同監督庁が当行に通知した比率よりも少なくとも1パーセンテージ・ポイント上回っていなければならない。レバレッジ比率は、スウェーデン金融監督庁が当行に通知したレバレッジ比率を最低でも0.6パーセンテージ・ポイント上回っていなければならない。さらに、当行は公的機関が課す他の資本要件をすべて満たす必要がある。さらに、取締役会は、「配当水準により、自己資本比率はスウェーデン金融監督庁が通知した要件よりも1パーセンテージ・ポイント高い水準を下回ってはならない」と決定している。

当行の評価では、スウェーデン金融監督庁の規定する第4四半期末現在における普通株式等Tier1資本比率は14.5%であった。

[次へ](#)

## 注記G3 純利息収益

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
<b>利息収益</b>		
金融機関及び中央銀行への貸出金	8,873	284
一般顧客への貸出金	48,567	35,094
中央銀行への担保として適格な利付証券	1,289	306
社債及びその他の利付証券	876	279
デリバティブ商品	7,452	-1,245
その他利息収益	1,164	1,111
<b>合計</b>	<b>68,221</b>	<b>35,829</b>
金融取引による純損益に計上された利息収益の控除	814	-3
<b>利息収益合計</b>	<b>67,407</b>	<b>35,832</b>
うち、実効金利法による利息収益及びヘッジ会計デリバティブに係る利息	59,702	34,483
<b>利息費用</b>		
金融機関及び中央銀行からの預り金	-1,567	-112
一般顧客からの預金及び借入金	-8,032	-371
発行済証券	-16,595	-6,569
デリバティブ商品	-3,454	3,073
劣後負債	-1,368	-1,097
預金保証料	-332	-241
その他利息費用	-379	-232
<b>合計</b>	<b>-31,727</b>	<b>-5,549</b>
金融取引による純損益に計上された利息費用の控除	-930	-38
<b>利息費用合計</b>	<b>-30,797</b>	<b>-5,511</b>
うち、実効金利法による利息費用及びヘッジ会計デリバティブに係る利息費用	-28,276	-5,010
<b>純利息収益</b>	<b>36,610</b>	<b>30,321</b>

デリバティブ商品の行には、ヘッジ対象の資産及び負債に関連した純利息収益が含まれている。これは利息収益及び利息費用に正負双方の影響を及ぼす可能性がある。

破綻処理手数料の損益計算書上の表示変更	2021年 帳簿価額	破綻処理手数料の 表示変更	2021年 変更前帳簿価額
百万スウェーデン・クローネ			
利息費用	-5,511	930	-6,441
リスク税及び破綻処理手数料	-930	-930	
<b>合計</b>	<b>-6,441</b>	<b>-</b>	<b>-6,441</b>

2022年度第1四半期より、破綻処理手数料は利息費用ではなく、営業利益の中の個別の科目として計上されている。リスク税も同科目の一部として計上されていることから、上記の損益計算書項目の比較数値は再計算されている。

#### 注記G4 純手数料及びコミッション収益

	2022年	2021年
百万スウェーデン・クローネ		
仲介及びその他証券コミッション	455	555
ミューチュアル・ファンド	5,469	5,842
カストディ及びその他資産管理手数料	911	905
アドバイザーサービス	196	230
保険	794	803
決済	2,680	2,647
貸出金及び預金	1,146	1,155
保証	202	207
その他	546	560
<b>手数料及びコミッション収益合計</b>	<b>12,399</b>	<b>12,904</b>
証券	-218	-211
決済	-969	-1,168
その他	-108	-67
<b>手数料及びコミッション費用合計</b>	<b>-1,296</b>	<b>-1,446</b>
<b>純手数料及びコミッション収益</b>	<b>11,103</b>	<b>11,458</b>

#### セグメント別手数料及びコミッション収益

2022年	スウェーデン	英国	ノルウェー	オランダ	キャピタル・マーケット	その他	調整及び消去	合計
百万スウェーデン・クローネ								
仲介及びその他証券コミッション	179	3	17	10	242	16	-12	455
ミューチュアル・ファンド	4,715	338	244	61	10	191	-90	5,469
カストディ及びその他の資産管理手数料	654	31	115	79	41	1	-11	911
アドバイザーサービス	0	48	1	-	194	-38	-8	196
保険	777	0	17	-	-	1	-1	794
決済	2,089	310	275	1	14	-10	0	2,680
貸出金及び預金	764	123	96	10	34	119	-1	1,146
保証	102	15	46	1	40	1	-3	202
その他	525	6	5	1	323	5	-319	546
<b>手数料及びコミッション収益合計</b>	<b>9,805</b>	<b>874</b>	<b>815</b>	<b>163</b>	<b>898</b>	<b>287</b>	<b>-444</b>	<b>12,399</b>

## セグメント別手数料及びコミッション収益2021年

百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン	英国	ノルウェー	オランダ	キャピタル・マーケット	その他	調整及び消去	合計
仲介及びその他証券コミッション	258	7	21	7	280	-4	-14	555
ミューチャル・ファンド	5,008	317	259	135	14	209	-100	5,842
カストディ及びその他の資産管理手数料	658	33	108	73	44	3	-14	905
アドバイザーサービス	2	46	0	-	215	-7	-26	230
保険	779	0	24	-	0	0	0	803
決済	2,128	270	239	2	16	-8	0	2,647
貸出金及び預金	752	122	89	18	47	127	0	1,155
保証	100	16	42	1	51	-	-3	207
その他	540	5	4	0	259	2	-250	560
<b>手数料及びコミッション収益合計</b>	<b>10,225</b>	<b>816</b>	<b>786</b>	<b>236</b>	<b>926</b>	<b>322</b>	<b>-407</b>	<b>12,904</b>

手数料及びコミッション収益は顧客との契約から生じる収益である。仲介及びその他証券コミッション、アドバイザーサービス、決済、貸出金及び預金から生じる収益は通常、サービスの提供時となる特定の時点で認識される。決済にはクレジットカードの発行及び取得も含まれる。ミューチャル・ファンド、カストディ及びその他の資産管理手数料、保険並びに保証から生じる収益は通常、サービスの提供時となるサービス提供期間にわたり定額法で認識される。

## 運用資産

十億スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
ミューチュアル・ファンド (PPM及びユニットリンク保険を除く)	602	718
PPM	67	74
ユニットリンク保険	178	197
除外：外部ファンド	-2	-2
<b>ミューチュアル・ファンド合計</b>	<b>845</b>	<b>987</b>
仕組商品	2	3
ポートフォリオ・ボンド保険	45	50
除外：ハンデルスバンケンのミューチュアル・ファンド及び仕組商品	-24	-25
従来型保険	6	7
除外：ハンデルスバンケンのミューチュアル・ファンド及び仕組商品	-6	-6
裁量権を有する機関投資家向け資産 (保険を除く)	317	360
除外：ハンデルスバンケンのミューチュアル・ファンド及び仕組商品	-270	-301
<b>運用資産合計 (保護預り証券を除く)</b>	<b>915</b>	<b>1,075</b>
保護預り証券勘定 (ミューチュアル・ファンドを除く)	614	908
保護預り証券勘定 (ハンデルスバンケンに関連する基金向けのミューチュアル・ファンドを除く)	37	50

## 注記G5 金融取引による純損益

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
償却原価で計上	65	300
うち、貸出金	35	396
うち、利付証券	-	-
うち、発行済証券	30	-96
その他包括利益を通じて公正価値で計上	-1	0
うち、予想信用損失	-1	0
純損益を通じて公正価値で計上、公正価値オプション	-4,710	-900
うち、利付証券	-4,710	-900
純損益を通じて公正価値で計上(強制)(外貨換算影響額を含む)	6,292	2,347
ヘッジ会計	-80	0
うち、公正価値ヘッジに係る純損益	-29	7
うち、キャッシュフロー・ヘッジの非有効部分	-51	-7
保険契約の金融部分に係る損益	-455	-48
<b>合計</b>	<b>1,111</b>	<b>1,699</b>

「純損益を通じて公正価値で測定、公正価値オプション」として計上された金融資産の、当初認識時からの信用リスクの変動による価値変動累計額は-158(-166)百万スウェーデン・クローネであった。

**注記G6 保険リスク**

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
保険料収入	489	498
支払保険金	-341	-332
未払保険金の変動	9	-8
その他	19	21
<b>合計</b>	<b>176</b>	<b>179</b>

**注記G7 その他収益**

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
賃料収入	19	34
その他営業収益 <sup>1</sup>	1,227	521
<b>合計</b>	<b>1,246</b>	<b>555</b>

1) 2022年度第1四半期にスウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーは不動産保有子会社を売却した。この売却により、2022年度にはその他営業収益に対し1,059百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。2021年度第4四半期にスウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーはアクワイアリング事業を売却した。この売却により、2021年度にはその他営業収益に対し408百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。

**注記G8 人件費**

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
給与及び報酬	-8,527	-8,196
社会保障費	-2,240	-2,049
年金費用 <sup>1</sup>	-1,698	-1,849
利益分配制度に対する準備金	-196	-69
その他人件費	-442	-289
<b>合計</b>	<b>-13,103</b>	<b>-12,452</b>

1) 年金費用の構成要素は、年金費用の表に示されている。

**給与及び報酬**

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
執行役員 <sup>2</sup>	-161	-113
その他	-8,366	-8,083
<b>合計</b>	<b>-8,527</b>	<b>-8,196</b>

2) 親会社の執行役員及び取締役並びに子会社の最高経営責任者、副最高経営責任者及び取締役（平均で57名）。

デンマーク及びフィンランドの非継続事業に係る人件費は、注記G14に表示されている。

**男女別分布**

%	2022年		2021年	
	男性	女性	男性	女性
執行役員（取締役を除く）	66	34	71	29

うち親会社	60	40	70	30
うち子会社	70	30	71	29
取締役	60	40	65	35
うち親会社	46	54	50	50
うち子会社	62	38	68	32

平均従業員数	2022年	男性	女性	2021年	男性	女性
スウェーデン	6,911	3,350	3,561	6,984	3,372	3,612
英国	2,658	1,490	1,168	2,667	1,512	1,155
ノルウェー	819	424	395	801	414	387
オランダ	382	243	139	361	231	130
米国	53	31	22	55	34	21
中国	0	0	0	16	8	8
ルクセンブルグ	50	24	26	47	25	22
シンガポール	1	1	0	5	1	4
ドイツ	2	1	1	21	9	12
ポーランド	15	4	11	16	4	12
その他諸国	63	27	36	66	28	38
<b>合計</b>	<b>10,954</b>	<b>5,595</b>	<b>5,359</b>	<b>11,039</b>	<b>5,638</b>	<b>5,401</b>

デンマーク及びフィンランドの非継続事業に係る平均従業員数は、注記G14に表示されている。

### 百万ユーロを超える報酬<sup>1</sup>

人数	2022年	2021年
1.0-1.5百万ユーロ	1	2
1.5-2.0百万ユーロ	1	1
2.0-2.5百万ユーロ	-	-
2.5百万ユーロ超	-	-
<b>合計</b>	<b>2</b>	<b>3</b>

1) 年金及びその他の給与手当を含む。

### 特定職員<sup>3</sup>に対する報酬<sup>2</sup>、事業セグメント

	2022年		2021年	
	報酬	人数	報酬	人数
百万スウェーデン・クローネ				
スウェーデンにおける支店業務	443	306	498	377
英国における支店業務	283	179	400	253
ノルウェーにおける支店業務	128	56	113	59
オランダにおける支店業務	74	46	71	48
キャピタル・マーケット	124	30	188	59
非継続事業 <sup>4</sup>	250	105	170	107
その他	384	139	321	131
<b>合計</b>	<b>1,686</b>	<b>861</b>	<b>1,761</b>	<b>1,034</b>

特定職員<sup>3</sup>に対する報酬<sup>2</sup>

	2022年		2021年	
	経営幹部 <sup>5</sup>	その他の 特定職員	経営幹部 <sup>5</sup>	その他の 特定職員
固定報酬稼得額 (百万スウェーデン・クローネ)	118	1,484	74	1,630
業績連動型変動報酬稼得額 (百万スウェーデン・クローネ)	-	-	-	-
その他の変動報酬稼得額 (百万スウェーデン・クローネ)	0	84	0	57
<b>合計</b>	<b>118</b>	<b>1,568</b>	<b>74</b>	<b>1,687</b>
固定報酬のみの人数	-	20	-	-
固定報酬及び業績連動型報酬の双方の受給が可能な人数	-	-	-	-
固定報酬及び変動報酬の双方の受給が可能な人数	16	825	11	1,023
<b>合計人数</b>	<b>16</b>	<b>845</b>	<b>11</b>	<b>1,023</b>
新規雇用に関連する費用として認識される変動報酬保証額 (百万スウェーデン・クローネ)	-	-	-	-
新規雇用に関連する費用として認識される契約上の変動報酬保証額 (百万スウェーデン・クローネ)	-	-	-	-

- 2) 稼得された報酬は、年金及びその他給付を含め、全額費用として認識されている。業績連動型変動報酬は、当行の変動報酬に関する方針に従って、稼得が決まった後の事業年度に個人単位で割り当てられ、支払われ、又は繰延べられる。職務内容から特定職員と認定された中で、2022年と2021年のいずれの年度にも業績連動型変動報酬を稼得した従業員はいなかった。2022年度において、報酬水準から特定職員と識別された従業員は2名であった。2022年度に稼得された業績連動型変動報酬の支払いは、2023年度に行われる予定である。すべての業績連動型変動報酬は現金又は金融商品で支払われ、当該金額から社会保障費は除かれている。繰延報酬の処分権は支払時に従業員に移転する。その他の変動報酬は、オクトゴーネン利益分配制度からの支給と解雇給付である。オクトゴーネン利益分配制度からの報酬の支給は8(14)百万スウェーデン・クローネであり、当該金額から社会保障費は除かれている。当年度の契約における解雇給付の総額は76(43)百万スウェーデン・クローネであり、個人に支払われた最高額は7.2(4.0)百万スウェーデン・クローネであった。当年度中に、特定職員12(47)名に対する解雇給付17(67)百万スウェーデン・クローネが支払われた。変動報酬保証額の支給はなかった。
- 3) 当行のリスク・プロファイルに大きな影響を及ぼす職務を担う従業員 (委員会委任規則(EU)923/2021)。報酬方針が他のEU規則又はスウェーデン金融監督庁が発表した他の規則の対象となる、変動報酬を受ける特定職員又は他の特別指定従業員が子会社にいる可能性がある。
- 4) デンマーク及びフィンランドの非継続事業。
- 5) スウェーデン金融監督庁の規則 (FFFS 2011年第1号) に基づく。

## 従業員給付

ハンデルスバンク・グループのすべての従業員への報酬に関する方針についての詳細な情報は、コーポレート・ガバナンス・レポートの85ページ（訳注：ハンデルスバンクの2022年の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）に記載されている。

スウェーデン金融監督庁規則FFFS 2011年第1号並びに欧州委員会委任規則575/2013及び923/2021に従い、銀行は、そのリスク・プロファイルに大きな影響を与える専門的な職務を行う従業員を特定する必要がある。ハンデルスバンクはこのような職務を行う従業員861(1,034)名を特定し、「特定職員」に指定している。上述の規定の開示要件に準拠したハンデルスバンク・グループのこれらの特定職員に対する報酬が、上表に記載されている。2022年に、ハンデルスバンク・グループには、当行のリスク・プロファイルに大きな影響を及ぼす職務を負っている従業員のうち、業績連動型変動報酬を受給した従業員はいなかった。

2022年度には、ハンデルスバンクはオクトゴーネン利益分配制度に212(88)百万スウェーデン・クローネを引き当てた。

## オクトゴーネン利益分配制度

オクトゴーネン利益分配制度は、ハンデルスバンク・グループの全従業員を対象としており、本制度は変動報酬に分類され、ハンデルスバンクの企業目標の達成に連動する収益性指標と、当行の業績に関する取締役会の総合評価に基づいて決定される。支給は主として従業員に対する現金で行われるか、又は年金制度、貯蓄制度若しくはその両者の組み合わせで行われる。

## 株式報酬

ハンデルスバンク・ピーエルシーの全従業員は、適用される英国法に基づき、株式報酬プログラム（「SIP」）の対象となっている。本制度の報酬は、親会社であるハンデルスバンク・エイ・ビーの株式という形式で決済される。SIPでは、英国を拠点とする信託が会社の代わりに株式報酬プログラムを管理することが要求されているため、信託が設立されSIP受託人が管理している。信託は株式を取得し、従業員に割り当て、その後は従業員に代わって割り当てられた株式を保有している。従業員に割り当てられた株式は、従業員への課税を回避するため、SIPで年間以上にわたって権利確定するものとし、権利確定期間中に受け取る配当金は、従業員に発生する。

SIPへの割当条件と収益条件はオクトゴーネン利益分配制度と同じであることから、対象期間は前年度である。「ハンデルスバンクにおける報酬原則」の項を参照のこと。ハンデルスバンク・ピーエルシーの取締役会は、株式報酬プログラムへの最終的な配分を決定する。2022年度には、25.0(37.5)百万スウェーデン・クローネの株式報酬が2021年度に係る費用として計上され、資本の増加として認識されている。当行の株式報酬費用は、その後変更することはできない。

この支払は、信託がハンデルスバンク・エイ・ビーの株式282,108(395,865)株を1株当たり平均市場価格88.8(97.3)スウェーデン・クローネで市場から買い入れることで決済され、株式は従業員に割り当てられた。当行グループにとっては、ハンデルスバンク・エイ・ビーの株式の取得は自己株式の買戻しに相当し、資本が減少した。持分変動計算書を参照のこと。

## 執行役員に対する報酬

ハンデルスバンケンの執行役員は、取締役、最高経営責任者、副最高経営責任者、最高リスク責任者、最高コンプライアンス責任者及びその他の経営幹部である。コーポレート・ガバナンス報告書88ページから91ページも参照のこと（訳注：ハンデルスバンケンの2022年の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）。親会社の執行役員に対する報酬は、2022年年次株主総会で策定された報酬に関するガイドラインに従っている。86ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2022年の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）も参照のこと。

ハンデルスバンケンの執行役員に対する報酬、年金債務、与信及び預り金は、これらのページに記載されている。また、子会社の最高経営責任者、副最高経営責任者及び取締役もこれに含まれる。

ハンデルスバンケン・グループの執行役員に対する報酬は固定給及び年金給付の形式のみで支給されるが、社用車等の慣習的な給付もある。取締役会の特別決議に基づき、当行は報酬の一部として住宅を提供することができる。当執行役員は、当行の全従業員と同じ条件でオクトゴーネン利益分配制度の対象となっている。業績連動型変動報酬の支給は行われず、当行の従業員である執行役員は、すべての従業員と同じ条件で給与を年金に転換する権利も有している。

当行の従業員でもなく当行の子会社の従業員でもない取締役は、年次株主総会の決議に従った報酬のみを受け取る。

当行又は当行の子会社の従業員である取締役は、雇用の事由により報酬及び年金給付を受け取る。取締役を務めることによって追加的に報酬も年金給付も支給されることはない。親会社の取締役に対する報酬については、コーポレート・ガバナンス報告書の88ページから91ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2022年の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）に記載されている。

執行役員に関する以下の報酬情報において当行が記載した年金費用は、IAS第19号に準拠した確定給付年金に関する勤務費用、確定拠出年金に関して合意された保険料、及び給与から転換された年金保険料で構成される。

当行を代表して他の会社の取締役を務めたことによる外部報酬は、当行に支払われている。

## 最高経営責任者、副最高経営責任者、経営幹部及び統制部門長に対する報酬

(百万スウェーデン・クローネ)	固定報酬		変動報酬		年金費用、確定給付制度及び確定拠出制度		年金費用を含む固定報酬及び変動報酬		報酬合計に占める固定報酬の割合			
	基本給		手当		2022年	2021年	2022年	2021年	2022年	2021年		
	2022年	2021年	2022年	2021年								
<b>最高経営責任者</b>												
カリナ・オーケストレーム <sup>1</sup>	14.0	13.3	0.6	0.5	0.0	0.0	4.9	4.6	19.5	18.4	100%	100%
<b>副最高経営責任者</b>												
カール・セダーシオルド <sup>2,3</sup>	7.3	6.4	0.2	0.1	0.0	0.0	2.1	2.1	9.6	8.6	100%	100%
ペール・ベックマン <sup>4</sup>	6.3	6.2	0.3	0.3	0.0	0.0	3.6	4.3	10.2	10.8	100%	100%
<b>経営幹部及び統制部門の他のメンバー<sup>5</sup></b>	53.9	25.7	4.0	1.5	0.1	0.1	12.5	8.2	70.5	35.5	100%	100%
平均人数：												
最高経営責任者、副最高経営責任者、経営幹部及び統制部門	15	10										
12月現在の人数：												
最高経営責任者、副最高経営責任者及び統制部門	15	10										

年金費用とは、IAS第19号に準拠し、確定給付年金制度に基づいて積み立てた年金、又は確定拠出年金制度に備えて支払った保険料をいう。積み立てられた確定給付年金は権利確定され、当行の年金基金又は当行の年金基金で確保される。退職年齢より前に退職する場合には、積み立てられた確定給付年金に係る払込済保険及び/又は稼得済みの確定拠出年金を受け取る。オクトゴーネン利益分配制度の形式による変動報酬の支給が2022年度に実施された。地方税及び社会保障費控除前の金額は、従業員一人当たり10,965 (16,742)スウェーデン・クローネであった。

- 最高経営責任者に就任以降は給与の35%を確定拠出年金として受給する。定年は65歳である。従前に権利確定した確定給付年金は払込済保険契約として受け取る。
- 2021年2月2日に副最高経営責任者に就任した。
- 労働協約に基づく確定給付年金と、確定拠出年金（所得基準額が30を上回る部分については給与の30%を上限とする）を受給している。定年は65歳であり、確定給付年金は定年時に権利が確定する。
- 60歳時給与の65%を確定給付年金として受給し、給与の2%を年金拠出とする。確定給付型年金は権利が確定している。2022年11月以降は給与の30%を確定拠出年金として受給する。
- 当行の他の執行役員は、労働協約に基づく確定給付年金又は確定拠出年金と確定拠出年金（給与の35%を上限とする）を受給している。ただし、給与総額の35%を年金額の上限とする執行役員1名と、年金を稼得しない執行役員1名を除く。定年は65歳（執行役員1名は67歳）であり、確定給付年金は定年時に完全に権利が確定する。基本給及び年金額は給与控除前の金額である。他の経営幹部及び統制部門長のうち、2名が2.1百万スウェーデン・クローネの給与を年金に切り替えている。

## 子会社の執行役員に対する報酬

子会社の取締役のうち当行の従業員でも当行の子会社の従業員でもない者19(16)名に対する報酬は、11.1(8.0)百万スウェーデン・クローネであった。

2022年に、子会社の最高経営責任者<sup>1</sup>及び副最高経営責任者である17(14)名は、年金への切り替え後で57.9(46.5)百万スウェーデン・クローネの固定給を受領した。その他給付は3.9(3.3)百万スウェーデン・クローネで、当行の年金費用は6.2(6.2)百万スウェーデン・クローネであった。年金への切り替え前の年

金費用は4.9(5.6)百万スウェーデン・クローネであり、給与の8.3(12.0)%に相当した。オクトゴーネン利益分配制度の形式による変動報酬は0.1(0.2)百万スウェーデン・クローネであった。

子会社の最高経営責任者及び副最高経営責任者のうち、主要業務がハンデルスバンケンにおける他の役割である者には、報酬は支給されていない。

1)ハンデルスバンケン・ピーエルシーの最高経営責任者も経営幹部の一員である。

## 執行役員に対する年金債務

2022年12月31日現在、最高経営責任者であるカリナ・オーケストレーム氏が最高経営責任者に就任する以前に稼得し、払込済となった年金債務<sup>2</sup>は76.5(92.3)百万スウェーデン・クローネであった。2022年12月31日現在、副最高経営責任者であるパー・ベックマン氏に対する年金債務は、89.0(114.7)百万スウェーデン・クローネであり、その他の親会社の業務執行取締役13(8)名に対する年金債務は、107.4(72.2)百万スウェーデン・クローネであった。

2022年12月31日現在、ハンデルスバンケン・グループの現在及び過去の執行役員に対する年金債務合計は、2,485(2,722)百万スウェーデン・クローネであった。そのうち2022年12月31日現在、親会社の現在及び過去の執行役員に対する年金債務合計は、2,332(2,544)百万スウェーデン・クローネであった。当行グループのこれらの債務の対象となる人数は91(89)名であり、そのうち68(71)名は年金受給者である。これに該当する親会社的人数は76(74)名であり、そのうち61(64)名は年金受給者である。

2) 年金債務とは、IAS第19号に従って、当行が将来の確定給付年金の支払いに備えて引き当てている金額である。その債務の規模は財務上及び人口統計上の仮定の変動に応じて毎年変わる可能性がある。

## 執行役員への与信及び執行役員からの預金

2022年12月31日現在、執行役員への与信額は、親会社で16.8(1.3)百万スウェーデン・クローネ、子会社で136.5(98.4)百万スウェーデン・クローネであった。親会社のこれらの人員からの預金額は、合計で664.7(263.1)百万スウェーデン・クローネであった。2022年のこれらの人員に対する与信に係る当行の利息収益は、親会社で合計0.0(0.0)百万スウェーデン・クローネ、子会社で合計1.8(1.2)百万スウェーデン・クローネであった。親会社のこれらの人員からの預金に係る利息費用は、3.7(0.9)百万スウェーデン・クローネであった。

2022年12月31日現在、ハンデルスバンケン・グループの子会社の執行役員に対する与信額は、149.4(104.8)百万スウェーデン・クローネであった。

ハンデルスバンケン・グループに雇用されている執行役員への与信及び執行役員からの預金の契約条件は、ハンデルスバンケン・グループの他の全従業員と同じ方針に従ったものである。すべての与信は、与信評価の対象となる。

## 年金

### 正味年金債務

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
年金債務	26,419	34,841
制度資産の公正価値	39,294	43,607
<b>正味年金</b>	<b>12,875</b>	<b>8,766</b>

上表の確定給付年金債務及び制度資産に加えて、1989年から2004年までの期間においては、スウェーデン・ハンデルスバンケンPensionsstiftelse(年金基金)の特例付加年金(SKП)に対する引当金が計上され

た。この引当金には、市場価値が7,847(8,948)百万スウェーデン・クローネである制度資産が含まれている。この特例付加年金によって、当行はその制度資産と同額の債務を負担することになっている。

この債務のうち、5,871(6,694)百万スウェーデン・クローネは条件付債務である。

#### 年金費用

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
勤務費用	-708	-947
過去勤務費用	0	0
年金債務に係る利息	-721	-563
制度資産に係る利息	913	597
清算及び縮小による利益及び損失	0	0
社会保障負担額、確定給付年金制度 <sup>1</sup>	-152	0
<b>年金費用、確定給付年金制度</b>	<b>-668</b>	<b>-913</b>
年金費用、確定拠出年金制度 <sup>2</sup>	-747	-674
社会保障費、確定拠出年金制度 <sup>2</sup>	-283	-262
<b>年金費用合計</b>	<b>-1,698</b>	<b>-1,849</b>

1) 2022年度に当行が年金基金に対し年金費用の払戻を請求しないと決定したことにより、確定給付年金制度に対する特別給与税として152百万スウェーデン・クローネの費用が発生した。注記P40を参照のこと。

2) デンマーク及びフィンランドの非継続事業に係る年金費用は、注記G14に表示されている。

#### 年金債務

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
期首残高	34,841	37,761
勤務費用	776	988
過去勤務費用	0	0
年金債務に係る利息	721	563
給付金支払額	-1,051	-1,062
清算及び縮小による利益及び損失	0	0
数理計算上の利益(-)/損失(+)	-8,950	-3,725
外貨換算影響額	82	316
<b>期末残高<sup>3</sup></b>	<b>26,419</b>	<b>34,841</b>

3) 2022年12月31日現在の期末残高には、2023年度に関する10.84%のヘッジがスウェーデンの年金債務の計算に含まれている。決定されたヘッジを含めた影響により、2022年12月31日現在の年金債務は2,335百万スウェーデン・クローネ増加した。

#### 制度資産

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
期首残高	43,607	39,766
過去勤務費用	-	-
制度資産に係る利息	913	597
雇用主の拠出による積立金	974	871

雇用主に対する報酬	-57	-674
清算及び縮小による利益及び損失	0	0
従業員に直接支払われる積立金	-343	-329
数理計算上の利益(+)/損失(-)	-5,901	3,095
外貨換算影響額	101	281
<b>期末残高</b>	<b>39,294</b>	<b>43,607</b>

**制度資産に係る収益**

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
制度資産に係る利息	913	597
数理計算上の利益(+)/損失(-)	-5,901	3,095
<b>実際の収益</b>	<b>-4,988</b>	<b>3,692</b>

**制度資産の配分**

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
活発な市場における株式及びファンドユニット <sup>4</sup>	28,690	33,269
活発な市場に上場していない株式	2,163	1,709
活発な市場に上場している利付証券	6,518	7,595
その他制度資産	1,923	1,034
<b>合計</b>	<b>39,294</b>	<b>43,607</b>

4) ファンドユニットは21,649(21,299)百万スウェーデン・クローネであり、そのうち債券ファンドは17,093(16,287)百万スウェーデン・クローネである。

制度資産には、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの株式が含まれており、貸借対照表日である2022年12月31日現在の市場価値は-(-)百万スウェーデン・クローネである。スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトが発行した債券は制度資産には含まれていない。2022年12月31日現在、その他制度資産には流動性資金が含まれている。2021年12月31日現在、この金額には流動性資金と年金基金から未払報酬に関する負債が含まれている。

**数理計算上の利益(-)/損失(+)、年金債務**

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
人口統計上の仮定の変更	-459	219
財務上の仮定の変更	-11,006	-3,873
実績に基づく調整	2,515	-71
<b>合計</b>	<b>-8,950</b>	<b>-3,725</b>

**将来キャッシュ・フロー**

百万スウェーデン・クローネ	2022年実績	2023年予測
給付金支払額	-1,051	-1,134
雇用主の拠出による積立金	974	1,014

確定給付年金は、主としてスウェーデンの従業員に対して支払われる。正味年金債務の合計のうち、スウェーデンの制度は24,488(31,681)百万スウェーデン・クローネ、英国の制度（新規の積立を終了）は1,864(3,089)百万スウェーデン・クローネである。また、ノルウェーにも小規模の確定給付年金制度があるが、規模の面から重要性はないとみなされるため、詳細な開示は行っていない。

制度資産総額のうち、スウェーデンの制度資産は37,339(40,437)百万スウェーデン・クローネであり、1,955(3,170)百万スウェーデン・クローネが英国で廃止された年金制度によるものである。

スウェーデンでは、スウェーデン銀行雇用主協会（以下、「BA0」という。）とスウェーデン金融セクター組合/スウェーデン専門職連盟との年金契約に従って、65歳から退職年金が支給される。年金額は、所得基準額が7.5までは年収の10%、所得基準額が7.5から20の給与部分については65%、所得基準額が20から30の給与部分については32.5%である。所得基準額が30を上回る給与部分については、退職年金は支給されない。2020年3月1日以降、すべての新入社員及び25歳未満の従業員は確定拠出年金制度の対象であるが、2020年3月1日より前に雇用された従業員はこの影響を受けず、引き続き確定給付年金制度の対象となっている。

年金制度は、外部で積立が行われている。すなわち、制度資産は年金基金、信託会社又は類似の法人が保有している。信託会社（又は同等の機関）の活動は、当行グループと制度資産を運用している信託会社（又は同等の機関）との関係に適用される国内法及び実務慣行、並びに制度資産の投資方法に関する枠組みによって規制されている。スウェーデンでは年金債務法及び企業年金制度に関する法律が主な国内法及び慣行として適用される。英国では年金及び課税に関する国内法令が適用される。

重要な仮定	スウェーデン		英国	
	2022年	2021年	2022年	2021年
割引率（%）	4.2	2.1	4.9	1.8
予想昇給率（%）	3.5	3.5		
年金指標（%）	2.0	2.0	3.0	3.3
所得基準額（%）	3.0	3.0		
インフレ率（%）	2.0	2.0	3.2	3.5
離職率（%）	5.0	4.0		
退職時の年齢を基準にした平均余命（年）	23.1	23.1	24.0	24.0
平均デュレーション（マコーリー）（年）	14.1	17.3	15.0	19.0

将来の昇給率やインフレ率等の仮定は長期予測トレンドに基づいている。当行のスウェーデンの年金債務の満期は約17年であり、仮定においてこれを考慮している。長期的な経済見通しを反映し、内部的に整合がとれたものとなっている。

#### 確定給付年金債務への影響

感応度分析	確定給付年金債務の増加		確定給付年金債務の減少	
	百万スウェーデン・クローネ		百万スウェーデン・クローネ	
	2022年	2021年	2022年	2021年
仮定の変化				

割引率 (%)	0.5	2,021	3,201	-1,801	-2,998
予想昇給率 (%)	1.0	433	1,638	-1,080	-1,369
年金指標 (%)	0.5	1,273	1,875	-1,187	-1,742
退職時の年齢を基準にした平均余命 (年)	1.0	793	1,238	-800	-1,232

上表の感応度分析は、1つの仮定が変化し、それ以外の仮定がすべて一定であることを前提としている。実務上このような場合が起こる可能性は低く、一部の仮定の変化には相関関係がある可能性がある。確定給付年金債務の重要な数理計算上の仮定に対する感応度を計算する際には、貸借対照表に認識される年金負債を計算する際と同様の手法を適用している。その手法は、会計方針（注記G1のセクション20を参照）に記載されている。2021年度の年次報告書と比較して、感応度分析を作成する際に用いた手法は変更されていない。

当行は、確定給付年金制度において、いくつかのリスクにさらされている。そのうち、最も重要なリスクは以下のとおりである。

**資産のボラティリティ**：制度負債は、社債利回りを参照して設定される割引率を用いて計算されている。制度資産の運用実績がこの利回りを下回る場合、制度資産には余剰価値があることから、債務超過に陥るリスクは低い。制度資産には、短期的にはボラティリティ及びリスクを伴うが、長期的には社債利回りを上回る程の実績が見込める株式及びエクイティ・ファンドが含まれている。制度負債は長期的な性質を有していることから、当行は、株式投資の比率を高くすることが当行の長期にわたる年金制度の効率的運用のために戦略上適切であると考えている。

**社債利回りの変動**：社債利回りが減少すると、その減少の一部は年金制度で保有する社債の価値の増加によって相殺されるものの、制度負債が増加することになる。

**インフレ・リスク**：年金債務はインフレ率と連動しており、インフレ率が上昇すると負債は増加することになる。制度資産の評価額はインフレ率による直接の重大な影響を受けることはない。すなわち、インフレ率が上昇すると、制度資産の赤字幅もおそらく拡大することになる。

**平均余命**：年金制度は、加入者の生涯にわたって給付を提供するためのものである。したがって、平均余命が延びると、年金債務は増加することになる。

**資産負債マッチング(ALM)**：制度資産の構成は、年金債務の構成及び予想される推移と整合している。ALMの全般的な目標は、中長期にわたって、少なくとも年金債務の推移に対応できる程の運用収益を生み出すことである。制度資産の一部を株式へ投資しているが、固定利付商品や現金への投資も行われている。株式をかなりの割合で保有することが、年金制度の効果的な運用のために適切であると考えている。

**拠出額に関する取決め**：最低拠出額に関する規定は制度によって異なるが、この規定が団体契約又は内部方針に基づく場合、現地の規定に従って測定される年金債務は原則として全額カバーされる。拠出額の水準は、定期的に監視されている。当行は、現行の拠出率は妥当であると考えている。

[次へ](#)

## 注記G9 その他費用

	2022年	2021年
百万スウェーデン・クローネ		
不動産及び建物設備	-599	-545
外部IT費用	-2,963	-2,188
通信費	-255	-257
旅費及びマーケティング費用	-236	-128
購入したサービス	-1,836	-1,884
備品費	-170	-140
その他管理費用	-484	-435
<b>合計</b>	<b>-6,543</b>	<b>-5,577</b>

	プライスウォーターハウス コーパース・エイ・ビー		アーンスト・アンド・ ヤング・エイ・ビー	
	2022年	2021年	2022年	2021年
百万スウェーデン・クローネ				
監査業務	-34	-4	-10	-26
当該監査業務以外の監査上の業務	-6	0	-1	-2
税務アドバイス	-	-	0	0
その他サービス	-	-	-	-

## 注記G10 信用損失

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
<b>貸借対照表項目に係る予想信用損失</b>		
ステージ3に分類された貸出金に対する当年度の引当金	-182	-403
ステージ3に分類された貸出金に対する引当金の、 過年度に他のステージに分類された貸出金に対する引当金の戻入	223	173
<b>ステージ3に分類された貸出金に対する予想信用損失合計</b>	<b>41</b>	<b>-230</b>
ステージ2に分類された貸出金に対する当年度の引当金純額	-99	188
ステージ1に分類された貸出金に対する当年度の引当金純額	-109	-9
<b>ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対する 当年度の予想信用損失合計</b>	<b>-207</b>	<b>179</b>
<b>貸借対照表項目に係る予想信用損失合計</b>	<b>-166</b>	<b>-51</b>
<b>オフバランスシート項目に係る予想信用損失</b>		
ステージ3に分類されたオフバランスシート項目に対する 当年度の引当金純額	11	26
ステージ2に分類されたオフバランスシート項目に対する 当年度の引当金純額	-31	11
ステージ1に分類されたオフバランスシート項目に対する 当年度の引当金純額	-4	-18
<b>オフバランスシート項目に係る予想信用損失合計</b>	<b>-25</b>	<b>19</b>
<b>償却</b>		
当年度の実際の信用損失 <sup>1)</sup>	-738	-363
ステージ3に分類された貸出金に対する従前の引当金の取崩	636	281
<b>償却合計</b>	<b>-102</b>	<b>-82</b>
回収	245	71
<b>正味信用損失</b>	<b>-47</b>	<b>-43</b>
うち、一般顧客への貸出金	-26	-65
1) 当年度の実際の信用損失のうち、222(105)百万スウェーデン・クローネが強制執行の対象となる。		
百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
<b>1) ステージ3に分類された貸借対照表項目及びオフバランスシート項目に係 る予想信用損失</b>	<b>52</b>	<b>-204</b>
<b>ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対するモデルベースの引当金 の変動額</b>		
マクロ経済シナリオ及びリスク要因の更新	-104	45

影響を受けた業種のエクスポージャーのステージ1からステージ2への振替 <sup>1</sup>	10	2
ポートフォリオのデフォルトリスクの変動(格付の正味変動)	-1	-36
エクスポージャーの変動の影響(既存/新規/終了したエクスポージャー)	40	49
ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対する その他の予想信用損失	-69	128
除外：非継続事業	4	-13
<b>ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対するモデルベースの信用損失</b>	<b>-120</b>	<b>175</b>
<b>エキスパートベースの引当金</b>		
エキスパートベースの引当金	-646	-577
除外：非継続事業	25	78
継続事業におけるエキスパートベースの引当金	-621	-499
ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対する エキスパートベースの信用損失(前年度と比較した引当金の変動)	-122	-3
<b>2) ステージ1及びステージ2に分類された貸借対照表項目及び オフバランスシート項目に係る予想信用損失</b>	<b>-242</b>	<b>172</b>
<b>3) 償却</b>	<b>-102</b>	<b>-82</b>
<b>4) 回収</b>	<b>245</b>	<b>71</b>
<b>正味信用損失(1+2+3+4)</b>	<b>-47</b>	<b>-43</b>

## 1) 信用リスクの著しい増大に関するエキスパートベースの評価

2022年において引当必要額が増加した。これは主に、GDPが減少した一方、インフレ率と金利が昨年度末の予想に比べ上昇したという、将来予測的なマクロ経済上のリスク要因に関する数値を更新したことである。また、その他多数の要因が重なり、当年度において引当必要額がさらに微増した。

2020年から2021年にかけて、当行のリスクモデルで十分に考慮されていないと評価された新型コロナウイルス感染症(Covid-19)のパンデミック関連のリスクに対して、当行はエキスパートベースの引当金を適用した。この引当金は、当行の顧客の返済能力に及ぼし得るパンデミックの残存する影響が、当行の内部リスク格付による個別引当額に反映されていると考えられるようになったことから、当年度中に戻し入れている。

当年度において、当行は、当行のリスクモデルでは十分に考慮されていないと考えられる不確実性要因に関連する信用リスクの上昇を踏まえて、エキスパートベースの引当金を適用した。これらの不確実性要因は主に、ウクライナでの戦争をはじめとした不安定な国際情勢によるものであり、特定のセクターにおけるサプライチェーンの広範な混乱、投入財とエネルギー供給の不足及び労働力不足などを招いている。年度末時点において、上述の不確実性が信用リスクに与える影響を個々の企業レベルで見積もることが難しく、これらの要因の動向には高い不確実性があることから、需給の混乱による影響を特に受けやすいリスクがあるセクターにエキスパートベースのストレスを適用した。このストレスは、モデルベースの算定

に加えて適用され、追加の引当必要額は継続事業では621(499)百万スウェーデン・クローネ、非継続事業を含めると646(577)百万スウェーデン・クローネに達した。

ステージ3に分類された契約の減損テストプロセスは変更されておらず、個別評価の手続は従来通りに行われている。

#### 減損テストの対象となる貸借対照表項目及びオフバランスシート項目、2022年

	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3 <sup>1</sup>	ステージ1	ステージ2	ステージ3
百万スウェーデン・クローネ						
<b>貸借対照表項目</b>						
現金及び中央銀行預け金	475,853	-	-	0	-	-
中央銀行へのその他貸出金	32,620	-	-	0	-	-
中央銀行への担保として適格な利付証券	200	-	-	0	-	-
その他金融機関への貸出金	9,418	1	-	-2	-1	-
一般顧客への貸出金	2,374,713	91,349	5,716	-475	-722	-1,257
債券及びその他の利付証券	9,882	-	-	-2	-	-
<b>合計</b>	<b>2,902,686</b>	<b>91,350</b>	<b>5,716</b>	<b>-480</b>	<b>-723</b>	<b>-1,257</b>
<b>オフバランスシート項目</b>						
偶発債務	314,586	12,533	274	-103	-169	-82
うち、保証コミットメント	58,973	1,935	67	-6	-11	-19
うち、債務	255,613	10,598	207	-97	-158	-63
<b>合計</b>	<b>314,586</b>	<b>12,533</b>	<b>274</b>	<b>-103</b>	<b>-169</b>	<b>-82</b>

本注記の情報には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更され、非継続事業となった処分グループのフィンランドが含まれている。デンマークにおける事業は2022年度第4四半期に処分され、比較数値に含まれている。注記G14を参照のこと。

#### 減損テスト対象の貸借対照表項目及びオフバランスシート項目、2021年

	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3 <sup>1</sup>	ステージ1	ステージ2	ステージ3
百万スウェーデン・クローネ						
<b>貸借対照表項目</b>						
現金及び中央銀行預け金	439,932	-	-	0	-	-
中央銀行へのその他貸出金	1,462	-	-	-	-	-
中央銀行への担保として適格な利付証券	421	-	-	-	-	-
その他金融機関への貸出金	21,833	10	-	-2	-3	-
一般顧客への貸出金	2,345,196	64,390	7,421	-395	-690	-2,093
債券及びその他の利付証券	9,016	-	-	-2	-	-
<b>合計</b>	<b>2,817,860</b>	<b>64,400</b>	<b>7,421</b>	<b>-399</b>	<b>-693</b>	<b>-2,093</b>
<b>オフバランスシート項目</b>						
偶発債務	406,024	9,477	336	-109	-144	-91

うち、保証コミットメント	70,375	1,265	116	-9	-10	-39
うち、債務	335,649	8,212	220	-100	-134	-52
<b>合計</b>	<b>406,024</b>	<b>9,477</b>	<b>336</b>	<b>-109</b>	<b>-144</b>	<b>-91</b>

1) 受け入れた担保により、引当金を計上しなかったステージ3貸出金の総額は3,270(3,259)百万スウェーデン・クローネであった。

### 一般顧客への貸出金に対する信用損失の主要数値<sup>2</sup>

	2022年	2021年
信用損失率、ACC、全事業、%	0.00	0.00
信用損失率、ACC、継続事業、%	0.00	0.00
信用損失引当率合計、%	0.10	0.13
ステージ1に分類された貸出金に対する引当率、%	0.02	0.02
ステージ2に分類された貸出金に対する引当率、%	0.79	1.07
ステージ3に分類された貸出金に対する引当率、%	21.99	28.20
ステージ3に分類された貸出金の割合、%	0.18	0.22

2) 2021年12月31日現在の貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループであるフィンランドが含まれている。比較数値にはデンマークも含まれている。注記G14を参照のこと。

## 変動分析

### 減損テスト対象の貸借対照表項目に対する予想信用損失引当金の変動

#### 2022年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-399	-693	-2,093	-3,185
認識中止した資産	71	165	301	536
償却	0	1	671	672
信用リスクの変動による再測定	-228	201	-21	-47
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-11	-8	-24	-43
購入又は組成した資産	-53	-52	-9	-114
ステージ1への振替	-38	44	8	14
ステージ2への振替	70	-470	16	-384
ステージ3への振替	108	89	-106	92
<b>期末現在引当金</b>	<b>-480</b>	<b>-723</b>	<b>-1,257</b>	<b>-2,459</b>

### 減損テスト対象の貸借対照表項目に対する予想信用損失引当金の変動

#### 2021年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-389	-840	-2,238	-3,467
認識中止した資産	43	86	143	272
償却	0	2	391	393
信用リスクの変動による再測定	-123	151	-72	-44
推計手法の更新による変動	-	-	-	-

外貨換算影響額等	-13	-23	-60	-96
購入又は組成した資産	-61	-22	-21	-104
ステージ1への振替	-29	45	2	18
ステージ2への振替	59	-234	7	-168
ステージ3への振替	114	142	-245	11
<b>期末現在引当金</b>	<b>-399</b>	<b>-693</b>	<b>-2,093</b>	<b>-3,185</b>

## 減損テスト対象の一般顧客への貸出金に対する予想信用損失引当金の変動

2022年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-395	-690	-2,093	-3,178
認識中止した資産	70	165	301	535
償却	0	1	671	672
信用リスクの変動による再測定	-227	199	-21	-49
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-11	-8	-24	-43
購入又は組成した資産	-52	-52	-9	-113
ステージ1への振替	-38	44	8	14
ステージ2への振替	70	-470	16	-384
ステージ3への振替	108	89	-106	92
<b>期末現在引当金</b>	<b>-475</b>	<b>-722</b>	<b>-1,257</b>	<b>-2,454</b>

## 減損テスト対象の一般顧客への貸出金に対する予想信用損失引当金の変動

2021年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-385	-834	-2,238	-3,457
認識中止した資産	43	86	143	272
償却	0	2	391	393
信用リスクの変動による再測定	-124	148	-72	-48
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-13	-23	-60	-96
購入又は組成した資産	-60	-22	-21	-103
ステージ1への振替	-29	45	2	18
ステージ2への振替	59	-234	7	-168
ステージ3への振替	114	142	-245	11
<b>期末現在引当金</b>	<b>-395</b>	<b>-690</b>	<b>-2,093</b>	<b>-3,178</b>

上表の予想信用損失引当金には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、処分グループであるフィンランドが含まれている。比較数値にはデンマークも含まれている。注記G14を参照のこと。

## 減損テスト対象のオフバランスシート項目に対する予想信用損失引当金の変動

2022年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-109	-144	-91	-344
認識中止した資産	30	24	-	54
償却	0	0	1	1
信用リスクの変動による再測定	-11	43	9	41
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	3	22	-	24
購入又は組成した資産	-21	-16	-	-37
ステージ1への振替	-5	8	-	3
ステージ2への振替	8	-107	-	-99
ステージ3への振替	3	2	-	4
<b>期末現在引当金</b>	<b>-103</b>	<b>-169</b>	<b>-82</b>	<b>-353</b>

## 減損テスト対象のオフバランスシート項目に対する予想信用損失引当金の変動

2021年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-90	-157	-119	-366
認識中止した資産	14	27	-	41
償却	-	-	-	-
信用リスクの変動による再測定	0	23	28	51
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-7	-25	-	-32
購入又は組成した資産	-28	-6	-	-34
ステージ1への振替	-9	19	-	10
ステージ2への振替	5	-33	-	-28
ステージ3への振替	6	8	-	14
<b>期末現在引当金</b>	<b>-109</b>	<b>-144</b>	<b>-91</b>	<b>-344</b>

この変動分析は、当該期間の各説明項目について、ステージ別の引当金に与える正味影響額を示したものである。認識中止及び償却の影響は期首残高で算定される。推計手法の変更及び外貨換算影響額等による再評価の影響は、ステージ間の振替前に純額ベースで算定される。購入又は生成された資産及びステージ間で振替られた金額は、他の説明項目の影響考慮後に認識される。振替の各行は各ステージの引当金に与える影響を表している。

## 減損テスト対象の貸借対照表項目総額の変動

2022年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	2,817,860	64,400	7,421	2,889,681
認識中止した資産	-301,842	-16,004	-1,592	-319,437
償却	-12	-5	-764	-781
信用リスクの変動による再測定	123,331	-26,219	-943	96,167
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	92,095	1,410	70	93,575
購入又は組成した資産	232,540	7,905	101	240,546
ステージ1への振替	43,672	-43,579	-94	-
ステージ2への振替	-104,054	104,466	-412	-
ステージ3への振替	-904	-1,025	1,929	-
<b>期末現在の総額</b>	<b>2,902,686</b>	<b>91,350</b>	<b>5,716</b>	<b>2,999,751</b>

## 減損テスト対象の貸借対照表項目総額の変動

2021年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	2,639,707	76,401	7,002	2,723,110
認識中止した資産	-167,405	-8,830	-825	-177,060
償却	-13	-10	-463	-486
信用リスクの変動による再測定	-99,663	-8,086	-914	-108,663
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	82,718	3,605	273	86,596
購入又は組成した資産	363,244	2,839	101	366,184
ステージ1への振替	41,290	-41,207	-83	-
ステージ2への振替	-41,089	41,221	-132	-
ステージ3への振替	-929	-1,533	2,462	-
<b>期末現在の総額</b>	<b>2,817,860</b>	<b>64,400</b>	<b>7,421</b>	<b>2,889,681</b>

## 減損テスト対象の一般顧客への貸出金総額の変動

2022年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	2,345,196	64,390	7,421	2,417,007
認識中止した資産	-254,118	-15,887	-1,592	-271,598
償却	-12	-5	-764	-781
信用リスクの変動による再測定	93,471	-26,036	-943	66,492
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	28,790	1,383	70	30,243
購入又は組成した資産	222,409	7,905	101	230,415
ステージ1への振替	43,672	-43,579	-94	-
ステージ2への振替	-103,791	104,203	-412	-
ステージ3への振替	-904	-1,025	1,929	-
<b>期末現在の総額</b>	<b>2,374,713</b>	<b>91,349</b>	<b>5,716</b>	<b>2,471,778</b>

## 減損テスト対象の一般顧客への貸出金総額の変動

2021年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	2,189,683	76,384	7,002	2,273,069
認識中止した資産	-161,245	-8,821	-825	-170,891
償却	-13	-10	-463	-486
信用リスクの変動による再測定	47,220	-8,705	-914	37,601
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	41,251	3,430	273	44,954
購入又は組成した資産	229,820	2,839	101	232,760
ステージ1への振替	40,495	-40,412	-83	-
ステージ2への振替	-41,086	41,218	-132	-
ステージ3への振替	-929	-1,533	2,462	-
<b>期末現在の総額</b>	<b>2,345,196</b>	<b>64,390</b>	<b>7,421</b>	<b>2,417,007</b>

上表の貸借対照表項目には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された処分グループのフィンランドが含まれている。比較数値にはデンマークも含まれている。注記G14を参照のこと。

## 減損テスト対象のオフバランスシート項目総額の変動

2022年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	406,024	9,477	336	415,837
認識中止した資産	-93,239	-4,000	-59	-97,298
償却	-1	0	0	-1
信用リスクの変動による再測定	-16,580	-2,390	-41	-19,011
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-31,411	-5,328	6	-36,733
購入又は組成した資産	63,343	1,249	8	64,600
ステージ1への振替	6,103	-6,092	-12	-
ステージ2への振替	-19,619	19,631	-11	-
ステージ3への振替	-33	-15	48	-
<b>期末現在の総額</b>	<b>314,586</b>	<b>12,533</b>	<b>274</b>	<b>327,393</b>

## 減損テスト対象のオフバランスシート項目総額の変動

2021年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	391,266	10,743	433	402,442
認識中止した資産	-31,851	-1,777	-56	-33,684
償却	-1	0	-1	-2
信用リスクの変動による再測定	-71,440	-3,992	-138	-75,570
推計手法の更新による変動	-	-	-	-
外貨換算影響額等	46,219	9,627	5	55,851
購入又は組成した資産	66,070	727	3	66,800
ステージ1への振替	12,747	-12,743	-4	-
ステージ2への振替	-6,947	6,950	-3	-
ステージ3への振替	-39	-58	97	-
<b>期末現在の総額</b>	<b>406,024</b>	<b>9,477</b>	<b>336</b>	<b>415,837</b>

引当金の分析同様、総額の変動分析は当該ステージの総額に対する各説明項目の影響を示している。ステージ間の振替及び「購入又は組成した資産」の項目は、期末現在における各ステージの金額を表しており、他の項目は期首時点で用いられる各ステージへの影響を表している。

## 感応度分析

## ECL算定におけるマクロ経済予測及び感応度分析

予想信用損失の算定には、マクロ経済シナリオによる将来予測的な情報を用いる。予想信用損失は算定された予想の確率加重平均値である。英国外のエクスポージャーには3つのシナリオを適用している。基本(中立)シナリオの予想確率加重は60(70)%としており、一方で景気の上昇シナリオの予想確率加重は20(15)%、下降シナリオの予想確率加重は20(15)%としている。4つ目の英国のエクスポージャーに対しては、2022年現在、より深刻な下降シナリオを適用している。英国の深刻な下降シナリオ/下降シナリオ/基

本(中立)シナリオ/上昇シナリオの確率加重はそれぞれ15%/20%/60%/5%である。これらのシナリオ及び確率加重は、2022年12月31日現在のステージ1及びステージ2に分類されたエクスポージャーの予想信用損失の算定根拠となっている。

マクロ経済上の リスク要因	下降シナリオ			基本(中立)シナリオ			上昇シナリオ		
	2023年	2024年	2025年	2023年	2024年	2025年	2023年	2024年	2025年
<b>GDP成長率</b>									
スウェーデン	-3.55	-0.25	3.15	-0.50	1.30	2.50	2.00	2.80	2.20
英国	-3.80	-0.20	3.90	-1.30	0.80	3.40	1.20	2.30	3.10
英国、 深刻な下降シナリ オ	-8.30	-3.20	4.40						
ノルウェー	-2.38	-0.30	2.45	0.67	1.25	1.80	3.17	2.75	1.50
フィンランド	-3.25	-0.57	2.24	-0.20	0.98	1.59	2.30	2.48	1.29
EU諸国	-3.59	-0.03	1.95	-0.54	1.52	1.30	1.96	3.02	1.00
米国	-2.87	-0.26	2.65	0.18	1.29	2.00	2.68	2.39	1.70
<b>失業率</b>									
スウェーデン	8.87	10.00	9.80	7.70	8.10	7.90	7.10	7.16	7.30
英国	5.93	6.39	6.20	5.33	4.89	4.70	4.73	3.69	3.80
英国、 深刻な下降シナリ オ	7.83	8.89	8.70						
ノルウェー	3.25	4.15	4.35	2.08	2.25	2.45	1.47	1.31	1.85
フィンランド	8.17	8.80	8.40	7.00	6.90	6.50	6.40	5.96	5.90
EU諸国	8.60	9.40	9.30	7.43	7.50	7.40	6.83	6.56	6.80
米国	5.16	6.49	6.30	3.99	4.59	4.40	3.39	3.65	3.80
<b>政策金利</b>									
スウェーデン	1.54	0.75	1.00	2.75	2.25	2.25	3.25	3.00	3.00
英国	3.25	3.25	3.25	4.00	4.00	3.75	4.50	4.75	4.50
英国、 深刻な下降シナリ オ	0.75	0.25	0.50						
ノルウェー	1.75	1.00	1.00	3.25	3.00	2.75	3.75	3.75	3.50
フィンランド	1.05	0.25	0.25	2.25	1.75	1.25	2.75	2.50	2.00
EU諸国	1.05	0.25	0.25	2.25	1.75	1.25	2.75	2.50	2.00
米国	3.20	1.88	1.70	4.63	3.88	3.20	5.13	4.63	3.95
<b>商業不動産価格の上昇率</b>									
スウェーデン	-15.54	-8.66	-0.74	-8.50	-6.44	0.58	-3.52	-1.73	-0.52
英国	-18.72	-5.11	3.34	-13.83	-1.23	2.11	-8.93	1.31	0.90
英国、 深刻な下降シナリ オ	-26.49	-15.22	-1.94						
ノルウェー	-11.19	-6.80	-2.42	-5.96	-1.14	-1.90	-3.00	0.61	-2.74
フィンランド	-12.43	-6.53	0.70	-5.87	-1.00	1.19	-2.57	0.52	-0.04
EU諸国	-11.94	-3.67	0.85	-7.39	0.66	1.65	-4.01	2.57	0.86
<b>住宅価格の上昇率</b>									
スウェーデン	-22.37	1.77	1.89	-13.51	1.75	1.95	-8.78	2.19	3.92
英国	-10.00	0.07	1.08	-3.20	1.20	2.35	5.00	2.41	2.74

英国、

深刻な下降シナリ

オ	-22.76	1.62	1.12						
ノルウェー	-3.53	-1.04	2.19	-0.95	0.38	1.83	2.05	5.26	3.71
フィンランド	-4.07	0.92	1.16	-1.02	1.92	2.12	0.75	2.90	2.80
EU諸国	2.95	2.35	2.00	2.40	2.00	2.00	2.10	1.70	2.03

## 感応度分析、マクロ経済シナリオ

下表は、2022年12月31日現在のステージ1及びステージ2に分類されるエクスポージャーに対する予想信用損失引当金の増減をパーセンテージで示したもので、この増減は下降及び上昇シナリオにそれぞれ100%の確率が適用される場合のものである。英国の深刻な下降シナリオに100%の確率を適用した場合の影響は合計に含まれていない。

	2022年		2021年	
	下降シナリオにおける引当金の増加 (%)	上昇シナリオにおける引当金の減少 (%)	下降シナリオにおける引当金の増加 (%)	上昇シナリオにおける引当金の減少 (%)
スウェーデン	10.95	-7.72	18.30	-10.05
英国	7.49	-7.19	11.31	-6.30
英国、 深刻な下降シナリオ	25.30			
ノルウェー	7.54	-6.10	12.31	-6.82
デンマーク			15.00	-8.07
フィンランド	-0.13	0.20	3.91	-1.95
オランダ	3.52	-2.56	3.48	-1.80
米国	27.06	-20.37	50.58	-32.07
その他諸国	3.64	-2.07	5.88	-2.76

## 感応度分析、信用リスクの著しい増大

下表は、報告日と当初認識時に算定された残余信用リスクの比率に用いられる閾値が、2.5の閾値よりも0.5高く又は低く設定される場合、12月31日現在でステージ1及びステージ2のエクスポージャーに対する引当金がどのような影響を受けるかを示したものである。閾値が0.5低下した場合にはステージ1からステージ2へ振り替えられる貸出金の件数が増加し、予想信用損失引当金も増加する。閾値が0.5上昇した場合にはこれと反対の影響が生じる。当行は信用リスクの著しい増大を評価するために定量的・定性的双方の指標を用いている。詳細な情報は注記G2の「信用リスク」の項目を参照のこと。

## ステージ1及びステージ2に分類されたエクスポージャーに対する引当金総額の変動、%

閾値	2022年	2021年
2	3.78%	3.28%
2.5	0.00%	0.00%
3	-2.16%	-1.92%

## PDの範囲別減損テスト対象の信用エクスポージャー

## PDの範囲別貸借対照表項目

2022年

PD値 <sup>1</sup>	総額、百万スウェーデン・クローネ		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	2,565,832	33,734	-
0.15～0.25未満	83,251	7,159	-
0.25～0.50未満	186,429	10,793	-
0.50～0.75未満	26,834	5,512	-
0.75～2.50未満	32,219	16,582	-
2.50～10.00未満	7,234	13,902	-
10.00～100未満	887	3,667	-
100(デフォルト)	-	-	5,716
<b>合計</b>	<b>2,902,686</b>	<b>91,350</b>	<b>5,716</b>

## PDの範囲別貸借対照表項目

2021年

PD値 <sup>1</sup>	総額、百万スウェーデン・クローネ		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	2,515,847	12,508	-
0.15～0.25未満	201,420	4,445	-
0.25～0.50未満	53,792	6,616	-
0.50～0.75未満	15,502	2,778	-
0.75～2.50未満	22,142	22,002	-
2.50～10.00未満	8,618	14,371	-
10.00～100未満	539	1,680	-
100(デフォルト)	-	-	7,421
<b>合計</b>	<b>2,817,860</b>	<b>64,400</b>	<b>7,421</b>

## PDの範囲別一般顧客への貸出金

2022年

PD値 <sup>1</sup>	総額、百万スウェーデン・クローネ		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	2,099,130	33,734	-
0.15～0.25未満	68,108	7,159	-
0.25～0.50未満	152,519	10,793	-
0.50～0.75未満	21,953	5,512	-
0.75～2.50未満	26,358	16,582	-
2.50～10.00未満	5,918	13,902	-
10.00～100未満	726	3,667	-
100(デフォルト)	-	-	5,716
<b>合計</b>	<b>2,374,713</b>	<b>91,349</b>	<b>5,716</b>

## PDの範囲別一般顧客への貸出金

2021年

PD値 <sup>1</sup>	総額、百万スウェーデン・クローネ		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	2,093,842	12,506	-
0.15～0.25未満	167,635	4,444	-
0.25～0.50未満	44,769	6,615	-
0.50～0.75未満	12,902	2,777	-
0.75～2.50未満	18,428	21,999	-
2.50～10.00未満	7,172	14,369	-
10.00～100未満	448	1,680	-
100(デフォルト)	-	-	7,421
<b>合計</b>	<b>2,345,196</b>	<b>64,390</b>	<b>7,421</b>

## PD値の範囲別オフバランスシート項目

2022年

PD値 <sup>1</sup>	総額、百万スウェーデン・クローネ		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	262,559	4,799	-
0.15～0.25未満	22,592	1,082	-
0.25～0.50未満	15,241	633	-
0.50～0.75未満	5,386	716	-
0.75～2.50未満	7,529	3,451	-
2.50～10.00未満	1,119	1,657	-
10.00～100未満	160	195	-
100(デフォルト)	-	-	274
<b>合計</b>	<b>314,586</b>	<b>12,533</b>	<b>274</b>

## PD値の範囲別オフバランスシート項目

2021年

PD値 <sup>1</sup>	総額、百万スウェーデン・クローネ		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	357,043	4,073	-
0.15～0.25未満	17,621	799	-
0.25～0.50未満	15,381	401	-
0.50～0.75未満	6,973	1,081	-
0.75～2.50未満	7,563	1,175	-
2.50～10.00未満	1,275	1,694	-
10.00～100未満	168	254	-
100(デフォルト)	-	-	336
<b>合計</b>	<b>406,024</b>	<b>9,477</b>	<b>336</b>

1) 報告日現在の12ヶ月PD値を指す。

**担保権が実行された資産**

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
動産	0	0
株式	0	0
<b>帳簿価額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

動産は主として担保権が実行されたリース資産より構成されている。債権保全を目的として担保権が実行された資産及び負債の評価原則については注記G1に記載されている。

**注記G11 不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益**

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
器具備品	24	14
不動産	-	-
<b>合計</b>	<b>24</b>	<b>14</b>

## 注記G12 リスク税及び破綻処理手数料

	2022年	2021年
百万スウェーデン・クローネ		
リスク税	-1,316	-
破綻処理手数料	-995	-930
<b>合計</b>	<b>-2,311</b>	<b>-930</b>

## 注記G13 一株当たり利益

	2022年	2021年
当期利益、百万スウェーデン・クローネ	21,470	19,543
期中に転換された株式の平均株式数(百万株)	-	-
トレーディング勘定における自己株式の平均保有数(百万株)	-	-
発行済株式の平均株式数(百万株)	1,980.0	1,980.0
希薄化効果のある株式の平均株式数(百万株)	-	0.0
希薄化後発行済株式の平均株式数(百万株)	1,980.0	1,980.0
<b>一株当たり利益(事業合計)、スウェーデン・クローネ</b>	<b>10.84</b>	<b>9.86</b>
希薄化後	10.84	9.86
<b>一株当たり利益(継続事業)、スウェーデン・クローネ</b>	<b>10.7</b>	<b>9.51</b>
希薄化後	10.7	9.51
<b>一株当たり利益(非継続事業)、スウェーデン・クローネ</b>	<b>0.14</b>	<b>0.35</b>
希薄化後	0.14	0.35

希薄化後一株当たり利益は、発行済転換可能株式の転換による影響を考慮に入れて測定される。これは、発行済株式の平均株式数に潜在的な転換可能株式数が加算され、当期利益が転換可能劣後ローン残高(税引後)に係る当期利息費用に関して調整されることを示唆している。

## 注記G14 売却目的で保有する資産及び負債並びに非継続事業

当行のフィンランドの事業における資産及び負債はIFRS第5号「売却目的で保有する非流動資産及び非継続事業」に従い「売却目的で保有する資産及び負債」を構成し、処分グループとなっている。デンマークの事業は2022年度第4四半期に売却され、フィンランドの事業売却のプロセスは計画通り継続している。デンマーク及びフィンランドの事業は非継続事業を構成している。本会計方針の詳細については注記G1を参照のこと。

デンマークの非継続事業は以下のユニットから成る。

- ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトのデンマーク支店
- ・Ejendomsselskabet af 1. maj 2009 A/S
- ・Lokalbolig A/S
- ・Handelsbanken Kredit ( スタッフフィポテックABプブリクトのデンマーク支店 )
- ・Handelsinvest Investeringsforvaltning A/S
- ・Handelsbanken Forsikringsformidling A/S

フィンランドの処分グループ及び非継続事業は以下のユニットから成る。

- ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトのフィンランド支店
- ・Handelsbanken Asuntoluottopankki ( スタッフフィポテックABプブリクトのフィンランド支店 )
- ・ハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビーのフィンランド支店
- ・フィンランドのハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビー

## 売却目的で保有する資産及び負債、2022年

(百万スウェーデン・クローネ)

	フィンランド	売却目的で保有 するその他資産	合計
<b>資産</b>			
現金及び中央銀行預け金	14		14
中央銀行へのその他貸出金	28,015		28,015
中央銀行への担保として適格な利付証券	0		0
その他金融機関への貸出金	5		5
一般顧客への貸出金	153,506	310	153,816
うち、個人	43,922		43,922
うち、企業	109,584	310	109,894
債券及びその他の利付証券	0		0
株式 <sup>1</sup>	3		3
顧客が価値変動リスクを負う資産	9,145		9,145
無形資産	123		123
不動産及び器具備品	407		407
その他	388		388
<b>合計</b>	<b>191,606</b>	<b>310</b>	<b>191,916</b>
<b>負債</b>			
金融機関からの預り金	679		679
一般顧客からの預金及び借入金	57,361		57,361
うち、個人	20,297		20,297
うち、法人	37,064		37,064
顧客が価値変動リスクを負う負債	9,145		9,145
引当金	210		210

その他	1,543		1,543
<b>合計</b>	<b>68,938</b>	<b>0</b>	<b>68,938</b>

**売却目的で保有する資産及び負債、2021年**  
(百万スウェーデン・クローネ)

	デンマーク	フィンランド	売却目的で保有 するその他資産	合計
<b>資産</b>				
現金及び中央銀行預け金	28,282	120,098		148,380
中央銀行へのその他貸出金	207	0		207
中央銀行への担保として適格な利付証券	24	0		24
その他金融機関への貸出金	36	57		93
一般顧客への貸出金	111,380	139,314	302	250,996
うち、個人	64,292	43,253	1	107,546
うち、企業	47,088	96,061	301	143,450
債券及びその他の利付証券	17	0		17
株式 <sup>1</sup>	462	1		463
顧客が価値変動リスクを負う資産	6,770	10,457		17,227
無形資産	2,628	113		2,741
不動産及び器具備品	241	336	62	639
その他	313	317		630
<b>合計</b>	<b>150,360</b>	<b>270,693</b>	<b>364</b>	<b>421,417</b>
<b>負債</b>				
金融機関からの預り金	230	344		574
一般顧客からの預金及び借入金	54,135	59,984		114,119
うち、個人	23,662	19,699		43,361
うち、法人	30,473	40,285		70,757
顧客が価値変動リスクを負う負債	6,770	10,457		17,227
引当金	57	78		135
その他	514	1,353		1,867
<b>合計</b>	<b>61,706</b>	<b>72,216</b>		<b>133,922</b>

1) これらの資産に関連する累計額-(47)百万スウェーデン・クローネは、「その他包括利益」及び資本の「公正価値評価差額準備金」に計上されている。

## 非継続事業からの収益、費用及び利益

## デンマーク及びフィンランド

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
純利息収益	3,434	2,606
純手数料及びコミッション収益	1,107	1,190
金融取引による純損益	-12	225
リスク関連	3	8
その他収益	68	180
<b>収益合計</b>	<b>4,600</b>	<b>4,209</b>
人件費	-1,681	-1,427
その他費用	-1,543	-1,184
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-2	-304
<b>費用合計</b>	<b>-3,226</b>	<b>-2,915</b>
正味信用損失	29	64
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	2	-2
リスク税及び破綻処理手数料	-160	-151
<b>非継続事業からの税引前当期利益</b>	<b>1,245</b>	<b>1,205</b>
法人税等	-617	-510
<b>非継続事業からの税引後当期利益</b>	<b>629</b>	<b>695</b>
非継続事業に帰属するその他費用 <sup>1</sup>	-27	-
法人税等	6	-
<b>非継続事業からの税引後当期利益(キャピタルゲイン/ロス調整前)</b>	<b>608</b>	<b>695</b>
<b>非継続事業を構成する処分グループの売却によるキャピタルゲイン(税引前)</b>	<b>235</b>	
法人税等 <sup>2</sup>	-561	
<b>非継続事業を構成する処分グループの売却によるキャピタルゲイン(税引後)</b>	<b>-326</b>	
<b>非継続事業からの税引後当期利益</b>	<b>280</b>	<b>695</b>
上記の損益計算書上消去されている、継続事業との間の重要な内部取引 <sup>3</sup>		
収益	-287	452
費用	-202	-225
<b>デンマーク</b>		
百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
純利息収益	1,712	1,602
純手数料及びコミッション収益	701	757
金融取引による純損益	-49	171

リスク関連	1	1
その他収益	49	40
<b>収益合計</b>	<b>2,413</b>	<b>2,571</b>
人件費	-1,035	-885
その他費用	-768	-554
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	0	-44
<b>費用合計</b>	<b>-1,803</b>	<b>-1,483</b>
正味信用損失	38	23
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	2	-2
リスク税及び破綻処理手数料	-58	-62
<b>非継続事業からの税引前当期利益</b>	<b>593</b>	<b>1,047</b>
法人税等	-57	-193
<b>非継続事業からの税引後当期利益</b>	<b>536</b>	<b>854</b>
<b>非継続事業を構成する処分グループの売却によるキャピタルゲイン (税引前)</b>	<b>235</b>	
法人税等 <sup>2</sup>	-561	
<b>非継続事業を構成する処分グループの売却によるキャピタルゲイン (税引後)</b>	<b>-326</b>	
<b>非継続事業からの税引後当期利益</b>	<b>210</b>	<b>854</b>

上記の損益計算書上消去されている、継続事業との間の重要な内部取引<sup>3</sup>

収益	-176	-142
費用	-89	-88

- 1) スウェーデンにおいて、非継続事業の売却にともない、事業の廃止に関連する要件に基づき一定の費用が発生している。これには、コンサルタント料や弁護士費用などが含まれる。
- 2) 税金費用は、キャピタルゲイン/ロスに計上されている、損金不算入ののれんの戻入れによりマイナスの影響を受けている。
- 3) 継続事業及び非継続事業双方からの当期利益には、外部収益及び費用のみが含まれている。非継続事業は継続事業との重要な内部取引を有していることから、会計上除外されている。例えば、資金調達及び流動性管理業務は全てスウェーデンのグループ・トレジャリー部で集中管理されている。このため、デンマーク及びフィンランドにおける一般顧客への貸出金は、グループ・トレジャリー部からの内部貸出を通じて資金調達され、内部借入から生じる利息費用は会計上除外されており、上記の純利息収益には含まれていない。

## フィンランド

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
純利息収益	1,722	1,004
純手数料及びコミッション収益	406	433
金融取引による純損益	37	54
リスク費用	2	7
その他収益	19	140
<b>収益合計</b>	<b>2,186</b>	<b>1,638</b>
人件費	-647	-542
その他費用	-775	-630

不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-2	-260
<b>費用合計</b>	<b>-1,423</b>	<b>-1,432</b>
正味信用損失	-10	41
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	0	0
リスク税及び破綻処理手数料	-102	-89
<b>非継続事業からの税引前当期利益</b>	<b>652</b>	<b>158</b>
法人税等	-560	-317
<b>非継続事業からの税引後当期利益</b>	<b>91</b>	<b>-159</b>

上記の損益計算書上消去されている、継続事業との間の重要な内部取引<sup>1)</sup>

収益	-111	594
費用	-113	-137

- 1) 継続事業及び非継続事業双方からの当期利益には、外部収益及び費用のみが含まれている。非継続事業は継続事業との重要な内部取引を有していることから、会計上除外されている。例えば、資金調達及び流動性管理業務は全てスウェーデンのグループ・トレジャリー部で集中管理されている。このため、デンマーク及びフィンランドにおける一般顧客への貸出金は、グループ・トレジャリー部からの内部貸出を通じて資金調達され、内部借入から生じる利息費用は会計上除外されており、上記の純利息収益には含まれていない。

## 非継続事業からの商品別手数料及びコミッション収益

	2022年		2021年	
	デンマーク	フィンランド	デンマーク	フィンランド
百万スウェーデン・クローネ				
仲介及びその他証券コミッション	41	8	60	27
ミューチュアル・ファンド	147	8	173	7
カストディ及びその他資産管理手数料	148	44	179	48
アドバイザリーサービス	22	-	19	4
保険	22	84	24	87
決済	205	203	171	297
貸出金及び預金	55	79	61	90
保証	65	20	72	20
その他	64	13	83	15
<b>手数料及びコミッション収益合計</b>	<b>768</b>	<b>458</b>	<b>842</b>	<b>595</b>

## 非継続事業の人件費

## デンマーク及びフィンランド

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
給与及び報酬 <sup>2</sup>	-1,273	-1,082
社会保障費	-132	-108
年金費用	-135	-146
利益分配制度に対する準備金	-16	-19
その他人件費	-125	-72
<b>合計</b>	<b>-1,681</b>	<b>-1,427</b>

2) このうち、執行役員(子会社の最高経営責任者及び取締役)に対する給与及び報酬は6.0(7.0)百万スウェーデン・クローネであった。

	2022年			2021年		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性
平均従業員数						
デンマーク	546	277	269	632	325	307
フィンランド	530	242	288	569	256	313
<b>合計</b>	<b>1,076</b>	<b>519</b>	<b>557</b>	<b>1,201</b>	<b>581</b>	<b>620</b>

## 非継続事業からのキャッシュ・フロー

## デンマーク及びフィンランド

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
営業活動からのキャッシュ・フロー	-123,159	28,015
投資活動からのキャッシュ・フロー	-11	-189
財務活動からのキャッシュ・フロー	0	-45
<b>非継続事業からの当期キャッシュ・フロー</b>	<b>-123,171</b>	<b>27,781</b>

デンマークにおける事業は第4四半期に売却されている。このため、2022年度の非継続事業に係るキャッシュ・フロー計算書はフィンランドにおける事業のみを対象としている。デンマークにおける事業の売却にともなうキャッシュ・フローは、要約キャッシュ・フロー計算書 当行グループ(97ページ参照(注：原文のページ番号である。))の投資活動からのキャッシュ・フローに含まれている。

**注記G15 中央銀行へのその他貸出金**

	2022年	2021年
百万スウェーデン・クローネ		
中央銀行へのその他貸出金（スウェーデン・クローネ建て）	-	-
中央銀行へのその他貸出金（外貨建て）	4,604	1,255
<b>合計</b>	<b>4,604</b>	<b>1,255</b>
予想信用損失引当金	-	-
<b>中央銀行へのその他貸出金合計</b>	<b>4,604</b>	<b>1,255</b>
うち、未収利息収益	-	-
うち、リバース・レボ	-	-

**平均取引高**

	2022年	2021年
百万スウェーデン・クローネ		
中央銀行へのその他貸出金（スウェーデン・クローネ建て）	-	5,894
中央銀行へのその他貸出金（外貨建て）	5,579	5,872
<b>合計</b>	<b>5,579</b>	<b>11,766</b>
うち、リバース・レボ	-	-

**注記G16 その他金融機関への貸出金**

	2022年	2021年
百万スウェーデン・クローネ		
<b>貸出金（スウェーデン・クローネ建て）</b>		
銀行	379	903
その他金融機関	103	171
<b>合計</b>	<b>482</b>	<b>1,074</b>
<b>貸出金（外貨建て）</b>		
銀行	6,002	14,292
その他金融機関	2,929	6,384
<b>合計</b>	<b>8,931</b>	<b>20,676</b>
予想信用損失引当金	-2	-5
<b>その他金融機関への貸出金合計</b>	<b>9,411</b>	<b>21,745</b>
うち、未収利息収益	34	12
うち、リバース・レボ	-	12,127

**平均取引高**

	2022年	2021年
百万スウェーデン・クローネ		
その他金融機関への貸出金（スウェーデン・クローネ建て）	2,317	2,998
その他金融機関への貸出金（外貨建て）	36,637	46,539

合計	38,954	49,537
うち、リバース・レボ	14,433	16,061

## 注記G17 一般顧客への貸出金

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
<b>貸出金(スウェーデン・クローネ建て)</b>		
個人	984,397	959,910
法人	601,605	535,531
国債局	1,566	2,173
<b>合計</b>	<b>1,587,568</b>	<b>1,497,614</b>
<b>貸出金(外貨建て)</b>		
個人	257,706	244,391
法人	472,559	423,569
<b>合計</b>	<b>730,265</b>	<b>667,960</b>
予想信用損失引当金	-2,015	-2,439
<b>一般顧客への貸出金合計</b>	<b>2,315,818</b>	<b>2,163,135</b>
うち、未収利息収益	5,177	2,429
うち、リバース・レボ	12,917	13,649
うち、劣後ローン	-	-
<b>平均取引高(国債局を除く)</b>		
百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
一般顧客への貸出金(スウェーデン・クローネ建て)	1,555,159	1,470,257
一般顧客への貸出金(外貨建て)	708,177	812,840
<b>合計</b>	<b>2,263,336</b>	<b>2,283,097</b>
うち、リバース・レボ	21,300	19,690

## 注記G18 利付証券

	2022年			2021年		
	帳簿価額	公正価値	額面価額	帳簿価額	公正価値	額面価額
百万スウェーデン・クローネ						
中央銀行への担保として 適格な利付証券	注記39	132,778	132,778	133,726	100,538	100,538
うち、未収利息収益		211		160		
債券及びその他の利付証券	注記39	32,697	32,697	30,898	33,317	33,317
うち、未収利息収益		149		124		
<b>合計</b>		<b>165,475</b>	<b>165,475</b>	<b>164,624</b>	<b>133,855</b>	<b>133,855</b>
うち、劣後証券		-	-	-	-	-

発行者別利付証券	2022年			2021年		
	帳簿価額	公正価値	額面価額	帳簿価額	公正価値	額面価額
百万スウェーデン・クローネ						
政府	132,778	132,778	133,726	100,538	100,538	103,881
金融機関	8,864	8,864	7,655	6,590	6,590	6,118
住宅金融専門機関	17,464	17,464	18,041	20,516	20,516	19,147
その他	6,369	6,369	5,202	6,211	6,211	4,346
<b>合計</b>	<b>165,475</b>	<b>165,474</b>	<b>164,624</b>	<b>133,855</b>	<b>133,855</b>	<b>133,491</b>

## 減損テスト対象の利付証券

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
中央銀行への担保として適格な利付証券		
その他包括利益を通じて公正価値で測定	200	397
償却原価で測定	-	-
<b>総額合計</b>	<b>200</b>	<b>397</b>
償却原価で測定される金融商品の予想信用損失引当金	-	-
<b>帳簿価額合計</b>	<b>200</b>	<b>397</b>
資本の公正価値評価差額準備金で認識される予想信用損失引当金	-	-
債券及びその他の利付証券		
その他包括利益を通じて公正価値で測定	9,882	9,016
<b>帳簿価額合計</b>	<b>9,882</b>	<b>9,016</b>
資本の公正価値評価差額準備金で認識される予想信用損失引当金	-2	-2

**平均取引高**

百万スウェーデン・クローネ

利付証券

**合計**

	<b>2022年</b>	<b>2021年</b>
	182,934	155,427
	<b>182,934</b>	<b>155,427</b>

## 注記G19 株式

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
純損益を通じて公正価値で測定、強制	12,269	19,017
その他包括利益を通じて公正価値で測定	544	454
<b>株式合計</b>	<b>12,813</b>	<b>19,471</b>

## その他包括利益を通じて公正価値で測定される保有株式

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
Visa Inc	274	170
VIPPS A/S	57	62
その他の保有	213	222
<b>合計</b>	<b>544</b>	<b>454</b>

ハンデルスバンケンは、上記の株式保有について、トレーディング目的保有ではないことによりその他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類している。当年度中に、ハンデルスバンケンは報告期間末現在保有する株式から配当のみを受け取っている。これらの配当は合計で17(2)百万スウェーデン・クローネであり、その他の配当収益として損益計算書に計上されている。当年度中に当行は、多数の住宅共同組合の保有株式を総額32(1)百万スウェーデン・クローネで処分した。この処分は支店閉鎖を主な理由として行われた。

その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品に係る実現及び未実現損益に関しては、当行グループの持分変動計算書を参照のこと。

## 注記G20 関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資

ハンデルスバンケンには、個別に重要な関連会社やジョイント・ベンチャーに対する投資はないが、決済サービス等の提供を通じ、当行グループの銀行業務にとって戦略的に重要と考えられるいくつかの企業がある。すべての投資は非上場である。

## 関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
期首現在帳簿価額	478	386
当年度持分利益	-13	63
法人税	-13	-22
株主の拠出	123	51
配当金	-14	-
<b>期末現在帳簿価額</b>	<b>561</b>	<b>478</b>

## 関連会社及びジョイント・ベンチャーからの収益

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
当年度利益	-13	63
その他包括利益	-	-

当年度包括利益合計

---

-13

---

63

関連会社	企業識別番号	所在地	株式数	議決権 %	帳簿価額 百万スウェーデン・ クローネ	
					2022年	2021年
Bankomat AB	556817-9716	ストック ホルム	150	20.00	95	88
BGC Holding AB	556607-0933	ストック ホルム	25,542	25.54	327	278
Dyson Group plc	00163096	シェフィー ルド	74,333,672	24.01	17	31
Finansiell ID-teknik BID AB	556630-4928	ストック ホルム	12,735	28.30	21	30
Getswish AB	556913-7382	ストック ホルム	10,000	20.00	21	19
USE Intressenter AB	559161-9464	ストック ホルム	2,448	24.48	0	0
<b>合計</b>					<b>481</b>	<b>446</b>

ジョイント・ベンチャー	企業識別番号	所在地	株式数	議決権 %	帳簿価額 百万スウェーデン・ クローネ	
					2022年	2021年
P27 Nordic Payment Platform AB	559198-9610	ストック ホルム	10,000	16.67	55	25
Invidem AB	559210-0779	ストック ホルム	10,000	16.67	23	7
Tibern AB	559384-3542	ストック ホルム	4,000	14.29	3	
<b>合計</b>					<b>80</b>	<b>32</b>

#### 注記G21 顧客が価値変動リスクを負う資産

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
ユニットリンク保険及びポートフォリオ・ボンド保険に係る資産	212,363	235,209
その他ファンド資産	603	552
<b>合計</b>	<b>212,966</b>	<b>235,761</b>

## 注記G22 デリバティブ商品

	想定元本/満期			想定元本		正の市場価値		負の市場価値	
	1年以内	1年超 5年以内	5年超	2022年	2021年	2022年	2021年	2022年	2021年
百万スウェーデン・ク ローネ									
<b>トレーディング目的で 保有するデリバティブ</b>									
金利関連契約									
オプション	10,433	13,810	556	24,799	22,350	403	50	351	51
FRA/先物	635,033	46,088	334	681,455	542,060	928	76	1,181	64
スワップ	609,284	1,330,700	270,724	2,210,708	2,081,987	62,139	15,902	61,594	16,307
通貨関連契約									
オプション	35,069	50	17	35,136	20,672	292	69	249	131
先物	84,486	9,455	92	94,033	82,874	1,418	907	1,112	661
スワップ	637,106	59,896	4,628	701,630	632,062	9,146	10,576	12,780	5,131
株式関連契約									
オプション	1,637	386	30	2,053	3,770	182	375	95	189
先物	184	-	-	184	580	6	9	5	11
スワップ	5,968	574	1,720	8,262	14,683	185	341	663	723
コモディティ関連契約									
オプション	-	-	25	25	355	2	41	27	55
先物	339	28	-	367	935	32	111	52	237
信用関連契約									
スワップ	499	3,409	-	3,908	4,853	68	294	90	169
<b>合計</b>	<b>2,020,038</b>	<b>1,464,396</b>	<b>278,126</b>	<b>3,762,560</b>	<b>3,407,181</b>	<b>74,801</b>	<b>28,751</b>	<b>78,199</b>	<b>23,729</b>
<b>公正価値ヘッジのデリバ ティブ</b>									
金利関連契約									
オプション	-	41	323	364	1,061	7	1	-	-
スワップ	87,656	362,513	125,865	576,034	458,459	16,888	3,406	27,349	2,428
通貨関連契約									
スワップ	633	-	1,003	1,636	1,462	77	156	-	-
<b>合計</b>	<b>88,289</b>	<b>362,554</b>	<b>127,191</b>	<b>578,034</b>	<b>460,982</b>	<b>16,972</b>	<b>3,563</b>	<b>27,349</b>	<b>2,428</b>
<b>キャッシュフロー・ヘッ ジの デリバティブ</b>									
金利関連契約									
スワップ	111,004	112,197	24,956	248,157	318,242	4,499	5,625	4,865	1,023
通貨関連契約									
スワップ	130,549	121,263	63,030	314,842	269,827	21,101	10,604	1,185	3,660
<b>合計</b>	<b>241,553</b>	<b>233,460</b>	<b>87,986</b>	<b>562,999</b>	<b>588,069</b>	<b>25,600</b>	<b>16,229</b>	<b>6,050</b>	<b>4,683</b>
<b>デリバティブ商品合計</b>	<b>2,349,880</b>	<b>2,060,410</b>	<b>493,303</b>	<b>4,903,593</b>	<b>4,456,232</b>	<b>117,373</b>	<b>48,543</b>	<b>111,598</b>	<b>30,840</b>
うち、取引所上場 デリバティブ				201,815	182,857	260	130	274	804

うち、CCPで決済されるOTC デリバティブ	3,315,242	2,982,431	82,375	18,731	83,957	15,867
うち、CCPで決済されないOTC デリバティブ	1,386,536	1,290,944	34,738	29,682	27,367	14,169
相殺された金額	-2,826,362	-2,691,986	-81,112	-20,035	-82,558	-17,056
<b>純額</b>	<b>2,077,231</b>	<b>1,764,246</b>	<b>36,261</b>	<b>28,508</b>	<b>29,040</b>	<b>13,784</b>
<b>市場価値の通貨別内訳</b>						
スウェーデン・クローネ			-231,111	-242,957	74,796	517
米ドル			187,752	299,987	-244,777	-19,297
ユーロ			282,564	115,908	211,143	-94,250
その他			-121,832	-124,395	70,436	143,870
<b>合計</b>			<b>117,373</b>	<b>48,543</b>	<b>111,598</b>	<b>30,840</b>

この注記では、デリバティブ契約は総額で表示されている。相殺額は、当行が契約上のキャッシュ・フローを純額で決済する法的権利及び意思を有している契約(中央清算される契約を含む)の市場価値及び関連する想定元本の相殺で構成されている。これらの契約は、貸借対照表において、カウンターパーティ及び通貨別に純額で表示されている。

当行は、当初認識時に評価モデルを用いて測定された価値と、取引価格との正の差額(取引日利得/損失)をデリバティブの期間にわたり償却している。年度末において、これらの未認識の取引日利得は、447(489)百万スウェーデン・クローネであった。

## 注記G23 ヘッジ会計及び金利指標改革

当行グループのリスク管理及びヘッジ会計の一般的な目的は、金利及び為替レートの変動から乗じる貸出及び借入に帰属する将来キャッシュ・フロー及び公正価値の変動リスクから自らを守るためである。この目的を達成するために当行はデリバティブを使用している。当行グループのリスク管理戦略を財務報告に確実に反映するため、ヘッジ会計が用いられている。当行グループの市場リスク管理に関する情報は、注記G2を参照のこと。当行グループが用いるヘッジ戦略及び様々な種類のヘッジ会計については、リスク区分別に以下に述べられている。ヘッジ会計の会計方針の詳細については注記G1を参照のこと。

### キャッシュフロー・ヘッジ

#### 変動金利貸出・借入における金利リスク

このヘッジ戦略の目的は、変動金利の変動から生じる利息の受取・支払に係る不確実性を最小限にし、代わりにヘッジを締結した際に明らかになる固定金利による金額を受け取り、支払うことである。ヘッジ対象は、変動金利による一般顧客への貸出金及び発行済変動利付債券に関連する、将来流入及び流出する可能性の高い支払いから構成されている。ヘッジ対象のリスクは、各通貨の変動参照金利であり、金利の観察可能な要素である。このヘッジ手段は金利スワップである。ここでは固定金利を受け取り変動金利を支払うか、固定金利を支払い変動金利を受け取る。

#### 資金調達における為替リスク

このヘッジ戦略は、為替レートの変動から生じる将来の利払に関連する不確実性を最小限にし、代わりにヘッジを締結した際に明らかになる為替レートで機能通貨による利払を行うことを意図するものであ

る。ヘッジ対象は機能通貨以外の通貨で発行された証券に起因する、可能性の高い将来の利払及び額面価額の返済である。ヘッジ対象リスクは資金調達通貨及び機能通貨間の為替レートの変動により発生するこれらの将来の支払いの変動リスクである。このヘッジ手段は通貨関連デリバティブである。

### 在外営業活動体への、又は在外営業活動体からの内部貸出における為替リスク

このヘッジ戦略の目的は、在外営業活動体への、又は在外営業活動体からの内部貸出における為替レートの変動に関連するボラティリティ・リスクを最小限にすることである。このヘッジ対象は当行グループのトレジャリー部と在外営業活動体の間で在外営業活動体の機能通貨で発行された内部貸出の額面価額から構成される。ヘッジ対象リスクは、内部貸出の通貨と親会社の機能通貨であるスウェーデン・クローネとの為替換算レートの差から生じる、利払いと元本返済に係るキャッシュ・フローが変動するリスクである。このヘッジ手段は通貨関連デリバティブである。

### 有効性の測定

ヘッジ関係の有効性は、ヘッジ関係の開始時及びその後四半期毎にテストされる。ヘッジの有効性は、有効性は、漸進的及び遡及的双方の観点、つまり漸進的にはイールド・カーブとディスカウント・カーブのシフトにより、遡及的にはヘッジ対象リスク及びヘッジ手段の条件が十分に整合していない場合に、回帰分析によりテストされる。この文脈で「十分に整合している」とは、キャッシュ・フロー及び割引となる要因が常に同一であることである。有効性が測定される際、ヘッジ対象リスクは完全に有効な仮想デリバティブ(PEH)により表され、これはヘッジ対象の重要な条件と一致する。仮想デリバティブ(PEH)の公正価値はヘッジ関係の開始時にはゼロである。有効性の測定には、仮想デリバティブ(PEH)の公正価値の変動を実際のデリバティブの公正価値変動と比較することにより行われる。

### 有効性の測定の適用基準

ヘッジ会計に適切となるためには、仮想デリバティブ(PEH)で表されるヘッジ対象のヘッジ対象リスクの公正価値変動と、実際のデリバティブの比率が80-125パーセントの範囲内でなければならない。これが回帰分析を通じて調査される場合、有効なヘッジ関係を確立するためには以下の基準を満たす必要がある。

- ・カーブの勾配が  $0.8 < b < 1.25$
- ・  $R^2$  が  $> 0.96$

### 非有効性

ヘッジの非有効性は、仮想デリバティブ(PEH)で表されるヘッジ対象のヘッジ対象リスクの公正価値変動を実際のデリバティブの公正価値変動と比較することで測定される。デリバティブの公正価値変動が仮想デリバティブ(PEH)の価値変動を絶対的に上回る場合、当該ヘッジは非有効と判定される。

これらのヘッジ関係の非有効性は、主としてヘッジ関係の開始日とデリバティブの取引日間の市場金利と為替レートの差によるものである。また非有効性は、ヘッジ対象リスクに含まれない、デリバティブの特定の金利の構成要素に起因する公正価値の変動からも生じる。

### キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段

百万スウェーデン・クローネ

### 金利リスク

金利スワップ(固定金利支払・変動金利受取)

	2022年		
	1年未満	1年以上5年以内	5年超
想定元本	32,599	27,759	11,499
平均固定金利(%)	0.49	0.47	0.76

## 金利スワップ(変動金利支払・固定金利受取)

想定元本	78,405	84,438	13,458
平均固定金利(%)	1.53	1.52	2.12

## 為替リスク

## 為替デリバティブ、ユーロ/スウェーデン・クローネ

想定元本	12,891	40,323	12,052
平均為替レート、ユーロ/スウェーデン・クローネ	0.1054	0.0964	0.0928

## 為替デリバティブ、ユーロ/ノルウェー・クローネ

想定元本	21,271	33,098	45,105
平均為替レート、ユーロ/ノルウェー・クローネ	0.1045	0.1021	0.0975

## 為替デリバティブ、英ポンド/スウェーデン・クローネ

想定元本	7,669	-	-
平均為替レート、英ポンド/スウェーデン・クローネ	0.0907	-	-

## 為替デリバティブ、米ドル/英ポンド

想定元本	7,560	-	1,000
平均為替レート、米ドル/英ポンド	1.2930	-	1.3157

## 為替デリバティブ、米ドル/ノルウェー・クローネ

想定元本	14,163	26,897	-
平均為替レート、米ドル/ノルウェー・クローネ	0.1083	0.1114	-

## 為替デリバティブ、米ドル/スウェーデン・クローネ

想定元本	60,393	8,421	4,872
平均為替レート、米ドル/スウェーデン・クローネ	0.1000	0.1068	0.1105

## 為替デリバティブ、豪ドル/米ドル

想定元本	6,602	-	-
平均為替レート、豪ドル/米ドル	1.3770	-	-

## 為替デリバティブ、他の通貨ペア

想定元本	-	12,524	-
------	---	--------	---

<b>合計</b>	<b>241,553</b>	<b>233,460</b>	<b>87,986</b>
-----------	----------------	----------------	---------------

## キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段

2021年

## 百万スウェーデン・クローネ

1年未満	1年以上5年以内	5年超
------	----------	-----

## 金利リスク

## 金利スワップ(固定金利支払・変動金利受取)

想定元本	21,876	55,029	13,677
平均固定金利(%)	0.57	0.47	0.76

## 金利スワップ(変動金利支払・固定金利受取)

想定元本	80,679	133,749	13,232
平均固定金利(%)	2.06	1.28	2.10

## 為替リスク

## 為替デリバティブ、ユーロ/スウェーデン・クローネ

想定元本	14,725	51,011	1,028
平均為替レート、ユーロ/スウェーデン・クローネ	0.1066	0.0986	0.0970
為替デリバティブ、ユーロ/ノルウェー・クローネ			
想定元本	10,899	30,223	35,027
平均為替レート、ユーロ/ノルウェー・クローネ	0.1187	0.1038	0.0964
為替デリバティブ、英ポンド/スウェーデン・クローネ			
想定元本	-	7,553	-
平均為替レート、英ポンド/スウェーデン・クローネ	-	0.0907	-
為替デリバティブ、米ドル/英ポンド			
想定元本	-	6,942	918
平均為替レート、米ドル/英ポンド	-	1.2930	1.3157
為替デリバティブ、米ドル/ノルウェー・クローネ			
想定元本	14,409	22,140	-
平均為替レート、米ドル/ノルウェー・クローネ	0.1178	0.1137	-
為替デリバティブ、米ドル/スウェーデン・クローネ			
想定元本	35,654	2,264	9,057
平均為替レート、米ドル/スウェーデン・クローネ	0.1169	0.1105	0.1105
為替デリバティブ、豪ドル/米ドル			
想定元本	-	5,923	-
平均為替レート、豪ドル/米ドル	-	1.3770	-
為替デリバティブ、他の通貨ペア			
想定元本	9,003	11,000	2,051
<b>合計</b>	<b>187,245</b>	<b>325,834</b>	<b>74,990</b>

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段と非有効性 2022年	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の 算定に 用いられた 公正価値 変動	その他包括 利益で認識 されたヘッ ジ手段の 価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性	ヘッジ準備 金から損益 計算書への 振替
		資産	負債				
		百万スウェーデン・クローネ	百万スウェーデン・クローネ				
<b>金利リスク</b>							
金利スワップ(固定金利支払・変動金利受取)	71,857	4,428	11	4,921	4,975	-54	-
金利スワップ(変動金利支払・固定金利受取)	176,300	71	4,854	-8,646	-8,643	-3	154
<b>為替リスク<sup>1</sup></b>							
為替デリバティブ、ユーロ/ スウェーデン・クローネ	65,266	5,161	-	307	307	-	-
為替デリバティブ、ユーロ/ デンマーク・クローネ	-	-	-	-3	-3	-	-
為替デリバティブ、ユーロ/英ポンド	-	-	-	20	20	-	-
為替デリバティブ、ユーロ/ ノルウェー・クローネ	99,475	5,744	246	347	347	0	-
為替デリバティブ、英ポンド/ スウェーデン・クローネ	7,669	1,027	-	18	18	-	-
為替デリバティブ、米ドル/ デンマーク・クローネ	-	-	-	70	70	0	-
為替デリバティブ、米ドル/英ポンド	8,560	633	-	19	19	-	-
為替デリバティブ、米ドル/ ノルウェー・クローネ	41,060	3,432	-	16	12	4	-
為替デリバティブ、米ドル/ スウェーデン・クローネ	73,686	4,728	281	366	364	2	-
為替デリバティブ、豪ドル/米ドル	6,602	-	442	-56	-56	-	2
為替デリバティブ、他の通貨ペア	12,524	376	216	90	90	0	4
<b>合計</b>	<b>562,999</b>	<b>25,600</b>	<b>6,050</b>	<b>-2,531</b>	<b>-2,480</b>	<b>-51</b>	<b>160</b>

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段と非有効性 2021年	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の 算定に 用いられた 公正価値 変動	その他包括 利益で認識 されたヘッ ジ手段の 価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性	ヘッジ準備 金から損益 計算書への 振替
		資産	負債				
		百万スウェーデン・クローネ	百万スウェーデン・クローネ				
<b>金利リスク</b>							
金利スワップ(固定金利支払・変動金利受取)	90,582	248	1,019	1,946	1,952	-6	-
金利スワップ(変動金利支払・固定金利受取)	227,660	5,377	4	-4,272	-4,272	-	175
<b>為替リスク<sup>1</sup></b>							
為替デリバティブ、ユーロ/ スウェーデン・クローネ	66,764	2,333	997	190	190	-	-
為替デリバティブ、ユーロ/ デンマーク・クローネ	2,051	3	-	8	8	-	-
為替デリバティブ、ユーロ/英ポンド	6,514	606	-	34	32	2	-
為替デリバティブ、ユーロ/ ノルウェー・クローネ	76,150	2,750	1,429	-14	-11	-3	-
為替デリバティブ、英ポンド/ スウェーデン・クローネ	7,553	758	-	-8	-8	-	-
為替デリバティブ、米ドル/ デンマーク・クローネ	6,918	330	87	60	60	-	-
為替デリバティブ、米ドル/英ポンド	7,859	-	339	8	8	-	-
為替デリバティブ、米ドル/ ノルウェー・クローネ	36,549	1,303	721	47	47	-	-

為替デリバティブ、米ドル/ スウェーデン・クローネ	46,976	2,041	-	295	295	-	-
為替デリバティブ、豪ドル/米ドル	5,923	50	-	-77	-77	-	3
為替デリバティブ、他の通貨ペア	6,570	430	87	-15	-15	-	1
<b>合計</b>	<b>588,069</b>	<b>16,229</b>	<b>4,683</b>	<b>-1,798</b>	<b>-1,791</b>	<b>-7</b>	<b>179</b>

1) ヘッジ会計目的で分析を行う場合、親会社の機能通貨であるスウェーデン・クローネへの換算にあたって、ヘッジ関係におけるデリバティブのレグの想定金額のインピュテーション(補完)が考慮される。このデリバティブのレグのインピュテーション(補完)は上記の想定元本額には含まれていない。

ヘッジ手段の帳簿価額は貸借対照表の「デリバティブ商品」に含まれている。損益計算書で認識された非有効性は「金融取引による純損益」に含まれている。損益計算書への振替は「金融取引による純損益」に含まれ、期限前に終了したキャッシュフロー・ヘッジである。

#### キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ対象

2022年

	非有効性の算定に 用いられた価値変動	ヘッジ準備金	ヘッジ会計が適用されな かったヘッジ関係からの ヘッジ準備金残余额
百万スウェーデン・クローネ			
<b>金利リスク</b>			
発行済変動利付証券	-4,975	4,370	-
変動金利による一般顧客への貸出金	8,643	-5,323	1,000
<b>為替リスク</b>			
ユーロ建て発行済証券及びデンマーク・クローネ、 英ポンド、ノルウェー・クローネ建て内部貸出	-671	-31	-
米ドル建て発行済証券及びデンマーク・クローネ、 ユーロ、英ポンド、ノルウェー・クローネ建て内部 貸出	-464	455	89
他通貨建て発行済証券及び内部貸出	-53	142	3
<b>合計</b>	<b>2,480</b>	<b>-387</b>	<b>1,092</b>

#### キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ対象

2021年

	非有効性の算定に 用いられた価値変動	ヘッジ準備金	ヘッジ会計が適用されな かったヘッジ関係からの ヘッジ準備金残余额
百万スウェーデン・クローネ			
<b>金利リスク</b>			
発行済変動利付証券	-1,952	-600	-
変動金利による一般顧客への貸出金	4,272	3,468	1,153
<b>為替リスク</b>			
ユーロ建て発行済証券及びデンマーク・クローネ、 英ポンド、ノルウェー・クローネ建て内部貸出	-218	-553	-
米ドル建て発行済証券及びデンマーク・クローネ、 ユーロ、英ポンド、ノルウェー・クローネ建て内部 貸出	-410	-16	88
他通貨建て発行済証券及び内部貸出	99	-46	10
<b>合計</b>	<b>1,791</b>	<b>2,253</b>	<b>1,251</b>

#### 公正価値ヘッジ

##### 固定金利貸出・借入における金利リスク

このヘッジ戦略の目的は、市場金利の変動から生じる固定金利貸出金と借入金公正価値変動リスクを最小限に抑えることである。ヘッジ対象リスクは、観察可能な金利の構成要素となる各通貨の参照金利で

ある。ヘッジ対象は、固定金利による一般顧客への貸出金と発行済固定利付証券である。ヘッジ手段は、固定金利を支払い変動金利を受け取る又は、固定金利を受け取り変動金利を支払う金利スワップである。

### 有効性の測定

ヘッジの有効性は、貸出金と借入金のヘッジ対象リスクの公正価値変動を、金利スワップの公正価値変動と比較することにより測定される。有効性は、漸進的及び遡及的双方の観点、つまり漸進的にはイールド・カーブとディスカウント・カーブのシフトにより、遡及的には回帰分析を実施することにより測定される。ヘッジ関係の有効性テストは、ヘッジ関係の開始時とそれ以降の四半期毎に行われる。ヘッジ会計の適格性を満たす要件は、上記のキャッシュフロー・ヘッジのセクションに記載している要件と同じである。

### 非有効性

非有効性は、ヘッジ関係の開始日から報告期間末日までの期間の、金利スワップの公正価値変動を、貸出金・借入金のヘッジ対象リスクの公正価値変動と比較することにより測定される。

これらのヘッジ関係の非有効性は主として金利スワップの変動金利より生じる公正価値変動が貸出金・借入金のヘッジ対象リスクの価値変動と一致しないことによる。

## 金利リスクに関する公正価値のポートフォリオ・ヘッジ

### 固定金利貸出金ポートフォリオの金利リスク

このヘッジ戦略の目的は、市場金利の変動から生じる固定金利貸出金ポートフォリオの公正価値変動リスクを最小限に抑えることである。ヘッジ対象リスクは、各通貨の参照金利の変動に関する固定金利貸出金ポートフォリオの一部の公正価値変動である。ヘッジ対象は、固定金利貸出金ポートフォリオに基づき決定された通貨建の金額である。貸出金ポートフォリオは金利固定期間に分けられる。ヘッジ額は、選択された金利固定期間において当行がヘッジを望む金利リスクに基づいて設定されている。ヘッジ手段は、金利スワップ(変動金利受取、固定金利支払)により構成されており、各金利固定期間に1以上のヘッジ手段が設定されている。

有効性及び非有効性の測定の詳細については、上記の公正価値ヘッジの項に記載されている。

### 金利キャップのある変動金利貸出金ポートフォリオの金利リスク

このヘッジ戦略の目的は、借り手に金利キャップがあり、金利調整期間が3ヶ月の貸出金ポートフォリオの公正価値変動リスクを最小限に抑えることである。ヘッジ対象リスクは合意された金利キャップの参照金利である。ヘッジ手段は金利オプション(キャップ)である。

一定期間ヘッジされる貸出金の額面総額は、四半期毎に決定される。有効性は、当該期間の金利キャップの公正価値変動を金利オプション(キャップ)の公正価値変動と比較することにより算定される。ヘッジ会計の適格性を満たすためには、この比率が80-125パーセントの範囲内でなければならない。

これらのヘッジ関係の非有効性は、主に貸出金の金利キャップと金利オプション(キャップ)間の満期と金利の乖離による。というのは、各キャップに係る規模は個々の貸出金ではなく、金利キャップがついた貸出金のポートフォリオごとに決定されるためである。

公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段	2022年			2021年		
	1年以内	1年から5年	5年超	1年未満	1年から5年	5年超
百万スウェーデン・クローネ 金利リスク						

## 金利スワップ(固定金利支払・変動金利受取)

想定元本	-	-	-	-	-	-
平均固定金利(%)	-	-	-	-	-	-

## 金利スワップ(変動金利支払・固定金利受取)

想定元本	23,501	225,252	93,086	904	111,407	74,265
平均固定金利(%)	1.34	1.82	1.37	0.22	0.76	0.94

クロスカレンシー金利スワップ  
(変動金利支払・固定金利受取)

想定元本	633	-	1,003	-	566	896
平均固定金利%	3.26	-	3.69	-	3.26	3.69

公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段及び非有効性 2022年 百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の算定 に用いられた 公正価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性
		資産	負債		
<b>金利リスク</b>					
金利スワップ (固定金利支払・変動金利受取)	-	-	-	-	-
金利スワップ (変動金利支払・固定金利受取)	341,839	79	27,337	-26,463	-80
クロスカレンシー金利スワップ (変動金利支払・固定金利受取)	1,636	77	-	-171	-4
<b>合計</b>	<b>343,475</b>	<b>156</b>	<b>27,337</b>	<b>-26,634</b>	<b>-84</b>

## ポートフォリオの公正価値ヘッジ

公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段及び非有効性 2021年 百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の算定 に用いられた 公正価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性
		資産	負債		
<b>金利リスク</b>					
金利スワップ(固定金利支払 ・変動金利受取)	234,195	16,809	12	14,762	55
金利オプション(キャップ)	364	7	-	9	-
<b>合計</b>	<b>234,559</b>	<b>16,816</b>	<b>12</b>	<b>14,771</b>	<b>55</b>

公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段及び非有効性 2021年 百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の算定 に用いられた 公正価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性
		資産	負債		
<b>金利リスク</b>					
金利スワップ (固定金利支払・変動金利受取)	-	-	-	-	-
金利スワップ (変動金利支払・固定金利受取)	186,576	1,406	2,271	-3,891	-38
クロスカレンシー金利スワップ (変動金利支払・固定金利受取)	1,462	156	-	-54	5
<b>合計</b>	<b>188,038</b>	<b>1,562</b>	<b>2,271</b>	<b>-3,945</b>	<b>-33</b>

## ポートフォリオの公正価値ヘッジ

公正価値ヘッジにおけるヘッジ 対象、 2022年 百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ対象の帳簿価額	ヘッジ対象の帳簿価額に 含まれる 公正価値調整累計額		非有効性の 算定に 用いられた 公正価値変動	公正価値変動が 調整されなく なったヘッジ対 象の貸借対照表 に認識されてい る公正価値ヘッ ジ調整累計額
		資産	負債		
<b>金利リスク</b>					
一般顧客への固定金利貸出金	-	-	-	-	-

ヘッジ手段の帳簿価額は貸借対照表の「デリバティブ商品」に含まれている。

損益計算書で認識された非有効性は「金融取引による純損益」に含まれている。

公正価値ヘッジにおけるヘッジ 対象、 2022年 百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ対象の帳簿価額	ヘッジ対象の帳簿価額に 含まれる 公正価値調整累計額		非有効性の 算定に 用いられた 公正価値変動	公正価値変動が 調整されなく なったヘッジ対 象の貸借対照表 に認識されてい る公正価値ヘッ ジ調整累計額
		資産	負債		
<b>金利リスク</b>					
一般顧客への固定金利貸出金	-	-	-	-	-

発行済固定利付証券及び劣後負債	314,575	-29,127	26,550	-
合計	-	314,575	-	-29,127

### ポートフォリオ公正価値ヘッジ<sup>1</sup>

#### 金利リスク

一般顧客への固定金利貸出金	-16,610	-16,610	-14,707	-
変動金利貸出金に係る金利キャップ	-6	-6	-9	-
合計	-16,616	-16,616	-14,716	-

### 公正価値ヘッジにおけるヘッジ対象、

2021年

百万スウェーデン・クローネ

	ヘッジ対象の帳簿価額		ヘッジ対象の帳簿価額に含まれる公正価値調整累計額		非有効性の算定に用いられた公正価値変動	公正価値変動が調整されなくなったヘッジ対象の貸借対照表に認識されている公正価値ヘッジ調整累計額
	資産	負債	資産	負債		
金利リスク						
一般顧客への固定金利貸出金	-	-	-	-	-	-
発行済固定利付証券及び劣後負債		188,536		-2,656	3,912	-
合計	-	188,536	-	-2,656	3,912	-

### ポートフォリオ公正価値ヘッジ<sup>1</sup>

#### 金利リスク

一般顧客への固定金利貸出金	-1,904	-2,245	-
変動金利貸出金に係る金利キャップ	4	-8	-
合計	-1,900	-2,253	-

1) 2022年12月31日現在の原貸出金ポートフォリオの総額は、234,547(272,277)百万スウェーデン・クローネであった。

### 在外営業活動体への純投資における為替リスクのヘッジ

このヘッジ戦略の目的は、在外営業活動体への純投資の為替エクスポージャーを減らすことである。このヘッジ対象は、在外営業活動体の機能通貨で発行された、当行グループのトレジャリー部門と在外営業活動体との間の長期の内部貸出の額面価額である。在外営業活動体への投資の一部としての適格要件は、内部貸出の返済が予見可能な将来に計画されておらず、その可能性も小さいことである。ヘッジ対象リスクは、在外営業活動体の機能通貨と親会社の機能通貨、すなわちスウェーデン・クローネとの間の為替レートの変動から生じる、在外営業活動体への純投資の価値変動リスクである。このヘッジ手段は通貨関連デリバティブである。このカテゴリーにあるすべてのヘッジ関係は、実際は古くからあり、当行はこのヘッジ戦略では新たなヘッジ関係を開始していない。そのため、当ヘッジ戦略に関し表形式による開示は行わない。

### 有効性の測定

在外営業活動体への純投資ヘッジの有効性を測定する際には、上記のキャッシュフロー・ヘッジのセクションで説明しているキャッシュフロー・ヘッジの有効性の測定と同じ手続きが適用される。

## 非有効性

上記のキャッシュフロー・ヘッジのセクションで説明しているキャッシュフロー・ヘッジと同じ方法で非有効性が算定される。

これらのヘッジ関係の非有効性は主として、ヘッジ関係の開始日とデリバティブの取引日間の為替レートの差による。

ヘッジ準備金及び為替換算調整準備金の変動の詳細はG40を参照のこと。

## 金利指標改革

### IFRS第9号「金融商品」及びIAS第39号「金融商品：認識及び測定」の改訂

2020年度より、金利指標改革により直接影響を受けるヘッジ関係に対し、特定のヘッジ会計の要求事項の適用に一時的な例外を設けるIAS第39号の改訂が導入されている。当行はIAS第39号に認められている通り、2019年度の年次報告書において同改訂の早期適用を選択した。この例外適用の目的は、金利指標改革から生じる不確実性のみを理由としてヘッジ関係が中止されることを防ぐことにある。注記G1の12を参照のこと。

2021年度から、金利指標改革の直接の結果として金融資産及び金融負債の条件変更が行われる場合にIFRS第9号の改訂が適用されている。条件変更とは実効金利の変更であり、この条件変更により生じる損益は認識されない。さらに、IAS第39号の改訂により、ヘッジ関係における既存の指標金利が代替指標金利に置き換えられた場合にヘッジ会計の要件を一部免除することが認められている。本改訂の目的は、金利指標改革の実施のみを理由としてヘッジ関係が中止されることを防ぐことにある。注記G1の12を参照のこと。

### 金利指標改革への対応

近年、「リスク・フリーに近い金利」(「RFR」)からなる代替参照金利を策定するために、世界中で多数の取組みが行われてきた。EUでは、ベンチマーク規制((EU) 2016/1011)の要求事項を満たすために銀行間取引金利の調整が進んでおり、同時に代替RFRの策定も進んでいる。

近年当行は、RFRへの移行に向け、デリバティブや銀行間取引金利による貸出金に関してはITシステムに対する本部集約的に対応を行い、各国における貸出金商品に対してはITシステムへ局所的に対応するなど、広範な取組みを実施してきた。本部集約的なプロジェクトでは、ISDA及び基本契約などの契約更新、顧客やカウンターパーティとのコミュニケーション計画の作成も行われている。また、この取組みには、RFRへの移行がもたらす会計や金融商品の測定、リスク測定への影響の検討も含まれている。

RFRを管理するためのプロセス、手順、ITシステムへの対応は基本的に2021年に完了し、Liborの大半は2022年にRFRに置き換えられている。当行において、RFRへの移行待ち金融商品の取引は2023年6月30日に公表を終了する米ドルLiborを参照する金融商品のみである。

### 金利指標改革が重要な銀行間金利及びヘッジ関係に与える影響の評価

当行の拠点市場及び米国における銀行間取引金利が当行に重要であるとみなされており、Stibor、米ドルLibor、Euribor及びNiborが相当する。英ポンドLiborは2021年12月31日にSONIA(ポンド翌日物平均金利)に置き換えられている。

Stiborが参照金利として廃止されるという発表はない。スウェーデン国立銀行は2021年9月1日から、金融契約で参照金利として使用できる、T/N、Swestr(スウェーデン・クローネ短期金利)に対するスウェーデン・クローネのRFRを算出し公表している。Stiborはベンチマーク規制の要求事項を満たし、スウェーデン

金融監督庁の承認を得る必要がある。ベンチマーク規制においてStiborは重大な参照金利であることから、2021年12月27日にスウェーデン金融ベンチマーク機関(Swedish Financial Benchmark Facility)は、ベンチマーク規制に従いStiborの承認申請をスウェーデン金融監督庁に提出した。この申請については目下、スウェーデン金融監督庁が検討中である。当行は目下、Stiborがベンチマーク規制に従って承認され、参照金利として存続すると評価している。

2021年3月に英国金融行為規制機構(FCA)は、英ポンド、ユーロ、スイス・フラン及び円の全てのLIBORのほか、1週間物及び2ヶ月物米ドルLIBORは、2021年12月31日より運営機関による公表が中止される、又は代表性を失うことを確認している。残りの米ドルLiborは、2023年6月30日をもって直接中止される。英ポンドLiborはSONIA(英ポンド翌日物平均金利)に置き換えられ、米ドルLiborはSOFR(米ドル有担保翌日物調達金利)に置き換えられる予定である。

改革後のEuriborは、ベンチマーク規制に従って指標金利として構築され、承認された。ESTER(ユーロ短期金利)はユーロのRFRとして確認されている。EONIAは2022年1月3日をもって廃止された。改革後のEuriborは承認され、今後も公表が継続される。当行は、Euriborが参照金利として存続すると評価している。

ノルウェーの銀行間取引金利であるNiborは、ノルウェーの監督当局がベンチマーク規制に従い承認している。当行は、Niborが参照金利として存続すると評価している。

ベンチマーク改革に起因する不確実性の有無を評価するにあたり、当行は、所轄の公的機関が銀行間取引金利を特定の時点で廃止すると決定した場合にのみ、不確実性が発生することを起点と考えている。従って、2023年6月30日より後に満期を迎えるヘッジ関係について、米ドルLiborがヘッジ対象やヘッジ手段に直接影響を及ぼすことにより、指標改革による不確実性がもたらされると当行は評価している。その結果、指標改革のもたらす不確実性の影響を直接受けるヘッジ対象リスクは、米ドル建ての貸付及び資金調達に係る変動参照金利である。さらに、米ドルLiborに基づくデリバティブ商品並びに貸付及び資金調達に起因するキャッシュ・フローも影響を受ける。金利指標改革による不確実性は、ヘッジ対象及びヘッジ手段に係る新しい金利が確定し、個々の契約に規定された時点で解消されるものと見込まれる。

英ポンドLiborを参照するヘッジ手段やヘッジ対象は、2021年末、あるいは2022年度第1四半期に代替参照金利に移行しており、指標改革から生じる不確実性の影響を受けなくなった。所轄の公的機関は、当行にとって極めて重要な銀行間取引金利の公表停止をこの他には決定していないことから、これらの銀行間取引金利に関して、現在、指標改革による不確実性が存在するとは考えられていない。

#### 金利指標改革がもたらす不確実性により影響を受けるヘッジ関係に含まれるヘッジ手段

	2022年12月31日現在の 想定元本	2021年12月31日現在の 想定元本
百万スウェーデン・クローネ		
金利スワップ、米ドル	55,588	48,268
クロスカレンシー金利スワップ、豪ドル/米ドル	6,602	5,923
クロスカレンシー金利スワップ、米ドル/デンマーク・クローネ	-	6,188
クロスカレンシー金利スワップ、米ドル/ユーロ	-	896
クロスカレンシー金利スワップ、米ドル/英ポンド	8,560	7,859
クロスカレンシー金利スワップ、米ドル/ノルウェー・クローネ	13,899	12,712
クロスカレンシー金利スワップ、米ドル/スウェーデン・クローネ	12,181	11,321
<b>合計</b>	<b>96,831</b>	<b>93,167</b>

## 2022年12月31日現在、代替参照金利(RFR)に移行していない金融商品

下表は、代替参照金利(RFR)への移行が予定されているものの、年度末現在で移行が完了していない重要な参照金利を参照している金融商品を特定したものである。

### 代替参照金利(RFR)への移行の結果、当行グループがさらされているリスク

移行により、当行の多数の業務が影響を受け、異なる地域拠点や多数の部署の業務分野が影響を受けている。フォールバック条項や他の契約上の問題、評価やリスク分析のための算定、会計及び報告、顧客とのコミュニケーションなど、新たな要件を満たすために、複数のITシステムが改変された。この開発は基本的に完了しており、顧客との新たな契約に全面的に対応するための作業が進行中である。今後、参照金利に変更が行われる際には、さらなる開発や改変が行われる予定である。変更は相当量にのぼり、連携が必要となることから、当行は、代替参照金利への移行に関する全事項を取り纏める、グループ規模のベンチマーク委員会を設立している。

### オペレーショナル・リスク

上述のプロセス、契約及びITシステムの変更は、オペレーショナル・リスクをもたらす可能性がある。市場は、多数の参照金利の多様なパラメーターに関して流動的であることから、ITシステムにはビジネスリスクやオペレーショナル・リスクが発生しないような対応を実施する必要がある。例えば、当行が技術的な制約を理由に取引を拒否せざるを得ない場合にビジネスリスクが生じる。

廃止予定、又は廃止の可能性がある参照金利を参照する契約や取引は特定されている。これらを新しい代替参照金利に更新又は修正する作業、若しくは関連性があると考えられる場合のフォールバック条項を締結する作業が進行中であり、基本的には新しい参照金利へのそれぞれの移行に間に合うように完了する見込みである。

代替参照金利への移行に伴うオペレーショナル・リスクは、オペレーショナル・リスクを特定、評価し管理するための当行の慣習的な手続に従って管理されている(G2「リスク及び資本管理」、オペレーショナル・リスクを参照のこと。)

### 市場リスク

異なる金融商品やプロダクトごとに異なる時点で新しい代替参照金利への移行が行われた場合に、金利リスクが若干変化し、ベシス・リスクが発生する。これらのリスクは変更が発生する際、当行のリスク許容度内で管理される。

### カウンターパーティ・リスク

エクスポージャーに大きな変動はなく、カウンターパーティ・リスクは当行のリスク許容度内で管理される。

貸借対照表日現在、代替参照金利(RFR)に移行していない、重要な銀行間取引金利を参照する金融商品

銀行間取引金利、2022年	金融資産、 非デリバティブ、 帳簿価額	金融負債、 非デリバティブ、 帳簿価額	デリバティブ商品、想定元本額		
			金利 スワップ	金利 オプション	クロスカレン シー金利 スワップ
百万スウェーデン・クローネ					
<b>米ドルLibor</b>					
米ドルLibor3ヶ月物	8,200	-	77,208	-	
米ドルLiborの他のテナー	443	-	376	-	
米ドルLibor3ヶ月物/ユーロEuribor3ヶ月物					5,839
米ドルLibor3ヶ月物/ノルウェー・クローネ Nibor3ヶ月物					18,974
米ドルLibor3ヶ月物/スウェーデン・クローネ Stibor3ヶ月物					19,494
米ドルLibor3ヶ月物/英ポンドLibor3ヶ月物					13,625
米ドルLibor3ヶ月物/他の通貨					1,159
他の通貨/米ドルLibor3ヶ月物					7,513
<b>英ポンドLibor<sup>1</sup></b>					
英ポンドLibor3ヶ月物 <sup>1</sup>	673	-	189	-	
<b>合計</b>	<b>9,316</b>	<b>-</b>	<b>77,773</b>	<b>-</b>	<b>66,604</b>

1) 英ポンドLiborは、2021年12月31日からSONIA(英ポンド翌日物平均金利)に置き換えられた。シンセティック英ポンドLiborを参照する対顧客契約が一部残っているが、これは「タフ・レガシー契約」に分類される対顧客契約に対してのみ適用されている。

銀行間取引金利、2021年	金融資産、 非デリバティブ、 帳簿価額	金融負債、 非デリバティブ、 帳簿価額	デリバティブ商品、想定元本額		
			金利 スワップ	金利 オプション	クロスカレン シー金利 スワップ
百万スウェーデン・クローネ					
<b>米ドルLibor</b>					
米ドルLibor3ヶ月物	6,641	-	66,886	-	
米ドルLiborの他のテナー	733	-	326	-	
米ドルLibor3ヶ月物/ユーロEuribor3ヶ月物					5,469
米ドルLibor3ヶ月物/ノルウェー・クローネ Nibor3ヶ月物					17,701
米ドルLibor3ヶ月物/スウェーデン・クローネ Stibor3ヶ月物					18,891
米ドルLibor3ヶ月物/英ポンドLibor3ヶ月物					12,511
米ドルLibor3ヶ月物/他の通貨					7,294
他の通貨/米ドルLibor3ヶ月物					6,741
<b>英ポンドLibor</b>					
英ポンドLibor3ヶ月物	88,364	-	10,498	4,632	
英ポンドLiborの他のテナー	2,008	-	-	-	
ユーロLibor3ヶ月物/英ポンドLibor3ヶ月物					6,514
英ポンドLibor3ヶ月物/米ドルLibor3ヶ月物					1,370
他の通貨/英ポンドLibor3ヶ月物					332
<b>合計</b>	<b>97,746</b>	<b>-</b>	<b>77,710</b>	<b>4,632</b>	<b>76,823</b>

上表には、銀行間取引金利の廃止前に満期を迎える金融資産及び負債やデリバティブは含まれていない。

## 注記G24 金融商品の相殺

2022年 百万スウェーデン・クローネ	デリバティブ	買戻契約及び 証券貸付	合計
<b>相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び 類似した契約の対象となる金融資産</b>			
総額	117,373	18,416	135,789
相殺される金額	-81,112	-4,833	-85,945
<b>貸借対照表計上額</b>	<b>36,261</b>	<b>13,583</b>	<b>49,844</b>
<b>貸借対照表上で相殺されない関連金額</b>			
金融商品、ネットティング契約	-11,031	-	-11,031
担保として受け入れた金融資産	-21,972	-13,568	-35,540
<b>貸借対照表上で相殺されない金額合計</b>	<b>-33,003</b>	<b>-13,568</b>	<b>-46,571</b>
<b>純額</b>	<b>3,258</b>	<b>15</b>	<b>3,273</b>
<b>相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び 類似した契約の対象となる金融負債</b>			
総額	111,598	4,838	116,436
相殺される金額	-82,558	-4,833	-87,391
<b>貸借対照表計上額</b>	<b>29,040</b>	<b>5</b>	<b>29,045</b>
<b>貸借対照表上で相殺されない関連金額</b>			
金融商品、ネットティング契約	-11,031	-	-11,031
担保として差し入れた金融資産	-5,897	-5	-5,902
<b>貸借対照表上で相殺されない金額合計</b>	<b>-16,928</b>	<b>-5</b>	<b>-16,933</b>
<b>純額</b>	<b>12,112</b>	<b>0</b>	<b>12,112</b>
<b>2021年</b>			
百万スウェーデン・クローネ	デリバティブ	買戻契約及び 証券貸付	合計
<b>相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び 類似した契約の対象となる金融資産</b>			
総額	48,543	33,836	82,379
相殺される金額	-20,035	-7,110	-27,145
<b>貸借対照表計上額</b>	<b>28,508</b>	<b>26,726</b>	<b>55,234</b>
<b>貸借対照表上で相殺されない関連金額</b>			
金融商品、ネットティング契約	-9,294	-	-9,294
担保として受け入れた金融資産	-13,322	-26,700	-40,022
<b>貸借対照表上で相殺されない金額合計</b>	<b>-22,616</b>	<b>-26,700</b>	<b>-49,316</b>
<b>純額</b>	<b>5,892</b>	<b>26</b>	<b>5,918</b>
<b>相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び 類似した契約の対象となる金融負債</b>			
総額	30,840	7,323	38,163
相殺される金額	-17,056	-7,110	-24,166

貸借対照表計上額	13,784	213	13,997
<b>貸借対照表上で相殺されない関連金額</b>			
金融商品、ネットティング契約	-9,294	-	-9,294
担保として差し入れた金融資産	-1,467	-213	-1,680
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-10,761	-213	-10,974
純額	3,023	-	3,023

デリバティブ商品は、2つ以上の契約の決済における当行の予測キャッシュ・フローを反映している場合に、貸借対照表上で相殺される。中央清算機関との買戻契約及び売戻契約は、2つ以上の契約の決済における当行の予測キャッシュ・フローを反映している場合に、貸借対照表上で相殺される。この相殺は、当行が合意したキャッシュ・フローを純額で決済する契約上の権利及び意図の両方を有している場合に行われる。デリバティブ資産について相殺された金額には、貸借対照表項目の一般顧客からの預金及び借入金による現金担保11,346(3,315)百万スウェーデン・クローネの相殺が含まれている。デリバティブ負債について相殺された金額には、貸借対照表項目の一般顧客への貸出金による現金担保12,791(335)百万スウェーデン・クローネの相殺が含まれている。

デリバティブの残存カウンターパーティ・リスクは、ネットティング契約を通じて(すなわち、倒産時に同一のカウンターパーティとのすべてのデリバティブ取引における正の価値と負の価値を相殺することによって)軽減されている。ハンデルスバンケンは、カウンターパーティとなるすべての銀行との間でネットティング契約を締結することを方針としている。ネットティング契約は、正味エクスポージャーに対する担保を設定することで補完されている。使用される担保は主に現金であるが、国債も使用される。買戻契約並びに有価証券借入及び貸付契約に関する担保には、通常、現金又は他の有価証券が利用される。

## 注記G25 無形資産

2022年 百万スウェーデン・ クローネ	商標及び その他の		内部開発		合計 2022年	
	のれん	権利	顧客契約	ソフト ウェア その他		
期首現在取得原価	4,375	196	671	5,605	164	11,011
無形資産の取得原価の増加	-	-	-	703	-	703
処分及び除却	-18	-206	-	-325	-	-549
外貨換算影響額	40	13	43	17	-	113
<b>期末現在取得原価</b>	<b>4,397</b>	<b>3</b>	<b>714</b>	<b>6,000</b>	<b>164</b>	<b>11,278</b>
期首現在償却累計額及び減損 額	-18	-193	-223	-2,209	-66	-2,709
処分及び除却	18	206	-	325	-	549
当年度の償却	-	-	-34	-594	-33	-661
当年度の減損	-	-	-	-21	-	-21
外貨換算影響額	-	-13	-14	-8	-	-35
<b>期末現在償却累計額及び減損 額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>-271</b>	<b>-2,507</b>	<b>-99</b>	<b>-2,877</b>
<b>帳簿価額</b>	<b>4,397</b>	<b>3</b>	<b>442</b>	<b>3,493</b>	<b>66</b>	<b>8,402</b>

2022年度には、2,723(2,144)百万スウェーデン・クローネの開発費が費用として計上された。

2021年 百万スウェーデン・ クローネ	商標及び その他の		内部開発		合計 2021年	
	のれん	権利	顧客契約	ソフト ウェア その他		
期首現在取得原価	6,822	188	801	5,530	164	13,505

無形資産の取得原価の増加	-	-	-	539	-	539
処分及び除却	-	-	-	-176	-	-176
売却目的で保有する資産への 分類変更	-2,569	-	-165	-341	-	-3,075
外貨換算影響額	122	8	35	53	-	218
<b>期末現在取得原価</b>	<b>4,375</b>	<b>196</b>	<b>671</b>	<b>5,605</b>	<b>164</b>	<b>11,011</b>
期首現在償却累計額及び減損 額	-	-168	-277	-1,697	-33	-2,175
処分及び除却	0	-	-	176	-	176
当年度の償却		-17	-33	-576	-33	-659
当年度の減損	-18	-	-	-100	-	-118
売却目的で保有する資産への 分類変更	-	-	107	227	-	334
売却目的で保有する資産へ分 類変更した資産に係る償却及 び 減損	-	-	-6	-217	-	-223
外貨換算影響額	-	-8	-14	-22	-	-44
<b>期末現在償却累計額及び減損 額</b>	<b>-18</b>	<b>-193</b>	<b>-223</b>	<b>-2,209</b>	<b>-66</b>	<b>-2,709</b>
<b>帳簿価額</b>	<b>4,357</b>	<b>3</b>	<b>448</b>	<b>3,396</b>	<b>98</b>	<b>8,302</b>

	のれん		耐用年数を確定できない 無形資産	
	2022年	2021年	2022年	2021年
百万スウェーデン・クローネ				
ハンデルスバンケン・スウェーデン	3,331	3,331	-	-
ハンデルスバンケン・英国	180	175	-	-
ハンデルスバンケン・ノルウェー	699	678	-	-
ハンデルスバンケン・オランダ	177	163	-	-
ハンデルスバンケン・キャピタル・ マーケット	10	10	3	3
<b>合計</b>	<b>4,397</b>	<b>4,357</b>	<b>3</b>	<b>3</b>

### のれん及び耐用年数を確定できない無形資産に関する減損テスト

認識済みののれんは、主にハンデルスバンケンの拠点市場における伝統的な銀行業務から導出されている。のれん及び耐用年数を確定できない無形資産には、毎年、年次決算にあたり減損テストが実施される。減損テストを実施する際に、のれんが割り当てられている単位の使用価値は、見積将来キャッシュ・フロー及び最終価値を割り引くことによって算定されている。上表ののれんは、事業セグメント間で配分されている。

最初の5年間の見積将来キャッシュ・フローは、リスク加重取引高、収益、費用及び信用損失についての予測に基づいている。この予測は主として、将来の収益及び費用の推移、経済情勢、予想される金利及び

予想される将来の規制の影響についての内部評価に基づくものである。最初の5年間経過後、長期成長率の仮定に基づいて予測が行われる。見積キャッシュ・フローは、過去のGDP成長実績及びスウェーデン中央銀行の長期インフレ目標に基づいている。当年度の減損テストは、2(2)%の長期成長率の仮定に基づいている。合計予想期間は20年間である。使用される最終価値は、テスト対象単位の純資産価値の予測である。見積キャッシュ・フローは、リスク・フリー金利及び市場の平均収益要件を加味したリスク調整に基づく金利により割り引かれている。年次減損テストでは、税引後の割引率は7.6(6.4)%であった。税引前の割引率は10.5(9.1)%であった。

のれんの年次減損テストにおける回収可能額と帳簿価値との差額は、満足できるものとみなされている。算定されたのれんの使用価値は、予想キャッシュ・フロー及び割引率に対して重要ないくつかの異なる変数からの影響を受けやすい。計算において最も重要な変数は、金利、景気循環、将来マージン及び費用削減に関する仮定である。重要な仮定に合理的に起こり得る変化が生じても、のれんの計上額に影響はない。

## 注記G26 不動産及び器具備品

### 不動産及び器具備品

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
器具備品	760	715
不動産	4,154	4,557
債権の保全のために担保権が実行された不動産	0	0
<b>合計</b>	<b>4,914</b>	<b>5,272</b>

債権の保全のために担保権が実行された不動産には、当行グループの債権の保全のために担保権が実行された資産に関する会計方針に従って定期的に公正価値で測定される動産が含まれている。注記G1を参照のこと。定期的に公正価値で測定される不動産の公正価値は、0(2)百万スウェーデン・クローネである。これらの不動産の未実現評価差額により、当期純利益に0(0)百万スウェーデン・クローネの影響が及んだ。民間住宅の評価は、基本的に該当する地域における比較可能な不動産の購入取引に関する市場の観測値に基づいて行われている。商業用不動産の評価は、賃貸料、空室率、運営及び維持費、利回り要件及び金利計算等の仮定を用いた割引将来キャッシュ・フローに基づいて行われている。評価はまた、その不動産の状態、立地及び代替的な利用可能性に基づいて行われている。当行は原則として、商業用及び事務所用ビル並びに工業用不動産を評価する際には公認独立鑑定人を常に使用している。市場の観測値のみに基づく評価0(2)百万スウェーデン・クローネは、注記G1に記載されている評価ヒエラルキーのレベル2に分類されている。独自の仮定を重要といえる程度に使用している評価0(0)百万スウェーデン・クローネは、評価ヒエラルキーのレベル3に分類されている。定期的に公正価値で測定される不動産に関連するレベル3の未実現価値変動による当年度利益への影響は0(0)百万スウェーデン・クローネであった。当年度に売却した定期的に公正価値で測定される不動産の金額は2(1)百万スウェーデン・クローネであり、このうち0(0)百万スウェーデン・クローネは、売却前はレベル3に分類されていた。当年度の新規不動産の増加額は0(0)百万スウェーデン・クローネであり、このうち0(0)百万スウェーデン・クローネはレベル3に分類された。

### 器具備品

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
期首現在取得原価	1,954	2,141

当年度の取得原価の増加	366	218
処分及び除却	-401	-369
売却目的で保有する資産への分類変更	-	-115
外貨換算影響額	77	79
<b>期末現在取得原価</b>	<b>1,996</b>	<b>1,954</b>
期首現在減価償却累計額及び減損額	-1,287	-1,325
当年度の予定減価償却	-311	-315
処分及び除却	355	329
売却目的で保有する資産への分類変更	-	57
売却目的で保有する資産へ分類変更した資産に係る償却及び減損 <sup>1</sup>	-	14
外貨換算影響額	-57	-47
<b>期末現在減価償却累計額及び減損額</b>	<b>-1,300</b>	<b>-1,287</b>
<b>帳簿価額</b>	<b>696</b>	<b>667</b>
<b>帳簿価額、使用権資産</b>	<b>64</b>	<b>48</b>
<b>帳簿価額</b>	<b>760</b>	<b>715</b>
<b>不動産</b>		
百万スウェーデン・クローネ	<b>2022年</b>	<b>2021年</b>
期首現在取得原価	1,775	2,509
新規建設及び改築	145	67
処分及び除却	-203	-530
売却目的で保有する資産への分類変更	-	-301
外貨換算影響額	36	30
<b>期末現在取得原価</b>	<b>1,753</b>	<b>1,775</b>
期首現在減価償却累計額及び減損額	-518	-1,084
当年度の予定減価償却	-32	-38
処分及び除却	2	476
売却目的で保有する資産への分類変更	-	127
売却目的で保有する資産へ分類変更した資産に係る償却及び減損 <sup>1</sup>	-	2
外貨換算影響額	-3	-1
<b>期末現在減価償却累計額及び減損額</b>	<b>-551</b>	<b>-518</b>
<b>帳簿価額</b>	<b>1,202</b>	<b>1,257</b>

帳簿価額、使用権資産	2,952	3,300
帳簿価額合計	4,154	4,557

2021年1月-9月期、すなわち「売却目的で保有する資産」への分類変更前の期間の償却費及び減損を参照のこと。

**注記G27 その他資産**

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
投資銀行業務の決済に係る債権	10,825	2,629
再保険資産	19	20
その他	3,876	3,136
<b>合計</b>	<b>14,720</b>	<b>5,785</b>

**注記G28 前払費用及び未収収益**

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
未収収益	1,187	1,280
前払費用	792	736
<b>合計</b>	<b>1,979</b>	<b>2,016</b>

**注記G29 金融機関からの預り金**

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
<b>預り金 (スウェーデン・クローネ建て)</b>		
銀行	9,080	4,409
その他金融機関	8,681	8,485
<b>合計</b>	<b>17,761</b>	<b>12,894</b>

**預り金 (外貨建て)**

銀行	63,777	69,982
その他金融機関	155	158
<b>合計</b>	<b>63,932</b>	<b>70,140</b>

<b>金融機関からの預り金合計</b>	81,693	83,034
うち、未払利息費用	185	-29
うち、レボ	-	-

**平均取引高**

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
金融機関からの預り金 (スウェーデン・クローネ建て)	24,643	48,286
金融機関からの預り金 (外貨建て)	145,739	118,074
<b>合計</b>	<b>170,382</b>	<b>166,360</b>
うち、レボ	125	371

## 注記G30 一般顧客からの預金及び借入金

## 一般顧客からの預金

百万スウェーデン・クローネ

## 預金(スウェーデン・クローネ建て)

	2022年	2021年
個人	430,128	445,736
法人	336,594	366,155
国債局	1	1
<b>合計</b>	<b>766,723</b>	<b>811,892</b>

## 預金(外貨建て)

個人	117,317	115,329
法人	294,915	310,530
<b>合計</b>	<b>412,232</b>	<b>425,859</b>

## 一般顧客からの預金合計

1,178,955 1,237,751

## 一般顧客からの借入金

百万スウェーデン・クローネ

## 借入金(スウェーデン・クローネ建て)

	2022年	2021年
借入金(スウェーデン・クローネ建て)	87,427	29,335
借入金(外貨建て)	58,679	19,551
<b>一般顧客からの借入金合計</b>	<b>146,106</b>	<b>48,886</b>

## 一般顧客からの預金及び借入金合計

1,325,061 1,286,637

うち、未払利息費用

854 95

うち、レボ

5 213

うち、保険事業

6,253 6,623

## 平均取引高

百万スウェーデン・クローネ

## 一般顧客からの預金

	2022年	2021年
一般顧客からの預金(スウェーデン・クローネ建て)	804,420	745,860
一般顧客からの預金(外貨建て)	446,694	490,229
<b>合計</b>	<b>1,251,114</b>	<b>1,236,089</b>

## 一般顧客からの借入金

一般顧客からの借入金(スウェーデン・クローネ建て)	70,508	54,673
一般顧客からの借入金(スウェーデン・クローネ建て)、保険事業	6,150	6,739
一般顧客からの借入金(外貨建て)	210,655	153,982
<b>合計</b>	<b>287,313</b>	<b>215,394</b>

うち、レボ

16,971

19,209

## 注記G31 顧客が価値変動リスクを負う負債

	2022年	2021年
百万スウェーデン・クローネ		
ユニットリンク保険及びポートフォリオ・ボンド保険に係る負債	212,363	235,209
その他のファンド負債	603	552
<b>合計</b>	<b>212,966</b>	<b>235,761</b>

## 注記G32 発行済証券

	2022年		2021年	
	帳簿価額	額面価格	帳簿価額	額面価格
百万スウェーデン・クローネ				
<b>コマーシャル・ペーパー</b>				
コマーシャル・ペーパー (スウェーデン・クローネ建て)	908	861	567	489
うち、純損益を通じて公正価値で計上	908	861	567	489
コマーシャル・ペーパー(外貨建て)	623,429	624,435	513,697	513,441
うち、償却原価で計上	622,702	623,745	512,583	512,332
うち、公正価値ヘッジに含まれるもの	6,507	6,681	905	906
うち、純損益を通じて公正価値で計上	727	690	1,114	1,109
<b>合計</b>	<b>624,336</b>	<b>625,296</b>	<b>514,264</b>	<b>513,930</b>
<b>債券</b>				
債券(スウェーデン・クローネ建て)	510,343	518,021	500,296	487,761
うち、償却原価で計上	510,343	518,021	500,296	487,761
うち、公正価値ヘッジに含まれるもの	95,126	102,300	40,225	39,200
債券(外貨建て)	340,122	353,420	339,208	339,801
うち、償却原価で計上	340,122	353,420	339,208	339,801
うち、公正価値ヘッジに含まれるもの	190,268	210,421	134,588	135,498
<b>合計</b>	<b>850,465</b>	<b>871,441</b>	<b>839,504</b>	<b>827,562</b>
<b>発行済証券合計</b>	<b>1,474,801</b>	<b>1,496,737</b>	<b>1,353,768</b>	<b>1,341,492</b>
うち、未払利息費用	5,886		4,194	

	2022年	2021年
百万スウェーデン・クローネ		
期首現在発行済証券	1,353,768	1,310,737
発行済	1,064,019	1,015,801
買戻	-57,759	-54,381
満期が到来したもの	-926,079	-939,884
外貨換算影響額等	40,852	21,495
<b>期末現在発行済証券</b>	<b>1,474,801</b>	<b>1,353,768</b>

**平均残高**

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
スウェーデン・クローネ	514,455	491,228
外貨	950,189	882,947
<b>合計</b>	<b>1,464,645</b>	<b>1,374,175</b>

**注記G33 ショートポジション**

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
<b>公正価値で計上されるショートポジション</b>		
株式	362	835
利付証券	1,577	3,270
<b>合計</b>	<b>1,939</b>	<b>4,105</b>

うち、未払利息費用 8 21

**平均残高**

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
スウェーデン・クローネ	16,865	21,824
外貨	142	229
<b>合計</b>	<b>17,007</b>	<b>22,053</b>

**注記G34 保険負債**

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
疾病年金に係る負債	144	162
終身年金に係る負債	160	199
その他未払保険金に係る負債	101	131
前払保険料に係る負債	-	40
<b>合計</b>	<b>405</b>	<b>532</b>

**注記G35 税金****繰延税金資産**

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
ヘッジ手段	996	-
無形資産	-	-
不動産及び器具備品	19	18
年金	370	295
その他	204	532
<b>合計</b>	<b>1,589</b>	<b>845</b>

**繰延税金負債**

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
一般顧客への貸出金 <sup>1</sup>	2,207	2,759
ヘッジ手段	764	369
無形資産	78	74
不動産及び器具備品	95	93
年金	2,466	1,754
その他	4	227
<b>合計</b>	<b>5,614</b>	<b>5,276</b>
<b>繰延税金負債純額</b>	<b>-4,025</b>	<b>4,431</b>

**繰延税金の変動、2022年**

百万スウェーデン・クローネ

	期首残高	損益計算書 に計上	その他包括 利益に計上	外貨換算 影響額	期末残高
一般顧客への貸出金 <sup>1</sup>	2,759	-552	-	-	2,207
ヘッジ手段	369	-	-601	-	-232
無形資産	74	4	-	-	78
不動産及び器具備品	75	-1	-	2	76
年金	1,459	15	622	-	2,096
その他	-305	312	-193	-14	-200
<b>合計</b>	<b>4,431</b>	<b>-222</b>	<b>-172</b>	<b>-12</b>	<b>4,025</b>

**繰延税金の変動、2021年**

百万スウェーデン・クローネ

	期首残高	損益計算書 に計上	その他包括 利益に計上	売却目的で 保有する資 産及び負債 に分類変更	外貨換算 影響額	期末残高
一般顧客への貸出金 <sup>1</sup>	3,212	-453	-	-	-	2,759
ヘッジ手段	965	-	-596	-	-	369
無形資産	70	4	-	-	-	74
不動産及び器具備品	97	-22	-	-	-	75
年金	146	-72	1,398	-	-13	1,459
その他	-355	-139	195	-4	-2	-305
<b>合計</b>	<b>4,135</b>	<b>-682</b>	<b>997</b>	<b>-4</b>	<b>-15</b>	<b>4,431</b>

1) うち、リース資産は2,207(2,759)百万スウェーデン・クローネである。

**損益計算書に計上された税金費用**

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
当期税金		
当期税金費用	-5,754	-5,188
過年度に関する税金の調整	103	-121

## 繰延税金

一時差異の変動	222	682
<b>税金費用合計(継続事業)</b>	<b>-5,429</b>	<b>-4,627</b>
<b>税金費用合計(非継続事業)</b>	<b>-1,173</b>	<b>-510</b>
<b>継続事業による税引前利益に対する税率、20.6(20.6)%</b>	<b>-5,484</b>	<b>-4,836</b>
<b>差異</b>	<b>55</b>	<b>209</b>

## 差異の詳細項目

各種損金不算入費用	-89	-20
劣後ローン利息の損金不算入額	-282	-226
保険事業に係る税率の相違	118	259
非課税のキャピタルゲイン及び受取配当	230	-
他国の税率との相違	-282	-121
税率変更による繰延税金の再測定	375	-
その他	-15	317
<b>合計</b>	<b>55</b>	<b>209</b>

[次へ](#)

## 注記G36 引当金

引当金、2022年	オフバランス シート項目に 係る予想信用 損失引当金 <sup>1</sup>	リストラクチャ リングに係る		合計
		引当金 <sup>2</sup>	その他引当金 <sup>3</sup>	
百万スウェーデン・クローネ				
<b>期首現在引当金</b>	<b>250</b>	<b>617</b>	<b>159</b>	<b>1,026</b>
当期の引当金繰入		-	129	129
取崩		-520	0	-520
戻入		-	-62	-62
売却目的で保有する負債への分類変更		-11	-	-11
予想信用損失の変動（純額）	29			29
<b>期末現在引当金</b>	<b>280</b>	<b>87</b>	<b>225</b>	<b>591</b>
引当金、2021年	オフバランス シート項目に 係る予想信用 損失引当金 <sup>1</sup>	リストラクチャ リングに係る		合計
		引当金 <sup>2</sup>	その他引当金 <sup>3</sup>	
百万スウェーデン・クローネ				
<b>期首現在引当金</b>	<b>366</b>	<b>1,829</b>	<b>107</b>	<b>2,302</b>
当期の引当金繰入		-	53	53
取崩		-1,171	0	-1,171
戻入		-	-1	-1
売却目的で保有する負債への分類変更	-94	-41	-	-135
予想信用損失の変動（純額）	-22			-22
<b>期末現在引当金</b>	<b>250</b>	<b>617</b>	<b>159</b>	<b>1,026</b>

1) 詳細は注記G10及びG44を参照のこと。

2) リストラクチャリングに係る引当金は当行のリストラクチャリングに関連する費用である。引当額の大半は2021年度から2022年度に決済されている。残りに関しては2023年末までに決済されると見込まれている。

3) 当行に対する債権の決済に将来必要になることが予想される金額は、その他引当金として表示されている。

## 注記G37 その他負債

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
	投資銀行業務の決済に係る負債	3,010
リース負債	3,018	3,414
再保険負債	107	83
その他	4,316	5,018
<b>合計</b>	<b>10,451</b>	<b>11,304</b>

## 注記G38 未払費用及び繰延収益

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
	未払費用	2,446
繰延収益	1,120	1,321

合計

3,565

3,519

## 注記G39 劣後負債

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
劣後ローン(スウェーデン・クローネ建て)	-	3,003
劣後ローン(外貨建て)	42,404	29,254
<b>合計</b>	<b>42,404</b>	<b>32,257</b>
うち、未払利息費用	1,078	769

## 平均残高

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
劣後ローン(スウェーデン・クローネ建て)	945	2,898
劣後ローン(外貨建て)	37,131	30,125
<b>合計</b>	<b>38,076</b>	<b>33,023</b>

## 劣後ローン、内訳

発行年	満期	通貨	各通貨別の 当初額面金額	金利、%	残高
<b>外貨建て</b>					
2018年	期限付	ユーロ	750	1.630%	8,458
2018年	期限付	ユーロ	750	1.250%	8,438
2019年	永久	米ドル	500	6.250%	5,332
2020年	永久	米ドル	500	4.380%	4,647
2020年	永久	米ドル	500	4.750%	4,228
2022年	期限付	ユーロ	500	3.250%	5,371
2022年	期限付	英ポンド	500	4.630%	5,930
<b>劣後負債合計</b>					<b>42,404</b>

劣後ローンに関する詳細は、第三の柱に関する報告書を参照のこと。

## 劣後負債の変動

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
期首現在劣後ローン	32,257	41,082
発行済	11,445	-
買戻	-	-
満期が到来したもの	-2,994	-9,711
外貨換算影響額等	1,696	886
<b>期末現在劣後ローン</b>	<b>42,404</b>	<b>32,257</b>

## 注記G40 持分変動の内訳

## ヘッジ準備金の変動

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
期首ヘッジ準備金	1,789	3,353

## キャッシュフロー・ヘッジ

公正価値変動の有効部分

金利リスク	-3,668	-2,319
-------	--------	--------

為替リスク	1,189	528
-------	-------	-----

未実現評価差額	-	-
---------	---	---

損益計算書への振替額 <sup>1</sup>	-160	-179
-------------------------	------	------

法人税	544	406
-----	-----	-----

<b>期末ヘッジ準備金</b>	<b>-307</b>	<b>1,789</b>
-----------------	-------------	--------------

## 公正価値評価差額準備金の変動

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
期首公正価値評価差額準備金	158	94

未実現評価差額 - 資本性金融商品	22	59
-------------------	----	----

実現評価差額 - 資本性金融商品	91	0
------------------	----	---

未実現評価差額 - 負債性金融商品	-54	5
-------------------	-----	---

予想信用損失引当金の変動 - 負債性金融商品	0	0
------------------------	---	---

利益剰余金への振替額 - 資本性金融商品 <sup>2</sup>	-91	0
-----------------------------------	-----	---

損益計算書への振替額 - 負債性金融商品 <sup>3</sup>	-	-
-----------------------------------	---	---

<b>期末公正価値評価差額準備金</b>	<b>126</b>	<b>158</b>
----------------------	------------	------------

## 為替換算調整準備金の変動

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
期首為替換算調整準備金	2,585	-806

支店における為替換算差額の変動	1,166	1,220
-----------------	-------	-------

子会社における為替換算差額の変動	1,697	2,247
------------------	-------	-------

損益計算書への振替額 <sup>4</sup>	-501	-9
-------------------------	------	----

利益剰余金への振替額 <sup>5</sup>	-615	-67
-------------------------	------	-----

<b>期末為替換算調整準備金</b>	<b>4,332</b>	<b>2,585</b>
--------------------	--------------	--------------

1) 本項目に係る税金33(37)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

2) 本項目に係る税金-(0)百万スウェーデン・クローネは、利益剰余金に振り替えられている。

3) 本項目に係る税金-(-)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

4) 本項目に係る税金18(2)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

5) 本項目に係る税金38(17)百万スウェーデン・クローネは、利益剰余金に振り替えられている。

## 注記G41 金融資産及び負債の分類

2022年

## 純損益を通じて公正価値で計上

百万スウェーデン・クローネ	純損益を通じて公正価値で計上			その他包括利益を通じて公正価値で測定	償却原価	帳簿価額 合計	公正価値
	強制	公正価値 オプション	ヘッジ手段 として特定 されたデリ バティブ				
<b>資産</b>							
現金及び中央銀行預け金					475,882	475,882	475,882
中央銀行へのその他の貸出金					32,620	32,620	32,620
中央銀行への担保として適格な利付証券	1,465	131,113		200		132,778	132,778
その他金融機関への貸出金					9,415	9,415	9,410
一般顧客への貸出金					2,469,324	2,469,324	2,422,795
ポートフォリオ・ヘッジにおける金利ヘッジ対象の価値変動					-16,616	-16,616	
債券及びその他の利付証券	5,328	17,487		9,882		32,697	32,697
株式	12,272			544		12,815	12,815
顧客が価値変動リスクを負う資産	222,038				73	222,111	222,111
デリバティブ商品	14,912		21,349			36,261	36,261
その他資産	14				14,796	14,810	14,810
<b>合計</b>	<b>256,028</b>	<b>148,600</b>	<b>21,349</b>	<b>10,626</b>	<b>2,985,493</b>	<b>3,422,096</b>	<b>3,392,179</b>
関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資						561	
非金融資産						31,058	
<b>資産合計</b>						<b>3,453,716</b>	
<b>負債</b>							
金融機関からの預り金					82,372	82,372	82,395
一般顧客からの預金及び借入金					1,382,422	1,382,422	1,381,640
顧客が価値変動リスクを負う負債		222,038			73	222,111	222,111
発行済証券	1,635				1,473,167	1,474,801	1,431,925
デリバティブ商品	16,648		12,392			29,040	29,040
ショートポジション	1,939					1,939	1,939
その他負債	11				11,224	11,235	11,235
劣後負債					42,404	42,404	42,430
<b>合計</b>	<b>20,233</b>	<b>222,038</b>	<b>12,392</b>		<b>2,991,662</b>	<b>3,246,325</b>	<b>3,202,715</b>
非金融負債						11,361	
<b>負債合計</b>						<b>3,257,686</b>	

上表の資産及び負債には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、処分グループのフィンランドが含まれている。注記G14を参照のこと。比較数値には、2022年度第4四半期に売却された処分グループのデンマークも含まれている。

2021年

## 純損益を通じて公正価値で計上

百万スウェーデン・クローネ	公正価値		ヘッジ手段 として特定 されたデリ バティブ	その他包括 利益を通じ て公正価値 で測定	償却原価	帳簿価額 合計	公正価値
	強制	オプション					
<b>資産</b>							
現金及び中央銀行預け金					439,964	439,964	439,964
中央銀行へのその他の貸出金					1,462	1,462	1,462
中央銀行への担保として適格な利付 証券	2,513	97,628		397		100,562	100,562
その他金融機関への貸出金					21,838	21,838	21,839
一般顧客への貸出金					2,413,829	2,413,829	2,416,796
ポートフォリオ・ヘッジにおける 金利ヘッジ対象の価値変動					-1,900	-1,900	
債券及びその他の利付証券	5,310	19,008		9,016		33,334	33,334
株式	19,026			908		19,934	19,934
顧客が価値変動リスクを負う資産	252,924				64	252,988	252,988
デリバティブ商品	17,300		11,218			28,518	28,518
その他資産	18				6,147	6,165	6,165
<b>合計</b>	<b>297,091</b>	<b>116,636</b>	<b>11,218</b>	<b>10,321</b>	<b>2,881,428</b>	<b>3,316,694</b>	<b>3,321,562</b>
関連会社及びジョイント・ベンチャー に対する投資						478	
非金融資産						29,592	
<b>資産合計</b>						<b>3,346,764</b>	
<b>負債</b>							
金融機関からの預り金					83,608	83,608	83,992
一般顧客からの預金及び借入金					1,400,757	1,400,757	1,400,721
顧客が価値変動リスクを負う負債		252,924			64	252,988	252,988
発行済証券	1,681				1,352,087	1,353,768	1,359,934
デリバティブ商品	8,843		4,966			13,809	13,809
ショートポジション	4,105					4,105	4,105
その他負債	7				12,405	12,412	12,412
劣後負債					32,257	32,257	33,645
<b>合計</b>	<b>14,636</b>	<b>252,924</b>	<b>4,966</b>		<b>2,881,178</b>	<b>3,153,704</b>	<b>3,161,606</b>
非金融負債						11,329	
<b>負債合計</b>						<b>3,165,033</b>	

## 注記G42 金融商品の公正価値測定

## 公正価値で計上される金融商品、2022年

百万スウェーデン・クローネ

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
<b>資産</b>				
中央銀行への担保として適格な利付証券				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	1,465	-	-	1,465
純損益を通じて公正価値で測定 （公正価値オプション）	131,113	-	-	131,113
その他包括利益を通じて公正価値で測定	200	-	-	200
債券及びその他の利付証券				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	5,328	-	-	5,328
純損益を通じて公正価値で測定 （公正価値オプション）	17,487	-	-	17,487
その他包括利益を通じて公正価値で測定	9,124	758	-	9,882
株式				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	11,866	384	21	12,271
その他包括利益を通じて公正価値で測定	274	117	152	543
顧客が価値変動リスクを負う資産	220,766	747	525	222,038
デリバティブ商品	49	36,173	39	36,261
<b>合計</b>	<b>397,673</b>	<b>38,179</b>	<b>737</b>	<b>436,589</b>

**負債**

顧客が価値変動リスクを負う負債	220,766	747	525	222,038
発行済証券	-	1,635	-	1,635
デリバティブ商品	54	28,947	39	29,040
ショートポジション	1,858	81	-	1,939
<b>合計</b>	<b>222,678</b>	<b>31,410</b>	<b>564</b>	<b>254,652</b>

上表の金融商品には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、処分グループのフィンランドが含まれている。注記G14を参照のこと。比較数値には、2022年度第4四半期に売却された処分グループのデンマークも含まれている。

## 公正価値で計上される金融商品、2021年

百万スウェーデン・クローネ

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
<b>資産</b>				
中央銀行への担保として適格な利付証券				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	2,188	325	-	2,513
純損益を通じて公正価値で測定 （公正価値オプション）	97,628	-	-	97,628
その他包括利益を通じて公正価値で測定	397	-	-	397
債券及びその他の利付証券				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	4,262	1,048	-	5,310

純損益を通じて公正価値で測定 (公正価値オプション)	19,008	-	-	19,008
その他包括利益を通じて公正価値で測定	2,291	6,725	-	9,016
<b>株式</b>				
純損益を通じて公正価値で測定(強制)	18,286	709	31	19,026
その他包括利益を通じて公正価値で測定	100	200	608	908
顧客が価値変動リスクを負う資産	251,977	463	484	252,924
デリバティブ商品	22	28,453	43	28,518
<b>合計</b>	<b>396,159</b>	<b>37,923</b>	<b>1,166</b>	<b>435,248</b>
<b>負債</b>				
顧客が価値変動リスクを負う負債	251,977	463	484	252,924
発行済証券	-	1,681	-	1,681
デリバティブ商品	46	13,720	43	13,809
ショートポジション	3,903	202	-	4,105
<b>合計</b>	<b>255,926</b>	<b>16,066</b>	<b>527</b>	<b>272,519</b>

### 評価ヒエラルキー

上表の公正価値で計上される金融商品は、適用された評価方法及び評価時に使用した市場データの透明性の程度に応じて区分されている。その区分は、上表においてレベル1から3で示されている。直接的かつ流動性が高い市場価格で評価される金融商品は、レベル1に区分されている。これらの金融商品は、主に活発に取引されている国債及びその他の利付証券、上場株式及び資産に対応する短期ポジションで構成されている。レベル1にはまた、ミューチュアル・ファンドにおける大部分の株式、ユニットリンク保険契約及び類似契約に関連するその他の資産並びにその資産に対応する負債が含まれている。実質的に市場データを基礎とする評価モデルを使用して評価される金融商品は、レベル2に区分されている。レベル2には、主に利付証券、金利及び通貨関連デリバティブが含まれている。外部の市場情報を用いて検証することのできないインプット・データが、その価値に重要な影響を及ぼす金融商品は、レベル3に区分される。レベル3には、非上場の株式、プライベート・エクイティ・ファンドに対する特定の保有及び特定のデリバティブが含まれる。

その区分は、貸借対照表日現在で適用された評価方法に基づいて行われている。特定の金融商品の区分が過年度の貸借対照表日(2021年12月31日)以降に変更された場合には、当該金融商品は上表のレベル間で振り替えられている。4.7十億スウェーデン・クローネ相当の債券及びその他の利付証券の残高が、当年度中にレベル2からレベル1へ振り替えられた。16百万スウェーデン・クローネ相当のデリバティブ負債がレベル1からレベル2へ振り替えられた。レベル間の振替は、市場活動を改めて評価した上で実施している。当年度のレベル3の保有の変動は、下表に別途表示されている。

レベル3の保有商品は主に非上場株式で構成されている。当行グループが保有している非上場株式は、主に当行に対して業務支援を行っている会社に対する当行の参加持分で構成されている。例えば、これらは清算機関に対する参加持分の場合もあれば、ハンデルスバンケンの拠点市場におけるインフラ関連の協業に対する参加持分の場合もある。それらの持分は、一般に当該会社における純資産価値に占める当行の持分、あるいは当該会社に関する最終取引価格で評価される。非上場株式はすべての重要な点から見て、その他包括利益を通じて公正価値で測定されるものに分類されている。したがって、これらのポートフォリオの価値変動は、その他包括利益に計上されている。

プライベート・エクイティ・ファンドに対する特定の保有はレベル3に分類されている。これらは主に、同一業種の比較可能な上場企業の相対的評価を基礎とする評価モデルを使用して評価されている。比較に使用される業績の測定は、当該投資との比較のために利用される会社との比較を歪める要因について調整された後、収益乗数（例：株価収益率及びEV/EBITA）に基づいて評価される。これらのポートフォリオの大部分は、当行グループの保険事業における投資資産に関するものである。投資資産の価値変動は、保険事業における利回り分割の計算基礎に含められているため、損益計算書に直接計上されない。

当行が発行した特定の仕組債券におけるデリバティブ部分及び関連するヘッジ目的デリバティブもまた、レベル3に分類されている。これらのデリバティブでは、社内の見積りが公正価値の算定に大きな影響を与える。レベル3のヘッジ目的デリバティブは、当行のカウンターパーティとの間で市場価値が日次で検証され確認されるクレジット・サポート・アネックス契約（CSA）に基づいて取引される。

損益計算書に計上された当年度のレベル3における金融商品の実現評価差額は、2(2)百万スウェーデン・クローネである。このうち全額が保険事業における利回り分割の計算に含められている。

### 取引価格と評価モデルを用いて算出された価値との差額

注記G1の会計方針に記載されているとおり、デリバティブ評価にモデルを適用する場合、当初認識時の評価と取引価格との間の重要な正の差額（取引日利得/損失）がデリバティブの契約期間にわたって償却されている。取引価格と評価モデルによって測定された価値との正の差額から生じた未実現額（取引日利得/損失）は、当行の利鞘のほか、資本コストや管理費用などの対価から構成されている。この原則を適用した結果、当年度において158(172)百万スウェーデン・クローネが金融取引による純損益に認識された。当年度末現在、未認識の取引日利得、447(489)百万スウェーデン・クローネであった。

#### レベル3の保有金融商品の変動、2022年

百万スウェーデン・クローネ	デリバティブ		顧客が価値変動	顧客が価値変動
	株式	資産	リスクを負う資産	リスクを負う負債
期首現在帳簿価額	639	43	484	-484
取得	-	34	-	-
買戻/売却	-472	-43	-	-
満期を迎えたもの	-	-	-	-
未実現評価差額(損益計算書に計上)	6	-32	41	-41
未実現評価差額(その他包括利益に計上)	-	-	-	-
レベル1又は2からの振替	-	29	-	-
レベル1又は2への振替	-	8	-	-
期末現在帳簿価額	173	39	525	-525

上表の金融商品には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、処分グループのフィンランドが含まれている。注記G14を参照のこと。比較数値には、2022年度第4四半期に売却された処分グループのデンマークも含まれている。

#### レベル3の保有金融商品の変動、2021年

百万スウェーデン・クローネ	デリバティブ		顧客が価値変動	顧客が価値変動
	株式	資産	リスクを負う資産	リスクを負う負債
期首現在帳簿価額	550	80	474	-474
取得	33	1	-	-
買戻/売却	-3	9	-	-

満期を迎えたもの	-	-	-	-	-
未実現評価差額(損益計算書に計上)	51	-131	130	10	-10
未実現評価差額(その他包括利益に計上)	8	-	-	-	-
レベル1又は2からの振替	-	10	-10	-	-
レベル1又は2への振替	-	74	-74	-	-
<b>期末現在帳簿価額</b>	<b>639</b>	<b>43</b>	<b>-43</b>	<b>484</b>	<b>-484</b>

### 償却原価で計上される金融商品の公正価値に関する情報についての原則

償却原価で計上される金融商品の公正価値に関する情報は、注記G41及び下表に記載されている。これらの金融商品は、基本的に貸出金、預金及び借入金で構成されている。決済手段及び短期の債権債務の帳簿価額は、これらの項目の公正価値の妥当な推定値とみなされている。満期日又は次回の金利更改日が30日以内に到来する債権債務は、短期項目と定義されている。

固定金利の貸出金の評価は、市場で想定される信用リスク及び流動性リスクに関するプレミアムを調整した最新の市場金利を基礎としている。このプレミアムは、測定時における新規貸出の平均マージンに等しいと仮定されている。利付証券は、入手可能な最新の市場価格で評価されている。市場価格に関する情報が入手不能な資金調達及び利付証券は、類似金融商品の価格又は金利等の市場データを基礎とする評価モデルを使用して評価されている。

下表における償却原価で計上される金融商品の公正価値情報で使用された評価は、上述の評価ヒエラルキーで区分されている。決済手段及び預金は現金同等物とみなされており、レベル1に区分されている。レベル1には、最新の市場価格がある利付証券（資産及び負債）も含まれている。信用及び流動性プレミアムに関する仮定が公正価値情報に重大な影響を及ぼす貸出金は、レベル3に区分されている。その他の金融商品はレベル2に区分されている。

### 償却原価で計上される金融商品の公正価値、

2022年

百万スウェーデン・クローネ

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
<b>資産</b>				
現金及び中央銀行預け金	475,882	-	-	475,882
中央銀行へのその他の貸出金	32,620	-	-	32,620
中央銀行への担保として適格な利付証券	-	-	-	-
その他金融機関への貸出金	4,924	4,083	403	9,410
一般顧客への貸出金	22,499	9,604	2,390,693	2,422,795
顧客が価値変動リスクを負う資産	73	-	-	73
<b>合計</b>	<b>535,998</b>	<b>13,687</b>	<b>2,391,096</b>	<b>2,940,780</b>
<b>負債</b>				
金融機関からの預り金	22,593	59,802	-	82,395
一般顧客からの預金及び借入金	1,355,990	25,650	-	1,381,640
顧客が価値変動リスクを負う負債	73	-	-	73
発行済証券	869,926	560,365	-	1,430,291
劣後負債	-	42,430	-	42,430
<b>合計</b>	<b>2,248,582</b>	<b>688,247</b>	<b>-</b>	<b>2,936,829</b>

上表の金融商品には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、処分グループのフィンランドが含まれている。注記G14を参照のこと。比較数値には、2022年度第4四半期に売却された処分グループのデンマークも含まれている。

#### 償却原価で計上される金融商品の公正価値、

##### 2021年

百万スウェーデン・クローネ

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
<b>資産</b>				
現金及び中央銀行預け金	439,964	-	-	439,964
中央銀行へのその他の貸出金	1,462	-	-	1,462
中央銀行への担保として適格な利付証券	-	24	-	24
その他金融機関への貸出金	3,689	17,757	393	21,839
一般顧客への貸出金	12,192	6,781	2,397,823	2,416,796
顧客が価値変動リスクを負う資産	64	-	-	64
<b>合計</b>	<b>457,371</b>	<b>24,562</b>	<b>2,398,216</b>	<b>2,880,149</b>
<b>負債</b>				
金融機関からの預り金	9,507	74,485	-	83,992
一般顧客からの預金及び借入金	1,385,232	15,489	-	1,400,721
顧客が価値変動リスクを負う負債	64	-	-	64
発行済証券	763,594	594,659	-	1,358,253
劣後負債	-	33,645	-	33,645
<b>合計</b>	<b>2,158,397</b>	<b>718,278</b>	<b>-</b>	<b>2,876,675</b>

#### 注記G43 担保として差し入れた資産、受け入れた担保及び譲渡金融資産

##### 自己の債務の担保として差し入れた資産

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
現金	14,754	14,600
国債及び債券	3,767	6,460
一般顧客への貸出金	728,662	692,211
株式	5,752	6,597
顧客が価値変動リスクを負う資産	224,009	248,066
その他	2,434	3,499
<b>合計</b>	<b>979,378</b>	<b>971,433</b>

うち、当行の裁量で取り下げ可能な担保資産

22

25

##### その他担保資産

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
現金	1,432	1,456

国債及び債券	10,692	5,767
株式	3,726	7,007
その他	-	0
<b>合計</b>	<b>15,850</b>	<b>14,230</b>

うち、当行の裁量で取り下げ可能な担保資産 2,196 3,563

その他担保資産は、貸借対照表に計上されていない債務に対して差し入れた担保のことである。

## 担保資産

担保資産は貸借対照表上、資産として計上される。担保として差し入れた利付証券は、主に支払制度、トレーディング及び決済のための担保として中央銀行及びその他金融機関へ差し入れられた有価証券、並びに拘束力のある買戻契約（レボ）に基づいて売却された有価証券で構成されている。担保として差し入れた株式は、主に貸付有価証券及び保険事業における株式より構成される。

担保として差し入れた一般顧客への貸出金は、主にスタッディポテックが発行したカバード・ボンド保有者のために登記された担保より構成されている。当該担保は、主に一世帯向け住宅、セカンド・ハウス、多世帯住居又は住宅共同組合アパートメントの住宅ローンで融資された貸出金より構成されており、不動産価値に対する融資比率は、市場価値の75%以内となっている。会社が破綻した際には、カバード・ボンド法及び優先権法に従ってカバード・ボンドの所有者が担保資産の優先権をもつ。破産決定時に担保として差し入れたすべての資産が当該優先権法の条件を満たす場合、これらは、破産財団のその他資産及び負債とは別個に保持される。その後、当該ボンドの保有者は、引き続きボンドの契約条件に基づいた支払を満期まで受け取ることになる。

顧客が価値変動リスクを負う資産は、主にハンデルスバンケン・リヴの保険契約者が優先権を有するユニットリンク保険契約のユニットより構成される。

## 受け入れた担保

受け入れた担保は貸借対照表に計上されない。売戻契約及びエクイティ・ローンに関して、担保は、第三者に売却又は再担保として差し入れ可能な有価証券の形態で受け入れている。売戻契約及びエクイティ・ローン契約に基づいて受け入れた担保の公正価値は、事業年度末現在35,395(63,709)百万スウェーデン・クローネであり、第三者に売却又は再担保として差し入れられた担保の価値は16,970(26,632)百万スウェーデン・クローネであった。貸出金に関して受け入れた担保及びその他の受け入れた担保に関する情報については、注記G2に示されている。

## 貸借対照表上に計上されている譲渡金融資産

譲渡金融資産は貸借対照表上資産として認識されているものの、将来キャッシュ・フローに関する権利が直接又は間接的に外部のカウンターパーティに譲渡されている。貸借対照表上に計上されている譲渡金融資産の大部分は、利付証券より構成されており、拘束力のある買戻契約に基づいて売却したもの又は貸付有価証券である。通常、拘束力のある買戻契約又はエクイティ・ローンの条件は、当行と各カウンターパーティとの間の基本契約において規定されている。

拘束力のある買戻契約は、将来の予め設定した時期に固定価格で有価証券を買い戻すことを前提として有価証券を売却することを意味している。したがって、有価証券の売り手は、契約期間中、価値変動リスクにさらされることとなる。買戻契約に基づいて売却された有価証券は、契約期間を通じて、貸借対照表上に市場価格で計上される。受領した代価は、カウンターパーティに対する負債として計上される。買戻契約の標準的な条件に従って、売却された有価証券の所有権はすべて売り手から買い手に譲渡される。これは、買い手が購入した有価証券の売却、再担保又は処分の権利を有していることを意味している。

エクイティ・ローンの標準的な契約に従って、貸付有価証券の価値変動に対するエクスポージャーは、貸手にある。したがって、貸付有価証券は、貸付期間を通じて貸借対照表に計上される。貸付有価証券の担保は、通常、現金又はその他の有価証券の形態をとっている。受け入れた現金担保は、貸借対照表上に負債として計上される。買戻契約と同様に、エクイティ・ローンで用いられる標準契約により、借り手は貸付期間中に借り入れた有価証券を売却、再担保又は処分する権利を有することになる。

有価証券トレーディング、決済等の目的で担保として差し入れた国債、債券及び株式は、その権利がカウンターパーティに譲渡される場合、その他譲渡金融資産として計上されている。譲渡金融資産にはまた、顧客が価値変動リスクを負う特定の資産も含まれている。これらの資産は、当行が正式な所有権を有しているものの、資産に関連するリスクも将来キャッシュ・フローに関する権利も第三者に譲渡された金融商品ポートフォリオから構成されている。これらの資産の評価は、対応する負債項目の評価を反映している。

貸借対照表上に計上されている譲渡金融資産 百万スウェーデン・クローネ	2022年		2021年	
	帳簿価額	関連する負債の 帳簿価額	帳簿価額	関連する負債の 帳簿価額
株式、証券貸付	4,039	208 <sup>1)</sup>	7,349	284 <sup>1)</sup>
国債及び債券、買戻契約	3,350	2	4,142	67
国債及び債券、その他	43	-	1,946	-
顧客が価値変動リスクを負う資産	603	603	552	552
<b>合計</b>	<b>8,036</b>	<b>813</b>	<b>13,989</b>	<b>903</b>

1) 現金で受領した担保

**注記G44 偶発債務**

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
<b>偶発債務</b>		
保証、貸出金	6,709	7,839
保証、その他	52,052	61,579
取消不能信用状	313	1,035
その他	1,901	1,303
<b>合計</b>	<b>60,975</b>	<b>71,756</b>
うち、減損テスト対象となるもの	60,975	71,756
<b>コミットメント</b>		
ローン・コミットメント	336,974	346,556
当座貸越枠の未使用部分	108,456	116,839
その他	13,684	23,122
<b>合計</b>	<b>459,114</b>	<b>486,517</b>
うち、減損テスト対象となるもの	266,418	344,081
<b>偶発債務合計</b>	<b>519,866</b>	<b>558,273</b>
引当金として計上される予想信用損失引当金（注記G36参照）	353	344

**偶発債務**

偶発債務は、主に様々な種類の保証で構成されている。信用保証は、他の信用機関及び年金機関の債務を保証するために顧客に提供される。その他の保証は、主として入札保証金、前払金に関する保証、保証期間中の保証及び輸出関連の保証等の商業保証である。偶発債務には、未使用の取消不能輸入信用状及び確認輸出信用状も含まれる。これらの取引は当行のサービスに含まれるもので、当行の顧客を支援するために提供されている。この表には保証額が示されている。

**請求**

当行グループ内の会社は、多くの民事裁判において一般法による請求を受けている。これらの裁判は、基本的に当行に有利に解決されると見込まれている。係争金額は当行グループの財政状態にも損益にも大きな影響を及ぼさないと評価されている。

**注記G45 リース****貸手としてのハンデルスバンケン****ファイナンス・リース**

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
投資純額からの金融収益	300	218
変動リース料	213	113

## 満期別及び投資純額別、割引前リース債権の内訳

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
1年以内	2,212	3,426
1年から2年	4,133	3,931
2年から3年	3,107	4,204
3年から4年	1,262	2,084
4年から5年	1,572	1,098
5年超	4,444	4,717
<b>割引前リース債権合計</b>	<b>16,730</b>	<b>19,460</b>
前受金融収益	-900	-351
<b>投資純額</b>	<b>15,830</b>	<b>19,109</b>

当行グループが貸手であるすべてのリースは、ファイナンス・リースとして定義されている。この種類のリース契約は、貸借対照表上、当初は投資純額に相当する額が貸出金として計上される。前年度からの変更は、主に業務の縮小に起因するリース残高の減少(-3十億スウェーデン・クローネ)によるものである。リース資産は主に車両及び機械から構成される。すべてのリースは残存価値が保証されている。当年度末において、当行グループのリース・エクスポージャーのうち、個別の帳簿価額が1十億スウェーデン・クローネを超えるものは3件であった。

## 借手としてのハンデルスバンケン

## 損益計算書項目

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
リース負債の利息費用	-53	-64
<b>合計<sup>1</sup></b>	<b>-53</b>	<b>-64</b>

## 使用権資産の減価償却費及び減損損失

不動産	-624	-668
器具備品	-22	-16
<b>合計<sup>2</sup></b>	<b>-646</b>	<b>-684</b>
短期リース費用	-33	-31
低額リース費用	-17	-15
リース負債の算定に含まれていない変動リース料	-125	-100
<b>合計<sup>3</sup></b>	<b>-175</b>	<b>-146</b>
<b>リース費用合計</b>	<b>-874</b>	<b>-894</b>

## 貸借対照表項目

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
<b>使用権資産<sup>4</sup></b>		

不動産	2,952	3,300
器具備品	64	48
<b>合計</b>	<b>3,016</b>	<b>3,348</b>
新規使用权資産 <sup>5</sup>	323	97
リース負債 <sup>6</sup>	3,018	3,412
リースのキャッシュ・アウトフロー総額	-854	-807

- 1) 損益計算書項目の利息費用に含まれている。
- 2) 損益計算書項目の不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損損失に含まれており、うち11(-55)百万スウェーデン・クローネが減損損失である。
- 3) 損益計算書項目のその他費用に含まれている。
- 4) 使用权資産は貸借対照表項目の不動産及び器具備品に含まれている。
- 5) 当年度の新規リース契約は使用权資産に含まれている。
- 6) リース負債は貸借対照表項目のその他負債に含まれている。

#### リース負債に係る満期までの期間

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
6か月以内	364	338
6か月から1年	355	333
1年から2年	672	633
2年から5年	1,342	1,401
5年超	512	689
合計	3,245	3,394

当行のリース契約は主に建物設備の賃借契約によるものである。このような契約を除き、その他のリース契約は主に多機能プリンター、PC及びその他の事務所設備である。

建物設備の賃借契約期間の大半は3年から10年である。当行の建物設備の賃借契約の中には契約期間延長に関するオプションが含まれているものがあり、特定の時点までに契約が解消されない限り、当該契約は特定期間延長される。また、当行が契約期間満了前に契約を解消できるオプションを含む建物設備の賃借契約もある。リース期間を決定するにあたり、契約期間の延長又は契約期間満了前の契約解消のオプションは、これらのオプションが行使される可能性が高い場合に限りリース期間に含められる。

当行は期間が12か月以内のリース契約及び原資産が低額なリース契約を締結している。これらのリース契約はIFRS第16号「リース」の免除規定に従い費用として認識されるため、リース負債にも使用权資産にも含まれない。

## 注記G46 セグメント報告

セグメント報告、2022年 百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン	英国	ノルウェー	オランダ	キャピタル・ マーケット	その他	調整及び消去	合計
純利息収益	23,078	7,580	4,264	1,354	301	32		36,610
純手数料及びコミッション収益	8,471	807	695	147	771	213		11,103
金融取引による純損益	78	248	91	21	1,131	-457		1,111
保険リスク	155		21					176
関連会社及びジョイント・ベン チャーの持分利益						-13		-13
その他の収益	103	14	25	1	9	1,111		1,263
<b>収益合計</b>	<b>31,884</b>	<b>8,649</b>	<b>5,096</b>	<b>1,523</b>	<b>2,212</b>	<b>885</b>		<b>50,249</b>
人件費	-4,041	-2,693	-1,028	-442	-1,143	-3,778	22	-13,103
その他費用	-1,515	-789	-295	-94	-326	-3,525		-6,543
内部購入及び売却されたサービス	-4,630	-1,076	-667	-241	-344	6,959		
不動産及び器具備品並びに無形資産 の減価償却費、償却費及び減損	-420	-313	-92	-54	-147	-601	-23	-1,650
<b>費用合計</b>	<b>-10,607</b>	<b>-4,872</b>	<b>-2,082</b>	<b>-832</b>	<b>-1,959</b>	<b>-944</b>	<b>-1</b>	<b>-21,296</b>
<b>信用損失、リスク税及び破綻処理手 数料控除前利益</b>	<b>21,278</b>	<b>3,778</b>	<b>3,014</b>	<b>691</b>	<b>253</b>	<b>-60</b>	<b>-1</b>	<b>28,953</b>
正味信用損失	135	-55	-152	0	-13	38		-47
不動産及び器具備品並びに無形資産 の処分損益	10	10	6	-	0	-2		24
リスク税及び破綻処理手数料	-1,659		-359	-81	-33	-180		-2,311
<b>営業利益</b>	<b>19,764</b>	<b>3,733</b>	<b>2,509</b>	<b>610</b>	<b>206</b>	<b>-203</b>	<b>-1</b>	<b>26,619</b>
利益配分	374	49	69	0	-531	39		
<b>利益配分後の営業利益</b>	<b>20,138</b>	<b>3,781</b>	<b>2,578</b>	<b>610</b>	<b>-324</b>	<b>-164</b>	<b>-1</b>	<b>26,619</b>
内部収益 <sup>1</sup>	1,727	52	-3,838	-453	615	1,897		
C/I比率、%	32.9	56.0	40.3	54.6	116.5			42.4
信用損失実績率、%	-0.01	0.01	0.04	0.00	0.06			0.00
資産	2,711,810	505,113	321,450	128,633	48,680	2,688,331	-2,950,301	3,453,716
負債	2,603,652	484,408	301,089	124,999	46,607	2,673,717	-2,976,786	3,257,686
割当済資本	108,158	20,705	20,361	3,634	2,073	14,614	26,485	196,030
割当済資本に係る利益率、%	15.5	14.9	10.4	14.4	-11.5			12.3
当年度の非金融固定資産への投資	277	137	111	6	21	662		1,214
当年度の関連会社及び ジョイント・ベンチャーへの投資						123		123
平均従業員数	3,907	2,481	763	357	585	2,861		10,954

上表の「その他」には、処分グループであるフィンランドに帰属する資産、負債、割当済資本、及び当年度の非金融固定資産への投資を含む。

事業セグメントは、IFRS第8号「事業セグメント」に準拠して認識されている。これは、セグメント情報がコーポレート・ガバナンスの一環として内部的に採用される方法と類似した方法で表示されていることを意味する。ハンデルスバンケンの事業は、スウェーデン、英国、ノルウェー、オランダ及びキャピタル・マーケットのセグメントに区分して表示されている。ハンデルスバンケンの支店業務は、融資、決済、ファイナンシャル・アドバイザリーサービス、預金及び年金に特化したサービスを提供している。キャピタル・マーケットを除いたセグメントには、支店業務並びに資産運用及び保険事業が含まれる。各国では独立した収益部門として業務が行われ、各国の支店長が業務を統括する。スウェーデン及び英国では、各国の支店長が統括する支店業務は、県域自治体及び地域別にそれぞれ編成されている。キャピタル・マーケット・セグメントは、有価証券売買及び投資アドバイザリーサービスを含む、ハンデルスバンケンの投資銀行である。その事業にはまた、拠点市場以外の当行の国際事業も含まれる。

セグメントに関する利益/損失は、内部利益の配分前と配分後の両方について報告されている。内部利益の配分において、当行と顧客との取引によって生じた利益は、取引の実施セグメントにかかわらず、すべてその顧客を担当するユニットに配分される。ただし、内部サービスに関する収益及び費用は、別個の項目である「内部購入及び売却されたサービス」に純額で報告される。セグメント間取引は、主として原価基準で報告される。その他並びに調整及び消去の欄は、特定のセグメントに属さない項目又は当行グループ・レベルで消去されている項目を示している。その他には、専らトレジャリー及び中央部門が含まれ、同時にオクトゴーネン利益分配制度への引当に起因する取引も含まれている。調整及び消去の欄には、人件費に対する調整が含まれている。人件費に対する調整は、IAS第19号「従業員給付」に従って計算される当行グループの年金費用と現地で算定された年金費用を含んでいる。

内部収益は、主に内部利息及びコミッションより構成されている。セグメントの損益計算書には、内部サービスの提供に対する支払といった内部項目も含まれている。内部付替えは、主に原価法に従っている。

支店業務においては、資産は主に一般顧客への貸出金より構成され、負債は一般顧客からの預金並びに内部借入より構成されている。「その他」の欄に含まれている資産は、主に様々なセグメントへの内部貸付であるが、「その他」の欄に含まれている負債は、主に外部借入である。各セグメントに関する割当済資本は、内部の財務管理モデルによる資本割当と同様のものである。

## セグメント報告

### 2021年

百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン	英国	ノルウェー	オランダ	キャピタル・ マーケット	その他	調整及び消去	合計
純利息収益	18,880	5,452	3,867	1,076	245	801		30,321
純手数料及びコミッション収益	8,800	751	656	224	786	241		11,458
金融取引による純損益	480	189	55	32	1,185	-242		1,699
保険リスク	168		11					179
関連会社及びジョイント・ベンチャーの持分利益						63		63
その他の収益	471	0	26	0	9	51		557
<b>収益合計</b>	<b>28,799</b>	<b>6,392</b>	<b>4,615</b>	<b>1,332</b>	<b>2,225</b>	<b>914</b>		<b>44,277</b>
人件費	-4,035	-2,467	-908	-395	-1,211	-3,267	-169	-12,452
その他費用	-1,216	-1,045	-195	-76	-361	-2,684		-5,577
内部購入及び売却されたサービス	-4,289	-912	-510	-176	-317	6,204		
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損	-358	-316	-84	-50	-233	-726	-47	-1,814
<b>費用合計</b>	<b>-9,898</b>	<b>-4,740</b>	<b>-1,697</b>	<b>-697</b>	<b>-2,122</b>	<b>-473</b>	<b>-216</b>	<b>-19,843</b>
<b>信用損失、リスク税及び破綻処理手数料控除前利益</b>	<b>18,901</b>	<b>1,652</b>	<b>2,918</b>	<b>635</b>	<b>103</b>	<b>441</b>	<b>-216</b>	<b>24,434</b>

正味信用損失	15	95	-150	-5	11	-9	-43
不動産及び器具備品並びに無形資産 の処分損益	9	9	6	-	-10	0	14
リスク税及び破綻処理手数料	-696		-167	-31	-22	-14	-930
<b>営業利益</b>	<b>18,229</b>	<b>1,756</b>	<b>2,607</b>	<b>599</b>	<b>82</b>	<b>418</b>	<b>-216</b>
利益配分	296	46	54	1	-434	37	
<b>利益配分後の営業利益</b>	<b>18,525</b>	<b>1,802</b>	<b>2,661</b>	<b>600</b>	<b>-352</b>	<b>455</b>	<b>23,475</b>
内部収益 <sup>1</sup>	-345	-961	-1,447	-401	-362	3,516	
C/I比率、%	34.0	73.6	36.3	52.3	118.5		44.8
信用損失実績率、%	0.00	-0.04	0.06	0.01	-0.01		0.00
資産	2,598,396	488,025	294,510	111,145	94,050	2,535,178	-2,774,540
負債	2,493,982	467,478	276,517	108,132	91,475	2,520,023	-2,792,574
割当済資本	104,414	20,547	17,993	3,013	2,575	15,155	18,034
割当済資本に係る利益率、%	14.8	7.0	11.4	16.7	-11.8		11.4
当年度の非金融固定資産への投資	-77	77	29	2	138	528	697
当年度の関連会社及びジョイント・ ベンチャーへの投資						51	51
平均従業員数	3,899	2,509	742	337	647	2,905	11,039

1) 収益総額に含まれている内部収益は、他の事業セグメント及び「その他」との取引によって生じた収益より構成されている。利息収益及び利息費用は、収益として純額で計上されていることから、内部収益には、セグメント及び「その他」との間の内部資金調達費用が純額で含まれることを意味する。

上表の「その他」の項目は、処分グループであるデンマーク及びフィンランドに帰属する資産、負債、割当済資本、及び当年度の非金融固定資産への投資を含む。

2022年度第1四半期に、より焦点を絞り込んだ顧客中心型の組織への変更を目的とした再編が行われた。会計上の最大の影響は、ノルウェー、フィンランド及びデンマークに移管された各地の貯蓄及び年金部門を除き、貯蓄及び年金部門がキャピタル・マーケットからスウェーデンに移管されたことによるものである。また、現在スウェーデンと緊密に連携している一部の本部機能は、その他の部門からスウェーデンに移管された。そのため、表中の比較数値は再計算されている。

#### 商品分野別の収益

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
個人からの預金及び個人への貸出金	17,376	15,127
法人からの預金及び法人への貸出金	20,167	15,485
決済事業、純額	1,711	1,479
資産運用	6,380	6,747
年金及び保険	515	934
投資銀行	6,746	2,937
その他の事業	-2,645	1,568
<b>合計</b>	<b>50,249</b>	<b>44,277</b>

#### 注記G47 地域別情報

地域別情報、2022年 百万スウェーデン・クローネ	非継続事業 からの 当期利益 (税引後)				資産
	収益	営業利益	法人税等		
スウェーデン	32,069	17,315	-3,497		3,027,754
英国	9,142	4,317	-1,164		411,364
ノルウェー	4,884	2,548	-643		352,830
オランダ	1,484	603	-170		234,582
米国	521	392	-10		422,166
ルクセンブルク	226	103	-25		18,114
中国	0	1	-		
ドイツ	0	26	-		
フランス	13	-9	0		2
ポーランド	-19	-73	-		384
デンマーク				189	2,711
フィンランド				91	195,480
内部消去	1,930	1,395	80		-1,211,672
<b>合計</b>	<b>50,249</b>	<b>26,619</b>	<b>-5,429</b>	<b>280</b>	<b>3,453,716</b>

地域別情報に表示されている収益、営業利益及び非継続事業からの当期利益（税引後）並びに資産は、各国における内部・外部収益、費用及び資産より構成されている。地域別収益及び費用配分は取引実施国に基づいているため、報告されたセグメント情報と比較することはできない。法人税等には当期税金及び繰延税金が含まれる。子会社及び関連会社の本拠地については注記P17に、国別平均従業員数については注記G8に、追加の地域別情報が記載されている。

地域別情報、2021年 百万スウェーデン・クローネ	非継続事業 からの 当期利益 (税引後)				資産
	収益	営業利益	法人税等		
スウェーデン	31,154	18,803	-3,445		2,865,613
英国	6,287	1,543	-415		398,272
ノルウェー	4,321	2,296	-606		331,696
オランダ	1,359	622	-151		105,022
米国	260	167	-4		273,070
ルクセンブルク	156	47	-12		34,550
中国	9	-34	0		1
ドイツ	4	-33	-		64
フランス	54	12	-2		3,251
シンガポール	0	-2	0		-
ポーランド	-12	-78	-		459
デンマーク				854	149,950
フィンランド				-159	274,415
内部消去	685	132	8		-1,089,599

合計	44,277	23,475	-4,627	695	3,346,764
----	--------	--------	--------	-----	-----------

2022年度第1四半期より、破綻処理手数料及びリスク税は純利息収益の一部ではなく、営業利益の中の個別の科目として計上されていることから、表中の比較数値は再計算されている。

#### 注記G48 通貨別資産及び負債

2022年 百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン・クローネ	ユーロ	ノルウェー・クローネ	デンマーク・クローネ	英ポンド	米ドル	その他の通貨	合計
<b>資産</b>								
現金及び中央銀行預け金	100,413	136,928	8,962	0	99,872	129,674	34	475,882
中央銀行へのその他の貸出金	-	31,364	-	-	1,256	-	-	32,620
その他金融機関への貸出金	480	3,709	2	1	903	3,894	424	9,415
一般顧客への貸出金	1,586,449	292,228	324,563	9,901	242,246	11,704	2,233	2,469,324
うち、法人	602,504	183,963	206,027	9,884	169,380	11,517	847	1,184,121
うち、個人	983,946	108,265	118,537	17	72,867	187	1,385	1,285,204
中央銀行への担保として適格な利付証券	117,546	5,483	36	1	-	9,712	-	132,778
債券及びその他の利付証券	22,353	1,472	8,352	-	-	519	-	32,697
その他項目(通貨別内訳なし)	301,000	-	-	-	-	-	-	301,000
<b>資産合計</b>	<b>2,128,242</b>	<b>471,184</b>	<b>341,916</b>	<b>9,902</b>	<b>344,277</b>	<b>155,503</b>	<b>2,691</b>	<b>3,453,716</b>
<b>負債</b>								
金融機関からの預り金	17,760	50,548	29	1,906	115	11,990	23	82,372
一般顧客からの預金及び借入金	854,602	136,375	91,473	1,201	252,592	43,167	3,011	1,382,422
うち、法人	370,568	103,155	58,072	1,110	179,920	39,354	2,184	754,362
うち、個人	484,035	33,220	33,401	91	72,672	3,814	828	628,060
発行済証券	511,251	342,123	25,828	-	39,407	536,118	20,076	1,474,801
劣後負債	0	22,266	-	-	5,930	14,208	-	42,404
その他項目(通貨別内訳なし、資本含む)	471,716	-	-	-	-	-	-	471,716
<b>負債及び資本合計</b>	<b>1,855,329</b>	<b>551,311</b>	<b>117,330</b>	<b>3,107</b>	<b>298,044</b>	<b>605,483</b>	<b>23,110</b>	<b>3,453,716</b>
通貨別その他資産及び負債、正味		80,111	-224,481	-6,818	-46,235	449,902	20,487	
正味外貨ポジション		-16	105	-24	-2	-78	68	53

注記G2に、為替リスクに関する当行の見解が記載されている。

上表の資産及び負債には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された処分グループのフィンランドが含まれている。G14を参照のこと。比較数値には、2022年度第4四半期に売却された処分グループのデンマークも含まれている。

2021年 百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン・クローネ	ユーロ	ノルウェー・クローネ	デンマーク・クローネ	英ポンド	米ドル	その他の通貨	合計
<b>資産</b>								
現金及び中央銀行預け金	93,293	149,547	4,578	28,282	101,196	63,008	60	439,964
中央銀行へのその他の貸出金	-	-	-	207	1,255	-	-	1,462
その他金融機関への貸出金	1,073	3,587	12,122	51	1,140	3,335	530	21,838
一般顧客への貸出金	1,496,800	245,760	294,946	107,914	251,793	13,567	3,049	2,413,829
うち、法人	537,399	149,031	183,442	43,663	174,344	13,376	1,555	1,102,810
うち、個人	959,401	96,729	111,504	64,251	77,449	191	1,494	1,311,019
中央銀行への担保として適格な利付証券	91,630	5,658	335	26	-	2,913	-	100,562
債券及びその他の利付証券	23,131	965	8,741	17	-	480	-	33,334
その他項目(通貨別内訳なし)	335,775							335,775
<b>資産合計</b>	<b>2,041,702</b>	<b>405,517</b>	<b>320,722</b>	<b>136,497</b>	<b>355,384</b>	<b>83,303</b>	<b>3,639</b>	<b>3,346,764</b>
<b>負債</b>								
金融機関からの預り金	12,903	49,968	14,376	248	79	5,984	50	83,608
一般顧客からの預金及び借入金	842,173	151,481	89,516	52,166	231,861	31,233	2,327	1,400,757
うち、法人	386,274	120,367	59,662	28,818	162,303	26,964	1,605	785,993
うち、個人	455,899	31,114	29,854	23,348	69,558	4,269	722	614,764
発行済証券	500,864	385,000	30,207	7	69,192	351,169	17,329	1,353,768
劣後負債	3,003	15,547	-	-	0	13,707	-	32,257
その他項目(通貨別内訳なし、資本含む)	476,374							476,374
<b>負債及び資本合計</b>	<b>1,835,317</b>	<b>601,996</b>	<b>134,099</b>	<b>52,421</b>	<b>301,132</b>	<b>402,093</b>	<b>19,706</b>	<b>3,346,764</b>
通貨別その他資産及び負債、正味		196,428	-186,467	-84,073	-54,145	318,781	16,124	
正味外貨ポジション		-51	156	3	107	-9	57	263

## 注記G49 非連結の組成された事業体における持分

百万スウェーデン・クローネ	保有ファンド	
	2022年	2021年
<b>資産<sup>1</sup></b>		
持分	5,572	6,556
顧客が価値変動リスクを負う資産	209,633	230,792
<b>非連結の組成された事業体における持分合計</b>	<b>215,205</b>	<b>237,348</b>

1) うち、9,145(10,457)百万スウェーデン・クローネは処分グループのフィンランドに含まれており、「売却目的で保有する資産」に分類変更されている。G14を参照のこと。

組成された事業体は、議決権又は同様の権利が、その事業体を支配している企業を判定する上で決め手となる要因ではないとされている事業体のことである。例えば、議決権が管理業務にしか関連しない場合や関連活動が契約上の取決めによって制限される場合などがある。非連結の組成された事業体におけるハンデルスバンケンの持分は限定されており、ファンド持分より構成されている。ファンドは、ハンデルスバンケン・リヴにおける主にユニットリンク保険契約、及び他社との類似の契約を通じて所有されてい

る。ユニットリンク契約を通じたファンドへの投資は連結されることはないことから、非連結の組成された事業体を構成する。ハンデルスバンケンはまた、マーケット・メーカーとしての役割を果たしながら、複数のファンドの持分を所有している。こうした所有が連結されない場合は、非連結事業体に対する持分となる。非連結の組成された事業体におけるすべての持分の損失に対する最大エクスポージャーは、その持分の現在の帳簿価額である。これらの事業体の資産合計は、関連リスクを理解する上では重要とみなされないため、表示されていない。

[次へ](#)

## 注記G50 関連当事者に関する開示

関連当事者に対する債権及び債務	関連会社及び ジョイント・ベンチャー		その他関連当事者	
	2022年	2021年	2022年	2021年
百万スウェーデン・クローネ				
一般顧客への貸出金	1,289	439	-	-
その他資産	28	29	16	572
<b>合計</b>	<b>1,317</b>	<b>468</b>	<b>16</b>	<b>572</b>
一般顧客からの預金及び借入金	127	113	1,528	1,058
劣後負債	-	-	-	-
その他負債	-	-	-	-
<b>合計</b>	<b>127</b>	<b>113</b>	<b>1,528</b>	<b>1,058</b>
<b>関連当事者 - 収益及び費用</b>				
	関連会社及び ジョイント・ベンチャー		その他関連当事者	
	2022年	2021年	2022年	2021年
百万スウェーデン・クローネ				
利息収益	8	25	-	-
利息費用	-	0	-6	-
手数料及びコミッション収益	-	-	-	-
手数料及びコミッション費用	-229	-237	-	-
公正価値で評価される金融項目からの純損益	-	0	-	-
その他収益	-	-	19	17
その他費用	-102	-73	-178	-102
<b>合計</b>	<b>-323</b>	<b>-285</b>	<b>-165</b>	<b>-85</b>

上記の数値は全事業を対象としている。

注記G20には、関連会社及びジョイント・ベンチャーのリスト及び関連会社に対する資本拠出に関する情報が記載されている。関連会社及びジョイント・ベンチャーの事業は、金融市場関連の様々なサービスより構成される。スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelse（年金基金）、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPersonalstiftelse（従業員基金）及びPensionskassan SHB Tjänstepensionsförening（年金ファンド）の各社は、その他関連当事者グループを構成している。これらの会社は通常の銀行業務及び会計業務に関して、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ピーを利用している。

2021年10月21日、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ピーは、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseからAB IndustrivärdenのクラスA株式 30,461,977株を8,548百万スウェーデン・クローネで取得した。これらの株式は、その後、特別配当として当行の株主に分配された。関連会社との商取引はすべて市場ベースの条件で行われている。

親会社のスウェーデン子会社は、年金ファンドに確定給付年金に関連する年金保険料85(104)百万スウェーデン・クローネを支払った。子会社従業員に対する年金ファンドの債務は親会社によって保証されているため、年金ファンドが債務を支払えない場合には、親会社はその債務を引き受けて支払義務を負う。この年金ファンドの債務は、6,136(7,281)百万スウェーデン・クローネである。スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・

ビーは、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseに対し、年金費用の-(568)百万スウェーデン・クローネ及び特別補足年金(-)百万スウェーデン・クローネを請求し、スウェンスカ・ハンデルスバンケン Personalstiftelseからは、従業員のための給付費用として47(63)百万スウェーデン・クローネが請求された。

執行役員への貸出金及び条件並びに執行役員に対するその他の報酬に関する情報については、注記G8に記載されている。

#### 注記G51 重要な後発事象

貸借対照表日後に重要な後発事象はなかった。

#### 注記G52 自己資本比率

##### 資本方針

当行は、当行グループの業務に伴うリスクに対応し、法律で定められた最低要件を上回る堅実な資本水準を維持することを目的としている。健全な資本水準は、金融逼迫状態並びに買収及び取引高の大幅な増加等その他の事象に対処するために必要となる。

##### 自己資本規制

自己資本比率規制である規制(EU)575/2013(以下、「CRR」という。)及び指令2013/36/EU(以下、「CRD」という。)に従って、当行は、少なくとも信用リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクに関するリスク加重エクスポージャー合計金額の個別要件に対応した普通株式等Tier 1資本、Tier 1資本及び自己資本合計を保有しなければならない。当行は、最低要件に従って資本を保有することに加え、スウェーデンにおいて、資本保全バッファ、カウンターシクリカル・バッファ、システムック・リスク・バッファ及びその他の金融システム上重要な金融機関バッファの合計より構成される結合バッファ要件に準拠する普通株式等Tier 1資本も保有しなければならない。また、当行は、第二の柱に基づく最低所要自己資本を定めている。この第二の柱の要件は、スウェーデン金融監督庁が決定した個別の要件であり、過小評価されているリスク、または規制上の最低要件及び結合バッファ要件の対象とならないリスクのカバーを目的としたものである。スウェーデン金融監督庁が決定した第二の柱には、これらの要件に関するガイダンスもあり、所与の所要自己資本に加え、当行の最低バッファ要件に関する当局の見解が示されている。また、同行は自己資本比率の内部評価を行わなければならない。ハンデルスバンケンの資本方針では、自己資本比率の内部評価に関するガイドラインを規定している。当行はまた、金融コングロマリット(特別監督)法(2006年:第531号)に従って、金融コングロマリットレベルでの所要自己資本にも準拠しなければならない。2016年2月1日以降、破綻整理機構(スウェーデンでは、国債局)により、当行に対し、自己資本及び適格債務の最低基準(MREL)が設定されている。2022年において当行は、当行の規制上の最低水準及びバッファ水準のすべてを十分な余裕をもって満たしていた。当行の自己資本及び所要自己資本に関するより詳細な情報については、注記G2「リスク及び資本管理」並びに当行の「リスク及び資本 - 第三の柱に関する情報」から入手可能である(handelsbanken.com/irを参照のこと)。当出版物はハンデルスバンケンのすべての自己資本及び適格債務に適用される条件の詳細な情報も掲載している。

##### 連結ベースの情報

規制上の連結(以下、「連結ベース」という。)は、親会社並びに当該連結財務諸表の表EU L13「連結ベースに含まれる会社 - 連結範囲の相違の概要(企業別)」に示されている子会社及び関連会社より構成されている。連結財務諸表に含まれているものの連結ベースから除外されている会社についても、表EU L13「連結ベ

スに含まれる会社 - 連結範囲の相違の概要(企業別)」に示されている。連結財務諸表と同様、規制上の連結ベースにおいて関連会社は持分法を用いて連結されている。規制対象のすべての子会社は連結ベースに含まれている。ハンデルスバンケンにおいて、実際の自己資本が所定の自己資本を満たしていない子会社は存在しない。

### 連結ベースの自己資本に関する情報

自己資本は、Tier 1資本及びTier 2資本により構成される。Tier 1資本は、普通株式等Tier 1資本及びその他Tier 1資本で構成されている。普通株式等Tier 1資本は、主に、連結に含まれる企業の株式資本、利益剰余金及びその他準備金により構成されている。残りのTier 1資本はその他Tier 1項目により構成されている。Tier 2資本は、主に劣後ローンにより構成されている。その後、自己資本からの一定の控除が行われる。当該控除は、普通株式等Tier 1資本から行われる。当行のリスク管理においては、リスクの観点から当行グループ及び規制上の連結の双方が一つの単位とみなされることが重要である。当行グループにおいて効果的なリスク管理を行うために、当行グループの様々な会社間で資本の再配分が必要になる可能性がある。通常、ハンデルスバンケンは、法律で許容されている範囲(例えば、自己資本比率規制及び会社法における制限等)で当行グループ会社間において資本の再配分を行うことができる。当行は、自己資本からの資金の迅速な振替又は親会社と子会社の間で債務の返済に関して、他の重要な障害も法的な障害もないとみている。

### Tier 1資本

Tier 1資本は、主に普通株式等Tier 1資本及びその他Tier 1資本で構成されている。

### 普通株式等Tier 1(CET1)資本

普通株式等Tier 1資本は、主に、規制上の連結に含まれる企業の株式資本、利益剰余金及びその他準備金で構成されている。当行グループの保険会社は連結されないため(表EU LI3を参照のこと。)、保険会社の利益剰余金は普通株式等Tier 1資本に含まれていない。普通株式等Tier 1資本から除外される項目は、主として、のれん及びその他無形資産、並びに普通株式等Tier 1資本の10%を超える当行グループの保険会社への資本拠出又は繰延税金資産である。資本拠出及び繰延税金資産の合計額は普通株式等Tier 1資本の15%を超えてはならない。当行グループの保険会社への資本拠出及び繰延税金資産は閾値を超えていないため、これらの資本拠出及び繰延税金資産は、普通株式等Tier 1資本から減額されない。キャッシュフロー・ヘッジの資本への影響に関しては、中立的調整が行われる。また、価格調整の計算が義務付けられるが、公正価値で計上される金融商品についても必要に応じて慎重に評価される。内部格付に基づくモデルの使用を許可されている金融機関は、IRB手法に基づく予想信用損失が、計上された信用損失引当金を超えた場合、その差額を控除しなければならない。また、年金資産について純額で認識した剰余価値についても控除しなければならない。但し、当該控除は、ハンデルスバンケンの年金基金から年金費用を補填する当行の権利に相当する金額を減額することができる。さらに、マーケットメーカーとして許可された自社株の保有についても、控除しなければならない。当該控除は許可される範囲で最も高い市場価格に相当するものでなければならない。最後に、証券化に対する投資額についても控除が行われ、デリバティブ商品における自己の信用リスクの変動による影響についても調整が行われる。

### その他Tier 1資本

その他Tier 1資本は、その他Tier 1資本に関する要件を満たす金融商品で構成されている。この資本は永久債であり、最低でも5年後に、監督当局の許可を得た場合のみ償還可能なものに限られる。また、普通株式等

Tier 1資本が所定の水準に達した場合に、普通株式等Tier 1資本を創出するために額面価値を減額するか、株式に転換すること、また無条件に利払いを停止することが可能でなければならない。

当行のその他Tier 1資本合計は、15.6十億スウェーデン・クローネである。このうち、2020年に10.4十億スウェーデン・クローネのその他Tier 1資本が、2019年に5.2十億スウェーデン・クローネのその他Tier 1資本が発行されたが、これらはCRR要件を満たしている。分配可能な資金がない場合は、その他Tier 1資本のクーポンの支払が一時停止されなければならない。

## Tier 2資本

Tier 2資本は、償還期限まで5年以上の期間を有する劣後ローンにより構成されている。当行グループの保険会社に対する劣後ローンの拠出に関して控除が行われている。

## 所要自己資本

### 信用リスク

信用リスクに関する所要自己資本は、CRRに従い、標準的手法及びIRB手法に基づいて計算される。IRB手法には、自行推計のPDは用いるが自行推計によるLGD及び掛目(以下、「CCF」という。)を用いないIRB手法(基礎的手法)と、自行推計のPD、LGD及びCCFを用いるIRB手法(先進的手法)の二つの異なる手法がある。

ハンデルスバンケンは、金融機関向けエクスポージャー、特定の商品及び担保の種類に対する法人エクスポージャーに加え、子会社であるスタッフィポテックAB、Handelsbanken Finans AB及びEcster ABの特定のエクスポージャーに対し、基礎的IRB手法を使用している。

先進的IRB手法は、大企業、中規模企業、不動産企業及び住宅共同組合に対する大部分のエクスポージャーに加え、スタッフィポテックAB及びHandelsbanken Finans ABのエクスポージャーの大部分に対して適用されている。また、スウェーデン、ノルウェー及びフィンランドのリテール・エクスポージャーのほか、子会社のEcster ABに対するエクスポージャーにも同様に適用されている。IRB手法による株式エクスポージャーの所要自己資本は、簡便なリスク加重手法に基づいて算出されている。

ハンデルスバンケンの子会社であるハンデルスバンケン・ピーエルシーの全てのエクスポージャーに関する信用リスクは、標準的手法を用いて単体及び連結レベルで算定されている。

当事業年度末現在、IRB手法は信用リスクに対するリスク加重エクスポージャー額合計の74(74)%に適用された。残りの信用リスク・エクスポージャーの所要自己資本は標準的手法を用いて算定されている。

当年度において、IRB手法の使用が認められたエクスポージャーの平均リスク加重は低下して9.7(10.1)%となった。この低下は主に、ソブリン、住宅協同組合及び個人などリスク加重が低いエクスポージャーの割合が、リスク加重が高いエクスポージャーの割合よりも若干大きくなったというポートフォリオの内訳に起因している。第一の柱に基づくスウェーデンとノルウェーの住宅ローンに係るリスク加重フロアを含む、平均リスク加重は17.7(18.2)%となっている。

信用の質は良好である。ハンデルスバンケンの法人エクスポージャーのうち、98.7(98.4)%は返済能力が正常又は正常より良い(すなわち、当行の10段階のリスク格付けで1から5の間の格付け)と査定された顧客向けである。

### 市場リスク

市場リスクに関する所要自己資本は、連結ベースで計算される。但し、金利リスク及び株価リスクに関する所要自己資本は、トレーディング勘定ポジションについてのみ計算されている。市場リスクに関する所要自己資本の計算では、標準的手法が用いられる。

## オペレーショナル・リスク

ハンデルスバンケンは、オペレーショナル・リスクに係る所要自己資本の計算に標準的手法を使用している。所要自己資本は、標準的手法に従って、規則で定められた係数を直近3事業年度の平均営業収益に乗じて計算される。異なる事業セグメントにおいては、異なる係数が適用される。

2022年度末現在、連結ベースのオペレーショナル・リスクに係る所要自己資本合計は5,732(5,573)百万スウェーデン・クローネであった。

## 金融コングロマリットに関する自己資本比率

金融コングロマリットの一部である金融機関及び保険会社は、金融コングロマリットの所要自己資本に関して適切な自己資本を有していなければならない。金融コングロマリットの自己資本及び所要自己資本は、引合算法（指令2002/87/EC、付属文書1、手法2）に従って算出されている。金融コングロマリットの自己資本合計は、金融コングロマリットの所要自己資本を上回っている。

## 適格債務の最低基準（MREL）

銀行再建・破綻処理指令(BRRD)(2014/59/EU)が、破綻処理法(2015:1016)としてスウェーデンで国内法制化された。これらの規制には銀行危機への対応措置が定められており、当局は、既定の枠組み内に基づき銀行の全体又は一部を、清算又は破綻させずに再編・売却することが可能となる。この対応措置に加え、本規制では危機に直面した銀行の資本増強を図るために、一部の負債性金融商品の評価減を認めている。

本規制により、減損が可能な債務に関する最低基準（MREL）が2018年1月1日から導入された。この最低基準は、スウェーデン国家債務局及びスウェーデン金融監督庁により策定された当行の破綻処理計画に定められている。本基準は、損失吸収額及び資本増強額から構成される。

2021年に、新しいEU指令（銀行パッケージ）に合わせた規制の改訂が行われ、MRELは、リスク加重エクスポージャーに対する比率とエクスポージャー総額である非リスク加重エクスポージャー（レバレッジ比率）に対する比率の2つの比率で表される。結合バッファー要件は普通株式等Tier 1資本（MRELに使用される普通株式等Tier 1資本を含まない）で満たさなければならない。強制劣後要件も導入される。劣後要件に対応する形で、2018年12月に新しいクラスの負債性金融商品がスウェーデンの法律に追加された。このクラスは、既存のシニア負債性金融商品に劣後するが、破綻処理手続の一部として自己資本に優先する。ハンデルスバンケンはこのクラスの劣後負債性金融商品を2019年から2022年にかけて発行している。新しい要件は2024年1月1日までに充足する必要があるものの、2022年1月1日からは経過措置が適用されている。

2023年のハンデルスバンケンのMREL最低基準は、連結レベルでリスク加重エクスポージャーに対する比率は23.8%、非リスク加重エクスポージャーに対する比率は5.5%であり、劣後要件に関してはそれぞれ16.8%と5.5%である。ハンデルスバンケンはMREL最低基準をすべて満たしている。

[次へ](#)

## EU LI3 連結範囲の相違の概要 (企業別)

下表は、期末現在の連結対象企業の連結範囲の概要を示している。

## 連結範囲の相違の概要 (企業別) 2022年

	企業識別番号	所有持分 (%)	会計上の 連結方法	規制上の連結方法					業態
				全部連結	比例連結	持分法	連結も除外も されていない	除外	
<b>スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト</b>	<b>502007-7862</b>	<b>該当なし</b>	<b>親会社</b>	<b>該当なし</b>					<b>金融機関</b>
Handelsbanken Finans AB	556053-0841	100	全部連結	x					金融機関
スタッドフィポテック・エイ・ビー	556459-6715	100	全部連結	x					金融機関
Svenska Intecknings Garanti AB Sigab (休眠会社)	556432-7285	100	全部連結	x					非金融会社
Handelsbanken Fondbolagsförvaltning AB	556070-0683	100	全部連結	x					その他金融会社
Handelsbanken Fonder AB	556418-8851	100	全部連結	x					その他金融会社
AB Handel och Industri	556013-5336	100	全部連結	x					非金融会社
Ecster AB	556993-2311	100	全部連結	x					金融機関
Handelsbanken plc	11305395	100	全部連結	x					金融機関
Handelsbanken Wealth & Asset Management	04132340	100	全部連結	x					その他金融会社
Heartwood Nominees Limited (休眠会社)	2299877	100	全部連結	x					非金融会社
Heartwood Second Nominees Limited (休眠会社)	3193458	100	全部連結	x					非金融会社
Heartwood ACD Limited	4332528	100	全部連結	x					非金融会社
Svenska Property Nominees Limited (休眠会社)	2308524	100	全部連結	x					非金融会社
Optimix Vermogensbeheer N.V.	33194359	100	全部連結	x					その他金融会社
Add Value Fund Management B.V.	19196768	80	全部連結	x					その他金融会社
Optimix Beheer en Belegging B.V. (休眠会社)	33186584	100	全部連結	x					非金融会社
Handelsbanken Markets Securities, Inc.	11-3257438	100	全部連結	x					その他金融会社
Handelsbanken Rahoitus Oy	0112308-8	100	全部連結	x					その他金融会社
Handelsbanken Fastigheter AB	556873-0021	100	全部連結	x					非金融会社
Rådstuplass 4 AS	910508423	100	全部連結	x					非金融会社

Handelsbanken Ventures AB	556993-9357	100	全部連結	x		非金融会社
Bidtruster AB	556993-9084	100	全部連結	x		非金融会社
Gröna stugan i Stockholm AB	559311-4712	100	全部連結	x		非金融会社
Bankomat AB	556817-9716	20	持分法		x	非金融会社
BGC Holding AB	556607-0933	25.54	持分法		x	非金融会社
Torig AB	556564-5404	100	持分法		x	非金融会社
Finansiell ID-teknik BID AB	556630-4928	28.3	持分法		x	非金融会社
USE Intressenter AB	559161-9464	24.48	持分法		x	非金融会社
Getswish AB	556913-7382	20	持分法		x	非金融会社
P27 Nordic Payments Platform AB	559198-9610	16.7	持分法		x	非金融会社
Invidem AB	559210-0779	16.7	持分法		x	非金融会社
Tibern AB	559384-3542	14.3	持分法		x	非金融会社
ハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・ エイ・ビー(Handelsbanken Fastigheter ABを除く 当行グループ)	516401-8284	100	全部連結		x	保険会社
Svenska Re S.A.	RCS Lux B-32053	100	全部連結		x	保険会社
Handelsbanken Skadeförsäkrings AB	516401-6767	100	全部連結		x	保険会社
SHB Liv Försäkringsaktiebolag	2478149-7	100	全部連結		x	保険会社
Svenska RKA International Insurance Services AB(休眠会 社)	556324-2964	100	全部連結		x	保険会社
Dyson Group plc	00163096	27	持分法		x	非金融会社
Dyson Industries Ltd	1187031	100			x	非金融会社
Beepart Ltd	177682	100			x	非金融会社
Pickford Holland & Company Ltd	128414	100			x	非金融会社
Millennium Materials Inc	-	100			x	非金融会社
Dyson US holdings Inc	-	100			x	非金融会社
EFN Ekonomikanalen AB	556930-1608	100			x	非金融会社

[次へ](#)

## EU LI2 規制上のエクスポージャー額と財務諸表上の簿価との主な差額の内訳

下表は、規制上の連結範囲に含まれる帳簿価額と規制上考慮されるエクスポージャーとの差額を示したものである。

規制上のエクスポージャー額と財務諸表上の簿価との主な差額の内訳 2022年 百万スウェーデン・クローネ	対象項目				
	合計	信用リスクの 枠組み	証券化の 枠組み	CCRの枠組み	市場リスクの 枠組み
1 規制上の連結による資産の帳簿価額 (表EU LI1)	3,219,315	3,145,161	56,568	374	17,212
2 規制上の連結による負債の帳簿価額 (表EU LI1)	11,084				11,084
3 規制上の連結範囲による純額合計	3,204,561	3,145,161	56,568	374	2,458
4 オフバランスシートの金額	505,033	505,033			
5 バリュエーションによる差額					
6 ネットイングルールの相違による差額(2行目に含まれているものを除く)	-11,031		-11,031		
7 引当金の考慮による差額	2,201	2,201	0		
8 信用リスク削減手法(CRM)による差額	-25,437	10,103	-35,540		
9 掛目による差額	-283,901	-283,901			
10 リスク移転を伴う証券化による差額					
11 その他の差額	21,014		21,014		
12 規制上考慮されるエクスポージャー額	3,412,440	3,378,597	31,011	374	2,458

## EU INS2 金融コングロマリットの自己資本及び自己資本比率に関する情報

## 金融コングロマリットの自己資本及び自己資本比率

百万スウェーデン・クロネ

	2022年	2021年
1 金融コングロマリットの補完的自己資本	10,759	14,387
2 金融コングロマリットの自己資本比率	130.0%	130.7%

## EU KM1 - 主要指標

## 主要指標、2022年

	2022年	2021年
<b>利用可能な自己資本 (金額)</b>		
1 普通株式等Tier 1資本	158,551	149,709
2 Tier 1資本	174,134	163,222
3 資本合計	193,186	180,458
<b>リスク加重エクスポージャー額</b>		
4 リスク加重エクスポージャー合計額	810,144	773,158
<b>自己資本比率(リスク加重エクスポージャー額に対する割合)</b>		
5 普通株式等Tier 1資本比率(%)	19.6%	19.4%
6 Tier 1資本比率(%)	21.5%	21.1%
7 総自己資本比率(%)	23.8%	23.3%
<b>過大レバレッジリスク以外のリスクに対処するための追加所要自己資本 (リスク加重エクスポージャー額に対する割合)</b>		
EU7a 過大レバレッジリスク以外のリスクに対処するための追加所要自己資本(%)	2.1%	1.9%
EU7b うち、CET 1 資本の割合(パーセンテージ・ポイント)	1.3%	1.2%
EU7c うち、Tier 1資本の割合(パーセンテージ・ポイント)	1.6%	1.5%
EU7d SREPに基づく所要自己資本合計(%)	10.1%	9.9%
<b>結合バッファ要件(リスク加重エクスポージャー額に対する割合)</b>		
8 資本保全バッファ(%)	2.5%	2.5%
EU8a 加盟国単位で特定されたマクロ・ブルーデンスのリスク又は システムミック・リスクに対する保全バッファ(%)		
9 金融機関固有のカウンターシクリカル資本バッファ(%)	1.0%	0.1%
EU9a システムミック・リスク・バッファ(%)	3.2%	3.0%
10 グローバルにシステム上重要な金融機関バッファ(%)		
EU10a その他の金融システム上重要な金融機関バッファ(%)	1.0%	1.0%

11	結合バッファー要件(%)	7.7%	6.6%
EU11a	所要自己資本合計(%)	17.8%	16.5%
12	SREPIに基づく所要自己資本合計充足後の利用可能なCET 1 (%)	13.7%	13.9%
<b>レバレッジ比率</b>			
13	総エクスポージャーの額	3,341,332	3,232,291
14	レバレッジ比率(%)	5.2%	5.0%
<b>過大レバレッジに対処するための追加所要自己資本 (エクスポージャー合計額に対する割合)</b>			
EU14a	過大レバレッジリスクに対処するための追加所要自己資本(%)		
EU14b	うち、CET 1 資本の割合(パーセンテージ・ポイント)		
EU14c	SREPIに基づくレバレッジ比率要件(%)	3.0%	3.0%
EU14d	レバレッジ比率バッファー要件(%)		
EU14e	レバレッジ比率要件合計(%)		
<b>流動性カバレッジ比率</b>			
15	高品質な流動資産(HQLA)合計(加重平均)	885,096	778,654
EU16a	資金流出額(加重平均)	645,218	595,289
EU16b	資金流入額(加重平均)	83,191	68,295
16	純資金流出額(調整額)	562,026	526,994
17	流動性カバレッジ比率(%)	159%	149%
<b>安定調達比率</b>			
18	利用可能な安定調達資金	2,036,932	2,026,413
19	所要安定調達額	1,793,937	1,774,542
20	NSFR(%)	114%	114%

## EU 0V1 - RWA (リスク加重エクスポージャー額) の概要

下表は、2022年度末及び前年度末における信用リスク、カウンターパーティリスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクのリスク加重エクスポージャー額 (RWA) を表したものである。信用リスクは、標準的手法、基礎的IRB手法、先進的IRB手法により算出される。市場リスク及びオペレーショナル・リスクは標準的手法により算出される。

EU 0V1 - リスク加重エクスポージャー額の概要 百万スウェーデン・クローネ		リスク加重エクスポージャー合計額 (TREA)		最低所要自己資本
		2022年	2021年	2022年
<b>1</b>	<b>信用リスク (カウンターパーティ信用リスク (CCR) を除く)</b>	<b>692,006</b>	<b>684,075</b>	<b>55,361</b>
2	うち、標準的手法	182,775	178,552	14,622
3	うち、基礎的IRB手法 (F-IRB)	51,700	48,100	4,136
4	うち、スロットティング方式			
EU4a	うち、簡便なリスク加重手法に基づく株式	2,108	3,427	169
5	うち、先進的IRB手法 (A-IRB)	221,403	224,096	17,712
5a	うち、リスク加重フロア	234,020	229,900	18,722
<b>6</b>	<b>カウンターパーティ信用リスク</b>	<b>11,833</b>	<b>12,255</b>	<b>947</b>
7	うち、標準的手法	8,255	8,924	660
8	うち、内部モデル方式 (IMM)			
EU8a	うち、CCPに対するエクスポージャー	174	212	14
EU8b	うち、信用評価調整 - CVA	2,802	2,614	224
9	うち、他のCCR	602	505	48
10	該当なし			
11	該当なし			
12	該当なし			
13	該当なし			
14	該当なし			
<b>15</b>	<b>決済リスク</b>		<b>15</b>	
<b>16</b>	<b>非トレーディング勘定の証券化エクスポージャー (上限適用後)</b>			
17	うち、SEC-IRBA手法			
18	うち、SEC-ERBA手法 (IAAを含む)			
19	うち、SEC-SA手法			
EU19a	うち、250%控除			
<b>20</b>	<b>ポジション、外国為替、コモディティ・リスク (市場リスク)</b>	<b>34,654</b>	<b>7,145</b>	<b>2,772</b>
21	うち、標準的手法	34,654	7,145	2,772
22	うち、IMA			
<b>23</b>	<b>オペレーショナル・リスク</b>	<b>71,651</b>	<b>69,668</b>	<b>5,732</b>
EU23a	うち、基礎的指標手法			
EU23b	うち、標準的手法	71,651	69,668	5,732
EU23c	うち、先進的計測手法			
24	控除の基準値未満の額 (リスクウェイトは250%)			
25	該当なし			
26	該当なし			
27	該当なし			
28	該当なし			
<b>29</b>	<b>合計</b>	<b>810,144</b>	<b>773,158</b>	<b>64,812</b>

## 標準的手法に基づいた市場リスク

下表は、2022年度末現在の標準的手法に基づいた市場リスクに係る所要自己資本を示したものである。

標準的手法に基づいた市場リスク 百万スウェーデン・クローネ	所要自己資本	
	2022年	2021年
<b>アウトライト商品</b>		
金利リスク（一般的なリスク及び特定のリスク）	176	199
株価リスク（一般的なリスク及び特定のリスク）	1	1
為替リスク	2,576	357
コモディティ・リスク	0	1
<b>オプション</b>		
簡易法	-	-
デルタプラス法	-	-
シナリオ・アプローチ	19	14
証券化（特定のリスク）	-	-
<b>市場リスクに係る所要自己資本合計</b>	<b>2,772</b>	<b>572</b>

## 適格債務の最低基準（MREL）

MRELは、リスク加重エクスポージャー額と非リスク加重エクスポージャー額に対する、自己資本及び適格債務の割合としてそれぞれ表される（SFS2015:1016）。当行の基準は、スウェーデン国債局により毎年決定され、最終的な基準は、2022年1月1日から2024年1月1日までの経過期間中に直線的に段階的に導入される予定である。

%	2022年
リスク加重エクスポージャーに対するMRELの最低基準	19.9
利用可能自己資本及び適格債務	36.5
リスク加重しないエクスポージャーに対するMRELの最低基準	5.0
利用可能自己資本及び適格債務	10.7
%	2022年
リスク加重エクスポージャーに対する劣後部分の最低基準	13.5
利用可能自己資本及び劣後適格債務	21.9
リスク加重しないエクスポージャーに対する劣後部分の最低基準	5.0
利用可能自己資本及び劣後適格債務	7.2

[次へ](#)

## ( 2 ) 個別財務書類

## 損益計算書(親会社)

		2022年		2021年	
		(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
利息収益	注記P3	41,488	535,610	14,325	184,936
リース収益	注記P3	1,826	23,574	1,899	24,516
利息費用	注記P3	-25,084	-323,834	-2,722	-35,141
受取配当金	注記P4	16,953	218,863	17,611	227,358
手数料及びコミッション収益	注記P5	6,515	84,109	6,877	88,782
手数料及びコミッション費用	注記P5	-1,348	-17,403	-1,647	-21,263
金融取引による純損益	注記P6	820	10,586	1,808	23,341
その他営業収益	注記P7	4,841	62,497	3,576	46,166
<b>営業収益合計</b>		<b>46,011</b>	<b>594,002</b>	<b>41,727</b>	<b>538,696</b>
一般管理費用					
人件費	注記P8	-11,990	-154,791	-10,242	-132,224
その他管理費用	注記P9	-7,415	-95,728	-6,002	-77,486
不動産及び器具備品、リース並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	注記P21、P22	-2,459	-31,746	-2,803	-36,187
<b>信用損失控除前費用合計</b>		<b>-21,864</b>	<b>-282,264</b>	<b>-19,047</b>	<b>-245,897</b>
<b>信用損失、リスク税及び破綻処理手数料控除前利益</b>		<b>24,148</b>	<b>311,751</b>	<b>22,680</b>	<b>292,799</b>
正味信用損失	注記P10	-41	-529	-55	-710
非流動金融資産の減損損失		-2,305	-29,758	-1,180	-15,234
リスク税及び破綻処理手数料	注記P11	-1,331	-17,183	-366	-4,725
<b>営業利益</b>		<b>20,471</b>	<b>264,281</b>	<b>21,079</b>	<b>272,130</b>
繰入	注記P12	-160	-2,066	227	2,931
<b>税引前利益</b>		<b>20,311</b>	<b>262,215</b>	<b>21,306</b>	<b>275,060</b>
法人税等	注記P29	-4,856	-62,691	-4,618	-59,618
<b>当期利益</b>		<b>15,455</b>	<b>199,524</b>	<b>16,688</b>	<b>215,442</b>

## 包括利益計算書（親会社）

	2022年		2021年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
当期利益	15,455	199,524	16,688	215,442
<b>その他包括利益</b>				
<b>損益計算書に組み替えられない項目</b>				
その他包括利益を通じて公正価値で測定される				
資本性金融商品	41	529	62	800
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-19	-245	-3	-39
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品	-19	-245	-3	-39
<b>損益計算書に組み替えられない項目合計</b>	<b>22</b>	<b>284</b>	<b>59</b>	<b>762</b>
<b>その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目</b>				
キャッシュフロー・ヘッジ	3,411	44,036	246	3,176
その他包括利益を通じて公正価値で測定される				
負債性金融商品	-61	-788	6	77
当期為替換算差額	1,326	17,119	1,034	13,349
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	-83	-1,072	-63	-813
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目に係る税金				
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	-703	-9,076	-51	-658
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	6	77	-1	-13
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	17	219	13	168
うち、為替換算差額	-572	-7,385		
<b>その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計</b>	<b>3,425</b>	<b>44,217</b>	<b>1,247</b>	<b>16,099</b>
<b>その他包括利益合計</b>	<b>3,447</b>	<b>44,501</b>	<b>1,306</b>	<b>16,860</b>
<b>当期包括利益合計</b>	<b>18,902</b>	<b>244,025</b>	<b>17,994</b>	<b>232,303</b>

当期の損益計算書における分類変更は持分変動計算書に示されている。

## 貸借対照表(親会社)

	2022年		2021年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
<b>資産</b>				
現金及び中央銀行預け金	376,010	4,854,289	338,768	4,373,495
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記P15 132,778	1,714,164	100,538	1,297,946
金融機関への貸出金	注記P13 1,025,664	13,241,322	986,897	12,740,840
一般顧客への貸出金	注記P14 637,721	8,232,978	611,852	7,899,009
ポートフォリオヘッジにおける金利ヘッジ 対象の価値変動	-16,611	-214,448	-1,904	-24,581
債券及びその他の利付証券	注記P15 33,339	430,406	34,323	443,110
株式	注記P16 7,112	91,816	13,481	174,040
子会社株式及び関連会社並びにジョイント・ベンチャーに対する投資	注記P17 70,483	909,936	71,967	929,094
顧客が価値変動リスクを負う資産	2,387	30,816	8,952	115,570
デリバティブ商品	注記P18 52,360	675,968	30,946	399,513
無形資産	注記P21 3,144	40,589	3,129	40,395
不動産、器具備品及びリース資産	注記P22 6,530	84,302	7,043	90,925
当期税金資産	30	387	0	0
繰延税金資産	注記P29 617	7,965	668	8,624
その他資産	注記P23 30,166	389,443	22,287	287,725
前払費用及び未収金	注記P24 1,159	14,963	1,187	15,324
<b>資産合計</b>	注記P36 <b>2,362,889</b>	<b>30,504,897</b>	<b>2,230,134</b>	<b>28,791,030</b>
<b>負債及び資本</b>				
金融機関からの預り金	注記P25 169,617	2,189,755	153,490	1,981,556
一般顧客からの預金及び借入金	注記P26 1,137,272	14,682,182	1,173,172	15,145,651
顧客が価値変動リスクを負う負債	2,387	30,816	8,952	115,570
発行済証券等	注記P27 806,013	10,405,628	679,808	8,776,321
デリバティブ商品	注記P18 36,985	477,476	21,033	271,536
ショートポジション	注記P28 1,939	25,032	4,105	52,996
当期税金負債	0	0	264	3,408
繰延税金負債	注記P29 1,193	15,402	436	5,629
引当金	注記P30 646	8,340	1,011	13,052
その他負債	注記P31 6,779	87,517	7,631	98,516
未払費用及び繰延収益	注記P32 2,901	37,452	3,049	39,363
劣後負債	注記P33 42,404	547,436	32,257	416,438
<b>負債合計</b>	注記P36 <b>2,208,135</b>	<b>28,507,023</b>	<b>2,085,208</b>	<b>26,920,035</b>
<b>非課税剰余金</b>	注記P34 <b>867</b>	<b>11,193</b>	<b>706</b>	<b>9,114</b>

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト ( Svenska Handelsbanken AB (publ) ) (E27561)  
有価証券報告書

株式資本	3,069	39,621	3,069	39,621
資本剰余金	8,758	113,066	8,758	113,066
その他積立金	注記P35 11,196	144,540	7,651	98,774
利益剰余金	115,409	1,489,930	108,054	1,394,977
当期利益	15,455	199,524	16,688	215,442
<b>資本合計</b>	<b>153,887</b>	<b>1,986,681</b>	<b>144,220</b>	<b>1,861,880</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>2,362,889</b>	<b>30,504,897</b>	<b>2,230,134</b>	<b>28,791,030</b>



## 持分変動計算書(親会社)(続き)

(百万円)	制限資本			非制限資本				利益剰余金 (当期利益を 含む)	合計
	株式資本	法定 準備金	内部開発 ソフトウェア 積立金	資本 剰余金	ヘッジ 準備金 <sup>1</sup>	公正価値 評価差額 準備金 <sup>1</sup>	為替換算 調整準備金 <sup>1</sup>		
<b>2022年期中首資本</b>	<b>39,621</b>	<b>34,625</b>	<b>37,607</b>	<b>113,066</b>	<b>10,625</b>	<b>2,040</b>	<b>13,878</b>	<b>1,610,419</b>	<b>1,861,880</b>
当期利益								199,524	199,524
その他包括利益					34,960	-426	9,954		44,501
うち、資本の中での分 類変更						-1,175	-7,397		-8,572
<b>当期包括利益合計</b>					<b>34,960</b>	<b>-426</b>	<b>9,954</b>	<b>199,524</b>	<b>244,025</b>
利益剰余金への振替								8,572	8,572
配当金								-127,809	-127,809
内部開発ソフトウェア 積立金			1,265					-1,265	-
<b>2022年期末資本</b>	<b>39,621</b>	<b>34,625</b>	<b>38,859</b>	<b>113,066</b>	<b>45,585</b>	<b>1,627</b>	<b>23,845</b>	<b>1,689,454</b>	<b>1,986,681</b>

(百万円)	制限資本			非制限資本				利益剰余金 (当期利益を 含む)	合計
	株式資本	法定 準備金	内部開発 ソフトウェア 積立金	資本 剰余金	ヘッジ 準備金 <sup>1</sup>	公正価値 評価差額 準備金 <sup>1</sup>	為替換算 調整準備金 <sup>1</sup>		
<b>2021年期中首資本</b>	<b>39,621</b>	<b>34,625</b>	<b>42,267</b>	<b>113,066</b>	<b>8,107</b>	<b>1,214</b>	<b>361</b>	<b>1,604,790</b>	<b>1,844,051</b>
当期利益								215,442	215,442
その他包括利益					2,517	826	13,517		16,860
うち、資本の中での分 類変更							-684		-684
<b>当期包括利益合計</b>					<b>2,517</b>	<b>826</b>	<b>13,517</b>	<b>215,442</b>	<b>232,303</b>
利益剰余金への振替								684	684
配当金 <sup>2</sup>								-215,158	-215,158
内部開発ソフトウェア 積立金			-4,661					4,661	-
<b>2021年期末資本</b>	<b>39,621</b>	<b>34,625</b>	<b>37,607</b>	<b>113,066</b>	<b>10,625</b>	<b>2,040</b>	<b>13,878</b>	<b>1,610,419</b>	<b>1,861,880</b>

1) 公正価値ファンドに含まれている。

2) 普通配当104,803百万円及び特別配当110,355百万円。株主は、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーが買収したAB Industrivärdenの株式という形でスウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseから特別配当を受け取っている。注記G50を参照。

## キャッシュ・フロー計算書(親会社)

	2022年		2021年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
<b>営業活動</b>				
営業利益	20,471	264,281	21,079	272,130
うち、受取利息	37,724	487,017	14,248	183,942
うち、支払利息	-22,155	-286,021	-3,898	-50,323
うち、受取配当金	16,953	218,863	17,611	227,358
営業利益から投資活動への調整	-124	-1,601	-	-
うち、事業及び子会社の売却	-542	-6,997	-	-
うち、株式の売却	418	5,396	-	-
損益における非現金項目の調整				
信用損失	165	2,130	85	1,097
未実現評価差額	-2,233	-28,828	418	5,396
償却費及び減損	4,764	61,503	3,983	51,421
グループ利益分配	-16,279	-210,162	-16,685	-215,403
法人税の支払	-4,842	-62,510	-4,269	-55,113
営業活動による資産及び負債の変動				
金融機関への貸出金	-39,759	-513,289	-33,248	-429,232
一般顧客への貸出金	-55,332	-714,336	-43,873	-566,400
利付証券及び株式	-28,218	-364,294	10,388	134,109
金融機関からの預り金	16,500	213,015	-39,564	-510,771
一般顧客からの預金及び借入金	16,142	208,393	152,043	1,962,875
発行済証券	126,205	1,629,307	22,288	287,738
デリバティブの正味ポジション	-5,495	-70,940	-21,476	-277,255
ショートポジション	-2,010	-25,949	2,476	31,965
投資銀行業務の決済に係る債権及び債務	-7,680	-99,149	-553	-7,139
その他	-18,906	-244,076	-8,746	-112,911
<b>営業活動からのキャッシュ・フロー</b>	<b>3,370</b>	<b>43,507</b>	<b>44,346</b>	<b>572,507</b>
<b>投資活動</b>				
事業及び子会社の売却	-3,891	-50,233	-	-
関連会社及びジョイント・ベンチャーに係る取得及び抛却	-266	-3,434	-108	-1,394
株式の売却	183	2,363	1	13
不動産及び器具備品の取得	-4,875	-62,936	-5,019	-64,795
不動産及び器具備品の処分	3,517	45,404	3,457	44,630
無形資産の取得	-575	-7,423	-450	-5,810
<b>投資活動からのキャッシュ・フロー</b>	<b>-5,907</b>	<b>-76,259</b>	<b>-2,119</b>	<b>-27,356</b>
<b>財務活動</b>				
劣後ローンの返済	-3,000	-38,730	-10,130	-130,778
劣後ローンの発行	11,845	152,919	-	-
配当金の支払	-9,900	-127,809	-16,666	-215,158
当行グループ会社からの受取配当金	16,685	215,403	15,135	195,393
<b>財務活動からのキャッシュ・フロー</b>	<b>15,630</b>	<b>201,783</b>	<b>-11,661</b>	<b>-150,544</b>

うち、為替換算差額	-	-	-320	-4,131
<b>当期キャッシュ・フロー</b>	<b>13,093</b>	<b>169,031</b>	<b>30,566</b>	<b>394,607</b>
期首流動資金	338,768	4,373,495	297,362	3,838,943
営業活動からのキャッシュ・フロー	3,370	43,507	44,346	572,507
投資活動からのキャッシュ・フロー	-5,907	-76,259	-2,119	-27,356
財務活動からのキャッシュ・フロー	15,630	201,783	-11,661	-150,544
流動資金の為替換算差額	24,149	311,764	10,840	139,944
<b>期末流動資金</b>	<b>376,010</b>	<b>4,854,289</b>	<b>338,768</b>	<b>4,373,495</b>

キャッシュ・フロー計算書は間接法で作成されており、減価償却費/償却費や信用損失等、現金の受払いを伴わない取引について営業利益が調整されていることを意味している。

流動資金は、現金及び中央銀行預け金である。

## 事業及び子会社の売却

	2022年
	(百万スウェーデン・ クローネ)
<b>購入価格</b>	
営業利益から投資活動への調整	-1,633
譲渡に含まれる流動資金の控除	-743
購入者に対する債権	-1,516
<b>支払額</b>	<b>-3,891</b>
<b>売却した資産及び負債</b>	
他の金融機関に対する貸出金	993
一般顧客向け貸出金	46,953
顧客が価値変動リスクを負う資産	5,480
その他資産	370
<b>資産合計</b>	<b>53,795</b>
金融機関への貸出金	374
一般顧客への貸出金	52,043
顧客が価値変動リスクを負う負債	5,480
その他負債	331
<b>負債合計</b>	<b>58,228</b>
<b>営業活動からのキャッシュ・フロー</b>	<b>542</b>

## 5年間の概要(親会社)

## 損益計算書

(百万スウェーデン・クローネ)

	2022年	2021年	2020年	2019年	2018年
純利息収益	18,230	13,502	13,456	13,039	17,234
受取配当金	16,953	17,611	15,937	17,338	11,023
純手数料及びコミッション収益	5,167	5,230	5,692	6,011	6,218
金融取引による純損益	820	1,808	1,869	618	1,020
その他営業収益	4,841	3,576	2,790	2,638	2,805
<b>営業収益合計</b>	<b>46,011</b>	<b>41,727</b>	<b>39,744</b>	<b>39,644</b>	<b>38,300</b>
一般管理費用					
人件費	-11,990	-10,242	-11,689	-10,148	-12,255
その他管理費用	-7,415	-6,002	-5,684	-5,808	-6,332
不動産及び器具備品、リース並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-2,459	-2,803	-2,672	-2,156	-1,350
<b>信用損失控除前費用合計</b>	<b>-21,864</b>	<b>-19,047</b>	<b>-20,045</b>	<b>-18,112</b>	<b>-19,937</b>
<b>信用損失、リスク税及び破綻処理手数料控除前利益</b>	<b>24,148</b>	<b>22,680</b>	<b>19,699</b>	<b>21,532</b>	<b>18,363</b>
正味信用損失	-41	-55	-477	-1,059	-835
金融固定資産の減損損失	-2,305	-1,180	-79	-148	-
リスク税及び破綻処理手数料	-1,331	-366	-385		
<b>営業利益</b>	<b>20,471</b>	<b>21,079</b>	<b>18,758</b>	<b>20,325</b>	<b>17,528</b>
繰入	-160	227	743	-380	332
<b>税引前利益</b>	<b>20,311</b>	<b>21,306</b>	<b>19,501</b>	<b>19,945</b>	<b>17,860</b>
法人税等	-4,856	-4,618	-4,275	-4,297	-4,005
<b>当期利益</b>	<b>15,455</b>	<b>16,688</b>	<b>15,226</b>	<b>15,648</b>	<b>13,855</b>
当期配当金	15,840 <sup>1</sup>	9,900	16,666	-	10,693

1) 取締役会の処分案によるものである。

2022年第1四半期から、破綻処理手数料は純利息収益には含まれておらず、営業利益の中の個別項目として計上されている。リスク税も同項目の中に計上されている。そのため、2021年及び2022年の表中の比較数値は修正再表示されている。

## 包括利益計算書

(百万スウェーデン・クローネ)

	2022年	2021年	2020年	2019年	2018年
当期利益	15,455	16,688	15,226	15,648	13,855

## その他包括利益

## 損益計算書に組み替えられない項目

その他包括利益を通じて公正価値で測定される

資本性金融商品	41	62	-583	372	-188
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-19	-3	11	-21	1
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品	-19	-3	11	-21	1

	2022年	2021年	2020年	2019年	2018年
<b>損益計算書に組み替えられない項目合計</b>	<b>22</b>	<b>59</b>	<b>-572</b>	<b>351</b>	<b>-187</b>
<b>その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目</b>					
キャッシュフロー・ヘッジ	3,411	246	-1,677	1,751	829
その他包括利益を通じて公正価値で測定される					
負債性金融商品	-61	6	7	7	-12
売却可能金融商品 (IAS第39号)					
当期為替換算差額	1,326	1,034	-2,184	-259	41
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	-83	-63	-256	-826	-848
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目に係る税金	-1,251	-39	420	-200	19
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	-703	-51	365	-375	-178
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	6	-1	-1	-2	3
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	17	13	56	177	194
うち、為替換算差額	-572				
<b>その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計</b>	<b>3,425</b>	<b>1,247</b>	<b>-3,434</b>	<b>1,299</b>	<b>877</b>
<b>その他包括利益合計</b>	<b>3,447</b>	<b>1,306</b>	<b>-4,006</b>	<b>1,650</b>	<b>690</b>
<b>当期包括利益合計</b>	<b>18,902</b>	<b>17,994</b>	<b>11,220</b>	<b>17,298</b>	<b>14,545</b>

**貸借対照表**

(百万スウェーデン・クローネ)

	2022年	2021年	2020年	2019年	2018年
<b>資産</b>					
一般顧客への貸出金	637,721	611,852	566,145	620,175	611,699
金融機関への貸出金	1,025,664	986,897	953,650	890,557	841,085
利付証券	166,117	134,861	145,648	156,466	169,911
その他資産	533,387	496,524	459,420	412,307	431,004
<b>資産合計</b>	<b>2,362,889</b>	<b>2,230,134</b>	<b>2,124,863</b>	<b>2,079,505</b>	<b>2,053,699</b>

**負債及び資本**

一般顧客からの預金及び借入金	1,137,272	1,173,172	1,021,130	918,146	839,835
金融機関からの預り金	169,617	153,490	193,054	208,697	261,735
発行済証券	806,013	679,808	657,520	724,640	716,531
劣後負債	42,404	32,257	41,082	35,546	51,085
その他負債	52,829	46,481	68,305	59,863	62,565
非課税剰余金	867	706	933	1,678	886
資本	153,887	144,220	142,839	130,935	121,062
<b>負債及び資本合計</b>	<b>2,362,889</b>	<b>2,230,134</b>	<b>2,124,863</b>	<b>2,079,505</b>	<b>2,053,699</b>

**重要な数値**

	2022年	2021年	2020年	2019年	2018年
CRRによる普通株式等Tier1比率 (%)	29.4	30.2	31.7	20.2	18.7
CRRによるTier1比率 (%)	32.9	33.4	34.6	23.0	21.0
CRRによる自己資本比率合計 (%)	37.2	37.4	38.8	26.2	24.1
使用資本利益率 (%)	0.63	0.72	0.65	0.74	0.63

代替的な業績指標の定義については265ページ（訳注：原文のページ番号である。）を参照のこと。また、これらの指標の計算については、[handelsbanken.com/ir](http://handelsbanken.com/ir)から入手可能な「ファクト・ブック」を参照のこと。

[次へ](#)

## 注記P1 会計方針

### 準拠表明

親会社の年次報告書はスウェーデンの信用機関及び証券会社に係る年次報告法（1995年第1559号）、スウェーデン金融監督庁が制定した規定及び一般指針（FFFS 2008年第25号）、信用機関及び証券会社における年次報告に準拠して作成されている。親会社はまたスウェーデンの財務報告審議会によるRFR第2号「事業体に関する会計処理」の勧告と意見書を適用している。スウェーデン金融監督庁の一般的な指針に準拠して、親会社は法定IFRSを採用している。これはEUが採用する国際財務報告基準及びこれら基準の解釈が、国内法及び指令並びに会計と税との間の関連性の枠組みの範囲内で可能な限り適用されていることを意味する。

### 親会社及び当行グループの会計方針における関連性

親会社の会計方針は、概ね当行グループの会計方針と一致している。以下は当行グループの会計方針と異なっている親会社の会計方針に限定して報告するものである。その他については注記G1の会計方針を参照のこと。

### 表示

親会社は損益計算書及び貸借対照表について信用機関及び証券会社に係る年次報告法並びにスウェーデン金融監督庁の規定に準拠した表示モデルを採用している。これは当行グループの表示モデルと比較して、主に以下の相違があることを意味する。

- ・ 要求払い可能な中央銀行に対する債権は、親会社の貸借対照表において金融機関への貸出金として報告されている。これらは当行グループにおいて中央銀行へのその他の貸出金として報告されている。
- ・ 仲介及び株式取引費用は親会社においてコミッション費用として報告されている。
- ・ 受取配当金は親会社の損益計算書において個別の科目で報告されている。
- ・ 親会社における不動産、器具備品及び無形固定資産を処分する際の損益は、その他収益又は費用に報告されている。
- ・ 非課税剰余金は親会社において個別の貸借対照表項目として計上されている。これらは当行グループにおいて持分資本と税金負債に分割されている。

### 売却目的で保有する資産及び非継続事業

耐用年数が確定している非流動資産は、スウェーデン年次報告法に基づき、売却目的保有に分類されるまでの期間、その耐用年数にわたって減価償却/償却される。非継続事業からの税引後純利益は親会社の損益計算書において個別に認識されない。また売却目的で保有する資産も売却目的で保有する負債も貸借対照表上個別に表示されない。売却目的で保有する資産及び負債並びに非継続事業に関する開示については、注記P46を参照のこと。

### 子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーへの投資

子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーへの投資は取得原価で測定される。すべての保有について減損の可否を評価するため、各貸借対照表日に減損のテストが実施される。価値が下落している場合、連結された価値まで調整する様に減損が認識される。減損費用は、損益計算書上の金融資産の減損損失として分類される。子会社、関連会社及びジョイント・ベンチャーの株式に対する配当金は収益として損益計算書の受取配当金に計上される。

### ヘッジ会計

公正価値ヘッジは、在外子会社の株式に起因する為替リスクに適用される。ヘッジ対象は、各在外子会社の株式への投資額のうち、当初の額面価額である。ヘッジ手段は、投資資金を調達する親会社の借入金である。ヘッジ手段の損益は、子会社への投資のうちヘッジ対象を構成する部分の為替リスクの変動とともに、損益計算書に計上される。

## 金融保証

保証コミットメントの形式による子会社、関連会社及びジョイント・ベンチャーのための金融保証は、親会社に履行義務が存在し、当該履行義務を清算するための支払いが求められる可能性が高い場合、親会社の貸借対照表に引当金として計上される。

## 無形資産

親会社において、資産及び耐用年数を確定出来ないその他の無形資産の取得は、前述の年次報告法の規定に準拠して償却される。経験上、買収により取得した顧客関係は非常に長期にわたるため、その結果、買収におけるのれんの耐用年数も長期となる。償却期間は20年と定められている。

## リース

### 当行が貸手の場合

親会社は、ファイナンス・リースをオペレーティングリースとして認識している。したがって、当該資産は、リース資産として計上され、減価償却費は損益計算書上の「不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用」に計上される。賃料収入は、損益計算書上の純利息収益にリース料として認識される。

リース資産は、主に車両及び機械で構成されている。リース資産は、年金法に従ってリース契約期間にわたり減価償却される。

### 当行が借手の場合

親会社はリース期間にわたり、リース料を定額法により費用として認識する。

## 配当金

受取配当金項目は、子会社、関連会社及びジョイント・ベンチャーからの配当金並びにグループ利益分配の受領を含む、親会社が受領したすべての配当金で構成されている。

配当予想は、親会社に配当金額を決定する権利があり、財務報告の公表前に決定されている場合に限り認識される。

## 退職給付会計

親会社は確定給付制度の会計に関するIAS第19号の規定を適用していない。その代わりに、親会社の年金費用は、年金債務保護法の規定及びスウェーデン金融監督庁の規定に準拠した年金数理計算を基に計算される。これは主に、割引率の設定方法及び将来債務の計算に将来の昇給が考慮されていないことに関して差異があることを意味する。正味年金費用認識額は、年金基金からの拠出控除後の年金支給額、年金保険料及び年金基金への分配額の合計として算定される。当期の正味年金費用は、親会社の損益計算書において人件費として報告される。

制度資産の価値が見積り年金債務を超過したことによる超過額は親会社の貸借対照表において資産として認識されない。不足額は負債として認識される。

## 法人税等

親会社において、非課税剰余金は貸借対照表において個別項目として認識される。非課税剰余金の一部は、繰延税金負債に計上され、残りは資本に計上されている。

## 注記P2 リスク及び資本管理

ハンデルスバンケン・グループのリスク管理については注記G2に記載されている。親会社のリスクに関する具体的な情報については以下に示されている。

## 信用エクスポージャー、地域別、2022年

百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン	ノルウェー	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計
<b>貸借対照表項目</b>						
現金及び中央銀行預け金	100,413	8,962	14	136,749	129,873	376,010
金融機関への貸出金	注記P13 932,268	126	92,558	129	582	1,025,664
一般顧客への貸出金	注記P14 248,738	190,979	91,433	96,208	10,364	637,721
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記P15 132,778	-	-	-	-	132,778
債券及びその他の利付証券	注記P15 33,339	-	-	-	-	33,339
デリバティブ商品	注記P18 52,210	-	-	50	99	52,360
<b>合計</b>	<b>1,499,746</b>	<b>200,067</b>	<b>184,005</b>	<b>233,136</b>	<b>140,918</b>	<b>2,257,872</b>
<b>オフバランスシート項目</b>						
偶発債務	注記P39 605,828	67,648	36,048	2,694	29,337	741,555
うち、保証コミットメント	41,319	6,197	8,243	97	16,176	72,032
うち、債務	564,509	61,451	27,806	2,596	13,160	669,523
<b>合計</b>	<b>605,828</b>	<b>67,648</b>	<b>36,048</b>	<b>2,694</b>	<b>29,337</b>	<b>741,555</b>
<b>貸借対照表項目及びオフバランスシート項目合計</b>	<b>2,105,575</b>	<b>267,715</b>	<b>220,053</b>	<b>235,830</b>	<b>170,255</b>	<b>2,999,427</b>

## 信用エクスポージャー、地域別、2021年

百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン	ノルウェー	デンマーク	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計
<b>貸借対照表項目</b>							
現金及び中央銀行預け金	93,293	4,579	28,282	120,098	27,314	65,202	338,768
金融機関への貸出金	注記P13 934,765	2,788	4,957	43,020	755	612	986,897
一般顧客への貸出金	注記P14 211,575	173,148	60,953	81,465	75,606	9,105	611,852
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記P15 100,538	-	-	-	-	-	100,538
債券及びその他の利付証券	注記P15 34,323	-	-	-	-	-	34,323
デリバティブ商品	注記P18 30,844	-	37	-	7	58	30,946
<b>合計</b>	<b>1,405,338</b>	<b>180,515</b>	<b>94,229</b>	<b>244,583</b>	<b>103,682</b>	<b>74,977</b>	<b>2,103,324</b>
<b>オフバランスシート項目</b>							
偶発債務	注記P39 561,270	61,091	33,208	35,301	5,819	27,056	723,745
うち、保証コミットメント	48,975	5,980	9,108	8,169	77	15,193	87,502
うち、債務	512,295	55,111	24,100	27,132	5,742	11,863	636,243
<b>合計</b>	<b>561,270</b>	<b>61,091</b>	<b>33,208</b>	<b>35,301</b>	<b>5,819</b>	<b>27,056</b>	<b>723,745</b>

## 貸借対照表項目及びオフバランス

シート	1,966,608	241,606	127,437	279,884	109,501	102,033	2,827,069
項目合計							

地域別内訳とはエクスポージャーが計上されている国の内訳をいう。

一般顧客への貸出金セクター別内 訳、2022年	総額			引当金			純額
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	
百万スウェーデン・クローネ							
個人	101,993	3,448	805	-15	-24	-305	105,902
住宅協同組合	25,182	978	27	-4	-2	-2	26,179
不動産管理	317,575	12,466	735	-65	-35	-88	330,588
製造	32,141	1,843	44	-25	-110	-32	33,861
リテール	35,824	496	70	-9	-8	-52	36,321
ホテル及びレストラン	1,508	437	14	-1	-6	-7	1,945
海運	1,916	6	221	-1	-2	-77	2,063
その他運輸及び通信	6,143	965	34	-13	-31	-32	7,066
建設	13,941	2,899	110	-52	-142	-71	16,685
電気、ガス及び水道	11,300	954	4	-4	-2	-3	12,249
農業、狩猟業及び林業	3,617	309	31	-5	-22	-14	3,916
その他サービス	13,407	193	152	-7	-3	-138	13,604
持株会社、投資会社、保険会社、 ミューチュアル・ファンド等	23,374	5,642	32	-5	-12	-24	29,007
ソブリン及び地方自治体	89	47	-	0	-1	-	135
その他法人貸付	17,923	33	334	-1	0	-89	18,200
<b>合計</b>	<b>605,933</b>	<b>30,716</b>	<b>2,613</b>	<b>-207</b>	<b>-400</b>	<b>-934</b>	<b>637,721</b>

一般顧客への貸出金セクター別内 訳、2021年	総額			引当金			純額
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	
百万スウェーデン・クローネ							
個人	112,017	2,053	959	-22	-23	-443	114,541
住宅協同組合	21,073	416	11	-3	-1	-4	21,492
不動産管理	292,651	20,368	926	-50	-186	-163	313,546
製造	17,977	1,625	65	-10	-11	-39	19,607
リテール	25,434	433	372	-16	-34	-90	26,099
ホテル及びレストラン	2,625	1,722	20	-3	-101	-5	4,258
海運	1,676	594	1,205	-1	-8	-464	3,002
その他運輸及び通信	4,233	230	83	-8	-10	-63	4,465
建設	13,842	596	131	-20	-12	-72	14,465
電気、ガス及び水道	7,708	1,196	5	-3	-8	-3	8,895
農業、狩猟業及び林業	5,162	129	67	-6	-4	-31	5,317
その他サービス	8,821	524	96	-12	-19	-88	9,322
持株会社、投資会社、保険会社、 ミューチュアル・ファンド等	48,759	370	171	-12	-8	-122	49,158
ソブリン及び地方自治体	263	16	0	0	-1	0	278
その他法人貸付	17,079	118	296	-3	-5	-78	17,407
<b>合計</b>	<b>579,320</b>	<b>30,390</b>	<b>4,407</b>	<b>-169</b>	<b>-431</b>	<b>-1,665</b>	<b>611,852</b>

信用エクスポージャー、担保別内訳、2022年 百万スウェーデン・クローネ	住宅用不動産 <sup>1</sup>	その他の不動産	ソブリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>2</sup>	自己の債務の担保として差し入れた保証 <sup>3</sup>	金融担保	資産担保	その他の担保	無担保 <sup>4</sup>	合計
<b>貸借対照表項目</b>									
現金及び中央銀行預け金			376,010						376,010
金融機関への貸出金 <small>注記 P13</small>	-	-	149,027	-	-	-	-	876,637	1,025,664
一般顧客への貸出金 <small>注記 P14</small>	187,050	224,532	29,435	10,062	10,853	5,070	9,637	161,082	637,721
中央銀行への担保として適格な利付証券 <small>注記 P15</small>	-	-	131,726	-	-	-	-	1,052	132,778
債券及びその他の利付証券 <small>注記 P15</small>	-	-	2,492	815	-	-	-	30,032	33,339
デリバティブ商品 <small>注記 P18</small>	189	354	3,361	223	86	-	-	48,147	52,360
<b>合計</b>	<b>187,239</b>	<b>224,886</b>	<b>692,051</b>	<b>11,100</b>	<b>10,939</b>	<b>5,070</b>	<b>9,637</b>	<b>1,116,950</b>	<b>2,257,872</b>
<b>オフバランスシート項目</b>									
偶発債務 <small>注記 P39</small>	70,569	45,723	32,483	7,432	11,774	745	8,466	564,363	741,555
うち、保証コミットメント	2,431	1,340	7,098	3,793	966	511	871	55,022	72,032
うち、債務	68,138	44,383	25,385	3,639	10,808	234	7,595	509,341	669,523
<b>合計</b>	<b>70,569</b>	<b>45,723</b>	<b>32,483</b>	<b>7,432</b>	<b>11,774</b>	<b>745</b>	<b>8,466</b>	<b>564,363</b>	<b>741,555</b>
<b>貸借対照表項目及びオフバランスシート項目合計</b>	<b>257,808</b>	<b>270,609</b>	<b>724,534</b>	<b>18,532</b>	<b>22,713</b>	<b>5,815</b>	<b>18,103</b>	<b>1,681,313</b>	<b>2,999,427</b>
信用エクスポージャー、担保別内訳、2021年 百万スウェーデン・クローネ	住宅用不動産 <sup>1</sup>	その他の不動産	ソブリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>2</sup>	自己の債務の担保として差し入れた保証 <sup>3</sup>	金融担保	資産担保	その他の担保	無担保 <sup>4</sup>	合計
<b>貸借対照表項目</b>									
現金及び中央銀行預け金			338,768						338,768
金融機関への貸出金 <small>注記 P13</small>	-	-	60,381	-	-	-	-	926,516	986,897
一般顧客への貸出金 <small>注記 P14</small>	189,813	209,790	26,062	7,532	19,224	5,297	8,379	145,755	611,852
中央銀行への担保として適格な利付証券 <small>注記 P15</small>			100,538						100,538

債券及びその										
他の利付証	注記									
券	P15	-	-	1,106	818	-	-	-	32,399	34,323
デリバティブ	注記									
商品	P18	833	1,541	5,012	65	150	-	-	23,345	30,946
<b>合計</b>		<b>190,646</b>	<b>211,331</b>	<b>531,867</b>	<b>8,415</b>	<b>19,374</b>	<b>5,297</b>	<b>8,379</b>	<b>1,128,015</b>	<b>2,103,324</b>
<b>オフバランス</b>										
<b>シート項目</b>										
偶発債務	注記									
	P39	93,494	49,986	40,739	8,889	15,468	648	9,000	505,521	723,745
うち、保証										
コミットメ										
ント		6,395	1,687	9,565	4,199	1,093	394	934	63,235	87,502
うち、債務		87,099	48,299	31,174	4,690	14,375	254	8,066	442,286	636,243
<b>合計</b>		<b>93,494</b>	<b>49,986</b>	<b>40,739</b>	<b>8,889</b>	<b>15,468</b>	<b>648</b>	<b>9,000</b>	<b>505,521</b>	<b>723,745</b>
<b>貸借対照表項</b>										
<b>目及びオフ</b>										
<b>バランス</b>										
<b>シート項目</b>										
<b>合計</b>		<b>284,140</b>	<b>261,317</b>	<b>572,606</b>	<b>17,304</b>	<b>34,842</b>	<b>5,945</b>	<b>17,379</b>	<b>1,633,536</b>	<b>2,827,069</b>

- 1) 住宅協同組合のアパートを含む。
- 2) 直接のソブリン・エクスポージャー及び政府保証をいう。
- 3) 政府保証は含まない。
- 4) この列は親会社によるグループ子会社への内部貸出及びコミットメントを含む。貸借対照表項目では、この内部貸出は1,003,588(969,362)百万スウェーデン・クローネ、オフバランスシート項目は262,397(203,798)百万スウェーデン・クローネであった。

## 市場リスク

### 市場リスク

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
金利リスク	563	1,215
為替リスク <sup>1</sup>	3	14
株価リスク	38	71
コモディティ・リスク	1	1

- 1) スウェーデン・クローネが+/-5%変動した場合の最悪の結果

## 流動性リスク

### 金融資産及び負債の満期分

析、

2022年

百万スウェーデン・クロー

ネ	30日以内	31日から 6ヶ月	6ヶ月から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	満期の 指定なし	合計
現金及び中央銀行預け金	407,437	-	-	-	-	-	-	407,437
中央銀行への担保として適 格な利付証券 <sup>1</sup>	132,989	-	-	-	-	-	-	132,989
債券及びその他の利付証券 <sup>2</sup>	33,488	-	-	-	-	-	-	33,488
金融機関への貸出金	110,619	158,846	157,454	173,341	419,899	46,914	-	1,067,072
うち、リバース・レポ	4,916	-	-	-	-	-	-	4,916
一般顧客への貸出金	55,791	112,085	108,033	106,549	158,604	138,354	-	679,416
うち、リバース・レポ	12,912	-	-	-	-	-	-	12,912
その他	17,669	-	-	-	-	-	139,708	157,377
うち、株式及び参加持分	7,112	-	-	-	-	-	-	7,112
うち、投資銀行業務の決 済に係る債権	10,557	-	-	-	-	-	-	10,557

資産合計	757,993	270,931	265,487	279,891	578,502	185,268	139,708	2,477,780
金融機関からの預り金	63,655	49,032	17,685	15,278	7,752	991	19,324	173,716
うち、レボ	-	-	-	-	-	-	-	-
うち、中央銀行	14,212	20,009	2,652	114	-	-	3	36,989
一般顧客からの預金及び借入金	16,845	51,228	36,512	10,017	2,085	45	1,020,535	1,137,267
うち、レボ	4	-	-	-	-	-	-	4
発行済証券 <sup>3</sup>	77,185	401,948	170,177	29,058	97,628	50,907	-	826,904
うち、カバード・ボンド	-	-	-	-	-	-	-	-
うち、当初満期が1年未満の譲渡性預金(CD)	28,791	169,614	56,754	-	-	-	-	255,159
うち、当初満期が1年未満のコマーシャル・ペーパー(CP)	48,282	203,070	71,539	-	-	-	-	322,890
うち、当初満期が1年超の譲渡性預金(CD)及びコマーシャル・ペーパー(CP)	9	6,405	8,765	541	-	-	-	15,719
うち、非優先シニア債	-	283	140	423	25,014	24,465	-	50,325
うち、当初満期が1年超のシニア債及びその他の証券	103	22,576	32,980	28,095	72,614	26,442	-	182,810
劣後負債	-	9,614	145	14,496	13,511	11,476	-	49,240
その他	4,999	-	-	-	-	-	202,593	207,592
うち、ショートポジション	1,947	-	-	-	-	-	-	1,947
うち、投資銀行業務の決済に係る債務	3,052	-	-	-	-	-	-	3,052
<b>負債合計</b>	<b>162,684</b>	<b>511,821</b>	<b>224,519</b>	<b>68,849</b>	<b>120,975</b>	<b>63,418</b>	<b>1,242,452</b>	<b>2,394,718</b>
<b>オフバランスシート項目</b>								
金融保証及び未使用のローン・コミットメント	669,523							
<b>デリバティブ、2022年</b>								
百万スウェーデン・クローネ	30日以内	31日から6ヶ月	6ヶ月から12ヶ月	1年から2年	2年から5年	5年超		合計
デリバティブに係る現金流入合計	189,477	606,809	156,028	144,812	264,991	158,131		1,520,248
デリバティブに係る現金流出合計	188,395	605,555	152,820	140,760	259,985	151,649		1,499,164
<b>純額</b>	<b>1,082</b>	<b>1,254</b>	<b>3,208</b>	<b>4,052</b>	<b>5,006</b>	<b>6,482</b>		<b>21,084</b>
<b>金融資産及び負債の満期分析、2021年</b>								
百万スウェーデン・クローネ	30日以内	31日から6ヶ月	6ヶ月から12ヶ月	1年から2年	2年から5年	5年超	満期の指定なし	合計
現金及び中央銀行預け金	338,787	-	-	-	-	-	-	338,787
中央銀行への担保として適格な利付証券 <sup>1</sup>	100,538	-	-	-	-	-	-	100,538

債券及びその他の利付証券 <sup>2</sup>	34,323	-	-	-	-	-	-	34,323
金融機関への貸出金	49,836	176,974	101,553	189,635	458,214	30,184	-	1,006,396
うち、リバース・レボ	20,203	-	-	-	-	-	-	20,203
一般顧客への貸出金	43,431	119,413	94,365	93,529	143,086	141,627	-	635,451
うち、リバース・レボ	13,648	-	-	-	-	-	-	13,648
その他	16,217	-	-	-	-	-	142,644	158,861
うち、株式及び参加持分	13,481	-	-	-	-	-	-	13,481
うち、投資銀行業務の決 済に係る債権	2,736	-	-	-	-	-	-	2,736
<b>資産合計</b>	<b>583,132</b>	<b>296,387</b>	<b>195,918</b>	<b>283,164</b>	<b>601,300</b>	<b>171,811</b>	<b>142,644</b>	<b>2,274,356</b>
金融機関からの預り金	89,515	36,435	3,733	137	362	1,010	22,706	153,898
うち、レボ	-	-	-	-	-	-	-	0
うち、中央銀行	21,832	28,676	-	-	-	-	344	50,852
一般顧客からの預金及び借 入金	12,414	22,154	1,575	4,184	369	48	1,132,318	1,173,062
うち、レボ	213	-	-	-	-	-	-	213
発行済証券 <sup>3</sup>	51,797	292,149	187,128	49,821	71,984	32,210	-	685,089
うち、カバード・ボンド	-	-	-	-	-	-	-	0
うち、当初満期が1年未満 の証券及びその他の証 券	42,648	268,927	155,791	-	-	-	-	467,366
うち、当初満期が1年超の シニア債及びその他の 証券	9,149	23,222	31,337	49,821	71,984	32,210	-	217,723
劣後負債	-	926	2,960	8,507	13,698	10,195	-	36,286
その他	7,038	-	-	-	-	-	186,017	193,055
うち、ショートポジショ ン	4,126	-	-	-	-	-	-	4,126
うち、投資銀行業務の決 済に係る債務	2,912	-	-	-	-	-	-	2,912
<b>負債合計</b>	<b>160,764</b>	<b>351,664</b>	<b>195,396</b>	<b>62,649</b>	<b>86,413</b>	<b>43,463</b>	<b>1,341,041</b>	<b>2,241,390</b>
<b>オフバランスシート項目</b>								
金融保証及び未使用のロー ン・コミットメント	636,243							
<b>デリバティブ、2021年</b>								
百万スウェーデン・クロー ネ	<b>30日以内</b>	<b>31日から 6ヶ月</b>	<b>6ヶ月から 12ヶ月</b>	<b>1年から 2年</b>	<b>2年から 5年</b>	<b>5年超</b>		<b>合計</b>
デリバティブに係る現金流 入合計	220,640	508,215	84,162	119,321	180,126	103,895		1,216,359
デリバティブに係る現金流 出合計	219,001	505,556	82,124	119,581	180,424	103,869		1,210,555
<b>純額</b>	<b>1,639</b>	<b>2,659</b>	<b>2,038</b>	<b>-260</b>	<b>-298</b>	<b>26</b>		<b>5,804</b>

1) この金額（利息を除く）のうち、106,107(83,610)百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。

2) この金額（利息を除く）のうち、2,511(4,601)百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。

3) この金額（利息を除く）のうち、637,617(528,573)百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。

「満期の指定なし」の欄の預金は、要求払預金を意味する。この表には利息キャッシュ・フローが含まれてい  
るため、この表の貸借対照表項目の金額は親会社の貸借対照表上の金額と一致していない。

## 注記P3 純利息収益

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
<b>利息収益</b>		
金融機関及び中央銀行への貸出金	15,781	3,562
一般顧客への貸出金	16,033	10,586
中央銀行への担保として適格な利付証券	1,289	306
債券及びその他の利付証券	876	279
デリバティブ商品	7,452	-1,246
その他利息収益	871	835
<b>合計</b>	<b>42,302</b>	<b>14,322</b>
金融取引による純損益に計上された利息収益の控除	814	-3
<b>利息収益合計</b>	<b>41,488</b>	<b>14,325</b>
うち、実効金利法による利息収益及びヘッジ会計デリバティブに係る利息	34,092	13,203
<b>リース収益</b>	<b>1,826</b>	<b>1,899</b>
<b>利息費用</b>		
金融機関及び中央銀行からの預り金	-1,546	-109
一般顧客からの預金及び借入金	-8,040	-173
発行済証券	-11,212	-2,992
デリバティブ商品	-2,949	2,245
劣後負債	-1,369	-1,099
預金保証料	-364	-266
その他利息費用	-534	-366
<b>合計</b>	<b>-26,014</b>	<b>-2,760</b>
金融取引による純損益に計上された利息費用の控除	-930	-38
<b>利息費用合計</b>	<b>-25,084</b>	<b>-2,722</b>
うち、実効金利法による利息費用及びヘッジ会計デリバティブに係る利息費用	-22,531	-2,196
<b>純利息収益</b>	<b>18,230</b>	<b>13,502</b>
ファイナンス・リースの予定減価償却費 <sup>1)</sup>	-1,631	-1,751
純利息収益(ファイナンス・リースの予定減価償却費控除後)	16,599	11,751

1) 不動産、器具備品及び無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用を計上している。

デリバティブ商品の行には、ヘッジ対象の資産及び負債に関連した純利息収益が含まれている。これらは利息収益及び費用に正負双方の影響を及ぼす可能性がある。



## 破綻処理手数料の損益計算書上の表示変更

百万スウェーデン・クローネ	2021年 帳簿価額	破綻処理手数料の 表示変更	2021年 変更前帳簿価額
利息費用	-2,722	366	-3,088
リスク税及び破綻処理手数料	-366	-366	
<b>合計</b>	<b>-3,088</b>	<b>-</b>	<b>-3,088</b>

2022年度第1四半期より、破綻処理手数料は利息費用ではなく、営業利益の中の個別の項目として計上されている。リスク税も同項目の一部として計上されていることから、上記の損益計算書項目の比較数値は再計算されている。

## 注記P4 受取配当金

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
配当金	46	60
関連会社からの配当金	14	-
グループ会社からの配当金 <sup>1</sup>	614	866
グループ利益分配受領額	16,279	16,685
<b>合計</b>	<b>16,953</b>	<b>17,611</b>

1) うち、614(515)百万スウェーデン・クローネは、スタッドフィボテックが資本性金融商品に分類したTier1資本ローンに係る配当である。

## 注記P5 純手数料及びコミッション収益

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
仲介及びその他証券コミッション	498	634
ミューチュアル・ファンド	239	274
カストディ及びその他資産管理手数料	996	1,030
アドバイザーサービス	172	199
決済	2,764	2,840
貸出金及び預金	900	917
保証	272	284
その他	674	699
<b>手数料及びコミッション収益合計</b>	<b>6,515</b>	<b>6,877</b>
証券	-240	-242
決済	-1,001	-1,342
その他	-107	-63
<b>手数料及びコミッション費用合計</b>	<b>-1,348</b>	<b>-1,647</b>

**純手数料及びコミッション収益** 5,167 5,230

手数料及びコミッション収益は顧客との契約から生じる収益である。仲介及びその他証券コミッション、アドバイザーサービス、決済、貸出金及び預金から生じる収益は通常、サービスの提供時となる特定の時点で

認識される。決済にはクレジットカードの発行及び取得も含まれる。ミューチュアル・ファンド、カスタディ及びその他の資産管理手数料、保険及び保証から生じる収益は通常、サービスの提供時となるサービス提供期間にわたり定額法で認識される。

#### 注記P6 金融取引による純損益

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
償却原価で計上される金融商品	-78	108
うち、貸出金	-78	108
うち、利付証券	-	-
うち、発行済証券	-	-
その他包括利益を通じて公正価値で計上	0	0
うち、予想信用損失	0	0
純損益を通じて公正価値で計上、公正価値オプション	-4,710	-900
うち、利付証券	-4,710	-900
純損益を通じて公正価値で計上(強制)(外貨換算影響額を含む)	5,615	2,578
ヘッジ会計	-7	22
うち、公正価値ヘッジに係る純損益	42	28
うち、キャッシュフロー・ヘッジの非有効部分	-49	-6
<b>合計</b>	<b>820</b>	<b>1,808</b>

#### 注記P7 その他営業収益

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
賃料収入	11	21
その他営業収益 <sup>1</sup>	4,830	3,555
<b>合計</b>	<b>4,841</b>	<b>3,576</b>

1) スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーは、2022年度第4四半期にデンマークにおける事業を売却した。この売却により、2022年度にはその他営業収益に対し1,513百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。2021年度第4四半期にスウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーはアクワイアリング事業を売却した。この売却により、2021年度にはその他営業収益に対し574百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。本項目には各年度中に親会社が子会社に販売したサービスの対価が含まれる。

#### 注記P8 人件費

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
給与及び報酬	-7,145	-6,824
社会保障費	-1,941	-1,774
年金費用 <sup>1</sup>	-2,370	-1,545
利益分配制度に対する準備金	-124	-38
その他人件費	-409	-61
<b>合計</b>	<b>-11,990</b>	<b>-10,242</b>

1) 年金費用に関する情報については、注記P40に示されている。

**給与及び報酬**

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
執行役員 <sup>2</sup> 、24(18)名	-97	-66
その他	-7,048	-6,758
<b>合計</b>	<b>-7,145</b>	<b>-6,824</b>

2) 取締役を含む執行役員

**男女別分布、%**

	2022年		2021年	
	男性	女性	男性	女性
取締役	46	54	50	50
取締役を除く執行役員	60	40	70	30

平均従業員数	2022年			2021年		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性
スウェーデン	6,507	3,135	3,372	6,564	3,146	3,418
ノルウェー	812	422	390	793	411	382
デンマーク	542	273	269	627	321	306
フィンランド	521	238	283	558	250	308
オランダ	346	214	132	325	201	124
米国	48	28	20	50	31	19
中国	1	1	0	16	8	8
ルクセンブルグ	50	24	26	47	25	22
シンガポール	0	0	0	5	1	4
ドイツ	2	1	1	21	9	12
ポーランド	15	4	11	16	4	12
その他諸国	5	1	4	8	2	6
<b>合計</b>	<b>8,849</b>	<b>4,341</b>	<b>4,508</b>	<b>9,030</b>	<b>4,409</b>	<b>4,621</b>

親会社の執行役員に対する報酬の原則に関する情報については、注記G8に示されている。

#### 注記P9 その他管理費用

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
不動産及び建物設備	-1,252	-1,219
外部IT費用	-3,280	-2,729
通信費	-200	-209
旅費及びマーケティング費用	-170	-97
購入したサービス	-1,513	-1,150
備品費	-154	-125
その他管理費用	-846	-473
<b>合計</b>	<b>-7,415</b>	<b>-6,002</b>

#### うち、オペレーティング・リースに係る費用

リース料	-496	-563
変動リース料	-119	-42
<b>合計</b>	<b>-615</b>	<b>-605</b>

オペレーティング・リースは主として、事務所及び事務所設備の賃借に関する標準的な契約によるものである。事務所賃借料には、通常、インフレ率と固定資産税に関連した変動リース料が含まれている。

#### 解約不能オペレーティング・リース契約における将来リース料、支払期限別

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
1年以内	-669	-723
1年から5年	-2,224	-2,413

5年超	-2,507	-2,546
<b>合計</b>	<b>-5,400</b>	<b>-5,682</b>

監査人及び監査法人に対する報酬	プライスウォーター ハウスコーパス・エイビー		アーンスト・アンド・ ヤング・エイ・ビー	
	2022年	2021年	2022年	2021年
百万スウェーデン・クローネ				
監査業務	-10	-3	-8	-6
当該監査業務以外の監査上の業務	-2	0	-1	0
税務アドバイス	-	-	0	0
その他サービス	-	-	-	-

## 注記P10 信用損失

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
<b>貸借対照表項目に係る予想信用損失</b>		
ステージ3に分類された貸出金に対する当年度の引当金	-174	-366
ステージ3に分類された貸出金に対する引当金の過年度からの戻入	225	262
<b>ステージ3に分類された貸出金に対する予想信用損失合計</b>	<b>51</b>	<b>-104</b>
ステージ2に分類された貸出金に対する当年度の引当金純額	-36	46
ステージ1に分類された貸出金に対する当年度の引当金純額	-85	8
<b>ステージ1及び2に分類された貸出金に対する予想信用損失合計</b>	<b>-121</b>	<b>54</b>
<b>貸借対照表項目に係る予想信用損失合計</b>	<b>-70</b>	<b>-50</b>
<b>オフバランスシート項目に係る予想信用損失</b>		
ステージ3に分類されたオフバランスシート項目に対する当年度の引当金純額	13	29
ステージ2に分類されたオフバランスシート項目に対する当年度の引当金純額	-27	-6
ステージ1に分類されたオフバランスシート項目に対する当年度の引当金純額	-9	-15
<b>オフバランスシート項目に係る予想信用損失合計</b>	<b>-22</b>	<b>8</b>
<b>償却</b>		
当年度の実際の信用損失 <sup>1</sup>	-666	-331
ステージ3に分類された貸出金に対する従前の引当金の取崩	592	284
<b>償却合計</b>	<b>-74</b>	<b>-47</b>
回収	125	34
<b>信用損失（純額）</b>	<b>-41</b>	<b>-55</b>
うち、一般顧客への貸出金	-21	-67

1) 当年度の実際の信用損失のうち、164(130)百万スウェーデン・クローネが強制執行の対象となる。

## 減損テスト対象の貸借対照表項目及びオフバランスシート項目

2022年

百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3 <sup>1</sup>	ステージ1	ステージ2	ステージ3
<b>貸借対照表項目</b>						
現金及び中央銀行預け金	375,981	-	-	0	-	-
中央銀行への担保として適格な 付証券	200	-	-	0	-	-
金融機関への貸出金	1,025,814	1	-	-1	-1	-
一般顧客への貸出金	605,933	30,716	2,613	-207	-400	-934
債券及びその他の利付証券	9,882	-	-	-2	-	-
<b>合計</b>	<b>2,017,811</b>	<b>30,717</b>	<b>2,613</b>	<b>-211</b>	<b>-401</b>	<b>-934</b>
<b>オフバランスシート項目</b>						
偶発債務	561,940	10,002	245	-66	-136	-82
うち、保証コミットメント	69,973	1,982	77	-7	-12	-19
うち、債務	491,967	8,020	168	-59	-124	-63
<b>合計</b>	<b>561,940</b>	<b>10,002</b>	<b>245</b>	<b>-66</b>	<b>-136</b>	<b>-82</b>

## 減損テスト対象の貸借対照表項目及びオフバランスシート項目

2021年

百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3 <sup>1</sup>	ステージ1	ステージ2	ステージ3
<b>貸借対照表項目</b>						
現金及び中央銀行預け金	338,736	-	-	0	-	-
中央銀行への担保として適格な 利付証券	397	-	-	-	-	-
金融機関への貸出金	986,562	10	-	-1	-3	-
一般顧客への貸出金	579,320	30,390	4,407	-169	-431	-1,665
債券及びその他の利付証券	9,016	-	-	-2	-	-
<b>合計</b>	<b>1,914,031</b>	<b>30,400</b>	<b>4,407</b>	<b>-172</b>	<b>-434</b>	<b>-1,665</b>
<b>オフバランスシート項目</b>						
偶発債務	573,613	7,399	297	-67	-118	-92
うち、保証コミットメント	86,058	1,314	130	-9	-10	-39
うち、債務	487,555	6,085	167	-58	-108	-53
<b>合計</b>	<b>573,613</b>	<b>7,399</b>	<b>297</b>	<b>-67</b>	<b>-118</b>	<b>-92</b>

1) 受け入れた担保により、引当金を計上しなかったステージ3貸出金の総額は1,084(1,459)百万スウェーデン・クローネであった。

## 一般顧客への貸出金に対する信用損失の主要数値

	2022年	2021年
信用損失率、ACC、%	0.00	0.01
信用損失引当率合計、%	0.24	0.37
ステージ1に分類された貸出金に対する引当率、%	0.03	0.03
ステージ2に分類された貸出金に対する引当率、%	1.30	1.42
ステージ3に分類された貸出金に対する引当率、%	35.75	37.78
ステージ3に分類された貸出金の割合、%	0.26	0.45

## 変動分析

## 減損テスト対象の貸借対照表項目に対する予想信用損失引当金の変動

	2022年				2021年			
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
百万スウェーデン・クローネ								
期首現在引当金	-172	-434	-1,665	-2,271	-175	-470	-1,796	-2,441
認識中止した資産	37	129	204	370	22	41	116	179
償却	0	0	590	590	0	1	283	284
信用リスクの変動による再測定	-84	163	-7	72	-19	80	-91	-30
推計手法の更新による変動	-	-	-	-	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-4	-4	-15	-22	-4	-10	-52	-66
購入又は組成した資産	-19	-39	-2	-60	-29	-10	-11	-50
ステージ1への振替	-13	18	0	5	-13	17	1	5
ステージ2への振替	29	-269	9	-231	21	-144	5	-118
ステージ3への振替	15	35	-49	1	25	61	-120	-34
期末現在引当金	-211	-401	-934	-1,546	-172	-434	-1,665	-2,271

## 減損テスト対象の一般顧客への貸出金に対する予想信用損失引当金の変動

	2022年				2021年			
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
百万スウェーデン・クローネ								
期首現在引当金	-169	-431	-1,665	-2,265	-172	-464	-1,796	-2,432
認識中止した資産	37	129	204	370	22	41	116	179
償却	0	0	590	590	0	1	283	284
信用リスクの変動による再測定	-84	161	-7	71	-19	76	-91	-34
推計手法の更新による変動	-	-	-	-	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-4	-4	-15	-22	-4	-9	-52	-65
購入又は組成した資産	-19	-39	-2	-60	-29	-10	-11	-50
ステージ1への振替	-13	18	0	5	-13	17	1	5
ステージ2への振替	29	-269	9	-231	21	-144	5	-118

ステージ3への振替	15	35	-49	1	25	61	-120	-34
期末現在引当金	-207	-400	-934	-1,542	-169	-431	-1,665	-2,265

## 減損テスト対象のオフバランスシート項目に対する予想信用損失引当金の変動

百万スウェーデン・クローネ	2022年				2021年			
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-67	-118	-92	-277	-51	-110	-119	-280
認識中止した資産	22	21	-	42	6	17	-	23
償却	0	0	1	1	-	-	-	-
信用リスクの変動による再測定	-15	36	8	29	4	14	27	45
推計手法の更新による変動	-	-	-	-	-	-	-	-
外貨換算影響額等	4	22	-	26	-6	-23	-	-29
購入又は組成した資産	-14	-15	-	-29	-20	-5	-	-25
ステージ1への振替	-2	4	-	2	-5	11	-	6
ステージ2への振替	6	-87	-	-81	4	-26	-	-22
ステージ3への振替	1	1	-	2	1	4	-	5
期末現在引当金	-66	-136	-82	-283	-67	-118	-92	-277

この変動分析は、当該期間の各説明項目について、ステージ別の引当金に与える正味影響額を示したものである。認識中止及び償却の影響は期首残高で算定される。推計手法の変更及び外貨換算影響額等による再評価の影響は、ステージ間の振替前に純額ベースで算定される。購入又は組成した資産及びステージ間で振り替えられた金額は、他の説明項目の影響考慮後に認識される。振替の各行は各ステージの引当金に与える影響を表す。

## 減損テスト対象の貸借対照表項目総額の変動

百万スウェーデン・クローネ	2022年				2021年			
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	1,914,031	30,400	4,407	1,948,838	1,785,579	38,393	4,751	1,828,723
認識中止した資産	-150,176	-10,748	-923	-161,847	-70,662	-4,933	-381	-75,976
償却	-3	-2	-658	-663	-3	-6	-317	-326
信用リスクの変動による再測定	105,633	2,725	-610	107,749	-64,840	-8,838	-631	-74,309
推計手法の更新による変動	-	-	-	-	-	-	-	-
外貨換算影響額等	75,468	873	28	76,369	45,491	1,324	218	47,033
購入又は組成した資産	78,677	1,999	21	80,696	222,172	1,467	54	223,693
ステージ1への振替	20,962	-20,953	-10	-	14,896	-14,878	-18	-
ステージ2への振替	-26,631	26,733	-102	-	-18,403	18,427	-24	-

ステージ3への振替	-150	-311	461	-	-199	-556	755	-
<b>期末現在の総額</b>	<b>2,017,811</b>	<b>30,717</b>	<b>2,613</b>	<b>2,051,142</b>	<b>1,914,031</b>	<b>30,400</b>	<b>4,407</b>	<b>1,948,838</b>

## 減損テスト対象の一般顧客への貸出金総額の変動

百万スウェーデン・クローネ	2022年				2021年			
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	579,320	30,390	4,407	614,117	525,450	38,376	4,751	568,577
認識中止した資産	-105,161	-10,632	-923	-116,717	-65,607	-4,924	-381	-70,912
償却	-3	-2	-658	-663	-3	-6	-317	-326
信用リスクの変動による再測定	52,929	2,908	-610	55,228	21,846	-9,460	-631	11,755
推計手法の更新による変動	-	-	-	-	-	-	-	-
外貨換算影響額等	15,067	846	28	15,941	13,378	1,149	218	14,745
購入又は組成した資産	69,336	1,999	21	71,356	88,757	1,467	54	90,278
ステージ1への振替	20,962	-20,953	-10	-	14,101	-14,083	-18	-
ステージ2への振替	-26,368	26,470	-102	-	-18,403	18,427	-24	-
ステージ3への振替	-150	-311	461	-	-199	-556	755	-
<b>期末現在の総額</b>	<b>605,933</b>	<b>30,716</b>	<b>2,613</b>	<b>639,263</b>	<b>579,320</b>	<b>30,390</b>	<b>4,407</b>	<b>614,117</b>

## 減損テスト対象のオフバランスシート項目総額の変動

百万スウェーデン・クローネ	2022年				2021年			
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	573,613	7,399	297	581,309	409,604	8,890	440	418,934
認識中止した資産	-87,513	-3,908	-50	-91,472	-26,769	-1,576	-48	-28,393
償却	0	0	-3	-3	0	0	-5	-5
信用リスクの変動による再測定	63,232	-2,077	-35	61,120	80,419	-4,622	-146	75,651
推計手法の更新による変動	-	-	-	-	-	-	-	-
外貨換算影響額等	-32,435	-5,394	4	-37,825	42,961	9,387	5	52,353
購入又は組成した資産	57,850	1,208	0	59,058	62,069	699	1	62,769
ステージ1への振替	4,623	-4,622	-1	-	11,691	-11,691	0	-
ステージ2への振替	-17,406	17,409	-3	-	-6,346	6,348	-2	-
ステージ3への振替	-24	-12	36	-	-16	-36	52	-
<b>期末現在の総額</b>	<b>561,940</b>	<b>10,002</b>	<b>245</b>	<b>572,187</b>	<b>573,613</b>	<b>7,399</b>	<b>297</b>	<b>581,309</b>

引当金の分析同様、総額の変動分析は当該ステージの総額に対する各説明項目の影響を示している。ステージ間の振替及び「購入又は組成した資産」の項目は、期末現在の各ステージの金額を表しており、他の項目は期首時点で用いられる各ステージへの影響を表している。

[次へ](#)

## 感応度分析

## ECL算定におけるマクロ経済予測及び感応度分析

予想信用損失の算定には、マクロ経済シナリオによる将来予測的な情報を用いる。予想信用損失は3つのシナリオにおける見積り予想の確率加重平均値である。基本(中立)シナリオの予想確率加重は60(70)%としており、一方で景気の上昇シナリオの予想確率加重は20(15)%、下降シナリオの予想確率加重は20(15)%としている。これらのシナリオ及び確率加重は、2022年12月31日現在のステージ1及びステージ2に分類されたエクスポージャーの予想信用損失の算定根拠となっている。

マクロ経済上の リスク要因	下降シナリオ			基本(中立)シナリオ			上昇シナリオ		
	2023年	2024年	2025年	2023年	2024年	2025年	2023年	2024年	2025年
<b>GDP成長率</b>									
スウェーデン	-3.55	-0.25	3.15	-0.50	1.30	2.50	2.00	2.80	2.20
ノルウェー	-2.38	-0.30	2.45	0.67	1.25	1.80	3.17	2.75	1.50
フィンランド	-3.25	-0.57	2.24	-0.20	0.98	1.59	2.30	2.48	1.29
EU諸国	-3.59	-0.03	1.95	-0.54	1.52	1.30	1.96	3.02	1.00
米国	-2.87	-0.26	2.65	0.18	1.29	2.00	2.68	2.39	1.70
<b>失業率</b>									
スウェーデン	8.87	10.00	9.80	7.70	8.10	7.90	7.10	7.16	7.30
ノルウェー	3.25	4.15	4.35	2.08	2.25	2.45	1.47	1.31	1.85
フィンランド	8.17	8.80	8.40	7.00	6.90	6.50	6.40	5.96	5.90
EU諸国	8.60	9.40	9.30	7.43	7.50	7.40	6.83	6.56	6.80
米国	5.16	6.49	6.30	3.99	4.59	4.40	3.39	3.65	3.80
<b>政策金利</b>									
スウェーデン	1.54	0.75	1.00	2.75	2.25	2.25	3.25	3.00	3.00
ノルウェー	1.75	1.00	1.00	3.25	3.00	2.75	3.75	3.75	3.50
フィンランド	1.05	0.25	0.25	2.25	1.75	1.25	2.75	2.50	2.00
EU諸国	1.05	0.25	0.25	2.25	1.75	1.25	2.75	2.50	2.00
米国	3.20	1.88	1.70	4.63	3.88	3.20	5.13	4.63	3.95
<b>商業不動産価格の上昇率</b>									
スウェーデン	-15.54	-8.66	-0.74	-8.50	-6.44	0.58	-3.52	-1.73	-0.52
ノルウェー	-11.19	-6.80	-2.42	-5.96	-1.14	-1.90	-3.00	0.61	-2.74
フィンランド	-12.43	-6.53	0.70	-5.87	-1.00	1.19	-2.57	0.52	-0.04
EU諸国	-11.94	-3.67	0.85	-7.39	0.66	1.65	-4.01	2.57	0.86
<b>住宅価格の上昇率</b>									
スウェーデン	-22.37	1.77	1.89	-13.51	1.75	1.95	-8.78	2.19	3.92
ノルウェー	-3.53	-1.04	2.19	-0.95	0.38	1.83	2.05	5.26	3.71
フィンランド	-4.07	0.92	1.16	-1.02	1.92	2.12	0.75	2.90	2.80
EU諸国	2.95	2.35	2.00	2.40	2.00	2.00	2.10	1.70	2.03

[次へ](#)

### 感応度分析、マクロ経済シナリオ

下表は、2022年12月31日現在のステージ1及びステージ2に分類されたエクスポージャーに対する予想信用損失引当金の増減をパーセンテージで示したもので、この増減は下降及び上昇シナリオにそれぞれ100%の確率が適用される場合のものである。

	2022年		2021年	
	下降シナリオにおける引当金の増加(%)	上昇シナリオにおける引当金の減少(%)	下降シナリオにおける引当金の増加(%)	上昇シナリオにおける引当金の減少(%)
スウェーデン	14.21	-11.25	22.05	-13.35
ノルウェー	7.81	-6.29	12.21	-6.90
デンマーク			14.63	-8.31
フィンランド	5.64	-4.01	10.73	-6.29
オランダ	3.52	-2.56	3.48	-1.80
米国	27.06	-20.37	50.58	-32.07
その他諸国	3.64	-2.07	5.88	-2.76

### 感応度分析、信用リスクの著しい増大

下表は、2022年12月31日現在のステージ1及びステージ2に分類されたエクスポージャーに対する予想信用損失引当金の増減をパーセンテージで示したもので、この増減は下降及び上昇シナリオにそれぞれ100%の確率が適用される場合のものである。

#### ステージ1及び2に分類されたエクスポージャーに対する引当金総額の変動、%

閾値	2022年	2021年
2	2.52%	3.79%
2.5	0.00%	0.00%
3	-2.15%	-2.93%

## PDの範囲別減損テスト対象の信用エクスポージャー

PDの範囲別貸借対照表項目	2022年			2021年		
	総額 (百万スウェーデン・クローネ)			総額 (百万スウェーデン・クローネ)		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
PD値 <sup>1</sup>						
0.00～0.15未満	1,857,207	9,600	-	1,778,879	5,861	-
0.15～0.25未満	44,316	1,648	-	55,679	1,264	-
0.25～0.50未満	71,013	3,986	-	42,963	4,106	-
0.50～0.75未満	14,541	1,403	-	12,432	738	-
0.75～2.50未満	28,171	9,304	-	20,475	12,755	-
2.50～10.00未満	2,020	2,898	-	3,353	4,918	-
10.00～100未満	543	1,877	-	250	758	-
100 (デフォルト)	-	-	2,613	-	-	4,407
<b>合計</b>	<b>2,017,811</b>	<b>30,717</b>	<b>2,613</b>	<b>1,914,031</b>	<b>30,400</b>	<b>4,407</b>

PDの範囲別一般顧客への貸出金	2022年			2021年		
	総額 (百万スウェーデン・クローネ)			総額 (百万スウェーデン・クローネ)		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
PD値 <sup>1</sup>						
0.00～0.15未満	504,333	9,876	-	487,720	5,960	-
0.15～0.25未満	28,036	1,692	-	37,794	1,301	-
0.25～0.50未満	44,925	3,220	-	29,162	3,427	-
0.50～0.75未満	9,200	1,444	-	8,435	760	-
0.75～2.50未満	17,817	9,571	-	13,763	13,099	-
2.50～10.00未満	1,278	2,981	-	2,276	5,062	-
10.00～100未満	344	1,931	-	170	781	-
100 (デフォルト)	-	-	2,613	-	-	4,407
<b>合計</b>	<b>605,933</b>	<b>30,716</b>	<b>2,613</b>	<b>579,320</b>	<b>30,390</b>	<b>4,407</b>

PDの範囲別オフバランスシート 項目	2022年			2021年		
	総額 (百万スウェーデン・クローネ)			総額 (百万スウェーデン・クローネ)		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
PD値 <sup>1</sup>						
0.00～0.15未満	479,840	4,777	-	510,314	2,635	-
0.15～0.25未満	37,314	748	-	23,326	729	-
0.25～0.50未満	25,062	493	-	20,620	343	-
0.50～0.75未満	9,158	579	-	9,072	899	-
0.75～2.50未満	9,649	1,618	-	9,260	966	-
2.50～10.00未満	797	1,618	-	974	1,614	-
10.00～100未満	121	169	-	47	213	-
100 (デフォルト)	-	-	245	-	-	297

合計	561,940	10,002	245	573,613	7,399	297
----	---------	--------	-----	---------	-------	-----

1) 報告日現在の12カ月PD値を指す。

#### 担保権が実行された資産 (百万スウェーデン・クローネ)

	2022年	2021年
動産	0	0
株式	0	0
帳簿価額	0	0

#### 注記P11 リスク税及び破綻処理手数料

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
リスク税	-996	-
破綻処理手数料	-335	-366
合計	-1,331	-366

#### 注記P12 繰入

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
機械装置、器具備品及びリース資産の加速減価償却の変動	-180	195
純資産の取得に係るのれんの加速償却の変動	20	32
合計	-160	227

#### 注記P13 金融機関への貸出金

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
貸出金 (スウェーデン・クローネ建て)		
銀行	257	903
その他金融機関 <sup>1</sup>	763,263	709,033
合計	763,520	709,936

#### 貸出金 (外貨建て)

銀行	36,174	13,312
その他金融機関	225,972	263,653
合計	262,146	276,965

予想信用損失引当金	-2	-4
金融機関への貸出金合計	1,025,664	986,897

うち、未収利息収益	3,451	967
うち、リバース・レボ	4,916	20,204
うち、劣後分	53,737	39,041

## 平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
金融機関への貸出金 (スウェーデン・クローネ建て)	481,665	599,441
金融機関への貸出金 (外貨建て)	560,964	405,878
<b>合計</b>	<b>1,042,629</b>	<b>1,005,319</b>

うち、リバース・レボ 24,001 20,892

1) うち、17,550(18,179)百万スウェーデン・クローネは、スタッドフィポテックが資本性金融商品に分類したTier1資本ローンである。

## 注記P14 一般顧客への貸出金

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
<b>貸出金 (スウェーデン・クローネ建て)</b>		
個人	24,999	28,466
法人	164,623	142,487
国債局	1,566	2,173
<b>合計</b>	<b>191,188</b>	<b>173,126</b>

## 貸出金 (外貨建て)

個人	113,576	116,213
法人	334,499	324,778
<b>合計</b>	<b>448,075</b>	<b>440,991</b>

予想信用損失引当金 -1,542 -2,265

**一般顧客への貸出金合計 637,721 611,852**

うち、未収利息収益 5,218 1,778

うち、リバース・レボ 12,917 13,649

うち、劣後ローン 22,750 22,594

## 平均取引高 (国債局を除く)

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
一般顧客への貸出金 (スウェーデン・クローネ建て)	202,802	170,850
一般顧客への貸出金 (外貨建て)	468,651	415,348
<b>合計</b>	<b>671,453</b>	<b>586,198</b>

うち、リバース・レボ 21,300 19,690

## 注記P15 利付証券

2022年

2021年

百万スウェーデン・クローネ	2022年			2021年		
	帳簿価額	公正価値	額面価格	帳簿価額	公正価値	額面価格
中央銀行への担保として適格な利付証券						
<u>券</u>	132,778	132,778	133,726	100,538	100,538	103,881
うち、未収利息収益	211			160		
債券及びその他の利付証券	33,339	33,339	31,611	34,323	34,323	30,601
うち、未収利息収益	124			185		
<b>合計</b>	<b>166,117</b>	<b>166,117</b>	<b>165,337</b>	<b>134,861</b>	<b>134,861</b>	<b>134,482</b>
うち、劣後証券	-	-		-	-	

#### 発行者別利付証券

百万スウェーデン・クローネ	2022年			2021年		
	帳簿価額	公正価値	額面価格	帳簿価額	公正価値	額面価格
政府	132,778	132,778	133,726	100,538	100,538	103,881
金融機関	8,864	8,864	7,655	6,590	6,590	6,118
住宅金融専門機関	18,106	18,106	18,754	21,522	21,522	20,137
その他	6,369	6,369	5,202	6,211	6,211	4,346
<b>合計</b>	<b>166,117</b>	<b>166,117</b>	<b>165,337</b>	<b>134,861</b>	<b>134,861</b>	<b>134,482</b>

#### 減損テスト対象の利付証券

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
中央銀行への担保として適格な利付証券		
その他包括利益を通じて公正価値で測定	200	397
償却原価で測定	-	-
<b>総額合計</b>	<b>200</b>	<b>397</b>
償却原価で測定される金融商品の予想信用損失引当金	-	-
<b>帳簿価額合計</b>	<b>200</b>	<b>397</b>

資本の公正価値評価差額準備金で認識される予想信用損失引当金	-	-
<b>債券及びその他の利付証券</b>		
その他包括利益を通じて公正価値で測定	9,882	9,016
<b>帳簿価額合計</b>	<b>9,882</b>	<b>9,016</b>
資本の公正価値評価差額準備金で認識される予想信用損失引当金	-2	-2

#### 平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
利付証券	182,937	155,399

## 注記P16 株式

	2022年	2021年
百万スウェーデン・クローネ		
純損益を通じて公正価値で測定、強制	6,668	12,674
その他包括利益を通じて公正価値で測定	444	807
<b>株式合計</b>	<b>7,112</b>	<b>13,481</b>

## その他包括利益を通じて公正価値で測定された保有株式

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
Visa Inc	274	170
VIPPS A/S	57	62
BEC	-	329
その他の保有株式	113	246
<b>合計</b>	<b>444</b>	<b>807</b>

ハンデルスバンケンは、上記の保有株式について、トレーディング目的保有ではないことによりその他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類している。当年度中に、ハンデルスバンケンは報告期間末現在保有する株式から配当のみを受け取っている。これらの配当は合計で17(2)百万スウェーデン・クローネであり、その他の配当収益として損益計算書に計上されている。当年度中に当行は、多数の住宅協同組合の保有株式を総額32(1)百万スウェーデン・クローネで処分した。この処分は支店閉鎖を主な理由として行われた。デンマークの事業売却にともない、BECに対する保有株式は他の保有株式とともに売却された。

その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品に係る実現及び未実現損益に関しては、親会社の持分変動計算書を参照のこと。

## 注記P17 子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資

## 子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
子会社（非上場）	69,998	71,608
関連会社（非上場）	215	213
ジョイント・ベンチャー（非上場）	270	146
<b>合計</b>	<b>70,483</b>	<b>71,967</b>

子会社	企業識別番号	所在地	株式数	所有持分 (%)	帳簿価額 百万スウェーデン・クローネ	
					2022年	2021年
Handelsbanken Finans AB <sup>1</sup>	556053-0841	ストックホルム	1,550,000	100	8,212	10,492
Stadshypotek AB <sup>1</sup>	556459-6715	ストックホルム	162,000	100	26,870	26,870
Handelsbanken Fondbolagsförvaltning AB	556070-0683	ストックホルム	10,000	100	1	1

Xact Kapitalförvaltning AB <sup>3</sup>	556997-8140	ストックホルム		100		
<b>Handelsbanken Fonder AB</b>	556418-8851	ストックホルム	15,000	100	2	2
<b>Handelsinvest</b>						
<b>Investeringsforvaltning A/S<sup>2</sup></b>	12930879	コペンハーゲン	5,000	100		8
<b>Handelsbanken Liv Försäkrings AB</b>	516401-8284	ストックホルム	100,000	100	6,189	6,189
SHB Liv Försäkringsaktiebolag	2478149-7	ヘルシンキ		100		
Handelsbanken Fastigheter AB	556873-0021	ストックホルム		100		
<b>Ecster AB</b>	556993-2311	ストックホルム	50,000	100	1,750	1,750
<b>Handelsbanken plc<sup>1</sup></b>	11305395	ロンドン	5,050,401	100	24,543	24,087
Handelsbanken Wealth & Asset Management Limited	04132340	ロンドン	1,319,206	100		
<b>Optimix Vermogensbeheer N.V.</b>	33194359	アムステルダム	10,209	100	713	655
Add Value Fund Management BV	19196768	アムステルダム		80		
<b>その他の子会社</b>						
EFN Ekonomikanalen AB	556930-1608	ストックホルム	100	100	0	0
Ejendomselskabet af 1. maj 2009 A/S <sup>2</sup>	59173812	ヒレレズ	2,700,000	100		128
Forva AS <sup>3</sup>	945812141	オスロ	4,000,000	100		1
AB Handel och Industri	556013-5336	ストックホルム	100,000	100	12	12
Handelsbanken Forsikringsformidling A/S <sup>2</sup>	42767808	コペンハーゲン	400,000	100		1
Handelsbanken Markets Securities, Inc. <sup>1</sup>	11-3257438	ニューヨーク	1,000	100	41	30
Handelsbanken Rahoitus Oy	0112308-8	ヘルシンキ	37,026,871	100	1,562	1,276
Handelsbanken Skadeförsäkrings AB	516401-6767	ストックホルム	1,500	100	31	31
Lokalbolig A/S <sup>2</sup>	78488018	ヒレレズ	540,000	71.52		1
Rådstuplass 4 AS	910508423	ベルゲン	40,000	100	0	0
Svenska Re S.A.	RCS Lux B-32053	ルクセンブルグ	20,000	100	35	35
Handelsbanken Ventures AB	556993-9357	ストックホルム	50	100	38	39
<b>合計</b>					<b>69,998</b>	<b>71,608</b>

当行グループ会社のリストには、直接所有子会社及びこれらの会社の大規模な子会社が含まれている。

- 1) 金融機関
- 2) 2022年度第4四半期に売却された保有株式
- 3) 2022年に清算された。

関連会社	企業識別番号	所在地	株式数	所有持分 (%)	帳簿価額 百万スウェーデン・ クローネ	
					2022年	2021年
Bankomat AB	556817-9716	ストックホルム	150	20.00	67	67
BGC Holding AB	556607-0933	ストックホルム	25,542	25.54	81	81
Dyson Group plc	00163096	シェフィールド	74,733,672	27.00	22	21
Finansiell ID-teknik BID AB	556630-4928	ストックホルム	12,735	28.30	24	24
Getswish AB	556913-7382	ストックホルム	10,000	20.00	21	21
USE Intressenter AB	559161-9464	ストックホルム	2,448	24.48	0	0
<b>合計</b>					<b>215</b>	<b>214</b>

ジョイント・ベンチャー	企業識別番号	所在地	株式数	議決権(%)	帳簿価額 百万スウェーデン・ クローネ	
					2022年	2021年
P27 Nordic Payment Platform AB	559198-9610	ストックホルム	10,000	16.67	160	88
Invidem AB	559210-0779	ストックホルム	10,000	16.67	107	58
Tibern AB	559384-3542	ストックホルム	4,000	14.29	3	
<b>合計</b>					<b>270</b>	<b>146</b>

## 注記P18 デリバティブ商品

百万スウェーデン・ク ローネ	想定元本/満期			想定元本		正の市場価値		負の市場価値	
	1年以内	1年超 5年以内	5年超	2022年	2021年	2022年	2021年	2022年	2021年
<b>トレーディング目的で 保有するデリバティブ</b>									
金利関連契約									
オプション	10,756	13,891	879	25,526	24,472	410	51	358	52
FRA/先物	635,033	46,088	334	681,455	542,060	928	76	1,180	62
スワップ	726,324	1,658,719	382,290	2,767,333	2,557,004	78,155	21,064	77,612	21,468
通貨関連契約									
オプション	35,069	50	17	35,136	20,672	292	69	249	131
先物	84,486	9,455	92	94,033	82,874	1,418	916	1,112	687
スワップ	678,225	156,202	75,250	909,677	819,435	17,163	15,066	20,796	9,622
株式関連契約									
オプション	1,637	386	30	2,053	3,770	182	375	95	189
先物	184	-	-	184	580	6	9	5	11
スワップ	5,968	574	1,720	8,262	14,683	185	341	663	723
コモディティ関連契約									
オプション	-	-	25	25	355	2	41	27	55
先物	339	28	-	367	935	32	111	52	237
信用関連契約									
スワップ	499	3,409	-	3,908	4,853	68	294	90	169
<b>合計</b>	<b>2,178,520</b>	<b>1,888,802</b>	<b>460,637</b>	<b>4,527,959</b>	<b>4,071,693</b>	<b>98,841</b>	<b>38,413</b>	<b>102,239</b>	<b>33,406</b>
<b>公正価値ヘッジの デリバティブ</b>									
金利関連契約									
スワップ	87,656	253,910	82,095	423,661	383,493	16,884	2,836	15,664	1,610
通貨関連契約									
スワップ	633	-	1,003	1,636	1,462	77	156	-	-
<b>合計</b>	<b>88,289</b>	<b>253,910</b>	<b>83,098</b>	<b>425,297</b>	<b>384,955</b>	<b>16,961</b>	<b>2,992</b>	<b>15,664</b>	<b>1,610</b>
<b>キャッシュフロー・ ヘッジのデリバティブ</b>									
金利関連契約									
スワップ	52,484	57,191	12,543	122,218	155,698	4,353	1,935	689	940
通貨関連契約									
スワップ	109,989	73,110	27,719	210,818	176,142	13,317	7,641	951	2,133
<b>合計</b>	<b>162,473</b>	<b>130,301</b>	<b>40,262</b>	<b>333,036</b>	<b>331,840</b>	<b>17,670</b>	<b>9,576</b>	<b>1,640</b>	<b>3,073</b>
<b>デリバティブ商品合計</b>	<b>2,429,282</b>	<b>2,273,013</b>	<b>583,997</b>	<b>5,286,292</b>	<b>4,788,488</b>	<b>133,472</b>	<b>50,981</b>	<b>119,543</b>	<b>38,089</b>
うち、取引所上場 デリバティブ				201,816	182,858	260	130	274	804
うち、CCPで決済され るOTC デリバティブ				2,774,527	2,982,430	82,375	18,731	83,957	15,867

うち、CCPで決済され

ないOTCデリバティ

ブ

2,309,949 1,623,200 50,837 32,120 35,312 21,418

相殺された金額

-2,826,362 -2,691,986 -81,112 -20,035 -82,558 -17,056

純額

2,459,930 2,096,502 52,360 30,946 36,985 21,033

## 市場価値の通貨別内訳

スウェーデン・クロー

ネ

-224,388 -217,533 12,539 -44,025

米ドル

187,752 300,159 -244,777 -7,642

ユーロ

280,424 71,169 300,494 -62,235

その他

-110,316 -102,814 51,287 151,991

合計

133,472 50,981 119,543 38,089

この注記では、デリバティブ契約は総額で表示されている。相殺額は、当行が契約上のキャッシュ・フローを純額で決済する法的権利及び意思を有している契約（中央清算される契約を含む）の市場価値及び関連する想定元本の相殺で構成されている。これらの契約は、貸借対照表上、カウンターパーティ及び通貨別に純額で表示されている。

当行は、当初認識時に評価モデルを用いて測定された価値と、取引価格との正の差額（取引日利益/(損失)）をデリバティブの期間にわたり償却している。年度末現在、これらの未認識の取引日利益は、447(489)百万スウェーデン・クローネであった。

## 注記P19 ヘッジ会計

## キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段

百万スウェーデン・クローネ

2022年

2021年

	2022年			2021年		
	1年以内	1年超 5年以内	5年超	1年以内	1年超 5年以内	5年超

## 金利リスク

金利スワップ（固定金利支払・変動金利受取）

想定元本 15,599 27,009 11,499 18,875 37,280 13,677

平均固定金利(%) 0.81 0.44 0.76 0.63 0.58 0.76

金利スワップ（変動金利支払・固定金利受取）

想定元本 36,885 30,182 1,044 43,243 41,717 906

平均固定金利(%) 2.00 2.65 3.98 1.53 1.87 3.98

## 為替リスク

為替デリバティブ、ユーロ/ノルウェー・クローネ

想定元本 21,271 17,074 21,847 10,899 30,223 14,069

平均為替レート、ユーロ/ノルウェー・クローネ 0.1045 0.1008 0.0989 0.1187 0.1038 0.0970

為替デリバティブ、米ドル/英ポンド

想定元本 7,560 - 1,000 - 6,942 917

平均為替レート、米ドル/英ポンド 1.2930 - 1.3157 - 1.2930 1.3157

為替デリバティブ、米ドル/ノルウェー・クローネ

想定元本 14,163 26,897 - 14,409 22,140 -

平均為替レート、米ドル/ノルウェー・クローネ 0.1083 0.1114 - 0.1178 0.1137 -

為替デリバティブ、米ドル/スウェーデン・クローネ

想定元本 60,393 8,421 4,872 24,446 2,265 9,057

平均為替レート、米ドル/スウェーデン・クロー ネ	0.1000	0.1068	0.1105	0.1187	0.1105	0.1105
為替デリバティブ、豪ドル/米ドル						
想定元本	6,602	-	-	-	5,923	-
平均為替レート、豪ドル/米ドル	1.3770	-	-	-	1.3770	-
為替デリバティブ、他の通貨ペア						
想定元本	-	20,718	-	13,938	18,862	2,052
<b>合計</b>	<b>162,473</b>	<b>130,301</b>	<b>40,262</b>	<b>125,810</b>	<b>165,352</b>	<b>40,678</b>

キャッシュフロー・ヘッジにおける ヘッジ手段と非有効性、 2022年 百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の 算定に用いら れた公正価値 変動	その他包括利 益で認識され たヘッジ手段 の価値変動	損益計算書 で認識され た非有効性	ヘッジ準備金 から損益計算 書への振替額
		資産	負債				
<b>金利リスク</b>							
金利スワップ (固定金利支払・変動金利受取)	54,107	4,282	11	4,758	4,812	-54	-
金利スワップ (変動金利支払・固定金利受取)	68,111	71	678	-2,122	-2,122	0	38
<b>為替リスク<sup>1</sup></b>							
為替デリバティブ、ユーロ/ デンマーク・クローネ	-	-	-	-3	-3	0	-
為替デリバティブ、ユーロ/英ポンド	-	-	-	20	20	-	-
為替デリバティブ、ユーロ/ ノルウェー・クローネ	60,192	3,846	12	199	200	-1	-
為替デリバティブ、ユーロ/ スウェーデン・クローネ	8,194	303	-	55	55	-	-
為替デリバティブ、米ドル/ デンマーク・クローネ	-	-	-	70	70	0	-
為替デリバティブ、米ドル/英ポンド	8,560	633	-	19	19	-	-
為替デリバティブ、米ドル/ ノルウェー・クローネ	41,060	3,432	-	16	12	4	-
為替デリバティブ、米ドル/ スウェーデン・クローネ	73,686	4,728	281	360	358	2	-
為替デリバティブ、豪ドル/米ドル	6,602	-	442	-56	-56	-	2
為替デリバティブ、他の通貨ペア	12,524	375	216	90	90	0	4
<b>合計</b>	<b>333,036</b>	<b>17,670</b>	<b>1,640</b>	<b>3,406</b>	<b>3,455</b>	<b>-49</b>	<b>44</b>

キャッシュフロー・ヘッジにおける ヘッジ手段と非有効性、 2021年 百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の 算定に用いら れた公正価値 変動	その他包括利 益で認識され たヘッジ手段 の価値変動	損益計算書 で認識され た非有効性	ヘッジ準備金 から損益計算 書への振替額
		資産	負債				
<b>金利リスク</b>							
金利スワップ (固定金利支払・変動金利受取)	69,832	247	940	1,852	1,858	-6	-
金利スワップ (変動金利支払・固定金利受取)	85,866	1,688	-	-1,939	-1,939	0	59
<b>為替リスク<sup>1</sup></b>							
為替デリバティブ、ユーロ/ デンマーク・クローネ	2,051	3	-	8	8	0	-
為替デリバティブ、ユーロ/英ポンド	6,514	606	-	34	32	2	-
為替デリバティブ、ユーロ/ ノルウェー・クローネ	55,191	2,750	491	1	3	-2	-
為替デリバティブ、ユーロ/ スウェーデン・クローネ	12,797	376	408	32	32	-	-
為替デリバティブ、米ドル/ デンマーク・クローネ	6,919	330	87	60	60	0	-
為替デリバティブ、米ドル/英ポンド	7,859	-	339	8	8	-	-
為替デリバティブ、米ドル/ ノルウェー・クローネ	36,549	1,303	721	47	47	0	-

為替デリバティブ、米ドル/ スウェーデン・クローネ	35,768	1,793	-	292	292	0	-
為替デリバティブ、豪ドル/米ドル	5,923	50	-	-77	-77	-	3
為替デリバティブ、他の通貨ペア	6,571	430	87	-15	-15	0	1
<b>合計</b>	<b>331,840</b>	<b>9,576</b>	<b>3,073</b>	<b>303</b>	<b>309</b>	<b>-6</b>	<b>63</b>

- 1) ヘッジ会計目的で分析を行う場合、親会社の機能通貨であるスウェーデン・クローネへの換算にあたって、ヘッジ関係におけるデリバティブのレグの想定金額のインピュテーション(補完)が考慮される。このデリバティブのレグのインピュテーション(補完)は上記の想定元本額には含まれていない。

ヘッジ手段の帳簿価額は貸借対照表上の「デリバティブ商品」に含まれている。損益計算書で認識された非有効性は「金融取引による純損益」に含まれている。損益計算書への振替額は「金融取引による純損益」に含まれ、期限前に終了したキャッシュフロー・ヘッジである。

ヘッジ対象	2022年			2021年		
	非有効性の算定に用いられた公正価値変動	ヘッジ準備金	ヘッジ会計が適用されなくなったヘッジ関係からのヘッジ準備金残余额	非有効性の算定に用いられた公正価値変動	ヘッジ準備金	ヘッジ会計が適用されなくなったヘッジ関係からのヘッジ準備金残余额
百万スウェーデン・クローネ						
<b>金利リスク</b>						
発行済変動利付証券	-4,812	4,255	-	-1,858	-553	-
変動金利による一般顧客への貸出金	2,122	-378	446	1,939	1,777	484
<b>為替リスク</b>						
ユーロ建て発行済証券及びデンマーク・クローネ、英ポンド、ノルウェー・クローネ建て内部貸出	-272	98	-	-75	-172	-
米ドル建て発行済証券及びデンマーク・クローネ、ユーロ、英ポンド、ノルウェー・クローネ建て内部貸出	-459	455	89	-407	-10	88
豪ドル建て発行済証券	56	-10	-3	77	48	-1
他通貨建て発行済証券及び内部貸出	-90	27	6	15	-54	11
<b>合計</b>	<b>-3,455</b>	<b>4,447</b>	<b>538</b>	<b>-309</b>	<b>1,036</b>	<b>582</b>

公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段	2022年			2021年		
	1年以内	1年から5年	5年超	1年以内	1年から5年	5年超
<b>金利リスク</b>						
<b>金利スワップ</b> (固定金利支払・変動金利受取)						
想定元本	-	-	-	-	-	-
平均固定金利(%)	-	-	-	-	-	-
<b>金利スワップ</b> (変動金利支払・固定金利受取)						
想定元本	23,501	116,649	49,316	904	77,952	32,753
平均固定金利(%)	1.34	2.00	1.76	0.22	0.97	1.65
<b>クロス・カレンシー金利スワップ</b> (変動金利支払・固定金利受取)						

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト ( Svenska Handelsbanken AB ( publ ) ) (E27561)  
有価証券報告書

想定元本	633	-	1,003	-	566	896
平均固定金利 (%)	3.26	-	3.69	-	3.26	3.69
<b>合計</b>	<b>24,134</b>	<b>116,649</b>	<b>50,319</b>	<b>904</b>	<b>78,518</b>	<b>33,649</b>

公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段及び 非有効性、2022年 百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の算定 に用いられた 公正価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性
		資産	負債		
<b>金利リスク</b>					
金利スワップ (固定金利支払・変動金利受取)	-	-	-	-	-
金利スワップ (変動金利支払・固定金利受取)	189,466	75	15,652	-14,969	-9
クロス・カレンシー金利スワップ (変動金利支払・固定金利受取)	1,636	77	-	-171	-4
<b>合計</b>	<b>191,102</b>	<b>152</b>	<b>15,652</b>	<b>-15,140</b>	<b>-13</b>

### ポートフォリオ公正価値ヘッジ

#### 金利リスク

金利スワップ (固定金利支払・変動金利受取)	234,195	16,809	12	14,762	55
<b>合計</b>	<b>234,195</b>	<b>16,809</b>	<b>12</b>	<b>14,762</b>	<b>55</b>

### 公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段及び 非有効性、2021年

百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の算定 に用いられた 公正価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性
		資産	負債		
<b>金利リスク</b>					
金利スワップ (固定金利支払・変動金利受取)	-	-	-	-	-
金利スワップ (変動金利支払・固定金利受取)	111,609	836	1,453	-2,323	-16
クロス・カレンシー金利スワップ (変動金利支払・固定金利受取)	1,462	156	-	-54	4
<b>合計</b>	<b>113,071</b>	<b>992</b>	<b>1,453</b>	<b>-2,377</b>	<b>-12</b>

### ポートフォリオ公正価値ヘッジ

#### 金利リスク

金利スワップ (固定金利支払・変動金利受取)	271,884	2,000	157	2,285	40
<b>合計</b>	<b>271,884</b>	<b>2,000</b>	<b>157</b>	<b>2,285</b>	<b>40</b>

ヘッジ手段の帳簿価額は貸借対照表の「デリバティブ商品」に含まれている。

損益計算書で認識された非有効性は「金融取引による純損益」に含まれている。

公正価値ヘッジにおける ヘッジ対象、2022年 百万スウェーデン・ クローネ	ヘッジ対象の帳簿価額		ヘッジ対象の帳簿価額に 含まれる公正価値調整累計額		非有効性の算定に 用いられた 価値変動	公正価値変動が調整されなくなっ たヘッジ対象について貸借対照表 に残る公正価値ヘッジの調整累計 額
	資産	負債	資産	負債		
<b>金利リスク</b>						
一般顧客への固定金利 貸出金	-	-	-	-	-	-
発行済固定利付証券及び 劣後負債	-	175,113	-	-16,699	15,127	-
<b>合計</b>	<b>-</b>	<b>175,113</b>	<b>-</b>	<b>-16,699</b>	<b>15,127</b>	<b>-</b>

### ポートフォリオ公正価値 ヘッジ<sup>1</sup>

## 金利リスク

一般顧客への固定金利 貸出金	-16,611	-16,611	-14,707	-
<b>合計</b>	<b>-16,611</b>	<b>-16,611</b>	<b>-14,707</b>	<b>-</b>

公正価値ヘッジにおける ヘッジ対象、2021年 百万スウェーデン・ クローネ	ヘッジ対象の帳簿価額		ヘッジ対象の帳簿価額に 含まれる公正価値調整累計額		非有効性の算定に 用いられた 価値変動	公正価値変動が調整されなくなっ たヘッジ対象について貸借対照表 に残る公正価値ヘッジの調整累計 額
	資産	負債	資産	負債		
<b>金利リスク</b>						
一般顧客への固定金利 貸出金	-		-		-	-
発行済固定利付証券及び 劣後負債		112,116		-1,572	2,365	-
<b>合計</b>	<b>-</b>	<b>112,116</b>	<b>-</b>	<b>-1,572</b>	<b>2,365</b>	<b>-</b>

#### ポートフォリオ公正価値

##### ヘッジ<sup>1</sup>

#### 金利リスク

一般顧客への固定金利 貸出金	-1,904				-2,245	-
<b>合計</b>	<b>-1,904</b>				<b>-2,245</b>	<b>-</b>

1) 2022年12月31日現在の原貸出金ポートフォリオの総額は、234,195(271,269)百万スウェーデン・クローネであった。

## 注記P20 金融商品の相殺

### 2022年

百万スウェーデン・クローネ

#### 相殺、強制力のあるマスター・ネットリング契約及び 類似した契約の対象となる金融資産

	デリバティブ	買戻契約及び 証券貸付	合計
総額	133,472	23,332	156,804
相殺される金額	-81,112	-4,833	-85,945
<b>貸借対照表計上額</b>	<b>52,360</b>	<b>18,499</b>	<b>70,859</b>

#### 貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットリング契約	-11,031	-	-11,031
担保として受領した金融資産	-21,972	-18,484	-40,456
<b>貸借対照表上で相殺されない金額合計</b>	<b>-33,003</b>	<b>-18,484</b>	<b>-51,487</b>

**純額** **19,357** **15** **19,372**

#### 相殺、強制力のあるマスター・ネットリング契約及び 類似した契約の対象となる金融負債

総額	119,543	4,838	124,381
相殺される金額	-82,558	-4,833	-87,391
<b>貸借対照表計上額</b>	<b>36,985</b>	<b>5</b>	<b>36,990</b>

#### 貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットリング契約	-11,031	-	-11,031
担保として差し入れた金融資産	-5,897	-5	-5,902
<b>貸借対照表上で相殺されない金額合計</b>	<b>-16,928</b>	<b>-5</b>	<b>-16,933</b>

純額

20,057

0

20,057

2021年	デリバティブ	買戻契約及び 証券貸付	合計
百万スウェーデン・クローネ			
<b>相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び 類似した契約の対象となる金融資産</b>			
総額	50,981	41,913	92,894
相殺される金額	-20,035	-7,110	-27,145
<b>貸借対照表計上額</b>	<b>30,946</b>	<b>34,803</b>	<b>65,749</b>
<b>貸借対照表上で相殺されない関連金額</b>			
金融商品、ネットティング契約	-9,294	-	-9,294
担保として受領した金融資産	-13,322	-34,777	-48,099
<b>貸借対照表上で相殺されない金額合計</b>	<b>-22,616</b>	<b>-34,777</b>	<b>-57,393</b>
<b>純額</b>	<b>8,330</b>	<b>26</b>	<b>8,356</b>
<b>相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び 類似した契約の対象となる金融負債</b>			
総額	38,089	7,323	45,412
相殺される金額	-17,056	-7,110	-24,166
<b>貸借対照表計上額</b>	<b>21,033</b>	<b>213</b>	<b>21,246</b>
<b>貸借対照表上で相殺されない関連金額</b>			
金融商品、ネットティング契約	-9,294	-	-9,294
担保として差し入れた金融資産	-1,467	-213	-1,680
<b>貸借対照表上で相殺されない金額合計</b>	<b>-10,761</b>	<b>-213</b>	<b>-10,974</b>
<b>純額</b>	<b>10,272</b>	<b>-</b>	<b>10,272</b>

デリバティブ商品は、2つ以上のデリバティブの決済における当行の予想キャッシュ・フローを反映している場合に、貸借対照表上で相殺される。この相殺は、当行が合意したキャッシュ・フローを純額で決済する契約上の権利及び意図の両方を有している場合に行われる。デリバティブの残存カウンターパーティ・リスクは、ネットティング契約を通じて(すなわち、倒産時に同一のカウンターパーティとのすべてのデリバティブ取引における正の価値と負の価値を相殺することによって)軽減される。ハンデルスバンケンは、カウンターパーティとなるすべての銀行との間でネットティング契約を締結することを方針としている。ネットティング契約は、正味エクスポージャーに対する担保を設定することで補完されている。使用される担保は主に現金であるが、国債も使用される。買戻契約並びに有価証券借入及び貸付契約に関する担保には、通常、現金又は他の有価証券が利用される。

## 注記P21 無形資産

2022年 百万スウェーデン・クローネ	取得資産	内部開発 ソフトウェア	その他	合計 2022年
期首現在取得原価	2,390	4,975	164	7,529
無形資産の取得原価の増加		572		572
処分及び除却	-1,875	-218		-2,093
外貨換算影響額	16	32		48
<b>期末現在取得原価</b>	<b>531</b>	<b>5,361</b>	<b>164</b>	<b>6,056</b>
期首現在償却累計額及び減損額	-2,369	-1,965	-66	-4,400
処分及び除却	1,875	218		2,093
当年度の予定償却	-21	-507	-33	-561
当年度の減損		-6		-6
外貨換算影響額	-16	-23		-39
<b>期末現在償却累計額及び減損額</b>	<b>-531</b>	<b>-2,283</b>	<b>-99</b>	<b>-2,913</b>
<b>帳簿価額</b>	<b>0</b>	<b>3,078</b>	<b>66</b>	<b>3,144</b>

2022年度には、2,401(1,959)百万スウェーデン・クローネの開発費が費用として計上された。

2021年 百万スウェーデン・クローネ	取得資産	内部開発 ソフトウェア	その他	合計 2021年
期首現在取得原価	2,314	4,686	164	7,164
無形資産の取得原価の増加	-	451	-	451
処分及び除却	-	-171	-	-171
外貨換算影響額	76	9	-	85
<b>期末現在取得原価</b>	<b>2,390</b>	<b>4,975</b>	<b>164</b>	<b>7,529</b>
期首現在償却累計額及び減損額	-2,259	-1,413	-33	-3,705
処分及び除却	-	171	-	171
当年度の予定償却	-34	-479	-33	-546
当年度の減損	-	-239	-	-239
外貨換算影響額	-76	-5	-	-81
<b>期末現在償却累計額及び減損額</b>	<b>-2,369</b>	<b>-1,965</b>	<b>-66</b>	<b>-4,400</b>
<b>帳簿価額</b>	<b>21</b>	<b>3,010</b>	<b>98</b>	<b>3,129</b>

## 注記P22 不動産、器具備品及びリース資産

不動産、器具備品及びリース資産 百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
器具備品	477	454
不動産	25	27
リース資産	6,028	6,562
債権の保全のために担保権が実行された不動産	0	0
<b>合計</b>	<b>6,530</b>	<b>7,043</b>

債権の保全のために担保権が実行された不動産には、当行グループの債権の保全のために担保権が実行された資産に関する会計方針に従って定期的に公正価値で測定される動産が含まれている。注記G1を参照のこと。定期的に公正価値で測定される不動産の公正価値は、0(0)百万スウェーデン・クローネである。これらの不動産の未実現価値変動による当期利益への影響は0(0)百万スウェーデン・クローネであった。民間住宅の評価は、基本的に該当する地域における比較可能な不動産の購入取引に関する市場の観測値に基づいて行われている。商業用不動産の評価は、賃貸料、空室率、運営及び維持費、利回り要件及び金利計算等の仮定を用いた割引将来キャッシュ・フローに基づいて行われている。評価はまた、その不動産の状態、立地及び代替的な利用可能性に基づいて行われている。当行は原則として、商業用及び事務所用建物並びに工業用不動産を評価する際には、独立公認鑑定人を常に使用している。市場の観測値のみに基づく評価0(0)百万スウェーデン・クローネは、注記G1に記載されている評価ヒエラルキーのレベル2に分類されている。独自の仮定を重要といえる程度に使用している評価0(0)百万スウェーデン・クローネは、評価ヒエラルキーのレベル3に分類されている。定期的に公正価値で測定される不動産に関連するレベル3の未実現価値変動による当年度利益への影響は0(0)百万スウェーデン・クローネであった。当年度に売却した定期的に公正価値で測定される不動産の金額は0(0)百万スウェーデン・クローネであり、このうち、0(0)百万スウェーデン・クローネは売却前はレベル3に分類されていた。当年度の新規不動産の増加額は0(0)百万スウェーデン・クローネであり、このうち、0(0)百万スウェーデン・クローネはレベル3に分類された。

器具備品 百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
期首現在取得原価	1,326	1,481
当年度の取得原価の増加	306	178
処分及び除却	-320	-348
外貨換算影響額	26	15
<b>期末現在取得原価</b>	<b>1,338</b>	<b>1,326</b>
期首現在減価償却累計額及び減損額	-872	-929
当年度の予定減価償却	-260	-260
処分及び除却	288	311
外貨換算影響額	-17	6
<b>期末現在減価償却累計額及び減損額</b>	<b>-861</b>	<b>-872</b>
<b>帳簿価額</b>	<b>477</b>	<b>454</b>



**不動産**

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
期首現在取得原価	54	239
新規建設及び改築	0	1
処分及び除却	0	-186
<b>期末現在取得原価</b>	<b>54</b>	<b>54</b>
期首現在減価償却累計額及び減損額	-27	-113
当年度の予定減価償却	-2	-7
処分及び除却	-	93
<b>期末現在減価償却累計額及び減損額</b>	<b>-29</b>	<b>-27</b>
<b>帳簿価額</b>	<b>25</b>	<b>27</b>

**リース資産**

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
期首現在取得原価	11,365	11,606
当年度の取得原価の増加	2,291	2,497
処分及び除却	-3,208	-2,923
外貨換算影響額等	100	185
<b>期末現在取得原価</b>	<b>10,548</b>	<b>11,365</b>
期首現在減価償却累計額及び減損額	-4,803	-4,905
当年度の予定減価償却	-1,647	-1,759
当年度中の減損	-18	-26
処分及び除却	1,990	1,939
外貨換算影響額	-42	-52
<b>期末現在減価償却累計額及び減損額</b>	<b>-4,520</b>	<b>-4,803</b>
<b>帳簿価額</b>	<b>6,028</b>	<b>6,562</b>

**期日別の将来リース料の内訳**

百万スウェーデン・クローネ

	1年以内	1年から5年	5年超	合計
<b>2022年</b>				
将来のリース支払額の内訳	1,447	4,217	467	<b>6,131</b>
<b>2021年</b>				
将来のリース支払額の内訳	1,468	4,702	577	<b>6,747</b>

リース資産は主に車両及び機械から構成される。リース資産はリース契約期間中にわたり年金法に従い減価償却される。当年度の収益として認識されるリース料は 194(148)百万スウェーデン・クローネであり、このうちリース収益の変動部分は 179(131)百万スウェーデン・クローネである。

#### 注記P23 その他資産

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
投資銀行業務の決済に係る債権	10,557	2,736
その他	19,609	19,551
<b>合計</b>	<b>30,166</b>	<b>22,287</b>

#### 注記P24 前払費用及び未収金

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
未収収益	444	478
前払費用	715	709
<b>合計</b>	<b>1,159</b>	<b>1,187</b>

#### 注記P25 金融機関からの預り金

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
<b>預り金 (スウェーデン・クローネ建て)</b>		
銀行	9,079	4,417
その他金融機関	20,932	25,273
<b>合計</b>	<b>30,011</b>	<b>29,690</b>

#### 預り金 (外貨建て)

銀行	63,861	69,683
その他金融機関	75,745	54,117
<b>合計</b>	<b>139,606</b>	<b>123,800</b>

<b>金融機関からの預り金合計</b>	<b>169,617</b>	<b>153,490</b>
---------------------	----------------	----------------

うち、未払利息費用	593	-15
-----------	-----	-----

うち、レボ	-	-
-------	---	---

#### 平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
金融機関からの預り金 (スウェーデン・クローネ建て)	28,958	83,354
金融機関からの預り金 (外貨建て)	222,412	150,151
<b>合計</b>	<b>251,370</b>	<b>233,505</b>

うち、レボ

125

371

[次へ](#)

## 注記P26 一般顧客からの預金及び借入金

## 一般顧客からの預金

百万スウェーデン・クローネ

## 預金 (スウェーデン・クローネ建て)

	2022年	2021年
個人	430,291	445,912
法人	351,821	379,374
国債局	1	1
<b>合計</b>	<b>782,113</b>	<b>825,287</b>

## 預金 (外貨建て)

個人	67,525	87,562
法人	165,356	218,756
<b>合計</b>	<b>232,881</b>	<b>306,318</b>

## 一般顧客からの預金合計

1,014,994	1,131,605
-----------	-----------

## 一般顧客からの借入金

百万スウェーデン・クローネ

## 借入金 (スウェーデン・クローネ建て)

## 借入金 (外貨建て)

## 一般顧客からの借入金合計

	2022年	2021年
借入金 (スウェーデン・クローネ建て)	81,175	22,712
借入金 (外貨建て)	41,103	18,855
<b>一般顧客からの借入金合計</b>	<b>122,278</b>	<b>41,567</b>

## 一般顧客からの預金及び借入金合計

1,137,272	1,173,172
-----------	-----------

うち、未払利息費用

748	105
-----	-----

うち、レボ

5	213
---	-----

## 平均取引高

百万スウェーデン・クローネ

## 一般顧客からの預金

## 一般顧客からの預金 (スウェーデン・クローネ建て)

## 一般顧客からの預金 (外貨建て)

## 合計

	2022年	2021年
一般顧客からの預金 (スウェーデン・クローネ建て)	824,746	762,006
一般顧客からの預金 (外貨建て)	308,478	292,043
<b>合計</b>	<b>1,133,224</b>	<b>1,054,049</b>

## 一般顧客からの借入金

## 一般顧客からの借入金 (スウェーデン・クローネ建て)

## 一般顧客からの借入金 (外貨建て)

## 合計

70,508	54,672
206,408	150,900
<b>合計</b>	<b>276,916</b>

うち、レボ

16,971	19,209
--------	--------

## 注記P27 発行済証券

	2022年		2021年	
	帳簿価額	額面金額	帳簿価額	額面金額
百万スウェーデン・クローネ				
<b>コマーシャル・ペーパー</b>				
コマーシャル・ペーパー (スウェーデン・クローネ建て)	908	861	567	489
うち、純損益を通じて公正価値で計上	908	861	567	489
コマーシャル・ペーパー (外貨建て)	595,898	597,088	477,335	477,085
うち、償却原価で計上	595,171	596,399	476,221	475,976
うち、公正価値ヘッジに含まれるもの	6,507	6,681	905	906
うち、純損益を通じて公正価値で計上	727	690	1,114	1,109
<b>合計</b>	<b>596,806</b>	<b>597,950</b>	<b>477,902</b>	<b>477,574</b>
<b>社債</b>				
社債 (スウェーデン・クローネ建て)	2,693	2,593	3,903	3,838
うち、償却原価で計上	2,693	2,593	3,903	3,838
社債 (外貨建て)	206,513	220,158	198,003	198,966
うち、償却原価で計上	206,513	220,158	198,003	198,966
うち、公正価値ヘッジに含まれるもの	145,359	159,198	97,422	98,581
<b>合計</b>	<b>209,207</b>	<b>222,751</b>	<b>201,906</b>	<b>202,804</b>
<b>発行済証券合計</b>	<b>806,013</b>	<b>820,701</b>	<b>679,808</b>	<b>680,378</b>
うち、未払利息費用	2,369		768	

	2022年	2021年
百万スウェーデン・クローネ		
期首現在発行済証券	679,808	657,520
発行済	819,660	758,776
買戻	-1,587	-2,787
満期が到来したもの	-732,827	-765,190
外貨換算影響額等	40,959	31,489
<b>期末現在発行済証券</b>	<b>806,013</b>	<b>679,808</b>

## 平均残高

	2022年	2021年
百万スウェーデン・クローネ		
スウェーデン・クローネ	-3,640	6,150
外貨	787,944	707,114
<b>合計</b>	<b>784,304</b>	<b>713,264</b>

## 注記P28 ショートポジション

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
<b>公正価値で計上されるショートポジション</b>		
株式	362	835
利付証券	1,577	3,270
<b>合計</b>	<b>1,939</b>	<b>4,105</b>
うち、未払利息費用	8	21

## 平均残高

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
スウェーデン・クローネ	16,865	21,824
外貨	142	229
<b>合計</b>	<b>17,007</b>	<b>22,053</b>

## 注記P29 税金

## 繰延税金資産

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
ヘッジ手段	-	-
その他	617	668
<b>合計</b>	<b>617</b>	<b>668</b>

## 繰延税金負債

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
不動産及び器具備品	11	11
ヘッジ手段	915	230
その他	267	195
<b>合計</b>	<b>1,193</b>	<b>436</b>

## 繰延税金資産/負債の純額

576 -232

## 繰延税金の変動、2022年

百万スウェーデン・クローネ	期首残高	損益計算書に計上	その他包括利益に計上	期末残高
不動産及び器具備品	11	-	-	11
ヘッジ手段	230	-	685	915
その他	-473	307	-184	-350
<b>合計</b>	<b>-232</b>	<b>307</b>	<b>501</b>	<b>576</b>

## 繰延税金の変動、2021年

百万スウェーデン・クローネ	期首残高	損益計算書に計上	その他包括利益に計上	期末残高
---------------	------	----------	------------	------

不動産及び器具備品	22	-11	-	11
ヘッジ手段	192	-	38	230
その他	-610	-56	193	-473
<b>合計</b>	<b>-396</b>	<b>-67</b>	<b>231</b>	<b>-232</b>

**損益計算書に計上された税金費用**

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
当期税金		
当期税金費用	-4,594	-4,672
過年度に関する税金の調整	45	-13
繰延税金		
一時差異の変動	-307	67
<b>合計</b>	<b>-4,856</b>	<b>-4,618</b>

**税引前利益に対する税率、20.6(20.6)%**

	<b>-4,184</b>	<b>-4,389</b>
<b>差異</b>	<b>-672</b>	<b>-229</b>

## 差異の詳細項目

各種損金不算入費用	-39	-19
劣後ローン利息の損金不算入額	-282	-226
非課税のキャピタルゲイン及び受取配当	130	178
子会社株式の減損	-475	-243
その他	-6	81
<b>合計</b>	<b>-672</b>	<b>-229</b>

**注記P30 引当金**

引当金、2022年	オフバランスシート項目に対する 予想信用損失引当金 <sup>1</sup>	リストラクチャリングに係る引当金 <sup>2</sup>	その他引当金 <sup>3</sup>	合計
百万スウェーデン・クローネ				
<b>期首現在引当金</b>	<b>277</b>	<b>641</b>	<b>93</b>	<b>1,011</b>
当期の引当金繰入	-	-	434	434
取崩	-	-482	-313	-796
戻入	-	-	-9	-9
予想信用損失の変動(純額)	6	-	-	6
<b>期末現在引当金</b>	<b>283</b>	<b>158</b>	<b>204</b>	<b>646</b>

引当金、2021年	オフバランスシート項目に対する			合計
	予想信用損失引当金 <sup>1</sup>	リストラクチャリングに係る引当金 <sup>2</sup>	その他引当金 <sup>3</sup>	
百万スウェーデン・クローネ				
<b>期首現在引当金</b>	<b>280</b>	<b>1,929</b>	<b>67</b>	<b>2,276</b>
当期の引当金繰入		-	35	35
取崩		-1,288	-2	-1,290
戻入		-	-7	-7
予想信用損失の変動(純額)	-3			-3
<b>期末現在引当金</b>	<b>277</b>	<b>641</b>	<b>93</b>	<b>1,011</b>

1) 詳細は、注記P10及びP39を参照のこと。

2) リストラクチャリングに係る引当金は当行のリストラクチャリングに関連する費用である。引当額の大半は2021年度から2022年度に決済されている。残りに関しては2023年末までに決済されると見込まれている。

3) 当行に対する債権の決済に将来必要になることが予想される金額は、その他引当金として表示されている。

### 注記P31 その他負債

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
投資銀行業務の決済に係る負債	3,052	2,912
その他	3,727	4,719
<b>合計</b>	<b>6,779</b>	<b>7,631</b>

### 注記P32 未払費用及び繰延収益

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
未払費用	1,798	1,671
繰延収益	1,103	1,378
<b>合計</b>	<b>2,901</b>	<b>3,049</b>

### 注記P33 劣後負債

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
劣後ローン(スウェーデン・クローネ建て)	-	3,003
劣後ローン(外貨建て)	42,404	29,254
<b>合計</b>	<b>42,404</b>	<b>32,257</b>
うち、未払利息費用	1,078	769

### 平均残高

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
劣後ローン(スウェーデン・クローネ建て)	945	2,898
劣後ローン(外貨建て)	37,131	30,125
<b>合計</b>	<b>38,076</b>	<b>33,023</b>

劣後ローン、内訳 発行	満期	通貨	各通貨別の 当初名目金額	金利、%	残高
<b>外貨建て</b>					
2018年	期限付	ユーロ	750	1.630%	8,458
2018年	期限付	ユーロ	750	1.250%	8,438
2019年	永久	米ドル	500	6.250%	5,332
2020年	永久	米ドル	500	4.380%	4,647
2020年	永久	米ドル	500	4.750%	4,228
2022年	期限付	ユーロ	500	3.250%	5,371
2022年	期限付	英ポンド	500	4.630%	5,930
<b>合計</b>					<b>42,404</b>

劣後ローンに関する詳細は、第三の柱に関する報告書を参照のこと。

#### 劣後負債の変動

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
期首現在劣後ローン	32,257	41,082
発行済	11,445	-
買戻	-	-
満期が到来したもの	-2,994	-9,711
外貨換算影響額等	1,696	886
<b>期末現在劣後ローン</b>	<b>42,404</b>	<b>32,257</b>

#### 注記P34 非課税剰余金

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
器具備品及びリース資産の加速減価償却累計額	867	687
純資産の取得に係るのれんの加速償却累計額	-	19
<b>合計</b>	<b>867</b>	<b>706</b>

## 注記P35 持分変動の内訳

## ヘッジ準備金の変動

百万スウェーデン・クローネ

期首ヘッジ準備金

2022年

2021年

823

628

## キャッシュフロー・ヘッジ

公正価値変動の有効部分

金利リスク

2,690

-81

為替リスク

765

390

未実現評価差額

-

-

損益計算書への振替額<sup>1</sup>

-44

-63

法人税

-703

-51

期末ヘッジ準備金

3,531

823

## 公正価値評価差額準備金の変動

百万スウェーデン・クローネ

2022年

2021年

期首公正価値評価差額準備金

158

94

未実現評価差額 - 資本性金融商品

22

59

実現評価差額 - 資本性金融商品

91

0

未実現評価差額 - 負債性金融商品

-54

5

予想信用損失引当金の変動 - 負債性金融商品

0

0

損益計算書への振替額 - 資本性金融商品<sup>2</sup>

-91

0

損益計算書への振替額 - 負債性金融商品<sup>3</sup>

-

-

期末公正価値評価差額準備金

126

158

## 為替換算調整準備金の変動

百万スウェーデン・クローネ

2022年

2021年

期首為替換算調整準備金

1,075

28

為替換算差額の変動

1,396

1,109

損益計算書への振替額<sup>4</sup>

-51

-9

利益準備金への振替額<sup>5</sup>

-573

-53

期末為替換算調整準備金

1,847

1,075

- 1) 本項目に係る税金9(13)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。
- 2) 本項目に係る税金-(0)百万スウェーデン・クローネは、利益剰余金に振り替えられている。
- 3) 本項目に係る税金 -(-)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。
- 4) 本項目に係る税金11(2)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。
- 5) 本項目に係る税金38(13)百万スウェーデン・クローネは、利益剰余金に振り替えられている。

## 注記P36 金融資産及び負債の分類

2022年	純損益を通じて公正価値で計上						
	強制	公正価値 オプション	ヘッジ手段 として 特定された デリバティブ	その他包括 利益を通じ て公正価値 で測定	償却原価	帳簿価額 合計	公正価値
百万スウェーデン・ク ローネ							
<b>資産</b>							
現金及び中央銀行預け 金					376,010	376,010	376,010
中央銀行への担保とし て適格な利付証券	1,465	131,113		200		132,778	132,778
金融機関への貸出金	17,551				1,008,113	1,025,664	1,025,658
一般顧客への貸出金					637,721	637,721	632,048
ポートフォリオ・ヘッ ジにおける金利ヘッ ジ対象の価値変動					-16,611	-16,611	
債券及びその他の利付 証券	5,970	17,487		9,882		33,339	33,339
株式	6,668			444		7,112	7,112
顧客が価値変動リスク を負う資産	2,314				73	2,387	2,387
デリバティブ商品	38,809		13,551			52,360	52,360
その他資産	14				30,152	30,166	30,166
<b>合計</b>	<b>72,791</b>	<b>148,600</b>	<b>13,551</b>	<b>10,526</b>	<b>2,035,458</b>	<b>2,280,926</b>	<b>2,291,858</b>
子会社株式並びに関連 会社及びジョイン ト・ベンチャーに対 する投資						70,483	
非金融資産						11,480	
<b>資産合計</b>						<b>2,362,889</b>	
<b>負債</b>							
金融機関からの預り金					169,617	169,617	169,640
一般顧客からの預金及 び借入金					1,137,272	1,137,272	1,136,746
顧客が価値変動リスク を負う負債		2,314			73	2,387	2,387
発行済証券	1,635				804,378	806,013	805,412
デリバティブ商品	32,427		4,558			36,985	36,985
ショートポジション	1,939					1,939	1,939
その他負債	11				6,768	6,779	6,779
劣後負債					42,404	42,404	42,430
<b>合計</b>	<b>36,012</b>	<b>2,314</b>	<b>4,558</b>		<b>2,160,512</b>	<b>2,203,396</b>	<b>2,202,318</b>
非金融負債						4,740	
<b>負債合計</b>						<b>2,208,135</b>	

2021年

純損益を通じて公正価値で計上

百万スウェーデン・ク ローネ	強制	公正価値 オプション	ヘッジ手段 として 特定された デリバティブ	その他包括 利益を通じ て公正価値 で測定	償却原価	帳簿価額 合計	公正価値
<b>資産</b>							
現金及び中央銀行預け 金					338,768	338,768	338,768
中央銀行への担保とし て適格な利付証券	2,513	97,628		397		100,538	100,538
金融機関への貸出金	18,029				968,868	986,897	986,899
一般顧客への貸出金					611,852	611,852	613,972
ポートフォリオ・ヘッ ジにおける金利ヘッ ジ対象の価値変動					-1,904	-1,904	
債券及びその他の利付 証券	6,299	19,008		9,016		34,323	34,323
株式	12,674			807		13,481	13,481
顧客が価値変動リスク を負う資産	8,888				64	8,952	8,952
デリバティブ商品	22,989		7,957			30,946	30,946
その他資産	18				22,269	22,287	22,287
<b>合計</b>	<b>71,410</b>	<b>116,636</b>	<b>7,957</b>	<b>10,220</b>	<b>1,939,917</b>	<b>2,146,140</b>	<b>2,150,166</b>
子会社株式並びに関連 会社及びジョイン ト・ベンチャーに対 する投資						71,967	
非金融資産						12,027	
<b>資産合計</b>						<b>2,230,134</b>	
<b>負債</b>							
金融機関からの預り金					153,490	153,490	153,874
一般顧客からの預金及 び借入金					1,173,172	1,173,172	1,173,158
顧客が価値変動リスク を負う負債		8,888			64	8,952	8,952
発行済証券	1,681				678,127	679,808	684,331
デリバティブ商品	18,104		2,929			21,033	21,033
ショートポジション	4,105					4,105	4,105
その他負債	7				7,624	7,631	7,631
劣後負債					32,257	32,257	33,645
<b>合計</b>	<b>23,897</b>	<b>8,888</b>	<b>2,929</b>		<b>2,044,734</b>	<b>2,080,448</b>	<b>2,086,729</b>
非金融負債						4,760	
<b>負債合計</b>						<b>2,085,208</b>	

## 注記P37 金融商品の公正価値測定

## 公正価値で計上される金融商品、2022年

百万スウェーデン・クローネ

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
<b>資産</b>				
中央銀行への担保として適格な利付証券				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	1,465	-	-	1,465
純損益を通じて公正価値で測定（公正価値オプション）	131,113	-	-	131,113
その他包括利益を通じて公正価値で測定	200	-	-	200
金融機関への貸出金	-	17,551	-	17,551
債券及びその他の利付証券				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	5,971	-	-	5,971
純損益を通じて公正価値で測定（公正価値オプション）	17,487	-	-	17,487
その他包括利益を通じて公正価値で測定	9,124	758	-	9,882
株式				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	6,284	384	-	6,668
その他包括利益を通じて公正価値で測定	174	117	152	443
顧客が価値変動リスクを負う資産	1,788	-	525	2,313
デリバティブ商品	49	52,271	39	52,360
<b>合計</b>	<b>173,655</b>	<b>71,081</b>	<b>716</b>	<b>245,453</b>

**負債**

顧客が価値変動リスクを負う負債	1,788	-	525	2,313
発行済証券	-	1,635	-	1,635
デリバティブ商品	54	36,892	39	36,985
ショートポジション	1,858	81	-	1,939
<b>合計</b>	<b>3,700</b>	<b>38,608</b>	<b>564</b>	<b>42,872</b>

## 公正価値で計上される金融商品、2021年

百万スウェーデン・クローネ

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
<b>資産</b>				
中央銀行への担保として適格な利付証券				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	2,188	325	-	2,513
純損益を通じて公正価値で測定（公正価値オプション）	97,628	-	-	97,628
その他包括利益を通じて公正価値で測定	327	-	-	397
金融機関への貸出金	-	18,029	-	18,029
債券及びその他の利付証券				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	5,251	1,048	-	6,299

純損益を通じて公正価値で測定（公正価値オプション）	19,008	-	-	19,008
その他包括利益を通じて公正価値で測定	2,291	6,725	-	9,016
株式				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	11,965	709	-	12,674
その他包括利益を通じて公正価値で測定	-	200	607	807
顧客が価値変動リスクを負う資産	8,404	-	484	8,888
デリバティブ商品	22	30,881	43	30,946
<b>合計</b>	<b>147,154</b>	<b>57,917</b>	<b>1,135</b>	<b>206,205</b>

**負債**

顧客が価値変動リスクを負う負債	8,404	-	484	8,888
発行済証券	-	1,681	-	1,681
デリバティブ商品	51	20,939	43	21,033
ショートポジション	3,903	202	-	4,105
<b>合計</b>	<b>12,358</b>	<b>22,822</b>	<b>527</b>	<b>35,707</b>

適用される原則は注記G41に記載されている。

**レベル3の保有金融商品の変動**

2022年 百万スウェーデン・クローネ	株式	デリバティブ 資産	デリバティブ 負債	顧客が価値 変動リスクを 負う資産	顧客が価値 変動リスクを 負う負債
<b>期首現在帳簿価額</b>	<b>608</b>	<b>43</b>	<b>-43</b>	<b>484</b>	<b>-484</b>
取得	-	34	-39	-	-
買戻/売却	-470	-43	41	-	-
満期が到来したもの	-	-	-	-	-
未実現評価差額（損益計算書に 計上）	14	-32	39	41	-41
未実現評価差額(その他包括利 益に計上)	-	-	-	-	-
レベル1又は2からの振替	-	29	-29	-	-
レベル1又は2への振替	-	8	-8	-	-
<b>期末現在帳簿価額</b>	<b>152</b>	<b>39</b>	<b>-39</b>	<b>525</b>	<b>-525</b>

**レベル3の保有金融商品の変動**

2021年 百万スウェーデン・クローネ	株式	デリバティブ 資産	デリバティブ 負債	顧客が価値 変動リスクを 負う資産	顧客が価値 変動リスクを 負う負債
<b>期首現在帳簿価額</b>	<b>514</b>	<b>80</b>	<b>-80</b>	<b>474</b>	<b>-474</b>
取得	32	1	-2	-	-
買戻/売却	-	9	-7	-	-
満期が到来したもの	-	-	-	-	-
未実現評価差額（損益計算書に計 上）	54	-131	130	10	-10

未実現評価差額(その他包括利益 に計上)	8	-	-	-	-
レベル1又は2からの振替	-	10	-10	-	-
レベル1又は2への振替	-	74	-74	-	-
<b>期末現在帳簿価額</b>	<b>608</b>	<b>43</b>	<b>-43</b>	<b>484</b>	<b>-484</b>

## 償却原価で計上される金融商品の公正価値、

2022年

百万スウェーデン・クローネ

## 資産

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
現金及び中央銀行預け金	376,010	-	-	376,010
中央銀行への担保として適格な利付証券	-	-	-	-
金融機関への貸出金	36,180	971,524	403	1,008,107
一般顧客への貸出金	23,635	9,604	598,808	632,048
顧客が価値変動リスクを負う資産	73	-	-	73
<b>合計</b>	<b>435,898</b>	<b>981,128</b>	<b>599,211</b>	<b>2,016,238</b>

## 負債

金融機関からの預り金	22,592	147,047	-	169,640
一般顧客からの預金及び借入金	1,111,096	25,650	-	1,136,746
顧客が価値変動リスクを負う負債	73	-	-	73
発行済証券	270,942	532,835	-	803,777
劣後負債	-	42,430	-	42,430
<b>合計</b>	<b>1,404,703</b>	<b>747,962</b>	<b>-</b>	<b>2,152,666</b>

## 償却原価で計上される金融商品の公正価値、

2021年

百万スウェーデン・クローネ

## 資産

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
現金及び中央銀行預け金	338,768	-	-	338,768
中央銀行への担保として適格な利付証券	-	-	-	-
金融機関への貸出金	3,891	964,586	393	968,870
一般顧客への貸出金	13,345	6,781	593,846	613,972
顧客が価値変動リスクを負う資産	64	-	-	64
<b>合計</b>	<b>356,068</b>	<b>971,367</b>	<b>594,239</b>	<b>1,921,764</b>

## 負債

金融機関からの預り金	9,507	144,367	-	153,874
一般顧客からの預金及び借入金	1,157,669	15,489	-	1,173,158
顧客が価値変動リスクを負う負債	64	-	-	64
発行済証券	179,044	503,606	-	682,650
劣後負債	-	33,645	-	33,645
<b>合計</b>	<b>1,346,284</b>	<b>697,107</b>	<b>-</b>	<b>2,043,391</b>

## 注記P38 担保として差し入れた資産、受け入れた担保及び譲渡金融資産

## 自己の負債の担保として差し入れた資産

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
現金	9,112	5,016
国債及び債券	3,767	6,460
株式	315	448
その他	804	683
<b>合計</b>	<b>13,998</b>	<b>12,607</b>

うち、当行の裁量で取り下げ可能な担保資産 22 25

## その他担保資産

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
現金	176	201
国債及び債券	10,692	5,767
株式	3,726	7,008
その他	383	391
<b>合計</b>	<b>14,977</b>	<b>13,367</b>

うち、当行の裁量で取り下げ可能な担保資産 2,191 3,556

その他担保資産は、貸借対照表に計上されていない債務に対して差し入れた担保のことである。

## 受け入れた担保

売戻契約及び証券貸付に関して、当行グループは、第三者に売却又は再担保として差し入れ可能な資産を受け入れている。この種類の受け入れた資産の公正価値は、当年度末現在において、35,395(63,709)百万スウェーデン・クローネで、第三者に売却又は再担保として差し入れられた資産の価値は、16,970(26,632)百万スウェーデン・クローネであった。

## 貸借対照表に計上されている譲渡金融資産

	2022年		2021年	
	帳簿価額	関連する負債の 帳簿価額	帳簿価額	関連する負債の 帳簿価額
百万スウェーデン・クローネ				
株式、証券貸付	4,039	2081	7,349	284 <sup>1)</sup>
国債及び債券、買戻契約	3,350	2	4,142	67
国債及び債券、その他	43	-	1,946	-
顧客が価値変動リスクを負う資産	603	603	552	552
<b>合計</b>	<b>8,036</b>	<b>813</b>	<b>13,989</b>	<b>903</b>

1) 現金で受領した担保

## 注記P39 偶発債務

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年

<b>偶発債務</b>		
保証、貸出金	15,177	19,047
保証、その他	56,544	67,422
取消不能信用状	312	1,033
その他	-	-
<b>合計</b>	<b>72,032</b>	<b>87,502</b>
うち、減損テスト対象となるもの	72,032	87,502
<b>債務</b>		
ローン・コミットメント	301,812	310,883
当座貸越枠の未使用部分	105,414	114,829
その他 <sup>1</sup>	262,296	210,531
<b>合計</b>	<b>669,523</b>	<b>636,243</b>
うち、減損テストの対象となるもの	500,155	493,807
<b>偶発債務合計</b>	<b>741,555</b>	<b>723,745</b>
引当金として計上される予想信用損失引当金（注記P30参照）	283	277

1) 「その他」には、子会社に対する流動性の内部保証249,197(187,934)百万スウェーデン・クローネが含まれている。

## 偶発債務

偶発債務は、主に様々な種類の保証で構成されている。信用保証は、他の信用機関及び年金機関の債務を保証するために顧客に提供される。その他の保証は、主として入札保証金、前払金に関する保証、保証期間中の保証及び輸出関連の保証等の商業保証である。偶発債務には、未使用の取消不能輸入信用状及び確認輸出信用状も含まれる。これらの取引は当行のサービスに含まれるもので、当行の顧客を支援するために提供されている。この表には保証額が示されている。

## 請求

ハンデルスバンケンは、多くの民事裁判において一般法による請求を受けている。これらの裁判は、基本的に当行に有利に解決されると見込まれている。係争金額は当行の財政状態にも損益にも大きな影響を及ぼさないと評価されている。

**注記P40 年金債務**

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
制度資産の公正価値	31,667	35,174
年金債務	31,616	35,142
<b>正味年金<sup>1</sup></b>	<b>51</b>	<b>32</b>

1) 正味年金がマイナスの場合にPensionskassan SHB Tjänstepensionsföreningの剰余金を親会社の年金債務の補填に使用可能であること、及び債務の一部が条件付債務であることから、赤字分は貸借対照表に負債として計上されていない。

年金債務は、スウェーデン金融監督庁の規定に従って算定されている。スウェーデンにおける年金債務は年金債務保護法に従って算定され、国外における年金債務は現地の規則に従って算定される。制度資産は、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelse、Pensionskassan SHB Tjänstepensionsföreningのほか、海外の年金契約に関する制度資産は類似する法人が保有している。Pensionskassanの資産も保険数理上の準備金もPensionskassanとの保険契約を有する会社に割り当てることはできないため、これらの資産及び準備金は上表にも含まれていない。当行の年金基金（Pensionskassan SHB Tjänstepensionsförening）における年金債務は、6,136(7,281)百万スウェーデン・クローネであり、年金資産の市場価値は15,221(17,085)百万スウェーデン・クローネである。したがって、Pensionskassan SHB Tjänstepensionsföreningにおける剰余金は、9,085(9,804)百万スウェーデン・クローネである。

スウェンスカ・ハンデルスバンケン Pensionsstiftelseの制度資産の公正価値のうち、7,847(8,948)百万スウェーデン・クローネは、1989年から2004年にかけて特例付加年金（以下、「SKP」という。）に対して計上された引当金である。当該債務には、制度資産の公正価値と同額のSKPに関する債務が含まれている。

この債務のうち、5,872(6,694)百万スウェーデン・クローネは条件付債務である。

**年金費用**

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
年金支払額	-1,328	-1,345
年金保険料	-561	-514
社会保障費	-387	-209
年金信託からの報酬	0	568
年金信託への支払額	-94	-45
<b>年金費用合計<sup>2</sup></b>	<b>-2,370</b>	<b>-1,545</b>

2) 年金基金の連結比率を高めるため、当行が年金基金から年金費用を請求しないと決定したことにより、2022年度の親会社の年金費用が増加している。2022年度に当行が年金費用を請求しないと決定したことにより、2022年度の特別給与税に係る費用が増加した。

確定給付年金制度の翌年度の支払予定額は、1,014百万スウェーデン・クローネである。年金保険料費用には、BTPK制度（確定拠出年金制度）への保険料90(94)百万スウェーデン・クローネが含まれている。

**制度資産**

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
期首残高	35,174	33,554
運用収益	-3,601	2,143
年金基金への拠出	94	45

年金基金からの補償	0	-568
<b>期末残高</b>	<b>31,667</b>	<b>35,174</b>
制度資産の収益率	-10%	6%

**年金債務**

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
期首残高	35,142	34,899
管理手数料	1,013	963
利息	111	115
指数化 <sup>3</sup>	639	98
早期退職	269	193
年金支払額	-1,438	-1,345
仮定の変更 <sup>4</sup>	-4,008	196
条件付債務の価値変動	-27	141
制度変更による影響	-	-
元本価値のその他の変動	-85	-118
<b>期末残高</b>	<b>31,616</b>	<b>35,142</b>

3) 2022年度中に指数が0.39%から2.51%に引き上げられたことにより、払込済保険契約及び支給中の年金ともに年金のヘッジが増加している。

4) この増加は、主に割引率の上昇によるものである。

**制度資産の配分**

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
株式及びファンドユニット <sup>5</sup>	29,016	32,806
利付証券	1,515	2,066
その他制度資産 <sup>6</sup>	1,136	302
<b>合計</b>	<b>31,667</b>	<b>35,174</b>

5) ファンドユニットは主に債券ファンドに投資されており、金額は19,388(19,962)百万スウェーデン・クローネに上る。

6) 2022年12月31日現在、その他制度資産には流動性資金が含まれている。2021年12月31日現在、この金額には流動性資金と年金基金からの未払報酬に関する負債が含まれている。

スウェーデンでは、スウェーデン銀行雇用主協会（以下、「BA0」という。）とスウェーデン金融セクター組合/スウェーデン専門職連盟との年金契約に従って、65歳から退職年金が支給される。年金額は、所得基準額7.5までは年収の10%、所得基準額が7.5から20の給与部分については65%、所得基準額が20から30の給与部分については32.5%である。所得基準額が30を上回る給与部分については、退職年金は支給されない。当該年金債務の価値は、年金数理上の仮定に基づいて、毎年、貸借対照表日に計算される。2020年3月1日以降、すべての新入社員及び25歳未満の従業員は確定拠出年金制度の対象であるが、2020年3月1日より前に雇用された従業員はこの影響を受けず、引き続き確定給付年金制度の対象となっている。

スウェーデンにおいて最も重要な算定上の仮定は死亡率及び割引率である。死亡率及び割引率の仮定は、年金債務保護法の仮定に従っている。割引率は、税金及び一般管理費用に関する考慮後で0.6(0.0)%である。海外の年金債務は現地の会計処理上の規定に従って算定されている。

## 注記P41 通貨別資産及び負債

2022年 百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン・ クローネ	ユーロ	ノル ウェー・ クローネ	デンマー ク・ クローネ	英ポンド	米ドル	その他の 通貨	合計
<b>資産</b>								
現金及び中央銀行預け金	100,413	136,928	8,962	0	0	129,674	34	376,011
金融機関への貸出金	763,519	102,367	64,532	1	90,662	4,220	362	1,025,663
一般顧客への貸出金	190,462	224,337	195,710	9,901	3,956	11,150	2,205	637,721
うち、法人	165,606	137,684	170,686	9,884	3,916	10,963	833	499,572
うち、個人	24,856	86,653	25,024	17	40	187	1,372	138,149
中央銀行への担保として適格な利 付証券	117,546	5,483	36	1	-	9,712	-	132,778
債券及びその他の利付証券	22,996	1,472	8,352	-	-	519	-	33,339
その他項目（通貨別内訳なし）	157,377	-	-	-	-	-	-	157,377
<b>資産合計</b>	<b>1,352,313</b>	<b>470,587</b>	<b>277,592</b>	<b>9,902</b>	<b>94,619</b>	<b>155,275</b>	<b>2,600</b>	<b>2,362,889</b>
<b>負債</b>								
金融機関からの預り金	30,011	55,820	4,800	2,401	60,938	15,553	93	169,616
一般顧客からの預金及び借入金	863,287	135,710	91,507	1,150	3,274	39,485	2,859	1,137,272
うち、法人	381,556	104,049	58,151	1,103	2,403	36,537	2,061	585,861
うち、個人	481,731	31,660	33,355	47	871	2,948	798	551,410
発行済証券	3,601	242,352	216	-	3,650	536,118	20,076	806,013
劣後負債	-	22,266	-	-	5,930	14,208	-	42,404
その他項目（通貨別内訳なし、資 本含む）	207,584	-	-	-	-	-	-	207,584
<b>負債及び資本合計</b>	<b>1,104,484</b>	<b>456,147</b>	<b>96,523</b>	<b>3,552</b>	<b>73,793</b>	<b>605,364</b>	<b>23,027</b>	<b>2,362,889</b>
通貨別その他資産及び負債、純額		-14,448	-180,963	-6,374	-20,813	449,992	20,493	
正味外貨ポジション		-8	107	-24	13	-96	66	58

注記G2に、為替リスクに関する当行の見解が記載されている。

2021年 百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン・ クローネ	ユーロ	ノル ウェー・ クローネ	デンマー ク・ クローネ	英ポンド	米ドル	その他の 通貨	合計
<b>資産</b>								
現金及び中央銀行預け金	93,293	149,547	4,578	28,282	-	63,008	60	338,768
金融機関への貸出金	709,934	49,326	75,885	51,749	96,217	3,258	528	986,897
一般顧客への貸出金	172,273	182,170	177,558	57,164	6,790	12,961	2,936	611,852
うち、法人	144,009	106,658	152,752	43,339	6,745	12,773	1,463	467,739
うち、個人	28,264	75,512	24,806	13,825	45	188	1,473	144,113
中央銀行への担保として適格な利 付証券	91,630	5,658	335	2	-	2,913	-	100,538
債券及びその他の利付証券	24,137	965	8,741	-	-	480	-	34,323
その他項目（通貨別内訳なし）	157,756							157,756
<b>資産合計</b>	<b>1,249,023</b>	<b>387,666</b>	<b>267,097</b>	<b>137,197</b>	<b>103,007</b>	<b>82,620</b>	<b>3,524</b>	<b>2,230,134</b>
<b>負債</b>								
金融機関からの預り金	29,690	55,754	16,264	2,366	40,309	9,015	92	153,490

一般顧客からの預金及び借入金	847,998	148,403	89,683	52,164	5,163	27,588	2,173	1,173,172
うち、法人	394,558	118,457	59,863	28,857	4,046	24,261	1,471	631,513
うち、個人	453,440	29,946	29,820	23,307	1,117	3,327	702	541,659
発行済証券	4,470	293,135	205	7	24,887	339,775	17,329	679,808
劣後負債	3,003	15,547	-	-	0	13,707	-	32,257
その他項目（通貨別内訳なし、資本含む）	191,407							191,407
<b>負債及び資本合計</b>	<b>1,076,568</b>	<b>512,839</b>	<b>106,152</b>	<b>54,537</b>	<b>70,359</b>	<b>390,085</b>	<b>19,594</b>	<b>2,230,134</b>
通貨別その他資産及び負債、純額		125,131	-160,782	-82,658	-32,524	307,452	16,124	
正味外貨ポジション		-42	163	2	124	-13	54	288

## 注記P42 関連当事者に関する開示

関連当事者に対する債権及び債務	子会社		関連会社及び ジョイント・ベンチャー		その他関連当事者	
	2022年	2021年	2022年	2021年	2022年	2021年
百万スウェーデン・クローネ						
金融機関への貸出金	986,353	965,802	-	-	-	-
一般顧客への貸出金	1,136	1,132	1,289	439	-	-
デリバティブ	16,098	2,428	-	-	-	-
その他資産	16,352	16,792	28	29	16	572
<b>合計</b>	<b>1,019,939</b>	<b>986,154</b>	<b>1,317</b>	<b>468</b>	<b>16</b>	<b>572</b>
金融機関からの預り金	88,299	72,395	-	-	-	-
一般顧客からの預金及び借入金	18,637	13,594	127	113	1,528	1,058
デリバティブ	7,941	7,236	-	-	-	-
劣後負債	-	-	-	-	-	-
その他負債	116	84	-	-	-	-
<b>合計</b>	<b>114,993</b>	<b>93,309</b>	<b>127</b>	<b>113</b>	<b>1,528</b>	<b>1,058</b>
偶発債務	12,081	15,853	-	-	6,136	7,281
デリバティブ、想定元本	293,957	566,710	-	-	-	-

関連当事者 - 収益及び費用	子会社		関連会社及び ジョイント・ベンチャー		その他関連当事者	
	2022年	2021年	2022年	2021年	2022年	2021年
百万スウェーデン・クローネ						
利息収益	8,596	4,023	8	25	-	-
利息費用	-1,488	-281	-	0	-6	-
手数料及びコミッション収益	-	-	-	-	-	-
手数料及びコミッション費用	-	-	-220	-227	-	-
公正価値で評価される金融項目からの純損益	-	-	0	0	-	-
その他収益	3,059	2,848	-	-	19	17
その他費用	-421	-423	-102	-73	-	-

合計	9,746	6,167	-314	-275	13	17
----	-------	-------	------	------	----	----

注記P17には、子会社及び関連会社に関する情報が記載されている。関連会社及びジョイント・ベンチャーの事業は、金融市場関連の様々なサービスより構成される。スヴェンスカ・ハンデルスバンケン Pensionsstiftelse（年金基金）、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン Personalstiftelse（従業員基金）及び Pensionskassan SHB Tjänstepensionsförening（年金ファンド）の各社は、その他関連当事者グループを構成している。これらの会社は通常の銀行業務及び会計業務に関して、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーを利用している。当行グループ及び関連会社に対する株主の拠出に関する情報は、注記P17に開示されている。

2021年10月21日、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーは、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン PensionsstiftelseからAB IndustrivärdenのクラスA株式 30,461,977株を8,548百万スウェーデン・クローネで取得した。これらの株式は、その後、特別配当として当行の株主に分配された。関連会社との商取引はすべて市場ベースの条件で行われている。

子会社従業員に対する年金ファンドの債務は親会社によって保証されているため、年金ファンドが債務を支払えない場合には、親会社はその債務を引き受けて支払義務を負う。この年金ファンドの債務は6,136(7,281)百万スウェーデン・クローネである。スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーは、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン Pensionsstiftelseに対し、年金費用の-(568)百万スウェーデン・クローネ及び特別補足年金 -(-)百万スウェーデン・クローネを請求し、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン Personalstiftelseからは、従業員のための給付費用として47(63)百万スウェーデン・クローネが請求された。

執行役員への貸出金及び条件並びに執行役員に対するその他の報酬に関する情報については、注記G8に記載されている。

#### 注記P43 利益処分案

取締役会は、一株当たり8.00スウェーデン・クローネ、うち普通株式に対しては5.50スウェーデン・クローネ(2021年度は5.00スウェーデン・クローネ)の配当金を提案している。取締役会の利益処分案は、209ページ（訳注：原文のページ番号である。）に記載されている。

#### 注記P44 株式情報

2022年12月31日	資本の割合		議決権の割合		1株当たりの
株式のクラス	株式数	%	%	株式資本	価値
クラスA	1,944,777,165	98.22	99.82	3,014,404,606	1.55
クラスB	35,251,329	1.78	0.18	54,639,560	1.55
	1,980,028,494	100.00	100.00	3,069,044,166	

#### 注記P45 重要な後発事象

貸借対照表日後に重要な後発事象はなかった。

**注記P46 売却目的で保有する資産及び負債並びに非継続事業**

当行のフィンランドの事業における資産及び負債は、「売却目的で保有する資産及び負債」を構成し、IFRS第5号「売却目的で保有する非流動資産及び非継続事業」に準拠する処分グループである。デンマークにおける事業は2022年度第4四半期に売却された。デンマーク及びフィンランドにおける事業は、非継続事業を構成している。当該会計方針の詳細については注記P1を参照のこと。

・デンマークの非継続事業は、ハンデルスバンク・エイ・ビー・プブリクトのデンマークにおける海外支店から成る。

・フィンランドの処分グループ及び非継続事業は、ハンデルスバンク・エイ・ビー・プブリクトのフィンランドにおける海外支店から成る。

**売却目的で保有する資産及び負債、2022年**  
(百万スウェーデン・クローネ)

	フィンランド
<b>資産</b>	
現金及び中央銀行預け金	14
中央銀行へのその他貸出金	28,015
中央銀行への担保として適格な利付証券	-
その他金融機関への貸出金	5
一般顧客への貸出金	91,433
うち、個人	24,845
うち、企業	66,587
債券及びその他の利付証券	-
株式 <sup>1</sup>	-
子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資	-
顧客が価値変動リスクを負う資産	-
無形資産	92
不動産及び器具備品	18
その他	365
<b>合計</b>	<b>119,942</b>
<b>負債</b>	
金融機関からの預り金	679
一般顧客からの預金及び借入金	57,361
うち、個人	20,297
うち、法人	37,064
顧客が価値変動リスクを負う負債	-
引当金	202
その他	1,054
<b>合計</b>	<b>59,296</b>

**売却目的で保有する資産及び負債、2021年**  
(百万スウェーデン・クローネ)

	デンマーク	フィンランド	合計
<b>資産</b>			

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト ( Svenska Handelsbanken AB (publ) ) (E27561)  
有価証券報告書

現金及び中央銀行預け金	28,282	120,098	148,380
中央銀行へのその他貸出金	207	0	207
中央銀行への担保として適格な利付証券	0	0	0
その他金融機関への貸出金	36	57	93
一般顧客への貸出金	60,953	81,465	142,418
うち、個人	13,864	24,214	38,078
うち、企業	47,089	57,251	104,340
債券及びその他の利付証券	0	0	0
株式 <sup>1</sup>	454	0	454
子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資	139	-	139
顧客が価値変動リスクを負う資産	6,770	0	6,770
無形資産	21	110	131
不動産及び器具備品	22	16	38
その他	306	314	620
<b>合計</b>	<b>97,190</b>	<b>202,060</b>	<b>299,250</b>
<b>負債</b>			
金融機関からの預り金	230	344	574
一般顧客からの預金及び借入金	54,135	59,984	114,119
うち、個人	23,663	19,699	43,362
うち、法人	30,472	40,285	70,757
顧客が価値変動リスクを負う負債	6,770	0	6,770
引当金	57	78	135
その他	290	960	1,250
<b>合計</b>	<b>61,482</b>	<b>61,366</b>	<b>122,848</b>

1) これらの資産に関連する累計額-(46)百万スウェーデン・クローネは、その他包括利益及び資本の公正価値評価差額準備金に計上されている。

## 非継続事業

## 非継続事業からの収益、費用及び利益

## デンマーク及びフィンランド

百万スウェーデン・クローネ

	2022年	2021年
純利息収益	2,203	1,613
純手数料及びコミッション収益	989	1,062
金融取引による純損益	-9	222
リスク費用		0
その他収益	64	175
<b>収益合計</b>	<b>3,248</b>	<b>3,072</b>
人件費	-1,645	-1,402
その他費用	-1,612	-1,254
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-66	-274
<b>費用合計</b>	<b>-3,323</b>	<b>-2,930</b>
正味信用損失	47	60
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益		
リスク税及び破綻処理手数料	-104	-98
<b>営業利益</b>	<b>-132</b>	<b>104</b>
処分	20	32
<b>非継続事業からの税引前当期利益</b>	<b>-112</b>	<b>136</b>
法人税等	-289	-273
<b>非継続事業からの税引後当期利益</b>	<b>-401</b>	<b>-137</b>
非継続事業に起因するその他費用 <sup>1</sup>	-27	-
法人税等	6	-
<b>キャピタルゲイン/ロス前の非継続事業からの税引後当期利益</b>	<b>-422</b>	<b>-137</b>
<b>非継続事業を構成する処分グループの売却に係るキャピタルゲイン（税引前）</b>	<b>1,513</b>	
法人税等	-319	
<b>非継続事業を構成する処分グループの売却に係るキャピタルゲイン（税引後）</b>	<b>1,194</b>	
<b>非継続事業からの税引後当期利益合計</b>	<b>772</b>	<b>-137</b>
上記の損益計算書上消去されている、継続事業との間の重要な内部取引 <sup>2</sup>		
収益	-313	320
費用	-197	-227

1) スウェーデンにおいて、非継続事業の売却にともない、事業の廃止に関連する要件に基づく一定の費用が生じている。これには、コンサルタント料や弁護士費用などが含まれる。

2) 継続事業及び非継続事業双方からの当期純利益には、外部収益及び費用のみが含まれている。非継続事業は継続事業との重要な内部取引を有していることから、会計上除外されている。例えば、資金調達及び流動性管理業務は全てスウェーデンのグループ・トレジャリー部で一括管理されている。このため、デンマーク及びフィンランドにおける一般顧客への貸出金は、グループ・トレジャリー部が

らの内部貸出を通じて資金調達される。内部借入から生じる利息費用は会計上除外されており、上記の純利息収益の数値には含まれていない。

## デンマーク

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
純利息収益	1,137	1,067
純手数料及びコミッション収益	674	724
金融取引による純損益	-45	171
リスク費用	-	0
その他収益	45	34
<b>収益合計</b>	<b>1,811</b>	<b>1,996</b>
人件費	-1,017	-870
その他費用	-795	-584
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損	-30	-41
<b>費用合計</b>	<b>-1,842</b>	<b>-1,495</b>
正味信用損失	52	20
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益		
リスク税及び破綻処理手数料	-33	-36
<b>営業利益</b>	<b>-12</b>	<b>485</b>
処分	20	32
<b>非継続事業からの税引前当期利益</b>	<b>8</b>	<b>517</b>
法人税等	41	-87
<b>非継続事業からの税引後当期利益</b>	<b>49</b>	<b>430</b>
<b>非継続事業を構成する処分グループの売却に係るキャピタルゲイン (税引前)</b>	<b>1,513</b>	
法人税等	-319	
<b>非継続事業を構成する処分グループの売却に係るキャピタルゲイン (税引後)</b>	<b>1,194</b>	
<b>非継続事業からの税引後当期利益合計</b>	<b>1,243</b>	<b>430</b>

上記損益計算書上消去されている、継続事業との間の重要な内部取引<sup>1</sup>

収益	-107	-122
費用	-72	-69

## フィンランド

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
純利息収益	1,066	546
純手数料及びコミッション収益	315	338
金融取引による純損益	36	51
リスク費用	-	0
その他収益	19	141
<b>収益合計</b>	<b>1,437</b>	<b>1,076</b>
人件費	-628	-532

その他費用	-817	-670
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損	-36	-233
<b>費用合計</b>	<b>-1,481</b>	<b>-1,435</b>
正味信用損失	-5	40
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益		
リスク税及び破綻処理手数料	-71	-62
<b>営業利益</b>	<b>-120</b>	<b>-381</b>
<b>処分</b>		
<b>非継続事業からの税引前当期利益</b>	<b>-120</b>	<b>-381</b>
法人税等	-330	-186
<b>非継続事業からの税引後当期利益</b>	<b>-450</b>	<b>-567</b>

上記損益計算書上消去されている、継続事業との間の重要な内部取引<sup>1</sup>

収益	-206	442
費用	-125	-158

- 1) 本年度の継続事業及び非継続事業双方からの利益には、外部収益及び費用のみが含まれている。非継続事業は継続事業との重要な内部取引を有していることから、会計上除外されている。例えば、資金調達及び流動性管理業務は全てスウェーデンのグループ・トレジャリー部で集中管理されている。このため、デンマーク及びフィンランドにおける一般顧客への貸出金は、グループ・トレジャリー部からの内部貸出を通じて資金調達される。内部借入から生じる利息費用は会計上除外されており、上記の純利息収益の数値には含まれていない。

## 非継続事業からのキャッシュ・フロー

### デンマーク及びフィンランド

百万スウェーデン・クローネ	2022年	2021年
営業活動からのキャッシュ・フロー	-124,478	30,979
投資活動からのキャッシュ・フロー	-11	-189
財務活動からのキャッシュ・フロー	-	-
<b>非継続事業からの当期キャッシュ・フロー</b>	<b>-124,490</b>	<b>30,790</b>

デンマークにおける事業は第4四半期に売却されていることから、2022年度のキャッシュ・フロー計算書の非継続事業は、フィンランドの事業のみを対象としている。デンマークの事業売却によるキャッシュ・フローは、要約キャッシュ・フロー計算書（親会社）(215ページ参照(注：原文のページ番号である。))の投資活動からのキャッシュ・フローに含まれている。

## 注記P47 自己資本比率

## EU KM1 - 主要指標

主要指標	2022年	2021年
<b>利用可能な自己資本（金額）</b>		
1 普通株式等Tier 1 資本	130,069	129,054
2 Tier 1 資本	145,652	142,567
3 資本合計	164,704	159,803
<b>リスク加重エクスポージャー額</b>		
4 リスク加重エクスポージャー合計額	442,406	426,749
<b>自己資本比率(リスク加重エクスポージャー額に対する割合)</b>		
5 普通株式等Tier 1 資本比率(%)	29.4%	30.2%
6 Tier 1 資本比率(%)	32.9%	33.4%
7 総自己資本比率(%)	37.2%	37.4%
<b>過大レバレッジリスク以外のリスクに対処するための追加所要自己資本 (リスク加重エクスポージャー額に対する割合)</b>		
EU7a 過大レバレッジリスク以外のリスクに対処するための追加所要自己資本(%)	1.7%	1.6%
EU7b うち、CET 1 資本の割合(パーセンテージ・ポイント)	1.0%	0.9%
EU7c うち、Tier 1 資本の割合(パーセンテージ・ポイント)	1.3%	1.2%
EU7d SREPに基づく所要自己資本合計(%)	9.7%	9.6%
<b>結合バッファー要件(リスク加重エクスポージャー額に対する割合)</b>		
8 資本保全バッファー(%)	2.5%	2.5%
EU8a 加盟国単位で特定されたマクロ・ブルーデンスのリスク又はシステミック・リスクに 対する保全バッファー(%)		
9 金融機関固有のカウンターシクリカル資本バッファー(%)	1.0%	0.2%
EU9a システミック・リスク・バッファー(%)		
10 グローバルにシステム上重要な金融機関バッファー(%)		
EU10a その他の金融システム上重要な金融機関バッファー(%)		
11 結合バッファー要件(%)	3.5%	2.7%
EU11a 所要自己資本合計(%)	13.2%	12.2%
12 SREPに基づく所要自己資本合計充足後の利用可能なCET 1 (%)	23.9%	23.8%
<b>レバレッジ比率</b>		
13 総エクスポージャーの額	1,575,111	1,500,320
14 レバレッジ比率(%)	9.2%	9.5%
<b>過大レバレッジリスクに対処するための追加所要自己資本（エクスポージャー合計額 に対する割合）</b>		
EU14a 過大レバレッジリスクに対処するための追加所要自己資本(%)		
EU14b うち、CET 1 資本の割合(パーセンテージ・ポイント)		
EU14c SREPに基づくレバレッジ比率要件(%)	3.0%	3.0%
EU14d レバレッジ比率バッファー要件(%)		
EU14e レバレッジ比率要件合計(%)		
<b>流動性カバレッジ比率</b>		
15 高品質な流動資産(HQLA)合計(加重平均)	785,155	682,980
EU16a 資金流出額(加重平均)	628,587	593,559
EU16b 資金流入額(加重平均)	156,413	118,459
16 純資金流出額(調整額)	472,174	475,100

17	流動性カバレッジ比率(%)	170%	144%
	<b>安定調達比率</b>		
18	利用可能な安定調達資金	1,306,873	1,271,284
19	所要安定調達額	1,236,689	1,293,235
20	NSFR(%)	106%	98%

## EU 0V1 - リスク加重エクスポージャー合計額の概要

1. 下表は、2022年度末及び2021年度末における信用リスク、カウンターパーティ・リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクのリスク加重エクスポージャー額 (RWA) を表したものである。信用リスクは、標準的手法、基礎的IRB手法、先進的IRB手法により算出される。市場リスク及びオペレーショナル・リスクは標準的手法により算出される。

リスク加重エクスポージャー合計額の概要		リスク加重エクスポージャー合計額 (TREA) 2022年	リスク加重エクスポージャー合計額 (TREA) 2021年	最低所要自己資本 合計 2022年
百万スウェーデン・クローネ				
1	<b>信用リスク (カウンターパーティ信用リスク(CCR)を除く)</b>	<b>358,567</b>	<b>356,666</b>	<b>28,685</b>
2	うち、標準的手法	147,329	146,667	11,786
3	うち、基礎的IRB手法(F-IRB)	46,651	40,123	3,732
4	うち、スロットティング方式			
EU4a	うち、簡便なリスク加重手法に基づく株式	1,968	3,310	157
5	うち、先進的IRB手法(A-IRB)	132,266	136,021	10,581
5a	うち、リスク加重フロア	30,353	30,545	2,428
6	<b>カウンターパーティ信用リスク(CCR)</b>	<b>11,819</b>	<b>12,255</b>	<b>945</b>
7	うち、標準的手法	8,241	8,924	659
8	うち、内部モデル方式(IMM)			
EU8a	うち、CCPに対するエクスポージャー	174	212	14
EU8b	うち、信用評価調整 - CVA	2,802	2,614	224
9	うち、他のCCR	602	505	48
10	該当なし			
11	該当なし			
12	該当なし			
13	該当なし			
14	該当なし			
15	<b>決済リスク</b>		<b>15</b>	
16	<b>非トレーディング勘定の証券化エクスポージャー (上限適用後)</b>			
17	うち、SEC-IRBA手法			
18	うち、SEC-ERBA手法 (IAAを含む)			
19	うち、SEC-SA手法			
EU19a	うち、1250%/控除			
20	<b>ポジション、外国為替及びコモディティ・リスク (市場リスク)</b>	<b>34,928</b>	<b>18,696</b>	<b>2,794</b>
21	うち、標準的手法	34,928	18,696	2,794
22	うち、IMA			
23	<b>オペレーショナル・リスク</b>	<b>37,092</b>	<b>39,118</b>	<b>2,967</b>
EU23a	うち、基礎的指標手法			
EU23b	うち、標準的手法	37,092	39,118	2,967
EU23c	うち、先進的計測手法			
24	控除の基準値未満の額 (リスクウェイトは250%)			
25	該当なし			
26	該当なし			
27	該当なし			
28	該当なし			
29	<b>合計</b>	<b>442,406</b>	<b>426,749</b>	<b>35,392</b>

## 標準的手法に基づいた市場リスク

下表は、2022年度末現在の標準的手法に基づいた市場リスクに係る所要自己資本を示したものである。

標準的手法に基づいた市場リスク	所要自己資本	
	2022年	2021年
百万スウェーデン・クローネ		
<b>アウトライト商品</b>		
金利リスク（一般的ナリスク及び特定のリスク）	176	199
株価リスク（一般的ナリスク及び特定のリスク）	1	1
為替リスク	2,598	1,281
コモディティ・リスク	0	1
<b>オプション</b>		
簡便法	-	-
デルタプラス法	-	-
シナリオ・アプローチ	19	14
証券化（特定のリスク）	-	-
<b>市場リスクに係る所要自己資本合計</b>	<b>2,794</b>	<b>1,496</b>

**取締役会及び最高経営責任者の署名**

我々は、本連結財務諸表が、国際会計基準の適用に関する欧州議会及び理事会規則(EC)第1606/2002号(2002年7月19日)に示されている国際財務報告基準に従って作成されていること、当行の年次財務諸表が株式会社の健全な会計慣行に従って作成されていること、年次財務諸表及び連結財務諸表が当行グループ及び当行の財政状態及び業績の公正な表示をしていること、法定管理報告書が当行及び当行グループの事業、財政状態及び業績の公正な見解を示しており、当行及び当行グループの会社がさらされている重要なリスク及び不確実性について記載していることをここに宣言する。

ストックホルム、2023年2月20日

パール・ボーマン  
取締役会長フレデリック・ランドバーク  
副会長ジョン・フレデリック・バクサーズ  
取締役スティナ・バークフォース  
取締役ハンス・ベオーク  
取締役シャスティン・ヘシウス  
取締役ウルフ・リーズ  
取締役アルヤ・ターベニク  
取締役カリナ・オーケストレーム  
頭取兼グループ最高経営責任者[次へ](#)

RESULTATRÄKNING | KONCERNEN

# Resultaträkning Koncernen

Koncernen mkr		2022	2021
Ränteaftäkt			
varav ränteaftäkt enligt effektivräntemetoden samt räntor på derivat / säkringarredovisning	Not K3	67 407	35 892
Räntekostnader	Not K3	59 702	34 483
Räntanetto		38 610	30 321
Provisionsintäkter	Not K4	12 399	12 904
Provisionskostnader	Not K4	-1 296	-1 446
Provisionsnetto		11 103	11 408
Nettorisultat av finansiella transaktioner	Not K5	1 111	1 699
Risikosultat försäkring	Not K6	176	179
Övriga utdelningsintäkter		17	2
Andelar i intresseföretags och jointventures resultat	Not K20	-13	63
Övriga intäkter	Not K7	1 246	555
<b>Summa intäkter</b>		<b>80 249</b>	<b>44 277</b>
Personalkostnader	Not K8	-13 103	-12 452
Övriga kostnader	Not K9	-6 543	-5 577
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	Not K25, K26	-1 650	-1 814
<b>Summa kostnader</b>		<b>-21 296</b>	<b>-19 843</b>
<b>Resultat före kreditförluster, riskskatt och resolutionsavgift</b>		<b>28 953</b>	<b>24 434</b>
Kreditförluster, netto	Not K7.0	-47	-43
Vinstförluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	Not K7.1	24	14
Risikskatt och resolutionsavgift	Not K7.2	-2 311	-930
<b>Röreliseresultat</b>		<b>26 619</b>	<b>23 475</b>
Skatter	Not K35	-5 429	-4 627
<b>Årets resultat från kvarvarande verksamhet</b>		<b>21 190</b>	<b>18 848</b>
Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet, efter skatt	Not K7.4	280	695
<b>Årets resultat</b>		<b>21 470</b>	<b>19 543</b>
varav tillhör			
Aktieägare i Svenska Handelsbanken AB		21 468	19 527
varav hänförligt till kvarvarande verksamhet		21 187	18 834
varav hänförligt till avvecklad verksamhet		281	693
Innehav utan bestämmande inflytande		1	16
Resultat per aktie, total verksamhet, kr	Not K7.3	10,84	9,86
efter utspädning	Not K7.3	10,84	9,86
Resultat per aktie, kvarvarande verksamhet, kr	Not K7.3	10,7	9,51
efter utspädning	Not K7.3	10,7	9,51
Resultat per aktie, avvecklad verksamhet, kr	Not K7.3	0,14	0,35
efter utspädning	Not K7.3	0,14	0,35

Från och med första kvartalet 2022 ingår resolutionsavgiften och riskskatten inte i räntanetto, utan redovisas på en separat rad inom röreliseresultatet. De i tabellen redovisade jämförelsesiffrorna för intäkter har därför omräknats.

TOTALRESULTAT | KONCERNEN

# Totalresultat Koncernen

Koncernen mkr	2022	2021
Årets resultat	21 470	19 543
<b>Övrigt totalresultat</b>		
<b>Poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen</b>		
Förmånsbestämda pensionplaner	3 049	6 820
Egenkapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	41	62
Skatt på poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	-642	-1 401
varav förmånsbestämda pensioner	-622	-1 398
varav egenkapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-19	-3
Summa poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	2 448	5 481
<b>Poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen</b>		
Kassafödersättningar	-2 640	-1 970
Skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-60	6
Årets omräkningsdifferens	2 312	3 201
varav säkring av nettainvestering i utländsk verksamhet	-297	-970
Skatt på poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	-15	595
varav kassafödersättningar	544	406
varav skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	6	-7
varav säkring av nettainvestering i utländsk verksamhet	67	190
varav omräkningsdifferens	-626	
Summa poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	-402	1 832
<b>Summa övrigt totalresultat</b>	<b>2 046</b>	<b>7 313</b>
<b>Årets totalresultat</b>	<b>23 516</b>	<b>26 856</b>
varav tillhör		
Aktionärer i Svenska Handelsbanken AB	23 515	26 840
Innehav utan bestämmande inflytande	1	16

Årets omklassificeringar till resultaträkningen framgår av Förändring i eget kapital.

BALANSRÄKNING | KONCERNEN

## Balansräkning Koncernen

Koncernen mkr		2022	2021
<b>TILLGÅNGAR</b>			
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		475 868	291 584
Övrig utlåning till centralbanker	Not K7.5	4 604	1 255
Belåningsbara statskuldförbindelser m.m.	Not K7.8	132 778	100 538
Utlåning till övriga kreditinstitut	Not K7.6	9 411	21 745
Utlåning till allmänheten	Not K7.7	2 315 818	2 163 135
Värdeförändring på räntesäkrad post i portföljsäkring		- 16 616	- 1 900
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Not K7.9	32 697	33 317
Aktier och andelar	Not K7.9	12 813	19 471
Andelar i intresseföretag och joint ventures	Not K20	561	478
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	Not K21	212 966	235 761
Derivatinstrument	Not K22	36 261	28 508
Immateriella tillgångar	Not K25	8 402	8 302
Fastigheter och inventarier	Not K26	4 914	5 272
Aktuella skattefordringar		160	469
Uppskjutna skattefordringar	Not K35	1 589	845
Pensionsstillgångar	Not K8	12 875	8 766
Tillgångar som innehas för försäljning	Not K7.4	191 916	421 417
Övriga tillgångar	Not K27	14 720	5 785
Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	Not K28	1 979	2 016
<b>Summa tillgångar</b>	<b>Not K41</b>	<b>3 483 716</b>	<b>3 348 784</b>
<b>SKULDER OCH EGET KAPITAL</b>			
Skulder till kreditinstitut	Not K29	81 693	83 034
In- och upplåning från allmänheten	Not K30	1 325 061	1 286 637
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	Not K31	212 966	235 761
Emitterade värdepapper	Not K32	1 474 801	1 353 768
Derivatinstrument	Not K22	29 040	13 784
Korta positioner	Not K33	1 939	4 105
Försäkringskulder	Not K34	405	532
Aktuella skatteskulder		217	108
Uppskjutna skatteskulder	Not K35	5 614	5 276
Avsättningar	Not K36	501	1 026
Övriga skulder	Not K37	10 451	11 304
Skulder som innehas för försäljning	Not K7.4	68 938	133 922
Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	Not K38	3 565	3 519
Etablerade skulder	Not K39	42 404	32 257
<b>Summa skulder</b>	<b>Not K41</b>	<b>3 257 886</b>	<b>3 186 083</b>
Innehav utan bestämmande inflytande		3	25
Aktiekapital		3 069	3 069
Överkursfond		8 758	8 758
Reserver	Not K40	17 891	15 845
Balanserad vinst		144 841	134 507
Årets resultat, tillhörande aktieägare i Svenska Handelsbanken AB		21 468	19 527
<b>Summa eget kapital</b>		<b>166 030</b>	<b>181 731</b>
<b>Summa skulder och eget kapital</b>		<b>3 483 716</b>	<b>3 348 784</b>

FÖRÄNDRING I EGET KAPITAL | KONCERNEN

## Förändring i eget kapital Koncernen

Koncernen 2022									
mk	Aktie- kapital	Överkurs- fond	Förämnings- bestämda pensions- planer	Säkrings- reserv	Verkligt värde- reserv	Omräknings- reserv	Balanserade vinetmedel inkl årets resultat	Innehav utan bestämda inflytande	Totalt
Ingående eget kapital 2022	3 069	8 788	11 313	1 789	188	2 685	184 034	25	181 731
Årets resultat							21 468	1	21 470
Övrigt totalresultat			2 427	-2 096	-32	1 747		0	2 046
varav omklassificering inom eget kapital					-27	-675			-706
Årets totalresultat			2 427	-2 098	-32	1 747	21 468	1	23 516
Omräkningsresultat till balanserat resultat							706		706
Utdelning							-9 900		-9 900
Aktierelaterad ersättning till anställda i Handelsbanken plc <sup>1</sup>							25		25
Åtarköp egna aktier <sup>2</sup>							-25		-25
Förändring i innehav utan bestämda inflytande								-23	-23
Utgående eget kapital 2022	3 069	8 788	13 739	-307	128	4 332	186 300	3	196 090

Koncernen 2021									
mk	Aktie- kapital	Överkurs- fond	Förämnings- bestämda pensions- planer	Säkrings- reserv	Verkligt värde- reserv	Omräknings- reserv	Balanserade vinetmedel inkl årets resultat	Innehav utan bestämda inflytande	Totalt
Ingående eget kapital 2021	3 069	8 788	8 891	3 363	94	-808	181 106	0	171 473
Årets resultat							19 527	16	19 543
Övrigt totalresultat			5 422	-1 564	64	3 391		0	7 313
varav omklassificering inom eget kapital					0	-67			-67
Årets totalresultat			5 422	-1 564	64	3 391	19 527	16	26 806
Omräkningsresultat till balanserat resultat							67		67
Utdelning <sup>3</sup>							-16 666		-16 666
Aktierelaterad ersättning till anställda i Handelsbanken plc <sup>1</sup>							37		37
Åtarköp egna aktier <sup>2</sup>							-36		-36
Förändring i innehav utan bestämda inflytande								-	-
Utgående eget kapital 2021	3 069	8 788	11 313	1 789	188	2 685	184 034	25	181 731

<sup>1</sup> Från och med inflytandelåret 2020 omfattas samtliga anställda i Handelsbanken plc av ett program för aktierelaterad ersättning (Share Incentive Plan ("SIP")).

<sup>2</sup> Ordinarie utdelning uppgick till 8 118 mk medan extrautdelningen uppgick till 8 548 mk. Extrautdelningen erhöi aktielägarna i form av aktier i AB Industrivärden som Svenska Handelsbanken AB förvärvat från Svenska Handelsbankens Pensionsförsäkring, se not K50.

KASSAFLÖDESANALYS | KONCERNEN

## Kassaflödesanalys Koncernen

Koncernen mkr	2022	2021
<b>LÖPANDE VERKSAMHET</b>		
Rörelseresultat	26 619	23 475
Resultat hänförligt till avvecklad verksamhet, före skatt	1 453	1 204
varav inbetalda räntor	67 586	38 528
varav utbetalda räntor	-28 173	-7 257
varav inbetalda utdelningar	46	67
Justering från rörelseresultat till investeringsverksamhet	-393	-
varav till Ayytting av verksamhet och dotterbolag	-751	-
varav till Förstärkning av aktier och andelar	478	-
Justering för ej kassaflödespåverkande poster i rörelseresultat och resultat hänförligt till avvecklad verksamhet		
Kreditförluster	284	80
Realiserade värdeförändringar	-2 200	363
Av- och nedskrivningar	4 305	2 118
Betalda inkomstskatter	-6 419	-5 086
Förändring i den löpande verksamhetens tillgångar och skulder		
Övrig utlåning till centraltjänster	-31 157	19 863
Utlåning till övriga kreditinstitut	11 377	82
Utlåning till allmänheten	-137 712	-142 370
Räntebärande värdepapper och aktier	-27 502	9 621
Skulder till kreditinstitut	-863	-41 114
In- och upplåning från allmänheten	33 708	170 994
Emitterade värdepapper	121 034	43 031
Derivatinstrument, nettopositioner	7 453	-16 732
Korta positioner	-2 010	2 476
Fondlikvidförändringar och fondlikvidskulder	-7 975	-567
Övrigt	-28 360	-18 057
<b>Kassaflöde från löpande verksamhet</b>	<b>-38 298</b>	<b>40 381</b>
<b>INVESTERINGSVERKSAMHET</b>		
Ayytting av verksamhet och dotterbolag	40 238	-
Förväv av och tillskott till intressaföretag och joint ventures	-194	-83
Förstärkning av aktier och andelar	183	1
Förväv av materiella anläggningstillgångar	-786	-1 194
Ayytting av immateriella anläggningstillgångar	482	1 063
Förväv av immateriella anläggningstillgångar	-711	-539
<b>Kassaflöde från investeringsverksamhet</b>	<b>48 212</b>	<b>-762</b>
<b>FINANSIERINGSVERKSAMHET</b>		
Amortering efterställda skulder	-3 000	-10 130
Emission efterställda skulder	11 845	-
Utbetalad utdelning	-9 900	-16 666
<b>Kassaflöde från finansieringsverksamhet</b>	<b>-1 055</b>	<b>-26 796</b>
varav valutkursförändringar	-	-320
Årets kassaflöde	8 860	21 833
Likvida medel vid årets början	430 964	307 642
Kassaflöde från löpande verksamhet	-38 298	40 381
Kassaflöde från investeringsverksamhet	48 212	-762
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	-1 055	-26 796
Kuradffären i likvida medel	27 059	20 489
<b>Likvida medel vid årets slut</b>	<b>476 882</b>	<b>430 964</b>
Kassaflödesanalysen har upprättats i enlighet med den indirekta metoden, vilket innebär att rörelseresultat och resultat hänförligt till avvecklad verksamhet har justerats för transaktioner som inte medfört in- eller utbetalningar, t.ex. avskrivningar och kreditförluster. Kassaflödesanalysen i tabellen ovan inkluderar avvecklad verksamhet i Danmark och Finland, se not K14.		
<b>Ayytting av verksamhet och dotterbolag</b> mkr	<b>2022</b>	
<b>Köpskilling</b>		
Total köpskilling	51 782	
Avgår likvida medel som ingår i överlåtelsen	-743	
Fordran köpare	-1 802	
Erhållen likvid	40 238	
<b>Tillgångar och skulder som ayyttrats</b>		
Utlåning till övriga kreditinstitut	1 036	
Utlåning till allmänheten	90 598	
Tillgångar där kunden står värdeförändringsskan	5 480	
Andra tillgångar	608	
Summa tillgångar	106 722	
Skulder till kreditinstitut	374	
In- och upplåning från allmänheten	52 043	
Skulder där kunden står värdeförändringsskan	5 480	
Andra skulder	338	
Summa skulder	58 235	
Kassaflöde från löpande verksamhet	751	
Köpskillingen erhålls i sin helhet i likvida medel.		

# Noter Koncernen

## K1 Redovisningsprinciper och andra utgångspunkter vid upprättande av de finansiella rapporterna

### INNEHÅLL

1. Lag- och föreskriftsenlighet
2. Förändrade redovisningsprinciper
3. Förändringar i IFRS som ännu inte tillämpats
4. Koncernredovisning
5. Intresseföretag och joint ventures
6. Tillgångar som innehåller försäkring samt redovisning av avvecklad verksamhet
7. Tillgångar och skulder i utländsk valuta
8. Finansiella instrument
9. Principer för värdering av finansiella tillgångar och skulder till verkligt värde
10. Kreditförluster
11. Säkringsredovisning
12. Benchmarkreformerna
13. Leasing
14. Försäkringsverksamhet
15. Immateriella tillgångar
16. Fastigheter och inventarier
17. Avsättningar
18. Eget kapital
19. Intäkter
20. Ersättningar till anställda
21. Skatter
22. Uppskattningar och väsentliga bedömningar

### 1. LAG- OCH FÖRESKRIFTSENLIGHET

#### Grunder för redovisningen

Koncernredovisningen är upprättad i enlighet med de internationella redovisningsstandarderna (IFRS) och tolkningarna av dessa standarder som antagits av EU. Därutöver tillämpas de tillägg som följer av lagen 1995:1559 om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag (ÅRKL) och av Finansinspektionens föreskrifter och allmänna råd FFFS 2008:25 om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag. I koncernredovisningen tillämpas även RFR 1 Kompletterande redovisningsregler för koncerner och uttalanden från Rådet för finansiell rapportering. Redovisningen presenteras i svenska kronor och alla värden är avrundade till miljoner kronor (mkr) om inget annat anges.

Moderbolagets redovisningsprinciper framgår av not M1.

#### Avgivande, fastställelse av årsredovisningen samt företagsinformation

Svenska Handelsbanken Aktiebolag års- och koncernredovisning avseende perioden 2022-01-01–2022-12-31 godkändes för uttalande av styrelsen och verkställande direktören den 20 februari 2023 och blir föremål för fastställelse på årsstämman den 22 mars 2023.

Moderbolaget Svenska Handelsbanken AB (publ) har sitt säte i Stockholm med adress Kungsträdgårdsgatan 2, 105 70 Stockholm, Sverige. Handelsbanken är ett kreditinstitut som erbjuder finansiella tjänster och produkter på hemmamarknaderna Sverige, Storbritannien,

Norge och Nederländerna. Verksamheten beskrivs ytterligare i Förvaltningsberättelsen.

### 2. FÖRÄNDRADE REDOVISNINGSPRINCIPER

#### Förändringar i IFRS

De förändringar i redovisningsregelverken som började gälla den 1 januari 2022 har inte haft någon påverkan på koncernens redovisning.

#### Övriga ändrade redovisningsprinciper

Banken betalar från och med 2022 riskskatt till den svenska staten enligt lag (2021:1256) om riskskatt för kreditinstitut. Kostnaden för riskskatt presenteras tillsammans med resolutionsavgiften på en separat rad i resultaträkningen, vilken benämns Riskskatt och resolutionsavgift. I samband härmed överförs således resolutionsavgiften, som tidigare redovisats i resultatposten Räntekostnader inom Räntenettet, till resultatposten Riskskatt och resolutionsavgift. Syftet är att presentera ställiga avgifter med likartad karaktär på en separat rad i resultaträkningen. Jämförelseeffekten har justerats. För upplysningar om ändrad presentation av resolutionsavgiften se not K3.

De redovisningsprinciper och beräkningsmetoder som tillämpats av koncernen under räkenskapsåret överensstämmer i övrigt med de principer som tillämpades i Års- och hållbarhetsredovisningen för 2021.

### 3. FÖRÄNDRINGAR I IFRS SOM ÄNNU INTE TILLÄMPATS

#### IFRS 17 Försäkringsavtal

IFRS 17 Försäkringsavtal som ersätter IFRS 4 Försäkringsavtal har publicerats av IASB och antagits av EU. Standarden kommer tillämpas från och med räkenskapsåret 2023 i Handelsbankens koncernredovisning. IFRS 17 medför en förändring av hur försäkringsavtal ska klassificeras, värderas, och redovisas. Den medför även förändrade upplysningar.

De förändringar som IFRS 17 främst kommer att medföra för Handelsbanken är följande:

- Traditionella livförsäkringsavtal kommer att klassificeras som försäkringsavtal i sin helhet eftersom de bedöms innehålla betydande försäkringsrisk. I dagsläget separeras sparförsäkringsmomentet i dessa avtal i enlighet med separationsreglerna i IFRS 4 och redovisas enligt IFRS 9. Effekten av denna ändrade redovisningsprincip medför att balansposten Försäkringskulder ökar.
- Den generella modellen kommer att tillämpas vid värdering av sparförsäkringsmoment i traditionella livförsäkringsavtal. Premiefördelningsmetoden kommer att tillämpas vid värdering av riskförsäkringar, riskförsäkringsmoment och återförsäkringsavtal.

- Resultat från försäkringsavtal kommer att i resultaträkningen redovisas på en gemensam rad "Försäkringsresultat". Delposterna i försäkringsresultatet kommer att specificeras i not. Enligt nuvarande principer redovisas resultat från försäkringsavtal huvudsakligen uppdelat på raderna Riskresultat försäkring, Provisionsnetto och Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Vid övergången till IFRS 17 kan tre olika alternativa metoder tillämpas. Banken kommer att tillämpa den fullständigt retroaktiva metoden på riskförsäkringsavtal och riskförsäkringsmoment innebärande att jämförelsebelägen för 2022 kommer att omräknas. För sparförsäkringsmoment i traditionell livförsäkring kommer banken att tillämpa verkligt värde metoden, eftersom tillräckligt tillförlig historisk data saknas då kontrakten tecknats långt tillbaka i tiden.

Den kvantitativa effekten av övergången till IFRS 17 uppgår till cirka -3 mkr efter skatt, vilken vid övergången till IFRS 17 kommer att minska koncernens balanserade vinstmedel vid ingången av jämförelseåret 2022. Handelsbankens bedömning är att den nya standarden inte kommer att få någon inverkan på Handelsbankens kapitaltäckning eller stora exponeringar eftersom bankens försäkringsverksamhet inte ingår i konsoliderad situation.

I avsnitt 14 Försäkringsverksamhet beskrivs bankens redovisningsprinciper enligt IFRS 17, vilka kommer tillämpas från och med räkenskapsåret 2023.

### 4. KONCERNREDOVISNING (IFRS 10 Koncernredovisning, IFRS 3 Rörelseförvärv) Dotterföretag

I koncernredovisningen har samtliga företag där Handelsbanken direkt eller indirekt har ett bestämmande inflytande (dotterföretag) konsoliderats fullständigt. Banken anses ha ett bestämmande inflytande över ett företag när den exponeras för eller har rätt till rörlig avkastning från sitt innehav i företaget och har möjlighet att påverka avkastningen genom sitt inflytande i företaget. Bestämmande inflytande uppnås i regel om Handelsbanken har mer än 50 procent av rösterna på årsstämma eller motsvarande.

Dotterföretag konsolideras med tillämpning av förvärvsmetoden. Det innebär att förvärv av ett dotterföretag betraktas som en transaktion där koncernen förvärfvar företagets identifierbara tillgångar och tar över dess skulder och förpliktelser. Dotterföretagets finansiella rapporter tas in i koncernredovisningen från och med förvärvstidpunkten, vilket är den tidpunkt då moderbolaget får ett bestämmande inflytande över dotterbolaget, och ingår i koncernredovisningen till det

## K1 Forts

datum bestämmande inflytande upphör. Koncerninterna transaktioner och mellanhandvänder elimineras vid upprättandet av koncernens finansiella rapporter. I den mån de redovisningsprinciper som tillämpas i ett enskilt dotterföretag inte överensstämmer med de principer som tillämpas av koncernen görs en justering av koncernräkenskaper vid konsolidering av dotterföretaget.

Vid rörelseförvärv upprättas en förvärvsbalans där identifierbara tillgångar och skulder värderas till verkligt värde. Eventuella överskott till följd av rörelseförvärdet utgörs av det verkliga värdet avseende samtliga tillgångar som lämnats som vederlag, emitterade egetkapitalinstrument och uppkomna skulder. Eventuella överskott till följd av att anskaffningsvärdet överstiger förvärvsbalansens identifierbara nettotillgångar redovisas som goodwill i koncernens balansräkning. Förvärvsrelaterade utgifter kostnadsförs när de uppstår.

## Strukturerade företag

Ett strukturerat företag är ett företag som bildats för att uppnå ett begränsat och värdelimiterat syfte, där röstretten inte är den avgörande faktorn för att avgöra om bestämmande inflytande föreligger. Handelsbankens innehav i strukturerade företag är begränsade till innehav i fonder. Fonder för vilka banken är kapitalförvaltare och där banken äger mer än 50 procent av andelarna konsolideras. Ågande mellan 20 och 50 procent konsolideras i vissa fall om omständigheterna gör gällande att banken har ett bestämmande inflytande, exempelvis genom att fonden har ett brett förvaltningsmandat och genererar en hög andel variabel avkastning. Bankens innehav i fonder redovisas till verkligt värde på raden Aktier och andelar i balansräkningen. Reserverade andel av fondens verkliga värde konsolideras och ingår i posterna Tillgångar respektive Skulder där kunden står värdetförändringsrisken i balansräkningen.

## 5. INTRESSEFÖRETAG OCH JOINT VENTURES

## (IAS 28 Innehav i Intresseföretag och Joint ventures)

Som Intresseföretag redovisas företag där Handelsbanken har ett betydande inflytande. Betydande inflytande är rätten att delta i beslut som rör företagets finansiella och operativa strategier, men ger inte ett bestämmande inflytande över dessa. Betydande inflytande uppnås i regel när röstandelen i företaget är lägst 20 procent och högst 50 procent eller när banken genom avtalsvillkor kan utöva ett betydande inflytande. I ett joint venture har banken tillsammans med en eller flera parter ett gemensamt bestämmande inflytande. Intresseföretag och joint ventures redovisas i koncernredovisningen enligt kapitalandelsmetoden. Det innebär att innehavet inledningsvis tas upp till anskaffningsvärdet. Det redovisade värdet ökas eller minskas därefter för att beakta koncernens andel av Intresseföretagets och joint ventures resultat efter förvärvstidpunkten. Eventuella utdelningar från Intresseföretag och joint ventures minskar det redovisade värdet på innehavet. Resultatandelar i Intresseföretag

och joint ventures redovisas som Andelar i Intresseföretags och joint ventures resultat på egen rad i koncernens resultaträkning.

## 6. TILLGÅNGAR SOM INNEHAS FÖR FÖRSÄLJNING SAMT REDOVISNING AV AVECKLAD VERKSAMHET

(IFRS 5 Anläggningstillgångar som Innehas för försäljning och avvecklade verksamheter) Anläggningstillgångar eller en grupp av tillgångar, ibland tillsammans med därtill hänförliga skulder, (avyttringsgrupp) klassificeras som att de innehas för försäljning när det redovisade värdet i huvudsak kommer att återvinnas genom försäljning och när försäljning är mycket sannolik. Om klassificeringen sker som tillgång som innehas för försäljning tillämpas särskilda värderingsprinciper. Dessa innebär i huvudsak att, med undantag för bland annat finansiella tillgångar och skulder (se punkt 8), tillgångar som innehas för försäljning och avyttringsgrupper värderas till det lägsta av det redovisade värdet och verkligt värde med avdrag för försäljningskostnader. Därmed görs inte några avskrivningar på materiella eller immateriella tillgångar som innehas för försäljning. Eventuella nedskrivningar och efterföljande omvärderingar redovisas direkt i resultaträkningen. En vinst redovisas dock inte till den del som den överstiger tidigare redovisade ackumulerade nedskrivningar. Tillgångar och skulder som innehas för försäljning värderas i koncernens balansräkning fram till försäljningstidpunkten.

Som avvecklad verksamhet redovisas självständig verksamhet av väsentlig karaktär som är klart avskiljbar från koncernens övriga verksamhet och som antingen har avyttrats eller klassificerats som att den innehas för försäljning med tillämpning av de principer som beskrivits ovan. Redovisning som avvecklad verksamhet innebär att verksamhetens resultat såredovisas på egen rad i resultaträkningen skilt från övriga resultatposter. Resultatet från avvecklad verksamhet består av resultatet efter skatt av avvecklade verksamheter, det resultat efter skatt som uppstår vid värdering till verkligt värde med avdrag för försäljningskostnader av de tillgångar som innehas för försäljning/avyttringsgrupper som ingår i avvecklade verksamheter, samt realiserat resultat från avyttring av avvecklade verksamheter. För upplysningar om tillgångar respektive skulder som innehas för försäljning samt avvecklad verksamhet se not K14.

## 7. TILLGÅNGAR OCH SKULDER I UTLÄNSK VALUTA

(IAS 21 Effekterna av Ändrade valutakurser) Koncernredovisningen presenteras i svenska kronor, koncernens rapporteringsvaluta. Den funktionella valutan för koncernens verksamheter utomlands avviker som regel från koncernens rapporteringsvaluta. Som funktionell valuta betraktas den valuta som används i den ekonomiska miljö där verksamheten primärt bedrivs.

## Omräkning av transaktioner i annan valuta än den funktionella valutan

Transaktioner i annan valuta än den funktionella valutan, utländsk valuta, omräknas initialt till den funktionella valutan till transaktionsdagens kurs. Monetära poster i utländsk valuta och icke-monetära poster i utländsk valuta som värderas till verkligt värde omvärderas per balansdagen till då gällande stängningskurs. Vinster och förluster till följd av valutaomräkningen redovisas i resultaträkningen som valutakurseffekter i Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Omräkningsdifferenser hänförliga till icke-monetära poster som klassificeras till verkligt värde via övrigt totalresultat redovisas som en komponent i övrigt totalresultat och ackumuleras i eget kapital. På samma sätt redovisas valutakursdifferenser som uppstår vid omräkning av monetära poster som utgör en del av en nettoinvestering i en utlandsverksamhet.

## Omräkning av utländska verksamheter till koncernens rapporteringsvaluta

Vid omräkning av utländska etableringars (där bland filialers) balans- och resultaträkningar från funktionell valuta till koncernens rapporteringsvaluta, tillämpas dagkursmetoden. Det innebär att tillgångar och skulder omräknas till balansdagens kurs. Eget kapital omräknas till kursen vid investerings- respektive intjänandetidpunkten. Resultaträkningen räknas om efter genomsnittskursen under året. Omräkningsdifferenser redovisas som en komponent i övrigt totalresultat och ingår i omräkningsreserven i eget kapital.

## 8. FINANSIELLA INSTRUMENT

## (IFRS 9 Finansiella Instrument, IAS 32 Finansiella Instrument: klassificering)

## Redovisning och bortbokning

Köp och försäljning av aktier samt penning- och kapitalmarknadsinstrument på avistamarknaden redovisas på affärsdagen. Motsvarande gäller för derivat. Övriga finansiella tillgångar och skulder redovisas normalt på likviddagen.

Finansiella tillgångar tas bort från balansräkningen när de avtalsenliga rättigheterna till de kassatoden som härrör från tillgången upphör eller när samtliga risker och fördelar förknippade med tillgången överförs till någon annan. En finansiell skuld tas bort från balansräkningen när förpliktelsen fullgjorts, upphör eller annulleras.

## Värderingskategorier

Finansiella tillgångar delas in i någon av följande värderingskategorier:

1. upplupet anskaffningsvärde
2. verkligt värde via övrigt totalresultat
3. verkligt värde via resultaträkningen
  - a) obligatorisk
  - b) verkligt värdeoptionen.

Utgångspunkten för att klassificera finansiella tillgångar i respektive värderingskategori är företagets affärsmodell för förvaltning av tillgångarna och tillgångens avtalsenliga villkor.

## NOTER | KONCERNEN

## K1. Forts

Finansiella skulder delas in i någon av följande värderingskategorier:

1. upplupet anskaffningsvärde
2. verkligt värde via resultaträkningen
  - a) obligatoriskt
  - b) verkligt värdeoptionen.

Finansiella skulder ska som huvudregel redovisas till upplupet anskaffningsvärde. Undantaget är finansiella skulder som obligatoriskt ska värderas till verkligt värde via resultaträkningen, exempelvis derivat, samt skulder som vid första redovisningstillfället oåterkalleligt identifierats att värderas till verkligt värde (verkligt värdeoptionen).

Finansiella tillgångar respektive skulder som redovisas på samma rad i balansräkningen kan klassificeras i olika värderingskategorier, se not K4.1.

Vid första redovisningstillfället redovisas alla finansiella tillgångar och skulder till verkligt värde. För finansiella instrument som värderas till verkligt värde via resultaträkningen förs transaktionskostnader direkt till resultaträkningen vid anskaffningstillfället. För övriga finansiella instrument räknas transaktionskostnader in i anskaffningsvärdet.

#### Bedömning av affärsmodell för finansiella tillgångar

Bedömning av affärsmodellen för förvaltningen av finansiella tillgångar är avgörande för uppdelningen i värderingskategorier. För att fastställa affärsmodell har Handelsbanken delat in de finansiella tillgångarna i portföljer utifrån hur de styrs, rapporteras och utvärderas av bankens ledning. När affärsmodell bestäms för respektive portfölj beaktas faktorer såsom angivna riktlinjer och mål med en portfölj och hur dessa genomförs i verksamheten, de risker som påverkar portföljens resultat och hur dessa risker hanteras samt frekvens, volym, orsak och tidpunkt för försäljningar.

#### Bedömning av finansiella tillgångars avtalsenliga villkor

Bedömningen av om avtalsenliga kassaflöden enbart är betalningar av kapitalbelopp och ränta har betydelse för uppdelningen i värderingskategorier. Vid denna bedömning definieras kapitalbeloppet som den finansiella tillgångens verkliga värde vid första redovisningstillfället. Ränta definieras som ersättning för pengars tidvärde, kreditrisk, andra grundläggande utlåningsrisker (till exempel likviditetsrisk) och kostnader (till exempel administrativa kostnader) samt vinstmarginal. Om den finansiella tillgången har avtalsvillkor som kan ändra tidpunkten eller beloppet i de avtalsenliga kassaflödena, modifierar ersättningen för pengars tidvärde, medför hävstångseffekt eller extra kostnader vid försöksbetalning och försäljning bedöms kassaflödena inte enbart bestå av kapitalbelopp och ränta.

#### Upplupet anskaffningsvärde

En finansiell tillgång ska värderas till upplupet anskaffningsvärde om båda följande villkor är uppfyllta:

- Syftet med affärsmodellen är att erhålla avtalsenliga kassaflöden.
- De avtalsenliga kassaflödena är enbart betalningar av kapitalbelopp och ränta.

Finansiella tillgångar i värderingskategorin består av utlåning och innehav i räntebärande värdepapper. Dessa tillgångar är föremål för nedskrivningsprövning. Finansiella skulder i värderingskategorin består i huvudsak av skulder till kreditinstitut, in- och upplåning från allmänheten samt emitterade värdepapper.

Upplupet anskaffningsvärde utgörs av det diskonterade nuvärdet av alla framtida betalningar hänförliga till instrumentet där diskonteringsräntan utgörs av instrumentets effektivränta vid anskaffningstillfället. Räntor och kreditförluster redovisas i posterna Räntenetto respektive Kreditförluster. Ränteskillnadsersättning för fördelad löst utlåning, realisationsresultat som genereras vid återköp av egna emitterade värdepapper samt valutakurseffekter redovisas i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

#### Verkligt värde via övrigt totalresultat

En finansiell tillgång ska värderas till verkligt värde via övrigt totalresultat om båda följande villkor är uppfyllta:

- Syftet med affärsmodellen är både att erhålla avtalsenliga kassaflöden och att sälja tillgången.
- De avtalsenliga kassaflödena är enbart betalningar av kapitalbelopp och ränta.

I värderingskategorin redovisas räntebärande värdepapper i bankens likviditetsportfölj som uppfyller ovanstående villkor. Dessa tillgångar är föremål för nedskrivningsprövning. Ränteläntåkr redovisas i räntenetto. Valutakurseffekter och kreditförluster redovisas i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Realiserade värdeförändringar redovisas i övrigt totalresultat och omklassificeras till resultaträkningen vid försäljning i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Vid första redovisningstillfället är det tillåtet att oåterkalleligt klassificera eget kapitalinstrument som inte innehålls i handelsärende till verkligt värde via övrigt totalresultat. Denna värderingsprincip tillämpas för vissa aktieinnehav i företag som utför stödjande verksamhet för banken, exempelvis andelar i clearingorganisationer och infrastruktursamarbeten på bankens hemmarknader. Efterföljande värdeförändringar, såväl realiserade som realiserade inklusive valutakursresultat, redovisas i övrigt totalresultat. Realiserade värdeförändringar omklassificeras inom eget kapital till balanserade vinstmedel, det vill säga inte till resultaträkningen. Endast utdelningsintäkter från dessa innehav redovisas i resultaträkningen.

#### Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt

Om en finansiell tillgång inte uppfyller villkoren för värdering till upplupet anskaffningsvärde eller till

verkligt värde via övrigt totalresultat, ska den värderas till verkligt värde via resultaträkningen. Finansiella tillgångar och skulder som innehålls för handel klassificeras alltid till verkligt värde via resultaträkningen, liksom finansiella tillgångar som förvaltas och utvärderas baserat på verkliga värden.

Denna värderingskategorin består i huvudsak av noterade aktier, fondandelar, räntebärande värdepapper samt derivat. Räntor, utdelningar, valutakurseffekter samt realiserade och realiserade värdeförändringar redovisas i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. För redovisning av derivat i säkringsredovisning, se punkt 11.

#### Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen

Vid första redovisningstillfället finns en möjlighet att oåterkalleligt identifiera en finansiell tillgång såsom värderad till verkligt värde via resultaträkningen, om detta eliminerar eller i betydande utsträckning minskar konsekvenser i värdering eller redovisning som annars skulle uppkomma vid värdering av tillgången.

Motvarande möjlighet finns att vid första redovisningstillfället oåterkalleligt identifiera en finansiell skuld såsom värderad till verkligt värde via resultaträkningen, om något av följande villkor är uppfyllta:

- Det eliminerar eller i betydande utsträckning minskar konsekvenser i värdering eller redovisning som annars skulle uppkomma vid värdering av skulden.
- En grupp av finansiella skulder, eller en grupp av både finansiella tillgångar och finansiella skulder, förvaltas och utvärderas baserat på verkligt värde i enlighet med en dokumenterad riskhanterings- eller investeringsstrategi. Interim information om dessa instrument tillhandahålls bankens ledning baserat på verkliga värden.

Denna värderingsprincip tillämpas för att undvika konsekvenser vid värderingen av tillgångar och skulder som utgör motpositioner till varandra och förvaltas på portföljbasis, till exempel skulder till följd av fondförsäkringsavtal och vissa innehav i likviditetsportföljen som säkras med ekonomiska säkringar. Realiserade och realiserade värdeförändringar redovisas i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Ränta redovisas i räntenetto.

#### Omklassificeringar av finansiella instrument

Finansiella tillgångar omklassificeras i regel inte efter det första redovisningstillfället. Omklassificering är tillåten om banken i sällsynta fall skulle byta affärsmodell för förvaltningen av en portfölj av finansiella tillgångar. Omklassificering av finansiella skulder är inte tillåtet efter det första redovisningstillfället.

#### Finansiella garantier och lånelöften

Utställda finansiella garantier innebär ett åtagande att ersätta innehavaren av ett skuldinstrument (lån och räntebärande värdepapper) för förluster denne ådrar sig på grund av att en angiven gäldenär inte fullgör betalning vid förfall enligt

## K1 Forts

avtalsvilkoren, exempelvis en kreditgaranti. Det verkliga värdet på en utställd garanti motsvaras vid utförandet av den mottagna premien. Vid första redovisningstillfället redovisas den mottagna premien för garantin som en skuld i balansposten Upplypna kostnader och förutbetalda intäkter. Därefter värderas garantin till det högre av den periodiserade premien och reserven för den förväntade förlusten. Premier för utställda finansiella garantier periodiseras i provisionsnettot över garantins löptid. Därutöver redovisas det totala garanterade beloppet hänförligt till utställda garantier som en ansvarsförbindelse utanför balansräkningen, se not K44.

Låneköten redovisas som ett åtagande utanför balansräkningen fram till lånets likviddag, se not K44. Erhållna avgifter för låneköten periodiseras i provisionsnettot över åtagandets löptid, såvida det inte är mycket sannolikt att löftet kommer att inträffa då avgiften ingår i lånets effektivränta. Finansiella garantier och oåterkalleliga låneköten är föremål för redovisningsprövning.

## Sammansatta finansiella instrument

Ett sammansatt finansiellt instrument består av en derivatkomponent, ett så kallat inbäddat derivat, och ett värdepapperskontrakt som inte är ett derivat. Om värdepapperskontraktet i ett sammansatt finansiellt instrument är en finansiell skuld ska ett inbäddat derivat skiljas från värdepapperskontraktet och redovisas som ett derivat om samtliga nedanstående villkor är uppfyllda:

- Det inbäddade derivatets ekonomiska egenskaper och risker är inte nära förknippade med värdepapperskontraktets ekonomiska egenskaper och risker.
- Ett separat instrument med samma villkor som det inbäddade derivatet skulle uppfylla definitionen på ett derivat.
- Det sammansatta finansiella instrumentet värderas inte till verkligt värde via resultaträkningen. Följaktligen skiljs inte derivat inbäddade i finansiella skulder värderade till verkligt värde via resultaträkningen.

Exempelvis särredovisas det inbäddade derivatet i emitterade aktieindexobligationer och andra strukturerade produkter.

Inbäddade derivat i finansiella tillgångar särredovisas ej. Finansiella tillgångar med inbäddade derivat beaktas i sin helhet vid bedömningen av om avtalsenliga kassaflöden endast är betalningar av kapitalbekopp och ränta.

Värdet av konverteringsrätten i emitterade konvertibla skuldebrev särredovisas som eget kapital. Värdet av konverteringsrätten fastställs vid emissionsstillfället som skillnaden mellan det verkliga värdet på det konvertibla skuldebrevet som helhet minskat med det verkliga värdet på skuldkomponenten. Konverteringsrättens redovisade värde justeras inte under skuldebrevets löptid. Skuldkomponenten värderas och redovisas till verkligt värde i balansräkningen vid emissionsstillfället. Under löptiden redovisas skuldkomponenten till upplupet anskaffningsvärde baserat på ursprunglig effektivränta.

## Återköpstransaktioner

Med återköpsavtal, eller repotransaktioner, avses avtal där parterna samtidigt har kommit överens om försäljning och återköp av ett visst värdepapper till ett i förväg bestämt pris. Värdepapper som säljs i en repotransaktion (återköpsavtal) kvarstår i balansräkningen under transaktionens löptid eftersom koncernen under transaktionens löptid är exponerad emot värdepapprets värdeförändringsrisk. Det sålda värdepappret redovisas därutöver utanför balansräkningen som ställd säkerhet. Erhållen likvid redovisas beroende på motpart som skuld till kreditinstitut eller in- och upplåning från allmänheten. Värdepapper som köps i en repotransaktion (omvända återköpsavtal) redovisas på motsvarande sätt, det vill säga värdepappret redovisas inte i balansräkningen under transaktionens löptid. Den erlagda likviden redovisas beroende på motpart som övrig utlåning till centralbanker, utlåning till övriga kreditinstitut eller utlåning till allmänheten. Mottagna pantar som sålts vidare under återköpsavtal redovisas som åtagande utanför balansräkningen.

## Värdepapperslån

Värdepapper som lånats ut kvarstår i balansräkningen då koncernen fortsatt är exponerad mot värdepapprets värdeförändringsrisk och redovisas därutöver utanför balansräkningen som ställd säkerhet. Inlånade värdepapper tas inte upp i balansräkningen, såvida de inte säljs (så kallad blankning). Om de säljs redovisas ett värde motsvarande det avyttrade värdepapprets verkliga värde som skuld. Inlånade värdepapper som vidareutlånat redovisas som åtagande utanför balansräkningen.

## Derivatinstrument

Samtliga derivat redovisas i balansräkningen och värderas till verkligt värde. Derivat med positiva verkliga värden redovisas på tillgångssidan i posten Derivatinstrument. Derivat med negativa verkliga värden redovisas på skuldsidan i posten Derivatinstrument. Realiserade och realiserade vinster och förluster på derivat redovisas i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. För redovisning av derivat i säkerhetsredovisning, se punkt 11.

## Kvittning av finansiella tillgångar och skulder

Finansiella tillgångar och skulder kvittas och redovisas netto i balansräkningen om banken har avtalsmässig rätt till kvittning, i den löpande verksamheten och i händelse av konkurs, och om avsikten är att reglera posterna med ett nettobelopp eller att samtidigt realisera tillgången och reglera skulden. Ytterligare upplysningar om kvittning av finansiella tillgångar och skulder lämnas i not K24.

## 9. PRINCIPER FÖR VÄRDERING AV FINANSIELLA TILLGÅNGAR OCH SKULDER TILL VERKLIGT VÄRDE

## (IFRS 13 Värdering till verkligt värde)

Verkligt värde definieras som priset till vilken en tillgång skulle kunna säljas eller en skuld överföras i en normal transaktion mellan oberoende marknadsaktörer.

För finansiella instrument som handlas på en aktiv marknad likställs verkligt värde med det aktuella marknadspriset. Som aktiv betraktas en sådan marknad där noterade priser med lätthet och regelbundenhet finns tillgängliga på en reglerad marknad, handelsplats, tillförlig nyhetsjästjänst eller motsvarande, och där prisuppgifterna lätt kan verifieras genom regelbundet förekommande transaktioner. Det aktuella marknadspriset motsvaras av den kurs mellan köp- och säljkursen som under omständigheterna ger mest korrekt bild av det verkliga värdet. För grupper av finansiella instrument som förvaltas på basis av bankens nettoexponering för marknadsrisk likställs det aktuella marknadspriset med det pris som skulle erhållas eller betalas vid en avyttring av nettopositionen.

När tillförliga uppgifter om marknadspris saknas för finansiella instrument, bestäms verkligt värde med hjälp av värderingsmodeller. De värderingsmodeller som används bygger på indata som i allt väsentligt kan verifieras med marknadsobservationer, exempelvis marknadsräntor och aktiekurser. Vid behov görs en justering för andra variabler som en marknadsaktör förväntas ta i beaktande vid prissättningen. De antaganden som används vid värdering baseras på marknadspraxis och kontrolleras löpande av riskkontrollfunktionen samt mot motparters värdering.

## Räntebärande värdepapper

Räntebärande värdepapper utgivna av stater och svenska bostadsobligationer värderas med hjälp av aktuella marknadspriser. Förtagsobligationer värderas med värderingsmetoder som baseras på marknadsräntor för motsvarande löptid med justering för kredit- och likviditetsrisk. Värderingen kontrolleras regelbundet för att säkerställa att den avspeglar gällande marknadspris. Kontrollera utförs främst genom inhämtning av prisenoteringar från fler oberoende prisställdare och genom avstämning mot nyligen genomförda transaktioner i samma eller likvärdiga instrument.

## Aktier och andelar

Aktier noterade på en aktiv marknad värderas till marknadspris. Vid värdering av onoterade aktier och andelar styrs valet av värderingsmodell av vad som bedöms lämpligt för det enskilda instrumentet. Innehav av onoterade aktier består i huvudsak av aktier i företag som utför stödjande verksamhet åt banken. Onoterade aktier är i allt väsentligt klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat. Sådana innehav värderas i regel till bankens andel av substansvärdet i bolaget. För onoterade aktier för vilka bolagsavtalet reglerar

## NOTER | KONCERNEN

## K1. Forts

det pris till vilket aktierna kan avyttras, värderas innehaven till det i förväg bestämda avyttringspriset.

## Derivat

Derivat som handlas på en aktiv marknad värderas till marknadspris. Merparten av koncernens derivatkontrakt, däribland ränteswappar och olika typer av linjära valutaderivat, värderas med värderingsmodeller som bygger på marknadsräntor och andra marknadspriser. Värderingen av icke-linjära derivatkontrakt som inte handlas aktivt bygger även på en rimlig skattning av marknadsbaserade indata, exempelvis volatilitet.

Vid modellvärdering av derivat förekommer i vissa fall differenser mellan transaktionspriset och det värde som räknats fram med hjälp av en värderingsmodell vid det första redovisningstillfället. Sådana skillnader orsakas av att den tillämpade värderingsmodellen inte fullt ut fångar upp alla komponenter som påverkar derivatets värde. Realiserade resultat på grund av positiva skillnader mellan transaktionspris och det värde som räknas fram med hjälp av en värderingsmodell (så kallade dag 1-resultat) utgörs av bankens vinstmarginal och ersättning för att täcka exempelvis kapital- och administrativa kostnader. Realiserade positiva dag 1-resultat förs inte till resultatet vid det första redovisningstillfället, utan periodiseras över derivatets löptid.

## Tillgångar och skulder där kunden står värdetförändringsrisken

Tillgångar där kunden står värdetförändringsrisken består i huvudsak av fondandelar i fondförsäkringsavtal. Sådana fondandelar värderas till fondens aktuella marknadsvärde (NAV). Tillgångarna motsvaras av skulder för vilka kunden står värdetförändringsrisken. Värderingen av dessa skulder speglar värderingen av tillgångarna. Med hänsyn till att försäkringstagarna och fondandelägarna har förmånerätt i tillgångsmassan, saknas skäl för att justera värderingen för kreditrisk. Tillgångar och skulder där kunden står värdetförändringsrisken har i allt väsentligt kategoriserats som värderade till verkligt värde via resultaträkningen.

10. KREDITFÖRLUSTER  
(IFRS 9 Finansiella Instrument)  
Förväntade kreditförluster

Reglerna om nedskrivning i IFRS 9 omfattar finansiella tillgångar värderade till upplupet anskaffningsvärde, finansiella tillgångar värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat samt finansiella garantier och otäckarelliga lånelöften, och baseras på en modell för redovisning av förväntade kreditförluster. Enligt denna ska reserven spegla ett sannolikhetsvägt belopp som bestäms genom att utvärdera en rad sannolika utfall med hänsyn tagen till all rimlig och verifierbar information som är tillgänglig på rapporteringsdagen utan orimlig kostnad eller ansträngning. I bedömningen beaktas historiska, nuvarande och framåtblickande faktorer. De tillgångar vars ned-

skrivningsbehov ska prövas delas in i följande tre steg, beroende på graden av kreditförsämring:

- Steg 1 omfattar finansiella tillgångar utan betydande ökning av kreditrisk sedan första redovisningstillfället.
- Steg 2 omfattar finansiella tillgångar med betydande ökning av kreditrisk sedan första redovisningstillfället men där det vid rapporteringstillfället saknas objektiva belägg för att fordran är kreditförsämrad.
- Steg 3 omfattar finansiella tillgångar för vilka objektiva omständigheter har identifierats för att fordran är kreditförsämrad.

För Steg 1 ska reserveringar som motsvarar förväntade förluster orsakade av fallissemang som förväntas inträffa inom tolv månader redovisas. I Steg 2 och Steg 3 ska reserveringar som motsvarar den förväntade förlust som förväntas inträffa vid fallissemang någon gång under tillgångens hela återstående löptid redovisas.

För avtal i Steg 1 och Steg 2 finns en koncerngemensam central process med modellbaserad beräkning. Processen inleds med att det för samtliga avtal bedöms om det skett en betydande ökning av kreditrisken sedan första redovisningstillfället (avtalets ingående). För utförligare beskrivning av betydande ökning av kreditrisk, se not K2 avsnitt Kreditrisk. Reserverna i de olika nedskrivningsstegen beräknas på individuell basis. För avtal i Steg 3 sker manuell beräkning med undantag för en mindre portfölj av homogena fordringar som har modellberäknad reservering i Steg 3. Vid varje rapporteringstillfälle avgörs på avtalsnivå om ett avtal ska bli föremål för en modellbaserad beräkning eller en manuell beräkning.

Beräkningarna av förväntade kreditförluster påverkas i första hand av riskparameterna sannolikhet för fallissemang (PD), exponering vid fallissemang (EAD) och förlustandel vid fallissemang (LGD). Förväntade kreditförluster bestäms genom att beräkna PD, EAD och LGD fram till avtalets förväntade slutförfallodag. Dessa tre riskparametrar multipliceras och justeras med överlevnads-sannolikheten alternativt sannolikheten för att kreditexponeringen inte har fallerat eller blivit återbetald i för tid. De beräknade förväntade kreditförlusterna diskonteras sedan tillbaka till rapporteringsdagen med den ursprungliga effektivräntan och summeras. Summan av kreditförluster för Steg 1 beräknas med sannolikheten för fallissemang under de kommande tolv månaderna. För Steg 2 och Steg 3 beräknas kreditförluster med sannolikheten för fallissemang under tillgångens återstående löptid.

## Modellbaserad beräkning

Beräkningen av de förväntade kreditförlusterna tar hänsyn till minst tre makroekonomiska scenarier (ett neutralt, ett positivt och ett negativt scenario) med relevanta makroekonomiska riskfaktorer såsom arbetslöshet, styr-/centralbanksräntor, BNP, inflation och fastighetspriser, uppdelade per land. De olika scenarierna används för

att justera riskparameterna. Varje makroekonomiskt scenario tilldelas en sannolikhet, och de förväntade kreditförlusterna erhålls som ett sannolikhetsvägt genomsnitt av de förväntade kreditförlusterna för varje scenario.

För utförligare information om modellerna för att beräkna förväntade kreditförluster för avtal i Steg 1 och Steg 2 och för förklaring av begrepp såsom PD, EAD och LGD, förväntad löptid, betydande ökning av kreditrisk och makroekonomisk information, se not K2 avsnitt Kreditrisk. För känslighetsanalys för förväntade kreditförluster, se not K10.

## Manuell beräkning

Tillgångar i Steg 3 prövas för nedskrivning på individuell basis och beräkningen är manuell. Denna prövning genomförs löpande och vid varje rapporteringstillfälle av affärsansvarigt bankkontor (kund- och kreditansvarig enhet) och beslutas av regional eller central kreditavdelning.

Nedskrivningsprövning utförs då det finns objektiva omständigheter som tyder på att motparten inte kommer att kunna fullfölja sina kontraktensliga åtaganden i enlighet med definitionen på fallissemang. Sådana objektiva omständigheter kan exempelvis vara försenad eller utbliven betalning, ändrad intern rating eller om kredittagaren försätts i konkurs.

I nedskrivningsprövningen uppskattas de framtida kassaflödena och säkerhetens värde (inklusive garantier). Hänsyn tas normalt till minst två möjliga framåtblickande scenarier för förväntade kassaflöden baserade på både motpartens återbetalningsförmåga och säkerhetens värde. Utfallet av dessa scenarier sannolikhetsvikts och diskonteras med fordrans ursprungliga effektivränta. De scenarier som används kan innehålla såväl makroekonomiska som avtalspecifika faktorer, utifrån vad som bedöms ha påverkan på den enskilda motpartens återbetalningsförmåga och säkerhetens värdeutveckling. Vid bedömningen tas hänsyn till den enskilda motpartens specifika egenskaper. Nedskrivning görs om det beräknade återvinningsvärdet understiger bokfört värde.

## Expertbaserad beräkning

Expertbaserad beräkning görs för kreditförluster för att införliva uppskattad effekt från faktorer som inte bedömts ha ringats av modellen (Steg 1 och Steg 2) eller som inte har tagits hänsyn till manuellt (Steg 3). De modellbaserade beräkningarna är konstruerade med ambitionen att göra en så precisa skattning som möjligt av de enskilda bidragen till reserveringsbehovet. Det är dock mycket svårt att med generella modeller fånga alla de särdrag som karakteriserar ett enskilt avtal. Därför görs en manuell analys av de avtal som ger de största bidragen till reserveringsbehovet. Den manuella analysen syftar till att, baserat på expertkunskap om de enskilda krediterna, bedöma om den modellbaserade eller manuella beräkningen ska ersättas med en expertbedömd beräkning. En expertbedömd beräkning kan medföra både högre och lägre

## K1 Forts

reserveringsbehov än den ursprungliga beräkningen.

Expertbaserad beräkning kan även utföras på en mer aggregerad nivå för att justera de modellbaserade beräkningarna för en delportfölj eller motsvarande. Dessa justeringar fördelas proportionellt över de ingående avtalen. En expertbedömd beräkning kan medföra både högre och lägre reserveringsbehov än den ursprungliga beräkningen.

## Redovisning och presentation av kreditförluster

- Finansiella tillgångar värderade till upplupet anskaffningsvärde redovisas i balansräkningen till sitt nettobelopp, efter avdrag för förväntade kreditförluster.
- Poster utanför balansräkningen (finansiella garantier och odierkalliga lånelöften) redovisas till sitt nominella belopp. Reserveringar för förväntade kreditförluster avseende dessa instrument redovisas som en avsättning i balansräkningen.
- Finansiella tillgångar värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat är redovisade till verkligt värde i balansräkningen. Reserveringar för förväntade kreditförluster avseende dessa instrument redovisas i verkligt värdereserven i eget kapital och minskar således inte redovisat värde på instrumentet.
- För finansiella tillgångar värderade till upplupet anskaffningsvärde och för poster utanför balansräkningen redovisas periodens kreditförluster (förväntade och konstaterade) i resultaträkningen på raden Kreditförluster. Raden Kreditförluster utgörs av periodens reserveringar för förväntade kreditförluster med avdrag för återvinningar av tidigare utförda reserveringar, periodens bortskrivningar och periodens återvinningar.
- För finansiella tillgångar värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat redovisas periodens kreditförluster (förväntade och konstaterade) i resultaträkningen på raden Nettoresultat av finansiella transaktioner.
- Bortskrivningar utgörs av konstaterade kreditförluster med avdrag för återvinningar av tidigare gjorda reserveringar för förväntade kreditförluster i Stag 3 och kan avse hela eller delar av en finansiell tillgång. Bortskrivning sker när det inte bedöms finnas någon realistisk möjlighet till återbetalning. Efter bortskrivningen kvarstår normalt kraven mot låntagare och eventuella borgensmän, vilka som regel drivs vidare genom efterbevakning. Efterbevakning vidtas inte i vissa situationer, exempelvis i de fall konkursförvaltare lämnat slutlig redovisning av utdelning i konkurs, när ett ackordet förslag antagits eller när en fordran eftergivits i sin helhet. Fordringar som efterges i samband med omstrukturering av finansiella tillgångar redovisas alltid som konstaterade kreditförluster.
- Betalningar som tillkommer banken för bortskrivna finansiella tillgångar intäcks redovisas som återvinningar.

Ytterligare information om kreditförluster lämnas i not K10.

## Fallissemang/Kreditförsämrad tillgång

Bankens definition av fallissemang överensstämmer med kapitaltäckningsförordningens (CRR) definition vilket innebär att motparten antingen är mer än 90 dagar sen med en betalning eller att det gjorts en bedömning att motparten inte kommer att kunna betala kontraktsefekt. En sådan bedömning innebär att det ses som mer sannolikt att kredittagaren inte kommer att kunna betala än det motsatta. Bedömningen av detta görs utifrån all tillgänglig information om kredittagarens betalningsförmåga. Hänsyn tas till obeständssignaler som bristande likviditet, försenade och inställda betalningar, betalningsanmärkningar eller andra tecken på bristande betalningsförmåga. Andra signaler kan vara att kredittagaren försätts i konkurs eller att beslut tas om en betydande anståndsåtgärd som innebär att värdet på bankens fordran mot kredittagaren minskar.

Sannolikheten för fallissemang beräknas inför varje rapporteringstillfälle och ingår vid bedömningen av om det skett en betydande ökning av kreditrisken sedan första redovisningstillfället och vid beräkningen av förväntad kreditförlust för finansiella tillgångar i Stag 1 och Stag 2.

Kreditförsämrad finansiell tillgång, vilket är exponering i Stag 3, definieras som exponering i fallissemang. Det medför att bedömningen för redovisnings syften är i linje med den som används i koncernens kreditriskhantering.

## Ränta

Redovisning av räntetäckter hänförliga till poster i balansräkningen som ingår i Stag 1 och Stag 2 bygger på bruttoredovisning, vilket innebär att räntetäckter redovisas till sitt fulla belopp i räntetotot.

Räntetäckter avseende motsvarande poster i Stag 3 redovisas netto, det vill säga efter beaktande av nedskrivningen. Ränteeffekter som uppstår till följd av diskonteringseffekter då perioden fram till förväntad inbetalning minskar, resulterar i en upplösning av tidigare reserverade belopp och redovisas som räntetäckt i enlighet med effektivräntemetoden.

## Värdering av egendom som övertagits för skyddande av fordran

Vid första redovisningstillfället redovisas övertagen egendom till verkligt värde i balansräkningen. Övertagen egendom (inklusive övertagna leasingobjekt) som förväntas avyttras inom en snar framtid, tas vid efterföljande värdering upp till det lägsta av redovisat värde och verkligt värde med avdrag för kostnader för försäljning. Övertagna fastigheter som inte förväntas avyttras inom en snar framtid redovisas som förväntade fastigheter till verkligt värde via resultaträkningen. Omotrade aktieinnehav som övertas för skyddande av fordran redovisas normalt till verkligt värde via resultaträkningen.

## Modifierade finansiella tillgångar

Ett lån anses vara modifierat när de villkor och bestämmelser som styr kassaflöden ändras jämfört med det ursprungliga avtalet till följd av åtgärder i form av anståndsåtgärder eller affärsmässiga omförhandlingar. Anståndsåtgärder är vilkorsändringar i samband med omstruktureringar eller andra finansiella lösningsåtgärder. Dessa vilkorsändringar utförs för att säkerställa full återbetalning eller för att maximera återbetalningen av det utestående lånebeloppet för låntagare som har, eller står inför, finansiella svårigheter. Affärsmässiga omförhandlingar är vilkorsändringar som inte är relaterade till en låntagares finansiella svårigheter, till exempel ändringar i kassaflödet för ett lån på grund av förändringar i marknadsförhållanden för amorteringar eller ränta.

Om kassaflöden från en finansiell tillgång klassificerad till upplupet anskaffningsvärde har modifierats, men tillgångens kassaflöden inte blir väsentligt annorlunda, resulterar normalt inte modifieringen i att den finansiella tillgången tas bort från balansräkningen. I det fallet omräknas redovisat bruttovärde utifrån den finansiella tillgångens förändrade kassaflöden, och justeringsbeloppet redovisas i resultaträkningen.

Eftersom modifieringar utförs av olika anledningar finns inget ovillkorligt samband mellan modifieringar och bedömd kreditrisk. När en finansiell tillgång beviljats anståndsåtgärd och kvarstår i balansräkningen klassificeras den till Stag 2 eller Stag 3, baserat på uttalet av den bedömning som utförs i samband med anståndsåtgärden. Bedömningen omfattar kontroll av om det finns behov av reservering för kreditförlust eller annan omständighet som innebär klassificering till Stag 3.

Om en finansiell tillgång modifieras på ett sätt som medför väsentligt förändrade kassaflöden tas den modifierade finansiella tillgången bort från balansräkningen och ersätts med ett nytt avtal. I dessa fall utgör datumet för modifieringen första redovisningstillfället för det nya avtalet och detta datum används vidare vid beräkning av förväntade kreditförluster samt vid bedömning av huruvida det föreligger en betydande ökning av kreditrisk sedan första redovisningstillfället.

För en beskrivning av redovisningen avseende modifieringar som genomförs till följd av benchmarkreformen, se avsnitt 12 Benchmarkreformen.

## 11. SÄKRINGSREDOVISNING

## (IAS 39 Finansiella instrument: redovisning och värdering)

Handelsbanken har valt att fortsätta tillämpa säkringsredovisningsreglerna IAS 39, i enlighet med övergångsbestämmelserna IFRS 9. Koncernen tillämpar olika metoder för säkringsredovisning beroende på syftet med säkringen. Som säkringsinstrument används derivat, i huvudsak ränte- och valutaránteswappar. Vid säkringar av valutakursrisker kopplade till nettowesteringar i utländska enheter används även skulder i respektive utländsk enhets funktionella valuta som säkringsinstrument. Som en del av koncernens säkringsstrategier delas värdet på säkrings-

## NOTER | KONCERNEN

## K1. Forts

Instrument i vissa fall upp och ingår i fler än en säkringsrelation. Ett och samma säkringsinstrument kan därmed säkra olika risker. Sådan uppdelning görs endast om de säkrade riskerna tydligt kan identifieras, om effektiviteten kan mätas tillförlitligt och om den totala värdeförändringen på instrumentet ingår i någon säkringsrelation.

Säkringar av verkligt värde tillämpas i syfte att skydda koncernen mot icke önskvärda resultat-effekter på grund av exponeringar för förändringar i marknadspriser. Säkringar av verkligt värde tillämpas för enskilda tillgångar och skulder samt för portföljer av finansiella instrument. Säkrade risker i säkringsrelationer till verkligt värde består i allt väsentligt av ränterisk i ut- och upplåning till fast ränta. Säkringsinstrumenten i dessa säkringsrelationer består av ränteswappar. Vid säkring av verkligt värde värderas såväl säkringsinstrumentet som den säkrade risken till verkligt värde. Värdeförändringarna redovisas direkt i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. När portföljsäkring tillämpas redovisas värdet på den säkrade posten på en separat rad i balansräkningen i anslutning till Utlåning till allmänheten. Då säkringar av verkligt värde avslutas i förord periodiseras den upparbetade värdeförändringen på den säkrade posten i Nettoresultat av finansiella transaktioner under återstående löptid. Avslutas säkringar av verkligt värde i förord, och den säkrade posten inte längre kvarstår, återförs den upparbetade värdeförändringen direkt i Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Kassaflödessäkring används för att hantera exponeringar för variationer i kassaflöden hänförliga till förändringar i rörlig ränta på ut- och upplåning. Den förväntade löptiden för sådana ut- och upplåning är i regel betydligt längre än räntebindningstiden som är kort. Kassaflödessäkring används även för att säkra valutakursrisken i framtida kassaflöden hänförliga till ut- och upplåning. Även valutakursrisker hänförliga till koncerninterna monetära poster kan omfattas av denna typ av säkring. I den mån de ger upphov till valutaexponeringar som inte elimineras vid upprättande av koncernredovisningen. Derivat som är säkringsinstrument i kassaflödessäkring värderas till verkligt värde. I den mån derivatets värdeförändring är effektiv, det vill säga motsvaras av framtida kassaflöden hänförliga till den säkrade posten, redovisas den som en komponent i övrigt totalresultat och i säkringsreserven i eget kapital. Ineffektiva delar av derivatets värdeförändring redovisas i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Då kassaflödessäkringar avslutas i förord periodiseras den ackumulerade värdeförändringen, som tidigare redovisats i övrigt totalresultat, i Nettoresultat av finansiella transaktioner under den period de säkrade kassaflödena förväntas inträffa. Avslutas kassaflödessäkringar i förord, och de säkrade kassaflödena inte längre förväntas inträffa, omklassificeras den ackumulerade värdeförändringen i säkringsreserven till Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Säkringar av nettoinvesteringar i utlandsverksamheter tillämpas för att skydda koncernen mot valutakursdifferenser till följd av verksamhet i utlandet. Som säkringsinstrument används lån i utländsk valuta och valutarränteswappar. Den säkrade posten i dessa säkringar utgörs av nettoinvesteringar i form av direkta investeringar samt fordringar på utlandsverksamhet som inte förväntas regleras inom en överskådlig framtid. Lån i utländsk valuta som säkrar nettoinvesteringar i utlandsverksamhet redovisas i koncernen till kursen på balansdagen. Den effektiva delen av valutakursdifferenser på sådana lån redovisas som en komponent i övrigt totalresultat och i omräkningsreserven i eget kapital. Så redovisas även den effektiva delen av värdeförändringar på valutarränteswappar som säkrar valutakursrisk i fordringar på utlandsverksamhet. Ineffektiva delar av säkringar av nettoinvesteringar i utlandsverksamhet redovisas i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

För ytterligare information se not K23 Säkringsredovisning och Benchmarkreformen.

## 12. BENCHMARKREFORMEN

(IAS 39 Finansiella instrument: redovisning och värdering, IFRS 9 Finansiella instrument) Det föreligger temporära undantag från att tillämpa vissa specifika krav avseende säkringsredovisning för samtliga säkringsrelationer som direkt påverkas av osäkerheten från benchmarkreformen. De temporära undantagen syftar till att säkringsrelationer, som annars hade varit effektiva, inte ska behöva brytas upp endast till följd av osäkerhet från benchmarkreformen. Det föreligger en direkt påverkan på en säkringsrelation, endast om denna ger upphov till osäkerhet om benchmarkräntan som utgör säkrad risk och/eller tidpunkt eller belopp avseende kassaflöden baserade på benchmarkräntan från den säkrade posten eller säkringsinstrumentet. Osäkerheten om benchmarkräntan kvarstår fram till dess att beslut har fattats om vilken ränta som är den alternativa räntan samt om och när reformen kommer att genomföras, inklusive specificering av dess effekter på enskilda kontrakt.

När modifieringar av finansiella tillgångar och finansiella skulder genomförs, som en direkt följd av benchmarkreformen, redovisas modifieringen som en ändring i effektivräntan. Någon modifieringsvinst eller -förlust redovisas således ej. För att undantaget ska gälla krävs att en ändring är nödvändig som en direkt följd av benchmarkreformen samt att den nya basen för att bestämma kassaflöden är ekonomiskt likvärdig med den tidigare. Därutöver föreligger vissa undantag från krav för säkringsredovisning när befintliga referensräntor i säkringsrelationer ersätts med alternativa referensräntor, vilka syftar till att säkringsrelationer inte ska behöva avbrytas endast till följd av implementeringen av benchmarkreformen.

För ytterligare information se not K23 Säkringsredovisning och Benchmarkreformen.

## 13. LEASING

## (IFRS 16 Leasingavtal)

## Banken som leasegivare

En leasegivare ska klassificera ett leasingavtal som antingen finansiellt eller operationellt. Finansiella leasingavtal är sådana avtal där de ekonomiska risker och fördelar som förknippas med ägandet av den leasade tillgången i allt väsentligt överförs från leasegivaren till leasetagaren. Övriga leasingavtal klassificeras som operationella leasingavtal. Samtliga avtal där koncernen är leasegivare har definierats som finansiella leasingavtal. Sådana leasingavtal redovisas som utlåning i balansräkningen, initialt till ett belopp som motsvarar nettoinvesteringen. Erhållna leasingavgifter redovisas löpande som räntelikteter respektive amorteringar.

Nettoinvesteringar i finansiella leasingavtal är föremål för nedskrivningsprövning enligt IFRS 9, på samma sätt som finansiella tillgångar värderade till upplupet anskaffningsvärde.

## Banken som leasetagare

Vid ingången av ett leasingavtal redovisas en leasingkulld och en nyttjanderätt. Leasingkulden värderas initialt till nuvärdet av framtida leasingavgifter, vilka diskonteras med bankens marginella låneränta. Leasingavgifterna som ingår i värderingen av leasingkulden utgörs i huvudsak av fasta avgifter och variabla avgifter som beror på ett index. Nyttjanderätten värderas initialt till anskaffningsvärdet, vilket motsvarar den ursprungliga värderingen av leasingkulden, förutbetalda leasingavgifter, eventuella initiala direkta utgifter och en uppskattning av eventuella återställningskostnader. Det är endast när en förpliktelse uppstår för återställningskostnader som dessa utgör en del av anskaffningsvärdet.

Vid efterföljande värdering av leasingkulden ökar det redovisade värdet med ränta och minskar med utbetalda leasingavgifter. Därutöver ökar eller minskar leasingkulden vid omprövningar eller ändringar av leasingavtalet. Vid efterföljande värdering av nyttjanderätten värderas denna till anskaffningsvärde minus ackumulerade avskrivningar och eventuella ackumulerade nedskrivningar samt med beaktande av eventuella omvärderingar av leasingkulden. Nyttjanderätten skrivs av över leasingperiodens längd. Nedskrivningsprövning av nyttjanderätterna utförs i enlighet med IAS 36 Nedskrivningar, se punkt 16 avsnittet om nedskrivningsprövning.

Nyttjanderätterna ingår i balansposten Fastigheter och Inventarier och leasingkulden ingår i balansposten Övriga skulder.

Leasingavtal som är kortare än tolv månader, eller för vilka den underliggande tillgången har ett lågt värde, redovisas som en kostnad linjärt över leasingperioden och ingår således inte i leasingkulder och nyttjanderätter.

## KI Forts

## 14. FÖRSÄKRINGSVERKSAMHET

(IFRS 4 Försäkringsavtal – Redovisningsprinciper som tillämpas till och med den 31 december 2022)

Koncernens försäkringsverksamhet bedrivs i dotterbolaget Handelsbanken Liv. Verksamhetens produkter består främst av legala livförsäkringar i form av traditionell livförsäkring och fondförsäkring samt riskförsäkringar i form av sjukförsäkring och premiebettelse.

## Klassificering och uppdelning av försäkringskontrakt

I koncernredovisningen klassas sådana avtal som innehåller betydande försäkringsrisk som försäkringskontrakt. Med försäkringsrisk avses risk, annan än finansiell risk, som överförs från avtalets ägare till utfärdaren. Avtal som inte överför betydande försäkringsrisk klassificeras i sin helhet som investeringsavtal. I regel innebär detta att försäkringar med återbetalningskydd klassas som investeringsavtal, och övriga avtal klassas som försäkringskontrakt. Försäkringskontrakt som består av både försäkringskomponenter och sparande (finansiella komponenter) delas upp och såredovisas i enlighet med de principer som beskrivs i det följande.

## Redovisning av försäkringskomponenter i försäkringskontrakt

Premieintäkter och utbetalda försäkringsersättningar för försäkringsavtal redovisas i resultaträkningen i nettoposten Riskresultat försäkring. Under denna post redovisas även årets förändring av koncernens försäkrings-skulder.

Mottagna premier som ännu inte intäktsförts redovisas som skuld för inbetalda premier under posten Försäkringsskulder i balansräkningen. I balansposten Försäkringsskulder ingår även skulder för sjukräntor, livräntor och andra oreglerade skador. Försäkringsskulden värderas genom diskontering av uppskattade framtida kassaflöden hänförliga till ingångna försäkringsavtal. Värderingen bygger på antaganden om ränta, livslängd, hälsa och framtida avgifter. Livslängdsantaganden varierar med hänsyn till när försäkringen tecknats och beaktar den förväntade framtida ökningen av livslängden. Även avgiftsantaganden beror på när försäkringen tecknats. Det innebär i huvudsak en avgift som är proportionell mot premien och en avgift som är proportionell mot livförsäkringsavsättningen. Tillämpade antaganden om de försäkrades framtida hälsa är baserade på internt genererad erfarenhet och varierar beroende på produkt. Räntesantaganden är baserade på aktuella marknadsräntor och beror på skuldens löptid. Koncernens försäkringsskulder provas regelbundet och minst årligen i syfte att säkerställa att den redovisade försäkringsskulden är tillräcklig för att täcka förväntade framtida anspråk. Vid behov görs en ytterligare avstämning. Mellanskillnaden redovisas i resultaträkningen.

Redovisning av investeringsavtal och finansiella komponenter i försäkringskontrakt Inbetalningar och utbetalningar för kundens spar-kapital som härrör från investeringsavtal samt finansiella komponenter i försäkringskontrakt redovisas som inbetalningar respektive utlag direkt i balansräkningen.

Den från försäkringskontraktet separerade finansiella komponenten i traditionella legala liv-försäkringar redovisas i balansräkningen som upplåning från allmänheten. Dessa skuldervärderas till det högsta av garanterat belopp och försäkringens aktuella värde. Det garanterade beloppet förväntas med garanterad ränta och motsvarar försäkringens upplupna anskaffnings-värde. Försäkringens aktuella värde är lika med värdet av de tillgångar som förväntas för försäkringsstagarnas räkning, och förväntas med en avkastning som bestäms från totalavkastningen för tillgångarna med avdrag för eventuell avkastningsdelning. Avkastningsdelningen innebär att försäkringsgivaren tilldelas en avtalad del av totalavkastningen om denna avkastning under kalenderåret överstiger den garanterade räntan. Beräkningen görs årligen och ackumulerat för varje enskilt försäkringskontrakt. Det innebär att den villkorade återbärningen minskar i de fall avkastningen ett enskilt år understiger garanti-räntan och viceversa. Den del av avkastningen som enligt modellen för avkastningsdelning tillfaller koncernen redovisas som provisionsintäkt. I det fall avkastningen understiger den per kontrakt garanterade räntan redovisas mellanskillnaden i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Tillgångar och skulder som härrör från fond-försäkringsavtal redovisas till verkligt värde i balansräkningen i posterna Tillgångar respektive Skulder där kunden står värdetförändringsrisken.

Premieavgifter, kapitalavgifter samt övriga administrativa avgifter för försäkringskontrakt och investeringsavtal redovisas i resultaträkningen i posten Provisionsintäkter. Anskaffnings-kostnader redovisas direkt i resultaträkningen.

## Återförsäkring

Återförsäkrarens andel av koncernens försäkrings-skulder redovisas i posten Övriga tillgångar i balansräkningen.

(IFRS 17 Försäkringsavtal – Redovisningsprinciper som kommer att tillämpas från och med den 1 januari 2023)

Handelsbankens avtal om försäkring består av fond- och depåförsäkringsavtal, riskförsäkringar i form av främst sjukförsäkring, premiebettelse-försäkring och dödsfallsförsäkring samt traditionella livförsäkringsavtal.

## Klassificering

Försäkringsavtalen kan innehålla riskförsäkringsmoment, sparförsäkringsmoment eller båda. Klassificering som försäkringsavtal eller investe-ringsavtal görs utifrån de enskilda försäkrings-momenten (sparförsäkringsmoment/riskförsäk-

ringmoment) i avtalen eftersom de har olika ekonomisk innebörd. Traditionella livförsäkrings-avtals sparförsäkringsmoment, riskförsäkringar samt riskförsäkringsmoment som separerats ut ur sammansatta traditionella livförsäkringsavtal innehåller betydande försäkringsrisk och klassifi-ceras, värderas och redovisas som försäkrings-avtal. Depåförsäkringar och fondförsäkringsavtal klassificeras som investeringsavtal, eftersom de inte innehåller betydande försäkringsrisk och klassificeras, redovisas och värderas enligt IFRS 9.

## Försäkringsavtalens aggregeringsnivå

Handelsbanken har identifierat portföljer med för-säkringsavtal med utgångspunkt från de försäk-ringsrisker de exponerar koncernen för och som förväntas tillsammans. Portföljerna har därefter delats in i grupper utifrån förväntad lönsamhet och vid övergångstidpunkten bedöms samliga som lönsamma. För traditionella livförsäkrings-avtals sparförsäkringsmoment har en enda port-följ och grupp identifierats då avtalen är tecknade långt tillbaka i tiden och produkten är stängd för nyteckning. För portföljer med riskförsäkringar och riskförsäkringsmoment utgör respektive försäkringsprodukt en grupp. Grupperna med försäkringsprodukter är i sin tur uppdelade i undergrupper där avtal som tecknats inom samma år bildar en grupp.

## Värdering av försäkringsavtal

## Den generella modellen

Handelsbanken kommer tillämpa den generella modellen vid värdering av sparförsäkrings-moment i traditionella livförsäkringsavtal. Skälet till detta är att avtalen i denna portfölj har en avtalsgräns som är väsentligt längre än ett år samt att de höga räntegarantierna i dessa avtal leder till att de icke villkorade tilläggsbelopp-utbetalningarna inte förväntas utgöra en betydande andel av de totala utbetalningarna. Den generella modellen tillämpas även för skuld för inträffade skador för riskförsäkringar samt riskförsäkrings-moment som separerats ut ur sammansatta traditionella livförsäkringsavtal.

## Premiefördelningsmetoden

Handelsbanken kommer tillämpa premiefördel-ningsmetoden vid värderingen av skulden för återstående försäkringskydd för riskförsäkringar samt för riskförsäkringsmoment som separerats ut ur sammansatta traditionella livförsäkrings-avtal. Skälet till detta är att banken har bedömt att samliga identifierade riskförsäkringar och riskförsäkringsmoment har en avtalsgräns på maximalt ett år.

## Skulden för återstående försäkringskydd – den generella modellen

Skulden för återstående försäkringskydd beräk-nas genom en nuvärdesberäkning av den bästa skattningen av framtida kassaflöden, en riskjuste-ring och en avtalsenlig marginal. Handelsbanken har vid övergångstidpunkten inte identifierat några förlustavtal.

## NOTER | KONCERNEN

## K1. Forts

Vid skattning av framtida kassaflöden beaktas främst antaganden om administrationskostnader, sannolikheten för utnyttjande av avtalade optioner (mytt, återköp och fibreväsläggning), dödlighet och finansiella marknads scenarier (statslåneränta, avkastning och diskontering).

Skattningen av framtida kassaflöden samt riskjusteringen diskonteras med aktuella diskonteringsräntor på balansdagen. Diskonteringsräntorna är baserade på observerbara räntor på räntesvappar upp till tio år med justering för kreditrisk. Diskonteringsräntorna för löptider längre än tio år fastställs genom extrapolering mot en långsiktig räntenivå.

Banken använder en kapitalkostnadsmetod för att beräkna riskjusteringen. Den beräknas för samtliga försäkringsavtal och allokeras därefter ut på enskilda portföljer och gruppervilket uppskattningens motvarar en konfidensnivå om cirka 85%.

Vid övergången till IFRS 17 uppstår en avtalsenlig marginal för sparförsäkringsmoment i traditionella livförsäkringsavtal, vilken utgörs av skillnaden mellan det verkliga värdet och nuvärdet av den bästa skattningen av de framtida kassaflödena samt riskjusteringen vid tidpunkten för övergången till IFRS 17. Traditionella livförsäkringsavtal nytecknas inte och därmed uppstår inte någon ytterligare avtalsenlig marginal efter övergången till IFRS 17. Redovisningen av den avtalsenliga marginalen görs utifrån identifierade försäkringskyddsenheter. Handelsbanken har bedömt att de tjänster som tillhandahålls utförs linjärt över tid varför ett sådant upplösningsschema av den avtalsenliga marginalen har valts. För att ta hänsyn till att kontrakt med höga garanterade förmåner bidrar mer till portföljens samlade avtalsenliga marginal vidtas i sin tur respektive försäkringsbidrag till portföljens upplösning utifrån summan av de förväntade garanterade förmånerna.

#### Skulden för återstående försäkringskydd – premiefördelningsmetoden

Skulden för återstående försäkringskydd diskonteras inte utan redovisas till ett belopp som motsvarar en proportionell andel av den erhållna premien som avser det försäkringskydd som banken ännu inte tillhandahållit försäkringstagaren. Erhållna premier redovisas som intäkt linjärt över tid i takt med att försäkringskyddet tillhandahålls. Handelsbanken har vid övergångstidpunkten inte identifierat några förlustavtal.

#### Skulden för inträffade skador

Skulden för inträffade skador värderas med den generella modellen och redovisas när skadorna inträffar. Skulden avser både rapporterade och ej rapporterade skador som har inträffat till och med bokslutsdagen. Den beräknas genom en nuvärdesberäkning av den bästa skattningen av framtida kassaflöden och en riskjustering. För skulden för inträffade skador tillämpas samma antaganden som för skulden för återstående försäkringskydd med tillägg, där relevant, för antaganden om framtida insjuknande och tillfrisknande. Skulder med en förväntad avvecklings tid som är kortare än tolv månader diskonteras ej.

#### Innehavda återförsäkringsavtal

Handelsbanken tillämpar premiefördelningsmetoden på innehavda återförsäkringsavtal efter som löptiden i de underliggande försäkringsavtalen inte överstiger ett år. Det innebär att den erlagda premien för avgiven återförsäkring redovisas som en kostnad över återförsäkringskyddets löptid. Återförsäkrarens andel av koncernens försäkringskulder redovisas i balansposten Övriga tillgångar.

#### Redovisning av försäkringsavtal och innehavda återförsäkringsavtal

I balansräkningen redovisas skulden för återstående försäkringskydd samt skulden för inträffade skador i balansposten Försäkringskulder. Tillgångar och skulder avseende innehavda återförsäkringsavtal redovisas i balansposterna Övriga tillgångar respektive Övriga skulder.

I resultaträkningen redovisas resultatet från försäkringsavtal på en gemensam rad Försäkringsresultat. Posten inkluderar försäkringsintäkter, kostnader för försäkringstjänster, resultat av innehavda återförsäkringsavtal samt finansiella intäkter och kostnader från försäkringsavtal. Delposterna i försäkringsresultatet specificeras i not. Kapitalavkastningen på de tillgångar som innehas för försäkringstagarnas räkning redovisas på egen rad. Resultatraderna Försäkringsresultat och Kapitalavkastning på tillgångar som innehas för försäkringstagarnas räkning summeras till Försäkringsnetto.

I övrigt totalresultat redovisas effekterna av ändrad diskonteringsränta på nuvärdet av kassaflödena samt riskjusteringen vid värderingen av sparförsäkringsmomenten i traditionell livförsäkring vilken ackumuleras i en särskild post inom eget kapital. Vid övergången till IFRS 17 kommer det ackumulerade beloppet i övrigt totalresultat att uppgå till noll.

#### Redovisning och värdering av investeringsavtal

Depåförsäkringar och fondförsäkringsavtal utgör investeringsavtal och värderas till verkligt värde via resultaträkningen, vilket även gäller placeringstillgångar som är kopplade till dessa avtal. I balansräkningen redovisas dessa poster som Tillgångar respektive Skulder där kunden står värdeförändringsrisken.

I resultaträkningen redovisas premieavgifter, kapitalavgifter samt övriga administrativa avgifter från investeringsavtal i posten Provisionsintäkter. Även anskaffningskostnader redovisas direkt i resultaträkningen. Värdeförändringar på tillgångar och skulder redovisas i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

#### Tillämpade metoder vid övergången till IFRS 17

Handelsbankens tillämpar IFRS 17 retroaktivt på riskförsäkringar och riskförsäkringsmoment.

För traditionell livförsäkrings sparförsäkringsmoment tillämpas verkligt värde-metoden. Då det saknas ett noterat pris på en portfölj med traditionella livförsäkringsavtal fastställs verkligt värde med hjälp av en värderingsteknik som i så

stor uträkning som möjligt använder observerbara parametrar vid beräkningen av det verkliga värdet. För att bedöma det pris som marknadsaktörer skulle tillämpa har ett genomsnitt av de garantiräntor banken observerat att försäkringsföretag på marknaden erbjuder vid nyteckning av traditionell livförsäkring använts. Metoden fångar på detta sätt även marknads antaganden om vinst- och riskmarginal eftersom dessa är implicit beaktade i marknads garantiräntor. Mellanskillnaden mellan det verkliga värdet och nuvärdet av den bästa skattningen av de framtida kassaflödena samt riskjusteringen utgör en avtalsenlig marginal vid tidpunkten för övergången till IFRS 17.

#### 15. IMMATERIELLA TILLGÅNGAR (IAS 38 Immateriella tillgångar)

##### Redovisning i balansräkningen

En immateriell tillgång är en identifierbar, icke-monetär tillgång utan fysisk form. En immateriell tillgång tas endast upp i balansräkningen om det är troligt att de framtida ekonomiska fördelar som härrör från tillgången kommer att tillfalla koncernen och om det går att beräkna anskaffningsvärdet på ett tillförlitligt sätt. Det innebär att inlämt upparbetade värden i form av goodwill, varumärken, kundregister och liknande inte redovisas som tillgångar i balansräkningen.

Investeringar i egenutvecklad programvara tas till resultatet löpande i den mån utgifterna avser underhåll av befintlig affärsverksamhet eller befintlig programvara.

Avtal med en leverantör som tillhandahåller banken en molntjänst som innebär tillgång till leverantörens applikation, plattform eller infrastruktur under avtalstiden utgör ett servicekontrakt. Avgift för en molntjänst kostnadsförs löpande under kontraktstiden. Eventuell förutbetalda avgift redovisas som en tillgång, det vill säga förutbetalda kostnad. Utgifter för konfiguration och anpassningar av en molntjänst kostnadsförs när en leverantör utför tjänsterna. När konfiguration och anpassningar utgör en integrerad del av molntjänsten och utförs av leverantören av molntjänsten, eller underleverantör till denne, kostnadsförs utgiften löpande under avtalsperioden. Eventuell förutbetalda avgift redovisas som en förutbetalda kostnad.

Vid egen utveckling av ny programvara, eller vid utveckling av befintlig programvara för ny affärsverksamhet, aktiveras nedlagda utgifter, som kan beräknas på ett tillförlitligt sätt, från den tidpunkt det är sannolikt att ekonomiska fördelar kommer att uppstå. Utgifter som härrör från länekostnader aktiveras från den tidpunkt då beslut har fattats om aktivering av utgifter för utveckling av en immateriell tillgång.

Vid ett rörelseförvärv hämtas förvärvspriset tillvärdet av förvärvade identifierbara tillgångar, skulder och eventualförpliktelser i den förvärvade rörelsen. Bland dessa tillgångar kan även ingå sådana immateriella tillgångar som inte skulle ha tagits upp i balansräkningen om de förvärvats separat eller upparbetats internt. Den del av förvärvspriset som vid ett rörelseförvärv inte kan hänföras till identifierbara tillgångar och skulder redovisas som goodwill.

**K1 Forts**

**Goodwill och immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod**  
Goodwill och andra immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod redovisas till anskaffningsvärdet med avdrag för eventuella nedskrivningar. Nedskrivningsprövning sker årligen i samband med bokslutet eller när det finns en indikation på att tillgången kan ha minskat i värde. Nedskrivningsprövning görs genom en beräkning av tillgångens återvinningsvärde, det vill säga det högsta av nyttjandevärdet och det verkliga värdet med avdrag för försämningskostnader. Så länge återvinningsvärdet överstiger redovisat värde är nedskrivning inte befogad. Nedskrivningar redovisas direkt i resultaträkningen.

Med hänsyn till att det inte är möjligt att särskilja de kassaflöden som härrör från goodwill från kassaflöden som härrör från andra tillgångar, sker nedskrivningsprövningen på nivån kassagenererande enhet. En kassagenererande enhet är den minsta grupp tillgångar som ger upphov till inbetalningar som är oberoende av inbetalningar från andra tillgångar eller tillgångsgrupper. Goodwill följs upp på rörelsesegmentnivå. Väsentliga bedömningar och antaganden vid nedskrivningsprövning av goodwill framgår av not K25. Tidigare gjorda nedskrivningar av goodwill återförs inte.

**Immateriella tillgångar med bestämbar nyttjandeperiod**

Immateriella tillgångar för vilka det går att fastställa en bedömd nyttjandeperiod är föremål för avskrivning. Avskrivningen sker linjärt över nyttjandeperioden. För närvarande innebär det att kundrelationer skrivs av på 20 år och att internt utvecklad programvara vanligen skrivs av på fem år. I vissa infrastrukturprojekt bedöms nyttjandeperioden vara längre än fem år. För sådana investeringar är avskrivningstiden upp till 15 år. Varumärken som är föremål för avskrivning skrivs av på fem år. Avskrivningstiden prövas individuellt, dels vid nyanskaffning, dels fortlöpande vid indikation på att nyttjandeperioden kan ha ändrats. Immateriella tillgångar med bestämbar nyttjandeperiod prövas för nedskrivning när det finns indikation på att tillgången kan ha minskat i värde. Nedskrivningsprövning görs enligt samma principer som för immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod, det vill säga genom en beräkning av tillgångens återvinningsvärde.

**16. FASTIGHETER OCH INVENTARIER (IAS 16 Materiella anläggningstillgångar)**

Koncernens materiella anläggningstillgångar består av fastigheter och inventarier. Med undantag av fastigheter som övertogs för skydd av fordran, värderas dessa tillgångar till anskaffningsvärde med avdrag för ackumulerade av- och nedskrivningar.

Avskrivningarna sker utifrån tillgångarnas bedömda nyttjandeperioder. Normalt tillämpas en linjär avskrivningsplan. De bedömda nyttjandeperioderna prövas årligen. De materiella tillgångar som består av delkomponenter med olika bedömda nyttjandeperioder, indelas i olika kate-

gorier med separata avskrivningsplaner. Sådan så kallad komponentavskrivning är normalt endast aktuell för fastigheter. Som delkomponenter betraktas då de delar av fastigheten som har ett anskaffningsvärde som är betydande i förhållande till det sammanlagda anskaffningsvärdet. Resterande delar av fastigheten (stomme) skrivs av som helhet över den förväntade nyttjandeperioden. För närvarande är den bedömda nyttjandeperioden för stomme 100 år, för vävten och avlopp 35 år, för tak 30 år, för fasad, värme, ventilation och el 25 år, för hissar 20 år och för byggnadsinventarier tio år. Persondatorer och övrig IT-utrustning skrivs i regel av på tre år och investeringar i bankval och liknande lokalinvesteringar på tio år. Övriga inventarier skrivs normalt av på fem år.

Nedskrivningsprövning av materiella anläggningstillgångar sker när det finns indikation på att tillgången kan ha minskat i värde. Nedskrivning görs i det fall återvinningsvärdet understiger det redovisade värdet. Eventuell nedskrivning redovisas omedelbart i resultaträkningen. En nedskrivning reverseras om det finns indikation på att nedskrivningsbehovet inte längre föreligger och det har skett en förändring i de antaganden som låg till grund för beräkningen av återvinningsvärdet.

**17. AVSÄTTNINGAR****(IAS 37 Avsättningar, eventuella förpliktelser och eventuella tillgångar)**

Posten Avsättningar består av resultatförda förväntade negativa utflöden av resurser från koncernen som är ovissa vad gäller förfallotidpunkt eller belopp. Avsättningar redovisas när koncernen till följd av en inträffad händelse har en legal eller informell förpliktelse som det är sannolikt att det kommer att krävas ett utflöde av resurser för att reglera. För att redovisning ska kunna ske måste det vara möjligt att göra en tillförlig uppskattning av beloppet. Avsättningen värderas till det belopp som motsvarar den bästa uppskattningen av vad som krävs för att reglera förpliktelsen på balansdagen. Vid värderingen tas hänsyn till den förväntade framtida tidpunkten för reglering.

Avsättningar redovisas främst för omstruktureringar. Med omstrukturering avses genomgripande organisationsförändring, till exempel genom att anställda får avgångsvederlag för förtida uppsägning, eller nedläggningar av kontor. För att en avsättning ska redovisas krävs att en omstruktureringssplan har fastställts och tillkännagivits så att det har skapats en välgrundad förväntan hos dem som berörs av att företaget kommer att genomföra omstruktureringen. En avsättning för omstrukturering omfattar enbart de direkta utgifter som uppstår vid omstruktureringen och som inte hör samman med den framtida verksamheten.

**18. EGET KAPITAL**

Eget kapital består av de komponenter som beskrivs i det följande.

**Överkursfond**

Överkursfonden består dels av optionskomponenten av emitterade konvertibla skuldebrev och dels av det belopp som vid emission av aktier och vid konvertering av konvertibla skuldebrev överstiger de emitterade aktiernas kvotvärde.

**Förmånsbestämda pensionsplaner**

I posten Förmånsbestämda pensionsplaner redovisas aktuella vinster och förluster på pensionsförpliktelser samt avkastning på förvaltningstillgångarna som överstiger eller understiger diskonteringsräntan.

**Säkringsreserv**

I säkringsreserven redovisas orealiserade värdeförändringar på derivatinstrument som utgör säkringsinstrument i kassaflödessäkringar.

**Verkligt värdereserv**

Orealiserade värdeförändringar på finansiella tillgångar klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat redovisas i verkligt värdereserven. Vidare består verkligt värdereserven av reserveringar för förväntade kreditförluster på skuldinstrument klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat. Realiserade värdeförändringar på dessa skuldinstrument omklassificeras från verkligt värdereserven till resultaträkningen. Realiserade värdeförändringar på egetkapitalinstrument klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat omklassificeras från verkligt värdereserven till balanserade vinstmedel.

**Omräkningsreserv**

Omräkningsreserven består av orealiserade valutakurseffekter som uppstår till följd av omräkning av utländska enheter till koncernens rapporteringsvaluta. Därutöver redovisas effektiva delar för säkringar av nettoinvesteringar i utlandsverksamhet i omräkningsreserven.

**Balanserade vinstmedel inklusive årets resultat**

Balanserade vinstmedel består av linjärt resultat från innevarande och tidigare räkenskapsår. Utdelning och återköp av egna aktier redovisas som avdrag från balanserade vinstmedel.

Realiserade resultat hänförliga till egetkapitalinstrument klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat omklassificeras från verkligt värdereserven till balanserade vinstmedel.

**Innehav utan bestämmande inflytande**

Innehav utan bestämmande inflytande utgörs av den andel av koncernens nettotillgångar som inte direkt eller indirekt ägs av moderföretagets stamaktieägare. Innehav utan bestämmande inflytande redovisas som en separat andel av eget kapital.

**19. INTÄKTER****Räntenetto**

Räntainträder och räntekostnader redovisas i räntenetto i resultaträkningen, med undantag för räntor hänförliga till finansiella instrument som

## NOTER | KONCERNEN

## KI. Forts

obligatorisk värderas till verkligt värde via resultaträkningen vilka redovisas i Nettoresultat av finansiella transaktioner där den samlade aktiviteten i handelslagret redovisas.

Ränteintäkter och räntekostnader för finansiella instrument som värderas till upplupet anskaffningsvärde beräknas och redovisas med tillämpning av effektivräntemetoden eller, om så anses lämpligt, med tillämpning av en rimlig uppskattning av vad en beräkning grundad på effektivräntemetoden skulle ge. Effektivräntan innefattar avgifter som anses vara en integrerad del av effektivräntan för ett finansiellt instrument (vanligen avgifter som kompenseras för risk). Effektivräntan motsvarar den ränta som används för att diskontera avtalsenliga framtida kassaflöden till redovisat värde på den finansiella tillgången eller skulden.

I räntenettet redovisas även räntor från derivat som ingår i säkringsredovisning och räntor från derivat i ekonomiska säkringar, eftersom dessa säkrar poster vars ränteflöden redovisas i räntenettet.

Utöver ränteintäkter och räntekostnader ingår avgift för statlig insättningsgaranti i räntenettet.

## Provisionsnetto

Provisionsintäkter redovisas vid den tidpunkt när prestationsåtagandet är uppfyllt, vilket är när kontrollen av tjänsten är överförd till kunden. Den totala intäkten fördelas för varje tjänst, och intäktsfördelningen beror på om tjänsterna är uppfyllta vid en viss specifik tidpunkt eller över tid. Provisionsintäkter i form av exempelvis förvaltningsavgifter inom kapitalförvaltningen redovisas normalt över tid i takt med att dessa tjänster utförs. Provisionsintäkter i form av exempelvis courtage, kortavgifter och betalningsprovisioner redovisas generellt när tjänsten utförs, det vill säga vid en viss specifik tidpunkt. När intäkten inkluderar en rörlig ersättning, till exempel rabatt, återböring eller prestationsbaserade delar, redovisas intäkten först när det är högst troligt att ingen återbetalning av beloppet kommer att ske. Utbetalningsavgifter som inte ingår i effektivräntan redovisas som provisionsintäkter. Provisionskostnader är transaktionsberoende och är direkt relaterade till transaktioner vars intäkter redovisas som Provisionsintäkter.

## Övriga intäkter

Posten Övriga intäkter består främst av hyresintäkter och realisationsresultat vid avyttring av ägarandelar i dotterföretag, intresseföretag och joint ventures.

## Nettoresultat av finansiella transaktioner

I posten Nettoresultat av finansiella transaktioner redovisas den resultatpåverkan som uppstår vid värdering av finansiella tillgångar och skulder till verkligt värde via resultaträkningen och vid realisation av finansiella tillgångar och skulder (med undantag för eget kapitalinstrument klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat).

- Resultat från finansiella instrument till upplupet anskaffningsvärde består av realiserade vinster och förluster på finansiella tillgångar och skulder klassificerade till upplupet anskaffningsvärde, såsom till exempel ränteskillnadsersättning för förtidslöst utlåning och realisationsresultat som genereras vid återköp av egna emitterade värdepapper.

- Resultat från finansiella instrument till verkligt värde via övrigt totalresultat består av realiserade vinster och förluster på räntebärande värdepapper klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat. Realiserade vinster och förluster omklassificeras från övrigt totalresultat till Nettoresultat av finansiella transaktioner i samband med avyttring/försäljning. Vidare består posten av kreditförluster (förväntade och konstaterade) på dessa tillgångar.

- Resultat från finansiella instrument till verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen, består av realiserade och realiserade värdeförändringar på finansiella tillgångar och skulder som vid första redovisningstillfället identifierats som värderade till verkligt värde via resultaträkningen.

- Resultat från finansiella instrument till verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt, består av realiserade och realiserade värdeförändringar samt utdelningsintäkter och räntor (med undantag för räntor som härrör från derivat som säkrar poster vars ränteflöden redovisas i räntenettet) på finansiella tillgångar och skulder som innehas för handel eller som förvaltas och utvärderas på basis av verkliga värden.

- Säkring av verkligt värde består av realiserade och realiserade värdeförändringar på säkringsinstrument respektive säkrad riskkomponent i finansiella tillgångar och skulder som är säkrade poster i säkringar till verkligt värde. Ineffektivitet i kassaflödesräkningar består av de värdeförändringar på säkringsinstrumentet som inte motsvaras av framtida kassaflöden hänförliga till den säkrade posten.

- Resultat från den finansiella komponenten i försäkringskontrakt består av det resultat som uppstår om avkastningen understiger den garanterade räntan.

## Utdelning

Utdelningar på aktier som klassificerats till verkligt värde via övrigt totalresultat redovisas i resultaträkningen i posten Övriga utdelningsintäkter. Utdelningar på aktier som klassificerats till verkligt värde via resultaträkningen redovisas i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Redovisning av andelar i intresseföretags och joint ventures resultat beskrivs i punkt 5.

## 20. ERSÄTTNINGAR TILL ANSTÄLLDA

## (IAS 19 Ersättningar till anställda)

## Personalkostnader

Som personalkostnader redovisas löner, pensionskostnader och andra former av direkta personalkostnader inklusive sociala avgifter, särskild löneskatt på pensionskostnader och andra for-

mer av lönebidkostnader. Eventuella ersättningar i samband med avslutad anställning skuld förs vid avtalets ingång och periodiseras över återstående tjänstgöringstid.

## Redovisning av pensioner

Ersättningar till anställda efter anställningens upphörande utgörs av premiebestämda planer och förmånsbestämda planer. Med premiebestämda planer avses planer där koncernen betalar fastställda premier till en utomstående juridisk enhet och har därefter inga ytterligare förpliktelser, varken rättsliga eller informella. Den anställda bär värdeförändringsrisken fram till dess att medlen utbetalas. Premier för premiebestämda planer redovisas i resultaträkningen som personalkostnad i den takt de intjänas genom att de anställda utför tjänster åt företaget och avgifterna för tjänsterna förtalar till betalning.

Övriga planer för ersättning efter avslutad anställning redovisas som förmånsbestämda planer. Vid förmånsbestämd pensionsåtagning utgår en pension baserad på lön och anställningstid, vilket innebär att arbetsgivaren bär alla väsentliga risker för fullgörandet av pensionsutbetalningen. För förmånsbestämda planer redovisas nuvärdet av pensionsåtagandet som pensionsförpliktelse. För majoriteten av de förmånsbestämda pensionsplanerna har koncernen avsatt förvaltnings-tillgångar i pensionsstiftelser och pensionskassa för att täcka förpliktelsen. Som nettoskuld i balansräkningen avseende förmånsbestämda pensionsplaner redovisas pensionsförpliktelse som minskade med förvaltningstillgångarnas verkliga värde. I övrigt totalresultat redovisas aktuella vinster och förluster på pensionsförpliktelsen som uppstår på grund av att verkligt uttall avviker från gjorda antaganden samt skillnaden mellan verklig avkastning och beräknad ränteintäkt på förvaltningstillgångarna.

Pensionskostnaden för förmånsbestämda planer redovisas i resultaträkningen som en personalkostnad och utgörs av nettot av följande poster:

- Kostnad för under året intjänad pensionsrätt, vilket avser årets andel av den beräknade slutliga totala pensionsutbetalningen. Beräkningen av intjänad pensionsrätt utgår från en beräknad slutlön och är föremål för aktuella antaganden.
- Räntekostnad på pensionsförpliktelsen vilken uppstår på grund av att nuvärdet av pensions-skulden har ökat under året då tiden till utbetalning minskar. För beräkning av årets räntekostnad används aktuell företagsobligationsränta (räntan vid årets början) för en löptid motsvarande återstående tid till utbetalning av pensionskulden.
- Beräknad ränteintäkt (avkastning) på förvaltningstillgångar för vilken samma räntesats tillämpas som vid fastställandet av årets räntekostnad på pensionsförpliktelsen.

Beräkningen av kostnader och åtaganden med anledning av koncernens förmånsbestämda planer är förenad med ett flertal bedömningar och

**K1 Forts**

antaganden som kan ha en betydande inverkan på redovisade belopp. En utförligare beskrivning av dessa antaganden och bedömningar lämnas i punkt 22 och i not K8.

**21. SKATTER****(IAS 12 Inkomstskatter)**

Periodens skattekostnad utgörs av aktuell skatt och uppskjuten skatt. Som aktuell skatt redovisas skatter som hänför sig till periodens eller tidigare perioders skattepliktiga resultat. Uppskjuten skatt är skatt som hänför sig till temporära skillnader mellan en tillgångs eller skulds redovisade värde och dess skattepliktiga värde. Uppskjutna skatter värderas till den skattesats som bedöms vara tillämplig då posten realiserar. Uppskjutna skattefordringar avseende avdragsgilla temporära skillnader och underskottsavdrag redovisas endast i den mån det är sannolikt att dessa kommer att utnyttjas. Uppskjutna skatteskulder värderas till nominellt värde. Skatt redovisas i resultaträkningen, i övrigt totalresultat eller direkt i eget kapital beroende på var den underliggande transaktionen redovisas.

**22. UPSKATTNINGAR OCH VÄSENTLIGA BEDÖMNINGAR**

Tillämpningen av koncernens redovisningsprinciper innebär i vissa fall att bedömningar måste göras som får en väsentlig inverkan på redovisade belopp. Redovisade belopp påverkas dessutom i ett antal fall av uppskattningar och antaganden om framtiden. Sådana antaganden innebär alltid en risk för en justering av det redovisade värdet för tillgångar och skulder. De bedömningar och antaganden som görs speglar alltid företagsledningens bästa och mest rimliga uppfattning och är kontinuerligt föremål för granskning och validering.

Nedan följer de bedömningar och antaganden som har haft en väsentlig påverkan på de finansiella rapporterna.

Uppskattningar och väsentliga bedömningar som berör följande områden lämnas i not:

- finansiella instrument värderade till verkligt värde, se not K42 Värdering av finansiella instrument till verkligt värde
- nedskrivningsprövning av goodwill, se not K25 Immateriella tillgångar
- krav i civilrättsliga processer, se not K35 Avsättningar.

**Aktuariell beräkning av förmånsbestämda pensionsplaner**

Beräkningen av koncernens kostnader och förpliktelser för förmånsbestämda pensioner bygger på ett flertal aktuariella, demografiska och finansiella antaganden som har betydande inverkan på redovisade belopp. En förteckning över de antaganden som använts vid beräkningen av årets avsättning finns i not K8. Beräkningen av pensionsförpliktelserna för anställda i Sverige bygger på DUS21 som är på marknaden vedertagna antaganden om livslängd baserade på statistik framtagen av Svensk Försäkring. Antagandena om framtida löneökningar och inflation

bygger på den förväntade långsiktiga utvecklingen.

Diskonteringsräntan baseras på ett antal förstklassiga företagsobligationer med olika löptider. För företagsobligationer med löptider som överensstämmer med den uppskattade genomsnittliga löptiden för pensionsförpliktelsen vilken för närvarande uppgår till 17 år fastställs diskonteringsräntan utifrån marknadsräntor. Då det inte finns tillräckligt många emittenter av förstklassiga företagsobligationer med en löptid som överensstämmer med pensionsförpliktelsens använder sig banken även av förstklassiga företagsobligationer med kortare löptid som bas för att fastställa diskonteringsräntan. För dessa fastställs diskonteringsräntan med utgångspunkt från en räntekurva. Räntekurvan är byggd som en spread över den svenska swapkurvan. Spreaden, som är baserad på företagsobligationer exkluderat egna emissioner, appliceras på swapkurvan. På detta sätt modelleras en räntekurva fram utifrån vilken en 17-årig ränta kan härledas.

En känslighetsanalys av koncernens pensionsförpliktelse för varje betydande aktuariellt antagande, som visar hur förpliktelsen skulle ha påverkats av rimligt möjliga förändringar i dessa antaganden, framgår av not K8.

**Kreditförluster**

Vid beräkning av förväntade kreditförluster används i ett antal fall antaganden och bedömningar. Värderingen av förväntade kreditförluster är till sin natur förknippad med viss osäkerhet. Områden med hög grad av antaganden och bedömningar beskrivs nedan under respektive rubrik.

**Framåtblickande information i makroekonomiska scenarier**

Handelsbanken övervakar löpande den makroekonomiska utvecklingen med särskilt fokus på hemmamarknaderna. Denna bevakning sker bland annat för att ta fram de makroekonomiska scenarier som ligger till grund för den framåtblickande information som används i den modellbaserade beräkningen av förväntade kreditförluster. Förmågan hos bankens kunder att uppfylla sina kontraktsliga betalningar varierar med den makroekonomiska utvecklingen. Det innebär att den framtida makroekonomiska utvecklingen har en påverkan på bankens syn på reserveringsbehov för förväntade förluster. Beräkningen av reserveringsbehovet för förväntade kreditförluster utgår från det neutrala scenariot enligt bankens enhet för makroanalys. Eftersom förlusterna kan påverkas mer av en framtida försämring av den ekonomiska utvecklingen än av en motsvarande förbättring, använder banken minst två alternativa scenarier för att fånga icke-linjära aspekter på de förväntade kreditförlusterna. Dessa alternativa scenarier motsvarar tänkbara, men väsentligt sämre respektive bättre, utvecklingar än det neutrala scenariot. Baserat på bankens förlusthistorik under det senaste decenniet kompletterat med erfarenhetsbedömningar har de mest väsentliga makro-

ekonomiska riskfaktorerna valts ut. Dessa makroekonomiska riskfaktorer ingår sedan som makroekonomiska riskfaktorer i bankens kvantitativa statistiska modeller för prognoser av migrationer, fallissemang, förlustandelar och exponering. De makroekonomiska riskfaktorerna inkluderar arbetslöshet, styr-/centralbanksräntor, BNP, inflation och fastighetspriser. Bankens affärsmodell, att ge krediter till kunder med stark återbetalningsförmåga, gör att sambanden mellan den makroekonomiska utvecklingen och reserveringsbehovet inte alltid är framträdande. För utförligare beskrivning av makroekonomisk information, se not K2 avsnitt Kreditrisk, och för känslighetsanalys, se not K10.

**Betydande ökning av kreditrisk**

Banken gör en bedömning på avtalsnivå vid varje rapportperiods slut av om en betydande ökning av kreditrisken har skett sedan det första redovisningsstilleståndet. För utförligare beskrivning av betydande ökning av kreditrisk, se not K2 avsnitt Kreditrisk.

**Modellbaserad beräkning**

De kvantitativa modeller som ligger till grund för beräkningen av förväntade kreditförluster för avtal i Steg 1 och Steg 2 utgår från flera antaganden och bedömningar. Ett viktigt antagande är att de relationer som kan mätas mellan makroekonomiska riskfaktorer och riskparametrar på historiska data är representativa för framtida händelser. De kvantitativa modeller som tillämpas baseras på cirka tio års historik, men historiken varierar med produkt och region beroende på tillgång till historiska utfall. De kvantitativa modellerna är konstruerade med hjälp av ekonomiska modeller under antagande att observationerna är beroende betingat av de valda riskfaktorerna. Det innebär att riskparametrarna kan förutses utan snedvridande effekter. Vidare görs ett urval av de mest väsentliga makroekonomiska riskfaktorerna baserat på de enskilda makroekonomiska riskfaktorernas förklaringsförmåga på de enskilda riskparametramått. När makroekonomiska riskfaktorer väljs ut och modellen specificeras görs en avvägning mellan enkelhet, förklaringsförmåga och stabilitet.

**Manuell och expertbaserad beräkning**

Manuell beräkning används regelbundet för avtal i Steg 3. Expertbaserad beräkning görs på modellutfall för avtal i Steg 1 och Steg 2, för att införa uppskattad effekt från faktorer som inte bedömts ha tillgång av modellen samt för manuellt bedömda i Steg 3. För utförligare beskrivning av manuell och expertbaserad beräkning, se punkt 10 rubrik Manuell beräkning och Expertbaserad beräkning.

## K2 Risk- och kapitalhantering

Handelsbankens låga risktolerans är en central del i bankens affärsidé. Den låga risktoleransen tillsammans med ett decentraliserat arbetssätt, stabila finanser och hållbart ansvarstagande är grunden i Handelsbankens långsiktiga kundrelationer.

Informationen i denna not inkluderar avyttringsgruppen Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäkring respektive Skulder som innehåller försäkring samt utgör avvecklad verksamhet. Verksamheterna i Danmark är avyttrade under det fjärde kvartalet 2022 och ingår i jämförelsesittorna, se not K14.

### RISKTOLERANS

Handelsbanken har låg risktolerans. Bankens affärsmodell fokuserar på att ta och hantera kreditrisker i kontorsrörelsen i samband med kreditgivning. Fokus ligger på att etablera långsiktiga relationer med kunder som har god återbetalningsförmåga och stark finansiell ställning. Kvalitetskravet för aldrig åsidosätts till förmån för högre kreditvolymer, högre pris eller marknadsandelar.

Handelsbankens kreditförlustnivå har under de senaste decennierna varit väsentligt lägre än genomsnittet hos övriga nordiska banker. Bankens mål är alltid att ingen kredit ska medföra en förlust. Detta förhållningssätt är helt styrande för kontorens kreditgivning och arbete med sina kreditportföljer. Toleransen för marknadsrisker och likviditetsrisker är låg. Marknadsrisker förekommer endast som ett led i kundaffärer, i samband med bankens finansiering och likviditetshantering samt i dess roll som marknadsgaranti. Därutöver uppstår marknadsrisker i pensionssystemet.

En konsekvens av bankens låga tolerans för marknadsrisk är att en jämförelsevise låg andel av bankens resultat kommer från nettoresultat av finansiella transaktioner. All finansiering och likviditetshantering är centraliserad till Group Treasury. Likviditetsriskerna begränsas genom krav på matchande kassaflöden och betydande likviditetsreserver av hög kvalitet.

Även för operativa risker är toleransen låg. Banken strävar efter att så långt som möjligt förebygga dessa risker och reducera förlusterna på området.

Banken har även låg risktolerans för compliance-risker och ska så långt som möjligt förebygga sådana risker. En risk är utanför risktoleransen om funktionen för regel efterlevnad (compliance-funktionen) bedömer att risken är hög eller kritisk och det saknas en adekvat åtgärdsplan, eller om det sker väsentliga avvikelser från åtgärdsplanen.

Hållbarhetsrisker hanteras i linje med Handelsbankens låga risktolerans och inom ramen för de riskslag där hållbarhetsrisker är en integrerad del av riskbedömningen. För mer information om hållbarhetsrisker, se bankens hållbarhetsredovisning och Pelare 3 rapport.

### RISKSTRATEGI

I bankens verksamhet uppkommer olika risker som identifieras, mätts, hanteras och rapporteras på ett systematiskt sätt inom koncernens alla

delar. Handelsbankens restriktiva förhållningssätt till risk innebär att banken medvetet undviker att delta i affärer med hög risk även om den förväntade ersättningen för tillfället kan vara hög.

Riskstrategin bygger på en stark riskkultur som är uthållig över tid och som gäller på alla områden i koncernen. Riskkulturen genomsyrar hela bankens arbete och är väl förankrad hos alla bankens medarbetare. Banken präglas av en tydlig ansvarsförhållning där varje del av affärsverksamheten bär det fulla ansvaret för sina affärer och för att riskerna hanteras. En följd av detta är att det finns starka incitament till hög riskmedvetenhet och försiktighet i affärsverksamheten. Den decentraliserade affärsmodellen är dock kombinerad med starka centraliserade kontroller. Den låga risktoleransen avspeglas också i synen på ersättning. Huvudprincipen är fast ersättning eftersom detta bidrar till den långsiktighet som är en central del av Handelsbankens affärsmodell. Medarbetare som i sin yrkesutövning har en väsentlig inverkan på bankens riskprofil erbjuds inte prestationsbaserad rörlig ersättning.

Kreditgivningen har stark lokal förankring, där den nära kundrelationen och lokala källredomen verkar för låga kreditrisker. Därutöver ska koncernen vid var tid vara välkapitaliserad i förhållande till verksamhetens risker och hålla likvida tillgångar för att alltid klara sina betalningsförpliktelser när dessa förtälar, även i en situation av finansiell stress där upplåning på de finansiella marknaderna inte är möjlig. Handelsbanken eftersträvar på så sätt en affärsmodell som är oberoende av förändringar i konjunkturen.

Det restriktiva förhållningssättet till risk innebär att banken är en stabil och uthållig affärspartner till kunderna oavsett marknadssituation. Det bidrar både till god riskhantering och till att en hög servicenivå kan upprätthållas även när verksamheten och de marknader som banken verkar på utsätts för påfrestringar. Samma principer för bankens inställning till risk gäller i alla länder där banken är verksam.

### MOTSTÅNDSKRAFTIG RISKHANTERING

Handelsbanken har en stark kapital- och likviditetssituation med kontinuerlig tillgång till de finansiella marknaderna via sina kort- och långfristiga finansieringsprogram. Banken har också en stor likviditetsreserv av hög kvalitet, vilket

ger en hög motståndskraft mot eventuella störningar på de finansiella marknaderna. Group Treasurys likviditetsportfölj, som är en del av bankens likviditetsreserv, har en låg riskprofil och består främst av tillgodohavanden i centralbanker, statsobligationer och säkerställda obligationer. Därutöver finns ett mycket omfattande outnyttjat emissionsutrymme av säkerställda obligationer i Stadshypotek. Likviditetsreserver hålls i alla för banken väsentliga valutor. Den totala likviditetsreserven täcker bankens likviditetsbehov i ett stressat scenario i mer än tre år helt utan tillgång till ny marknadsfinansiering. En bibehållen verksamhet kan upprätthållas under en betydande tid även i en extrem situation med stängda marknader för valutaväxling.

Bankens kapitalstatus är fortsatt stark.

Till detta har en god intjäning och låga kreditförluster under året bidragit.

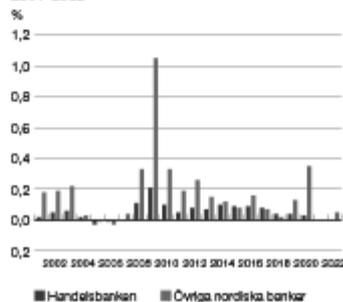
Handelsbankens låga risktolerans, goda kapitalisering och starka likviditetssituation innebär att banken står väl rustad. I sin riskhantering utövar banken särskilda stress tester, inklusive påverkan från klimatförändringar, och följer noga olika indikatorer som uppföljning av marknadsläget för att tidigt kunna agera om likviditets- eller kapitalstatussituationen skulle försämrats. Rådande makroekonomiska miljöer som är ett resultat av en kombination av kvarvarande pandemirelaterade effekter, inflation, stigande räntor, ett svagare företagsklimat och geopolitiska risker, är inkluderat i stress-testerna och analyseras ur bankens perspektiv.

Rysslands invasion av Ukraina ökade risken för olika typer av cyberattacker. Bankens säkerhetsavdelning följer händelseutvecklingen och riskbedömer löpande olika scenarier.

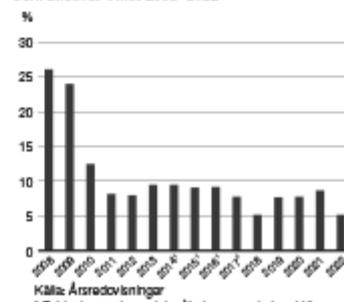
### RISKORGANISATION

Handelsbanken tillämpar principen med tre försvarslinjer för riskhantering, uppföljning och kontroll av bankens risker. Affärsverksamheten och de enheter som stödjer affärsverksamheten utgör den första försvarslinjen och ansvarar för att hantera och begränsa riskerna i verksamheten i enlighet med interna och externa regler. Kontrollfunktionerna Group Risk Control och Group Compliance utgör den andra försvarslinjen och övervakar och kontrollerar koncernens risker, affärsverksamhetens arbete och hur gällande regler efterlevs. Tredje försvarslinjen utgörs av

Figur ÅR:1 Kreditförluster i % av utlåning 2001–2022



Figur ÅR:2 Nettoresultat av finansiella transaktioner som andel av vinsten 2008–2022



Källa: Årsredovisningar  
\* Exklusive poster av icke återkommande karaktär.

## K2 Forts

Figur ÅR3 Risker i Handelsbanken

	Beskrivning
Kreditrisk	Kreditrisk definieras som risken att banken drabbas av ekonomisk förlust som följd av att bankens motparter inte kan fullfölja sina kontraktslämpliga förpliktelser. Kreditrisk inkluderar även motpartsrisk, dvs. risken för att motparten i en transaktion fallerar före slutavvecklingen av transaktionens kassaflöden.
Marknadsrisk	Marknadsriskerna härrör från pris- och volatilitetsförändringar på de finansiella marknaderna. Marknadsriskerna delas in i ränterisker, aktierisker, valutakursrisker och råvarurisker.
Likviditetsrisk	Likviditetsrisk är risken för att banken inte kan fullgöra sina betalningsförpliktelser när dessa förtäler, utan att drabbas av acceptabla kostnader eller förluster.
Operativ risk	Operativ risk är risken för förluster till följd av icke ändamålsenliga eller misslyckade interna processer, mänskliga fel, felaktiga system eller externa händelser. Definitionen inkluderar legal risk samt IT-risker och informations säkerhetsrisker (IKT-risker).
Compliancerisk	Compliancerisk definieras som risken för sanktioner, väsentlig finansiell förlust eller förlust av anseende som banken kan drabbas av som ett resultat av att banken inte följer externa och interna regelverk, accepterad marknadspraxis och standarder som tillsammans är tillräckliga på bankens tillståndsgivande verksamhet.
Ersättningsrisk	Ersättningsrisk utgörs av risken för förlust eller annan skada som uppkommer till följd av ersättningsystemet.
Försäkringsrisk	Försäkringsrisk är risken i en försäkrings utfall, som beror på den försäkrades livslängd eller hälsa.
Hållbarhetsrisk	Hållbarhetsrisk är risken att banken inte identifierar och hanterar risker relaterade till miljö och klimat, sociala förhållanden samt bolagsstyrning i enlighet med de policyer, riktlinjer, och åtaganden inom området vilket ytterst kan få negativa ekonomiska konsekvenser för banken men också skada bankens anseende.

Group Audit som granskar bankens hela verksamhet inklusive riskhantering, kontrollfunktionernas arbete och bolagsstyrningen.

Handelsbankens styrelse har det övergripande ansvaret för bankens riskhantering och fastställer interna regler för detta. Styrelsen fastställer policydokument och VD fastställer riktlinjer som beskriver hur olika risker ska hanteras och rapporteras. För en mer detaljerad beskrivning av bankens ramverk för kontroll hänvisas till Handelsbankens Bolagsstyrningsrapport, sidorna 74–91.

Styrelsen har inrättat en kreditkommitté (bestående av VD och chefen för Group Credits samt ett antal styrelseledamöter) som beslutar i vissa kreditärenden samt en UK-kommitté (bestående av styrelsens ordförande, VD och valda medlemmar ur styrelsen och koncernledningen) för uppföljning av verksamheten i Storbritannien.

Styrelsen har även inrättat risk-, revisions- och ersättningsutskott som bland annat är beredande i frågor som ska beslutas av styrelsen. Riskutskottet tar även själva beslut avseende exempelvis de betydande delarna av bankens riskklassificering- och estimeringsprocesser kopplade till intammetoden. Risk-, revisions- och ersättningsutskotten består endast av styrelseledamöter. Därtil har VD inrättat en Risk och Complianceteknisk kommitté för uppföljning av riskhantering inom olika områden samt fördjupade diskussioner kring bankens övergripande risk-situation inför behandlingen av vissa frågor i riskutskottet och styrelsen. För en mer detaljerad beskrivning av kommittéerna och utskottens arbete hänvisas till Handelsbankens Bolagsstyrningsrapport på sidorna 74–91. Därutöver har banken ytterligare kommittéer såsom CRC:s riskkommitté och CFO:s likviditetskommitté, kapitalkommitté och värderingskommitté.

#### RAPPORTERING OCH UPPFÖLJNING AV RISK- OCH KAPITALSITUATIONEN

Koncernens risker har under 2022 rapporterats av CRO minst kvartalsvis till VD, riskutskottet och styrelsen. Rapporterna har även föredragits i

Risk- och Complianceteknisk kommittén<sup>1</sup>. Koncernriskrapporterna innehåller CRC:s bedömning av koncernens väsentliga risker och en bedömning av om det finns väsentliga brister i verksamheten att rapportera och åtgärda. I förekommande fall innehåller rapporterna också förslag till åtgärder och uppföljning av tidigare rapporterade risker och brister. Koncernriskrapporterna omfattar framåtblickande riskbedömningar och ska möjliggöra en bedömning av om Handelsbanken uppfyller den riskstrategi och den risktolerans som styrelsen fastställt. Koncernriskrapporterna utformas i enlighet med styrelsens Policy för riskkontroll. Utöver nämnda koncernriskrapporter lämnar Group Risk Control och Group Credits löpande och årsvisa rapporter avseende bankens kreditrisk-situation (inklusive motpartsrisker) och intammetod (IRK) till koncernledningen, CRC:s riskkommitté, VD:s risk- och complianceteknisk kommitté, riskutskottet och centralstyrelsen samt till styrelsema i relevanta dotterbolag. Denna rapportering omfattar bland annat volymutveckling och riskrapporterade krediter (krediter med förhöjd risk). Rapporteringen omfattar även utvärderingar av dels de interna riskklassificeringsprocesserna, dels bankens IRK-modeller och resultatet och validering av bankens IRK-modeller.

Riskkommittén, med CRO som ordförande har sammanträtt elva gånger under 2022. På riskkommitténs möten görs en fördjupad uppföljning av koncernens aktuella risk-situation, potentiella risker och åtgärder för kreditrisker, finansiella risker, operativa risker och risker i försäkrings-rörelsen. Övriga riskslag kommenteras vid behov. Återhämtningsplanens indikatorer avrapporteras på varje möte och vid behov diskuteras åtgärder. Vidare följs limitutnyttjandet för finansiella risker upp för hela koncernen. Kapitalsituationen, utnyttjandet av marknadsrisklimit samt likviditets-situationen rapporteras till styrelsen åtminstone kvartalsvis.

Limitutnyttjandet för marknadsrisker och likviditetsrisker sammanställs och kontrolleras dagligen av Group Risk Control. Limitöverträdelser rapporteras omgående till den som har beslutat om limiterna. Likviditetsrisken sammanställs av

Group Risk Control och rapporteras dagligen till CFO, veckovis till VD samt till styrelsen vid varje ordinarie styrelsemöte. Likviditetskommittén, med Head of Group Treasury som ordförande, är rådgivande till CFO och sammanträder inför varje ordinarie styrelsemöte och i övrigt vid behov. Där föredras den aktuella likviditets-situationen, resultat av stresstester, scenarionanalyser och annan information som är relevant för bedömningen av koncernens likviditets-situation.

Operativa risker och inträffade incidenter rapporteras löpande från kontor och avdelningar i hela koncernen till Group Risk Control som bevakar dem. Group Risk Control rapporterar i sin tur operativa risker och inträffade incidenter till VD, styrelsens riskutskott och till styrelsen. Äntigen utvärderas risker i ersättnings-systemet och rapportering sker till styrelsens ersättnings- och riskutskott. Rapporteringen av operativa risker inkluderar information om väsentliga händelser, större förluster, viktiga proaktiva åtgärder och en aggregerad riskbedömning på koncern-nivå. Utöver detta följer Group Risk Control upp att beslutade åtgärder genomförs.

Compliancerisker har under 2022 rapporterats av Chief Compliance Officer minst kvartalsvis till VD, styrelsens riskutskott och styrelsen. Rapporteringen har inkluderat compliancerisker kopplade till finansiell kriminalitet, liksom datasäkerhetsrisker. Rapporterna har även föredragits i VD:s Risk- och Complianceteknisk kommitté.

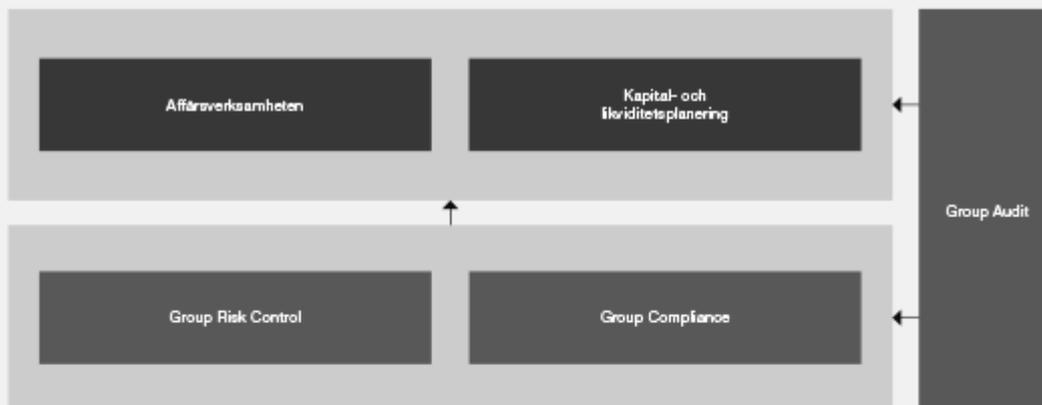
Bankens kapitalsituation rapporteras veckovis till CFO och VD och minst kvartalsvis till styrelsen. I händelse av att något gränsvärde passerats eller om Head of Group Capital Management eller CFO av annan anledning bedömer det som lämpligt, ska förslag till lämpliga åtgärder presenteras för VD. Utifrån ett medel- och långsiktigt perspektiv sammanfattas kapitalsituationen kvartalsvis i kapitalkommittén. Group Capital Management gör en fullständig uppdatering av kapitalprognosen kvartalsvis eller vid signifikanta förändringar i banken.

<sup>1</sup> Fram till den 4 juli 2022 föredrogs rapporterna i Riskforum.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

Figur ÅR4 Handelsbankens riskhantering och riskkontroll

**Affärsverksamheten**

Banken präglas av en tydlig ansvarsfördelning där varje del av affärsverksamheten bär det fulla ansvaret för sina affärer och för att samtliga risker hanteras. Den som bäst känner kunden och marknadsförutsättningarna har bäst möjlighet att bedöma risken och kan också på ett tidigt stadium agera om problem uppkommer. Varje kontor och varje resultatansvarig enhet bär ansvaret för att hantera uppkomna problem. Detta skapar hög riskmedvetenhet och försiktighet i affärsverksamheten.

Decentraliserade kreditbeslut förutsätter dock en gemensam kreditprocess som Group Credits ansvarar för. Group Credits bereder de kreditlimiterna som styrelsen eller den kreditkommitté som styrelsen inrättat fattar beslut om. Group Credits säkerställer också att kreditbedömningarna i hela koncernen sker på ett enhetligt sätt och att kreditgivningen utförs i enlighet med den kreditpolicy som styrelsen fastställt.

Affärsverksamhetens finansiella risker uppstår och hanteras huvudsakligen i Group Treasury, i Handelsbanken Capital Markets och i Handelsbanken Liv. Handelsbanken har en decentraliserad affärsmodell, men all finansiering och likviditetshandling i koncernen är centraliserad till Group Treasury. De marknadsriskerna som uppstår för att möta kundens efterfrågan på finansiella instrument med exponering mot ränte-, valuta-, aktie- eller råvarumarknaderna hanteras i Handelsbanken Capital Markets. Operativa risker förekommer i all verksamhet inom banken, och ansvaret för att hantera operativa risker är en integrerad del av chefsansvaret på alla nivåer i verksamheten. Hantering av marknadsrisker, hantering av bankens operativa risker samt finansierings- och likviditetshandling styrs av policyer fastställda av styrelsen.

**Stresstester – kapital- och likviditetsplanering**

Handelsbanken håller ett kapital och en likviditetsreserv som säkerställer bankens fortlevnad under såväl normala tider som efter extrema händelser. Det är kapitalsituationen bedömd enligt det legala kapitalkravet som, tillsammans med beräkningen av ekonomiskt kapital och stresstester, utgör grunden i kapitalplaneringen. Likviditetsplaneringen säkerställer att koncernen alltid klarar sina betalningsförpliktelser när dessa förfaller, även i en situation av finansiell stress där upplösning på de finansiella marknaderna inte är möjlig. Genom stresstester och scenarionanalyser identifieras vilka åtgärder som behöver förberedas eller genomföras för att kapitaleringen och likviditetssituationen vid varje tidpunkt ska vara tillfredsställande samt vilka åtgärder som krävs för att återställa koncernens kapital och likviditet i en återhämtningsituation efter en allvarig kris.

**Group Risk Control och Group Compliance**  
Group Risk Control i Handelsbanken är oberoende i förhållande till de funktioner som ska kontrolleras. Group Risk Control kontrollerar att alla väsentliga risker som koncernen exponeras för, eller kan förväntas komma att exponeras för, identifieras och hanteras av berörda funktioner. Group Risk Control övervakar och kontrollerar koncernens riskhantering, och att relevanta interna regler, processer och rutiner för riskhantering följs samt att riskerna är inom den av styrelsen fastlagda risktoleransen och att ledningen har tillräckliga underlag för hur riskerna ska hanteras vid kritiska situationer. Group Credits Risk Control ska säkerställa och regelbundet utvärdera att de metoder som används för bankens kapitalkravsberäkning är ändamålsenliga och i enlighet med myndighets tillstånd och gällande regelverk. I Group Risk Controls ansvar ingår också att

kontrollera limiterna för marknads-, likviditets-, och motparterrisker samt operativa risker och utvärdera överträdelse av dessa limiterna liksom överträdelse av limiterna och mandat inom kreditprocessen. Group Risk Control ska även utvärdera den riskanalys som verksamheten gör av nya och väsentligt ändrade produkter och tjänster, marknader, processer och IT-system samt vid verksamhets- eller organisationsförändringar av väsentlig karaktär.

Behovet av uppföljning av risk- och kapital-situationen ökar med graden av decentraliserade affärsbeslut. Group Risk Control är således en naturlig och viktig del av bankens affärsmodell. Group Risk Control ansvarar för att löpande rapportera den aktuella risk-situationen i koncernen till bankens ledning och styrelse och för att risker mäts på ett ändamålsenligt och enhetligt sätt.

Riskerna inom regel efterlevnad övervakas och kontrolleras av Group Compliance. I funktionen ingår dessutom särskilt utpekade roller såsom den centrala funktionsansvariga enligt tillämpliga regler om penningtvätt och finansiering av terrorism (CFA) och dataskyddssombudet enligt tillämpliga regler om dataskydd och hantering av personuppgifter (DPO). Group Compliance är oberoende i förhållande till affärsverksamheten och organisatoriskt skild från de funktioner och områden som ska kontrolleras. Group Compliance verkar aktivt för god regel efterlevnad och att Handelsbankens låga tolerans för compliance-risker uppfylls. Group Compliance identifierar, övervakar och kontrollerar risker och brister i förhållande till regel efterlevnad, lämnar rekommendationer, ger råd och stöd till bankens personal, ledning och enheter i frågor om regel efterlevnad samt rapporterar till ledning och styrelse om regel efterlevnad. Här ingår också CFA:s rapportering avseende compliance-risker kopplade till finansiell kriminalitet, liksom DPO:s rapportering av dataskyddsrisken.

## K2 Forts

## STYRELSENS RISKDEKLARATION OCH RISKFÖRKLARING

Styrelsen har beslutat om följande riskdeklaration och riskförklaring.

**Riskdeklaration:**

Handelsbanken har tillfredsställande arrangemang för riskhantering vilka är ändamålsenliga i förhållande till bankens affärs mål, övergripande riskprofil och den riskstrategi som styrelsen beslutat om för verksamheten.

**Riskförklaring:**

Handelsbankens affärs mål är att ha högre lönsamhet än genomsnittet för jämförbara konkurrenter på hemmamarknaderna. Målet ska främst nås genom nöjdare kunder och lägre kostnader än konkurrenterna. Handelsbanken är en bank med stark lokal förankring och ett decentraliserat arbetssätt.

Bankens övergripande riskprofil är att risker ska hållas låga. Koncernen ska vara väl kapitaliserad i förhållande till riskerna, uppfylla de krav som myndigheter ställer och hålla likvida tillgångar för att klara sina betalningsförpliktelser, även i situationer av finansiell stress på kort och lång sikt. Riskstrategin och bankens övergripande riskprofil understödjer Handelsbankens strävan att ha en affärsmodell som är oberoende av förändringar i konjunkturykeln.

Banken har och ska ha låga kreditrisker. Detta uppnås bland annat genom den starka lokala förankringen och de nära kundrelationerna. Krediternas kvalitet får aldrig åldosättas för att nå högre volym eller högre

marginal. Banken är selektiv i sitt kundurval med krav på att kredittagare har en god återbetalningsförmåga. Till följd av detta har kreditportföljen en tydlig koncentration till riskklasser där sannolikheten för förlust är låg. Det konsekventa tillvägagångssättet återspeglas i bankens över tid låga kreditförlustnivåer, vilka för år 2022 uppgick till 0,00% (0,00) i relation till utlåningen.

För att säkerställa att banken är väl kapitaliserad i förhållande till riskerna och har en god likviditetssituation, fastställer styrelsen bankens risktolerans för kapitalisering och likviditet. När risktoleransen för kapitalisering beslutas, ställs kapitalmätt dels i relation till de lagstadgade kraven, dels i relation till Handelsbankens bedömda kapitalbehov utifrån bankens modell för ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC), som i ett mått fångar koncernens samlade risker. Risktoleransen för bankens likviditetsrisk beslutas, dels genom krav på att banken under stressade förhållanden ska ha tillräcklig likviditetsreserv i form av likvida och pantsättningsbara tillgångar samt likviditetsskapande åtgärder för att under fastställda tidsperioder kunna fortsätta sin rörelse, dels genom krav på det ackumulerade nettot mellan in- och utgående kassaflöden i olika tidsintervall.

Styrelsen har fastställt att kärnprimärkapitalrelationen under normala förhållanden ska uppgå till mellan 1 och 3 procentenheter över

det av Finansinspektionen kommunicerade samlade kärnprimärkapitalbehovet. Beträffande bruttosoldittet ska relationstalet överstiga det av Finansinspektionen till banken kommunicerade samlade kapitalbehovet med minst 0,6 procentenheter.

Bankens bedömning av Finansinspektionens kärnprimärkapitalkrav vid utgången av 2022 var 14,5% (13,9), inklusive Finansinspektionens vägledning inom ramen för Pelare 2 på 1%, och bankens bedömning av bruttosoldittetskravet var 3,45% inklusive Finansinspektionens vägledning inom ramen för Pelare 2 på 0,45%. Styrelsen har även fastställt att kvoten mellan AFR (Available Financial Resources) och EC ska överstiga 120%.

Vid utgången av 2022 uppgick kärnprimärkapitalrelationen till 19,6% (19,4) och kvoten mellan AFR och EC till 413% (384). Styrelsen har fastställt målet att banken ska ha ackumulerade positiva nettokassaflöden under minst ett år med beaktande av likviditetsreserven och under antagandet att delar av den icke tidsbundna inlåningen från hushåll och företag försvinner under första månaden. Handelsbankens samlade likviditetsreserv inklusive likviditetsskapande åtgärder innebär att likviditetsbehovet täcks i mer än tre år under dessa stressade förhållanden.

Bankens riskprofil är i enlighet med den riskstrategi som fastställts av styrelsen.

## KREDITRISK

Kreditrisk definieras som risken att banken drabbas av ekonomisk förlust som följd av att bankens motparter inte kan fullfölja sina kontraktens- enliga förpliktelser.

**KREDITRISKSTRATEGI**

Kreditprocessen i Handelsbanken utgår från övertygelsen att en decentraliserad organisation med lokal förankring ger hög kvalitet i kreditbesluten. Banken är en relationsbank där kontoren håller löpande kontakt med kunden, vilket ger en djup kunskap om varje enskild kund och en kontinuerligt uppdaterad bild av kundens ekonomiska situation.

Handelsbanken är inte en massmarknadsbank utan är selektiv i kundurvalet, vilket innebär att kunderna ska ha en hög kreditkvalitet. Kvalitetskravet åldosätts aldrig till förmån för högre kreditvolymer eller för att erhålla högre avkast-

ning. Banken undviker även att delta i finansiering där det förekommer komplicerade kundkonstellationer, komplexa och svårförståeliga affärsupplägg eller höga ESG-risker.

När banken bedömer kreditrisken hos en viss kund bedöms i första hand kredittagarens återbetalningsförmåga. I bedömningen analyseras dels kundens finansiella ställning samt dels de risker som kunden är utsatt för och som kan komma att påverka stabiliteten i kundens finansiella ställning över tid. En del av riskanalysen består i att banken bedömer hur kunden påverkas av ESG-risker, inklusive klimatrisker, såväl fysiska som omställningsrisker. Ett av de första stegen i bedömning av återbetalningsförmågan är att analysera vilken bransch kunden tillhör. Vi behöver förstå vilka utmaningar och risker som branschen står inför innan vi börjar att analysera vår enskilda kund. En svag återbetalningsförmåga kan aldrig kompenseras med att banken erbjuder goda säkerheter. Säkerheter kan dock reducera bankens förlust väsentligt om kredittagaren inte kan fullfölja sina förpliktelser. Krediter ska därför normalt vara bebyggande säkerställda.

Kontorets lokala förankring och nära relation med kunden innebär att kontoret snabbt kan

identifiera och agera vid eventuella problem. Detta medför att banken i många fall kan agera snabbare än vad som hade varit möjligt vid en mer centraliserad hantering av problemkrediter. Kontoret har också det fulla ekonomiska ansvaret för kreditgivning. Kontoret hanterar således de problem som uppstår när en kund brister i betalningsförmåga och kontoret bär eventuella kreditförluster. Vid behov får det lokala kontoret stöd från lokal kreditavdelning och från centrala avdelningar. Bankens arbetssätt leder till att alla som gör affärer förknippade med kreditrisk tillägnar sig ett väl etablerat synsätt för denna typ av risk. Detta synsätt utgör en viktig del av bankens kultur. De beskrivna arbets- och synsätten är viktiga anledningar till att banken över en lång tid redovisat mycket låga kreditförluster.

**KREDITORGANISATIONEN**

I Handelsbankens decentraliserade organisation bär varje kundansvarigt kontor det fulla kreditansvaret. Kund- och kreditansvar ligger på kontorschefen eller de medarbetare som kontorschefen utser på det lokala kontoret.

I Handelsbankens decentraliserade organisation ingår också att undertaget för kreditbeslut

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

alltid utarbetas av det kreditansvariga kontoret oavsett om det slutgiltiga beslutet fattas på kontoret, på läns- eller landsnivå, i styrelsens kreditkommitté eller av styrelsen. Underlaget för kreditbeslut innehåller bland annat allmän och ekonomisk information om kredittagaren, en bedömning av dennes återbetalningsförmåga, krediter och kreditvillkor samt värdering av säkerheter.

För landstyrelse, styrelsens kreditkommitté och styrelsen avser beslutet kreditlimitens totalbelopp och eventuellt utrymme för blankokrediter. För kredittagare vars sammanlagda krediter överstiger 5 mkr fattas kreditbeslutet i form av kreditlimit. Vid krediter till privatpersoner mot säkerhet i bostad inträder limitplikten för belopp över 12 mkr. Krediter till bostadsrättsföreningar mot säkerhet i bostadsfastighet blir limitpliktiga för belopp över 12 mkr.

Beviljade kreditlimit gäller i normalfallet ett år. Under vissa förutsättningar kan kreditlimit till bostadsrättsföreningar gälla maximalt tre år. Vid förlängning av kreditlimit är kravet på besluets ordning detsamma som för en ny kreditlimit.

Kontorschefer och de flesta medarbetare på kontor har personliga beslutandelimit som gör det möjligt för dem att besluta om krediter till de kunder som de ansvarar för.

Vid beslut om större kreditlimit finns även beslutansinstanser på läns- och landsnivå samt central nivå. Varje högre beslutandenivå tillför ytterligare kreditkompetens. På varje beslutandenivå finns rätt att avstyrka kreditlimit inom

såväl den egna beslutandenivån som kreditlimit som annars skulle beslutats på högre beslutandenivåer. Samtliga kreditbeviljare i hela beslutsprocessen, oavsett nivå, måste vara eniga för att ett positivt kreditlimitbeslut ska komma till stånd. Finns minsta tveksamhet hos någon kreditbeviljare avslås kreditansökan. De största krediterna har beretts av Group Credits och beslutas av styrelsen eller den kreditkommitté som styrelsen inrättat. Utan tillstyrkan av kreditansvarig kontorschef kan dock ingen kreditansökan processas vidare i banken, förutom de kreditbeslut som fattas genom maskinella modeller. Sådana maskinella modeller ska godkännas av verkställande direktören.

Beslutsgången när det gäller krediter och kreditlimit illustreras av figur ÅR:5 Kreditprocessen och beslutandenivåer i Handelsbanken. I figuren visas även procentuell andel av antal kreditlimitbeslut och beslutade belopp fördelade på olika beslutandenivåer.

I Handelsbankens decentraliserade organisation, där en stor andel av antalet kredit- och kreditlimitbeslut fattas på de enskilda kontoren, är det viktigt att det finns en väl fungerande eftergranskningsprocess som säkerställer att besluten håller en hög kvalitet. Kontorschefen kvalitetsgranskar medarbetarnas beslut och lokala kreditavdelningen kvalitetsgranskar beslut fattade av kontorschefer.

Syftet med kvalitetsgranskningen är att säkerställa att bankens kreditpolicy och interna

Instruktioner efterlevs, att kreditkvaliteten upprätthålls och att kredit- och kreditlimitbeslut vittnar om gott kreditomdöme och sund affärsmässighet. En motsvarande granskning av kvaliteten utförs även av kreditlimitbeslut som fattas av högre beslutandenivåer i banken. Kreditlimit som beviljas av läns- eller landskreditkommittéer och landstyrelser granskas av Group Credits, som även bereder och granskar kreditlimit som beslutas av styrelsen eller den kreditkommitté som styrelsen inrättat.

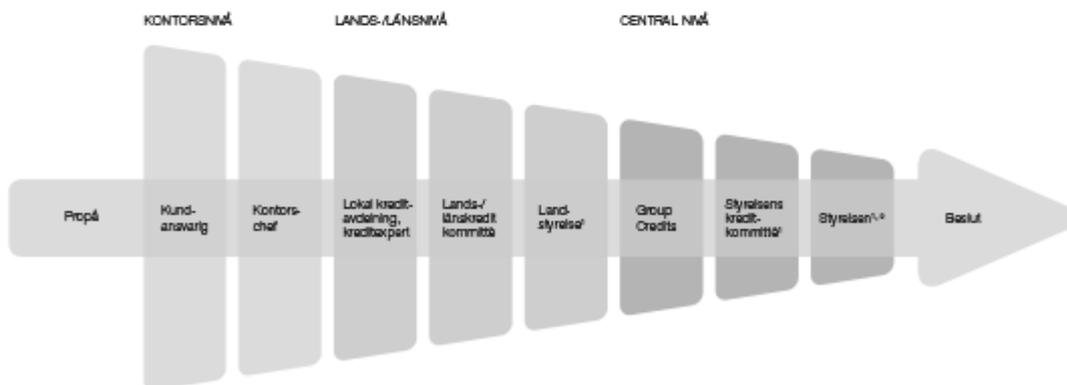
## Ecster

Dotterbolaget Ecster AB arbetar med att erbjuda betalösningar till utvalda sällföretag över hela Sverige. Finansieringstypens karaktär kräver att snabba och korrekta kreditbesked kan levereras årets alla dagar, dygnet runt, vilket innebär att merparten av besluten fattas av maskinella modeller. För de beslut som inte kan hanteras genom de maskinella modellerna görs manuella beslut där medarbetarna har personliga beslutslimit. Vid beslut om större kreditlimit fattas besluten i Ecsters kreditkommitté eller i styrelsen. Vid propäer om större engagemang och kunden är en befintlig Handelsbankenkund fattas beslut på det ansvärliga kontoret eller i berörd instans som gäller i banken.

## KREDITPORTFÖLJEN

Bankens kreditportfölj presenteras i detta avsnitt med utgångspunkt från sammanställda

Figur ÅR:5 Kreditprocessen och beslutandenivåer i Handelsbanken

Fördelning av fattade kreditlimitbeslut<sup>1</sup>

	KONTORSNIVÅ	LANDS-/LÅNSNIVÅ	CENTRAL NIVÅ
Andel av antal limit	70%	28%	2%
Andel av limitbelopp	13%	33%	54%

<sup>1</sup> Beslutet avser kreditlimitens totalbelopp och eventuellt utrymme för blankokrediter.

<sup>2</sup> Beslutet endast om ändrad bedöms vara av särskilt eller allmänt intresse samt krediter till styrelseledamöter och vissa ledande befattningshavare.

<sup>3</sup> Exklusive stat- och banklån som beslutas på central nivå.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

Tabell ÅR6 Kreditspöneringar, geografisk fördelning

Kreditspöneringar Geografisk fördelning 2022 mkr		Sverige	Stor- britannien	Norge	Finland	Neder- länderna	Övriga länder	Summa
<b>Poster i balansräkningen</b>								
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		100 413	99 872	8 962	14	136 740	129 873	475 882
Övrig utlåning till centralbanker	Nr K15	3 348	1 256	-	28 015	-	-	32 620
Utlåning till övriga kreditinstitut	Nr K16	7 550	810	81	5	295	675	9 415
Utlåning till allmänheten	Nr K17	1 649 321	239 208	318 242	155 981	96 208	10 364	2 489 324
Belåningsbara statskuldförbindelser m m	Nr K18	132 778	-	-	-	-	-	132 778
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nr K18	32 697	-	-	-	-	0	32 697
Derivatinstrument	Nr K22	36 112	-	-	-	50	99	36 261
<b>Summa</b>		<b>1 962 219</b>	<b>341 145</b>	<b>327 285</b>	<b>184 015</b>	<b>293 902</b>	<b>141 011</b>	<b>3 188 977</b>
<b>Poster utanför balansräkningen</b>								
Eventuallöppliktaler	Nr K44	338 750	48 511	65 178	34 619	2 694	29 337	520 089
varav ansvarsförbindelser		29 029	6 104	4 727	4 730	97	16 175	60 975
varav åtaganden		309 650	42 407	61 451	29 889	2 596	13 160	459 114
<b>Summa</b>		<b>338 750</b>	<b>48 511</b>	<b>65 178</b>	<b>34 619</b>	<b>2 694</b>	<b>29 337</b>	<b>520 089</b>
<b>Summa poster i och utanför balansräkningen</b>		<b>2 300 969</b>	<b>389 656</b>	<b>393 463</b>	<b>218 634</b>	<b>296 596</b>	<b>170 348</b>	<b>3 709 086</b>

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgruppen Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäkring. I jämförelsesiffrorna ingår även Danmark, se not K14.

Kreditspöneringar Geografisk fördelning 2021 mkr		Sverige	Stor- britannien	Norge	Danmark	Finland	Neder- länderna	Övriga länder	Summa
<b>Poster i balansräkningen</b>									
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		93 293	101 195	4 579	28 282	120 098	27 315	65 202	439 954
Övrig utlåning till centralbanker	Nr K15	-	1 255	-	207	-	-	0	1 462
Utlåning till övriga kreditinstitut	Nr K16	19 684	1 043	170	36	57	168	680	21 838
Utlåning till allmänheten	Nr K17	1 540 763	246 470	289 075	1 111 380	141 430	75 605	9 105	2 413 829
Belåningsbara statskuldförbindelser m m	Nr K18	100 538	-	-	24	-	-	0	100 562
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nr K18	33 317	-	-	17	-	-	0	33 334
Derivatinstrument	Nr K22	28 416	-	-	37	-	7	58	28 518
<b>Summa</b>		<b>1 816 011</b>	<b>349 963</b>	<b>293 824</b>	<b>130 983</b>	<b>261 685</b>	<b>103 005</b>	<b>75 045</b>	<b>3 039 507</b>
<b>Poster utanför balansräkningen</b>									
Eventuallöppliktaler	Nr K44	350 973	48 922	59 932	31 938	33 633	5 819	27 056	558 273
varav ansvarsförbindelser		39 440	5 630	4 821	7 838	4 707	77	15 193	71 756
varav åtaganden		317 533	43 292	55 111	24 100	28 926	5 742	11 863	486 517
<b>Summa</b>		<b>350 973</b>	<b>48 922</b>	<b>59 932</b>	<b>31 938</b>	<b>33 633</b>	<b>5 819</b>	<b>27 056</b>	<b>558 273</b>
<b>Summa poster i och utanför balansräkningen</b>		<b>2 166 984</b>	<b>398 885</b>	<b>353 756</b>	<b>172 921</b>	<b>295 318</b>	<b>108 824</b>	<b>102 101</b>	<b>3 597 780</b>

Med geografisk fördelning avses del land där exponeringarna är redovisade.

Tabell ÅR7 Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, geografisk fördelning

Utlåning till allmänheten Geografisk fördelning 2022 mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3	
Sverige	1 592 592	55 507	2 341	-212	-362	-545	1 649 321
Storbritannien	222 246	16 063	1 210	-117	-144	-50	239 208
Norge	306 285	11 715	587	-71	-125	-150	318 242
Finland	147 995	7 053	1 502	-62	-77	-471	155 981
Nederländerna	95 390	825	12	-11	-4	-4	96 208
Övriga länder	10 203	146	64	-2	-10	-37	10 364
<b>Summa</b>	<b>2 374 713</b>	<b>91 349</b>	<b>6 716</b>	<b>-475</b>	<b>-722</b>	<b>-1 267</b>	<b>2 489 324</b>

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgruppen Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäkring. I jämförelsesiffrorna ingår även Danmark, se not K14.

Utlåning till allmänheten Geografisk fördelning 2021 mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3	
Sverige	1 509 172	30 461	2 331	-173	-297	-761	1 540 763
Storbritannien	232 774	12 717	1 253	-60	-117	-97	246 470
Norge	275 208	12 975	1 567	-47	-109	-519	289 075
Danmark	108 295	2 982	424	-39	-95	-187	111 380
Finland	135 685	4 601	1 765	-65	-67	-489	141 430
Nederländerna	75 056	556	11	-10	-4	-3	75 605
Övriga länder	9 005	68	70	-1	-1	-37	9 105
<b>Summa</b>	<b>2 345 198</b>	<b>64 390</b>	<b>7 421</b>	<b>-395</b>	<b>-690</b>	<b>-2 093</b>	<b>2 413 829</b>

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

balansräkningsposter. I avsnittet Kapitalkrav för kreditrisker presenteras kreditportföljen med utgångspunkt från CAP.

Med utgångspunkt från koncernbalansräkningen kategoriseras krediter i utlåning till allmänhet respektive utlåning till kreditinstitut samt poster utanför balansräkningen fördelade på produkttyp. När begreppet exponering används avses summan av poster i och utanför balansräkningen. Utlåning till allmänheten är den dominerande posten. Se tabell ÅR.6 Kreditexponeringar Geografisk fördelning.

Handelsbanken eftersträvar att dess historiskt låga kreditförlustnivå i förhållande till andra

banker ska bestå och därmed bidra till Handelsbankens lönsamhetsmål samt till att bibehålla en god finansiell ställning. Handelsbanken granskar kontinuerligt kreditportföljens kvalitet i syfte att identifiera och begränsa nedskrivningsbehov. Banken strävar vid kreditgivning aldrig efter att uppnå bestämda volymer eller marknadsandelar inom olika branscher eller dylikt, utan banken ska vara selektiv i kundvalet och kreditkunderna ska vara av hög kvalitet. Kvalitetskravet får aldrig åsidosättas för att nå hög kreditvolym. Det här framgår av bankens kreditpolicy som årligen fastställs av styrelsen.

Med anledning av Rysslands invasion av Ukraina och det försämrade makroekonomiska läge som det har lett till, har det under året gjorts djupare analyser av påverkan på kreditportföljen. Analyserna visar inte på någon signifikant omedelbar ökning av kreditrisken men dock generellt en ökad osäkerhet vilket återspeglas i en ökning av de modellbaserade reserveringarna i steg 1 och steg 2.

Banken har utfört olika klimatscenarier gjord analyser av fysiska klimatrisker i kreditportföljens fastighetsexponeringar i Sverige. Dessa har indikerat en mycket begränsad påverkan.

Tabell ÅR.8 Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprovning, fördelad per sektor och bransch

Utlåning till allmänheten Fördelad per sektor och bransch 2022 mil	Brutto			Reserver			Netto
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3	
Privatpersoner	1 163 854	42 542	3 078	-161	-133	-568	1 208 622
varav hypotekslån	983 183	33 865	1 162	-35	-32	-38	1 018 105
varav övriga lån säkerställda i bostad	144 073	6 231	912	-38	-44	-90	1 51 744
varav övriga lån till privatpersoner	36 608	1 746	1 004	-88	-57	-440	38 773
Bostadsrättsföreningar	287 299	1 093	38	-9	-2	-8	289 251
varav hypotekslån	262 117	955	11	-5	0	-6	263 072
Fastighetsförvaltning	705 567	27 035	1 434	-109	-105	-124	733 698
Tillverkningsindustri	34 186	2 807	49	-30	-116	-26	36 870
Handel	39 858	649	104	-13	-10	-56	40 532
Hotell- och restaurangverksamhet	4 296	1 978	19	-5	-30	-7	6 251
Person- och godstransport till sjöss	2 581	11	221	-2	-2	-77	2 732
Övrig transport och kommunikation	8 599	1 088	36	-17	-36	-33	9 637
Byggnadsverksamhet	17 219	3 549	119	-65	-175	-72	20 575
Elektricitet, gas och vatten	15 331	968	4	-5	-2	-3	16 298
Jordbruk, jakt och skogsbruk	19 997	2 223	40	-25	-75	-14	22 146
Övrig serviceverksamhet	21 030	577	180	-14	-7	-139	21 627
Holding-, investment- och försäkringsbolag, fonder m.m.	32 820	5 748	34	-9	-14	-24	38 555
Stat och kommun	4 520	84	-	0	-1	-	4 603
varav Årsgälden	1 585	-	-	-	-	-	1 585
Övrig företagsutlåning	17 546	157	360	-11	-14	-106	17 932
Summa	2 374 713	91 349	6 716	-475	-722	-1 257	2 469 334

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgruppen Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller fördråning. I jämförelseffterna ingår även Danmark, se not K14.

Utlåning till allmänheten Fördelad per sektor och bransch 2021 mil	Brutto			Reserver			Netto
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3	
Privatpersoner	1 219 581	16 898	3 057	-159	-107	-758	1 238 452
varav hypotekslån	1 022 645	12 832	1 021	-30	-20	-52	1 086 396
varav övriga lån säkerställda i bostad	154 163	2 677	911	-10	-7	-144	1 57 590
varav övriga lån till privatpersoner	42 773	1 329	1 125	-119	-80	-562	44 466
Bostadsrättsföreningar	266 467	931	22	-7	-2	-11	267 400
varav hypotekslån	245 393	515	11	-3	0	-7	245 900
Fastighetsförvaltning	643 423	32 704	1 734	-96	-207	-237	677 321
Tillverkningsindustri	21 106	1 735	65	-12	-13	-30	22 842
Handel	30 086	760	387	-19	-41	-94	31 079
Hotell- och restaurangverksamhet	3 933	4 086	59	-5	-137	-5	8 831
Person- och godstransport till sjöss	2 369	604	1 205	-1	-8	-468	3 701
Övrig transport och kommunikation	7 864	325	85	-10	-14	-63	8 187
Byggnadsverksamhet	17 873	852	135	-23	-16	-73	18 748
Elektricitet, gas och vatten	11 375	1 204	5	-4	-9	-3	12 568
Jordbruk, jakt och skogsbruk	22 029	979	73	-13	-11	-31	23 026
Övrig serviceverksamhet	16 296	1 501	116	-20	-38	-91	17 764
Holding-, investment- och försäkringsbolag, fonder m.m.	60 868	634	177	-16	-10	-125	61 528
Stat och kommun	7 395	89	-	-	-1	-	7 393
varav Årsgälden	2 173	-	-	-	-	-	2 173
Övrig företagsutlåning	14 621	248	301	-10	-76	-95	14 969
Summa	2 348 198	84 300	7 421	-395	-690	-2 093	2 413 820

## K2 Forts

## Säkerheter

I bankens kreditpolicy framgår att krediter normalt ska vara betryggande säkerställda. En svag återbetalningsförmåga kan aldrig kompenseras med att banken erbjuder goda säkerheter. Säkerheter kan dock reducera bankens förlust väsentligt om kredittagaren inte kan fullfölja sina förpliktelser.

Banken begränsar kreditrisken genom att bland annat ta in säkerheter från kunderna. De främsta sätten att reducera kreditrisk i banken är pantsättning av fast egendom såsom bostadsfastigheter och övriga fastigheter, företagshypotek, garantier (inklusive borgen) och användning av nettningsavtal (se vidare Motpartsrisker).

Grundprincipen vid fastighetsfinansiering är att krediter ska vara säkerställda med pant i fastigheter. För exponeringar med fastigheter som säkerhet beräknas en belåningsgrad, Loan To Value (LTV), genom att dividera kreditexponeringen med säkerhetens marknadsvärde. Bankens följer interna rekommendationer och externa regelverk som bland annat begränsar

Tabell ÅR9 Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, geografisk fördelning per sektor och bransch

Utlåning till allmänheten Geografisk fördelning per sektor och bransch 2022 mkr	Sverige	Storbritannien	Norge	Finland	Nederländerna	Övriga länder	Summa
<b>Privatpersoner</b>	987 527	72 598	119 177	44 116	28 567	6 637	1 208 622
varav hypotekslån	506 953	-	92 486	18 686	-	-	1 018 105
varav övriga lån säkerställda i bostad	4 955	68 738	24 711	18 895	28 234	6 236	151 744
varav övriga lån privatpersoner	25 619	3 865	1 980	6 565	343	401	38 773
<b>Bostadsrättsföreningar</b>	213 411	-	28 818	47 022	-	-	289 251
varav hypotekslån	204 739	-	27 855	30 426	-	-	263 020
<b>Fastighetsförvaltning</b>	323 824	147 982	142 876	51 322	66 665	1 029	733 698
<b>Tillverkningsindustri</b>	27 147	1 560	2 896	3 219	3	2 045	36 870
<b>Handel</b>	32 960	2 730	4 033	427	8	374	40 532
Hotell- och restaurangverksamhet	2 331	3 566	320	29	5	-	6 251
Person- och godstransport till sjöss	2 305	7	152	268	-	-	2 732
Övrig transport och kommunikation	6 035	439	1 941	672	549	1	9 637
Byggnadsverksamhet	8 346	1 955	9 588	650	31	5	20 575
Elektricitet, gas och vatten	9 407	310	2 945	3 520	111	-	16 293
Jordbruk, jakt och skogsbruk	20 303	1 394	274	158	-	17	22 146
Övrig serviceverksamhet	13 737	4 193	2 795	795	64	43	21 627
Holding-, investmant-, försäkringsbolag, fonder m.m.	34 739	2 350	605	644	153	4	38 555
Stat och kommun	1 249	-	295	3 010	-	49	4 603
varav Riksgälden	1 566	-	-	-	-	-	1 566
Övrig företagsutlåning	15 940	124	1 527	129	52	160	17 932
<b>Nettoutlåning till allmänheten</b>	<b>1 640 321</b>	<b>230 208</b>	<b>318 242</b>	<b>156 981</b>	<b>98 208</b>	<b>10 384</b>	<b>2 460 324</b>
varav totalreservering för förväntade kreditförluster (Steg 1-3)	- 1 119	- 311	- 347	- 609	- 19	- 49	- 2 454
<b>Bruttoutlåning till allmänheten</b>	<b>1 639 202</b>	<b>230 519</b>	<b>318 589</b>	<b>156 372</b>	<b>98 227</b>	<b>10 413</b>	<b>2 457 870</b>

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgruppen Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäkring. I jämförelseiffrorna ingår även Danmark, se not K14.

Utlåning till allmänheten Geografisk fördelning per sektor och bransch 2021 mkr	Sverige	Storbritannien	Norge	Danmark	Finland	Nederländerna	Övriga länder	Summa
<b>Privatpersoner</b>	915 223	75 951	112 312	62 773	42 988	22 780	6 430	1 238 457
varav hypotekslån	881 747	-	86 240	49 801	18 608	-	-	1 036 396
varav övriga lån säkerställda i bostad	5 974	72 284	23 949	9 119	18 046	22 426	5 812	157 590
varav övriga lån privatpersoner	27 502	3 687	2 123	3 853	6 329	354	618	44 466
<b>Bostadsrättsföreningar</b>	201 084	-	25 635	906	39 775	-	-	267 400
varav hypotekslån	1 95 386	-	25 028	-	25 545	-	-	245 900
<b>Fastighetsförvaltning</b>	278 288	149 495	127 276	23 834	46 112	51 460	856	677 321
<b>Tillverkningsindustri</b>	8 885	1 689	1 435	8 347	1 372	3	1 111	22 842
<b>Handel</b>	22 514	3 358	3 657	844	709	12	5	31 079
Hotell- och restaurangverksamhet	2 986	3 783	290	1 723	43	6	-	8 831
Person- och godstransport till sjöss	1 613	15	1 206	3	864	-	-	3 701
Övrig transport och kommunikation	4 459	1 281	968	321	592	565	1	8 187
Byggnadsverksamhet	6 943	2 146	7 204	1 869	570	16	-	18 748
Elektricitet, gas och vatten	5 543	290	3 946	48	2 638	103	-	12 568
Jordbruk, jakt och skogsbruk	20 884	1 469	274	229	150	8	12	23 026
Övrig serviceverksamhet	8 113	4 682	2 676	1 508	715	68	2	17 764
Holding-, investmant-, försäkringsbolag, fonder m.m.	47 702	2 058	1 320	9 527	881	547	408	61 528
Stat och kommun	3 446	-	286	0	3 661	-	-	7 393
varav Riksgälden	2 173	-	-	-	-	-	-	2 173
Övrig företagsutlåning	13 080	253	610	448	365	38	195	14 989
<b>Nettoutlåning till allmänheten</b>	<b>1 640 783</b>	<b>248 470</b>	<b>289 075</b>	<b>111 380</b>	<b>141 430</b>	<b>76 806</b>	<b>9 106</b>	<b>2 413 829</b>
varav totalreservering för förväntade kreditförluster (Steg 1-3)	- 1 231	- 274	- 675	- 321	- 621	- 17	- 39	- 3 178
<b>Bruttoutlåning till allmänheten</b>	<b>1 641 014</b>	<b>248 744</b>	<b>289 750</b>	<b>111 701</b>	<b>142 051</b>	<b>76 823</b>	<b>9 145</b>	<b>2 416 007</b>

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

hur mycket som är möjligt att låna med fastighet som säkerhet. Säkerheternas värde kontrolleras noggrant och baseras på ett uppskattat marknadsvärde. Om marknadsvärdet bedöms ha sjunkit och värdet på panten har försämrats sker kontroll oftare. Bankens instruktioner avseende säkerheter har inte förändrats efter införandet av IFRS 9. Då det som regel blir aktuellt att ta säkerheter i anspråk först sedan kredittagaren drabbats av allvarliga betalingssvårigheter inriktas värderingen av säkerheter på det värde säkerheterna förväntas ha vid en försälj-

ning under ogynnsamma omständigheter i samband med en obeständssituation.

Vid långfristiga kreditåtaganden utan säkerhet till företag artalar banken ofta med kunden om särskilda kreditvillkor som ger rätt till omförhandling eller uppsägning vid ogynnsam utveckling.

Under speciella omständigheter kan banken köpa kreditderivat eller finansiella garantier som kreditriskskydd för fordringar. Detta förekommer dock inte inom bankens ordinarie kreditgivning.

En mindre del av utlåningen till kreditinstitut är omvända repor. En omvänd repa är en återköptransaktion som innebär att banken repa in (köper) räntebärande värdepapper eller aktier med särskild överenskommelse att värdepappret ska säljas tillbaka till ett visst pris vid en viss tidpunkt. Omvända repor betraktas av banken som säkerställd utlåning.

Säkerheterna specificerade i tabellerna nedan är endast sådana som används i kapitalkravsberäkningen för kreditrisker.

Tabell A R:10 Kreditexponeringar, fördelad per säkerhet

Kreditriskexponeringar Fördelad per säkerhet 2022 mkr	Bostads- fastigheter <sup>1</sup>	Övriga fastigheter	Stat, kommun och landsting <sup>2</sup>	Borgen <sup>3</sup>	Finansiella säkerheter	Objekt säkerheter	Övriga säkerheter	Blanko	Summa
<b>Poster i balansräkningen</b>									
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	-	-	475 882	-	-	-	-	-	475 882
Övrig utlåning till centralbanker	När K15	-	32 620	-	-	-	-	-	32 620
Utlåning till övriga kreditinstitut	När K16	-	-	-	-	-	-	9 415	9 415
Utlåning till allmänheten	När K17	1 811 762	381 614	48 207	12 536	14 056	21 446	9 787	1 699 316
Befäringssbara statskuldförbindelser m m	När K18	-	-	130 416	-	-	-	2 362	132 778
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	När K18	-	-	6 461	815	-	-	30 032	32 607
Derivatinstrument	När K22	189	354	3 361	223	86	-	32 048	36 261
<b>Summa</b>		<b>1 811 951</b>	<b>381 968</b>	<b>606 947</b>	<b>13 574</b>	<b>14 142</b>	<b>21 446</b>	<b>9 787</b>	<b>3 188 677</b>
<b>Poster utanför balansräkningen</b>									
Eventuella förpliktelser	När K44	77 835	55 377	28 756	4 998	11 805	733	8 464	332 121
varav ansvarsförbindelser		743	1 223	2 148	1 357	935	-	866	53 703
varav dotterbolag		77 092	54 154	26 608	3 641	10 870	733	7 598	278 418
<b>Summa</b>		<b>77 835</b>	<b>55 377</b>	<b>28 756</b>	<b>4 998</b>	<b>11 805</b>	<b>733</b>	<b>8 464</b>	<b>332 121</b>
<b>Summa poster i och utanför balansräkningen</b>		<b>1 889 786</b>	<b>437 345</b>	<b>725 703</b>	<b>18 572</b>	<b>25 947</b>	<b>22 179</b>	<b>18 251</b>	<b>3 700 068</b>

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgruppen Finland som i balansräkningen omklassificerats till tillgångar som innehåller försäljning. I jämförelsen för omringling är även Danmark, se not K14.

Kreditriskexponeringar Fördelad per säkerhet 2021 mkr	Bostads- fastigheter <sup>1</sup>	Övriga fastigheter	Stat, kommun och landsting <sup>2</sup>	Borgen <sup>3</sup>	Finansiella säkerheter	Objekt säkerheter	Övriga säkerheter	Blanko	Summa
<b>Poster i balansräkningen</b>									
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	-	-	439 954	-	-	-	-	-	439 954
Övrig utlåning till centralbanker	När K15	-	1 462	-	-	-	-	-	1 462
Utlåning till övriga kreditinstitut	När K16	-	15	-	-	-	-	21 823	21 838
Utlåning till allmänheten	När K17	1 794 921	352 383	47 978	9 901	20 025	22 312	8 919	1 579 300
Befäringssbara statskuldförbindelser m m	När K18	-	-	99 252	-	-	-	1 310	100 562
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	När K18	-	-	117	818	-	-	32 300	33 334
Derivatinstrument	När K22	833	1 541	1 947	65	150	-	23 982	28 518
<b>Summa</b>		<b>1 795 754</b>	<b>353 924</b>	<b>500 735</b>	<b>10 784</b>	<b>20 175</b>	<b>22 312</b>	<b>8 919</b>	<b>3 090 507</b>
<b>Poster utanför balansräkningen</b>									
Eventuella förpliktelser	När K44	100 836	59 444	34 269	6 577	15 491	674	9 390	331 592
varav ansvarsförbindelser		4 337	1 284	1 910	1 868	1 046	-	910	60 401
varav dotterbolag		96 499	58 160	32 359	4 709	14 445	674	8 480	271 191
<b>Summa</b>		<b>100 836</b>	<b>59 444</b>	<b>34 269</b>	<b>6 577</b>	<b>15 491</b>	<b>674</b>	<b>9 390</b>	<b>331 592</b>
<b>Summa poster i och utanför balansräkningen</b>		<b>1 896 590</b>	<b>413 368</b>	<b>625 004</b>	<b>17 361</b>	<b>35 666</b>	<b>22 986</b>	<b>18 309</b>	<b>3 097 780</b>

<sup>1</sup> Inklusiva bostadsrätter.

<sup>2</sup> Avser direkta stats- och kommunexponeringar samt statsgarantier.

<sup>3</sup> Inkluderar ej statsgarantier.

## K2 Forts

Tabell ÅR:11 Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelad per säkerhet

mkr		2022					
		Brutto			Reserver		
		Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
<b>Poster i balansräkningen</b>							
	Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	475 863	-	-	0	-	-
	Stat, kommun och landsting <sup>1</sup>	475 863	-	-	0	-	-
	Övrig utlåning till centralbanker	32 620	-	-	0	-	-
	Stat, kommun och landsting <sup>2</sup>	32 620	-	-	0	-	-
	Utlåning till övriga kreditinstitut	9 418	1	-	-2	-1	-
	Stat, kommun och landsting <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-
	Borgen <sup>3</sup>	-	-	-	-	-	-
	Blanko	9 418	1	-	-2	-1	-
	Utlåning till allmänheten	2 374 713	91 349	5 716	-475	-722	-1 257
	Bostadsfastigheter <sup>1</sup>	1 754 173	55 422	2 708	-153	-188	-200
	Övriga fastigheter	360 572	20 728	769	-113	-208	-134
	Stat, kommun och landsting <sup>2</sup>	45 921	1 936	360	-4	-6	-
	Borgen <sup>3</sup>	12 311	243	1	-3	-16	-
	Finansiella säkerheter	13 804	258	1	-4	-3	-
	Objekt	10 719	1 836	45	-45	-94	-15
	Övriga säkerheter	8 937	875	310	-22	-82	-231
	Blanko	150 276	10 051	1 522	-131	-125	-677
	Belåningsbara statskuldförbindelser m m	200	-	-	0	-	-
	Obligationer och andra räntebärande värdepapper	9 882	-	-	-2	-	-
	<b>Summa</b>	<b>2 902 698</b>	<b>91 350</b>	<b>5 716</b>	<b>-480</b>	<b>-723</b>	<b>-1 257</b>
<b>Poster utanför balansräkningen</b>							
	Eventuella förpliktelseer	314 598	12 833	274	-103	-160	-82
	varav ansvarförbindelser	58 273	1 035	67	-6	-11	-19
	Bostadsfastigheter <sup>1</sup>	695	43	5	0	0	-1
	Övriga fastigheter	970	252	-	0	-3	-
	Stat, kommun och landsting <sup>2</sup>	2 096	47	5	0	0	0
	Borgen <sup>3</sup>	1 030	326	-	0	-1	-
	Finansiella säkerheter	840	91	3	0	-1	0
	Objekt	-	-	-	-	-	-
	Övriga säkerheter	711	139	17	-1	-2	-5
	Blanko	52 631	1 037	37	-5	-4	-13
	varav tillgången	255 673	10 598	207	-97	-158	-63
	Bostadsfastigheter <sup>1</sup>	74 461	2 597	34	-21	-12	-20
	Övriga fastigheter	53 086	1 054	4	-10	-18	0
	Stat, kommun och landsting <sup>2</sup>	26 591	16	-	0	-1	-
	Borgen <sup>3</sup>	3 538	103	-	-1	-4	-
	Finansiella säkerheter	10 842	28	-	0	0	-
	Objekt	710	22	-	-2	-3	-
	Övriga säkerheter	6 719	863	16	-10	-48	-2
	Blanko	79 666	5 905	153	-53	-72	-41
	<b>Summa</b>	<b>314 598</b>	<b>12 833</b>	<b>274</b>	<b>-103</b>	<b>-160</b>	<b>-82</b>
	<b>Summa poster i och utanför balansräkningen</b>	<b>3 217 272</b>	<b>103 883</b>	<b>5 990</b>	<b>-583</b>	<b>-892</b>	<b>-1 339</b>

<sup>1</sup> Inklusiva bostadsrätter.<sup>2</sup> Avser direkta stats- och kommunexponeringar samt statsgarantier.<sup>3</sup> Inkluderar ej statsgarantier.

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgruppen Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäkring. I jämförelsesiffrorna ingår även Danmark, se not K14.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivning fördelad per säkerhet 2021

nr		2021					
		Brutto			Reserver		
		Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
<b>Poster i balansräkningen</b>							
	Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	439 932	-	-	0	-	-
	Stat, kommun och landsting <sup>1</sup>	439 932	-	-	0	-	-
	Övrig utlåning till centralbanker	1 462	-	-	-	-	-
	Stat, kommun och landsting <sup>1</sup>	1 462	-	-	-	-	-
	Utlåning till övriga kreditinstitut	21 838	10	-	-2	-3	-
	Stat, kommun och landsting <sup>1</sup>	15	-	-	-	-	-
	Borgen <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-
	Blanko	21 818	10	-	-2	-3	-
	Utlåning till allmänheten	2 346 106	84 300	7 421	-305	-600	-2 008
	Bostadsfastigheter <sup>1</sup>	1 768 368	24 534	2 533	-101	-93	-320
	Övriga fastigheter	323 470	28 049	1 447	-85	-247	-251
	Stat, kommun och landsting <sup>1</sup>	45 980	1 674	334	-3	-7	0
	Borgen <sup>2</sup>	8 952	953	6	-3	-7	-
	Finansiella säkerheter	19 474	566	1	-5	-11	0
	Objekt	21 294	1 087	49	-44	-59	-15
	Övriga säkerheter	7 779	1 126	363	-23	-54	-272
	Blanko	149 879	6 401	2 688	-131	-212	-1 235
	Bekräftade statskuldförbindelser m m	421	-	-	-	-	-
	Skuldförbindelser och andra räntebärande värdepapper	9 016	-	-	-2	-	-
	<b>Summa</b>	<b>2 817 860</b>	<b>84 400</b>	<b>7 421</b>	<b>-309</b>	<b>-603</b>	<b>-2 008</b>
<b>Poster utanför balansräkningen</b>							
	Eventuallånpfiktaler	408 024	9 477	398	-109	-144	-91
	varav ansvarsförbindelser	70 375	1 265	116	-9	-10	-39
	Bostadsfastigheter <sup>1</sup>	4 242	87	8	-5	-1	-3
	Övriga fastigheter	1 216	86	3	-1	-1	-
	Stat, kommun och landsting <sup>1</sup>	1 831	69	10	0	0	-
	Borgen <sup>2</sup>	1 778	90	0	0	0	-
	Finansiella säkerheter	959	83	5	0	-1	-
	Objekt	-	-	-	-	-	-
	Övriga säkerheter	905	77	28	0	-2	-17
	Blanko	59 544	793	62	-3	-5	-19
	varav återgåenden	335 649	8 212	220	-100	-134	-52
	Bostadsfastigheter <sup>1</sup>	95 531	937	31	-15	-5	-13
	Övriga fastigheter	56 618	1 527	15	-7	-14	-
	Stat, kommun och landsting <sup>1</sup>	31 967	392	-	0	0	-
	Borgen <sup>2</sup>	4 522	187	0	-1	-1	-
	Finansiella säkerheter	14 079	366	-	-1	-4	-
	Objekt	668	6	-	-1	0	-
	Övriga säkerheter	7 647	814	19	-11	-31	-3
	Blanko	124 617	3 983	155	-64	-79	-36
	<b>Summa</b>	<b>408 024</b>	<b>9 477</b>	<b>398</b>	<b>-109</b>	<b>-144</b>	<b>-91</b>
	<b>Summa poster i och utanför balansräkningen</b>	<b>3 223 884</b>	<b>73 877</b>	<b>7 767</b>	<b>-608</b>	<b>-837</b>	<b>-2 194</b>

<sup>1</sup> Inklusiva bostadsrätter.<sup>2</sup> Avser direkta stats- och kommunexponeringar samt statsgarantier.<sup>3</sup> Inkluderar ej statsgarantier.

## K2 Forts

## Kreditriskkoncentrationer

Handelsbankens kontor är starkt fokuserade på att etablera långsiktiga relationer med kunder som har hög kreditvärdighet. Om ett kontor identifierar en bra kund ska kontoret kunna göra affärer med kunden oavsett om banken som helhet har en stor exponering mot den bransch som kunden representerar. Som en konsekvens av det har banken relativt stora koncentrationer i enskilda sektorer. Banken följer dock kreditportföljens utveckling och kvalitet och beräknar koncentrationer mot olika typer av branscher och geografiska områden. Banken mäter och följer också exponeringar mot större enskilda motparter. Särskilda limiter tillämpas för att begränsa den maximala kreditexponeringen mot enskilda motparter som ett komplement till kreditriskbedömningen. Om en koncentration i kreditportföljen avseende sek-

tor eller motpart kan antas utgöra en förhöjd risk, följs denna koncentration upp. Koncentrationsrisker fångas upp i bankens beräkning av ekonomiskt kapital för kreditrisker och i de stresstester som görs i den interna kapitalutvärderingen och som en del av uppföljningen av bankens risktolerans. Finansinspektionen beräknar också ett särskilt kapitalkravspåslag i Pelare 2 för koncentrationsrisker i kreditportföljen. Därigenom säkerställs att banken är väl kapitaliserad med hänsyn också till koncentrationsrisker. Om koncentrationsriskerna skulle bedömas vara för stora har banken både möjlighet och förmåga att vidta olika riskreducerande åtgärder.

Handelsbanken har, utöver bolån och utlåning till bostadsrättsföreningar, en betydande utlåning till fastighetsförvaltning om 734 mdr (677). Med fastighetsförvaltning avses här alla företag som

riskklassificeras som fastighetsbolag. Det är vanligt förekommande att koncerner verksamma i andra branscher har dotterbolag som förvaltar de fastigheter som koncernen bedriver verksamhet i, och även sådana fastighetsbolag anses här tillhöra fastighetsförvaltning. Den underliggande kreditrisken i sådana fall är dock inte enbart fastighetsrelaterad eftersom motpartens återbetalningsförmåga bestäms av annan verksamhet än fastighetsförvaltningen. Därutöver riskklassificeras privatpersoner med större fastighetsinnehav som fastighetsbolag.

En mycket stor del av fastighetsutlåningen är säkerställd i fastigheter med låg belåningsgrad vilket minskar bankens risk för kreditförluster. En stor del av fastighetsutlåningen sker dessutom till statliga fastighetsbolag, kommunala bostadsbolag och annan bostadsrelaterad verksamhet där låntagarna genomgående har

Tabell ÅR:12 Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, Fastighetsförvaltning

Utlåning till allmänheten Fastighetsförvaltning 2022 mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3	
<b>Utlåning i Sverige</b>							
Statligt ägda fastighetsbolag	11 198	-	-	0	-	-	11 198
Kommunalt ägda fastighetsbolag	8 212	-	-	0	-	-	8 212
Bostadsfastighetsbolag	148 992	3 851	22	-6	-5	-8	152 846
varav hypotekslån	137 576	3 667	18	-5	-5	-4	141 247
Övrig fastighetsförvaltning	145 098	6 376	171	-15	-15	-47	151 568
varav hypotekslån	77 194	1 656	32	-3	-4	0	78 875
<b>Summa</b>	<b>313 500</b>	<b>10 227</b>	<b>193</b>	<b>-21</b>	<b>-20</b>	<b>-66</b>	<b>323 824</b>
<b>Utlåning utanför Sverige</b>							
Storbritannien	138 506	8 972	647	-51	-80	-32	147 982
Norge	138 171	4 684	62	-22	-10	-9	142 876
Finland	48 458	2 383	521	-5	-12	-23	51 322
Nederländerna	65 913	765	-	-10	-3	-	66 665
Övriga länder	1 019	4	11	0	0	-5	1 029
<b>Summa</b>	<b>392 067</b>	<b>18 808</b>	<b>1 241</b>	<b>-88</b>	<b>-85</b>	<b>-69</b>	<b>400 874</b>
<b>Summa fastighetsförvaltning inom utlåning till allmänheten</b>	<b>705 567</b>	<b>27 035</b>	<b>1 434</b>	<b>-100</b>	<b>-105</b>	<b>-124</b>	<b>733 608</b>

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgruppen Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller försläpning. I jämförelsefallena ingår även Danmark, se not K14.

Utlåning till allmänheten Fastighetsförvaltning 2021 mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3	
<b>Utlåning i Sverige</b>							
Statligt ägda fastighetsbolag	7 894	14	-	0	0	-	7 908
Kommunalt ägda fastighetsbolag	8 174	160	-	0	0	-	8 334
Bostadsfastighetsbolag	128 135	1 713	43	-5	-5	-7	129 874
varav hypotekslån	115 843	1 613	18	-4	-4	-4	117 462
Övrig fastighetsförvaltning	119 415	12 676	250	-11	-57	-101	132 172
varav hypotekslån	63 522	3 130	21	-3	-8	-3	66 659
<b>Summa</b>	<b>263 618</b>	<b>14 663</b>	<b>293</b>	<b>-16</b>	<b>-62</b>	<b>-108</b>	<b>278 288</b>
<b>Utlåning utanför Sverige</b>							
Storbritannien	141 682	7 216	758	-38	-57	-66	149 495
Norge	120 215	7 101	41	-21	-57	-3	127 276
Danmark	23 186	594	99	-7	-13	-25	23 834
Finland	42 929	2 700	532	-5	-14	-30	46 112
Nederländerna	50 956	516	-	-9	-3	-	51 460
Övriga länder	837	14	11	0	-1	-5	856
<b>Summa</b>	<b>379 805</b>	<b>18 141</b>	<b>1 441</b>	<b>-80</b>	<b>-145</b>	<b>-129</b>	<b>399 033</b>
<b>Summa fastighetsförvaltning inom utlåning till allmänheten</b>	<b>643 423</b>	<b>32 704</b>	<b>1 734</b>	<b>-96</b>	<b>-207</b>	<b>-237</b>	<b>677 321</b>

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

starka och stabila kassaföden och därigenom mycket hög kreditvärdighet. En stor del av utlåningen till fastighetssektorn är således till bolag med mycket låg sannolikhet för finansiella svårigheter. Bankens exponering mot fastighetssektorn finns specificerad i tabeller nedan.

Andelen exponeringar hänförliga till fastighetsmotparter (fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar) som har en sämre rating än bankens riskklass 5 (normal risk) är mycket låg, 98,2% (97,8) av total fastighetsutlåning i Sverige åter-

finns i riskklass 5 eller bättre. Motsvarande uppgift avseende fastighetsutlåningen i Norge uppgår till 99,8% (99,0), och i Finland 97,8% (97,2). Storbritanniens och Nederländernas kapitalkrav beräknas med schablonmetoden som har föreskrivna riskvikter, vilket innebär att riskklasserna inte är relevanta för kapitalkravsberäkningen. Av de motparter som återfinns i sämre riskklasser än normalt återfinns huvuddelen i riskklasserna 6-7 och endast små volymer i de högre riskklasserna 8-9. För information om Handelsbankens risk-

klassificering, se not K2 avsnitt Beräkning av kapitalkrav för kreditrisker.

Handelsbankens utlåning till fastighetsbolag har under det senaste året vuxit trots att fastighetsportföljen i Danmark har avyttrats. I lokal valuta har tillväxten varit stark i Sverige, Norge och Nederländerna, medan portföljerna i Finland och Storbritannien i stort sett är oförändrade. Handelsbanken har samma strikta krav på återbetalningsförmåga, belåningsgrader och säkerhetskvalitet på samtliga marknader.

Tabell ÅR13 Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, typ av säkerhet och land (Brutto)

Utlåning till allmänheten Fastighetsförvaltning, typ av säkerhet och land	2022					2021				
	Utlåning	Stat och kommun <sup>1</sup>	Bostadsfastigheter	Kommersiella fastigheter och övriga säkerheter	Blanko	Utlåning	Stat och kommun <sup>1</sup>	Bostadsfastigheter	Kommersiella fastigheter och övriga säkerheter	Blanko
mie										
Sverige	323 920	20 052	175 288	116 708	11 877	278 474	17 310	150 555	98 134	12 475
Storbritannien	148 125	9	84 065	63 567	484	149 656	10	85 934	63 287	425
Norge	142 917	25	26 365	107 793	8 734	127 957	25	22 599	97 482	7 251
Danmark						23 879	-	14 731	8 843	305
Finland	51 362	30 041	7 225	13 890	266	46 161	25 966	6 722	13 244	229
Nederländerna	66 678	-	44 914	21 544	220	51 472	-	35 925	15 317	230
Övriga länder	1 034	-	562	459	13	862	-	479	352	31
Summa	734 036	60 127	338 414	323 901	21 594	677 861	43 311	316 946	266 699	20 946

<sup>1</sup> Bolagägda av stat och kommun/fastighetsutlåning garanterad av stat och kommun.

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgruppen Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäljning. I jämförelsesiffrorna ingår även Danmark, se not K.14.

Tabell ÅR14 Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, riskklass och land

Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, riskklass och land 2022								
mie								
Riskklass	Sverige	Storbritannien	Norge	Finland	Nederländerna	Övriga länder	Summa	%
1	17 831	-	807	13 062	-	-	31 700	4,32
2	94 409	-	35 509	5 837	-	-	135 755	18,49
3	136 834	-	62 647	18 846	-	-	218 327	29,74
4	47 862	-	31 834	8 151	-	-	87 847	11,97
5	20 273	-	11 503	4 245	-	-	36 021	4,91
6	4 972	-	216	465	-	-	5 653	0,77
7	315	-	279	113	-	-	707	0,10
8	131	-	-	41	-	-	172	0,02
9	73	-	32	6	-	-	111	0,02
Fallssemang	194	-	62	521	-	-	777	0,11
Schablonmaloden <sup>1</sup>	1 026	148 125	28	75	66 678	1 034	216 966	29,56
Summa	323 920	148 125	142 917	81 382	68 678	1 034	734 036	100

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgruppen Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäljning. I jämförelsesiffrorna ingår även Danmark, se not K.14.

Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, riskklass och land 2021

mie									
Riskklass	Sverige	Storbritannien	Norge	Danmark	Finland	Nederländerna	Övriga länder	Summa	%
1	15 300	-	818	22	13 044	-	-	29 184	4,31
2	86 418	-	29 492	1 026	7 428	-	-	124 364	18,35
3	114 156	-	61 254	10 740	13 427	-	-	199 577	29,44
4	36 186	-	25 665	9 534	7 229	-	-	78 614	11,60
5	19 278	-	8 892	2 085	3 638	-	-	33 893	5,00
6	5 010	-	797	96	465	-	-	6 368	0,94
7	533	-	353	239	231	-	-	1 356	0,20
8	96	-	7	12	41	-	-	156	0,02
9	71	-	36	18	12	-	-	137	0,02
Fallssemang	294	-	41	99	532	-	-	966	0,14
Schablonmaloden <sup>1</sup>	1 132	149 656	2	8	114	51 472	862	203 246	29,98
Summa	278 474	149 656	127 957	23 879	46 161	51 472	862	677 861	100

## K2 Forts

Tabell ÅR15 Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, riskklass och säkerhet

Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, riskklass och säkerhet 2022

mkr

Riskklass	Utlåning		Säkerhet			
		Bostads-fästigheter	Kommersiella fästigheter	Stat och kommun <sup>1</sup>	Övriga säkerheter	Blanko
1	31 700	8 322	4 811	16 608	1 094	775
2	135 755	62 315	51 154	15 876	658	5 752
3	218 327	89 223	109 973	9 855	560	8 716
4	87 847	39 326	40 008	5 334	268	2 911
5	96 021	8 908	22 977	1 628	705	1 803
6	5 653	284	4 855	378	18	118
7	707	244	408	7	35	13
8	172	70	101	-	-	1
9	111	37	56	-	7	11
Fallssemang	777	145	247	342	13	30
Schablonmetoden <sup>1</sup>	216 966	129 540	85 129	9	824	1 464
Summa	734 098	338 414	319 719	80 127	4 182	21 604

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgruppen Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning. I jämförelsesiffrorna ingår även Danmark, se not K14.

Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, riskklass och säkerhet 2021

mkr

Riskklass	Utlåning		Säkerhet			
		Bostads-fästigheter	Kommersiella fästigheter	Stat och kommun <sup>1</sup>	Övriga säkerheter	Blanko
1	29 184	8 013	3 039	17 089	262	781
2	124 364	58 878	46 589	12 634	1 223	5 040
3	199 577	86 467	95 579	7 231	744	9 556
4	78 614	30 676	41 904	4 294	219	2 121
5	33 893	9 320	20 671	1 374	622	1 906
6	6 368	489	5 442	351	17	69
7	1 356	455	264	7	6	24
8	156	41	113	-	0	2
9	137	38	68	-	7	24
Fallssemang	966	229	364	321	15	37
Schablonmetoden <sup>1</sup>	203 246	122 339	78 609	10	902	1 386
Summa	677 861	318 948	292 642	43 311	4 017	20 948

<sup>1</sup> Schablonmetoden har förekrivna riskklasser riskklasserna är därför ej relevanta.

## BERÄKNING AV KAPITALKRAV FÖR KREDITRISKER

## Riskklassificeringssystem

Kapitalkravet för kreditrisk beräknas enligt schablonmetoden och intermetoden i enlighet med förordning (EU) nr 575/2013 (CRR). Schablonmetoden innebär att riskvikterna vid beräkningen av kapitalkrav för kreditrisk är förekrivna i regelverket. Intermetoden innebär att Institut vid beräkningen av kapitalkrav för kreditrisk skattar riskparametrar genom användning av egna IRK-modeller (IRK, Intern riskklassificeringssystem). Vid tillämpningen av Intermetoden finns två olika metoder: den grundläggande Intermetoden och den avancerade Intermetoden. I den grundläggande Intermetoden beräknas sannolikhet för fallssemang (PD) med bankens egna IRK-modeller medan förlustandel vid fallssemang (LGD) och konverteringsfaktor (KF) är givna av regelverket. KF används vid beräkning av exponeringsbelopp för outhyttjade checkkrediter, kreditlöften, garantier och andra åtaganden utanför balansräkningen. I den avancerade Intermetoden beräknas utöver sannolikhet för fallssemang (PD) även LGD och KF

med bankens egna IRK-modeller. Handelsbankens interna riskklassificeringssystem (IRK), eller med andra ord Intermetoden, består av ett antal olika system, metoder, processer och rutiner som stödjer Handelsbankens klassificering och kvantifiering av kreditrisk.

Vid kreditbedömningen av kunder åsätts kunderna en rating. Den ratingen styr, tillsammans med andra riskklassificeringskriterier, hur exponeringar hänförs till Intermetodens indelning i riskklasser.

Ratingens två dimensioner är risken för finansiella påfrestande (A) och motpartens finansiella motståndskraft vid sådana påfrestande (B) i en femgradig skala från mycket låg risk till mycket hög risk.

Ratingen omvandlas till en intern riskklass vid tillämpning av Intermetoden (A+B-1) för företags- och Institutexponeringar samt för exponeringar mot stater, centralbanker, statliga myndigheter och kommuner (statsexponeringar).

Ratingen för hushållsexponeringar sätts bara i en dimension, enligt en femgradig skala, och omvandlas inte direkt till en riskklass som för företagsexponeringar, utan de olika exponering-

arna sorteras i ett antal mindre grupper, beroende på vissa faktorer. Exempel på sådana faktorer är vilken typ av kredit det gäller, motpartens betalningsskötsel och om det finns en eller flera låntagare. För var och en av de mindre grupperna beräknas en genomsnittlig fallssemangandel, och baserat på denna sorteras grupperna in i någon av de tio riskklasserna. Olika modeller används för exponeringar mot privatpersoner respektive mot småföretag (som också räknas till kategorin hushållsexponeringar), men principen är densamma.

Intermetodens riskklasser är således olika skalar mellan 1 och 10.

En klar majoritet av bankens exponeringar ligger i riskklass 1-4, vilket betyder att den genomsnittliga risken i kreditportföljen är väsentligt lägre än den nivå som bedöms vara normal risk. Riskklass 5 motsvarar normal risk och riskklass 10 avser fallerade motparter.

## Exponeringsklasser

Antalet exponeringsklasser är avhängigt vilken metod som används vid beräkning av kreditrisk. Exponeringar som ska beräknas enligt schablon-

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

metoden kan hänföras till 17 olika exponeringsklasser medan det för intermetoden finns sju exponeringsklasser.

Den övergripande indelningen i exponeringsklasser enligt intermetoden är stats-, instituts-, företags-, hushålls- och aktieexponeringar samt positioner i värdepappersfonder. Här till kommer så kallade motpartsösa exponeringar, det vill säga tillgångar där det inte krävs någon prestation från motparten, exempelvis materiella anläggningstillgångar.

Till statsexponeringar hänförs exponeringar mot stater, centralbanker, statliga myndigheter och kommuner. Till institutsexponeringar hänförs exponeringar mot motparter som är definierade såsom banker och övriga kreditinstitut samt vissa värdepappersbolag.

Hushållsexponeringar innefattar dels exponeringar mot privatpersoner, dels exponeringar mot enskilda näringsidkare och företag där den totala exponeringen inom koncernen uppgår till högst 5 mkr (exklusive bostadskrediter). Hushållsexponeringar delas upp i två undergrupper: fastighetskrediter och övriga hushållsexponeringar.

Till företagsexponeringar hänförs exponeringar mot icke-finansiella företag bestående av juridiska personer som har en total exponering inom koncernen som överstiger 5 mkr eller där företagets omsättning överstiger 50 mkr samt enskilda näringsidkare med en total exponering inom koncernen som överstiger 5 mkr. Förutom vanliga icke-finansiella företag ingår i exponeringsklassen även försäkringsbolag, bostadsrättsföreningar samt exponering i form av så kallad specialfinansiering.

Till aktieexponeringar hänförs bankens innehav i aktier som inte utgör en del av handelslagret. Vid indelningen i exponeringsklasser enligt schablonmetoden hänförs bankens volymer till någon av exponeringsklasserna multilaterala utvecklingsbanker, internationella organisationer, institut, företag, hushåll, exponering med säkerheter i fastigheter, fallerande exponeringar, övriga poster samt aktier.

## Metoder för riskklassificeringen

För att kvantifiera bankens kreditrisker beräknas sannolikhet för fallissemang (PD), exponering vid fallissemang (EAD) och förlustandel vid fallissemang (LGD). Fallissemang inträffar när kredittagaren är mer än 90 dagar försenad med en väsentlig betalning eller när banken bedömer att det är osannolikt att kredittagaren kommer

Tabell ÅR:16 Kreditexponeringar per riskklass

Riskklass	Poster i balansräkningen							Poster utanför balansräkningen		
	Utlåning till allmänheten	Utlåning till övriga kreditinstitut	Kassa och tillgångar hos centralbanker	Övrig utlåning till centralbanker	Derivat instrument	Räntebärande värdepapper	Anevarsförbindelser	Åtaganden	Summa	
										Summa
1	550 626	127	378 321	29 020	11 812	133 759	5 010	52 509	1 161 184	
2	621 664	4 470	-	-	14 179	26 544	23 626	134 449	824 932	
3	582 787	3 852	34	-	6 252	1 616	20 677	131 146	746 364	
4	236 188	4	-	-	1 397	42	7 861	41 005	276 497	
5	71 983	7	-	-	186	50	1 680	22 947	96 253	
6	17 271	1	-	-	30	-	304	4 927	21 933	
7	24 420	-	-	-	9	-	158	5 291	29 878	
8	768	-	-	-	1	-	43	2 856	3 668	
9	7 117	-	-	-	-	-	13	2 083	9 213	
Fallissemang	2 930	-	-	-	-	-	39	185	3 114	
Schablonmetoden <sup>1</sup>	364 170	954	97 527	3 600	2 395	3 464	1 564	62 316	535 900	
Summa	2 469 384	9 416	475 862	32 620	38 281	165 475	80 976	409 114	3 700 066	

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgruppen Finland som i balansräkningen omklassificerats till tillgångar som innehåller försäljning. I jämförelseifforman ingår även Danmark, se not K14.

Riskklass	Poster i balansräkningen							Poster utanför balansräkningen		
	Utlåning till allmänheten	Utlåning till övriga kreditinstitut	Kassa och tillgångar hos centralbanker	Övrig utlåning till centralbanker	Derivat instrument	Räntebärande värdepapper	Anevarsförbindelser	Åtaganden	Summa	
										Summa
1	547 778	61	439 504	1 462	8 636	101 489	5 547	56 348	1 161 225	
2	622 873	17 553	-	-	9 599	27 788	25 969	126 583	830 265	
3	563 523	1 221	60	-	4 718	2 194	16 030	148 583	736 329	
4	218 567	15	-	-	1 818	-	17 259	41 238	278 897	
5	70 963	1	-	-	508	-	3 818	29 692	104 982	
6	18 037	29	-	-	20	-	198	5 744	24 028	
7	22 310	-	-	-	6	-	251	5 420	27 987	
8	2 223	-	-	-	-	-	37	4 746	7 005	
9	7 084	-	-	-	-	-	36	2 487	9 607	
Fallissemang	3 814	-	-	-	-	-	62	2 15	4 091	
Schablonmetoden <sup>1</sup>	336 657	2 958	-	-	3 213	2 425	2 649	65 462	413 364	
Summa	2 413 820	21 838	439 564	1 462	28 818	133 806	71 788	488 617	3 097 790	

<sup>1</sup> Schablonmetoden har föreskrivna riskklasser som är därefter relevanta.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

att fullfölja sina åtaganden mot banken. PD-värdet uttrycks som ett procenttal, där exempelvis ett PD-värde på 0,5% innebär att en kredittagare av 200 med samma PD-värde väntas falla inom ett år.

Företagsexponeringarna delas in i fyra motpartstyper och statsexponeringar i två motpartstyper baserat på den affärsbedömningsmall som används för motparten. PD beräknas individuellt för varje riskklass och motpartstyp. För exponeringar som kapitaltäcks enligt den grundläggande intermetoden tillämpas föreskrivna värden för LGD. Vilket föreskrivet värde som får användas styrs av vilken säkerhet som finns för respektive exponering.

Även för hushållsexponeringar beräknas en genomsnittlig fallissemangsandel för var och en av riskklasserna. Olika modeller används för exponeringar mot privatpersoner respektive mot småföretag (som också räknas till kategorin hushållsexponeringar), men principen är densamma.

För hushållsexponeringar och för exponeringar mot företag som exempelvis medelstora företag, fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar fastställs LGD från bankens egen förlusthistorik. För exponeringar mot stora företag som kapitaltäcks med den avancerade intermetoden fastställs LGD baserat på historiska förluster och externa observationer. För hushållsexponeringar med fastighetssäkerhet i Sverige och för fastighetsexponeringar mot medelstora företag, fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar (företag) tillämpas olika LGD-värden beroende på säkerhetens belåningsgrad. För övriga exponeringar styrs LGD-värdet av faktorer som kan bero på förekomst av, och värde på, säkerhet, produkttyp eller liknande.

För varje exponeringsklass beräknas PD för var och en av de riskklasser som avser icke-fallerade motparter eller avtal. PD grundar sig på beräkningar av hur stor andelen fallissemang varit historiskt för olika typer av exponeringar. Den genomsnittliga fallissemangsandelen

justeras därefter med olika marginaler, till exempel av försiktighetskäl.

Vid fastställande av LGD beaktas att riskmättet ska återspegla förlustandelen under ekonomiskt ogynnsamma förhållanden, vilket benämns Nedgångs-LGD. För fastighetssäkerheter baseras Nedgångs-LGD på observerade förlustandelen från fastighetskrisen under början av 1990-talet. För övriga säkerheter avseende hushållsexponeringar nedgångsjusteras observerat LGD med en faktor som beror på PD och produkttyp. För företagsexponeringar inom intermetoden med egna skattningar av LGD och KF nedgångsjusteras LGD med beaktande av bankens observerade förluster under krisåren 1991-1995. För exponeringar med fastighetssäkerheter skattas LGD i många fall baserat på fastighetens belåningsgrad. Eftersom fastigheternas värde och därmed även belåningsgraden vanligtvis varierar med konjunkturen innebär detta att även kapitalkravet kommer att uppväsa ett visst konjunkturberoende.

Tabell AR-17 Poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelat per riskklass

Poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning Fördelat per riskklass 2022 mkr	Brutto			Reservar		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
<b>Riskklass</b>						
1	908 545	9 099	-	-6	-4	-
2	653 136	10 055	-	-27	-8	-
3	581 934	9 743	-	-65	-19	-
4	213 053	14 719	-	-103	-36	-
5	60 120	12 758	-	-64	-196	-
6	10 569	6 859	-	-18	-88	-
7	18 482	6 060	-	-11	-102	-
8	304	504	-	-1	-38	-
9	2 711	4 474	-	-9	-59	-
Fallissemang	-	-	3 991	-	-	-1 051
Schablonmetoden <sup>1</sup>	453 832	17 059	1 725	-176	-173	-196
<b>Summa</b>	<b>2 902 686</b>	<b>61 380</b>	<b>5 716</b>	<b>-480</b>	<b>-723</b>	<b>-1 257</b>

Tabellen ovan inkluderar avyttningsgruppen Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäkring. I jämförelsesiffrorna ingår även Danmark, se not K14.

Poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning Fördelat per riskklass 2021 mkr	Brutto			Reservar		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
<b>Riskklass</b>						
1	853 060	1 897	-	-4	-3	-
2	660 621	5 649	-	-24	-9	-
3	569 652	3 816	-	-44	-11	-
4	215 360	5 141	-	-71	-21	-
5	53 929	17 807	-	-78	-186	-
6	12 530	5 643	-	-26	-61	-
7	17 647	4 776	-	-10	-97	-
8	400	1 919	-	-2	-94	-
9	3 854	3 300	-	-18	-52	-
Fallissemang	-	-	5 641	-	-	-1 827
Schablonmetoden <sup>1</sup>	430 817	14 452	1 780	-122	-159	-256
<b>Summa</b>	<b>2 817 860</b>	<b>64 400</b>	<b>7 421</b>	<b>-309</b>	<b>-693</b>	<b>-2 098</b>

<sup>1</sup> Schablonmetoden har föreskrivits i riskklasserna där det är relevant.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

Tabell ÅR:18 Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelat per riskklass

Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning Fördelat per riskklass 2022 mkr	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
<b>Riskklass</b>						
1	541 537	9 099	-	-6	-4	-
2	611 641	10 055	-	-24	-8	-
3	573 128	9 743	-	-65	-19	-
4	211 608	14 719	-	-109	-36	-
5	58 884	12 757	-	-63	-195	-
6	10 538	6 839	-	-18	-88	-
7	18 473	6 060	-	-11	-102	-
8	303	504	-	-1	-38	-
9	2 711	4 474	-	-9	-59	-
Fallsamang	-	-	3 991	-	-	-1 061
Schablonmetoden <sup>1</sup>	345 890	17 099	1 725	-175	-173	-196
<b>Summa</b>	<b>2 374 713</b>	<b>91 949</b>	<b>6 718</b>	<b>-476</b>	<b>-722</b>	<b>-1 297</b>

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgruppen Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäkring. I jämförelsen ifråga ingår även Danmark, se not K14.

Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning Fördelat per riskklass 2021 mkr	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
<b>Riskklass</b>						
1	545 888	1 897	-	-4	-3	-
2	617 255	5 649	-	-22	-9	-
3	559 761	3 816	-	-43	-11	-
4	213 518	5 141	-	-71	-21	-
5	53 419	17 807	-	-78	-185	-
6	12 481	5 643	-	-26	-61	-
7	17 641	4 776	-	-10	-97	-
8	400	1 919	-	-2	-94	-
9	3 854	3 300	-	-18	-52	-
Fallsamang	-	-	5 641	-	-	-1 827
Schablonmetoden <sup>1</sup>	320 979	14 442	1 780	-121	-157	-266
<b>Summa</b>	<b>2 346 198</b>	<b>84 990</b>	<b>7 421</b>	<b>-306</b>	<b>-690</b>	<b>-2 008</b>

Tabell ÅR:19 Poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelat per riskklass

Poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning Fördelat per riskklass 2022 mkr	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
<b>Riskklass</b>						
1	32 621	878	-	0	0	-
2	85 928	891	-	-5	-1	-
3	82 742	987	-	-12	-1	-
4	27 190	1 690	-	-29	-7	-
5	12 760	2 533	-	-13	-51	-
6	3 893	747	-	-3	-25	-
7	3 821	1 627	-	-4	-33	-
8	2 741	157	-	-2	-9	-
9	1 950	145	-	-2	-8	-
Fallsamang	-	-	223	-	-	-82
Schablonmetoden <sup>1</sup>	60 950	2 878	51	-33	-34	0
<b>Summa</b>	<b>314 886</b>	<b>12 833</b>	<b>274</b>	<b>-103</b>	<b>-169</b>	<b>-82</b>

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgruppen Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäkring. I jämförelsen ifråga ingår även Danmark, se not K14.

Poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning Fördelat per riskklass 2021 mkr	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
<b>Riskklass</b>						
1	44 810	387	-	-1	-1	-
2	103 835	544	-	-5	-1	-
3	111 041	290	-	-9	-1	-
4	41 445	1 629	-	-16	-6	-
5	22 903	2 133	-	-29	-29	-
6	5 575	330	-	-5	-9	-
7	4 890	768	-	-5	-22	-
8	3 756	964	-	-3	-34	-
9	2 318	170	-	-4	-11	-
Fallsamang	-	-	268	-	-	-89
Schablonmetoden <sup>1</sup>	65 746	2 262	68	-32	-30	-2
<b>Summa</b>	<b>406 310</b>	<b>9 477</b>	<b>338</b>	<b>-109</b>	<b>-144</b>	<b>-91</b>

<sup>1</sup>Schablonmetoden har försäkrade risker i två riskklasserna är därför ej relevanta.

**K2 Forts**

När exponeringsbeloppet ska beräknas sker vissa justeringar av den bokförda exponeringen. Exempel på detta är kreditlöften eller revolverande krediter, där banken avtalar med kunden om att denne får låna upp till ett visst belopp i framtiden. Denna typ av åtaganden är en kreditrisk som också ska kapitaltäckas. Normalt betyder det att den beviljade krediten justeras med en viss konverteringsfaktor för den del av krediten som inte är utnyttjad vid rapporteringstillfället. När det gäller vissa produktklasser för företagsexponeringar och för institutsexponeringar är konverteringsfaktorerna bestämda av regelverket, men för hushållsexponeringar och vissa produktklasser för stora företag, medelstora företag, fastighetsbolag och boeädrätsföreningar använder banken egenberäknade konverteringsfaktorer. Vilken konverteringsfaktor som används styrs framför allt av vilken produkt som avses, men även utnyttjandegrad kan spela in.

Kapitalkravet för aktieexponeringar i Internmetoden beräknas enligt förenklad riskviktsmetod.

Riskparametrarna (PD, EAD, LGD) används förutom vid kapitalkravsberäkningen även för beräkning av kostnaden för kapital i varje enskild affär och vid beräkning av ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC).

**Jämförelse med extern rating**

Bankens riskklasser är inte direkt jämförbara med de externa kreditvärderingsföretagens. Kreditvärderingsföretagens rating svarar inte mot en direkt klassificering av motparternas sannolikhet för fallissemang på samma sätt som bankens riskklassificering gör. Vidare beaktar kreditvärderingsföretagen i varierande grad hur allvarliga förluster ett fallissemang kan leda till. Den tidshorisont för vilken kreditvärdigheten bedöms är inte alltid densamma för banken som för kreditvärderingsföretagen. Bankens riskklasser anger inte heller en enhetlig skala där en viss riskklass alltid motsvarar en viss fallissemangssannolikhet. Dessutom tillämpas olika PD-skalar för olika delar av kreditportföljen och PD-värdet förändras över tiden.

Sammantaget är det inte möjligt att entydigt och konsekvent översätta de interna riskklasserna till en extern rating.

**Kvalitetssäkring av kreditriskmodellen**

Banken utför årligen en översyn av riskklassificeringssystemen. Översynen tar sikte dels på att den interna ratingen som ligger till grund för bankens riskklassificering tillämpas på ett konsekvent, korrekt och ändamålsenligt sätt (utvärdering), dels på att de modeller som används kvantifierar risk på ett tillfredsställande sätt (validering).

**BERÄKNING AV FÖRVÄNTADE KREDITFÖRLUSTER**

Reglerna om nedskrivning i IFRS 9 omfattar finansiella tillgångar värderade till upplupet anskaffningsvärde, finansiella tillgångar värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat

samt finansiella garantier och återkalleliga löften. I detta avsnitt redogörs huvudsakligen för de processer och metoder som tillämpas i Handelsbankens modellbaserade beräkningar av reserver för förväntade kreditförluster.

Bedömningar av förväntade kreditförluster utförs på avtalsnivå där avtalets och motpartens egenskaper styr klassificering och kvantifiering av reserveringsbehovet. Bedömningen baseras antingen på en modellberäkning eller en manuell beräkning där val av metod främst beror på om avtalet anses vara kreditförsäkrat.

För redovisning och värdering av förväntade kreditförluster samt definitioner, se not K1 avsnitt 10 Kreditförluster.

**Modellbaserade beräkningar för avtal i Steg 1 och Steg 2**

Handelsbankens koncerngemensamma centrala process för modellbaserade beräkningar av förväntade kreditförluster består av ett antal olika processer och metoder som stödjer kvantifiering av reserveringsbehovet i Steg 1 och Steg 2.

I de modellbaserade beräkningarna tas hänsyn till historisk, aktuell och framtidsbaserad data. Historisk data ligger till grund för modell och parameterkonstruktion, aktuell data är rapporteringstillfällens aktuella balanser (som omfattas av beräkningskraven) och framtidsbaserad data är de makroekonomiska scenarier som tillämpas för att beräkna framtida riskparametrar och exponeringar.

Modellerna baseras på samma historiska riskdata som i IRK-modellerna och således utgår redovisningen och kapitalkravsberäkningarna från samma grundläggande förlusthistorik. I likhet med hur riskklassificeringssystemet påverkar kapitaltäckningsberäkningarna så utgör den interna ratingen (från vilken riskklassificeringen härleds) en väsentlig del i modellerna för beräkning av förväntade kreditförluster. Beräkningarna påverkas i första hand av riskparametrarna sannolikhet för fallissemang (PD), exponering vid fallissemang (EAD) och förlustandel vid fallissemang (LGD). Den förväntade kreditförlusten i en framtida period erhålls genom att multiplicera nuvärdet av exponeringen vid fallissemang (EAD) med sannolikheten för fallissemang (PD) och med förlustandel vid fallissemang (LGD). Till skillnad från kapitaltäckningsregelverkets kreditförlustberäkning, som även den använder riskparametrarna PD, EAD och LGD, utgår kreditförlustkattningen i IFRS 9 från framtidsbaserade aktuella bedömningar. Då regelverken har olika syften skiljer sig beräkningsmodellerna åt både vad gäller riskparametarsättning och konstruktion. För presentation av huvudsakliga skillnader mellan IFRS 9 och IRK, se tabell ÅR:20 Skillnader mellan IFRS 9 och IRK.

**Makroekonomisk information**

Beräkningarna avseende modellbaserad bedömning av betydande ökning av kreditrisk och förväntade kreditförluster utförs med

modeller för de respektive riskparametrarna (PD, EAD och LGD). För att säkerställa att beräkningarna tar hänsyn till olika-Infjära aspekter används för exponeringar utanför Storbritannien tre framtidsbaserade makroekonomiska scenarier (ett neutralt, ett negativt och ett positivt) i modellerna. För exponeringar i Storbritannien används från och med fjärde kvartalet 2022 fyra scenarier (ett neutralt, två negativa och ett positivt). Respektive scenario inkluderar väsentliga makroekonomiska riskfaktorer som arbetslöshet, BNP, fastighetspriser, styr-/centralbanksräntor och inflation, uppdelade per land. De väsentliga makroekonomiska riskfaktorerna har identifierats från bankens historik och relationen till riskparametrarna är skattade på samma historiska material. De olika scenarierna används för att justera de aktuella riskparametrarna. Varje makroekonomiskt scenario representerar en av banken beslutad sannolikhet. Dessa sannolikhetsfördelningar är i nuläget 60 (70)% för det neutrala scenariet och 20 (15)% för det positiva samt 20 (15)% för det negativa scenariet. För exponeringar i Storbritannien är vikterna 60% för det neutrala scenariet, 5% för det positiva och 20% för det negativa scenariet samt 15% för det kraftigare negativa scenariet. Som förväntade kreditförluster redovisas ett sannolikhetsvägt genomsnitt av de förväntade kreditförlusterna för respektive scenario.

Alla makrosenarierna tas fram av bankens enhet för ekonomisk analys som ansvarar för all ekonomisk analys som levereras av Handelsbanken, både för internt och externt bruk. Dessa makroekonomiska scenarier avser reglonspecifika 30-åriga prognoser för Sverige, Norge, Finland, Storbritannien, Euro-området, USA och världen. En förändring i de makroekonomiska scenarierna, eller i de vikter som tillämpas, påverkar både bedömningen av betydande ökning av kreditrisk och uppskattningen av den förväntade kreditförlusten. Scenarierna uppdateras kvartalsvis av bankens enhet för ekonomisk analys och presenteras för beslutfattarna innan de tillämpas i beräkningarna av förväntade kreditförluster.

**Portföljsegmentering**

I den modellbaserade bedömningen används statistiska modeller. Dessa är framtagna för olika segment i portföljen där respektive segment avser riskmässigt likartade exponeringar och riskparametrarna kan skattas baserat på en gemensam uppsättning riskdatorer. För hushållsexponeringar är portföljsegmenteringen baserad på produkttyp och för övriga exponeringar är den baserad på motpartstyp. Segmenten har identifierats genom statistisk analys och expertbedömningar. För hushållsexponeringar finns följande nio portföljsegment; exponeringar med säkerhet i bostadsfastighet för privatpersoner, revolverande krediter inklusive kreditkortsexponeringar för privatpersoner respektive små företag, övriga exponeringar för privatpersoner respektive små företag, kortkrediter avseende säljfinansiering för privatpersoner respektive

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

små företag, samt avbetalningslån avseende säljfinansiering för privatpersoner respektive små företag. För övriga exponeringar finns följande sex segment; fastighetsbolag, bostadsrättsföreningar, övriga stora icke-finansiella företag, övriga icke-finansiella företag, stater, finansiella företag och banker.

Inom respektive portföljsegment klassificeras avtalen ytterligare till så kallade tillståndsklasser baserat på riskfaktorer som Intern rating, betalningshistorik, landtillhörighet, säkerhetstyp och belåningsgrad. Tillståndsklasserna är framtagna baserat på statistisk analys av historiska utfall. För varje tillståndsklass används statistiska modeller för migration mellan tillstånden för att beräkna framåtblickande sannolikheter för riskparametram PD, LGD och EAD. En viktig riskfaktor för tillståndsklasserna är motpartens interna rating som sätts vid kreditbeslutstillfället och uppdateras minst årligen eller om det finns tecken på att motpartens återbetalningsförmåga har ändrats. Klimatrelaterade och vissa andra miljörelaterade risker bedöms i kreditprocessen och påverkar den interna ratingen på motpartsnivå. Det finns tillståndsklasser för icke-fallerada, fallerade och förtidslösta exponeringar. Exponeringar mot hushåll klassas i nio tillståndsklasser och övriga exponeringar i tolv tillståndsklasser.

**Betydande ökning av kreditrisk**

Betydande ökning av kreditrisk avspeglar risken för fallissemang och är ett mått som mäter avtalets relativa förändring av kreditrisk sedan första redovisningstillfället. För beräkning av betydande ökning av kreditrisk används inom Handelsbanken samma underliggande modeller som vid beräkning av förväntade kreditförluster och hänsyn tas till historisk, nuvarande och framåtblickande information. I bedömningen beaktas inte säkerheter. Vid varje rapporteringstillfälle inleds den koncerngemensamma centrala modellbaserade processen med att samtliga avtal bedöms med avseende på om det skett en betydande ökning av kreditrisken sedan första redovisningstillfället (avtalets ingående). Denna bedömning avgör sedan hurvida avtalet får en förväntad kreditförlust beräknad på tolv månaders horisont (Steg 1) eller för avtalets hela återstående löptid (Steg 2). En viktig del som påverkar kreditförlustreservens storlek är således vilka faktorer och trösklar som definieras som utlösande för överföring av tillgångar från Steg 1 till Steg 2. Bankens definition av betydande ökning av kreditrisk som är avgörande för att förflytta avtalet till Steg 2 grundar sig på såväl kvalitativa som kvantitativa faktorer.

Den kvantitativa indikator som i första hand används för att bedöma förändring i kreditrisken är den relativa förändringen mellan Instrumentets första redovisningstillfälle och aktuell rapporteringstidpunkt i sannolikheten för fallissemang (PD) under avtalets återstående löptid. I de fall det har krävts orimlig kostnad och ansträngning för att kunna fastslå PD vid ett Instruments för-

sta redovisningstillfälle, har förändringar i motpartens eller avtalets interna rating eller riskklassificering sedan första redovisningstillfället använts för att bedöma betydande ökning av kreditrisken. För avtal som redovisas för första gången den 1 januari 2018 eller senare baseras prognoserna av fallissemangrisken på tre scenarier. För avtal som redovisats före den 1 januari 2018 tillämpas samma kriterier men baseras på ett scenario som utgår från bankens senast publicerade ekonomiska analys vid tidpunkten för det första redovisningstillfället.

Det huvudsakliga kriteriet för att ett avtal bedöms ha fått en betydande ökning av kreditrisk och förflyttas till Steg 2 enligt Handelsbankens definition är att den beräknade återstående fallissemangrisken (PD) vid rapporteringstillfället är större än 2,5 gånger motsvarande fallissemangrisk vid första redovisningstillfället. Gränsvärdet om 2,5 är baserat på statistisk analys av bankens historiska data och jämför ökningen i den återstående risken att motparten faller relativt motsvarande förväntade risk vid avtalets första redovisningstillfälle. Därutöver finns det andra kvalitativa faktorer som banken bedömt medför en betydande ökning av kreditrisk, till exempel att motparten har betalningar som är mer än 30 dagar försenade eller att motparten har erhållit eftergifter till följd av försämrad kreditvärdighet.

Om det föreligger en betydande ökning av kreditrisken sedan första redovisningstillfället redovisas en reserv motsvarande förväntade kreditförluster för hela den återstående löptiden och det finansiella instrumentet flyttas till Steg 2. Modellen är symmetrisk, vilket innebär att om det finansiella instrumentets kreditrisk minskar och det därmed inte längre föreligger en betydande försämring i kreditrisk sedan första redovisningstillfället flyttas den finansiella tillgången tillbaka till Steg 1.

**Modeller för riskparametrar****och förväntad löptid**

Riskparametram PD, LGD och EAD beräknas för varje avtal och framtida tidpunkt, baserat på statistiska modeller. Dessa modeller bygger så långt som möjligt på de relationer mellan de väsentliga riskfaktorer och relevanta riskutfall som kan identifieras i bankens egen förlusthistorik. De flesta riskparametrar som kvantifieras baseras på cirka tio års Intern data. I de fall banken saknar tillräckligt med information, till exempel på grund av få fallissemang, sker komplettering med hjälp av extern information. De historiska utfallen analyseras med avseende på samvariation med avtals-, motparts- och regionspecifika riskfaktorer, som till exempel produkttyp, Intern rating, ålder som kund, säkerhetstyp, belåningsgrad, arbetslöshet och BNP-tillväxt. De riskfaktorer som identifieras som väsentliga för en viss riskparameter inkluderas i modellen och det historiska sambandet kvantifieras.

**Sannolikhet för fallissemang (PD)**

PD motsvarar sannolikheten för att en kund eller ett avtal kommer att hamna i fallissemang vid en given tidpunkt under den tillgångens återstående löptid. PD för tolv månader motsvarar sannolikheten för fallissemang under de kommande tolv månaderna. PD för återstående löptid motsvarar sannolikheten för fallissemang under tillgångens återstående löptid (maximalt 30 år). Vid rapporteringstillfället prognostiseras framtida PD baserat på framåtblickande makrosценarier och aktuell avtals- och motpartsinformation. Den prognostiserade fallissemangrisken tar hänsyn till utvecklingen av scenarier och sannolikheten för migration mellan olika tillståndsklasser över tid. Modellerna beräknar årsvisa migrations- och fallissemangssannolikheter där migrationsmodellen ger sannolikheten att avtalet befinner sig i en given tillståndsklass med en given fallissemangrisk framåt i tiden. Avtalets förväntade PD för ett givet år beräknas av sannolikhetsvägda PD över alla tänkbara tillståndsklasser och scenarier. Förväntad PD för återstående löptid baseras på de årliga förväntade fallissemangprognoserna och sannolikheten för att avtalet förtidslöses. En försämring av en ekonomisk framtidsutsikt baserad på prognostiserade makroekonomiska riskfaktorer för varje scenario, eller en ökning i att sannolikheten för att det negativa scenariot ska inträffa, resulterar i ett högre PD.

**Exponering vid fallissemang (EAD)**

EAD avser förväntad kreditexponering vid fallissemangstidpunkten. Vid rapporteringstillfället prognostiseras framtida exponeringar vid fallissemang baserat på nuvarande amorteringsplaner, sannolikhet för förtidslösen och förväntat utnyttjande av exempelvis kreditutrymmen, finansiella garantier och lånelöften. EAD prognostiseras på årsbasis och utgör det belopp på vilket förluster och återvinningar sker vid framtida fallissemang.

**Förväntad löptid**

Ett Instruments förväntade löptid är relevant för både bedömningen av betydande ökning av kreditrisk, vilken tar hänsyn till förändringar i PD under förväntad återstående löptid, såväl som för värderingen av förväntade kreditförluster för tillgångens förväntade återstående löptid. Den förväntade löptiden beaktas i beräkningen av återstående PD genom att väga de prognostiserade årliga PD-värdena under avtalets kontraktuella löptid med sannolikheten att avtalet inte förtidslöses innan fallissemang inträffar.

Sannolikheten för förtidslösen av avtalet baseras på en statistisk analys och på bankens interna historik cirka tio år bakåt och ingår som en komponent i modellen för EAD. I analysen har potentiella riskfaktorer i form av avtals-, motparts- och makroekonomiska riskfaktorer analyserats. De riskfaktorer som identifieras som väsentliga inkluderas i modellen.

## K2 Forts

Tabell AR20 Skillnader mellan IFRS 9 och IRK

Riskparameter	IRK	IFRS 9
PD, Sannolikhet för fallissemang	Genomsnittlig risk för fallissemang inom tolv månader över en konjunkturykel, inklusive statistiska säkerhetsmarginaler och regelverksgövl. Fallissemangsdefinitionen enligt Kapitalkäckningsförelördningen tillämpas på avtalsnivå för hushållsexponeringar och på motpartsnivå för övriga exponeringar.	Konjunkturberoende (kortfristig, "point in time") risk för fallissemang inom tolv månader. "Livstids-PC" avser risken för fallissemang under avtalets förväntade återstående löptid. Fallissemangsdefinitionen enligt Kapitalkäckningsförelördningen tillämpas på avtalsnivå för hushållsexponeringar och på motpartsnivå för övriga exponeringar.
LGD, Förlustandel vid fallissemang	Maxvärdet av förväntad förlustandel på exponering vid fallissemang inom tolv månader på lång sikt och vid en konjunktumedgång, inklusive statistiska säkerhetsmarginaler och regelverksgövl. Kvantifiering av förlust för företagsexponeringar baseras på återvinningar inom tolv månader samt kvarstående reserver (24 månader för hushållsexponeringar).	Konjunkturberoende förväntad förlustandel på exponering vid fallissemang. LGD justeras baserat på framåtblickande makroekonomiska scenarier.
EAD, Exponering vid fallissemang	Maxvärdet av förväntad exponering vid fallissemang inom tolv månader på lång sikt och vid en konjunktumedgång, inklusive statistiska säkerhetsmarginaler och regelverksgövl.	Konjunkturberoende förväntad exponering vid fallissemang inom tolv månader. EAD justeras efter avtalsvillkor och framåtblickande makroekonomiska scenarier.
Löptid	Avtalskontraktuell löptid med beaktande av kundens option på förlängning.	Den förväntade löptiden. Avtalets kontraktuella löptid med beaktande av sannolikhet för förlängning.
Prognosthorisont	Tolv månader.	Upp till tolv månader respektive återstående löptid beroende på Steg 1 eller Steg 2-3).
Diskontering	Prognostiserade förluster diskonteras inte till rapporteringstidpunkten. Vid kvantifiering av återvinningsgrad diskonteras observerade återvinningar till fallissemangstidpunkten med den genomsnittliga kostnaden för eget kapital.	Prognostiserade förluster diskonteras till rapporteringstidpunkt med avtalets effektväntav vid första rapporteringstillfället. Vid kvantifiering av återvinningsgrad diskonteras observerade återvinningar till fallissemangstidpunkten med den genomsnittliga kostnaden för eget kapital.
Betydande ökning av kreditrisk	Ej tillämpligt.	Baseras på förhållandet mellan aktuell återstående fallissemangsrisk vid aktuellt rapporteringstillfälle samt förväntad aktuell återstående fallissemangsrisk beräknad vid första rapporteringstillfället.
Framåtblickande scenarier	Ej tillämpligt.	Beräkningar av framåtblickande riskparametrar (PD, LGD, EAD) baseras på ett lokalt basscenario, ett så kallat neutralt scenario och två alternativt lokala makroekonomiska scenarier (ett positivt och ett negativt).
Första rapporteringstillfället	Ej tillämpligt.	Första rapporteringstillfället för avtalsidentiteten.

För revolverande krediter utan förfallodag, till exempel kreditkort, och bolån med räntesättningsperiod på högst tre månader tillämpas en 30-årig löptid från rapporteringstillfället, vilket innebär att den förväntade löptiden i praktiken definieras av den beteendebaserade statistiska modellen.

**Förlustandel vid fallissemang (LGD)**

LGD speglar den ekonomiska förlustandel som banken förväntar sig vid ett fallissemang. De viktigaste riskfaktorerna vid beräkning av LGD är säkerhetsvärdet, säkerhetstypen och motpartens egenskaper. Framåtblickande makroekonomiska riskfaktorer återreflekteras i LGD-beräkningarna genom deras inverkan på säkerhetsvärdet och belåningsgraden. Kvantifieringen av förlusten delas in i en sannolikhet för att motparten tillfrisknar utan att orsaka banken några ekonomiska förluster, och en återvinningsgrad då motparten inte tillfrisknar. Återvinningsgraden påverkas av belåningsgraden på så sätt att högre belåningsgrader är associerade med lägre återvinningsgrader. Säkerhetens marknadsvärdering ingår i de flesta LGD-modeller. Säkerhetsvärdet för fastigheter, och därmed belåningsgraden och återvinningsgraden, påverkas av prisutvecklingen på fastigheten så att ett förväntat framtida prisfall på fastigheter driver upp belåningsgraden och den förväntade förlustandelen vid fallissemang.

**Skillnader mellan IFRS 9 och IRK**

Handelsbankens IFRS 9-modeller bygger på samma historiska data och samma övergripande modellansats som bankens IRK-modeller där riskparametrarna PD, LGD och EAD modelleras. Då regelverken har olika syften skiljer sig beräkningsmodellerna åt både vad gäller riskparamettersättning och konstruktion och i vissa fall används separata modeller för att uppfylla kraven enligt IFRS 9. De huvudsakliga skillnaderna mellan IFRS 9 och IRK presenteras i tabellen ovan.

**Validering av IFRS 9 modeller och modellbaserade beräkningar**

Validering av modellerna och av dess ingående riskparametrar utförs årligen och säkerställer att de modellbaserade beräkningarna uppvisar god prognosförmåga och identifierar oväntade avvikelser mellan prognoser och senast tillgängliga utfall. Valideringen sker på flera aggregeringsnivåer och omfattar alla väsentliga riskparametrar samt den sammanvägda beräknade förväntade kreditförlusten på individuell och aggregerad nivå. Valideringen rapporteras till chefen för Group Credits, CRO och CFO.

Principerna för utvärdering och validering av modellerna är fastställda av Group Risk Control och valideringen utförs eller granskas av oberoende part från modellutvecklingen.

Inga betydande avvikelser med signifikant effekt på bankens reserveringar har identifierats i valideringen.

**MANUELL BERÄKNING FÖR AVTAL I STEG 3**

Tillgångar i Steg 3 prövas för nedskrivning på individuell nivå och beräkningen är manuell (med undantag för mindre portfölj) av homogena fordringar som har modellberäknad reservering i Steg 3). Denna prövning genomförs löpande och vid varje rapporteringstillfälle av affärsansvarigt bankkontor (kund- och kreditansvarig enhet) och beslutas av läns- eller landskreditkommitté eller Group Credits.

Nedskrivningsprövning utförs när det finns objektiva omständigheter som tyder på att motparten inte kommer att kunna fullfölja sina kontraktensliga åtaganden i enlighet med definitionen på fallissemang. Sådana objektiva omständigheter kan exempelvis vara försenad eller utebliven betalning, ändrad intern rating eller om kredittagaren försätts i konkurs.

I nedskrivningsprövningen uppskattas de framtida kassaflödena och säkerhetens värde (inklusive garantier). Hänsyn tas till normalt minst två möjliga framåtblickande scenarier med förväntade kassaflöden baserade både på motpartens återbetalningsförmåga och på säkerheternas värde. Utfallet av dessa scenarier sannolikhetsviktas och diskonteras med fordrans

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

ursprungliga effektivränta. De scenarier som används kan innehålla såväl makroekonomiska som avtalspecifika faktorer, utifrån vad som bedöms ha påverkan på den individuella motpartens återbetalningsförmåga och säkerheternas värdeutveckling. Vid bedömningen tas hänsyn till den enskilda motpartens specifika egenskaper. Nedskrivning görs om det beräknade återbetalningsvärdet understiger bokfört värde.

## GOVERNANCE OCH INTERN KONTROLL

För att beräkna förväntade kreditförluster för avtal i Steg 1 och Steg 2 använder sig Handelsbanken av en koncerngemensam central process med internt utvecklade statistiska modeller (modellbaserad beräkning). För avtal i Steg 3 sker manuell beräkning. Beskrivningen nedan avser i huvudsak de modellberäknade reserverna för förväntade kreditförluster. Denna process omgärdas av en samling interna kontroller, vilka beskrivs nedan. I processens steg sker också olika godkännanden/fastställanden, vilket skapar en struktur för governance, och även den beskrivs nedan.

## Kontroll av indata vid rapportering

Vid varje rapporteringstillfälle kontrolleras att den information som utgör grunden för beräkningarna av förväntade kreditförluster är korrekt och komplett. Detta sker genom maskinella avstämningar av inläst data från levererande källor. Vidare görs en rimlighetsbedömning där systembalanser jämförs med föregående rapporteringstillfälles balanser. De balanser som används stäms slutligen av mot huvudboksvolymer.

## Modeller

Innan en ny kvantitativ modell tas in i det övergripande modellsystemet genomgår den validering och godkänns för användning av chefen för Group Credits. Vid rapporteringstillfället kan endast detta modellsystem anropas i samband med beräkning, vilket gör att bara godkända modeller kan användas.

I de kvantitativa modeller som ligger till grund för beräkningen av förväntade kreditförluster ingår flera antaganden och bedömningar. Exempel på antaganden är att de relationer som kan mätas mellan makroekonomiska riskfaktorer och riskparametrar på historiska data är representativa för framtida händelser, samt att avtals förväntade löptid kan baseras på historiskt data om beteenden. Huruvida dessa samband påverkas av klimatrelaterade risker bedöms i arbetet med modellerna. Till dags dato har inga sådana faktorer inkluderats specifikt i modellerna men frågeställningen bedöms fortfarande. Vidare görs ett urval av de mest väsentliga makroekonomiska riskfaktorerna baserat på de enskilda makroekonomiska riskfaktorernas förklaringsförmåga på de enskilda riskparametrarna. När makroekonomiska riskfaktorerna väljs ut och modellen specificeras

görs en avvägning mellan enkelhet, förklaringsförmåga och stabilitet. Samtliga antaganden och avvägningar är presenterade för och beslutade av chefen för Group Credits.

Eventuella expertbedömda beräkningar på modellberäknade avtal i Steg 1 och Steg 2 och av manuellt beräknade avtal i Steg 3 tillstyrks av chefen för Group Credits innan de tillämpas.

## Makroekonomiska scenarier

De makroekonomiska scenarierna tas fram av bankens enhet för ekonomisk analys baserat på en instruktion från chefen för Group Credits. I denna instruktion framgår önskade makroekonomiska riskfaktorer, geografiska områden som ska ingå samt antal scenarier och sannolikhetsfördelningen mellan dessa.

Inför varje rapportering presenteras aktuella makroekonomiska scenarier för chefen för Group Credits och CFO, vilka godkänner scenarierna för användning i rapporteringsprocessen. De godkända makrosenarierna läses sedan in automatiskt i rapporteringsförfed.

## Reservningsbeloppens storlek

De totala beräknade reserverna i Steg 1 och Steg 2 tillstyrks av chefen för Group Credits och chefen för Group Finance. Beräknade reserver i Steg 3 förelägs av affärsansvarigt bankkontor (kund- och kreditansvarig enhet) och beslutas av läne- eller landskreditkommitté eller central enhet beroende på reservens storlek. Av kreditreserver i Steg 3 som beslutas lokalt eftergranskas/kvalitetsgranskas ett urval av Group Credits. Därutöver utför Group Risk Control vid varje rapporteringstillfälle en oberoende granskning av ett urval av de kreditreserver i Steg 3 som beslutas centralt.

## Kontrollfunktionernas roll

Group Risk Control fastställer principer för validering och säkerställer att validering av modeller utförs. Vid varje rapporteringstillfälle genomförs en oberoende granskning av ett urval av de kreditreserver i Steg 3 som beslutas centralt. Group Risk Control beskrivs närmare på sidorna 77 och 82. Group Audit granskar beräkningen av förväntade kreditförluster som ett led i deras uppdrag att självständigt och oberoende granska den interna styrningen och kontrollen samt utvärdera tillförlitligheten i koncernens finansiella rapportering. Group Audit beskrivs närmare på sidorna 77 och 82–83.

## MOTPARTSRISKER

Motpartsrisiker uppkommer när banken har ingått derivatkontrakt eller kontrakt för lån av värdepapper med en motpart. Kapitaltäckningsreglerna behandlar således förutom derivat också repor och aktielån som motpartsrisiker.

Vid beräkningen av såväl kapitalkrav som ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC) beaktas motpartsexponeringarna utifrån de exponeringsbelopp som kapitaltäckningsreglerna ställer upp. Handelsbanken tillämpar

schablonmetoden för motpartsrisik (SA\_CCF) vid beräkning av exponeringsbelopp på derivatkontrakt för kapitaltäckningsändamål. Motpartsrisiken är att betrakta som en kreditrisk, där exponeringens storlek styrs av marknadsvärdet på kontraktet. I det fall det finns ett positivt värde på kontraktet betyder ett fall i kurs hos motparten en potentiell förlust för banken.

## Reducering av motpartsrisik

Motpartsrisik förekommer från affärsdag fram till leverans och innebär att banken kan drabbas av en avvecklingskostnad om motparten inte kan fullfölja sitt åtagande. Denna risk finns i alla derivattransaktioner och i värdepappersaffärer där banken inte på förhand har säkrat betalning.

Storleken på motpartsexponeringarna begränsas genom kreditlimering i den ordinarie kreditprocessen. Exponeringarnas storlek kan variera kraftigt med anledning av prisförändringar på den underliggande tillgången. För att beakta risken att exponeringen kan öka, görs vid kreditlimeringen tillägg till värdet på den aktuella exponeringen. Exponeringarna beräknas och följs upp dagligen.

Motpartsrisiken i derivat reduceras genom avtal om så kallad close-out netting, det vill säga kvittning av positiva och negativa värden i alla derivattransaktioner med en och samma motpart. Nettingavtalen kompletteras med avtal om ställande av säkerheter för nettoexponeringen (Credit Support Annex, CSA), vilket ytterligare reducerar kreditrisken. I huvudsak används kontanter som säkerhet för dessa transaktioner, men även statspapper förekommer. Till följd av den höga andelen kontanter är koncentrationsriskerna i säkerhetsmassan begränsade.

Majoriteten av Handelsbankens avtal innehåller close-out netting och avtalen med de största exponeringarna, vilket är till finansiella Institut, innehåller även CSA.

Även derivat som clearas via så kallade centrala motparter ger upphov till kapitalkrav. Centrala motparter är clearinghus som går in som motpart till både köpare och säljare i olika transaktioner och som därmed övertar ansvaret för att fullfölja parternas förpliktelser. Alla som använder en central motpart måste lämna säkerheter för alla transaktioner. I de flesta fall är riskvikten för centralt clearade derivat betydligt lägre än för andra typer av derivat.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

Tabell ÅR21 Motpartstrik uppdelat på exponeringsklasser, exponeringsbelopp och riskvägda exponeringsbelopp, intermetoden

Exponeringsbeloppet består av derivat, repor och aktielån.

Motpartstrik uppdelat på exponeringsklasser, exponeringsbelopp och riskvägda exponeringsbelopp, intermetoden	2022		2021	
	Exponeringsbelopp	Riskväggt exponeringsbelopp	Exponeringsbelopp	Riskväggt exponeringsbelopp
<i>mk</i>				
Exponeringsklasser intermetoden				
Institutexponeringar	10 790	4 930	9 895	4 618
Företagsexponeringar	12 177	3 734	16 586	4 612
Statsexponeringar	5 607	139	7 084	177
Summa intermetoden	28 583	8 793	33 565	9 407

Tabell ÅR22 Motpartstrik uppdelat på exponeringsklasser, exponeringsvärdet och riskvägda exponeringsbelopp, schablonmetoden

Exponeringsvärdet består av derivat, repor och aktielån.

Motpartstrik uppdelat på exponeringsklasser, exponeringsvärdet och riskvägda exponeringsbelopp, schablonmetoden	2022		2021	
	Exponeringsbelopp	Riskväggt exponeringsbelopp	Exponeringsbelopp	Riskväggt exponeringsbelopp
<i>mk</i>				
Exponeringsklasser schablonmetoden				
Institutexponeringar	2 342	90	3 160	73
varav Centrale motpartar (CCP)	2 105	42	3 105	62
Övriga exponeringar	46	18	48	21
Summa schablonmetoden	2 388	107	3 208	94
Summa inter- och schablonmetoden	31 004	8 933	36 773	9 501

Tabell ÅR23 Exponeringar i derivatkontrakt

Exponeringar i derivatkontrakt	2022	2021
<i>mk</i>		
Positivt bruttomarknadsvärde för derivatkontrakt		117 373
Nättrivningsinstans		-91 024
Aktuell kvittad exponering		26 279
Säkerheter <sup>1</sup>		-23 021
Nettokreditexponering för derivat		3 258

<sup>1</sup> Inkluderar säkerheter som kvittats med marknadsvärden i balansräkningen.

Tabell ÅR24 Motpartstrik i derivatkontrakt

Motpartstrik i derivatkontrakt 2022	Aktuell kvittad exponering	Exponeringsbelopp	Riskväggt exponeringsbelopp	Kapitalkrav
<i>mk</i>				
Statsexponeringar	1 599	3 596	130	11
Institutexponeringar	20 537	9 990	4 723	378
Företagsexponeringar	4 134	13 311	3 538	283
Övriga	9	29	15	1
Summa	26 279	26 926	8 414	673
varav verksamhet / handelslagrat	20 284	19 789	5 712	457

Motpartstrik i derivatkontrakt 2021<sup>1</sup>

Motpartstrik i derivatkontrakt 2021 <sup>1</sup>	Aktuell kvittad exponering	Exponeringsbelopp	Riskväggt exponeringsbelopp	Kapitalkrav
<i>mk</i>				
Statsexponeringar	3 644	5 028	177	14
Institutexponeringar	9 033	8 593	4 320	346
Företagsexponeringar	9 843	17 984	4 480	358
Övriga	9	24	15	1
Summa	22 629	31 629	8 992	719
varav verksamhet / handelslagrat	20 368	24 417	6 352	508

<sup>1</sup> Tabellen har ändrats från förra året för att anpassas till nytt regelverk för beräkning av exponeringsbelopp för derivatkontrakt.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

## MARKNADSRISK

Marknadsriskerna härrör från pris- och volatilitetsförändringar på de finansiella marknaderna. Marknadsriskerna delas in i ränterisker, aktiekursrisker, valuta-kursrisker och råvaruprisrisker.

Det geopolitiska läget med kriget i Ukraina påverkade ekonomin i stort där energikriser och hög inflation bidrog till att öka osäkerheten i marknaden. Det makroekonomiska läget präglades av de höga inflationsnivåerna och under hösten steg räntorna kraftigt på alla löptider. Osäkerheten har medfört högre volatilitet, ökade kreditspreadar och en försämrad marknadslikviditet. Inom Capital Markets har den försämrade marknadslikviditeten, i synnerhet inom ränte- och kreditmarknaden, påverkat viss exekvering. Riskutryttningsgraden har hållits relativt lågt under året i linje med marknadens funktionsätt och således har påverkan på verksamheten varit begränsad.

I Handelsbankens verksamhet uppstår marknadsrisker till följd av att bankens kunder efterfrågar tjänster som kräver att banken har en flexibel finansiering. Vidare kan banken finansiera sig på andra marknader än där den har sin utlåning i syfte att diversifiera finansieringskällorna. Finansieringen kan även ha en annan räntebindningstid än de tillgångar som de finansierar. Marknadsrisker kan därtill ha sitt ursprung i Group Treasury's likviditetsportfölj som med kort varsel kan omsättas till likviditet i samband med eventuella störningar på de marknader där banken bedriver sin verksamhet. Portföljen säkerställer koncernens betalningar i den dagliga clearingverksamheten och är en del av bankens likviditetsreserv.

Marknadsrisker uppstår också inom Capital Markets för att möta kundens efterfrågan på finansiella instrument med exponering mot ränte-, valuta-, aktie- eller råvarumarknaderna. För att möta denna efterfrågan kan det krävas att banken håller ett visst lager. Denna situation uppstår exempelvis när banken har åtagit sig att ställa priser i en så kallad market maker-funktion.

Affärsverksamhetens marknadsrisker uppstår och hanteras således huvudsakligen i Group Treasury och i Handelsbanken Capital Markets. Dessutom uppstår även marknadsrisker som en del av Handelsbanken Liv's verksamhet. Marknadsriskerna i Handelsbanken Liv behandlas i ett särskilt avsnitt. De upplysningar som lämnas i detta avsnitt avser således riskerna exklusive Handelsbanken Liv.

## MARKNADSRISKSTRATEGI

Handelsbanken har en restriktiv syn på marknadsrisker. Marknadsrisker i bankens affärsverksamhet tas i all väsentlighet endast som ett led i att lösa kundens placerings- och riskhanteringsbehov. Marknadsrisker ska begränsas genom att matcha kassaflöden och räntebindningstider, säkra öppna positioner och vidta andra riskbegränsande åtgärder.

Marknadsriskerna i Handelsbanken är mot denna bakgrund mycket låga. En konsekvens av de låga marknadsriskerna är att en låg andel av bankens resultat kommer från nettoresultat av finansiella transaktioner.

## ORGANISATION

Handelsbankens styrelse har det övergripande ansvaret för bankens hantering av marknadsrisker och fastställer policydokument för detta. Dessa policyer konkretiseras i riktlinjer av VD och instruktioner från CFO. Inom dessa ramar bär varje del av affärsverksamheten ansvaret för sina affärer och för att samtliga risker hanteras. Riskerna som uppstår i samband med finansiering och likviditetshantering är dock centraliserad till Group Treasury under CFO och Capital

Markets hanterar större delen av riskerna i handelslagret. Kontrollfunktionerna övervakar att verksamheten bedrivs inom bankens risktolerans och rapporterar riskerna till styrelse och koncernledning.

Bankens limitssystem begränsar hur stor exponeringen mot marknadsrisker får vara. Mätmetoder och limiter fastställs av styrelsen. CFO har det funktionella ansvaret för likviditet och finansiering; under CFO har Head of Group Treasury ansvaret för koncernens likviditet och finansiering. Ansvaret omfattar att hantera koncernens likviditets-, valutakurs- och ränterisker i bankverksamheten. Limiterna för ränte-, valuta- och likviditetsrisk fördelas av VD och CFO till Head of Group Treasury, som i sin tur fördelar dessa till de affärsdrivande enheterna. Limiter för aktiekursrisk och råvaruprisrisk fördelas av CFO till Capital Markets.

VD och CFO beslutar även om kompletterande riskmätt, intradagslimiter och närmare riktlinjer. De kompletterande limitmåtten syftar till att minska bankens känslighet för volatilitetsförändringar på de finansiella marknaderna samt begränsa riskerna i specifika innehav och likviditetsrisken per valuta. Vidare begränsar de kompletterande limitmåtten riskerna ur ett löptidsperspektiv. Marknadsriskerna och utnyttjande av limiter rapporteras löpande till CFO, VD och styrelsen.

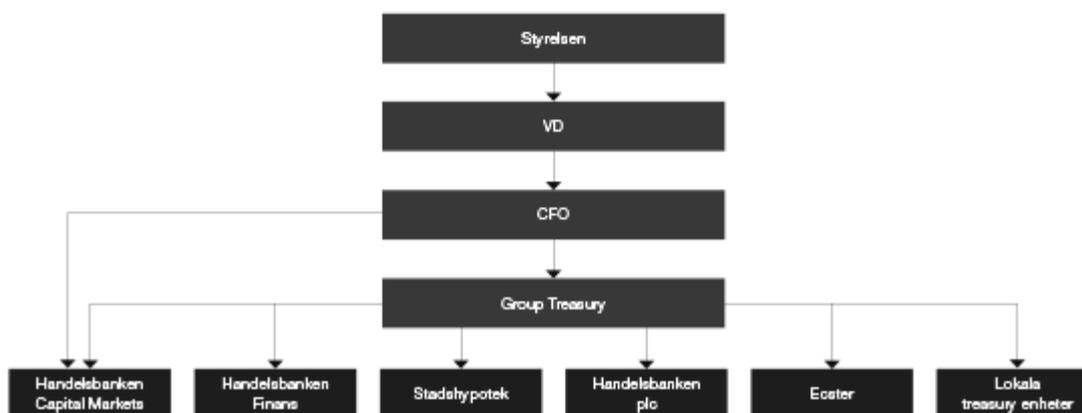
## MARKNADSRISKER I HANDELSBANKEN

Marknadsriskerna mäts med flera olika metoder. De känslighetsmått som används visar vilka värdetförändringar som uppstår av fördefinierade förändringar i priser och volatiliteter. Vidare används även positionrelaterade riskmått och sannolikhetsbaserade Value at Risk-modeller (VaR).

## VaR

För de handelslagerklassificerade portföljerna i Handelsbanken Capital Markets och Group Treasury beräknas Value at Risk (VaR). VaR är ett sannolikhetsbaserat mått och uttrycker i

Figur ÅR:25 Booktandenivåer för marknads- och likviditetsrisker



## K2 Forts

Tabell ÅR:26 VaR för handelslagret – Handelsbanken Capital Markets och Group Treasury<sup>1</sup>VaR för handelslagret – Handelsbanken Capital Markets och Group Treasury<sup>1</sup>

mkr	Totalt		Aktier		Räntor		Vekta		Räntor	
	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021
Genomsnitt	11	11	1	1	11	13	2	3	0	1
Maximum	23	26	6	3	23	25	7	8	2	12
Minimum	5	5	0	0	5	4	1	1	0	0
Årsskifta	11	6	4	0	11	5	2	2	0	0

<sup>1</sup> Handelslagerklassificerade portföljer omfattas av särskilda instruktioner och riktlinjer.

Tabell ÅR:27 Väreta utfall i stress-test av handelslagret – Handelsbanken Capital Markets och Group Treasury

Väreta utfall i stress-test av handelslagret – Handelsbanken Capital Markets och Group Treasury

mkr	2022	2021
Genomsnitt	175	99
Maximum	588	369
Minimum	54	36
Årsskifta	54	67

kronor de förluster som kan uppstå i riskpositioner på grund av rörelser i underliggande marknader över en specificerad innehavsperiod och en given konfidenznivå. VaR beräknas med historisk simulering och mäts för enskilda riskfaktorer, riskslag och på portföljnivå med 99% konfidenznivå och en innehavsperiod på en dag. Detta innebär att banken, i förväntan, kommer att göra en förlust som överstiger VaR-utfallet för en av 100 handelsdagar. Modellen medför att olika riskslag kan behandlas på ett enhetligt sätt, vilket möjliggör en jämförelse mellan riskslag och att dessa kan aggregeras till en total marknadsrisk. Den samlade risken i handelslagerklassificerade portföljer vid årsskiftet 11 mkr (6). VaR redovisas löpande till CFO, VD och styrelsen. VaR-modellen använder historiskt observerade utfall och fångar därmed inte alla potentiella utfall, till exempel vid extrema, snabba marknadsrörelser. Beräkningarna kompletteras därför med stress-tester där portföljerna testas mot scenarier som grundar sig på händelser på de finansiella marknaderna sedan 1994. Även resultaten av dessa stress-tester redovisas löpande till CFO, VD och styrelsen.

## Ränterisk

Ränterisken uppstår främst inom Handelsbanken Capital Markets, Group Treasury och i utlåningsverksamheten. Ränterisken mäts på flera sätt inom banken. Generell ränterisk mäts dagligen och limiteras som absolutsumman av

de minst gynnsamma förändringarna i verkligt värde per valuta vid momentana parallellskift uppåt eller nedåt på en procentenhet för samtliga räntor. Vid årsskiftet uppgick bankens totala generella ränterisk till 628 mkr (1 332). Räntebindningstid för inlåning som saknar kontraktuell löptid fastställs med Internmetod. Utgångspunkten för sådan inlåning är den uppekattade kontraktuella räntebindningstiden, där längre räntebindningstid tillämpas för den del som är underlag av observationer kan anses vara såväl stabil som icke räntekänslig. Riskmättet omfattar såväl marknadsvärderade som icke marknadsvärderade räntebärande poster och är därför inte lämpligt för att bedöma resultat-effekter på balans- och resultaträkningen. Kompletterande mått och limiter fångar istället detta för respektive affärstyp.

Specifik ränterisk mäts och limiteras med känsligheten för förändringar i kreditspreadar, det vill säga skillnaden mellan det aktuella innehavets ränta och räntan på en statsobligation med motsvarande löptid. Denna risk uppkommer inom Handelsbanken Capital Markets och i Group Treasurys likviditetsportfölj.

Risken mäts och limiteras utifrån olika rating-kategorier och beräknas som den minst gynnsamma marknadsvärdetförändringen vid en bespunkts förändring uppåt eller nedåt av samtliga kreditspreadar. Detta görs för varje enskild motpart och utfallen absolutsummeras. Total specifik ränterisk uppgick vid årsskiftet till 6 mkr (6).

Hur riskerna utvecklas vid hypotetiska förändringar av olika räntekurvor, så som kurvvidring- och basrisk, mäts och följs upp löpande.

## Ränterisk i handelslagret

Handelslagret i Handelsbanken utgörs av Capital Markets och en handelslagerklassificerad portfölj hos Group Treasury. Den generella ränterisken i handelslagret uppgick till 61 mkr (84) och den specifika ränterisken uppgick till 1 mkr (2). Den icke-linjära ränterisken, exempelvis en del av risken i ränteooptioner, mäts och limiteras med fördelvisade stressscenarier som uttrycks i matriser. Det innebär att risken mäts som förändringar i underliggande marknadsräntor och volatiliteter. För handelslagret mäts risken även med VaR och andra riskmått som kompletteras med olika stressscenarier.

## Ränterisk i övrig verksamhet

Ränterisken uppstår som ett resultat av att utlåningen delvis köper med annan räntebindningstid än finansieringen. Ränterisk hanteras till stor del genom ränteswappar. Ränterisk uppstår även i Group Treasurys likviditetsportfölj och hanteras genom obligationsterminer och ränteswappar. Generellt gäller att ränterisken i allt väsentligt tas i marknader som kännetecknas av god likviditet. Den generella ränterisken i övrig verksamhet uppgick till 570 mkr (1 391) och den specifika ränterisken uppgick till 5 mkr (4).

För att uppekatta effekten av ränteförändringar på resultaträkningen mäts även ränte-

Tabell ÅR:28 Generell ränterisk i övrig verksamhet

Generell ränterisk i övrig verksamhet (förändring i verkligt värde vid värsta utfallet av parallellskift av samtliga räntor med en procentenhet) mkr	2022	2021
SEK	3	482
DKK	20	133
EUR	3	188
NOK	74	70
USD	366	281
GBP	101	231
Övriga valutor	3	6
Summa	570	1 391

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

## Tabell ÅR:29 Rännebindningstider för tillgångar och skulder

Tabellen visar rännebindningstiden för ränterätterade tillgångar och skulder per 2022-12-31.

Rännebindningstider för tillgångar och skulder 2022 mkr	Upp till 3 månader	3-6 mån	6-12 mån	1-5 år	Över 5 år	Summa
Kassa och tillgodohavanden i centralbanker	508 502	0	0	0	0	508 502
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	115 584	1 104	1 305	45 556	1 925	165 475
Utlåning till kreditinstitut	9 747	668	0	0	0	9 415
Utlåning till allmänheten	1 485 136	184 172	176 910	552 158	70 940	2 469 324
Övriga tillgångar	301 000					301 000
<b>Summa tillgångar</b>	<b>2 418 969</b>	<b>185 944</b>	<b>178 216</b>	<b>567 714</b>	<b>72 874</b>	<b>3 463 716</b>
Skulder till kreditinstitut	77 442	805	2 497	314	1 314	82 372
In- och upplåning från allmänheten	1 130 136	32 516	44 975	174 750	44	1 382 422
Emitterade värdepapper	581 174	120 555	105 575	573 537	136 364	1 517 206
Övriga skulder	471 716					471 716
<b>Summa skulder</b>	<b>2 260 468</b>	<b>183 876</b>	<b>183 047</b>	<b>748 601</b>	<b>137 722</b>	<b>3 463 716</b>
Poster utanför balansräkningen	-172 317	-1 601	-49 408	194 102	55 181	25 957

Tillgångar och skulder i tabellen ovan inkluderar avyttringsgruppen Finland som i balansräkningen omklassificerats till tillgångar som innehåller försäkring respektive skulder som innehåller försäkring, se not K14. Jämförelsesiffrorna ingår även Danmark som avyttrats under fjärde kvartalet 2022.

Rännebindningstider för tillgångar och skulder 2021 mkr	Upp till 3 månader	3-6 mån	6-12 mån	1-5 år	Över 5 år	Summa
Kassa och tillgodohavanden i centralbanker	439 971	0	0	0	0	439 971
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	94 553	5 310	1 520	22 009	10 220	133 612
Utlåning till kreditinstitut	22 394	894	0	0	0	23 288
Utlåning till allmänheten	1 352 796	164 121	182 379	644 475	67 481	2 411 252
Övriga tillgångar	338 641					338 641
<b>Summa tillgångar</b>	<b>2 248 355</b>	<b>170 325</b>	<b>183 899</b>	<b>666 484</b>	<b>77 701</b>	<b>3 346 764</b>
Skulder till kreditinstitut	55 453	19 674	6 391	367	1 735	83 621
In- och upplåning från allmänheten	1 255 043	9 612	1 539	134 405	51	1 400 651
Emitterade värdepapper	339 597	176 987	216 164	519 803	128 511	1 381 062
Övriga skulder	481 431					481 431
<b>Summa skulder</b>	<b>2 131 523</b>	<b>206 274</b>	<b>224 064</b>	<b>654 674</b>	<b>130 297</b>	<b>3 346 764</b>
Poster utanför balansräkningen	1 652 711	-25 792	40 472	-29 398	56 434	1 694 427

nettoeffekten. Räntesnetoeffekten vid ränteförändringar mäts som förändringen av räntesnett över en tolv månaders period vid en generell ökning av marknadsräntorna med en procentenhet. Denna effekt speglar de skillnader som finns i rännebindningstider och volymsammansättning mellan tillgångar, skulder och derivat utanför handelslagret med antagandet att balansräkningens storlek är konstant. I beräkningen fastställs rännebindningstid för inlåning som saknar kontraktuell löptid med Internmetod. Detta görs på basis av historiska observationer och endast den del som är såväl stabil som inte räntekänslig justeras. Räntesnetoeffekten uppgick vid årsskiftet till 1 634 mkr (1 359).

## Aktiekursrisk

Bankens aktiekursrisk uppstår främst i Handelsbanken Capital Markets genom kundhandel och i bankens egna aktieinnehav.

Risken mäts som marknadsvärdet förändringen i bankens totala aktiepositioner vid momentan förändring i aktiepriser och volatiliteter med +/-10 respektive +/-25%. Vid årsskiftet uppgick det värsta utfallet av denna risk till 38 mkr (71). Den största exponeringen i aktier kommer från den brittiska marknaden.

## Aktiekursrisk i handelslagret

Aktiekursrisken i Handelsbanken Capital Markets uppkommer vid kundgenererade affärer. Vidare är Handelsbanken Capital Markets market maker för strukturerade produkter, vilket ger upphov till aktiekursrisk, såväl linjär som icke-linjär. Den icke-linjära aktiekursrisken uppkommer via inslag av optioner som finns främst i de strukturerade produkterna.

Banken likviderar och mäter aktiekursrisken i Handelsbanken Capital Markets med matriser. Fördelen med metoden är att den fångar upp

aktiekursrisken inklusive den icke-linjära risken på ett ändamålsenligt sätt. Såväl VaR som andra riskmått och stressscenarier används som komplement i mätningen av aktiekursrisken. Vid årsskiftet uppgick VaR för aktiekursrisk i handelslagret till 4 miljon kronor (0).

## Aktiekursrisk utanför handelslagret

Koncernens aktieinnehav utanför handelslagret utgörs bland annat av Nivå 3-aktier som i huvudsak består av olika typer av bankgemensam verksamhet med anknytning till bankens affär. Innehaven är klassificerade som verkligt värde via övrigt totalresultat och värderas till verkligt värde i balansräkningen. Värdering sker som regel till bankens andel av substansvärdet i bolaget, alternativt till det pris den senaste transaktionen genomfördes. Aktiekursrisken är liten.

## Tabell ÅR:30 Aktiekursrisk

Aktiekursrisk mkr	Förändring i volatilitet					
	2022			2021		
Förändring i aktiepris	-25%	0%	25%	-25%	0%	25%
10%	45	46	48	81	81	81
-10%	-38	-37	-35	-71	-69	-67

## K2 Forts

Tabell ÅR:31 Aktieexponering utanför handelslagret

Aktieexponering utanför handelslagret mkr	2022	2021
Innehav klassificerade som verkligt värde via övrigt totalresultat	544	454
varav NiVé 1 och 2	392	300
varav NiVé 3	152	154
Innehav klassificerade som verkligt värde via övrigt totalresultat	544	454
varav näringsbetingade	252	254
varav övrigt innehav	292	200
Verkligt värdesav vid årets ingång	199	140
Orealiserad marknadsvärdeförändring under året för kvarvarande samt nya innehav	5,4	6,0
Realiserat till följd av försäljningar och avvecklingar under perioden	-3,2	-1
Verkligt värdesav vid årets utgång	221	199
Inbegripet i supplementärt kapital	0	0

## Valutakursrisk

Då banken har verksamhet i ett antal länder utanför Sverige uppkommer en valutaexponering av strukturell natur då koncernens räkenskaper är uttryckta i svenska kronor. Denna strukturella risk hanteras genom en avvägning mellan att antingen reducera valutakursförändringars påverkan på kapitalrelationerna eller eget kapital. Styrelsen har fastställt den maximala påverkan på eget kapital som den strukturella valutapositionen får ge upphov till i säkringen av kärnprimärkapitalrelationen. De övriga valutakursförändringar som påverkar bankens

egna kapital framgår av tabellen Förändring i eget kapital Koncernen på sidan 96.

Bankens direkta valutakursexponering uppstår till följd av kunddriven intradaghandel på de internationella valutamarknaderna. Handeln bedrivs inom Handelsbanken Capital Markets. För denna valutakursrisk har styrelsen, VD och CFO fastställt VaR-limter.

En viss valutaexponering uppstår även i den vanliga bankverksamheten som ett led i hantering av kundflöden och inom finansieringsverksamheten i Group Treasury. För dessa risker har styrelsen, VD och CFO fastställt positionslimiter.

Vid årsskiftet uppgick den aggregerade netto-positionen till 199 mkr (344), exklusive strukturella valutapositioner. Denna valutakursrisk är inte beroende av trendutvecklingen av en enskild valuta eller grupp av valutor, då positionerna är mycket korta och uppkommer i hanteringen av kunddrivna flöden. Den samlade valutakursrisken i handelslagret och övrig verksamhet var 3 mkr (13), mätt som en påverkan på banken vid en momentan förändring av den svenska kronan med 5%.

Tabell ÅR:32 Valutakänslighet

Valutakänslighet (väntat utfall +/-5% förändring av SEK mot respektive valuta) mkr	2022	2021
EUR	1	3
NOK	5	8
DKK	1	0
USD	4	0
GBP	1	5
Övriga valutor	4	5

## Råvaruprisrisk

Handeln med råvaror bedrivs uteslutande inom Handelsbanken Capital Markets. Exponering i råvarurelaterade instrument uppkommer endast till följd av kunddriven handel på de internationella råvarumarknaderna. Råvaruprisrisk, såväl linjär som icke-linjär, mäts som absolutsumman av risken för alla råvaror där banken har exponering. Råvaruprisrisken var vid årsskiftet 1 mkr (1), mätt som den maximala förlusten vid prisförändringar upp till 20% i underliggande råvaror och volatilitetsförändringar upp till 35%. Vid årsskiftet uppgick VaR för råvaruprisrisk till 0 mkr (0).

## Övriga marknadsrisker

Marknadsrisk uppkommer även inom bankens pensionsystem (pensionsrisk). Risken består av risken för värdoförändringar på pensionstillgångarna som tryggar bankens pensionsåtaganden, samt av förändringar i diskonteringsräntor.

## Värdering till verkligt värde

Affärsverksamheten ansvarar för att värderingen av finansiella instrument är korrekt och riskkontrollen ansvarar för att värderingarna valideras. Valideringsansvaret inbegriper att tillse kontroll av marknadsdata som används till värderingen och se till att denna kontroll sker oberoende av risktagarna.

Källor för marknadsdata är oberoende från affärsverksamheten. I de fall där marknadsdata erhållits från affärsverksamheten sker dokumenterade kontroller av rimlighet och mot externa källor. Verifiering av marknadspriser och marknadsdata till modeller ska ske åtminstone varje månad men sker i allväsendighet även dagligen. Värderingsmodeller valideras av riskkontrollfunktionen som är oberoende av den som utvecklat modellen. Värderingskommittén, vars syfte är att samordna värderingsfrågor i Handelsbankenkoncernen, fyller en viktig funktion för att säkerställa, och verka för, att värderingen är korrekt och följer gällande marknadspraxis.

Värderingen av finansiella instrument som värderas till verkligt värde sker enligt IFRS 13. Se not K42 för närmare information om de tillgångar och skulder som värderas till verkligt värde samt för ytterligare information om bankens värderingsprocess.

## Försiktig värdering

I enlighet med värderingsreglerna i kapitaltäckningsregelverket, gör Handelsbanken kvartalsvis en justering av kapitalbasen avseende osäkerheten i värderingen av positioner värderade till verkligt värde. Justeringen syftar till att bedöma vad kapitalbasen minst är värd för banken med 90% säkerhet vid en försäljning eller stängning av positionerna. Justeringen beräknas som skillnaden mellan en försiktig värdering och det redovisade värdet som är det mest sannolika värdet. Justeringen baseras på bedömningar om bland annat osäkerhet i marknadsdata, koncentrerade positioner och modellrisker.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

## FINANSIERING OCH LIKVIDITETSRIK

Likviditetsrisk är risken för att banken inte kan fullgöra sina betalningsförpliktelser när dessa förfaller, utan att drabbas av oacceptabla kostnader eller förluster.

## FINANSIERINGSSTRATEGI

Handelsbanken har låg tolerans för likviditetsrisker, såväl totalt sett såsom i enskilda valutor. Ambitionen är att ha god tillgång till likviditet, låg resultatvariation och stor kapacitet att även i svåra tider kunna tillgodose kundernas finansieringsbehov. Det sker genom att upprätthålla god matchning av ingående och utgående kassaflöden över tid i alla för banken väsentliga valutor och genom att upprätthålla stora likviditetsreserver av god kvalitet. Banken minimerar på det sättet de ekonomiska riskerna i finansieringen och kan därmed upprätthålla stabil och långsiktig finansiering till de affärsdrivande enheterna.

Vidare eftersträvas en bredd i finansieringsprogrammen och deras användning. Därigenom säkerställs att banken kan bedriva sin kärnverksamhet intakt under en lång period även om de finansiella marknaderna skulle ha omfattande störningar.

Resultatet av detta arbete är en väl matchad balansräkning där likvida tillgångar finansieras med stabil finansiering. De likvida tillgångarna

utgörs av krediter till hushåll och företag. Dessa krediter utgör bankens kärnverksamhet. Den långsiktiga stabila finansieringen av dessa tillgångar utgörs av säkerställda obligationer emitterade av Stadshypotek, seniora obligationer emitterade av Handelsbanken, inlåning från hushåll och viss inlåning från företag, efterställda skulder och eget kapital.

En balansräkning är en ögonblicksbild av tillgångar och skulder. För att säkerställa bankens åtaganden gentemot kunder och investerare är det viktigt med ett framtblickande perspektiv i finansierings- och likviditetsriskhanteringen. Balansräkningen är därför strukturerad så att den reala ekonomins aktörer i form av företag och hushåll och deras behov av krediter kan understödjas även under en långvarig stress på de finansiella marknaderna. De kortfristiga skulderna täcks med god marginal av de kortfristiga tillgångarna. I figur ÅR:33 beskrivs balansräkningen i ett stressat scenario där 20% av inlåningen antas försvinna inom ett år och all tillgång till ny marknadsfinansiering försvinner. Trots stressen beräknas korta tillgångar vid årets slut väsentligt överstiga korta skulder. Effekten av en långvarig kris skulle bli en krympt balansräkning med bibehållen kärnverksamhet där volymen korta tillgångar successivt används för att återbetala förfallande korta skulder. Skulle en kris bli än mer allvarig finns det likviditetskapande åtgärder förberedda för att stödja verksamheten ytterligare.

Handelsbankens förtroende på marknaden är högt och marknaden bedömer att Handelsbankens kreditrisk är låg. Detta illustreras bland annat av att kostnaden för att försäkra en kreditrisk på banken, den så kallade CDS-spreaden, är fortsatt en av de lägsta bland europeiska

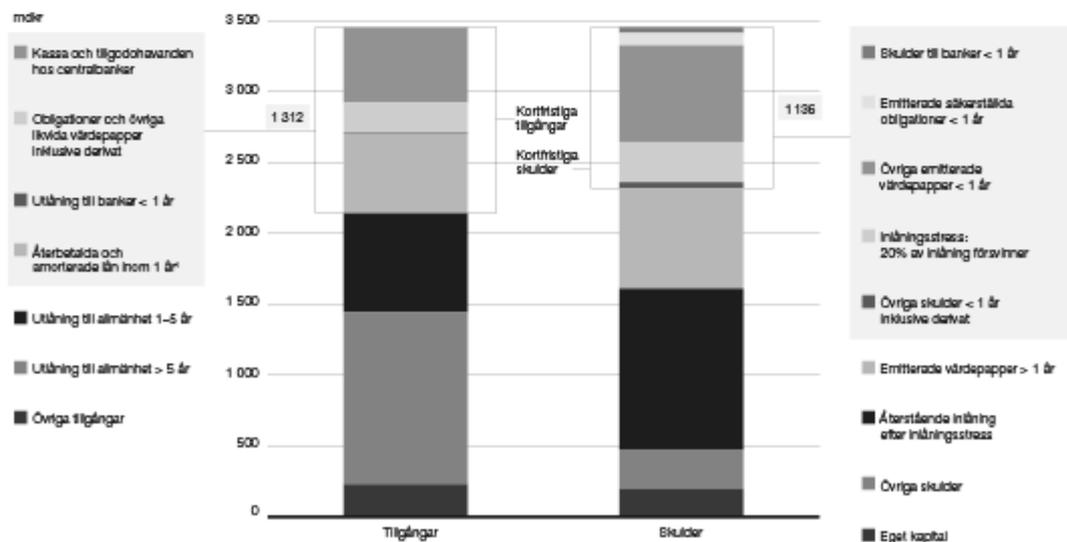
banker, och att Handelsbanken har låga finansieringskostnader jämfört med konkurrerande banker. Handelsbanken har en fortsatt hög rating hos de externa ratinginstituten och är en av de högst ratade bankerna globalt utifrån samtliga jämförbara banker. Utsakterna för bankens rating är stabil från samtliga institut som ger kreditbetyg till banken.

Ett viktigt inslag i finansieringsstrategin är att ha en god spridning mellan olika typer av finansieringskällor i olika marknader, valutor och typer av upplåningsinstrument. På så vis reduceras betydelsen av enskilda marknader eller finansieringskällor. Banken har en geografiskt väldiversifierad långfristig utlandsfinansiering och har emitterat betydande volymer av obligationer i bland annat amerikanska dollar, euro, brittiska pund och australiska dollar. De viktigaste finansieringskällorna är inlåning från hushåll och företag samt säkerställda och seniora obligationer. Den korta finansieringen utgörs primärt av inlåning från finansiella företag och institutioner samt emissioner av bankcertifikat (CP) och inlåningsbevis (CD). Group Treasury förfogar över ett antal olika finansieringsprogram för marknadsfinansiering. Under dessa program emitteras obligationer, inlåningsbevis och bankcertifikat såväl i bankens namn som för Stadshypotek och Handelsbanken plc. Finansieringsprogrammen säkerställer en väl diversifierad tillgång till finansiering med avseende på olika valutor, antal investerare, skuldtyper och geografisk spridning.

## ORGANISATION

Handelsbanken har en decentraliserad affärsmodell där bankens likviditetsövervakning sker lokalt nära affärerna, men all finansiering och likviditets-

Figur ÅR:33 Balansräkningens sammansättning urett löptidsperspektiv

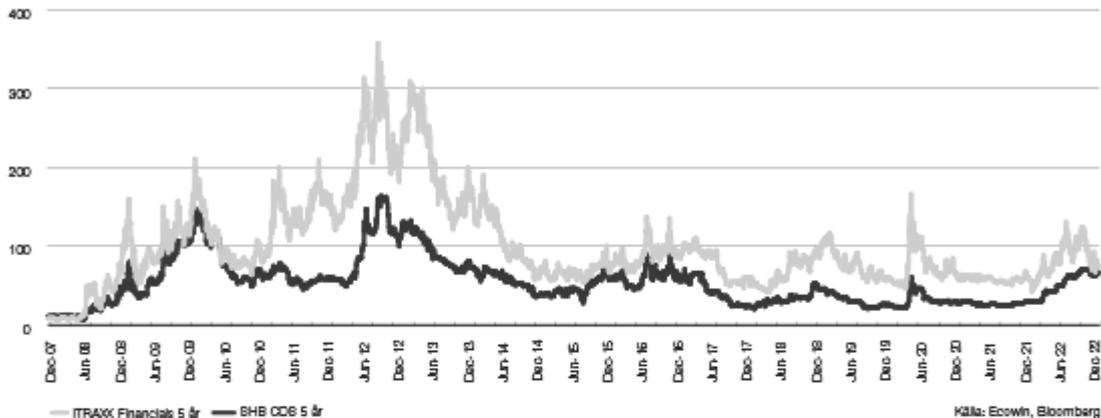


\* Enligt amorteringsplaner, kontraktuella förfall och ytterligare åberättningar av lån enligt prognos.

K2 Forts

**Figur ÅR:34 Handelsbankens 5-åriga CDS-spread jämfört med ITRAXX Financiale**  
ITRAXX Financiale är ett index över CDS-spreadarna för de 25 största obligationsemittenterna inom bank- och försäkringssektorn i Europa och beskriver den genomsnittliga premien som investerare kräver för att acceptera kreditrisk på bolagen.

Baspunkter



Källa: Ecowin, Bloomberg

hantering i koncernen är centraliserad till Group Treasury. Finansierings- och likviditetshanteringen styrs av policyer fastställda av styrelsen som också beslutar om limitar. Dessa policyer konkretiseras i riktlinjer av VD och instruktioner från CFO. Instruktionerna fastställer bland annat limitar, finansieringens sammansättning och riktvärden i samband med störningar på finansieringsmarknaderna. Vidare kanaliseras alla likviditetslimitar ut i verksamheten via Group Treasury.

Group Treasury ansvarar också för bankens likviditetsreserv, inklusive de parter som måste hållas i olika betalnings- och clearingssystem och övervakar likviditetsförhållandena under dagen för att säkerställa att banken har tillräckligt med säkerheter i betalningssystemen för att fullfölja bankens betalningsförpliktelser.

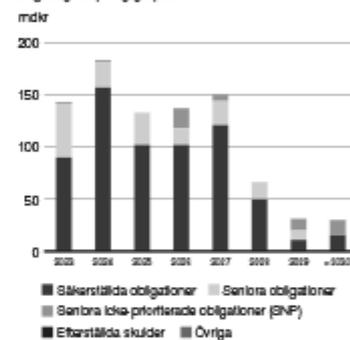
Storleken på parter i clearingssystemen sätts utifrån den omfattning som banken bedömer behövs för bankens åtagande både vid normala och vid stressade förhållanden. Vid förändringar av dessa förhållanden justeras storleken av parter och likviditet, och vid krisituationer kan också parter omfördelas och likviditetsreserven utryttas. Banken säkerställer likviditeten på bankens centralbanks- och nödrockkonton för förväntade betalnings- och avvecklingsåtaganden genom aktiv likviditetsplanering och övervakning i samtliga valutor.

**MARKNADSFINANSIERING – SAMMANSÄTTNING**

Den makroekonomiska miljön under 2022 har periodvis karaktäriserats av stor osäkerhet. Osäkerheten – en följd av kvarvarande pandemi-relaterade effekter, inflation, stigande räntor, ett svagare företagsklimat och geopolitiska risker – har påverkat de finansiella marknaderna och lett till att volatiliteten i kreditspreadar och generella räntor har varit hög och att likviditeten på marknaderna periodvis har varit dålig. Handelsbanken har dock under hela året haft tillgång till marknaderna och därmed kunnat bibehålla en stark likviditetssituation under hela året. Den osäkerhet som präglade real ekonomin och de finansiella marknaderna under året ledde till ett beslut att stärka reserverna och marknadsfinansieringen blev därmed något större än planerat under 2022. För de kortare löptiderna har finansieringen dessutom förskjutits från EUR till USD då marknaden för USD varit mer likvid.

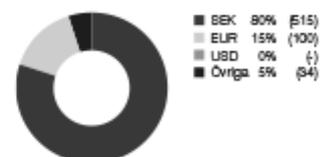
Handelsbanken har under året emitterat totalt 192 mdkr (193) långfristig marknadsfinansiering fördelat över bankens viktigaste finansieringsvalutor. En viktig komponent i den långfristiga marknadsfinansieringen är emissioner av säkerställda obligationer. Valutfördelningen över den utestående stocken visas nedan i Figur ÅR:36. Kortfristig uppläning sker företrädesvis genom emis-

**Figur ÅR:35 Långfristig marknadsfinansiering – förfallostruktur**  
Avser emitterade värdepapper per 2022-12-31 med en långfristig<sup>1</sup> ursprunglig löptid.



<sup>1</sup> Långfristig löptid motsvarar en löptid lika med eller överstigande ett år och en månad.

**Figur ÅR:36 Marknadsfinansiering säkerställda obligationer per valuta 2022**  
Avser fördelningen av valutor 2022-12-31 för emitterade säkerställda obligationer. Belopp i mdkr inom parentes.



**Figur ÅR:37 Kortfristig marknadsfinansiering per valuta 2022**

Avser fördelningen av valutor 2022-12-31 för emitterade värdepapper med en kortfristig<sup>1</sup> ursprunglig löptid. Belopp i mdkr inom parentes.



<sup>1</sup> Kortfristig löptid motsvarar en löptid understigande ett år och en månad.

**Figur ÅR:38 Långfristig marknadsfinansiering per valuta 2022**

Avser fördelningen av valutor 2022-12-31 för emitterade värdepapper med en långfristig<sup>1</sup> ursprunglig löptid. Belopp i mdkr inom parentes.



<sup>1</sup> Långfristig löptid motsvarar en löptid lika med eller överstigande ett år och en månad.

**Figur ÅR:39 Långfristig marknadsfinansiering per instrument 2022**

Avser fördelning per instrument 2022-12-31 för emitterade värdepapper med en långfristig<sup>1</sup> ursprunglig löptid. Belopp i mdkr inom parentes.



<sup>1</sup> Långfristig löptid motsvarar en löptid lika med eller överstigande ett år och en månad.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

sloner av bankcertifikat och inlåningsbevis, främst i Europa och USA. Denna upplåning kompletteras av tidsbestämd inlåning från stora företag, finansiella såväl som icke-finansiella. I anslutning till finansieringsverksamheten har banken fortsatt att möta investerare i samma omfattning som tidigare, uppdaterat upplåningsprogram och även i övrigt bibehållit förutsättningarna för en obligationsupplåning på relevanta globala upplåningsmarknader. Detta har möjliggjort att finansieringsverksamheten kunnat genomföras som normalt under året.

## PANTSATTA TILLGÅNGAR OCH SÄKERHETSPOOLER

Ytterligare ett viktigt led i Handelsbankens likviditetshantering är att hålla betydande volymer av outnyttjade säkerheter som kan användas vid störningar på finansmarknaderna. En förutsättning för att kunna ställa mer säkerheter är att banken förfogar över outnyttjade säkerheter i utgångsläget. Banken upprätthåller därför betydande volymer av icke-pantsatta tillgångar som skulle kunna användas som säkerhet vid emission av säkerställda obligationer och likvida värdepapper med mycket hög kreditvärdighet.

Banken är restriktiv med att ingå avtal med andra än kreditinstitut, till exempel CSA-avtal, som stipulerar att banken under vissa kriterier

kan tvingas att ställa säkerheter till en motpart. Ställda kontantsäkerheter enligt CSA-avtal för utestående derivat uppgick till 6 670 mkr (3 077). För mer information om bankens intecknade tillgångar, se Faktaboken som återfinns på handelsbanken.com/lrsv, tabell Ställda säkerheter. Utöver att säkerställa bankens likviditet bidrar det restriktiva arbets sättet till att begränsa vilken utsträckning bankens senlora långivare blir efterställda de långivare som investerar i säkerställda obligationer, så kallad subordnering.

För att bedöma graden av subordnering mellan investerare av icke-säkerställd finansiering och säkerställd finansiering är det volymen och kreditkvaliteten på de icke-pantsatta tillgångarna som är relevant. Handelsbankens restriktiva syn på risktagande gör att de icke-pantsatta tillgångarna har en hög kvalitet. Eftersom Handelsbanken vill ha en balanserad användning av säkerställda och senlora obligationer finns en betydande volym hypotekslån som inte är pantsatta.

Tabell ÅR:40 visar att volymen icke-pantsatta tillgångar för Handelsbanken utgör 272% (268) av den utestående volymen icke-säkerställd upplåning.

Den helt dominerande delen av de pantsatta tillgångarna utgörs av Stadshypoteks cover pooler, vilka består av hypotekslån som ställs

som säkerhet för utestående säkerställda obligationer. Dessutom har banken ett frivilligt så kallat OC (over-collateralisation), det vill säga extra tillgångar utöver de som behövs för att täcka de emitterade obligationerna och utöver de 2% som lagstiftningen kräver, på 8% som ingår i poolen. Dessa extra tillgångar finns i poolen i händelse av att värdet på hypotekslånen skulle sjunka till en sådan nivå att ytterligare tillgångar behövs för att matcha volymen utestående obligationer.

Vid en bedömning av risken för att ytterligare tillgångar blir nödvändiga att skjuta till, är belåningsgraden på hypotekslånen i cover poolen central. Ju lägre belåningsgrad, desto mindre risk för att ytterligare hypotekslån krävs i poolen vid prisfall på fastighetsmarknaden. Handelsbankens genomsnittliga volymviktade belåningsgrad, LTV-max, uppgick i den svenska poolen till 51,0% (49,4) och i den norska poolen till 55,8% (50,0). Detta visar att banken klarar betydande prisfall på underliggande fastighetstillgångar innan ytterligare hypotekslån måste tillföras poolerna. De tillgångar som banken valt att hålla utanför cover poolerna återfinns i tabell ÅR:40 och kan användas för emissioner av säkerställda obligationer om så skulle vara nödvändigt.

Tabell ÅR:40 Tillgångar som ej är inteknade/pantsatta

Tillgångar som ej är inteknade/pantsatta	2022		2021	
	Ackumulerad andel av icke säkerställd upplåning, % <sup>2</sup>		Ackumulerad andel av icke säkerställd upplåning, % <sup>2</sup>	
mkr	IPT (NEA) <sup>1</sup>		IPT (NEA) <sup>1</sup>	
Kontanter samt behållning hos centralbanken	806	86	430	60
Likvida obligationer i likviditetsportföljen <sup>3</sup>	171	76	187	68
Utlåning till hushåll inklusive derivat	824		808	
varav hypotekslån	360	116	405	114
varav utlåning med säkerhet i fastighet	3	116	4	114
varav övrig hushålls utlåning	152	133	188	136
Utlåning till företag inklusive derivat	1 200		1 103	
varav hypotekslån	433	181	385	180
varav utlåning till bostadsrättsföreningar och hypotekslån	84	190	58	186
varav utlåning till fastighetsbolag och hypotekslån				
- riskklass 1-3	311	225	238	220
- riskklass 4-5	152	241	140	237
- varav riskklass > 5	8	242	9	238
varav övrig företagsutlåning				
- riskklass 1-3	136	257	122	252
- riskklass 4-5	70	265	73	260
- riskklass > 5	6	266	8	261
Utlåning till kreditinstitut inklusive derivat	4		29	
- riskklass 1-3	4	266	28	264
- riskklass > 3	0	266	1	264
Övrig utlåning	86	272	36	268
Övriga tillgångar	0	272	0	268
<b>Summa</b>	<b>2 480</b>	<b>272</b>	<b>2 382</b>	<b>268</b>
Pantsatta tillgångar utan underliggande skuld <sup>4</sup>	76		66	
Pantsatta tillgångar med underliggande skuld	920		920	
<b>Summa tillgångar, koncernen</b>	<b>3 484</b>		<b>3 347</b>	

<sup>1</sup> IPT: icke-inteknade/pantsatta tillgångar, NEA: Non encumbered assets.

<sup>2</sup> Emitterad kort och lång icke-säkerställd upplåning samt skulder till kreditinstitut.

<sup>3</sup> Avser i centralbank pantsättningsbart värde.

<sup>4</sup> Överpantsättning i Cover pool (OC) och medel av satta för Operational Continuity In Resolution krav i UK (from 2021).

## K2 Forts

Tabell ÅR:41 Cover pool-data

Cover pool-data	Sverige		Norge	
	2022	2021	2022	2021
Stadshypotek summa utlåning, ulmånheten	1 376 478	1 301 712	127 254	115 928
Tillgängliga tillgångar för cover pool	1 364 436	1 205 881	121 596	110 019
Inspråkta tillgångar i cover pool	651 915	617 417	76 747	56 746
Plyindssäkerheter, spämat konto	100	5 000	-	-
Max-belåningsgrad %, vägt genomnitt enligt ABCB:s definition <sup>1</sup>	51,03	49,38	55,85	50,03
<b>Belåningsgrad, fördelning</b>				
0-10%	24,2	24,6	22,6	27,1
10-20%	20,9	21,7	20,3	20,9
20-30%	17,7	18,5	17,5	16,3
30-40%	14,4	14,6	14,5	13,5
40-50%	10,6	10,2	11,3	10,3
50-60%	6,9	6,1	7,8	7,1
60-70%	4,1	3,3	4,6	3,8
70-75%	1,3	0,9	1,4	1,0
Lånestorlek, vägt genomnitt, kronor	780 900	717 800	2 883 595	4 443 656
Lånelångd, vägt genomnitt, antal månader <sup>2</sup>	73,0	71	28,0	28
<b>Räntebindningstider, fördelning</b>				
Rörlig ränta, %	44,4	36,0	95,8	95,7
Bunden ränta, %	55,6	64,0	4,2	3,3

<sup>1</sup> Association of Swedish Covered Bond Issuers.<sup>2</sup> Beräknat från lånets betalingsdatum.

## LIKVIDITETSRISK

Banken hanterar en stor mängd in- och utgående kassaflöden i sin verksamhet. För att begränsa risken i likviditetshanteringen har banken ett robust risktoleransramverk med både limiter och kvalitativa uttryckta mål för likviditetsrisk. Group Risk Control anser att för riskmätningen och rapporterar riskutnyttjandet dagligen till CFO, veckovis till IVD och löpande till styrelsen.

Likviditetsplaneringen bygger på en analys av kassaflöden för respektive valuta. Generellt gäller att exponeringen tillåts vara större i valutor med hög likviditet än i valutor där likviditeten är låg. Finansieringsstrategin bygger på att likvida tillgångar finansieras stabilt och långsiktigt och att en positiv likviditetsposition (kassaflöden tillsammans med likvida tillgångar) ska upprätthållas även under stressade förhållanden.

Styrningen av bankens likviditetssituation baseras därför på stress-tester vilka utförs på såväl aggregerad nivå som enskilt i de för banken väsentliga valutorna. Stress-testerna säkerställer att banken har tillräcklig likviditet i både det korta och långa perspektivet givet olika stressade scenarier och likviditetsskapande åtgärder. Stress-testerna utförs med såväl marknadsvid som idiosynkratisk stress på en regelbunden basis samt ad hoc. De kompletteras även med scenarionalyser som tar kraftiga bostadsprisfall i beaktande. I stress-testerna antas att banken inte har tillgång till marknadsfinansiering samtidigt som delar av inlåningen från hushåll och företag successivt försvinner under den första månaden. Vidare antas att banken fortsätter att bedriva sin kärnverksamhet genom att utlåningen till hushåll och företag förlängs vid förfall och att kunderna delvis nyttjar utställda löften och kreditfaciliteter.

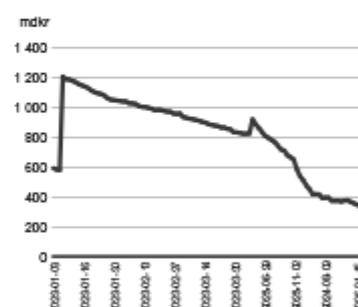
Stress-testerna utgår från att likviditetsreservens kassatillgångar används och att värdepapper omedelbart kan ge likviditet genom belåning, i första hand via marknaden och som sista utväg i centralbanker.

Därutöver kan banken skapa likviditet genom att nyttja emissionsutrymme av säkerställda obligationer samt aktivera övriga likviditetsskapande åtgärder för att successivt ge likviditet till banken. Volymen och kvaliteten på outnyttjade säkerheter ska vara sådana att de vid en krisituation kan ge banken den likviditet som är nödvändig. Under dessa förutsättningar är banken likvid i mer än tre år. Banken har således en stor motståndskraft mot omfattande och långvarig stress.

En förutsättning för att banken ska kunna upprätthålla en stor motståndskraft mot störningar på de finansiella marknaderna är en välmatchad balansräkning. Figur ÅR:33 Balansräkningens sammansättning ur ett löptidsperspektiv visar att volymen kortfristiga tillgångar väsentligt överstiger volymen kortfristiga skulder i ett stressat scenario där 20% av inlåningen antas försvinna inom ett år.

I tabell ÅR:45 Förtalocanalys för finansiella tillgångar och skulder redovisas kassaflöden för de kontrakterade betalningsåtaganden inklusive ränteflöden som ska erläggas senast inom de angivna tidsintervallen. I tabellen redovisas innehav i obligationer och andra räntebärande värdepapper i det tidsintervall i vilket de kan omsättas till likviditet vid en eventuell belåning eller försäljning. Vidare redovisas tillgångar, skulder och ränteflöden som förfaller i de tidsintervall som motsvarar kontraktens förfalldatum. Ränteflöden för utlåning i hypoteksvksamheten matchas tidsmässigt med de skulder

Figur ÅR:42 Stress-test av likviditeten inklusive likviditetsskapande åtgärder - ackumulerad likviditetsposition



## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

som finansierat utlåningen. Finansiella garantier, lånelöften och outnyttjade räkningskrediter redovisas i sin helhet i tidsintervallet upp till 90 dagar. Totalt utestående belopp för dessa åtaganden representerar inte nödvändigtvis framtida finansieringsbehov. För derivatinstrument redovisas kassaflöden netto för ränteswappar och brutto för instrument för vilka bruttokassaflöden erläggs respektive erhålls, som exempelvis valutaswappar.

Liquiditetstäckningskvoten LCR (Liquidity Coverage Ratio) är genom Europiska kommissionens delegerade förordning ett bindande krav för banker inom EU. Måttet uttrycker kvoten mellan bankens likviditetsbuffert och nettokassaflöden i ett mycket stressat scenario under en 30-dagarsperiod. Kravet gäller på aggregerad nivå och kvoten ska uppgå till minst 100%. Finansinspektionen ställer även krav på LCR i enskilda valutor inom ramen för översyn

och utvärderingsprocessen i Pelare 2. Vid årsskiftet uppgick koncernens aggregerade LCR till 163% (152), vilket visar att banken har stor motståndskraft mot kortskaliga störningar på finansieringsmarknaden.

Minimikravet för det strukturella likviditetsmättet Net Stable Funding Ratio (NSFR), relationen mellan tillgänglig stabil finansiering och behovet av stabil finansiering, innebär att banken ska ha tillräcklig stabil finansiering för att täcka sina finansieringsbehov över en längre tidsperiod, under både normala och stressade förhållanden. Minimikravet gäller på aggregerad nivå och kvoten ska uppgå till minst 100%. Vid utgången av 2022 uppgick NSFR till 114% (114) på koncernnivå.

## PRISSÄTTNING AV LIKVIDITETSRIKISK

En viktig del av likviditetsriskhanteringen är att inlåning och utlåning internt prissätts med

hänsyn till de likviditetsrisker de ger upphov till. När banken tillhandahåller ett lån med lång löptid skapas ett behov av att införskaffa ytterligare långfristig finansiering, vilket normalt är dyrare än kortfristig finansiering. Detta är till följd av att investeraren som köper bankens långfristiga obligationer normalt kräver en högre kompensations för löptiden. Detta beaktas i bankens interna prissättning, vilket sker genom att det pris som interna enheter i banken får betala för den finansiering de erhåller från Group Treasury tar hänsyn till, bland annat, löptiden. Den interna prissättningen är viktig för att skapa rätt incitament och undvika att ett osunt risktagande uppstår. Banken har under lång tid arbetat med löptidsbaserade internräntor som säkerställer att priset på kontraktsnivå tar höjd för den finansieringskostnad och likviditetsrisk avtalet gett upphov till.

Tabell ÅR:43 Liquidity coverage ratio (LCR) – delkomponenter

Liquidity coverage ratio (LCR) – delkomponenter mio	2022	2021
Högvalutativa likviditetstillgångar	673 798	662 122
Kassaflöden	400 448	481 300
Inlåning från allmänheten och småföretag	65 380	66 550
Osäkerad kapitalmarknadsfinansiering	293 008	289 879
Säkerad kapitalmarknadsfinansiering	7 351	11 305
Övriga kassaflöden	124 709	63 566
Kassaflöden	77 602	41 840
Inflöden från fullt prissat exponeringar	27 209	22 375
Övriga kassaflöden	50 293	19 474
Liquidity coverage ratio (LCR), %	163%	162%

Delkomponenterna definieras i enlighet med Kommissionens delegerade förordning (EU) 2015/61.

Tabell ÅR:44 Net stable funding ratio (NSFR) – delkomponenter

Net stable funding ratio (NSFR) – delkomponenter mio	2022	2021
Tillgänglig stabil finansiering	2 036 682	2 026 418
Kapitalposter och kapitalinstrument	214 134	202 877
Inlåning från allmänheten	724 112	704 382
Kapitalmarknadsfinansiering	1 092 732	1 113 915
Övriga skulder	5 954	5 239
Behov av stabil finansiering	1 708 087	1 774 542
Summa av högvalutativa likvida tillgångar	4 918	7 927
Tillgångar som är inräknade för en återstående löptid på ett år eller mer i en säkerhetsmassa	483 554	449 323
Iska nödlidande lån och värdepapper	1 232 720	1 223 354
Övriga tillgångar	48 935	69 258
Poster utanför balansräkningen	23 811	24 680
Net stable funding ratio (NSFR), %	114%	114%

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

## Tabell AR45 Förfalloanalys för finansiella tillgångar och skulder

För inlämningsvolym mer avser kolumn "Ospecifierad löptid" inlåning som är betalbar på anfordran. Tabellen innehåller ränteföden vilket innebär att balansraderna inte är avräkningsbara mot koncernens balansräkning. Löptidstabeller utan ränteföden inkludera löptidstabeller i valuta årlinns i Faktaboken på handelsbanken.com/fin.

Förfalloanalys för finansiella tillgångar och skulder 2022	Upp till 30 dagar	31 dagar-6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Ospecifierad löptid	Summa
Kassa och tillgodohavanden i centralbanker	508 723	-	-	-	-	-	-	508 723
Betalningsbara statskuldförbindelser <sup>1</sup>	132 989	-	-	-	-	-	-	132 989
Obligationer och andra räntebärande värdepapper <sup>2</sup>	32 846	-	-	-	-	-	-	32 846
Utlåning till kreditinstitut	6 346	180	328	584	1 872	2 382	-	11 691
varav omvända repor	-	-	-	-	-	-	-	-
Utlåning till allmänheten	65 944	301 126	242 448	280 925	510 950	1 245 526	-	2 646 914
varav omvända repor	12 912	-	-	-	-	-	-	12 912
Övrigt	23 717	-	-	-	-	-	277 283	301 000
varav aktier och andelar	12 815	-	-	-	-	-	-	12 815
varav fordringar på fondskulder	10 902	-	-	-	-	-	-	10 902
<b>Summa tillgångar</b>	<b>770 684</b>	<b>301 306</b>	<b>242 771</b>	<b>281 510</b>	<b>612 822</b>	<b>1 247 908</b>	<b>277 283</b>	<b>3 634 163</b>
Skulder till kreditinstitut	38 283	27 232	3 622	1 010	477	155	10 809	82 983
varav repor	-	-	-	-	-	-	-	-
varav inlåning från centralbanker	14 212	20 000	2 652	114	-	-	3	36 989
In- och upplåning från allmänheten	27 400	75 911	36 517	10 017	2 085	5 849	1 224 503	1 382 682
varav repor	4	-	-	-	-	-	-	4
Emitterade värdepapper <sup>3</sup>	92 544	510 171	185 168	187 428	423 008	127 585	-	1 525 899
varav säkerställda obligationer	7 914	76 552	11 011	157 739	323 167	75 500	-	657 884
varav bankcertifikat (CB:s) med ursprunglig löptid understigande ett år	35 096	196 836	58 078	-	-	-	-	289 009
varav företagscertifikat (CP:s) med ursprunglig löptid understigande ett år	49 419	207 859	73 242	-	-	-	-	330 530
varav bankcertifikat (CB:s) och företagscertifikat (CP:s) med ursprunglig löptid överstigande ett år	9	6 549	8 973	553	-	-	-	16 084
varav Senior/Non-Preferred-obligationer	-	289	140	423	25 585	25 027	-	51 458
varav seniora obligationer och övriga värdepapper med ursprunglig löptid över ett år	105	29 082	33 724	28 713	74 251	27 058	-	186 933
Efterställda skulder	-	9 614	145	14 406	13 511	11 476	-	49 240
Övrigt	5 047	375	378	716	1 456	653	463 099	471 724
varav korta positioner	1 947	-	-	-	-	-	-	1 947
varav fondskulderskulder	3 087	-	-	-	-	-	-	3 087
<b>Summa skulder</b>	<b>163 273</b>	<b>623 302</b>	<b>226 830</b>	<b>213 686</b>	<b>440 833</b>	<b>147 114</b>	<b>1 698 810</b>	<b>3 612 829</b>
Poster utanför balansräkningen								
Finansiella garantier och ej utnyttjade lånelånen	459 114							
<b>Derivat 2022</b>	<b>Upp till 30 dagar</b>	<b>31 dagar-6 månader</b>	<b>6-12 månader</b>	<b>1-2 år</b>	<b>2-5 år</b>	<b>Över 5 år</b>	<b>Summa</b>	
Summa derivat inlöste	182 101	590 120	150 293	121 954	213 073	117 024	1 374 565	
Summa derivat utförde	180 101	589 221	149 097	120 987	211 934	111 955	1 363 295	
<b>Netto</b>	<b>2 000</b>	<b>899</b>	<b>1 196</b>	<b>967</b>	<b>1 139</b>	<b>6 069</b>	<b>11 270</b>	

Tillgångar och skulder i tabellen ovan inkluderar avyttringsgruppen Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller för försäljning respektive Skulder som innehåller för försäljning, se not K14. I jämförelseifromma ingår även Danmark som avyttrats under fjärde kvartalet 2022.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

Förälsanalys för finansiella tillgångar och skulder 2021 mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Opspecificerad löptid	Summa
Kassa och tillgodohavanden i centralbanker	439 983	-	-	-	-	-	-	439 983
Balanserade statskuldförbindelser <sup>1</sup>	100 563	-	-	-	-	-	-	100 563
Obligationer och andra räntebärande värdepapper <sup>2</sup>	33 333	-	-	-	-	-	-	33 333
Utlåning till kreditinstitut	19 246	176	200	615	1 497	2 371	-	24 105
varav omväxelsrapor	12 126	-	-	-	-	-	-	12 126
Utlåning till allmänheten	52 107	274 819	218 002	252 736	469 331	1 236 095	-	2 503 000
varav omväxelsrapor	13 648	-	-	-	-	-	-	13 648
Övrigt	22 701	-	-	-	-	-	315 940	338 641
varav aktier och andelar	19 934	-	-	-	-	-	-	19 934
varav fordringar på fondkivider	2 767	-	-	-	-	-	-	2 767
<b>Summa tillgångar</b>	<b>667 933</b>	<b>274 995</b>	<b>218 202</b>	<b>253 351</b>	<b>470 828</b>	<b>1 238 466</b>	<b>315 940</b>	<b>3 430 715</b>
Skulder till kreditinstitut	34 370	36 257	4 077	1 276	359	1 176	6 541	84 056
varav rapor	-	-	-	-	-	-	-	0
varav insättning från centralbanker	21 832	28 676	-	-	-	-	344	50 852
In- och upplåning från allmänheten	18 300	35 305	1 781	483	37 1	6 263	1 338 153	1 400 657
varav rapor	213	-	-	-	-	-	-	213
Emitterade värdepapper <sup>3</sup>	58 526	368 375	263 962	155 320	412 914	122 439	-	1 381 536
varav säkerställda obligationer	26	40 329	73 743	1 04 740	339 886	89 447	-	648 171
varav bankcertifikat (CD:s) med ursprunglig löptid underliggande ett år	22 077	1 37 708	51 998	-	-	-	-	211 783
varav företagscertifikat (CP:s) med ursprunglig löptid underliggande ett år	27 128	1 66 51 6	1 06 409	-	-	-	-	300 053
varav bankcertifikat (CD:s) och företagscertifikat (CP:s) med ursprunglig löptid överliggande ett år	4 184	2 550	931	-	-	-	-	7 665
varav Senior Non-preferred-obligationer	-	11 5	69	184	17 568	15 887	-	33 823
varav senare obligationer och bingte värdepapper med ursprunglig löptid över ett år	5 111	21 157	30 812	50 396	55 460	17 105	-	180 041
Efterställda skulder	-	926	2 960	8 507	13 628	10 195	-	36 286
Övrigt	7 064	365	369	700	1 514	841	470 599	481 452
varav konti positioner	4 126	-	-	-	-	-	-	4 126
varav fondkividskulder	2 927	-	-	-	-	-	-	2 927
<b>Summa skulder</b>	<b>118 260</b>	<b>441 220</b>	<b>273 140</b>	<b>168 286</b>	<b>428 886</b>	<b>140 014</b>	<b>1 815 263</b>	<b>3 383 987</b>
Poster utanför balansräkningen								
Finansiella garantier och ej utnyttjade lånelöften	486 517							
<b>Derivat 2021</b>								
mkr								
Summa derivat inflöde	220 594	487 565	83 775	99 046	145 200	78 969	-	1 115 149
Summa derivat utflöde	218 965	483 166	80 840	97 391	147 217	80 891	-	1 108 470
<b>Netto</b>	<b>1 629</b>	<b>4 399</b>	<b>2 935</b>	<b>1 655</b>	<b>-2 017</b>	<b>-1 922</b>	<b>-</b>	<b>6 679</b>

<sup>1</sup> Av beloppet (exklusive räntor) har 106 107 mkr (83 610) en återstående löptid som understiger ett år.

<sup>2</sup> Av beloppet (exklusive räntor) har 2 511 mkr (4 601) en återstående löptid som understiger ett år.

<sup>3</sup> Av beloppet (exklusive räntor) har 767 033 mkr (579 352) en återstående löptid som understiger ett år.

## K2 Forts

## LIKVIDITETSRESEVERN

För att säkerställa att banken har tillräckligt med likviditet för att stödja kärverksamheten även under stressade finansiella förhållanden håller banken betydande likviditetsreserver i alla för banken relevanta valutor. Likviditetsreserven som är oberoende av finansierings- och valutaväxlingsmarknaderna kan vid var tid ge likviditet till banken.

Likviditetsreserven består av flera olika delar. Kassa, tillgodohavanden och övrig utlåning till centralbanker är delar som omedelbart kan ge likviditet till banken. Vidare består reserven av likvida värdepapper som statsobligationer, säkerställda obligationer och andra värdepapper av mycket god kreditkvalitet som är likvida och belåningsbara i centralbanker. Även dessa kan ge banken likviditet omedelbart. Resterande delar av likviditetsreserven består av

outnyttjat emissionsutrymme av säkerställda obligationer och övriga likviditetsskapande åtgärder.

Tabell ÅR46 Tillgodohavanden i centralbanker samt värdepappersinnehav i likviditetsreserven

Tillgodohavanden i centralbanker samt värdepappersinnehav i likviditetsreserven, marknadsvärde 2022 mkr	SEK	EUR	USD	Övrigt	Summa
<b>Tillgångarnivå 1</b>	237 836	175 160	138 365	123 807	675 238
Kassa samt centralbankerserver	99 540	168 032	129 603	108 164	505 339
Värdepapper emitterade eller garanterade av stater, centralbanker, multilaterala utvecklingsbanker och internationella organisationer	117 817	7 019	8 752	1 903	135 491
Värdepapper emitterade av kommuner och enheter inom den offentliga sektorn	447	-	-	-	447
Säkerställda obligationer med extremt hög kvalitet	20 032	99	-	13 831	33 962
<b>Tillgångarnivå 2</b>	290	307	512	90	1 139
<b>Tillgångar nivå 2A</b>	230	215	512	90	1 047
Värdepapper emitterade eller garanterade av stater, centralbanker, kommuner och enheter inom den offentliga sektorn	-	-	-	36	36
Säkerställda obligationer med hög kvalitet	230	215	512	54	1 011
Förstagvärdepapper (lägsta rating AA-)	-	-	-	-	-
<b>Tillgångar nivå 2B</b>	-	91	-	-	91
Värdepapper med bakomliggande tillgångar	-	-	-	-	-
Säkerställda obligationer med hög kvalitet	-	-	-	-	-
Förstagvärdepapper (rating A+ till BBB-)	-	91	-	-	91
Aktier (större aktiaindex)	-	-	-	-	-
<b>Summa likvida tillgångar</b>	<b>238 066</b>	<b>175 467</b>	<b>138 867</b>	<b>123 987</b>	<b>676 377</b>

Tillgodohavanden i centralbanker samt värdepappersinnehav i likviditetsreserven, marknadsvärde 2021 mkr	SEK	EUR	USD	Övrigt	Summa
<b>Tillgångarnivå 1</b>	210 882	167 672	85 123	150 309	593 976
Kassa samt centralbankerserver	92 645	149 369	63 000	133 654	438 668
Värdepapper emitterade eller garanterade av stater, centralbanker, multilaterala utvecklingsbanker och internationella organisationer	95 122	8 013	2 123	5 068	110 326
Värdepapper emitterade av kommuner och enheter inom den offentliga sektorn	616	-	-	-	616
Säkerställda obligationer med extremt hög kvalitet	22 499	190	-	20 677	43 366
<b>Tillgångar nivå 2</b>	568	667	473	1 020	2 640
<b>Tillgångar nivå 2A</b>	568	388	473	1 020	2 449
Värdepapper emitterade eller garanterade av stater, centralbanker, kommuner och enheter inom den offentliga sektorn	-	-	-	617	617
Säkerställda obligationer med hög kvalitet	568	388	473	403	1 832
Förstagvärdepapper (lägsta rating AA-)	-	-	-	-	-
<b>Tillgångar nivå 2B</b>	1	1 99	-	-	2 00
Värdepapper med bakomliggande tillgångar	-	-	-	-	-
Säkerställda obligationer med hög kvalitet	-	-	-	-	-
Förstagvärdepapper (rating A+ till BBB-)	1	1 99	-	-	2 00
Aktier (större aktiaindex)	-	-	-	-	-
<b>Summa likvida tillgångar</b>	<b>211 451</b>	<b>168 160</b>	<b>85 596</b>	<b>160 410</b>	<b>596 625</b>

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

## OPERATIV RISK

Operativ risk är risken för förluster till följd av icke ändamålsenliga eller misslyckade interna processer, mänskliga fel, felaktiga system eller externa händelser. Definitionen inkluderar legal risk samt IT-risker och informationssäkerhetsrisker (IKT-risker).

Styrelsen fastställer Handelsbankenkoncernens risktolerans för operativa risker. Handelsbanken har låg tolerans för operativa risker, samtidigt som operativ risk oundvikligen förekommer i all verksamhet inom banken. Handelsbanken ska så långt som möjligt sträva efter att förebygga dessa risker och reducera förlusterna på detta område. En operativ risk som skulle leda till allvarliga konsekvenser för banken, bankens kunder eller det finansiella systemet i händelse av incident, måste sänkas till en lägre risknivå. Riskbegränsande åtgärder ska vidtas så att risken blir acceptabel. Förluster till följd av en operativ riskhändelse kan täckas av försäkringar eller andra lösningar. Riskbedömningar utförs genom att bedöma konsekvens och sannolikhet att händelser inträffar på en skala graderad från 1 till 5. Den bedömda konsekvensen tillsammans med den bedömda sannolikheten att händelsen inträffar avgör vilka risksänkande åtgärder som krävs. Risken är utanför bankens risktolerans om det saknas åtgärdsplan eller om riskkontrollen bedömer att åtgärderna tar för lång tid eller inte fortloper enligt fastlagd tidplan.

Handelsbankens operativa förluster, som omfattar förväntade och erkända operativa förluster, som överstiger 25 000 kr samt eventuella återvinningar, uppgick under 2022 till 61 mkr (38). Det är inte ovanligt att beloppet avseende operativ förlust justeras över tiden till följd av återvinningar, eller att ytterligare förluster tillkommer som hänförs till en tidigare rapporterad incident. Detta kan

påverka jämförelsetalen för tidigare rapporterade förluster.

## ORGANISATION

Ansvar för att identifiera, bedöma och hantera operativa risker är en integrerad del i chefsansvaret på alla nivåer i Handelsbankenkoncernen. Bankens decentraliserade arbetssätt och kostnadsmedvetenhet främjar en god hantering av operativa risker, vilket leder till en vaksamhet mot potentiella förlustrisker i dagliga rutiner och händelser.

Operativa risker hanteras i affärsverksamheten och hanteringen kontrolleras av riskkontrollen. Till chefernas hjälp med hanteringen av operativa risker finns särskilt utsedda lokala koordinatörer för operativ risk (lokala OpRisk-koordinatörer). Deras ansvar är att säkerställa att befintliga metoder och rutiner för hantering av operativa risker används i affärsverksamheten, att hantera uppföljning av rapporterade incidenter och att stödja affärsverksamheten och följa upp beslutade åtgärder beträffande operativa risker.

Group Risk Control har det övergripande ansvaret för de metoder och rutiner som används för att hantera operativa risker. Ansvaret inkluderar även att regelbundet utvärdera metoder och rutiner samt verksamhetens tillämpning av dessa. Group Risk Control säkerställer att affärsverksamheten identifierar, bedömer, rapporterar och hanterar operativa risker samt att de följer upp att beslutade åtgärder genomförs. Group Risk Control ansvarar också för att tillse att risker utvärderas innan beslut fattas om nya eller väsentligt förändrade produkter, tjänster, marknader, processer och IT-system samt vid större förändringar i koncernens verksamhet och organisation. Group Risk Control ansvarar vidare för att på koncernnivå identifiera, mäta, analysera och rapportera alla väsentliga operativa risker och deras utveckling till ledning och styrelse. Riskrapporteringen till ledning och styrelse innehåller även information om väsentliga incidenter och riskbegränsande åtgärder.

## METODER FÖR ATT IDENTIFIERA, BEDÖMA OCH HANTERA OPERATIVA RISKER

Affärsverksamheten äger och ansvarar för att hantera risker förknippade med den dagliga

operativa verksamheten i enheten genom att samla in relevant riskfakta i dem. Banken övervakar utvecklingen av operativ risk utifrån bland annat följande kategorier av operativ risk:

- brister i handläggning och processer
- avbrott/störning i verksamhet/system
- kunder, produkter och affärspraxis
- extem brottslighet
- skada på materiella tillgångar
- anställningsförhållanden och arbetsmiljö
- Internas bedrägerier.

De koncerngemensamma metoderna för att identifiera, bedöma och hantera operativa risker är incidentrapportering, riskindikatorer och självutvärdering av operativa risker.

## Incidentrapportering

Rapportering av incidenter med förlust överstigande 25 000 kronor är obligatorisk. Andra incidenter som visar på väsentliga operativa risker ska också rapporteras och riskfakta ska samlas in.

## Riskindikatorer

Riskindikatorer tillämpas för att varna om ökad operativ risk. Om ett gränsvärde för en riskindikator överskrids ska en riskanalys genomföras som underlag för bedömning av eventuella riskhanterande åtgärder. För vissa riskindikatorer fastställs gränsvärde av VD.

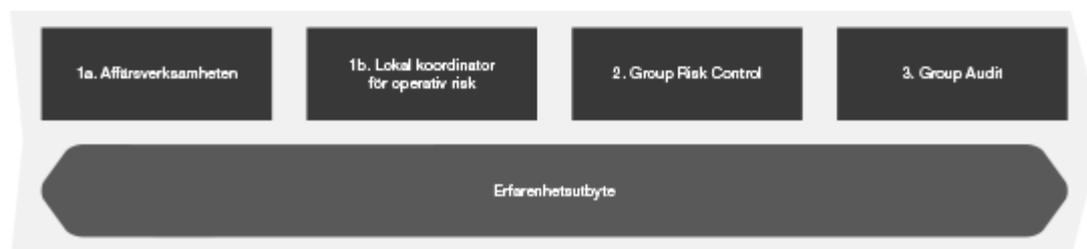
## Självutvärderingsrutin OPRA Riskanalys

OPRA Riskanalys är en metod och självutvärderingsrutin för att dokumentera och bedöma operativa risker som utförs regelbundet på alla enheter. OPRA Riskanalys kan även vara händelsedrivna och utförs vid allvarliga incidenter, överskridande av gränsvärde eller vid allvarlig extem händelse.

## ORX

Banken är medlem i ORX (Operational Riskdata eXchange Association). ORX främsta syfte är att deltagande banker utbyter anonymiserade data om incidenter som inneburit operativa förluster. ORX har också en viktig funktion att standardisera och kvalitetssäkra data om operativa risker. Det sker betydande forskningsarbete om metoder inom ämnet operativ risk, och ORX utgör ett viktigt forum för erfarenhetsutbyte.

Figur ÅR:47 Tre förevärlinjer



## K2 Forts

## IT-VERKSAMHET I

## HANDELSBANKENKONCERNEN

Tillgänglighet och säkerhet i bankens IT-tjänster är en förutsättning för bankens verksamhet.

Den tekniska utvecklingen och digitaliseringen av banktjänster innebär att området ökar i betydelse. VD fastställer riktlinjer avseende övergripande mål och strategi för IT-verksamhet i Handelsbankkoncernen. Operativa risker inom detta område hanteras enligt samma rutiner som i övriga delar av banken, med tillägg av särskilda rutiner för att hantera specifika typer av risker inom området, till exempel:

- övervakning av IT-system i produktion
- hantering av IT-incidenter
- hantering av nya eller förändrade IT-system
- hantering av cyberrisker
- genomförande av säkerhetstester
- genomförande av riskanalyser av IT-system
- granskning av uppdragsavtal och övriga leverantörsavtal med avseende på IT och säkerhet
- kontinuitetshantering av IT-system.

## INFORMATION- OCH IT-SÄKERHET

Säkerhetsarbetet i Handelsbanken syftar bland annat till att skydda anställdas liv, hälsa och integritet samt skydda kundernas och bankens tillgångar och koncernens goda namn och rykte. Känslig information om kunder och kundrelationer hanteras löpande i en banks verksamhet. Handelsbankens arbete med informations- och IT-säkerhet grundar sig på tillgänglighet, riktighet, konfidentialitet och spårbarhet. Information och affärsystem ska finnas tillgängliga utifrån verksamhetens affärskrav. VD fastställer riktlinjer för informations-säkerhet i Handelsbanken. Samtliga medarbetare i banken har ansvar att följa regler för skydd av information och varje chef ansvarar för att reglerna efterlevs inom sitt ansvarsområde. Banken har ett systematiskt säkerhetsarbete som svarar upp mot eventuella hot och risker och i detta finns rutiner för att hantera förändringar i IT-miljön. Om det skulle uppstå brister i hanteringen, eller om informationen felaktigt skulle spridas, kan det leda till allvarliga konsekvenser, som försämrat förtroende för banken eller ekonomiska förluster. Inom ramen för det systematiska säkerhetsarbetet pågår ett strukturerat arbete med att öka medvetenheten hos våra medarbetare och kunder om hot och risker inom informationssäkerhet, till exempel genom föreläsningar, utbildningar och informationsinsatser. Arbetet med bankens informations- och IT-säkerhet syftar till att skydda kundens uppgifter och transaktioner samt bankens IT-miljö. Informations- och IT-säkerhet omfattar såväl administrativa lösningsregler som regler och instruktioner samt tekniska säkerhetslösningar.

Arbetet med informationssäkerhet bedrivs i enlighet med den internationella standarden ISO 27001. Handelsbankens arbete med informationssäkerhet är certifierat enligt ISO 27001.

Bankens regelverk för informationssäkerhet bygger på Standard of Good Practice utarbetad av Information Security Forum (ISF), som är en organisation där flera av världens största företag ingår som medlemmar. Arbetet med informations- och IT-säkerhet bedrivs systematiskt och banken arbetar med detta utifrån ett processperspektiv, där riskanalysen har en central roll. Riskanalyser genomförs enligt metodiken ISF:s Information Risk Analysis Methodology (IRAM2).

## FYSISK SÄKERHET

Handelsbankkoncernens fysiska säkerhet innefattar brandskydd, process och rutin avseende hot mot och skydd av anställda, rese-säkerhet, skadskydd, bankens försäkringskydd avseende ansvar- och egendomsförsäkring samt omvärldsbevakning och instruktioner.

Instruktioner inom koncernen för att hantera risker relaterade till området fysisk säkerhet innebär bland annat krav på att säkerhetsgenomgång genomförs minst årligen och följs upp via den årliga arbetsmiljöundersökningen.

## FINANSIELL KRIMINALITET

Banken arbetar kontinuerligt för att minimera risken för att bankens kunder, produkter eller tjänster utryttjas som ett led i finansiell kriminalitet. Finansiell kriminalitet innefattar penningtvätt, finansiering av terrorism, skattebrott, korruption, bedrägerier och brott mot internationella sanktioner. Arbetet styrs från en central avdelning som leds av bankens särskilt utsedda befattningshavare med koncernövergripande ansvar för arbetet med att motverka finansiell kriminalitet. Utgångspunkter för detta arbete mot finansiell kriminalitet är bland annat bankens låga risktolerans samt de externa regelverken som reglerar finansiell kriminalitet i de länder där banken är verksam. Banken har även en särskild central complianceavdelning för finansiell kriminalitet, som övervakar och är rådgivande i bankens arbete att motverka finansiell kriminalitet. Avdelningen leds av bankens centrala funktionsägare. För ytterligare information om bankens arbete att motverka finansiell kriminalitet hänvisas till Handelsbankens Bolagsstyrningsrapport på sidorna 74–91.

## FÖRÄNDRINGSHANTERING

Hantering av förändringar innefattar nya eller väsentligt förändrade produkter, tjänster, marknader, processer och IT-system samt större förändringar i koncernens verksamhet och organisation. I bankens instruktioner och godkännandeprocess för förändringshandling beskrivs de aktiviteter och aktörer som ingår i processen, samt hur och när kontrollfunktionerna ska involveras. Processen omfattar även krav på att riskanalys ska genomföras och exempelvis beakta områden så som finansiell kriminalitet, hållbarhet, informationssäkerhet och datakvalitet. Beslut relaterat till förändringen ska även dokumenteras.

## VÄSENTLIGA PROCESSER

Med väsentliga processer avses de processer som är väsentliga för att stötta bankens kritiska verksamhet. De genomgår årligen och vid väsentliga förändringar en översyn av aktualitet, uppdateras vid behov samt riskanalyseras.

Identifieringen av de väsentliga processerna är grundläggande för omfattningen av bankens kontinuitetsplanering, det vill säga vilka delar av verksamheten som ska prioriteras vid störningar och avbrott.

## KONTINUITETSPLANERING OCH KRISHANTERING

Syftet med bankens kontinuitetsplanering och krishantering är att tillse att banken har en god beredskap för fortsatt verksamhet även i en krisituation. Det innebär att förberedande åtgärder behöver vidtas för attindra verkningarna av en allvarlig störning i affärsverksamheten så att den kan fungera på en godtagbar nivå under den tid en störning pågår. Av VD:s riktlinjer för kontinuitetsplanering och krishantering samt av kompletterande instruktioner framgår att det varje år ska utföras konsekvensanalyser för att slå fast vilka verksamheter och IT-system som är så kritiska att de behöver upprätta kontinuitetsplaner.

Figur AR:48 Fördelning av antal förluster över 25 tkr, 2018–2022



■ Bristar i handläggning och processer	49%
■ Avbrott/störning i verksamhet/system	6%
■ Kunden, produkter och affärspraxis	3%
■ Extern brottslighet	41%
■ Skada på materiella tillgångar	0%
■ Anställningsförhållanden och arbetsmiljö	1%
■ Interna bedrägerier	0%

Figur AR:49 Fördelning av förlustbelopp över 25 tkr, 2018–2022



■ Bristar i handläggning och processer	57%
■ Avbrott/störning i verksamhet/system	5%
■ Kunden, produkter och affärspraxis	3%
■ Extern brottslighet	28%
■ Skada på materiella tillgångar	0%
■ Anställningsförhållanden och arbetsmiljö	2%
■ Interna bedrägerier	1%

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

I kontinuitetsplanerna ingår att både planera för hur verksamheten ska upprätthållas medan störningen pågår och hur verksamheten ska kunna återgå till normala rutiner. När det gäller väsentliga processer ska planerna innehålla den längst tillåtna tiden för avbrott. Det finns en central krisstab för hela koncernen. Därutöver har VD utpekat de enheter som ska ha en krisstab. Arbetet i krisstaber ska bedrivas enligt särskilda krishandböcker.

Kontinuitetsplaner och krishandböcker ska revideras minst årligen. Planerna ska testas minst varje år och övningar hålls av de enheter som har skyldighet att utse krisstaber. Arbetet utvärderas årligen och rapporteras till centralstyrelsen, som även får information om bankens strategi för kontinuitetshanteringen.

Handelsbanken deltar även i FSPOS (Finansiella sektorns privat- offentliga samverkan) frivilliga arbete för att stärka sektorns förmåga att hantera störningar och avbrott. Banken deltog därmed även i årets FSPOS-övning som syftade till att bedöma sektorns möjligheter att fortsätta verka under höjd beredskap.

## LEVERANTÖRSAVTAL

Banken har en särskild process för hantering av leverantörsavtal, inklusive uppdragsavtal, inom koncernen. Utgångspunkten är att banken ska tillämpa ett riskbaserat arbetssätt, med beaktande av bankens låga risktolerans, i såväl bedömning inför beslut om leverantörsavtal som i administrationen av dem. VD har utfärdat riktlinjer som anger förutsättningar och krav för bland annat uppdragsavtal avseende verksamhet av väsentlig betydelse. Riktlinjerna gäller i hela Handelsbankenkoncernen och omfattar även dotterbolagen i koncernen.

## ANSEENDERISK, UPPFÖRANDERISK OCH UTBILDNING

Anseenderisk är risken för förluster till följd av att förtroendet för banken skadas. Detta kan ske exempelvis på grund av bristande etik, dåmpligt agerande, bristfällig information eller ogenomtänkt utveckling av nya eller ändrade produkter. Handelsbanken hanterar och minimerar anseenderisken i sin verksamhet genom aktiv omvärldsbevakning med därtill relevanta åtgärder vid behov, samt genom att bedriva verksamheten enligt hög etisk standard. Under 2022 har fyra utbildningar varit obligatoriska för samtliga medarbetare i koncernen: Finansiell kriminalitet, Dataskyddsförordningen (GDPR), Säkerhetsutbildning – Cybersäkerhet samt Säkerhetsutbildning – Fysisk säkerhet.

Handelsbankens låga risktolerans avspeglas även i synen på ersättning till anställda. Banken anser att fast ersättning bidrar till en sund verksamhet och fast ersättning tillämpas därför som huvudregel.

## COMPLIANCERISK

## Compliancerisk är risker förknippade med bristande regelefterlevnad.

Med regelefterlevnad (compliance) avses iakttagande och efterlevnad av externa och interna regelverk, accepterad marknadspraxis och standarder som tillsammans är tillämpliga på bankens tillståndspliktiga verksamhet. Compliancerisk definieras som risken för sanktioner, väsentlig finansiell förlust eller förlust av anseende som banken kan drabbas av som ett resultat av att banken inte följer dessa krav. Handelsbanken har låg tolerans för compliance-risker. Verksamheten ska så långt som möjligt förebygga sådana risker och prioritera det arbete som behöver utföras för att skyndsamt åtgärda observerade risker. En risk är utanför risktoleransen om funktionen för regelefterlevnad (compliancefunktionen) bedömer att risken är hög eller kritisk och det saknas en adekvat åtgärdsplan, eller om det sker väsentliga avvikelser från åtgärdsplanen.

I Finansinspektionens föreskrifter och allmänna råd om styrning, riskhantering och kontroll i kreditinstitut (FFFS 2014:1), Europeiska bankmyndighetens riktlinjer för intern styrning samt Europeiska värdepappers- och marknadsmyndighetens riktlinjer om vissa aspekter av kraven för funktionen för regelefterlevnad enligt MFRD II anges huvuddragen för hur tillsynsmyndigheterna anser att funktionen för regelefterlevnad ska vara uppbyggd och hur ett institut bör arbeta med regelefterlevnadsfrågor. I Baselkommitténs ramverk för regelefterlevnad, Compliance and the compliance function in banks anges även riktlinjer för hur compliance-funktionen inom en bank bör utformas. Handelsbanken har utformat compliancefunktionen och compliancearbetet i enlighet med dessa föreskrifter, allmänna råd och riktlinjer.

## ORGANISATION

Compliancefunktionen inom koncernen är organiserad i dels Group Compliance, dels lokala complianceenheter vid dotterbolag och andra juridiska personer. I Group Compliance ingår dessutom särskilt utpekade roller såsom den centrala funktionsansvariga enligt tillämpliga regler om penningtvätt och finansiering av terrorism (CFA) och dataskyddsombudet enligt tillämpliga regler om dataskydd och hantering av personuppgifter (DPO). Alla complianceenheter ska vara oberoende i förhållande till affärsverksamheten och organisatoriskt skilda från de funktioner och områden som ska kontrolleras. Anställda i complianceenheter får inte utföra operativa uppgifter som ingår i verksamhet som de ska kontrollera.

## ANSVAR

Ansvar för regelefterlevnad är en integrerad del i chefsansvaret på alla nivåer i koncernen och vilar på respektive enhet och avdelning. Även funktionsansvariga och produktansvariga har ett särskilt ansvar att se till att arbetet inom respektive ansvarsområde bedrivs i enlighet med Interna och externa regler inom hela koncernen. Inklusivt ett ansvar att följa upp efterlevnaden av de koncernövergripande instruktioner som de utfärdar inom sina områden. Bland enheterna med funktionsansvar ansvarar Group Legal för att det finns juriststöd i verksamheten och för erforderliga juridiska bedömningar, inklusive slutgiltiga regelverkstolkningar, åt andra enheter samt för att samordna arbetet kring juriststöd och juridiska bedömningar på central och lokal nivå. I Handelsbankenkoncernen ska chefer och medarbetare ha en god kännedom om och förståelse för de krav som externa och interna regler ställer och de compliancerisker som är förknippade med bristande regelefterlevnad, inklusive söka stöd från Group Legal eller lokal juristenhet för erforderliga juridiska bedömningar.

Compliancefunktionen ansvarar för att aktivt verka för god regelefterlevnad och att Handelsbankens låga tolerans för compliancerisker uppfylls. Compliancefunktionen har till uppgift att identifiera, övervaka och kontrollera risker och brister i förhållande till regelefterlevnaden, lämna rekommendationer, ge råd och stöd till bankens personal, ledning och enheter i frågor om regelefterlevnad och rapportera till ledning och styrelse om regelefterlevnad. Chief Compliance Officer har ansvaret för compliancefunktionen i koncernen och för rapportering om regelefterlevnad.

## RISKBASERAT COMPLIANCEARBETE

Compliancefunktionens arbete bedrivs riskbaserat. Det sker i praktiken genom att funktionen årligen gör en övergripande riskbedömning av bankens verksamhet och regelefterlevnad. Compliancefunktionen planerar och utför där efter complianceaktiviteter främst inom de områden som har högst risk för bristande regelefterlevnad. Iakttagelser värderas och rapporteras enligt en fyrgradig bedömningsskala som låg, medelhög, hög eller kritisk compliancerisk. Group Compliance rapporterar kvartalsvis den aktuella risksituationen i koncernen till VD, riskutskott och styrelse. Här ingår också CFA:s rapportering av seende compliancerisker kopplade till finansiell kriminalitet, liksom DPO:s rapportering av dataskyddsrisiker. Rapporten föredras även i VD:s Risk- och Compliancekommitté.

## K2 Forts

## RISK I ERSÄTTNINGSSYSTEMET

Ersättningsrisk utgörs av risken för förlust eller annan skada som uppkommer till följd av ersättningsystemet.

## ERSÄTTNINGSSYSTEMET

Ersättningar i Handelsbanken fastställs individuellt för varje medarbetare vid tillträde i ny befattning och i lokala lönesamtal. Ersättningen ska, med beaktande av för Handelsbanken bindande kollektiva avtal eller motsvarande lokala standardiserade avtal eller överenskommelser, baseras på bankens modell för lönesättning och de där angivna lönegrundande faktorerna: arbetets art och svårighetsgrad, kompetens, prestationsförmåga och uppnådda arbetsresultat, ledarskap, marknaden samt uppgiften som bärare av bankens kultur. Denna ordning har tillämpats under många år och innebär att chefer på alla nivåer regelbundet deltar i löneprocesser och tar ansvar för bankens lönepolitik och den egna enhetens personalkostnadsutveckling.

För att säkerställa att Handelsbanken har ett väl utformat ersättningsystem hanteras risker i ersättningsystemet som ett separat riskslag för vilket hanteringen följer samma ansvarsfördelning som för andra typer av risker. Handelsbanken har låg tolerans för ersättningsrisker och eftersträvar aktivt att hålla dessa risker på en låg nivå. Prestationsbaserad rörlig ersättning tillämpas med stor försiktighet och erbjuds inte till medarbetare som i sin yrkesutövning har en väsentlig inverkan på bankens riskprofil.

Under 2022 har avsättning för prestationsbaserad rörlig ersättning gjorts med 52 mkr (57).

## ORGANISATION OCH ANSVAR

Principerna för bankens ersättningsystem fastställs i ersättningspolicyn som beslutas av styrelsen. Mer detaljerade riktlinjer och tillämpningsföreskrifter beslutas av verkställande direktören. Group Compliance granskar att dessa styrdokument överensstämmer med regelverk på området. Ansvaret för att identifiera och hantera ersättningsrisker vilar på varje ansvarig chef i verksamheten. Group Risk Control tillser att ersättningsystemet och dess tillämpning årligen utvärderas ur ett riskperspektiv. Utvärderingen ska också innehålla en analys av ersättningsystemets påverkan på bankens risk-, kapital- och likviditetssituation.

## RISKER I ERSÄTTNINGSSYSTEMET

Bedömningen är att Handelsbankens ersättningspolicy och ersättningsystem genererar låga risker, harmoniserar med bankens låga risktolerans samt stöder bankens långsiktiga intressen. Ersättningsystemets påverkan på bankens finansiella risk-, kapital- och likviditetssituation är låg. Totalt avsatt belopp för prestationsbaserad rörlig ersättning under ett år till anställda i Handelsbankenkoncernen får inte överstiga 0,4% av Handelsbankenkoncernens kärnprimärkapital. Underlaget för beräkning av prestationsbaserad rörlig ersättning riskjusteras utifrån bedömning av nuvarande och framtida risker. Det finns regler för uppskjutande av utbetalning av rörlig ersättning och för att helt eller delvis nedsätta tilldelad uppskjuten rörlig ersättning.

För mer detaljerad information och statistik om bankens ersättningsystem, se bolagsstyrningsrapport och not K8 i årsredovisningen.

## RISK I FÖRSÄKRINGSRÖRELSEN

Risken i försäkringsrörelsen består främst av marknadsrisker och försäkringsrisker.

## VERKSAMHETEN OCH RISKER I FÖRSÄKRINGSRÖRELSEN

Handelsbanken Liv bedriver livförsäkringsverksamhet med traditionell förvaltning, fondförsäkring och depåförsäkring samt riskförsäkringsverksamhet. Traditionellt förvaldade försäkringar är stängda för nyteckning. Riskprofilen mäts med den i Solvens 2 föreskrivna standardformeln. Riskprofilen domineras av marknadsrisker och försäkringsrisker.

## MARKNADSRISK

Marknadsrisk avser den samlade risken att förändringar i riskfaktorer inom finansiella marknader, till exempel förändringar i räntor, fastighetspriser, aktiepriser och valutakurser, resulterar i värdeförändringar på bolagets placeringstillgångar och/eller dess åtaganden. Marknadsrisken uppstår i den traditionella förvaltningen avseende garantiprodukterna samt indirekt från sparprodukter, fond- och depåförsäkringar, där försäkringstagarna själva står för risken men där bolagets intjäning beror på det förvaldade kapitalet i produkterna.

Ränterisk finns även i försäkringsskulderna genom att de försäkringstekniska avsättningarna diskonteras med en riskfri räntesats.

Handelsbanken Liv har låg risktolerans. Handelsbanken Livs styrelse ger genom bolagets placeringsriktlinjer och riskpolicy övergripande anvisningar om hur tillgångarna ska förvaltas givet åtagandena till försäkringstagarna och lagstadgade krav, hur styrning och kontroll av placeringarna ska ske samt hur den totala risknivån i bolagets samlade tillgångar och åtaganden ska hanteras. Tillgångar ska endast investeras på ett aktsamt sätt i tillgångar och instrument vars risker kan identifieras, mätas, analyseras och rapporteras.

Tabell ÅR50 Prestationsbaserad rörlig ersättning

Prestationsbaserad rörlig ersättning	2022	2021
Avsättning prestationsbaserade rörliga ersättningar <sup>1</sup> , mkr	52	57
Löner och avlönd, mkr	9 800	9 278
Antal personer som har möjlighet att tjäna in prestationsbaserad rörlig ersättning <sup>2</sup>	124	130
Medelantal anställda	12 030	12 240
Avsättning prestationsbaserad rörlig ersättning som andel av totala löner och avlönd, %	0,5	0,6
Avsättning prestationsbaserad rörlig ersättning som andel av kärnprimärkapitalet, %	0,08	0,04
Antal personer som har möjlighet att tjäna in prestationsbaserad rörlig ersättning som andel av medelantal anställda, %	1,0	1,1

<sup>1</sup> Beloppen redovisas exklusive socialavgifter. Beloppen fastställs efter publicering av årsredovisningen.

<sup>2</sup> Antal personer som tilldelas prestationsbaserad rörlig ersättning fastställs efter publicering av årsredovisningen. Av de 130 personer som hade möjlighet att tjäna in prestationsbaserad rörlig ersättning 2021, fick 114 personer tilldelning.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

**LIKVIDITETSRIK**

Likviditetsrisk är risken för att ett bolag inte kan fullgöra sina betalningsförpliktelser när dessa förfaller, utan att drabbas av oacceptabla kostnader eller förluster. Likviditetsrisker hanteras genom en daglig uppföljning av kommande utbetalningar och genom att en betydande del av bolags placeringstillgångar placeras i marknadsnoterade värdepapper med mycket god likviditet.

**FÖRSÄKRINGSRIK**

Försäkringsriskerna består framförallt av liv- och sjukförsäkringsrisker och kan delas in i nedanstående kategorier.

**Risikategori****Dödsfallsrisk**

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av ändrade nivåer och trender eller ändrad volatilitet avseende dödlighet. För kontrakt med dödlighetsrisk leder ökad dödlighet till att värdet av försäkringsåtagandena ökar.

**Livsfallsrisk**

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av ändrade nivåer och trender eller ändrad volatilitet avseende dödlighet. För kontrakt med livsfallsrisk leder minskad dödlighet till att värdet av försäkringsåtagandena ökar.

**Invaliditets- och sjuklighetsrisk**

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av ändrade nivåer och trender eller ändrad volatilitet för insjuknande och tillfrisknande.

**Annullationsrisk**

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av ändrade nivåer eller ändrad volatilitet avseende uppehåll, upphörande, förnyelse och återköp.

**Driftkostnadsrisk**

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av ändrade nivåer och trender eller ändrad volatilitet för driftkostnaderna för försäkringsavtal.

**Omrövningsrisk**

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av ändrade nivåer och trender för omrövnings- och avskrivningsutbetalningar på grund av ändrade författningar, ändrade rättsliga förhållanden eller ändrad hälsostatus hos de försäkrade.

**Katastrofrisik**

Risken för förlust eller negativ förändring av värdet av försäkringsåtagandena till följd av väsentlig osäkerhet i prissättnings- och avsättningsåtagandena i fråga om extrema eller onormala händelser.

Handelsbanken Liv-gruppen är även exponerad för risker kopplade till olycksfallsförsäkring. Dessa bedöms dock inte vara materiella jämfört med övriga risker. En större del av Handelsbanken Livs försäkringar är tecknade av mindre företag och privatpersoner. Någon riskkoncentration finns inte, utöver att flertalet försäkringar är tecknade i Sverige.

Försäkringsrörelsen rapporterar sina marknads- och försäkringsrisker samt operativa risker till försäkringsbolagets styrelse och VD, bankens Group Risk Control samt till bankens Riskkommitté som är rådgivande till bankens VD och CFO.

För mer information om Handelsbanken Livs företagsstyrningssystem och riskhantering hänvisas till Handelsbanken Livs publikation Gemensam rapport om solvens och finansiell ställning som finns tillgänglig på handelsbanken.com/lrv.

**EKONOMISKT KAPITAL**

Handelsbankens modell för beräkning av ekonomiskt kapital fångar i ett mått koncernens samlade risker och anger det kapital som med en mycket hög sannolikhet ska täcka oväntade förluster eller värdeminskningar.

Group Risk Control har ansvaret för att bedriva en heltäckande bevakning av koncernens olika risker. Ett instrument i den bevakningen är bankens modell för ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC). EC-modellen utgör även del i bankens bedömning av internt kapitalbehov som rapporteras kvartalsvis till styrelsen. Denna bedömning syftar till att säkerställa att koncernen vid varje tidpunkt har tillräckligt med kapital i förhållande till koncernens samtliga risker. Koncernperspektivet innebär att det ekonomiska kapitalet även innefattar risker i försäkringsrörelsen och risker i bankens pensionsåtagandena.

Beräkningen av EC görs med ett års tids horisont och en konfidensnivå som speglar en acceptabel risknivå och önskad rating. Styrelsen har beslutat att beräkningen av ekonomiskt kapital ska göras på 99,97% konfidensnivå, vilket fångar en för banken extremt ogynnsam händelse. EC utgör skillnaden mellan utfallet under ett genomsnittligt år – med positivt resultat och god värdeutveckling av bankens tillgångar – och utfallet vid 99,97% konfidensnivå.

I sammanräkningen av EC beaktas diversifieringseffekter mellan de olika riskslagen. Kapitalbehovet för samtliga risker är således lägre än summan av det ekonomiska kapitalet för varje

individuell risk för sig, eftersom riskerna delvis är oberoende av varandra.

Det kapital och de andra finansiella resurser som utgör en buffert som kan absorbera negativa utfall benämns tillgängliga finansiella resurser (Available Financial Resources, AFR). AFR är Handelsbankens eget kapital med tillägg av andra finansiella värden i och utanför balansräkningen som är tillgängliga för att täcka förluster med ett års tids horisont.

Koncernen arbetar med ett aktieägarperspektiv på risk- och kapital situationen. Genom modellen för ekonomiskt kapital erhålls en samlad bild av koncernen som ger förutsättningar för att optimera risk- och kapital situationen utifrån aktieägarens perspektiv. Utfallet från beräkningarna spelar en viktig roll i den interna styrningen av banken och när nya affärer eller strukturförändringar övervägs.

Kreditrisken är beräknad med hjälp av en simulering av utfall avseende fallissemang för koncernens samtliga motparter och exponeringar.

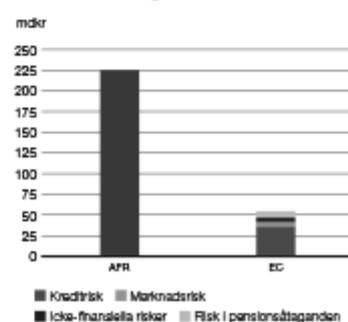
Marknadsriskerna består av risken i handelslagerklassificerade tillgångar, ränterisk i övrig verksamhet, marknadsrisker i försäkringsrörelsen och av risken i aktieinnehav i övrig verksamhet.

Risken i pensionsåtagandena består i huvudsak av risken för att de tillgångar som finns inom ramen för tryggandet av bankens förmånsbestämda pensioner ska minska samt att värdet på dessa åtaganden är räntekänsligt. Huvuddelen av pensionsutfästelserna finns i Sverige och tryggas där i en pensionsstiftelse och i en tjänstepensionsförening.

De övriga riskerna består av operativ risk, affärsrisk, fastighetsrisk och försäkringsrisk. Affärsrisken är relaterad till oväntade resultatförändringar inom respektive affärsområde. Dessa kan exempelvis uppstå på grund av att efterfrågan eller konkurrensen förändras på ett oväntat sätt, med minskade volymer och pressade marginaler som följd. Fastighetsrisken fångar risken att de fastigheter som banken ägar faller i värde.

EC uppgick vid årsskiftet till 54,6 mdkr (53,6), där kreditriskerna står för huvuddelen av den totala risken. Den av styrelsen fastställda mål-

Figur A51 Sammanställning av AFR och EC inklusive diversifiering 2022



## K2 Forts

sättningen är att kvoten mellan AFR och EC ska överstiga 120%. Kvoten var vid årsskiftet 413% (384), vilket visar att banken är väl kapitaliserad i förhållande till sina totala risker. Finansinspektionen har inom ramen för sin samlade kapitalbedömning av banken kommit till samma slutsats.

Den redovisade risk- och kapital situationen är en ögonblicksbild, även om det i riskberäkningarna ingår försiktighetsmarginaler för variationer i konjunkturen. För en slutlig bedömning av koncernens kapitalbehov måste också hänsyn tas till den stress- och scenarion analys som genomförs inom ramen för bankens kapitalplanering.

## KAPITALPLANERING

Handelsbankens kapitalplanering syftar till att säkerställa att koncernen vid varje tidpunkt har rätt mängd tillgängliga finansiella resurser.

Kapitalbehovet är en funktion av koncernens risker, förväntade utveckling, regelverk och måttal. Handelsbankens modell för ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC) samt stress tester. Bankens kapitalbehov rapporteras veckovis till CFO och CEO och minst kvartalsvis till styrelsen.

Som en del av den proaktiva kapitalplaneringen finns en beredskaps- och handlingsplan med konkreta åtgärder som kan vidtas om banken behöver förbättra sin kapitalposition. Syftet med beredskaps- och handlingsplaneringen är att säkerställa att det finns ett varningssystem som upptäcker potentiella hot i ett tidigt skede och att koncernen är förberedd att skyndsamt kunna genomföra åtgärder, om så måste ske.

Minst årligen upprättas en långsiktig kapitalplan som syftar till att ge en övergripande bild av koncernens nuvarande kapital situation, en prognos över den förväntade kapitalutvecklingen och utfallet i olika scenarier. Dessa scenarier är utformade så att de väsentligt avviker från den förväntade utvecklingen och harmoniserar således med koncernens låga risktolerans. Kapitalplanen innehåller också förslag på hur kapital situationen ska kunna behållas på en tillfredsställande nivå i ett starkt negativt omvärldsscenario, utifrån både ett reglerings- och ett aktieägarperspektiv.

Kapitalplaneringen är uppdelad i ett kortskiktigt och ett medellångt till långskiktigt prognosarbete. Den del av kapitalplaneringen som utgörs av kortskiktiga prognoser på upp till två år är främst inriktad på att bedöma rådande resultatutveckling och utveckling av kapitalkravet.

Prognosarbetet är nödvändigt för att löpande kunna anpassa kapitalbasens storlek och sammansättning.

Kapitalplanering görs genom en löpande analys av volym-, risk- och resultatutveckling samt genom bevakning av händelser som kan påverka kapitalbehov och kapitalmängd. Det kortskiktiga prognosarbetet omfattar alla delkomponenter som utgör koncernens kapitalbas, och kapitalbehovet inkluderar, förutom regleringsmässiga minimikrav och buffertar, även kapitalkravet enligt regelverkets Pelare 2 samt bruttosoldittetskravet och minimikravet på nedskrivningsbara skulder (MREL). I detta arbete ingår också att i ett kortskiktigt perspektiv utföra olika känslighetsanalyser av den förväntade utvecklingen av kapitalkravet och kapitalbasen för att vid behov vara beredd att påverka kapitalbasens storlek och sammansättning genom till exempel marknadsoperationer.

Resultatet av den kortskiktiga analysen utgör grunden för de eventuella kapitaloperationer som genomförs, och resultatet rapporteras veckovis till CFO och CEO och vid behov till styrelsen. Analysen utgår från ett flersiktigt grundscenario med beslutpunkter i närhet om hur den befintliga intjäningsförmågan klarar av att bära olika volymförändringar, och vilka effekter som uppkommer av potentiella kapitaloperationer.

Den del av kapitalplaneringen som utgörs av medellånga till långskiktiga prognoser syftar till att säkerställa dels att de lagstadgade kapitalkraven uppfylls, dels att koncernens tillgängliga finansiella resurser (Available Financial Resources, AFR) vid varje tidpunkt med marginal täcker alla risker beräknade enligt modellen för EC.

Även den långskiktiga prognosen innehåller en bedömning av utvecklingen av bankens samlade kapitalbehov över perioden: minimikraven, de kombinerade buffertkraven, Pelare 2-kravet, bruttosoldittetskravet samt MREL-kravet. Syftet är att prognostera den förväntade utvecklingen och bedöma huruvida bankens motståndskraft är tillfredsställande i olika scenarier. Planeringsperioden är minst fem år och beaktar utvecklingen i hela koncernen.

Basen för den långskiktiga kapitalprognosen är ett grundscenario som ges av den förväntade utvecklingen under de kommande fem åren beträffande resultat, volymtillväxt, finansiella antaganden, som exempelvis kreditförluster, samt utveckling på aktie-, fastighets- och räntemarknaden. Grundscenariot ställs sedan mot utfallen i ett antal konjunktur- och krisscenarier. Stressscenarierna har fastställts efter analys av de historiska sambanden mellan olika makroekonomiska variablers påverkan på de finansiella marknaderna och har valts utifrån de scenarier som kan förväntas påverka Handelsbanken mest negativt. Rådande makroekonomiska miljö som är ett resultat av en kombination av geopolitiska risker, kvarvarande pandemirelaterade effekter, inflation, stiggande

räntor och ett svagare företagsklimat är inkluderat och analyseras ur bankens perspektiv.

Kämpriärkapitalrelationen uppgick vid utgången av 2022 till 19,6% (19,4). Kvoten mellan AFR och EC uppgick till 413% (384) vid samma tidpunkt. Således överstiger AFR det bedömda interna kapitalbehovet (EC) med mycket god marginal.

Bankens starka position framhävs ytterligare av resultatet av de olika framåtblickande stressscenarier som utförs, vilket visar på att Handelsbankens långsiktiga kapitalisering är mycket stabil ur ett ekonomiskt och legalt perspektiv.

Kapitalplaneringen följer även den regleringsmässiga utvecklingen och bedömer effekten och behoven till följd av nya tillkommande krav.

## KONCERNENS MÅLTAL FÖR REGLERINGSMÄSSIGT KAPITAL

Målen för bankens kapitalisering fastställs löpande av styrelsen. En hörnsten i den interna kapitalbehovsbedömningen av den regleringsmässiga kapital situationen är stress- och scenarionalyser av bankens situation både i det långa och i det korta perspektivet. De scenarier som används grundas i första hand på bankens interna risktolerans samt på krav som kommer direkt av regelverket eller andra myndighetskrav. Utöver den interna bedömningen av kapitalbehovet har Finansinspektionen kommunicerat att svenska bankers måttal, oaktat bankernas interna beräkningar, inte får understiga det av Finansinspektionen framräknade samlade bedömda kapitalbehovet. Banken har beslutat detta vid fastställandet av måtalen för den regleringsmässiga kapitaliseringen.

Styrelsen har beslutat att kämpriärkapitalrelationen, som är det mest relevanta måttet för styrningen av banken enligt nuvarande regler, under normala förhållanden ska uppgå till mellan 1 och 3 procentenheter över det av Finansinspektionen kommunicerade samlade kämpriärkapitalkravet. Övriga kapitaldelar (primärkapitalrelation och total kapitalrelation) ska minst uppgå till 1 procentenhet högre värde än det samlade kapitalbehovet som Finansinspektionen har kommunicerat för dessa delar. Bruttosoldittetsgraden ska uppgå till minst 0,6 procentenheter över Finansinspektionens kapitalkrav. Vidare ska banken uppfylla samtliga övriga kapitalkrav från myndigheter. I tillägg har styrelsen beslutat att "utdelningsnivån ska inte leda till att kapitalrelationerna underskrider en nivå om en procentenhet över Finansinspektionens kommunicerade krav".

Banken bedömer att Finansinspektionens kämpriärkapitalkrav vid utgången av det fjärde kvartalet uppgick till 14,5%.

## NOTER | KONCERNEN

## K3 Räntenetto

mie	2022	2021
<b>Räntetäckter</b>		
Utlåning till kreditinstitut och centralbanker	8 873	284
Utlåning till allmänheten	48 567	35 094
Betalningsbara statskuldförbindelser m m	1 289	306
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	876	279
Derivatinstrument	7 452	-1 245
Övriga räntetäckter	1 164	1 111
<b>Summa</b>	<b>68 221</b>	<b>38 829</b>
Avgår räntetäckter redovisade i nettoresultat av finansiella transaktioner	814	-3
<b>Summa räntetäckter</b>	<b>67 407</b>	<b>38 832</b>
varav räntetäckter enligt effektivräntemetoden samt räntor på derivat i säkringsredovisning	59 702	34 433
<b>Räntekostnader</b>		
Skulder till kreditinstitut och centralbanker	-1 567	-112
In- och upplåning från allmänheten	-8 032	-371
Emitterade värdepapper	-16 595	-6 569
Derivatinstrument	-3 454	3 073
Efterställda skulder	-1 368	-1 097
Avgift insättningsgaranti	-332	-241
Övriga räntekostnader	-379	-232
<b>Summa</b>	<b>-31 727</b>	<b>-8 549</b>
Avgår räntekostnader redovisade i nettoresultat av finansiella transaktioner	-930	-38
<b>Summa räntekostnader</b>	<b>-30 797</b>	<b>-8 511</b>
varav räntekostnader enligt effektivräntemetoden samt räntor på derivat i säkringsredovisning	-28 276	-5 010
<b>Räntenetto</b>	<b>36 610</b>	<b>30 321</b>

På raderna Derivatinstrument ingår räntanetto som är hänförligt till tillgångar och skulder som säkras. Dessa kan ha både positiv och negativ inverkan på räntetäckter och räntekostnader.

## Ändrad presentation av resolutionsavgiften i Resultaträkningen

mie	Redovisat värde 2021	Ändrad presentation resolutionsavgift	Tidigare publicerat 2021
Räntekostnader	-5 511	930	-6 441
Riskskatt och resolutionsavgift	-930	-930	-
<b>Summa</b>	<b>-6 441</b>	<b>-</b>	<b>-6 441</b>

På och med första kvartalet 2022 redovisas resolutionsavgiften ej längre som räntekostnad, utan istället på ny rad inom rörelseresultatet. På samma resultatrad redovisas även riskskatten. Jämförelseiffrorna för de i ovan angivna resultatraderna har därför omräknats.

## K4 Provisionsnetto

mie	2022	2021
<b>Courtage och övriga värdepappersprovisioner</b>	<b>455</b>	<b>555</b>
Fonder	5 469	5 842
Depå och övrig kapitalförvaltning	911	905
Rådgivning	196	230
Försäkringar	704	803
Betalningar	2 680	2 647
Ut- och inlåning	1 146	1 155
Garantier	202	207
Övrigt	546	560
<b>Summa provisionsintäkter</b>	<b>12 300</b>	<b>12 904</b>
<b>Värdepapper</b>	<b>-218</b>	<b>-211</b>
Betalningar	-969	-1 168
Övrigt	-108	-67
<b>Summa provisionskostnader</b>	<b>-1 295</b>	<b>-1 446</b>
<b>Provisionsnetto</b>	<b>11 103</b>	<b>11 458</b>

## NOTER | KONCERNEN

## K4 Forts

Provisionsintäkter per segment 2022								
mkr	Sverige	Stor- britannien	Norge	Neder- länderna	Capital Markets	Övrigt	Justeringar och elimineringar	Totalt
Courtago och övriga värdepappersprovisioner	179	3	17	10	242	16	-12	455
Fonder	4 715	338	244	61	10	191	-90	5 469
Depå och övrig kapitalförvaltning	654	31	115	79	41	1	-11	911
Rådgivning	0	48	1	-	194	-38	-8	196
Försäkringar	777	0	17	-	-	1	-1	794
Betalningar	2 089	310	275	1	14	-10	0	2 689
Ut- och inlåning	764	123	96	10	34	119	-1	1 146
Garantier	102	15	46	1	40	1	-3	202
Övrigt	525	6	5	1	323	5	-319	546
<b>Summa provisionsintäkter</b>	<b>9 806</b>	<b>874</b>	<b>816</b>	<b>163</b>	<b>808</b>	<b>287</b>	<b>-444</b>	<b>12 300</b>

Provisionsintäkter per segment 2021								
mkr	Sverige	Stor- britannien	Norge	Neder- länderna	Capital Markets	Övrigt	Justeringar och elimineringar	Totalt
Courtago och övriga värdepappersprovisioner	258	7	21	7	280	-4	-14	555
Fonder	5 008	317	259	135	14	209	-100	5 842
Depå och övrig kapitalförvaltning	658	33	108	73	44	3	-14	905
Rådgivning	2	46	0	-	215	-7	-26	230
Försäkringar	779	0	24	-	0	0	0	803
Betalningar	2 128	270	239	2	16	-8	0	2 647
Ut- och inlåning	752	122	89	18	47	127	0	1 155
Garantier	100	16	42	1	51	-	-3	207
Övrigt	540	5	4	0	259	2	-250	550
<b>Summa provisionsintäkter</b>	<b>10 226</b>	<b>816</b>	<b>796</b>	<b>236</b>	<b>926</b>	<b>322</b>	<b>-407</b>	<b>12 004</b>

Provisionsintäkter avser intäkter från avtal med kunder. Intäkter från Courtago och övriga värdepappersprovisioner, Rådgivning, Betalningar samt Ut- och inlåning redovisas huvudsakligen när tjänsterna utförs, det vill säga vid en viss tidpunkt. I Betalningar ingår kortavgifter och kortintäsen. Intäkter från Fonder, Depå och övrig kapitalförvaltning, Försäkringar och Garantier redovisas huvudsakligen i takt med att dessa tjänster utförs, det vill säga i takt över tid.

Förvaltad kapital		
mkr	2022	2021
Fonder, aktiefund och fondförsäkring	602	718
PPM	67	74
Fondförsäkring	178	197
avgår externa fonder	-2	-2
<b>Summa fonder</b>	<b>845</b>	<b>987</b>
Strukturerade produkter	2	3
Depåförsäkring	45	50
avgår bankens fonder och strukturerade produkter	-24	-25
Traditionell försäkring	6	7
avgår bankens fonder och strukturerade produkter	-6	-6
Discretionärt och institutionellt kapital, aktieförsäkring	317	360
avgår bankens fonder och strukturerade produkter	-270	-307
<b>Summa förvaltad kapital, aktiefund i depå</b>	<b>915</b>	<b>1 075</b>
Värdepapper i depå, exklusive fonder	614	908
Värdepapper i depå, exklusive fonder, avseende Handelsbankens närstående stiftelser mm	37	50

## NOTER | KONCERNEN

## K5 Nettoresultat av finansiella transaktioner

mk	2022	2021
Upplupet anskaffningsvärde	65	300
varav lån	35	396
varav räntebärande värdepapper	-	-
varav emitterade värdepapper	30	-96
Verkligt värde via övrigt totalresultat	-1	0
varav förväntade kreditförluster	-1	0
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	-4 710	-900
varav räntebärande värdepapper	-4 770	-900
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatorisk inköpskursåtgärder	6 202	2 347
Säkeringsredovisning	-80	0
varav nettoresultat säkringar av verkligt värde	-29	7
varav ineffektiva/kassafödersäkringar	-57	-7
Resultat från den finansiella komponenten i försäkringskontrakt	-455	-48
Summa	1 111	1 600

Den ackumulerade värdeförändring som beror på förändringar av kreditrisk från det första redovisningsstillfället för finansiella tillgångar som klassificerats till verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen, uppgår till -158 mk (-166).

## K6 Riskresultat försäkring

mk	2022	2021
Premieinkomst	489	498
Utbetalda försäkringsersättningar	-341	-332
Förändring av sättningsar erlagade skador	9	-8
Övrigt	19	21
Summa	178	179

## K7 Övriga intäkter

mk	2022	2021
Hyrinntäkter	19	34
Andra rörelseintäkter <sup>1</sup>	1 227	521
Summa	1 246	555

<sup>1</sup> Svenska Handelsbanken AB avyttrade under första kvartalet 2022 dotterbolag ägandes fastigheter, vilket påverkar andra rörelseintäkter med 1 059 mk under 2022. Under fjärde kvartalet 2021 sålde Svenska Handelsbanken AB kontinuerlig verksamhet vilket påverkade andra rörelseintäkter med 408 mk under 2021.

## K8 Personalkostnader

mk	2022	2021
Löner och arvoden	-8 527	-8 196
Socialavgifter	-2 240	-2 049
Pensionskostnader <sup>1</sup>	-1 508	-1 849
Avsättning till resultatredovisning	-196	-69
Andra personalkostnader	-442	-289
Summa	-13 103	-12 452

<sup>1</sup> Komponenterna i redovisade pensionskostnader framgår av tabellen Pensionskostnader.

Löner och arvoden	2022	2021
mk		
Ledande befattningshavare <sup>2</sup>	-161	-113
Övriga	-8 366	-8 083
Summa	-8 527	-8 196

<sup>2</sup> Ledande befattningshavare i moderbolaget samt vd:ar, vice vd:ar och styrelser i dotterbolag (genomsnitt 57 personer).

Personalkostnader hänförliga till utvecklad verksamhet i Danmark och Finland framgår av not K14.

Könsfördelning	2022		2021	
	Män	Kvinnor	Män	Kvinnor
%				
Ledande befattningshavare exklusive styrelser	66	34	71	29
varav i moderbolaget	60	40	70	30
varav i dotterbolag	70	30	71	29
Styrelser	60	40	65	35
varav i moderbolaget	46	54	50	50
varav i dotterbolag	62	38	68	32

## NOTER | KONCERNEN

## K8 Forts

Medelantal anställda	2022			2021		
	Totalt	Män	Kvinnor	Totalt	Män	Kvinnor
Sverige	6 911	3 350	3 561	6 984	3 372	3 612
Storbritannien	2 658	1 460	1 198	2 667	1 512	1 155
Norge	819	424	395	801	414	387
Nederländerna	382	243	139	361	231	130
USA	53	31	22	55	34	21
Kina	0	0	0	16	8	8
Luxemburg	50	24	26	47	25	22
Singapore	1	1	0	5	1	4
Tyskland	2	1	1	21	9	12
Polen	15	4	11	16	4	12
Övriga länder	63	27	36	66	28	38
Summa	10 954	5 066	5 888	11 039	5 638	5 401

Medelantal anställda hänförliga till avvecklad verksamhet i Danmark och Finland framgår av not K14.

Enställningar <sup>1</sup> över en miljon EUR	2022	2021
Antal personer		
Lönesteg 1,0-1,5 m euro	1	2
Lönesteg 1,5-2,0 m euro	1	1
Lönesteg 2,0-2,5 m euro	-	-
Lönesteg över 2,5 m euro	-	-
Summa	2	3

<sup>1</sup> Inklusiva intjänad pension och andra löneförmåner.

Enställningar <sup>2</sup> till risktagare <sup>3</sup> , segment	2022		2021	
	Enställning	Antal personer	Enställning	Antal personer
Handelsbanken Sverige	443	306	498	377
Handelsbanken Storbritannien	283	179	400	253
Handelsbanken Norge	128	56	113	59
Handelsbanken Nederländerna	74	46	71	48
Handelsbanken Capital Markets	124	30	188	59
Avvecklad verksamhet <sup>4</sup>	250	105	170	107
Övrigt	384	130	321	131
Summa	1 688	881	1 781	1 034

Enställningar <sup>2</sup> till risktagare <sup>3</sup>	2022		2021	
	Verkställande ledning <sup>5</sup>	Övriga risktagare	Verkställande ledning <sup>5</sup>	Övriga risktagare
Intjänade fasta ersättningar, mkr	118	1 484	74	1 630
Intjänade prestationsbaserade rörliga ersättningar, mkr	-	-	-	-
Intjänade övriga rörliga ersättningar, mkr	0	84	0	57
Summa	118	1 688	74	1 687
Antal personer som enbart fått fast ersättning	-	20	-	-
Antal personer som har möjlighet att få både fast och prestationsbaserad ersättning	-	-	-	-
Antal personer med både fast och rörlig ersättning	16	825	11	1 023
Summa antal personer	16	845	11	1 023
Garanterade kostnadsfria rörliga ersättningar i samband med nyanställning, mkr	-	-	-	-
Utfästa garanterade rörliga ersättningar i samband med nyanställning, mkr	-	-	-	-

<sup>2</sup> Intjänade ersättningar inklusive pension och andra löneförmåner har kostnadsförts i sin helhet. Prestationsbaserade rörliga ersättningar tilldelas på individuell nivå under räkenskapsåret efter intjänningen och betalas ut eller skjuts upp i enlighet med bankens policy för rörliga ersättningar. Under 2022 och 2021 har inga anställda, identifierade som risktagare på grund av sina arbetsuppgifter, tjänat in prestationsbaserad rörlig ersättning. För 2022 har två anställda identifierats som risktagare på grund av sin ersättningsnivå. Eventuell tilldelning av prestationsbaserad rörlig ersättning avseende intjänandeår 2022 kommer ske under våren 2023. All prestationsbaserad rörlig ersättning betalas ut kontant eller i finansiella instrument. Baloppen redovisas exklusive socialavgifter. Förtroenderättan över uppskjutna ersättningar övergår till den anställda vid utbetalningstillfället. Övrig rörlig ersättning avser utbetalning av resultatandelssystemet Oktogonen och utfästa avgångsvederlag. Utbetalning av resultatandelssystemet Oktogonen uppgår till 8 mkr (14). Baloppet är exklusive socialavgifter. Totalt utfästa avgångsvederlag under året uppgår till 76 mkr (43) varav det enskilt högsta uppgår till 7,2 mkr (4,0). Under året har avgångsvederlag till 12 (47) risktagare betalats ut med 17 mkr (57). Garanterad rörlig ersättning förekommer inte.

<sup>3</sup> Anställdas arbetsuppgifter i tjänsten väsentligt kan påverka bankens riskprofil enligt kommissionens delegerade förordning (EU) 2023/2021. Risktagare eller annan särskilt reglerad personal med rörlig ersättning kan finnas i dotterbolag vars ersättningspolicy följer av annan EU-förordning eller annan av Finansinspektionen publicerad föreskrift.

<sup>4</sup> Avvecklad verksamhet i Danmark och Finland.

<sup>5</sup> Enligt Finansinspektionens föreskrifter FFFS 2011:1.

## NOTER | KONCERNEN

## K6 Forts

## ERSÄTTNINGAR TILL ANSTÄLLDA

Information om ersättningsprinciper till samtliga anställda i Handelsbankkoncernen beskrivs närmare i bolagsstyrningsrapporten på sidan 85.

Enligt Finansinspektionens föreskrift FFFS 2011:1 och enligt kommissionens delegerade förordning (EU) 575/2013 samt (EU) 923/2021 ska banker identifiera anställda vars arbetsuppgifter har en väsentlig inverkan på bankens riskprofil. Handelsbanken har identifierat 861 (1 034) medarbetare med sådana arbetsuppgifter och benämner dem risktagare. I tabellerna ovan redogörs för Handelsbankkoncernens ersättningar till dessa risktagare enligt upplysningskrav i ovan nämnda regelverk. Under 2022 har Handelsbankkoncernen inga anställda, vars arbetsuppgifter har en väsentlig inverkan på bankens riskprofil, som har tjänat in prestationsbaserad rörlig ersättning.

Handelsbanken har för räkenskapsåret 2022 gjort en avsättning till resultatandelsystemet Oktogonen om 212 mkr (88).

## Resultatandelsystemet Oktogonen

Resultatandelsystemet Oktogonen omfattar samtliga anställda i Handelsbankkoncernen. Avsättningen klassificeras som rörlig ersättning och baseras på ett lönsamhetsmått kopplade till Handelsbankens företagsmål är uppfyllda och styrelsens samlade bedömning avseende bankens utveckling. Utbetalning sker i huvudsak kontant till medarbetaren alternativt till ett pensionssparande, sparplan eller som en kombination.

## Aktierelaterade ersättningar

Samtliga anställda i Handelsbanken plc omfattas av ett program för aktierelaterad ersättning Share Incentive Plan (SIP), vilken följer lagstiftningen i Storbritannien. Ersättningen regleras med aktier i moderbolaget Handelsbanken AB. En SIP erfordrar att en brittisk stiftelse används för att hantera programmet för den aktierelaterade ersättningen för företagets räkning. En stiftelse har därför etablerats och stiftelsen administreras av en förvaltare. Stiftelsen förvärv

och allokerar aktier till de anställda samt innehar de tilldelade aktierna för de anställdas räkning. De anställda måste behålla sina tilldelade aktier i stiftelsen i minst fem år, annars kan det uppstå skattemässiga konsekvenser för de anställda. Utdelning som erhålls under perioden som aktierna kvarstår i stiftelsen tillfaller de anställda.

Förutsättningarna för avsättning till SIP och intjänandevillkoren är desamma som för avsättning till resultatandelsystemet Oktogonen. Intjänandeperioden är således föregående räkenskapsår. Se även till ersättningsprinciper i Handelsbanken. Styrelsen i Handelsbanken plc fattar beslut om den slutliga avsättningen till Incentivesprogrammet SIP.

Under verksamhetsåret 2022 har aktierelaterade ersättningar om 25,0 mkr (37,5) kostnadsförts avseende intjänandeåret 2021, vilka redovisats som en ökning av det egna kapitalet.

Bankens kostnad för den aktierelaterade ersättningen kan därefter inte förändras. Ersättningsarna har reglerats genom att stiftelsen förvärvat 282 108 aktier (395 865) i Handelsbanken AB

## Ersättning till verkställande direktör, vice verkställande direktörer och koncernledning samt chefer för kontrollfunktioner

mkr	Fast ersättning				Rörlig ersättning		Pensionskostnader Förmåns- och premiebästa planer		Fast och rörlig ersättning inklusive pensionskostnader		Andel fast ersättning/total ersättning		
	Grundlön		Förmåner		2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	
	2022	2021	2022	2021									
<b>Verkställande direktör</b>													
Carina Åkerström <sup>1</sup>	14,0	13,3	0,6	0,5	0,0	0,0	4,9	4,6	19,5	18,4	100%	100%	
<b>Viceverkställande direktör</b>													
Carl Cederschiöld <sup>2,3</sup>	7,3	6,4	0,2	0,1	0,0	0,0	2,1	2,1	9,6	8,6	100%	100%	
Per Beckman <sup>4</sup>	6,3	6,2	0,3	0,3	0,0	0,0	3,6	4,3	10,2	10,8	100%	100%	
<b>Övrig koncernledning samt kontrollfunktioner<sup>5</sup></b>	53,9	25,7	4,0	1,5	0,1	0,1	12,5	8,2	70,5	35,5	100%	100%	
Genomsnittligt antal personer; vd, wd, koncernledning och kontrollfunktioner	15	10											
Antal personer per december; vd, wd, koncernledning och kontrollfunktioner	15	10											

Pensionskostnaden avser pensionsintjänning i förmånsbestämda pensionsplaner i enlighet med IAS 19 alternativt i betald premie för premiebästa pensionsplaner. Intjänad förmånsbestämd pension är omfattad och byggas i bankens pensionsstiftelse eller försäkras i bankens pensionskassa. Vid avgång ur tjänst före pensionsålder erhålls tillräck på intjänad förmåns- och/eller premiebästa pension. Utbetalning av rörlig ersättning i form av resultatandelsystemet Oktogonen har gjorts 2022. Före lokal skatt och socialavgifter uppgick beloppet till 10 265 kronor (16 742) per anställd.

<sup>1</sup> Premiebästa pension om 35% av lönen från och med tillträdet som vd. Pensionsålder är 65 år. Tidigare intjänad förmånsbestämd pension är lagd i fibrav.

<sup>2</sup> Tillträde som vice verkställande direktör 2021-03-02.

<sup>3</sup> Förmånsbestämd pension enligt kollektivavtal i kombination med en premiebästa pension som uppgår till 30% av lönen över 30 inkomstbasbelopp. Pensionsålder är 65 år och den förmånsbestämda ålderspensionen är fullt intjänad vid pensionsåldern.

<sup>4</sup> Förmånsbestämd pension med 65% av lönen vid 60 års ålder samt en pensionspremie uppgående till 2% av lönen. Den förmånsbestämda ålderspensionen är fullt intjänad. Premiebästa pension om 30% av lönen från och med november 2022.

<sup>5</sup> Övriga ledande befattningshavare, anställda i banken, erhåller en förmånsbestämd eller en premiebästa pension enligt kollektivavtal i kombination med en premiebästa pension som uppgår till som mest 35% av lönen, med undantag för en ledande befattningshavare vars pension som mest är 35% av hela lönen samt en ledande befattningshavare som saknar pensionsintjänning. Pensionsålder är 65 år (en ledande befattningshavare har pensionsålder 67 år) och den förmånsbestämda ålderspensionen är fullt intjänad vid pensionsåldern. Belopp för grundlön och pension anges före eventuella skatt. Bland övrig koncernledning och kontrollfunktioner har två anställda växt till 2,1 mkr från 1,0 till pension.

## K8 Forts

på marknaden till ett genomsnittligt marknadspris om 88,8 kr per aktie (97,3), vilka tilldelats de anställda. I koncernen utgör förvärv av aktier i Handelsbanken AB återköp av egna aktier, vilka har minskat det egna kapitalet. Se Förändring i eget kapital.

**ERSÄTTNINGAR TILL LEDANDE BEFATTNINGSHAVARE**

Ledande befattningshavare i Handelsbanken är ledamöter i styrelsen, verkställande direktören, vice verkställande direktörer, cheferna för Group Risk Control och Group Compliance samt övriga medlemmar i koncernledningen, se även Bolagsstyrelsrapporten sidorna 88–91. Ersättningar till ledande befattningshavare i moderbolaget följer av årsstämman 2022 fastställda ersättningsriktlinjer, se även sidan 86.

Upplysningar om ersättningar, pensionsförpliktelser samt om krediter till och inlåning från ledande befattningshavare i Handelsbanken lämnas på dessa sidor. Det gäller även för dotterbolagens verkställande direktörer, vice verkställande direktörer och styrelseledamöter.

Ersättning till ledande befattningshavare i Handelsbankenkoncernen utgår endast i form av fast lön och avsättning till pension samt sedvanliga förmåner som till exempel tjänstebil. Som en del av ersättningen kan banken även tillhandahålla en tjänstebostad efter särskilt styrelsebeslut. De ledande befattningshavarna omfattas, på samma villkor som alla anställda i banken, av resultatandelssystemet Oktagonen. Prestationsbaserad rörlig ersättning förekommer inte. Ledande befattningshavare som är anställd i banken har rätt att växla lön till pension på samma villkor som gäller för alla medarbetare.

Styrelseledamöter som inte är anställda i banken eller i bankens dotterbolag har endast erhållit arvode enligt årsstämmans beslut.

Styrelseledamöter som är anställda i banken eller bankens dotterbolag erhåller ersättning och pensionsförmåner med anledning av sin anställning. Inga ytterligare ersättningar eller

pensionsförmåner utgår på grund av styrelseuppdraget. Information om arvode till styrelseledamöter i moderbolaget finns på sidorna 88–91 i Bolagsstyrelsrapporten.

Den pensionskostnad som banken anger i nedanstående ersättningsuppsyningar för ledande befattningshavare utgörs av service cost enligt IAS19 avseende förmånsbestämda pensioner, avtalad premie för premiebestämda pensioner och eventuell pensionspremie som värdats från lön.

Arvoden från externa styrelseuppdrag för bankens räkning har levererats in till banken.

**Ersättningar till ledande befattningshavare i dotterbolag**

Arvode till styrelseledamöter i dotterbolag, 19 personer (16), vilka inte är anställda i banken eller dess dotterbolag uppgår till 11,1 mkr (8,0).

Verkställande direktörer<sup>1</sup> och vice verkställande direktörer i dotterbolag, 17 personer (14), har år 2022 erhållit fasta löner efter växling till pension om 57,9 mkr (46,5). Övriga löneförmåner utgör 3,9 mkr (3,3) och pensionskostnaden uppgick till 6,2 mkr (6,2). Före växling till pension uppgick pensionskostnaden till 4,9 mkr (5,6), vilket motsvarar 8,3% (12,0) av lönen. Rörlig ersättning i form av resultatandelssystemet Oktagonen uppgick till 0,1 mkr (0,2).

Ersättning utges inte till verkställande direktörer och vice verkställande direktörer i dotterbolag vilka har en annan huvudsaklig arbetsuppgift i Handelsbanken.

**PENSIONS-FÖRPLIKTELSE R TILL LEDANDE BEFATTNINGSHAVARE**

Pensionsförpliktelser<sup>2</sup> för verkställande direktören, Carina Åkerström, intjänad före tillträdet som verkställande direktör och nu lagd i så kallat fribrev uppgick till 76,5 mkr (82,3) per den 31 december 2022. Pensionsförpliktelser för vice verkställande direktören, Per Beckman, uppgick till 89,0 mkr (114,7) per den 31 december 2022 och för övriga ledande befattnings-

havare i moderbolaget, 13 personer (8), till 107,4 mkr (72,2).

Pensionsförpliktelserna i Handelsbankenkoncernen för samtliga nuvarande och tidigare ledande befattningshavare uppgick till 2 485 mkr (2 722) per den 31 december 2022 varav pensionsförpliktelserna för samtliga nuvarande och tidigare ledande befattningshavare i moderbolaget uppgick till 2 332 mkr (2 544) per den 31 december 2022. Antal personer som omfattas av dessa förpliktelser är i koncernen 91 (89), varav 68 är pensionärer (71), motsvarande antal för moderbolaget är 76 (74), varav 61 är pensionärer (64).

**KREDITER TILL OCH INLÅNING FRÅN LEDANDE BEFATTNINGSHAVARE**

Krediter till ledande befattningshavare i moderbolaget uppgick per den 31 december 2022 till 16,8 mkr (1,3) i moderbolaget och till 136,5 mkr (98,4) i dotterbolagen. Inlåning till moderbolaget från dessa personer uppgick till 684,7 mkr (263,1). Bankens ränteläntäcker från dessa personer för krediter i moderbolaget uppgick för 2022 till 0,0 mkr (0,0) och i dotterbolagen till 1,8 mkr (1,2). Erfagd ränta till dessa personer för inlåning i moderbolaget uppgick till 3,7 mkr (0,9).

Krediter till ledande befattningshavare i dotterbolagen uppgick per den 31 december 2022 i Handelsbankenkoncernen till 149,4 mkr (104,8).

Villkor för krediter och inlåning för ledande befattningshavare som är anställda i Handelsbankenkoncernen är i enlighet med samma principer som för alla andra medarbetare i koncernen. Alla krediter beviljas efter kreditprövning.

<sup>1</sup> Verkställande direktören i Handelsbanken plc ingår även i koncernledningen.

<sup>2</sup> Pensionsförpliktelser avser belopp som banken enligt IAS19 reserverar för utbetalning av framtida förmånsbestämda pensioner. Storlek på förpliktelserna beror på finansiella och demografiska antaganden vilka kan ändras mellan åren.

## NOTER | KONCERNEN

## K6 Forts

## PENSIONER

Pensionsförpliktelser, netto mkr	2022	2021
Pensionsförpliktelser	36 419	34 841
Förvaltningsåtgångarnas verkligavärde	30 294	43 607
<b>Pensionsnetto</b>	<b>12 875</b>	<b>8 798</b>

Utöver pensionsförpliktelserna och förvaltningsåtgångarna i tabellen ovan finns inom Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse avsättningar som gjorts under åren 1989-2004 till en särskild komplementär pension (SKP) i den ingår förvaltningsåtgångar vars marknadsvärde uppgår till 7 847 mkr (9 948). SKP:n medför en utfästelse för banken uppgående till samma belopp som förvaltningsåtgångarna.

En del av denna utfästelse, 5 871 mkr (6 694), är villkorad.

Pensionskostnader mkr	2022	2021
Pensioner inbetalade under året	-708	-947
Pensioner inbetalade under tidigare år	0	0
Ränta på pensionsförpliktelserna	-721	-563
Ränta på förvaltningsåtgångar	913	597
Vinstar och förluster från regleringar och redovisningar	0	0
Socialavgifter, förmånsbestämda planer <sup>1</sup>	-152	0
<b>Pensionskostnader, förmånsbestämda planer</b>	<b>-688</b>	<b>-913</b>
Pensionskostnader, premiebästa planer <sup>2</sup>	-747	-674
Socialavgifter, premiebästa planer <sup>2</sup>	-283	-262
<b>Summa pensionskostnader</b>	<b>-1 698</b>	<b>-1 840</b>

<sup>1</sup> Till följd av att banken avstämde från att ta gottgörelse 2022 har särskild löneskatt på förmånsbestämda pensionsplaner kostnadsförts med 152 mkr, se vidare not M40.

<sup>2</sup> Pensionskostnader hänförliga till avvecklad verksamhet i Danmark och Finland framgår av not K14.

Pensionsförpliktelser mkr	2022	2021
Ingående balans	34 841	37 761
Pensioner inbetalade under året	776	988
Pensioner inbetalade under tidigare år	0	0
Ränta på pensionsförpliktelserna	721	563
Betalda förmåner	-1 061	-1 062
Vinstar och förluster från regleringar och redovisningar	0	0
Aktuariella vinster (-)/förluster (+)	-8 950	-3 725
Valutaeffekt	82	316
<b>Utgående balans<sup>1</sup></b>	<b>26 419</b>	<b>34 841</b>

<sup>1</sup> I utgående balans per den 31 december 2022 har 2023 års värdesättning om 10,84% medräknats för den svenska pensionsförpliktsdelen. Effekten av att inkludera beaktad värdesättning har ökat pensionskuldan med 2 335 mkr per den 31 december 2022.

Förvaltningsåtgångar mkr	2022	2021
Ingående balans	43 607	39 766
Pensioner inbetalade under tidigare år	-	-
Ränta på förvaltningsåtgångar	913	597
Tillskjutna medel från arbetsgivaren	974	871
Erstatning till arbetsgivaren	-57	-674
Vinstar och förluster från regleringar och redovisningar	0	0
Utbetalda medel direkt till anställd	-343	-329
Aktuariella vinster (-)/förluster (+)	-5 901	3 095
Valutaeffekt	101	281
<b>Utgående balans</b>	<b>30 294</b>	<b>43 607</b>

Arvskattning på förvaltningsåtgångar mkr	2022	2021	Fördelning av förvaltningsåtgångar mkr	2022	2021
Ränta på förvaltningsåtgångar	913	597	Noterade aktier och fondandelar <sup>4</sup>	28 690	33 269
Aktuariella vinster (-)/förluster (+)	-5 901	3 095	Ikke-noterade aktier och andelar	2 163	1 709
<b>Verklig arvskattning</b>	<b>-4 988</b>	<b>3 692</b>	Noterade räntebärande värdepapper	6 518	7 595
			Övriga förvaltningsåtgångar	1 923	1 034
			<b>Summa</b>	<b>30 294</b>	<b>43 607</b>

<sup>4</sup> Fondandelarna uppgår till 21 649 mkr (21 299) varav räntefonder 17 099 mkr (16 287).

I förvaltningsåtgångarna ingår aktier i Svenska Handelsbanken AB (publ) med ett marknadsvärde om - mkr (-) på balansdagen den 31 december 2022. Inga obligationer utgivna av Svenska Handelsbanken AB (publ) ingår i förvaltningsåtgångarna. I övriga förvaltningsåtgångar ingår per den 31 december 2022 likvida medel. Per den 31 december 2021 ingår både likvida medel och en skuld av seende ännu ej utbetald gottgörelse.

## NOTER | KONCERNEN

## K8 Forts

Aktuariella vinster (-) / förluster (+), pensionsförpliktelser mkr	2022	2021
Ändringar i demografiska antaganden	-459	219
Ändringar i finansiella antaganden	-11 006	-3 873
Erfarenhetsbaserade justeringar	2 515	-71
<b>Summa</b>	<b>-8 990</b>	<b>-3 725</b>

Framtida kassaflöden mkr	Utfall 2022	Prognos 2023
Betalda förmåner	-1 051	-1 134
Tillskjutna medel från arbetsgivaren	97,4	1 014

Förmånsbestämd pension intjänas huvudsakligen av anställda i Sverige. Av den totala pensionsförpliktsdelen avser 24 488 mkr (31 681) den svenska planen och 1 964 mkr (3 080) den för nyinföring stängda planen i Storbritannien. Därutöver finns förmånsbestämda planer av mindre omfattning kvar i Norge. Dessa är med hänsyn till sin storlek oväsentliga och redogörs därför inte för närmare.

Av de totala förvaltningsåtgångarna avser 37 339 mkr (40 457) den svenska planen och 1 955 mkr (3 170) den stängda planen i Storbritannien.

I Sverige utgår ålderspension från och med 65 års ålder enligt pensionsavtal mellan BAO och Finansförbundet/SAOO-förbundet med 10% av årslönen, upp till 7,5 inkomstbasbelopp. På lönedel i inkomstbasbeloppintervall 7,5–20 utgår ålderspension med 65% och i inkomstbasbeloppintervall 20–30 med 32,5% av årslönen. På lönedel överstigande 30 inkomstbasbelopp utgår ingen ålderspension. Från och med den 1 mars 2020, tjänar alla nyanställda och anställda yngre än 25 år i pension i en premiebestämd pensionsplan. Anställda före den 1 mars 2020 påverkas inte utan är fortsatt medlemmar i den förmånsbestämda pensionsplanen.

Pensionsplanerna är exakt förklarade, där förvaltningsåtgångarna innehåller avkastning eller likvärdiga juridiska personor. Dessa verksamheter regleras av nationella bestämmelser och praxis, vilka även reglerar förhållandet mellan koncernen och förvaltaren (eller motsvarande) av förvaltningsåtgångar, samt sätter rammar för hur förvaltningsåtgångar får placeras. I Sverige är det främst byggandelagen och lagen om tjänstepensionsföretag som är tillämplig. I Storbritannien tillämpas nationell lagstiftning avseende pension och skatt.

Väsentliga antaganden	Sverige		Storbritannien	
	2022	2021	2022	2021
Diskonteringsränta, %	4,2	2,1	4,0	1,8
Förväntad löneökning, %	3,5	3,5		
Pensionsuppträning, %	2,0	2,0	3,0	3,3
Inkomstbasbelopp, %	3,0	3,0		
Inflation, %	2,0	2,0	3,2	3,5
Personalsättning, %	5,0	4,0		
Förväntad återstående livslängd vid pension, år	23,1	23,1	24,0	24,0
Genomsnittlig duration (Macaulay), år	14,1	17,3	15,0	19,0

Antaganden om framtida löneökningar, inflation med flera bygger på den förväntade långsiktiga utvecklingen. Bankens svenska pensionsåtgångar har en duration på cirka 17 år och antagandena har beslutats med detta i åtanke. Antagandena är satta för att på lång sikt återspegla de ekonomiska utsläppen samt för att vara såsom möjligt konsistenta.

Känslighetsanalys	Påverkan på pensionsförpliktsdelen				
	Ändring i antagande	Ökad pensionsförpliktsdel, mkr		Minskad pensionsförpliktsdel, mkr	
		2022	2021	2022	2021
Diskonteringsränta, %	0,5	2 021	3 201	-1 801	-2 998
Förväntad löneökning, %	1,0	433	1 638	-1 080	-1 360
Pensionsuppträning, %	0,5	1 273	1 875	-1 187	-1 742
Förväntad återstående livslängd vid pension, år	1,0	793	1 238	-800	-1 232

Känslighetsanalysen ovan baseras på att ett antagande förändras och övriga antaganden är konstanta. I praktiken är det osannolikt att detta inträffar och förändringar i vissa antaganden kan vara korrelerade. Vid beräkningen av känsligheten i pensionsförpliktsdelen för förändringar i väsentliga antaganden, har samma metod använts för att beräkna pensionsförpliktsdelen som den som använts för den redovisade pensionsförpliktsdelen. Metoden beskriver närmare i bankens redovisningsprinciper (se not K1, avsnitt 20). Jämfört med årsredovisningen 2021 har det inte skett några förändringar i de metoder som använts vid upprättandet av känslighetsanalysen.

Genom sina förmånsbestämda pensionsplaner är banken exponerad för ett antal risker. De viktigaste riskerna beskrivs nedan:

**Tillgångsvolatilitet:** Pensionsförpliktsdelen beräknas med hjälp av en diskonteringsränta som baseras på företagsobligationer. Om förvaltningsåtgångar genererar sämre avkastning än diskonteringsräntan är risken för att underskott uppstår långt eftersom förvaltningsåtgångarna har ett överskott. I förvaltningsåtgångarna ingår aktier och aktiefonder, vilket förväntas ge högre avkastning än företagsobligationer på lång sikt, samtidigt som det ger högre volatilitet och risk på kort sikt. Med anledning av pensionsförpliktsdelens långsiktiga karaktär anser banken att en betydande andel aktier är lämplig för att hantera planerna effektivt.

**Förändringar i obligationsräntan:** Om företagsobligationsräntorna sjunker så kommer pensionsförpliktsdelen att öka. Detta kommer dock delvis att kompenseras genom att värdet av de obligationer som ingår i förvaltningsåtgångarna kommer att öka.

**Inflationerisk:** Pensionsförpliktsdelarna är kopplade till inflationen. Högre inflation kommer att leda till att pensionsförpliktsdelen ökar. Värdet av förvaltningsåtgångarna påverkas inte direkt av inflationen i någon väsentlig utsträckning. Om inflationen ökar så kommer det sannolikt att leda till ett ökat underskott i pensionsplanerna.

**Förväntad livslängd:** Styfvel med pensionsplanerna är att generera en pension som sträcker sig över den anställdas livstid. Detta innebär att om den förväntade livslängden ökar så kommer pensionsförpliktsdelen att öka.

**Placering av tillgångar och skuldsättning:** Placering av tillgångar utgår från utfästasernas sammansättning och förväntade utveckling. Den övergripande målsättningen är att placeringstillgångarnas avkastning på medellång och lång sikt minst ska motsvara pensionsförpliktsdelens utveckling. En andel av tillgångarna har investerats i aktier, men investeringar har även gjorts i derivatbaserade instrument och likvida medel. En betydande andel aktier anses lämplig för att hantera planerna effektivt.

**Fördelning:** Lägst krav för fördelning krävs till mellan planer, men där sådana krav är baserade på kollektivt avtal eller intern fastställt policy så är fördelningskravet normalt att pensionsförpliktsdelen värderas till likala krav ska täckas fullt ut. Fördelning av övervakningsåtgångarna. Bankens anses att den nuvarande avgiftsnivån är lämplig.

## NOTER | KONCERNEN

## K9 Övriga kostnader

mie	2022	2021
Fastigheter och lokaler	-509	-545
Externa datakostnader	-2 963	-2 188
Kommunikation	-255	-257
Resor och marknadsföring	-236	-128
Köpta tjänster	-1 836	-1 884
Materialanskaffning	-170	-140
Andra omkostnader	-484	-435
<b>Summa</b>	<b>-6 043</b>	<b>-6 677</b>

Ersättning till revisorer och revisionsbolag	PricewaterhouseCoopers AB		Ernst & Young AB	
	2022	2021	2022	2021
mie				
Revisionsuppdraget	-34	-4	-10	-26
Revisionsverksamhet utöver revisionsuppdraget	-6	0	-1	-2
Skatterådgivning	-	-	0	0
Övriga tjänster	-	-	-	-

## K10 Kreditförluster

mie	2022	2021
<b>Förväntade kreditförluster på poster i balansräkningen</b>		
Årets reservering Stag 3	-182	-408
Stag 3 reservering tidigare år som återförts	223	178
<b>Summa förväntade kreditförluster i Stag 3</b>	<b>41</b>	<b>-230</b>
Årets nettoreservering Stag 2	-99	188
Årets nettoreservering Stag 1	-109	-9
<b>Summa förväntade kreditförluster i Stag 1 och Stag 2</b>	<b>-207</b>	<b>179</b>
<b>Summa förväntade kreditförluster på poster i balansräkningen</b>	<b>-166</b>	<b>-51</b>
<b>Förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen</b>		
Årets nettoreservering Stag 3	11	26
Årets nettoreservering Stag 2	-31	11
Årets nettoreservering Stag 1	-4	-18
<b>Summa förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen</b>	<b>-26</b>	<b>19</b>
<b>Bortskrivningar</b>		
Årets konstaterade kreditförluster <sup>1</sup>	-738	-363
Utryckt andel av tidigare reserverat i Stag 3	636	281
<b>Summa bortskrivningar</b>	<b>-102</b>	<b>-82</b>
<b>Återvinningar</b>		
Kreditförluster, netto	245	71
varav utövning till allmänheten	-47	-43
	-26	-65

<sup>1</sup> Av årets konstaterade kreditförluster omfattas 222 mkr (105) av efterbevakning.

## NOTER | KONCERNEN

## K10 Forts

mkr	2022	2021
1) Förväntade kreditförluster i Steg 3 <sup>1</sup> och utanför balansenkningen	62	-204
Förändring i modellbaserad reservering för Steg 1 och Steg 2:		
Uppdatering av makroekonomiska scenarier och riskfaktorer	-104	45
Flytt av exponeringar i utsatta branscher från Steg 1 till Steg 2 <sup>2</sup>	10	2
Förändring i fallsamangsrisk i löpande portfölj (netto ratingförändringar)	-1	-36
Effekt av exponeringsförändring (borttagna, nya och avslutade exponeringar)	40	40
Övrigt i Steg 1 och Steg 2	-69	128
Avgår avvecklad verksamhet	4	-13
Modellbaserade kreditförluster i Steg 1 och Steg 2	-120	176
Expertbaserad reservering		
Expertbaserad reservering	-646	-577
Avgår till avvecklad verksamhet	25	78
Expertbaserad reservering i kvarvarande verksamhet	-621	-499
Expertbaserade kreditförluster i Steg 1 och Steg 2 (förändring i reservering jämfört med föregående år)	-122	-3
2) Förväntade kreditförluster i Steg 1 och Steg 2 i och utanför balansenkningen	-242	172
3) Bortskrivningar	-102	-82
4) Återvinningar	245	71
Kreditförluster, netto (1+2+3+4)	-47	-43

<sup>1</sup> Expertbaserad bedömning av signifikant ökning av kreditrisk.

Reserveringsbehovet har ökat under 2022. Detta förklaras främst av uppdaterade värden på de framåtblickande makroekonomiska riskfaktorerna, där BNP har minskat medan inflation och räntor har ökat jämfört med prognosen föregående årsskifte. Utöver detta har ett antal faktorer sammantaget bidragit till en visst ytterligare ökning av reserveringsbehovet under året.

Under 2020-2021 tillämpade banken en expertbaserad reservering avseende risker kopplade till covid-19 pandemin som ej fullt ut bedömdes fångas i bankens riskmodeller. Under året har denna reservering kösts upp då de återstående effekter som pandemin trots allt kan ha på återbetalningsförmågan hos bankens kunder

nu bedöms återspeglas i den individuella reserveringsnivån i enlighet med bankens interna riskklassificering.

Banken har under året tillämpat en expertbaserad reservering baserad på ökade kreditrisker kopplade till osäkerheter som ej bedöms fullt ut fångas av bankens riskmodeller. Dessa osäkerhetsfaktorer är främst kopplade till det instabila omvärldsläget, dels på grund av kriget i Ukraina, vilket skapat omfattande störningar i leverantörskedjan och brist på insatsvaror, energiförsörjning och tillgång till arbetskraft inom specifika branscher. Med anledning av utmaningarna att vid utgången av året uppskatta hur ovan nämnda osäkerhetsfaktorer påverkar kreditrisken på

individuell företagsnivå och den stora osäkerheten i utvecklingen av dessa faktorer har banken applicerat en expertbaserad stress på branscher med risk för extra känslighet för utbuds- och tillgångsstörningar. Denna stress har gjorts i tillägg till de modellbaserade beräkningarna och har resulterat i ett tillkommande reserveringsbehov om 621 mkr (499) i kvarvarande verksamhet och 646 mkr (577) inklusive avvecklad verksamhet.

Processen för nedskrivningsprövning för avtal i Steg 3 har inte ändrats utan följer sedvanlig rutin med individuell bedömning.

## NOTER | KONCERNEN

## K10 Forts

## Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning 2022

mkr	Brutto			Reserver		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3 <sup>1</sup>	Steg 1	Steg 2	Steg 3
<b>Poster i balansräkningen</b>						
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	475 853	-	-	0	-	-
Övrig utlåning till centralbanker	32 620	-	-	0	-	-
Belåningsbara statskultförbindelser m m	200	-	-	0	-	-
Utlåning till övriga kreditinstitut	9 418	1	-	-2	-1	-
Utlåning till allmänheten	2 374 713	91 349	5 716	-475	-722	-1 257
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	9 882	-	-	-2	-	-
<b>Summa</b>	<b>2 902 686</b>	<b>91 350</b>	<b>5 716</b>	<b>-480</b>	<b>-723</b>	<b>-1 257</b>
<b>Poster utanför balansräkningen</b>						
Eventuella förbindelser	314 586	12 533	274	-103	-160	-82
varav ansvarsförbindelser	58 973	7 935	67	-6	-77	-79
varav återgåenden	255 613	10 598	207	-97	-158	-63
<b>Summa</b>	<b>314 586</b>	<b>12 533</b>	<b>274</b>	<b>-103</b>	<b>-160</b>	<b>-82</b>

Informationen i denna not inkluderar avyttringsgruppen Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäljning samt utgör oavvecklad verksamhet. Verksamheterna i Danmark är avyttrade under det fjärde kvartalet 2022 och ingår i jämförelsesiffrorna, se not K14.

## Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning 2021

mkr	Brutto			Reserver		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3 <sup>1</sup>	Steg 1	Steg 2	Steg 3
<b>Poster i balansräkningen</b>						
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	439 932	-	-	0	-	-
Övrig utlåning till centralbanker	1 462	-	-	-	-	-
Belåningsbara statskultförbindelser m m	421	-	-	-	-	-
Utlåning till övriga kreditinstitut	21 833	10	-	-2	-3	-
Utlåning till allmänheten	2 345 196	64 390	7 421	-395	-690	-2 093
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	9 016	-	-	-2	-	-
<b>Summa</b>	<b>2 817 860</b>	<b>64 400</b>	<b>7 421</b>	<b>-399</b>	<b>-693</b>	<b>-2 093</b>
<b>Poster utanför balansräkningen</b>						
Eventuella förbindelser	406 024	9 477	336	-109	-144	-91
varav ansvarsförbindelser	70 375	7 265	716	-9	-70	-39
varav återgåenden	335 649	8 212	220	-700	-734	-52
<b>Summa</b>	<b>406 024</b>	<b>9 477</b>	<b>336</b>	<b>-109</b>	<b>-144</b>	<b>-91</b>

<sup>1</sup> Bruttovolym i Steg 3 där ingen reservering gjorts på grund av säkerheter uppgår till 3 270 mkr (3 259).

Nyckeltal kreditförbruk	2022	2021
Utlåning till allmänheten <sup>2</sup>		
Kreditförbruknivå ack, total verksamhet, %	0,00	0,00
Kreditförbruknivå ack, kvarvarande verksamhet, %	0,00	0,00
Total reservertingsgrad, %	0,10	0,13
Reservertingsgrad Steg 1, %	0,02	0,02
Reservertingsgrad Steg 2, %	0,79	1,07
Reservertingsgrad Steg 3, %	21,99	28,20
Andel utlåning i Steg 3, %	0,18	0,22

<sup>2</sup> Inkluderar avyttringsgruppen Finland som i balansräkningen 2021-12-31 omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäljning. I jämförelsesiffrorna ingår även Danmark, se not K14.

## NOTER | KONCERNEN

## K10 Forts

## FÖRÄNDRINGSANALYSER

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2022				2021			
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-399	-693	-2 093	-3 185	-389	-840	-2 238	-3 467
Bortbokningar	71	165	301	536	43	86	143	272
Bortskrivningar	0	1	671	672	0	2	391	393
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-228	201	-21	-47	-123	151	-72	-44
Förändringar i modell/riskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m m	-11	-8	-24	-43	-13	-23	-60	-96
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-53	-52	-9	-114	-61	-22	-21	-104
Förflyttning till Stag 1	-38	44	8	14	-29	45	2	18
Förflyttning till Stag 2	70	-470	16	-384	59	-234	7	-168
Förflyttning till Stag 3	108	89	-106	92	114	142	-245	11
Reserv vid årets utgång	-490	-723	-1 257	-2 469	-390	-893	-2 093	-3 185

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2022				2021			
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-395	-690	-2 093	-3 178	-385	-834	-2 238	-3 457
Bortbokningar	70	165	301	536	43	86	143	272
Bortskrivningar	0	1	671	672	0	2	391	393
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-227	199	-21	-49	-124	148	-72	-48
Förändringar i modell/riskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m m	-11	-8	-24	-43	-13	-23	-60	-96
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-52	-52	-9	-113	-60	-22	-21	-103
Förflyttning till Stag 1	-38	44	8	14	-29	45	2	18
Förflyttning till Stag 2	70	-470	16	-384	59	-234	7	-168
Förflyttning till Stag 3	108	89	-106	92	114	142	-245	11
Reserv vid årets utgång	-475	-722	-1 257	-2 454	-366	-890	-2 093	-3 178

Reserver för förväntade kreditförluster i tabellerna ovan inkluderar avyttringsgruppen Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning. I jämförelseffterna ingår även Danmark, se not K14.

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2022				2021			
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-109	-144	-91	-344	-90	-157	-119	-366
Bortbokningar	30	24	-	54	14	27	-	41
Bortskrivningar	0	0	1	1	-	-	-	-
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-11	43	9	41	0	23	28	51
Förändringar i modell/riskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m m	3	22	-	24	-7	-25	-	-32
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-21	-16	-	-37	-28	-6	-	-34
Förflyttning till Stag 1	-5	8	-	3	-9	19	-	10
Förflyttning till Stag 2	8	-107	-	-99	5	-33	-	-28
Förflyttning till Stag 3	3	2	-	4	6	8	-	14
Reserv vid årets utgång	-103	-169	-82	-354	-100	-144	-91	-344

Förändringsanalysen visar nettoeffekten på reserven i angivet stag per förklaringspost under perioden. Effekten av bortbokningar och bortskrivningar beräknas på ingående balans. Effekten av omvärdering till följd av förändringar i modell/riskparametrar samt valutaeffekt m m beräknas innan eventuell förflyttning av nettobeloppet mellan stag. Nyutgivna eller förvärvade tillgångar och förflyttade belopp mellan stagen redovisas efter att effekten av övriga förklaringsposter beaktats. Förflyttningsredovisningar anger effekten på reserven i angivet stag.

## NOTER | KONCERNEN

## K10 Forts

## Förändring av bruttovolymer, poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2022				2021			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Volymer vid årets ingång	2 817 880	64 400	7 421	2 889 681	2 639 707	76 401	7 002	2 723 110
Bortbokningar	-901 842	-16 004	-1 592	-319 437	-167 405	-8 830	-825	-177 060
Bortskrivningar	-12	-5	-764	-781	-13	-10	-463	-486
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	123 331	-26 219	-943	95 167	-59 663	-8 086	-914	-108 663
Förändringar i modellriskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m m	92 095	1 410	70	93 575	82 718	3 605	273	86 596
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	232 540	7 905	101	240 546	363 244	2 839	101	366 184
Förflyttning till Steg 1	43 672	-43 579	-94	-	41 290	-41 207	-83	-
Förflyttning till Steg 2	-104 054	104 466	-412	-	-41 089	41 221	-132	-
Förflyttning till Steg 3	-904	-1 025	1 929	-	-929	-1 533	2 462	-
Volymer vid årets utgång	2 902 688	91 380	8 718	2 999 786	2 817 880	84 400	7 421	2 889 681

## Förändring av bruttovolymer, utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2022				2021			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Volymer vid årets ingång	2 345 196	64 390	7 421	2 417 007	2 189 683	76 384	7 002	2 273 069
Bortbokningar	-254 118	-15 887	-1 592	-271 597	-161 245	-8 821	-825	-170 891
Bortskrivningar	-12	-5	-764	-781	-13	-10	-463	-486
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	93 471	-26 036	-943	66 492	47 230	-8 705	-914	37 601
Förändringar i modellriskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m m	28 790	1 383	70	30 243	41 251	3 430	273	44 954
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	222 409	7 905	101	230 415	229 820	2 839	101	232 760
Förflyttning till Steg 1	43 672	-43 579	-94	-	40 495	-40 412	-83	-
Förflyttning till Steg 2	-103 791	104 203	-412	-	-41 086	41 218	-132	-
Förflyttning till Steg 3	-904	-1 025	1 929	-	-929	-1 533	2 462	-
Volymer vid årets utgång	2 374 713	91 340	8 718	2 474 778	2 345 196	84 390	7 421	2 417 007

Poster i balansräkningen i tabellerna ovan inkluderar avyttningsgruppen Finland som i balansräkningen omklassificerats till tillgångar som innehåller för försäljning. I jämförelseffterna ingår även Danmark, se not K14.

## Förändring av bruttovolymer, poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2022				2021			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Volymer vid årets ingång	406 024	9 477	336	415 837	391 266	10 743	433	402 442
Bortbokningar	-93 239	-4 000	-59	-97 298	-31 851	-1 777	-56	-33 684
Bortskrivningar	-1	0	0	-1	-1	0	-1	-2
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-16 580	-2 390	-41	-19 011	-71 440	-3 992	-138	-75 570
Förändringar i modellriskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m m	-31 411	-5 328	6	-36 733	46 219	9 627	5	55 851
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	63 343	1 249	8	64 600	66 070	727	3	66 800
Förflyttning till Steg 1	6 103	-6 092	-12	-	12 747	-12 743	-4	-
Förflyttning till Steg 2	-19 619	19 631	-11	-	-6 947	6 950	-3	-
Förflyttning till Steg 3	-33	-15	48	-	-39	-58	97	-
Volymer vid årets utgång	314 586	12 683	274	327 543	406 024	9 477	336	415 837

Förändringsanalysen av sända bruttovolymer visar, i likhet med analysen av reserv, effekten av valda förklaringsposter på volymerna i angivet steg. Posterna för förflyttning mellan stegen och "Nyutgivna eller förvärvade tillgångar" anger beloppen i angivet steg vid periodens utgång. Övriga poster anger effekten i det steg som var gällande vid periodens ingång.

## K10 Forts

## KÄNSLIGHETSANALYSER

## Makroekonomisk prognos i ECL-bertäkningar och känslighetsanalys

Bertäkningen av förväntade kreditförluster tillämpar framåtblickande information i form av makroskenarier. Den förväntade kreditförlusten är ett sannolikhetsvägt genomsnitt av de beräknade prognoserna. För exponeringar utanför Storbritannien appliceras tre scenarier. Prognosen i det neutrala scenariot vägs med 60% (70), medan en uppgång i ekonomin vägs med 20% (15) och en nedgång i ekonomin med 20% (15). För exponeringar i Storbritannien har även ett fjärde, kraftigare negativt scenario applicerats från och med 2022. Sannolikhetsviktningen för kraftigt negativt/negativt/neutral/positivt scenario för Storbritannien är 15%/20%/60%/5%. Dessa scenarier och vikter har legat till grund för beräkningar av förväntade kreditförluster i Steg 1 och Steg 2 per den 31 december 2022.

Makroekonomiska riskfaktorer	Negativt scenario			Neutralt scenario			Positivt scenario		
	2023	2024	2025	2023	2024	2025	2023	2024	2025
<b>BNP-tillväxt</b>									
Sverige	-3,55	-0,25	3,15	-0,50	1,30	2,50	2,00	2,80	2,20
Storbritannien	-3,80	-0,20	3,00	-1,30	0,80	3,40	1,20	2,30	3,10
Storbritannien, kraftigt negativt scenario	-8,30	-3,20	4,40						
Norge	-2,38	-0,30	2,45	0,67	1,25	1,80	3,17	2,75	1,50
Finland	-3,25	-0,57	2,24	-0,20	0,98	1,59	2,30	2,48	1,29
Euro-området	-3,59	-0,03	1,95	-0,54	1,52	1,30	1,96	3,02	1,00
USA	-2,87	-0,26	2,65	0,18	1,29	2,00	2,68	2,39	1,70
<b>Arbetslöshet</b>									
Sverige	8,87	10,00	9,80	7,70	8,10	7,90	7,10	7,16	7,80
Storbritannien	5,93	6,39	6,20	5,33	4,89	4,70	4,73	3,69	3,80
Storbritannien, kraftigt negativt scenario	7,83	8,89	8,70						
Norge	3,25	4,15	4,35	2,08	2,25	2,45	1,47	1,31	1,85
Finland	8,17	8,80	8,40	7,00	6,90	6,50	6,40	5,96	5,90
Euro-området	8,60	9,40	9,30	7,43	7,50	7,40	6,83	6,56	6,80
USA	5,16	6,49	6,30	3,99	4,59	4,40	3,59	3,65	3,80
<b>Styrelsen</b>									
Sverige	1,54	0,75	1,00	2,75	2,25	2,25	3,25	3,00	3,00
Storbritannien	3,25	3,25	3,25	4,00	4,00	3,75	4,50	4,75	4,50
Storbritannien, kraftigt negativt scenario	0,75	0,25	0,50						
Norge	1,75	1,00	1,00	3,25	3,00	2,75	3,75	3,75	3,50
Finland	1,05	0,25	0,25	2,25	1,75	1,25	2,75	2,50	2,00
Euro-området	1,05	0,25	0,25	2,25	1,75	1,25	2,75	2,50	2,00
USA	3,20	1,88	1,70	4,63	3,88	3,20	5,13	4,63	3,95
<b>Fästighetsprisutveckling, kommersiella fastigheter</b>									
Sverige	-15,54	-8,66	-0,74	-8,50	-6,44	0,58	-3,52	-1,73	-0,52
Storbritannien	-18,72	-5,11	3,34	-13,83	-1,23	2,11	-8,93	1,31	0,90
Storbritannien, kraftigt negativt scenario	-26,49	-15,22	-1,94						
Norge	-11,19	-6,80	-2,42	-5,96	-1,14	-1,90	-3,00	0,61	-2,74
Finland	-12,43	-6,53	0,70	-5,87	-1,00	1,19	-2,57	0,52	-0,04
Euro-området	-11,94	-3,67	0,85	-7,39	0,66	1,65	-4,01	2,57	0,86
<b>Fästighetsprisutveckling, bostadsfastigheter</b>									
Sverige	-22,37	1,77	1,89	-13,51	1,75	1,95	-8,78	2,19	3,92
Storbritannien	-10,00	0,07	1,08	-3,20	1,20	2,35	5,00	2,41	2,74
Storbritannien, kraftigt negativt scenario	-22,76	1,62	1,12						
Norge	-3,53	-1,04	2,19	-0,95	0,38	1,83	2,05	5,26	3,71
Finland	-4,07	0,92	1,16	-1,02	1,92	2,12	0,75	2,90	2,80
Euro-området	2,95	2,35	2,00	2,40	2,00	2,00	2,10	1,70	2,03

## Känslighetsanalys makroskenarier

Tabellen nedan visar procentuell ökning respektive minskning av reserven för förväntade kreditförluster i Steg 1 och Steg 2 per den 31 december 2022 om det negativa respektive positiva scenariot tilldelats sannolikheter om 100%. Effekten av att sätta sannolikheten av det kraftigt negativa scenariot för Storbritannien till 100% är inte inkluderat i totalen.

%	2022		2021	
	Procentuell ökning av reserv vid negativt scenario	Procentuell minskning av reserv vid positivt scenario	Procentuell ökning av reserv vid negativt scenario	Procentuell minskning av reserv vid positivt scenario
Sverige	10,95	-7,72	18,30	-10,05
Storbritannien	7,49	-7,19	11,31	-6,30
Storbritannien, kraftigt negativt scenario	25,30			
Norge	7,54	-6,10	12,31	-6,82
Denmark			15,00	-8,07
Finland	-0,13	0,20	3,91	-1,95
Nederländerna	3,52	-2,56	3,48	-1,80
USA	27,06	-20,57	50,58	-32,07
Övriga länder	3,64	-2,07	5,88	-2,76

## NOTER | KONCERNEN

## K10 Forts

## Känslighetsanalys betydande ökning av kreditrisk

Tabellen nedan visar hur reserven för förväntade kreditförluster i Steg 1 och Steg 2 per den 31 december påverkas om det gränsvärde som tillämpas för kvoten mellan återstående kreditrisk beräknat vid rapportering och första redovisningsstillfället var satt till 0,5 enheter lägre respektive högre än det tillämpade gränsvärdet 2,5. En minskning av gränsvärdet med 0,5 enheter skulle öka antalet lån som överförs från Steg 1 till Steg 2 och också öka reserven för förväntade kreditförluster. En ökning av gränsvärdet med 0,5 enheter skulle ha motsatt effekt. Banken använder både kvantitativa och kvalitativa indikatorer för att bedöma betydande ökning av kreditrisk. För utförligare information, se not K2 avsnitt Kreditrisk.

Förändring av den totala reserven för Steg 1 och Steg 2, % Tröskelvärde	2022	2021
2	3,78%	3,28%
2,5	0,00%	0,00%
3	-2,16%	-1,02%

## KREDITEXPONERINGAR SOM ÄR FÖREMÅL FÖR NEDSKRIVNINGSPRÖVNING PER PD-INTERVALL

Poster i balansräkningen fördelat på pd-intervaller	2022			2021		
	Bruttovolymer, mkr			Bruttovolymer, mkr		
pd-värde <sup>1</sup>	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
0,00 till <0,15	2 565 832	33 734	-	2 515 847	12 508	-
0,15 till <0,25	83 251	7 159	-	201 420	4 445	-
0,25 till <0,50	186 429	10 793	-	53 792	6 616	-
0,50 till <0,75	26 894	5 512	-	15 502	2 778	-
0,75 till <2,50	32 219	16 582	-	22 142	22 002	-
2,50 till <10,00	7 234	13 902	-	9 618	14 371	-
10,00 till <100	887	3 667	-	539	1 680	-
100 (tillsammans)	-	-	5 716	-	-	7 421
Summa	2 902 888	91 380	5 716	2 817 880	64 400	7 421

Utlåning till aktiva fördelat på pd-intervaller	2022			2021		
	Bruttovolymer, mkr			Bruttovolymer, mkr		
pd-värde <sup>1</sup>	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
0,00 till <0,15	2 099 130	33 734	-	2 093 842	12 508	-
0,15 till <0,25	68 108	7 159	-	167 635	4 444	-
0,25 till <0,50	152 519	10 793	-	44 769	6 615	-
0,50 till <0,75	21 953	5 512	-	12 902	2 777	-
0,75 till <2,50	26 358	16 582	-	18 428	21 999	-
2,50 till <10,00	5 918	13 902	-	7 172	14 369	-
10,00 till <100	726	3 667	-	448	1 680	-
100 (tillsammans)	-	-	5 716	-	-	7 421
Summa	2 374 713	91 340	5 716	2 345 198	64 390	7 421

Poster utanför balansräkningen fördelat på pd-intervaller	2022			2021		
	Bruttovolymer, mkr			Bruttovolymer, mkr		
pd-värde <sup>1</sup>	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
0,00 till <0,15	262 559	4 799	-	357 043	4 073	-
0,15 till <0,25	22 592	1 082	-	17 621	799	-
0,25 till <0,50	15 241	633	-	15 381	401	-
0,50 till <0,75	5 386	716	-	6 973	1 081	-
0,75 till <2,50	7 529	3 451	-	7 563	1 175	-
2,50 till <10,00	1 119	1 657	-	1 275	1 694	-
10,00 till <100	160	195	-	168	254	-
100 (tillsammans)	-	-	274	-	-	336
Summa	314 586	12 633	274	406 024	9 477	336

<sup>1</sup> Avser tolv månaders pd-värde vid rapporteringsstillfället.

Tillgångar övertagna för skyddande av fordran mkr	2022	2021
Lös egendom	0	0
Aktier och andelar	0	0
Redovisat värde	0	0

Lös egendom består i all väsentligt av återtagna leasingobjekt. Värderingsprinciper för tillgångar och skulder som övertagits för skyddande av fordran beskrivs i not K1.

## NOTER | KONCERNEN

**K11** Vinster/förluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar

mkr	2022	2021
Inventarier	24	14
Facigheter	-	-
<b>Summa</b>	<b>24</b>	<b>14</b>

**K12** Riskskatt och resolutionsavgift

mkr	2022	2021
Riskskatt	-1 316	-
Resolutionsavgift	-995	-930
<b>Summa</b>	<b>-2 311</b>	<b>-930</b>

**K13** Resultat per aktie

	2022	2021
<b>Årets resultat, mkr</b>	<b>21 470</b>	<b>19 543</b>
Genomsnittligt antal under året konverterade aktier, miljoner	-	-
Genomsnittligt innehav av egna aktier i handelslager, miljoner	-	-
Genomsnittligt antal utestående aktier, miljoner	1 980,0	1 980,0
Genomsnittlig utspädningsfaktor antal aktier, miljoner	-	0,0
Genomsnittligt antal utestående aktier efter utspädning, miljoner	1 980,0	1 980,0
<b>Resultat per aktie, total verksamhet, kr</b>	<b>10,84</b>	<b>9,86</b>
efter utspädning	10,84	9,86
<b>Resultat per aktie, kvarvarande verksamhet, kr</b>	<b>10,7</b>	<b>9,51</b>
efter utspädning	10,7	9,51
<b>Resultat per aktie, ewvektad verksamhet, kr</b>	<b>0,14</b>	<b>0,26</b>
efter utspädning	0,14	0,26

Resultat per aktie efter utspädning beräknas genom att ta hänsyn till effekterna av en konvertering av utestående konvertibla skuldbrev. Det innebär att genomsnittligt antal aktier justeras med potentiella stamaktier och att årets resultat justeras med årets räntekostnad på utestående konvertibla skuldbrev efter skatt.

## NOTER | KONCERNEN

## K14 Tillgångar och skulder som innehas för försäljning samt avvecklad verksamhet

Tillgångar och skulder i bankens verksamhet i Finland utgör tillgångar och skulder som innehas för försäljning och är avyttringsgrupper i enlighet med IFRS 5 Anläggningstillgångar som innehas för försäljning och avvecklade verksamheter. Verksamheten i Danmark har avyttrats under det fjärde kvartalet 2022 och processen för avyttring av verksamheten i Finland fortgår enligt plan. Verksamheterna i Danmark och Finland utgör avvecklad verksamhet. För en beskrivning av redovisningsprinciperna, se not K1.

Avvecklad verksamhet i Danmark utgörs av nedanstående enheter:

- Handelsbanken AB (publ) filial i Danmark
- Ejendomsselskabet af 1. maj 2009 A/S
- Lokalbolig A/S
- Handelsbanken Kredit (Stadshypotek AB (publ) filial i Danmark)
- Handelsinvest Investeringsforvaltning A/S
- Handelsbanken Forskringsformidling A/S.

Avyttringsgrupp och avvecklad verksamhet i Finland utgörs av nedanstående enheter:

- Handelsbanken AB (publ) filial i Finland
- Handelsbanken Asuntoluottopankki (Stadshypotek AB (publ) filial i Finland)
- Handelsbanken Liv Försäkrings AB filial i Finland
- Handelsbanken Liv Försäkrings AB i Finland.

Tillgångar och skulder som innehas för försäljning 2022 mkr	Andra tillgångar som innehas för försäljning		Totalt
	Finland		
<b>Tillgångar</b>			
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	14		14
Övrig utlåning till centralbanker	28 015		28 015
Belåningsbara stats skuldförbindelser m m	0		0
Utlåning till övriga kreditinstitut	5		5
Utlåning till allmänheten	153 506	310	153 816
varav hushåll	43 222		43 222
varav företag	1 09 584	310	1 09 894
Obligationer och andra närtecknande värdepapper	0		0
Aktier och andelar <sup>1</sup>	3		3
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	9 145		9 145
Immateriella tillgångar	123		123
Fastigheter och inventarer	407		407
Övrigt	388		388
<b>Summa</b>	<b>101 608</b>	<b>310</b>	<b>101 918</b>
<b>Skulder</b>			
Skulder till kreditinstitut	679		679
In- och upplåning från allmänheten	57 361		57 361
varav hushåll	20 297		20 297
varav företag	37 064		37 064
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	9 145		9 145
Avsättningar	210		210
Övrigt	1 543		1 543
<b>Summa</b>	<b>68 938</b>	<b>0</b>	<b>68 938</b>

Tillgångar och skulder som innehas för försäljning 2021 mkr	Andra tillgångar som innehas för försäljning		Totalt
	Danmark	Finland	
<b>Tillgångar</b>			
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	28 282	120 098	148 380
Övrig utlåning till centralbanker	207	0	207
Belåningsbara stats skuldförbindelser m m	24	0	24
Utlåning till övriga kreditinstitut	36	57	93
Utlåning till allmänheten	111 390	139 314	250 704
varav hushåll	64 292	43 253	1 07 545
varav företag	47 098	96 061	143 450
Obligationer och andra närtecknande värdepapper	17	0	17
Aktier och andelar <sup>1</sup>	462	1	463
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	6 770	10 457	17 227
Immateriella tillgångar	2 628	113	2 741
Fastigheter och inventarer	241	336	639
Övrigt	313	317	630
<b>Summa</b>	<b>180 360</b>	<b>270 693</b>	<b>421 417</b>
<b>Skulder</b>			
Skulder till kreditinstitut	230	344	574
In- och upplåning från allmänheten	54 135	59 984	114 119
varav hushåll	23 652	13 690	43 361
varav företag	30 473	40 285	70 757
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	6 770	10 457	17 227
Avsättningar	57	78	135
Övrigt	514	1 353	1 867
<b>Summa</b>	<b>61 708</b>	<b>72 218</b>	<b>133 922</b>

<sup>1</sup> Ett belopp uppgående till ackumulerat - mkr (47) hänförligt till dessa tillgångar har redovisats i övrigt totalresultat och i verkligt värdesreserven i eget kapital.

## NOTER | KONCERNEN

## K14 Forts

## Intäkter, kostnader och resultat avvecklad verksamhet

	2022	2021
<b>Danmark och Finland</b>		
mkr		
Räntenetto	3 434	2 606
Provisionsnetto	1 107	1 190
Nettorisultat av finansiella transaktioner	-12	225
Risikosultat	3	8
Övriga intäkter	68	180
<b>Summa intäkter</b>	<b>4 600</b>	<b>4 209</b>
Personalkostnader	-1 681	-1 427
Övriga kostnader	-1 543	-1 184
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	-2	-304
<b>Summa kostnader</b>	<b>-3 228</b>	<b>-2 915</b>
Kreditförluster, netto	29	64
Vinstavförluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	2	-2
Risikostill och resolutionsavgift	-160	-151
<b>Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet före skatt</b>	<b>1 248</b>	<b>1 206</b>
Skatter	-617	-510
<b>Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt</b>	<b>629</b>	<b>695</b>
Övriga kostnader hänförliga till avvecklad verksamhet <sup>1</sup>	-27	-
Skatter	6	-
<b>Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt före realisationeresultat</b>	<b>608</b>	<b>695</b>
Realisationeresultat vid försäljning av avyttringsgrupper som utgör avvecklad verksamhet före skatt	238	-
Skatter <sup>2</sup>	-561	-
<b>Realisationeresultat vid försäljning av avyttringsgrupper som utgör avvecklad verksamhet efter skatt</b>	<b>-323</b>	-
<b>Summa årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt</b>	<b>285</b>	<b>695</b>
Väsentliga inlämna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka är eliminerade och inte ingår i ovanstående resultatposter <sup>3</sup> :		
Intäkter	-287	452
Kostnader	-202	-225
<b>Danmark</b>		
mkr		
Räntenetto	1 712	1 602
Provisionsnetto	701	757
Nettorisultat av finansiella transaktioner	-49	171
Risikosultat	1	1
Övriga intäkter	49	40
<b>Summa intäkter</b>	<b>2 413</b>	<b>2 571</b>
Personalkostnader	-1 035	-885
Övriga kostnader	-768	-554
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	0	-44
<b>Summa kostnader</b>	<b>-1 803</b>	<b>-1 483</b>
Kreditförluster, netto	38	23
Vinstavförluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	2	-2
Risikostill och resolutionsavgift	-58	-52
<b>Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet före skatt</b>	<b>603</b>	<b>1 047</b>
Skatter	-57	-193
<b>Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt</b>	<b>546</b>	<b>854</b>
Realisationeresultat vid försäljning av avyttringsgrupper som utgör avvecklad verksamhet före skatt	235	-
Skatter <sup>2</sup>	-561	-
<b>Realisationeresultat vid försäljning av avyttringsgrupper som utgör avvecklad verksamhet efter skatt</b>	<b>-326</b>	-
<b>Summa årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt</b>	<b>220</b>	<b>854</b>
Väsentliga inlämna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka är eliminerade och inte ingår i ovanstående resultatposter <sup>3</sup> :		
Intäkter	-176	-142
Kostnader	-89	-88

<sup>1</sup> Det tillkommer vissa kostnader i Sverige till följd av att den avvecklade verksamheten ska avyttras, vilka hänförs till avvecklad verksamhet. Exempelvis konsult- och juristkostnader.

<sup>2</sup> Skattelikostnaden påverkas negativt av en ej avdragsgill upplösning av goodwill, vilken redovisas i realisationsresultatet.

<sup>3</sup> Endast externa intäkter och kostnader ingår i resultatet från såväl kvarvarande som avvecklad verksamhet. Den avvecklade verksamheten har väsentliga inlämna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka således är eliminerade i redovisningen. Exempelvis är all finansiering och likviditetshandling centraliserad till den centrala enheten Group Treasury i Sverige. Utövning till allmänheten i Danmark och Finland är således finansierad genom intern upplåning från Group Treasury. Räntekostnader hänförliga till intern upplåning är eliminerade i redovisningen och ingår därmed inte i räntanettot ovan.

## NOTER | KONCERNEN

## IK14 Forts

Finland mkr	2022	2021
Ränteanetto	1 722	1 004
Provisionanetto	406	433
Nettorisultat av finansiella transaktioner	37	54
Risikoresultat	2	7
Övriga intäkter	19	140
<b>Summa intäkter</b>	<b>2 186</b>	<b>1 638</b>
Personalkostnader	-647	-542
Övriga kostnader	-775	-630
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	-2	-260
<b>Summa kostnader</b>	<b>-1 423</b>	<b>-1 432</b>
Kreditförluster, netto	-10	41
Vinstskatteinbetalningar vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	0	0
Riskskatt och resolutionavgift	-102	-89
<b>Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet före skatt</b>	<b>662</b>	<b>188</b>
Skatter	-560	-317
<b>Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt</b>	<b>91</b>	<b>-159</b>
Väsentliga interna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka är eliminerade och inte ingår i ovanstående resultatposter:		
Intäkter	-111	594
Kostnader	-113	-137

<sup>1</sup> Endast externa intäkter och kostnader ingår i resultatet från såväl kvarvarande som avvecklad verksamhet. Den avvecklade verksamheten har väsentliga interna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka således är eliminerade i redovisningen. Exempelvis är all finansiering och likviditetshantering centraliserad till den centrala enheten Group Treasury i Sverige. Utlåning till allmänheten i Danmark och Finland är således finansierad genom intern upplåning från Group Treasury. Räntekostnader hänförliga till intern upplåning är eliminerade i redovisningen och ingår därmed inte i räntanetto ovan.

## Provisionintäkter per produkt avvecklad verksamhet

mkr	2022		2021	
	Danmark	Finland	Danmark	Finland
Courtago och övriga värdepappersprovisioner	41	8	60	27
Fonder	147	8	173	7
Depå och övrig kapitalförvaltning	148	44	179	48
Rådgivning	22	-	19	4
Försäkringar	22	84	24	87
Betalningar	205	203	171	297
Ut- och inlåning	55	79	61	90
Garantier	65	30	72	20
Övrigt	64	13	83	15
<b>Summa provisionsintäkter</b>	<b>788</b>	<b>488</b>	<b>842</b>	<b>506</b>

## Personalkostnader avvecklad verksamhet

Danmark och Finland mkr	2022	2021
Löner och avdrag <sup>a</sup>	-1 273	-1 082
Socialavgifter	-132	-108
Pensionskostnader	-135	-146
Avsättning till resultatunderskott	-16	-19
Andra personalkostnader	-125	-72
<b>Summa</b>	<b>-1 681</b>	<b>-1 427</b>

<sup>a</sup> Varav 6,0 mkr (7,0) till ledande befattningshavare (verkställande direktör och styrelse i dotterbolag).

Medelantal anställda	2022			2021		
	Totalt	Män	Kvinnor	Totalt	Män	Kvinnor
Danmark	546	277	269	632	325	307
Finland	530	242	288	589	256	313
<b>Summa</b>	<b>1 076</b>	<b>519</b>	<b>557</b>	<b>1 201</b>	<b>581</b>	<b>620</b>

## Kassaflödesanalys avvecklad verksamhet

Danmark och Finland mkr	2022	2021
Kassaflöde från löpande verksamhet	-123 159	28 015
Kassaflöde från investeringsverksamhet	-11	-189
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	0	-45
<b>Årets kassaflöde från avvecklad verksamhet</b>	<b>-123 171</b>	<b>27 781</b>

Verksamheten i Danmark har avyttrats under det fjärde kvartalet. Kassaflödesanalysen för avvecklad verksamhet 2022 omfattar därmed endast verksamheten i Finland. Kassaflöden från avyttring av verksamheten i Danmark ingår i kassaflöde från investeringsverksamhet i rapporten Kassaflödesanalys Koncernen, se sidan 97.

NOTER | KONCERNEN

## K15 Övrig utlåning till centralbanker

mkd	2022	2021
Övrig utlåning till centralbanker i svenska kronor	-	-
Övrig utlåning till centralbanker i utländsk valuta	4 604	1 255
<b>Summa</b>	<b>4 604</b>	<b>1 255</b>
Reservering för förväntade kreditförluster	-	-
<b>Summa övrig utlåning till centralbanker</b>	<b>4 604</b>	<b>1 255</b>
varav upplupna ränta intäkter	-	-
varav omväände repor	-	-
<b>Medelvolymer</b>		
mkd	2022	2021
Övrig utlåning till centralbanker i svenska kronor	-	5 894
Övrig utlåning till centralbanker i utländsk valuta	5 579	5 872
<b>Summa</b>	<b>5 579</b>	<b>11 766</b>
varav omväände repor	-	-

## K16 Utlåning till övriga kreditinstitut

mkd	2022	2021
<b>Utlåning i svenska kronor</b>		
Banker	379	903
Övriga kreditinstitut	103	171
<b>Summa</b>	<b>482</b>	<b>1 074</b>
<b>Utlåning i utländsk valuta</b>		
Banker	6 002	14 292
Övriga kreditinstitut	2 929	6 384
<b>Summa</b>	<b>8 931</b>	<b>20 676</b>
Reservering för förväntade kreditförluster	-2	-5
<b>Summa utlåning till övriga kreditinstitut</b>	<b>9 411</b>	<b>21 746</b>
varav upplupna ränta intäkter	34	12
varav omväände repor	-	12 127
<b>Medelvolymer</b>		
mkd	2022	2021
Utlåning till övriga kreditinstitut i svenska kronor	2 317	2 998
Utlåning till övriga kreditinstitut i utländsk valuta	36 637	46 539
<b>Summa</b>	<b>38 954</b>	<b>49 537</b>
varav omväände repor	14 433	16 067

NOTER | KONCERNEN

## K17 Utlåning till allmänheten

nr	2022	2021
<b>Utlåning i svenska kronor</b>		
Hushåll	984 397	959 910
Företag	601 605	535 531
Riksgälden	1 566	2 173
<b>Summa</b>	<b>1 587 568</b>	<b>1 497 614</b>
<b>Utlåning i utländsk valuta</b>		
Hushåll	257 706	244 391
Företag	472 559	423 569
<b>Summa</b>	<b>730 265</b>	<b>667 960</b>
Reservering för förväntade kreditförluster	-2 015	-2 439
<b>Summa utlåning till allmänheten</b>	<b>2 315 818</b>	<b>2 163 136</b>
varav upplupna räntebärande	5 177	2 429
varav omvändrapor	12 917	19 849
varav efterställda	-	-
<b>Medelvolymer, exkl Riksgälden</b>		
nr	2022	2021
Utlåning till allmänheten i svenska kronor	1 555 159	1 470 257
Utlåning till allmänheten i utländsk valuta	708 177	812 840
<b>Summa</b>	<b>2 263 336</b>	<b>2 283 097</b>
varav omvändrapor	21 300	19 690

## K18 Räntebärande värdepapper

nr	2022			2021		
	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde
Bekräftade statskuldförbindelser m m	132 778	132 778	133 726	100 538	100 538	103 881
varav upplupna räntebärande	211	-	-	160	-	-
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	32 607	32 607	30 898	33 317	33 317	29 611
varav upplupna räntebärande	149	-	-	124	-	-
<b>Summa</b>	<b>165 475</b>	<b>165 475</b>	<b>164 624</b>	<b>133 855</b>	<b>133 855</b>	<b>133 492</b>
varav efterställda	-	-	-	-	-	-
<b>Räntebärande värdepapper fördelade på emittent</b>						
nr	2022	2021				
Stat	132 778	132 778	133 726	100 538	100 538	103 881
Kredfinstift	8 864	8 864	7 655	6 590	6 590	6 118
Bo-stadsinstit	17 464	17 464	18 041	20 516	20 516	19 147
Övrigt	6 369	6 369	5 202	6 211	6 211	4 346
<b>Summa</b>	<b>165 475</b>	<b>165 474</b>	<b>164 624</b>	<b>133 855</b>	<b>133 855</b>	<b>133 491</b>
<b>Räntebärande värdepapper som är föremål för nedskrivningsprövning</b>						
nr	2022	2021				
Bekräftade statskuldförbindelser m m						
Verkligt värde via övrigt totalresultat		200	397			
Upplupet anskaffningsvärde		-	-			
<b>Summa bruttovolymer</b>		<b>200</b>	<b>397</b>			
Reservering för förväntade kreditförluster avseende instrumentvärderade till upplupet anskaffningsvärde		-	-			
<b>Summa redovisat värde</b>		<b>200</b>	<b>397</b>			
Reservering för förväntade kreditförluster redovisad i verkligt värdesäsong i eget kapital		-	-			
Obligationer och andra räntebärande värdepapper						
Verkligt värde via övrigt totalresultat		9 882	9 016			
<b>Summa redovisat värde</b>		<b>9 882</b>	<b>9 016</b>			
Reservering för förväntade kreditförluster redovisad i verkligt värdesäsong i eget kapital		-2	-2			

## NOTER | KONCERNEN

## K18 Forts

Modelvolymer mkr	2022	2021
Räntebärande värdepapper	182 934	155 427
<b>Summa</b>	<b>182 934</b>	<b>166 427</b>

## K19 Aktier och andelar

mkr	2022	2021
Verkligt värde via resultatböringen, obligatoriskt	12 269	19 017
Verkligt värde via övrigt totalresultat	544	454
<b>Summa aktier och andelar</b>	<b>12 813</b>	<b>19 471</b>

Innehav klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat mkr	2022	2021
Visa Inc	27,4	170
WPP SA/S	57	62
Övriga innehav	213	222
<b>Summa</b>	<b>544</b>	<b>464</b>

Handelsbanken klassificerar ovanstående aktieinnehav till verkligt värde via övrigt totalresultat då dessa inte innehåller handelsytta. Under året erhölet Handelsbanken endast utdelningar för aktier som fortfarande ägs vid rapporteringsperiodens slut. Utdelningarna uppgår till 17 mkr (2) och redovisas i resultatböringen som Övriga utdelningsintäkter. Under året har Banken avyttrat innehav i ett antal bostadsrättsföreningar om totalt 32 mkr (1). Skälet till avyttringarna var i huvudsak kontoraneläggningar.

För information om omsatt och realiserat resultat för eget kapital instrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat se Förändring av eget kapital Koncernen.

## K20 Andelar i intresseföretag och joint ventures

Handelsbanken har inga enskilda väsentliga innehav i intresseföretag eller joint ventures. Det finns vissa företag som anses strategiska för bankverksamheten i koncernen då de utför stödjande verksamheter, såsom exempelvis betalningstjänster. Samtliga innehav är onoterade.

Andelar i intresseföretag och joint ventures mkr	2022	2021
Redovisat värde vid årets början	478	386
Andel av årets resultat	-13	63
Skatt	-13	-22
Aktiegarförlust	123	51
Utdelning	-14	-
<b>Redovisat värde vid årets slut</b>	<b>561</b>	<b>478</b>

Resultat från intresseföretag och joint ventures mkr	2022	2021
Årets resultat	-13	63
Övrigt totalresultat	-	-
<b>Årets totalresultat</b>	<b>-13</b>	<b>63</b>

Intresseföretag	Organisationsnummer	Ställe	Antal aktier	Rälestandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2022	2021
Bankomat AB	556817-9716	Stockholm	150	20,00	95	88
BGC Holding AB	556807-0993	Stockholm	25 542	25,54	327	278
Dyson Group plc	00163096	Sheffield	74 333 672	24,01	17	31
Finansial ID-teknik BID AB	556890-4928	Stockholm	12 735	28,30	21	30
Getawish AB	556913-7382	Stockholm	10 000	20,00	21	19
USE Intresselar AB	552161-9464	Stockholm	2 448	24,48	0	0
<b>Summa</b>					<b>481</b>	<b>448</b>

Joint venture	Organisationsnummer	Ställe	Antal aktier	Rälestandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2022	2021
P27 Nordic Payments Platform AB	552198-0610	Stockholm	10 000	16,67	55	25
Invidem AB	559210-0779	Stockholm	10 000	16,67	23	7
Tibem AB	559384-3542	Stockholm	4 000	14,29	3	
<b>Summa</b>					<b>80</b>	<b>32</b>

NOTER | KONCERNEN

## K21 Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken

mir	2022	2021
Fond- och depåförståringsstillgångar	212 363	235 209
Övriga fondtillgångar	603	552
Summa	212 966	235 761

## K22 Derivatinstrument

mir	Nominellt belopp/riktid			Nominellt belopp		Positiva marknadsvärden		Negativa marknadsvärden	
	upp till 1 år	mer än 1 år upp till 5 år	mer än 5 år	2022	2021	2022	2021	2022	2021
<b>Derivat för handel</b>									
Ränterelatörade kontrakt									
Optioner	10 433	13 810	556	24 799	22 350	403	50	351	51
FFA/Terminaler	635 033	46 088	334	681 455	542 060	928	76	1 181	64
Swappar	609 284	1 330 700	270 724	2 210 708	2 081 987	62 139	15 902	61 594	16 307
Valutarelatörade kontrakt									
Optioner	35 069	50	17	35 136	20 672	292	69	249	131
Terminaler	84 486	9 455	92	94 033	82 874	1 418	907	1 112	661
Swappar	637 106	59 896	4 628	701 630	632 062	9 146	10 576	12 780	5 131
Aktierelatörade kontrakt									
Optioner	1 637	386	30	2 053	3 770	182	375	95	189
Terminaler	184	-	-	184	580	6	9	5	11
Swappar	5 968	574	1 720	8 262	14 683	185	341	663	723
Rävarulatörade kontrakt									
Optioner	-	-	25	25	355	2	41	27	55
Terminaler	330	28	-	367	935	32	111	52	237
Krediterelatörade kontrakt									
Swappar	499	3 409	-	3 908	4 853	68	294	90	169
Summa	2 020 038	1 464 396	278 126	3 762 060	3 407 181	74 801	28 751	78 199	23 729
<b>Derivat för marknadsvärdesåteringar</b>									
Ränterelatörade kontrakt									
Optioner	-	41	323	364	1 051	7	1	-	-
Swappar	87 656	362 513	125 865	576 034	458 459	16 888	3 406	27 349	2 428
Valutarelatörade kontrakt									
Swappar	633	-	1 033	1 636	1 462	77	156	-	-
Summa	88 289	362 554	127 191	578 034	460 982	16 972	3 563	27 349	2 428
<b>Derivat för kassaflödesåteringar</b>									
Ränterelatörade kontrakt									
Swappar	111 004	112 197	24 956	248 157	318 242	4 499	5 625	4 865	1 023
Valutarelatörade kontrakt									
Swappar	130 549	121 263	63 030	314 842	269 827	21 101	10 604	1 185	3 660
Summa	241 553	233 460	87 986	562 999	588 069	25 600	16 229	6 050	4 683
Summa derivatinstrument	2 349 880	2 080 410	493 303	4 903 093	4 458 232	117 373	48 643	111 898	30 840
Värdavbörshandlade derivat									
				201 815	182 857	260	130	274	804
Värdav OTC-derivat clearade via CCP									
				3 371 524	2 982 431	82 375	18 731	83 957	15 867
Värdav OTC-derivat ej clearade via CCP									
				1 386 536	1 290 044	34 738	29 682	27 367	14 169
Kvittade belopp totalt									
				-2 826 362	-2 691 986	-81 112	-20 035	-82 558	-17 056
Nettobelopp									
				2 077 231	1 766 246	36 261	28 608	29 040	13 784
<b>Valutfördelning av marknadsvärden</b>									
SEK						-231 111	-242 957	74 796	517
USD						187 752	299 987	-244 777	-19 297
EUR						282 564	115 908	211 143	-94 250
Övriga						-121 832	-124 395	70 436	143 870
Summa						117 373	48 643	111 898	30 840

I notan presenteras derivatkontrakt brutto. Kvittade belopp består av det kvittade marknadsvärdet och tillhörande nominella belopp på kontrakt för vilka det finns en legal rätt och av skat-  
regler avtalade kassaflöden netto (jämför bland clearade kontrakt). Dessa kontrakt nettoavläses i balansräkningen per motpart och valuta.

Positiva skillnader mellan det värde som räknats fram med en värdeförändringsmodell vid det första redovisningsstillfället och transaktionspriset (dag 1-resultat) paroberas över derivatets löptid. Vid års-  
stiftet uppgick sådana ännu ej resultatförda dag 1-resultat till 447 mir (489).

## K23 Säkringsredovisning och Benchmarkreformen

Koncernens övergripande mål för riskhantering och säkringsredovisning är att säkra risken för variationer i framtida kassaflöden respektive verkliga värden hänförliga till ut- och upplåning med avseende på förändringar i räntor och valutakurser. För att uppnå detta använder koncernen derivat. Säkringsredovisning tillämpas för att koncernens riskhanteringsstrategi ska avspeglas i de finansiella rapporterna. För information om koncernens hantering av marknadsrisk, se not K2. Nedan beskrivs koncernens säkringsstrategier samt de olika typer av säkringsredovisning som tillämpas uppdelat per riskkategori. För en beskrivning av redovisningsprinciperna för säkringsredovisning, se not K1.

### KASSAFLÖDESSÄKRING

**Ränterisk i ut- och upplåning till rörlig ränta**  
Syftet med denna säkringsstrategi är att minska osäkerheten i framtida in- och utbetalningar av räntor till följd av förändringar i rörliga räntor, och istället erhålla respektive betala en fast ränta som är känd vid ingången av säkringen. Den säkrade posten utgörs av mycket sannolika framtida in- och utbetalningar avseende ränterörlig utlåning till allmänheten respektive emitterade värdepapper med rörlig ränta. Den säkrade risken definieras som en rörlig referensränta i respektive valuta, vilken utgör en observerbar komponent i räntan. Säkringsinstrumenten utgörs av ränteswappar, i vilka fast ränta erhålls och rörlig ränta betalas respektive fast ränta betalas och rörlig ränta erhålls.

### Valutakursrisk i upplåning

Säkringsstrategin syftar till att minska osäkerheten i framtida räntebetalningar till följd av förändringar i valutakurser och istället betala en ränta i den funktionella valutan, som är känd vid tidpunkten för ingången av säkringen. Den säkrade posten utgörs av mycket sannolika framtida räntebetalningar och återbetalningar av nominella belopp hänförliga till emitterade värdepapper i en annan valuta än den funktionella valutan. Den säkrade risken utgörs av risken för förändringar i dessa framtida betalningar till följd av förändringar i valutakurser mellan upplåningsvalutan och den funktionella valutan. Säkringsinstrumenten utgörs av valutarelaterade derivat.

### Valutakursrisk i intermlån till eller från utlandsverksamhet

Intentionen med denna säkringsstrategi är att minska risken för volatilitet hänförlig till valutakursrörelser avseende ett intermlån, till eller från en utlandsverksamhet. Den säkrade posten utgörs av det nominella beloppet avseende ett intermlån mellan koncernens finansavdelning och en utländsk verksamhet, utgivet i den funktionella valutan för den utländska verksamheten. Den säkrade risken utgörs av risken för förändringar i kassaflöden hänförliga till räntebetalningar samt återbetalningar av nominellt belopp, till följd av skillnader i valutakurser mellan intermlånets valuta och moderbolagets funktionella valuta, svenska kronor. Säkringsinstrumenten utgörs av valutarelaterade derivat.

### Effektivitetsmätning

Effektiviteten testas vid ingången av säkringsrelationen samt löpande kvartalsvis. Säkringsrelationens effektivitet testas såväl prospektivt som retrospektivt. Prospektivt genom att skifta ränte- och diskonteringskurvor. Retrospektivt, i de fall villkoren avseende den säkrade risken och säkringsinstrumentet inte överensstämmer fullständigt, genom regressionsanalys. Med fullständigt menas att kassaflöden och diskonteringsfaktorer i var tid är identiska. Vid mätning av effektivitet representeras den säkrade risken av ett så kallat hypotetiskt derivat (PEH), vilket ska matcha de kritiska villkoren i den säkrade posten. Det verkliga värdet avseende det hypotetiska derivatet (PEH) är noll vid ingången av säkringsrelationen. Vid effektivitetsmätning jämförs förändringen i verkligt värde avseende det hypotetiska derivatet (PEH) med derivatets förändring i verkligt värde.

### Kriterier vid effektivitetsmätning

För att kvalificera för säkringsredovisning ska kvoten mellan förändringen i verkligt värde avseende den säkrade risken i den säkrade posten, vilken representeras av det hypotetiska derivatet (PEH), och derivatet vara inom intervallet 80-125%. I de fall detta kontrolleras genom regressionsanalys ska följande kriterier vara uppfyllda för att bestämma ett effektivt säkringsförhållande:

- Linjens lutning ska vara inom intervallet 0,8 < b < 1,25 och
- R<sup>2</sup> ska vara > 0,96.

Säkringsinstrument i kassaflödesräkning mkr	2022			2021		
	Upp till 1 år	1-5 år	Över 5 år	Upp till 1 år	1-5 år	Över 5 år
<b>Ränterisk</b>						
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta						
Nominellt belopp	32 599	27 759	11 499	21 876	55 029	13 677
Genomsnittlig fast ränta %	0,49	0,47	0,76	0,57	0,47	0,76
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp	78 405	84 438	13 458	80 670	133 749	13 232
Genomsnittlig fast ränta %	1,53	1,52	2,12	2,06	1,28	2,10
<b>Valutakursrisk</b>						
Valutarelaterade derivat EUR/SEK						
Nominellt belopp	12 891	40 323	12 052	14 725	51 011	1 028
Genomsnittlig valutakurs EUR/SEK	0,1054	0,0964	0,0928	0,1066	0,0986	0,0970
Valutarelaterade derivat EUR/NOK						
Nominellt belopp	21 271	33 098	45 105	10 899	30 223	35 027
Genomsnittlig valutakurs EUR/NOK	0,1045	0,1021	0,0975	0,1187	0,1038	0,0964
Valutarelaterade derivat GBP/SEK						
Nominellt belopp	7 669	-	-	-	7 553	-
Genomsnittlig valutakurs GBP/SEK	0,0907	-	-	-	0,0907	-
Valutarelaterade derivat USD/GBP						
Nominellt belopp	7 560	-	1 000	-	6 942	918
Genomsnittlig valutakurs USD/GBP	1,2930	-	1,3157	-	1,2930	1,3157
Valutarelaterade derivat USD/NOK						
Nominellt belopp	14 163	26 897	-	14 409	22 140	-
Genomsnittlig valutakurs USD/NOK	0,1088	0,1114	-	0,1178	0,1137	-
Valutarelaterade derivat USD/SEK						
Nominellt belopp	60 393	8 421	4 872	35 654	2 264	9 057
Genomsnittlig valutakurs USD/SEK	0,1000	0,1068	0,1105	0,1169	0,1105	0,1105
Valutarelaterade derivat AUD/USD						
Nominellt belopp	6 602	-	-	-	5 923	-
Genomsnittlig valutakurs AUD/USD	1,3770	-	-	-	1,3770	-
Valutarelaterade derivat övriga valutarpar						
Nominellt belopp	-	12 524	-	9 003	11 000	2 051
<b>Summa</b>	<b>241 593</b>	<b>293 480</b>	<b>87 988</b>	<b>187 245</b>	<b>326 834</b>	<b>74 090</b>

## NOTER | KONCERNEN

## K23 Forts

## Ineffektivitet

Ineffektiviteten beräknas genom att jämföra förändringen i verkligt värde avseende den säkrade risken i den säkrade posten, vilken representeras av det hypotetiska derivatet (PEH), med derivatets förändring i verkligt värde.

Ineffektivitet föreligger om derivatets förändring i verkligt värde överstiger värdet förändringen för det hypotetiska derivatet (PEH) i absoluta belopp.

De huvudsakliga förklaringarna till ineffektivitet i dessa säkringsrelationer är skillnader i

marknadsräntor och valutakurser mellan tidpunkten för ingången av säkringsrelationen och affärstidpunkten för derivatet. Ineffektiviteten förklaras också av förändringar i verkligt värde hänförligt till vissa räntekomponenter i derivatet som inte ingår i den säkrade risken.

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i kassaafödelseörkning 2022	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Värdeförändring avseende säkringsinstrumenten som redovisas i övrigt totalresultat	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen	Omklassificerat från säkringsreserven till resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder				
<b>Ränterisk</b>							
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	7 1857	4 428	11	4 921	4 975	-54	-
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	176 300	71	4 854	-8 646	-8 643	-3	154
<b>Valutakursrisk<sup>1</sup></b>							
Valutaralorade derivat EUR/SEK	65 266	5 161	-	307	307	-	-
Valutaralorade derivat EUR/DKK	-	-	-	-3	-3	-	-
Valutaralorade derivat EUR/GBP	-	-	-	20	20	-	-
Valutaralorade derivat EUR/NOK	99 475	5 744	246	347	347	0	-
Valutaralorade derivat GBP/SEK	7 669	1 027	-	18	18	-	-
Valutaralorade derivat USD/DKK	-	-	-	70	70	0	-
Valutaralorade derivat USD/GBP	8 560	633	-	19	19	-	-
Valutaralorade derivat USD/NOK	41 060	3 432	-	16	12	4	-
Valutaralorade derivat USD/SEK	73 696	4 728	281	366	364	2	-
Valutaralorade derivat AUD/USD	6 602	-	442	-56	-56	-	2
Valutaralorade derivat övriga valutor	12 524	376	216	90	90	0	4
<b>Summa</b>	<b>662 000</b>	<b>25 800</b>	<b>6 090</b>	<b>-2 631</b>	<b>-2 480</b>	<b>-51</b>	<b>180</b>

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i kassaafödelseörkning 2021	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Värdeförändring avseende säkringsinstrumenten som redovisas i övrigt totalresultat	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen	Omklassificerat från säkringsreserven till resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder				
<b>Ränterisk</b>							
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	90 582	248	1 019	1 946	1 952	-6	-
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	227 660	5 377	4	-4 272	-4 272	-	175
<b>Valutakursrisk<sup>1</sup></b>							
Valutaralorade derivat EUR/SEK	66 764	2 333	997	190	190	-	-
Valutaralorade derivat EUR/DKK	2 051	3	-	8	8	-	-
Valutaralorade derivat EUR/GBP	6 514	606	-	34	32	2	-
Valutaralorade derivat EUR/NOK	76 150	2 750	1 429	-14	-11	-3	-
Valutaralorade derivat GBP/SEK	7 553	758	-	-8	-8	-	-
Valutaralorade derivat USD/DKK	6 918	330	87	60	60	-	-
Valutaralorade derivat USD/GBP	7 859	-	339	8	8	-	-
Valutaralorade derivat USD/NOK	36 549	1 303	721	47	47	-	-
Valutaralorade derivat USD/SEK	46 976	2 041	-	295	295	-	-
Valutaralorade derivat AUD/USD	5 923	50	-	-77	-77	-	3
Valutaralorade derivat övriga valutor	6 570	430	87	-15	-15	-	1
<b>Summa</b>	<b>688 060</b>	<b>16 229</b>	<b>4 683</b>	<b>-1 798</b>	<b>-1 791</b>	<b>-7</b>	<b>170</b>

<sup>1</sup> Vid analys utfördes ett säkringsredovisningsavfall baserat omvandlingen till moderbolagets funktionella valuta, svenska kronor, genom att nominella derivat värden imputeras i säkringsrelationerna. De imputerade derivat värdena är inte inkluderade i de nominella volymerna i tabellerna ovan.

Redovisat värde avseende säkringsinstrument ingår i posten Derivatinstrument i balansräkningen.

Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Omklassificerat till resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner och avser kassaafödelseörkning som är avslutad i förflutet.

Säkrade poster i kassaafödelseörkning	2022			2021		
	Förändring i värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Säkringsreserv	Belopp som kvarstår i säkringsreserven från säkringsförhållanden där säkringsredovisning inte längre tillämpas	Förändring i värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Säkringsreserv	Belopp som kvarstår i säkringsreserven från säkringsförhållanden där säkringsredovisning inte längre tillämpas
<b>Ränterisk</b>						
Emitterade värdepapper till rörlig ränta	-4 975	4 370	-	-1 952	-600	-
Utlåning till allmänheten till rörlig ränta	8 643	-5 323	1 000	4 272	3 468	1 153
<b>Valutakursrisk</b>						
Emitterade värdepapper EUR samt internlån DKK, GBP och NOK	-671	-31	-	-218	-553	-
Emitterade värdepapper USD samt internlån DKK, EUR, GBP och NOK	-464	455	89	-410	-16	88
Emitterade värdepapper samt internlån övriga valutor	-53	142	9	99	-46	10
<b>Summa</b>	<b>2 480</b>	<b>-387</b>	<b>1 092</b>	<b>1 791</b>	<b>2 283</b>	<b>1 251</b>

## K23 Forts

**SÄKRING AV VERKLIGT VÄRDE**

**Ränterisk i ut- och upplåning till fast ränta**  
Syftet med denna säkringsstrategi är att minska risken för förändringar i verkligt värde avseende ut- och upplåning till fast ränta, till följd av förändringar i marknadsräntor. Den säkrade risken definieras som referensräntan i respektive valuta, vilken utgör en observerbar komponent i räntan. De säkrade posterna utgörs av utlåning till allmänheten till fast ränta och emitterade värdepapper till fast ränta. Säkringsinstrumenten utgörs av ränteswappar, i vilka fast ränta betalas och rörlig ränta erhålls respektive ränteswappar i vilka fast ränta erhålls och rörlig ränta betalas.

**Effektivitetsmätning**

Säkringarnas effektivitet mäts genom att jämföra förändringen i verkligt värde avseende den säkrade risken i ut- och upplåning med ränteswapparnas värdeförändring. Effektivitetsmätningen utförs såväl prospektivt som retrospektivt. Prospektivt genom att skifta ränta- och diskonteringskurvor och retrospektivt tillämpas regressionsanalys. Effektiviteten testas vid ingången av säkringsrelationen samt löpande kvartalsvis. De kriterier som ska vara uppfyllda för att kvalificera för säkringsredovisning är desamma som beskrivs ovan i avsnittet om kassaflödessäkring.

**Ineffektivitet**

Ineffektivitet beräknas genom att jämföra förändringen i verkligt värde för ränteswappen med verkligt värde för den säkrade risken i ut- respektive upplåning från ingången av säkringen till periodens utgång.

Den huvudsakliga förklaringen till ineffektivitet i dessa säkringsrelationer är förändringar i verkligt värde med avseende på den rörliga räntan i ränteswappen, vilken ej motsvaras av en värdeförändring avseende den säkrade risken i ut- eller upplåningen.

**PORTFÖLJSÄKRING AV VERKLIGT VÄRDE MED AVSEENDE PÅ RÄNTERISK**

**Ränterisk i utlåningsportföljer till fast ränta**  
Säkringsstrategin syftar till att minska risken för förändringar i verkligt värde avseende utlåningsportföljer till fast ränta, till följd av förändringar i marknadsräntor. Den säkrade risken definieras som förändringar i verkligt värde avseende en del av en utlåningsportfölj till fast ränta, med avseende på förändringar i en referensränta i respektive valuta. Den säkrade posten utgörs av ett belopp i valuta som är bestämt utifrån en utlåningsportfölj till fast ränta. Utlåningsportföljen delas in i ränteomsättningsperioder. Det säkrade beloppet fastställs baserat på den ränterisk som banken önskar säkra i de utvalda ränteomsättningsperioderna. Säkringsinstrumenten utgörs

av ränteswappar, i vilka rörlig ränta erhålls och fast ränta betalas. Ett eller flera säkringsinstrument definieras i respektive ränteomsättningsperiod.

För en beskrivning av effektivitetsmätning och ineffektivitet hänvisas till avsnittet om Säkring av verkligt värde ovan.

**Ränterisk i utlåningsportfölj till rörlig ränta med räntetak**

Syftet med denna säkringsstrategi är att minska risken för förändringar i verkligt värde avseende utlåningsportföljer med tre månaders räntebindning, där låntagaren har ett räntetak. Den säkrade risken definieras som referensräntan i det avtalade räntetaket. Säkringsinstrumenten utgörs av ränteoptioner (cappar).

Den nominella utlåningsvolymen som säkras för en viss period fastställs kvartalsvis. Vid beräkning av effektivitet jämförs förändringen i verkligt värde under perioden avseende räntetak med ränteoptionernas (capparnas) förändring i verkligt värde. Kvoten ska vara inom intervallet 80–125% för att säkringen ska kvalificera för säkringsredovisning.

De huvudsakliga förklaringarna till ineffektivitet i dessa säkringsrelationer är avvikelser i köptid och ränta mellan räntetak i utlåning och cappar, eftersom volymen för respektive cap fastställs för en portfölj av utlåning med räntetak och inte för respektive lån.

Säkringsinstrument i säkring av verkligt värde	2022			2021		
	Upp till 1 år	1–5 år	Över 5 år	Upp till 1 år	1–5 år	Över 5 år
<b>Ränterisk</b>						
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta						
Nominellt belopp	-	-	-	-	-	-
Genomantlig fast ränta %	-	-	-	-	-	-
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp	23 501	225 252	93 086	904	111 407	74 265
Genomantlig fast ränta %	1,34	1,82	1,37	0,22	0,76	0,94
Valutaränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp	633	-	1 003	-	566	896
Genomantlig fast ränta %	3,26	-	3,69	-	3,26	3,69
<b>Säkringsinstrument samt ineffektivitet i säkring av verkligt värde 2022</b>						
	<b>Nominellt belopp säkringsinstrument</b>	<b>Redovisat värde säkringsinstrument</b>		<b>Förändring i verkligt värde som använts för att beräkna ineffektivitet</b>	<b>Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen</b>	
		<b>Tillgångar</b>	<b>Skulder</b>			
<b>Ränterisk</b>						
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	-	-	-	-	-	-
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	341 830	79	27 337	-26 463	-80	
Valutaränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	1 636	77	-	-171	-4	
<b>Summa</b>	<b>343 476</b>	<b>186</b>	<b>27 337</b>	<b>-26 634</b>	<b>-84</b>	
<b>Portföljsäkring av verkligt värde</b>						
<b>Ränterisk</b>						
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	234 195	16 809	12	14 762	55	
Ränteooptioner (cap)	964	7	-	9	-	
<b>Summa</b>	<b>234 969</b>	<b>16 816</b>	<b>12</b>	<b>14 771</b>	<b>56</b>	

## NOTER | KONCERNEN

## K23 Forts

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i säkring av verkligt värde 2021					
mkr	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i värde som avväntas för att beräkna ineffektivitet	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder		
<b>Ränterisk</b>					
Färliswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta					
	-	-	-	-	-
Färliswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta					
	186 576	1 405	2 271	-3 891	-38
Valutaräntiswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta					
	1 462	156	-	-54	5
<b>Summa</b>	<b>188 038</b>	<b>1 562</b>	<b>2 271</b>	<b>-3 945</b>	<b>-33</b>
<b>Portföljsäkring av verkligt värde</b>					
<b>Ränterisk</b>					
Färliswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta					
	271 888	2 000	157	2 285	40
Färlisoptioner (cap)					
	1 061	1	-	8	-
<b>Summa</b>	<b>272 949</b>	<b>2 001</b>	<b>157</b>	<b>2 293</b>	<b>40</b>

Redovisat värde av seende säkringsinstrument ingår i posten Derivatinstrument i balansräkningen. Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Säkrade poster i säkring av verkligt värde 2022						
mkr	Redovisat värde säkrad post		Ackumulerad justering till verkligt värde som ingår i det redovisade värdet för den säkrade posten		Förändring i värde som avväntas för att beräkna ineffektivitet	Det upptagna beloppet för justeringar av säkring av verkligt värde som kvarstår i balansräkningen för säkrade poster som inte längre justeras för förändringar i verkligt värde
	Tillgångar	Skulder	Tillgångar	Skulder		
<b>Ränterisk</b>						
Utlåning till alsmånshabn till fast ränta						
	-	-	-	-	-	-
Emitterade värdepapper och efterställda skulder till fast ränta						
	-	314 575	-	-29 127	26 550	-
<b>Summa</b>	<b>-</b>	<b>314 575</b>	<b>-</b>	<b>-29 127</b>	<b>26 550</b>	<b>-</b>
<b>Portföljsäkring av verkligt värde<sup>1</sup></b>						
<b>Ränterisk</b>						
Utlåning till alsmånshabn till fast ränta						
	-16 610	-	-16 610	-	-14 707	-
Färlisakti utlåning till rörlig ränta						
	-6	-	-6	-	-9	-
<b>Summa</b>	<b>-16 616</b>	<b>-</b>	<b>-16 616</b>	<b>-</b>	<b>-14 716</b>	<b>-</b>

Säkrade poster i säkring av verkligt värde 2021						
mkr	Redovisat värde säkrad post		Ackumulerad justering till verkligt värde som ingår i det redovisade värdet för den säkrade posten		Förändring i värde som avväntas för att beräkna ineffektivitet	Det upptagna beloppet för justeringar av säkring av verkligt värde som kvarstår i balansräkningen för säkrade poster som inte längre justeras för förändringar i verkligt värde
	Tillgångar	Skulder	Tillgångar	Skulder		
<b>Ränterisk</b>						
Utlåning till alsmånshabn till fast ränta						
	-	-	-	-	-	-
Emitterade värdepapper och efterställda skulder till fast ränta						
	-	188 536	-	-2 656	3 912	-
<b>Summa</b>	<b>-</b>	<b>188 536</b>	<b>-</b>	<b>-2 656</b>	<b>3 912</b>	<b>-</b>
<b>Portföljsäkring av verkligt värde<sup>1</sup></b>						
<b>Ränterisk</b>						
Utlåning till alsmånshabn till fast ränta						
	-1 904	-	-	-	-2 245	-
Färlisakti utlåning till rörlig ränta						
	4	-	-	-	-8	-
<b>Summa</b>	<b>-1 900</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-2 253</b>	<b>-</b>

<sup>1</sup> Den underliggande utlåningsportföljens nominella volym uppgick per 2022-12-31 till 234 547 mkr (272 277).

### SÄKRING AV VALUTAKURSRISK I NETTO-INVESTERING I UTLANDSVERKSAMHET

Syftet med säkringsstrategin är att reducera valutakurs exponeringen avseende en nettoinvestering i en utlandsverksamhet. Den säkrade posten utgörs av det nominella beloppet avseende intern långfristig utlåning mellan koncernens finansavdelning och en utlandsverksamhet utgiven i den funktionella valutan för den utländska verksamheten. För att utgöra en del av en nettoinvestering i en utlandsverksamhet krävs att en återbetalning av den interna utlåningen varken är planerad eller trolig under en överskådlig framtid. Den säkrade risken utgörs av värdeförändringsrisken avseende en nettoinvestering i en utlandsverksamhet, till följd av förändringar i valutakursen mellan den utländska verksamhetens funktionella valuta och moderbolagets funktionella valuta, svenska

kronor. Säkringsinstrumenten utgörs av valuta-relaterade derivat. Det föreligger endast äldre säkringsrelationer, och banken ingår inga nya säkringsrelationer i denna säkringsstrategi, varför någon information i tabellform ej heller lämnas avseende denna säkringsstrategi.

#### Effektivitetsmätning

Vid effektivitetsmätning avseende säkring av en nettoinvestering i en utlandsverksamhet tillämpas motsvarande rutiner som vid effektivitetsmätning för kassaflödessäkringar, vilka beskrivs ovan i avsnittet om kassaflödessäkringar.

#### Ineffektivitet

Ineffektiviteten beräknas på motsvarande sätt som för kassaflödessäkringar, vilket beskrivs ovan i avsnittet om kassaflödessäkringar.

Den huvudsakliga förklaringen till ineffektivitet

I dessa säkringsrelationer är skillnader i valutakurser mellan tidpunkten för ingången av säkringsrelationen och affärstidpunkten för derivatet.

För en specifikation av förändringen av säkringsreserven respektive omräkningsreserven, se not K40.

#### BENCHMARKREFORMEN

Ändringar i IFRS 9 Finansiella instrument och IAS 39 Finansiella instrument: Redovisning och värdering

Från och med räkenskapsåret 2020 tillämpades ändringar i IAS 39 som innebär temporära undantag från att tillämpa vissa specifika krav avseende säkringsredovisning för säkringsrelationer som direkt påverkas av benchmarkreformen. Banken valde, i enlighet med IAS 39, att tillämpa ändringarna i förtid i årsredovisningen för 2019. De temporära undantagen syftar till att

## K23 Forts

säkringsrelationer inte ska behöva avbrytas endast till följd av osäkerhet från benchmarkreformen. Se not K1 punkt 12.

Från och med räkenskapsåret 2021 tillämpas ändringar i IFRS 9 vid modifieringar av finansiella tillgångar och finansiella skulder, vilka genomförs som en direkt följd av implementeringen av benchmarkreformen. Modifieringen utgör en ändring av effektivräntan och någon modifieringsvinst eller -förlust redovisas således ej. Därutöver genomfördes ändringar i IAS 39 som innebär undantag från vissa krav för säkringsredovisning när befintliga referensräntor i säkringsrelationer ersätts med alternativa referensräntor. Ändringarna syftar till att säkringsrelationer inte ska behöva avbrytas endast till följd av implementeringen av benchmarkreformen. Se not K1 punkt 12.

## Anpassningar till benchmarkreformen

Under de senaste åren har ett omfattande arbete utförts internationellt med framtagande av alternativa referensräntor, vilka utgörs av nästan riskfria räntor, så kallade RFR (Nearly Risk-free Rates). Inom EU pågår såväl en anpassning av nuvarande interbankräntor till att uppfylla kraven enligt Benchmarkförordningen ((EU) 2016/1011) som framtagande av alternativa RFR.

Inom banken har ett omfattande anpassningsarbete för en omställning till RFR genomförts under de senaste åren, såväl med avseende på centrala anpassningar i IT-system för derivat och LIBOR-lån som lokala anpassningar i IT-system för låneprodukter i de olika länderna. Det centrala projektet omfattar även uppdatering av avtal, exempelvis ISDA och ramavtal, samt framtagande av kommunikationsplaner till kunder och motparter. Vidare omfattas bland annat påverkan på redovisning, värdering av finansiella instrument och riskmätning vid en övergång till RFR.

Bankens arbete med att anpassa processer och rutiner samt IT-system för att hantera RFR slutfördes i allt väsentligt under 2021. Under

2022 har de flesta LIBOR-räntorna ersatts med RFR. Affärer i finansiella instrument som återstår att konvertera för banken utgörs endast av finansiella instrument med referens till USD LIBOR-räntor, vilka upphör att publiceras 2023-06-30.

## Bedömning av benchmarkreformens påverkan på väsentliga interbankräntor och säkringsrelationer

Interbankräntor i bankens hemmamarknader samt i USA bedöms vara väsentliga för banken, vilka utgörs av Stibor, USD Libor, Euribor och Nibor. GBP Libor ersätts från 2021-12-31 med SONIA (Reformed Sterling Overnight Index Average).

Det finns inget beslut om att Stibor ska upphöra som referensränta. Riksbanken beräknar och publicerar en RFR i SEK för T/N, Sweestr (Swedish krona Short Term Rate), vilken sedan den 1 september 2021 kan användas som referensränta i finansiella kontrakt. Stibor måste uppfylla de krav som ställs enligt Benchmarkförordningen och godkännas av Finansinspektionen. Stibor är en kritisk referensränta enligt Benchmarkförordningen och Swedish Financial Benchmark Facility lämnade den 27 december 2021 en ansökan till Finansinspektionen om godkännande av Stibor enligt Benchmarkförordningen. Ansökan behandlas för närvarande av Finansinspektionen. I nuläget är bankens bedömning att Stibor förväntas godkännas enligt Benchmarkförordningen och kvarstå som referensränta.

Financial Conduct Authority (FCA) bekräftade i mars 2021 att samtliga LIBOR för GBP, EUR, CHF och JPY samt 1 veckas och 2 månaders USD antingen upphör att tillhandahållas av någon administratör, eller inte längre är representativa, från 2021-12-31. För resterande USD LIBOR gäller att de upphör direkt efter den 30 juni 2023. GBP Libor ersätts med SONIA (Reformed Sterling Overnight Index Average) och USD Libor ersätts med SOFR (Secured Overnight Financing Rate).

En reformerad Euribor är framtagen och godkänd som referensränta enligt Benchmarkförordningen. ESTER (Euro Short Term Rate) är beslutad att utgöra RFR i euro. Från och med den 3 januari 2022 upphörde EONIA. En reformerad Euribor är godkänd och kommer fortsättningsvis att publiceras. Bankens bedömning är att Euribor förväntas kvarstå som referensränta.

Interbankräntan Nibor i Norge är godkänd enligt Benchmarkförordningen av den norska tillsynsmyndigheten. Bankens bedömning är att Nibor förväntas kvarstå som referensränta.

Vid bedömning av om det föreligger osäkerhet till följd av benchmarkreformen är bankens utgångspunkt att osäkerhet uppkommer först när en behörig myndighet har fattat beslut om att en interbankränta ska upphöra vid en specifik tidpunkt. Bankens bedömning är därmed att det föreligger en osäkerhet från benchmarkreformen på säkringsrelationer som förfaller efter 2023-06-30, vilka USD Libor har en direkt påverkan på säkrad post eller säkringsinstrument. Den säkrade risken, som direkt påverkas av osäkerheten till följd av benchmarkreformen, är således den rörliga referensräntan i ut- och upplåning i USD. Vidare påverkas kassaflöden hänförliga till ut- och upplåning samt derivatinstrument som är baserade på USD Libor. Osäkerheten till följd av benchmarkreformen upphör för de säkrade posterna respektive säkringsinstrumenten när den nya räntan är fastställd och har införts i de enskilda kontrakten.

Säkringsinstrument och säkrade poster som refererat till GBP Libor övergick till den alternativa referensräntan vid utgången av 2021, alternativt under det första kvartalet 2022, och påverkas ej längre av osäkerheten från benchmarkreformen. Det föreligger ej något beslut fattat av behörig myndighet om att övriga för banken väsentliga interbankräntor ska upphöra, varför det i nuläget ej bedöms föreligga osäkerhet till följd av benchmarkreformen avseende dessa interbankräntor.

Säkringsinstrument som ingår i säkringsrelationer som påverkas av osäkerheten från benchmarkreformen mkr	Nominella belopp 2022-12-31	Nominella belopp 2021-12-31
Ränteswappar USD	55 588	48 268
Valutaränteswappar AUD/USD	6 602	5 923
Valutaränteswappar USD/DKK	-	6 188
Valutaränteswappar USD/EUR	-	896
Valutaränteswappar USD/GBP	8 560	7 859
Valutaränteswappar USD/NOK	13 809	12 712
Valutaränteswappar USD/SEK	12 181	11 521
<b>Summa</b>	<b>96 831</b>	<b>93 167</b>

## NOTER | KONCERNEN

## K23 Forts

Finansiella instrument som ej har övergått till en alternativ referensränta (RFR) per 2022-12-31

I tabellen nedan specificeras finansiella instrument vilka refererar till en väsentlig referensränta som ska övergå till en alternativ referensränta (RFR), men som vid utgången av räkenskapsåret ännu ej övergått till en alternativ referensränta (RFR).

Risker som koncernen är exponerad för till följd av övergången till alternativa referensräntor (RFR)

Övergången påverkar stora delar av bankens verksamhet, både genom att flera affärsområden inom olika geografiska enheter och flera funktioner berörs. Ett antal IT-system har anpassats för att möta de nya kraven liksom fallback-skrivningar och andra avtalsfrågor, beräkningar för värdering och riskanalys, redovisning och rapportering, kundkommunikation etc. Utvecklingen är i allt väsentligt klar och arbete pågår med att uppnå fullständig täckning av de nya avtalen med kunder. I takt med kommande förändringar avseende referensräntor genom-

förs ytterligare utveckling och anpassningar. Den stora mängden förändringspunkter leder till ett behov av samordning. Banken har en koncernövergripande Benchmark-kommitté som är sammanhållande för samtliga frågeställningar relaterade till övergången till alternativa referensräntor.

**Operativa risker**

Förändringar i processer, avtal och IT-system enligt ovan kan medföra operativa risker. Marknaden är fortfarande i förändring med avseende på olika parametrar inom flera referensräntor, vilket gör att IT-systemen behöver vara anpassningsbara på ett sådant sätt att varken affärsrisker eller operativa risker ska uppstå. Affärsrisker uppkommer exempelvis om banken kan tvingas avstå från transaktioner på grund av tekniska begränsningar.

De avtal och transaktioner som har en hänvisning till en referensränta som kommer, eller kan komma, att upphöra har identifierats. Arbetet med att uppdatera och ändra dessa till nya alternativa referensräntor, alternativt att imple-

mentera fallback-skrivningar för de avtal där det bedömts som relevant, är pågående och förväntas i all väsentlighet färdigställas i tid till respektive byte av referensränta.

De operativa riskerna relaterade till övergången till alternativa referensräntor hanteras i enlighet med bankens sedvanliga rutiner för att identifiera, bedöma och hantera operativa risker (se not K2 Risk- och kapitalhantering, Operativ risk).

**Marknadsrisker**

Ränterisken förändras något och basrisker uppstår när övergången till nya alternativa referensräntor genomförs vid olika tidpunkter för olika finansiella instrument och produkter. Riskerna hanteras inom bankens risktoleransalternativ om förändringarna sker.

**Motpartsrisker**

Exponeringarna förändras inte i någon väsentlig utsträckning och motpartsriskerna hanteras inom bankens risktolerans.

Finansiella instrument som refererar till en väsentlig interbankränta, vilka ej har övergått till en alternativ referensränta (RFR) per balansdagen.

Interbankräntor 2022	Finansiella tillgångar, som inte är derivat, redovisat värde	Finansiella skulder, som inte är derivat, redovisat värde	Derivatinstrument, nominella belopp		
			Räntewapper	Ränteoptioner	Valutaräntewapper
USD Libor					
USD Libor 3m	8 200	-	77 208	-	
USD Libor övriga	443	-	376	-	
USD Libor 3m/EUR Euribor 3m					5 839
USD Libor 3m/NOK Nibor 3m					18 974
USD Libor 3m/SEK Stibor 3m					19 404
USD Libor 3m/GBP Libor 3m					13 625
USD Libor 3m/övriga valutor					1 159
Övriga valutor/USD Libor 3m					7 513
GBP Libor <sup>1</sup>					
GBP Libor 3m <sup>1</sup>	673	-	169	-	
Summa	9 316	-	77 773	-	68 804

<sup>1</sup> GBP Libor ersätts från 2021-12-31 med SONIA (Fixed over Sterling Overnight Index Average). Det kvarstår ett litet kundkontrakt som refererar till en syntetisk GBP Libor, vilken endast får tillämpas för avtal med kunder som utgör så kallade "tough legacy contracts".

Interbankräntor 2021	Finansiella tillgångar, som inte är derivat, redovisat värde	Finansiella skulder, som inte är derivat, redovisat värde	Derivatinstrument, nominella belopp		
			Räntewapper	Ränteoptioner	Valutaräntewapper
USD Libor					
USD Libor 3m	6 641	-	66 886	-	
USD Libor övriga	733	-	326	-	
USD Libor 3m/EUR Euribor 3m					5 469
USD Libor 3m/NOK Nibor 3m					17 701
USD Libor 3m/SEK Stibor 3m					18 891
USD Libor 3m/GBP Libor 3m					12 511
USD Libor 3m/övriga valutor					7 294
Övriga valutor/USD Libor 3m					6 741
GBP Libor					
GBP Libor 3m	88 364	-	10 498	4 632	
GBP Libor övriga	2 008	-	-	-	
EUR Libor 3m/GBP Libor 3m					6 514
GBP Libor 3m/USD Libor 3m					1 370
Övriga valutor/GBP Libor 3m					332
Summa	97 746	-	77 710	4 632	76 828

I tabellerna ovan ingår inte finansiella tillgångar och skulder samt derivatinstrument som förlorar innan interbankräntan upphör.

## K24 Kvittning av finansiella instrument

2022	Återköpsavtal samt utlåning av värdepapper		Totalt
mkr	Derivat		
<b>Finansiella tillgångar som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal</b>			
Bruttobelopp	117 373	18 416	135 789
Kvittade belopp	-81 112	-4 833	-85 945
Redovisat värde i balansräkningen	36 261	13 583	49 844
<b>Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen</b>			
Finansiella instrument, nettningsavtal	-11 031	-	-11 031
Mottagna finansiella säkerheter	-21 972	-13 568	-35 540
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-33 003	-13 568	-46 571
<b>Nettobelopp</b>	<b>3 258</b>	<b>15</b>	<b>3 273</b>
<b>Finansiella skulder som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal</b>			
Bruttobelopp	111 528	4 838	116 436
Kvittade belopp	-82 558	-4 833	-87 391
Redovisat värde i balansräkningen	29 040	5	29 045
<b>Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen</b>			
Finansiella instrument, nettningsavtal	-11 031	-	-11 031
Ställda finansiella säkerheter	-5 897	-5	-5 902
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-16 928	-5	-16 933
<b>Nettobelopp</b>	<b>12 112</b>	<b>0</b>	<b>12 112</b>
<b>2021</b>			
mkr	Derivat	Återköpsavtal samt utlåning av värdepapper	Totalt
<b>Finansiella tillgångar som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal</b>			
Bruttobelopp	48 543	33 836	82 379
Kvittade belopp	-20 035	-7 110	-27 145
Redovisat värde i balansräkningen	28 508	26 726	55 234
<b>Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen</b>			
Finansiella instrument, nettningsavtal	-9 294	-	-9 294
Mottagna finansiella säkerheter	-13 322	-26 700	-40 022
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-22 616	-26 700	-49 316
<b>Nettobelopp</b>	<b>5 892</b>	<b>26</b>	<b>5 918</b>
<b>Finansiella skulder som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal</b>			
Bruttobelopp	30 840	7 323	38 163
Kvittade belopp	-17 056	-7 110	-24 166
Redovisat värde i balansräkningen	13 784	213	13 997
<b>Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen</b>			
Finansiella instrument, nettningsavtal	-9 294	-	-9 294
Ställda finansiella säkerheter	-1 467	-213	-1 680
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-10 761	-213	-10 974
<b>Nettobelopp</b>	<b>3 023</b>	<b>-</b>	<b>3 023</b>

Derivatinstrument kvittas i balansräkningen när det återspeglar bankens förväntade kassaflöden vid regleringen av två eller flera avtal. Återköpsavtal och omvända återköpsavtal mot centrala clearingmotparter kvittas i balansräkningen när det återspeglar bankens förväntade kassaflöden vid regleringen av två eller flera avtal. Det inträffar när banken har både en avtalsmässigt rätt och avsikt att reglera avtalade kassaflöden netto. I det kvittade beloppet för derivattillgångar ingår kvittade kontantsäkerheter om

11 346 mkr (3 315) vilka härrör från balansräkningsposten In- och upplåning från allmänheten. I det kvittade beloppet för derivatsskulder ingår kvittade kontantsäkerheter om 12 791 mkr (335) vilka härrör från balansräkningsposten Utlåning till allmänheten.

Den kvarvarande motparternsken i derivat reduceras genom avtal om nettningsinställelse, det vill säga nettningsinställelse av positiva och negativa värden i alla derivattransaktioner med en och samma motpart i en konkurs situa-

tion. Banken har som policy att teckna nettningsavtal med alla bankmotparter. Nettningsavtalen kompletteras med avtal om ställande av säkerheter för nettoexponeringen. I huvudsak används kontanter som säkerhet, men även statspapper förekommer. Säkerheter för återköpsavtal samt In- och utlåning av värdepapper utgår i regel i form av kontanter eller andra värdepapper.

## NOTER | KONCERNEN

## K25 Immateriella tillgångar

2022 mkr	Goodwill	Varumärken och andra rättigheter	Kund- kontrakt	Intamt utvecklad programvara	Övrigt	Totalt 2022
Anskaffningsvärde vid ingången av året	4 375	196	671	5 605	164	11 011
Anskaffningsvärde på tillkommande immateriella tillgångar	-	-	-	703	-	703
Avyttringar och utgångar	-18	-206	-	-325	-	-549
Valutaeffekt	40	13	43	17	-	113
<b>Anskaffningsvärde vid utgången av året</b>	<b>4 397</b>	<b>3</b>	<b>714</b>	<b>6 000</b>	<b>164</b>	<b>11 278</b>
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-18	-193	-223	-2 209	-66	-2 709
Avyttringar och utgångar	18	206	-	325	-	549
Årets avskrivningar	-	-	-34	-504	-33	-661
Årets nedskrivningar	-	-	-	-21	-	-21
Valutaeffekt	-	-13	-14	-8	-	-35
<b>Ackumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>-271</b>	<b>-2 807</b>	<b>-90</b>	<b>-2 877</b>
<b>Redovisat värde</b>	<b>4 397</b>	<b>3</b>	<b>442</b>	<b>3 193</b>	<b>68</b>	<b>8 402</b>

Under året har utvecklingskostnader uppgående till 2 723 mkr (2 144) kostnadsförts.

2021 mkr	Goodwill	Varumärken och andra rättigheter	Kund- kontrakt	Intamt utvecklad programvara	Övrigt	Totalt 2021
Anskaffningsvärde vid ingången av året	6 822	188	801	5 530	164	13 505
Anskaffningsvärde på tillkommande immateriella tillgångar	-	-	-	539	-	539
Avyttringar och utgångar	-	-	-	-176	-	-176
Omklassificerat till tillgångar som innehas för försäljning	-2 569	-	-165	-341	-	-3 075
Valutaeffekt	122	8	35	53	-	218
<b>Anskaffningsvärde vid utgången av året</b>	<b>4 375</b>	<b>196</b>	<b>671</b>	<b>5 605</b>	<b>164</b>	<b>11 011</b>
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-	-168	-277	-1 607	-33	-2 175
Avyttringar och utgångar	0	-	-	176	-	176
Årets avskrivningar	-	-17	-33	-576	-33	-659
Årets nedskrivningar	-18	-	-	-100	-	-118
Omklassificerat till tillgångar som innehas för försäljning	-	-	107	227	-	334
Årets av- och nedskrivningar avseende tillgångar som omklassificerats till tillgångar som innehas för försäljning	-	-	-6	-217	-	-223
Valutaeffekt	-	-8	-14	-22	-	-44
<b>Ackumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året</b>	<b>-18</b>	<b>-193</b>	<b>-223</b>	<b>-2 209</b>	<b>-66</b>	<b>-2 709</b>
<b>Redovisat värde</b>	<b>4 357</b>	<b>3</b>	<b>448</b>	<b>3 396</b>	<b>98</b>	<b>8 302</b>

mkr	Goodwill		Immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod	
	2022	2021	2022	2021
Handelsbanken Sverige	3 331	3 331	-	-
Handelsbanken Storbritannien	180	175	-	-
Handelsbanken Norge	699	678	-	-
Handelsbanken Nederländerna	177	163	-	-
Handelsbanken Capital Markets	10	10	3	3
<b>Summa</b>	<b>4 397</b>	<b>4 357</b>	<b>3</b>	<b>3</b>

#### Nedskrivningsprövning av goodwill och immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod

Redovisad koncerngoodwill härrör till övervägande del från traditionell bankverksamhet på Handelsbankens hemmamarknader. Goodwill och immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod prövas för nedskrivning årligen i samband med årsboksutslut. Vid nedskrivningsprövningen beräknas nyttjandevärdet för de enheter till vilka goodwill fördelats ut genom diskontering av estimerade framtida kassaflöden samt slutvärde. I tabellen har goodwill fördelats ut på rörelsesegment.

Estimerade framtida kassaflöden bygger de första fem åren på prognoser för riskvägda volymer, intäkter, kostnader samt kreditförluster.

Prognoseerna baseras främst på en intern bedömning av den framtida intäkt- och kostnadsutvecklingen, konjunkturläge, förväntad ränteutveckling samt förväntade effekter av kommande regelverk. Efter den första femårsperioden görs en prognos baserad på ett antagande om långsiktig tillväxttakt. Antagandet om kassaflödestillväxt baseras på historisk real BNP-utveckling samt Riksbankens långsiktiga inflationsmål. Årets nedskrivningsprövning bygger på ett antagande om en långsiktig tillväxttakt på 2% (2). Den totala prognosperioden är 20 år. Som slutvärde används det prognostiserade substansvärdet för den prövade enheten. Estimerade kassaflöden har diskonterats med en ränta som baseras på riskfri ränta samt riskjustering motsvarande marknadens genomsnittliga

avkastningskrav. Diskonteringsräntan uppgick vid årets nedskrivningsprövning till 7,6% (6,4) efter skatt. Motsvarande ränta före skatt uppgick till 10,5% (9,1).

Vid årets nedskrivningsprövning bedömdes skillnaden mellan återvinningsvärde och bokfört värde på goodwill vara betryggande. Det beräknade nyttjandevärdet på goodwill är känsligt för ett antal olika variabler som har betydelse för förväntade kassaflöden samt diskonteringsräntan. De variabler som har störst betydelse för beräkningen är antaganden om ränte- och konjunkturutveckling, framtida marginaler och kostnadseffektivitet. Ingen rimlig möjlig förändring av viktiga antaganden skulle påverka det redovisade värdet på goodwill.

## K26 Fastigheter och inventarier

Fastigheter och inventarier mkr	2022	2021
Inventarier	760	715
Fastigheter	4 154	4 557
Egendom överlagren för skyddande av fordran	0	0
<b>Summa</b>	<b>4 914</b>	<b>5 272</b>

I posten Egendom överlagren för skyddande av fordran ingår lös egendom samt fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde i enlighet med koncernens redovisningsprinciper för tillgångar som övertagits för skydd av fordran, se not K1. Det verkliga värdet på fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde uppgår till 0 mkr (0). Värdet av privatbolag bygger i allt väsentligt på marknadsobservationer av jämförbara fastighetsköp på den aktuella orten. Värdet av kommersiella fastigheter bygger på diskontering av framtida kassaflöden och baseras på antaganden om bland annat hyresnivå, vakansgrad, drift- och underhållskostnader, direktavkastningsräva och kalkylränta. I värderingen tas även hänsyn till fastighetens skick, åge samt alternativanvändning. Banken har som princip att alltid använda en observerad, godkänd värderingsman vid värdering av affärs- och kontorfastigheter samt industrifastigheter. Värdet som enbart bygger på marknadsobservationer 0 mkr (0) klassificeras som nivå 2 i den värderingshierarki som beskrivs i not K1. Värdet som har ett väsentligt inslag av egna antaganden 0 mkr (0) klassificeras som nivå 3 i värderingshierarkin. Öreviderade värderingar i nivå 3 avseende fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde har påverkat årets resultat med 0 mkr (0). Årets förändring av fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde uppgår till 2 mkr (1) varav 0 mkr (0) var klassade som nivå 3 innan förändringen. Nya fastigheter har tillkommit under året med 0 mkr (0) varav 0 mkr (0) klassats som nivå 3.

Inventarier mkr	2022	2021
Anskaffningsvärde vid ingången av året	1 954	2 141
Anskaffningsvärde på tillkommande under året	366	218
Avyttringar och utrangeringar	-401	-369
Omklassificerat till tillgångar som innehåes för försäljning	-	-115
Valutaeffekt	77	79
<b>Anskaffningsvärde vid utgången av året</b>	<b>1 996</b>	<b>1 964</b>
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-1 287	-1 325
Årets avskrivningar enligt plan	-311	-315
Avyttringar och utrangeringar	355	329
Omklassificerat till tillgångar som innehåes för försäljning	-	57
Årets av- och nedskrivningar avseende tillgångar som omklassificerats till tillgångar som innehåes för försäljning <sup>1</sup>	-	14
Valutaeffekt	-57	-47
<b>Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året</b>	<b>-1 300</b>	<b>-1 287</b>
<b>Redovisat värde</b>	<b>696</b>	<b>677</b>
Redovisat värde nyttjanderätter	64	48
<b>Summa redovisat värde</b>	<b>760</b>	<b>715</b>

Fastigheter mkr	2022	2021
Anskaffningsvärde vid ingången av året	1 775	2 509
Ny- och ombyggnation	145	67
Avyttringar och utrangeringar	-203	-530
Omklassificerat till tillgångar som innehåes för försäljning	-	-301
Valutaeffekt	36	30
<b>Anskaffningsvärde vid utgången av året</b>	<b>1 753</b>	<b>1 775</b>
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-518	-1 084
Årets avskrivningar enligt plan	-32	-38
Avyttringar och utrangeringar	2	476
Omklassificerat till tillgångar som innehåes för försäljning	-	127
Årets av- och nedskrivningar avseende tillgångar som omklassificerats till tillgångar som innehåes för försäljning <sup>1</sup>	-	2
Valutaeffekt	-3	-1
<b>Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året</b>	<b>-521</b>	<b>-618</b>
<b>Redovisat värde</b>	<b>1 232</b>	<b>1 257</b>
Redovisat värde nyttjanderätter	2 052	3 300
<b>Summa redovisat värde</b>	<b>4 154</b>	<b>4 557</b>

<sup>1</sup> Avser av- och nedskrivningar under januari–september 2021 del vil säga perioden före omklassificering till tillgångar som innehåes för försäljning.

## NOTER | KONCERNEN

## K27 Övriga tillgångar

mil	2022	2021
Fordringsfordringar	10 825	2 629
Åtarsäkringsförläningar	19	20
Övrigt	3 876	3 136
<b>Summa</b>	<b>14 720</b>	<b>6 785</b>

## K28 Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter

mil	2022	2021
Upplupna intäkter	1 187	1 280
Förutbetalda kostnader	792	736
<b>Summa</b>	<b>1 979</b>	<b>2 016</b>

## K29 Skulder till kreditinstitut

mil	2022	2021
<b>Skulder i svenska kronor</b>		
Banker	9 080	4 409
Övriga kreditinstitut	8 681	8 485
<b>Summa</b>	<b>17 761</b>	<b>12 894</b>
<b>Skulder i utländsk valuta</b>		
Banker	63 777	69 982
Övriga kreditinstitut	155	158
<b>Summa</b>	<b>63 932</b>	<b>70 140</b>
<b>Summa skulder till kreditinstitut</b>	<b>81 693</b>	<b>83 034</b>
varav upplupna räntekostnader	785	-29
varav repor	-	-

Medelvolymer	2022	2021
mil		
Skulder till kreditinstitut i svenska kronor	24 643	48 286
Skulder till kreditinstitut i utländsk valuta	145 739	118 074
<b>Summa</b>	<b>170 382</b>	<b>166 360</b>
varav repor	725	377

NOTER | KONCERNEN

## K30 In- och upplåning från allmänheten

Inlåning från allmänheten mkr	2022	2021
<b>Inlåning i svenska kronor</b>		
Hushåll	430 128	445 736
Förstag	336 594	366 155
Riksgälden	1	1
<b>Summa</b>	<b>766 723</b>	<b>811 892</b>
<b>Inlåning i utländsk valuta</b>		
Hushåll	117 317	115 329
Förstag	294 915	310 530
<b>Summa</b>	<b>412 232</b>	<b>425 859</b>
<b>Summa inlåning från allmänheten</b>	<b>1 178 955</b>	<b>1 237 751</b>
<b>Upplåning från allmänheten</b> mkr	<b>2022</b>	<b>2021</b>
Upplåning i svenska kronor	87 427	29 335
Upplåning i utländsk valuta	58 679	19 551
<b>Summa upplåning från allmänheten</b>	<b>146 106</b>	<b>48 886</b>
<b>Summa in- och upplåning från allmänheten</b>	<b>1 325 061</b>	<b>1 286 637</b>
varav upplåningsrättsaktiva	854	95
varav repor	5	273
varav inom försäkringsbranschen	6 253	6 623
<b>Medskuldymer</b> mkr	<b>2022</b>	<b>2021</b>
<b>Inlåning från allmänheten</b>		
Inlåning från allmänheten i svenska kronor	804 420	745 860
Inlåning från allmänheten i utländsk valuta	446 694	490 229
<b>Summa</b>	<b>1 251 114</b>	<b>1 236 089</b>
<b>Upplåning från allmänheten</b>		
Upplåning i svenska kronor	70 508	54 673
Upplåning i svenska kronor, försäkringsbranschen	6 150	6 739
Upplåning i utländsk valuta	210 655	153 982
<b>Summa</b>	<b>287 313</b>	<b>215 394</b>
varav repor	16 977	19 200

## K31 Skulder där kunden står värdeförändringsrisken

mkr	2022	2021
Fond- och depåförädlingskulder	212 363	235 209
Övriga fondskulder	603	552
<b>Summa</b>	<b>212 966</b>	<b>235 761</b>

NOTER | KONCERNEN

## K32 Emitterade värdepapper

mår	2022		2021	
	Redovisat värde	Nominellt belopp	Redovisat värde	Nominellt belopp
<b>Certifikat</b>				
Certifikat i svenska kronor	908	861	567	489
varav varligt värde obligationsakt	908	861	567	489
Certifikat i utländsk valuta	623 429	624 435	513 697	513 441
varav upplupet anskaffningsvärde	622 702	623 745	512 583	512 932
varav ingår i stöning av varligt värde	6 507	6 687	905	905
varav varligt värde obligationsakt	727	690	1 114	1 109
<b>Summa</b>	<b>624 336</b>	<b>625 296</b>	<b>514 264</b>	<b>513 930</b>
<b>Obligationssån</b>				
Obligationssån i svenska kronor	510 343	518 021	500 296	487 761
varav upplupet anskaffningsvärde	510 343	518 021	500 296	487 761
varav ingår i stöning av varligt värde	95 126	102 800	40 225	39 200
Obligationssån i utländsk valuta	340 122	353 420	339 208	339 801
varav upplupet anskaffningsvärde	340 122	353 420	339 208	339 801
varav ingår i stöning av varligt värde	190 258	210 421	134 588	135 498
<b>Summa</b>	<b>860 465</b>	<b>871 441</b>	<b>839 504</b>	<b>827 562</b>
<b>Summa emitterade värdepapper</b>	<b>1 474 801</b>	<b>1 496 737</b>	<b>1 353 768</b>	<b>1 341 492</b>
varav upplupna räntekostnader	5 885		4 194	

mår	2022	2021
Emitterade värdepapper vid årets ingång	1 353 768	1 310 737
Emitterade	1 064 019	1 015 801
Återköpta	-57 759	-54 381
Förtälna	-926 079	-939 884
Valutasäffder m m	40 852	21 495
Emitterade värdepapper vid årets utgång	1 474 801	1 353 768

Medelvolymer	2022	2021
mår		
Svenska kronor	514 455	491 228
Utländsk valuta	950 189	862 947
<b>Summa</b>	<b>1 464 644</b>	<b>1 374 175</b>

## K33 Korta positioner

mår	2022	2021
<b>Korta positioner värderade till verkligt värde</b>		
Aktier	362	635
Förhållande värdepapper	1 577	3 270
<b>Summa</b>	<b>1 939</b>	<b>4 105</b>
varav upplupna räntekostnader	8	21
<b>Medelvolymer</b>		
mår		
Svenska kronor	16 865	21 824
Utländsk valuta	142	229
<b>Summa</b>	<b>17 007</b>	<b>22 053</b>

NOTER | KONCERNEN

## K34 Försäkringsskulder

mk	2022	2021
Skuld för sjukräntor	144	162
Skuld för livstid	160	199
Skuld för andra oragulerade skador	101	131
Skuld för förinsbetalda premier	-	40
<b>Summa</b>	<b>405</b>	<b>532</b>

## K35 Skatter

Uppskjutna skattefordringar mk	2022	2021
Säkringstrumant	996	-
Immateriella tillgångar	-	-
Fastigheter och inventarier	19	18
Pensioner	370	235
Övrigt	204	532
<b>Summa</b>	<b>1 589</b>	<b>846</b>

Uppskjutna skatteskulder mk	2022	2021
Utlåning till allmänheten <sup>1</sup>	2 207	2 759
Säkringstrumant	764	369
Immateriella tillgångar	78	74
Fastigheter och inventarier	95	93
Pensioner	2 466	1 754
Övrigt	4	227
<b>Summa</b>	<b>6 614</b>	<b>6 278</b>

<b>Netto uppskjutna skatteskulder</b>	<b>-4 025</b>	<b>4 431</b>
---------------------------------------	---------------	--------------

Förändring av uppskjutna skatter 2022 mk	Ingående balans	Redovisat överresultat-räkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Valutaeffekt	Utgående balans
Utlåning till allmänheten <sup>1</sup>	2 759	-552	-	-	2 207
Säkringstrumant	369	-	-501	-	-232
Immateriella tillgångar	74	4	-	-	78
Fastigheter och inventarier	75	-1	-	2	76
Pensioner	1 459	15	622	-	2 096
Övrigt	-305	312	-193	-14	-200
<b>Summa</b>	<b>4 431</b>	<b>-222</b>	<b>-172</b>	<b>-12</b>	<b>4 025</b>

Förändring av uppskjutna skatter 2021 mk	Ingående balans	Redovisat överresultat-räkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Ombeskrivet till tillgångar och skulder som innehåller till försäljning	Valutaeffekt	Utgående balans
Utlåning till allmänheten <sup>1</sup>	3 212	-453	-	-	-	2 759
Säkringstrumant	965	-	-506	-	-	369
Immateriella tillgångar	70	4	-	-	-	74
Fastigheter och inventarier	97	-22	-	-	-	75
Pensioner	1 46	-72	1 398	-	-13	1 459
Övrigt	-355	-139	195	-4	-2	-305
<b>Summa</b>	<b>4 135</b>	<b>-682</b>	<b>997</b>	<b>-4</b>	<b>-15</b>	<b>4 431</b>

<sup>1</sup> Varav leasing 2 207 mk (2 759).

## NOTER | KONCERNEN

## K35 Forts

Redovisade skattekostnader i resultaträkningen mkr	2022	2021
<b>Aktuell skatt</b>		
Årets skattekostnad	-5 754	-5 188
Justering av skatt hänförlig till tidigare år	103	-121
<b>Uppskjutna skatt</b>		
Förändringar i temporära skillnader	222	682
<b>Summa skattekostnader kvarvarande verksamhet</b>	<b>-5 429</b>	<b>-4 627</b>
<b>Summa skattekostnader avvecklad verksamhet</b>	<b>-1 173</b>	<b>-510</b>
<b>Skatt beräknat som 20,6% (20,6) på årets resultat kvarvarande verksamhet före skatt</b>	<b>-5 484</b>	<b>-4 836</b>
<b>Skilnad</b>	<b>66</b>	<b>209</b>
<b>Skilnaden förklaras av skatteeffekt avseende följande poster</b>		
Diverse ej avdragsgilla kostnader	-89	-20
Ej avdragsgill ränta på efterställda skulder	-282	-226
Annan skattasats i försämlingsföräls	118	259
Ej skattpåklägga räntor och utdelningar	230	-
Annan skattasats i utland	-282	-121
Omvärdering uppskjutna skatter pga ändrad skattasats	375	-
Övrigt	-15	317
<b>Summa</b>	<b>66</b>	<b>209</b>

## K36 Avsättningar

Avsättningar 2022 mkr	Avsättningar för förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen <sup>1</sup>	Omstrukturings- reserv <sup>2</sup>	Övriga avsättningar <sup>3</sup>	Summa
<b>Avsättningar vid årets ingång</b>	200	617	150	1 028
Avsatt under året	-	-	129	129
Anspråkstagat	-	-520	0	-520
Åtärft	-	-	-62	-62
Omklassificerat till skulder som innehas för försäljning	-	-11	-	-11
Nettoförändring av förväntade kreditförluster	29			29
<b>Avsättningar vid årets utgång</b>	<b>280</b>	<b>87</b>	<b>226</b>	<b>693</b>

Avsättningar 2021 mkr	Avsättningar för förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen <sup>1</sup>	Omstrukturings- reserv <sup>2</sup>	Övriga avsättningar <sup>3</sup>	Summa
<b>Avsättningar vid årets ingång</b>	366	1 820	107	2 302
Avsatt under året	-	-	53	53
Anspråkstagat	-	-1 171	0	-1 171
Åtärft	-	-	-1	-1
Omklassificerat till skulder som innehas för försäljning	-34	-41	-	-135
Nettoförändring av förväntade kreditförluster	-22			-22
<b>Avsättningar vid årets utgång</b>	<b>280</b>	<b>617</b>	<b>150</b>	<b>1 028</b>

<sup>1</sup> För ytterligare information, se not K30 och K44.

<sup>2</sup> Avsättningen för omstrukturingskostnader avser kostnader relaterade till bankens omställning. Merparten av avsättningsbeloppet är registrerat under åren 2021–2022. Resterade förväntas vara registrerat vid utgången av 2023.

<sup>3</sup> Under Övriga avsättningar redovisas de belopp som avsatts för reglering av de anspråk som rikts mot banken.

## K37 Övriga skulder

mkr	2022	2021
Fordrivitskulder	3 010	2 789
Leasingskuld	3 018	3 414
Åtärftföräls	107	83
Övrigt	4 316	5 018
<b>Summa</b>	<b>10 451</b>	<b>11 304</b>

NOTER | KONCERNEN

## K38 Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter

mk	2022	2021
Upplupna kostnader	2 446	2 198
Förutbetalda intäkter	1 120	1 321
<b>Summa</b>	<b>3 566</b>	<b>3 519</b>

## K39 Efterställda skulder

mk	2022	2021
Förstagån i svenska kronor	-	3 008
Förstagån i utländsk valuta	42 404	29 254
<b>Summa</b>	<b>42 404</b>	<b>32 262</b>
varav upplupna räntekostnader	1 078	769

## Modervolymer

mk	2022	2021
Förstagån i svenska kronor	945	2 898
Förstagån i utländsk valuta	37 131	30 125
<b>Summa</b>	<b>38 076</b>	<b>33 023</b>

## Specifikation, förstagånen

Emissionsår	Förfall	Valuta	Ursprungligt nominellt belopp i respektive valuta	Räntesats, %	Utstående belopp
<b>I utländsk valuta</b>					
2018	Tidsbunden	EUR	750	1,630%	8 458
2018	Tidsbunden	EUR	750	1,250%	8 438
2019	Evtigt	USD	500	6,250%	5 332
2020	Evtigt	USD	500	4,380%	4 647
2020	Evtigt	USD	500	4,750%	4 228
2022	Tidsbunden	EUR	500	3,250%	5 371
2022	Tidsbunden	GBP	500	4,630%	5 930
<b>Summa efterställda skulder</b>					<b>42 404</b>

För ytterligare information avseende förstagånen, se Peters 3-rapporten.

Förändring av efterställda skulder	2022	2021
mk		
Förstagån vid årets ingång	32 257	41 082
Emitterade	11 445	-
Återköpta	-	-
Förändring	-2 924	-9 711
Valutaeffekter m.m.	1 696	886
<b>Förstagån vid årets utgång</b>	<b>42 404</b>	<b>32 262</b>

NOTER | KONCERNEN

## K40 Specifikation av förändringar i eget kapital

Förändring av säkerhetsreserv mkr	2022	2021
Säkerhetsreserv vid årets ingång	1 789	3 353
<b>Kassaflödesåskåring</b>		
Effektiv del av förändringen i verkligt värde		
Räntebäsk	-3 668	-2 319
Valutakursrisk	1 189	528
Realiserade värdeförändringar	-	-
Omklassificerat till resultaträkningen <sup>1</sup>	-160	-179
Skatt	544	405
Säkerhetsreserv vid årets utgång	-907	1 789
<b>Förändring av verkligt värdesreserv mkr</b>	<b>2022</b>	<b>2021</b>
Verkligt värdesreserv vid årets ingång	188	94
Realiserade värdeförändringar – eget kapitalinstrument	22	59
Realiserade värdeförändringar – eget kapitalinstrument	91	0
Realiserade värdeförändringar – skuldinstrument	-54	5
Förändring av reserv för förväntade kreditförluster – skuldinstrument	0	0
Omklassificerat till balanserade vinstmedel – eget kapitalinstrument <sup>2</sup>	-91	0
Omklassificerat till resultaträkningen – skuldinstrument <sup>3</sup>	-	-
Verkligt värdesreserv vid årets utgång	128	188
<b>Förändring av omräkningsreserv mkr</b>	<b>2022</b>	<b>2021</b>
Omräkningsreserv vid årets ingång	2 585	-805
Förändring av omräkningsdifferens hänförlig till filialer	1 166	1 220
Förändring av omräkningsdifferens hänförlig till dotterbolag	1 697	2 247
Omklassificerat till resultaträkningen <sup>4</sup>	-501	-9
Omklassificerat till balanserade vinstmedel <sup>5</sup>	-615	-67
Omräkningsreserv vid årets utgång	4 332	2 585

<sup>1</sup> Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post 33 mkr (37).<sup>2</sup> Skatt som omklassificerats till balanserade vinstmedel hänförlig till denna post - mkr (0).<sup>3</sup> Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post - mkr (-).<sup>4</sup> Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post 18 mkr (2).<sup>5</sup> Skatt som omklassificerats till balanserade vinstmedel hänförlig till denna post 38 mkr (17).

NOTER | KONCERNEN

## K41 Klassificering av finansiella tillgångar och skulder

2022	Verkligt värde via resultaträkningen						
	Obliigatoriskt	Verkligt värde-optionen	Derivat identifierat som säkringsinstrument	Verkligt värde via övrigt totalresultat	Upplupet anskaffningsvärde	Summa redovisat värde	Verkligt värde
<b>TKR</b>							
<b>Tillgångar</b>							
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker					475 882	475 882	475 882
Övrig utlåning till centralbanker					32 620	32 620	32 620
Belåningsbara statskuldförbindelser m.m.	1 465	131 113		200		132 778	132 778
Utlåning till övriga kreditinstitut					9 415	9 415	9 415
Utlåning till allmänheten					2 469 324	2 469 324	2 422 795
Värdeförändring på räntebärande post i portföljsäkring					-16 616	-16 616	
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	5 328	17 487		9 882		32 697	32 697
Aktier och andelar	12 272			544		12 815	12 815
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	222 038				73	222 111	222 111
Derivatinstrument	14 912		21 349			36 261	36 261
Övriga tillgångar	14				14 795	14 810	14 810
<b>Summa</b>	<b>286 028</b>	<b>148 600</b>	<b>21 349</b>	<b>10 628</b>	<b>2 985 498</b>	<b>3 422 098</b>	<b>3 392 170</b>
Aktier och andelar i inbassettföretag och joint ventures						561	
Icke finansiella tillgångar						31 058	
<b>Summa tillgångar</b>						<b>3 483 718</b>	
<b>Skulder</b>							
Skulder till kreditinstitut					82 372	82 372	82 395
In- och upplåning från allmänheten					1 382 422	1 382 422	1 381 640
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken		222 038			73	222 111	222 111
Emitterade värdepapper	1 635				1 473 167	1 474 801	1 431 925
Derivatinstrument	16 648		12 392			29 040	29 040
Korta positioner	1 939					1 939	1 939
Övriga skulder	11				11 224	11 235	11 235
Ehervärdade skulder					42 404	42 404	42 430
<b>Summa</b>	<b>20 233</b>	<b>222 038</b>	<b>12 392</b>		<b>2 991 662</b>	<b>3 246 326</b>	<b>3 202 715</b>
Icke finansiella skulder						11 361	
<b>Summa skulder</b>						<b>3 257 686</b>	

Tillgångar och skulder i tabellen ovan inkluderar avyttringsgruppen Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller för förmåjning respektive Skulder som innehåller för försäkring, se not K14. I jämförelseaffromålingår även Danmark som avyttrats under det fjärde kvartalet 2022.

2021	Verkligt värde via resultaträkningen						
	Obliigatoriskt	Verkligt värde-optionen	Derivat identifierat som säkringsinstrument	Verkligt värde via övrigt totalresultat	Upplupet anskaffningsvärde	Summa redovisat värde	Verkligt värde
<b>TKR</b>							
<b>Tillgångar</b>							
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker					439 964	439 964	439 964
Övrig utlåning till centralbanker					1 462	1 462	1 462
Belåningsbara statskuldförbindelser m.m.	2 513	97 628		397	24	100 562	100 562
Utlåning till övriga kreditinstitut					21 838	21 838	21 839
Utlåning till allmänheten					2 413 829	2 413 829	2 416 796
Värdeförändring på räntebärande post i portföljsäkring					-1 900	-1 900	
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	5 310	19 008		9 016		33 334	33 334
Aktier och andelar	19 026			908		19 934	19 934
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	252 924				64	252 988	252 988
Derivatinstrument	17 300		11 218			28 518	28 518
Övriga tillgångar	18				6 147	6 165	6 165
<b>Summa</b>	<b>297 091</b>	<b>116 636</b>	<b>11 218</b>	<b>10 321</b>	<b>2 881 428</b>	<b>3 316 604</b>	<b>3 321 662</b>
Aktier och andelar i inbassettföretag och joint ventures						478	
Icke finansiella tillgångar						29 592	
<b>Summa tillgångar</b>						<b>3 346 784</b>	
<b>Skulder</b>							
Skulder till kreditinstitut					83 608	83 608	83 992
In- och upplåning från allmänheten					1 400 757	1 400 757	1 400 721
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken		252 924			64	252 988	252 988
Emitterade värdepapper	1 681				1 352 087	1 353 768	1 359 934
Derivatinstrument	8 843		4 966			13 809	13 809
Korta positioner	4 105					4 105	4 105
Övriga skulder	7				12 405	12 412	12 412
Ehervärdade skulder					32 257	32 257	33 645
<b>Summa</b>	<b>14 636</b>	<b>252 924</b>	<b>4 966</b>		<b>2 881 178</b>	<b>3 163 704</b>	<b>3 161 606</b>
Icke finansiella skulder						11 329	
<b>Summa skulder</b>						<b>3 185 033</b>	

NOTER | KONCERNEN

## K42 Värdering av finansiella instrument till verkligt värde

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2022 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
<b>Tillgångar</b>				
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatorisk	1 465	-	-	1 465
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	131 113	-	-	131 113
Verkligt värde via Övrigt totalsresultat	200	-	-	200
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatorisk	5 328	-	-	5 328
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	17 487	-	-	17 487
Verkligt värde via Övrigt totalsresultat	9 124	758	-	9 882
Aktier och andelar				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatorisk	11 866	384	21	12 271
Verkligt värde via Övrigt totalsresultat	274	117	152	543
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	220 766	747	525	222 038
Derivatinstrument	49	36 173	39	36 261
<b>Summa</b>	<b>307 673</b>	<b>38 170</b>	<b>737</b>	<b>436 580</b>
<b>Skulder</b>				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	220 766	747	525	222 038
Emitterade värdepapper	-	1 635	-	1 635
Derivatinstrument	54	28 947	39	29 040
Korta positioner	1 858	81	-	1 939
<b>Summa</b>	<b>222 678</b>	<b>31 410</b>	<b>564</b>	<b>254 652</b>

Finansiella instrument i tabellen ovan inkluderar avyttringsgruppen Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller förinställning respektive Skulder som innehåller förinställning, se not K14. I jämförelseiffrorna ingår även Danmark som avyttrats under det fjärde kvartalet 2022.

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2021 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
<b>Tillgångar</b>				
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatorisk	2 188	325	-	2 513
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	97 628	-	-	97 628
Verkligt värde via Övrigt totalsresultat	397	-	-	397
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatorisk	4 262	1 048	-	5 310
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	19 008	-	-	19 008
Verkligt värde via Övrigt totalsresultat	2 291	6 725	-	9 016
Aktier och andelar				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatorisk	18 286	709	31	19 026
Verkligt värde via Övrigt totalsresultat	100	200	608	908
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	251 977	463	484	252 924
Derivatinstrument	22	28 453	43	28 518
<b>Summa</b>	<b>308 150</b>	<b>37 928</b>	<b>1 168</b>	<b>436 246</b>
<b>Skulder</b>				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	251 977	463	484	252 924
Emitterade värdepapper	-	1 681	-	1 681
Derivatinstrument	46	13 720	43	13 809
Korta positioner	3 903	202	-	4 105
<b>Summa</b>	<b>255 926</b>	<b>16 066</b>	<b>527</b>	<b>272 519</b>

## K42 Forts

## Värderingshierarkin

Finansiella Instrument värderade till verkligt värde har i tabellerna kategoriserats med avseende på hur de värderats och graden av transparens kring marknadsdata som använts vid värderingen. Kategoriseringen framgår som nivå 1-3 i tabellerna. Finansiella Instrument som värderas till ett direkt och illkvitt marknadspris kategoriseras som nivå 1. Dessa finansiella Instrument består främst av statspapper och andra räntebärande värdepapper som handlas aktivt, noterade aktier samt korta positioner i motsvarande tillgångar. I nivå 1 ingår även merparten av de fondandelar och andra tillgångar som är kopplade till fondförsäkringkontrakt och liknande avtal samt motsvarande skulder. Finansiella Instrument som värderas med värderingsmodeller som i allt väsentligt bygger på marknadsdata kategoriseras som nivå 2. I nivå 2 ingår främst räntebärande värdepapper samt ränte- och valutarelaterade derivat. Finansiella Instrument vars värdering i väsentlig utsträckning påverkas av indata som inte går att verifiera med externa marknadsuppgifter kategoriseras som nivå 3. I nivå 3 ingår onoterade aktier, vissa innehav i riskkapitalfonder samt vissa derivat.

Som grund för indelningen ligger den värderingsmetod som använts på balansdagen. Om

kategorin för ett specifikt Instrument har förändrats i jämförelse med föregående balansdag (2021-12-31) har Instrumentet flyttats mellan nivåerna i tabellen. Under året har 4,7 mdkr avseende innehav i obligationer och andra räntebärande värdepapper flyttats från nivå 2 till nivå 1. Derivat skulder uppgående till 16 mkr har flyttats från nivå 1 till nivå 2. Överföring mellan nivåerna har genomförts till följd av en förnyad bedömning av marknadsaktiviteten. Årets förändringar av innehav i nivå 3 redovisas i en separat tabell, se nedan.

Innehav i nivå 3 består främst av onoterade aktier. Koncernens innehav av onoterade aktier består till övervägande del av andelar i företag som utför stödjande verksamhet för banken. Det kan exempelvis röra sig om andelar i clearingorganisationer och infrastruktursamarbeten på Handelsbankens hemmamarknader. Sådana innehav värderas i regel till bankens andel av substansvärdet i bolaget, alternativt till det pris till vilket den senaste transaktionen genomfördes. Onoterade aktier är i allt väsentligt klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat. Värdeförändringar på dessa innehav redovisas därmed i övrigt totalresultat.

Vissa innehav i riskkapitalfonder kategoriseras som nivå 3. De värderas med värderingsmo-

deller som huvudsakligen bygger på relativvärdering av jämförbara noterade företag i samma bransch. Det resultatmätt som jämförelsen bygger på justeras för faktorer som stör jämförelsen mellan investeringen och jämförelsebolaget. Därefter beräknas värdet på basis av vinstmultiplar, exempelvis P/E-tal och EV/EBITA. Merparten av dessa innehav utgör placeringstillgångar i koncernens försäkringsrörelse. Värdeförändringar på placeringstillgångarna ingår i underlaget för beräkning av avkastningsdelning i försäkringsrörelsen och redovisas därmed inte direkt i resultaträkningen.

Vidare kategoriseras derivatkomponenten i vissa av bankens emitterade strukturerade obligationer och dess tillhörande säkrade derivat i nivå 3. För dessa derivat har interna antaganden väsentlig påverkan för beräkningen av det verkliga värdet. Säkrade derivat i nivå 3 är handlade under CSA-avtal, där marknadsvärdena stäms av och säkerställs på daglig basis med bankens motparter.

Årets realiserade värdeförändringar på finansiella Instrument i nivå 3 som redovisas i resultaträkningen uppgår till 2 mkr (2). Hela beloppet ingår i underlaget för beräkning av avkastningsdelning i försäkringsrörelsen.

Förändring av innehav i finansiella Instrument i nivå 3 2022	Aktier och andelar	Derivat-tillgångar	Derivat-skulder	Tillgångar där kunden står värdeförändringsreken	Skulder där kunden står värdeförändringsreken
<b>Redovisat värde vid årets ingång</b>	639	43	-43	484	-484
Nyanskaffningar	-	34	-39	-	-
Årsköp/avyttrat	-472	-43	41	-	-
Förtalat	-	-	-	-	-
Realiserad värdeförändring i resultaträkningen	6	-32	39	41	-41
Realiserad värdeförändring i övrigt totalresultat	-	-	-	-	-
Förflyttning från nivå 1 eller 2	-	-	-29	-	-
Förflyttning till nivå 1 eller 2	-	8	-8	-	-
<b>Redovisat värde vid årets utgång</b>	173	30	-30	525	-525

Finansiella Instrument i tabellen ovan inkluderar avyttringsgruppen Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller för försäljning respektive Skulder som innehåller för försäljning, se not K14. I jämförelseifromna ingår även Danmark som avyttrats under det fjärde kvartalet 2022.

Förändring av innehav i finansiella Instrument i nivå 3 2021	Aktier och andelar	Derivat-tillgångar	Derivat-skulder	Tillgångar där kunden står värdeförändringsreken	Skulder där kunden står värdeförändringsreken
<b>Redovisat värde vid årets ingång</b>	550	80	-80	474	-474
Nyanskaffningar	33	1	-2	-	-
Årsköp/avyttrat	-3	9	-7	-	-
Förtalat	-	-	-	-	-
Realiserad värdeförändring i resultaträkningen	51	-131	130	10	-10
Realiserad värdeförändring i övrigt totalresultat	8	-	-	-	-
Förflyttning från nivå 1 eller 2	-	10	-10	-	-
Förflyttning till nivå 1 eller 2	-	74	-74	-	-
<b>Redovisat värde vid årets utgång</b>	639	43	-43	484	-484

## NOTER | KONCERNEN

## K42 Forts

**Skillnader mellan transaktionspris och det värde som räknas fram med hjälp av en värderingsmodell**

Som framgår av redovisningsprinciperna i not K1 periodiseras väsentliga positiva skillnader mellan det värde som räknats fram vid det första redovisningstillfället och transaktionspriset (så kallat dag 1-resultat) vid modellvärdering av derivat. Orsakserade resultat på grund av positiva skillnader mellan transaktionspris och det värde som räknas fram med hjälp av en värderingsmodell (så kallade dag 1-resultat) utgörs av bankens vinstmarginal och ersättning för att täcka exempelvis kapital- och administrativa kostnader. Principen innebär att en periodiseringsseffekt om 158 mkr (1 72) redovisats i nettoresultat av finansiella transaktioner under året. Vid utgången av året uppgick sammanlagda ännu ej resultatförda dag 1-resultat till 447 mkr (489).

**Principer för upplysningar om verkligt värde på finansiella instrument som redovisas till upplupet anskaffningsvärde**

Upplysningar om verkligt värde på finansiella instrument som redovisas till upplupet anskaffningsvärde lämnas i not K41 och i tabellen nedan. Dessa instrument består i allt väsentligt av utlåning samt in- och upplåning. För betalningsmedel samt kortfristiga fordringar och skulder har det redovisade värdet bedömts vara en godtagbar estimering av det verkliga värdet. Fordringar och skulder med förfallodag alternativt tidpunkt för nästkommande ränteomsättning som infaller inom 30 dagar, har definierats som kortfristiga.

Värderingen av utlåning till fast ränta baseras på aktuell marknadsränta med justering för antagande om marknadsmässig kredit- och likviditetspremie. Premien har antagits vara lika med genomsnittlig marginal för nyutlåning vid

mättdpunkten. Räntebärande värdepapper har värderats till aktuellt marknadspris i den mån ett sådant funnits tillgängligt. Uplåning samt räntebärande värdepapper för vilka marknadsprisinformation inte funnits har värderats med en värderingsmodell som bygger på marknadsdata i form av priser eller räntor för liknande instrument.

I tabellen har den värdering som ligger till grund för uppgifterna om verkligt värde på finansiella instrument som redovisas till upplupet anskaffningsvärde kategoriserats i den värderingshierarki som beskrivits ovan. Betalningsmedel samt inlåning har likställts med kontanter och kategoriserats som nivå 1. I nivå 1 redovisas även räntebärande värdepapper (tillgångar och skulder) för vilka det finns ett aktuellt marknadspris. Utlåning för vilken antagandet om kredit- och likviditetspremie väsentligt påverkat upplysningen om verkligt värde har kategoriserats som nivå 3. Övriga instrument är kategoriserade som nivå 2.

Verkligt värde på finansiella instrument redovisade till upplupet anskaffningsvärde 2022 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
<b>Tillgångar</b>				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	475 882	-	-	475 882
Övrig utlåning till centralbanker	32 620	-	-	32 620
Betalningsbara statskuldförbindelser m m	-	-	-	-
Utlåning till övriga kreditinstitut	4 924	4 089	403	9 416
Utlåning till allmänheten	22 409	9 604	2 300 693	2 422 706
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	73	-	-	73
<b>Summa</b>	<b>535 888</b>	<b>13 693</b>	<b>2 301 096</b>	<b>2 850 677</b>
<b>Skulder</b>				
Skulder till kreditinstitut	22 509	59 802	-	82 311
In- och upplåning från allmänheten	1 355 960	25 650	-	1 381 610
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	73	-	-	73
Emitterade värdepapper	869 926	560 365	-	1 430 291
Efterställda skulder	-	42 430	-	42 430
<b>Summa</b>	<b>2 248 468</b>	<b>688 247</b>	<b>-</b>	<b>2 936 715</b>

Finansiella instrument i tabellen ovan inkluderar avyttringsgruppen Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäkring respektive Skulder som innehåller försäkring, se not K14. I jämförelseklassificeringen ingår även Danmark som avyttrats under det fjärde kvartalet 2022.

Verkligt värde på finansiella instrument redovisade till upplupet anskaffningsvärde 2021 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
<b>Tillgångar</b>				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	439 964	-	-	439 964
Övrig utlåning till centralbanker	1 462	-	-	1 462
Betalningsbara statskuldförbindelser m m	-	24	-	24
Utlåning till övriga kreditinstitut	3 689	17 757	393	21 839
Utlåning till allmänheten	12 192	6 781	2 307 823	2 416 796
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	64	-	-	64
<b>Summa</b>	<b>467 371</b>	<b>24 562</b>	<b>2 308 216</b>	<b>2 890 149</b>
<b>Skulder</b>				
Skulder till kreditinstitut	9 507	74 485	-	83 992
In- och upplåning från allmänheten	1 385 232	15 489	-	1 400 721
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	64	-	-	64
Emitterade värdepapper	763 594	594 659	-	1 358 253
Efterställda skulder	-	33 645	-	33 645
<b>Summa</b>	<b>2 198 397</b>	<b>718 278</b>	<b>-</b>	<b>2 916 675</b>

## K43 Ställda och mottagna säkerheter samt överförda finansiella tillgångar

För egna skulder ställda säkerheter		
mkr	2022	2021
Kontanter	14 754	14 600
Statspapper och obligationer	3 767	6 460
Utlåning till allmänheten	728 662	692 211
Aktier	5 752	6 597
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	224 000	248 066
Övrigt	2 434	3 400
<b>Summa</b>	<b>970 378</b>	<b>971 438</b>
varav pantar som fått kan återkallas av banken	22	25
Övriga ställda säkerheter		
mkr	2022	2021
Kontanter	1 432	1 456
Statspapper och obligationer	10 692	5 767
Aktier	3 726	7 007
Övrigt	-	0
<b>Summa</b>	<b>16 850</b>	<b>14 230</b>
varav pantar som fått kan återkallas av banken	2 196	3 563

Med Övriga ställda säkerheter avses säkerheter som ställts för förpliktelser som ej redovisas i balansräkningen.

### Ställda säkerheter

Ställda säkerheter är redovisade som tillgångar i balansräkningen. Ställda säkerheter i form av räntebärande värdepapper består i huvudsak av värdepapper som ställts som säkerhet i centralbanker och andra kreditinstitut, för betalningssystem, värdepappershandel och clearing samt värdepapper som sålts under bindande återköpsavtal (repot). Ställda säkerheter i form av aktier består av utlånade aktier och aktier i försäkringsförelsen.

Utlåning till allmänheten som ställts som säkerhet utgörs till största delen av den registrerade säkerhetsmassan till förmån för innehavare av säkerställda obligationer emitterade av Stadshypotek. Säkerhetsmassan består av hypotekslån som lämnats mot pant i huvudsakligen småhus, fritidshus, flerbostadshus och bostadsrätter med belåningsgrad inom 75% av marknadsvärdet. I händelse av bolagets obestånd har innehavarna av de säkerställda obligationerna förmånerätt enligt lagen om säkerställda obligationer och förmånerättslagen i de pantförskrivna tillgångarna. Om tillgångarna i säkerhetsmassan vid tiden för ett konkursbeslut uppfyller de villkor som uppställts i lagen, ska de hållas åtskilda från konkursboets övriga tillgångar och skulder. Innehavarna av obligationerna erhåller då fortsatt kontraktensliga betalningar enligt obligationens villkor fram till förfall.

Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken består i huvudsak av fondandeler under fondförsäkringsavtal i Handelsbanken Liv i vilka försäkringstagarna har förmånerätt.

### Mottagna säkerheter

Mottagna säkerheter redovisas inte i balansräkningen. Vid omvända återköpsavtal och aktielån mottas värdepapper som kan säljas eller pantsättas vidare till tredje part. Det verkliga värdet av mottagna värdepapper under omvända återköpsavtal och avtal om aktielån uppgick till 35 395 mkr (63 709) vid räkenskapsårets slut, varav säkerheter till ett värde av 16 970 mkr (26 632) sålts eller pantsatts vidare. Information om mottagna pantar för utlåning och andra mottagna säkerheter framgår av not K2.

### Överförda finansiella tillgångar redovisade i balansräkningen

Överförda finansiella tillgångar är redovisade som tillgångar i balansräkningen, men för dessa har rätten till framtida kassaflöden direkt eller indirekt överförts till en extern motpart. Merparten av de överförda finansiella tillgångar som redovisas i balansräkningen består av räntebärande värdepapper som sålts under bindande återköpsavtal samt utlånade aktier. I normalfallet regleras villkoren för bindande återköp och aktielån i ramavtal som ingåtts mellan banken och respektive motpart.

Bindande återköpsavtal innebär försäljning av ett värdepapper med förbindelse om återköp till ett fastställt pris vid en förutbestämd framtida tidpunkt. Säljaren av värdepappret är därmed fortsatt exponerad för risken för värdeförändringar under avtalets löptid. Sållda värdepapper under återköpsavtal kvarstår till marknadsvärde i balansräkningen under avtalets löptid. Mot-

tagen köpekillning redovisas som skuld till motparten. Enligt standardvillkoren i återköpsavtal övergår äganderätten till det sålde värdepappret helt från säljare till köpare, vilket innebär att köparen har rätt att vidare sälja, återpanta eller på annat sätt förfoga över de köpta värdepappren.

Enligt standardavtalen för aktielån kvarstår exponeringen för värdeförändring i den utlånade aktien hos långvären. Utlånade aktier kvarstår därmed i balansräkningen under lånets löptid. Säkerheter för utlånade aktier utgår i regel i form av kontanter eller andra värdepapper. Mottagen kontantsäkerhet redovisas som skuld i balansräkningen. På samma sätt som för återköpsavtal innebär det standardavtal som används för aktielån att låntagaren under lånets löptid har rätt att vidare sälja, återpanta eller på annat sätt förfoga över de lånade aktierna.

Som övriga överförda finansiella tillgångar redovisas statspapper, obligationer och aktier som ställts som säkerhet för värdepappershandel, clearing med mera och där förfoganderätten över värdepappret övergått till mottagaren. Som överförda finansiella tillgångar redovisas även vissa tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken. Dessa tillgångar består av portföljer av finansiella instrument till vilka banken har formell äganderätt, men där de risker som är förknippade med tillgångarna liksom rätten till framtida kassaflöden överförts till en tredje part. Värdet av dessa tillgångar speglar värderingen av den motsvarande skuldposten.

## NOTER | KONCERNEN

## K43 Forts

Överförda finansiella tillgångar redovisade i balansräkningen	2022		2021	
	Redovisat värde	Redovisat värde motsvarande skuld	Redovisat värde	Redovisat värde motsvarande skuld
<b>mil</b>				
Aktier, värdepappersutlåning	4 039	208 <sup>1</sup>	7 340	284 <sup>1</sup>
Statspapper och obligationer, repor	3 950	2	4 142	67
Statspapper och obligationer, övrigt	43	-	1 946	-
Tillgångar där kunden står värdetvåningsrisken	608	608	552	552
<b>Summa</b>	<b>8 038</b>	<b>813</b>	<b>13 980</b>	<b>903</b>

<sup>1</sup> Mottagen kontantsäkerhet.

## K44 Eventualförpliktelser

mil	2022	2021
<b>Anevarsförbindelser</b>		
Garantiförbindelser, krediter	6 709	7 539
Garantiförbindelser, övriga	52 052	61 579
Obligatoriska rembursar	313	1 035
Övrigt	1 901	1 303
<b>Summa</b>	<b>60 975</b>	<b>71 756</b>
varav förväntad för nedskrivningsprövning	60 975	71 756
<b>Åtaganden</b>		
Kreditförlust	336 974	346 556
Outnyttjad del av beviljade räkningskrediter	108 456	116 539
Övrigt	13 684	23 122
<b>Summa</b>	<b>459 114</b>	<b>486 217</b>
varav förväntad för nedskrivningsprövning	266 478	344 081
<b>Summa eventalförpliktelser</b>	<b>510 888</b>	<b>608 273</b>
Reservering för förväntade kreditförluster redovisad som avsättning, se not K36	353	344

## Anevarsförbindelser

Anevarsförbindelserna består i huvudsak av olika typer av garantiförbindelser. Kreditgarantier ges till kunder för att garantera åtaganden i andra kredit- och pensionsinstitut. Övriga garantier utgörs främst av kommersiella garantier såsom anbudsgarantier, garantier avseende försöksbetalningar, garantier under ansvartiden och exportrelaterade garantier. Anevarsförbindelser omfattar också outnyttjade obligatoriska importrembursar och bekräftade exportrembursar. Dessa transaktioner ingår i bankens tjänster och är till stöd för bankens kunder. I tabellen anges garantiernas nominella belopp.

## Tvister

Bolag inom koncernen är föremål för krav i ett antal tvistemål som drivs i allmän domstol. Bedömningen är att tvistemålen i allt väsentligt kommer att utfalla till bankens förmån. Tvistebeloppet bedöms inte kunna få en väsentlig inverkan på koncernens ställning eller resultat.

## K45 Leasing

## Handelsbanken som leasegivare

Finansiella leasingavtal mkr	2022	2021
Finansiella intäkter från nettoinvesteringen	300	218
Variable leasingavgifter	213	113
<b>Fördelning av odlekoterade leasingfordringar på förfallotidpunkter samt nettoinvestering mkr</b>	<b>2022</b>	<b>2021</b>
Upp till 1 år	2 212	3 426
1 år till 2 år	4 133	3 931
2 år till 3 år	3 107	4 204
3 år till 4 år	1 262	2 084
4 år till 5 år	1 572	1 038
Över 5 år	4 444	4 717
Summa odlekoterade leasingfordringar	18 730	10 460
Ej intjänade finansiella intäkter	-900	-351
Nettoinvestering	18 830	10 109

Samtliga avtal där koncernen är leasegivare har definierats som finansiella leasingavtal. Sådana leasingavtal redovisas som utlåning i balansräkningen, in till ett belopp som motsvarar nettoinvesteringen. Förändringen mellan åren beror främst på minskade leasingvolymer (-3 mdkr), avseende avskrivning av verksamhet. Leasingobjekten består huvudsakligen av fordon och maskiner. Samtliga leasingavtal har garanterade reselvärden. Vid utgången av året fanns i koncernen tre leasingengagemang som var ett och ett enskilt hade ett redovisat värde överstigande 1 mkr.

## Handelsbanken som leasestagare

Poster i resultaträkningen mkr	2022	2021
Räntekostnader leasingkulder	-53	-64
Summa <sup>1</sup>	-53	-64
Av- och nedskrivning nyttjanderätter		
Fastigheter	-624	-658
Inventarier	-22	-16
Summa <sup>2</sup>	-646	-684
Kostnader för korttidsleasing	-33	-31
Kostnader för leasingavtal i vilka den underliggande tillgången är av lågt värde	-17	-15
Variable leasingavgifter som inte ingår i beräkningen av leasingkulder	-125	-100
Summa <sup>3</sup>	-175	-148
<b>Totala kostnader för leasingavtal</b>	<b>-874</b>	<b>-894</b>
Poster i balansräkningen mkr	2022	2021
Nyttjanderätter <sup>4</sup>		
Fastigheter	2 952	3 300
Inventarier	64	48
Summa	3 016	3 348
Tillkommande nyttjanderätter <sup>5</sup>	323	97
Leasingkulder <sup>6</sup>	3 018	3 412
Totala kassautflöden för leasingavtal	-854	-807

<sup>1</sup> Ingår i resultatposten Räntekostnader.

<sup>2</sup> Ingår i resultatposten Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar, varav 11 mkr (-55) avser nedskrivning.

<sup>3</sup> Ingår i resultatposten Övriga kostnader.

<sup>4</sup> Nyttjanderätter ingår i balansposten Fastigheter och Inventarier.

<sup>5</sup> Under året nya leasingkontrakt som ingår i nyttjanderätter.

<sup>6</sup> Leasingkulder ingår i balansposten Övriga skulder.

## NOTER | KONCERNEN

## K45 Forts

Återstående löptider avseende leasingkulder milj	2022	2021
Upp till 6 månader	364	338
6 månader till 1 år	355	333
1 år till 2 år	672	633
2 år till 5 år	1 342	1 401
Över 5 år	512	689
Summa	3 246	3 304

Bankens leasingavtal utgörs huvudsakligen av hyreskontrakt avseende lokaler. Därutöver omfattar leasingavtalen främst multifunktions skrivare, persondatorer och diverse övriga kontorshjälpmedel. Huvuddelen av hyreskontrakten avseende lokaler har en avtalsfrist mellan tre år till tio år. Vissa av bankens hyreskontrakt för lokaler innehåller en möjlighet till förlängning av avtalsfristen, vilken innebär att hyreskontraktet förlängs för en angiven period om kontraktet inte sägs upp vid en specifik tidpunkt. Det förekommer även hyreskontrakt avseende lokaler som innehåller en möjlighet för banken att säga upp hyreskontraktet i förväg. Vid fastställande av leasingperiodens längd för hyreskontrakt inkluderas möjligheter att förlänga ett leasingkontrakt, eller avsluta ett leasingkontrakt i förväg, endast vid mycket hög grad av sannolikhet att dessa kommer att utnyttjas.

Banken har ingått leasingavtal som är kortare än tolv månader och leasingavtal i vilka den underliggande tillgången är av lågt värde, vilka kostnadsförs i enlighet med undantaget i IFRS 16 Leasingavtal, och därmed inte ingår i leasingkulder och nyttjanderätter.

## K46 Segmentinformation

Segmentinformation 2022								
myr	Sverige	Storbritannien	Norge	Nederländerna	Capital Markets	Övrigt	Justeringar och elimineringar	Totalt
Räntanetto	23 078	7 590	4 264	1 354	301	32		36 610
Provisionsnetto	8 471	807	696	147	771	213		11 103
Nettorisultat av finansiella transaktioner	78	248	91	21	1 131	-457		1 111
Risikosultat förskilning	155		21					176
Andelar i intressföretags och jointventures resultat						-13		-13
Övriga intäkter	103	14	25	1	9	1 111		1 263
<b>Summa intäkter</b>	<b>31 884</b>	<b>8 649</b>	<b>5 098</b>	<b>1 523</b>	<b>2 212</b>	<b>885</b>		<b>50 249</b>
Personalkostnader	-4 041	-2 693	-1 028	-442	-1 143	-3 778	22	-13 103
Övriga kostnader	-1 515	-799	-295	-94	-326	-3 525		-6 543
Infört köpta och sålda tjänster	-4 630	-1 076	-667	-241	-344	6 959		
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	-420	-313	-92	-54	-147	-601	-23	-1 650
<b>Summa kostnader</b>	<b>-10 607</b>	<b>-4 872</b>	<b>-2 082</b>	<b>-832</b>	<b>-1 050</b>	<b>-944</b>	<b>-1</b>	<b>-21 296</b>
<b>Resultat före kreditförluster, resekost och resolutionsavgift</b>	<b>21 278</b>	<b>3 778</b>	<b>3 014</b>	<b>691</b>	<b>253</b>	<b>-60</b>	<b>-1</b>	<b>28 003</b>
Kreditförluster, netto	135	-55	-152	0	-13	38		-47
Vinst-/förlustar vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	10	10	6	-	0	-2		24
Risikoskost och resolutionsavgift	-1 650		-359	-81	-33	-180		-2 311
<b>Rörelseresultat</b>	<b>19 764</b>	<b>3 733</b>	<b>2 609</b>	<b>610</b>	<b>206</b>	<b>-208</b>	<b>-1</b>	<b>28 619</b>
Resultatutdelning	374	49	59	0	-531	39		
<b>Rörelseresultat efter resultatutdelning</b>	<b>20 138</b>	<b>3 781</b>	<b>2 678</b>	<b>610</b>	<b>-324</b>	<b>-164</b>	<b>-1</b>	<b>28 619</b>
Interna intäkter <sup>1</sup>	1 727	52	-3 838	-453	615	1 897		
Kf-tal, %	32,9	56,0	40,3	54,6	116,5			42,4
Kreditförlustnivå, %	-0,01	0,01	0,04	0,00	0,06			0,00
Tillgångar	2 711 810	505 113	321 450	128 633	48 680	2 688 331	-2 950 301	3 453 716
Skulder	2 603 652	484 408	301 089	124 999	46 607	2 673 717	-2 976 786	3 257 686
Allokerat kapital	108 158	20 705	20 361	3 634	2 073	14 614	26 485	196 030
Räntabilitet på allokerat kapital, %	15,5	14,9	10,4	14,4	-11,5			12,3
Årets investeringar i icke-finansiella anläggningstillgångar	277	137	111	6	21	662		1 214
Årets investeringar i intressföretag och jointventures						123		123
Medelantal anställda	3 907	2 481	763	357	585	2 851		10 954

Övrigt i tabellen ovan inkluderar Tillgångar, Skulder, Allokerat kapital samt Årets investeringar i icke-finansiella anläggningstillgångar hänförliga till avyttringsgruppen Finland.

Rörelsesegmenten redovisas i enlighet med IFRS 8 Rörelsesegment, vilket innebär att segmentinformationen presenteras på motsvarande sätt som tillämpas internt i styrningsavseende. Handelsbankens verksamhet presenteras uppdelat på segmenten Sverige, Storbritannien, Norge, Nederländerna samt Capital Markets. Kontorsrörelsen i Handelsbanken tillhandahåller ett fokuserat erbjudande inom finansiering, betalning, finansiella rådgivningstjänster samt sparande och pension. I landsegmenten ingår förutom kontorsrörelsen även kapitalförvaltning- och försäkringsverksamheten. Varje land följs upp som en fristående resultatenheter och styrs av en landchef. I Sverige och Storbritannien är kontorsrörelsen under landchefen organiserad i läns respektive distrikt. Segmentet Capital Markets är bankens Investmentbank, vilket bland annat inbegriper värdepappershandel och investeringsrådgivning. I verksam-

heten ingår även bankens Internationella verksamhet utanför hemmamarknaderna.

Segmentens resultat visas före och efter Intern resultatutdelning. Den Interna resultatutdelningen innebär att kundansvarig enhet tilldelas allt resultat som hänför från dess kunders transaktioner med banken, oavsett inom vilket segment transaktionen är genomförd. Dessutom redovisas Intäkter och kostnader för Internt utförda tjänster netto på raden Internt köpta och sålda tjänster. Transaktioner mellan segmenten redovisas huvudsakligen enligt självkostnadsprincipen. I kolumnerna Övrigt samt Justeringar och elimineringar visas poster som inte hör till något specifikt segment eller elimineras på koncernnivå. I kolumnen Övrigt ingår till övervägande del finansförvaltning och centrala stabsavdelningar samt transaktioner hänförliga till reserveringen för resultatdelssystemet Oktogonen. I kolumnen Justeringar och

elimineringar redovisas bland annat Justeringar för personalkostnader. I Justeringar för personalkostnader ingår skillnaden mellan koncernens pensionskostnader beräknade enligt IAS 19 Ersättningar till anställda och lokalt beräknade pensionskostnader.

Interna intäkter består främst av Interna räntor och provisioner. I segmentens resultaträkningar ingår dessutom Interna poster i form av ersättningar för Interna tjänster. Interndebitering sker huvudsakligen enligt självkostnadsprincipen. I kontorsrörelsen består tillgångarna till största delen av utlåning till allmänheten och skulderna av inlåning från allmänheten samt Intern upplåning. Tillgångarna i kolumnen Övrigt består till övervägande del av Intern utlåning till de olika segmenten, medan skulderna framförallt består av extern upplåning. Det allokerade kapitalet för segmenten överensstämmer med kapitalfördelningen enligt den Interna styrmodellen.

## NOTER | KONCERNEN

## K46 Forts

Segmentinformation 2021								
milj	Sverige	Storbritannien	Norge	Nederländerna	Capital Markets	Övrigt	Justeringar och elimineringar	Totalt
Räntanetto	18 880	5 452	3 867	1 076	245	801		30 321
Provisionsnetto	8 800	751	656	224	786	241		11 458
Nettorisultat av finansiella transaktioner	480	189	55	32	1 185	-242		1 699
Risikoresultat försäkring	168		11					179
Andelar i intresseförstag och joint ventures resultat						63		63
Övriga intäkter	471	0	26	0	0	51		557
<b>Summa intäkter</b>	<b>28 799</b>	<b>6 392</b>	<b>4 615</b>	<b>1 332</b>	<b>2 225</b>	<b>914</b>		<b>44 277</b>
Personalkostnader	-4 035	-2 467	-908	-305	-1 211	-3 267	-169	-12 452
Övriga kostnader	-1 216	-1 045	-195	-76	-361	-2 684		-5 577
Internt köpta och sålda tjänster	-4 289	-912	-510	-176	-317	6 204		
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	-358	-316	-84	-50	-233	-726	-47	-1 814
<b>Summa kostnader</b>	<b>-9 898</b>	<b>-4 740</b>	<b>-1 697</b>	<b>-607</b>	<b>-2 122</b>	<b>-473</b>	<b>-216</b>	<b>-19 843</b>
<b>Resultat före kreditförluster, riskskatt och resolutionsavgift</b>	<b>18 901</b>	<b>1 652</b>	<b>2 918</b>	<b>636</b>	<b>103</b>	<b>441</b>	<b>-216</b>	<b>24 434</b>
Kreditförluster, netto	15	95	-150	-5	11	-9		-43
Vinstskatteförluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	9	9	6	-	-10	0		14
Risikskatt och resolutionsavgift	-696		-167	-31	-22	-14		-930
<b>Föräresultat</b>	<b>18 229</b>	<b>1 756</b>	<b>2 607</b>	<b>600</b>	<b>82</b>	<b>418</b>	<b>-216</b>	<b>23 476</b>
Resultatutdelning	296	46	54	1	-434	37		
<b>Föräresultat efter resultatutdelning</b>	<b>18 525</b>	<b>1 802</b>	<b>2 661</b>	<b>600</b>	<b>-352</b>	<b>455</b>	<b>-216</b>	<b>23 476</b>
Interna intäkter <sup>1</sup>	-345	-961	-1 447	-401	-362	3 516		
KV-fot, %	34,0	73,6	36,3	52,3	119,5			44,8
Kreditförlustnivå, %	0,00	-0,04	0,06	0,01	-0,01			0,00
Tillgångar	2 598 396	488 025	294 510	111 145	94 050	2 535 178	-2 774 540	3 346 764
Skulder	2 493 982	467 478	276 517	108 132	91 475	2 520 023	-2 792 574	3 165 033
Allokerat kapital	104 414	20 547	17 993	3 013	2 575	15 155	18 034	181 731
Räntabilitet på allokerat kapital, %	14,8	7,0	11,4	16,7	-11,8			11,4
Årets investeringar i icke-finansiella anläggningstillgångar	-77	77	29	2	138	528		697
Årets investeringar i intresseförstag och joint ventures						51		51
Medelantal anställda	3 899	2 509	742	337	647	2 905		11 039

<sup>1</sup> Interna intäkter som ingår i Summa intäkter består av intäkter från transaktioner med andra föräressegment och Övrigt. Eftersom räntaintäkter och räntekostnader redovisas netto som en intäkt innebär det att interna intäkter bland annat innehåller nettot av intern finansieringskostnad mellan segmenten och Övrigt.

Kolumnen övrigt i tabellen ovan inkluderar Tillgångar, Skulder, Allokerat kapital samt Årets investeringar i icke-finansiella anläggningstillgångar hänförliga till avyttringsgrupperna Danmark och Finland.

Under första kvartalet 2022 genomfördes en omorganisation för att skapa en ännu mer fokuserad och kundnära organisation. Den största redovisningsmässiga effekten uppstod då Savings & Pension flyttades från Capital Markets till Sverige, med undantag för de respektive lokala enheterna i Savings & Pension som flyttades till Norge, Finland och Danmark. Därutöver flyttades vissa centrala funktioner som idag arbetar nära Sverige från Övrigt anheter till Sverige. De i tabellen redovisade jämförelsesiffrorna har därför omräknats.

Intäkter per produktområde		
milj	2022	2021
In- och utlåning privat	17 376	15 127
In- och utlåning företag	20 167	15 485
Betalningar netto	1 711	1 479
Kapitalförvaltning fonder	6 380	6 747
Pension och Försäkring	515	934
Investmentbankertjänster	6 746	2 937
Övrigt	-2 645	1 568
<b>Summa</b>	<b>60 249</b>	<b>44 277</b>

## K47 Geografisk information

Geografisk information 2022 mkr	Intäkter	Rörelseresultat	Skatt	Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt	Tillgångar
Sverige	32 069	17 315	-3 497		3 027 754
Storbritannien	9 142	4 317	-1 164		411 364
Norge	4 884	2 548	-643		352 830
Nederländerna	1 484	603	-170		234 582
USA	521	392	-10		422 166
Luxemburg	226	103	-25		18 114
Kina	0	1	-		
Tyskland	0	26	-		
Frankrike	13	-9	0		2
Polen	-19	-73	-		384
Danmark				189	27 11
Finland				91	195 480
Elimineringar	1 030	1 305	80		-1 211 672
Summa	60 249	28 619	-6 429	280	3 483 718

Intäkter, rörelseresultat, årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt samt tillgångar som presenteras i den geografiska informationen består av interna och externa intäkter, kostnader och tillgångar i respektive land. Den geografiska fördelningen av intäkter och kostnader är baserad på det land där transaktionen är genomförd och är inte jämförbar med redovisningen av segmentinformation. Med skatt avses aktuell och uppskjuten skatt. Ytterligare geografisk information finns i not M17 avseende koncernföretag och deras satta samt i not K8 avseende medelantial anställda per land.

Geografisk information 2021 mkr	Intäkter	Rörelseresultat	Skatt	Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt	Tillgångar
Sverige	31 154	18 803	-3 445		2 865 613
Storbritannien	6 287	1 543	-415		308 272
Norge	4 321	2 296	-606		331 696
Nederländerna	1 359	622	-151		105 022
USA	260	167	-4		273 070
Luxemburg	156	47	-12		34 550
Kina	9	-34	0		1
Tyskland	4	-33	-		64
Frankrike	54	12	-2		3 251
Singapore	0	-2	0		-
Polen	-12	-78	-		459
Danmark				854	149 950
Finland				-159	274 415
Elimineringar	685	132	8		-1 089 599
Summa	44 277	23 475	-4 827	695	3 348 784

Fidn och med första kvartalet 2022 ingår resolutionsavgiften och räskattben i intäkterna, utan redovisas på en separat rad inom rörelseresultatet. De i tabellen redovisade jämförelsefferna för intäkter har därför omräknats.

NOTER | KONCERNEN

## K48 Tillgångar och skulder i valuta

2022 mkr	SEK	EUR	NOK	DKK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
<b>Tillgångar</b>								
Kassa och tillgodohavande hos centralbanker	100 413	136 928	8 962	0	59 872	129 674	34	475 882
Övrig utlåning till centralbanker	-	31 964	-	-	1 256	-	-	32 620
Utlåning till övriga kreditinstitut	480	3 709	2	1	903	3 894	424	9 415
Utlåning till allmänheten	1 586 449	292 228	324 563	9 901	342 246	11 704	2 233	2 469 324
varav företag	602 504	183 963	206 027	9 884	169 380	11 517	847	1 184 121
varav hushåll	983 945	108 265	118 537	17	172 867	187	1 385	1 285 204
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	117 546	5 483	36	1	-	9 712	-	132 778
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	22 353	1 472	8 852	-	-	519	-	32 697
Övriga ej valutafördelade poster	301 000	-	-	-	-	-	-	301 000
<b>Summa tillgångar</b>	<b>2 128 242</b>	<b>471 184</b>	<b>341 916</b>	<b>9 902</b>	<b>344 277</b>	<b>165 908</b>	<b>2 691</b>	<b>3 463 716</b>
<b>Skulder</b>								
Skulder till kreditinstitut	17 760	50 548	29	1 906	115	11 950	23	82 372
In- och upplåning från allmänheten	854 602	136 375	91 473	1 201	252 592	43 167	3 011	1 382 422
varav företag	370 568	108 155	58 072	1 110	179 820	39 354	2 184	754 362
varav hushåll	484 035	39 220	33 401	91	72 672	3 814	828	628 060
Emitterade värdepapper	511 251	342 123	25 828	-	39 407	536 118	20 076	1 474 801
Efterställda skulder	0	22 266	-	-	5 990	14 208	-	42 404
Övriga ej valutafördelade poster, inkl eget kapital	471 716	-	-	-	-	-	-	471 716
<b>Summa skulder och eget kapital</b>	<b>1 865 329</b>	<b>551 311</b>	<b>117 330</b>	<b>3 107</b>	<b>298 014</b>	<b>605 483</b>	<b>23 110</b>	<b>3 463 716</b>
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)		80 111	-224 481	-6 818	-46 235	449 902	20 487	
Nettoposition i valuta		-16	105	-24	-2	-78	68	53

Bankens syn på valutarskillnaderna framgår av not K2.

Tillgångar och skulder i tabellen ovan inkluderar avyttringsgruppen Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning respektive Skulder som innehas för försäljning, se not K1.4. I jämförelsefallena ingår även Danmark som avyttrats under det fjärde kvartalet 2022.

2021 mkr	SEK	EUR	NOK	DKK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
<b>Tillgångar</b>								
Kassa och tillgodohavande hos centralbanker	93 293	149 547	4 578	28 282	101 196	63 008	60	439 964
Övrig utlåning till centralbanker	-	-	-	207	1 255	-	-	1 462
Utlåning till övriga kreditinstitut	1 073	3 587	12 122	51	1 140	3 335	530	21 638
Utlåning till allmänheten	1 496 800	245 760	294 946	107 914	251 793	13 567	3 049	2 413 829
varav företag	537 399	140 039	183 442	43 663	174 344	13 376	1 555	1 102 819
varav hushåll	959 401	98 729	111 504	64 251	77 449	191	1 494	1 311 019
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	91 630	5 658	335	26	-	2 913	-	100 562
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	23 131	965	8 741	17	-	480	-	33 334
Övriga ej valutafördelade poster	335 775	-	-	-	-	-	-	335 775
<b>Summa tillgångar</b>	<b>2 041 702</b>	<b>406 617</b>	<b>320 722</b>	<b>136 407</b>	<b>356 384</b>	<b>83 908</b>	<b>3 630</b>	<b>3 346 784</b>
<b>Skulder</b>								
Skulder till kreditinstitut	12 903	49 968	14 376	248	79	5 984	50	83 608
In- och upplåning från allmänheten	842 173	151 481	89 516	52 166	231 861	31 233	2 327	1 400 757
varav företag	386 274	120 367	59 662	28 818	162 303	26 964	1 605	785 993
varav hushåll	455 899	31 114	29 854	23 348	69 558	4 269	722	614 764
Emitterade värdepapper	500 864	385 000	30 207	7	69 192	351 169	17 329	1 359 768
Efterställda skulder	3 003	15 547	-	-	0	13 707	-	32 257
Övriga ej valutafördelade poster, inkl eget kapital	476 374	-	-	-	-	-	-	476 374
<b>Summa skulder och eget kapital</b>	<b>1 835 317</b>	<b>601 996</b>	<b>134 099</b>	<b>82 421</b>	<b>301 132</b>	<b>402 093</b>	<b>19 708</b>	<b>3 346 784</b>
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)		196 428	-186 467	-84 073	-54 145	318 781	16 124	
Nettoposition i valuta		-51	156	3	107	-9	57	263

NOTER | KONCERNEN

## K49 Innehav i icke-konsoliderade strukturerade företag

mkr	Innehav i fonder	
	2022	2021
<b>Tillgångar<sup>1</sup></b>		
Aktier och andelar	5 572	6 556
Tillgångar där kunden står värdetförändringsrisken	209 633	230 792
<b>Summa innehav i strukturerade företag som inte konsolideras</b>	<b>215 205</b>	<b>237 348</b>

<sup>1</sup>Varav 9 145 mkr (10 457) ingår i avyttringsgruppen Finland som har omklassificerats till Tillgångar som innehav för försäljning, se not K14.

En strukturerat företag är ett företag som har utformats så att röster eller liknande rättigheter inte är den dominerande faktorn vid avgörandet av vem som har det bestämmande inflytandet i företaget, exempelvis när rösträtten endast avser administrativa uppgifter och relevanta aktiviteter regleras genom avtal. Handelsbankens innehav i icke-konsoliderade strukturerade företag är begränsade och utgörs av fondandelar. Fondandelar ägs främst genom fondförädlingsavtal hos Handelsbanken LV samt liknande avtal i andra länder. Fondandelar som ägs genom fondförädlingsavtal utgör inte grund för konsolidering och utgör därmed icke-konsoliderade strukturerade företag. Handelsbanken äger vidare fondandelar i egenskap av marknadsmaker. I den mån dessa innehav inte konsolideras utgör de andelar i icke-konsoliderade strukturerade företag. Den maximala exponeringen för förkort för alla innehav i icke-konsoliderade strukturerade företag är det redovisade värdet på innehaven. De totala tillgångarna för dessa företag anses inte som meningsfull information för att förstå de relaterade riskerna och därför har de inte presenterats.

## K50 Upplysningar om närstående

Fordringar på och skulder till närstående	Intressetföretag och joint ventures		Övriga närstående	
	2022	2021	2022	2021
<b>mkr</b>				
Utlåning till allmänheten	1 259	430	-	-
Övriga tillgångar	28	29	16	572
<b>Summa</b>	<b>1 317</b>	<b>488</b>	<b>16</b>	<b>672</b>
In- och upplåning från allmänheten	127	113	1 528	1 058
Efterställda skulder	-	-	-	-
Övriga skulder	-	-	-	-
<b>Summa</b>	<b>127</b>	<b>113</b>	<b>1 528</b>	<b>1 058</b>

Närstående – intäkter och kostnader	Intressetföretag och joint ventures		Övriga närstående	
	2022	2021	2022	2021
<b>mkr</b>				
Räntesintäkter	8	25	-	-
Räntekostnader	-	0	-6	-
Provisionsintäkter	-	-	-	-
Provisionskostnader	-229	-237	-	-
Nettorasultat av finansiella poster värderade till verkligt värde	-	0	-	-
Övriga intäkter	-	-	19	17
Övriga kostnader	-102	-73	-178	-102
<b>Summa</b>	<b>-323</b>	<b>-285</b>	<b>-165</b>	<b>-86</b>

Stiffrorna ovan omfattar total verksamhet.

Specifikation över intressetföretagen och joint ventures samt information om aktieägartillskott till intressetföretag finns i not K20. Intressetföretagens och joint ventures verksamhet består i att utföra olika typer av tjänster som har anknytning till bankens verksamhet. I gruppen Övriga närstående ingår följande företag: Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse, Svenska Handelsbankens Personalförsäkring och Pensionskassan SHB Tjänstepensionsförening (Pensionskassan). Företagen anför Svenska Handelsbanken AB för sedvanliga bank- och redovisningstjänster.

Den 21 oktober 2021 förvärvade Svenska Handelsbanken AB 30 461 977 A-aktier i AB Industrivärden till ett värde av 8 548 mkr från Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse. Aktierna delades därefter ut till bankens aktieägare som extrautdelning. Alla affärstransaktioner med närstående bolag sker på marknadsmässiga villkor.

Moderbolagets svenska dotterbolag har betalat pensionspremier avseende förmånsbestämda pensioner till Pensionskassan uppgående till 85 mkr (104). Pensionskassans utfästelser till anställda i dotterbolag garanteras av moderbolaget, det vill säga om Pensionskassan inte skulle kunna betala sina åtaganden så är moderbolaget skyldigt att ta över och betala åtagandet. Pensionskassans förpliktelser uppgår till 6 136 mkr (7 281). Svenska Handelsbanken AB har begärt ersättning av Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse uppgående till - mkr (568) avseende pensionskostnader och - mkr (-) avseende särskild kompletterande pension samt av Svenska Handelsbankens Personalförsäkring uppgående till 47 mkr (63) för personalförhållande åtgärder.

Information om krediter till ledande befattningshavare samt om ledande befattningshavares villkor och ersättningar övrigt framgår av not K8.

## K51 Händelser efter balansdagen

Inga väsentliga händelser har inträffat efter balansdagen.

NOTER | KONCERNEN

## K52 Kapitaltäckning

### KAPITALPOLICY

Banken har som mål att upprätthålla en betryggande kapitalnivå som svarar mot de risker som koncernens verksamhet innebär och som överstiger de minimikrav som lagen föreskriver. En god kapitalnivå behövs för att kunna hantera situationer med finansiell påfrestning, men även andra händelser såsom förvärv och kraftig volymtillväxt.

### KAPITALKRAV SREGLER

Enligt kapitaltäckningsreglerna, förordning (EU) nr 575/2013 (CRR) och direktiv 2013/36/EU (CRD IV), ska banken ha kärnprimärkapital, primärkapital och en total kapitalbas som minst motsvarar kraven i förhållande till det totala riskvägda exponeringsbeloppet för kreditrisker, marknadsrisker och operativa risker. Utöver att hålla kapital enligt minimikravet ska banken hålla kärnprimärkapital för att uppfylla det kombinerade buffertkravet som i Sverige utgörs av summan av en kapitalkonserveringsbuffert, en cyklickalibreringsbuffert, en systemriskbuffert samt en buffert för övriga systemviktiga institut. Banken har även ett minimikapitalkrav i pelare 2. Pelare 2-kravet är ett individuellt krav beslutat av Finansinspektionen och ska täcka risker som inte fullt ut fångas av regelverkets minimi- och kombinerade buffertkrav. Till dessa krav tillkommer även en vägledning i pelare 2 beslutat av Finansinspektionen, vilket är myndighetens syn på vilken lägsta buffert banken åläggs hålla i tillägg till det beslutade kapitalbehovet. Banken ska dessutom göra en intern kapitalutvärdering. Handelsbankens kapitalpolicy anger riktlinjerna för den interna kapitalutvärderingen. Banken omfattas även av ett kapitalkrav på nivån finansiellt konglomerat enligt lagen (2006:531) om särskild tillsyn över finansiella konglomerat, se vidare Kapitaltäckning för det finansiella konglomeratet nedan. Sedan 1 februari 2016 gäller även att resolutionsmyndigheten, som i Sverige är Riksgäldkontoret, ska fastställa ett minimikrav på nedskrivningsbara skulder (MREL) för banken, se nedan Minimikravet för nedskrivningsbara skulder. Banken har under 2022, med god marginal, uppfyllt samtliga av de lagstadgade minimi- och buffertkraven. Detaljerad information om bankens kapitalbas och kapitalkrav finns i not K2, Risk- och kapitalhantering, samt i Handelsbankens publikation Risk and Capital – Information according to Pillar 3, se handelsbanken.com/risv. I denna publikation återfinns även fullständig information kring villkoren avseende Handelsbankens samtliga kapitalbas- och kvalificerade skuldinstrument.

### BESKRIVNING AV KONSOLIDERAD SITUATION

Den regleringsmässiga konsolideringen (konsoliderad situation) består av moderbolaget samt dotter- och intresseföretag som också ingår i koncernens redovisning, se tabell EU L13 Översikt över skillnader mellan olika konsolideringar (enhet per enhet). De bolag som ingår i koncernredovisningen men som inte ingår i den konsoliderade situationen framgår också av tabell EU L13. Precis som i koncernredovisningen konsolideras intresseföretag enligt kapitalandemethoden i den regleringsmässigt konsoliderade situationen. Samtliga dotterbolag som omfattas av regelverket ingår i konsoliderad situation. Handelsbanken har inga dotterbolag där den faktiska kapitalbasen underskrider föreskriven kapitalbas.

### BESKRIVNING AV KAPITALBASEN FÖR KONSOLIDERAD SITUATION

Kapitalbasen består av primärt respektive supplementärt kapital. Det primära kapitalet delas in i kärnprimärkapital samt övrigt primärkapital. Kärnprimärkapitalet utgörs i huvudsak av aktiekapital, upparbetade vinstmedel samt övriga reserver i de bolag som ingår i konsolideringen. Övrigt primärkapital utgörs av utgivna primärkapitaltillskott. Det supplementära kapitalet består huvudsakligen av förlagsån. Från kapitalbasen görs därefter vissa avdrag. Avdragen görs huvudsakligen från kärnprimärkapitalet. För bankens riskhantering är det viktigt att såväl koncernen som den regleringsmässiga konsolideringen riskmässigt kan ses som en enhet. För att risker ska kunna hanteras effektivt i koncernen kan kapital behöva omfördelas mellan de olika företagen i koncernen. Banken har generellt sett möjlighet att omfördela kapital mellan koncernens bolag, inom ramen för de begränsningar som följer av lagstiftning, till exempel kapitaltäckningskrav och bolagsrättsliga begränsningar. Banken ser i övrigt inga materiella eller rättsliga hinder för en snabb överföring av medel ur kapitalbasen eller återbetalning av skulder mellan moderbolaget och dess dotterföretag.

#### Primärkapital

Primärkapitalet utgörs av kärnprimärkapital respektive övrigt primärkapital.

#### Kärnprimärkapital

Kärnprimärkapitalet utgörs till största delen av aktiekapital, upparbetade vinstmedel samt övriga reserver i de bolag som ingår i den regleringsmässiga konsolideringen. I och med att koncernens försäkringsbolag inte ingår i

konsolideringen, se tabell EU L13, ingår inte upparbetade vinstmedel i dessa bolag i kärnprimärkapitalet. De poster som ska exkluderas från kärnprimärkapitalet är främst goodwill och andra immateriella tillgångar samt kapitaltillskott till försäkringsbolag i koncernen eller vissa uppskjutna skattefordringar som överstiger 10% av kärnprimärkapitalet. Summan av kapitaltillskott och uppskjutna skattefordringar får heller inte överstiga 15% av kärnprimärkapitalet. Eftersom varken kapitaltillskotten till försäkringsbolagen i koncernen eller de uppskjutna skattefordringarna överstiger tröskelvärdet, belastar dessa inte kärnprimärkapitalet. Neutralitetsjustering görs för påverkan som kassaflödessäkringar har haft på eget kapital. Dessutom ska en prisjustering beräknas och vid behov görs för försiktig värdering av instrument som värderas till verkligt värde. Institut som har tillstånd att använda interna riskklassificeringsmodeller ska göra ett avdrag för skillnaden mellan förväntad kreditförlust enligt Internmetoden och gjorda reserveringar för sannolika kreditförluster i det fall de förväntade kreditförlusterna överstiger gjorda reserveringar. Avdrag ska även göras för nettovärdet av redovisade övervärden i pensionsstillgångar. Avdraget får emellertid minskas med ett belopp som motsvarar bankens rätt till ersättning för pensionskostnader från Handelsbankens Pensionsstiftelse. Vidare görs ett avdrag för tillstånd att inneha egna aktier i egenskap av marknadsgarant. Avdraget ska motsvara det högsta marknadsvärdet tillståndet omfattar. Slutligen görs ett avdrag för investeringar i värdepappersföretag samt en justering för effekten av förändringar i egen kreditrisk i derivat.

#### Övrigt primärkapital

Övrigt primärkapital utgörs av instrument som uppfyller kraven för primärkapitaltillskott. Bland annat ska tillskotten ha en låg löptid och kunna förtidsinlösas tidigast efter fem år och först efter ett tillstånd utfärdats av tillsynsmyndigheten. Det nominella värdet ska kunna skrivas ned eller konverteras till aktier för att skapa kärnprimärkapital vid en förutbestämd nivå på kärnprimärkapitalet, och räntebetalningarna ska oavkortligt kunna ställas in.

Bankens samtliga primärkapitaltillskott uppgår till 15,6 mdkr. 10,4 mdkr av dessa emitterades under 2020 och 5,2 mdkr emitterades under 2019, samtliga uppfyller kraven enligt CRR. I det fall utdelningsbara medel saknas måste kupongutbetalningar ställas in för primärkapitaltillskott.

## K52 Forts

**Supplementärkapital**

Det supplementära kapitalet utgörs av förlagslån med en löptid om minst fem år. Avdrag görs för förlagslånetillskott till försäkringsbolagen inom koncernen.

**KAPITALKRAV****Kreditrisk**

Kapitalkravet för kreditrisk beräknas enligt schablonmetoden och Intermetoden enligt CRR. För Intermetoden finns två olika metoder: Intermetoden med egen skattning av PD men utan egna skattningar av LGD och KF (den grundläggande Intermetoden) och Intermetoden med egna skattningar av PD, LGD och KF (den avancerade Intermetoden).

Handelsbanken tillämpar den grundläggande Intermetoden för exponeringar mot institut, samt för vissa produkt- och säkerhetstyper avseende företagsexponeringar samt vissa exponeringar i dotterbolagen Stadshypotek AB, Handelsbanken Finans AB och Ecster AB.

Den avancerade Intermetoden tillämpas för merparten av exponeringarna mot stora företag, medelstora företag, fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar samt i Stadshypotek AB och Handelsbanken Finans AB. Detsamma gäller för hushållsexponeringar i Sverige och Norge och i dotterbolagen Stadshypotek och Handelsbanken Finans samt Finland och dotterbolaget Ecster AB. Kapitalkravet för aktieexponeringar i Intermetoden beräknas enligt förenklad riskviktsmetod.

Kreditrisken för samtliga exponeringar i Handelsbankens dotterbolag Handelsbanken plc beräknas på solo- och konsoliderad nivå i enlighet med schablonmetoden.

Intermetoden omfattade vid årsskiftet 74% (74) av det totala riskvägda exponeringsbeloppet för kreditrisk. För resterande kreditriskexponeringar beräknas kapitalkravet enligt schablonmetoden.

Den genomsnittliga riskvikten för exponeringar godkända för Intermetoden minskade under året och uppgick till 9,7% (10,1). Minskningen beror främst på portföljfördelning där exponeringsklasser med lägre riskvikter: stater, bostadsrättsföreningar och hushåll, proportionellt sett ökat mer än de med högre riskvikter. Den genomsnittliga riskvikten inklusive riskviktsgolven enligt Peilars 1 för bolån i Sverige och Norge samt för företagsexponeringar med pant i fastigheter i Norge blir 17,7% (18,2).

Kreditkvaliteten är god. Av Handelsbankens företagsexponeringar var 98,7% (98,4) kunder med en bedömd återbetalningsförmåga som var normal, eller bättre än normal, det vill säga

hade en riskklassificering mellan 1 och 5 i bankens logradiga skala för riskklassificering.

**Marknadsrisk**

Kapitalkravet för marknadsrisk beräknas för bankens konsoliderade situation. Kapitalkravet för ränterisker och aktiekursrisker beräknas dock endast för positioner i handelslagret. Vid beräkning av kapitalkravet för marknadsrisker tillämpas schablonmetoden.

**Operativ risk**

Handelsbanken använder schablonmetoden för att beräkna kapitalkravet för operativa risker. Kapitalkravet enligt schablonmetoden beräknas genom att en i regelverket bestämd faktor multipliceras med den genomsnittliga rörelseintäkten under de tre senaste verksamhetsåren. Olika faktorer tillämpas för olika affärssegment.

Det totala kapitalkravet för operativa risker för konsoliderad situation uppgick vid utgången av 2022 till 5 732 mkr (5 573).

**KAPITALTÄCKNING FÖR DET FINANSIELLA KONGLOMERATET**

Institut och försäkringsföretag som ingår i ett finansiellt konglomerat ska ha en kapitalbas som är tillräckligt stor med hänsyn till kapitalkravet för det finansiella konglomeratet. Kapitalbasen och kapitalkravet för det finansiella konglomeratet har beräknats i enlighet med avräknings- och totalmetoden (metod 2, bilaga 1, direktiv 2002/87/EG). Det finansiella konglomeratets sammanlagda kapitalbas överstiger det finansiella konglomeratets kapitalkrav.

**MINIMIKRAVET PÅ KAPITALBAS OCH KVALIFICERADE SKULDER (MREL)**

Krishanteringsdirektivet (EU) nr 2014/59 (BRRD) infördes i Sverige genom lagen (2015:1016) om resolution. Regelverket innehåller sätt att hantera banker i kris och möjliggör för myndigheter att, inom dessa ramar, ta kontroll över, omstrukturera och sälja av hela eller delar av en bank. Detta utan att likvidera eller försätta banken i konkurs. Som tillägg till ovan åtgärder i kris, innebär regelverket en möjlighet att skriva ned vissa skuldinstrument för att återkapitalisera en krisutsatt bank.

Som en del av detta regelverk infördes ett minimikrav på kapitalbas och kvalificerade skulder (MREL) från och med den 1 januari 2018. Kravet beslutas i bankens resolutionsplan som upprättas av Riksgälden i samarbete med Finansinspektionen. Kravet består av ett förlustabsorberingsbelopp och ett återkapitaliseringsbelopp.

Under 2021 anpassades regelverket till nya EU-direktiv (bankpaketet). MREL ska uttryckas som en riskvägd kvot samt en bruttosoldittetskvot. Det kombinerade buffertkravet ska uppfyllas med kärnprimärkapital (utöver det kärnprimärkapital som används till MREL) och ett obligatoriskt efterställningskrav införs. För att uppfylla kravet på efterställning har en ny typ av skuldinstrument införts i svensk lagstiftning från december 2018. Dessa efterställs nuvarande seniora skuldinstrument, men rankas högre än kapitalbasinstrument vid ett resolutionsförfarande. Handelsbanken har emitterat denna typ av efterställda skuldinstrument under 2019–2022. De nya kraven skavara uppfyllda senast den 1 januari 2024, men övergångsregler tillämpas från 1 januari 2022.

För 2023, uppgår Handelsbankens totala MREL-krav avseende riskvägt belopp till 23,8% och avseende bruttosoldittet till 5,5% på konsoliderad nivå. På motsvarande sätt uppgår efterställningskravet till 16,8% respektive 5,5%. Handelsbanken uppfyller samtliga MREL-krav.

## NOTER | KONCERNEN

## K52 Forts

## EUL3 – Översikt över skillnader mellan olika konsolideringar (enhet per enhet)

Tabellen visar konsolideringsgrund för företag som omfattas av den konsoliderade situationen vid årets slut.

	Organisationsnummer	Ägarandel %	Metod för konsolidering enligt redovisningsregler	Metod för konsolidering enligt tilläggsregler			Beskrivning av enheten
				Fullständig konsolidering	Proportional konsolidering	Kapitalandelsmetoden	
Handelsbanken AB (publ)	002007-7882	Ej tillämpligt	Moderbolag	N/A			Kreditinstitut
Handelsbanken Finans AB	556053-0841	100	Fullständig konsolidering	X			Kreditinstitut
Stadshypotek AB	556459-6715	100	Fullständig konsolidering	X			Kreditinstitut
Svenska Infoteknings Garanti AB Sgab (inaktiv)	556432-7285	100	Fullständig konsolidering	X			Ickefinansiella företag
Handelsbanken Fondbolagsförvaltning AB	556070-0688	100	Fullständig konsolidering	X			Övriga finansiella företag
Handelsbanken Fonder AB	556418-8851	100	Fullständig konsolidering	X			Övriga finansiella företag
AB Handel och Industri	556013-5336	100	Fullständig konsolidering	X			Ickefinansiella företag
Ecstar AB	556093-2311	100	Fullständig konsolidering	X			Kreditinstitut
Handelsbanken Plc	11305395	100	Fullständig konsolidering	X			Kreditinstitut
Handelsbanken Wealth and Asset Management Limited	04132340	100	Fullständig konsolidering	X			Övriga finansiella företag
Heartwood Nominees Limited (inaktiv)	2292877	100	Fullständig konsolidering	X			Ickefinansiella företag
Heartwood Second Nominees Limited (inaktiv)	3193458	100	Fullständig konsolidering	X			Ickefinansiella företag
Heartwood ACO Limited	4392528	100	Fullständig konsolidering	X			Ickefinansiella företag
Svenska Property Nominees Limited (inaktiv)	2308524	100	Fullständig konsolidering	X			Ickefinansiella företag
Optimix Vermogensbeheer N.V.	33194359	100	Fullständig konsolidering	X			Övriga finansiella företag
Add Value Fund Management B.V.	19196768	80	Fullständig konsolidering	X			Övriga finansiella företag
Optimix Beheer en Belegging B.V. (inaktiv)	33186584	100	Fullständig konsolidering	X			Ickefinansiella företag
Handelsbanken Markets Securities, Inc.	11-3257438	100	Fullständig konsolidering	X			Övriga finansiella företag
Handelsbanken Raholms Oy	0112308-8	100	Fullständig konsolidering	X			Övriga finansiella företag
Handelsbanken Fastigheter AB	556873-0021	100	Fullständig konsolidering	X			Ickefinansiella företag
Rådstupass 4 A/B	910508423	100	Fullständig konsolidering	X			Ickefinansiella företag
Handelsbanken Ventures AB	556993-9357	100	Fullständig konsolidering	X			Ickefinansiella företag
Bidtruster AB	556993-9084	100	Fullständig konsolidering	X			Ickefinansiella företag
Gröna stugan i Stockholm AB	559311-4712	100	Fullständig konsolidering	X			Ickefinansiella företag
Bankomat AB	556817-9716	20	Kapitalandelsmetoden			X	Ickefinansiella företag
BGC Holding AB	556607-0993	25,54	Kapitalandelsmetoden			X	Ickefinansiella företag
Torig AB	556564-5404	100	Kapitalandelsmetoden			X	Ickefinansiella företag
Finansiell ID-tjänst BID AB	556630-4928	28,3	Kapitalandelsmetoden			X	Ickefinansiella företag
USE Introsätter AB	559161-9464	24,48	Kapitalandelsmetoden			X	Ickefinansiella företag
Getawish AB	556913-7382	20	Kapitalandelsmetoden			X	Ickefinansiella företag
P 27 Nordic Payments Platform AB	559198-9610	16,7	Kapitalandelsmetoden			X	Ickefinansiella företag
Invidam AB	559210-0779	16,7	Kapitalandelsmetoden			X	Ickefinansiella företag
Tibem AB	559384-3542	14,3	Kapitalandelsmetoden			X	Ickefinansiella företag
Handelsbanken Liv Försäkring AB (koncern exkl. Handelsbanken Fastigheter AB)	516401-8284	100	Fullständig konsolidering				Försäkringsenhet

## NOTER | KONCERNEN

## K52 Forts

Översikt över skillnader mellan olika konsolideringar (enhet per enhet) 2022	Metod för konsolidering enligt tillägsregler								
	Organisationsnummer	Ägarandel %	Metod för konsolidering enligt redovisningsregler	Fullständig konsolidering	Proportional konsolidering	Kapitalandelsmetoden	Varken konsoliderad eller avdragen	Avdragen	Beskrivning av enheten
Svenska Ra S.A.	RCB Lux B-32053	100	Fullständig konsolidering					X	Försäkringsenhet
Handelsbanken Skadeförsäkrings AB	516401-6767	100	Fullständig konsolidering					X	Försäkringsenhet
SHB Liv Försäkringsaktiebolag	2478149-7	100	Fullständig konsolidering				X		Försäkringsenhet
Svenska RYA International Insurance Services AB (inaktiv)	556324-2964	100	Fullständig konsolidering					X	Försäkringsenhet
Dyson Group plc	00163096	27	Kapitalandelsmetoden					X	Icke-finansiella företag
Dyson Industries Ltd	1187031	100						X	Icke-finansiella företag
Bespant Ltd	177682	100						X	Icke-finansiella företag
Pickford Holland & Company Ltd	128414	100						X	Icke-finansiella företag
Millennium Mabatals Inc	-	100						X	Icke-finansiella företag
Dyson US Holdings Inc	-	100						X	Icke-finansiella företag
EPN Ekonomikanalen AB	556930-1608	100						X	Icke-finansiella företag

EUL2- Huvudeckliga källor till skillnader mellan exponeringsbelopp enligt tillägskrav och bokförda värden i finansiella rapporter  
Tabellen visar skillnaden mellan bokförda värden enligt konsolideringen enligt tillägskrav och exponeringsbelopp som beaktas för tillägsändamål.

Huvudeckliga källor till skillnader mellan exponeringsbelopp enligt tillägskrav och bokförda värden i finansiella rapporter 2022	Summa	Poster som är föremål för			
		kreditriskramen	värdepappersramen	motparts-kreditriskramen	marknadsriskramen
1 Belopp för tillgångars bokförda värde enligt konsolideringen enligt tillägskrav (enligt mall LH)	3 219 316	3 145 161	66 668	374	17 212
2 Belopp för skuldars bokförda värde enligt konsolideringen enligt tillägskrav (enligt mall LH)	11 084				11 084
3 Totalt nettobelopp enligt konsolideringen enligt tillägskrav	3 204 661	3 145 161	66 668	374	2 468
4 Belopp utanför balansräkningen	605 033	605 033			
5 Skillnader i värderingar					
6 Skillnader på grund av olika värderingsregler, utöver de som redan är inbegripna på rad 2	-11 031		-11 031		
7 Skillnader på grund av beaktande av avstämningar	2 201	2 201		0	
8 Skillnader på grund av användning av kreditriskreducerande metoder	-25 437	10 103	-35 540		
9 Skillnader på grund av kreditkonverteringsfaktorer	-283 901	-283 901			
10 Skillnader på grund av värdepappersärling med risköverföring					
11 Andra skillnader	21 014		21 014		
12 Exponeringsbelopp som beaktas för tillägsändamål	3 412 440	3 378 667	31 011	374	2 468

## NOTER | KONCERNEN

## K52 Forts

## EUINS2 – Information från finansiella konglomerat om kapitalbas och kapitaltäckningskvot

Information från finansiella konglomerat om kapitalbas och kapitaltäckningskvot		2022	2021
1	Det finansiella konglomerats extra kapitalbas (belopp)	10 759	14 387
2	Det finansiella konglomerats kapitaltäckningskvot (%)	130,0%	130,7%

## EUKM – Mall för nyckeltal

Nyckeltal 2022		2022	2021
Tillgänglig kapitalbas (belopp)			
1	Kärnprimärkapital	158 551	149 709
2	Primärkapital	174 134	163 222
3	Totalt kapital	193 186	180 458
Riskvägda exponeringsbelopp			
4	Totalt riskvägda exponeringsbelopp	810 144	773 158
Kapitalrelationer (som en procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)			
5	Kärnprimärkapitalrelation (%)	19,6%	19,4%
6	Primärkapitalrelation (%)	21,5%	21,1%
7	Total kapitalrelation (%)	23,8%	23,3%
Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera andra risker än risken för alltför låg bruttosollditet (som en procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)			
EU 7a	Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera andra risker än risken för alltför låg bruttosollditet (%)	2,1%	1,9%
EU 7b	varav: ska utgöras av kärnprimärkapital (procentenheter)	1,9%	1,2%
EU 7c	varav: ska utgöras av primärkapital (procentenheter)	1,6%	1,5%
EU 7d	Totala kapitalbaskrav för översyns- och utvärderingsprocessen (%)	10,1%	9,9%
Kombinerat buffertkrav och samlat kapitalkrav (som en procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)			
8	Kapitalkonserveringsbuffert (%)	2,5%	2,5%
EU 8a	Konserveringsbuffert på grund av kreditlynsrisker eller systemrisk identifierade på medlemsstatnivå (%)		
9	Institutspecifik kontradisk kapitalbuffert (%)	1,0%	0,1%
EU 9a	Systemriskbuffert (%)	3,2%	3,0%
10	Buffert för globalt systemviktigt institut (%)		
EU 10a	Buffert för andra systemviktiga institut (%)	1,0%	1,0%
11	Kombinerat buffertkrav (%)	7,7%	6,6%
EU 11a	Barniade kapitalkrav (%)	17,8%	16,5%
12	Tillgängligt kärnprimärkapital efter uppfyllande av de totala kapitalbaskraven för översyns- och utvärderingsprocessen (%)	13,7%	13,9%
Bruttosollditetsgrad			
13	Totalt exponeringsmåt	3 341 332	3 232 291
14	Bruttosollditetsgrad (%)	5,2%	5,0%
Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera risken för alltför låg bruttosollditet (som en procentandel av det totala exponeringsmåt)			
EU 14a	Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera risken för alltför låg bruttosollditet (%)		
EU 14b	varav: ska utgöras av kärnprimärkapital (procentenheter)		
EU 14c	Totala krav avseende bruttosollditetsgrad för översyns- och utvärderingsprocessen (%)	3,0%	3,0%
EU 14d	Krav på bruttosollditetsbuffert (%)		
EU 14e	Barniade bruttosollditetskrav (%)		
Likviditetstäckningskvot			
15	Totala högkvalitativa likvida tillgångar (mätat värde - genomsnitt)	885 096	778 654
EU 16a	Likviditetsutlöden - totalt värdet	645 218	595 289
EU 16b	Likviditetsutlöden - totalt värdet	83 191	68 295
16	Totala netto likviditetsutlöden (justerat värde)	562 026	526 994
17	Likviditetstäckningskvot (%)	159%	149%
Stabil nettofinansieringskvot			
18	Total tillgänglig stabil finansiering	2 036 992	2 026 413
19	Totalt behov av stabil finansiering	1 793 997	1 774 542
20	Stabil nettofinansieringskvot (%)	114%	114%

## NOTER | KONCERNEN

## K52 Forts

## EU OV1 – Översikt över totala riskvägda exponeringsbelopp

Tabellen visar riskvägda exponeringsbelopp (REA) för kreditrisk, motpartsrisk, marknadsrisk och operativ risk per utgången av 2022 och föregående år. Kreditrisk är beräknad enligt schablonmetoden, den grundläggande internmetoden och den avancerade internmetoden. Marknadsrisk och operativ risk är beräknade enligt schablonmetoden.

Översikt över totala riskvägda exponeringsbelopp		Totala riskvägda exponeringsbelopp		Totala kapitalbaskrav
		2022	2021	2022
mkr				
1	Kreditrisk (aktiva motparts-kreditrisk)	692 008	684 075	56 361
2	varav schablonmetoden	182 775	178 552	14 622
3	varav den grundläggande internmetoden (F-IRB)	57 700	48 100	4 136
4	varav avancerade internmetoden			
EU 4a	varav aktier enligt den enkla riskvägda metoden	2 108	3 427	160
5	varav den avancerade internmetoden (A-IRB)	221 403	224 095	17 712
5a	varav riskvägda	234 020	229 900	18 722
6	Motparts-kreditrisk	11 833	12 255	947
7	varav schablonmetoden	8 255	8 924	660
8	varav metoden med interna modifier			
EU 8a	varav exponeringar mot en central motpart	174	212	14
EU 8b	varav kreditvärderingsjustering	2 802	2 614	224
9	varav andra motparts-kreditrisk	602	505	48
10	Ej tillämpligt			
11	Ej tillämpligt			
12	Ej tillämpligt			
13	Ej tillämpligt			
14	Ej tillämpligt			
15	Avvecklingsrisk		15	
16	Värdepappersförings-exponeringar utanför handelslagret (efter tillämpning av tabell)			
17	varav intern kreditvärderingsmetod för värdepappersföring			
18	varav extern kreditvärderingsmetod för värdepappersföring (inbegripet internbedömningsmetoden)			
19	varav schablonmetoden för värdepappersföring			
EU 19a	varav 250 %/avdrag			
20	Positioner, valutakursrisk och råvarurisk (marknadsrisk)	34 654	7 145	2 772
21	varav schablonmetoden	34 654	7 145	2 772
22	varav metoden för interna modifier			
23	Operativ risk	71 681	60 668	5 732
EU 23a	varav basmetoden			
EU 23b	varav schablonmetoden	71 651	60 668	5 732
EU 23c	varav internmättningsmetoden			
24	Belopp under bröskarna för avdrag (föremål för riskminskning på 250 %)			
25	Ej tillämpligt			
26	Ej tillämpligt			
27	Ej tillämpligt			
28	Ej tillämpligt			
29	Summa	810 144	773 198	64 812

## Marknadsrisk som behandlas enligt schablonmetoden

Tabellen visar kapitalkrav för marknadsrisk enligt schablonmetoden per utgången av 2022.

Marknadsrisk som behandlas enligt schablonmetoden	Kapitalkrav	
	2022	2021
mkr		
<b>Direkta produkter</b>		
Ränterisk (allmän och specifik)	176	190
Aktierisk (allmän och specifik)	1	1
Valutarisk	2 576	357
Råvarurisk	0	1
<b>Optioner</b>		
Förenklad metod	-	-
Delta-plus-metod	-	-
Scenario-metod	19	14
Värdepappersföring (specifik risk)	-	-
Summa kapitalkrav för marknadsrisk	2 772	672

## NOTER | KONCERNEN

## K52 Forts

**Krav på kapitalbas och kvalificerade skulder (MREL)**

MREL-kravet uttrycks som en andel av kapitalbas och kvalificerade skulder i förhållande till riskexponeringsbeloppet respektive bruttosolditet (SFS 2015:1016). Bankens krav bestäms en gång per år av Riksgälden och slutligt krav tasas in i närt under en övergångsperiod från 1 januari 2022 till 1 januari 2024.

%	2022
Risikvägt MREL-krav	19,9
Tillgänglig kapitalbas och kvalificerade skulder	36,5
Isko-risikvägt MREL-krav	5,0
Tillgänglig kapitalbas och kvalificerade skulder	10,7
<hr/>	
%	2022
Risikvägt efterställningskrav	13,5
Tillgänglig kapitalbas och efterställda kvalificerade skulder	21,9
Isko-risikvägt efterställningskrav	5,0
Tillgänglig kapitalbas och efterställda kvalificerade skulder	7,2

RESULTATRÄKNING | MODERBOLAGET

# Resultaträkning Moderbolaget

mk		2022	2021
Räntetäckter	Not M3	41 488	14 325
Leasingintäkter	Not M3	1 826	1 899
Räntekostnader	Not M3	-25 084	-2 722
Ehållna utdelningar	Not M4	16 953	17 611
Provisionsintäkter	Not M5	6 515	6 877
Provisionskostnader	Not M5	-1 348	-1 647
Nettorasultat av finansiella transaktioner	Not M6	820	1 808
Övriga rörelseintäkter	Not M7	4 841	3 576
<b>Summa rörelseintäkter</b>		<b>48 011</b>	<b>41 727</b>
<b>Allmänna administrationskostnader</b>			
Personalkostnader	Not M8	-11 990	-10 242
Övriga administrationskostnader	Not M9	-7 415	-6 002
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella anläggningstillgångar	Not M21, M22	-2 459	-2 903
<b>Summa kostnader före kreditförluster</b>		<b>-21 864</b>	<b>-19 047</b>
<b>Resultat före kreditförluster, riskskatt och resolutionsavgift</b>		<b>24 148</b>	<b>22 680</b>
Kreditförluster, netto	Not M10	-41	-55
Nedskrivning av finansiella anläggningstillgångar		-2 305	-1 180
Riskskatt och resolutionsavgift	Not M11	-1 331	-366
<b>Rörelseresultat</b>		<b>20 471</b>	<b>21 079</b>
Bokslutsdispositioner	Not M12	-180	227
<b>Resultat före skatter</b>		<b>20 311</b>	<b>21 306</b>
Skatter	Not M20	-4 856	-4 618
<b>Årets resultat</b>		<b>15 455</b>	<b>16 688</b>

TOTALRESULTAT | MODERBOLAGET

# Totalresultat Moderbolaget

milj	2022	2021
Årets resultat	15 455	16 688
<b>Övrigt totalresultat</b>		
<b>Poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen</b>		
Eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	41	62
Skatt på poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	-19	-3
varav eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-19	-3
<b>Summa poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen</b>	<b>22</b>	<b>59</b>
<b>Poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen</b>		
Kassafödersäkringar	3 411	246
Skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-61	6
Årets omräkningsdifferens	1 326	1 034
varav säkring av nettolån i utländsk valuta	-83	-63
Skatt på poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	-1 251	-39
varav kassafödersäkringar	-703	-51
varav skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	6	-1
varav säkring av nettolån i utländsk valuta	17	13
varav skatt på omräkningsdifferens	-57,2	
<b>Summa poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen</b>	<b>3 426</b>	<b>1 247</b>
<b>Summa övrigt totalresultat</b>	<b>3 447</b>	<b>1 306</b>
<b>Årets totalresultat</b>	<b>18 902</b>	<b>17 994</b>

Årets omklassificeringar till resultaträkningen framgår av Förändring i eget kapital.

BALANSRÄKNING | MODERBOLAGET

## Balansräkning Moderbolaget

mk		2022	2021
<b>TILLGÅNGAR</b>			
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		376 010	338 768
Betalningsbara statskuldförbindelser m m	Not M15	132 778	100 538
Utlåning till kreditinstitut	Not M13	1 025 664	986 897
Utlåning till allmänheten	Not M14	637 721	611 852
Värdeförändring på räntebärande post i portföljstämning		-16 611	-1 904
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Not M15	33 339	34 323
Aktier och andelar	Not M16	7 112	13 481
Aktier och andelar i koncern- och intresseföretag samt joint ventures	Not M17	70 483	71 967
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken		2 387	8 952
Derivatinstrument	Not M18	52 360	90 946
Immateriella tillgångar	Not M21	3 144	3 129
Fastigheter, inventarier och leasingobjekt	Not M22	6 530	7 043
Aktuella skattefordringar		30	0
Uppskjutna skattefordringar	Not M29	617	668
Övriga tillgångar	Not M23	30 166	22 287
Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	Not M24	1 159	1 187
<b>Summa tillgångar</b>	<b>Not M36</b>	<b>2 982 880</b>	<b>2 230 134</b>
<b>SKULDER OCH EGET KAPITAL</b>			
Skulder till kreditinstitut	Not M25	169 617	153 490
In- och upplåning från allmänheten	Not M26	1 137 272	1 173 172
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken		2 387	8 952
Emitterade värdepapper m m	Not M27	806 013	679 808
Derivatinstrument	Not M18	36 985	21 033
Korta positioner	Not M28	1 939	4 105
Aktuella skatteskulder		0	264
Uppskjutna skatteskulder	Not M29	1 193	436
Avsättningar	Not M30	646	1 011
Övriga skulder	Not M31	6 779	7 631
Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	Not M32	2 901	3 049
Efterställda skulder	Not M33	42 404	32 257
<b>Summa skulder</b>	<b>Not M36</b>	<b>2 208 135</b>	<b>2 086 208</b>
<b>Obeskattade reserver</b>	<b>Not M34</b>	<b>887</b>	<b>706</b>
Aktiekapital		3 069	3 069
Överkursfond		8 758	8 758
Andra fonder	Not M35	11 196	7 651
Balanserad vinst		115 409	108 054
Årets resultat		15 455	16 688
<b>Summa eget kapital</b>		<b>183 887</b>	<b>144 220</b>
<b>Summa skulder och eget kapital</b>		<b>2 982 880</b>	<b>2 230 134</b>

FÖRÄNDRING I EGET KAPITAL | MODERBOLAGET

# Förändring i eget kapital

## Moderbolaget

mkr	Bundet eget kapital			Fritt eget kapital				Balanserade vinster/inkl årsresultat	Totalt
	Aktiekapital	Reservfond	Fond för intjänat utvecklad programvara	Överkursfond	Säkringsreserv <sup>1)</sup>	Verkligt värde-reserv <sup>1)</sup>	Omräkningsreserv <sup>1)</sup>		
Ingående eget kapital 2022	3 060	2 882	2 013	8 708	823	188	1 076	124 742	144 220
Årets resultat								15 455	15 455
Övrigt totalresultat					2 708	-33	771		3 447
varav omklassificering inom eget kapital						-97	-573		-664
Årets totalresultat					2 708	-33	771	15 455	18 902
Omklassificerat till balanserat resultat								654	654
Utdelning								-9 900	-9 900
Fond för intjänat utvecklad programvara			98					-98	-
Utgående eget kapital 2022	3 060	2 882	3 010	8 708	3 531	128	1 847	130 884	153 887

mkr	Bundet eget kapital			Fritt eget kapital				Balanserade vinster/inkl årsresultat	Totalt
	Aktiekapital	Reservfond	Fond för intjänat utvecklad programvara	Överkursfond	Säkringsreserv <sup>1)</sup>	Verkligt värde-reserv <sup>1)</sup>	Omräkningsreserv <sup>1)</sup>		
Ingående eget kapital 2021	3 060	2 882	3 274	8 708	628	94	28	124 306	142 836
Årets resultat								16 688	16 688
Övrigt totalresultat					105	64	1 047		1 305
varav omklassificering inom eget kapital							-53		-53
Årets totalresultat					105	64	1 047	16 688	17 904
Omklassificerat till balanserat resultat								53	53
Utdelning <sup>2)</sup>								-16 688	-16 688
Fond för intjänat utvecklad programvara			-361					361	-
Utgående eget kapital 2021	3 060	2 882	2 913	8 708	823	188	1 076	124 742	144 220

<sup>1)</sup> Ingår i fond för verkligt värde.<sup>2)</sup> Ordinarie utdelning uppgick till 8 118 mkr medan extrautdelningen uppgick till 8 548 mkr. Extrautdelningen erhöj aktieägarna i form av aktier i AB Industrivärden som Svenska Handelsbanken AB förvärvat från Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse, se not M42.

KASSAFLÖDESANALYS | MODERBOLAGET

## Kassaflödesanalys Moderbolaget

mk	2022	2021
<b>LÖPANDE VERKSAMHET</b>		
Rörelseresultat	20 471	21 079
varav inbetalda räntor	37 724	14 248
varav utbetalda räntor	-22 155	-3 898
varav inbetalda utdelningar	16 953	17 611
Justering från rörelseresultat till investeringsverksamhet	-124	-
varav till Avyttning av verksamhet och dotterbolag	-542	-
varav till Försäljning av aktier och andelar	478	-
Justering för öj kassaflödespåverkande poster i rörelseresultatet		
Kreditförluster	165	85
Realiserade värdeförändringar	-2 233	418
Av- och nedskrivningar	4 764	3 983
Koncernbidrag att erhålla	-16 279	-16 685
Betalda inkomstskatter	-4 842	-4 259
Förändring i den löpande verksamhetens tillgångar och skulder		
Utlåning till kreditinstitut	-39 759	-33 248
Utlåning till allmänheten	-55 332	-43 873
Räntebärande värdepapper och aktier	-28 218	10 388
Skulder till kreditinstitut	16 500	-39 554
In- och upplåning från allmänheten	16 142	152 043
Emitterade värdepapper	126 205	22 288
Derivatinstrument, nettopositioner	-5 495	-21 476
Korta positioner	-2 010	2 476
Fondlikvidförändringar och fondlikvidskulder	-7 680	-553
Övrigt	-18 905	-9 745
<b>Kassaflöde från löpande verksamhet</b>	<b>3 370</b>	<b>44 348</b>
<b>INVESTERINGSVERKSAMHET</b>		
Avyttning av verksamhet och dotterbolag	-3 891	-
Förväv av och tillskott till intressaföretag och joint ventures	-266	-108
Försäljning av aktier och andelar	183	1
Förväv av materiella anläggningstillgångar	-4 875	-5 019
Avyttning av immateriella anläggningstillgångar	3 517	3 457
Förväv av immateriella anläggningstillgångar	-575	-450
<b>Kassaflöde från investeringsverksamhet</b>	<b>-5 907</b>	<b>-2 119</b>
<b>FINANSIERINGSVERKSAMHET</b>		
Amortering efterställda skulder	-3 000	-10 130
Emission efterställda skulder	11 845	-
Utbetald utdelning	-9 900	-16 666
Utdelningar från koncernföretag	16 685	15 135
<b>Kassaflöde från finansieringsverksamhet</b>	<b>16 630</b>	<b>-11 661</b>
varav valutakursförändringar	-	-320
<b>Årets kassaflöde</b>	<b>13 093</b>	<b>30 668</b>
Likvida medel vid årets början	338 768	297 362
Kassaflöde från löpande verksamhet	3 370	44 348
Kassaflöde från investeringsverksamhet	-5 907	-2 119
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	15 630	-11 661
Kursdifferens i likvida medel	24 140	10 840
<b>Likvida medel vid årets slut</b>	<b>376 010</b>	<b>338 768</b>
Kassaflödesanalysen har upprättats i enlighet med den indirekta metoden, vilket innebär att rörelseresultatet har justerats för transaktioner som inte medfört in- eller utbetalningar, till exempel av skrivningar och kreditförluster.		
Likvida medel definieras som kassa och tillgodohavanden hos centralbanker.		
<b>Avyttning av verksamhet och dotterbolag</b>	<b>2022</b>	
mk		
<b>Köpskilling</b>		
Total köpskilling	-1 633	
Avgår likvida medel som ingår i överlåtsan	-743	
Fordran köpare	-1 516	
<b>Likvid</b>	<b>-3 891</b>	
<b>Tillgångar och skulder som avyttrats</b>		
Utlåning till övriga kreditinstitut	993	
Utlåning till allmänheten	46 953	
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	5 480	
Andra tillgångar	370	
<b>Summa tillgångar</b>	<b>53 796</b>	
Skulder till kreditinstitut	374	
In- och upplåning från allmänheten	52 043	
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	5 480	
Andra skulder	331	
<b>Summa skulder</b>	<b>58 228</b>	
<b>Kassaflöde från löpande verksamhet</b>	<b>542</b>	

5-ÅRSÖVERSIKT | MODERBOLAGET

## 5-årsöversikt Moderbolaget

Resultaträkning mkr	2022	2021	2020	2019	2018
Räntanetto	18 230	13 502	13 456	13 039	17 234
Erhållna utdelningar	16 953	17 611	15 937	17 338	11 023
Provisionsnetto	5 167	5 230	5 692	6 011	6 218
Nettorensal av finansiella transaktioner	820	1 808	1 969	618	1 020
Övriga rörelseintäkter	4 841	3 576	2 790	2 638	2 805
<b>Summa rörelseintäkter</b>	<b>46 011</b>	<b>41 727</b>	<b>39 744</b>	<b>39 644</b>	<b>38 300</b>
Allmänna administrationskostnader					
Personalkostnader	-11 990	-10 242	-11 689	-10 148	-12 255
Övriga administrationskostnader	-7 415	-6 002	-5 684	-5 808	-6 332
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella anläggningstillgångar	-2 459	-2 803	-2 672	-2 156	-1 350
<b>Summa kostnader före kreditförluster</b>	<b>-21 864</b>	<b>-19 047</b>	<b>-20 045</b>	<b>-18 112</b>	<b>-19 937</b>
<b>Resultat före kreditförluster, riskskatt och resolutionsavgift</b>	<b>24 148</b>	<b>22 680</b>	<b>19 699</b>	<b>21 532</b>	<b>18 363</b>
Kreditförluster, netto	-41	-55	-477	-1 059	-835
Nedskrivning av finansiella anläggningstillgångar	-2 305	-1 180	-79	-148	-
Riskskatt och resolutionsavgift	-1 331	-366	-385	-	-
<b>Rörelseresultat</b>	<b>20 471</b>	<b>21 079</b>	<b>18 758</b>	<b>20 325</b>	<b>17 528</b>
Bokslutsdispositioner	-160	227	743	-380	332
<b>Resultat före skatt</b>	<b>20 311</b>	<b>21 306</b>	<b>19 501</b>	<b>19 945</b>	<b>17 860</b>
Skatter	-4 856	-4 618	-4 275	-4 297	-4 005
<b>Årets resultat</b>	<b>15 455</b>	<b>16 688</b>	<b>15 226</b>	<b>15 648</b>	<b>13 855</b>
Utdelning för året	15 840 <sup>1</sup>	9 900	16 666	-	10 693

<sup>1</sup> Enligt styrelsens förslag.

Förån och med första kvartalet 2022 redovisas resolutionsavgiften ej längre i räknerisot, utan istället på ny rad inom rörelseresultatet. På samma resultatrad redovisas även riskskatten. De i tabellen redovisade jämförelseifromma har därför omräknats för åren 2021 och 2020.

Totalresultat mkr	2022	2021	2020	2019	2018
<b>Årets resultat</b>	<b>15 455</b>	<b>16 688</b>	<b>15 226</b>	<b>15 648</b>	<b>13 855</b>
<b>Övrigt totalresultat</b>					
Poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen					
Egenkapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	41	62	-589	372	-188
Skatt på poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	-19	-3	11	-21	1
varav egenkapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-79	-3	77	-27	7
<b>Summa poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen</b>	<b>22</b>	<b>60</b>	<b>-672</b>	<b>361</b>	<b>-187</b>
Poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen					
Kassafödersäkringar	3 411	246	-1 677	1 751	829
Skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-61	6	7	7	-12
Instrument tillgängliga för försäljning (AAS 39)					
Årets omräkningsdifferens	1 326	1 034	-2 184	-259	41
varav säkring av nettotillgångar i utövande verksamhet	-83	-63	-256	-826	-848
Skatt på poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	-1 251	-39	420	-200	19
varav kassafödersäkringar	-703	-67	365	-375	-178
varav skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	6	-7	-7	-2	3
varav säkring av nettotillgångar i utövande verksamhet	77	73	56	177	194
varav omräkningsdifferens	-572				
<b>Summa poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen</b>	<b>3 426</b>	<b>1 247</b>	<b>-3 434</b>	<b>1 299</b>	<b>877</b>
<b>Summa övrigt totalresultat</b>	<b>3 447</b>	<b>1 306</b>	<b>-4 006</b>	<b>1 660</b>	<b>690</b>
<b>Årets totalresultat</b>	<b>18 902</b>	<b>17 994</b>	<b>11 220</b>	<b>17 308</b>	<b>14 545</b>

216

HANDELSBANKEN | ÅRS- OCH HÅLLBARHETSREDOVISNING 2022

## 5-årsöversikt Moderbolaget, forts

Balansräkning mkr	2022	2021	2020	2019	2018
<b>Tillgångar</b>					
Utlåning till allmänheten	637 721	611 852	566 145	520 175	611 699
Utlåning till kreditinstitut	1 025 664	986 897	953 650	890 557	841 085
Räntebärande värdepapper	166 117	134 861	145 648	156 466	169 911
Övriga tillgångar	533 387	406 524	459 420	412 307	431 004
<b>Summa tillgångar</b>	<b>2 362 889</b>	<b>2 230 134</b>	<b>2 124 863</b>	<b>2 079 005</b>	<b>2 053 699</b>
<b>Skulder och eget kapital</b>					
In- och upplåning från allmänheten	1 137 272	1 173 172	1 021 130	918 146	839 835
Skulder till kreditinstitut	169 617	153 490	193 054	208 697	261 735
Emitterade värdepapper	806 013	679 808	657 520	724 640	716 531
Efterställda skulder	42 404	32 257	41 082	35 546	51 085
Övriga skulder	52 829	46 481	68 905	59 863	62 565
Obeskaffade reserver	867	705	933	1 678	886
Eget kapital	153 887	144 220	142 839	130 935	121 052
<b>Summa skulder och eget kapital</b>	<b>2 362 889</b>	<b>2 230 134</b>	<b>2 124 863</b>	<b>2 079 005</b>	<b>2 053 699</b>
<b>Nyckeltal</b>	<b>2022</b>	<b>2021</b>	<b>2020</b>	<b>2019</b>	<b>2018</b>
Kärnprimärkapitalrelation, % enligt CRR	29,4	30,2	31,7	20,2	18,7
Primärkapitalrelation, % enligt CRR	32,9	33,4	34,6	23,0	21,0
Total kapitalrelation, % enligt CRR	37,2	37,4	38,8	26,2	24,1
Räntabilitet på totalt kapital, %	0,63	0,72	0,65	0,74	0,63

För definitioner av alternativa nyckeltal hänvisas till sidan 265 och för beräkning av dessa nyckeltal hänvisas till Faktaboken som finns tillgänglig på handelsbanken.com/fovr.

NOTER | MODERBOLAGET

# Noter Moderbolaget

## M1 Redovisningsprinciper

### Lag- och föreskriftsenlighet

Moderbolagets årsredovisning är upprättad i enlighet med lagen 1995:1559 om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag (ÅRKL) och Finansinspektionens föreskrifter och allmänna råd FFFS 2008:25 om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag. Moderbolaget tillämpar också RFR 2 Redovisning för juridiska personer och uttalanden från Rådet för finansiell rapportering. I enlighet med Finansinspektionens allmänna råd tillämpar moderbolaget så kallad lagbegränsad IFRS. Det innebär att de internationella redovisningsstandarder och tolkningar av dessa standarder som har antagits av EU har tillämpats i den utsträckning som det är möjligt inom ramen för nationella lagar och föreskrifter samt sambandet mellan redovisning och beskattning.

**Sambandet mellan moderbolagets och koncernens redovisningsprinciper**  
Moderbolagets redovisningsprinciper överensstämmer i stora delar med koncernens. I det följande redogörs endast för de områden där moderbolagets principer skiljer sig från koncernens. I allt övrigt hänvisas till redovisningsprinciperna för koncernen i not K1.

### Presentation

Moderbolaget tillämpar de uppställningsformer för resultat- och balansräkning som följer av ÅRKL och Finansinspektionens föreskrifter. Det innebär främst följande skillnader i förhållande till den uppställning som tillämpas av koncernen:

- Fordringar på centralbanker som är direkt disponibla på anmodan redovisas i moderbolagets balansräkning som utlåning till kreditinstitut. I koncernens balansräkning redovisas de i posten Övrig utlåning till centralbanker.
- Broker- och börskostnader redovisas i moderbolaget som Provisionskostnader.
- Erhållna utdelningar redovisas på särskild rad i moderbolagets resultaträkning.
- Resultat vid avyttring av materiella och immateriella anläggningstillgångar redovisas i moderbolaget som övrig intäkt eller kostnad.
- Obeskattade reserver redovisas i moderbolaget i en egen balanspost. I koncernen delas de upp i egen kapitalandel respektive skatteskuld.

### Tillgångar som innehas för försäljning och avvecklad verksamhet

Anläggningstillgångar med begränsad nyttjandeperiod skrivs av över nyttjandeperioden i enlighet med Årsredovisningslagen under tiden

dessa är klassificerade som att de innehas för försäljning. Någon särredovisning av nettoresultat efter skatt från avvecklad verksamhet sker inte i moderbolagets resultaträkning. I balansräkningen görs inte heller någon särskild uppdelning av tillgångar respektive skulder som innehas för försäljning. För upplysningar om tillgångar respektive skulder som innehas för försäljning samt avvecklad verksamhet se not M46.

### Aktier och andelar i dotter- och intresseföretag samt joint ventures

Aktier och andelar i dotterföretag och intresseföretag samt joint ventures värderas till anskaffningsvärde. Varje balansdag provas alla innehav för att bedöma om de behöver skrivas ner. I de fall värdet har minskat sker nedskrivning till koncernmässigt värde. Eventuella nedskrivningskostnader klassificeras i resultaträkningen som Nedskrivning av finansiella tillgångar. Utdelningar på aktier i dotter- och intresseföretag samt joint ventures redovisas som Intäkt i resultaträkningen i posten Erhållna utdelningar.

### Säkringsredovisning

Verkligt värde säkring tillämpas med avseende på valutakursrisken hänförlig till aktier i utländska dotterföretag. Den säkrade posten utgörs av den första delen av det nominella beloppet avseende investeringen i aktier i respektive utländskt dotterföretag. Säkringsinstrumenten utgörs av upplåning i moderbolaget som finansierar investeringen. Vinsten eller förlusten på säkringsinstrumentet redovisas i resultaträkningen tillsammans med förändringen av valutakursrisken på den delen av investeringen i dotterföretaget som utgör säkrad post.

### Finansiella garantier

Finansiella garantier i form av borgensförbindelser till förmån för dotter- och intresseföretag samt joint ventures redovisas i moderbolaget som en avsättning i balansräkningen. I den utsträckning moderbolaget har ett befintligt åtagande och betalning sannolikt krävs för att reglera åtagandet.

### Immateriella tillgångar

I moderbolaget görs avskrivningar på Inkrämsgoodwill och andra immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod i enlighet med bestämmelserna i ÅRKL. De kundrelationer som förvärvat gett upphov till, och därmed nyttjandeperioden för Inkrämsgoodwill, är erfarenhetsmässigt mycket långa. Avskrivningstiden är satt till 20 år.

### Leasing

#### Banken som leasegivare

Moderbolaget redovisar finansiella leasingavtal som operationella leasingavtal. Det innebär att tillgångarna redovisas som leasingobjekt med avskrivningar inom Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella anläggningstillgångar i resultaträkningen. Hyresintäkter redovisas som leasingintäkter inom Räntenettet i resultaträkningen.

Leasingobjekten består huvudsakligen av fordon och maskiner. Leasingobjekten skrivs av under leasingavtalets löptid enligt annuitemetoden.

#### Banken som leasetagare

Moderbolaget redovisar leasingavgifter som kostnader linjärt över leasingperioden.

### Utdelningar

I posten Erhållna utdelningar redovisas alla erhållna utdelningar i moderbolaget, inklusive utdelningar från dotterföretag, intresseföretag och joint ventures, samt erhållna koncernbidrag. Anticiperad utdelning redovisas endast om moderbolaget har beslutanderätt över utdelningens storlek och beslutet har fattats innan publiceringen av de finansiella rapporterna.

### Redovisning av pensioner

Moderbolaget tillämpar inte bestämmelserna i IAS 19 om redovisning av förmånsbestämda pensionsplaner. Istället sker beräkning av kalkylmässig pensionskostnad i moderbolaget enligt Tryggandelagens bestämmelser och Finansinspektionens föreskrifter. Det innebär framförallt skillnader i fråga om hur diskonteringsräntan fastställs och att beräkningen av framtida förpliktelse inte tar hänsyn till antaganden om framtida löneökningar. Redovisad nettokostnad för pensioner beräknas som summan av utbetalda pensioner, pensionspremier samt avsättning till pensionsstiftelse, med avräkning för eventuell gottgörelse från pensionsstiftelse. Årets nettokostnad för pensioner redovisas som Personalkostnad i moderbolagets resultaträkning.

Överskjutande belopp till följd av att förvaltningstillgångarnas värde överstiger beräknade pensionsförpliktelser redovisas inte som en tillgång i moderbolagets balansräkning. Underskott redovisas som en skuld.

### Skatter

I moderbolaget redovisas obeskattade reserver som en egen post i balansräkningen. Obeskattade reserver består av en komponent som utgör uppskjuten skatteskuld och en komponent som utgör eget kapital.

## M2 Risk- och kapitalhantering

Handelsbankkoncernens riskhantering beskrivs i not K2. Specifika upplysningar över moderbolagets riskar presenteras nedan.

Kredittäckningar Geografisk fördelning 2022 mkr		Sverige	Norge	Finland	Neder- länderna	Övriga länder	Summa
<b>Poster i balansräkningen</b>							
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		100 413	8 062	14	135 740	129 873	376 010
Utlåning till kreditinstitut	Nor M13	932 268	126	92 558	129	582	1 025 664
Utlåning till allmänheten	Nor M14	248 738	190 979	91 433	95 208	10 364	637 721
Belåningsbara statskuldförbindelser m.m.	Nor M15	132 778	-	-	-	-	132 778
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nor M15	33 339	-	-	-	-	33 339
Derivatinstrument	Nor M18	52 210	-	-	50	99	52 360
<b>Summa</b>		<b>1 460 748</b>	<b>200 087</b>	<b>184 005</b>	<b>239 138</b>	<b>140 918</b>	<b>2 257 872</b>
<b>Poster utanför balansräkningen</b>							
Eventuallöppliktalsar	Nor M30	605 828	67 648	36 048	2 604	29 337	741 555
varav ansvarsförbindelser		47 319	6 197	8 243	97	16 176	72 032
varav åtaganden		554 509	61 451	27 805	2 506	13 160	669 523
<b>Summa</b>		<b>605 828</b>	<b>67 648</b>	<b>36 048</b>	<b>2 604</b>	<b>29 337</b>	<b>741 555</b>
<b>Summa poster i och utanför balansräkningen</b>		<b>2 105 576</b>	<b>267 735</b>	<b>220 053</b>	<b>239 830</b>	<b>170 255</b>	<b>2 999 427</b>

Kredittäckningar Geografisk fördelning 2021 mkr		Sverige	Norge	Danmark	Finland	Neder- länderna	Övriga länder	Summa
<b>Poster i balansräkningen</b>								
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		93 293	4 579	28 282	120 098	27 314	65 202	338 768
Utlåning till kreditinstitut	Nor M13	934 765	2 788	4 957	43 020	755	612	986 897
Utlåning till allmänheten	Nor M14	211 575	173 148	60 953	81 465	75 606	9 105	611 852
Belåningsbara statskuldförbindelser m.m.	Nor M15	100 538	-	-	-	-	-	100 538
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nor M15	34 323	-	-	-	-	-	34 323
Derivatinstrument	Nor M18	30 844	-	37	-	7	58	30 946
<b>Summa</b>		<b>1 405 338</b>	<b>180 615</b>	<b>94 229</b>	<b>244 583</b>	<b>103 682</b>	<b>74 977</b>	<b>2 103 324</b>
<b>Poster utanför balansräkningen</b>								
Eventuallöppliktalsar	Nor M30	561 270	61 091	33 208	35 301	5 819	27 056	723 745
varav ansvarsförbindelser		48 275	5 980	9 108	8 160	77	15 193	87 502
varav åtaganden		512 295	55 111	24 100	27 132	5 742	11 863	636 243
<b>Summa</b>		<b>561 270</b>	<b>61 091</b>	<b>33 208</b>	<b>35 301</b>	<b>5 819</b>	<b>27 056</b>	<b>723 745</b>
<b>Summa poster i och utanför balansräkningen</b>		<b>1 966 608</b>	<b>241 706</b>	<b>127 437</b>	<b>279 884</b>	<b>109 501</b>	<b>102 033</b>	<b>2 827 069</b>

Vid geografisk fördelning av ses det land där exponeringarna är redovisade.

Utlåning till allmänheten Fördelat per sektor och bransch 2022 mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3	
	Privatpersoner	101 093	3 448	805	-15	-24	
Boatadsrättsföreningar	25 182	978	27	-4	-2	-2	26 179
Fastighetsförvaltning	317 575	12 466	735	-65	-35	-88	330 588
Tillverkningsindustri	32 141	1 843	44	-25	-110	-32	33 861
Handel	35 824	406	70	-9	-8	-52	36 321
Hotell- och restaurangverksamhet	1 508	437	14	-1	-6	-7	1 945
Person- och godstransport till sjöss	1 916	6	221	-1	-2	-77	2 063
Övrig transport och kommunikation	6 143	965	34	-13	-31	-32	7 066
Byggnadsverksamhet	13 941	2 899	110	-52	-142	-71	16 685
Elektricitet, gas och vatten	11 300	954	4	-4	-2	-3	12 249
Jordbruk, jakt och skogsbruk	3 617	309	31	-5	-22	-14	3 916
Övrig serviceverksamhet	13 407	193	152	-7	-3	-138	13 604
Holding-, investering- och försäkringsbolag, fonder m.m.	23 374	5 642	32	-5	-12	-24	29 007
Stat och kommun	89	47	-	0	-1	-	135
Övrig företagsutlåning	17 923	33	334	-1	0	-89	18 200
<b>Summa</b>	<b>605 993</b>	<b>30 718</b>	<b>2 613</b>	<b>-207</b>	<b>-400</b>	<b>-934</b>	<b>637 721</b>

## NOTER | MODERBOLAGET

## M2 Forts

Utlåning till allmänheten Fördelat per sektor och bransch 2021 mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3	
Privatpersoner	112 017	2 053	959	-22	-23	-443	114 541
Bostadsrättsföreningar	21 073	416	11	-3	-1	-4	21 492
Fastighetsförvaltning	292 651	20 368	926	-50	-186	-163	313 546
Tillverkningsindustri	17 977	1 625	65	-10	-11	-39	19 607
Handel	25 434	433	372	-16	-34	-90	26 099
Hotell- och restaurangverksamhet	2 625	1 722	20	-3	-101	-5	4 258
Person- och godstransport till sjöss	1 676	594	1 205	-1	-8	-464	3 002
Övrig transport och kommunikation	4 233	230	83	-8	-10	-63	4 465
Byggnadsverksamhet	13 842	595	131	-20	-12	-72	14 465
Elektricitet, gas och vatten	7 708	1 196	5	-3	-8	-3	8 895
Jordbruk, jakt och skogsbruk	5 162	129	67	-6	-4	-31	5 317
Övrig serviceverksamhet	8 821	524	96	-12	-19	-88	9 322
Holding-, investemnt- och försäkringsbolag, fonder m m	48 759	370	171	-12	-8	-122	49 158
Stat och kommun	263	16	0	0	-1	0	278
Övrig företagsutlåning	17 079	118	296	-3	-5	-78	17 407
Summa	579 320	30 300	4 407	-160	-431	-1 685	611 802

Kreditexponeringar, fördelat per säkerhet 2022 mkr	Bostads- fastigheter <sup>1</sup>	Övriga fastigheter	Stat, kommun och landsting <sup>2</sup>	Borgan <sup>3</sup>	Finansiella säkerheter	Objekt	Övriga säkerheter	Blanko <sup>4</sup>	Summa	
<b>Poster i balansräkningen</b>										
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker			376 010						376 010	
Utlåning till kreditinstitut	När M13	-	140 027	-	-	-	-	876 637	1 025 664	
Utlåning till allmänheten	När M14	187 050	224 532	29 435	10 062	10 853	5 070	9 637	161 082	637 721
Balanseringsbara statsskuldförbindelser m m	När M15	-	-	131 726	-	-	-	-	1 052	132 778
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	När M15	-	-	2 492	815	-	-	-	30 032	33 339
Derivatinstrument	När M18	189	354	3 361	223	86	-	-	48 147	52 360
Summa		187 239	224 886	692 061	11 100	10 939	5 070	9 637	1 116 900	2 257 872
<b>Poster utanför balansräkningen</b>										
Eventualförpliktelser	När M39	70 569	45 723	32 483	7 432	11 774	745	8 466	564 363	741 555
varav ansvarsförbindelser		2 431	1 340	7 098	3 793	966	511	871	55 022	72 032
varav åtaganden		68 138	44 383	25 385	3 639	10 808	234	7 595	509 341	669 523
Summa		70 569	45 723	32 483	7 432	11 774	745	8 466	564 363	741 555
Summa poster i och utanför balansräkningen		257 808	270 609	724 534	18 532	22 713	5 815	18 103	1 881 313	2 999 427

Kreditexponeringar, fördelat per säkerhet 2021 mkr	Bostads- fastigheter <sup>1</sup>	Övriga fastigheter	Stat, kommun och landsting <sup>2</sup>	Borgan <sup>3</sup>	Finansiella säkerheter	Objekt	Övriga säkerheter	Blanko <sup>4</sup>	Summa	
<b>Poster i balansräkningen</b>										
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker			338 768						338 768	
Utlåning till kreditinstitut	När M13	-	60 381	-	-	-	-	-	926 516	986 897
Utlåning till allmänheten	När M14	189 813	209 790	26 062	7 532	19 224	5 297	8 379	145 755	611 852
Balanseringsbara statsskuldförbindelser m m	När M15	-	-	100 538	-	-	-	-	100 538	
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	När M15	-	-	1 106	818	-	-	-	32 399	34 323
Derivatinstrument	När M18	833	1 541	5 012	65	150	-	-	23 345	30 946
Summa		190 646	211 331	631 867	8 415	19 374	5 297	8 379	1 128 015	2 103 324
<b>Poster utanför balansräkningen</b>										
Eventualförpliktelser	När M39	93 494	49 986	40 739	8 889	15 468	648	9 000	505 521	723 745
varav ansvarsförbindelser		6 395	1 687	9 585	4 199	1 099	394	934	63 235	87 502
varav åtaganden		87 099	48 299	31 154	4 690	14 375	254	8 066	442 286	636 243
Summa		93 494	49 986	40 739	8 889	15 468	648	9 000	505 521	723 745
Summa poster i och utanför balansräkningen		284 140	261 317	672 606	17 304	34 842	5 945	17 379	1 633 536	2 827 069

<sup>1</sup> Inklusiva bostadsrätter.<sup>2</sup> Avser direkta stats- och kommunexponeringar samt statsgaranter.<sup>3</sup> Inkluderar ej statsgaranter.<sup>4</sup> I denna kolumn ingår moderbolagets interna utlåning och åtaganden till koncernens dotterbolag. För poster i balansräkningen uppgår den interna utlåning till 1 003 588 mkr (969 362 mkr) och för poster utanför balansräkningen uppgår den till 262 307 mkr (203 798 mkr).

## NOTER | MODERBOLAGET

## M2 Forts

## MARKNADSRISK

Marknaderlekter mkr	2022	2021
Ränterisk	563	1 215
Valutakursrisk <sup>1</sup>	3	14
Aldrisk	38	71
Ränterisken	1	1

<sup>1</sup> Värsta utfall av +/-5% förändring av SEK.

## LIKVIDITETSRISK

Förteckning för finansiella tillgångar och skulder 2022 mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Capexifierad löptid	Summa
Kassa och tillgodohavanden i centralbanker	407 437	-	-	-	-	-	-	407 437
Belåningsbara statskuldforbindelser <sup>1</sup>	132 989	-	-	-	-	-	-	132 989
Obligationer och andra räntebärande värdepapper <sup>2</sup>	33 488	-	-	-	-	-	-	33 488
Utlåning till kreditinstitut varav omvända repor	110 619 4 916	158 846	157 454	173 341	419 899	46 914	-	1 067 072 4 916
Utlåning till allmänheten varav omvända repor	55 791 12 912	112 085	108 033	106 549	158 604	138 354	-	679 416 12 912
Övrigt varav aktier och andelar varav fordringar på fondskulder	17 669 7 112 10 557	-	-	-	-	-	139 708	157 377 7 112 10 557
<b>Summa tillgångar</b>	<b>767 093</b>	<b>270 931</b>	<b>285 487</b>	<b>270 891</b>	<b>678 502</b>	<b>185 268</b>	<b>139 708</b>	<b>2 477 780</b>
Skulder till kreditinstitut varav repor	63 655	49 032	17 685	15 278	7 752	991	19 324	173 716
varav utlåning från centralbanker	14 212	20 000	2 652	114	-	-	3	36 989
In- och upplåning från allmänheten varav repor	16 845	51 228	36 512	10 017	2 085	45	1 020 535	1 137 267
Emitterade värdepapper <sup>3</sup> varav säkerställda obligationer	77 185	401 948	170 177	29 058	97 628	50 907	-	826 904
varav bankcertifikat (CB-s) med ursprunglig löptid underan- gående ett år	28 739	1 69 614	56 754	-	-	-	-	255 159
varav företagscertifikat (CF-s) med ursprunglig löptid underangående ett år	48 282	203 070	71 539	-	-	-	-	322 890
varav bankcertifikat (CB-s) och företagscertifikat (CF-s) med ursprunglig löptid överangående ett år	0	6 405	8 765	541	-	-	-	15 719
varav Senior/Non-Preferred obligationer	-	283	140	423	25 014	24 465	-	50 325
varav senare obligationer och övriga värdepapper med ursprunglig löptid över ett år	103	22 576	32 980	28 095	72 614	26 442	-	182 810
Efterställda skulder	-	9 614	145	14 496	13 511	11 476	-	49 240
Övrigt varav korta positioner varav fondskulder	4 999 1 947 3 052	-	-	-	-	-	202 593	207 592 1 947 3 052
<b>Summa skulder</b>	<b>182 684</b>	<b>611 821</b>	<b>224 619</b>	<b>68 840</b>	<b>120 975</b>	<b>83 418</b>	<b>1 242 452</b>	<b>2 394 718</b>
Poster utanför balansräkningen Finansiella garantier och ej utnyttjade lånelöften	669 523	-	-	-	-	-	-	669 523
<b>Darav 2022 mkr</b>	<b>Upp till 30 dagar</b>	<b>31 dagar- 6 månader</b>	<b>6-12 månader</b>	<b>1-2 år</b>	<b>2-5 år</b>	<b>Över 5 år</b>	<b>Summa</b>	
Summa darav utifrån	189 477	605 809	156 028	144 812	264 991	158 131	1 520 248	
Summa darav utifrån	188 395	605 555	152 820	140 760	259 985	151 640	1 499 164	
<b>Netto</b>	<b>1 082</b>	<b>1 294</b>	<b>3 208</b>	<b>4 062</b>	<b>6 006</b>	<b>6 482</b>	<b>21 084</b>	

## NOTER | MODERBOLAGET

## M2 Forts

Förteckning för finansiella tillgångar och skulder 2021 mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-3 år	Över 3 år	Osäker löptid	Summa
Kassa och tillgodohavanden i centralbanker	338 787	-	-	-	-	-	-	338 787
Betalningsbara statskuldförbindelser <sup>1</sup>	100 538	-	-	-	-	-	-	100 538
Obligationer och andra räntebärande värdepapper <sup>2</sup>	34 323	-	-	-	-	-	-	34 323
Utlåning till kreditinstitut	49 836	176 974	101 553	189 635	458 214	30 184	-	1 006 396
varav omvändrapor	20 208	-	-	-	-	-	-	20 208
Utlåning till allmänheten	43 431	119 413	94 365	93 529	143 086	141 627	-	635 451
varav omvändrapor	13 648	-	-	-	-	-	-	13 648
Övrigt	16 217	-	-	-	-	-	142 644	158 861
varav aktier och andelar	13 481	-	-	-	-	-	-	13 481
varav fordringar på fondkivider	2 736	-	-	-	-	-	-	2 736
<b>Summa tillgångar</b>	<b>688 132</b>	<b>296 387</b>	<b>106 918</b>	<b>283 164</b>	<b>601 300</b>	<b>171 811</b>	<b>142 644</b>	<b>2 274 306</b>
Skulder till kreditinstitut	89 515	36 435	3 733	137	362	1 010	22 706	153 898
varav repor	-	-	-	-	-	-	-	0
varav ränteförskott centralbanker	21 832	28 676	-	-	-	-	344	50 852
In- och upplåning från allmänheten	12 414	22 154	1 575	4 184	369	48	1 132 318	1 173 062
varav repor	219	-	-	-	-	-	-	219
Emitterade värdepapper <sup>3</sup>	51 797	292 149	187 128	49 821	71 984	32 210	-	685 089
varav säkertställda obligationer	-	-	-	-	-	-	-	0
varav certifikat och andra värdepapper med ursprunglig löptid undergående ett år	42 648	268 927	155 791	-	-	-	-	467 366
varav senare obligationer och andra värdepapper med ursprunglig löptid övergående ett år	9 149	23 222	31 337	49 821	71 984	32 210	-	217 723
Efterställda skulder	-	926	2 960	8 507	13 608	10 195	-	36 296
Övrigt	7 038	-	-	-	-	-	186 017	193 055
varav korta positioner	4 126	-	-	-	-	-	-	4 126
varav fondkividskulder	2 912	-	-	-	-	-	-	2 912
<b>Summa skulder</b>	<b>160 764</b>	<b>381 684</b>	<b>196 396</b>	<b>62 640</b>	<b>86 413</b>	<b>43 483</b>	<b>1 341 041</b>	<b>2 241 300</b>
Poster utanför balansräkningen								
Finansiella garantier och ej utnyttjade lånebidan	636 243							

Derivat 2021 mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-3 år	Över 3 år	Summa
Summa derivat införde	220 640	508 215	84 162	119 321	180 126	103 895	1 216 359
Summa derivat utförde	219 001	506 556	82 124	119 581	180 424	103 869	1 210 555
Netto	1 639	2 659	2 038	-260	-298	28	6 804

<sup>1</sup> Av beloppet (exklusive räntor) har 106 107 mkr (83 610) en återstående löptid som understiger ett år.

<sup>2</sup> Av beloppet (exklusive räntor) har 2 511 mkr (4 601) en återstående löptid som understiger ett år.

<sup>3</sup> Av beloppet (exklusive räntor) har 637 617 mkr (528 573) en återstående löptid som understiger ett år.

För inlåningsvolym avser kolumn "Osäker löptid" inlåning som är betalbar på anfordran. Tabellen innehåller ränteflöden vilket innebär att balansraderna inte är avstämningsbara mot moderbolagets balansräkning.

## M3 Räntenetto

mkr	2022	2021
<b>Räntelämpligheter</b>		
Utlåning till kreditinstitut och centralbanker	15 781	3 562
Utlåning till allmänheten	16 033	10 586
Belåningsbara statskuldförbindelser m m	1 289	306
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	876	279
Derivatinstrument	7 452	-1 246
Övriga räntelämpligheter	871	835
<b>Summa</b>	<b>42 302</b>	<b>14 322</b>
Avgår räntelämpligheter redovisade i nettoreultat av finansiella transaktioner	814	-3
<b>Summa räntelämpligheter</b>	<b>41 488</b>	<b>14 322</b>
varav räntelämpligheter enligt effektivräntemetoden samt räntor på derivat i säkringsredovisning	34 032	13 203
<b>Leasinglämpligheter</b>	<b>1 828</b>	<b>1 800</b>
<b>Räntekostnader</b>		
Skulder till kreditinstitut och centralbanker	-1 546	-109
In- och upplåning från allmänheten	-8 040	-173
Emissioner av värdepapper	-11 212	-2 992
Derivatinstrument	-2 949	2 245
Efterställda skulder	-1 369	-1 009
Avgift insättningsgaranti	-354	-356
Övriga räntekostnader	-534	-366
<b>Summa</b>	<b>-28 014</b>	<b>-2 780</b>
Avgår räntekostnader redovisade i nettoreultat av finansiella transaktioner	-930	-38
<b>Summa räntekostnader</b>	<b>-28 984</b>	<b>-2 722</b>
varav räntekostnader enligt effektivräntemetoden samt räntor på derivat i säkringsredovisning	-22 537	-2 126
<b>Räntenetto</b>	<b>18 280</b>	<b>18 002</b>
Avskrivningar enligt plan för finansiella leasingavtal <sup>1</sup>	-1 631	-1 751
Samt räntenetto inklusive avskrivningar enligt plan för finansiella leasingavtal	16 599	11 751

<sup>1</sup> Redovisas i posten Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella anläggningstillgångar.

På raderna Derivatinstrument ingår räntenetto som är hänförligt till tillgångar och skulder som säkras. Dessa kan ha både positiv och negativ inverkan på räntelämpligheter och räntekostnader.

## Ändrad presentation av resolutionsavgiften i Resultaträkningen

mkr	Redovisat värde 2021	Ändrad presentation resolutionsavgift	Tidigare publikerat 2021
Räntekostnader	-2 722	366	-3 088
Risikostall och resolutionsavgift	-366	-366	-
<b>Summa</b>	<b>-3 088</b>	<b>-</b>	<b>-3 088</b>

Från och med första kvartalet 2022 redovisas resolutionsavgiften ej längre som räntekostnad, utan istället på ny rad i inom rörelseresultatet. På samma resultatrad redovisas även risikostallen. Jämförelsesiffrorna för de i ovan angivna resultatraderna har därför omräknats.

## M4 Erhållna utdelningar

mkr	2022	2021
Utdelningar på aktier och andelar	46	60
Utdelningar från intressaförstag	14	-
Utdelningar från koncernföretag <sup>1</sup>	614	866
Erhållna koncernbidrag	16 279	16 685
<b>Summa</b>	<b>18 983</b>	<b>17 611</b>

<sup>1</sup> Varav 614 mkr (515) avser utdelning på kärnprimärkapitalen som Stadshypotek har klassificerat som eget kapitalinstrument.

## NOTER | MODERBOLAGET

## M5 Provisionsnetto

mk	2022	2021
Courtago och övriga värdepappersprovisioner	498	634
Fonder	239	274
Depå och övrig kapitalförvaltning	996	1 090
Rådgivning	172	199
Betalningar	2 764	2 840
Ut- och inlåning	900	917
Garantier	272	284
Övrigt	674	699
<b>Summa provisionsintäkter</b>	<b>6 616</b>	<b>6 877</b>
Värdepapper	-240	-242
Betalningar	-1 001	-1 342
Övrigt	-107	-63
<b>Summa provisionskostnader</b>	<b>-1 348</b>	<b>-1 647</b>
<b>Provisionsnetto</b>	<b>5 167</b>	<b>5 230</b>

Provisionsintäkter avser intäkter från avtal med kunder. Intäkter från Courtago och övriga värdepappersprovisioner, Rådgivning, Betalningar samt Ut- och inlåning redovisas huvudsakligen när tjänsterna utförs, det vill säga vid en viss tidpunkt. I Betalningar ingår kortutgivning och kortinlösen. Intäkter från Fonder, Depå och övrig kapitalförvaltning, Försäkringar och Garantier redovisas huvudsakligen i takt med att dessa tjänster utförs, det vill säga inifrån över tid.

## M6 Nettoresultat av finansiella transaktioner

mk	2022	2021
Upplupet anskaffningsvärde	-78	108
varav lån	-78	108
varav räntebärande värdepapper	-	-
varav emitterade värdepapper	-	-
Verkligt värde via övrigt totalresultat	0	0
varav förväntade kreditförluster	0	0
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	-4 710	-900
varav räntebärande värdepapper	-4 710	-900
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatorisk inköpskursfelfelder	5 615	2 578
Säkringsredovisning	-7	22
varav nettoresultat säkringar av verkligt värde	42	28
varav ineffektiva kassaförsäkringar	-49	-6
<b>Summa</b>	<b>820</b>	<b>1 808</b>

## M7 Övriga rörelseintäkter

mk	2022	2021
Hyrerintäkter	11	21
Andra rörelseintäkter <sup>1</sup>	4 830	3 555
<b>Summa</b>	<b>4 841</b>	<b>3 576</b>

<sup>1</sup> Svenska Handelsbanken Handelsbanken AB avyttrade den danska verksamheten under fjärde kvartalet 2022, vilket påverkar andra rörelseintäkter med 1 513 mkr under 2022. Under fjärde kvartalet 2021 sålde Svenska Handelsbanken AB kortinlösenverksamheten vilket påverkade andra rörelseintäkter med 574 mkr under 2021. I posten ingår även ersättning för tjänster som moderbolaget sålt till dotterbolag respektive år.

## M8 Personalkostnader

mk	2022	2021
Löner och avoden	-7 145	-6 824
Socialavgifter	-1 941	-1 774
Pensionskostnader <sup>1</sup>	-2 370	-1 545
Avsättning till resultatunderskott	-124	-38
Andra personalkostnader	-409	-61
<b>Summa</b>	<b>-11 989</b>	<b>-10 242</b>

<sup>1</sup> Uppgift om pensionskostnaderna visas i not M40.

Löner och avoden	2022	2021
mk		
Ledande befattningshavare <sup>2</sup> , 24 personer (18)	-97	-66
Övriga	-7 048	-6 758
<b>Summa</b>	<b>-7 145</b>	<b>-6 824</b>

<sup>2</sup> Ledande befattningshavare inklusive styrelse.

## NOTER | MODERBOLAGET

## M8 Forts

Könsfördelning %	2022		2021	
	Män	Kvinnor	Män	Kvinnor
Styrelse	46	54	50	50
Ledande befattningshavare exklusive styrelse	60	40	70	30

Medialental anställda	2022			2021		
	Totalt	Män	Kvinnor	Totalt	Män	Kvinnor
Sverige	6 507	3 135	3 372	6 564	3 146	3 418
Norge	812	422	390	793	411	382
Danmark	542	273	269	627	321	306
Finland	521	298	283	558	250	308
Nederländerna	346	214	132	325	201	124
USA	48	28	20	50	31	19
Kina	1	1	0	16	8	8
Luxemburg	50	24	26	47	25	22
Singapore	0	0	0	5	1	4
Tyskland	2	1	1	21	9	12
Polen	15	4	11	16	4	12
Övriga länder	5	1	4	8	2	6
Summa	8 849	4 341	4 508	9 030	4 409	4 621

Information om principer avseende ersättningar till ledande befattningshavare i moderbolaget finns i not K8.

## M9 Övriga administrationskostnader

mk	2022	2021
Fastigheter och lokaler	-1 252	-1 219
Externa databaskostnader	-3 280	-2 729
Kommunikation	-200	-209
Ressur och marknadsföring	-170	-97
Köpta tjänster	-1 513	-1 150
Materialanskaffning	-154	-125
Andra omkostnader	-846	-473
Summa	-7 415	-6 002
Varav kostnader avseende operational leasing		
Leasingavgift	-496	-563
Variabelavgift	-119	-42
Summa	-615	-606

Operational leasing är främst hänförligt till verksamhetens normala avtal avseende kontorlokaler och kontorsutrustning. Hyreskostnader avseende lokaler har normalt en variabel avgift knuten till inflation och fastighetskatt.

Avtalade, ej upplagbara, framtida operationella leasingavgifter fördelade på förfallotidpunkter mk	2022	2021
Inom 1 år	-669	-723
Mellan 1 och 5 år	-2 224	-2 413
Senare än 5 år	-2 507	-2 546
Summa	-5 400	-5 682

Ersättning till revisorer och revisionsbolag mk	PricewaterhouseCoopers AB		Ernst & Young AB	
	2022	2021	2022	2021
Revisionsuppdraget	-10	-3	-8	-6
Revisionsverksamhet utöver revisionsuppdraget	-2	0	-1	0
Skattberedning	-	-	0	0
Övriga tjänster	-	-	-	-

## NOTER | MODERBOLAGET

## M10 Kreditförluster

mkr	2022	2021
<b>Förväntade kreditförluster på poster i balansräkningen</b>		
Årets reservering Stag 3	-174	-366
Stag 3 reservering tidigare år som återförts	225	262
Summa förväntade kreditförluster i Stag 3	51	-104
Årets nettoreservering Stag 2	-36	46
Årets nettoreservering Stag 1	-85	8
Summa förväntade kreditförluster i Stag 1 och Stag 2	-121	64
<b>Summa förväntade kreditförluster på poster i balansräkningen</b>	<b>-70</b>	<b>-80</b>
<b>Förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen</b>		
Årets nettoreservering Stag 3	13	29
Årets nettoreservering Stag 2	-27	-6
Årets nettoreservering Stag 1	-9	-15
Summa förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen	-22	8
<b>Bortskrivningar</b>		
Årets konstaterade kreditförluster <sup>1</sup>	-666	-331
Utryckt andel av tidigare reserverat i Stag 3	592	284
Summa bortskrivningar	-74	-47
<b>Återvinningar</b>		
Kreditförluster, netto	125	34
varav utgång till allmänheten	-21	-67

<sup>1</sup> Av årets konstaterade kreditförluster omfattas 164 mkr (130) av efterbevakning.

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning 2022

mkr	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3 <sup>1</sup>	Stag 1	Stag 2	Stag 3
<b>Poster i balansräkningen</b>						
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	375 981	-	-	0	-	-
Belåningsbara stats-skuldförbindelser m m	200	-	-	0	-	-
Utlåning till kreditinstitut	1 025 814	1	-	-1	-1	-
Utlåning till allmänheten	605 933	30 716	2 613	-207	-400	-684
Obligationer och andra närmeblårande värdepapper	9 882	-	-	-2	-	-
Summa	2 017 811	30 717	2 613	-211	-401	-684
<b>Poster utanför balansräkningen</b>						
Eventualförpliktelser	561 940	10 002	245	-66	-136	-82
varav ansvarsförbindelser	69 973	1 982	77	-7	-12	-19
varav åtaganden	491 967	8 020	168	-59	-124	-63
Summa	661 940	10 002	245	-66	-136	-82

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning 2021

mkr	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3 <sup>1</sup>	Stag 1	Stag 2	Stag 3
<b>Poster i balansräkningen</b>						
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	338 736	-	-	0	-	-
Belåningsbara stats-skuldförbindelser m m	397	-	-	-	-	-
Utlåning till kreditinstitut	986 562	10	-	-1	-3	-
Utlåning till allmänheten	579 320	30 390	4 407	-169	-431	-1 665
Obligationer och andra närmeblårande värdepapper	9 016	-	-	-2	-	-
Summa	1 914 031	30 400	4 407	-172	-434	-1 665
<b>Poster utanför balansräkningen</b>						
Eventualförpliktelser	573 613	7 399	297	-67	-118	-92
varav ansvarsförbindelser	86 058	1 314	130	-9	-10	-39
varav åtaganden	487 555	6 085	167	-58	-108	-53
Summa	673 613	7 399	297	-67	-118	-92

<sup>1</sup> Bruttovoly m i Stag 3 där ingen reservering gjorts på grund av säkerheter uppgår till 1 084 mkr (1 450).

Nyckeltal kreditförluster	2022	2021
Utlåning till allmänheten		
Kreditförlustnivå ack, %	0,00	0,01
Total reserveringsgrad, %	0,24	0,37
Reserveringsgrad Stag 1, %	0,03	0,03
Reserveringsgrad Stag 2, %	1,30	1,42
Reserveringsgrad Stag 3, %	35,75	37,78
Andel utlåning i Stag 3, %	0,26	0,45

## NOTER | MODERBOLAGET

## MIO Forts

## FÖRÄNDRINGSANALYSER

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2022				2021			
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-172	-434	-1 665	-2 271	-175	-470	-1 796	-2 441
Bortbokningar	37	129	204	370	22	41	116	179
Bortskrivningar	0	0	590	590	0	1	283	284
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-84	163	-7	72	-19	80	-91	-30
Förändringar i modell/riskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m m	-4	-4	-15	-22	-4	-10	-52	-66
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-19	-39	-2	-60	-29	-10	-11	-50
Förflyttning till Stag 1	-13	18	0	5	-13	17	1	5
Förflyttning till Stag 2	29	-269	9	-231	21	-144	5	-118
Förflyttning till Stag 3	15	35	-49	1	25	61	-120	-34
Reserv vid årets utgång	-211	-401	-934	-1 546	-172	-434	-1 686	-2 271

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2022				2021			
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-169	-431	-1 665	-2 265	-172	-464	-1 796	-2 432
Bortbokningar	37	129	204	370	22	41	116	179
Bortskrivningar	0	0	590	590	0	1	283	284
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-84	161	-7	71	-19	76	-91	-34
Förändringar i modell/riskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m m	-4	-4	-15	-22	-4	-9	-52	-65
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-19	-39	-2	-60	-29	-10	-11	-50
Förflyttning till Stag 1	-13	18	0	5	-13	17	1	5
Förflyttning till Stag 2	29	-269	9	-231	21	-144	5	-118
Förflyttning till Stag 3	15	35	-49	1	25	61	-120	-34
Reserv vid årets utgång	-207	-400	-934	-1 542	-169	-431	-1 686	-2 265

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning

mkr	2022				2021			
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-67	-118	-92	-277	-51	-110	-119	-280
Bortbokningar	22	21	-	42	6	17	-	23
Bortskrivningar	0	0	1	1	-	-	-	-
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-15	36	8	29	4	14	27	45
Förändringar i modell/riskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m m	4	22	-	26	-6	-23	-	-29
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-14	-15	-	-29	-20	-5	-	-25
Förflyttning till Stag 1	-2	4	-	2	-5	11	-	6
Förflyttning till Stag 2	6	-87	-	-81	4	-26	-	-22
Förflyttning till Stag 3	1	1	-	2	1	4	-	5
Reserv vid årets utgång	-68	-138	-82	-288	-67	-118	-92	-277

Förändringsanalysen visar nettoeffekten på reserven i angivet stag per förklaringspost under perioden. Effekten av bortbokningar och bortskrivningar beräknas på ingående balans. Effekten av omvärdering till följd av förändringar i modell/riskparametrar samt valutaeffekt m m beräknas innan av eventuell förflyttning av nettoöslaget mellan stag. Nyutgivna eller förvärvade tillgångar och förflyttade belopp mellan stagen redovisas efter att effekten av övriga förklaringsposter beaktats. Förflyttningsraderna anger effekten på reserven i angivet stag.

## NOTER | MODERBOLAGET

## M10 Forts

## Förändring av bruttovolymer, poster i balansräkningen som är föremål för nödskrivningsprövning

mkr	2022				2021			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Volym vid årets ingång	1 914 031	30 400	4 407	1 948 838	1 785 579	38 393	4 751	1 828 723
Bortbokningar	-150 176	-10 748	-923	-161 847	-70 662	-4 933	-381	-75 976
Bortskrivningar	-3	-2	-658	-663	-3	-6	-317	-326
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	105 633	2 725	-610	107 749	-64 840	-8 838	-631	-74 309
Förändringar i modellriskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m m	75 468	873	28	76 369	45 491	1 324	218	47 033
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	78 677	1 999	21	80 697	222 172	1 467	54	223 693
Förflyttning till Steg 1	30 962	-20 953	-10	-	14 896	-14 878	-18	-
Förflyttning till Steg 2	-26 631	26 738	-102	-	-18 403	18 427	-24	-
Förflyttning till Steg 3	-150	-311	461	-	-199	-556	755	-
Volym vid årets utgång	2 017 811	30 717	2 813	2 051 142	1 914 031	30 400	4 407	1 948 838

## Förändring av bruttovolymer, utlåning till allmänheten som är föremål för nödskrivningsprövning

mkr	2022				2021			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Volym vid årets ingång	579 320	30 390	4 407	614 117	525 450	38 376	4 751	568 577
Bortbokningar	-105 161	-10 632	-923	-116 717	-65 607	-4 924	-381	-70 912
Bortskrivningar	-3	-2	-658	-663	-3	-6	-317	-326
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	52 929	2 908	-610	55 228	21 846	-9 460	-631	11 755
Förändringar i modellriskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m m	15 067	846	28	15 941	13 378	1 140	218	14 745
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	69 336	1 999	21	71 356	88 757	1 467	54	90 278
Förflyttning till Steg 1	30 962	-20 953	-10	-	14 101	-14 083	-18	-
Förflyttning till Steg 2	-26 368	26 470	-102	-	-18 403	18 427	-24	-
Förflyttning till Steg 3	-150	-311	461	-	-199	-556	755	-
Volym vid årets utgång	605 933	30 716	2 813	639 263	679 320	30 390	4 407	614 117

## Förändring av bruttovolymer, poster utanför balansräkningen som är föremål för nödskrivningsprövning

mkr	2022				2021			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Volym vid årets ingång	573 613	7 399	297	581 309	409 604	8 390	440	418 934
Bortbokningar	-87 513	-3 908	-50	-91 472	-26 769	-1 576	-48	-28 393
Bortskrivningar	0	0	-3	-3	0	0	-5	-5
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	63 232	-2 077	-35	61 120	80 419	-4 622	-146	75 651
Förändringar i modellriskparametrar	-	-	-	-	-	-	-	-
Valutaeffekt m m	-32 435	-5 394	4	-37 825	42 961	9 387	5	52 353
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	57 850	1 208	0	59 058	62 069	609	1	62 769
Förflyttning till Steg 1	4 623	-4 622	-1	-	11 691	-11 691	0	-
Förflyttning till Steg 2	-17 406	17 409	-3	-	-6 346	6 348	-2	-
Förflyttning till Steg 3	-24	-12	36	-	-16	-36	52	-
Volym vid årets utgång	661 940	10 002	245	672 187	673 613	7 399	297	681 309

Förändringsanalysen av sända bruttovolymer visar, i likhet med analysen av reserv, effekten av valda förklaringsposter på volymerna i angivet steg. Posterna för förflyttning mellan stegen och "Nyutgivna eller förvärvade tillgångar" anger beloppen i angivet steg vid periodens utgång. Övriga poster anger effekten i det steg som var gällande vid periodens ingång.

## NOTER | MODERBOLAGET

## MIO Forts

## KÄNSLIGHETSANALYSER

## Makroekonomisk prognos i ECL-bertäkningar och känslighetsanalys

Bertäkningen av förväntade kreditförluster tillämpar framåtblickande information i form av makroszenarier. Den förväntade kreditförlusten är ett sannolikhetsvägt genomsnitt av de beräknade prognoserna över tre scenarier: Prognosen i det neutrala scenariet vägs med 60% (70), medan en uppgång i ekonomin vägs med 20% (15) och en nedgång i ekonomin med 20% (15). Dessa scenarier och vidare har legat till grund för bertäkningar av förväntade kreditförluster i Steg 1 och Steg 2 per den 31 december 2022.

Makroekonomiska riskfaktorer	Negativt scenario			Neutralt scenario			Positivt scenario		
	2023	2024	2025	2023	2024	2025	2023	2024	2025
<b>BNP-tillväxt</b>									
Sverige	-3,55	-0,25	3,15	-0,50	1,30	2,50	2,00	2,80	2,20
Norge	-2,38	-0,30	2,45	0,67	1,25	1,80	3,17	2,75	1,50
Finland	-3,25	-0,57	2,24	-0,20	0,98	1,59	2,30	2,48	1,29
Euro-området	-3,59	-0,03	1,95	-0,54	1,52	1,30	1,96	3,02	1,00
USA	-2,87	-0,26	2,65	0,18	1,29	2,00	2,68	2,39	1,70
<b>Arbetslöshet</b>									
Sverige	8,87	10,00	9,80	7,70	8,10	7,90	7,10	7,16	7,30
Norge	3,25	4,15	4,35	2,08	2,25	2,45	1,47	1,31	1,85
Finland	8,17	8,80	8,40	7,00	6,90	6,50	6,40	5,96	5,90
Euro-området	8,60	9,40	9,30	7,43	7,50	7,40	6,83	6,56	6,80
USA	5,16	6,49	6,30	3,99	4,59	4,40	3,39	3,65	3,80
<b>Styrmäta</b>									
Sverige	1,54	0,75	1,00	2,75	2,25	2,25	3,25	3,00	3,00
Norge	1,75	1,00	1,00	3,25	3,00	2,75	3,75	3,75	3,50
Finland	1,05	0,25	0,25	2,25	1,75	1,25	2,75	2,50	2,00
Euro-området	1,05	0,25	0,25	2,25	1,75	1,25	2,75	2,50	2,00
USA	3,20	1,88	1,70	4,63	3,88	3,20	5,13	4,63	3,95
<b>Fastighetsprisutveckling, kommersiella fastigheter</b>									
Sverige	-15,54	-8,66	-0,74	-8,50	-6,44	0,58	-3,52	-1,73	-0,52
Norge	-11,19	-6,80	-2,42	-5,96	-1,14	-1,90	-3,00	0,61	-2,74
Finland	-12,48	-6,53	0,70	-5,87	-1,00	1,19	-2,57	0,52	-0,04
Euro-området	-11,94	-3,67	0,85	-7,39	0,66	1,65	-4,01	2,57	0,86
<b>Fastighetsprisutveckling, bostadsfastigheter</b>									
Sverige	-22,37	1,77	1,89	-13,51	1,75	1,95	-8,78	2,19	3,92
Norge	-3,53	-1,04	2,19	-0,95	0,38	1,83	2,05	5,26	3,71
Finland	-4,07	0,92	1,16	-1,02	1,92	2,12	0,75	2,90	2,80
Euro-området	2,95	2,35	2,00	2,40	2,00	2,00	2,10	1,70	2,08

## Känslighetsanalys makroszenarier

Tabellen nedan visar procentuell ökning respektive minskning av reserven för förväntade kreditförluster i Steg 1 och Steg 2 per den 31 december 2022 om det negativa respektive positiva scenariet tilldelats sannolikheter om 100%.

%	2022		2021	
	Procentuell ökning av reserv vid negativt scenario	Procentuell minskning av reserv vid positivt scenario	Procentuell ökning av reserv vid negativt scenario	Procentuell minskning av reserv vid positivt scenario
Sverige	14,21	-11,25	22,05	-13,35
Norge	7,81	-6,29	12,21	-6,30
Denmark			14,63	-8,31
Finland	5,64	-4,01	10,73	-6,29
Nordtyskland	3,52	-2,56	3,48	-1,80
USA	27,06	-20,37	50,58	-32,07
Övriga länder	3,64	-2,07	5,88	-2,76

## Känslighetsanalys betydande ökning av kreditrisk

Tabellen nedan visar procentuell ökning respektive minskning av reserven för förväntade kreditförluster i Steg 1 och Steg 2 per den 31 december 2022 om det negativa respektive positiva scenariet tilldelats sannolikheter om 100%.

Förändring av den totala reserven för Steg 1 och Steg 2, %	2022	2021
Gränsvärde		
2	2,52%	3,75%
2,5	0,00%	0,00%
3	-2,15%	-2,93%

## NOTER | MODERBOLAGET

## M10 Forts

## KREDITEXPONERINGAR SOM ÅR FÖREMÅL FÖR NEDSKRIVNINGSPRÖVNING PER PD-INTERVALL

Poster i balansräkningen fördelat på pd-intervaller	2022			2021		
	Bruttovoly m, mkr			Bruttovoly m, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
pd-värde <sup>1</sup>						
0,00 till <0,15	1 857 207	9 600	-	1 778 879	5 961	-
0,15 till <0,25	44 316	1 648	-	55 679	1 264	-
0,25 till <0,50	71 013	3 986	-	42 963	4 106	-
0,50 till <0,75	14 541	1 403	-	12 432	738	-
0,75 till <2,50	28 171	9 304	-	20 475	12 755	-
2,50 till <10,00	2 020	2 898	-	3 353	4 918	-
10,00 till <100	543	1 877	-	250	758	-
100 (tillsammans)	-	-	2 613	-	-	4 407
Summa	2 017 811	30 717	2 613	1 914 031	30 400	4 407

Utlåning till förmånsheten fördelat på pd-intervaller	2022			2021		
	Bruttovoly m, mkr			Bruttovoly m, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
pd-värde <sup>1</sup>						
0,00 till <0,15	504 333	9 876	-	487 720	5 960	-
0,15 till <0,25	28 096	1 692	-	37 794	1 301	-
0,25 till <0,50	44 925	3 220	-	29 162	3 427	-
0,50 till <0,75	9 200	1 444	-	8 435	760	-
0,75 till <2,50	17 817	9 571	-	13 763	13 099	-
2,50 till <10,00	1 278	2 981	-	2 276	5 062	-
10,00 till <100	344	1 931	-	170	781	-
100 (tillsammans)	-	-	2 613	-	-	4 407
Summa	606 933	30 716	2 613	579 320	30 390	4 407

Poster utanför balansräkningen fördelat på pd-intervaller	2022			2021		
	Bruttovoly m, mkr			Bruttovoly m, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
pd-värde <sup>1</sup>						
0,00 till <0,15	479 840	4 777	-	510 314	2 635	-
0,15 till <0,25	37 314	748	-	23 326	729	-
0,25 till <0,50	25 062	493	-	20 620	343	-
0,50 till <0,75	9 158	579	-	9 072	899	-
0,75 till <2,50	9 649	1 618	-	9 260	966	-
2,50 till <10,00	797	1 618	-	974	1 614	-
10,00 till <100	121	169	-	47	213	-
100 (tillsammans)	-	-	245	-	-	297
Summa	561 940	10 002	245	573 813	7 399	297

<sup>1</sup> Avser tolv månaders pd-värde vid rapporteringstillfället.

Tillgångar övertagna för skyddande av fordran	2022	2021
mkr		
Lös egendom	0	0
Aktier och andelar	0	0
Redovisat värde	0	0

## M11 Riskskatt och resolutionsavgift

	2022	2021
mkr		
Riskskatt	-996	-
Resolutionsavgift	-335	-366
Summa	-1 331	-366

NOTER | MODERBOLAGET

## M12 Bokslutsdispositioner

mkr	2022	2021
Förändring av överavskrivning inventarier och leasingobjekt	-180	195
Förändring av överavskrivning inretningsgoodwill	20	32
<b>Summa</b>	<b>-160</b>	<b>227</b>

## M13 Utlåning till kreditinstitut

mkr	2022	2021
<b>Utlåning i svenska kronor</b>		
Banker	257	908
Övriga kreditinstitut <sup>1</sup>	763 263	709 033
<b>Summa</b>	<b>763 520</b>	<b>709 941</b>
<b>Utlåning i utländsk valuta</b>		
Banker	36 174	13 312
Övriga kreditinstitut	225 972	263 653
<b>Summa</b>	<b>262 146</b>	<b>276 965</b>
Reservering för förväntade kreditförluster	-2	-4
<b>Summa utlåning till kreditinstitut</b>	<b>1 025 664</b>	<b>986 807</b>
varav upplupna räntatvister	3 451	967
varav omvända repor	4 916	20 204
varav återbetalda	53 737	39 041

## Modervolymer

mkr	2022	2021
Utlåning till kreditinstitut i svenska kronor	481 665	599 441
Utlåning till kreditinstitut i utländsk valuta	560 264	405 878
<b>Summa</b>	<b>1 042 929</b>	<b>1 005 319</b>
varav omvända repor	24 001	20 822

<sup>1</sup> Varav 17 550 mkr (18 179) avser kärnprimärkapitalen som Statshypotek har klassificerat som eget kapitalinstrument.

## M14 Utlåning till allmänheten

mkr	2022	2021
<b>Utlåning i svenska kronor</b>		
Hushåll	24 999	28 466
Företag	164 623	142 487
Riksgälden	1 566	2 173
<b>Summa</b>	<b>191 188</b>	<b>173 126</b>
<b>Utlåning i utländsk valuta</b>		
Hushåll	113 576	116 213
Företag	334 499	324 778
<b>Summa</b>	<b>448 075</b>	<b>440 991</b>
Reservering för förväntade kreditförluster	-1 542	-2 265
<b>Summa utlåning till allmänheten</b>	<b>637 721</b>	<b>611 862</b>
varav upplupna räntatvister	5 218	1 778
varav omvända repor	12 917	13 649
varav återbetalda	22 750	22 594
<b>Modervolymer, exkl Riksgälden</b>		
<b>Utlåning till allmänheten i svenska kronor</b>	<b>202 802</b>	<b>170 950</b>
<b>Utlåning till allmänheten i utländsk valuta</b>	<b>468 651</b>	<b>415 348</b>
<b>Summa</b>	<b>671 453</b>	<b>586 298</b>
varav omvända repor	21 300	19 690

NOTER | MODERBOLAGET

## M15 Räntebärande värdepapper

mkr	2022			2021		
	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde
Bekräftade statskuldförbindelser m m	132 778	132 778	133 726	100 538	100 538	103 881
varav upplupna räntetäckningar	277			760		
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	33 339	33 339	31 611	34 323	34 323	30 601
varav upplupna räntetäckningar	724			785		
<b>Summa</b>	<b>166 117</b>	<b>166 117</b>	<b>165 337</b>	<b>134 861</b>	<b>134 861</b>	<b>134 482</b>
varav efterställda	-	-		-	-	

mkr	2022			2021		
	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde
Stat	132 778	132 778	133 726	100 538	100 538	103 881
Kreditinstitut	8 864	8 864	7 655	6 590	6 590	6 118
Bostadsinstitut	18 106	18 106	18 754	21 522	21 522	20 137
Övrigt	6 369	6 369	5 202	6 211	6 211	4 346
<b>Summa</b>	<b>166 117</b>	<b>166 117</b>	<b>165 337</b>	<b>134 861</b>	<b>134 861</b>	<b>134 482</b>

mkr	2022		2021	
	Verkligt värde	Summa bruttovolymer	Verkligt värde	Summa bruttovolymer
Bekräftade statskuldförbindelser m m				
Verkligt värde via övrigt totalresultat	200	397		
Upplupet anskaffningsvärde	-	-		
<b>Summa bruttovolymer</b>	<b>200</b>	<b>397</b>		
Reservering för förväntade kreditförluster avseende instrument värderade till upplupet anskaffningsvärde	-	-		
<b>Summa redovisat värde</b>	<b>200</b>	<b>397</b>		
Reservering för förväntade kreditförluster redovisad i verkligt värdesreserven i eget kapital	-	-		
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Verkligt värde via övrigt totalresultat	9 882	9 016		
<b>Summa redovisat värde</b>	<b>9 882</b>	<b>9 016</b>		
Reservering för förväntade kreditförluster redovisad i verkligt värdesreserven i eget kapital	-2	-2		
<b>Medelvolymer</b>				
mkr			2022	2021
Räntebärande värdepapper			182 937	155 399

## M16 Aktier och andelar

mkr	2022		2021	
	Verkligt värde	Summa aktier och andelar	Verkligt värde	Summa aktier och andelar
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatorisk	6 668	12 674		
Verkligt värde via övrigt totalresultat	444	807		
<b>Summa aktier och andelar</b>	<b>7 112</b>	<b>13 481</b>		

mkr	2022		2021	
	Verkligt värde	Summa aktier och andelar	Verkligt värde	Summa aktier och andelar
Innehav klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat				
Visa Inc	274	170		
WPPSA/S	57	62		
BEC	-	329		
Övriga innehav	113	246		
<b>Summa</b>	<b>444</b>	<b>807</b>		

Handelsbanken klassificerar ovanstående aktieinnehav till verkligt värde via övrigt totalresultat då dessa inte innehåller handelslyft. Under året erhöll Handelsbanken endast utdelningar för aktier som fortfarande ligger vid rapporteringsperiodens slut. Utdelningarna uppgår till 17 mkr (2) och redovisas i resultaträkningen som Övriga utdelningsintäkter. Under året har Banken avyttrat innehav i ett antal bostadsrättsföreningar om totalt 32 mkr (1). Skälet till avyttringarna var i huvudsak kontorsnedläggningar. I samband med försäljningen av verksamheten i Danmark har innehavet i BEC samt övriga innehav avyttrats.

För information om realiserat och realiserat resultat för eget kapital/instrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat se Förändring av eget kapital Moderbolaget.

## M17 Aktier och andelar i koncern- och intresseföretag samt joint ventures

Aktier och andelar i koncern- och intresseföretag samt jointventures mkr	2022	2021
Koncernföretag, icke-noterade	69 998	71 608
Intresseföretag, icke-noterade	215	213
Joint ventures, icke-noterade	270	146
<b>Summa</b>	<b>70 483</b>	<b>71 967</b>

Koncernföretag	Organisationsnummer	Säte	Antalaktier	Ägarandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2022	2021
Handelsbanken Finans AB <sup>1</sup>	556053-0841	Stockholm	1 550 000	100	8 212	10 492
Stadshypotek AB <sup>1</sup>	556459-6715	Stockholm	162 000	100	26 870	26 870
Handelsbanken Fondbolagsförvaltning AB	556070-0688	Stockholm	10 000	100	1	1
Xact Kapitalförvaltning AB <sup>2</sup>	556997-8140	Stockholm		100		
Handelsbanken Fonder AB	556418-8951	Stockholm	15 000	100	2	2
Handelsinvest Investeringsförvaltning A/S <sup>3</sup>	12930879	Köpenhamn	5 000	100		8
Handelsbanken Liv Försäkrings AB	516401-8284	Stockholm	100 000	100	6 189	6 189
SEB Liv Försäkringsaktiebolag	2478149-7	Helsingfors		100		
Handelsbanken Fastigheter AB	556873-0321	Stockholm		100		
Eceter AB	556993-2311	Stockholm	50 000	100	1 750	1 750
Handelsbanken plc <sup>3</sup>	11305395	London	5 050 401	100	24 543	24 087
Handelsbanken Wealth & Asset Management Limited	04132340	London	1 319 206	100		
Optimix Vermogensbeheer N.V.	33194359	Amsterdam	10 209	100	713	655
Add Value Fund Management BV	19196768	Amsterdam		80		
<b>Övriga dotterbolag</b>						
EPN Ekonomikanalen AB	556930-1608	Stockholm	100	100	0	0
Ejendomsaktiekabel af 1. maj 2009 A/S <sup>4</sup>	59173812	Hillerød	2 700 000	100		128
Forva AS <sup>5</sup>	945812141	Oslo	4 000 000	100		1
AB Handel och Industri	556013-5336	Stockholm	100 000	100	12	12
Handelsbanken Forsättningsförmedling A/S <sup>6</sup>	42767808	Köpenhamn	400 000	100		1
Handelsbanken Markets Securities, Inc.	11-3257438	New York	1 000	100	41	30
Handelsbanken Raholus Oy	0112308-8	Helsingfors	37 026 871	100	1 562	1 276
Handelsbanken Skadeförsäkrings AB	516401-6767	Stockholm	1 500	100	31	31
Lokabotig A/S <sup>7</sup>	78488018	Hillerød	540 000	71,52		1
Rådstuplass 4 AS	910508423	Bergen	40 000	100	0	0
Svenska Re S.A.	RCS Lux B-32053	Luxemburg	20 000	100	35	35
Handelsbanken Ventures AB	556993-9357	Stockholm	50	100	38	39
<b>Summa</b>					<b>69 998</b>	<b>71 608</b>

Förteckningen över koncernföretag omfattar direktägda dotterbolag samt större dotterbolag till dessa.

<sup>1</sup> Kreditinstitut.

<sup>2</sup> Innehaven har avyttrats under fjärde kvartalet 2022.

<sup>3</sup> Bolaget har likvidiserats under 2022.

Intresseföretag	Organisationsnummer	Säte	Antalaktier	Ägarandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2022	2021
Bankomat AB	556817-9716	Stockholm	150	20,00	67	67
B3C Holding AB	556607-0939	Stockholm	25 542	25,54	81	81
Dyson Group plc	00169306	Sheffield	74 733 672	27,00	22	21
Finansiall ID-teknik BID AB	556630-4928	Stockholm	12 735	28,30	24	24
Getawish AB	556913-7382	Stockholm	10 000	20,00	21	21
USE Intressanter AB	559161-9464	Stockholm	2 448	24,48	0	0
<b>Summa</b>					<b>215</b>	<b>214</b>

Joint ventures	Organisationsnummer	Säte	Antalaktier	Ägarandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2022	2021
P27 Nordic Payment Platform AB	559198-9610	Stockholm	10 000	16,67	160	88
Invblom AB	559210-0779	Stockholm	10 000	16,67	107	58
Tibem AB	559384-9542	Stockholm	4 000	14,29	3	
<b>Summa</b>					<b>270</b>	<b>146</b>

NOTER | MODERBOLAGET

## M18 Derivatinstrument

mkr	Nominellt belopp/löptid			Nominellt belopp		Positiva marknadsvärden		Negativa marknadsvärden	
	upp till 1 år	mer än 1 år upp till 5 år	mer än 5 år	2022	2021	2022	2021	2022	2021
<b>Derivat för handel</b>									
<b>Ränterelaterade kontrakt</b>									
Optioner	10 756	13 891	879	25 526	24 472	410	51	358	52
FRÅ/terminer	635 033	46 088	334	681 455	542 060	928	76	1 180	62
Swappar	726 324	1 658 719	382 290	2 767 333	2 557 004	78 155	21 064	77 612	21 468
<b>Valutarelaterade kontrakt</b>									
Optioner	35 069	50	17	35 136	20 672	292	69	249	131
Terminer	84 486	9 455	92	94 033	82 874	1 418	916	1 112	687
Swappar	678 225	156 202	75 250	909 677	819 435	17 163	15 066	20 796	9 622
<b>Aktierelaterade kontrakt</b>									
Optioner	1 637	386	30	2 053	3 770	182	375	95	189
Terminer	184	-	-	184	580	6	9	5	11
Swappar	5 968	574	1 720	8 262	14 683	185	341	663	723
<b>Rävarurelaterade kontrakt</b>									
Optioner	-	-	25	25	355	2	41	27	55
Terminer	339	28	-	367	935	32	111	52	237
<b>Kreditrelaterade kontrakt</b>									
Swappar	499	3 409	-	3 908	4 853	68	294	90	169
<b>Summa</b>	<b>2 178 620</b>	<b>1 888 802</b>	<b>480 637</b>	<b>4 627 969</b>	<b>4 071 863</b>	<b>98 841</b>	<b>38 413</b>	<b>102 239</b>	<b>33 408</b>
<b>Derivat för marknadsvärdessättnings</b>									
<b>Ränterelaterade kontrakt</b>									
Swappar	87 656	253 910	82 095	423 661	383 493	16 884	2 836	15 664	1 610
<b>Valutarelaterade kontrakt</b>									
Swappar	633	-	1 003	1 636	1 452	77	156	-	-
<b>Summa</b>	<b>88 289</b>	<b>253 910</b>	<b>83 098</b>	<b>425 297</b>	<b>384 945</b>	<b>16 961</b>	<b>2 992</b>	<b>15 664</b>	<b>1 610</b>
<b>Derivat för kassaflödesvärderingar</b>									
<b>Ränterelaterade kontrakt</b>									
Swappar	52 484	57 191	12 543	122 218	155 698	4 353	1 935	689	940
<b>Valutarelaterade kontrakt</b>									
Swappar	109 989	73 110	27 719	210 818	176 142	13 317	7 641	951	2 133
<b>Summa</b>	<b>162 473</b>	<b>130 301</b>	<b>40 262</b>	<b>333 036</b>	<b>331 840</b>	<b>17 670</b>	<b>9 576</b>	<b>1 640</b>	<b>3 073</b>
<b>Summa derivatinstrument</b>	<b>2 429 382</b>	<b>2 273 013</b>	<b>583 907</b>	<b>5 286 292</b>	<b>4 788 488</b>	<b>133 472</b>	<b>50 081</b>	<b>119 543</b>	<b>38 089</b>
varav börshandlade derivat				201 816	182 858	260	130	274	804
varav OTC-derivat clearing via CCP				2 774 527	2 982 430	82 375	1 873	83 957	15 867
varav OTC-derivat ej clearing via CCP				2 309 949	1 623 200	50 837	32 120	35 312	21 418
Kvittade belopp				-2 826 362	-2 601 986	-81 112	-20 035	-82 558	-17 056
<b>Nettobelopp</b>				<b>2 490 930</b>	<b>2 006 802</b>	<b>62 360</b>	<b>30 046</b>	<b>36 985</b>	<b>21 033</b>
<b>Valutafördelning av marknadsvärden</b>									
SEK						-224 388	-217 533	12 539	-44 025
USD						187 752	300 159	-244 777	-7 642
EUR						280 424	71 169	300 494	-62 235
Övriga						-110 316	-102 814	51 287	151 901
<b>Summa</b>						<b>133 472</b>	<b>50 081</b>	<b>119 543</b>	<b>38 089</b>

I noten presenteras derivatkontrakt brutto. Kvittade belopp består av det kvittade marknadsvärdet och tillhörande nominella belopp på kontrakt för vilka det finns en laglig rätt och av sikt att regleras avtalade kassaflöden netto (jämför bland clearing kontrakt). Dessa kontrakt netto redovisas i balansräkningen per motpart och valuta.

Positiva skillnader mellan det värde som räknats fram med en värderingsmodell vid det första redovisningsstillfället och transaktionspriset (dag 1-resultat) periodiseras över derivats löptid. Vid löpsikt uppgick sådana ännu ej resultatförda dag 1-resultat till 447 mkr (469).

## M19 Säkringsredovisning

Säkringsinstrument i kassafödersättning	2022			2021		
	Upp till 1 år	1-5 år	Över 5 år	Upp till 1 år	1-5 år	Över 5 år
<b>Ränterisk</b>						
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta						
Nominellt belopp	15 599	27 000	11 499	18 875	37 280	13 677
Genomsnittlig fast ränta %	0,81	0,44	0,76	0,63	0,58	0,76
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp	36 885	30 182	1 044	43 243	41 717	906
Genomsnittlig fast ränta %	2,00	2,65	3,98	1,53	1,87	3,98
<b>Valutarisk</b>						
<b>Valutarelaterade derivat EUR/NOK</b>						
Nominellt belopp	21 271	17 074	21 847	10 890	30 223	14 069
Genomsnittlig valutakurs EUR/NOK	0,1045	0,1008	0,0969	0,1187	0,1038	0,0970
<b>Valutarelaterade derivat USD/GBP</b>						
Nominellt belopp	7 560	-	1 000	-	6 942	917
Genomsnittlig valutakurs USD/GBP	1,2930	-	1,3157	-	1,2990	1,3157
<b>Valutarelaterade derivat USD/NOK</b>						
Nominellt belopp	14 163	26 897	-	14 409	22 140	-
Genomsnittlig valutakurs USD/NOK	0,1083	0,1114	-	0,1178	0,1137	-
<b>Valutarelaterade derivat USD/SEK</b>						
Nominellt belopp	60 393	8 421	4 872	24 446	2 265	9 057
Genomsnittlig valutakurs USD/SEK	0,1000	0,1068	0,1105	0,1187	0,1105	0,1105
<b>Valutarelaterade derivat AUD/USD</b>						
Nominellt belopp	6 602	-	-	-	5 923	-
Genomsnittlig valutakurs AUD/USD	1,3770	-	-	-	1,3770	-
<b>Valutarelaterade derivat övriga valutor</b>						
Nominellt belopp	-	20 718	-	19 938	18 862	2 052
<b>Summa</b>	<b>182 473</b>	<b>130 301</b>	<b>40 282</b>	<b>126 810</b>	<b>185 382</b>	<b>40 678</b>

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i kassafödersättning 2022	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som avväntas för att beräkna ineffektivitet	Värdeförändring avseende säkringsinstrumenten som redovisas i övrigt totalresultat	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen	Omidseffekt från säkringsreserven till resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder				
<b>Ränterisk</b>							
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	54 107	4 282	11	4 758	4 812	-54	-
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	68 111	71	678	-2 122	-2 122	0	38
<b>Valutarisk<sup>1</sup></b>							
Valutarelaterade derivat EUR/DKK	-	-	-	-3	-3	0	-
Valutarelaterade derivat EUR/GBP	-	-	-	20	20	-	-
Valutarelaterade derivat EUR/NOK	60 192	3 846	12	199	200	-1	-
Valutarelaterade derivat EUR/SEK	8 194	303	-	55	55	-	-
Valutarelaterade derivat USD/DKK	-	-	-	70	70	0	-
Valutarelaterade derivat USD/GBP	8 560	633	-	19	19	-	-
Valutarelaterade derivat USD/NOK	41 060	3 432	-	16	12	4	-
Valutarelaterade derivat USD/SEK	73 686	4 728	281	360	358	2	-
Valutarelaterade derivat AUD/USD	6 602	-	442	-56	-56	-	2
Valutarelaterade derivat övriga valutor	12 524	375	216	90	90	0	4
<b>Summa</b>	<b>333 088</b>	<b>17 670</b>	<b>1 640</b>	<b>3 408</b>	<b>3 485</b>	<b>-49</b>	<b>44</b>

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i kassafödersättning 2021	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som avväntas för att beräkna ineffektivitet	Värdeförändring avseende säkringsinstrumenten som redovisas i övrigt totalresultat	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen	Omidseffekt från säkringsreserven till resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder				
<b>Ränterisk</b>							
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	69 832	247	940	1 852	1 858	-6	-
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	85 866	1 698	-	-1 999	-1 999	0	59
<b>Valutarisk<sup>1</sup></b>							
Valutarelaterade derivat EUR/DKK	2 051	3	-	8	8	0	-
Valutarelaterade derivat EUR/GBP	6 514	606	-	34	32	2	-
Valutarelaterade derivat EUR/NOK	55 191	2 750	491	1	3	-2	-
Valutarelaterade derivat EUR/SEK	12 707	376	408	32	32	-	-
Valutarelaterade derivat USD/DKK	6 919	330	87	60	60	0	-
Valutarelaterade derivat USD/GBP	7 859	-	339	8	8	-	-
Valutarelaterade derivat USD/NOK	36 549	1 303	721	47	47	0	-
Valutarelaterade derivat USD/SEK	35 768	1 798	-	292	292	0	-
Valutarelaterade derivat AUD/USD	5 923	50	-	-77	-77	-	3
Valutarelaterade derivat övriga valutor	6 571	430	87	-15	-15	0	1
<b>Summa</b>	<b>331 840</b>	<b>9 678</b>	<b>3 073</b>	<b>308</b>	<b>309</b>	<b>-8</b>	<b>68</b>

<sup>1</sup>Vid analys utifrån ett säkringsredovisningssyfte beaktas omvandlingen till moderbolagets funktionala valuta, svenska kronor, genom att nominella derivatbelopp imputeras i säkringsrelationerna. De imputerade derivatbeloppen är inte inkluderade i de nominella volymerna i tabellerna ovan.

Redovisat värde avseende säkringsinstrument ingår i posten Derivatinstrument i balansräkningen. Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Omidseffekt till resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner och av ser kassafödersättning som avskatats i förord.

## NOTER | MODERBOLAGET

## M19 Forts

Säkrade poster i kassaflödesräkning	2022			2021		
	Förändring i värde som avväntas för att beräkna ineffektivitet	Säkringsreserv	Belopp som kvarstår i säkringsreserven från säkringsförhållanden där säkringsredovisning inte längre tillämpas	Förändring i värde som avväntas för att beräkna ineffektivitet	Säkringsreserv	Belopp som kvarstår i säkringsreserven från säkringsförhållanden där säkringsredovisning inte längre tillämpas
<b>mie</b>						
<b>Ränterisk</b>						
Emitterade värdepapper till rörlig ränta	-4 812	4 255	-	-1 858	-553	-
Utlåning till allmänheten till rörlig ränta	2 122	-378	445	1 939	1 777	484
<b>Valutakursrisk</b>						
Emitterade värdepapper EUR samt Internån DKK, GBP och NOK	-272	98	-	-75	-172	-
Emitterade värdepapper USD samt Internån DKK, EUR, GBP och NOK	-459	455	89	-407	-10	88
Emitterade värdepapper AUD	56	-10	-3	77	48	-1
Emitterade värdepapper och Internån övriga valutor	-90	27	6	15	-54	11
<b>Summa</b>	<b>-3 456</b>	<b>4 447</b>	<b>538</b>	<b>-300</b>	<b>1 038</b>	<b>582</b>

Säkringsinstrument i säkring av verkligt värde	2022			2021		
	Upp till 1 år	1-5 år	Över 5 år	Upp till 1 år	1-5 år	Över 5 år
<b>mie</b>						
<b>Ränterisk</b>						
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta						
Nominellt belopp	-	-	-	-	-	-
Gänomsnittlig fast ränta %	-	-	-	-	-	-
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp	23 501	116 640	40 316	904	77 952	32 753
Gänomsnittlig fast ränta %	1,34	2,03	1,75	0,22	0,97	1,65
Valutaränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp	639	-	1 039	-	566	896
Gänomsnittlig fast ränta %	3,26	-	3,69	-	3,26	3,69
<b>Summa</b>	<b>24 134</b>	<b>116 640</b>	<b>50 319</b>	<b>904</b>	<b>78 518</b>	<b>33 649</b>

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i säkring av verkligt värde 2022	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som avväntas för att beräkna ineffektivitet	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder		
<b>mie</b>					
<b>Ränterisk</b>					
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	-	-	-	-	-
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	199 466	75	15 652	-14 969	-9
Valutaränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	1 636	77	-	-171	-4
<b>Summa</b>	<b>191 102</b>	<b>182</b>	<b>15 652</b>	<b>-15 140</b>	<b>-13</b>
<b>Portföljsäkring av verkligt värde</b>					
<b>Ränterisk</b>					
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	234 195	16 809	12	14 762	55
<b>Summa</b>	<b>234 195</b>	<b>16 809</b>	<b>12</b>	<b>14 762</b>	<b>55</b>

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i säkring av verkligt värde 2021	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som avväntas för att beräkna ineffektivitet	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder		
<b>mie</b>					
<b>Ränterisk</b>					
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	-	-	-	-	-
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	111 609	836	1 453	-2 323	-16
Valutaränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	1 462	156	-	-54	4
<b>Summa</b>	<b>113 071</b>	<b>992</b>	<b>1 463</b>	<b>-2 377</b>	<b>-12</b>
<b>Portföljsäkring av verkligt värde</b>					
<b>Ränterisk</b>					
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	271 884	2 000	157	2 285	40
<b>Summa</b>	<b>271 884</b>	<b>2 000</b>	<b>157</b>	<b>2 285</b>	<b>40</b>

Redovisat värde avseende säkringsinstrument ingår i posten Derivatinstrument i balansräkningen. Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

## NOTER | MODERBOLAGET

## M19 Forts

Säkrade poster i säkring av verkligt värde 2022	Redovisat värde säkrad post		Ackumulerad justering till verkligt värde som ingår i det redovisade värdet för den säkrade posten		Förändring i värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Det upptagna beloppet för justering av säkring av verkligt värde som kvarstår i balansräkningen för säkrade poster som inte längre justeras för förändringar i verkligt värde
	Tillgångar	Skulder	Tillgångar	Skulder		
<b>micr</b>						
<b>Ränterisk</b>						
Utlåning till allmänheten till fast ränta	-		-		-	-
Emitterade värdepapper och efterställda skulder till fast ränta		175 113		-16 609	15 127	-
<b>Summa</b>	-	175 113	-	-16 609	15 127	-
<b>Portföljsäkring av verkligt värde<sup>1</sup></b>						
<b>Ränterisk</b>						
Utlåning till allmänheten till fast ränta	-16 611		-16 611		-14 707	-
<b>Summa</b>	-16 611		-16 611		-14 707	-

Säkrade poster i säkring av verkligt värde 2021	Redovisat värde säkrad post		Ackumulerad justering till verkligt värde som ingår i det redovisade värdet för den säkrade posten		Förändring i värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Det upptagna beloppet för justering av säkring av verkligt värde som kvarstår i balansräkningen för säkrade poster som inte längre justeras för förändringar i verkligt värde
	Tillgångar	Skulder	Tillgångar	Skulder		
<b>micr</b>						
<b>Ränterisk</b>						
Utlåning till allmänheten till fast ränta	-		-		-	-
Emitterade värdepapper och efterställda skulder till fast ränta		112 116		-1 572	2 365	-
<b>Summa</b>	-	112 116	-	-1 572	2 365	-
<b>Portföljsäkring av verkligt värde<sup>1</sup></b>						
<b>Ränterisk</b>						
Utlåning till allmänheten till fast ränta	-1 904				-2 245	-
<b>Summa</b>	-1 904				-2 245	-

<sup>1</sup> Den underliggande utlåningsportföljens nominella volym uppgick per 2022-12-31 till 234 195 micr (271 269 micr).

## M20 Kvittning av finansiella instrument

2022	Derivat	Återköpsavtal samt utlåning av värdepapper	Totalt
<b>micr</b>			
<b>Finansiella anläggningstillgångar som är föremål för kvittning, nettingavtal eller liknande avtal</b>			
Bruttobelopp	133 472	23 332	156 804
Kvittade belopp	-81 112	-4 833	-85 945
<b>Redovisat värde i balansräkningen</b>	<b>52 360</b>	<b>18 499</b>	<b>70 859</b>
<b>Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen</b>			
Finansiella instrument, nettingavtal	-11 031	-	-11 031
Mottagna finansiella säkerheter	-21 972	-18 484	-40 456
<b>Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen</b>	<b>-33 003</b>	<b>-18 484</b>	<b>-51 487</b>
<b>Nettobelopp</b>	<b>19 357</b>	<b>15</b>	<b>19 372</b>
<b>Finansiella skulder som är föremål för kvittning, nettingavtal eller liknande avtal</b>			
Bruttobelopp	119 543	4 838	124 381
Kvittade belopp	-82 558	-4 833	-87 391
<b>Redovisat värde i balansräkningen</b>	<b>36 985</b>	<b>5</b>	<b>38 000</b>
<b>Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen</b>			
Finansiella instrument, nettingavtal	-11 031	-	-11 031
Ställda finansiella säkerheter	-5 897	-5	-5 902
<b>Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen</b>	<b>-16 928</b>	<b>-5</b>	<b>-16 933</b>
<b>Nettobelopp</b>	<b>20 057</b>	<b>0</b>	<b>20 057</b>

## NOTER | MODERBOLAGET

## M20 Forts

2021 mkr	Derivat	Återköpsavtal samt utlåning av värdepapper	Totalt
<b>Finansiella anläggningstillgångar som är föremål för kvittning, nettingsavtal eller liknande avtal</b>			
Bruttobelopp	50 981	41 913	92 894
Kvittade belopp	-20 035	-7 110	-27 145
Redovisat värde i balansräkningen	30 946	34 803	65 749
<b>Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen</b>			
Finansiella instrument, nettingsavtal	-9 294	-	-9 294
Mottagna finansiella säkerheter	-13 322	-34 777	-48 099
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-22 616	-34 777	-57 393
<b>Nettobelopp</b>	<b>8 330</b>	<b>28</b>	<b>8 358</b>
<b>Finansiella skulder som är föremål för kvittning, nettingsavtal eller liknande avtal</b>			
Bruttobelopp	38 089	7 323	45 412
Kvittade belopp	-17 056	-7 110	-24 166
Redovisat värde i balansräkningen	21 033	213	21 246
<b>Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen</b>			
Finansiella instrument, nettingsavtal	-9 294	-	-9 294
Ställda finansiella säkerheter	-1 467	-213	-1 680
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-10 761	-213	-10 974
<b>Nettobelopp</b>	<b>10 272</b>	<b>-</b>	<b>10 272</b>

Derivatinstrument kvittas i balansräkningen när det återspeglar bankens förväntade kassaflöden vid regleringen av två eller flera derivat. Det inträffar när banken både har en av talamässig rätt och av sid åt reglera avtalade kassaflöden netto. Den kvarvarande motpartens kan i derivat reduceras genom avtal om netting vid betalingsinställelse, derivat såga netting av positiva och negativa värden i alla derivattransaktioner med en och samma motpart i en konkursituation. Banken har som policy att teckna nettingsavtal med alla bankmotparter. Nettingsavtalen kompletteras med avtal om ställande av säkerheter för nettoexponeringen. I huvudsak används konstanter som säkerhet, men även statspapper förekommer. Säkerheter för återköpsavtal samt in- och utlåning av värdepapper utgår i regel i form av konstanter eller andra värdepapper.

## M21 Immateriella tillgångar

2022 mkr	Inköps- goodwill	Internt utvecklad programvara	Övrigt	Totalt 2022
Anskaffningsvärde vid ingången av året	2 900	4 976	164	7 929
Anskaffningsvärde på tillkommande immateriella tillgångar	-	572	-	572
Avyttringar och utrangeringar	-1 875	-218	-	-2 093
Valutaeffekt	16	32	-	48
Anskaffningsvärde vid utgången av året	831	5 361	164	6 096
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-2 969	-1 965	-66	-4 400
Avyttringar och utrangeringar	1 875	218	-	2 093
Årets avskrivningar enligt plan	-21	-507	-33	-561
Årets nedskrivningar	-	-6	-	-6
Valutaeffekt	-16	-23	-	-39
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-831	-2 283	-99	-2 913
Redovisat värde	0	3 078	66	3 144

Under året har utvecklingskostnader uppgående till 2 401 mkr (1 950) kostnadsförts.

2021 mkr	Inköps- goodwill	Internt utvecklad programvara	Övrigt	Totalt 2021
Anskaffningsvärde vid ingången av året	2 914	4 686	164	7 164
Anskaffningsvärde på tillkommande immateriella tillgångar	-	451	-	451
Avyttringar och utrangeringar	-	-171	-	-171
Valutaeffekt	76	9	-	85
Anskaffningsvärde vid utgången av året	2 914	4 976	164	7 929
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-2 259	-1 413	-33	-3 705
Avyttringar och utrangeringar	-	171	-	171
Årets avskrivningar enligt plan	-34	-479	-33	-546
Årets nedskrivningar	-	-239	-	-239
Valutaeffekt	-76	-5	-	-81
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-2 369	-1 985	-66	-4 400
Redovisat värde	21	3 010	98	3 129

## M22 Fastigheter, inventarier och leasingobjekt

Fastigheter, inventarier och leasingobjekt mkr	2022	2021
Inventarier	477	454
Fastigheter	25	27
Leasingobjekt	6 028	6 562
Egendom övertagen för skyddande av fordran	0	0
<b>Summa</b>	<b>6 630</b>	<b>7 043</b>

I posten Egendom övertagen för skyddande av fordran ingår lös egendom samt fastigheter som äätkommandevärderas till verkligt värde i enlighet med koncernens redovisningsprinciper för tillgångar som övertagits för skydd av fordran, se not K1. Det verkliga värdet på fastigheter som äätkommandevärderas till verkligt värde uppgår till 0 mkr (0). Realiserade värdeförändringar på dessa fastigheter har påverkat årets resultat med 0 mkr (0). Värdering av privatbostäder bygger på diskontering av framtida kassaflöden och baseras på antaganden om bland annat hyresnivå, vakanegrad, drift- och underhållskostnader, direktavkastningskvot och kalkylränta. I värderingen tas även hänsyn till fastighetens skick, åge och alternativanvändning. Banken har som princip att alltid använda en oberoende godkänd värderingsman vid värdering av affärs- och kontorfastigheter samt industrifastigheter. Värdering som enbart bygger på marknadsobservationer 0 mkr (0) klassificeras som nivå 2 i den värderingshierarki som beskrivs i not K1. Värdering som har ett väsentligt inslag av egna antaganden 0 mkr (0) klassificeras som nivå 3 i värderingshierarkin. Realiserade värdeförändringar i nivå 3 avseende fastigheter som äätkommandevärderas till verkligt värde har påverkat årets resultat med 0 mkr (0). Årets försäljning av fastigheter som äätkommandevärderas till verkligt värde uppgår till 0 mkr (0) varav 0 mkr (0) var klassade som nivå 3 innan försäljningen. Nya fastigheter har tillkommit under året med 0 mkr (0) varav 0 mkr (0) klassats som nivå 3.

Inventarier mkr	2022	2021
Anskaffningsvärde vid ingången av året	1 326	1 481
Anskaffningsvärde på tillkommande under året	306	178
Avyttringar och utrangeringar	-320	-348
Valutaeffekt	26	15
<b>Anskaffningsvärde vid utgången av året</b>	<b>1 338</b>	<b>1 326</b>
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-87,2	-92,9
Årets avskrivningar enligt plan	-26,0	-26,0
Avyttringar och utrangeringar	288	311
Valutaeffekt	-17	6
<b>Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året</b>	<b>-86,1</b>	<b>-87,2</b>
<b>Redovisat värde</b>	<b>477</b>	<b>454</b>

Fastigheter mkr	2022	2021
Anskaffningsvärde vid ingången av året	5,4	23,9
Ny- och ombyggnation	0	1
Avyttringar och utrangeringar	0	-18,6
<b>Anskaffningsvärde vid utgången av året</b>	<b>5,4</b>	<b>5,4</b>
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-2,7	-11,3
Årets avskrivningar enligt plan	-2	-7
Avyttringar och utrangeringar	-	9,3
<b>Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året</b>	<b>-2,9</b>	<b>-2,7</b>
<b>Redovisat värde</b>	<b>25</b>	<b>27</b>

Leasingobjekt mkr	2022	2021
Anskaffningsvärde vid ingången av året	11 365	11 606
Anskaffningsvärde på tillkommande under året	2 291	2 497
Avyttringar och utrangeringar	-3 208	-2 923
Valutaeffekt mm	100	185
<b>Anskaffningsvärde vid utgången av året</b>	<b>10 548</b>	<b>11 365</b>
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-4 803	-4 905
Årets avskrivningar enligt plan	-1 647	-1 759
Årets nedskrivningar	-18	-26
Avyttringar och utrangeringar	1 930	1 930
Valutaeffekt	-42	-52
<b>Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året</b>	<b>-4 620</b>	<b>-4 803</b>
<b>Redovisat värde</b>	<b>6 028</b>	<b>6 562</b>

## NOTER | MODERBOLAGET

## M22 Forts

Fördelning av framtida leasingavgifter på förtärligtidpunkter mkr	Inom 1 år	Mellan 1 och 5 år	Senare än 5 år	Summa
2022				
Fördelning av framtida leasingavgifter 2021	1 447	4 217	467	6 131
Fördelning av framtida leasingavgifter	1 468	4 702	577	6 747

Leasingobjekten består huvudsakligen av fordon och maskiner. Leasingobjekten skrivs av under leasingavtalets löptid enligt annuitetsmetoden.

Summan av räkenskapsårets intäktsförda leasingavgifter uppgår till 194 mkr (148) varav den variabla delen av leasingintäkterna uppgår 179 mkr (131).

## M23 Övriga tillgångar

mkr	2022	2021
Fordrivitfordringar	10 557	2 735
Övrigt	19 609	19 551
Summa	30 166	22 287

## M24 Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter

mkr	2022	2021
Upplupna intäkter	444	478
Förutbetalda kostnader	715	709
Summa	1 159	1 187

## M25 Skulder till kreditinstitut

mkr	2022	2021
<b>Skulder i svenska kronor</b>		
Banker	9 079	4 417
Övriga kreditinstitut	20 932	25 278
Summa	30 011	29 695
<b>Skulder i utländsk valuta</b>		
Banker	63 861	69 683
Övriga kreditinstitut	75 745	54 117
Summa	139 606	123 800
<b>Summa skulder till kreditinstitut</b>	<b>169 617</b>	<b>153 495</b>
varav upplupna räntekostnader	593	-15
varav repor	-	-
<b>Medelvolymer</b>		
mkr	2022	2021
Skulder till kreditinstitut i svenska kronor	28 958	83 354
Skulder till kreditinstitut i utländsk valuta	222 412	150 151
Summa	251 370	233 505
varav repor	125	371

## M26 In- och upplåning från allmänheten

Inlåning från allmänheten mkr	2022	2021
<b>Inlåning i svenska kronor</b>		
Hushåll	430 291	445 912
Företag	351 821	379 374
Riksgälden	1	1
Summa	782 113	825 287
<b>Inlåning i utländsk valuta</b>		
Hushåll	67 525	87 562
Företag	165 356	218 756
Summa	232 881	306 318
<b>Summa inlåning från allmänheten</b>	<b>1 014 994</b>	<b>1 131 605</b>

## NOTER | MODERBOLAGET

## M26 Forts

	2022	2021
<b>Uppblåning från allmänheten</b>		
mkr		
Uppblåning i svenska kronor	81 175	22 712
Uppblåning i utländsk valuta	41 103	18 855
<b>Summa upplåning från allmänheten</b>	<b>122 278</b>	<b>41 567</b>
<b>Summa in- och upplåning från allmänheten</b>	<b>1 137 272</b>	<b>1 173 172</b>
varav upplåningsräntekostnader	748	105
varav repor	5	213
<b>Medskuldymer</b>		
mkr		
<b>Inlåning från allmänheten</b>		
Inlåning från allmänheten i svenska kronor	824 746	762 006
Inlåning från allmänheten i utländsk valuta	308 478	292 043
<b>Summa</b>	<b>1 133 224</b>	<b>1 054 049</b>
<b>Uppblåning från allmänheten</b>		
Uppblåning från allmänheten i svenska kronor	70 508	54 672
Uppblåning från allmänheten i utländsk valuta	206 408	150 900
<b>Summa</b>	<b>276 916</b>	<b>205 572</b>
varav repor	16 071	19 200

## M27 Emitterade värdepapper

mkr	2022		2021	
	Redovisat värde	Nominellt belopp	Redovisat värde	Nominellt belopp
<b>Certifikat</b>				
Certifikat i svenska kronor	908	861	567	489
varav varkligt värde obiljanssett	908	861	567	489
Certifikat i utländsk valuta	595 898	597 088	477 335	477 085
varav upplupet anskaffningsvärde	595 171	596 309	476 221	475 076
varav ingår i säkring av varkligt värde	6 507	6 681	905	906
varav varkligt värde obiljanssett	727	690	1 114	1 100
<b>Summa</b>	<b>694 806</b>	<b>694 030</b>	<b>477 902</b>	<b>477 574</b>
<b>Obligationsskuld</b>				
Obligationsskuld i svenska kronor	2 693	2 593	3 903	3 838
varav upplupet anskaffningsvärde	2 693	2 593	3 903	3 838
Obligationsskuld i utländsk valuta	206 513	220 158	198 003	198 966
varav upplupet anskaffningsvärde	206 513	220 158	198 003	198 966
varav ingår i säkring av varkligt värde	145 359	150 108	97 422	98 581
<b>Summa</b>	<b>209 207</b>	<b>222 751</b>	<b>201 906</b>	<b>202 804</b>
<b>Summa emitterade värdepapper</b>	<b>904 013</b>	<b>916 781</b>	<b>679 808</b>	<b>680 378</b>
varav upplåningsräntekostnader	2 369		768	
<b>mkr</b>			<b>2022</b>	<b>2021</b>
Emitterade värdepapper vid årets ingång			679 808	657 520
Emitterade			819 660	758 776
Åbarköpta			-1 587	-2 787
Förtäta			-732 827	-765 190
Valutaeffekter m.m.			40 959	31 489
Emitterade värdepapper vid årets utgång			<b>904 013</b>	<b>679 808</b>
<b>Medskuldymer</b>				
mkr			<b>2022</b>	<b>2021</b>
Svenska kronor			-3 640	6 150
Utländsk valuta			787 944	707 114
<b>Summa</b>			<b>784 304</b>	<b>713 264</b>

## NOTER | MODERBOLAGET

## M28 Korta positioner

mie	2022	2021
Korta positioner värderade till verkligt värde		
Aktier	362	835
Färläbdrandsvärdepapper	1 577	3 270
Summa	1 939	4 105
vara/ upplupna räntekostnader	8	27
<b>Medelvolymer</b>		
mie	2022	2021
Svenska kronor	16 865	21 824
Utländsk valuta	142	229
Summa	17 007	22 053

## M29 Skatter

Uppskjutna skattefordringar	2022	2021
mie		
Säkeringsinstrument	-	-
Övrigt	617	688
Summa	617	688

Uppskjutna skattekulder	2022	2021
mie		
Fastigheter och inventarer	11	11
Säkeringsinstrument	915	230
Övrigt	267	195
Summa	1 193	436

Netto uppskjutna skattefordringar/skatteskulder	578	-232
---	-----	------

Förändring av uppskjutna skatter 2022	Ingående balans	Redovisat över resultaträkningen	Redovisat i Övrigt totalresultat	Utgående balans
mie				
Fastigheter och inventarer	11	-	-	11
Säkeringsinstrument	230	-	685	915
Övrigt	-473	307	-184	-350
Summa	-232	307	501	576

Förändring av uppskjutna skatter 2021	Ingående balans	Redovisat över resultaträkningen	Redovisat i Övrigt totalresultat	Utgående balans
mie				
Fastigheter och inventarer	22	-11	-	11
Säkeringsinstrument	192	-	38	230
Övrigt	-610	-56	193	-473
Summa	-396	-67	231	-232

Redovisade skatteskostnader i resultaträkningen	2022	2021
mie		
Aktuell skatt		
Årets skatteskostnad	-4 594	-4 672
Justering av skatt hänförlig till tidigare år	45	-13
Uppskjutna skatt		
Förändringar i temporära skillnader	-307	67
Summa	-4 856	-4 618

Skatt beräknat som 20,6% (20,6) på årets resultat före skatt	-4 184	-4 380
Skilnad	-672	-220

Skilnaden förklaras av skatteeffekt avseende följande poster	2022	2021
Diverse ej avdragsbara kostnader	-39	-19
Ej avdragsbara ränta på efterställda skulder	-282	-226
Ej skattepliktiga räntor och utdelningar	130	178
Nedskrivning av aktier i dotterbolag	-475	-243
Övrigt	-6	81
Summa	-672	-220

## M30 Avsättningar

Avsättningar 2022				
mkr	Avsättning för förväntade kreditförluster på poster utanför balansenkningen <sup>1</sup>	Omstrukturierungs-reserv <sup>2</sup>	Övriga avsättningar <sup>3</sup>	Summa
Avsättningar vid årets ingång	277	641	93	1 011
Avsatt under året		-	434	434
Anspråktaget		-482	-313	-795
Åsatt		-	-9	-9
Nettoförändring av förväntade kreditförluster	6			6
Avsättningar vid årets utgång	283	158	204	645

Avsättningar 2021				
mkr	Avsättning för förväntade kreditförluster på poster utanför balansenkningen <sup>1</sup>	Omstrukturierungs-reserv <sup>2</sup>	Övriga avsättningar <sup>3</sup>	Summa
Avsättningar vid årets ingång	280	1 020	67	2 276
Avsatt under året		-	35	35
Anspråktaget		-1 288	-2	-1 290
Åsatt		-	-7	-7
Nettoförändring av förväntade kreditförluster	-3			-3
Avsättningar vid årets utgång	277	641	93	1 011

<sup>1</sup> För ytterligare information, se not M10 och M30.

<sup>2</sup> Avsättningen för omstrukturierungs-kostnader avser kostnader relaterade till bankens omställning. Merparten av avsättningsbeloppet är reglerat under åren 2021–2022. Resterade förväntas vara reglerat vid utgången av 2023.

<sup>3</sup> Under Övriga avsättningar redovisas de belopp som avsatts för reglering av de anspråk som riksdals mot banken.

## M31 Övriga skulder

mkr	2022	2021
Fondskulder	3 052	2 912
Övrigt	3 727	4 719
Summa	6 779	7 631

## M32 Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter

mkr	2022	2021
Upplupna kostnader	1 798	1 671
Förutbetalda intäkter	1 103	1 378
Summa	2 901	3 049

NOTER | MODERBOLAGET

### M33 Efterställda skulder

milj	2022	2021
Förlagslån i svenska kronor	-	3 003
Förlagslån i utländsk valuta	42 404	29 254
<b>Summa</b>	<b>42 404</b>	<b>32 257</b>
varav upplupna räntekostnader	1 078	769
<b>Medelvolymer</b>		
milj	2022	2021
Förlagslån i svenska kronor	945	2 898
Förlagslån i utländsk valuta	37 131	30 125
<b>Summa</b>	<b>38 076</b>	<b>33 023</b>

Specifikation, förlagslån	Emissionsår	Förfall	Valuta	Ursprungligt		Utbärande belopp
				nominellt belopp i respektive valuta	Räntesats, %	
<b>I utländsk valuta</b>						
2018		Tidsbunden	EUR	750	1,630%	8 458
2018		Tidsbunden	EUR	750	1,250%	8 438
2019		Evtigt	USD	500	6,250%	5 332
2020		Evtigt	USD	500	4,380%	4 647
2020		Evtigt	USD	500	4,750%	4 228
2022		Tidsbunden	EUR	500	3,250%	5 371
2022		Tidsbunden	GBP	500	4,630%	5 930
<b>Summa</b>						<b>42 404</b>

För ytterligare information avseende förlagslånen, se Fåfara 3-rapporten.

milj	2022	2021
Förlagslån vid årets ingång	32 257	41 082
Emitterade	11 445	-
Återköpta	-	-
Förfallna	-2 994	-9 711
Valutasärfelder m.m.	1 696	886
<b>Förlagslån vid årets utgång</b>	<b>42 404</b>	<b>32 257</b>

### M34 Obeskattade reserver

milj	2022	2021
Akkumulerade överavskrivningar inventarier och leasingobjekt	867	687
Akkumulerade överavskrivningar inkomstgodwill	-	19
<b>Summa</b>	<b>867</b>	<b>706</b>

## M35 Specifikation av förändringar i eget kapital

Förändring av säkerhetsreserv		
mkr	2022	2021
Säkerhetsreserv vid årets ingång	823	628
<b>Kassaförändring</b>		
Effektiv del av förändringen i verkligt värde		
Färdkost	2 650	-81
Valutakursrisk	765	390
Realiserade värdeförändringar	-	-
Omklassificerat till resultaträkningen <sup>1</sup>	-44	-63
Skatt	-703	-51
Säkerhetsreserv vid årets utgång	3 831	823
<b>Förändring av verkligt värdesreserv</b>		
mkr	2022	2021
Verkligt värdesreserv vid årets ingång	158	94
Realiserade värdeförändringar – egetkapitalinstrument	22	59
Realiserade värdeförändringar – egetkapitalinstrument	91	0
Realiserade värdeförändringar – skuldinstrument	-54	5
Förändring av reserv för förväntade kreditförluster – skuldinstrument	0	0
Omklassificerat till balanserade vinstermedel – egetkapitalinstrument <sup>2</sup>	-91	0
Omklassificerat till resultaträkningen – skuldinstrument <sup>3</sup>	-	-
Verkligt värdesreserv vid årets utgång	128	108
<b>Förändring av omräkningsreserv</b>		
mkr	2022	2021
Omräkningsreserv vid årets ingång	1 075	28
Förändring av omräkningsdifferens	1 306	1 109
Omklassificerat till resultaträkningen <sup>4</sup>	-51	-9
Omklassificerat till balanserade vinstermedel <sup>5</sup>	-573	-53
Omräkningsreserv vid årets utgång	1 847	1 076

<sup>1</sup> Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post 9 mkr (13).<sup>2</sup> Skatt som omklassificerats till balanserade vinstermedel hänförlig till denna post - mkr (0).<sup>3</sup> Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post - mkr (-).<sup>4</sup> Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post 11 mkr (2).<sup>5</sup> Skatt som omklassificerats till balanserade vinstermedel hänförlig till denna post 58 mkr (13).

NOTER | MODERBOLAGET

## M36 Klassificering av finansiella tillgångar och skulder

2022	Verkligt värde via resultaträkningen						
	Obligatoriskt	Verkligt värdeoptionen	Derivat identifierat som säkringsinstrument	Verkligt värde via övrigt totalresultat	Uppköpt anskaffningsvärde	Summa redovisat värde	Verkligt värde
<b>2022</b>							
<b>mir</b>							
<b>Tillgångar</b>							
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker					376 010	376 010	376 010
Belåningsbara statskultförbindelser m m	1 465	131 113		200		132 778	132 778
Utlåning till kreditinstitut	17 551				1 008 113	1 025 664	1 025 658
Utlåning till allmänheten					637 721	637 721	632 048
Värdeförändring på räntesäkrad post i portföljsäkring					-16 611	-16 611	
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	5 970	17 487		9 882		33 339	33 339
Aktier och andelar	6 668			444		7 112	7 112
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	2 314				73	2 387	2 387
Derivatinstrument	38 809		13 551			52 360	52 360
Övriga tillgångar	14				30 152	30 166	30 166
<b>Summa</b>	<b>72 791</b>	<b>148 600</b>	<b>13 551</b>	<b>10 828</b>	<b>2 036 408</b>	<b>2 280 926</b>	<b>2 291 898</b>
Aktier och andelar i koncern- och intressföretag samt jointventures						70 483	
<b>Icke finansiella tillgångar</b>						<b>11 480</b>	
<b>Summa tillgångar</b>						<b>2 362 889</b>	
<b>Skulder</b>							
Skulder till kreditinstitut					169 617	169 617	169 640
In- och upplåning från allmänheten					1 137 272	1 137 272	1 136 746
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken		2 314			73	2 387	2 387
Emitterade värdepapper	1 635				804 378	806 013	805 412
Derivatinstrument	32 427		4 558			36 985	36 985
Korta positioner	1 939					1 939	1 939
Övriga skulder	11				6 768	6 779	6 779
Efterställda skulder					42 404	42 404	42 430
<b>Summa</b>	<b>36 012</b>	<b>2 314</b>	<b>4 558</b>		<b>2 160 612</b>	<b>2 208 396</b>	<b>2 202 318</b>
<b>Icke finansiella skulder</b>						<b>4 740</b>	
<b>Summa skulder</b>						<b>2 208 136</b>	

2021	Verkligt värde via resultaträkningen						
	Obligatoriskt	Verkligt värdeoptionen	Derivat identifierat som säkringsinstrument	Verkligt värde via övrigt totalresultat	Uppköpt anskaffningsvärde	Summa redovisat värde	Verkligt värde
<b>2021</b>							
<b>mir</b>							
<b>Tillgångar</b>							
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker					338 768	338 768	338 768
Belåningsbara statskultförbindelser m m	2 513	97 628		397		100 538	100 538
Utlåning till kreditinstitut	18 029				968 868	986 897	986 899
Utlåning till allmänheten					611 852	611 852	613 072
Värdeförändring på räntesäkrad post i portföljsäkring					-1 904	-1 904	
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	6 250	19 008		9 016		34 323	34 323
Aktier och andelar	12 674			807		13 481	13 481
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	8 888				64	8 952	8 952
Derivatinstrument	22 989		7 957			30 946	30 946
Övriga tillgångar	18				22 269	22 287	22 287
<b>Summa</b>	<b>71 410</b>	<b>116 636</b>	<b>7 967</b>	<b>10 220</b>	<b>1 939 917</b>	<b>2 148 140</b>	<b>2 150 186</b>
Aktier och andelar i koncern- och intressföretag samt jointventures						71 967	
<b>Icke finansiella tillgångar</b>						<b>12 027</b>	
<b>Summa tillgångar</b>						<b>2 230 134</b>	
<b>Skulder</b>							
Skulder till kreditinstitut					153 490	153 490	153 874
In- och upplåning från allmänheten					1 173 172	1 173 172	1 173 158
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken		8 888			64	8 952	8 952
Emitterade värdepapper	1 681				678 127	679 808	684 331
Derivatinstrument	18 104		2 929			21 033	21 033
Korta positioner	4 105					4 105	4 105
Övriga skulder	7				7 624	7 631	7 631
Efterställda skulder					32 257	32 257	33 645
<b>Summa</b>	<b>23 897</b>	<b>8 888</b>	<b>2 929</b>		<b>2 044 734</b>	<b>2 080 448</b>	<b>2 086 720</b>
<b>Icke finansiella skulder</b>						<b>4 760</b>	
<b>Summa skulder</b>						<b>2 085 208</b>	

## M37 Värdering av finansiella instrument till verkligt värde

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2022 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
<b>Tillgångar</b>				
Belåningsbara statskuldförbindelser m m				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligationsst	1 465	-	-	1 465
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	131 113	-	-	131 113
Verkligt värde via övrigt totalresultat	200	-	-	200
Utlåning till kreditinstitut	-	17 551	-	17 551
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligationsst	5 971	-	-	5 971
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	17 487	-	-	17 487
Verkligt värde via övrigt totalresultat	9 124	758	-	9 882
Aktier och andelar				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligationsst	6 284	384	-	6 668
Verkligt värde via övrigt totalresultat	174	117	152	443
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	1 788	-	525	2 313
Derivatinstrument	49	52 271	39	52 359
<b>Summa</b>	<b>173 665</b>	<b>71 081</b>	<b>718</b>	<b>245 464</b>
<b>Skulder</b>				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	1 788	-	525	2 313
Emitterade värdepapper	-	1 635	-	1 635
Derivatinstrument	54	36 892	39	37 085
Korta positioner	1 858	81	-	1 939
<b>Summa</b>	<b>3 700</b>	<b>38 608</b>	<b>564</b>	<b>42 872</b>

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2021 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
<b>Tillgångar</b>				
Belåningsbara statskuldförbindelser m m				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligationsst	2 188	325	-	2 513
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	97 628	-	-	97 628
Verkligt värde via övrigt totalresultat	327	-	-	327
Utlåning till kreditinstitut	-	18 029	-	18 029
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligationsst	5 251	1 048	-	6 299
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	19 038	-	-	19 038
Verkligt värde via övrigt totalresultat	2 291	6 725	-	9 016
Aktier och andelar				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligationsst	11 965	709	-	12 674
Verkligt värde via övrigt totalresultat	-	200	607	807
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	8 404	-	484	8 888
Derivatinstrument	22	30 881	43	30 946
<b>Summa</b>	<b>147 164</b>	<b>57 017</b>	<b>1 136</b>	<b>205 317</b>
<b>Skulder</b>				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	8 404	-	484	8 888
Emitterade värdepapper	-	1 681	-	1 681
Derivatinstrument	51	20 939	43	21 033
Korta positioner	3 903	202	-	4 105
<b>Summa</b>	<b>12 368</b>	<b>22 822</b>	<b>527</b>	<b>35 717</b>

Redogörelse för tillämpade principer återfinns i not K41.

Förändring av innehav i finansiella instrument i nivå 3 2022 mkr	Aktier och andelar	Derivat- tillgångar	Derivat- skulder	Tillgångar där kunden står värdeförändrings- risken	Skulder där kunden står värdeförändrings- risken
Redovisat värde vid årets ingång	608	43	-43	484	-484
Nyanskaffningar	-	34	-39	-	-
Årsavskrivningar	-470	-43	41	-	-
Förskott	-	-	-	-	-
Realiserad värdeförändring i resultaträkningen	14	-32	39	41	-41
Realiserad värdeförändring i övrigt totalresultat	-	-	-	-	-
Förflyttning från nivå 1 eller 2	-	29	-29	-	-
Förflyttning till nivå 1 eller 2	-	8	-8	-	-
Redovisat värde vid årets utgång	162	39	-39	525	-525

## NOTER | MODERBOLAGET

## M37 Forts

## Förändring av innehav i finansiella instrument i nivå 3 2021

nr	Aktier och andelar	Derivat- tillgångar	Derivat- skulder	Tillgångar där kunden står värdeförändrings- risken	Skulder där kunden står värdeförändrings- risken
Redovisat värdevid årets ingång	614	80	-80	474	-474
Nyanskaffningar	32	1	-2	-	-
Återköp/avyttrat	-	9	-7	-	-
Förtälet	-	-	-	-	-
Realiserad värdeförändring i resultaträkningen	54	-131	130	10	-10
Realiserad värdeförändring i övrigt totalresultat	8	-	-	-	-
Förtytning från nivå 1 eller 2	-	10	-10	-	-
Förtytning till nivå 1 eller 2	-	74	-74	-	-
Redovisat värdevid årets utgång	608	43	-43	484	-484

## Värdigt värde på finansiella instrument redovisade till upplupet anskaffningsvärde 2022

nr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
<b>Tillgångar</b>				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	376 010	-	-	376 010
Belåningsbara statsobligationer m m	-	-	-	-
Utlåning till kreditinstitut	36 180	971 524	403	1 008 107
Utlåning till allmänheten	23 635	9 604	598 808	632 048
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	73	-	-	73
Summa	435 898	981 128	600 211	2 016 238
<b>Skulder</b>				
Skulder till kreditinstitut	22 592	147 047	-	169 640
In- och upplåning från allmänheten	1 111 096	25 650	-	1 136 746
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	73	-	-	73
Emitterade värdepapper	270 942	532 835	-	803 777
Efterskilda skulder	-	42 430	-	42 430
Summa	1 404 703	747 962	-	2 152 666

## Värdigt värde på finansiella instrument redovisade till upplupet anskaffningsvärde 2021

nr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
<b>Tillgångar</b>				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	338 768	-	-	338 768
Belåningsbara statsobligationer m m	-	-	-	-
Utlåning till kreditinstitut	3 891	964 586	393	968 870
Utlåning till allmänheten	13 345	6 781	593 846	613 972
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	64	-	-	64
Summa	366 068	971 367	604 239	1 921 784
<b>Skulder</b>				
Skulder till kreditinstitut	9 507	144 367	-	153 874
In- och upplåning från allmänheten	1 157 669	15 489	-	1 173 158
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	64	-	-	64
Emitterade värdepapper	179 044	503 606	-	682 650
Efterskilda skulder	-	33 645	-	33 645
Summa	1 346 284	697 107	-	2 043 391

## M38 Ställda och mottagna säkerheter samt överförda finansiella tillgångar

För egna stulder ställda säkerheter		
mkr	2022	2021
Kontanter	9 112	5 016
Statspapper och obligationer	3 767	6 460
Aktier	315	448
Övrigt	804	683
<b>Summa</b>	<b>13 008</b>	<b>12 607</b>
varav pentar som fört kan återkallas av banken	22	25
Övriga ställda säkerheter		
mkr	2022	2021
Kontanter	176	201
Statspapper och obligationer	10 692	5 767
Aktier	3 726	7 008
Övrigt	383	391
<b>Summa</b>	<b>14 977</b>	<b>13 367</b>
varav pentar som fört kan återkallas av banken	2 191	3 556

Med Övriga ställda säkerheter avses säkerheter som ställs för förpliktelser som ej redovisas i balansräkningen.

### Mottagna säkerheter

Som en del av ingångna omvända återköpsavtal och värdepapperslån har koncernen accepterat säkerheter som kan säljas eller pantsättas vidare till tredje part. Det verkliga värdet av sådana accepterade säkerheter uppgick till 35 395 mkr (83 709) vid räkenskapsårets slut, varav säkerheter till ett värde av 16 970 mkr (26 632) var sålda eller pantsatta till tredje part.

Överförda finansiella tillgångar redovisade i balansräkningen	2022		2021	
	Redovisat värde	Redovisat värde motsvarande skuld	Redovisat värde	Redovisat värde motsvarande skuld
mkr				
Aktier, värdepappersutlåning	4 039	208 <sup>1</sup>	7 349	284 <sup>1</sup>
Statspapper och obligationer, repor	3 350	2	4 142	67
Statspapper och obligationer, övrigt	43	-	1 946	-
Tillgångar där kunden står värdetförändringsrisken	603	603	552	552
<b>Summa</b>	<b>8 035</b>	<b>813</b>	<b>13 089</b>	<b>903</b>

<sup>1</sup> Mottagen kontantsäkerhet.

## M39 Eventualförpliktelser

Anevarsförbindelser		
mkr	2022	2021
Garantförbindelser, krediter	15 177	19 047
Garantförbindelser, övriga	56 544	67 422
Oåterbetalbara rembursar	312	1 033
Övrigt	-	-
<b>Summa</b>	<b>72 032</b>	<b>87 502</b>
varav förväntad nedskrivningsprövning	72 032	87 502
Åtaganden		
Kreditlöften	301 812	310 883
Outryttad del av beviljade räkningkrediter	105 414	114 829
Övrigt <sup>1</sup>	262 296	210 531
<b>Summa</b>	<b>669 522</b>	<b>636 243</b>
varav förväntad nedskrivningsprövning	500 155	493 807
<b>Summa eventualförpliktelser</b>	<b>741 554</b>	<b>723 745</b>
Reservering för förväntade kreditförluster redovisad som avsättning, se not M30.	283	277

<sup>1</sup> I raden Övrigt ingår interna livsförsäkringsgarantier till dotterbolag på 249 197 mkr (187 934).

### Anevarsförbindelser

Anevarsförbindelserna består i huvudsak av olika typer av garantförbindelser. Kreditgarantier ges till kunder för att garantera åtaganden i andra kredit- och pensionsinstitut. Övriga garantier utgörs främst av kommersiella garantier såsom arbetsgarantier, garantier avseende försäkringsbetalningar, garantier under ansvarstiden och exportrelaterade garantier. Anevarsförbindelser omfattar också outryttad oåterbetalbara importrembursar och bekräftade exportrembursar. Dessa transaktioner ingår i bankens tjänster och är till stöd för bankens kunder. I tabellen anges garantiernas nominella belopp.

### Tvister

Handelsbanken är föremål för flera rättshandlingar som drivs i allmän domstol. Bedömningen är att tvisterna i all väsentlig kommer att utgå till bankens fördel. Tvistebeloppet bedöms inte kunna få en väsentlig inverkan på bankens ställning eller resultat.

## NOTER | MODERBOLAGET

## M40 Pensionsförpliktelser

mil	2022	2021
Förvaltningsliggarnas verkligavärde	31 667	35 174
Pensionsförpliktelser	31 616	35 142
Pensionsnetto <sup>1</sup>	51	32

<sup>1</sup> Vid negativt Pensionsnetto redovisas inre underskott som en skuld i balansräkningen eftersom överskottet i Pensionskassan SHB Tjänstepensionsförening kan utnyttjas för att täcka moderbolagets pensionsförpliktelser, samt att delar av utfästelsen är vilkorad.

Pensionsförpliktelser har beräknats enligt Finansinspektoratsens föreskrifter, vilket innebär att skuld i Sverige är beräknad enligt trygghetslagen, och motsvarande utländska pensionsförpliktelser har beräknats utifrån lokal reglering. Förvaltningsliggarna innehas av Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse, Pensionskassan SHB Tjänstepensionsförening och livande juridiska personer avseende utländska utfästelser. Då varken Pensionskassans tillgångar eller försäkrings teknisk avsättning finns fördelade på arbetsgivare som har försäkring hos Pensionskassan ingår ingen av dessa i tabellen ovan. I Pensionskassan SHB Tjänstepensionsförening uppgår pensionsförpliktelserna till 6 136 mkr (7 281) och marknadsvärdet av tillgångarna till 15 221 mkr (17 085). Överskottet i Pensionskassan SHB Tjänstepensionsförening uppgår således till 9 085 mkr (9 804).

Av det verkliga värdet på förvaltningsliggarna i Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse av ser 7 847 mkr (8 948) av sättningar som gjorts under åren 1989–2004 till en särskild kompletterande pension (SKP). I förpliktelserna ingår utfästelse avseende SKP med samma belopp som förvaltningsliggarnas verkliga värde.

En del av denna utfästelse, 5 872 mkr (6 694), är vilkorad.

Pensionskostnader mil	2022	2021
Utbetalda pensioner	-1 328	-1 345
Pensionspremier	-561	-514
Sociala gifter	-387	-209
Ersättning från pensionsstiftelse	0	568
Avsättning till pensionsstiftelse	-94	-45
Summa pensionskostnader <sup>2</sup>	-2 370	-1 545

<sup>2</sup> Pensionskostnaderna i moderbolaget har ökat under 2022 på grund av att banken avstätt från att ta gottgörelse i stället för att öka konsolideringsgraden i Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse. Till följd av att banken avstätt från att ta gottgörelse 2022 är kostnaden för särskild beskatt högre 2022.

Nästa års förväntade utbetalda pensioner avseende förmånsbestämda pensionsplaner uppgår till 1 014 mkr. Kostnaderna för pensionspremier innehåller premier för BTPK (premiestämmd pension) med 90 mkr (94).

Förvaltningsliggningar mil	2022	2021
Ingående balans	35 174	33 554
Avkastning	-3 601	2 143
Avsättning till pensionsstiftelse	94	45
Ersättning från pensionsstiftelse	0	-568
Utgående balans	31 667	35 174
Procentuell avkastning på förvaltningsliggningar	-10%	6%

Pensionsförpliktelser mil	2022	2021
Ingående balans	35 142	34 899
Teknisk avgift	1 013	963
Ränta	111	115
Värdesäkring <sup>3</sup>	639	98
Förtida pensionering	269	193
Utbetalda pensioner	-1 438	-1 345
Ändrade antaganden <sup>4</sup>	-4 008	196
Värdeförändring vilkorad förpliktelse	-27	141
Effekt av planändring	-	-
Annan förändring av kapitalvärdet	-85	-118
Utgående balans	31 616	35 142

<sup>3</sup> Värdesäkring av pensioner, såväl för inbetalade lönen som pensioner under utbetalning, har ökat eftersom indexeringen höjts från 0,39% till 2,51% under 2022.

<sup>4</sup> Öningen avser främst höjd diskonteringsränta.

Fördelning av förvaltningsliggningar mil	2022	2021
Aktier och fondandelar <sup>5</sup>	29 016	32 805
Räntebärande värdepapper	1 515	2 066
Övriga förvaltningsliggningar <sup>6</sup>	1 136	302
Summa	31 667	35 174

<sup>5</sup> Fondandelarna är till största del placerade i räntefonder och uppgår till 19 388 mkr (19 962).

<sup>6</sup> I övriga förvaltningsliggningar ingår per den 31 december 2022 likvida medel. Per den 31 december 2021 ingår både likvida medel och en skuld avseende ännu ej utbetalad gottgörelse.

I Sverige utgår ålderspension från och med 65 års ålder enligt pensionsavtal mellan BAO och Finansförbundet/BACD-förbundet med 10% av årslönen, upp till 7,5 inkomstbasbelopp. På löneandel inkomstbasbeloppintervall 7,5–20 utgår ålderspension med 65% och inkomstbasbeloppintervall 20–30 med 32,5% av årslönen. På löneandel överstigande 30 inkomstbasbelopp utgår ingen ålderspension. Värdet av pensionsförpliktelserna beräknas årligen, per balansdagen, på försäkrings tekniska grunder. Från och med den 1 mars 2020 tjänar alla nyanställda och anställda yngre än 25 år in pension i en premiäbestämmd pensionsplan. Anställda före den 1 mars 2020 påverkas inte utan är fortsatt medlemmar i den förmånsbestämda pensionsplanen.

De mest väsentliga beräkningsantagandena är dödligheten och diskonteringsräntan. Dödlighetsantagandet och diskonteringsräntan följer antagandena i trygghetslagens grunder.

Diskonteringsräntan är 0,6% (0,0%) efter avdrag för skatt och omkostnader.

Utländska pensionsförpliktelser är beräknade enligt lokala redovisningskrav.

NOTER | MODERBOLAGET

## M41 Tillgångar och skulder i valuta

2022 mkr	SEK	EUR	NOK	DKK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
<b>Tillgångar</b>								
Kassa och tillgodohavande hos centralbanker	100 413	136 928	8 962	0	0	129 674	34	376 011
Utlåning till kreditinstitut	763 519	102 367	64 532	1	90 662	4 220	362	1 025 663
Utlåning till allmänheten	190 462	224 337	195 710	9 901	3 956	11 150	2 205	637 721
varav företag	165 606	137 684	170 686	9 884	3 916	10 963	833	490 572
varav hushåll	24 856	86 653	25 024	17	40	187	1 372	138 149
Belåningsbara statskuldförbindelser m m	117 546	5 483	36	1	-	9 712	-	132 778
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	22 996	1 472	8 352	-	-	519	-	33 339
Övriga ej valutafördelade poster	157 377	-	-	-	-	-	-	157 377
<b>Summa tillgångar</b>	<b>1 382 313</b>	<b>470 687</b>	<b>277 662</b>	<b>9 902</b>	<b>94 619</b>	<b>166 276</b>	<b>2 600</b>	<b>2 382 889</b>
<b>Skulder</b>								
Skulder till kreditinstitut	30 011	55 820	4 800	2 401	60 938	15 553	93	169 616
In- och upplåning från allmänheten	863 287	135 710	91 507	1 150	3 274	39 485	2 859	1 137 272
varav företag	387 556	104 049	58 151	1 108	2 403	36 537	2 051	585 851
varav hushåll	487 731	31 660	33 355	47	871	2 948	708	551 410
Emitterade värdepapper	3 601	242 352	216	-	3 650	536 118	20 076	806 013
Efterställda skulder	-	22 266	-	-	5 930	14 208	-	42 404
Övriga ej valutafördelade poster, inkl eget kapital	207 584	-	-	-	-	-	-	207 584
<b>Summa skulder och eget kapital</b>	<b>1 104 484</b>	<b>496 147</b>	<b>96 623</b>	<b>3 552</b>	<b>73 793</b>	<b>606 364</b>	<b>23 027</b>	<b>2 382 889</b>
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)		-14 448	-180 963	-6 374	-20 813	449 092	20 493	
Nettoposition i valuta		-8	107	-24	13	-96	66	58

Bankens syn på valutarsätkagande framgår av not K2.

2021 mkr	SEK	EUR	NOK	DKK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
<b>Tillgångar</b>								
Kassa och tillgodohavande hos centralbanker	93 293	149 547	4 578	28 282	-	63 008	60	338 768
Utlåning till kreditinstitut	709 934	49 326	75 885	51 749	96 217	3 258	528	986 897
Utlåning till allmänheten	172 273	182 170	177 558	57 164	6 790	12 961	2 986	611 852
varav företag	144 009	106 658	152 752	43 339	6 745	12 773	1 463	467 739
varav hushåll	28 264	75 512	24 806	13 825	45	1 88	1 473	144 113
Belåningsbara statskuldförbindelser m m	91 630	5 658	335	2	-	2 913	-	100 538
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	24 137	965	8 741	-	-	480	-	34 323
Övriga ej valutafördelade poster	157 756	-	-	-	-	-	-	157 756
<b>Summa tillgångar</b>	<b>1 249 023</b>	<b>387 688</b>	<b>287 067</b>	<b>137 197</b>	<b>103 007</b>	<b>82 620</b>	<b>3 524</b>	<b>2 230 134</b>
<b>Skulder</b>								
Skulder till kreditinstitut	29 690	55 754	16 264	2 366	40 309	9 015	92	153 490
In- och upplåning från allmänheten	847 998	148 403	89 683	52 164	5 163	27 588	2 173	1 173 172
varav företag	394 558	118 457	59 863	28 857	4 046	24 261	1 471	631 513
varav hushåll	453 440	29 946	29 820	23 307	1 117	3 327	702	541 659
Emitterade värdepapper	4 470	293 135	205	7	24 887	339 775	17 329	679 808
Efterställda skulder	3 003	15 547	-	-	0	13 707	-	32 257
Övriga ej valutafördelade poster, inkl eget kapital	191 407	-	-	-	-	-	-	191 407
<b>Summa skulder och eget kapital</b>	<b>1 078 688</b>	<b>612 839</b>	<b>106 182</b>	<b>64 637</b>	<b>70 359</b>	<b>390 085</b>	<b>19 594</b>	<b>2 230 134</b>
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)		125 131	-160 782	-82 658	-32 524	307 452	16 124	
Nettoposition i valuta		-42	163	2	124	-13	54	288

NOTER | MODERBOLAGET

## M42 Upplysningar om närstående

Fordringar på och skulder till närstående	Dotterbolag		Intresseförslag och joint ventures		Övriga närstående	
	2022	2021	2022	2021	2022	2021
<b>mie</b>						
Utlåning till kreditinstitut	986 353	965 802	-	-	-	-
Utlåning till allmänheten	1 136	1 132	1 289	439	-	-
Derivat	16 098	2 428	-	-	-	-
Övriga tillgångar	16 352	16 792	28	29	16	572
<b>Summa</b>	<b>1 019 939</b>	<b>986 164</b>	<b>1 317</b>	<b>468</b>	<b>16</b>	<b>572</b>
Skulder till kreditinstitut	88 299	72 305	-	-	-	-
In- och upplåning från allmänheten	18 637	13 594	127	113	1 528	1 058
Derivat	7 941	7 236	-	-	-	-
Efterstälda skulder	-	-	-	-	-	-
Övriga skulder	116	84	-	-	-	-
<b>Summa</b>	<b>114 993</b>	<b>93 300</b>	<b>127</b>	<b>113</b>	<b>1 528</b>	<b>1 058</b>
Eventuella förpliktelser	12 081	15 853	-	-	6 136	7 281
Derivat, nominella värden	293 957	566 710	-	-	-	-

Närstående- intäkter och kostnader	Dotterbolag		Intresseförslag och joint ventures		Övriga närstående	
	2022	2021	2022	2021	2022	2021
<b>mie</b>						
Räntelåntäck	8 596	4 023	8	25	-	-
Räntekostnader	-1 488	-281	-	0	-6	-
Provisionalintäkter	-	-	-	-	-	-
Provisionalkostnader	-	-	-220	-227	-	-
Nettoreultat av finansiella poster värderade till verkligt värde	-	-	0	0	-	-
Övriga intäkter	3 059	2 848	-	-	19	17
Övriga kostnader	-421	-423	-102	-73	-	-
<b>Summa</b>	<b>9 746</b>	<b>6 167</b>	<b>-314</b>	<b>-276</b>	<b>13</b>	<b>17</b>

Spekifikation över dotterbolagen, intresseförslagen och joint ventures finns i not M17. Intresseförslagens och joint ventures verksamhet består av att utföra olika typer av tjänster i anknytning till de finansiella marknaderna. I gruppen övriga närstående ingår följande företag: Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse, Svenska Handelsbankens Personalstiftelse och Pensionskassan SHB Tjänstepensionstiftning (Pensionskassan). Företagen ansluter Svenska Handelsbanken AB för sedvanliga bank- och rådgivningstjänster. Upplysningar om aktieägarförhållande till koncern- och intresseförslag lämnas i not M17.

Den 21 oktober 2021 förvärvade Svenska Handelsbanken AB 30 461 977 A-aktier i AB Industrivärden till ett värde av 8 548 mie från Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse. Aktierna delades därefter ut till bankens aktieägare som extrautdelning. Alla affärstransaktioner med närstående bolag sker på marknadsnärliga villkor.

Pensionskassans utfästelser till anställda i dotterbolag garanteras av moderbolaget, det vill säga om Pensionskassan inte skulle kunna betala sina åtaganden så är moderbolaget skyldigt att ta över och betala åtagandet. Pensionskassans förpliktelser uppgår till 6 136 mie (7 281). Svenska Handelsbanken AB har begärt ersättning av Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse uppgående till - mie (66) avseende pensionskostnader och - mie (-) avseende särskild kompletterande pension samt av Svenska Handelsbankens Personalstiftelse uppgående till 47 mie (53) för personalfrämjande åtgärder.

Information om krediter till ledande befattningshavare samt om ledande befattningshavares villkor och ersättningar i övrigt framgår av not K8.

## M43 Förslag till vinstdisposition

Styrelsen föreslår en utdelning om 8,00 kronor varav 5,50 kronor i ordinarie utdelning (5,00 kronor för 2021). Styrelsens förslag till vinstdisposition finns på sidan 209.

## M44 Aktieinformation

31 december 2022					
Aktieslag	Antal	% av kapital	% av röster	Aktiekapital	Kvotvärde
Serie A	1 944 777 165	98,22	99,82	3 014 404 606	1,55
Serie B	35 251 329	1,78	0,18	54 630 560	1,55
	<b>1 980 028 494</b>	<b>100,00</b>	<b>100,00</b>	<b>3 069 044 166</b>	

## M45 Händelser efter balansdagen

Inga väsentliga händelser har inträffat efter balansdagen.

## M46 Upplysningar om tillgångar och skulder som innehas för försäljning samt avvecklad verksamhet

Tillgångar och skulder i bankens verksamhet i Finland utgör tillgångar och skulder som innehas för försäljning och är avyttringsgrupper i enlighet med FRS 5 Anläggningstillgångar som innehas för försäljning och avvecklade verksam-

heter. Verksamheten i Danmark har avyttrats under det fjärde kvartalet 2022. Verksamheterna i Danmark och Finland utgör avvecklad verksamhet. För en beskrivning av redovisningsprinciperna, se not M1.

- Avvecklad verksamhet i Danmark utgörs av Handelsbanken AB (publ) filial i Danmark.
- Avyttringsgrupp och avvecklad verksamhet i Finland utgörs av Handelsbanken AB (publ) filial i Finland.

Tillgångar och skulder som innehas för försäljning 2022		Finland
mkr		
<b>Tillgångar</b>		
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		14
Övrig utlåning till centralbanker		28 015
Belåningsbara statskuldförbindelser m.m.		-
Utlåning till övriga kreditinstitut		5
Utlåning till allmänheten		91 433
varav hushåll		24 845
varav företag		66 587
Obligationer och andra räntebärande värdepapper		-
Aktier och andelar <sup>1</sup>		-
Aktier och andelar i koncern- och intressföretag samt joint ventures		-
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken		-
Immateriella tillgångar		92
Fastigheter och inventarer		18
Övrigt		365
<b>Summa</b>		<b>110 042</b>
<b>Skulder</b>		
Skulder till kreditinstitut		679
In- och upplåning från allmänheten		57 361
varav hushåll		20 297
varav företag		37 064
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken		-
Avsättningar		202
Övrigt		1 054
<b>Summa</b>		<b>60 296</b>

Tillgångar och skulder som innehas för försäljning 2021			
mkr	Danmark	Finland	Totalt
<b>Tillgångar</b>			
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	28 282	120 098	148 380
Övrig utlåning till centralbanker	207	0	207
Belåningsbara statskuldförbindelser m.m.	0	0	0
Utlåning till övriga kreditinstitut	36	57	93
Utlåning till allmänheten	60 953	81 465	142 418
varav hushåll	13 864	24 214	38 078
varav företag	47 089	57 251	104 340
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	0	0	0
Aktier och andelar <sup>1</sup>	454	0	454
Aktier och andelar i koncern- och intressföretag samt joint ventures	139	-	139
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	6 770	0	6 770
Immateriella tillgångar	21	110	131
Fastigheter och inventarer	22	16	38
Övrigt	305	314	620
<b>Summa</b>	<b>97 100</b>	<b>202 060</b>	<b>299 200</b>
<b>Skulder</b>			
Skulder till kreditinstitut	290	344	574
In- och upplåning från allmänheten	54 135	59 984	114 119
varav hushåll	23 663	19 699	43 362
varav företag	30 472	40 285	70 757
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	6 770	0	6 770
Avsättningar	57	78	135
Övrigt	290	960	1 250
<b>Summa</b>	<b>61 482</b>	<b>61 366</b>	<b>122 848</b>

<sup>1</sup> Ett belopp uppgående till ackumulerat - mkr (46) hänförligt till dessa tillgångar har redovisats i övrigt totalresultat och i verkligt värdeserven i eget kapital.

## NOTER | MODERBOLAGET

## M46 Forts

## Avecklad verksamhet

## Intäkter, kostnader och resultat avecklad verksamhet

	2022	2021
<b>Danmark och Finland</b>		
mie		
Räntanetto	2 203	1 613
Provisionanetto	989	1 062
Nettorisultat av finansiella transaktioner	-9	222
Risikosultat	-	0
Övriga intäkter	64	175
<b>Summa intäkter</b>	<b>3 248</b>	<b>3 072</b>
Personalkostnader	-1 645	-1 402
Övriga kostnader	-1 612	-1 254
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	-66	-274
<b>Summa kostnader</b>	<b>-3 323</b>	<b>-2 930</b>
Kreditförluster, netto	47	60
Vinstes förluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar		
Risikoskatt och resolutionsavgift	-104	-98
<b>Rörelseresultat</b>	<b>-132</b>	<b>104</b>
Bokslutsdispositioner	20	32
<b>Årets resultat hänförligt till avecklad verksamhet före skatt</b>	<b>-112</b>	<b>136</b>
Skatter	-289	-273
<b>Årets resultat hänförligt till avecklad verksamhet efter skatt</b>	<b>-401</b>	<b>-137</b>
Övriga kostnader hänförliga till avecklad verksamhet <sup>1</sup>	-27	-
Skatter	6	-
<b>Årets resultat hänförligt till avecklad verksamhet efter skatt. Innan realisationsresultat</b>	<b>-422</b>	<b>-137</b>
Realisationsresultat vid försäljning av avyttringsgrupper som utgör avecklad verksamhet före skatt	1 013	
Skatter	-319	
<b>Realisationsresultat vid försäljning av avyttringsgrupper som utgör avecklad verksamhet efter skatt</b>	<b>1 104</b>	
<b>Summa årets resultat hänförligt till avecklad verksamhet efter skatt</b>	<b>772</b>	<b>-137</b>
Väsentliga interna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka är eliminerade och inte ingår i ovanstående resultatposter <sup>2</sup> :		
Intäkter	-313	320
Kostnader	-197	-227

<sup>1</sup> Det tillkommer vissa kostnader i Sverige till följd av att den avecklade verksamheten ska avyttras, vilka hänförs till avecklad verksamhet. Exempelvis konsult- och juristkostnader.

<sup>2</sup> Endast externa intäkter och kostnader ingår i resultat från såväl kvarvarande som avecklad verksamhet. Den avecklade verksamheten har väsentliga interna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka således är eliminerade i redovisningen. Exempelvis är all finansiering och likviditetshantering centraliserad till den centrala enheten Group Treasury i Sverige. Utlåning till allmänheten i Danmark och Finland är således finansierad genom intern upplåning från Group Treasury. Räntekostnader hänförliga till intern upplåning är eliminerade i redovisningen och ingår därmed inte i räntanetto ovan.

## NOTER | MODERBOLAGET

## M46 Forts

	2022	2021
<b>Danmark</b>		
mkr		
Räntanetto	1 137	1 067
Provisionsnetto	674	724
Nettorisultat av finansiella transaktioner	-45	171
Risikosultat	-	0
Övriga intäkter	45	34
<b>Summa intäkter</b>	<b>1 811</b>	<b>1 996</b>
Personalkostnader	-1 017	-870
Övriga kostnader	-795	-584
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	-30	-41
<b>Summa kostnader</b>	<b>-1 842</b>	<b>-1 495</b>
Kreditförluster, netto	52	20
Vinstlar/förlustar vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar		
Risikostift och resolutionsavgift	-33	-36
Rörelseresultat	-12	486
Bokslutsdispositioner	20	32
Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet före skatt	8	617
Skatter	41	-87
<b>Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt</b>	<b>49</b>	<b>430</b>
Realisationeresultat vid föreläggning av avyttringsgrupper som utgör avvecklad verksamhet före skatt	1 813	
Skatter	-319	
<b>Realisationeresultat vid föreläggning av avyttringsgrupper som utgör avvecklad verksamhet efter skatt</b>	<b>1 194</b>	
<b>Summa årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt</b>	<b>1 243</b>	<b>430</b>
Väsentliga inlämna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka är eliminerade och inte ingår i ovanstående resultatposter <sup>1</sup> :		
Intäkter	-107	-122
Kostnader	-72	-69

	2022	2021
<b>Finland</b>		
mkr		
Räntanetto	1 056	546
Provisionsnetto	315	338
Nettorisultat av finansiella transaktioner	36	51
Risikosultat	-	0
Övriga intäkter	19	141
<b>Summa intäkter</b>	<b>1 437</b>	<b>1 076</b>
Personalkostnader	-628	-532
Övriga kostnader	-817	-670
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	-36	-233
<b>Summa kostnader</b>	<b>-1 481</b>	<b>-1 436</b>
Kreditförluster, netto	-5	40
Vinstlar/förlustar vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar		
Risikostift och resolutionsavgift	-71	-62
Rörelseresultat	-120	-381
Bokslutsdispositioner		
Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet före skatt	-120	-381
Skatter	-330	-186
<b>Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt</b>	<b>-450</b>	<b>-567</b>
Väsentliga inlämna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka är eliminerade och inte ingår i ovanstående resultatposter <sup>1</sup> :		
Intäkter	-206	442
Kostnader	-125	-158

<sup>1</sup> Endast externa intäkter och kostnader ingår i resultatet från såväl kvarvarande som avvecklad verksamhet. Den avvecklade verksamheten har väsentliga inlämna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka således är eliminerade i redovisningen. Exempelvis är all finansiering och likviditetshantering centraliserad till den centrala enheten Group Treasury i Sverige. Utlåning till allmänheten i Danmark och Finland är således finansierad genom inläm upplåning från Group Treasury. Räntekostnader hänförliga till inläm upplåning är eliminerade i redovisningen och ingår därmed inte i räntanetto ovan.

## Kassaflödesanalys avvecklad verksamhet

	2022	2021
<b>Danmark och Finland</b>		
mkr		
Kassaflöde från löpande verksamhet	-124 478	30 979
Kassaflöde från investeringsverksamhet	-11	-189
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	-	-
<b>Årets kassaflöde från avvecklad verksamhet</b>	<b>-124 490</b>	<b>30 790</b>

Verksamheten i Danmark har avyttrats under det fjärde kvartalet. Kassaflödesanalysen för avvecklad verksamhet 2022 omfattar därmed endast verksamheten i Finland. Kassaflöden från avyttring av verksamheten i Danmark ingår i kassaflöde från investeringsverksamhet i rapporten Kassaflödesanalys Moderbolaget, se sid 215.

## M47 Kapitäläckning

EU KM1 – Mall för nyokeltal

Nyokeltal		2022	2021
<b>Tillgänglig kapitalbas (belopp)</b>			
1	Käprämärkapital	130 060	129 054
2	Primärkapital	145 652	142 567
3	Totalt kapital	164 704	159 803
<b>Rislevägda exponeringsbelopp</b>			
4	Totalt rislevägt exponeringsbelopp	442 406	426 740
<b>Kapitalrelationer (som en procentandel av det rislevägda exponeringsbeloppet)</b>			
5	Käprämärkapitalrelation (%)	29,4%	30,2%
6	Primärkapitalrelation (%)	32,9%	33,4%
7	Total kapitalrelation (%)	37,2%	37,4%
<b>Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera andra risker än risken för allför låg bruttosollditet (som en procentandel av det rislevägda exponeringsbeloppet)</b>			
EU 7a	Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera andra risker än risken för allför låg bruttosollditet (%)	1,7%	1,6%
EU 7b	varav ska utgöras av käprämärkapital (i procentenheter)	1,0%	0,9%
EU 7c	varav ska utgöras av primärkapital (i procentenheter)	1,3%	1,2%
EU 7d	Totala kapitalbaskrav för överyns- och utvärderingsprocessen (%)	9,7%	9,6%
<b>Kombinerat buffertkrav och samlat kapitalkrav (som en procentandel av det rislevägda exponeringsbeloppet)</b>			
8	Kapitalkonserveringsbuffert (%)	2,5%	2,5%
EU 8a	Konserveringsbuffert på grund av makrotillynsrisiker eller systemriskar identifierade på mackensstatsnivå (%)		
9	Institutspecifik kontraicyklisk kapitalbuffert (%)	1,0%	0,2%
EU 9a	Systemriskbuffert (%)		
10	Buffert för globalt systemviktigt institut (%)		
EU 10a	Buffert för andra systemviktiga institut (%)		
11	Kombinerat buffertkrav (%)	3,5%	2,7%
EU 11a	Samlade kapitalkrav (%)	13,2%	12,2%
12	Tillgängligt ämprimärkapital efter uppfyllande av de totala kapitalbaskraven för överyns- och utvärderingsprocessen (%)	23,9%	23,8%
<b>Bruttosollditetsgrad</b>			
13	Totalt exponeringsmätt	1 575 111	1 500 320
14	Bruttosollditetsgrad (%)	9,2%	9,5%
<b>Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera risken för allför låg bruttosollditet (som en procentandel av det totala exponeringsmättet)</b>			
EU 14a	Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera risken för allför låg bruttosollditet (%)		
EU 14b	varav ska utgöras av käprämärkapital (i procentenheter)		
EU 14c	Totala krav avseende bruttosollditetsgrad för överyns- och utvärderingsprocessen (%)	3,0%	3,0%
EU 14d	Krav på bruttosollditetsbuffert (%)		
EU 14e	Samlat bruttosollditetskrav (%)		
<b>Likviditetstäckningskvot</b>			
15	Totala höjgvärdliga likvida tillgångar (likvidvärde – genomsnitt)	785 155	682 980
EU 16a	Likviditetstäckningen – totalt likvidt	628 587	593 559
EU 16b	Likviditetstäckningen – totalt likvidt	156 413	118 459
16	Totala nettolikviditetstäckningen (justerat värde)	472 174	475 100
17	Likviditetstäckningskvot (%)	170%	144%
<b>Stabil nettofinansieringskvot</b>			
18	Total tillgänglig stabil finansiering	1 306 873	1 271 284
19	Totalt behov av stabil finansiering	1 236 689	1 293 235
20	Stabil nettofinansieringskvot (%)	106%	98%

## M47 Forts

## EU 0V1 – Översikt över totala riskvägda exponeringsbelopp

Tabellen visar riskvägda exponeringsbelopp (REA) för kreditrisk, motpartsrisk, marknadsrisk och operativ risk per utgången av 2022 och föregående år. Creditrisk är beräknad enligt schablonmetoden, den grundläggande internmetoden och den avancerade internmetoden. Marknadsrisk och operativ risk är beräknade enligt schablonmetoden.

Översikt över totala riskvägda exponeringsbelopp		Totala riskvägda exponeringsbelopp	Totala riskvägda exponeringsbelopp	Totala kapitalkrav
		2022	2021	2022
mk				
1	Kreditrisk (exklusive motpartskreditrisk)	388 687	356 686	28 685
2	varav schablonmetoden	147 329	146 667	11 786
3	varav den grundläggande internmetoden (F-IRB)	46 651	40 123	3 732
4	varav klassificeringsmetoden			
EU 4a	varav aktier enligt den avancerade internmetoden	1 268	3 310	157
5	varav den avancerade internmetoden (A-IRB)	1 32 266	1 36 021	10 581
5a	varav riskvägning	30 353	30 545	2 428
6	Motpartskreditrisk	11 810	12 285	945
7	varav schablonmetoden	8 241	8 224	659
8	varav metoden med interna modeller			
EU 8a	varav exponeringar mot en central motpart	174	212	14
EU 8b	varav kreditvärderingsjustering	2 602	2 614	224
9	varav andra motpartskreditriskar	602	505	48
10	Ej tillämpligt			
11	Ej tillämpligt			
12	Ej tillämpligt			
13	Ej tillämpligt			
14	Ej tillämpligt			
16	Arvskölingsrisk		16	
16	Värdepapperslösningsexponeringar utanför handelsboken (efter tillämpning av toket)			
17	varav intern kreditvärderingsmetod för värdepapperslösnings			
18	varav extern kreditvärderingsmetod för värdepapperslösnings (inbegripet internbedömningsmetoden)			
19	varav schablonmetoden för värdepapperslösnings			
EU 19a	varav 1-250 %/avdrag			
20	Positionsrisk, valutakursrisk och råvarurisk (marknadsrisk)	34 028	18 606	2 704
21	varav schablonmetoden	34 028	18 606	2 704
22	varav metoden för interna modeller			
23	Operativ risk	37 092	39 118	2 967
EU 23a	varav basmetoden			
EU 23b	varav schablonmetoden	37 092	39 118	2 967
EU 23c	varav internvärderingsmetoden			
24	Belopp under förskottsbelopp för avdrag (föremål för riskvägning på 250 %)			
25	Ej tillämpligt			
26	Ej tillämpligt			
27	Ej tillämpligt			
28	Ej tillämpligt			
29	Summa	442 406	426 740	38 382

## Marknadsrisk som behandlas enligt schablonmetoden

Tabellen visar kapitalkrav för marknadsriskar enligt schablonmetoden per utgången av 2022.

Marknadsrisk som behandlas enligt schablonmetoden		Kapitalkrav	
		2022	2021
mk			
<b>Direkta produkter</b>			
	Ränterisk (allmän och specifik)	176	199
	Aktiekursrisk (allmän och specifik)	1	1
	Valutakursrisk	2 528	1 281
	Råvarurisk	0	1
<b>Optioner</b>			
	Föranklad metod	-	-
	Delta-plus-metod	-	-
	Scenariometod	19	14
	Värdepapperslösnings (specifik risk)	-	-
<b>Summa kapitalkrav för marknadsrisk</b>		<b>2 704</b>	<b>1 498</b>

STYRELSENS OCH VD:S UNDERSKRIFTER

# Styrelsens och vd:s underskrifter

Härmed försäkras att koncernredovisningen har upprättats i enlighet med de internationella redovisningsstandarder som avses i Europaparlamentets och rådets förordning (EG) nr 1606/2002 av den 19 juli 2002 om tillämpning av internationella redovisningsstandarder, att moderbolagets årsredovisning har upprättats i enlighet med god redovisningssed för aktie marknadsbolag, att års- och koncernredovisningen ger en rättvisande bild av koncernens och moderbolagets ställning och resultat samt att förvaltningsberättelsen ger en rättvisande översikt över utvecklingen av moderbolagets och koncernens verksamhet, ställning och resultat samt beskriver väsentliga risker och osäkerhetsfaktorer som moderbolaget och de övriga företag som ingår i koncernen står inför.

STOCKHOLM DEN 20 FEBRUARI 2023

Pär Boman  
styrelseordförande

Fredrik Lundberg  
vice ordförande

Jon Fredrik Baksaas  
styrelseledamot

Hélène Barnekow  
styrelseledamot

Stina Bergfors  
styrelseledamot

Hans Blörck  
styrelseledamot

Kerstin Hessius  
styrelseledamot

Anna Hjelmborg  
styrelseledamot

Lena Renström  
styrelseledamot

Ulf Plese  
styrelseledamot

Arija Taaveniku  
styrelseledamot

Carina Åkerström  
verkställande direktör

## 2【主な資産・負債及び収支の内容】

上記「第6-1-(1) 連結財務書類」及び「第6-1-(2) 個別財務書類」の注記を参照のこと。

## 3【その他】

### (1) 訴訟及び規制手続

該当事項なし。

### (2) 後発事象

2023年5月31日、当行はフィンランドにおける一部の事業の譲渡に関して、S-バンク・ピー・エル・シー、ウーマ・セイビングズ・バンク・ピー・エル・シー及びフェンニア生命保険会社との間で合意に達したことを発表した。個人顧客、資産管理及び投資サービス業務はS-バンク・ピー・エル・シーに売却される予定であり、S-バンク・ピー・エル・シーはまた、支店のリース契約も引き継ぐ予定である。中小企業の事業はウーマ・セイビングズ・バンク・ピー・エル・シーに売却される予定である。生命保険事業はフェンニア生命保険会社に売却される予定である。当行は、譲渡日に、実際の純資産価値(2023年3月31日現在、約1,300百万ユーロ)に相当する現金対価に加え、最大8.5百万ユーロの割増金の受領を見込んでいる。かかる取引は2024年下半期に完了する予定である。

この取引には、約1.3十億ユーロのリスク加重エクスポージャー額に相当する約4.1十億ユーロの貸出高及び約2.8十億ユーロの預金高が含まれる(2023年3月31日現在の残高に基づく)。この取引は、当行のフィンランドにおける事業の貸出高の約30%及びリスク加重エクスポージャー額の約50%に相当する。フィンランドにおける当行の残りの事業の売却は、別の売却手続の一部として継続される。

譲渡日において、資産価値は、主に一般顧客からの預金で構成される、購入者が引き受ける負債に相当する金額により減額される予定である。残りの金額は現金で支払われ、これに最大8.5百万ユーロの純割増金が上乘せされる予定である。当行グループの営業利益に影響を与える非経常的な財務への正味の影響は軽微と見込まれる。当該売却は、公的機関による慣習的な承認を条件としている。

## 4【IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法並びに日本の会計原則及び会計慣行の主要な相違】

当行グループの連結財務書類は欧州委員会により承認されている国際財務報告基準(以下「IFRS」という。)及び国際財務報告委員会解釈指針委員会による基準の解釈指針に準拠して作成されている。さらに、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法(1995年第1559号)及びSFSAが発行した規定及び一般指針であるFFFS2008年第25号、信用機関及び証券会社における年次報告にも従っている。連結財務書類には企業グループの報告を規定するRFR第1号補足会計規則、並びにスウェーデン財務報告審議会による意見書も適用されている。

親会社の財務書類は、スウェーデンの信用機関及び証券会社に係る年次報告法(1995年第1559号)、SFSAが発行した規定及び一般指針であるFFFS2008年第25号、信用機関及び証券会社における年次報告、スウェーデン財務報告審議会の勧告RFR第2号「事業体に関する会計処理」及びスウェーデン財務報告審議会による意見書に準拠して作成されている。SFSAの推奨に準拠して、親会社は法定IFRSを採用している。これはEUが採用する国際財務報告基準及びこれらの基準の解釈が、国内法及び指令並びに会計と税との間の関連性の枠組みの範囲内で可能な限り採用されていることを意味する。

以下の記述は、当行グループが適用する会計基準のうち重要と考えられるものと日本の会計原則の差異を概説したものである。当行グループは、連結財務書類並びに親会社の個別財務書類及び関連注記に関して、

日本の会計原則との間の比較表を作成しておらず、その差異を定量化していない。したがって、以下の記述が日本の会計原則との差異を網羅している保証はない。

## (1) 連結

### *IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法*

IFRSでは、親会社に直接又は間接的に支配されている企業(子会社)はすべて連結される。親会社は企業への投資から生じるリターンの変動性にさらされているか、又はそのリターンに対する権利を有しており、かつ、その企業に対するパワーによりそのリターンに影響を及ぼすことができる場合に、その企業を直接支配しているとみなされるため連結する。

親会社は、類似の状況における同様の取引及び他の事象に関し、統一された会計方針を用いて、連結財務諸表を作成しなければならない。

### *日本の会計原則*

日本の会計原則でも、親会社は支配しているすべての会社を連結することが求められている。一定の特別目的会社については、一定の要件を満たす場合に子会社に該当しないものと推定され、連結することが求められない。

親会社及び子会社が連結財務書類を作成するために採用する会計原則は、原則として統一されなければならない。「連結財務書類作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」によれば、在外子会社の所在地国の会計原則に準拠して作成された財務書類は原則として親会社の会計方針(日本の会計原則)に修正する必要があるが、在外子会社の財務書類がIFRS又は米国会計基準に準拠して作成されている場合は、のれんの償却、退職給付会計における数理計算上の差異の会計処理、研究開発費の会計処理、投資不動産の時価評価及び固定資産の再評価の会計処理、資本性金融商品の公正価値の事後的な変動をその他の包括利益に表示する選択をしている場合の組替調整等の一定の項目の修正を除き、これを連結決算手続上利用できることと規定されている。

## (2) 企業結合及びのれん

### *IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法*

IFRSでは、企業結合は取得法で会計処理されている。のれんは当初取得原価で計上され、その後は減損損失累計額を控除後の取得原価で計上される。のれんについては年一回、及び減損の兆候がある場合にはいつでも減損テストが実施される。

IAS第38号によると、のれん及び耐用年数を確定できない無形固定資産は連結財務書類において償却されない。親会社において、耐用年数を確定出来ないその他の無形固定資産の取得は年次報告法の規定に準拠して償却される。通常、買収により取得したのれんは20年で償却される。

### *日本の会計原則*

日本の会計原則では、企業結合は原則としてパーチェス法により会計処理される。また、のれんは20年以内の期間にわたり定額法その他の合理的方法により定期的に償却され、減損の兆候が認められた場合に減損テストの対象となる。

## (3) 非金融資産の減損

### *IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法*

IFRSでは、確定可能な耐用年数を有する無形資産は、資産に減損の兆候がある場合に減損について検証が行われる。不動産及び器具備品の減損テストは、資産価値の減少の兆候がある場合に実施される。そのような兆候が存在する場合、当該資産の回収可能価額が見積られ、必要な場合に減損損失が損益に認識される。減損損失は、IAS第36号の要件を満たす場合には損益に戻入れることができるが、戻入れ後に増加する資産額は、減損処理前の価格を超えてはならない。

#### 日本の会計原則

日本の会計原則では、減損の兆候が認められ、かつ割引前の見積り将来キャッシュ・フロー総額(20年以内の合理的な期間に基づく)が帳簿価額を下回ると見積られる場合において、回収可能価額と帳簿価額の差額につき減損損失を計上する。減損損失の戻入は認められない。

#### (4) 退職後給付

##### IFRS

確定給付型制度において年金債務は数理的手法に基づき測定されるが、ここでは予測単位積増方式を用いて、給付が割り引かれている。制度資産は、公正価値で測定されている。当該制度資産が年金債務を超える場合は資産(超過額)として、不足する場合は負債(不足額)として、それぞれ貸借対照表に計上されている。制度資産からの期待収益は、正味確定給付債務(資産)の算定に使用される割引率を適用することで計算される。数理計算上の損益は、リサイクリングされず、その発生年度においてその他包括利益に計上される。

##### 信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

親会社は確定給付制度の会計に関するIAS第19号の規定を適用していない。その代わりに、年金費用は年金債務保護法の規定及びSFSAの規定に準拠して親会社の年金数理計算を基に計算される。これは主に割引率の設定方法、親会社の年金債務の計算における将来債務の計算に将来の昇給が考慮されないこと、年金数理差損益は発生時に全額が認識されること(改訂IAS第19号と類似しているが、旧IAS第19号とは異なる。)に関して差異があることを意味する。認識された正味年金費用は、支払給付金及び年金拠出金から年金基金支給額を控除したものとされる。当期の正味年金費用は、親会社の損益計算書において人件費として報告される。

制度資産の価値が見積もり年金債務を超過したことによる超過額は親会社の財務書類において資産として認識されない。不足額は負債として認識される。

#### 日本の会計原則

日本の会計原則でも、確定給付型年金制度は、退職給付債務から年金資産の額を控除した額が貸借対照表に計上される。数理計算上の差異は、各期の発生額について平均残存勤務期間以内の一定の年数で按分した額を毎期費用処理(その他包括利益からリサイクリング)することとされており、また、発生時に費用処理する方法も認められている。

利息費用は退職給付債務に割引率を乗じて算定され、制度資産からの期待収益は、期首の年金資産の額に長期期待運用収益率を乗じて計算される。

#### (5) 非継続事業及び売却目的で保有する非流動資産

##### IFRS

売却目的に分類された非流動資産又は処分予定の資産及び負債は、貸借対照表(財政状態計算書)上、他の資産及び負債と区分して表示しなければならない。これらの資産及び負債を相殺して単一の金額として

表示してはならない。また、売却目的保有として分類した非流動資産(又は処分予定の資産)に関連してその他包括利益で認識された収益又は費用の累計額を区分して表示しなければならない。(IFRS第5号)

#### 日本の会計原則

資産又は負債を売却目的保有あるいは処分予定の資産及び負債へ分類する基準、並びに非継続事業の区分表示に関する基準はない。

### (6) 保険契約

#### IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRS第4号「保険契約」の定義を満たす保険契約及び裁量権のある有配当性のある金融商品に対してIFRS第4号が適用される。IFRS第4号における「保険契約」とは、「一方の当事者(保険者)が、他方の当事者(保険契約者)から、特定の不確実な将来事象(保険事故)が保険契約者に不利益を与えた場合に保険契約者に補償を行うことを同意することにより、重要な保険リスクを引き受ける契約」と定義されている。

#### 日本の会計原則

日本においては、IFRS第4号のような「保険契約」の定義はないが、保険業者が「保険契約」として当局の許認可を受けた契約は「保険契約」とされている。保険契約には保険業法による会計処理が適用される。

### (7) 保険契約における預り金要素の区分(アンバンドリング)

#### IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

保険契約の中には保険要素と預り金要素の両方を有するものがある。場合によっては、保険者は、それらの構成要素をアンバンドリングすることを要求又は許容される。

(a) 次の要件をいずれも満たす場合には、預り金要素のアンバンドリングが要求される。

( ) 保険者が当該預り金要素(すべての組込解約オプションを含む)を分離して(すなわち、保険要素を考慮することなく)測定することが可能である。

( ) 当該保険者の会計方針が、預り金要素から生じるすべての義務及び権利を認識することを特に要求していない。

(b) 保険者が預り金要素を(a)( )に記述のように分離して測定することが可能であるが、会計方針が預り金要素から生じるすべての義務及び権利を認識することを求めている場合には、権利及び義務の測定に使用される基礎に関係なく、アンバンドリングは許容されるが要求はされない。

(c) 保険者が預り金要素を(a)( )のように分離して測定することができない場合には、アンバンドリングは禁止される。

#### 日本の会計原則

日本の会計原則では、保険契約における預り金要素のアンバンドリングを扱った基準はない。

### (8) グループ利益分配

#### 信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

スウェーデンにおいては、連結税務申告は認められていない。

子会社から受領したグループ利益分配は、すべて親会社の損益計算書において受取配当金として報告される。このグループ利益分配は、親会社の貸借対照表において子会社持分の価値の増加として報告される。

## 日本の会計原則

日本の会計原則では、税金費用の最適化目的で行うグループ利益分配についての基準はない。

### (9) 金融商品

#### 金融商品の分類及び測定

##### IFRS

##### (金融資産)

IFRS9 では、金融資産の管理に関する企業の事業モデル及び、金融資産の契約条件により、元本及び元本残高に対する利息の支払のみであるキャッシュ・フローが所定の日に生じるという特性（以下「SPPI要件」という。）に基づき、原則として下記（a）～（c）のいずれかの事後測定が行われる金融資産に分類される。（IFRS第9号「金融商品」）

##### （a）償却原価測定

契約上のキャッシュ・フローを回収するために金融資産を保有することを目的とする事業モデルの中で保有し、かつSPPI要件を満たす金融資産

##### （b）その他の包括利益（以下「OCI」という。）を通じて公正価値測定（以下「FVOCI」という。）

契約上のキャッシュ・フローの回収と売却の両方を目的とする事業モデルの中で保有し、かつSPPI要件を満たす金融資産

##### （c）純損益を通じて公正価値で測定（以下「FVPL」という。）

上記以外の金融資産

上記の原則的分類に対し、下記の二つの例外が認められている。

##### ・公正価値オプション

会計上のミスマッチを除去又は大幅に低減することとなる場合には、当初認識時に金融資産をFVPL測定するという取り消しできない指定が可能

##### ・OCIオプション

資本性金融商品に対する投資について、当初認識時に公正価値の事後の変動をOCIに表示するという取り消しできない選択を行うことが可能。ただし、投資の売却時において、累積されたOCIを当期の損益に計上すること（以下「リサイクリング」という。）は認められない。

##### (金融負債)

純損益を通じて公正価値で測定する金融負債、一定の金融保証契約、公正価値オプションの指定を行った金融負債等の例外を除き、償却原価により事後測定する金融負債に分類される。

## 日本の会計原則

日本の会計原則では、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に従い、金融資産および金融負債は以下のように測定される。

- ・ 売買目的有価証券は、時価で測定し、時価の変動は損益認識される。
- ・ 個別財務書類においては、子会社株式および関連会社株式は、取得原価で計上される。

- ・満期保有目的の債券は取得原価または償却原価で測定される。
- ・売買目的有価証券、満期保有目的の債券、子会社株式および関連会社株式以外の有価証券（「その他の有価証券（IAS第39号における売却可能有価証券に類似）」）は、時価で測定し、時価の変動額は、純資産に計上され、売却、減損あるいは回収時に損益計算書へ計上される。
- ・市場価格のない株式等は取得原価をもって計上する。
- ・貸付金および債権は取得原価または償却原価で測定される。
- ・金融負債は債務額で測定される。ただし社債については償却原価法で評価される。
- ・IFRSで認められる公正価値オプションに関する会計基準はない。

## 金融資産の減損

### IFRS

IFRS9では、償却原価測定及びFVOCI 測定金融資産、リース債権、IFRS 第15号「顧客との契約から生じる収益」の範囲に含まれる取引から生じた契約資産、ローン・コミットメント、金融保証契約に係る予想信用損失に対して損失評価引当金を認識する（IFRS第9号「金融資産」）。各報告日において、金融商品に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大している場合には、当該金融商品に係る損失評価引当金を全期間の予想信用損失の金額で、金融商品に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大していない場合には、当該金融商品に係る損失評価引当金を12か月の予想信用損失の金額で測定する。

金融商品に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大しているかどうかを判定するにあたっては、予想信用損失の金額の変動ではなく、当該金融商品の予想存続期間にわたる債務不履行発生リスクの変動を用いて行う。

予想信用損失を測定する際に考慮すべき最長の期間は、企業が信用リスクに晒される最長の契約期間（延長オプションの行使による期間を含む。）を使う。

金融商品の予想信用損失は、下記を反映する方法で見積もる。

- ・一定範囲の生じ得る結果を評価することにより算定される偏りのない確率加重金額
- ・貨幣の時間価値
- ・過去の事象、現在の状況及び将来の経済状況の予測についての、報告日において過大なコストや労力を掛けずに利用可能な合理的で裏付け可能な情報

### 日本の会計原則

日本では企業会計基準第10号に従い、債権の貸倒見積高は、債務者の財政状態及び経営成績等に応じて、「一般債権」、「貸倒懸念債権」、「破産更生債権等」に区分し、それぞれに応じて定められた方法により算定する。

売買目的以外の有価証券のうち時価があるものについて、時価が著しく下落した場合に、回復する見込みがあると認められる場合を除き、減損損失が認識され、当該資産の帳簿価額は時価まで減額される。減損損失の額は当期純利益に認識される。

その他の有価証券について減損損失の認識を行う場合、純資産に認識された累積未実現損失は、純資産から除かれ、当期純利益に認識される。減損損失の戻入は認められない。

## ヘッジ

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

一定の条件が満たされた場合は、下記の種類のヘッジ関係に係るヘッジ会計が認められている。

- ・ 公正価値ヘッジ(すなわち、特定のリスクに起因し、損益に影響を与える可能性がある、認識済みの資産又は負債の公正価値の変動に対するエクスポージャーのヘッジ) - ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益は損益計算書に計上されている。また、ヘッジされたリスクに起因するヘッジ対象の損益はヘッジ対象の帳簿価額により調整され、これもまた損益計算書に計上されている。
- ・ キャッシュフロー・ヘッジ(すなわち、認識済み資産又は負債に係る特定のリスク又は発生の可能性の高い予定取引に起因し、損益に影響を与える可能性がある、キャッシュ・フローの変動可能性に対するエクスポージャーのヘッジ) - ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益のうち有効なヘッジと判断される部分はその他包括利益に計上され、非有効部分は損益計算書に計上される。
- ・ 在外営業活動体に対する純投資のヘッジ - ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益のうち有効なヘッジと判断される部分はその他包括利益に計上され、非有効部分は損益に計上されている。

IFRSでは、類似の資産、負債、発生可能性の非常に高い予定取引又は在外営業活動体に対する純投資のポートフォリオをヘッジ対象とすることができる。このため、IAS第39号は類似した項目のみを1つのポートフォリオにグループ化することを認めている。次の両方に該当する場合、項目は類似していると考えられる。a)ヘッジされるリスクを共有していること、b)ヘッジされるリスクに起因する個々の項目の公正価値の変動は、ヘッジされるリスクに起因するポートフォリオの公正価値の全体の変動におおむね比例すると見込まれること。

#### 日本の会計原則

日本の会計原則では、デリバティブ金融商品について、会計基準により定められたヘッジ会計の要件を満たす場合には、原則として、「繰延ヘッジ会計」(ヘッジ手段の損益を貸借対照表の「純資産の部」に計上し、ヘッジ対象が損益計上されるのと同じ会計期間に損益に計上する。)が適用されるが、その他有価証券については、「時価ヘッジ会計」(ヘッジ手段の損益を発生時に計上するとともに、同一の会計期間にヘッジ対象の損益も計上する。)を適用できる。

日本の会計原則では、リスク要因(金利リスク、為替リスク等)が共通しており、かつ、リスクに対する反応が同一グループ内の個々の資産又は負債との間でほぼ同様である場合に、ポートフォリオに対するヘッジ指定ができる。

#### 金融資産の認識の中止

##### IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

金融資産からのキャッシュ・フローに対する契約上の権利が消滅し、又は金融資産が譲渡され、かつ、その譲渡が認識の中止の要件を満たす場合、金融資産の認識は中止される。

譲渡においては、報告企業は、資産のキャッシュ・フローを受取る契約上の権利を移転すること、又は資産のキャッシュ・フローの権利を留保するが、そのキャッシュ・フローを第三者に支払う契約上の義務を引受けることのいずれかを要求される。譲渡に際して、会社は、譲渡した資産の所有に係るリスクと経済価値がどの程度留保されているかを評価する。実質的にすべてのリスクと経済価値が留保されている場合は、その資産は引続き貸借対照表(財政状態計算書)で認識される。実質的にすべてのリスクと経済価値が移転された場合は、当該資産の認識は中止される。

実質的にすべてのリスクと経済価値が留保も移転もされない場合は、会社はその資産の支配を引続き留保しているかどうかについて評価をする。支配を留保していない場合は、当該資産の認識は中止される。一方、会社が支配を留保している場合、継続関与の程度に応じて、引続きその資産を認識する。

## 日本の会計原則

日本の会計原則では、「金融商品に係る会計基準」により、金融資産は金融資産の契約上の権利を行使したとき、権利を喪失したとき、又は権利に対する支配が他に移転したときに認識が中止される。金融資産の契約上の権利に対する支配が他に移転するのは、(a)譲渡された金融資産に対する譲渡人の契約上の権利が譲渡人及びその債権者から法的に隔離され、(b)譲受人が譲渡された金融資産の契約上の権利を直接又は間接に享受でき、(c)譲渡人が譲渡した金融資産を当該金融資産の満期前に買戻す又は償還する権利及び義務を有していない場合である。

### (10) リース

#### IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、IFRS第16号「リース」に従い、借手はリースをファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に区分せず、単一の借手会計処理モデルを適用する。すべてのリース契約（短期リース契約及び原資産が少額であるリース契約を除く）につき、借手の貸借対照表に資産（使用権資産）および負債が認識される。また当該資産の減価償却費ならびにリース債務に係る支払利息は損益計算書に認識される。

#### 日本の会計原則

企業会計基準第13号に従い、借手はリースをファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に区分する。借手のファイナンス・リース取引は、通常の売買取引に係る方法に準じて、リース物件とこれに係る債務をリース資産及びリース債務として貸借対照表に計上する。ただし、リース契約1件当たりのリース料総額が300万円以下のリース取引や、リース期間が1年以内のリース取引などは、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行うことができる。

オペレーティング・リース取引とは、ファイナンス・リース取引以外のリース取引をいう。オペレーティング・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行う。

**第7【外国為替相場の推移】****1【最近5年間の事業年度別為替相場の推移】**

(1スウェーデン・クローネ当たり、単位：円)

事業年度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
決算月日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日
最高	13.95	12.22	12.63	13.39	13.69
最低	12.01	10.78	10.58	12.34	11.55
平均	12.71	11.53	11.63	12.81	12.99
期末	12.33	11.75	12.63	12.74	12.68

出典：株式会社三菱UFJ銀行「1990年以降の為替相場」

(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past\_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

**2【最近6月間の月別最高・最低為替相場】**

(1スウェーデン・クローネ当たり、単位：円)

月別	2022年12月	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2023年4月	2023年5月
最高	13.34	12.78	13.12	13.04	13.13	13.32
最低	12.57	12.34	12.40	12.53	12.58	12.87
平均	13.01	12.56	12.72	12.77	12.89	13.12

出典：株式会社三菱UFJ銀行「1990年以降の為替相場」

(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past\_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

**3【最近日の為替相場】**

1スウェーデン・クローネ = 13.23円 (2023年6月16日)

出典：株式会社三菱UFJ銀行「1990年以降の為替相場」

(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past\_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

**第8【本邦における提出会社の株式事務等の概要】**

該当事項なし。

**第9【提出会社の参考情報】****1【提出会社の親会社等の情報】**

該当事項なし。

**2【その他の参考情報】**

2022年1月1日以降、本書の提出日までの間に、提出された書類及び提出日は以下のとおりである。

(1) 有価証券報告書及びその添付書類

2022年6月27日 関東財務局長に提出

## (2) 半期報告書及びその添付書類

2022年9月28日 関東財務局長に提出

## (3) 臨時報告書及びその添付書類

2022年10月11日 金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の規定に基づき、関東財務局長に提出

## (4) 臨時報告書及びその添付書類

2023年5月31日 金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第1項及び第2項第9号の4の規定に基づき、関東財務局長に提出

**第二部【提出会社の保証会社等の情報】****第1【保証会社情報】**

該当事項なし。

**第2【保証会社以外の会社の情報】**

該当事項なし。

**第3【指数等の情報】**

該当事項なし。

( 翻訳 )

## 監査報告書

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト ( 企業識別番号502007-7862号 )

定時株主総会御中

### 年次財務諸表及び連結財務諸表に関する報告

#### 監査意見

私たちは、36-73ページ ( 訳注：原文のページ番号である。以下同様。 ) のサステナビリティ・レポートを除く、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの2022年度の年次財務諸表及び連結財務諸表の監査を行った。当社の年次財務諸表は本書の6-258ページに含まれている。

私たちの意見では、年次財務諸表は信用機関及び証券会社に係る年次報告法に準拠して作成されており、また、親会社及び当行グループの2022年12月31日現在の財政状態並びに同日に終了した事業年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況は、同法に準拠し、すべての重要な点において適正に表示されているものと認める。連結財務諸表は、信用機関及び証券会社に係る年次報告法に準拠して作成されており、また、当行グループの2022年12月31日現在の財政状態並びに同日に終了した事業年度の財務成績及びキャッシュ・フローの状況は、同法及びEUが採択した国際財務報告基準 ( 以下、「IFRS」という。 ) に準拠し、すべての重要な点において適正に表示されているものと認める。

コーポレート・ガバナンス報告書が作成されているが、法定の経営報告書及びコーポレート・ガバナンス報告書は年次財務諸表及び連結財務諸表の他の部分と整合している。また、コーポレート・ガバナンス報告書は、信用機関及び証券会社に係る年次報告法に準拠している。

したがって、私たちは、定時株主総会に対し親会社及び当行グループの損益計算書及び貸借対照表の採択を勧告する。

年次財務諸表及び連結財務諸表に関する本報告書の中の私たちの意見は、監査規則 ( 537/2014 ) 第11条に準拠して親会社の監査委員会に提出されている追加の報告書の内容と整合している。

#### 監査意見の基礎

私たちは、国際監査基準 ( 以下、「ISA」という。 ) 及びスウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して監査を行った。本基準における私たちの責任は「監査人の責任」項目で詳述されている。私たちは、スウェーデンの会計士に係る職業倫理に準拠して親会社及び当行グループから独立しており、これらの規定で定められている私たちの倫理的責任を果たした。これには、私たちの知る限りにおいて、監査先企業又は該当する場合、その親会社若しくはEUの中で支配下にある企業に対し、監査規則 ( 537/2014 ) 第5条1項に規定されている禁止業務は行われていないことが含まれている。

私たちは、私たちの意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査上の主要な検討事項

監査上の主要な検討事項とは、私たちの職業的専門家としての判断において、当年度の年次財務諸表及び連結財務諸表で最も重要な事項である。これらの事項は、年次財務諸表及び連結財務諸表全体に対する監査及び監査意見の形成において対応したものであり、私たちはこれらの事項に対し個別に意見を表明しない。各事項に対しどのように対応したかについて記載されている。

私たちは、これらの事項に関するものを含め、私たちの報告書の中の財務諸表の監査対象部分に対し、監査人の責任のセクションにおいて記載されている責任を果たした。従って、私たちの監査には財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に対応するために策定された手続の実施が含まれている。私たちの監査手続の結果は、後述する事項に対応するために実施した手続を含め、添付の財務諸表に対する監査意見の基礎を提供している。

## 予想信用損失引当金

本項目に関する詳細情報及び説明は、年次財務諸表及び連結財務諸表に示されている。信用リスクエクスポージャー及び信用リスク管理は113ページの注記G2で説明されている。当行グループが計上した予想信用損失については注記G10に記載されている。親会社に関する情報は注記P2及びP10に記載されている。関連する当行グループの会計方針は、102ページの注記G1のセクション10及び109ページの注記G1のセクション22で説明されている。注記P1には、信用供与及び予想信用損失引当金に関する親会社の会計原則が当行グループの会計原則と一致していることが記載されている。

### 監査上の主要な検討事項の説明

2022年12月31日現在の一般顧客への貸出金は2,315,818百万スウェーデン・クローネ（親会社は637,721百万スウェーデン・クローネ）であり、これは資産合計の67%（親会社は27%）である。オフバランスシート・コミットメントを含めた全体的な信用リスクエクスポージャーの金額は3,709,066百万スウェーデン・クローネ（親会社は2,999,427百万スウェーデン・クローネ）であった。

一般顧客への貸出金に対する予想信用損失引当金の金額は2,454百万スウェーデン・クローネ（親会社は1,542百万スウェーデン・クローネ）であり、そのうちの1,197百万スウェーデン・クローネ（親会社は608百万スウェーデン・クローネ）はモデルベースの算定に基づいており（ステージ1及び2）、1,257百万スウェーデン・クローネ（親会社は934百万スウェーデン・クローネ）はマニュアルの算定（ステージ3）によるものであった。モデルでは会計処理されない要因を勘案するために、当行はステージ1及び2に関するモデルベースの算定結果に対し調整を加えている。

予想信用損失引当金は、一定範囲の生じ得る結果を評価することにより算定され、また過去の事象、現在の状況及び将来の経済状況に基づいた偏りのない確率加重された金額を反映する方法で測定される。引当を行うに当たり、当行には、信用リスクの著しい増大を特定するための要件に関する見積りと仮定を行うこと及び予想信用損失を算定する方法を構築することが求められている。算定の複雑さに加え、当行には計上金額に重要な影響を及ぼす見積りと仮定が求められることから、予想信用損失の引当は監査上の主要な検討事項であると考えられる。

### 監査における本項目への対応

私たちは、倒産確率、デフォルト時損失率、デフォルト時エクスポージャー、予想信用損失に加え、信用リスクの著しい増大に関する当行の評価がIFRS第9号に従っているかどうかを評価した。

私たちは、与信判断、与信レビュー、格付区分を含む与信プロセスのほか、デフォルトとみなされる与信の識別及び判定におけるキーコントロールのデザインについて理解しテストを実施した。私たちはまた、モデルデータのインプット及びこれらのシステムの承認の取扱いを含むIT全般統制のテストを実施した。私たちは、監査を実施する上で、統制に基づく手法を採用できるものと評価した。

さらに私たちは、試査により当行の当初の信用格付と最新の信用格付を検討した。私たちは、モデルにおいて使用される対応システムで処理されているデータが網羅的かつ正確であるかどうかをテストした。

私たちは、仮定とパラメーターを含むモデルの検証と評価を行ったほか、モデルの機能を確認した。また実施されたモデル検証結果を検討し評価し、使用されたマクロ経済データの妥当性を検討した。私たちはエキスパートベースによる引当を含め、当行が行ったマニュアルベースの修正の妥当性を検討した。私たちは、内部のモデル専門家の支援を受けて監査手続を実施した。

私たちはまた、信用リスクに関する財務報告における開示が適切であるかについて検討した。

## 市場価格が入手不能な金融商品の公正価値測定

監査上の主要な検討事項の詳細情報及び説明は、年次財務諸表及び連結財務諸表に示されている。公正価値で測定される金融商品について、当行グループについては注記G42、親会社については注記P37で説明されている。関連する当行グループの会計原則は、101ページの注記G1のセクション9で説明されている。注記P1には、公正価値で測定される金融商品に関する親会社の会計原則が当行グループの会計原則と一致していることが記載されている。

### 監査上の主要な検討事項の説明

当行は市場価格が入手不能な金融商品を有しており、この場合、公正価値は市場データに基づく評価モデルを利用して決定されている。これらの金融商品はIFRSの公正価値評価ヒエラルキーのレベル2に区分される。またスヴェンスカ・ハンデルスバンケン、評価モデルを使用して公正価値測定が決定され、その評価が外部の市場データによる裏付け不能なインプットデータに影響される金融商品を一部保有している。これらの金融商品はIFRSの公正価値評価ヒエラルキーのレベル3に区分されている。

当行グループは38,179百万スウェーデン・クローネ（親会社は71,081百万スウェーデン・クローネ）のレベル2の金融資産及び31,410百万スウェーデン・クローネ（親会社は38,608百万スウェーデン・クローネ）のレベル2の金融負債を保有している。レベル3の金融資産及び負債の金額は、それぞれ737百万スウェーデン・クローネ（親会社は716百万スウェーデン・クローネ）及び564百万スウェーデン・クローネ（親会社は564百万スウェーデン・クローネ）である。

レベル2の金融商品の多くが、金利スワップ及びさまざまな種類の線形通貨デリバティブを含むデリバティブ並びに社債である。レベル2の社債及びデリバティブは、市場金利及びその他の市場価格に基づく評価モデルを使用して評価される。レベル3の金融商品は、主にジョイント・ベンチャーの非上場株式及び保険事業における投資、並びに観察不能なデータを用いて評価される特定のデリバティブで構成される。算定の複雑さに加え、計上金額に重要な影響を及ぼす当行の評価が必要とされることから、市場価格がない金融商品の評価は監査上の主要な検討事項であると考えられる。

### 監査における本項目への対応

私たちは、市場価格が入手できない金融商品に対する当行の評価方法について、公正価値ヒエラルキーの分類も含め、IFRS第13号に則っているかどうかを評価した。

私たちは、当行のモデルベースの計算で使用された手法と仮定の評価と承認、データ品質の管理及び内部評価モデルの変更の取扱いを含めた、評価プロセスにおけるキーコントロールをテストした。私たちはまた、これらのシステムの承認の取扱いを含むIT全般統制をテストした。

私たちは、これらのキーコントロールが整備され、実施され有効に運用されていることを評価し、そのため私たちの監査手続上、これらのキーコントロールに依拠できるものと判断した。

さらに私たちは、市場価格が入手不能な金融商品の価値を測定するために用いられた手法と仮定を検証した。私たちは、評価モデルを評価ガイダンスや標準的な業界慣行と比較した。私たちは、用いられた仮定を価格情報源と比較し、重要な逸脱について調査した。また私たちは、見積りの正確性をサンプルベースで検証したほか、独自に独立した評価を実施した。私たちは、内部の評価専門家の支援を受けて監査手続を実施した。私たちはまた、金融商品の公正価値に関する財務諸表の開示が適切であるかどうか評価を行った。

### 年次財務諸表及び連結財務諸表以外のその他の情報

この報告書には、年次財務諸表及び連結財務諸表以外のその他の情報（原文の1-5ページ、36-73ページ及び265-267ページに記載されている。）も含まれている。2022年度に係る報酬報告書も同様にその他の情報に該当する。取締役会及び最高経営責任者はその他の情報について責任を負っている。

年次財務諸表及び連結財務諸表に対する私たちの意見は、その他の情報を対象としていない。また、私たちは当該その他の情報に関していかなる形式の保証の結論も表明しない。

年次財務諸表及び連結財務諸表監査に関連する私たちの責任は、上記で特定された情報を通読しその情報と年次財務諸表及び連結財務諸表との間に重要な不整合があるか否かを検討することである。この手続により、私たちは監査の過程で得た知識から、この情報に重要な虚偽表示があると考えられるか否かについても評価した。

当該情報に関する私たちの手続に基づいて、当該その他の情報に重要な虚偽表示があると結論づけられた場合、私たちはその事実の報告が求められる。この件について私たちからの報告事項はない。

### 取締役会及び最高経営責任者の責任

取締役会及び最高経営責任者は、信用機関及び証券会社に係る年次報告法に準拠して適正に表示された年次財務諸表の作成、及びEUに採択されたIFRSに準拠して適正かつ正確に表示された連結財務諸表を作成する責任がある。取締役会及び最高経営責任者はまた、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない年次財務諸表及び連結財務諸表の作成に必要と考える内部統制に対する責任がある。

年次財務諸表及び連結財務諸表の作成において、取締役会及び最高経営責任者は、当社及び当行グループが継続企業として存続する能力を評価する責任がある。該当する場合には、継続企業に関する事項を開示し、継続企業を前提とした会計を適用する。ただし、継続企業を前提とした会計は、取締役会及び最高経営責任者が当社の清算、事業を終了する意思がある場合、または現実的にそれ以外の代替手段がない場合には適用されない。監査委員会は、取締役会の責任及び全般的な業務に影響を及ぼさずに、特に当社の財務報告プロセスを監視する。

### 監査人の責任

私たちの目的は、全体としての年次財務諸表及び連結財務諸表に、不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかに関する合理的な保証を得て、私たちの意見を含めた監査報告書を発行することにある。合理的な保証は高い水準の保証であるが、国際監査基準（以下、「ISA」という。）及びスウェーデンにおける一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠した監査が、存在するすべての重要な虚偽表示を常に発見することを確約するものではない。虚偽表示は、不正又は誤謬から発生する可能性があり、個別に又は集約して、年次財務諸表及び連結財務諸表利用者の経済的意思決定に影響することが合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。ISAに準拠した監査の過程を通じて、私たちは職業的専門家としての判断を行使し、職業的専門家としての懐疑心を保持する他、以下を実施した。

- ・不正又は誤謬による年次財務諸表及び連結財務諸表の重要な虚偽表示リスクの識別及び評価、これらリスクに対応した監査手続の立案及び実施、並びに私たちの監査意見の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手した。不正には、共謀、文書の偽造、取引等の記録からの意図的な除外、虚偽の陳述、又は内部統制の無効化を伴うため、不正による重要な虚偽表示リスクを発見できないリスクは、誤謬による重要な虚偽表示を発見できないリスクよりも高くなる。
- ・状況に応じた適切な監査手続を立案するために、私たちの監査に関連する当社の内部統制を理解する。ただし、これは、当社の内部統制の有効性に対する意見を表明するためではない。
- ・適用されている会計方針の適切性、並びに取締役会及び最高経営責任者によって行われた会計上の見積り及び関連する開示の妥当性を評価した。
- ・取締役会及び最高経営責任者が、継続企業を前提とした会計に基づく年次財務諸表及び連結財務諸表を作成することの適切性について結論を得た。私たちは、入手した監査証拠に基づいて当社及び当社グループの事業継続能力に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関する重要な不確実性が認められるかどうかについて結論に達した。重要な不確実性が認められる場合、私たちは、監査報告書において年次財務諸表及び連結財務諸表関連の開示に注意喚起することが求められる。また、その開示が不適切である場合は、年次財務諸表及び連結財務諸表に対して除外事項付意見を表明する。私たちの結論は監査報告書の日付までに入手した以下の監査証拠に基づいている。しかしながら、将来の事象又は状況により当社及び当社グループは継続企業として存続できなくなる場合がある。
- ・年次財務諸表及び連結財務諸表全体の表示、構成及び内容について評価した。ここには年次財務諸表及び連結財務諸表が基礎となる取引及び事象を適正に表示しているか否かの評価が含まれる。
- ・連結財務諸表に対する意見表明のための、当行グループ内の企業活動及び事業活動の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手した。私たちはグループ監査を指示、監督及び実施する責任がある。私たちは監査意見について単独で責任を負う。

私たちは、その他の事項とともに、監査の範囲及び時期に関する監査計画について取締役会に報告しなければならない。私たちはまた、私たちが識別した内部統制の重要な不備を含む重要な監査上の発見事項について報告しなければならない。

また私たちは、取締役会に対して私たちが独立性に関する倫理規定に準拠している旨の宣誓書を提供しなければならないほか、取締役会に対して、私たちの独立性に影響することが合理的に考えられる関係及びその他の事項のすべてを報告し、また、該当する場合には関連するセーフガードを通知しなければならない。

私たちは、取締役会に報告された事項の中で、最も重要と評価された重要な虚偽表示リスクを含む、年次財務諸表及び連結財務諸表監査において最も重要と考える事項を決定した。したがって、これが監査上の主要な検討事項となる。私たちは、これらの事項について法規制により公表が禁止されている、あるいは、極端にまれな状況であるが、監査報告書に記載することにより生じる不利益が公共の利益を上回ることが合理的に予想され、当該事項を監査報告書に記載すべきでないとして私たちが決定した場合を除き、これらの事項を監査報告書において説明している。

## 他の法令上の要件及び規制上の要件に関する報告

### 会社の業務及び会社の利益処分案の監査に関する監査人の監査

#### 監査意見

私たちは、年次財務諸表及び連結財務諸表の監査に加えて、2022年度のスヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの取締役会及び最高経営責任者の業務及び当社の利益処分案も監査した。

私たちは、定時株主総会に対して、法定経営報告書に記載されている提案に従った利益処分、及び当事業年度について取締役会のメンバー及び最高経営責任者の責任解除を勧告する。

#### 監査意見の基礎

私たちはスウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して監査を実施した。本基準における私たちの責任は、「監査人の責任」項目に詳述されている。私たちは、スウェーデンの会計士に係る職業倫理に準拠して親会社及び当行グループから独立しており、これらの規定で定められている私たちの倫理的責任を果たした。私たちは、私たちの意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 取締役会及び最高経営責任者の責任

取締役会は、当社の利益処分案について責任がある。この責任には、配当案において、親会社及び当行グループの資本に対する当社及び当行グループの事業区分、規模及びリスク、連結要件、流動性及び全般的な財政の規模に対する要件を考慮して、配当が正当なものであるか否かの評価が含まれている。

取締役会は当社の組織及び業務経営について責任がある。この責任には、特に当社及び当行グループの財政状態の継続評価に加え、当社の経理、資産管理及び財政状況が適切な方法で管理されるよう組織を整備することが含まれる。

最高経営責任者は、「取締役会ガイドライン及びインストラクション」に従って継続的に業務運営を行うほか、法令に準拠して当社の会計処理を行い、確実に資産の管理を行うために必要な措置を講じなければならない。

#### 監査人の責任

業務監査に関する私たちの目的、責任解除に関する私たちの意見は、取締役会のメンバー又は最高経営責任者の誰かが、重要な点において、以下のいずれかに該当するか否かについて合理的な保証を得るために監査証拠を入手することである。

- ・当社に不利益をもたらす行為若しくは不作為を行った又は
- ・何らかの方法により、会社法、銀行及び金融業法、信用機関及び証券会社に係る年次報告法又は定款に違反する行為を行った

当社の利益処分案の監査及び監査意見に関する私たちの目的は、利益処分案が会社法に準拠しているか否かについて合理的な保証を得るために評価することにある。

合理的な保証は高い水準の保証であるが、スウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠した監査が、当社に不利益をもたらす行為若しくは不作為があること、及び利益処分案が会社法に準拠していないことを常に発見することを確約するものではない。

スウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠した監査の過程を通じて、私たちは職業的専門家としての判断を行使し、職業的懐疑心を保持する。業務及び当社の利益処分案の調査は主に財務諸表

の監査に基づいている。追加の監査手続は、リスク及び重要性を主眼に、職業的専門家としての判断に基づいて実施された。これは、事業への影響が高く、逸脱及び違反が会社の状況にとって重大となる行為、領域、及び関連性の検査に私たちが注力したことを意味する。私たちは、行使された意思決定、営業判断に用いられた裏付け、実施された行動及び責任解除に関する私たちの意見に影響する他の状況について検証シテストを実施した。取締役会による当社の利益処分案に対する意見の基礎として、私たちは、本処分案が会社法に準拠していたかどうかを評価するために取締役会の陳述書及び選択された裏付けを検証した。

## ESEFレポートに対する監査人の検証

### 意見

私たちは、年次財務諸表及び連結財務諸表の監査に加えて、スウェーデン証券市場法(2007:528)第16章セクション4(a)に従い、取締役会及び最高経営責任者により、2022年度のスヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの年次財務諸表及び連結財務諸表が、欧州単一電子報告(Esefレポート)を可能にするフォーマットで作成されていることを検証した。

私たちの検証及び意見は法定要件にのみ関連している。私たちの意見では、Esefレポートは、すべての重要な点において、単一電子報告が可能なフォーマットで作成されている。

### 意見の基礎

私たちは、FARの勧告RevR18「ESEFレポートの検証」に準拠して検証を行った。本勧告に基づく私たちの責任は、監査人の責任のセクションに詳述されている。私たちは、スウェーデンの会計士の職業倫理に従い、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトから独立しているほか、これらの要件に従って私たちの倫理的責任を果たしている。

私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な証拠を入手したと判断している。

## 取締役会及び最高経営責任者の責任

取締役会及び最高経営責任者は、スウェーデン証券市場法(2007:528)第16章セクション4(a)に準拠したESEFレポートの作成、及び、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のないESEFレポートを作成するため取締役会及び最高経営責任者が必要であると考えられる内部統制に対する責任がある。

## 監査人の責任

私たちの責任は、実施した手続に基づいて、ESEFレポートがすべての重要な点においてスウェーデン証券市場法(2007:528)第16章セクション4(a)の要求事項を満たすフォーマットで作成されているかどうかに関する合理的な保証を得ることである。

RevR18は、ESEFレポートがこれらの要求事項を満たすフォーマットで作成されていることを合理的に保証するための手続を計画し実施することを要求している。

合理的な保証は高い水準の保証であるが、RevR18及びスウェーデンにおける一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して実施された業務が、存在しているすべての重要な虚偽表示を常に発見することを確約するものではない。虚偽表示は、不正又は誤謬から発生する可能性があり、個別に又は集約して、ESEFレポートに基づいて行われる利用者の経済的意思決定に影響することが合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

私たちは、職業倫理上の要求事項、専門的職業基準並びに法令及び規制上の要求事項の遵守に関する方針・手続書を含む品質管理システムを設計し導入し維持するよう求めている、品質管理に関する国際基準第1号を適用している。

本検証には、様々な手続を通じて、年次財務諸表及び連結財務諸表の単一電子報告が可能なフォーマットでESEFレポートが作成されていることの証拠を入手することが含まれる。選択される手続は、報告書における不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクに係る評価を含む、監査人による判断に依拠している。このリスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、私たちは、内部統制のうち取締役会及び最高経営責任者によるESEFレポートの作成に関連する要素を検討する。ただし、これは、当該内部統制の有効性に対する意見を表明するためではない。また、本検証には、取締役会及び最高経営責任者が設定した仮定の適切性及び合理性に関する評価も含まれる。

この手続には主に、Esefレポートが有効なXHTMLフォーマットで作成されているかどうかの検証及び、Esefレポートと監査済年次財務諸表及び連結財務諸表との調整作業が含まれる。

またこの手続には、Esefレポートの中の連結損益計算書、連結財政状態計算書、連結持分変動計算書及び連結キャッシュ・フロー計算書並びに開示が、Esefの規制に従いiXBRLでタグ付けされているかどうかの評価も含まれる。

### 法定サステナビリティ・レポートに関する監査人の意見

取締役会は、36-73ページの法定サステナビリティ・レポートについて責任があり、同レポートは年次報告法に準拠して作成されている。

私たちは、FARの監査基準RevR12「法定サステナビリティ・レポートに関する監査人の意見」に準拠して検証を実施した。これは、法定サステナビリティ・レポートに関する私たちの検証が、国際監査基準及びスウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して実施される監査とは異なり、範囲が遥かに狭いことを意味する。私たちは、この検証で私たちの意見表明に十分な基礎を入手したと判断している。

法定サステナビリティ・レポートが作成されている。

ストックホルム、Torsgatan 21, 11397 に所在するプライス・ウォーターハウス・コーパース・エイ・ビーは、2022年3月23日に開催された年次株主総会において、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの監査人に指名され、2017年3月29日より当社の監査人を務めている。

ストックホルム、Hamngatan 26, 11147 に所在するアーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビーは、2022年3月23日に開催された定時株主総会において、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの監査人に指名され、1998年4月28日より当社の監査人を務めている。

ストックホルム、2023年2月23日

アーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビー  
アーサー・ルンドヴァル  
公認会計士

プライス・ウォーターハウス・コーパース・エイ・ビー  
ヨハン・リップ  
公認会計士

[次へ](#)

# Revisionsberättelse

Till bolagsstämman i Svenska Handelsbanken AB (publ), org.nr 502007-7862

Rapport om årsredovisningen och koncernredovisningen

## Uttalanden

Vi har utfört en revision av årsredovisningen och koncernredovisningen för Svenska Handelsbanken AB (publ) för år 2022 med undantag för hållbarhetsrapporten på sidorna 36-73. Bolagets årsredovisning och koncernredovisning ingår på sidorna 6-258 i detta dokument.

Enligt vår uppfattning har årsredovisningen upprättats i enlighet med lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag och ger en i alla väsentliga avseenden rättvisande bild av moderbolagets finansiella ställning per den 31 december 2022 och av dess finansiella resultat och kassaflöde för året enligt lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag. Koncernredovisningen har upprättats i enlighet med lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag och ger en i alla väsentliga avseenden rättvisande bild av koncernens finansiella ställning per den 31 december 2022 och av dess finansiella resultat och kassaflöde för året enligt International Financial Reporting Standards (IFRS), såsom de antagits av EU, och lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag.

En bolagsstyrningsrapport har upprättats. Förvaltningsberättelsen och bolagsstyrningsrapporten är förenliga med årsredovisningens och koncernredovisningens övriga delar, och bolagsstyrningsrapporten är i överensstämmelse med lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag.

Vi tillstyrker därför att bolagsstämman fastställer resultaträkningen och balansräkningen för moderbolaget och koncernen.

Våra uttalanden i denna rapport om årsredovisningen och koncernredovisningen är förenliga med innehållet i den kompletterande rapport som har överlämnats till moderbolagets revisionsutskott i enlighet med Revisorsförordningens (537/2014) artikel 11.

## Grund för uttalanden

Vi har utfört revisionen enligt International Standards on Auditing (ISA) och god revisionssed i Sverige. Vårt ansvar enligt dessa standarder beskrivs närmare i avsnittet Revisorns ansvar. Vi är oberoende i förhållande till moderbolaget och koncernen enligt god revisorssed i Sverige och har i övrigt fullgjort vårt yrkesetiska ansvar enligt dessa krav. Detta innefattar att, baserat på vår bästa kunskap och övertygelse, inga förbjudna tjänster som avses i revisorsförordningens (537/2014) artikel 5.1 har tillhandahållits det granskade bolaget eller, i förekommande fall, dess moderföretag eller dess kontrollerade företag inom EU.

Vi anser att de revisionsbevis vi har inhämtat är tillräckliga och ändamålsenliga som grund för våra uttalanden.

## SÄRSKILT BETYDELSEFULLA OMRÅDEN

Särskilt betydelsefulla områden för revisionen är de områden som enligt vår professionella bedömning var de mest betydelsefulla för revisionen av årsredovisningen och koncernredovisningen för den aktuella perioden. Dessa områden behandlades inom ramen för revisionen av, och i vårt ställningstagande till, årsredovisningen och koncernredovisningen som helhet, men vi gör inga separata uttalanden om dessa områden. Beskrivningen nedan av hur revisionen genomfördes inom dessa områden ska läsas i detta sammanhang.

Vi har fullgjort de skyldigheter som beskrivs i avsnittet Revisorns ansvar i vår rapport om årsredovisningen också inom dessa områden. Därmed genomfördes revisionsåtgärder som utformats för att beakta vår bedömning av risk för väsentliga felaktigheter i årsredovisningen och koncernredovisningen. Utfallet av vår granskning och de granskningsåtgärder som genomförts för att behandla de områden som framgår nedan utgör grunden för vår revisionsberättelse.

## Reservering för förväntade kreditförluster

Detaljerade upplysningar och beskrivning av området lämnas i årsredovisningen och koncernredovisningen. Kreditriskexponeringar och dess hantering beskrivs i not K2 från sid 113. Koncernens redovisade förväntade kreditförluster specificeras i not K10. Upplysningar avseende moderbolaget finns i not M2 och M10. För området relevanta redovisningsprinciper för koncernen beskrivs i not K1, avsnitt 10 på sid 102 samt i not K1, avsnitt 22 på sid 109. Av not M1 framgår att moderbolagets redovisningsprinciper avseende kreditgivning och reserveringar för förväntade kreditförluster överensstämmer med koncernens redovisningsprinciper.

## Beskrivning av området

Per den 31 december 2022 uppgår utlåning till allmänheten till 2 315 818 mkr (637 721) i koncernen (moderbolaget) vilket motsvarar 67% (27) av totala tillgångar. Den totala kreditriskexponeringen, inklusive åtaganden utanför balansräkningen, uppgår till 3 709 066 mkr (2 999 427).

Reservering för förväntade kreditförluster för utlåning till allmänheten uppgår till 2 454 mkr (1542) varav 1 197 mkr (608) baseras på modell- och expertbaserade beräkningar (Steg 1 och 2) och 1 257 mkr (934) på manuella beräkningar (Steg 3). Banken utför expertbaserade justeringar för modellberäknade reserver i Steg 1 och 2 för att beakta effekter från faktorer som inte bedöms fångas upp av modellen.

Förlustrisken ska värderas på ett sätt som återspeglar ett objektiva och sannolikhetsvägt belopp som bestäms genom att utvärdera ett intervall av möjliga utfall och baseras på tidigare händelser, nuvarande förhållanden och prognoser för framtida ekonomiska förutsättningar. Reserveringen kräver att Banken gör bedömningar och antaganden av exempelvis kriterier för att identifiera en väsentlig ökning i kreditrisk och metoder för att beräkna förväntade kreditförluster. Givet komplexiteten vid beräkningen och att det kräver att Banken gör bedömningar och antaganden med väsentlig påverkan på redovisade belopp har värdering av reserven för förväntade kreditförluster ansetts vara ett särskilt betydelsefullt område.

#### ***Hur detta område beaktades i revisionen***

Vi har utvärderat huruvida Bankens bedömning av sannolikhet för fallissemang, förlust vid fallissemang, exponering vid fallissemang och förväntad kreditförlust samt väsentlig ökning av kreditrisk är i enlighet med IFRS 9.

Vi har erhållit förståelse för och testat utformningen av nyckelkontroller i kreditprocessen inklusive kreditbeslut, kreditgranskning, ratingklassificering samt identifiering och fastställande av krediter som bedöms vara i fallissemang. Vi har även testat kontroller avseende inläsning av modelldata och generella IT-kontroller inklusive behörighetshantering för dessa system. Vår bedömning är att vi kan ha en kontrollbaserad ansats i vår revision.

Vidare har vi utmanat bankens initiala och aktuella kreditrating för ett stickprov av krediter. Vi har testat att data från underliggande system som används i modellen är fullständig och korrekt. Vi har granskat och bedömt modellen som används inklusive antagande och parameter samt kontrollerat modellens funktionalitet. Vi har även granskat och bedömt utfall av de modellvalideringar som har utförts och bedömt rimligheten i den makroekonomiska data som används. Vi har bedömt rimligheten i de manuella justeringar, inklusive den expertbaserade reserveringen, som utförts av Banken. I vår revision har vi använt våra interna modellspecialister för att bistå oss i de granskningsåtgärder vi utfört.

Vi har även granskat att lämnade upplysningar i de finansiella rapporterna angående kreditrisk är ändamålsenliga.

#### ***Värdering av finansiella instrument där marknadspriser saknas***

Detaljerade upplysningar och beskrivning av området lämnas i årsredovisningen och koncernredovisningen. Finansiella instrument värderade till verkligt värde beskrivs i not K42 för koncernen och M37 för moderbolaget. För området relevanta redovisningsprinciper för koncernen beskrivs i not K1, avsnitt 9 på sid 101. Av not M1 framgår att moderbolagets redovisningsprinciper avseende finansiella instrument värderade till verkligt värde överensstämmer med koncernens redovisningsprinciper.

#### ***Beskrivning av området***

Banken har finansiella instrument där aktuella marknadspriser saknas varför verkligt värde bestäms utifrån värderingsmodeller som bygger på marknadsdata. Dessa finansiella instrument kategoriseras i nivå 2 enligt IFRS värderingshierarki. Svenska Handelsbanken har även i viss omfattning finansiella instrument vars värdering till verkligt värde bestäms utifrån värderingsmodeller där värdet påverkas av indata som inte går att verifiera med externa marknadsuppgifter. Dessa finansiella instrument kategoriseras i nivå 3 enligt IFRS värderingshierarki.

Koncernen (moderbolaget) har finansiella tillgångar och finansiella skulder i nivå 2 om 38 179 mkr (71 081) respektive 31 410 mkr (38 608). Finansiella tillgångar och skulder i nivå 3 uppgår till 737 mkr (716) respektive 564 mkr (564).

Finansiella instrument i nivå 2 utgörs främst av derivatkontrakt, däribland ränteswappar och olika typer av linjära valutaderivat, samt företagsobligationer. Dessa instrument värderas med värderingsmodeller som bygger på marknadsräntor och andra marknadspriser. Finansiella instrument i nivå 3 utgörs främst av noterade aktier i gemensamägda bolag, placeringstillgångar i försäkringsrörelsen samt vissa derivatkontrakt som värderas med icke-observerbara data. Givet komplexiteten vid beräkningar och att det kräver att Banken gör bedömningar med väsentlig påverkan på redovisade belopp har värdering av finansiella instrument där marknadspriser saknas bedömts vara ett särskilt betydelsefullt område.

#### ***Hur detta område beaktades i revisionen***

Vi har utvärderat huruvida Bankens metod för värdering av finansiella instrument där marknadspriser saknas inklusive klassificering i värderingshierarki är i enlighet med IFRS 13.

Vi har testat nyckelkontroller i värderingsprocessen, innefattande bankens fastställande och godkännande av antaganden och metoder som använts i modellbaserade beräkningar, kontroller av datakvalitet samt förändringshantering avseende interna värderingsmodeller. Vi har även testat generella IT-kontroller inklusive behörighetshantering för dessa system. Vår bedömning är att dessa nyckelkontroller är designade, implementerade och operativt effektiva och vi har därför bestämt att vi kan förlita oss på dessa nyckelkontroller i vår revision.

Vidare har vi bedömt och utmanat de metoder och antaganden som används vid värdering av finansiella instrument där marknadsvärden saknas. Vi har jämfört värderingsmodellerna mot värderingsriktlinjer och branschpraxis. Vi har jämfört använda antaganden med lämpliga referensvärden och priskällor och undersökt betydande avvikelser. Vi har kontrollerat rimligheten i beräkningarna genom att stickprovvis utföra egna oberoende värderingar. I vår revision har vi använt våra interna värderingsspecialister för att bistå oss i de granskningsåtgärder vi utfört.

Vi har även granskat att lämnade upplysningar i de finansiella rapporterna angående värdering av finansiella instrument till verkligt värde är ändamålsenliga.

### **Annan information än årsredovisningen och koncernredovisningen**

Detta dokument innehåller även annan information än årsredovisningen och koncernredovisningen och återfinns på sidorna 1-5, 36-73 och 265-267. Även ersättningsrapporten för räkenskapsåret 2022 utgör annan information. Det är styrelsen och verkställande direktören som har ansvaret för denna andra information.

Vårt uttalande avseende årsredovisningen och koncernredovisningen omfattar inte denna information och vi gör inget uttalande med bestyrkande avseende denna andra information.

I samband med vår revision av årsredovisningen och koncernredovisningen är det vårt ansvar att läsa den information som identifieras ovan och överväga om informationen i väsentlig utsträckning är oförenlig med årsredovisningen och koncernredovisningen. Vid denna genomgång beaktar vi även den kunskap vi i övrigt inhämtat under revisionen samt bedömer om informationen i övrigt verkar innehålla väsentliga felaktigheter.

Om vi, baserat på det arbete som har utförts avseende denna information, drar slutsatsen att den andra informationen innehåller en väsentlig felaktighet, är vi skyldiga att rapportera detta. Vi har inget att rapportera i det avseendet.

### **Styrelsens och verkställande direktörens ansvar**

Det är styrelsen och verkställande direktören som har ansvaret för att årsredovisningen och koncernredovisningen upprättas och att de ger en rättvisande bild enligt lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag och, vad gäller koncernredovisningen, enligt IFRS så som de antagits av EU. Styrelsen och verkställande direktören ansvarar även för den interna kontroll som de bedömer är nödvändig för att upprätta en årsredovisning och koncernredovisning som inte innehåller några väsentliga felaktigheter, vare sig dessa beror på oegentligheter eller misstag.

Vid upprättandet av årsredovisningen och koncernredovisningen ansvarar styrelsen och verkställande direktören för bedömningen av bolagets och koncernens förmåga att fortsätta verksamheten. De upplyser, när så är tillämpligt, om förhållanden som kan påverka förmågan att fortsätta verksamheten och att använda antagandet om fortsatt drift. Antagandet om fortsatt drift tillämpas dock inte om styrelsen och verkställande direktören avser att likvidera bolaget, upphöra med verksamheten eller inte har något realistiskt alternativ till att göra något av detta.

Styrelsens revisionsutskott ska, utan att det påverkar styrelsens ansvar och uppgifter i övrigt, bland annat övervaka bolagets finansiella rapportering.

### **Revisorns ansvar**

Våra mål är att uppnå en rimlig grad av säkerhet om huruvida årsredovisningen och koncernredovisningen som helhet inte innehåller några väsentliga felaktigheter, vare sig dessa beror på oegentligheter eller misstag, och att lämna en revisionsberättelse som innehåller våra uttalanden. Rimlig säkerhet är en hög grad av säkerhet, men är ingen garanti för att en revision som utförs enligt ISA och god revisionssed i Sverige alltid kommer att upptäcka en väsentlig felaktighet om en sådan finns. Felaktigheter kan uppstå på grund av oegentligheter eller misstag och anses vara väsentliga om de enskilt eller tillsammans rimligen kan förväntas påverka de ekonomiska beslut som användare fattar med grund i årsredovisningen och koncernredovisningen.

Som del av en revision enligt ISA använder vi professionellt omdöme och har en professionellt skeptisk inställning under hela revisionen.

Dessutom:

- identifierar och bedömer vi riskerna för väsentliga felaktigheter i årsredovisningen och koncernredovisningen, vare sig dessa beror på oegentligheter eller misstag, utformar och utför granskningsåtgärder bland annat utifrån dessa risker och inhämtar revisionsbevis som är tillräckliga och ändamålsenliga för att utgöra en grund för våra uttalanden. Risken för att inte upptäcka en väsentlig felaktighet till följd av oegentligheter är högre än för en väsentlig felaktighet som beror på misstag, eftersom oegentligheter kan innefatta agerande i maskopi, förfalskning, avsiktliga utelämnanden, felaktig information eller åsidosättande av intern kontroll.
- skaffar vi oss en förståelse av den del av bolagets interna kontroll som har betydelse för vår revision för att utforma granskningsåtgärder som är lämpliga med hänsyn till omständigheterna, men inte för att uttala oss om effektiviteten i den interna kontrollen.
- utvärderar vi lämpligheten i de redovisningsprinciper som används och rimligheten i styrelsens och verkställande direktörens uppskattningar i redovisningen och tillhörande upplysningar.
- drar vi en slutsats om lämpligheten i att styrelsen och verkställande direktören använder antagandet om fortsatt drift vid upprättandet av årsredovisningen och koncernredovisningen. Vi drar också en slutsats, med grund i de inhämtade revisionsbevisen, om huruvida det finns någon väsentlig osäkerhetsfaktor som avser sådana händelser eller förhållanden som kan leda till betydande tvivel om bolagets och koncernens förmåga att fortsätta verksamheten. Om vi drar slutsatsen att det finns en väsentlig osäkerhetsfaktor, måste vi i revisionsberättelsen fästa uppmärksamheten på upplysningarna i årsredovisningen och koncernredovisningen om den väsentliga osäkerhetsfaktorn eller, om sådana upplysningar är otillräckliga, modifiera uttalandet om årsredovisningen och koncernredovisningen. Våra slutsatser baseras på de revisionsbevis som inhämtas fram till datumet för revisionsberättelsen. Dock kan framtida händelser eller förhållanden göra att ett bolag och en koncern inte längre kan fortsätta verksamheten.
- utvärderar vi den övergripande presentationen, strukturen och innehållet i årsredovisningen och koncernredovisningen, däribland upplysningarna, och om årsredovisningen och koncernredovisningen återger de underliggande transaktionerna och händelserna på ett sätt som ger en rättvisande bild.
- inhämtar vi tillräckliga och ändamålsenliga revisionsbevis avseende den finansiella informationen för enheterna eller affärsaktiviteterna inom koncernen för att göra ett uttalande avseende koncernredovisningen. Vi ansvarar för styrning, övervakning och utförande av koncernrevisionen. Vi är ensamt ansvariga för våra uttalanden.

Vi måste informera styrelsen om bland annat revisionens planerade omfattning och inriktning samt tidpunkten för den. Vi måste också informera om betydelsefulla iakttagelser under revisionen, däribland de eventuella betydande brister i den interna kontrollen som vi identifierat.

Vi måste också förse styrelsen med ett uttalande om att vi har följt relevanta yrkesetiska krav avseende oberoende, och ta upp alla relationer och andra förhållanden som rimligen kan påverka vårt oberoende, samt i tillämpliga fall åtgärder som har vidtagits för att eliminera hoten eller motåtgärder som har vidtagits.

Av de områden som kommuniceras med styrelsen fastställer vi vilka av dessa områden som varit de mest betydelsefulla för revisionen av årsredovisningen och koncernredovisningen, inklusive de viktigaste bedömda riskerna för väsentliga felaktigheter, och som därför utgör de för revisionen särskilt betydelsefulla områdena. Vi beskriver dessa områden i revisionsberättelsen såvida inte lagar eller andra författningar förhindrar upplysning om frågan.

Rapport om andra krav enligt lagar och andra författningar

### **Uttalanden**

Utöver vår revision av årsredovisningen och koncernredovisningen har vi även utfört en revision av styrelsens och verkställande direktörens förvaltning för Svenska Handelsbanken AB (publ) för år 2022 samt av förslaget till dispositioner beträffande bolagets vinst eller förlust.

Vi tillstyrker att bolagsstämman disponerar vinsten enligt förslaget i förvaltningsberättelsen och beviljar styrelsens ledamöter och verkställande direktören ansvarsfrihet för räkenskapsåret.

### **Grund för uttalanden**

Vi har utfört revisionen enligt god revisionsred i Sverige. Vårt ansvar enligt denna beskrivs närmare i avsnittet Revisorns ansvar. Vi är oberoende i förhållande till moderbolaget och koncernen enligt god revisorsred i Sverige och har i övrigt fullgjort vårt yrkesetiska ansvar enligt dessa krav.

Vi anser att de revisionsbevis vi har inhämtat är tillräckliga och ändamålsenliga som grund för våra uttalanden.

**Styrelsens och verkställande direktörens ansvar**

Det är styrelsen som har ansvaret för förslaget till dispositioner beträffande bolagets vinst eller förlust. Vid förslag till utdelning innefattar detta bland annat en bedömning av om utdelningen är försvarlig med hänsyn till de krav som bolagets och koncernens verksamhetsart, omfattning och risker ställer på storleken av moderbolagets och koncernens egna kapital, konsolideringsbehov, likviditet och ställning i övrigt.

Styrelsen ansvarar för bolagets organisation och förvaltningen av bolagets angelägenheter. Detta innefattar bland annat att fortlöpande bedöma bolagets och koncernens ekonomiska situation, och att tillse att bolagets organisation är utformad så att bokföringen, medelsförvaltningen och bolagets ekonomiska angelägenheter i övrigt kontrolleras på ett betryggande sätt. Verkställande direktören ska sköta den löpande förvaltningen enligt styrelsens riktlinjer och anvisningar och bland annat vidta de åtgärder som är nödvändiga för att bolagets bokföring ska fullgöras i överensstämmelse med lag och för att medelsförvaltningen ska skötas på ett betryggande sätt.

**Revisorns ansvar**

Vårt mål beträffande revisionen av förvaltningen, och därmed vårt uttalande om ansvarsfrihet, är att inhämta revisionsbevis för att med en rimlig grad av säkerhet kunna bedöma om någon styrelseledamot eller verkställande direktören i något väsentligt avseende

- företagit någon åtgärd eller gjort sig skyldig till någon försummelse som kan föranleda ersättningsskyldighet mot bolaget, eller
- på något annat sätt handlat i strid med aktiebolagslagen, årsredovisningslagen eller bolagsordningen.

Vårt mål beträffande revisionen av förslaget till dispositioner av bolagets vinst eller förlust, och därmed vårt uttalande om detta, är att med rimlig grad av säkerhet bedöma om förslaget är förenligt med aktiebolagslagen.

Rimlig säkerhet är en hög grad av säkerhet, men ingen garanti för att en revision som utförs enligt god revisionsssed i Sverige alltid kommer att upptäcka åtgärder eller försummelser som kan föranleda ersättningsskyldighet mot bolaget, eller att ett förslag till dispositioner av bolagets vinst eller förlust inte är förenligt med aktiebolagslagen.

Som en del av en revision enligt god revisionsssed i Sverige använder vi professionellt omdöme och har en professionellt skeptisk inställning under hela revisionen. Granskningen av förvaltningen och förslaget till dispositioner av bolagets vinst eller förlust grundar sig främst på revisionen av räkenskaper. Vilka tillkommande granskningsåtgärder som utförs baseras på vår professionella bedömning med utgångspunkt i risk och väsentlighet. Det innebär att vi fokuserar granskningen på sådana åtgärder, områden och förhållanden som är väsentliga för verksamheten och där avsteg och överträdelser skulle ha särskild betydelse för bolagets situation. Vi går igenom och prövar fattade beslut, beslutsunderlag, vidtagna åtgärder och andra förhållanden som är relevanta för vårt uttalande om ansvarsfrihet. Som underlag för vårt uttalande om styrelsens förslag till dispositioner beträffande bolagets vinst eller förlust har vi granskat styrelsens motiverade yttrande samt ett urval av underlagen för detta för att kunna bedöma om förslaget är förenligt med aktiebolagslagen.

**Revisorns granskning av Esef-rapporten****Uttalanden**

Utöver vår revision av årsredovisningen och koncernredovisningen har vi även utfört en granskning av att styrelsen och verkställande direktören har upprättat årsredovisningen och koncernredovisningen i ett format som möjliggör enhetlig elektronisk rapportering (Esef-rapporten) enligt 16 kap. 4 a § lagen (2007:528) om värdepappersmarknaden för Svenska Handelsbanken AB (publ) för år 2022.

Vår granskning och vårt uttalande avser endast det lagstadgade kravet.

Enligt vår uppfattning har Esef-rapporten upprättats i ett format som i allt väsentligt möjliggör enhetlig elektronisk rapportering.

**Grund för uttalanden**

Vi har utfört granskningen enligt FARs rekommendation RevR 18 Revisorns granskning av Esef-rapporten. Vårt ansvar enligt denna rekommendation beskrivs närmare i avsnittet Revisorns ansvar. Vi är oberoende i förhållande till Svenska Handelsbanken AB (publ) enligt god revisorssed i Sverige och har i övrigt fullgjort vårt yrkesetiska ansvar enligt dessa krav.

Vi anser att de bevis vi har inhämtat är tillräckliga och ändamålsenliga som grund för vårt uttalande.

**Styrelsens och verkställande direktörens ansvar**

Det är styrelsen och verkställande direktören som har ansvaret för att Esef-rapporten har upprättats i enlighet med 16 kap. 4 a § lagen (2007:528) om värdepappersmarknaden, och för att det finns en sådan intern kontroll som styrelsen och verkställande direktören bedömer är nödvändig för att upprätta Esef-rapporten utan väsentliga felaktigheter, vare sig dessa beror på oegentligheter eller misstag.

**Revisorns ansvar**

Vår uppgift är att uttala oss med rimlig säkerhet om Esef-rapporten i allt väsentligt är upprättad i ett format som uppfyller kraven i 16 kap. 4 a § lagen (2007:528) om värdepappersmarknaden, på grundval av vår granskning.

RevR 18 kräver att vi planerar och genomför våra granskningsåtgärder för att uppnå rimlig säkerhet att Esef-rapporten är upprättad i ett format som uppfyller dessa krav.

Rimlig säkerhet är en hög grad av säkerhet, men är ingen garanti för att en granskning som utförs enligt RevR 18 och god revisionsd i Sverige alltid kommer att upptäcka en väsentlig felaktighet om en sådan finns. Felaktigheter kan uppstå på grund av oegentligheter eller misstag och anses vara väsentliga om de enskilt eller tillsammans rimligen kan förväntas påverka de ekonomiska beslut som användare fattar med grund i Esef-rapporten.

Revisionsföretagen tillämpar International Standard on Quality Management 1, som kräver att företaget utformar, implementerar och hanterar ett system för kvalitetsstyrning inklusive riktlinjer eller rutiner avseende efterlevnad av yrkesetiska krav, standarder för yrkesutövningen och tillämpliga krav i lagar och andra författningar.

Granskningen innefattar att genom olika åtgärder inhämta bevis om Esef-rapporten har upprättats i ett format som möjliggör enhetlig elektronisk rapportering av årsredovisningen [och koncernredovisning]. Revisorn väljer vilka åtgärder som ska utföras, bland annat genom att bedöma riskerna för väsentliga felaktigheter i rapporteringen vare sig dessa beror på oegentligheter eller misstag. Vid denna riskbedömning beaktar revisorn de delar av den interna kontrollen som är relevanta för hur styrelsen och verkställande direktören tar fram underlaget i syfte att utforma granskningsåtgärder som är ändamålsenliga med hänsyn till omständigheterna, men inte i syfte att göra ett uttalande om effektiviteten i den interna kontrollen. Granskningen omfattar också en utvärdering av ändamålsenligheten och rimligheten i styrelsens och verkställande direktörens antaganden.

Granskningsåtgärderna omfattar huvudsakligen en validering av att Esef-rapporten upprättats i ett giltigt XHTML-format och en avstämning av att Esef-rapporten överensstämmer med den granskade årsredovisningen och koncernredovisningen.

Vidare omfattar granskningen även en bedömning av huruvida koncernens resultat-, balans- och egetkapitalräkningar, kassaflödesanalys samt noter i Esef-rapporten har märkts med iXBRL i enlighet med vad som följer av Esef-förordningen.

Revisorns yttrande avseende den lagstadgade hållbarhetsrapporten

Det är styrelsen som har ansvaret för hållbarhetsrapporten på sidorna 36-73 och för att den är upprättad i enlighet med årsredovisningslagen.

Vår granskning har skett enligt FARs rekommendation RevR 12 Revisorns yttrande om den lagstadgade hållbarhetsrapporten. Detta innebär att vår granskning av hållbarhetsrapporten har en annan inriktning och en väsentligt mindre omfattning jämfört med den inriktning och omfattning som en revision enligt International Standards on Auditing och god revisionsd i Sverige har. Vi anser att denna granskning ger oss tillräcklig grund för vårt uttalande.

En hållbarhetsrapport har upprättats.

PricewaterhouseCoopers AB, Torsgatan 21, 113 97 Stockholm, utsågs till Svenska Handelsbanken AB (publ)s revisor av bolagsstämman den 23 mars 2022 och har varit bolagets revisor sedan 29 mars 2017.

Ernst & Young AB, Hamngatan 26, 111 47 Stockholm, utsågs till Svenska Handelsbanken AB (publ)s revisor av bolagsstämman den 23 mars 2022 och har varit bolagets revisor sedan 28 april 1998.

Stockholm den 23 februari 2023

PricewaterhouseCoopers AB

Ernst & Young AB

Johan Rippe

Åsa Lundvall

Auktoriserad revisor

Auktoriserad revisor

- 
- ( ) 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものです。その原本は本有価証券報告書提出会社が別途保管しております。